

国立国語研究所学術情報リポジトリ

南琉球・宮古語 池間方言辞典：西原地区版

メタデータ	言語: ja 出版者: 国立国語研究所 言語変異研究領域 公開日: 2024-02-23 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 仲間, 博之, 田窪, 行則, 岩崎, 勝一, 五十嵐, 陽介, ダニエル, ワイマーク, 中川, 奈津子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/0002000172

南琉球・宮古語 池間方言辞典
西原地区版

仲間博之

田窪行則

岩崎勝一

五十嵐陽介

ダニエル・ワイマーク

中川奈津子



謝辞

本辞典の凡例、構成などは、以下の文献を参照させていただきました。

上地徳男 (2021) 『佐良浜方言語彙辞典』 ボーダーインク.

内間直仁、野原三義 (2006) 『沖縄語辞典』 研究社.

国立国語研究所 (2001) 『沖縄語辞典』 国立国語研究所.

下地賀代子 (2017) 『たらまふつ辞典』 多良間村教育委員会.

富浜定吉 (2013) 『伊良部方言辞典』 沖縄タイムス社.

渡久山春英、セリック・ケナン (2020) 『南琉球宮古多良間方言辞典』 国立国語研究所.

本辞典の発刊に当たっては以下の財政的援助を受けた。

科学研究費補助金基盤研究 (B) 「言語使用と非言語的認知操作における空間指示枠の
相関についての実験的研究」 (課題番号 17H02333 代表田窪行則)

科学研究費補助金基盤研究 (C) 「可能世界を用いない様相表現の意味論的枠組みの構
築—日本語様相表現を中心に」 (課題番号 20K00586 代表今仁生美)

科学研究費補助金基盤研究 (B) 「時空間・論理領域の間の類比マッピングの形式モデ
ル化とその検証」 (課題番号 23320085 代表田窪行則)

科学研究費補助金基盤研究 (A) 「消滅危機言語としての琉球諸語・八丈語の文法記述
に関する基礎的研究」 (課題番号 24242014 代表狩俣繁久)

科学研究費補助金基盤研究 (B) 「比較言語学的方法による日本語・琉球諸語諸方言の
祖語の再建および系統樹の構築」 (課題番号 17H02332 代表五十嵐陽介)

科学研究費補助金基盤研究 (C) 「日琉祖語の再建を目的とした同源性タグ・意味タグ
付き語彙データベースの構築」 (課題番号 21K00517 代表五十嵐陽介)

UCLA Terasaki Center for Japanese Studies

UCLA Asia Pacific Center

印刷費用に関しては以下の援助を受けた。

2023 年度人間文化研究機構機構長裁量経費「言語資源の高度化・発信力強化による言語資源学の創成」

協力者(敬称略) 村の長老の方々に語の意味、発音、用法、などの確認をしていただきました。特に、池間吉子さんにはそのほかにも宮古上布、儀礼、習慣などに関する文化的な情報に関して多大なる御教示をいただきました。以下皆様のお名前と生まれ年をそえ感謝の代わりとさせていただきます。

(故) 高里ハル(大正 11 年)、(故) 仲間松子(昭和 3 年)、仲間初枝(昭和 2 年)、池間吉子(昭和 12 年)、砂川愛子(昭和 13 年)、仲間忠(昭和 18 年)

その他協力者 それぞれの専門分野に関する情報をいただきました。

仲間和俊(昭和 20 年)、池間清吉(昭和 24 年)、仲間正幸(昭和 24 年)、本村邦彦(昭和 28 年)、楚南聡(昭和 31 年)、仲間宣子(昭和 23 年)、砂川正吉(昭和 22 年)、仲原正昇(昭和 22 年)

仲間博之氏の次女仲間寛子さんにはさまざまなコンピューター使用に関するアシスタントをしていただきました。また池間島在住の伊良波盛男氏、具志堅基氏、「きゅーぬふから舎」代表の前泊博美氏からもいろいろな援助をいただいたことに感謝を申し上げたいと思います。

まえがき

まえがきばが つーふあい っヴあがまぬ ときゃんどう んまー かん ないたい。
あやひどう ばー ぱーん そうだていらいたい。ぱーや がっこうまい いでいったん
ば ずーまい ゆまいん かつまいひらいん やまとうむぬいまい あっじゃいん ひと
うどうあたひ。ばんとう ぱーとうが むぬいや いつまい すまぬ むぬいどう あた
ひ。また がっこういきーまい すまぬ むぬいどう はーさかたい。

私が赤ん坊のころ、私の母親は亡くなりました。それでわたしは祖母に育てられまし
た。祖母は学校もでていなかったのて、字も読めず、書くこともできない、共通語も話せ
ない人でした。私と祖母の会話はいつも村の言葉でした。また、学校に行っても村の言葉
がたくさん話されていました。

あやひー っさらぬ こーこーんかい いきー やまとうむぬいや まーぬ むぬっ
じゃいったん。みどうんあぐたが なうやひー ひろゆきやー こーこーあいきや なう
ちゆんま むぬっじゃだ うたいそうが んなまー なうやひー うんそうく むぬっじ
ゆーがてい つきゆーば あがひ うらー なうぬ くとうー あらん、やまとう むぬ
いぬ あっじゃいんだきどう あたいていー あいていがー ばらいー うたい。だいが
くー いでいー こーこーぬ しーしーん なりー やまとう むぬい ほうっでいー
あすていがー ふっちゃ くぱりーうたい。

そして、平良の高校に行きましたが、共通語はあまりはなせませんでした。同級の女子
学生たちがどうして博之は高校の時は何も話さなかったのに、いまはどうしてたくさんは
なすのかと聞くので、それはなんということはない、共通語を話せなかっただけだと、言
うと笑っていました。大学を出て、高校の教師になって、共通語を話そうとすると、口が
固まってしまっていました。

すまぬ むぬいぬ じてんぬ っちゆふあっでい うむいたい むぬー んなまから
17かねんまいどう あたひ。ばー いつまい うなが まっふあぬ あーぎん ほー
げん のーとを うっきー うむいいですが かず かきゆーたい。ゆなか すばい っ
さっでいー あすとうきゃんどう ゆながい つかいや みーん むぬいまい うむいだ

はい うたいば つふあどうくまんまい かきゆーたい。すばいや っしーっていから
かかっでいー あすていがー んめ きつぎんていー ばっしーどう うたい。あいえい
ば つふあどうくま やらばんまい わいていー かかだかーならっだん。

村の言葉の辞典を作ろうと思ったのはいまから17年前でした。私はいつも自分の枕の上
に方言ノートを置いて、思い出すたびに書きました。夜中、小便をしようとするときには
長い間使っていなかった言葉も思い出したので、暗いところでも書いていました。小便
をしてきてから書こうとしたら、(書こうとした単語を)きれいに忘れていました。だから、
暗いところであっても、一生懸命書かないといけませんでした。

くぬ じてんな たくぼしーしーや とーきょー、いわさきしーしーや ろすあんぜ
るす、ばー うつなーん うとうい、いふていまい へんしゅーかいぎゅー ひーったい。
あやひーまた あくせんとぬ いがらし しーしー へんしゅーぬ なかがわ しーし
ーが そういー やぐみ じゃうたう あたい。

この辞典は、田窪先生は東京、岩崎先生はロスアンジェルス、私は沖縄にいて、なんど
も編集会議をしてきました。また、アクセントの五十嵐先生、編集の中川先生が、参加し
てくれてとてもよかったです。

くらー 17かねんまいん すきゃきたい むぬ えいば うなが かきゃー むぬま
い ばっしゅー むぬまい はーさ あたい。あいえいば すまぬ あにそうじゃんみん
から ゆー ならいまい あすたい。いけまよしこ しーしー はずみ つむでいまい
ほうだ ならーす じゃうっじゃひー ふいーさまいー やぐみ すでいがほー。あやひ
ーまた たくぼしーしー はずみ こくりつこくごけんきゅーしよぬ やびとうーんーな
やぐみ すでいがほー。

これは17年前に始めたものですから、自分が書いたことを忘れていたものもたくさん
ありました。それで、村の先輩方からもしばしば教えてもらいました。池間吉子先生はじ
め、怒りもせずに、ご教授下さり、大変ありがたく存じます。また、田窪先生はじめ、国立
国語研究所のみなさん、とても感謝いたします。

2022年1月(文責 仲間博之 翻訳 田窪行則)

序

本辞典は南琉球宮古語池間方言（以下「池間方言」）のうち宮古島北部に位置する西原地区にみられる下位変種の基本的な語彙および成句、約 6,000 項目を収録したものである。池間方言は宮古島の北に位置する池間島を発祥の地とし、現在はその池間島のほか、佐良浜（宮古島西隣の伊良部島東部海岸より）、そして西原の三地区で話されている。佐良浜地区には約 300 年前、西原地区には約 150 年前（明治 7 年）に池間島から、琉球王府の命令により分村という形を通して池間方言話者が移住してきた。この三地域で話される池間方言は微細な違いはあるもののお互いのコミュニケーションには全く支障はないとされている。現在でもこの三地域の人々は「池間民族のつどい」という毎年の行事を通し、言語文化を共有する「一民族」というアイデンティティ継承の努力を続けている。

宮古島市・統計みやこじま (miyakojima.lg.jp) によると令和二年 (2020 年) 現在の人口は西原 (800 人)、池間島 (521 人)、佐良浜 (2654 人) であるが、このうち池間語を流ちょうに話せる話者は 60 歳から 65 歳以上の話者で、これは全人口の約 3 割にあたる 1300 人ほどと推定される。しかし、理解度テストを用いた我々の最近の調査では、30 代後半でも人によっては 60 代以上とほとんど変わらない理解力を持っていることがわかっている。つまり、これらの若い世代の話者は積極的に話すことはないものの、十分な理解力があり、潜在的には話者になる可能性があると思われる。このような潜在話者が池間方言を話さないのにはさまざまな要因があるが、年上の世代から言葉の使い方をとがめられたり、学校教育での共通語の強制的使用などがあげられるであろう。いずれにせよ若い世代が池間方言を使わない今の状態が持続すれば現在 60 歳の人口が 90 歳になる 30 年後には池間方言はユネスコの規定する消滅危機言語の中でも最も危機度のたかい「危篤状態」(Critically Endangered) の段階に達していると思われる。この状態を鑑み、宮古地域でも地元地域言語の活性化に関する関心は高まってきており、西原地区においては老人会総出の「西原村立て」という歌と踊りをともなったお芝居の発表や、「ひよどり」幼稚園園長花城千枝子氏による方言による創作絵本の作成、小学生による方言発表会などが行われている。本辞典はこのような方言活性化への貢献、特に将来の学習者育成へのささやかな手助けになればという思いで作成されている。正確性を保つためにやや専門的な解釈や記述も混ざって

るが、なるべく一般の読者の理解の妨げにならないよう努力した。

本辞典に収められている見出し語は宮古語池間方言の西原下位方言の母語話者である仲間博之氏の内省によるものであるため、池間島、佐良浜の方言形は含まれていない。田窪行則（約 3500 語）、岩崎勝一（約 3500 語）、林由華氏（約 800 語）がフィールドワークで採集した語彙を、仲間博之氏が独自で作成していたリストと照合しながらすべての語彙について、発音、品詞を確かめる形で進行した。例文については、仲間氏の作成したものの外に、田窪・岩崎がフィールドワーク中に記録した例や、ひよどり保育園園長の花城千枝子氏の創作童話や「西原村立て」のせりふなどからも適宜採用してある。例文作成に当たっては、理解のための語彙集ではなく、現代生活を池間方言で営むための例も取り入れるよう努力したが、十分ではないかもしれない。なお意味及び使用法が不確かな場合は他の母語話者に確認を依頼した。特に池間吉子さんには語彙の意義および文化的な情報に関して度重なるご協力をいただいた。

辞書の形にするにあたり、アクセントについては五十嵐陽介が改めて調査し、その結果を掲載してある（凡例のアクセントの項目参照）。エクセルの表を TeX に変換して、組版する作業は中川奈津子が行った。また、中川は編集全般を担当している。校正の最終段階では大野剛氏（カナダ・アルバータ大学教授）の協力を得た。

本辞典は 2006 年 1 月に正式に開始した「池間プロジェクト」の一成果である。このプロジェクトは大野剛氏が提案し、それに田窪行則（当時京都大学教授、現在国立国語研究所）と岩崎勝一（UCLA 教授）が加わり、さらに林由華氏、田村早苗氏、川田拓也氏をはじめとする京都大学の大学院生らが参加する形で綿々と継続されてきた。これら池間プロジェクトのメンバーおよび我々を支えてくださった支援者の皆さんとともにこの辞書の完成を喜びたい。この辞書はまだ完成には程遠いものである。さらに改訂を続けて行きたいと思う。

第 2 刷のまえがき

2 刷り目にあたり、以下の修正、追加を行った。この修正にあたっては、Daniel Wymark 氏の多大な助力を得ることができた。(1) 共通語から池間方言を引ける逆引き索引を巻末に付した。文の共通語訳のなかから候補を自動抽出し、共通語訳の方を見出し語にして配列したものである。共通語から本文の対応単語を探すための補助となるように作成したものである。あくまで簡略なものであり、本格的な共通語-池間方言辞典として使うものではない。(2) 「。」や括弧が抜けているものや多すぎるものを修正し、辞書の例文などが見出しとずれているものを修正した。(3) 1 刷り印刷後に新たに思いついた単語や表現を追加した。

凡例

1 見出し語

本辞典に採用した見出し語の大部分は現在池間方言(西原下位変種)で使用されている語彙および成句であり、池間方言を理解し話すために必要なものである。少数日本語などからの借用語も含まれるが、借用元の言語は表示しない。さらに古謡の中から採集した語、現在では使われない古語や差別的と思われる用語、蔑称、卑語なども一部含まれているが、これらは歴史的記録として掲載することとした。例文についてはなるべく差別的なものは取り除く努力をした。

2 表記・表示

見出し語はひらがなで表記したが、長音は「い」や「う」を用いず、長音記号「ー」をもって示す(例:「みー(目)」、「どーそー(同窓、同級生)」、「そー(野菜)」など)。「じ・ぢ」「ず・づ」に関しては、語源にかかわらず、「じ」「ず」のみをもちいる。「ち」「つ」が連濁しても「ず」「じ」を用いる。例文の共通語訳では魚、植物、場所、人名などはカタカナ表記を用いた。ただし漢字が定着している場合は漢字を用いる(例:「平良」など)ひらがな表記とともに簡易発音記号および品詞を表示(下記参照)。名詞の意味分類が必要と思われる場合は略号(『魚』、『鳥』など)により表示(下記「略語・記号」参照)。動詞はその基本形を示しその活用タイプを表示(下記参照)。三モーラ以下の名詞、動詞、形容詞にはアクセント型を表示した。詳しくは(下記「アクセント」参照)。

3 音節表

この表はこの辞書の見出し語における音声表記に現れる音節を「ひらがな」および簡易音声表記で示したものである。簡易音声表記は精密な音声表記を記したものではなく便宜的なものである。また動詞の活用の説明ではこの表記とは完全に一致しないローマ字表記

3. 音節表

を使っているのので注意されたい。簡易音声表記の留意点を以下にまとめた。

- 母音記号は [a, i, u, e, o] の五母音のほか中舌母音 [i] を認める。
- 長母音は長音記号 [:] で表す。
- 中舌母音 [i] は子音 [s, ss, z, zz, ts, tts] のあとにのみ現れる。
- 母音 [e] および [o] をもつ音節はほぼ終助詞、借用語、感動詞、オノマトペに限られており、頻度が極端に低いため、() にいれて示す。ほかのいくつか頻度の低い音節も () に入れ示す。
- 池間方言では「ざ」はたまに「じゃ」の自由異音として現れる。この場合頭子音は [z] ~ [dz] の間で揺れることもある。音節表では [z] をもちいる。
- 「っざ」「っぞう」も頭子音は [z] をもちいる。
- その他の有声歯茎子音は [z, ʒ, zz, zʒ] などで示す。
- 「は」行の音に関しては常に [h] を用いる。
- なお「ふ」[fu] と「ほう」[hu] は対立する: (「ふー」[fu:] (来る) 対「ほうー」[hu:] (船の帆))
- 「っら、っり、っる」は [rra, rri, rru] で示す。[rr] は正確にはそり舌 (retroflex) の完全な閉鎖に後続するそり舌はじき音、すなわち [dʀ] であるがこれも揺れがある。
- 促音は子音を重ねて示す: [zza, zʒa]
- 拗音は [j] の渡り音をもってしめす: [hja, kju]
- 撥音「ん」は [m][n][ŋ] (直後の子音の調音位置に同化) であらわす。語末は [n] であらわす。
- 形態素の最初のみに見える無声撥音「ん°」は、[n̥] [m̥] (直後の子音の調音位置に同化) であらわす。
- なお表の中で空欄になっている部分は普通使われない音節である。

あ	い		う	(え)	(お)	ちゃ	ち		ちゅ		(ちよ)
[a]	[i]	[i]	[u]	[e]	[o]	[tɕa]	[tɕi]		[tɕu]		[tɕo]
か	き		く	(け)	(こ)	っちゃ			っちゅ		
[ka]	[ki]		[ku]	[ke]	[ko]	[ttɕa]			[ttɕu]		
っか	っき		っく			だ	でい		どう		(ど)
[kka]	[kki]		[kku]			[da]	[di]		[du]		[do]
きゃ			きゅ		(きよ)	っだ	っでい		っどう		(っど)
[kja]			[kju]		[kjo]	[dda]	[ddi]		[ddu]		[ddo]
っきゃ			っきゅ			な	に		ぬ	(ね)	
[kkja]			[kkju]			[na]	[ni]		[nu]	[ne]	
が	ぎ		ぐ	(げ)	(ご)	にゃ			にゅ		
[ga]	[gi]		[gu]	[ge]	[go]	[nja]			[nju]		
ぎゃ			ぎゅ			は	ひ		ほう		
[gja]			[gju]			[ha]	[hi]		[hu]		

4. 見出し語の配列

さ	し	す	そう	(せ)	(そ)	ぱ	ぴ	ぷ		
[sa]	[ɕi]	[si]	[su]	[se]	[so]	[pa]	[pi]	[pu]		
っさ	っし	っす			っそう	ば	び	ぶ	(べ)	(ぼ)
[ssa]	[ɕci]	[ssi]			[ssu]	[ba]	[bi]	[bu]	[be]	[bo]
しゃ			しゅ		(しよ)	ひゃ		ひゅ		
[ɕa]			[ɕu]		[ɕo]	[hja]		[hju]		
っしゃ			っしゅ		(っしよ)	ぴゃ		ぴゅ		(ぴよ)
[ɕca]			[ɕcu]		[ɕco]	[pja]		[pju]		[pjo]
(ざ)	(じ)	ず				っば	っび	っぶ		
[za]	[zi]	[zi]				[bba]	[bbi]	[bbu]		
っざ	っじ	っず	っぞう			びゃ		びゅ		(びよ)
[zza]	[zci]	[zzi]	[zzu]			[bja]		[bju]		[bjo]
じゃ			じゅ		(じよ)			っびゅ		
[za]			[zu]		[zo]			[bbju]		
っじゃ			っじゅ			ふぁ	(ふい)	ふ		
[zza]			[zju]			[fa]	[fi]	[fu]		
た	てい		とう	(て)	(と)	っふぁ	っふい	っふ		
[ta]	[ti]		[tu]	[te]	[to]	[ffa]	[ffi]	[ffu]		
		っ				っふゃ		っふゅ		
		[tsi]				[ffja]		[ffju]		
った	ってい		っとう			(づぁ)				
[tta]	[tti]		[ttu]			[va]				
		っっ				っづぁ	っづい			
		[ttsi]				[vva]	[vvi]			
	っち					っづゃ		っづゅ		
	[tci]					[vvja]		[vvju]		
ま	み		む	(め)	(も)	ら	り	る		(ろ)
[ma]	[mi]		[mu]	[me]	[mo]	[ra]	[ri]	[ru]		[ro]
みゃ			(みゅ)			(っら)	(っり)	(っる)		
[mja]			[mju]			[rra]	[rri]	[rru]		
ゃ			ゅ		(よ)	りゃ		(りゅ)		
[ja]			[ju]		[jo]	[rja]		[rju]		
わ [wa]										
ん [n] [m] [ŋ] (直後の環境により変化) (「ん」の長音は「んー」で示す)										
ん° [n̚] [m̚] (直後の環境(「ま、な」行のみ)により変化) (「ん°」に「ん」が続く場合は「ん°ん」で示す)										

4 見出し語の配列

見出し語の配列は日本語のひらがな五十音順に従うが、細部は以下の規則を適用してあるため日本語の辞書とは違う様相を呈している。

- 清音、濁音、半濁音は原則としてこの順序で示す。
- 長母音は短母音の後に現れる (例:「な」「なー」)
- 二重母音は長母音の後に現れる (例:「なー」「ない」)
- 拗音は長母音の後に現れる (例:「きー」「きゃ」「きゃー」)

- 日本語にはない語頭促音は「つ」から始まる語とし、「た」行に入れる (例:「つく」 [kku])
- このため実際の発音では語頭子音が全く異なるものでも連続して表示されることがある (例:「っふ」 [ffu] 「つふ」 [tsifu])
- 日本語にない [v] 音はひらがな「う」に濁点をつけ「うゝ」の様に示すが、この音は少数の例外をのぞいて促音としてあらわれるので「っう」 [vv] として現れるのが原則である。
- しかも語頭音節として現れるのは「っうゝ」 [vva]、「っうゝい」 [vvi]、「っうゝゆ」 [vvju] にかぎられている。「っうゝや」 [vvja] は語中にのみ現れる。
- 同様に「っぞう・っそう」 [zzu/ssu] も促音としてしか現れない。
- 語頭促音で始まる見出し語の順は以下のようになる:「っうゝゝ」、「っうゝい」、「っうゝゆ」、「つく」、「っさ・っざ」、「っし・っじ」、「っしや・っじや」、「っしゆ・っじゆ」、「っそう・っぞう」、「った・っだ」、「っちや」、「っちゆ」、「つつ」、「ってい・っでい」、「っふゝゝ」、「っふゝい」、「っふゝふ」
- 無声撥音「ん°」は有声撥音「ん」の後に現れる (例:「んな」「ん°な」)
- 「ん」の長音は「んー」と表すが、「ん°」と「ん」の連続は「ん°ー」でなく、「ん°ん」と表す。無声撥音の連続は存在せず、必ず後ろは有声になるためである。また、「かーかんまり (ケチな奴)」のように明らかに二つの単語として発音されるものは、「ん」が連続する場合でも長音表記を用いず、「ん」を明示的に表記した。

5 語義

語義にさらなる注釈が必要な場合は適宜 [] をもちいてしめした。語彙に下位分類が必要な場合は 『 』 をもって 『魚』 の様に示した。この下位分類は語義を明確にすることが目的であるため、普通名詞として確立している物、例えば「牛」「馬」などには 『動』 (=動物) の下位分類を示すことはしない。また一つの言葉に二つ以上の分類が可能な場合はその主な下位分類のみ示すのを標準としている (例:「ほうぎゃん」は高粱 (こうりゃん) で植物ではあるが、もっぱら食べ物としてとらえられているので 『植』 の表示はせず、『食』 のみを示した)。ここで用いた分類項目は以下のものである。

5. 語義

〔生物〕	生物
〔動〕	動物
〔鳥〕	鳥類
〔魚〕	魚類
〔昆〕	昆虫
〔貝〕	貝類
〔植〕	植物
〔祭礼〕	祭礼
〔遊〕	遊戯
〔食〕	食べ物
〔果物・野菜〕	果物・野菜
〔道具〕	道具
〔蔑称〕	蔑称
〔地名〕	地名
〔人名〕	人名
〔古語〕	古語
〔歌語〕	歌語
〔幼児語〕	幼児語

語義が一つ以上にのぼり、それらの間に意味の隔たりがある場合はセミコロン(;)をもって示した(例「あら」(家の)外;(人や家の)外見)。さらに語義間に関係が認められるもののその意味拡張がさらに広がったと思われる場合は項目を別に立てた。(例①「あみかうー」(水を)浴びる②「あみかうー」(他人の)借金を引き受ける)。この表示は同音でも品詞が違う場合にも適用した(例①「いさら」名詞(畑の)石ころ②「いさら」形容詞(畑が)石ころだらけだ)。

ひとつの語に音韻論的に関係づけられる異形態がある場合は[変異]という項目により示した。たとえば「かりうし」(航海安全)の[変異]の項には「かりゆうし、かりゆす、かりうす」と記されているが、これは「かりうし」という言葉に対し三つの音韻論的に関係づけられる変異形があることをしめしている。さらにこの情報はクロスレファレンスされており、どの見出し語からでも関係する四つの形が探せるようになっている。

さらに一つの語に同義語がある場合は用例の最後に[類]という項目をもうけてしめた。たとえば「たま」は「分け前」の意味であるが「ばきだま、っじだま、とういまい」も同じ意味の言葉なので[類]として三つの言葉を示している。これもクロスレファレンスがされている。

6 用例

語義に続く用例はなるべく多くのものを示すようにしてある。特に動詞に関してはその格の取り方や活用形の使い方がわかるように工夫してある。語義の説明でセミコロン(;)を用いた場合は、用例もその順序に現れるようにしてある。用例の日本語訳はなるべく日本語としてこなれたものを用いるようにしているが、文の構成がわかるよう、あるものは直訳に従い、その意識を [] の中に入れて示した。その場合直訳は (>) または (<) の開き側、意識は閉じ側に来るようにした (例: ばが っじだまー いひなふだー (私の取り分は少ない [>これだけしかないのか])。また [] は例文への注釈をするためにも用いた。さらに、池間方言と共通語で表現が対応しない場合、() を用いて補足した (例: っづあーんじゃんかいが [お前はどこにか [>お前はどこに (行くの) か])。)

7 品詞

以下の 12 の品詞および成句を認定した。ある品詞にはその下位分類をいくつか認め『形式名詞』の様を示した。

名詞	下位分類：『形式名詞』『疑問詞』『数詞』
代名詞	下位分類：『指示詞』『再帰代名詞』『不定代名詞』
動詞	基本形を見出し語とし、その活用パターンを示した(「活用形」の節を参照)。 動詞活用形「ちゅー(投げる)」の連用形、命令形「ていっぐい」のように、規則から動詞の活用形が予測しにくい場合、基本形に加えて、活用形そのものを見出しに入れてある。この場合、以下のように品詞の項目には、「動詞」ではなく、「動詞活用形」としてある(例：「ていっぐい」動詞活用形 動詞「ちゅー(投げる、放る)」の連用形および命令形)。
形容詞	形容詞と名詞は形態論上ほとんど区別がないので、便宜的なものである。形容詞として活用する場合は、接尾辞「かい」「かたい」や、否定形「っふぁにゃーん」を用いた例をあげ、名詞として活用する場合は、コピュラ「あい」「あたい」や否定形「あらん」を用いた例をあげるようにした。形容詞の見出し語は語幹で示した。
助詞	下位分類：『格助詞』『副助詞』『焦点助詞』『接続助詞』『終助詞』
副詞	動詞や形容詞を修飾するものは副詞とした。名詞の用法があるものでも「てい(と)」などをつけて主として副詞として用いられるものは副詞としても立項した。
オノマトペ	特に「擬声語、擬態語」などの下位分類はもうけない。
感動詞	下位分類：『間投詞』『応答詞』『フィラー』
補助動詞	主に動詞の連用形に後接し様々な意味を付加する。それ自体も活用する。
接頭辞	動詞、名詞、形容詞の前につき意味を付加する。
接尾辞	動詞、名詞、形容詞の後につき意味を付加する。
助数詞	物などを数える際に用いられる接尾辞。
成句	慣用句や決まり文句など一単語以上の組み合わせ。動詞で終わる成句は動詞の活用形を示した(例：っさ ん ^o ん(m 語幹)「足が痺れる」など)。

8 活用形

8.1 動詞の活用

池間方言における活用語は動(コピュラを含む)及び補助動詞のみである。形容詞自体は活用せず、いわゆる「かり活用」である「かい」をつけて、存在動詞「あい」に準じた活用をするか、「むぬ」をつけ、それに「コピュラ」の「あい」をつけて、活用させる。

動詞・補助動詞は見出しにその活用形タイプを記してある。タイプは「母音活用」「子音活用」「不規則活用」にわかれる。「子音活用」はさらに語幹末に現れる子音の種類により分類される。この分類は便宜的なものであり、必ずしも言語学的に厳密なものではなく、活用のタイプを網羅的にするために採用されている。例えば、w活用は共通語の「買う」の場合は、「買わない(kaw-anai)」のようにwが未然形で現れるためにkaw-を子音語幹として認める根拠となりえるが、池間方言ではwの形が現れることはない。これは母音間でwが脱落するためである。このため、「買わない」にあたる形はka-anになるが、このka-anのanの形は他の子音語幹の動詞と同じであり、子音語幹動詞に延長語幹-aを加えた、いわゆる「未然形」に否定の接辞nをつけた形になっている。以下にみられるように使役形、受け身形などでも、このタイプの動詞はあたかもwがあるかのようにふるまうため、便宜的にw活用として子音活用の一種として扱う。

8.2 動詞の基本的な活用について

「不規則活用」動詞は活用形により語幹が変わる動詞「あす(する)」と「あい(言う、歌う)」「ふー(来る)」の三つを認める。ほかに、コピュラ「あい(だ、である)」と存在動詞「あい(ある)」、「うい(いる)」は否定形にいわゆる補充形(suppletion)を持ち、過去形が他と異なるため、別に説明をした。音韻変化が複雑なため、やや活用形が予測しにくいものに関しては、できるだけ本文に見出し語としてあげ、本文中でも説明を加えた。

8.2.1 動詞活用のパラダイムの説明

池間方言の活用は他の宮古方言に比べると比較的単純で、「未然形」「連用形/命令形」「基本形」が分かれば、活用形式を示すことができる。語幹はこれらの活用形から取り出すことができる。動詞活用の語幹表記は煩雑さを避けるため本文中で使った簡略音声記号を使わず、池間方言を表記するためのローマ字正書法を使っている。この表記に付いてはTakubo(2021)を参照。これはttsなどの重子音表記を避けるためと視認性を高めるためである。また、なるべく混乱が生じない場合はかな表記を用いる(かな表記の方針については田窪(2020)を参照)。8.2節では左の音声記号の代わりに次の表記法を用いる。

[j] > y

[ts] > c

[dz] > z

[i] > I (小文字の i に横線の入ったものを大文字の I でしめす)

[tɕa] > cya

[tɕu] > cyu

長音記号は母音のみ「:」を用いた。

「ん」は視認性を重視して N で表記する。

語幹	語幹は子音語幹と母音語幹に分けた。語幹の名称は便宜的なものであり、音韻規則、音韻形態規則を設定することによりさらに一般化をすることができるが、複雑な規則なしに簡単に実際の活用形が導き出せることを目的とした。詳しくは林 (2009)、下地 (2018) などを参考にされたい。w 語幹は、「うむー」のように、語幹の最終母音が /u/ になる場合は umuw- のように子音語幹としてふるまう場合と、umu:- のように母音語幹としてふるまう場合があるが、それらはここでは明示しなかった。詳しくは Takubo (2021) を参照されたい。ここでは基本的な活用形の作り方だけを述べた。
未然形	母音語幹は語幹と同じ形例：みー (見る)、いび (植える) 子音語幹は語幹に a をつける。例：あいか aik-a (歩く)
連用形	母音語幹は語幹が長母音「いー」i: の場合は語幹と同じ。例：みー 語幹が短母音「い」i の場合は、i をつけて長母音 i: にする。例：いびー
命令形	命令の意味を表し、文終止が可能。 母音語幹：語幹に「る」をつける。例：みーる (見る)、いびる (植える) 子音語幹：語幹に-i をつける。例：あいき aik-i (歩く)
基本形	文の終止形式としても使われるが、名詞修飾形式としても使われ、また様々な語を後続させることもできるため、終止形でなく、基本形とした。基本形は次のように作られる。 母音語幹の基本形は語幹と同じ。 子音語幹の基本形は、語幹末子音の種類によりいくつかのタイプに分類される。

基本形の作り方 子音語幹の基本形は、まず語幹の種類により i をつけるもの、I (= [i]) をつけるもの、u を付けるものにわかれるが、そのあと様々な二次的音韻変化をおこすことがある。

【1】 i をつけるもの [歴史的には舌尖母音だった I (= [i]) が付いて、子音が落ち、それから I (= [i]) が i に変化したと思われる]

-z, -r/-rr, -m/-n → -zi, -ri/-rri, -mi/-ni

(二次的音韻変化-1) zi, ri, rri はその子音が規則的に落ちる

zzi → i 例 : azzi → ai あい (言う、歌う)

zi → i 例 : bizi → bii びー (座る)

ri/rri → i 例 : turi → tui とうい (取る)

mugyarri → mugyai むぎゃい (おなかがごろごろする)

(二次音韻変化-2) mi/ni は i が落ち鼻音が撥音化する

mi/ni → m/n → N (撥音)

例 : yumi → yum → yuN ゆん (読む)

sIni → sIn → sIN すん (死ぬ)

nmi → nm → nN んー (膿む)

【2】 I (= [i]) をつけるもの

-ff, -c/-cc, -s/-ss → ffI, cI/ccI, sI/ssI

aic + I → aicI あいつ (歩く)

nbus + I → nbusI んぶす (蒸す)

cuff + I → cuffI ちゅっふ (作る)

cIcc + I → cIccI つっつ (切る)

ss + I → muss + I むっす (むしる)

(二次的音韻変化) 語幹が二重子音で終わるものはそれを短子音にし母音を長母音化する。「作る」「切る」「むしる」などの二音節以上の動詞は上の単純形とこの二次的音韻変化を経た形の両形が存在する。

ss + I → sI: すー (知る、わかる)

8. 活用形

ff + I → fl: ふー (降る)

cuff + I → cufI: ちゅふー (作る)

cc + I → cI: つー (釣る、切る、切れる)

cIcc + I → cIcI: つつー (切る)

ss + I → musI: むすー (むしる)

【3】 u をつけるもの

-ff, -b, -w, vv → -ffu, -bu, -wu, -vvu

(二次的音韻変化-2)bu, wu, vvu はその子音が落ちる

bu → u 例: ゆらう (呼ぶ)

wu → u 例: かう (買う)

vvu → u → u: 例: うー

8.2.2 活用の表

つぎの活用表には2種類の母音語幹と21種類の子音語幹動詞がまとめられている。母音語幹動詞は語末が短母音 /i/ か長母音 /i:/ によって区別する。子音語幹動詞は語幹の最後の子音によって区別するが、あるものはこの子音自体が変化する(例: k 語幹動詞は「いか」「いきー」「いつ・いふ」つまり k-k-c/f のように子音が変わっている)。また、あるものは連用形と命令形の間で規則的に子音が変わる(例: s/h 語幹は「うたひー (連用形)・うたし (命令形)」のように /h/ 系列と /s/ 系列の子音が使われている)。

		未然形	連用形/命令形	基本形
母音語幹		語幹と同じ	連用形：語幹末が長母音の場合、語幹と同じ、短母音の場合は長母音にする/命令形：語幹に「る」を加える	語幹と同じ
母音語幹	mii- (見る)	みー	みー/みーる	みー
母音語幹	ibi- (植える)	いび	いびー/いびる	いび
子音語幹		語幹 + a	連用形：語幹 + i (i) (長母音 i: が原則であるが短くなることもある)/命令形：語幹 + i	語幹 + {i/I/u}
b 語幹	yurab- (呼ぶ)	ゆらば	ゆらびー/ゆらび	ゆらう
c/cc 語幹	cc- (切る、釣る、着る)	っちや	っちー/っち	っー
cc/tt 語幹	cIcc- (切る)~cItt- (切る)	っっちや	っっちー~っっつてい/っっち~っっつてい	っっつ~っつー
f/ff 語幹	ff- (降る)	っふあ	っふいー/っふい	ふー
f/ff 語幹	cjff- (作る)	ちゅっふあ	ちゅっふいー/ちゅっふい	ちゅっふ~ちゅふー
g 語幹	u:g- (泳ぐ)	うーが	うーぎー/うーぎ	うーず
k 語幹	ik- (行く)	いか	いきー/いき	いつ~いふ
m 語幹	yum- (読む)	ゆま	ゆみー/ゆみ	ゆん
mm 語幹	mm- (膿む、濡れる)	んま	んみー/(んみ)	んー
n 語幹	sIn- (死ぬ)	すな	すにー/(すに)	すん
r/r 語幹	tur- (取る)	とぅら~(とぅら)	とぅりー~(とぅりー)~とぅいー/とぅい	とぅい
r/r 語幹	mugyar- ((水などが)濁る)	むぎやら~むぎやっら	むぎやりー~むぎやっり/むぎやっり	むぎやーい
s 語幹	us- (なくす)	うさ	うしー/うし	うす
s/ss 語幹	ss- (知る、わかる)	っさ	っしー/っし	すー
s/h 語幹	utas- (打たす)	うたは	うたひー/うたし	うたす
c/t 語幹	tac~tat- (立つ)	たちゃ~たた	たていー~たちー/たてい~たち	たつ

8. 活用形

		未然形	連用形/命令形	基本形
zz/dd 語幹	cIzz-~ cIdd- (妨害する)	つっだ~つ っじゃ	つっでい~つっじ- / つっでい~つっじ	つっず~つ ずー
vv 語幹	vv- (売る)	っづあ	っづい- / っづい	うー
w 語幹	kau- (買う)	かー	かい- / かい	かう
z 語幹	biz- (座る)	びじゃ	びじ- / びじ	びー
zz 語幹	azz- (言う、歌う)	あっじゃ	あっじ- / あっじ	あい

8.2.3 使役形、受身・可能形、尊敬形の派生の仕方

使役形 母音語幹の場合：語幹に「っさす」をつける。結果は s/h 語幹の動詞になる。

例：みーっさす mii-ssasI、いびっさす ibi-ssasI

子音語幹の場合：語幹に -asI 「あす」をつける。結果は s/h 語幹の動詞になる。

例：ゆます yum-asI、びじゃす bizy-asI、かわす kaw-asI > かーす ka-asI

受身・可能形 母音語幹の場合：語幹に rai 「らい」をつける。結果は母音語幹の動詞になる。

例：みーらい mii-rai (見られる (受身、可能))、いびらい ibi-rai (植えられる (受身、可能))

子音語幹の場合：語幹に -ai 「あい」を付けて表す。結果は s/h 語幹の動詞になる。

例：ゆまい yum-ai (読まれる、読める)、(かわい kaw-ai >) かーい ka-ai (買われる、買える)

「っそー (拾う)」のように「u:」で終わる動詞の場合は「ua > u: という規則がはたらくため「っそー ssu + あい ai」は「っそーい ssu:i」となる。

尊敬形 母音語幹の場合：語幹に「さまい」を付けて表す。結果は母音語幹の動詞になる。

例：みーさまい mii-samai (ご覧になる)、いびさまい ibi-samai (お植えるになる)

子音語幹の場合：語幹に「あまい」を付けて表す。結果は母音語幹の動詞になる。

例：いかまい ik-amai (いらっしゃる)、ゆまい yum-amai (お読みになる)

8.2.4 それぞれの活用形に続くもの

未然形に続くもの

否定：ん(しない)

母音語幹：みーん、いびん

子音語幹：あいかん、ゆまん

意向形：でい(しよう)

母音語幹：みーでい、いびでい

子音語幹：いかでい、ゆまでい

意志否定：じゃーん(しない(よ))

母音語幹：みーじゃーん、いびじゃーん

子音語幹：いかじゃーん、ゆまじゃーん

否定過去：っだん(しなかった)

母音語幹：みーっだん、いびっだん

子音語幹：いかっだん、ゆまっだん

条件：ば(すれば)

母音語幹：みーば、いびば

子音語幹：いかば、ゆまば

譲歩 1：(否定)+まい(しなくても)

母音語幹：みーんまい、いびんまい

子音語幹：いかんまい、ゆまんまい

譲歩 2：(条件)+ばんまい(しても)

母音語幹：みーばんまい、いびばんまい

子音語幹：いかばんまい、ゆまばんまい

8. 活用形

連用形に続くもの

アスペクト形式など

うい(～ている)、あい(～である)、にゃーん(～てしまう)、すてい(～てしまう)、
うつつ(～ておく)

みー(～てみる)、はっじゃつ(～そこねる)

いつ(～ていく)、ふー(～てくる)、ふいー(～てやる、てくれる)

うとうい(～ながら、ていて)

接続助詞などから (=てから (時間の始点))

いきーから(行ってから)

基本形に続くもの

テンス・モダリティ

たい(過去形)、がまた(べきだ、予定だ)、はず(はずだ、だろう)、など

接続形

そうが(逆接：けれど)、んつきゃ(比較：より)、ぼどう(条件・理由：たら、れば；ので、から)、ていがー(条件：たら、と)、きゃ(～時)、が(目的：に)、っちゃーん(同時進行：ながら)など

複合動詞

ぐり(～にくい)、やす(～やすい)、はっじゃつ(～失敗する)、ほうす(～たい)、
はずみ(～始める)、すきゃき(～始める)、など

終助詞

な(禁止)、な(か、真偽疑問)、が(なの、疑問詞疑問)、どー(よ)、そーで(よ)、
ちゃ(そうだ)、ていんどー(そうだ)、さ(だろう)、など

8.3 不規則動詞

8.3.1 コピュラあい ai (だ、である)

語幹	a~ya, ar, yar あい~やいあら~あ~やら
基本形	あい通常、肯定、文終止の位置では省略される。
過去形	あたい
連用形	(共通語の「で」に当たる活用形はない。「名詞+や ひー」などを用いて表すこともできる 例：くりゃー まさいや ひー くりゃー かに。 「これはマサイで、これはカニだ。」
未然形	あら
否定	あらん 例：あいやあらん。 「そうではない。」
否定過去形	あらっだん 例：うらー あい あらっだん 「それはそうではなかった。」
否定連用形	あらだ 例：くまー がっこー あらだ こーみんかん。 「そこは学校ではなく、公民館だ。」
条件形	やらば 例：ばが どういやらば まいにつ ていんぬ どうー。「私が鳥だったら毎日空を飛ぶ(のに)。」
接続形	やい 普通「やいば(なので)」、「やいそうが(だけど)」、「やらばんまい(であっても)」、「やいていがー(だったら)」などの形をとる。 例：からー つむたみ やいば「かれは冷静な人だから...」 からー つむたみ やいそうが「かれは冷静な人だけれど...」

8. 活用形

8.3.2 存在動詞

	あい(ある)	うい(いる)
基本形	あい	うい
過去形	あたい	うたい
連用形	ありー	うりー
未然形	あら	うら
否定	にやーん	みーん
否定過去形	にやーっだん	みーっだん
否定連用形	にやーだ	みーだ
条件形	あらば	うらば
接続形	あいば(あるので、あるから)、あいそうが(あるけれど)、あらばんまい(あっても)、あいていがー(あったら)など	ういば(いるので)、ういそうが(いるけれど)、うらばんまい(いても)、ういていがー(いたら)など

8.3.3 あす(する)

語幹	as, hu, hii
基本形	あす
過去形	あすたい
連用形	ひー
未然形	ほう
否定	ほうん
否定連用	ほうだ
讓歩	ほうんまい、ほうばんまい
否定過去形	ほうっだん
否定連用形	ほうだ
接続形	あすば(するから)、あっそうが(するけれど)、 あすていがー(すれば)、 ひーから(してから)、 ほうばんまい(しても)、などの形をとる。
命令形	あっそう(しろ)

8.3.4 ふー (来る)

語幹	fu:/ku:/tt
基本形	ふー
連用形	ってい～っち
未然形	くー
否定	くーん
否定連用	くーだ
譲歩	くーばんまい、くーんまい
命令形	くー
過去形	ったい
否定過去形	くーっだん
接続形	ふーば (来るので、来るから)、ふーそうが (来るけれど)、 ふーていがー (来たら)、などの形をとる。

8.4 形容詞の活用

形容詞、「むぬ」などを付け、語幹を名詞扱いしてコピュラの「あい」を付けて活用させる場合と、「かい (r/rr 語幹)」を付けて活用させる場合とがある。ここでは「あつかい (暑い、熱い)」の活用をあげる。

語幹	acIkar-
基本形	あつかい
連用形	あつかりー
未然形	あつから
否定	あつからん
否定連用	あつからだ
譲歩	あつからばんまい、あつからんまい
命令形	無し
過去形	あつかたい
否定過去形	あつからっだん
接続形	あつかいば (暑いので)、あつかいそうが (暑いけど)、 あつかいていがー (暑かったら)、などの形をとる。

9 提題形と目的格形の変化

提題助詞(「あ」a)は接続する名詞の最後の音節のタイプにより次の様に変化をする。

前接名詞の語末音	提題形		
短母音 (a)	(長母音)	さた (砂糖) + あ	さたー (砂糖は)
短母音 (u)	(長母音)	っぞう (魚) + あ	っぞうー (魚は)
長母音	や	きー (木) + あ	きーや (木は)
二重母音		まい (米) + あ	まいや (米は)
子音 + i	やー	あみ (雨) + あ	あみやー (雨は)
		さき (酒) + あ	さきやー (酒は)
す	っさ	かーす (菓子) + あ	かーっさ (菓子は)
つ	っちや	あかつ (血) + あ	あかつちや (血は)
ず	っじゃ	ぶーず (サトウキビ) + あ	ぶーっじゃ (サトウキビは)
ん ¹	んな	みどうん (女性) + あ	みどうんな (女性は)

目的格助詞(「う」u)は接続する名詞の最後の音節のタイプにより次の様に変化をする。

前接名詞の語末音			
短母音 (a)	う	さた (砂糖) + う	さたう (砂糖を)
短母音 (u)	(長母音)	っぞう (魚) + う	っぞうー (魚を) ²
長母音	ゆ	きー (木) + う	きーゆ (木を)
二重母音		まい (米) + う	まいゆ (米を)
子音 + i	ゆー	あみ (雨) + う	あみゆー (雨を)
		さき (酒) + う	さきゆー (酒を)
す	っそう	かーす (菓子) + う	かーっそう (菓子を)
つ	っちゆ	あかつ (血) + う	あかつちゆ (血を)
ず	っじゆ	ぶーず (サトウキビ) + う	ぶーっじゆ (サトウキビを)
ふ	ふー	たうふ (豆腐) + う	たうふー (豆腐を)
	っふ		たうっふ (豆腐を)
ん ^{3 4}	ぬ	みどうん (女性) + う	みどうんぬ (女性を)

¹高齢者 (85 歳以上) では語末の m と n は区別されるため、これらの話者では、im (海)、in (犬) の提題形は、「いんま」imma (海は)、「いんな」inna (犬は) のように区別される。

²-u で終わる名詞(「っぞう」)は提題形と目的格形がおなじになる。

³「ん」は「ぬ」でなく「ゆ」も許される。みどうん + う > みどうんゆ。

⁴提題助詞と同じく高齢者 (85 歳以上) では語末の m と n は区別されるため、これらの話者では、im (海)、

10 アクセント

池間方言は弁別的なアクセントを持ち、3種類のアクセント型(A型、B型、C型)が対立する(Igarashi et al. 2011; 五十嵐他 2012) A型、B型、C型は、琉球祖語に再建されるアクセント類であるA系列、B系列、C系列(松森 2000)におおよそ規則的に対応することから、池間方言は琉球祖語におけるアクセントの区別を比較的忠実に保持しているといえる。その一方で、祖語のA系列に属する2~3モーラ単純名詞の大部分が、池間方言ではB型として反映される(すなわちこの環境でA系列とB系列が合流している)という新しい特質も観察される(五十嵐 2016b)。対立するアクセント型の数は品詞ごとに異なり、名詞と形容詞は3種類、動詞はA型とC型の2種類が対立する(Igarashi et al. 2018)。

池間方言のアクセント型は広範な環境で中和するという特徴がある(五十嵐 2016a, 2016b)。例えば語を単独で発話した場合、2~3モーラ名詞ではA型とB型が中和し、4モーラ以上の単純名詞ではすべての型が中和する。したがって、ある語がどのアクセント型を持つかを判定するためには、分析対象の語を特定のキャリア文に入れる必要がある。どのような環境において中和が生じないのかは完全には解明されていない。しかし(1)のキャリア文を用いると、名詞、動詞、形容詞それぞれのアクセント型の判定が行えることが明らかになっている。本辞書でも(1)のキャリア文を用いることによってアクセント型の同定を行った。(Xは分析対象の名詞、動詞あるいは形容詞を表す。)

(1) キャリア文

- a. 名詞 X まい にゃーん「Xもない」
- b. 動詞 X はず「Xだろう」
- c. 形容詞 X むぬ はず「Xだろう」

(1)のキャリア文に入れられた2~3モーラ語のアクセント型は(2)のように実現する。 (“”と“”はそれぞれピッチの上昇、下降を表す。また太字は高く実現するモーラを表す。)

in(犬)の目的格形は、「いんむ」immu(海を)、「いんぬ」innu(犬を)のように区別される。

(2)

a. 名詞

A	B	C
た ^び まい にゃーん 「旅もない。」	た ^き まい 「にゃーん 「丈もない。」	な ^び まい ^ゝ にゃーん 「鍋もない。」
ぬ ^{るい} まい にゃーん 「呪いもない。」	む ^{ぬい} まい 「にゃーん 「言葉もない。」	う ^{むい} まい ^ゝ にゃーん 「思いもない。」

b. 動詞

A	B	C
た ^つ はず 「焚くだろう。」		た ^つ はず 「立つだろう」
す ^{かす} はず 「耕すだろう。」		す ^{かす} はず 「騙すだろう」

c. 形容詞

A	B	C
あ ^ま むぬ はず 「味が薄いだろう。」	な ^が むぬ はず 「長いだろう。」	し ^ば むぬ ^ゝ はず 「心配だろう。」
き ^{ばす} むぬ はず 「貧乏だろう。」	す ^{だす} むぬ はず 「涼しいだろう。」	が ^{ばー} むぬ ^ゝ はず 「大きいだろう。」

アクセント型は、フレーム文における2番目・3番目の2モーラ以上の形態素の高さに基づいて決定される。双方ともが高くないものがA型であり、2番目が低く3番目が高いものがB型であり、2番目が高く3番目が低いものがC型である。

池間方言には1モーラの自由形式は存在せず、4モーラ以上の語の多くは複合語である。複合語と単純語とでは、たとえ同じアクセント型であっても、その実現が異なる。また、ある型を持つ単純語の実現が、別の型を持つ複合語の実現と表面上類似することがある(五十嵐 2016b)。例えば、単純語「な^びゃーら(へちま)」はC型であるが(な^びゃーら 「まい^ゝ にゃーん)、「むず(麦)」と「ぐる(枯れた茎)」からなる複合語「む^ず+ぐる(麦の茎)」はB型である(む^ず+ぐる 「まい^ゝ にゃーん)。さらに、同じアクセント型を有する複合語であっても形態素境界の位置が異なると、アクセント型の実現が異なる。たとえば「みーか(三日)」と「ない(成り)」からなる「みーか^ゝ+ない(一昨日)」と「みー(目)」と「かない(敵い)」からなる「みー^ゝ+かない(目の良い人)」は同じくB型であるが、複合語内部のピッチ下降位置が異なる。

本辞書は、当該の語がどのアクセント型に属するかをA(A型)、B(B型)、C(C型)のA

ルファベットで表記する方法を用いる。この方法を採用した上で、4モーラ以上の語のアクセント型について十分な情報を記載するには、A, B, Cのアルファベットに加えて、問題の語が複合語か単純語かを示す必要がある。また、同じく複合語であってもアクセント型の実現は形態素境界によって異なるため、複合語には形態素境界情報も付与する必要がある。しかしながら、ある語が複合語か単純語かを包括的に判断できる方法が見つからないため、これらの情報を網羅的に与えることができない。したがって、語の長さや形態論的構造に拘わらずアクセント型に関する情報を統一的に与えるためには、A, B, Cのアルファベット表記法を排して、“^ˈ”や“^ˉ”といった記号を用いて表層のピッチパターンを表記する方法が最も有益であると考えられるが、それは紙面の都合上不可能である。

以上の理由から、本辞書は2モーラ・3モーラの名詞、動詞、形容詞について、A, B, Cのアルファベット表記法を用いてアクセント型の情報を記載した。その他の品詞に関しては、アクセント型の調査方法自体が確立していないため、アクセント型の情報は与えられていない。

3モーラの名詞、形容詞の中には、上記のA, B, Cの型に収まらないものが16語見つかっている。本辞書ではそれを「B特殊」「C特殊」と名付け表記している(3)。

(3) B特殊とC特殊

B特殊

ほう^ˈな^ˉん まい ^ˈにやーん

「大波もない。」

C特殊

ほう^ˈず^ˉむ ^ˈまい ^ˉにやーん

「広い心もない。」

B特殊に属するのは「ほうなん(大波)」、「ほうんつ(大通り)」の2語、C特殊に属するのは「はーか(赤毛の人)」、「はーな(大きい穴)」、「はーぶ(大きな洞窟)」、「ほうーちゃ(大口をたたく人)」、「ほうーつ(伝染病の1種)」、「ほうがら(大柄な)」、「ほうぎゃん(高粱)」、「ほうずむ(広い心)」、「ほうだに(大きな鞆丸)」、「ほうとうー(大海)」、「ほうどうー(立派な体格)」、「ほうどうー(リーフの名前)」、「ほうぶに(大きな骨)」、「ほうむず(大麦)」の14語であり、そのほとんどすべてが語源的に接頭辞「ほう(大きい)」を含む語である。(アクセント 文責 五十嵐陽介)

参考文献

- 五十嵐陽介、田窪行則、林由華、ペラール・トマ、久保智之(2012)「琉球宮古語池間方言のアクセント体系は三型であって二型ではない」『音声研究』16(1), 134-148.
- 五十嵐陽介(2016a)「南琉球宮古語池間方言・多良間方言の韻律構造」『言語研究』150, 33-57.

- 五十嵐陽介 (2016b) 「名詞の意味が関わるアクセントの合流：南琉球宮古語池間方言の事例」『音声研究』20(3), 46-65.
- 上地徳男 (2021) 『佐良浜方言語彙辞典』ボーダーインク.
- 内間直仁、野原三義 (2006) 『沖縄語辞典』研究社.
- 国立国語研究所 (2001) 『沖縄語辞典』国立国語研究所.
- 下地賀代子 (2017) 『たらまふつ辞典』多良間村教育委員会
- 下地理則 (2018) 『南琉球宮古語伊良部島方言』くろしお出版
- 富浜定吉 (2013) 『伊良部方言辞典』沖縄タイムス社.
- 田窪行則 (2020) 「方言を仮名で書く—琉球宮古語池間方言を例に」『ことばと文字』13号, 102-110, 公益財団法人日本語のローマ字社.
- 渡久山春英、セリック・ケナン (2020) 『南琉球宮古多良間方言辞典』国立国語研究所.
- 林由華 (2009) 「琉球語宮古池間方言の談話資料」大西正幸・稲垣和也 (編) 『地球研言語記述論集1』総合地球環境学研究所インダスプロジェクト, 153-199.
- 松森晶子 (2000) 「琉球アクセント調査のための類別語彙の開発—沖永良部島の調査から」『音声研究』4(1), 61-71.
- Igarashi, Yosuke, Yukinori Takubo, Yuka Hayashi, and Tomoyuki Kubo (2011) How many tonal contrasts in Ikema Ryukyuan?. *Proceedings of the 17th International Congress of Phonetic Sciences*, 930-933.
- Igarashi, Yosuke, Yukinori Takubo, Yuka Hayashi, and Tomoyuki Kubo (2018) Tonal neutralization in the Ikema dialect of Miyako Ryukyuan. In: Haruo Kubozono and Mikio Giriko (eds.) *Tonal Change and Neutralization*, 81-128, Berlin: Mouton De Gruyter.
- Takubo, Yukinori (2021) Morphophonemics of Ikema Miyakoan. In: John Kupchik, José Andrés Alonso de la Fuente, and Marc Miyake eds. *Studies in Asian Historical Linguistics, Philology, and Beyond*, 65-79, Leiden: Brill.

目次

謝辞	i
まえがき	iii
序	v
凡例	vii
1 見出し語	vii
2 表記・表示	vii
3 音節表	vii
4 見出し語の配列	x
5 語義	xi
6 用例	xiii
7 品詞	xiv
8 活用形	xv
8.1 動詞の活用	xv
8.2 動詞の基本的な活用について	xv
8.3 不規則動詞	xxiii
8.4 形容詞の活用	xxv
9 提題形と目的格形の変化	xxvi
10 アクセント	xxvii
あ	1
い	49
う	71
え	105
お	107
か	109
き	145
く	153

目次

け	165
こ	167
さ	169
し	183
す	193
せ	215
そ	217
た	229
ち	251
つ	257
て	289
と	299
な	315
に	337
ぬ	345
ね	353
は	355
ひ	391
ふ	417
へ	447
ほ	449
ま	461
み	485
む	503
も	519
や	521
ゆ	539
よ	557
ら	559
り	561
ろ	563
わ	565
ん	569

逆引き 595
著者略歴 671

あ

あ [a] 【助詞】 提題を表す、「は」。提題を表す「あ」はつく語の最後の音に従って形が変わる (1) a で終わる語のあとでは、aa になる 例：っふあ (子供) + あ = っふあー (子供は) (2) u で終わる語のあとでは u+a = uu になる。例：っぞう (魚) + あ = っぞうー (魚は) (3) i で終わる語の後では i+a=jaa になる。例：さき (酒) + あ = さきゃー (4) 二重母音、長母音で終わる語の後では ja になる。例：まい (米) + あ = まいや (米は)。 (5) 子音+ で終わる語の後では、子音を「っ」を入れて促音にしてから「あ」をつける。例 どうず (dus、友達) + あ = どうっさ (どもだちは)。 (6) 「ん」で終わる後のあとでは、「んな」になる。例 みどうん (miduN、女性) + : みどうんな (女性は)。 (6) n で終わる名詞は、nn にして「あ」をつける。例：いん (海、犬) + あ = いんな (海は)。 【例】 あちゃー かでいふっちゃ (明日は台風だそうだ)。 あいっぞうー あうさりむぬ (アイゴは生臭い)。 うぬ さきゃー んめ あぱりー ぬまいん (その酒はもうアルコール分が抜けていて飲めない)。 きゆ

ーや やぐみ あうひぐるむぬ (今日はとても肌寒い)。 あかいらうっちゃ びゅーい むぬまいどう あい (アカイラウツは毒のあるものもある)。 かぬみどうんな あてい あばらぎかい ばならん (あの女性は余りにも美しい)。 [変異] や。

あ [a] 【助詞】 目的語を表す (「う」に対して、第二目的格ともよばれる)、「を」。提題を表す「あ」と同じ変化をする。 【例】 さきゃー ぬみー みはなー あかたん なるー (酒を飲んで顔が赤くなった)。 じかんな あーひー っさらんかい いかでい (時間を合わせて平良に行こう)。 [変異] や。 [類] う。

あー [a:] 【名詞】 [B] 粟。 【例】 あーだーら (粟俵)。 あーぬ っさ とうい (粟の下の草取り)。 んきゃーんな あーひーどう じゃうなうゆ うさみゆーたい ちゃ (昔は粟で税金を納めていたそうだ)。

あーき [a:ki] 【感動詞】 困ったなあ。 【例】 あーき、でいんぬどう ぼっしー っていにゃーん (困ったなあ お金を忘れて来ちゃった)。

あーぎ [a:gi] 【名詞】[A] 上、高い方；上座；上級。【例】ほうんぬぎゃー つくいぬ あーぎん うっき（本は机の上におけ）。たむぬーぎゃー かなまいぬ あーぎん ぬーひー かみる（薪を頭の上にのせろ）。つづあが かないまいぬ あーぎんな かじゃんぬ とびゅー（お前の頭の上に蚊が飛んでいる）。まさいが やーや ばが やーぬ あーぎなぎんどう あい（マサイの家はうちの家の北の方にある [上手の高い後ろの方が北に当たることが普通である]）。かじゃー きーぬ あーぎんどう ふつ（風は木の上に吹く [= 波風は最高責任者に吹く（当たる）]）。そうじゃっそうー あーぎんかい いかまてい（先輩達は上座に行ってください）。あーぎぬ がっこー（高校以上の上級学校 [昔は旧制中学、旧制高校、大学のことを指した]）。んきゃーんな きばんかいていがー うむくとう あらばんまい あーぎぬ がっこうんかいや いかはいっだん（むかしは貧乏だったら能力があっても上級学校には進学させられなかった）。[類] あーび、わーぎ、わーび、わーら。

あーきどうーき [a:kidu:ki] 【成句】開けっ放し。【例】かまぬ やーや いつまい あーきどうーき（向こうの家はいつも開けっ放しだ）。あーきどうーき やー（戸の開けっ放しの家）。

あーぐ [a:gu] 【名詞】[C] 歌。【例】あーぐー あい（歌を歌う）。かりゃー

さぐー いらー あーぐー あっじゅー（彼は彼独特の歌い方で歌をうたっている）。

あーぐしや [a:guʃa] 【名詞】歌の上手い人、御嶽で祈願専任役の人。

あーさ [a:sa] 【名詞】[C] 『食』あおさ [岩に付着する食用の海藻]。【例】あーさう とうい（あおさを取る）。ほうらばまんきー あーさ かつが（大浦湾にあおさをむしり取りに（行く））。かーき あーさう むっす（乾いたあおさをむしり取る）。

あーす [a:si] ① 【動詞】[s/h 語幹] [A]（時間、性格などを）合わせる、重ねる；重ね着する。【例】じかんな あーひー っさらんかい いかでい（時間を合わせて平良に行こう）。にんぎんぬ とうずぶとうー うむくとう あい ひとうぬどう ほうりむぬんかい あーすばどう じゃうかい（人間の夫婦は頭の良い人が馬鹿者に合わせる方が良い）。うぬきゃが ふたーいや あーはいん（その二人は合わせられない）。やりずんぬ あーひー かうー（古着を重ねて掛布団にする [＜重ねて被る]）。② 【動詞】[s/h 語幹] [A] 乗せる。【例】つづあが くるまんかい くるー あーし（お前の車にこれを載せろ）。ぬーまんな ぐずき ばかーいどう あーはい（馬には50斤 [= 30キロ] ぐらいが乗せられる）。[類] ぬーす。

あーす [a:si] 【動詞】[s/h 語幹] [A] 押

しだす、しぼり出す、(膿やニキビなどを) つぶしてだす。【例】つーゆ あーす (母乳を出す)。んつんぬ あーす (ニキビを潰す)。ほうがさー んみーど ーば んーくー あーし (おできは赤く化膿しているので膿を出せ)。

あーつ [a:tsi] ①【動詞】[k 語幹] [A] (しまったものが) 開く。【例】やど ぬ あーつ (戸が開く)。くびんぬ ふたー あーかん (瓶の栓が抜けない)。みーぶたいかいば みーや あーかい ん (まぶしくて目が開かない)。[変異] あーふ。[類] あつ、あふ。②【動詞】[k 語幹] [A] (しまったものを) 開ける。【例】やど ー あーつ (戸を開ける)。くびんぬ ふたう あーつ (瓶の栓を抜く)。みーゆ あーつ (目を開ける)。ふっちゆぎやー あーかだうり (口を開けるな [>いらないことをしゃべるな])。[変異] あーふ。[類] あつ、あふ。

あーったつばう [a:ttsibau] ①【名詞】粟の収穫時期に粟の実を取るために粟を叩く棒。【例】あーったつばうひー あーゆ ったつ (粟叩く棒で粟を叩く)。②【名詞】柔道の背負い投げ [棒を振り回すことと柔道の背負い投げが似ていることからそう言われている]。

あーつな [a:tsina] ①【形容詞】何をするか分からない、乱暴な、突拍子もない。【例】からー あーつなんまりむぬ やいば、なうゆ あすががら っさいん (彼は突拍子もないやつなので、な

にをするか分からない)。からー いつまい あーつなかいばならん (彼はいつもなにをしだすかわからない)。[類] あじゃーな。②【名詞】何をするか分からない人、乱暴な人、突拍子もない人。

あーなか [a:naka] 【名詞】粟畑。【例】ばー あーなかう まーりー みーくー ーでい (私は粟畑を見て回ってこよう)。ばー あーなかー むちや うらん (私は粟畑は持っていない)。

あーぬい [a:nui] 【名詞】粟のおにぎり。【例】あーぬいゆ ふあう (粟のおにぎりを食べる)。

あーぬいや ばりーどう [a:nuija bari:du] 【成句】瓜二つ。【例】うぬきやが っざっふあー あーぬいや ちゃらていー ばりーどう (彼ら父子は (粟のお握りをまっぶたつに割ったように) 瓜二つだ)。

あーぬうはつ [a:nuuhatsi] 【名詞】粟の初もの [お供えに使う]。【例】あーぬうはっちゆ かんかい うさぎでい (粟の初物を神様にお供えしよう)。

あーはな [a:hana] 【名詞】上の方、表面。【例】つくえぬ あーはなう とうみーみーる (机の上を探してみろ)。みずぬ あーはなん っさぬどう ゆりゆー。(水の上に草が揺れている)。あーはなう みーる (上側をみなさい)。ゆーいぬ すきむぬぬ あーはなう とういー かんかい すきー (お祝い

の供え物の上（の方の一部）を取って
神に供える）。[類] はな。

あーばん [a:ban] 【名詞】「名詞＋ {～ぬ・が}」や「節＋ぬ」の後ろについて「～だけでなくその他に、～の上に」を表す。【例】りよこーぬ あーばん でいんまい っじたい（旅行をさせてもらった上に金も貰った）。りよこーんかい いきぬ あーばん でいんまい は一さ っじたい（旅行に行った上に、お金もたくさんもらった [＞行かせてもらった]）。ういが あーばん（それ以外に、その上に）。[変異] わーばん。

あーび [a:bi] 【名詞】[A] 上、高い方；上座；上級。[変異] わーび。[類] あーぎ。

あーび [a:bi] 【名詞】[C] 《貝》アワビ。
【例】あーびぬ からひーどう ぶーゆぎゃー そー（アワビの殻で芋麻の皮を削ぐ）。

あーびゅーい [a:bjui] 【名詞】大祭事日和、大日取り、仲間御嶽で行われる収穫感謝祭で神酒が振舞われる。[類] ほうっびゅーい、かんびゅーい。

あーふ [a:fu] ① 【動詞】[k 語幹] [A]（しまったものが）開く。[変異] あーつ。② 【動詞】[k 語幹] [A]（しまったものを）開ける。[変異] あーつ。

あーぶ [a:bu] 【名詞】[A] 穴、洞窟。
【例】やらびんみゃー あーぶぬ なかん かつふゅーたい（子供たちは洞

窟の中に入って隠れていた）。[類] はーぶ。

あーぶ [a:bu] 【名詞】[B] 洞窟。[変異] あぶ。

あーらうんーた [a:raun:ta] 【名詞】
《植》ヒメクマヤナギ。

あーらうんーたぎー [a:raun:tagi:] 【名詞】《植》ヒメクマヤナギの木。

あい [ai] 【動詞】[不規則動詞] [A] コピュラ「だ、である」の終止形。過去形は「あたい」、連用形はなく、代わりに「名詞＋や ひー」などを用いる。否定形は「あらん」、否定過去形は「あらっだん」、否定連用形は「あらだ」。通常、肯定、文終止の位置では省略される。接続形 ～ば、～そうが、未然形＋ばんまい、などでは「やいば」「やいそうが」「やらばんまい」の形をとる。

あい [ai] 【指示詞】《指示副詞》そのように、そう；そうだ；「あいぬ」の形で、「そのような、そんな」。【例】あいや あらん（そうではない）。A: うらー あいな？ B: んーでい あいだら（A: それってそうなの？ B: そう、そうなんだよ）。うりゅーぎゃー あいや ほうん（それはそうはしない）。うりゅーぎゃー あいや あっじゃん（それはそうは言わない）。あい、あいていぬ くとうだら（そう、そういうわけなんだよ）。あいはず（そのはずだ [＜そ

うであるはず]）。あいぬ むぬー にやーん (そんなものはない)。あいぬがら っさいん (そうかも知れない)。あいどう あたい (そうだった)。あいどう うむー (そう思う)。あいちゃ (そのはずだ)。あいだら (そうだよ)。

あい [ai] 【形容詞】 [A] (人に対して) 付きまとう、じゃれつく。【例】かりやー ばぬんかいどう うんそうく あいかい (彼は私につきまとっている)。
[類] あり。

あい [ai] 【名詞】 [B] 〔植〕藍。【例】みやこじょーふーぎやー あいひどう そうみー (宮古上布は藍で染める)。

あい [ai] 【名詞】 [B] 〔魚〕アイゴ。【例】あいや さすどうす (アイゴは(毒針があつて)刺す)。
[類] あいっぞう。

あい [ai] 【動詞】 [母音語幹] [C] 和える。【例】あい じゅー (和えた野菜)。んーぎーぬ はーゆ あいー まくぶなますていー ふあう (芋の葉をあえてブダイの刺身として食べる)。

あい あっそう [ai assu] 【成句】 そうしなさい。【例】しーしーが あすがにやーん あい あっそう (先生がやる通り、そうしなさい [>やる通りにやりなさい])。[変異] あいっそう、あやっそう。

あい あらだ [ai arada] 【成句】 そうではなくて、逆に。【例】うぬ くとうー あいや あらだ じょ かい

ほうでい (そのことはそうじゃなくて、こうしよう)。うらー あい あらだ、かいぬ くとうちや (それはそうではなくて、こうらしい)。
[類] かい あらだ。

あい あり [ai ari] 【成句】 すこしして、すこし時間がたってから；目的地まで行くのにすこし時間がかかる。【例】あいや ありどう かでいふつぬ かいすかじゃー ふつ (すこし間があつてから台風の返しの風は吹く)。きゅーや あみ やいば すかまうぎやー あい ありーからどう すきやきでい (今日は雨だから仕事をもう少ししてから始めよう)。っさらんかいや あい ありどう いきゅーたい (平良に行くのはある程度時間がかかった)。いきまたーひや ふにひー あい ありどう いかいー (池間までは舟である程度時間をかけないと行けない [<ある程度時間をかけて (はじめて) いける])。

あい [ai] ① 【動詞】 [不規則動詞] [C] 存在動詞、「ある」。「あい」は、本来連体形であるが、焦点助詞「どう」がある文では終止形として使われる。焦点助詞がない文では普通「あり」が終止形として使われる。過去形は「あたい」、否定形は「にやーん」。【例】あかい らうっちゃ びゅーい むぬまいどう あい (アカイラウツは毒のあるものもある)。うたきんな かうるぬどう あい (ウタキには香炉がある)。かぬき

やが まいんどう んまむぬぬ あい
 (あの人たちの所にご馳走がある)。**[類]**
 あり。②【補助動詞】[不規則動詞](連
 用形について)ある状態になっている
 ことを示す「～てある、～た」[共通語の
 「てある」と違い、意志的な動作でなく
 ても使え、「前もって準備のために～し
 てある」という意味はない]。【例】きー
 ゆ たうひーあい(木をたおしてある)。
 やーんかい ばーっしゃー むぬー
 とういが いつ(家に忘れ物を取りに
 行く[ばっしゃー=ばっし+あい])。う
 らー ばが っちゃーい っぞう(こ
 れは私が釣った魚だ[っちー+あい=
 っちゃーい])。やーぬ かぎゃー ん
 じゃんかい うきゃーががら むいと
 う とうみらいん(家の鍵はどこに置
 いたのか全然見つからない[うきゃー
 =うき+あい])。きゅーや うまんか
 い っちゃー かいや ありーどうー
 (ここに来たかいがある[っちゃー=
 ってい(来る)+あい])。

あい [ai] ①【動詞】[r/rr 語幹] [C] (人
 が)あばれる。【例】やらびんみゃー
 やーぬ なかん ありーどうー(子
 供たちは家の中で暴れまわっている)。
[類]あり。②【動詞】[r/rr 語幹] [C] (生
 き物が)餌を求めて激しく集まる。【例】
 うぬ っぞうー うぬ びじゅんかい
 どう うんそうく あい(この魚はこ
 の餌にとってもあばれる[>良くくいつ
 く])。びーやぬどう っさりむぬんか
 い ありゅー(ゴキブリが腐ったもの

に集まっている)。くぬいぬ やらびん
 みゃー あかばたういんかいや あら
 ん(最近の子供たちはスイカには集ま
 らない)。**[類]**あり。③【動詞】[r/rr 語
 幹] [C] (海などが)荒れる。【例】きゅ
 ーぬ いんな ありーどうー(今日の
 海は荒れている)。**[類]**あり。

あい [ai] ④【動詞】[zz 語幹] [A] 言う
 [否定形:あっじゃん、連用形:あっじ、
 命令形:あっじ、過去形:あいたい]。
 【例】ばが なーゆぎゃー まさいてい
 どう あい(私の名前はマサイと言
 います)。っづあー んなまー なうてい
 どう あいたいが(あなたは今何と言
 ったのですか)。っづあー んなまー
 なうががら あいたいな(あなたは今
 何か言ったのですか)。ばが あいがに
 ゃーん あっじ(私の言うとおりに言
 いなさい)。っづあが なーや あいぐ
 りかいば なん(あなたの名前はと
 ても言いにくい[>発音しにくい])。っ
 づあが あっじゅーが にゃーん(君
 の言う通りだ)。むぬいゆ あい(もの
 を言う)。**[変異]**あっじ。⑤【動詞】[zz
 語幹] [A] (歌を)歌う[否定形:あっ
 じゃん、連用形:あっじ、命令形:あっ
 じ、過去形:あいたい]。【例】さちこ
 ー あーぐー あい むぬぬどう う
 むっし(さちこは歌を歌うのが好きで
 す)。っづあが んぬ あっじゅーた
 い あーぐーぎゃー なうていどう
 あい(あなたが昨日歌っていた歌は何
 といいいますか)。

あいあす かいあす [aiasi ka-iasi] 【成句】あれこれすること。〔変異〕あやす かやす。

あいえいそうが [aieisuga] 【接続詞】でも、しかし、そうだけれども。【例】あいえいそうが ばー ほうじゃーん（それはそうだけど、おれはやらない）。〔変異〕あいやいそうが、あいやそうが。

あいえていがー [aietiga:] 【接続詞】そうだったら、それじゃあ。【例】A: あちゃー かでいふつちや。 B: あいえていがー あちゃー いきまーいかいん（A: 明日は台風だってさ。B: だったら明日は池間に行けない）。あいえていがー ばー いかじゃーん（そうだったら私は行かない）。〔変異〕あいやていがー、やいていがー、やていがー、えていがー。

あいかい [aikai] 【副詞】あれこれ、あれこれと。【例】あいかいぬ はなっそう あすたい（いろんな話をした）。からー ばが すかまう なうゆまい あいかい かしーや ひーふいーたい（彼は私の仕事をなんでもあれこれ手伝ってくれた）。

あいがにやーん [aiganja:n] 【成句】（～の）言うとおりの。【例】ばが あいがにやーん あっじ（私の言うとおりの言いなさい）。かいが あいがにやーん あい あっそう（あの人の言うとおりのやりなさい）。つづあが あいがにや

ーん むぬいぼどう ばいかい（あなたの言うとおりの話したら（事態は）悪くなるばかりだ）。

あいぎだうり [aigidauri] 【感動詞】『応答詞』そうらしい。【例】A: からーやみーどうーちゃ B: あいぎだうり（A: あいつは病気だって B: そうらしいね）。

あいくとう にやーんくとう [aikutu nja:ŋkutu] 【成句】あることないこと。【例】かりやー あいくとう にやーんくとうー なうまい んなない むぬっじゅーたい（あいつはあることないことを何もかも全て話した）。

あいたー [aita:] 【名詞】ハンセン氏病患者の蔑称、ライ病患者。〔類〕くんきや、くんちや。

あいだーだら [aida:dara] 【感動詞】『応答詞』そうだ、そうなんだよ。【例】あいだーだら、つづあが あっじゅーが にやーん（そうなんだよ、あなたの言っている通りだよ）。〔類〕あいだら。

あいだい [aidai] 【名詞】食べかすが散らかっている様子、またその性質、散らかったもの、穀物の種で使えないくず種。〔変異〕あいだり。

あいだら [aidara] 【感動詞】『応答詞』そうだ、そうなんだよ。【例】あいだら、つづあが あっじゅーが にやー

ん（そうなんだよ、あなたの言っている通りだよ）。[類] あいだーだら。

あいだり [aidari] 【名詞】食べかすが散らかっている様子、またその性質、散らかったもの、穀物の種で使えないくず種。【例】やらびんみんみぬ むぬー ふあいぬ あとうー やぐみ あいだりどう あたい（子供たちが食事したあとは（食べかすで）とても散らかっていた）。むぬーふあいぬ あとうぬ あいだりゆーぎゃー とうい（食べた後の食べかすを取りなさい）。あいだりぬ すきゃーりゆーい（食べかすなど（米粒など食べた時にこぼれたもの）が散らかっている）。[変異] あいだい。[類] くず、あいだりくず、あいだいくず。

あいだりくず [aidarikuzi] 【名詞】食べかすが散らかっている様子、またその性質、散らかったもの、穀物の種で使えないくず種。[変異] ありだいくず。[類] くず、あいだり、あいだい。

あいちゃ [aitɕa] 【感動詞】『応答詞』そうだって（さ）、だそうだ（よ）。【例】あいちゃ。かいが あすがにゃーん あっそう（だってさ。あいつのやる通りにやってよ）。

あいつ [aitsi] 【動詞】[k 語幹] [C] 歩く；（学校や会社に）通う；走る。[変異] あいふ。

あいつー [aitsi:] 【動詞】[cc/tt 語幹] 言い込める、詰（なじ）る、非難する。

【例】あいや ひとつーぎゃー あいっちゃん（そんなに他人を罵らない [> 罵ってはいけない]）。[変異] あいっつ。[類] あいっち。

あいつそう [aissu] 【成句】 そうしなさい。 [変異] あい あっそう。

あいつぞう [aizzu] 【名詞】『魚』アイゴ。【例】あいつぞうー ばかばいむぬ（アイゴは（食べると）吹き出物が出る）。あいつぞうぬ つーずんな ささいな（アイゴの刺には刺されるな）。[類] あい。

あいつち [aittɕi] 【動詞】[母音語幹] 言い込める、詰（なじ）る、非難する。【例】かりゆーぎゃー ちゅーく あいつちたい（あいつを強く非難した）。[変異] あいってい。[類] あいっつ。

あいつつ [aittsi] 【動詞】[cc/tt 語幹] 言い込める、詰（なじ）る、非難する。【例】ひとつーぎゃー まーぬ あいっちゃん（他人をあまり非難するな）。かいいん あいつちゃいー ばー かさますかいは ならっだん（あいつになじられて私は悔しくて仕方がなかった）。かさますかいは たやん あいつちーすている（悔しいから強く言い返してやれ）。[変異] あいつー。[類] あいっち。

あいつてい [aitti] 【動詞】[母音語幹] 言い込める、詰（なじ）る、非難する。 [変異] あいっち。

あいつびやー [aitsibja:] ①【名詞】歩く速度が速いこと。【例】あいつびやー ひとつぬ あとうー うーいん (歩くのが早い人の後はついていけない)。
②【名詞】赤ちゃんの歩き始めが早いこと。【例】ばんたが みどうんつうあー むいとう あいつびやー あたい (私たちの娘は、歩き始めるのがとても早かった)。

あいつんつ [aitsintsi] ①【名詞】いつも行き慣れた道。【例】うまぬどう ふくやまんかいぬ あいつんつ (これが福山へ行くいつもの道だ)。
②【名詞】目的地までの途中。【例】どうーや ぶらんかいぬ あいつんつん っていー どうー (私たちは保良に行く道の中間ぐらいに来ている)。はいんかいぬ あいつんつん どうすん いじやうたい (畑に行く途中で友達に会った)。

あいでい [aidi] ①【名詞】[C] 少しずつ大切に食べること、少しずつでもたくさんご飯が食べられるおかず、またその性質。【例】むぬーぎやー あいでいがまーひー ふあい (ご飯は(おかずと)すこしずつ合わせて食べなさい [>少量のおかずを大切にしながら少しずつ食べる])。[類] かていー、かてい。
②【形容詞】[C] 食べでがある; 少量でたくさんご飯が食べられる [おかずに使う]。【例】つうあから かうたい わーや やぐみ あいでいむぬ あたい (あなたから買った豚はとても食べでがあった)。やぐみ あいでい わー (見

かけよりも多い豚肉)。ういがどう あいでいかい (これがたくさんご飯が食べられる(おかずだ))。

あいていー [aiti:] 【感動詞】『応答詞』 そうなんだ、(語尾を上げて) そうなの。
【例】あいていー (そうなんだ)。あいていーだ (そう言うことらしい)。あいていーちゃ (そうだそうだよ)。

あいていぬ くとう [aitinu kutu] 【感動詞】『応答詞』 そういうことだ。【例】あい、あいていぬ くとうだら (そう、そういうことなんだよ)。

あいていぬ むぬ [aitinu munu] 【感動詞】『応答詞』 そういうことだ。
【例】うりやー あいていぬ むぬ (それは、そういうことなんだよ)。

あいていんどー [aitindo:] 【感動詞】『応答詞』 そうらしい、そうだそうだ。【例】A: まさいや みがとうどう あらういだすたいな B: あいていんどー (A: マサイはミガと婚約したのかい。B: そうらしいよ)。

あいていぬがら [aitinnugara] 【感動詞】『応答詞』 そうかも(しれない)。【例】A: まさいや みがうどう とうずあすがまたびやーい。B: あいていぬがら (A: マサイはミガを嫁さんにするのかね。B: そうかも(しれない)ね)。[類] あいていぬむがら。

あいていんむがら [aitimmugara]

【感動詞】『応答詞』 そうかも（しれない）。【例】A: まさいや みがうどう
とうずあすがまたびゃーい。 B: あ
いていんむがら (A: マサイはミガを嫁
さんにするのかね B: そうかもしれな
い)。[類] あいていんぬがら。

あいな [aina] 【感動詞】『応答詞』 そう

なの、そうか。【例】A: まさいや み
がうどう とうずあすがまたびゃーい
B: あいな、あいどう あたいな (A:
マサイはミガを嫁さんにするのかね。B:
そうか、そうだったのか)。

あいぬ [ainu] 【連体詞】 こんな、そん

な、あんな。【例】あいぬ むぬ（{こ
んな、そんな、あんな} もの）。あいぬ
んまり（{こんな、そんな、あんな}
奴）。あい かいぬ ばーだら（そう言
う訳だよ）。ばー んめ ふたかいまて
いや あいぬ くとうーぎゃー ほう
じゃーんば たんでいやらー ゆらひ
ー ふいーさまてい（私はもう二度と
そんなことはしないのでお願いですか
ら許してください）。

あいぬ かいぬ [ainu kainu] 【成

句】 それくらいのこと、あんなこと
も そんなことも。【例】ばー あい
ぬ かいぬ くとうがまうまい っさ
っだん（私はそれくらいのこと知ら
なかった）。ばぬんな あいぬ かいぬ
むぬまい とうみらいん（わたしに
はそれくらいのもものも見つけられない

(よ))。

あいぬ ばー [ainu ba:] 【成句】 そ

う言うわけ、こんな理由。【例】つづ
あが あっじゅーくとうー あいぬ
ばーだら（あなたが言っていることは
（結局）そう言うことなんだよ）。あいぬ
ばーやひどう ばぬんな がっこー
や いかいっだん（そう言うわけで私
には学校に行けなかった）。また あい
ぬ ばー（へー、そうなのか [応答詞と
して使われる]）。[類] かいぬ ばー。

あいぬむぬ かいぬむぬ

[ainumunu kainumunu] 【成句】 あんな
もの、こんなもの。【例】あいぬむぬ
かいぬむぬ むちーふーな（こんな
もの持ってくるな）。

あいば [aiba] 【感動詞】 そうなんだ。

[変異] あいびゃ。

あいはず [aihazi] 【感動詞】『応答詞』

そうだろう、そのはずだ。【例】A: ま
さいや っていーどうーな B: あいは
ず (A: マサイは来たの。B: そのはずだ)。
あちゃー あみびゃーいー。あいはず
（明日は雨だろうね。だろうね）。[類] か
いはず。

あいひー [aihi:] 【接続詞】 そうする

ことで、そのあとで、そして。【例】き
ゅーや すとうむてい ひゃーひん
うきー、あしゃー ふあいー、あいひー
いんかい いつたい（今日は朝早く
起きて、朝ご飯を食べて、そして漁にで

かけた)。でいんな は一さ まうきー
あいひー ふにまい かうたい (金
を儲けて、それで船まで買った)。[変
異] あやひー。[類] かいひー。

あいびや [aibja] 【感動詞】 そうなん
だ。【例】 あいびや、ばー なうちゆん
ま っさだんさー (そうなんだ。私は
全然知らなかったよ)。[変異] あいば。

あいびやーん [aibja:n] 【成句】 そう
かな、そうだろうな [自分の考えを疑
っているとき、相手の言うことを疑っ
ているときの両方使える]。【例】 か
らー かい あっじゅーそうが、あい
びやーん (あいつはそういつているが、
そうなのかな)。うらー さにんな。あ
いびやーん (これは月桃かな。ちがう
かも)。[類] かいびやーん。

あいふ [aifu] 【動詞】 [k 語幹] [C] 歩
く；(学校や会社に) 通う；走る。【例】
はいぬ あっじやう あいふ (畑の端
を歩く)。ひとうぬ あいふ んっちゆ
ぎやー つっじゃん (人の歩く道をふ
さぐな)。ばー あてい うだいやひど
う ひとまた あいふきやー いっち
や は一みきーどうー (私はとても太
っているので一歩歩くと息が切れる)。
ていびゅーぎやー みーだ まいゆた
ーな みー あいき (後ろを見ずに前
だけ見て歩け)。いんぬ あいふ (漁師
をする [＜海を歩く])。がっこーんかい
じてんしゃひー あいふ (学校に自
転車で通学する [＜学校に自転車で歩

く])。かいんな ながいんやうんてい
そうづいー あいき (あいつにお
いつかれないように一生懸命走れ ([＜
走って歩け])。[変異] あいつ。

あいほうーきやー [aihu:kja:] 【成
句】 そうしている中に、そうこうしてい
る間に。【例】 あいほうーきやー ふに
やー いでいー はりーにやーん (そ
うしている間に船は出ていった)。[変
異] あやほうーきやー。[類] かいほう
ーきやー。

あいほうーば [aihu:ba] 【副詞】 そ
うしているから、そうだから。 [変異]
あやほうーば。

あいま [aima] 【名詞】 [C] (ものや人
との空間的) 間；(出来事が続く時間的)
間；(出来事と出来事の) 合間。【例】
つづあが びー あいまー にやーん
(お前が座る場所はない)。ひーまむぬー
ふあう あいままい にやーん (昼
ごはんを食べる時間もない)。うぐな
いぬ あいまん ぶとうぬ っちゅー
たい (集まりの最中に旦那が来た)。す
かまぬ あいま (仕事の合間)。

あいや [aija] 【副詞】 そのように。 [変
異] あや。

あいやいそうが [aijaisuga] 【接続
詞】 でも、しかし、そうだけれども。
【例】 あーぎぬ がっこーんかい いつ
ぶすむぬ。あいやいそうが やーんな
でいんな にやーん (上の学校に行

きたい。でも、家には金がない)。っさりんきー あそーが いつぶすむぬ、いー。あいやいそうが、どーや まどーにゃーん (平良に遊びに行きたいね。でも、僕たち、時間がないよ)。あいやいそうが ばー あいや うむーん (だけど、私はそうは思わない)。**[変異]** あいえいそうが、あっそうが、あいやそうが。

あいやいていがー [aijaitiga:] **[接続詞]** そうだったら、それじゃあ。**[変異]** あいやていがー、あいていがー、やいていがー、やていがー、えていがー。

あいやそうが [aijasuga] **[接続詞]** でも、しかし、そうだけれども。**[変異]** あいえいそうが、あっそうが、あいやいそうが。

あいやていがー [aijatiga:] **[接続詞]** そうだったら、それじゃあ。**[例]** A: っづあー とうずとうみぶすむぬな B: おー A: あいやいていがー ばが みどうんっづあー なうばい (A: お前は結婚したいのかい。B: そうです。A: じゃー、うちの娘はどうだい)。**[変異]** あいやいていがー、あいていがー、やいていがー、やていがー、えていがー。**[類]** かいやていがー。

あう [au] **[動詞]** [w 語幹] [C] (人が人に約束して、または、偶然に) 会う; (人が事故、災難などに) 会う。**[例]** ん[°]ぬ かにんかい あうたい (昨日カニに会った)。みーかない ばがっふあ

ー こーつーじこん あうたい (一昨日うちの子が交通事故にあった)。

あう [au] **[動詞]** [w 語幹] [C] (着物などが人に) 似あう; (物の形状などが別の物の形状と) 一致する; (意見などが) 一致する 性格などが) 合う; 論理的に説明がつく。**[例]** くぬ つんな たるんかいまい あうどうす (この服はだれにでも合う)。くぬ かぎゃー かぎぬ あなんかいや あーん (このカギは鍵穴に合わない)。かいとうー はなっさ あーん (あいつとは話が合わない)。ぼんな つむ あーん ひとつー みーん (私には気の合わない人はいない)。っづあが きゅーぬ はなっさ ん[°]ぬぬ はなすとう あーん (お前の今日の話は昨日の話と合わない)。

あう [au] **[名詞]** [C] 青。**[例]** みどうんしーとうんみゃー あうすかーとうー っちゅーたい (女子生徒は青いスカートをはいている)。**[類]** あう。

あうー [au:] ① **[動詞]** [vv 語幹幹] [C] (暖を取るために) 火に当たる。**[例]** きゅーや っしかいば うまっちゅあうー (今日は寒いので (暖を取るために) 火に当たる)。っしかいば うまっちゅ あっづい (寒いから火に当たれ)。**[類]** あっづい。② **[動詞]** [vv 語幹幹] [C] (食べ物) をあぶる; 火に当てる。**[例]** うまつひー っぞうー あうー (火で魚をあぶる)。ひんじゃぬ ばたう あっづいー やきー ふあ

う（山羊の腸を（火に）あぶって焼いて食べる）。かじやまきぬ とうきやんな やりさばう あうづゆーとうい うりゆー かうかい とうくまんかい あたらすきやー なういどうす（虫刺されの時には古い草履を火にあぶって、それをかゆいところにあてると治る）。[類] あうづい。

あうー [au:] 【動詞】[vv 語幹] [C] 扇ぐ。【例】あうづひー あうー（扇で扇ぐ）。あつかいば あうづいー ふいーさまでい（暑いので扇いでください）。[類] あうづ。

あうい [au:] ① 【動詞】[r/rr 語幹] [C]（風や火が何かを）煽（あお）る。【例】かでいん あうらい たうりーにやーん（風に煽られて倒れた）。うまつん あうらい あつかいば ならっだん（火に煽られて暑くて仕方なかった）。② 【動詞】[r/rr 語幹] [C]（人に何かさせるために人をおだてて）何かをさせる。【例】かにゆー あうりー あーぐー あっじゃすたい（カニをおだてて歌を歌わせた）。まさいとう かにやーん ーんなん あうらい ぶどういすきやきたい（マサイとカニは皆におだてられて踊りはじめた）。

あうぎ [augi] ① 【動詞】[母音語幹] [A]（水、土、石等を別の容器などに）入れる。【例】うまんかい んたうぎやー あうぎる（ここに土を流し入れろ）。[類] あうづ。② 【動詞】[母音語幹] [A]

（中のものを）捨てる。[類] あうづ。

あうきや [aukja] 【名詞】[C] 《生物》10 c m位の小さいイカ。【例】あうきやー たいがい かまさーとうどう ひとつみ うい（アウキヤはたいがいカマスと一緒にいる）。

あうく [auku] 【名詞】[C] 穀物を叩いて実を取り出したり、殻を落としたりする棒 [長い棒と短い棒を連結し、短い方をもって長い方を穀物に叩きつける]。

あうくばら [aukubara] 【名詞】穀物などをあうくで叩くときに手にできたマメ。

あうぐるくん [augurukun] 【名詞】《魚》ハナタカサゴ。

あうさり [ausari] 【形容詞】（魚が）生臭い。【例】あいつぞうー あうさりむぬ（アイゴは生臭い）。

あうづ [auzi] ① 【動詞】[g 語幹] [C]（水、土、石等を別の容器などに）入れる。【例】うまんかい んたうぎやー あうぎ（ここに土を流し入れろ）。[類] あうぎ。② 【動詞】[g 語幹] [C]（中のものを）捨てる。【例】ばきつぬ みっじゆぎやー あうぎー すている（バケツの水をすててしまえ）。[類] あうぎ。

あうづ [auzi] 【動詞】[g 語幹] [C] 扇ぐ。【例】あつかいば あうづひー あうづ（暑いので扇で扇ぐ）。[類] あうー。

あうず [auzi] 【名詞】[C] 扇、うちわ。

【例】くばがさぬ はーひーどう あうっじゅぎゃー ちゅっふ（ビロウの葉で扇を作る）。

あうそう [ausu] 【名詞】[C]（浅瀬でなく）海の深いところ。 【例】ふか

あうそう（深い海）。

あうそうん [ausun] 【名詞】トンボ。

【例】かでいふつゆらん ないていがー あうそうんぬどう うんそうくとうびーふー（台風の時期になるとトンボがたくさん飛んでくる）。あうそうんぬ どういー あそー（トンボを取って遊ぶ）。

あうだ [auda] 【名詞】[C] 《道具》もっこ。 【例】あうだんかい っさー

かりー いりー（もっこに草を刈り入れる）。

あうたん [autan] 【副詞】（植物などが）青く、青々と（茂る）；（殴られて皮膚などが）青く（なる）。 【例】んーぎ

ーや あうたん なりー ういー はやいーどうーい（芋の蔓は青々と生い茂っている）。まさいや かにん なっじゅらいー みーや あうたん なるー（マサイはカニに殴られて、目が青くなった [>目の周りに青あざができた] ）。 [類] あう。

あうっどうい [auddui] 【名詞】病

気がちの人が顔色に血色がないこと。

【例】やみどう みはなー あうっどう

いや ひーゆー（病気で顔には血色がよくない）。

あうなず [aunazi] 【名詞】《生物》青

大将（ヘビの一種）。 【例】あうなずぬ あっづあー はいがさぬ っそういん ない（青大将の脂は台湾坊主 [= 禿頭病] の薬になる）。

あうぬー [aunu:] 【感動詞】《フィラ

ー》あの一、何というか [「あうぬぎゃー」ともいう]；仕方がないので、とにかく [「あうぬぎゃー」とも言う]。

【例】じょー いんかい いかっでいー うむいー うたいそうが あうぬーばー かなまい やんかいば いかじゃーん（「さあ、海に行くぞ」と思っていたんだけど、あの一、頭が痛いんでいくのやめるよ）。あうぬー ゆくい（どうでもいいからとにかく休め）。 [類] あにやむぬー、あなむぬー。

あうぬがま [aunugama] 【名詞】そ

れくらいの人、物。 【例】あにや あうぬがまうぎゃー どうっじゅぎゃーほうん（その程度の人には妻にしない）。（小さなみすぼらしい魚を渡されて）あうぬがまうぎゃー っじじゃーん（そんなものはうけとらない）。 [類] あにやるがま。

あうぬんみ [aunummi] 【名詞】あん

なやつら、そんなやから。 【例】あうぬんみゆーぎゃー ていっづゃーがらひー すちゆーき（そんなやつらはほっておけ）。あにや あうぬんみまいん

かいや いかん (あんなやつらのところには行かない)。

あうばい [aubai] 【名詞】『昆』銀蠅。

【例】さたんな あうばいぬどう たかりゆー (砂糖には銀蠅がたかっている)。

あうばじゃかい [aubazakai] 【名詞】

(手、股、扇など閉じてあるものを) 開く、広げること ; (手、股、扇など閉じてあるものが) 開くこと。【例】うゆびゆー あうばじゃかい あっそう ((手や足) の指を広げろ)。またうぎゃー あうばじゃかいはー ひー びーな (股を開いて座るな)。あうっじゅ あうばじゃかい あす (扇を広げる)。とういぬどう はにゆー あうばじゃかい ひーゆー (鳥が羽を広げている)。
[変異] あうばだかい。

あうばじゃかい [aubazakai] 【動詞】

[r/rr 語幹] (手、股、扇など閉じてあるものを) 開く、広げる ; (手、股、扇など閉じてあるものが) 開く。【例】うゆびゆー あうばじゃかい ((手や足) の指を広げる)。ういびとうん なりー うゆびゃー あうばじゃからん (年寄りになって 指をひろげることができない)。
[変異] あうばだかい。

あうばじゃかす [aubazakasi] 【動詞】

[s/h 語幹] (手、股、扇など閉じてあるものを) 開く、広げる。【例】うゆびゆー あうばじゃかす (指をひろげる)。またうぎゃー あうばじゃかひ

ー びーな (股を開いて座るな)。あうっじゅ あうばじゃかす (扇を広げる)。とういぬどう はにゆー あうばじゃかひーゆー (鳥が羽を広げている)。
[変異] あうばだかす。

あうばじゃからす [aubazakarasi] 【動詞】

[s/h 語幹] (手、股、扇など閉じてあるものを) 開く、広げる。【例】うゆびゆー あうばじゃからす (指をひろげる)。またうぎゃー あうばじゃからひー びーな (股を開いて座るな)。あうっじゅ あうばじゃからす (扇を広げる)。とういぬどう はにゆー あうばじゃからひーゆー (鳥が羽を広げている)。
[変異] あうばだからす。

あうばだかい [aubadakai] 【名詞】

(手、股、扇など閉じてあるものを) 開く、広げること ; (手、股、扇など閉じてあるものが) 開くこと。 [変異] あうばじゃかい。

あうばだかい [aubadakai] 【動詞】

[r/rr 語幹] (手、股、扇など閉じてあるものを) 開く、広げる ; (手、股、扇など閉じてあるものが) 開く。 [変異] あうばじゃかい。 [類] あうばじゃかす、あうばじゃからす。

あうばだかす [aubadakasi] 【動詞】

[s/h 語幹] (手、股、扇など閉じてあるものを) 開く、広げる。【例】うゆびゆー あうばだかす (指をひろげる)。またうぎゃー あうばだかひー びーな (股を開いて座るな)。あうっじゅ

あうばだかす (扇を広げる)。とういぬ
どう はにゆー あうばだかひーゆー
(鳥が羽を広げている)。[変異] あうば
じゃかす。[類] あうばじゃからす。

あうばだからす [aubadakarasi] 【動
詞】[s/h 語幹] (手、股、扇など閉じてあ
るものを) 開く、広げる。 [変異] あ
うばじゃからす。[類] あうばじゃかす。

あうひぐる [auhiguru] 【形容詞】肌
寒い。 【例】 きゅーや やぐみ あう
ひぐるむぬ (今日はとても肌寒い)。[変
異] あうびぐる。

あうぴぐる [aupiguru] 【形容詞】肌
寒い。 [変異] あうひぐる。

あうびつ [aubitsi] 【名詞】『魚』ロク
センスズメダイ。

あうます [aumasi] 【動詞】[s/h 語幹]
(作物に肥料を入れて) 青々と成長させ
る。 【例】 ぶーずんかい つふあいや
いりー あうます (サトウキビに肥
料を入れて青々を成長させる)。

あうまちや [aumatça] 【名詞】『鳥』
メジロ。 [変異] あうまっちや。

あうまっちや [aumattça] 【名詞】
『鳥』メジロ。 [変異] あうまちや。

あうみー [aumi:] 【名詞】臆病者。
【例】 からー あうみー やいば あう
やーゆぎゃー ほうだ すぐ ひんず
(あいつは臆病だからケンカはせず
にすぐ逃げる)。[類] あうみーやから。

あうみーやから [aumi:jakara] 【名
詞】臆病者。 [類] あうみー。

あうやー [auja:] 【名詞】ケンカ、言
い争い、とっくみあい。 【例】 あうや
ーゆぎゃー ほうん (ケンカをしない
[>ケンカをしてはいけない])。うぬき
ゃが ふたーいや ばかかいきゃー
うんそうく あうやーゆまい ひーう
たい (その二人は若い頃はいつもケン
カばかりしていた)。

あうん [aun] 【動詞】[m 語幹] [C] (作
物に肥料が入って) 青々と成長する ;
(海の色、空の色) 青くなる。 【例】 んー
ぎーぬ はーや むいとう あうみー
どうー (芋の葉はとても青々としてい
る)。ふかいんな むいとう あうみー
どうー (深い海は青々としている)。き
ゅーぬ ていんな あうみーうい (今
日の空は青い)。

あか [aka] ①【形容詞】[A] (周囲が) 明
るい。 【例】 くまどう あかかいば
くまんかい くー (こっちが明るい
からこっちにこい)。②【形容詞】[A] (色
が) 赤い。 【例】 あかぎー (赤い髪)。か
んれきんな あかづんぬ つー (還暦
には赤い服を着る)。からー いつまい
さきゃー ぬみー あかみはな (あ
いつはいつも酒を飲んで赤い顔をして
いる)。

あか [aka] 【名詞】[C] (色の名前) 赤。
【例】 あかいる (赤色)。いきまむぬいん
な あか、あう、つぶ、っそうぬ ほう

かな いるー にゃーん (池間のことばには赤、青、黒、白しか色はない)。

あか [aka] 【名詞】 [C] 髪の毛。【例】んまぎ あか (見事な髪の毛)。ふすひー あかう きっず (櫛で髪をすく)。あかう ゆー (髪を結う)。かなーいや みどうんまい びきどうんまい からっじゅぎゃー ゆっぐいどう うたい (昔は女性も男性も髪を結っていた)。
[類] からず。

あか [aka] 【名詞】 [C] 船底にたまった水。【例】ふにぬ あかう ん (船底にたまった水を汲みだす)。
[類] あかま。

あか [aka] 【感動詞】 期待とは裏腹のときに出る言葉、えっ、何だって。【例】あか、あにゃ うさかがま (えっ、たったこれだけ)。
[類] あがい、あがー。

あがー [aga:] 【感動詞】 痛いときに出す悲鳴。【例】いちゃかい とうきやんな あがーていどう あい (痛いときにはアガーと言う)。
あがー いちゃかいば ならん (アガー 痛くてしかたがない)。
[変異] あがい、あがえ、あがー。

あかい [akai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] (雨が) 上がる。【例】あみぬ あかりゆー (雨が上がった)。
あみぬ あかいぎかい (雨が上がりそうだ)。

あかい [akai] 【名詞】 [B] 明かり、灯り。【例】ゆーかーまんどう あかい

ぬ みーらいゆー (ずっと遠くに明かりが見える)。
やーぬ あかい (家の灯り)。
あかいゆ つきる (あかりをつける)。

あかい [akai] 【名詞】 [B] 蟻。【例】あかいぬ すー (蟻の巣)。
まーぬ あかいや ゆみー あいつな (あんまりゆっくり歩くな [＜蟻を数えて歩くな])。

あがい [agai] ① 【感動詞】 ああもう、ああしまった、ああ残念だ。【例】あがい ひんじゃー ひんがひーにゃーん (ああ山羊を逃がしてしまった)。
あがい ぶとうー すにーにゃーん (ああ、夫が死んでしまった)。
あがい んめ くとうすまい やーっそう (ああ大変だ、今年も飢饉だ)。
あがい んめ きゅーまい さきくたんでい (ああ もう大変だ、今日も二日酔いだ)。
あがい たんでい なうばい ほうでいが (ああもう、どうしようか)。
[変異] あがえ。
② 【感動詞】 相手を制止することば、これ、こら。【例】あがい んめどー、うまんかいや ふーな (こら、あぶない、こっちには来るな)。

あがい [agai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] (太陽が) あがる、(月が) 出る；(値段、成績、給料などが) 上がる；(家などに) 上がる。【例】ていだぬ あがりーふー (太陽が上がってくる)。
つつちゆぬ あがい (月が出る)。
あがいていだ (朝、東から昇る太陽)。
くぬいや むぬぬ だいでいどう あがりゆー (最近は何

が上がっている)。んまがぬ がっこー
ぬ せいせきやー なうちゆんま あ
がらん (孫の学校の成績は全然あがら
ない)。[類] ぬーい。

あがい [agai] 【名詞】 [A] 東。【例】
あがいでいんからどう ていだー あ
がい (東の空から太陽は昇る)。あがい
かた (東の方)。

あがい [agai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] い
まやっている仕事を終える；退勤する；
離職する。【例】くまぬ すかまー
はやまり あがりー かまぬ すかま
う すきゃきでい (この仕事ははや
く終わらせて、向こうの仕事にとりか
かろう)。からー すかまー あがりー
やーんかい はりーにやーん (あの
人は仕事を終えて家に帰った)。ていね
んな ひー こーちょーぬ すかまー
あがりーにやーん (定年になって校
長職を退職した)。[変異] あがいー。

あがい [agai] 【感動詞】 痛いときに出
す悲鳴。 [変異] あがー。

あがい たんでい [agai tandi] 【感
動詞】 何とまあ、びっくりした時の悲
鳴。【例】あがい たんでい、なうば
い あすばどう じゃうかいが (あれ
まー、どうすれば良いんだろう)。[類]
あがい んみや。

あがい んみや [agai mmja] 【感
動詞】 もう大変だ、びっくりした時の悲
鳴。 [類] あがい たんでい。

あがいー [agai:] 【動詞】 [r/rr 語幹] い
まやっている仕事を終える；退勤する；
離職する。 [変異] あがい。

あがいがあがい [agaigaagai] 【成
句】 まさか、そんなことがあるのか。
[類] うばいがうばい。

あがいじゃとう [agaizatu] 【名詞】
『地名』西原の東の集落 [東支部と南支
部を合わせたもの]。【例】あがいじゃ
とう ぶとう むつていがー かーう
り くーさんよ (東里の夫を持つとヒ
ダガーでの水汲みが大変だよ)。

あがいにやー [againja:] 【名詞】 東
隣の家。【例】あがいにやーや むと
うやー かーばた (東隣は本家の川端
だ)。

あかいらうつ [akairautsi] 【名詞】
『魚』魚の一種。【例】あかいらうつち
ゃ びゅーいむぬまいどう あい (ア
カイラウツは毒のあるものもある)。

あかうい [akau] 【名詞】 『果物・野
菜』瓜 [表面がだいたい色の大き目の
瓜。ふつうの瓜よりは硬い]。

あかうぎー [akaugi:] 【名詞】 『植』く
わ科の常緑高木。

あかうぎーぬ んー [akaugi:nu
n:] 【成句】 芋畑の取り残しの芋。【例】
あかうぎーぬ んーぬどう ういゆー
(取り残しの芋が生えている)。

あがえ [agae] 【感動詞】 ああもう、あ
あしまった、ああ残念だ。 [変異] あ
がいがい。

あかがに [akagani] 【名詞】 銅。

あかぎ一 [akagi:] 【名詞】 赤毛、赤毛
の人 [実際には黒色が薄い髪、あるいは
その髪の人を指す]。【例】あかぎ一
みどうんがま (赤い髪の子)。うま
んな あかぎ一や み一ん (ここには
赤毛の人はいない)。

あかぐ一 [akagu:] 【名詞】 食紅 [昔は
これを入れて赤飯を作っていた]。

あかぐい [akagui] 【名詞】 甲高い声、
また、甲高い声をしている人。【例】う
ぬ みどうんがまぬ くいや あかぐ
い だらよ (その女の子の声は甲高い
声なんだよ)。

あかぐすな [akagusina] 【名詞】 つの
また [寒天の材料]。【例】あかぐすな
ひ一 たうふ一 ちゅっふ (ツノマタ
で豆腐をつくる)。[類] うる。

あかさ [akasa] 【名詞】 [C] 未婚女性
の産んだ子供、私生児。 [類] あかさ
っうあ。

あかさっうあ [akasavva] 【名詞】 未
婚女性の産んだ子供、私生児。 [類] あ
かさ。

あかじゃら [akazara] 【名詞】 『魚』
ベラ。【例】んなまから あかじゃら

う つ一が (今からベラを釣りに (行
こう))。

あかじん [akazin] 【名詞】 『魚』 赤メ
バル。

あかす [akasi] 【動詞】 [s/h 語幹] [C]
吉凶を占う、ユタが祈祷して予見した
りする。【例】びきむぬす一ぬ むぬ
一 あかす (男性の祈祷師が吉凶を占
う)。むぬす一ぬ なうやひ一 んま一
すに一はり一にや一んがてい一 あ
かす (祈祷師がなぜ母親は亡くなった
か明らかにする [＜亡くなったかと])。

あかすや一 [akasija:] 【名詞】 床屋
[「あかそういや一」から来ているが「あ
かそうや一」とは言わない]。【例】あ
かすや一んき一 あか一 そうり一く
一 (床屋に行つて髪を切つてこい)。[類]
あかそういや一、さんぱつや一。

あかそういや一 [akasuija:] 【名詞】
床屋、散髪屋。【例】あかそういや一
んき一 あかう そうい (床屋に行つ
て髪を切る)。[類] さんぱつや一、あか
すや一。

あかたん [akatan] ①【副詞】 明るく
(なる)。【例】すとうむていん なりど
う ていんな あかたん なる一 (朝
になって空が明るくなった)。②【副詞】
赤く (なる)。【例】さきや一 ぬみ一
みはな一 あかたん なる一 (酒を
飲んで顔が赤くなった)。あかぺんきや
一 ぬり一 や一ぬ かびゆ一ぎや一

あかたん なしる (赤いペンキを塗って家の壁を赤くしなさい)。つみゅー
あかたん そうみる (爪を赤く染める)。

あかつ [akatsi] 【名詞】[B] 血。【例】
つぎらひー うゆびゃー きりどう
あかつちや いだひーにゃーん (鎌で指を切って血が出てしまった [＜血を出してしまった])。

あかつづあ [akavva] 【名詞】赤ちゃん、赤ん坊。【例】あかつづあぬ んま (赤んぼの母親)。あかつづあぬ んぎゃーていー なつ (赤ちゃんがおぎゃーと泣く)。

あかつすばい [akatsisibai] 【名詞】血尿。【例】あかつすばいぬ いでいー いちやかいばならん (血尿がでていたくて仕方がない)。

あかつつ [akatsitsi] 【名詞】明け方 [「しゃーか (深夜から午前3時ごろまで、未明)」より後で、日の出前]。【類】しゃーか。

あかない [akanai] 【名詞】(夕日や朝日が) 赤くなっていること [「あかないあす」の形で用いられる]。【例】ていだ あかないや ひーどう ((朝焼けで) 太陽が赤くなっている)。ばかすかいば みはなー あかないや ひーどうーたい (恥ずかしくて顔が赤らんでいた)。

あかばたうい [akabataui] 【名詞】スイカ。【例】あかばたういや うたひーみーきゃー っさきーにゃーん (スイカを落としたら割れてしまった [＜「落としてみたら」意志的に落としたという意味ではない])。

あかばに [akabani] 【名詞】赤毛、赤毛の人 [実際には黒色が薄い髪、あるいはその髪の人を指す]。【類】あかぎー。

あかばみつ [akabamitsi] 【動詞】[k語幹] 騒々しく騒ぐ。【例】みどうんみゃー あかばみきゅー (女性たちは騒々しくしている)。【変異】あかばみふ。

あかばみつ [akabamitsi] 【名詞】騒々しく騒ぐこと。【例】みどうんみゃー あかばみっちゃ ひーゅー (女性たちは騒々しくしている)。

あかばみふ [akabamifu] 【動詞】[k語幹] 騒々しく騒ぐ。【変異】あかばみつ。

あかばみふ [akabamifu] 【動詞】[k語幹] 騒々しく騒ぐ。【変異】あかばみつ。

あかぶか [akabuka] 【名詞】生理。【例】きゅーや あかぶかぬどう いじゅー (今日は生理中だ)。

あかぶす [akabusi] 【名詞】金星。【例】ていんぬ あかぶす (金星)。

あかふそう [akafusu] ①【名詞】赤い便。②【感動詞】断るときに使う拒否

の言葉、いやだ。【例】あかふそう んば (いやと言ったら、いやだよ)。

あかほうにや [akahunja] 【名詞】人參。

あかま [akama] 【名詞】[C] 船底に溜まった水。【例】ふにぬ あかまうん^んみ (船底に溜まった水を汲め)。^[類]あか。

あかます [akamasi] 【動詞】[s/h 語幹] 赤くする；(顔を)赤らめる。【例】やどうんかい ペんきやー ぬりー うまう あかます (ドアにペンキを塗ってそこを赤くする)。ばかすかいば みはなう あかますたい (恥ずかしくて顔を赤らめた)。

あかやー [akaja:] 【名詞】リーフと島の間にある岩の凸凹しているところ。魚がたくさんいる。【例】あかやーんなっぞうぬどう むいとう うい (アカヤーには魚がたくさんいる)。

あかやっとう [akajattu] 【副詞】「やっとう」の強調形、やっとのこと。【例】だいがくんかいや あかやっとうがまんどう ごーかくあすたい (大学にはやっとのことで合格した)。^[類]やっとう。

あからす [akarasi] 【動詞】[s/h 語幹] (部屋などを)明るくする。【例】でんとーゆ つきー くまー あからし (電灯をつけてここを明るくしなさい)。

あかん [akan] ① 【動詞】[m 語幹] [A] (周りが)明るくなる；陽が昇る。【例】ていだー あがりどう ていんな あかみどうーたい (太陽が昇って、空が明るくなっていた)。んなーぎやー ていだー あかまん (まだ日が昇っていない)。ていだぬ あかんていがー はいんかい (日が昇ったら畑に(行こう))。② 【動詞】[m 語幹] [A] (色が)赤くなる。【例】ふがさー あかみどう んみゅー (おできは赤くなって膿んでいる)。

あかんだ [akanta] 【名詞】赤土。【例】あかんだばい (赤土の畑)。あかんだんな むぬー まーぬ でいきん (赤土には作物はあまりできない)。

あかんちや [akantça] 【名詞】〔魚〕ロクセンフエダイ。【例】あかんちやう つー (ろくせんふえだいを釣る)。

あき [aki] 【動詞】[母音語幹] [A] (周りが)明るくなる、陽が昇る、(夜が)明ける。【例】ていだぬ あきていがー はいんかい (日が昇ったら畑に(行こう))。^[類]あつ (k 語幹)、あふ (k 語幹)、あかん (m 語幹)。

あき [aki] 【名詞】[B] 秋。【例】くまんな あきやー にやーん (ここには秋はない)。

あき [aki] 【動詞】[母音語幹] [A] (ドアなどを)開ける；(土地を)開墾する。【例】やどー あきる (戸を開けろ)。

はいゆ あきー（開墾する）。[類] あつ、あふ。

あきしやる [akiçaru] 【名詞】『古語』早朝。【例】あきしやるぬ つゆがはな（早朝の露の花〔古謡「豆が花」から〕）。[類] しゃーか。

あきず [akizi] 【名詞】[A]『古語』トンボ。【例】んきやーんな あうそうんぬぎやー あきずていーまい あっじゅーたいが おーかん（昔はトンボのことをアケズとも言っていたようだ）。

あぎまーす [agima:si] 【動詞】[s/h 語幹] せかす。【例】まーぬ ばぬーあぎまーすな（あまり私をせかすな）。すかまう はやまり あっそうていーあぎまーす（仕事を早くやれとせかす）。

あきや ふー ふー [akija fu: fu:] 【成句】（戸を）開けたり閉めたり。【例】やどー あきや ふー ふーほうー（戸を開けたり閉めたりしている）。

あきやうだ [akjauda] 【名詞】商人、仲買人。【例】っぞうあきやうだ（魚の仲買人）。あきやうだぬ あつないあす（行商人が商いする）。

あきんさう [akinsau] 【名詞】（石切り場など使う非常に重い）金棒。【例】あきんさうゆ うまんかい うすんき（金棒をそこに差し込みなさい）。あきんさうひー いっそう むたず（金棒で

（てこの原理で）石を持ち上げる）。あきんさうひー あなう あきー（金棒で穴を開ける〔<上からたたきつけて開ける〕）。

あぐ [agu] 【名詞】[C] 同じ干支の人〔ふつうは同じ年回りの人で集まったりする〕、同級生。【例】まーらいが そうじゃぬ あぐ（一回り上の同じ干支の男性）。あぐー かなすかいば ならん（同級の友だちはいとおいしい）。

あくまがま [akumagama] 【名詞】生後間もなく亡くなった子供〔墓に入れないので麻袋に入れて土に埋める〕。【例】あくまがまうぎやー むとうんか いや いりん（生後間もなく亡くなった子供は墓には入れない）。

あさ [asa] 【形容詞】[A] 浅い。【例】あさ いんがま（浅瀬）。うまぬどうかまんつきやー あさかい（このほうがあそこより浅い）。

あさぎ [asagi] 【名詞】[C] 物置小屋、屋敷内の農具、薪等を入れる家。【例】たむぬーぎやー あさぎん うつつ（薪を物置小屋に置く）。たむぬー あさぎんどう あい（薪は物置小屋にある）。

あさってい [asatti] 【名詞】明後日。【例】あさっちやー うつなーんかい（明後日は沖縄に（行く））。[変異] あさてい。

あさてい [asati] 【名詞】[C] 明後日。[変異] あさってい。

あし [aʃi] 【名詞】[C] 朝食。【例】じよ、あしやー ふあいー はいんかい (朝ご飯を食べて、畑に (行こう))。じよ、あしゆー ふあーでい (さあ、朝ご飯をたべよう)。[類] すとうむてい むぬ。

あし [aʃi] 【名詞】[B] 汗。【例】あしゆー かつ (汗をかく)。あつふ ないていがー あしゆーどう かつ (暑くなると汗をかく)。あしやー たいたいていー たらほうー (汗をぽたぽたとたらしている)。

あじゃ [aza] 【名詞】[B] ホクロ。【例】かりやー あじゃ あい びとう (あの人にはホクロの多い人だ)。ふたいぬ あじゃ (額のほくろ)。

あじゃーな [aza:na] 【形容詞】(話すこと、行動に) 自制心がない、短気な、急に何かをしでかす; (仕事などが) ちゃんとしていない。【例】あじゃーなんまり (何をしでかすかわからないやつ)。かりやー ふつあじゃーなかいばならん (あいつは言い出すと自制できない)。ふつあじゃーなんまり (言いたい放題に喋る奴)。にゆーあじゃーなんまり (寝癖の悪い奴)。あじゃーな すかま (駄目な仕事)。[変異] あちゃーな。[類] あ一つな。

あじゃんつ [azantsi] 【動詞】[k 語幹] (駄々をこねている子を) あやす、なだめる、言い聞かす。【例】なつつじゃ っふあう あじゃんつ (泣き虫の子

をあやす)。つづあが ぶとうー ぎっじゃ ひらいんば、まさぐんてい あじゃんきー ならーし。(あんたの旦那は言うことを聞かないので、よく言い聞かせなさい)。[変異] あじゃんふ。

あじゃんふ [azanfu] 【動詞】[k 語幹] (駄々をこねている子を) あやす、なだめる、言い聞かす。[変異] あじゃんつ。

あしん [aʃin] 【名詞】[A] 汗疹(あせも)。【例】あつふ ないていがー あしんぬどう いでいー (暑くなると汗疹が出る)。

あす [asi] ①【名詞】[B] 歩幅。【例】やぐみ ながあす (とても歩幅が大きい)。かいんかいや あすぬ うゆばんば ばぬんな きょうさにやーや かちや いん (彼には歩幅が負けるから私には(彼に)競争は勝てない)。やぐみ ながあす はーびとう (コンパスが長くて速い人)。②【名詞】[B] 足取り。【例】あっさ むちゃん (足取りが心もとない)。③【名詞】[B] (建築物、自然物の) 下の土地、(山の) ふもと、(島などの) 海岸に接する下の部分。【例】ほうぎーぬ あっさ すだすむぬ (大きな木の生えている下は涼しい)。ぼんていが やーや やまぬ あすんどう あい (私たちの家は山のふもとにある)。

あす [asi] 【動詞】[不規則] [A] やる、する。【例】ばが ほうでい (私がしよう)。んなまー науゆどう ひーゆー (いまなにをしてるの)。かんち あさま

てい（こんなふうになさってください）。
 あんち ほうんまい ゆぬくとう（そ
 んなことしてもおなじだ）。うるー た
 るがなーん あすみる（それをだれか
 （ほかの人）にやらせなさい）。やらびや
 ー ばらいがま あす（子供は笑って
 いる〔<子供は笑いをする〕）。うらー
 あすやすむぬ（それはやりやすい）。

あず [azi] 【名詞】 [C] 味。【例】あず
 ぶたむぬ（味が濃い）。あずぬどう う
 すかい（味が薄い）。あっじゃ にや
 ん（味が無い）。あず くーた（味がと
 ても濃い）。

あずがー [aziga:] 【名詞】 硬口蓋、上
 あご。【例】あてい あずまむぬー
 ふあうていがー あずがーぬどう ひ
 ぎやうかいば ならん（とても甘いも
 のを食べると硬口蓋がくすぐったくて
 ならない）。[類] あずく。

あすかた [asikata] 【名詞】 やり方。
 【例】なうばい あすかたまい にや
 ん（どうしようもない）。あすかたう
 ならひー ふいーさまでい（やりかた
 を教えてください）。うぬ げーむぬ
 あすかたうぎやー っしっどう うら
 まいな（このゲームのやり方をご存じ
 ですか）。

あずき [aziki] 【動詞】 [母音語幹] [C]
 （もの、人をだれかに）預ける。【例】
 ぎんこーんかい でいんぬ あずきー
 （銀行に金を預ける）。つふあう むらに
 ん あずきー（子供を子守に預ける）。

あずく [aziku] 【名詞】 [C] 硬口蓋、上
 あご。【例】あずくん むぬぬ たば
 りゆー（上顎に食べ物がくっついてい
 る）。[類] あずがー。

あずくや [azikuja] 【名詞】 シャコガ
 イの殻。【例】にぐーぬ からう あ
 ずくやていー あい（シャコガイの殻
 をアズクヤと言う）。

あずつ [azitsi] 【動詞】 [k 語幹] [C] 預
 ける。【例】どうすんかい でいんぬ
 あずつ（友だちに金を預ける）。[変
 異] あずふ。[類] あずき。

あすはっじゃき [asihazzaki] 【動
 詞】 [母音語幹] やり損ねる。【例】あす
 はっじゃきー げんのーひー うなが
 うゆびゆー ったきーにやーん（間
 違って金づちで自分の指を叩いてしま
 った）。[類] あすはっじゃつ。

あすはっじゃつ [asihazzatsi] 【動
 詞】 [k 語幹] やり損ねる。[変異] あ
 すはっじゃふ。[類] あすはっじゃき。

あすはっじゃふ [asihazzafu] 【動
 詞】 [k 語幹] やり損ねる。[変異] あ
 すはっじゃつ。[類] あすはっじゃき。

あすはっじゃふ [asihazzafu] 【動
 詞】 [k 語幹] やり損ねる。[変異] あ
 すはっじゃつ。[類] あすはっじゃき。

あずふ [azifu] 【動詞】 [k 語幹] [C] 預
 ける。【例】どうすんかい でいんぬ
 あずつ（友だちに金を預ける）。[変
 異] あずつ。[類] あずき。

あずふ [azifu] 【動詞】[k 語幹] [C] 預ける。 [変異] あずつ。 [類] あずき。

あずま [azima] 【形容詞】[B] (味が) 甘い。 【例】 さたー あずまむぬ (砂糖は甘い)。 かーっさ あずまむぬ (お菓子は甘い)。

あずまうつ [azimautsi] 【名詞】おせじ、甘言。 【例】 かりゃー あずまうつびとう やいば かいが ふつぐる まんな むーいな (彼は口のうまい人だから彼の口車には乗るな)。

あすみ [asimi] 【動詞】[母音語幹] [A] 「あす」の使役形、させる。 【例】 すかまう あすみ (仕事をさせる)。

あそうー [asu:] 【動詞】[b 語幹] [A] 遊ぶ。 【例】 みなかん いんがまとう あそうー (庭で犬と遊ぶ)。 やらびゃー あそうーたらーん (子供は遊び足りない)。 まさいや すかまー ほうだ あそうびゅー (マサイは仕事をしないで、遊んでいる)。

あそうー [asu:] 【名詞】[A] 遊び。 【例】 やらびぬ すかまー あそうーどう すかま (子供の仕事は遊ぶことだ)。 くぬいぬ やらびんみゃー あらぬ あそうーゆぎゃー っさん (最近の子供は外の遊びを知らない)。 くぬいぬ やらびんみゃー あらん あそうーむぬーぎゃー ほうん (最近の子供は外で遊ぶことをしない)。

あたい [atai] 【動詞】[C] コピュラ、繫辞「あい(だ、である)」の過去形。「～であった、だった」の意味を表す。

あたい [atai] 【動詞】[C] 存在動詞「あい(ある)」の過去形、「あった」の意味を表す。

あたい [atai] 【名詞】[A] (「名詞+ぬ・が」、動詞基本形につけて) そのことの程度が大きくないこと、難しくないことを表す、「～くらい」、「～なんか」。 【例】 うぬ あたいがまー なうまい あらん (そのくらいのことは何でもない)。 でいんぬ じゃーん あいていがー、あめりかんかい いふ あたいや どうーやすむぬ (金さえあれば、アメリカに行くぐらいは簡単だ)。

あたい [atai] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] (的に) 当る、(答えが) 当たる、(いい人に) 当たる、正しい。 【例】 ふっじゃあたりーにゃーん (くじは当たった)。 うりゃー あたりゅーむなうむ ばぬんな さだかー ひらいん (それはあっているのか否か私には判断できない)。 かりゃー じゃう どうずんかいどう あたりゅー (彼は良い奥さんに巡り合っている)。 ばー きゅーや ふーや ありどう じゃうひとうんかい あたりゅーい (私は今日は運がよくていい人に当たった)。 っづあー あたらん (あなたは間違っている)。

あたい [atai] 【名詞】[A] (くじなどの) 当たり、正解、正しいこと。 [変

異] あたり。

あたいさわい [ataisawai] 【名詞】支障、あたりさわり。

あたくま [atakuma] 【名詞】不意、急なこと。【例】かいが たぬんな あたくまどう あたい (彼の頼みは急だった)。かいが あたくまぬ たぬん (あいつの急な頼み)。ういびとうー あたくまん すにーにやーん (年寄りは急に亡くなった)。あたくまん ふにやーすずみーにやーん (あつという間に船は沈んでしまった)。【類】あたふず。

あたくまん [atakuman] 【副詞】急に、あつという間に。【例】あたくまんでいっふちや っていーにやーん (急に台風が来た)。やらびやー あたくまん ほういふ なりゆーたい (子供はあつという間に大きくなっていった)。あたずむひとうー あたくまん つむでいー んなす (短気な人は急に怒ってしまう)。【類】あたふずん。

あたずむ [atazimu] 【形容詞】短気、短気な。【例】かりやー あたずむんまり (彼は短気な奴だ)。かりやー あたずむ やいば なうちやーにやーつむでいー (彼は短期なのでなんでもないことに腹を立てる)。

あだつ [adatsi] 【動詞】[c/t 語幹] [C] (足りないもの、必要なものを) 捜し求める。【例】くらー うまん なにやーんば まっちゃんきー あだていー

くー (これはここにはないので、お店に行行って買ってこい)。やーぬ ぬくずーや っちゃんば あがいにやーんきー つー ぬくずーゆ あだていーくーでい (家のノコギリは切れないので東隣りの家に行行って借りて来よう)。【類】あだてい。

あだてい [adati] 【動詞】[母音語幹] [C] (足りないもの、必要なものを) 捜し求める、買い求める。【類】あだつ。

あだなす [adanasi] 【名詞】〔植〕アダンの木の気根 [縄をなうのに用いる]。【例】んぎやまー まーりどう あだなっそう どういったい (アダンの木がたくさん生えているところを回って気根を取ってきた)。あだなすひー ん°なう なう (アダナスで綱をなう)。

あだなす ん°な [adanasi ɲna] 【名詞】アダンの木の気根で編んだ綱。

あたばかーい [atabakai] 【名詞】ちよつとの間 [副詞としても使える]。【例】あたばかーいがま ばー いきーくーっじゃー うぬ っふあがまうみーうきよ (ちよつとの間出かけてくるから子供を見といてくれ)。あたばかーいぬ ちゃん ぬそうどうー ひんぎーはりーにやーん (ちよつとの間に泥棒は逃げて行行った)。

あたふず [atafuzi] 【名詞】あつという間。【類】あたくま。

あたふずん [atafuzin] 【副詞】急に、突然に、あっという間に。【例】あたふずん ふにやー すずみーにやーん（あっという間に船は沈んでしまった）。【類】あたくまん。

あたらか [ataraka] ①【名詞】大切なもの；大切なこと、大切である性質。【例】ばぬんな なうんつきやーまいとうずぬどう あたらか（私には何よりも妻が大切だ）。でいんな あたらかやいば まさぐん つかい（お金は大切なものだから正しく使いなさい）。【類】あたらき。②【形容詞】大切だ。【例】でいんな あたらかかいば まさぐん つかい（お金は大切なものだから正しく使いなさい）。【類】あたらき。

あたらかぬ [atarakanu] 【連体詞】大切な。【例】あたらかぬ みどうんつづあうぎやー つづあんかいや ふいーん（大切な娘をお前にはやらない）。【類】あたらす。

あたらき [ataraki] ①【名詞】大切なもの；大切なこと、大切である性質。【類】あたらか。②【形容詞】大切だ。【類】あたらか。

あたらす [atarasi] 【形容詞】大切な、愛おしい。【例】ばが かなす あたらす ぶとう（私の愛しい大切な夫）。あたらす ずん（大切な着物）。ばーみどうんぬぎやー あたらすかいばならん（私は妻が愛おしくてならない）。【類】あたらか、あたらき。

あたらっさ あす [atarassa asi] 【成句】[s/h 語幹] 大切にする。【例】むぬーぎやー あたらっさ ひー ふあい（食べ物は大事にして食べなさい）。さやふだうーゆぎやー あたらっさ ひー つかい（大工道具を大切に使いなさい）。んぬっちゆぎやー あたらっさ ほうだかーならん（命は大切にしないといけない）。

あたらん [ataran] 【動詞活用形】当たってない、まちがっている〔「あたい（r/rr 語幹）：答えが正しい、言っていることが正しい、適当である」の否定形〕。【例】つづあー あたらん（あなたは間違っている）。つづあが むぬいや あたらん（お前の言っていること間違っている〔内容、言い方の両方を指せる〕）。さんばんぬ くたいや あたらんば なうし（3番の答えは間違っているから直しなさい）。

あたり [atari] 【名詞】[A]（くじなどの）あたり、正解、正しいこと。【例】うぬ ふずんな あたりやー にやーん（このくじにはあたりはない）。つづあが くたいや あたり（お前の答えは正解だ）。かいが あっじゅー くとー あたりや あらん（あいつが言っていることは正しくない）。【変異】あたいたい。

あたりゆーむ なうむ [atarju:mu naumu] 【成句】正しいのか正しくないのか。【例】うりやー あたり

ゆーむ なうむ ばぬんな さだかー
ひらいん (それはあっているのかど
うか私には確認できない)。

あだん [adan] 【名詞】 [C] 『植』 アダ
ン。【例】 あだんな ばすまい つば
まい ふあーいどうす (アダンは中の
実も外の実も食べられる [中の実を「ば
す」、外の実を「つば」という])。[類]
あだんぎー、んぎ。

あだんぎー [adangi:] 【名詞】 『植』 ア
ダンの木。 [類] あだん、んぎ。

あだんば [adamba] 【名詞】 『植』 ア
ダンの葉 [草履や帽子を作るのに使わ
れる]。【例】 あだんば やー (アダ
ンの木で作られた家)。

あちや [atca] 【名詞】 [B] 明日。【例】
きゅーや きゅー あちやー あちや
(今日は今日、明日は明日だ [> 今日で
きることは明日に持ち越さない])。ま
た あちゃんかい (また明日 [別れの
挨拶に使う])。あちやー あみ はず
(明日は雨だろう)。

あちやーな [atca:na] 【形容詞】 短気
な、急に何かをしでかす。【例】 あち
やーなんまり (急に何かをしでかす短
気な奴)。[変異] あじゃーな。

あちやがみやー ひとつに
[atcagamja: hituni] 【成句】 翌朝まで目
覚めることなく寝ること。【例】 すば
いすーがまい いかだ あちやがみや
ー ひとつに ほうでい (小便しにも

行かないで明日まで起きることもなく
熟睡しよう)。きゅーぬ すかまー く
ーかたいば あちやがみやー ひとつ
にはず (今日の仕事はつらかったから
朝までぐっすりだろう)。

あつ [atsi] ① 【形容詞】 [B] (物が) 熱
い。【例】 あつみず (お湯 [< 熱い水])。
あつちやー (熱いお茶)。うまっちゃ
あつむぬ やいば うまんかいや ゆ
っじゃだうり (火は熱いのでそこには
近づくな)。② 【形容詞】 [B] (天気が)
暑い。【例】 きゅーや あつかいば な
らん (今日は暑くてたまらない)。きゅ
ーや あつかいば うゆばん (今日は
暑くてたまらない)。なつん なりー
あつふ なりーにやーん (夏になって
暑くなった)。

あつ [atsi] 【動詞】 [k 語幹] [A] (周り
が) 明るくなる、陽が昇る、(夜が) 明
ける。【例】 ていだぬ あつていがー
はいんかい (日が昇ったら畑に (行こ
う))。[変異] あふ。[類] あき (母音語
幹)、あふ (k 語幹)、あかん (m 語幹)。

あつ [atsi] 【動詞】 [k 語幹] [A] 開け
る、(隙間が) 空く。【例】 やどうー
あつ (戸を開ける)。やどうー あきや
うらん (戸が開いていない)。[変異]
あふ。[類] あーつ、あーふ、あき。

あつづあ [avva] 【名詞】 [B] 油、脂。
【例】 あつづあんそう (油みそ [ブタ
の脂肉と味噌を炒めたもの])。ひんじ
やぬ あつづあ (ヤギの脂)。

あづあうつ [avvautsi] 【名詞】お世辞、綺麗ごと；またそれを言う人。

【例】あづあうつ むぬぬ むぬいゆぎゃー つかだうり（お世辞を言う奴の話は聞くな）。あらうつびとうー あらから あいそが あづあうつびとうー ひとつー ほうみー ひとつんかい びらう（歯に衣着せず喋る人はストレートに話をするが、お世辞をいう人は人にへつらう）。

あづあない [avvanai] 【名詞】脂っこいこと [「あづあないあす」の形で用いられる]。【例】あまんぬ ふぐいや あづあないや ひーどー（ヤドカリの肝は脂っこい）。

あづあびーた [avvabi:ta] 【名詞】（肉などが）脂っこい、油まみれ。【例】くぬ わーや あづあびーた やいば んめ ふあーいん（この豚肉は油っこいのでもう食べられない）。かいが つんな あづあびーた（彼の服は油まみれだ）。つづあが あづあびーた みはなう あらいー ー（お前の脂ぎった顔を洗ってこい）。

あづあびーた [avvabi:ta] 【形容詞】脂っこい、油まみれ。【例】くぬ わーや あづあびーたかいば んめ ふあーいん（この豚肉は油っこいのでもう食べられない）。

あづあみー [avvami:] 【名詞】〔魚〕クマノミ。【例】あづあみーがまー つぞうぬみーとうどう ひとつみ

うい（クマノミはイソギンチャクと一緒にいる）。

あづい [avvi] ① 【動詞】〔母音語幹〕 [C] 火に当たる。 [類] あうー。 ② 【動詞】〔母音語幹〕 [C] （食べ物を）あぶる；（火に）当てる。 [類] あうー。

あづがー [agga:] 【感動詞】痛いときに出す悲鳴。 [変異] あがー。

あづく [akku] 【名詞】 [C] 悪口。 [変異] あっこ。 [類] あづくー、あっこー。

あづくー [akku:] 【名詞】悪口。【例】あづくー あす（悪口をする）。 [変異] あっこー。 [類] あっこ。

あづぐー [atsigu:] 【形容詞】分厚い。【例】あづぐー かびー（分厚い紙）。あづぐー んみゆーつ（分厚い胸）。うぬ すーっさ あづぐーかいば そうらいん（この肉は分厚いので切れない）。

あっこ [akko] 【名詞】 [C] 悪口。 [変異] あつく。 [類] あづくー、あっこー。

あっこー [akko:] 【名詞】悪口。【例】あいや ひとつーぎゃー あっこーゆぎゃー ほうん（そんなに人の悪口を言うもんじゃない）。 [変異] あづくー。 [類] あつく。

あつさ [atsisa] ① 【名詞】 [C] 熱さ、熱いこと。【例】くぬ ちゃーぬ あつさー やぐみ あつさ（このお茶はとても熱い）。 ② 【名詞】 [C] 暑さ、暑いこと。【例】なつぬ さなかー あつさぬ ばんず（真夏は暑さの盛り）。きゅ

一ぬ ひーていーぬ あつさぬ (今日の太陽はとても暑い)。きゅーぬ あつさー やぐみ あつさ (今日の暑さはひどい)。

あつさむい [atsisamui] 【名詞】暑がり、暑さに弱い。【例】くぬ やらびやー むいとう あつさむい (この子はとても暑がりだ)。

あっじ [azzi] 【動詞活用形】[A]「あい(言う、歌う)」の連用形；「あい(言う、歌う)」の命令形。【例】あーぐー あっじーみーる (歌をうたってください)。やらびんかいや あっじー つかひーならーし (子供には言い聞かせて教えなさい)。あーぐー あっじ (歌を歌って)。^[変異] あい。

あっじゃ [azza] 【名詞】[B] (畑、道、教室などの) 端、すみ。【例】はいぬ あっじゃう あいつ (畑の端を歩く)。んつぬ あっじゃ (道の端っこ)。こーえんぬ あっじゃ (公園の端っこ)。きよーしつぬ あっじゃ (教室のすみ)。

あっじゃき [azzaki] 【名詞】畑の端の草木を切ること。【例】つぐあーきゅーや はいぬ あっじゃきゅーひーくー (お前は今日は畑の端の草刈りをしてこい)。はいぬ あっじゃきゅー あす (畑の端の草かりをする)。

あっそう [assu] 【動詞活用形】[不規則] [A]「あす(やる、する)」の命令形。【例】すかまう あっそう (仕事をやれ)。

つぐあが あっそう (お前がやれ)。すかまう はやまり あっそうていー あぎまーす (仕事を早くやれとせかす)。かりゅーぎやー っさん ふう あっそう (あいつのことを知らない振りしなさい)。

あっそうが [assuga] 【接続詞】でも、しかし、そうだけれども。【例】あーぎぬ がっこーんかい いつぶすむぬ。あっそうが やーんな でいんな にやーん (上の学校に行きたい。でも、家には金がない)。^[変異] あいえいそうが、あいやそうが、あいやいそうが。

あったす [attasi] 【動詞】[s/h 語幹] 沸かす、あたためる。^[変異] あっちやす。

あったみ [attami] 【動詞】[母音語幹] (人、ものを) 叩く、(釘、ボールなどを) 打つ。【例】たるが なーがどう やどうふっちゅ あったみゅー (だれかがドアを叩いている)。やらびゅー あったみや ならん (子供を叩いてはいけない)。ぼーるー ぼっとひー あったみる (ボールをバットで打ちなさい)。かにふっじゅ げんの一ひー あったみたい (釘を金づちでたたいた)。

あっち [attçi] 【動詞】[母音語幹] [C] 熱くなる、沸騰する。^[類] あっつ。

あっちゃ [attça] 【名詞】[C] 下駄。【例】あっちゃう んん (下駄を履く)。

あっちゃい [attçai] 【動詞】[母音語幹] 託す、持って行ってくれと頼む。
[類] あっちゃう。

あっちゃう [attçau] 【動詞】[w 語幹] 託す、持って行ってくれと頼む。【例】うつなーんかいぬ むぬー かいんかい あっちゃいー むたすたい (沖縄への物を彼に頼んで持っていつてもらった)。むぬー どうすんかい あっちゃいー つふあんかい むちやすたい (物を友人に託して子供に渡してもらった)。[類] あっちゃい。

あっちゃす [attçasi] 【動詞】[s/h 語幹] 沸かす、あたためる。【例】みっじゅ あっちゃす (お湯を沸かす [＜水を沸かす])。ちゃーゆ あっちゃす (お茶を沸かす)。くぬ んっつーゆ あっちゃし (このみそしるをあたためてくれ)。[変異] あったす。

あっちゃぬぶー [attçanubu:] 【名詞】下駄の緒。【例】あっちゃぬぶーや つっちゅーば なうはだかーならん (下駄の鼻緒が切れているのでなおさないといけない)。

あつつ [attsi] 【動詞】[cc/tt 語幹] [C] 熱くなる、沸騰する。【例】みっじゃあっちーどうー (水は熱くなっている [＞沸騰している])。[類] あっち。

あつない [atsinai] 【名詞】商い。【例】あきやうだぬ あつない あす (行商人が商いする)。ぬずんどう あつない

(希望するからこそ商い [＞商売は両者が望むからこそ成り立つ])。きゅーまい んまー っさらんきー あつない あすが (今日もお母さんは平良の町に商売に (出かけた))。

あっはーいー [ahha:i:] 【感動詞】何を言っているかと相手を馬鹿にする時に使う。【例】A: ばー でいんなさんおく ありー B: あっはーいー ほうりむぬいゆぎゃー あすな (A: 俺は金が三億ある。B: ばかなことを言うな)。[類] あっはーえー。

あっはーえー [ahha:e:] 【感動詞】何を言っているかと相手を馬鹿にする時に使う。[類] あっはーいー。

あてい [ati] ① 【副詞】(動詞を修飾して)十分に(～することができる)。【例】うさきぬ さきがまうぎゃー たうかーひー あてうどう ぬん (それくらい酒は一人で十分に飲むことができる)。うぬ ふくるんかいや あていどう はいー (この袋に十分に入る)。
② 【副詞】理由表現の中に使われて形容詞の程度が大きいことを表す、余り(～ので)。【例】とーきょーんな あてい ひとつぬ ういかいば ひとつびゅーいぬ あす (東京には人が多すぎて人酔いする)。かぬ みどうんな あてい あばらぎかいばならん (あの女性は余りにも美しい)。ぶとうー すなひー あてい かまらすかいばならん (旦那を亡くして余りにも悲しくてならな

い)。[類] あていくとう。

あてい [ati] 【名詞】[C] 当て、生きがい。【例】つふあぬどう ばが あてい (子供が私の生きがいだ)。
[類] みあてい。

あてい かーん [ati ka:n] 【成句】(～するのに) 十分すぎる、十分に (～することができる)。
【例】うまんな ふあうむぬー あていかーんどう あい (ここには食べるものは十分過ぎる程にある)。
ばが たまー うさきひー あてい かーん (私の分はそれだけで十分過ぎる)。
あてい かーん っしーどーうー (十分過ぎる程に知っている)。

あていがー [atiga:] 【接続詞】それでは、じゃー。【例】あていがー ばー やーんかい はらでい (それでは私は家に帰る)。

あていくとう [atikutu] 【副詞】余り(～ので)。
【例】ぱーが すんたい とうきやんな あていくとう かまらすかいば ならっだん (祖母が亡くなったときには余り悲しくてどうしようもなかった)。
あがいー っづあがぴーや あていくとう っさかいばんびやーいん (お前の屁は臭くてがまんできない)。
ばかかいきやー あていくとう むぬふあう くーかいばまいやーまいにち なきどう うたい (若いときは食べるにも困っていたので、毎日毎日泣いていた)。
[類] あてい。

あでいふ [adifu] 【名詞】[C] タコの巣、タコの巣のありか。【例】たくぬあでいふーぎやー たるんかいまいならーはん (タコの巣の場所はだれにも教えない)。
たくぬどう あでいふん びじやりーうたい (タコがタコの巣にデンと座っていた)。

あとう [atu] 【名詞】[C] (時間的に) 後(あと)。
【例】また あとうんかい (また後で)。
かいが あとうから はり (あの人の後から帰りなさい)。
あうやー ひーまい あとうー にやーんひとう (言い合いをしても後に持ち越さない人)。
あとうぬ ひーぬ ぶーとうい (最終日のブートウイ [ミヤークズツの最終日に旗を触って神様からの果報をもらう儀式])。
あとうぬ ゆー (後の世)。
あとう ほうかんあ あいどうすな (あとほかにありますか)。

あどう [adu] 【名詞】[B] かかど。
【例】あどう ぐるー ふあーす ((人)を) 踵で強く打つ)。

あとう ひとうむちやき [atu hitumutçaki] 【成句】残りの一踏ん張り、残り僅かの仕事。
【例】くーかいそうが あとう ひとうむちやき やいばわいていー ほうだかーならん (疲れているが残り僅かの仕事だから頑張らないとならない)。

あとうがま [atugama] 【名詞】後妻、後添え。
【例】かいが あとうがまー

あばらぎ ばかみどうん (彼の後妻は若くて美人だ)。[類] あとうどうみ。

あとうざん [atuzan] 【名詞】後産、胎盤。【例】あとうざんぬ はやまりいだはだかー ならん (後産を早く出さないといけない)。

あとうだま うーだま [atudama u:dama] 【成句】残り物に福がある。【例】いらう ぬかすぬどう あとうだま うーだま (選び残したものに残り福がある)。

あとうどうみ [atudumi] 【名詞】後妻、後添え。[類] あとうがま。

あとうなうい [atunau] 【名詞】大器晩成。【例】ばが ぶじゃー あとうなういや ひー うやきん なるー (私の叔父は大器晩成で金持ちになった)。

あとうぬひー [atunuhi:] 【名詞】『祭礼』ミヤークズツの最終日 [ブートゥイと呼ばれる]。

あとうぬゆー [atunuju:] 【名詞】後の世。

あな [ana] 【名詞】[B] 穴、(人や物の) 欠損。【例】うまん かんぬ あなぬあい (そこに蟹(かに)の穴がある)。ういが あなー っふあはいん (あの人の穴は埋められない [その人に能力があったので後が埋められないという意味と、その人が作った損失が埋められないという意味の両方がある])。あ

なう ぷーつ (穴を開ける [物理的に穴を開けるという意味と、損失を作るという意味がある])。

あな [ana] 【連体詞】そんな(何でもない物)。[変異] あにゃ。[類] あなる、あにやる。

あなみ [anami] 【動詞】[母音語幹] [C] ねだる。

あなみ [anami] 【動詞】[母音語幹] [C] (人を) 叱る。[類] あなん。

あなむぬー [anamunu:] 【副詞】ほかに方法がないから、しかたなく。[変異] あにゃむぬー。

あなる [anaru] 【連体詞】そんな(何でもない物)。[変異] あにやる。

あなん [anan] 【動詞】[m 語幹] [C] (人を) 叱る。【例】ひとうーぎやー まーぬ あなまん (人をあまりしかるな)。[類] あなみ。

あなん [anan] 【動詞】[m 語幹] [C] (人にものを) ねだる [「ひとうんかい (人に) むぬー (ものを あなん (ねだる))」の形と「ひとうー (人を) あなん (頼む)」の形がある]。【例】ひとうんかいや むぬーぎやー あなまん (人に物をねだらない)。ひとうー あなみー むぬー っじー ふあう (人にねだって食事をもらって食べる)。[類] あなみ。

あに [ani] 【名詞】 [C] 姉。【例】あに そうじゃぬ むぬいゆぎゃー うっとうんみゃー わいていー つきー ならい (姉・兄の忠告は弟・妹たちはしっかり聞いて身に付けなさい)。はーに (長女 [「親からいう長女」と「自分の一番上の姉」の両方使える])。なかーに (次女 [「親からいう次女」と「自分の上から二番目の姉」の両方使える])。

あにそうじゃ [anisuzã] 【名詞】 姉さんと兄さん。【例】みがとう まさいがどう ばが あにそうじゃ (ミガとマサイが私の姉と兄だ)。

あにや [anja] 【連体詞】 そんな (何でもない物)。【例】あにや かーかにがまぬどう でいん ない (そんな何でもない空き缶がお金になる)。あにやむぬがまうぎゃー っじん (そんなものは受け取れない)。ばが たまー あにや うさきがまいー (私の分はそんなものなんだな)。^レ【変異】あな。^レ【類】あにやる。

あにやむぬー [anjamunu:] 【副詞】 ほかに方法がないから、しかたなく。【例】きゅーや あみまい っふゆーば、あにやむぬー やーん ゆくいー うらでい (今日は雨も降っているし、仕方がないから家で休んでいよう)。でいんまい にゃーんば あにやむぬー うつなーんかいや いかじゃーん (金がないので、仕方がないけど沖縄には行かない)。じゃうかいむぬー にゃーん

ば あにやむぬー うるー かーでい (いいものはないので仕方ないからこれを買おう)。^レ【変異】あなむぬー。^レ【類】あうぬー。

あにやる [anjaru] 【連体詞】 そんな (何でもない物)。^レ【変異】あなる。^レ【類】あにや。

あぬゆ [anuju] 【名詞】 [A] あの世、かの世。【例】ぱーや あぬゆんかいはりーにゃーん (祖母はあの世に行ってしまった)。^レ【変異】あぬゆー。^レ【類】かぬゆ。

あぬゆー [anuju:] 【名詞】 あの世、かの世。^レ【変異】あぬゆ。

あば [aba] 【感動詞】 あれ、何 [「あば、あば」と繰り返して使うこともある]。【例】あば うらー なうが (一体それは何だ)。あば うらー なうどう あた (あれ、それは何だったかな)。あば あば なうていーぬ ぼーが (あれ、どうなってるの)。

あば [apa] 【名詞】 [C] 『魚』オニオコゼ (毒魚の一種)。【例】あばぬ っずんな どうくぬどう あい (オニオコゼの刺には毒がある)。

あば うどうるつ [apa udurutsi] 【成句】 いきなりビックリすること。【例】まずむぬー みー あば うどうるっちゃひーにゃーん (幽霊を見ていきなりビックリした)。

あばい [abai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A]
 (田畑が) 荒れる。【例】かまぬ はいぬ ぬっさ はいゆぎゃー みばからんば はいや ずみく っさー ういー あばりゆーい (あそこの畑の持ち主は畑を世話しないので、畑はたくさん草が生えて荒れている)。

あばい [apai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A]
 アルコール分が抜ける。【例】うぬ さきゃー んめ あばりー ぬまいん (その酒はもうアルコール分が抜けていて飲めない)。

あばさ [abasa] ①【名詞】 [C] 『魚』ハリセンボン。 ②【名詞】 [C] おしゃべりの人、大げさな奴。【例】うぬ あばさが ふっちゆぎゃー ったきー ならーし (そのおしゃべりの口をたたきなおせ)。

あぱつな [apatsina] 【副詞】 おかずなしに。【例】まいゆ あぱつな ふあい (ご飯をおかずなしで食べなさい)。

あばなつ [apanatsi] ①【動詞】 [k 語幹] あおむけになる。【例】あばなきー につぐい (仰向けに寝ろ)。あばなきーみーる (仰向けになってみる)。やまぬ はなう あばなきー みー (山の頂上を仰ぎ見る)。
 [変異] あばなふ。
 ②【名詞】 あおむけ。【例】あばなつにゆー (仰向けに寝ること)。

あばなつみー [apanatsimi:] 【名詞】 仰ぎ見ること。【例】ていんぬ あばなつみー あす (天を仰ぎ見る)。

あばなふ [apanafu] 【動詞】 [k 語幹] あおむけになる。【例】あばなきー につぐい (仰向けに寝ろ)。あばなきーみーる (仰向けになってみる)。やまぬ はなう あばなきー みー (山の頂上を仰ぎ見る)。
 [変異] あばなつ。

あばなふ [apanafu] 【動詞】 [k 語幹] あおむけになる。 [変異] あばなつ。

あばらぎがま [aparagigama] 【名詞】 (感動詞的に使って) 可愛い子供や動物。【例】あがい あばらぎがま (あらっ、可愛いー)。
 [類] あばらぎっふあがま。

あばらす [aparasi] 【動詞】 [s/h 語幹] (秘密を) ばらす。【例】うぬ しえい ねんとう しよじよぬ くとうー あばらはいにゃーん (その青年と娘のことはばれてしまった)。

あばらぶに [abarabuni] 【名詞】 あばら骨。 [類] ゆんぶに、さうきぶに。

あばらやー [abaraja:] 【名詞】 あばら屋。【例】ぼんていが やーや あばらやーがま (私たちの家はあばら屋だ)。

あびやー [apja:] 【名詞】 [C] 年取って子の産めなくなったメス豚。【例】っふあー なさがりゆー わーゆどう あびやーていー あい ((年取って) 子を産めなくなった豚を「アピヤー」と言う)。
 [類] あびやーわー。

あびやーわー [apja:wa:] 【名詞】 年取って子の産めなくなったメス豚。

【例】あびゃーわーや ひつにかいば
ならん（子の産めなくなった豚はかた
くてしかたがない）。あびゃーわーぬ
かーや あつぐー ぶかむぬ（子の
産めなくなった豚の皮は分厚くてかた
い）。[類] あびゃー。

あふ [afu] 【動詞】[k 語幹] [A]（周り
が）明るくなる、陽が昇る、（夜が）明
ける。【例】ていだぬ あふていがー
はいんかい（日が昇ったら畑に（行
こう））。[変異] あつ。[類] あき（母音
語幹）、あかん（m 語幹）。

あふ [afu] 【動詞】[k 語幹] [A] 開け
る、（隙間が）空く。[変異] あつ。

あぶ [abu] 【名詞】[B] 『昆』 虻（アブ）。
【例】あぶん ささいていがー いち
やむぬ（虻に刺されたら痛い）。

あぶ [abu] 【名詞】[B] 洞窟。【例】は
ーあぶ（大きな洞窟 [＞「はーぶ」とも
言う]）。[変異] あーぶ。

あふい [afui] 【動詞】[r/rr 語幹] [A]
（水が容器から）溢れる；たくさんある。
【例】たんくから みっじゃ あふり
ーどー（タンクから水があふれてい
る）。でいんな かさき あふりーどー
ー（お金はくさるほどある）。

あふず [afuzi] 【名詞】[C] あくび。
【例】あふっじゅ あす（あくびをする）。
やらびゃー かまりゅーんががら あ
ふっじゅ ひーゆー（子供は飽きたの
かあくびをしている）。ながばなっそう

つふていがー あふずまい あすど
うす（長話を聞くとあくびも出る）。

あふた [afuta] 【名詞】[B] ゴミ、ちり；
役に立たないやつ。【例】うまぬ あ
ふたう うぐないる（そこのゴミを集
めろ）。あふたう むーす（ゴミを燃や
す）。あふたうぎゃー っそうい（ゴミ
を拾いなさい）。すかまー ひらいん
あふた（仕事のできない奴）。

あま [ama] 【名詞】[C] 『指示詞』 あち
ら 「あまかま（あちらこちら）」とし
てしか使わない]。

あま [ama] 【形容詞】[A] 味がうすい。
【例】っうあが んっつーや あまか
いば ならん（あなたの味噌汁は薄味
すぎる）。

あまーす [ama:si] 【動詞】[s/h 語幹]
甘やかす。【例】やらびゅーぎゃー
あまーはん（子供を甘やかしてはいけ
ない）。

あまい [amai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C]
甘える。【例】んまんかい あまりゅ
ー（母親に甘えてる）。ていびぬつーふ
あやがまー あまいふだー（末っ子は
よく甘える [豚の末っ子は一番後ろの
乳を飲む。人間でも末っ子が最後の母
乳を飲むことから末っ子のことを「て
いびぬつーふあやがま」と言う]）。ほ
ういふ ないていが あまいや ほう
ん（大きくなったら甘えてはいけない）。
[類] あまい（母音語幹）。

あまい [amai] 【動詞】[母音語幹] [C]
甘える。【例】んまんかい あまい
うい（母親に甘えてる）。[類] あまい
(r/rr 語幹)。

あまい [amai] 【動詞】[母音語幹] [A]
(ニコニコと) 笑う。【例】やらびがま
ー ひとつんかい あまいゆー（子供
が人ににこにこ笑っている）。[類] ば
らい (r/rr 語幹)。

あまい [amai] 【名詞】[C] (食べ物の)
残りもの; (使った) 余り。【例】きゅ
ーぬ ふあいぬ あまいや んみゃ
にゃーん（今日の食事の残り物はもう
ない）。つんな かいぬ あまいひーや
そば ふあうが（服を買った余り
でソバを食べに（行こう））。

あまいあまい [amaiamai] 【副詞】
(こどもなどが) ニコニコする様子
[「あまいあまいてい」ともいう]。【例】
やらびゃー たるんかいまい あまい
あまいていー ひーゆー（この子は誰
にでもニコニコしている）。

あまいうむくとう [amaiumukutu]
【成句】生きるための知恵。【例】にん
ぎんな あまい うむくとうぬ にゃ
ーだかー ならん（人間は生きるため
の知恵がなければならない [＞単なる
知識だけでは生きていけない]）。

あまいずつ [amaizitsi] 【名詞】閏月
(うるうづき)。【例】うるーどうすん
な あまいずつぬどう あい（閏年
には閏月がある）。

あまいどうす [amaidusi] 【名詞】閏
年(うるうどし)。【例】くとうっさ
あまいどうすちゃ（今年は閏年だって）。
[変異] うるーどうす、うるどうす。

あまいなう [amainau] 【名詞】竜巻。
【例】あまいなうぬどう いんかい
うりーふー（竜巻が海に降りてくる）。

あまかま [amakama] 【副詞】あちこ
ち。【例】やらびゃー あまかま と
うみたいそうがどう とうみらいっだ
ん（子供はあちこち探したがみつから
なかった）。[類] あまくま。

あまぐい [amagui] 【名詞】雨乞い。

あまくま [amakuma] 【副詞】あちこ
ち。【例】あまくま まーりー った
い（あちこち回ってきた）。[類] あま
かま。

あまた [amata] 【連体詞】余計な、無
駄な。【例】うらー あまたむぬ（そ
れは余計なものだ）。あまたむぬいゆぎ
ゃー あいな（余計なことをしゃべる
な）。あまたでいんつかい（無駄使い）。

あまだい [amadai] 【名詞】雨だれ。
【例】やーぬ んつきから あまだいぬ
うちゅーい（家の軒から雨だれが落
ちている）。

あまたすかま [amatasikama] 【名
詞】徒労、余計な仕事。【例】つづあ
が すかまー あまたすかま（あなた
の仕事は徒労だ）。あまたすかまうぎゃ
ー ほうん（余計な仕事はしない）。

あまたなんず [amatananzi] 【名詞】

不要なことをやって後で苦勞すること。

【例】 くーっふあ にやーだ あまた
なんっじゅぎやー ほうん (楽しく
て余計な苦勞をしてるわけではない)。

あままい かままい [amamai

kamamai] 【成句】 あっちもこっちも。

[変異] うままい くままい。

あままい くままい [amamai

kumamai] 【成句】 あっちもこっちも。

[変異] うままい くままい。

あまみず [amamizi] 【名詞】 淡水。

【例】 ひだが一ぬ みっじゃ あまみず
(ヒダガーの水は淡水だ)。

あまみず [amamizi] 【名詞】 雨水。

あまらす [amarasi] 【動詞】 残す、余

らせる。 【例】 ふあいあまらす (食べ
残す [「ふあうあまらす」とも言う])。

あまり かまり [amari kamari] 【成

句】 十分だ。 【例】 ばー うさきひー
あまり かまり (私はそれだけで十
分だ)。

あまん [aman] 【名詞】 [C] ヤドカリ。

【例】 あまんぬ ふぐいひー っぞう
ー つー (ヤドカリの内臓で魚を釣る
[「ふぐい」は睾丸のこと])。あまんぬ
ふぐいあらい (ヤドカリが海の水にお
腹の卵を産卵すること [＜ヤドカリの
睾丸洗い])。

あまんぶに [amambuni] 【名詞】 踝

(くるぶし) の丸い骨。

あみ [ami] 【動詞】 [母音語幹] [A] 浴

びる。 【例】 みっじゅ あみ (水を浴
びる)。 [類] あん。

あみ [ami] 【名詞】 [B] 雨。 【例】 あち

やー あみ (明日は雨だ)。あちやー
あみやー っふあん (明日は雨は降ら
ない)。あみやー いりーにやーん (雨
はやんだ)。あみん ったかい (雨に打
たれる)。あみん ふかい (雨に降られ
る)。あみぬ あかいきやたーひー
まち (雨があがるまで待て)。やぐみ
あみ (大変な雨、大雨)。ほうすずあみ
(大粒の雨)。いみすずあみがま (霧状の
雨、小粒の雨)。かでいふつあみ (台風
の雨)。すまうていあみ (漁をしている
ときに島が見えなくなるほどつよくふ
る雨)。かんないあみ (雷雨)。なつぬ
あみ (夏の雨、スコール)。やーら
あみ (やわらかい雨)。ひーていーあみ
(天気雨)。ゆがほうーあみ (恵みの雨)。

あみかうー [amikau:] ① 【動詞】 [vv

語幹幹] (水を) 浴びる。 【例】 ひぐる
みっじゅ あみかうー (冷たい水を
頭からあびる)。 [類] あみかっづい。②
【動詞】 [vv 語幹幹] (他人の) 借金を引
き受ける。 【例】 ひとつぬ うっかう
あみかうー (他人の借金をひっかぶる)。
 [類] あみかっづい。

あみかっづあす [amikavvasi] ① 【動

詞】 [s/h 語幹] (水などを) かける。

【例】 みっじゅ あみかっづあす (水をかける)。ひぐる みっじゃ あみかっづあはいーにやーん (冷たい水を頭から浴びせられた)。みっじゅ かなまいから あみかっづあし (水を頭からかける)。[類] あみかっづあらす。◎【動詞】 [s/h 語幹] (他人の) 借金を引き受ける。

あみかっづあらす [amikavvarasi]

【動詞】 [s/h 語幹] (水などを) かける、浴びさせる。【例】 かにやー まさいんかい みっじゅ あみかっづあらすたい (カニはマサイに {水を浴びさせた/水をかけた})。かにやー まさいんかい あっじー やらびんかい みっじゅ あみかっづあらすたい (カニはマサイに言って {子供に水をかけさせた/子供に水を浴びさせた})。[類] あみかっづあす。

あみかっづい [amikavvi] ①【動詞】

[母音語幹] (水などを) かける。[類] あみかうー。◎【動詞】 [母音語幹] (他人の) 借金を引き受ける。[類] あみかうー。

あみがっふい [amigaffi] 【名詞】 雨宿り。

【例】 きーぬ すたん あみがっふい あす (木の下に雨宿りする)。

あみじゃた [amizata] 【名詞】 飴。

【例】 あみじゃたう なんー (飴を舐める)。

あみすず [amisizi] 【名詞】 雨粒、雨

足。【例】 あみすすぬどう うちゅー (雨が降っている)。

あみっふあしや [amiffaça] 【名詞】

『昆』 アメンボ。【例】 あみっふあしやぬどう みずぬ はなん うい (アメンボが水面にいる)。あみっふあしやぬどう みずぬ はなん とうぬぎーまーるー (アメンボが水面を走り回っている)。

あみふー [amifu:] 【名詞】 雨降り、雨

の降っている日。【例】 あみふーんなやーん につぐいー うらでい (雨の日には家で寝ていよう)。きゅーや ひとうむていから あみふー (今日は朝から雨降りだ)。やぐみ あみふー (土砂降りだ)。くぬいや あみふー (最近では雨期だ)。あみふー わーつつ (雨降りの天気)。

あめりか [amerika] 【名詞】 天国 (アメリカのように遠いところという意味)。

【例】 おばーや あめりかんかい はりーにやーん (おばあさんは亡くなった)。

あや [aja] 【副詞】 そのように。【例】

あや ほうだうり (そうはするな)。あやほうーきゃー ふにやー いでいー はりーにやーん (そうしている間に船は出ていった)。[変異] あいや。

あや [aja] 【感動詞】 「(それは) だめだ」

と思ったときに発する感動詞、あちゃ、あらまあ。【例】 あや、うらー だみ (あちゃ、これはだめだ)。

あや [aja] 【名詞】 [B] 綾。【例】あやずん（綾のある着物）。つんぬ あや（着物の紋様）。

あやかーり [ajakarri] 【副詞】 特別に、本当に。【例】かぬ みどうんな あやかーりどう かぎかい（あの女性は特別に美しい）。あやかーりどう ひぐるかたい（特別に冷たかった）。[変異] あやかりー。

あやかい [ajakai] 【動詞】 [r/rr 語幹]（立派な人に）あやかる。【例】ながんぬつ ぱーが あやーかりゅーとうい ながんぬつ あっそう（長寿のおばあさんにあやかって長生きしなさい）。

あやかりー [ajakari:] 【副詞】 特別に、本当に。[変異] あやかーり。

あやぎた [ajagita] 【名詞】 『昆』 蝶。【例】あやぎたー かぎむぬ（蝶は美しい）。[類] あやばさ、あやばに。

あやぐい [ajagui] 【名詞】 かすれ声。【例】からー あやぐいひー あーぐー あい（彼女はかすれ声で歌を歌う）。

あやす [ajasi] 【形容詞】 [A] 怪しい。【例】かいがどう あやすかい（彼が怪しい）。

あやす [ajasi] 【動詞】 [s/h 語幹] [C]（子供を）あやす。【例】っふあう あやす（子供をあやす）。

あやす かやす [ajasi kajasi] 【成句】 あれこれすること。【例】あやす

かやすていー ひーういきゃー ひーま なりーどうー（あれこれしていると昼になった）。あやす かやす ちやうきゃー（そうこうしている中に）。[変異] あいあす かいあす。

あやすていがー [ajasitiga:] 【接続詞】 そうしたら。【例】まーたー ゆっぐいー うまんさし、あやすていがー まずむぬまい ひとうまい とういや はらん（ススキの魔除けを結んでそこに挿せ。そしたら魔物も人も取って行かない）。

あやすふ [ajasifu] 【形容詞】 あやふやだ、はっきりとしない。【例】くまぬ すかまー きゅーひーや あやすふだーい（この仕事は今日で（終えられるかどうか）ちょっと微妙だ）。ういが あっじゅー むぬいや いつまい あやすふむぬ（彼が言うことはいつもあやふやだ）。[類] うかーすふ。

あやたーい [ajatai] 【動詞】 [r/rr 語幹] ずば抜けている。【例】うぬ やらびぬ うむくとうー あやたーりー どうー（この子の知能はずば抜けている）。[変異] あやたい、あやたり、あやたりー、あやたーりー。

あやたーり [ajata:ri] 【副詞】 ずば抜けて。[変異] あやたり、あやたりー、あやたーりー。

あやたーりー [ajata:ri:] 【副詞】 ずば抜けて。【例】はーにゃ すーがくー

あやたーりー でいきゅーたい (長姉の計算力はずば抜けてよくできた)。[変異] あやたり、あやたーり、あやたりー。

あやたい [ajatai] 【動詞】 [r/rr 語幹] ずば抜けている。 [変異] あやたーい。

あやたり [ajatari] 【副詞】 ずば抜けて。 [変異] あやたーり、あやたりー、あやたーりー。

あやたりー [ajatari:] 【副詞】 ずば抜けて。 [変異] あやたり、あやたーり、あやたーりー。

あやっそう [ajassu] 【成句】 そうしなさい。 [変異] あい あっそう。

あやぬん [ajanun] 【名詞】 南京虫。
【例】 んきやーんな あやぬんまい ぬんまい うんそうく うたい (昔は南京虫もノミも沢山いた)。あやぬん かまいー かうかいば ならん (南京虫にかまれた)。

あやばさ [ajabasa] 【名詞】 蝶。 【例】 あやばさー きつぎむぬ (蝶は綺麗だ)。 [類] あやぎた、あやばに。

あやばに [ajabani] 【名詞】 蝶。 [類] あやばさ、あやぎた。

あやひー [ajahi:] 【接続詞】 そうすることで、そのあとで、そして。 【例】 みががまう かなすかたいばどう うるー とうっじゃひどう、あやひー ンめ つふあまい いつぬひとう まう

きたい (ミガちゃんが好きだったので、彼女をめとり、そして、子供も5人もうけた)。うらー ひんじゃ、 あやひー うらー ぬーま (これは山羊、そして、これは馬だ)。 [変異] あいひー。

あやほうーきやー [ajahu:kja:] 【副詞】 そうしている中に、そうこうしている間に。 【例】 あやほうーきやー ふにやー いでいー はりーにやーん (そうしている間に船は出ていった)。 [変異] あいほうーきやー。

あやほうーば [ajahu:ba] 【副詞】 そうしているから、そうだから。 【例】 あやほうーばどう かりやー うやきかい (だからあいつは裕福なんだ)。 [変異] あいほうーば。

あやみ [ajami] 【動詞】 [母音語幹] [C] 危害を加える [「殺す」という意味ではない]。 【例】 ひとつーぎやー あやみん (人に危害を加えない)。 [類] あやん。

あやら [ajara] 【感動詞】 なにくそ。 [類] あらら、あららがま、あやらがま。

あやらがま [ajaragama] 【感動詞】 なにくそ。 【例】 あやらがま、つづあんな まきん (なにくそ、お前には負けないぞ)。 [類] あらら、あやら、あららがま。

あやん [ajan] 【動詞】 [m 語幹] [C] 危害を加える [「殺す」という意味ではない]。 [類] あやみ。

あら [ara] 【名詞】 [C] (家の) 外 ; (人や家の) 外見。【例】 やらびゃー んまぬ あらんかい いでいでいー あすていがー いつまい がんない (子供は母親が外出しようとしたら、いつも駄々をこねる)。とうか さうずばりゃーひー やらびゅー あらんかい いだひー ていだがなっそう うがます (10日目の魔除けをした後に赤ちゃんを外に出して太陽神を拜ませる)。あらんかい いでいー あそー (外に出て遊ぶ)。からー あらー うとうなすぎ (彼は外見はおとなしそうだ)。

あら [ara] 【名詞】 [C] (コメなどにはいつている) 小石など ; 欠点。【例】 まいぬ あら (米に交じっている小石など)。ひとうぬ あらー とうみん (人の欠点はさがさないものだ)。

あら [ara] 【形容詞】 [A] (仕事などが) 荒い。【例】 うぬ さやふぬ すかまー あらかいば うるー つかう ひとうー みーん (この大工の仕事は粗いので彼を使う人はいない)。

あら [ara] 【助詞】 『終助詞』 だろうね、だろうか、じゃないかな [「あらんな」の省略形]。【例】 あいぬ さんみんまい かいぬ さんみんまいどう ひーゆーや あら (あれやこれやと考えるんじゃないのかな)。くらー びゅーいがっさ あら (これはクワズイモじゃないの)。[類] あらんな。

あらいず [araizi] 【名詞】 闘争心、勝

負するときの元気、意気込み。【例】 すまう とうい とうきやんな あらいっじゅ むてい (相撲を取るときには負けないぞという意気込みを持って)。

あらいだす [araidasi] 【動詞】 [s/h 語幹] 結婚を申し込む [「あらう いだす」ともいう]。【例】 かぬきゃー んぬどう あらいだすたいちゃ (彼らは昨日結婚を申し込んでオーケーをもらったそうだ)。じょー みどうんぬ やーんかい さきゃー むちーいきー あらう いだはでい (さあー女性の家に酒を持って行って結婚を申し込もう [昔は酒を持って行って相手の父親が許可をすれば婚約が成立した])。

あらいだすゆーい [araidasijui] 【名詞】 婚約式。

あらう [arau] 【動詞】 [w 語幹] [A] (体を) 洗う ; (着物を) 洗濯する ; (食器を) 洗う。【例】 どうーゆ あらう (体を洗う)。つんぬ あらう (着物を洗う)。まかいゆ あらう (お椀を洗う)。まなちやうぎゃー つかうていがー あらい (まな板を使ったら洗え)。かいが はなすん つむー あらーいたい (彼の話に心が洗われた)。

あらうつびとう [arautsibitu] 【名詞】 歯に衣着せずはつきりものを言う人。【例】 あっづあうつびとうぬ むぬいゆぎゃー つかだ、あらうつびとうぬ むぬいゆ つき (口のうまい人

の話を見かずに、歯に衣着せず話す人の話を聞け)。

あらがー [araga:] 【名詞】(生き物、果物などの)表皮。【例】わーぬ あらがーや くばむぬ(豚の表皮はかたい)。

あらかぎ なかつさり [arakagi nakassari] 【成句】外側は綺麗だが内側は汚い(外面だけの人間)。【例】かりやー あらかぎ なかつさり やいばかいが つむぬ なかー ゆまいん(あいつは外面はいい人だが、心の中は読めない)。からー むいとうぬ あらかぎ なかつさりんまり(あいつは外面だけの奴だ)。[類] あらかぎ なかふとうてい、あらかぎ なかやり。

あらかぎ なかふとうてい [arakagi nakafututi] 【成句】外側は綺麗だが内側は汚い(外面だけの人間)。[類] あらかぎ なかつさり、あらかぎ なかやり。

あらかぎ なかやり [arakagi nakajari] 【成句】外側は綺麗だが内側は汚い(外面だけの人間)。[類] あらかぎ なかつさり、なかふとうてい。

あらから [arakara] 【副詞】直接的に、率直に。【例】あいや ひとうーぎやー あらからー んみかん(そのように人を真正面から叱らないものだ)。あらから あっじ(ちゃんと見え [>回りくどい言い方をするな])。

あらがん [aragan] 【名詞】《生物》オカガニ。【例】あらがんな んまつふあにやーん(オカガニはうまくない)。

あらす [arasi] 【動詞】[s/h 語幹] [A](仕事で金を)稼ぐ。【例】ぶとうーでいんぬぎやー あらひー やーでいん ふいーうたい(夫は仕事で稼いで、家族を養っていた [<家族に与えていた])。

あらす [arasi] 【動詞】[s/h 語幹] [A](魚を)餌を求めて激しく集まらせる、撒き餌する。【例】びじゅー ていっぐいー っぞうー あらし(餌を投げて魚を暴れるほど集めろ)。[類] あらつさり。

あらずむびとう [arazimubitu] 【名詞】心が荒く短気な人。【例】あらずむびとうー すぐ なうちやーにやー つむでいどうす(短気な人はすぐ何でもないことに怒る)。

あらかーならんむぬ [aradaka:narammunu] 【成句】なくてはならない。[変異] にやーだかー。

あらでいーびとう [aradi:bitu] 【名詞】仕事が雑な人。【例】あらでいーびとうぬ すかまー じゃうつふあにやーん(仕事が雑な人の仕事は良くない)。

あらどうくま [aradukuma] 【名詞】幽霊が出ると言われて恐れられている所。【例】ほうらだっちゃ あらとう

くま（大浦集落の入口は幽霊等の出るところだ）。

あらな一 [arana:] 【名詞】あだ名。

【例】ひとうーぎゃー あらな一ひや
ゆらばん（人をあだ名では呼ばない）。

あらは [araha] 【名詞】[B] 外海から

波が干瀬に寄せて波打っているところ、
波うち際。【例】あらはんな なんぬ
ぶりゅー（干瀬の波うち際には波が
大きく立っている）。

あらはな [arahana] 【名詞】一番最初。

【例】あらはな一 つうあから すきや
きる（まずはあなたから始めなさい）。

あらび [arabi] 【名詞】[C] 《祭礼》（祭

事や記念行事）初日。【例】みゃーくづ
つぬ あらび（ミャークズツの初日）。

あらまた [aramata] 【名詞】相撲の外

掛け。【例】あらまたう かきー た
うすたい（外掛けを掛けて倒した）。

あらら [arara] 【感動詞】なにくそ。

[類] あらら、あやらがま、あらら。

あららがま [araragama] 【感動詞】な

にくそ。【例】あららがま まきやなら
ん（なにくそ負けてはならない）。[類]
あやら、あやらがま、あらら。

あらん [aran] 【動詞】[C]（コピュラ

（指定辞）の否定形）～ではない、違う；
間違いだ [池間方言では「だ、である」
にあたることばは現在の終止の形では
通常現れない。条件形（～なら）は、「や

いていがー」、理由形（～だから）は、「や
いば」、過去形（～だった）は「あたい」、
否定形（～ではない）は、「あらん」を
使う。否定連用形（でなくて）は、「あ
らだ」。【例】うらー とういや あ
らん（これは鳥ではない）。あらん（違
うよ [応答詞として相手の言うことを
否定するときを使う]）。うらー あら
っだん（これではなかった）。あいや
あらん（そうではない）。

あり [ari] ①【動詞】[母音語幹] [A]

（生き物が）餌を求めて激しく集まる。

[類] あい (r/rr 語幹)。②【動詞】[母音語

幹] [A]（こどもがおとなに）付きま

とう、じゃれつく；（好きな異性に）じゃ

れつく。【例】やらびゃー んまんかい

どう うんそうく ありー（（その）子

供はお母さんにじゃれつきまくっている）。

みがー かにんかいどう かなす

かんががら うんそうく ありゅーた

い（ミガは（彼が）大好きなのかカニに

じゃれつき回っていた）。③【動詞】[母

音語幹] [A]（海などが）荒れる。[類]

あい (r/rr 語幹)。④【形容詞】[A]（人に

対して）付きまとう、じゃれつく。【例】

くぬ つふあー むいとうぬ あま

いづあーひどう ばぬんかい うん

そうく ありかい（この子は甘えん坊

でとても私にじゃれつく）。⑤【形容詞】

[A]（生き物が）餌を求めて激しく集ま

る、たかる。【例】ぐるくんな びじゅん

かい ありむぬ（グルクンはエサによ

くたかる [＞撒き餌がよく効く魚だ]）。

あり [ari] 【動詞活用形】[r/rr 語幹] [C]
存在動詞「ある」の特別終止形〔終止形の「あい」は、焦点助詞「どう」があるときに使う。過去形は「あたい」、否定形は「にゃーん」で、終止形と特別終止形の区別はなくなる〕。【例】ばー でいんな はーさ あり（私はお金はたくさんある）。かいんな つふあー みちゃーい ありちや（彼には子供が三人いるって）。

ありだい [aridai] 【名詞】食べかすが散らかっている様子、またその性質、散らかったもの、穀物の種で使えないくず種。〔変異〕ありだり。〔類〕くず、あいだり。

ありだいくず [aridaikuzi] 【名詞】食べかすが散らかっている様子、またその性質、散らかったもの、穀物の種で使えないくず種。〔変異〕あいだりくず。

ありだり [aridari] 【名詞】食べかすが散らかっている様子、またその性質、散らかったもの、穀物の種で使えないくず種。〔変異〕ありだい。〔類〕くず、あいだり。

ありや みーん [arija mi:n] 【成句】またとない素晴らしい（人）。【例】まーずんまぬ あにゃー ありや みーん じゃうひとう（まーずんまのおばさんは見たこともない素晴らしいひとだ〔「まーずんま」は屋号〕）。

あるまづー [arumazi:] 【名詞】（そこにあるもの、いるもの）みんな。【例】あるまづー ふあい（あるもの全て食べなさい）。うまん うるー ひとうん みんかい あるまづー ほーびゅー ふいーる（そこにいる人みんなにほうびをあげなさい〔<そこにいる人にみんな〕）。

あわてい [awati] 【動詞】〔母音語幹〕 [C] 慌てる、急ぐ。【例】たまっさにゃーんんまり、 まーぬ あわていだうり（落ち着きのない奴だ、余り慌てるな）。あわている、 んめ ふにんぬーいうくいがまた（急げ、もう船に乗り遅れるぞ）。

あん [an] 【動詞】[m 語幹] [C] 編む。【例】びらふー あん（芋を入れるカゴを編む）。

あん [an] 【動詞】[m 語幹] [C]（水などを）浴びる。【例】ひぐる みっじゅあん（冷たい水を浴びる）。〔類〕あみ。

あん [an] 【名詞】[B] 網。【例】あんぬ ひつ（網を引く〔サディヒツ（＝小規模の地引網）などに使う〕）。あんぬがにー（網を（まとめて）引き揚げる〔漁船で使う規模の大きい網漁に使う〕）。あんぬ ちゅっふい（網を繕う）。

あんぐーにや [angu:nja] 【名詞】〔昆〕蛾、主に沖縄クロホージャク（スズメ蛾科）という大型の蛾を指す。網に寄ってくるので網グーニャと言う。外敵に

見つからないようにホバーリングしながら花の蜜を吸う大型の蛾。 [類] ぐーにや。

あんし [ançi] 【副詞】 そう。 [変異] あんていー。

あんしー [ançi:] 【副詞】 そう。 [変異] あんていー。

あんしーがら [ançi:gara] 【成句】 そうかも [「あんしーぬがら」とも言う]。
【例】 あんしーがら っさいん (そうかも知れない)。 [変異] あんしがら、あんちがら、あんちーがら。 [類] あいがら、あいぬがら。

あんしがら [ançigara] 【成句】 そうかも [「あんしーぬがら」とも言う]。
[変異] あんしーがら。

あんだっちやる [andattçaru] 【連体詞】 そんな (人、こと、もの)。 【例】 あんだっちやる ひとつんかいや むぬー たぬまいん (そんな人にはものは頼めない)。 あんだっちやる くとぅーぎゃー うむーだうり (そんなことを考えてはいけない)。

あんち [antçi] 【副詞】 そう。 [変異] あんていー。

あんちー [antçi:] 【副詞】 そう。 [変異] あんていー。

あんちーがら [antçi:gara] 【成句】 そうかも [「あんちーぬがら」とも言う]。
[変異] あんしーがら。

あんちがら [antçigara] 【成句】 そうかも [「あんちぬがら」とも言う]。 [変異] あんしーがら。

あんつかい [antsikai] 【名詞】 追い込み漁 [「あんつかいまーい」の省略形]。
[類] あんつかいまーい。

あんつかいまーい [antsikaimai] 【名詞】 追込み漁。 【例】 あんつかいまーいや ひー いらうっちゅ とうい (追込み漁でブダイを取る)。 きゅーまい あんつかいまーいゆ でいかひーみーでい (今日も追込み漁で大漁だ [＜大漁してみよう])。 [類] あんつかい。

あんつきぎー [antsikigi:] 【名詞】 『植』 マングローブ。 【例】 あんつきぎーひー あんぬ そうみー (マングローブの木 (の樹液) で網を染める [マングローブの樹皮を煮詰めた樹液では防腐効果があるため])。

あんてい [anti] 【副詞】 そう。 [変異] あんていー。

あんていー [anti:] 【副詞】 そう。
【例】 あんていー あいぬがら っさいん (そう言うかも知れない)。 [変異] あんてい、あんち、あんし、あんちー、あんしー。

あんでいら [andira] 【名詞】 (芋を入れる) 編みカゴ [アダンの木の根で網を作り、それを編んで作る]。

あんぬ ほうかぬ うにや [annu hukanu unja] 【成句】 網の外のフ

グ [>蚊帳の外、関係ない人]。【例】
 っづあー あんぬ ほうかぬ うにゃ
 やいば むぬっじゃだうり (お前は
 部外者なので黙っておれ)。

あんばい [ambai] 【名詞】食べ物の味
 加減 (を調べる)。【例】あんばいゆ
 ひーみーみーる (味加減を試みる)。
 んっつーぬ あんばい あす (味噌汁
 の味加減をする [「あんばいゆ あす」
 でもよい])。

あんぱつ [ampatsi] 【動詞】[c/t 語幹]
 負債や責任を背負う。【例】うっかー
 んなない あんぱていーにゃーん (借
 金を全部背負った)。

あんぱつ [ampatsi] 【名詞】負債や責
 任を背負うこと、またその負債。【例】
 っづあが あんぱちゅぎゃー っづ
 あが あんぱつ あっそう (お前の借
 金はあなたが責任を負いなさい)。っづ
 あ たうかーひー うっかうぎゃー
 あんぱちゅーひー かっづい (お前
 一人で責任を取って借金をかぶれ)。

あんまーす [amma:si] 【形容詞】(気
 温や湿度のせいで) 気分が悪くなって
 いる。【例】きゅーや あてい あつ
 かいば あんまーすむぬ (今日は余り
 にも暑いので気分が悪い)。

い

い [i] 【接尾辞】～のころ [時期を表す接尾辞]。【例】くぬい (この頃)。ゆぬい ((前年と) 同じ頃)。きじゃい (祭日の頃)。

いー [i:] ① 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] 入る; (日、月が) 沈む。【例】っぞうー あんかい いりーにゃーん (魚は網に入った)。ていだの いーんかい いー (太陽が西に沈む)。[類] いり。② 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] (ものをなにかに) 入れる。【例】っぞうー あんかい いり (魚を網に入れろ)。[類] いり。③ 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] (雨、雷など天候が) 収まる。【例】あみゃー いりーにゃーん (雨はやんだ)。あまいなうや いりーはりーにゃーん (竜巻はおさまった)。かでいふっちゃ いりーにゃーん (台風はおさまった)。ん[°]むー いりーにゃーん (雲はなくなった)。[類] いり。

いー [i:] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] 要る、必要だ。【例】っづあー でいんな いかっさ いーどうす (お前はお金はどれくらい要るの)。[類] いり。

いー [i:] 【名詞】 [B] 『魚』 エイ。【例】

かまんたいー (エイ)。うまん いーぬ うーぎゅーい (そこにエイが泳いでいる)。[類] かまんた、かまんたいー。

いー [i:] 【名詞】 [A] 入江。【例】いーんかい ふにぬ はいりっちゅーい (入江に船が入ってきた)。

いー [i:] 【名詞】 [A] 西。【例】ていだー いーんかい いー (太陽は西に入る)。いーにゃーなぎ (西隣辺り)。

いー [i:] 【名詞】 [B] 千枚通し、錐。【例】いーひー かびーゆ ぴーつ (千枚通しで紙に穴をあける)。

いー [i:] 【助詞】 『終助詞』 ね、ねー。【例】くぬいや っづあー まーぬ みーらいったん いー (最近は余り見えなかったね)。

いーがま [i:gama] 【名詞】 『地名』 昔、村立ての際に人々が池間から西原に入った入江。【例】いーがまん あんぬ はい (イーガマに網を張る)。

いーがま くーがま [i:gama ku:gama] 【成句】 至る所、どこも。【例】ぶとらー いーがま くーがま とう

みー まーいたい (夫をそこらじゅう探し回った)。

いーき [i:ki] 【動詞】 [母音語幹] [A] (ウロコを) はがす。【例】 っぞうぬ いーきゅー いーきでい (魚の鱗をはがそう)。[類] いーつ。

いーき [i:ki] 【名詞】 [B] ウロコ。【例】 はだらぬ いーきゃー かたかいば はずぐりむぬ (やくしまイワシの鱗は硬くて剥がしにくい)。っぞうぬ いーきゅー はず (魚の鱗を剥ぐ)。[変異] いーつ。

いーさ [i:sa] 【名詞】 [C] 『蔑称』 聾啞者 (ろうあしゃ)。【例】 いーさむぬい (手話)。

いーじゃとう [i:zatu] 【名詞】 『地名』 西原の北支部 (にぬは)、西支部 (さいぬは) を合わせた地名。【例】 いーじゃとう ぶとう むつていがー あかじゃら ばんまいよ (イージャトゥの夫を持つとベラの食事だけだよ [アカジャラは魚の名前で、小さく鱗も剥ぎにくく美味しくない。まずい魚の代表])。

いーつ [i:tsi] 【動詞】 [k 語幹] [C] 煎る。【例】 まみゅー いーつ (豆を煎る)。いーつまみ (煎った豆)。[変異] いーふ。

いーつ [i:tsi] 【名詞】 [B] ウロコ。[変異] いーき。

いーつ [i:tsi] 【動詞】 [k 語幹] [C] (ウロコを) はがす。【例】 っぞうぬ いーきゅー いーかでい (魚の鱗をはがそう)。[変異] いーふ。[類] いーき。

いーなずき [i:naziki] 【名詞】 いいなづけ。

いーにゃー [i:nja:] 【名詞】 西隣。【例】 いーにゃーなぎ (西隣辺り)。いーにゃーや やまこー (西隣はヤマコー)。

いーばー [i:ba:] 【感動詞】 好都合だ、良かった。【例】 うむい うたいんつきゃー やすだい、いーばーがま (思ってたより安いね、ラッキー)。

いーばー まいだー (良かった)。いーばーがま (よかった)。むいとう いーばーがま (とってもよかった)。っぞうー ふいーっじゃ、いーばーどう っちゃー (魚くれるんだって、来て良かったね [ふいーっじゃ<ふいーでい+ちや (「くれる」の意志形+伝聞の接辞)])。きゅーや かでいふっちゃひー がっこーや にゃーんちゃ、いーばーまいだー (今日は台風で学校は休みだって、良かったよね)。

いーふ [i:fu] 【動詞】 [k 語幹] [C] 煎る。[変異] いーつ。

いーふ [i:fu] 【動詞】 [k 語幹] [C] (ウロコを) はがす。[変異] いーつ。[類] いーき。

いーゆまい あがいゆまい

[i:jumai agaijumai] 【成句】西も東も。

【例】からー いーゆまい あがいゆまい っさん (あいつは西も東も知らない [>なにも分からない])。

いかーす [ika:si] 【動詞】 [s/h 語幹]

(何かを取るため、捕まえるために手を) 伸ばす。【例】ていーや いかーひー かっーそう どうい みやらまてい (手を伸ばしてお菓子を取って食べてください)。

いかう [ikau] 【動詞】 [w 語幹] [A]

(綱、糸、木等が何かに) 届く。【例】うぬ くばずーぬ ん^oなー まるかいは いかーいん (この釣瓶の綱は短くて届かない)。

いかがら [ikagara] 【名詞】 (何に使うかわからない) 得体のしれないもの、

正体のわからない人; 変な状況。【例】うらー いかがらむぬ (それは妙なものだ)。いかがらむぬーぎゃー すてい (何に使うかわからない得体の知れないものは捨てろ)。うぬ みどうんな いかがらみどうん (この女性は正体がしれない人だ)。いかがらむぬ、うまん あたい っぞうぬどう にゃーだ んぎーにゃーん (おかしいな、ここにあった魚がなくなってしまった)。

[変異] いきやがら。

いかがら [ikagara] 【形容詞】 (何に使うかわからない) 得体のしれない、(人

などが) 正体のしれない; (状況などが) 変だ。 [変異] いきやがら。

いかっさ [ikassa] 【名詞】『疑問詞』も

のの値段、量、そこまでの距離を尋ねるときにつかう使う疑問詞、いくら、どれくらい。【例】うぬ っぞうー いかっさが だい (この魚の値段はいくら?)。うぬ うっさ ひとついん っさうぎゃー いかっさばかーい ふあうどうす (この牛は一日にどれくらいの草を食べますか)。くまから っさらたーひー あいつていがー いかっさばかーい かかいどうす (ここから平良まで歩くとどれくらいかかりますか)。くまから いきまたーひや いかっさばかーい あり やいば (ここから池間までの距離はどれくらいあるの)。くぬ ばそこんぬ んぶさー いかっさばかーい あり (このパソコンはどれくらいの重さがありますか)。[類] いさか、いさき。

いかっさまい [ikassamai] 【副詞】い

くらでも、(否定を伴って) いくらも。【例】うらー むぬーぎゃー いかっさまい ふあうどうす (あいつは飯をいくらでも食べる)。でいんな いかっさまい かしどうす (お金はいくらでも貸すよ)。からー むぬーぎゃー いかっさまい ふあーっだん (あいつは食べ物あまり食べなかった)。

いから [ikara] 【形容詞】 [B] (量が) 少

ない。【例】ういがどう いからかい

(これが少ない)。うらー いから (それは 少ない)。うらー いからかいばー っじじゃーん (これは少ないからもらわない)。[類] いからさ。

いからさ [ikarasa] 【形容詞】(量が) 少ない。【例】ういがどう いからさ (これが少ない)。[類] いから。

いがんぐい [igangui] 【名詞】遺言。【例】いがんぐいゆ っふあんみんかい あす (遺言を子供達にする)。ぱーが いがんぐいゆ っふ (おばあさんの遺言を聞く)。

いきや ふーふー [ikija furu:] 【成句】頻繁に行ったり来たりすること。【例】むとうやーんかい いきや ふーふー あす (実家に頻繁に行き来する)。

いきやがら [ikjagara] 【形容詞】(何に使うかわからない) 得体のしれない、(人などが) 正体のしれない; (状況などが) 変だ。[変異] いかがら。

いきやがら [ikjagara] 【名詞】(何に使うかわからない) 得体のしれないもの、正体のわからない人; 変な状況。[変異] いかがら。

いさうがん [isaugan] 【名詞】《生物》岩ガニ科モクズガニ。

いさか [isaka] 【名詞】[C] 《疑問詞》ものの値段、量、そこまでの距離を尋ねるときに使う疑問詞、いくら、どれくらい。[類] いかっさ、いさき。

いさき [isaki] 【名詞】[C] 《疑問詞》ものの値段、量、そこまでの距離を尋ねるときに使う疑問詞、いくら、どれくらい。[類] いかっさ、いさか。

いさぐ [isagu] 【名詞】[C] 咳。【例】いさぐー あす (咳をする)。かじゃーひきどう いさぐー ほうー (風邪ひいて咳している)。いっだいびとうーいつまい いさぐーどう あす (喘息の人はいつも咳をする)。

いさら [isara] ①【名詞】[B] (畑の) 石ころ。【例】かまー いさらぬどう はーさ あい (あそこは石ころがたくさんある)。②【形容詞】[A] (畑が) 石ころだらけだ。【例】うまー いさらかいば ならん (そこは石ころだらけだ)。

いさらばい [isarabai] 【名詞】石ころだらけの畑。【例】いさらばいんなんーぬ いびぼどう じゃうかい (石ころだらけの畑には芋を植えると良くできる)。[類] いすぐーばい。

いしだ [içida] 【名詞】[C] 《魚》ヒレナガスズメダイ [カツオの餌になる赤い小さな魚、「ジャグ」の一種]。[変異] いすだ。[類] むぎゃ。

いじゃ [iza] 【名詞】[C] 《疑問詞》場所を尋ねる疑問詞、どこ。【例】かいがやーや いじゃ (彼の家はどこだ)。っぐあー いじゃんかいが (お前はどこに(行くの)か [朝の挨拶に使う])。かりやー いじゃんかいどう はりーにやー (あいつはどこに行ったの)。うぬ

っぞうー いじゃんまい うり (この魚はどこにでもいる)。からー いじゃんかい いかばんまい んーなからかなっさ ひらいゆー (あの人はどこに行っても人気者だ)。**[変異]** んじゃ。

いじゃー [iza:] **【名詞】** [C] どれくらいの長さ、距離。 **【例】** いじゃー ばかーい (どれくらいの長さ、または距離か)。**[類]** いなぎ、うなぎ。

いじやい [izai] **【名詞】** [B] 足が不自由で立って歩けない人。 **[類]** いじやら。

いじやい [izai] **【名詞】** [A] 夜の漁、漁(いさ)り。 **【例】** いじやいや ゆいぬ いん (漁りというのは夜の漁のことだ)。いじやい あすが いつ (漁りに行く)。

いじやう [izau] **【動詞】** [w 語幹] [C] (約束して) 会う、(偶然に) 出会う。 **【例】** どうすんかい いじやうが いつ (友達に会いに行く)。きゅーや すかまぬ あいば っづあとうや いじゃーいん (今日は仕事があるのであなたとは会えない)。かいんかいや ゆながい いじやいや みーっだん (彼には長い間会っていなかった)。きゅーや やびとうーんなとう いじゃーいーやぐみ ほうからすむぬ (今日は皆さんと会えてとてもうれしいです)。ん°ぬ かいんかい いじやうたい (昨日、彼に出会った)。

いじゃどうーす かまどうーす [izadu:si kamadu:si] **【成句】** 方々、あちこち。 **【例】** やらびやー いじゃどうーす かまどうーす とうみ たいそうが とうみらいっだん (子供は方々探し回ったが見つけれなかった)。**[変異]** んじゃどうーす かまどうーす。

いじやまい かままい [izamai kamamai] **【成句】** あちこち。 **【例】** やらびゆー いじやまい かままい とうみーまーい (子供をあちこち探し回る)。

いじやら [izara] **【名詞】** [C] 足が不自由で立って歩けない人。 **[類]** いじやい。

いす [isi] ① **【名詞】** [B] 大漁；運がいいこと。 **【例】** きゅーぬ いんな やぐみ いす あたい (今日の漁は豊漁だった)。いっさ つきーどうー (運がついている)。**[変異]** いそう。② **【形容詞】** [A] 大漁だ；運がいい。 **【例】** きゅーや むいとう いすかたい (今日は大漁だった)。**[変異]** いそう。

いす [isi] **【名詞】** [B] 石。 **【例】** いっそう っそー (石を拾う)。いすぐー ばい (石ころだらけの畑)。いっそう ゆーかーまんかい ちゅー (石を遠くに投げる)。

いす [isi] **【名詞】** [B] 椅子。 **【例】** いすん びー (椅子に座る)。

いず [izi] 【名詞】[C] 元気、勇氣。【例】
うりゃー いっじゃ にゃーんまり
えいば なうまい ひらいん（彼は
意気地なしなのでなにもできない）。い
っじゅ いだし（元気を出せ）。あらい
ず（勝負するときなどの最初の意気込
み）。いっじゃ いだひー あいき（元
気を出して歩け）。やぐみ いず あい
びとう（とても元気のある人）。なう
ゆ あすんまい いずぬ にゃーだか
ー だみ（何をやるにしても元気がな
いとダメだ）。

いすうす [isiusi] 【名詞】石臼。【例】
いすうすひどう まみゆーぎゃー ひ
つ（石臼で大豆を引く）。

いすぐー [isigu:] ①【名詞】小石。【例】
いすぐーばい（小石の多い畑）。うまー
いすぐー（あそこは石ころだらけだ）。
②【形容詞】小石だらけの。

いすじゃやふ [isizajafu] 【名詞】石
工。

いすだ [isida] 【名詞】[C] 《魚》ヒレ
ナガスズメダイ [カツオの餌になる赤
い小さな魚。「ジャグ」の一種]。【例】
かっちゆぬ びじゅていー いすだう
とうい（カツオの餌としてイシダを
取る）。[変異] いしだ。

いすぬまら [isinumara] 【名詞】土
が丸く固くなり石になっているもの。
【例】いすぬまらー とうすんまい な
いどうす（土が硬くなり石になったも
のは砥石にもなる）。

いすぬみー [isinumi:] 【名詞】《貝》
牡蠣（かき）[岩にくっついているカキ、
岩ガキ]。【例】いすぬみーゆ ぼりー
とうい ふあう（牡蠣を割って取っ
て食べる）。

いすばい [isibai] 【名詞】石灰。【例】
さたう にーとうきゃんな いすばい
ゆどう いら（黒糖を煮るときには石
灰を入れる）。うんどーかいんな いす
ばいひどう せんぬ ひつ（運動会に
は石灰で線を引く）。

いすぱぎ [isipagi] ①【名詞】（漁で）収
穫がないこと；（仕事で）成果がないこ
と。【例】きゅーぬ いんな いすぱ
ぎどう あたい（今日の漁は不漁だっ
た）。[変異] いそうぱぎ。②【形容詞】
（漁で）収穫がない；（仕事で）成果がな
い。【例】きゅーぬ いんな いすぱぎ
かたい（今日の漁は不漁だった）。[変
異] いそうぱぎ。

いすびとう [isibitu] 【名詞】獲物や
賞金などが多くとれる幸運な人。【例】
かりゃー いすびとう やいば きゅ
ーまい はーさ たくー とういふー
はず（彼は幸運な人だから今日も沢山
タコを取ってくるはずだ）。マサイや
いすびとう やいば ぱちんこん ま
きゃー くとうー にゃーん（マサイ
はくじ運の強いくやつだからパチンコ
で負けたことはない）。[変異] いそう
びとう。

いずびゃーき [izibja:ki] ①【名詞】

元気のある状態。【例】すかまー あすとうきやんな いずびゃーきぬどういつばん（仕事をするときには元気なのが一番大切だ）。かりゃー いずびゃーきひとつ（彼は元気のある人だ）。[類] いずぶた。②【形容詞】元気のある。【例】からー んぬ いじゃうたいとうきやんな いずびゃーきかたい（あいつは昨日会った時は元気だった）。[類] いずぶた。

いずぶた [izibuta] ①【名詞】元気のあること。【例】かぬ ばかむぬー やぐみ いずぶた（あの若者はとても元気がある）。[類] いずびゃーき。②【形容詞】元気のある。【例】かいがどういずぶたかい（あいつが元気がある）。[類] いずびゃーき。

いそう [isu] ①【名詞】[B] 大漁だ；運がいい。[変異] いす。②【形容詞】[A] 大漁だ；運がいい。[変異] いす。

いそうがす [isugasi] ①【動詞】[s/h 語幹] せかす、急がせる。【例】まーぬ いそうがすな（そんなに急がすな）。すかまうぎゃー いそうがし（仕事を急がせる）。②【形容詞】忙しい。【例】きゅーや ひとむていから いそうがすむぬ（今日は朝から忙しい）。

いそうぱぎ [isupagi] ①【名詞】（漁で）収穫がない；（仕事で）成果がない。[変異] いすぱぎ。②【形容詞】（漁で）収穫がないこと；（仕事で）成果がないこと。[変異] いすぱぎ。

いそうばぎゃ [isubagja] 【名詞】漁でなにも取れなかった人。

いそうびとう [isubitu] 【名詞】獲物や賞金などが多くとれる幸運な人。[変異] いすびとう。

いたき [itaki] 【動詞】[母音語幹] [A]（液体を）こぼす。【例】みっじゅ いたきー すている（水をこぼしてしまいなさい）。[類] いたつ。

いだき [idaki] 【名詞】[C] 《疑問詞》どれくらい（の高さ、の深さ、の値段）を表す疑問詞。【例】いだきばかーいぬ たかさ（どれくらいの高さ）。くぬやーや たかさー いだきばかーい（この家は高さはどれくらいですか）。くまから いんぬ そうくたーひー いだきばかーい あり（ここから海底までどれくらいの深さがありますか）。くぬ くるまー いだきばかーいひどうかーいー（この車はどれくらいで買える）。ばー でいんな いだきまいにゃーんば くぬ てれびゃー かーいん（私はお金はあまりたくさんないのでこのテレビは買えない）。

いだす [idasi] 【動詞】[s/h 語幹] [C]（外に）出す；（学校に）通わせる；（手紙を）送る；（お金を）出す。【例】とうかんていん っふあがまう あらんかい いだす（トゥカンティには子供を外に出す [トゥカンティは出産後 10 日前後のお祝い]）。っふあう がっこうんかい いだす（子供を学校に通わ

せる)。てがみゆー うつなーんかい
 いだはでいやいそうが でいんな い
 かつさ かかいどうす (手紙を沖繩に
 出そうと思うんだけどお金はいくらか
 かるの? [＜だそう+だけど])。でいん
 な いかつさ いだすがまた (お金は
 いくらだすの?)。

いだすうや [idasiuja] 【名詞】『祭礼』
 出産祝で赤子を戸外に出すお爺さん。

いだすぱー [idasipa:] 【名詞】『祭礼』
 出産祝で赤子を戸外に出すお婆さん。

いたつ [itatsi] 【動詞】 [k 語幹] [A]
 (液体を) こぼす。【例】みっじゅ い
 たつ (水をこぼす)。んっつーゆ いた
 つ (みそ汁をこぼす)。[変異] いたふ。
 [類] いたき。

いたふ [itafu] 【動詞】 [k 語幹] [A] (液
 体を) こぼす。 [変異] いたつ。[類]
 いたき。

いたらーん [itara:n] 【形容詞】つま
 らない、必要のない、馬鹿な。【例】あ
 いぬ いたらーん くとうーぎゃー
 ほうん (そんなつまらんことをするな)。
 いたらーん むぬいゆぎゃー あすな
 (つまらんことは言うな)。かいが あっ
 じゅー くとうー いたらーん (彼が
 言っていることはつまらない)。

いちころ [itçikoro] 【名詞】簡単であ
 ること。【例】うい あっさ いちこ
 ろ (これをするのは簡単だ)。

いちふ [itçifu] 【名詞】 [C] 従兄弟、従
 姉妹。 [変異] いちゆふ。

いちや [itçə] 【形容詞】 [B] (体が) 痛
 い。【例】くっづあ あがいや ひど
 う くっづあー いちやかいば なら
 ん (こむらがえりして ふくらはぎが
 痛くてならない)。ほうがさー いち
 やかいば ならん (おできは痛くてし
 かたがない)。ふすぶす やんかいば
 いちやかいば あいかいん (節々が痛
 むから痛くて歩けない)。かなまいや
 まーぬ いちやつふあにゃーん (頭は
 あまり痛くない)。いじゃぬどう いち
 やかいがよ (どこが痛いですか)。

いちや [itçə] 【名詞】 [B] 板。【例】う
 まぬ いちゃんかい かにふっじゅ
 うんき (ここの板に釘を打ちなさい)。

いちやます [itçamasi] 【動詞】 [s/h
 語幹] いじめる、苦しめる; 痛めつけ
 る。【例】あいや ひとつーぎゃー
 いちやまはん (そんなに人をいじめる
 な)。とうずんかいや なうまい ふい
 ーだ いちやます びきどうんな だ
 み (妻に (生活費を) なにも与えずに苦
 しめる男はだめだ)。ぱー かいん い
 ちやまはいにゃーん (私は彼に苦しめ
 られた)。じんとーぜいや むいとう
 ひとつー いちやますたいはず (人頭
 税はとても人を苦しめたはずだ)。かに
 ゆー なっじゅりー いちやますたい
 (カニをなぐって痛めつけた)。

いちゃん [itçan] 【動詞】 [m 語幹] [C]

痛む、苦しむ。【例】つむー いちゃみー
ーどー (頭が痛い)。じんとーぜいひ
ー ひとつー いちゃんたいはず (人
頭税で人は苦しんだはずだ)。

いちゃん [itʃan] 【名詞】 [C] 痛み。

【例】かなまいぬ いちゃんていや に
やーん (頭の痛みなどはない)。

いちゃん [itʃan] 【名詞】 [C] 腰巻、長

じゅばん。【例】いちゃん ふかすま
ーい (腰巻めくり [現在のスカートめ
くりのいたずらにあたるもの])。

いちゆ [itʃu] 【名詞】 [C] 糸。 [変異]

いとう。

いちゆに [itʃuni] 【名詞】 [C] 高い音

調。【例】みゃーくぬ あーぐー い
ちゆに (宮古の歌は高い音調だ [宮古
民謡「とうがにあやぐ」から])。

いちゆふ [itʃufu] 【名詞】 [C] 従兄弟、

従姉妹。【例】いちゆふー きよーだ
いぬ んまりむぬ (いとはきょうだ
いみたいなもの)。ゆまん ほうんぬ
いちゆふんかい ゆるきたい (読まな
くなった本をいところに譲った)。またい
ちゆふ (またいところ)。[変異] いちふ。

いちゆま [itʃuma] 【名詞】 [C] 休み、

暇。 [変異] いとうま。

いつ [itsi] ① 【動詞】 [k 語幹] [A] 行く。

【例】きゅーまい すかまんかい い
つ (今日も仕事に行く)。っさらんかい
いきーくー (平良に行って来い)。け

んちじぬ まいんかい いつ (県知事
を訪問する)。かいまたんかい あいき
ー いつ (狩俣に歩いていく)。しーと
うー ゆみーいつていがー たうかー

みーっだん (生徒をかぞえていった
ら一人いなかった)。いっでいーいつ
むぬー くーかいばならん (生きてい
くのは苦しくて仕方がない)。[変異] い

ふ。②【補助動詞】 [k 語幹] (動詞連用
形について) ~ていく (「場所から離れ
ていく」「時間の経過とともに変化して
いく」など) の意味を添える。【例】こ

がにまるー さんじん いでいーいつ
ちゃ (黄金丸は三時発だって [＜出てい
く (スケジュールが三時という意味)])。

らんぶぬ うまっちゃ ひーちゃな
ー きゃーりーいつ (ランプの灯が少し
ずつ消えていく)。[変異] いふ。

いつ [itsi] 【名詞】 [C] 息；命；勢い、元

気。【例】ばー あてい うだいやひど
う あてい っふあいやひどう ひと
また あいつきやー いっちゃ は一
みきーどー (私はとても太っているので一
股歩くと息がハーハーする)。

ばーや んめ いっちゃ にやーん (お
ばあさんはもう息を引き取っている)。

あてい ほうからすかいば いつまい
ひらいん (とてもうれしくて息もで
きない)。ながいつびとう (息を長く止
められる人；長命の人)。

ばが いつぬ
あいきやー うぬきやん まきやな
らん (私が元気があるうちはあいつら
に負けてはならない)。

いつ [itsi] 【名詞】[A]《疑問詞》いつ。

【例】いつ うつなーんかい（いつ沖縄に（行くの）?）。いつどう じゃうかいが（いつがいいですか）。からー いつ っちゅーががら っさいっだん（あいつがいつ来たかわからなかった）。いつまい くー（いつでも来い[「いつやらばんまい くー（いつでもいいから来い）」と同じ意味]）。ばー いつまい さんじんどう うきー（わたしはいつも三時に起きる）。

いっづあす [ivvasi] 【動詞】[s/h 語幹]

「ゆー（怖がる、恐れる）」の使役形、「怖がらせる」。【例】やぐいや かきー いっづあす（大声をあげて驚かす）。かいん いっづあはいにやーん（あいつにビックリさせられた）。

いっづい [ivvi] 【動詞】[母音語幹]

[A] 恐がる。【例】かりやー なうゆまい いっづいん（彼は何事をも怖がらない）。やらびやー っづあうぎやー いっづいーどうー（子供はあなたのことを怖がっている）。やらびやー かりゆーぎやー ほうーぐる いっづい。（子供は彼を恐れ怖がっている）。いんぬぎやー いっづいだうり（犬を恐がるな）。かりやー なうゆまい いっづいん はてい みどうん（彼女は何をとも恐れない強い女性だ）。[変異] うーづい。[類] うー。

いつか [itsika] 【名詞】[A]《数詞》五日。

いっかうー [ikkau:] ① 【動詞】[vv 語幹]

（水等を）ひっ被る。【例】みっじゅ かなまいから いっかうづいー にやーん（水を頭からひっかぶった）。② 【動詞】[vv 語幹]（借金などを）かぶる。【例】うっかう いっかうづいー にやーん（借金をひっかぶった）。

いつががら [itsigagara] 【副詞】いつ頃か。

【例】うつなーんかい いったいむぬー いつががらどう あたいががら うぶいや うらん（沖縄に行ったのはいつごろだったのか覚えていない）。

いっかうづあす [ikkavvasi] 【動詞】

[s/h 語幹]（水等を人に）ぶっかける；（水を自分で）かぶる。【例】やらびんかい みっじゅ いっかうづあす（子供に水を浴びせる）。かーんきー みっじゅ いっかうづあひー くー（井戸に行って水をかぶってこい）。[類] いっかうづあらす。

いっかうづあらす [ikkavvarasi]

【動詞】[s/h 語幹]（水等を人に）ぶっかける；（水を自分で）かぶる。[類] いっかうづあす。

いつがみまい [itsigamimai] 【副詞】

いつまでも。【例】っづあが くとぅー いつがみまい ぼっしらいん（あなたのことはいつまでも忘れません）。ゆながい まちゅーそうが かりやー いつがみまい くーん（長い間まっているが彼はいつまでも来ない）。うり

やー ていびふぎや やいば いつが
みまい うむくとうー いでいん (彼
はもの覚えがわるいやつだからいつま
でたっても知恵がつかない)。

いつから [itsikara] 【副詞】とっくに、
すでに。【例】からー いつから や
ーんかい はりーにやーん (彼はとっ
くに家に帰った)。[類] きさから。

いつき [itsiki] 【名詞】[C] 勢い、影響
力、健康で元気なこと。【例】っぎぬ
いつきぬ あいきやー っづあまい
わいてい かない (お父さんが元気
なうちにお前も頑張れ)。いつき あい
ひとつ (勢いのある人)。っぎー う
いびとうん なりー んみや いつき
やー にやーん (父は年を取ってもう
影響力はない)。

いつぐ [itsigu] 【名詞】[C] 普段、い
つも (使うもの、おいてあるもの、食
べるもの)。【例】いつぐー うまんか
いや いかん (普段はそこには行かな
い)。いつぐぬ むぬぬどう にやーん
(いつものものがない [＞普段使ってい
るもの、普段置いてあるもの])。

いっさ [issa] 【名詞】[B] 戦、戦争。
【例】いっさー ひーや ならん (戦
をしてはならない)。いっさゆー (戦の
世)。

いっず [izzi] 【動詞】[zz/dd 語幹] [C]
生きる。【例】すなだ わいていー
いっでい (死なないでしっかり生きな

さい)。ゆながい いっだんまい ならん (長い間生き
てもなんの役にもたたない)。[類] い
っでい。

いっだい [iddai] 【名詞】咳、痰、喘息。
【例】いっだいびとうー いつまい
いさぐーどう あす (喘息の人はいつ
も咳をする)。いっだいびとう ((病
気がちで) 咳をして痰を吐く人)。いっ
だいや ならん (喘息がとまらない)。

いっだす [iddasi] 【動詞】[s/h 語幹]
生き返らせる。【例】うーっふいー
すにーにやーん ひとつー いっだす
(溺れて死んだ人を生き返らす)。

いっだま [iddama] 【名詞】人を呪う
こと、呪いの言葉を使う。【例】ひと
うー いっだま あすていがー うな
が どうーんかいどう ふー (人を呪
うと自分に来る [＞人を呪わば、穴二
つ])。ひとつーぎやー いっだまうぎや
ー ほうん (人を呪わない [＞人をを呪
ってはいけない])。いっだまー ひー
ぬるー (呪いの言葉を使って呪う)。

いっちやー っさん [ittçɑ: ssan]
【成句】自制が効かない、分別のない。
【例】まーぬ いっちやー っさん む
ぬふあいゆぎやー あすな (あまり分
別のない食べ方はするな)。かりやー
つむでいていがー いっちやーっさん
ほうりむぬ (彼は怒ると自制心が効
かなくなる馬鹿者だ)。まーぬ いっち

やー っさん むぬいゆぎやー あすな (あんまり馬鹿なことは言うな)。

いつつ [itsitsi] 【名詞】 [A] 《数詞》 五つ。

いつっふい [itsiffi] 【動詞】 [母音語幹] 息があがる、息ができない。 [類] いつふー。

いっでい [iddi] 【動詞】 [母音語幹] [C] 生きる。 [類] いっず。

いっとうつ [ittutsi] 【名詞】 一時、すこししたら。 【例】 うぬくとうー いっとうつぬ ばんがま (そのことは一時的なものだ)。うりやー いっとうつんな むどういどうす (彼はちょっとしたら戻ってくる)。

いつなんどうつ [itsinandutsi] 【成句】 いつ何時。 【例】 いつなんどうつないぬ ふーががら っさいん (いつ何時地震が来るかもしれない)。

いつぬにー [itsinuni:] 【名詞】 息の根。 【例】 いつぬにーぬ ふかつでいー あすきや くらはいたい (息の根が止まるほど殴られた [「いつぬ にーゆ (息の根を)」でもよい])。

いつぬひとう [itsinuhitu] 【名詞】 《数詞》 五人。

いつばかーい [itsibaka:i] 【名詞】 いつ頃。 【例】 っづあー やーにやー いつばかーいんどう ふーがまた (あ

なたは来年はいつ頃来るのか)。 [類] いつなぎ。

いつふー [itsifu:] 【動詞】 [f/ff 語幹] 息があがる、息ができない。 【例】 だりー いっちゃ ひらいんばかーい いっつっふいー うたい (疲れて息もできないくらい喘 (あえ) いでいた)。 [類] いつっふい。

いつまい [itsimai] 【副詞】 いつも。 【例】 かぬきやが ふたーいや いつまい ひとうみ (あの二人はいつも一緒だ)。いつむすがまうぎやー かなっさ あっそう (動物をかわいがりなさい)。

いつむす [itsimusi] 【名詞】 家畜、ペット; 動物。 【例】 いつむすんな むぬーまい ふいー みっじゅまい ぬまし (家畜に餌もやり、水も飲ませろ)。じょー、 どうーまい いつむすがまう、まゆがまう つかないでい (さ、私たちもペット、猫を飼いましょ)。やまぬ いつむっそうぎやー かつまだうり (山の生き物は捕まえるな [山に住んでいる生き物は病気を持っていることが多いから])。やーぬ いつむっそう つかなう (家畜の世話をする)。

いつむどうい [itsimudui] 【名詞】 往復。 【例】 きゅーや っさらとうぬ いつむどういや あいきー だりーどうーい (今日は平良との往復を歩いて疲れている)。

いつむん [itsimun] 【名詞】親戚。

【例】ばんちゃー いつむん（私たちは親戚だ）。

いつんつ [itsintsi] 【名詞】往路、行く途中。

【例】むとうやーや がっこうんかい いつんつんどう あい（実家は学校に行く途中にある）。

いでい [idi] ① 【動詞】[母音語幹] [C]

（外に）出る、（偉い人物が）出る。【例】あらんかい いでいー あそー（外に出て遊ぶ）。いでいー はり（出ていけ）。すかまんかい いでいー はたい（仕事に出ていった）。いでいふつからいでいる（出口から出る）。ぬーからどうぶっさ いでいー（恵まれない家庭から偉人は生まれる）。② 【動詞】[母音語幹] [C] 発生する、発症する。【例】すばいがまぬどう いじゅー（コバエが発生している）。さみかうしゃーや いでいー かうかいば ならん（疥癬が出て痒くてしかたがない）。

いでい [idi] 【名詞】[A] 《疑問詞》ど

っち、どれ [人でも物でも可]。【例】いでいがどう っぐあが みどうんっぐあ（どっちがあなたの娘だい）。っぐあー いじゅー とうらでい（君はどっちを取るの）。くいとう くいとうや いでいがどう ます（これとこれとはどっちがいい [[わらべ歌「ナビンマヤーヌ ムク」にでる文句、日常語でも使う]]）。[変異] んでい。

いでいーはいーふつ [idi:hai-

futsi] 【名詞】出入口、戸口。【例】っぐ

あが やーぬ いでいはいーふつん たつていがー たるまい やーなかんかい はいらいんだらよ（お前が戸口に立ったら誰も家の中に入れないよ）。[変異] いでいはいふつ、いでいーはいふつ、いでいはいーふつ。

いでいーはいふつ [idi:haifutsi]

【名詞】出入口、戸口。[変異] いでいーはいーふつ。

いでいーいー [idii:] 【名詞】（人の）出

入り、往来。【例】やどうふっちゃ いでいー あす どうくま（玄関は出入りする所だ）。くまー にんぎんぬまーぬ いでいーや にやーん とうくま（ここはあまり人の往来がないところだ）。

いでいそうるー [idisuru:] 【動詞】

[w 語幹] 出揃う。【例】きゅーや やびとうんーな いでいそうるい ふいーさまい やぐみ すでいがほー（今日はみなさんおそろいいただきありがとうございます）。まみがはなー いでいそうるいーよー（豆の花は出揃っているよ）[[古謡 豆が花から。次に「つゆがはなー さきそうるいーよー（露の花は咲き揃っているよ）」と続く。古謡では一般に対句を成し韻を踏む]]。[類] いでそうるい。

いでいはいーふつ [idihai:futsi]

【名詞】出入口、戸口。[変異] いでいーはいーふつ。

いでいはいふつ [idihai futsi] 【名詞】出入口、戸口。〔変異〕いでいはいーふつ。

いでいみー [idimi:] 【名詞】分担金。【例】つうあが いでいみーや いちまんえん（お前の出し分は1万円だ）。〔類〕はらいみー、いでいみーはらいみー。

いでいみーはらいみー [idimiharaimi:] 【名詞】分担金。〔類〕いでいみー、はらいみー。

いでそうるい [idesurui] 【動詞】〔母音語幹〕出揃う。〔類〕いでいそうるー。

いとう [itu] 【名詞】〔C〕糸。【例】はいんかい いとうー っちゃんつ（針に糸を通す）。〔変異〕いちゅ。

いとうま [ituma] 【名詞】〔C〕休み、暇。【例】かりやー がんじゅーかいば ひとついぬ いとうままい にやーん（彼は健康だから一日の休みもない〔>健康で休みをとらない〕）。〔変異〕いちゅま。〔類〕ゆくい。

いнау [inau] 【名詞】〔C〕内海、リーフと島との間の内海。【例】みがにまーいゆ いнауん あす（素潜り漁を内海です）。いнауんどう たくまいうい（内海にタコもいる）。

いなぎ [inagi] 【名詞】〔C〕〔疑問詞〕長さ、高さ、幅、距離、どれくらい。【例】くぬ ん[°]なー いなぎばかーいあり（この綱の長さはどれくらいあ

るの）。かいが たかさー いなぎばかーい（あの人の背の高さはどれくらいあるの）。くぬ だいぬ はばー いなぎばかーい（この台の幅はどれくらいなの）。っさらたーひー いなぎばかーい（平良までどれくらい距離があるの）。〔類〕いじゃー。

いなびかい [inabikai] 【名詞】稲光。【例】いなびかいや ひかりどう かんないまい なりゅー（稲光が光って雷もなっている）。

いばい [ibai] ① 【動詞】〔r/rr 語幹〕〔A〕威張る；自慢する。【例】うやきていー まーぬ いばいな（金持ちだと言って余り威張るな）。つふあぬどう りゅーだいんかい はいりーにやーんていー いばるー（子供が琉大に入ったと言って自慢している）。② 【名詞】〔A〕威張ること；自慢すること。【例】からー うむくとうあい ひとつ やいばまーぬ いばいていーまい にやーっだん（あの人は賢い人だから自慢ということはあまりなかった）。

いばいさー [ibaisa:] 【名詞】威張ること；自慢すること；ほら吹き、自慢する人。【例】からー いつまい むいとうぬ いばいさー だら（彼はいつも威張る奴だよ）。たくーぎやー まーぬ とういや くーんそうが はーさとういつちやーてい いばいさー やい（たこをたくさん取ってはこなかったけれどたくさん取ったと自慢ばか

りしている)。からー でいんな はー
さ ありーどうーてい いばいさー
やいだらよ (彼はお金はたくさんある
とって威張ってばかりいるよ)。[類]
いばら。

いばら [ibara] 【名詞】[C] 威張る人。
【例】からー いばら だら (あいつは
威張るやつなんだ)。[類] いばいさー。

いび [ibi] 【名詞】[B] 御嶽のもっとも
神聖な場所 [ここでナナムイの儀式や
お祈りをする]。【例】いびんかい は
な、さき、まーそー うさぎが いふ
(イビに供物、酒、塩を供えに行く)。
ななむいぬ ぱーたー いびんどう
かんぬ にがう (七柱の巫女たちはイ
ビで祈願する)。

いび [ibi] 【動詞】[母音語幹] [A] (種、
苗を) 植える。【例】かふーん そー
ゆ いびー (屋敷内の畑に野菜を植える)。
ぶーっじゅ いびー (サトウキビ
を植える)。んーぎーゆ いび (芋づる
を植える)。ゆぬりゃ なりーどうーば
ぶーずまい いびだかーならん (そ
の時期になっているのでサトウキビも
植え付けられない)。

いびがん [ibigan] 【名詞】『生物』伊
勢海老。【例】いびがんぬぎゃー ゆ
いぬ いんな ひどう とうい (伊勢
海老は夜間の漁でとる)。いびがんぬ
んまさ あい むぬー にゃーん (伊
勢海老ほどうまいものはない)。

いひな [ihina] 【名詞】[C] 少しの量 ;
少しの時間。【例】ばが っじだまー
いひなふだー (私の取り分は少ない
[>これだけしかないのか])。だりーゆ
ーば いひながまやらばんまい ゆく
ーっさし (疲れているので少しだけで
も休ませてくれ)。

いびら [ibira] 【名詞】[C] 飯ヘラ、芋
をこねる細長い棒。【例】いびらひー
んーぬ ったつ (イビラで芋を叩く)。

いふ [ifu] 【接頭辞】『疑問詞』「たーい
(人)」、「つ (つ)」、「かいま (回)」、「か
ら (匹、頭)」、「うに (隻)」、「うず (本)」、
などの助数詞の前につき数量の疑問詞
を作る いくつ、いくら、なんにん、何
回、何匹、何隻、何本。【例】さうが
つ たーひーや んめ いふか あり
ーどう (正月までは後何日あるのか)。

いふ [ifu] ① 【動詞】[k 語幹] [A] 行く。
[変異] いつ。② 【補助動詞】[k 語幹]
(動詞連用形について)～ていく (「場所
から離れていく」「時間の経過とともに
変化していく」など) の意味を添える。
[変異] いつ。

いふーず [ifu:zi] 【名詞】『疑問詞』細
長い植物や芋を数える疑問詞、何本、い
くつ。【例】ぶーっじゅぎゃー ひと
うたいひー いふーずな まるつ (サ
トウキビは一束に何本束ねるの)。あん
でいらんな んーな いふーず あり
(この) アンディラには芋がいくつある

の [アンディラは芋を入れる網かご]。
[変異] いふすず。

いふか [ifuka] 【名詞】[A] 『疑問詞』 日にちを数える疑問詞、何日。【例】さうがつたーひーや んめ いふか ありーどう (正月まではあと何日あるの)。

いふかいま [ifukaima] 【名詞】『疑問詞』 回数を聞くための疑問詞、何回。【例】みゃーくんかいや いふかいま っていーだ (宮古には何回来たことがありますか)。やらびあいきゃー ひとついん いふかいままい いんかいや いきゅーたい (子供の頃は一日に何回も海に行っていた)。くぬ しばいや いふかいま みーばんまい うむっし (この芝居は何回見ても面白い)。
[類] いふん。

いふから [ifukara] 【名詞】『疑問詞』 生き物、家畜、魚の数を数える疑問詞、何匹、何頭。【例】っづあるが やーんな うっさ いふから うるーたい (お前の家には牛は何頭いたの)。

いぶぎ [ipugi] 【名詞】[C] 『疑問詞』 大きさ、高さ、重さを聞く疑問詞、どれくらい。【例】っぞうー いぶぎばかーい あた ((その) 魚はどれくらい大ききさだった)。からー たかさー いぶぎばかーい あり (あいつは身長はどれくらいあるの)。くぬ いっさ んぶさー いぶぎばかーい あり (この石の重さはどれくらいあるの)。
[変異] いほうぎ。

いふすず [ifusizi] 【名詞】『疑問詞』 細長い植物や芋を数える疑問詞、何本、いくつ。 [変異] いふーず。

いふたーい [ifuta:i] 【名詞】『疑問詞』 人の数を聞く疑問詞、何名、何人。【例】っづあー んまがー いふたーい ური (おたくのお孫さんはなんにんいるの)。きゅーぬ うぐなーいんか いや いふたーい ふーがまた (今日の集まりには何人来るの)。

いふつ [ifutsi] 【名詞】[A] 『疑問詞』 (年が) 何歳、(ものの数が) いくつ。【例】っづあー いふつ なりーどうー (あなたは何歳になったの)。かーっさ いふつ あり (お菓子はいくつあるの)。

いふん [ifun] 【名詞】[C] 『疑問詞』 回数を聞くための疑問詞、何回。【例】かいはかや いふん いじゃうどうすたー (あの人には何回会いしましたか)。ほうんぬぎゃー いふんまい いふんまい ゆんばどう うぶいらい (本は何回も繰り返して読めば覚えられる)。ひとつぬ なーや いふん つかばんまい うぶいらいん (人の名前は名前は何回聞いても覚えられない)。
[類] いふかいま。

いほうぎ [ihugi] 【名詞】[C] 『疑問詞』 大きさ、高さ、重さを聞く疑問詞、どれくらい。【例】っづあー っぞうだまー いほうぎ っじでい (あなたは漁の分け前をどれくらいにしようか)。ば

が まうきやー いほうぎまい にや
ーん (私の稼ぎはいくらもない)。[変
異] いぶぎ。

いみ [imi] 【名詞】 [B] 夢。【例】ば
ーが すがたぬどう いみん みーら
いうたい (おばあさんの姿が夢にでて
きた [＜見えていた])。ゆびやー んま
が いみゆー みーたい (昨晚は母の
夢を見た)。[変異] ゆみ。

いみ [imi] 【形容詞】 [B] 小さい。【例】
ばが やーぬどう んながーな いみ
かい (うちの家が一番小さい)。だいや
もんどー いみからばんまい じゃう
とうー (ダイヤモンドは小さくてもい
い)。うまんない いみ っぞうがまぬど
う はーさ うい (ここには小さな魚
がたくさんいる)。くいんつきや いみ
かい ちゃばんな むちーくー (これ
より小さい茶碗をもってこい)。ばー
ほういかいむぬ がばーかいむぬー
とうらでい やいば っづあー いみ
かいむぬー とうい (私は大きい方の
物を取るからあなたは小さい方の物
を取れ)。[類] ぐま。

いみ まそうー びとう [imi
masu: bitu] 【成句】 夢が正夢になる人。

【例】かりやー いみ まそうーびい
とう やいば かいが いみやー い
つまい あたりーどうー (彼は夢が正
夢になるひとなので、彼の夢はいつも
当たる)。

いみあみ [imiami] 【名詞】 小雨。【例】

あがい、いみあみがまぬどう っふゆ
ーい (あ、小雨が降ってる)。

いみかいきや [imikaikja] 【成句】 幼
いころ。【例】ばんちゃー いみかい
きやー きばん あたい (私たちは幼
ないころは貧乏だった)。

いみさみー [imisami:] 【成句】 見下
して見る事 [いみさ=小さいこと]。
【例】いみさみー あすな (見下して見
るな)。ひとうーぎやー いみさみー
ゆぎやー ほうん (ひとを見下すこと
をしない [＞他人を見下してはいけな
い])。

いみすず あみがま [imisizi
amigama] 【成句】 霧状の雨、小粒の雨。

いみすず んーがま [imisizi
n:gama] 【成句】 (育ち切っていない) 小
さい芋。【例】っさに んーがまうど
う いみすず んーがまていーまい
あい ((まだ育ち切っていない) ひげ根
芋を「いみすずんーがま」とも言う)。

いみずむ [imizimu] 【形容詞】 料簡が
狭い、人間が小さい。【例】いみずむ
んまり (度量が小さい人)。

いみでいーがま [imidi:gama] 【名
詞】 手が小さい; ケチな人。【例】みが
が ていーや やらびぬ ていーぬ
んまらーひー いみでいーがま (ミガ
の手はこどもの手のように小さい)。か
りやー いみでいーがま やいば ひ

とうんかいや なうゆまい ふいーん
 (彼はケチだから人には何も恵まない)。

いら [ira] ①【感動詞】『談話標識』話しはじめに言いよどむときにだすことば、あのね、えーと；『フィラー』つなぎ言葉として使うことば、ね、えーと。【例】いら、からー、いら あばらぎ(あのね、彼女はね、美人だ)。っづあー、いら なかん やらびどう あたい(あなたは、ね、泣かない子供だった)。いら、かぬ、いら(あのね あの、あのね)。②【助詞】『終助詞』文の最後に付けて念押ししたり、確認することば、いいかい。【例】ばんまい いかでい、いら(私も行くよ、いい)。

いら [ira] 【名詞】[C] (魚の) 鰓(えら)。【例】っぞうー ばっじゃう とうきやんな いらうまい とうい(魚をさばく時にはエラも取りなさい)。

いらう [irau] 【名詞】[B] 『地名』伊良部。

いらう [irau] 【動詞】[b 語幹][C] (人)を選ぶ、(くじなどを)選ぶ。【例】すまぬ そうじゃっそうー いらう(村の役員を選ぶ)。っづあが じゃうかいていー うむー ふっじゅ いらび(君がいいと思うくじを選びなさい)。

いらうつ [irautsi] 【名詞】『魚』ブダイ。

いらじゃーらん [iraza:ran] 【成句】必要のない、要らない[動詞「いらじゃ

い」の否定形「いらじゃらん」と同じ意味]。 [変異] いらじゃらーん。

いらじゃい [irazai] 【形容詞】必要のない、要らない。【例】いらじゃい むぬいゆぎやー あすな(要らないことを言うな)。

いらじゃい [irazai] 【動詞】[r/rr 語幹] 要る、必要だ。【例】いらじゃらん むぬいゆぎやー あすな(いらんことをいうな)。うぬ とうきやー みやーすかたいば でいんな いらじゃらだ ふあーいどうすたい(そのころは生活が楽だったので、金も要らずに生活できた)。っづあ でいんな いかっさばかーい いらじゃいどうすが(お前は金はどれくらい要るのか)。

いらじゃらーん [irazara:n] 【成句】必要のない、要らない[動詞「いらじゃい」の否定形「いらじゃらん」と同じ意味]。 [変異] いらじゃらん、いらじゃらーん。

いらじゃらん [irazaran] 【成句】必要のない、要らない[動詞「いらじゃい」の否定形「いらじゃらん」と同じ意味]。 [変異] いらじゃらーん。

いらびーつー [irabi:tsi:] 【動詞】[ccc/ttt 語幹] 厳選する [＜選び＋切る]。【例】うまぬ っぞう なかから じゃうかいむぬー いらびっちー みーる(そこの魚のなかからいいものを選んでみる)。[類] いらびってい。

いらびってい [irabitti] 【動詞】[母音語幹] 厳選する [＜選び＋切る]。
[類] いらびーつー。

いらびってい [irabitti] 【副詞】選
びに選んで、精選して。【例】いらびっ
てい とうい (精選して (いいものを)
取れ)。

いり [iri] ①【動詞】[母音語幹] [A] 入
る。[類] ぃー。②【動詞】[母音語幹]
[A] (太陽、月が) 沈む; (夜が) 更け
る。【例】ていだー いりーにゃーん (太
陽は沈んだ)。ゆーや いりーにゃーん
(夜は更けた)。[類] ぃー。③【動詞】[母
音語幹] [A] (雨、雷など天候が) 収ま
る。[類] ぃー。

いり [iri] ①【動詞】[母音語幹] [A] 入
れる。【例】みっじゅぎゃー どん
ない いりる (水はどんどん入れなさい)。
[類] ぃー。②【動詞】[母音語幹] [A]
(ものをなにかに) 入れる。[類] ぃー。

いり [iri] 【動詞】[母音語幹] [A] 要る、
必要だ。[類] ぃー。

いりずみ [irizimi] 【名詞】刺青。【例】
いりずみゆー ほうー やくざぬ う
い (刺青をしているヤクザがいる)。[類]
はずつ。

いりばー [iriba:] 【名詞】入れ歯。
【例】ばー はーや にゃーんばどう
いりばーゆ ひーゆー (私は歯がない
ので入れ歯している)。

いりびたい [iribitai] 【名詞】入り浸
ること。【例】かりゃー いつまい
かまぬ やーんどう いりびたいやひ
ー むぬー ふあいゆー (彼はいつも
向こうの家に入り浸りして飯を食って
いる)。

いりよー [irijo:] 【名詞】必要、入用。
【例】でいんな いつまい いりよー
(お金はいつも必要なものだ)。でいんぬ
いりよーぬ とうきゃんな いつま
いあっじ (金が必要な時にはいつでも
言いなさい)。

いん [in] ①【名詞】[C] 海 [提題形、
第二目的格形は「いんな」、目的格形は
「いんぬ」であるが、80代後半以上の世
代ではそれぞれ「いんま」、「いんむ」に
なる。【例】かりゃー いんかい は
りーにゃーん (彼は海に行った)。いん
ぬ かじゃ (海のおい)。いんぬ あ
いつ (漁に出る [＜海を歩く])。じょ
いんかい うーずが (海に泳ぎに (行こ
う))。②【名詞】[C] 漁。【例】いんかい
(漁に (行く))。かまんどう いんうり
びとうぬ みーらいゆー (向こうで漁
をしている人が見られる)。いじゃいや
ゆいぬ いん (漁りは夜の漁)。いん
まーい (海に行くこと、漁に出ること)。
いんびとうんみ (漁師たち)。いん う
りが (漁に (行く))。いん あす ひと
う (漁師)。いんしゃー (漁師)。

いん [in] 【名詞】[B] 犬 [「いん (海)』
と異なり、提題形、第二目的格形は「い

んな)、目的格形は「いんぬ(犬を)」で、80代後半以上の世代でも「いんま、いんむ」となることはない。【例】いんかい むぬー ふいーる(犬にエサをあげなさい)。いんぬ ぶいーゆー(犬が吠えている)。いん つふあいにかーん(犬に噛まれた)。いんな むぬー ふいーきやたーひーや びーないや とうんま ほうだ むゆかん(犬は餌を与えるまでは微動だにせず動かない)。

いんうす [inusi] 【名詞】『生物』ウミウシ。

いんかないびとう [in kanaibitu] 【名詞】良い漁師。【例】まさいや むいとうぬ いんかないびとう(マサイはとても良い漁師だ)。

いんぐな [inguna] 【名詞】祝いの時などに漁に出る担当者たち。【例】ばー きゅーや いんぐな やいば いんいきー っぞうー とういーくーでい(私は今日は祝い漁担当なので漁に行き魚を取ってこよう)。

いんくらしや [in kuraça] 【名詞】犬の屠殺(とさつ)を生業にしている人、犬捕り。

いんしゃー [inçã:] 【名詞】漁師。【例】いんしゃーたー きゅーまい いんかい(漁師たちは今日も海に(行く))。【類】いんまーら。

いんじゃう [inçau] 【名詞】良い漁師。【類】いんばう、いんしゃー。

いんだうー [indau:] 【名詞】漁具。【例】いんだうーゆ そうるい(漁具をそろえろ)。

いんとう まゆ [intu maju] 【成句】犬猿の仲 [＜犬と猫]。【例】うぬきやが ふたーいや いつまい いんとう まゆ(彼ら二人はいつも犬猿の仲だ)。

いんどうい [indui] 【名詞】海鳥。

いんどうい [indui] 【名詞】『魚』ミノカサゴ。【例】いんどういぬ つーずんな どくぬどう あい(ミノカサゴの刺には毒がある)。

いんにんじゅ [inninzu] 【名詞】(一緒に船に乗って漁に行く)漁師仲間。【例】ばんていが いんにんじゅ いつぬ ひとつ(私たちの漁のメンバーは5名だ)。

いんぬ いそう [innu isu] 【成句】大漁 [＜海の幸]。【例】きゅーまい いんぬ いそう つきどうーたい(今日も大漁だった)。

いんぬ すばな [innu sibana] 【成句】岸壁。【例】いんぬ すばなんかい んぬーい(岸壁にのぼる)。

いんぬ むー [innu mu:] 【成句】海の藻。【例】ふゆん ないていがー いんぬ むーぬ ゆー うい(冬になると海の藻が良く生える)。

いんぬーまがま [innu:magama] 【名詞】『生物』タツノオトシゴ。【例】

いんぬーまがまー びきむぬぬどう
 っふあうぎゃー なすちや (タツノオ
 トシゴは雄が子供を産むらしい)。

いんばい [imbai] 【名詞】好色な女性、
 不倫女。【例】いんばいやーや かた
 なばー (好色女の家は争いがたえない)。
 いんばい みどうん (淫売婦)。

いんばう [imbau] 【名詞】《生物》ウ
 ミヘビ (毒をもつ)。

いんばう [imbau] 【名詞】優秀な漁師。
 [類] いんじゃう、いんかないびとう。

いんばた [imbata] 【名詞】海のちか
 く (浜辺も含む)。【例】いんばたや
 ー (海の近くの家)。いんばたう あい
 つ (浜辺を歩く)。ふにゅーぎゃー い
 んばたんかい ゆっじゃし (舟を海辺
 に寄せろ)。

いんまーら [imma:ra] 【名詞】漁師。
 [類] いんしゃー。

いんまらだに [immaradani] 【名詞】
 股関節にあるリンパ腺。【例】いんま
 らだにぬ ふくりーにゃーん (股関節
 のリンパ腺が腫れた)。

う

う [u] 【助詞】『格助詞』名詞について動作の対象を表す格助詞、を〔長音、二重母音で終わる名詞に付く場合「ゆ」、
「ん」で終わる名詞に付く場合は「ぬ」、
「す、つ、ず」で終わる名詞のあとでは、
それぞれ「っそう、っちゆ、っじゆ」となる。
子音+iで終わる名詞に付くときは、「み+う>みゆー、し+う>しゆー」
のように「子音+ゆー」となる」となる。
「ふ」で終わる名詞に付く場合は、「たう
ふ（豆腐）+う>たうふー、たうっふ」
のように「ふー」「っふ」のどちらも可能。
それ以外の名詞に付く場合は「う」
で現れる。【例】はうゆ かつん（ヘビを捕まえる〔はう+う>はうゆ〕）。
いんかい むぬー ふいーる（犬に食べ物をやれ〔むぬ+う>むぬー〕）。
いすぐーばいぬ むるっそう っそうい（石が混ざった畑の石をとりのぞけ〔むる
す+う>むるっそう〕）。
あんつかいまーいや ひー いらうっちゆ とうい（追込み漁でブダイを取る〔いらうつ+
う>いらうっちゆ〕）。
いんばたう あいつ（海岸を歩く〔いんばた+う>いんばたう〕）。
まみゆー ひきー たうふー ちゆふー（大豆をひいて豆腐を

作る〔まみ+う>まみゆー、たうふ+
う>たうふー、「たうっふ」でもよい〕。
【変異】ゆ。【類】あ。

うー [u:] 【動詞】[vv 語幹幹] [A] 恐がる。【例】かりゃー なうゆまい う
っづあん（彼は何事も怖がらない〔否定形として「いっづあん」「ゆっづあん」も可能〕、「ゆーん」、「うーん」も可とする人あり〕）。
ばー やらびあいきゃー
まずむぬーぎゃー むいとう うっ
づゆーたい（私はこどものときは幽霊がとても怖かった〔<怖がっていた〕）。
【変異】ゆー。【類】いっづい。

うー [u:] 【動詞】[vv 語幹幹] [A] 売る。【例】っぞうー っづいー うる
ーたい（魚を売ってくらしていた）。う
ーぬくい（売れ残る/売れ残り）。うら
ー っづあんまい でいんな なん
（これを売っても（大した）金にはならない）。

うー [u:] 【動詞】[w 語幹] [A] 追いつく、（あとを）追いかける。【例】まゆ
がまう うーたいそうがどう かつみ
らいったん（子猫を追いかけたが、つかまえられなかった）。
ぬーまう うー

い（馬を追いかけろ）。やらびゃー は
ーかいば うーいん（子供は足が早い
ので追いつかない）。[類] うー（母音語
幹）、うーい。

うー [u:] 【動詞】 [母音語幹] [A] 追いつく、（あとを）追いかける [w 語幹の「うー」が受身形「うーい」、使役形「うーす」になるのに対して、母音語幹の「うー」は、受身形「うーらい」、使役形は「うーっさす」となる]。【例】ぶーっじゃ ぬそうみー ぬすん うーらいーにゃーん（サトウキビを盗んで主に追いかけられた）。[類] うー（w 語幹）、うーい（母音語幹）。

うー [u:] 【動詞】 [vv 語幹幹] [A] 怖がる、恐れる。 [類] うーっぐい。

うー [u:] 【動詞】 [w 語幹] [A] （物を保護するためや見えなくようにするために、そのものの上や前にもものを広げて）隠す、覆う。【例】うつつひー うるー うーい（風呂敷でそれを覆え）。[類] うー（vv 語幹幹）、うーい、うーう、うーっぐい。

うー [u:] 【動詞】 [vv 語幹幹] [A] （物を保護するためや見えなくようにするために、そのものの上や前にもものを広げて）隠す、覆う。【例】うつつひー うるー うっぐい（風呂敷でそれを覆え）。[類] うー（w 語幹）、うーい、うーう、うーっぐい。

うーい [u:i] 【動詞】 [母音語幹] [A]

（あとを）追いかける、追いつく。 [類] うー（母音語幹）、うー（w 語幹）。

うーい [u:i] 【動詞】 [母音語幹] [A] （物を保護するためや見えなくようにするために、そのものの上や前にもものを広げて）隠す、覆う。【例】うつつひー うるー うーいる（風呂敷でそれを覆え）。[類] うー（w 語幹）、うー（vv 語幹幹）、うーう、うーっぐい。

うーう [u:u] 【動詞】 [vv 語幹幹] [A] （物を保護するためや見えなくようにするために、そのものの上や前にもものを広げて）隠す、覆う。【例】うつつひー うるー うーっぐい（風呂敷でそれを覆え）。[類] うー（w 語幹）、うー（vv 語幹幹）、うーい、うーっぐい。

うーぐる [u:guru] 【名詞】 おぼけ、魔物。【例】うーぐるぬ ふーば なかだうり（お化けが来るから泣くな）。やらびゃー うーぐる いっぐい あす（子供はお化けを怖がる）。

うーじゅるかき [u:zurukaki] 【名詞】（煮物や汁ものをする）中型の鍋。

うーす [u:si] 【動詞】 [s/h 語幹] [A] （馬や牛に荷を）負わせる、（馬車などに荷を）のせる。【例】ぬーまんかい っさう うーし（馬に草束を負わせろ）。

うーず [u:zi] 【動詞】 [g 語幹] [C] 泳ぐ。【例】んすぬかーん いきー うーずが（ンスヌカーに行って泳ぎに（行こう））。

うーず [u:zi] 【名詞】 [C] 水泳、水浴び。【例】 きゅーや んすぬかーんきー うーず あすが (今日はヌスヌカーに水浴びをしに (行こう))。すぶたいびとう、うーっじゅ あっそう (不潔な奴め、水浴びしろ)。

うーず [u:zi] 【動詞】 [zz/dd] [A] (他のものと) 比較する; (報酬などが働きぶりなどに) 応じる、よる; (他のものに比較して) 優れる、及ぶ。[変異] うーっず。[類] うーでい、うーっでい。

うーっづい [u:vvi] 【動詞】 [母音語幹] (物を保護するためや見えないようにするために、そのものの上や前にものを広げて) 隠す、覆う。【例】 うつつひー うるー うーっづいる (風呂敷でそれを覆え)。[類] うー (w 語幹)、うー (vv 語幹)、うーい、うーう。

うーっづい [u:vvi] 【動詞】 [母音語幹] 怖がる、恐れる。【例】 うーっづいだうり (恐がるな)。かりゃー まずむぬーぎゃー うーっづいどうー (あいつは幽霊を怖がっている)。くぬいぬひとうんみゃー まずむぬーぎゃー うーっづいん (最近の人たちは幽霊を怖がらない)。[類] いっづい。

うーっず [u:zzi] 【動詞】 [zz/dd] (他のものと) 比較する; (報酬などが働きぶりなどに) 応じる、よる; (他のものに比較して) 優れる、及ぶ。[変異] うーず。[類] うーでい、うーっでい。

うーつつ [u:tsitsi] 【名詞】 大きなハンマー。

うーつつ [u:ttsi] 【動詞】 [cc/tt] 追いかける、追い返す、追い出す。[変異] うつつ。

うーっでい [u:ddi] 【動詞】 [母音語幹] (他のものと) 比較する; (報酬などが働きぶりなどに) 応じる、よる; (他のものに比較して) 優れる、及ぶ。[変異] うーでい。[類] うーず、うーっず。

うーっふ [u:ffu] 【動詞】 [f/ff 語幹] 溺れかける; 溺れて死ぬ。【例】 うまん うーっふていがー すんがまた (ここで溺れたら死んでしまう)。ばーん[°]ぬ うーっふいー んめちやうたい (私は昨日溺れかけて大変だった)。やらびゃー んすぬかーん うーっふいーにゃーん (子供はヌスヌカーで溺れた)。ばー やらびあいきや まじゃん うーっふあじやうたい (私は子供のころ真謝港で溺れかけた (ことがある))。[変異] うーふ、うーふー。[類] うーっふい。

うーっふい [u:ffi] 【動詞】 [母音語幹] 溺れかける; 溺れて死ぬ。【例】 やらびぬどう うーっふいーにゃーん (子供が溺れてしまった [普通は溺れそうになることを意味するが、溺れて死ぬことも表せる])。[類] うーっふ、うーふ、うーふー。

うーでい [u:di] 【動詞】 [母音語幹] [A] (他のものと) 比較する; (報酬など

が働きぶりなどに) 応じる、よる；(他のものに比較して) 優れる、及ぶ。【例】
 つづあが ばきぶんな んーなん うー
 ーでいていがー つづあがどう はー
 さかい (あなたの分け前はみんなに比
 較するとあなたの方が多い)。つづあが
 ばきぶんな づあが はたらつんど
 う うーでいらい (あなたの分け前は
 あなたの働きによります)。から う
 いんな うーでいん (あれはこれに及
 ばない)。なうばん ほうばんまい か
 いんかいや うーでいらいん (何をし
 てもあいつには及ばない)。[変異] う
 ーっでい。[類] うーず、うーっず。

うーふ [u:fu] 【動詞】[f/ff 語幹] [A]
 溺れかける；溺れて死ぬ。[変異] う
 ーっふ。[類] うーっふい。

うーふー [u:fu:] 【動詞】[f/ff 語幹] 溺
 れかける；溺れて死ぬ。[変異] うー
 っふ。[類] うーっふい。

うーんま [u:mma] 【名詞】『祭礼』七
 柱 (ななむい) の行事を取り仕切る代
 表者、司祭者。

うーんま とうーい [u:mma tui]
 【名詞】『祭礼』七柱のウーんマの石油ラ
 ンプ [ナナムイにはランプは一つだけ
 でウーんマが持って行った]。

うーんまぬ とうすぬばん
 [u:mmanu tusinuban] 【名詞】『祭礼』ウ
 ーんマの健康祈願をする祈願の一つ。

うい [ui] ① 【動詞】[母音語幹] [A] 生
 える、成長する。【例】っさぬ うい
 (草が生える)。やらびぬ ういむぬー
 はーむぬ (子供の成長は早いね)。やら
 びゃー ういなかー あばらぎふ な
 るーたい ((この) 子供は成長するにつ
 れてだんだん {ハンサム/美人} になっ
 た)。② 【動詞】[母音語幹] [A] (陰茎、
 陰核が) 勃起する。【例】まらぬ うい
 ((男性が催して) 陰茎が勃起する)。ぴ
 ーぬ うい ((女性が催して) 陰核が勃
 起する)。③ 【動詞】[母音語幹] [A] 老
 人になる、老いる。【例】っさだういき
 ゃー ういー はちじゅーごんまい
 なりーにゃーん (知らないうちに年を
 取って85歳にもなってしまった)。

うい [ui] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] (人、
 動物などが) いる、住む。【例】ぬーん
 どう みから ぬーまぬ うい (野原
 に三頭馬がいる)。つづあー んなま
 んじゃんどう うるーば (お前はいま
 どこに住んでいるのか)。ばー んき
 ーんな おーさかんど うたい (私
 は昔大阪にすんでいた)。

うい [ui] 【補助動詞】[r/rr 語幹] (動詞
 連用形について、進行、結果の状態を
 表す) ~ている。【例】からー なき
 ー うたいちゃ (彼女は泣いていたっ
 て)。ふがます っぎー つむでいんき
 ー うたい (口うるさい父は怒ってい
 た)。みどうんがまー ばらいんきー
 うたい (女の子は笑いこけていた)。で
 いんぬどう んつん うちゅーい (お

金が道に落ちている)。っふあー っざん んーしゅー ((その) こどもはお父さんは似ている [んーしー+うい])。やらび あいきゃー うつなーんどう うるーたい (子供の時は沖縄に住んでいた [うり+うい+たい])。

うい [ui] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] 織る。【例】 ぶーずんぬ うい (苧麻の着物を織る)。ういんかい つふていがー っさいどうす (彼に聞いたらわかるよ)。

うい [ui] 【指示詞】 [A] 『指示名詞』 それ、その人、そいつ；これ、この人、こいつ [「うい」と「くい」は基本的に区別なく使われるが、文脈指示は「くい」でなく、「うい」が使われる]。【例】 ういがどう じゃうかい ({これ/それ} がいい)。ういひー じゃうぶん ({これ/それ} で十分)。うらー なうがい ({これ/それ} は {何だろう/何だ})。うまんかい いつていがー たるががらぬ ういはずやいば、ういんかい つき (そこに行ったらだれかいるはずなので、その人に聞いて)。

うい [ui] 【名詞】 [B] きゅうり；うり。

うい [ui] 【名詞】 [A] 神、神様。【例】 ういんかい うがん (神に祈る)。ういぬ みゅーぶき たすきーふいーさまてい (神様のお力でお助けくださいませ)。ういか (神様からの果報)。ういびらい (神にお願いをすること)。[類] かんがなす。

うい [ui] 【名詞】 [A] 上。【例】 ういが ういんかい うるー ぬーし (その上にそれをのせろ)。っづあが かないまいぬ ういんな はいぬどう と うびゅー (お前の頭の上にハエが飛んでる)。[類] はな。

うい [ui] 【名詞】 [A] 北。【例】 ういんかい ふつ (北に向く)。ういかでい (北風)。ういでいん (北の空)。ういっしばら (北隣)。ういかた (北の方)。ういんかい ふきぬ やー (北向きの家)。

ういが はーさ [uiga ha:sa] 【副詞】 そんなに早く。【例】 なうやひー ういが はーさ すかまから むど うりー ったいが (なぜこんなに早く仕事から戻ってきたのか)。

ういかぎ [uikagi] 【名詞】 成長につれて、姿形が良くなったことを表す。【例】 かぬ やらびゃー ういかぎ (あの子は成長に従い {ハンサム/美人} になった)。かいが んまー ういかぎ あたいば うぬ っふあまい ういが きん ないはず (あの子の母親も成長して美人になったから、その子も美人になるだろう)。

ういぐり [uiguri] 【形容詞】 住みにくい、いづらい。【例】 くまぬ やー や ういぐりかいば はやまり ひっこさでい (この家は居づらいからすぐ引っ越そう)。ぶとうとう ばきゃー りってい むとうやーんかい むど うりっちゅーそうがどう ういぐりかい

(夫と分かれて実家に戻ったけどいづらい)。

ういざん [uizan] 【名詞】初産。【例】ばが みどうんっぐあー ういざん やいば やーんかい っちゅー (娘は初産なので家に帰ってきている)。

ういだつ [uidatsi] 【名詞】生まれ育ち。【例】じゃう ういだつ (良い生まれ育ち)。

ういだてい [uidati] 【名詞】『祭礼』トウカンティのときに初めて外に赤ん坊を出すこと。【例】ばかっぐあぬ ういだていんな んまぬ うほうっじゅ うがなが いつ (赤ちゃんを最初に外にだすときにお母さんのご先祖を拝みに行く)。

ういつ [uitsi] 【動詞】[k 語幹] [C] (機械、車などが) 動く、(人間や動物などが) 動く、(休んでないで) 働き始める、(石やものなどおいてあるものがおしたりして) 動く、(心が) 動く。【例】うまう ういつな (そこを動くな)。くるまぬ ういかなだ んぎーにやーん (自動車が動かなくなった)。[変異] ういふ、うゆつ。[類] むゆふ、むいふ、むいつ、むゆつ。

ういていっじゅまい [uitizzumai] 【成句】あいつというやつは。【例】ういていじゅまい うむくとうー にやーん ひと (あいつは知恵の足りない人だ)。

ういなうす [uinausi] 【動詞】[s/h 語幹] 成長に従い可愛くなる。【例】かぬ やらびやー ういなうひやー ひどう あぱらぎふ なりゅー (あの子は成長するにつれてきれいになってきた)。わいていういなうひーたかばなんなりよ (頑張って大きくなったら高い鼻になりなさい)。

ういびとう [uibitu] 【名詞】お年寄り。【例】びきういびとう (おじいさん)。みどうんういびとう (おばあさん)。くすまがい ういびとう (腰の曲がった年寄り)。とうっさ とういー ういびとう なりーどうー (年を取って年寄りになっている)。

ういびとう ふうい [uibitu fui] 【成句】実年齢よりも年寄りにみえる、年寄りくさい。【例】かりやー ういびとう ふうい びとう (彼は年寄りくさい)。

ういびとうっじゃ [uibituzza] 【成句】年を取って相応の分別がある [「ういびとうじゃんまり (年寄りみたいなやつ) は使わない]。[変異] ういびとうっじゃー にやーん。

ういびとうっじゃー にやーん [uibituzza: njɑ:n] 【成句】年を取って相応の分別がある [「ういびとうじゃんまり (年寄りみたいなやつ) は使わない]。【例】ういびとうっじゃー にやーんまり (年相応の分別がないやつ)。[変異] ういびとうっじゃ。

ういびらい [uibirai] 【名詞】『祭礼』
神様をあがめてお願いをすること。

ういふ [uifu] 【動詞】[k 語幹] [C] (機械、車などが) 動く、(人間や動物などが) 動く、(休んでないで) 働き始める、(石やものなどおいてあるものがおしたりして) 動く、(心が) 動く。 [変異] ういつ。

ういまい かいまい [uimai kaimai] 【成句】誰も彼も、あれもこれも。 【例】ばんていが やーにんじゅー ういまい かいまい いんしゃー どう あたい (うちの家族はみんな漁師だった)。ういまい かいまい うまぬ やーんな たるまい みーん (そこの家には誰もいない [＜誰も彼もそこの家には誰もいない])。

ういやっづい [uijavvi] 【動詞】[母音語幹] 成長に従い可愛くなくなる。 【例】からー ういやっづい どう んずぎふ なるー (あいつ成長して不細工になった)。

うかーす [uka:si] 【形容詞】(雨や風が) 激しい、(人が) 予想がつかない。 【例】やぐみ うかーす あみ (とてもとても大変な雨だ)。かりゃー やぐみ うかーすびとう (彼は (何をするか分からない) とても大変な人だ)。

うかーすふ [uka:sifu] 【形容詞】(真偽について) 自信がない、確かでない。 【例】あちゃ かいが くーらい む

ぬー うかーすふかいば あちゃぬ
うぐなーいゆぎゃ ほうだうり (明日あいつが来れるかどうかわからないので明日の会合はするな [＞やめよう])。 [類] あやすふ。

うかーすふ [uka:sifu] 【名詞】(真偽について) 自信がないこと、確かでないこと。 【例】ういが こーこんかいやごーかくあすむぬー うかーすふだー (彼が高校に合格するかどうかははっきりしない)。ごうーかくほうーたいむぬー うかーすふだ (合格したかどうか怪しい [＞合格したと言っているがそれは怪しい、信じられないという意味になる])。からー うっかー かいひーだちゃうそうが うらー うかーすふだ (あいつは借金を返したと言っているそれは怪しい)。 [類] あやすふ。

うかい [ukai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] (人や壁に) 寄りかかる。 【例】なうががらんかい どうーゆ うからはだかー ばぬんな たちや うらいん (何かに身体を支えられていないと私は立ってられない [＜何かに体をもたれさせないと私には立ってられない])。うまんかい うかり (そこにもたれろ)。 [類] うかい (母音語幹)。

うかい [ukai] 【動詞】[母音語幹] [C] (人や壁に) 寄りかかる。 [類] うかい (r/rr 語幹)。

うかう [ukau] 【動詞】[b 語幹] [C] (抵当になっている土地を) 借金を返し

て取り返す [もともと自分の借金でなく、それを肩代わりする形でもよい]。
【例】ばんな でいんな にゃーんば
ずーや うかばいん (私には金がない
から土地は買い戻せない)。かいしゃ
ずーゆ うかびー はいや うながむ
ぬん ないたい (会社 (沖縄製糖のこ
と) の小作地を買い戻し、畑は自分の
ものになった)。[類] うかび。

うかす [ukasi] 【動詞】 [s/h 語幹] [C]
(倒れているものを) 起こす; (寝てい
るものを) 起こす。【例】うまぬ ま
るたう うかし (そこの丸太を起こせ)。
やらびゃー うかひー むぬー ふい
ー (子供を起こして食事をさせる)。[変
異] うくす。

うかす [ukasi] 【動詞】 [s/h 語幹] [C]
(魚を三枚に) おろす。【例】っぞうー
うかひー なまっそう きり (魚を
おろして刺身にしろ [＜刺身を切れ])。

うかずー [ukazi:] 【名詞】 春の順風。
【例】きゅーや じゃう うかずーぬ
ふきゅーば ほうーや はりー ふに
ゅー とうばはでい (今日は春の順風
が吹いているので帆を張って船を走ら
せよう)。

うかび [ukabi] 【動詞】 [母音語幹] [A]
(抵当になっている土地を) 借金を返し
て取り返す [もともと自分の借金でなく、それを肩代わりする形でもよい]。
[類] うかう。

うかま [ukama] 【名詞】 [C] 竈 (かま
ど)。【例】うかまんかい なびゅー
うつつ (カマドに鍋を置く)。[類] かま
どう。

うかまがん [ukamagan] 【名詞】 『祭
礼』 台所の神 [＞火の神]。

うがん [ugan] ① 【動詞】 [m 語幹] [C]
頭を下げる; 謝る; 挨拶する。【例】
ぬすどうー ゆらひーふいーるていー
うがみゅーたい (泥棒が許してくだ
さいと謝っていた)。しーしーんかいや
いつまい うがみ (先生にはいつも
頭を下げてあいさつしなさい)。にん
ぎんな でいんかいどう うがん (人
間は金に頭を下げる [＞世の中は金次
第])。かりゃー ひとつんな うがま
いん (彼は (威張っていて) 誰にも頭を
下げられない)。[類] うがまい。② 【動
詞】 [m 語幹] [C] 礼拝する、祈願する。
【例】やらびゅーぎゃー さうずばりゃ
ー ひーからどう ていどうぎゃー
うがます (赤ちゃんはお清めをしてし
てから外に出して太陽を礼拝させる)。
[類] うがまい。

うがん [ugan] 【名詞】 [C] 『地名』 大
神島。【例】うがんな いみずまがま
(大神島は小さな島)。

うがんぬ んまが っし
[ugannu mmaga cçi] 【名詞】 『地名』 島
尻の後方にあるリーフの名前 [＜ウガ
ンの母のリーフ]。

うき [uki] 【動詞】[母音語幹] [C] 起きる。【例】にゆーたら、はやまり うきる（寝坊助、早く起きろ）。やらびやー うきばな なりーどーな（子供は起きる時間になっているのかい [> 子供の起きてくるころだな]）。

うき [uki] 【名詞】[C] 海の浜から遠く離れたところ、沖。【例】うきんかいぬ ふに（沖への船）。

うきくたい [ukikutai] 【名詞】応答、受け答え。【例】うぬ やらびぬ うきくたいや やぐみむぬ（この子の受け答えは素晴らしい）。

うぎゃー [ugja:] 【助詞】（格助詞+提題）「ゆぎゃー」の変異形、目的格形に提題を付けた形、「をば」に当たる。【変異】ゆぎゃー。

うきゃがい [ukjagai] 【動詞】[r/rr 語幹] 浮ぶ。【例】ふにやー うきゃがりーどー（船は浮かんでいる）。

うきゃがいそー [ukjagaisu:] 【名詞】満ち潮に向かっていること。【例】んなまー うきゃがーそーん なりーどー（潮が満ちてきている）。

うきゃん [ukjan] 【名詞】[C] 虫のつく木 [和名不詳]。【類】うきゃんぎー。

うきゃん [ukjan] 【名詞】[C] 『魚』ブチアイゴ [アイゴの一種で、縞模様がついている]。

うきゃんぎー [ukjangi:] 【名詞】『植』虫のつく木。【類】うきゃん。

うぎん [ugin] 【名詞】[C] 『道具』魚を突く漁具、銚（もり）。【例】うぎんひー っぞうー つふ（銚で魚を突く）。

うくい [ukui] 【動詞】[r/rr 語幹] [A]（決まった時間に）間に合わない、（到着の時間が）後になる、遅れる。【例】あわている、んめ ふにん ぬーいう くいがまた（急げ、船に乗り遅れるぞ [< もう船に乗り遅れるぞ]）。きゅーまい みどうんみやー うくりどう ふーはず（今日も女性たちは遅れて来るはず）。めーるぬ へんじゃー うくりー ばがどう ばいかたい（メールの返事が遅れて私が悪かったです [> すみませんでした]）。

うくい [ukui] 【動詞】[r/rr 語幹] [A]（事件などが）起こる。【例】やぐみぐとうぬどう うくりゆーい（大変なことが起こっている）。

うくい [ukui] 【動詞】[r/rr 語幹] [A]（ものを送付先に）送る；（出発する人を）送る；（人を）送って行く。【例】うつなーんかい にーゆ うくい（沖繩に荷物を送る）。えきたーひー うくらでい（駅まで送ろう）。【類】うくい（母音語幹）。

うくい [ukui] 【名詞】[A] 送ること。【例】うくいとう んかい（送り迎え）。

うくい [ukui] 【動詞】[母音語幹] [A]
 (ものを送付先に) 送る; (出発する人
 を) 送る。 [類] うくい (r/rr 語幹幹)。

うぐい [ugui] 【動詞】[r/rr 語幹] [C]
 蜂等が何らかの刺激で一瞬の中に怒り、
 攻撃に出る。 【例】 んまばすぬ すー
 ゆ つつきー みーていがー んまば
 っさ うぐっりーにやーん (蜂の巣を
 つついたら蜂は一瞬に飛び出し攻撃に
 じた)。 んまばっそう うぐっらす (蜂
 を刺激して一瞬の中に怒らせ攻撃に出
 させる)。 にっぐゅー はうゆ つつき
 ーみーていがー うぐっりーにやーん
 (寝ていたヘビをつついたら、突然攻撃
 してきた)。

うくす [ukusi] 【動詞】[s/h 語幹] [C]
 (倒れているものを) 起こす; (寝ている
 ものを) 起こす。 [変異] うかす。

うくたい [ukutai] 【動詞】[r/rr 語幹]
 怠る。 【例】 すかまうぎゃー うくた
 らん (仕事を怠らない [> 仕事を真面
 目にしなさい])。

うくっとう [ukuttu] 【形容詞】 (人
 が) おとなしい; (心が) 安心だ、不安
 でない; (場所が) 静かだ。 【例】 うく
 っとう びとう (おとなしい人)。 かぬ
 っふあがまー うくっとう っぐあ
 がま (あの子はおとなしい子だ)。 なう
 ぬどう うくいががら うっくとうー
 ひらいん (何が起こるのか (わからな
 いので) 安心できない)。 くまー やぐ

み うくっとう じゃうどうくま (こ
 こはとても静かでいいところだ)。

うぐな一い [ugunai] 【動詞】[r/rr 語
 幹] 集まる、会って話し合う。 【例】 ひ
 とうとう うぐな一らだかー うむく
 とうまい いでいん (人と会って話を
 しないと考えも出ない)。 じゃーがまん
 うぐな一い ((村の) 広場に集まる)。
 やーにやー っぐあが やーんかい
 うぐな一りー どーそーかい ほうで
 い (来年は君のところに集まって同窓
 会をしよう)。

うぐな一い [ugunai] 【名詞】 集まり、
 会合。 【例】 ういびとうんみぬ うぐ
 な一い (老人達の集まり)。 うとうじゃ
 うぐな一い (親戚の集まり)。

うぐない [ugunai] 【動詞】[r/rr 語幹]
 (お金を) 集める。 【例】 ばいでいんぬ
 うぐない (分担金を集金する)。 ばな
 むぬー うぐない ((集落の各戸の) 割
 り当て金を集める [昔は各戸に災害時
 や祭事の際に必要なものを割り当てて
 持ってこさせたが、現在はお金を集め
 るのが普通)。 ぶーずぬ からう う
 ぐない (サトウキビの枯れ茎を集める
 [「から」は枯れ葉も含む])。 [類] うぐな
 い (母音語幹)。

うぐない [ugunai] 【動詞】[母音語幹]
 (お金を) 集める。 [類] うぐない (r/rr
 語幹)。

うさい [usai] ① 【動詞】[母音語幹] [A]
 (手で) 押さえつける。 【例】 うまう

うさいる（そこを押さえる）。[類] うさい (r/rr 語幹)。②【動詞】[母音語幹] [A] 実際より能力等を低く見積もる、侮る；他人を見下げて馬鹿にする。【例】ひとぅーぎゃー あいや うさいん（人をそんなに侮らない [>侮るな]）。からーひとつは人を押さえつけるダメな奴だ [>パワハラするダメな人だ]。[類] うさい (r/rr 語幹)。

うさい [usai] ①【動詞】[r/rr 語幹] [A] (手で) 押さえつける。 [類] うさい (母音語幹)。②【動詞】[r/rr 語幹] [A] 実際より能力等を低く見積もる、侮る；他人を見下げて馬鹿にする。[類] うさい (母音語幹)。

うさい [usai] 【名詞】[C] 料理、つまみ。【例】さきぬ うさいや んなない ゆーいぬ うさいや んなない やらびんみんかい っつ むっちゃひー はらひーにゃーん（お祝いの料理は全部、お祝いの料理は全部、子供たちにそれぞれ持ち帰らせた [さきぬ うさい (酒の料理)、ゆーいぬ うさい (お祝いの料理) は同じ言葉の繰り返し]）。

うさか [usaka] 【名詞】[C] これだけ；話の終わりに付け加えることば。【例】あか、あにゃ うさかがま（何だって、たったこれだけなの）。きゅーぬ まうきゃー うさかがま（今日の稼ぎはたったこれだけ）。ばが はなっさ うさ

か（私の話はこれでおしまい）。[類] うさき。

うさき [usaki] 【名詞】[C] これだけ。【例】うさきだー（これだけしかない）。うさきがまぬ むぬーぎゃー ひとつきゃん ふあい すている（僅かの物は一度に食べてしまいなさい）。ばがっじ だまー うさきひー あていかーん（私の分け前はすこしで十分）。[類] うさか。

うさぎ [usagi] ①【動詞】[母音語幹] [A] 載せる；捧げる、供える。②【動詞】[母音語幹] [A]（学校教育を）受けさせる。③【動詞】[母音語幹] [A]（人を）見送る。

うさきなー [usakina:] 【名詞】こんなにたくさん。【例】まさいや うさきがまひー かにゃー うさきなーな（マサイは僅かこれだけで、カニはそんなに沢山か）。つづあんな うさきなーゆぎゃー ふいーじゃーん（お前にはそんなにたくさんはやらない）。

うさす [usasi] 【動詞】[s/h 語幹] [A]（雑草などを）取り除く。【例】たいわんなーづっちゃ なんとぅが うさはいん（紫カタバミはなかなか除去できない）。

うさす [usasi] 【動詞】[s/h 語幹] [A]（責任を）押し付ける、人のせいにする。[変異] うっさす。

うさず [usazi] ①【動詞】[g 語幹] [A] 載せる；捧げる、供える。【例】たむぬー ばが かなまいんかい うさぎーふいーる（薪を私の頭に押し上げてくれ）。はなう とういー かんかい はなう うさず（（供え物の）上（または端のごく一部）をとって神に供える）。しーしーんかいぬ うさず むぬ（先生へのみつぎもの）。②【動詞】[g 語幹] [A]（学校教育を）受けさせる。【例】きばんかたいそうが っふあうぎゃー がっこうんかい うさぎたい（貧乏だったが子供を学校教育を受けさせた）。③【動詞】[g 語幹] [A]（人を）見送る。【例】っふあー さーりゅー ひとつ、うさずがっちゅー ひとつぬどう すきゃかい うたい（子供を連れてくる人、見送りに来ているひとで混雑していた [＜人が混雑していた]）。

うさば [usaba]【名詞】[C]（皮膚病の一種）たむし。【例】うさばー かうむぬ（たむしは痒い）。

うさまい [usamai]【動詞】[r/rr 語幹]（喧嘩が）おさまる、（風などが）静まる。【例】やどうゆんな うさまりーどうー（ケンカはおさまっている）。かじゃー うさまりーどうー（風は静まっている）。

うさみ [usami]【動詞】[母音語幹] [C] 納める。【例】じゃうなうゆ うさみー ったい（税を納めてきた）。[類] うさん。

うさん [usan]【動詞】[m 語幹] [C] 納める。[類] うさみ。

うしーはい [uɕi:hai]【動詞】[r/rr 語幹] 一家離散する；（ものが）なくなる。

うじゃー [uza:]【名詞】[C]（ものの）長さがこれくらい、（距離が）そんな遠く。【例】ばが みーたい ほうや うじゃーばかーい（（長さが分かるものを見せて）私が見たへびの長さはこれくらいだ）。ばー うじゃーんかい いかじゃーん（私はそんな遠くには行かない）。

うじゃーなー [uza:na:]【名詞】とても長いこと、とても遠く。【例】かぬ ほうや うじゃーなー あたい（あのへびはこんなに長かった）。うじゃーなーぬ すまから っていーふいーさまい やぐみ すでいがほー（とても遠くの村から来ていただいて本当にありがとうございます）。ばんちゃー うじゃーなーぬ ぶらたーひー いきゅーたい（私達はずっと遠くの保良まで行っていた）。

うじゅます [uzumasi]【動詞】[s/h 語幹] 見せびらかす。【例】っづあが なうばい うじゅまはんまい ばー なうていーまい うむーん（お前がどんなに見せびらかしても私はちっともうらやましくない）。

うしろい [uɕiroi]【名詞】白粉（おしろい）。

うす [usi] 【動詞】[s 語幹] [A] (ものが) なくなる、消滅する、(人が) いなくなる；一家離散する。【例】かじゃーうしーにやーん (風はなくなった)。つづあー かまんかい うしーはり (お前は向こうに消えうせろ)。うまん あたい でいんな うしーはりーにやーん (ここにあったお金がなくなってしまった)。かまぬ やーや うどうきーうしーはりーにやーん (向こうの家は破産して一家離散した)。

うす [usi] 【動詞】[s 語幹] [A] (人が人を) 押す；(仕事などを) 押し付ける；推薦する；(台風などが) 近づく。【例】あいや ちゅーく うさだうり (そんなに強く押さないでくれ)。あいや ひとつんかいや すかまうぎやー うさん (そんなに人には仕事を押しつけない [＞押し付けるな])。んなまぬ せんきよんな かりゅー うさでい (今度の選挙には彼を推す)。かでいふつぬ みゃーくんかい うしっちゅー (台風が宮古に近づいてきている)。

うす [usi] 【動詞】[s 語幹] [A] (～の) せいにする。【例】うぬ くとぅーぎやー かいんかい うすな (この事を彼のせいにするな)。うなが ひーやーくとぅーひとつんかい うす (自分のやったことを他人のせいにする)。

うす [usi] 【名詞】[B] 牛。【例】びきうす (雄牛)。んまうす (メスの親牛) [「つざうす (雄の親牛)」という言葉は

ない]。みーうす (牝牛)。

うす [usi] 【名詞】[C] 臼。【例】いすうす (石臼)。きーうす (木臼)。うすひーまいゆ つつ (臼で米を搗く)。あーゆ うすひー ひつ (粟を臼で挽く)。

うす [usi] 【名詞】[C] 《貝》水字貝の一種。

うず [uzi] 【名詞】[C] 《魚》ウツボ。【例】うっじゃ あっづあむぬ (ウツボは脂っこい)。うっじゃ んぬつじゅーむぬ (ウツボは生命力が強い)。[類]ぬず。

うず [uzi] 【助数詞】芋、茎等を数える単位、個、本。【例】んーぬ ひとつうず ふあうたい (芋を1個食べた)。ぶーっじゅ にじゅーうずひー ひとつたいゆ まるき (サトウキビを20本で一束をくくれ [＞20本で一束にする])。[類]すず。

うすあい [usiai] 【名詞】押し合い、レスリング；押し合いへし合い。【例】やらびあいきやー ゆーどう そうじゃっそうんみん うすあい あすみらいたい (こどものころよく先輩たちにレスリングをさせられた)。はーさぬ ひとつぬどう まっちやぬ やどうふつん うすあいや ひーゆー (たくさんの人が店の入口で押し合いへしあいしている)。

うすつ [usitsi] 【名詞】[C] 食べ物をのせて運ぶ膳。【例】むぬーぎやー う

すつん めーし (食事をお膳にのせろ)。
うすばーや ふとうていーばー (奥歯は虫歯だ)。

うすばー [usiba:] 【名詞】奥歯、臼歯。

【例】むぬーぎゃー うすばーひー
ちゅーく かん (食べ物は臼歯で強く噛む)。
うすばーぬ にゃーだかー むぬー
かまいん (臼歯がないと物は噛めない)。

うすぶらす [usiburasi] 【動詞】 [s/h

語幹] 押し倒す。

うすみ [usimi] 【動詞】 [母音語幹] [A]

かがむ、しゃがむ、うつ伏せになる。

[変異] うそうみ。

うずむす [uzimusi] 【名詞】ウジ虫。

【例】ふそうんな うずむすぬどう む
いとう たかりゅー (糞にはウジ虫がたかっている)。

うすん [usin] 【動詞】 [m 語幹] [A] かがむ、

しゃがむ、うつ伏せになる。 [変異] うそうん。

うすん [usin] 【名詞】 [A] かがむこと、

しゃがむこと、うつ伏せになること。

[変異] うそうん。

うずん [uzin] 【動詞】 [m 語幹] [A]

(ものを土中に) 埋める。 【例】うまん
かい いっそう うずみ (ここに石を埋める)。

うすんつ [usintsi] 【形容詞】引込み思

案だ、消極的だ。 [変異] うそうんつ。

うすんつ [usintsi] 【動詞】 [k 語幹] (も

のを中に) 押し込む; (ものをなにかの間に) 差し込む。 [変異] うそうんふ。

うすんつ [usintsi] 【動詞】 [k 語幹] う

つむく。 [変異] うそうんふ。

うすんつづあい [usinvvai] 【名詞】

人に見られないようにこっそりと食すること、またその人。 [変異] うそうんつづあい。

うすんつづあや [usinvvaja] 【名詞】

隠れて食べる人。 [変異] うそうんつづあや。

うすんばい [usimbai] 【名詞】人に

見られないようにこっそりと食すること、またその人。 [変異] うそうんつづあい。

うすんばい [usimbai] 【名詞】隠れて

食べること。 [変異] うそうんばい。

うすんばや [usimbaja] 【名詞】隠れて

食べる人。 [変異] うそうんつづあや。

うずんばらやー [uzimbaraja:] 【名

詞】茅葺 (かやぶき) の掘っ立て小屋 [真ん中に柱を埋め込んで作る小さな小屋]。

【例】んきゃーんぬ やーんな
うずんばら やーまいどう あたい (昔の家には柱を埋め込んだ家もあった)。

うすんふ [usinfu] 【動詞】 [k 語幹] (も

のを中に) 押し込む; (ものをなにかの間に) 差し込む。 [変異] うそうんふ。

うすんふ [usinfu] 【動詞】[k 語幹] う
つむく。 [変異] うそうんふ。

うすんふあや [usinfaja] 【名詞】隠
れて食べる人。 [変異] うそうんつ
あや。

うそうー [usu:] ① 【動詞】[w 語幹]
[A] 覆う。【例】ほうんぬぎゃー う
つつーひー うそうい (本を風呂敷で
覆え)。うまう うつつーひー うそ
うい (そこを風呂敷で覆え)。つぎあが
うつつーや いみかいば うるー う
そうーんまい まんでいどうす (お前
の風呂敷は小さいからそれを覆っても
はみ出すよ)。[変異] うそうい。② 【動
詞】[w 語幹] [A] (地域を) 支配する。
【例】みゃーくー どうゆみゃん うそ
うーいー うたい (宮古は豊見親に支
配されていた)。[変異] うそうい。

うそうー [usu:] 【動詞】[母音語幹]
[A] (ものを覆いで) 覆う。 [変異] う
そうい。

うそうー [usu:] 【動詞】[母音語幹]
[A] (地域を) 支配する。 [変異] うそ
うい。

うそうい [usui] ① 【動詞】[母音語幹]
[A] (ものを覆いで) 覆う。 [変異] う
そうー。② 【動詞】[母音語幹] [A] (地
域を) 支配する。 [変異] うそうー。

うそうい [usui] 【名詞】[A] 茅葺家
の天辺の半円形の覆い。【例】やーぬ

うそうい (茅葺家の天辺の半円形の
覆い)。

うそうい [usui] 【動詞】[w 語幹] [A]
覆う。 [変異] うそうー。

うそうい [usui] 【動詞】[w 語幹] [A]
(地域を) 支配する。 [変異] うそうー。

うそうみ [usumi] 【動詞】[母音語幹]
[A] かがむ、しゃがむ、うつ伏せにな
る。 [変異] うすみ。 [類] うすん。

うそうん [usun] 【動詞】[m 語幹] [A]
かがむ、しゃがむ、うつ伏せになる。
【例】あいぬ どうくまん うそうまん
(そんなところにしゃがみこまない [＜
しゃがみこむな])。やきゅーぬ ぼー
るぬ どうびーふーぼ あたらんやう
ん うそうんたい (野球のボールが飛
んできたのであたらないようにしゃが
んだ)。[変異] うすん。 [類] うすみ。

うそうん [usun] 【名詞】[A] かがむ
こと、しゃがむこと、うつ伏せになるこ
と。【例】うまん うそうんにゅー
あっそう (そこにうつ伏せになりなさ
い)。[変異] うすん。

うそうんつ [usuntsi] 【形容詞】引込
み思案だ、消極的だ。【例】うそうんつ
びとう (目立たないようにする人)。か
らー うそうんつかいば なうゆまい
ほうっでいや ほうん (あいつは引
っ込み思案だからなにもしようとはし
ない)。[変異] うすんつ。

うそうんつ [usuntsi] 【動詞】 [k 語幹] (ものを中に) 押し込む; (ものをなにかの間に) 差し込む。 [変異] うそうんふ。

うそうんつ [usuntsi] 【動詞】 [k 語幹] うつむく。 [変異] うそうんふ。

うそうんづあい [usunvvai] 【名詞】 人に見られないようにこっそりと食すること、またその人。 [変異] うそうんばい、うすんづあい、うすんばい。 [類] うそうんづあや。

うそうんづあや [usunvaja] 【名詞】 隠れて食べる人。 【例】 かつふいー ひとつん みーらいやうんていー むぬー ふあう ひとつーどううそうん ばやていー あい (隠れて他人には見られないように飯を食べる人をウソウンバヤと言う)。 [変異] うそうんふあや、うそうんばや、うすんづあや、うすんふあや、うすんばや。 [類] うそうんづあい。

うそうんばい [usumbai] 【名詞】 隠れて食べる人。 【例】 からー なかじゃん かつふい うそうんばい あすたい (彼は台所に隠れて盗み食をした)。 [変異] うすんばい。

うそうんばい [usumbai] 【名詞】 人に見られないようにこっそりと食すること、またその人。 [変異] うそうんづあい。

うそうんばや [usumbaja] 【名詞】 隠れて食べる人。 [変異] うそうんづあや。

うそうんふ [usunfu] 【動詞】 [k 語幹] (ものを中に) 押し込む; (ものをなにかの間に) 差し込む。 【例】 むぬーぎゃー びばききやたーひー うそうんきー ふあい (食べ物は吐き出すくらいつめこんで食べなさい)。 うそうんつきゃー んない はいーどうす はず (無理に押し込めたらみんなはいるはずだ)。 ぶーずぬ さにゆー まにんかい うそうんき (サトウキビの種子をうねに差せ)。 あきんさうゆ いすぬ すたんかい うそうんき (金棒を石の下に差し込みなさい)。 [変異] うすんつ、うそうんつ、うすんふ。

うそうんふ [usunfu] 【動詞】 [k 語幹] うつむく。 【例】 うそうんきー あいつ (俯いて歩く)。 [変異] うすんつ、うそうんつ、うすんふ。

うそうんふあや [usunfaja] 【名詞】 隠れて食べる人。 [変異] うそうんづあや。

うだ [uda] 【形容詞】 [A] 太った、太っている。 【例】 うだびとう (太った人)。 くぬいや づあー うだふ なりーどうーいー (最近、君は太ってきたねえ)。

うだい [udai] 【名詞】 [C] 《道具》 縦 15 cm、横 20 cm、高さ 12 cm位の蓋のつ

いた木箱、板厚は1 cm位。煙草、釣り針、釣り糸、水中メガネ等貴重品を入れ、中の物が濡れないようになっている。

うだい [udai] 【動詞】[母音語幹] [A]
 たる。【例】ばー あてい うだいや
 ひどう あてい っふあいや ひどう
 ひとまた あいつきやー いっチャ
 はーみきーどう (わたしはとても太り過ぎて一歩歩いたら息が切れる [> 「うだいや ひどう、っふあいや ひどう」は同じじ意味の言葉の繰り返し])。]

うだい [udai] 【名詞】[C] 『祭礼』上から言われた祭事の役割。【例】みやーくづつぬ うだいゆぎやー わいていかなーだかー ならん (ミヤークズツの勤めを頑張ってやらないといけない)。きゅーぬ うたきぬ うだい (今日の御嶽の勤め)。うたきぬ うだいゆぎやー わいていー かなーでい (御嶽の役割はしっかり果たそう)。きゅーぬ うだいや っぞう とういがいつくとう (今日の役割は漁に行くことだ)。

うだか [udaka] 【名詞】[C] この高さ。【例】かいが たかー うだか (彼の高さはこの高さ)。[類] うだつ。

うたがう [utagau] 【動詞】[w 語幹]
 疑う。【例】ひとうーぎやー うたがーん (人を疑わない [> 疑ってはいけない])。

うたき [utaki] 【名詞】[C] 『祭礼』御

嶽。【例】ななむいぬ うたき (ナナムイの御嶽)。[類] かんぬやー。

うたす [utasi] 【動詞】[s/h 語幹] [C]
 落とす。【例】むぬー うたす (物を落とす)。あかばたういや うたひーみーきやー っさきーにやーん (スイカを落としたら割れてしまった)。[変異] うとうす。

うだつ [udatsi] 【名詞】[C] 梶 (うだつ)、頭 (があがらない)。【例】からー くぬいや うだっチャ あがらん (あいつは最近うだつがあがらない [> ぱっとしない])。かいんかいや うだっチャあがらん (彼には頭が上がらない)。

うだつ [udatsi] 【名詞】[C] この高さ。[類] うだか。

うだつ [udatsi] 【動詞】[c/t 語幹] [C]
 おだてる。[類] うだてい。

うだつまーい [udatsima:i] 【名詞】
 春一番 (旧暦二月に吹く強い風)。【例】うだつまーいんな ちゅーかでいぬふつ (旧暦2月ころには強い風が吹く)。[類] にがつまーい。

うだてい [udati] 【動詞】[母音語幹] [C]
 おだてる。【例】うりゅーぎやー うだていばどう なうゆまい あす (彼はおだてたら何でもやる)。

うだまぶた [udamabuta] 【名詞】(分け前などが) 多い; 神様からの沢山の

果報。【例】きゅーぬ ばが ばきだ
まー うだまぶた あたい（今日は私
の分け前はたくさんだった）。みはなぶ
た うだまぶた がーらしゅーれ（満
面の嬉しさ、笑み、神様からの沢山の果
報で満ち溢れさせて下さい【御嶽の祈
願の文句】）。

うちゃーい [utçai] 【動詞】 [r/rr 語
幹]（人、車などが人、ものなどに）ぶ
つかる。【例】くるまぬどう んつや
っぐあしゃんかい うちゃーりーにや
ーん（車がブルトージャーにぶつかった
[んつ（道）+やっぐあしゃ（ダメにする
もの）]）。くるまー うちゃーらはい
ーにやーん（車を追突させられた）。

うちゃーす [utçasi] 【動詞】 [s/h 語
幹]（人がものを何かに）ぶつける、う
っかりぶつけてしまう。【例】うーつ
っちゅ いすんかい うちゃーし（ハ
ンマーを石にぶつける [>石をハンマ
ーでたたけ]）。くるまう ますぎたん
かい うちゃーひーにやーん（車を石
塀にぶつけてしまった）。たうりー ふ
たいや いすんかい うちゃーひーに
やーん（ころんで額を石にぶつけてし
まった）。

うちゃーす [utçasi] 【動詞】 [s/h 語
幹]（人が人に）ぶつかっていく。【例】
かまぬ ひとつんみんなかい うちゃー
し（あそこの人たちにぶつかれ【ナナ
ムイのインギョウ（=引退の式）の時
などに喜びを表すために皆でぶつかり

あうことがあった】）。

うちゃい [utçai] 【動詞】 [母音語幹]
[C]（手や道具などで人やものを）打つ；
（雨などが体を）打つ；（人や車などが
人やものに）ぶつかる、（雨などがもの
に）当たる。【類】うちゃう。

うちゃう [utçau] 【動詞】 [w 語幹] [C]
（手や道具などで人やものを）打つ；（雨
などが体を）打つ；（人や車などが人や
ものに）ぶつかる、（雨などがものに）
当たる。【例】ばうひー ていびたい
ゆ うちゃうたい（棒でお尻を叩いた）。
かいんかい うちゃい（あいつにぶつ
かれ）。あみぬ くるまぬ はなんかい
うちゃうたい（雨が車の屋根にあた
った）。あみん うちゃーいーにやーん
（雨に打たれた）。【類】うちゃい。

うちゃう [utçau] 【名詞】 [C] 『祭礼』
御帳（村で生まれた新生児の名前を記
載して神様に報告する帳面）。【例】う
ちゃうぬす（仲間御嶽の神様の名前）。
くとうすん んまりやー やらびゅー
うちゃうんかい ぬーす（今年に生
まれた子供を御帳に記載する）。

うちゃうぬす [utçauñusi] 【名詞】
『祭礼』神様の名前。新生児が生まれ
たらこの神様に報告をする。

うちゃなく [utçanaku] 【名詞】 『祭
礼』無病息災、五穀豊穡の祈願；その
祈願に使う三段に重ねた餅【お盆の両
サイドに三段餅を置き祈願する。昔コ

レラ等の伝染病で多くの人が亡くなったのでウチャナクで無病息災を祈願した。【例】うちゃなく にかい（健康祈願の祭り）。

うちゃん [utɕan] 【名詞】[C] 投げ網。

【例】うちゃんひー あさいぬ っぞうー とうい（打ち網で浅瀬の魚をとる）。うちゃんぬ ちゅー（投網を投げる）。

うちゃん [utɕan] 【名詞】[C] 女性の

下半身用の下着、腰巻。【例】みどん みゃー うちゃんぬ つー（女性たちは腰巻を付ける）。

うつ [utsi] 【名詞】[A]（建物などや入れ物の）奥。

【例】やーぬ うっちゅ みーみーる（部屋の奥を見てみる）。うつばら（奥座敷 [奥の小さな部屋]）。

うつ [utsi] 【動詞】[t/c 語幹] [C]（注射などを）打つ；（釘などを）打つ；（ボールなどを）打つ。

【例】げどくざい ゆ てんてきひー うつ（解毒剤を点滴で打つ）。びょーいんきー いたみど みゃー うたいっちゃーそうがどう いちゃかいばならん（病院に行って痛み止めを打ってもらったけれど、痛くてしかたがない）。

うつー [utsi:] 【名詞】[C] 薪や炭火の

火の残ったもの、熾火（おきび）、残り火。【例】ん^んぬぬ うつーひー うま っちゅ たつきる（昨日の熾火（おきび）で火をおこせ）。

うつ [utsi] ① 【名詞】[B]「ふつ（口、口中）」の母音に挟まれた時の形。「ふつん っふん（口に含む）」のように単独で使う場合は「ふつ」が用いられる。

【例】いみうつがま（小さい口）。ひとつうつ（一口）。[変異] ふつ。② 【名詞】[B]「ふつ（（瓶などの）口、入り口）」の母音に挟まれた時の形。単独では「ふつ」が用いられる。【例】かでいぬ かいすうつんな かじゃー にゃーん（台風の目に入ったら風はない）。[変異] ふつ。

うつ [utsi] ③ 【名詞】[B]「ふつ（話すこと、話しぶり）」の母音に挟まれた時の形。

「ふつがる びとう（口の軽い人）」のように最初に来る場合には「ふつ」を用いる。【例】あらうつ（歯に衣着せぬ人）。あづあうつ（誉め言葉を並べる人）。あずまうつ（お世辞 [＜あまい言葉]）。ほうーつ（大げさな人）。ひゃーうつ びとう（早口の人）。[変異] ふつ。④ 【接尾辞】ことば、普通接尾辞的に使って「～語」を表す。単独でことばを表すときは「むぬい」を使う。【例】すまうつ（故郷のことば）。みゃーくうつ（宮古語 [普通、平良のことばをさす]）。やーまうっちゃ っさいぐりむぬ（八重山語は分かりにくい）。やまとううつ ちゃ むぬっじゃいん（共通語は話せない）。[変異] ふつ。

うっか [ukka] 【名詞】[C] 借金；（返してない）恩や恨み。

【例】うっかぬ あてい はーさかいば かなまいまい ぬどうまい まーらん（借金が多い）。

すぎて頭も首も回らない)。ばー っう
 あんかい うんずぬ うっかぬ あい
 ば うるー かいはでい (私はあなた
 に借りがあるのでそれを返します [＜
 恩義の借り])。]

うっくー [ukku:] 【名詞】面倒くさが
 ること [＜おっくう]。【例】まーぬ
 うっくー あすな (あまり面倒くさ
 がるな)。

うつぐーかっづや [utsigu:kavvja]
 【名詞】『生』アカショウビン、くちばし
 が赤く、体が赤褐色の鳥。【例】てい
 びぬ やまんな ひとつむてい はー
 ひーから うつぐーかっづやぬ なき
 ゆー (裏山では朝早くからアカショウ
 ビンが鳴いている)。

うっさす [ussasi] 【動詞】[s/h 語幹]
 (責任を)押し付ける、人のせいにする。
 【例】かりヤー うなが ひーヤー
 くとうーまい ひとつんかい うっさ
 ひー ひんぎーはい (彼は自分がやっ
 たことも人のせいにして逃げて行く)。
 [変異] うさす。

うっじゃ [uzza] 【名詞】[B]『鳥』ウ
 ズラ。【例】うっじゃぬ とうぬか(う
 ずらの卵)。

うっずき [uzziki] 【名詞】『地名』西原
 の北東にある山。【例】うっずき や
 ま (西原の北東にある山)。うっずきと
 う ぴんふぬ んなかぬ ていびかた
 ん まっさびぬ うたきぬ あい (ウ

ッズキとピンプの間の後方にマッサビ
 の御嶽がある)。

うっそう [ussu] 【名詞】[B] 後頭部 ;
 みね [＜包丁や鎌などの刃の反対側]。
 【例】たうりー うっそうー いすんか
 い ふあーひーにやーん (倒れて後頭
 部を石にぶつけてしまった)。ながうっ
 そう (長い後頭部)。っさたらうっそう
 (平ぺったい後頭部)。っざらぬ うっそ
 うひー ったつ (鎌のみねの部分で叩
 く)。

うったーす [utta:si] 【動詞】[s/h 語
 幹] 追いかける、追い返す、追い出す。
 [変異] うっちゃーす。[類] うつつ。

うったーていー [utta:ti:] 【副詞】
 そのためだけに、わざわざ、特別に。
 【例】きゅーや みどりかいぬ あいば
 どう うつなーから うったーていー
 ったい (今日はみどり会があるので
 沖縄からわざわざ来た)。

うっちはらす [uttçi:harasi] 【動
 詞】[s/h 語幹] 追い返す、追い払う。
 【例】うぬ さきふあやうぎヤー うっ
 ちーはらし (この酒飲みは追い返せ)。

うっちやーす [uttça:si] 【動詞】[s/h
 語幹] 追いかける、追い返す、追い出
 す。[変異] うったーす。[類] うつつ。

うっちやす [uttçasi] 【動詞】[s/h 語
 幹] 移す、移動させる。【例】うまぬ
 つくいゆ かまんかい うっちやし
 (ここの机を向こうに移動させなさい)。

うっちゃす [uttɕasi] 【動詞】[s/h 語幹] (写真を) 写す。【例】しゃしんぬ
うっちゃす (写真を写す)。

うっちゃらす [uttɕarasi] 【動詞】[s/h 語幹] 追いかせさせる。【例】かいかぬ
ぎずぎやうなう うっちゃらし (あいつにあの腕白坊主を追いかせせろ)。

うつつ [uttsi] 【動詞】[c 語幹] [C] (病気が) うつる。【例】やんぬ うつつ
(病気がうつる)。がーなう うつつ (アヒルを追いかける)。

うつつ [uttsi] 【動詞】[c 語幹] [A] 追いかける、追い返す、追い出す。【例】
とういぬ むっじゆ ほうしゃー と
うくまんかい っちゅーば うるー
うっち (鳥が麦を干してある所に来ているからそれを追い返せ)。やらびゅー
ていびから うっち (子供を後ろから追いかける)。
[変異] うーつつ。

うつつ [uttsi] 【動詞】[c 語幹] [C] (写真が) 写る。【例】くぬ しゃしん
うっちゅーひとうー たるやいば (この写真に写っているのはだれですか)。
んめひー まいがまん くーだかー
うっちゃんだら (もっと近くに来ないと写らないよ)。

うつつ [uttsi] ① 【動詞】[k 語幹] [C] (ものをある場所に) 置く [うかでい (意向形)、うかん (否定形)、うっき (連用形) となる。意向形、否定形は、「うっ

かでい」、「うっかん」とはならない]。
【例】うぬ ばーきゅー うまん (かい)
うっき (その竹籠をここへ置け)。
うぬ っふすー ちゃばんぬぎゃー
うまん (かいや) うつつな (そのよごれた茶碗ははここへは置くな)。くぬか
みゅーだいぬはなん うっき (このかめを棚の上においてください)。くま
んうっきゃーたいみがにぬどうにゃー
ん (ここにおいておいたメガネがない)。
[変異] うっふ。② 【補助動詞】[k 語幹] (連用形について、ある状態にする) ~
ておく。【例】でいんぬ ありゅーきゃ
くच्चゅぎゃー かいー うかでい
(金があるうちに靴を買っておこう)。

うつつー [utsitsi:] 【名詞】風呂敷、大きな袋を広げて風呂敷として使うもの (水浴びするときなどにタオル替わりに使ったりする)。【例】うつつーひー
うそうい (風呂敷で覆え)。

うつとう [uttu] 【名詞】[A] 年下、弟、妹。【例】からー ばぬんな みーつ
うつとう (彼女はわたしより3つ年下だ)。うつとうー かなす (弟、妹は愛おしい)。

うつとうっそう [uttussu] 【名詞】後輩。【例】うつとうっそうんみゃー
そうじゃっそうんみぬ むぬいゆ つ
かだかー ならん (後輩たちは先輩たちのいうことを聞かないといけない)。
[類] すたっさ。

うつなー [utsina:] 【名詞】『地名』沖

縄本島。

うつない [utsinai] 【名詞】身内、家庭内。【例】つふあぬ ゆーいゆぎゃー
うつないたーなひー ほうでい（出産祝は身内だけでやろう）。

うつにつ [utsinitsi] 【名詞】内熱、こもり熱。【例】かんぼーやひどう うつにつぬ あい（風邪で内熱がある）。

うつぬ くーい [utsinu ku:i] 【成句】奥の小さな部屋。【例】ぶじゃがまー うつぬ くーいんどう につぐゆーい（おじさんは奥の小部屋に寝ている）。[類] うつばら。

うつばら [utsibara] 【名詞】奥の小さな部屋。【例】ぶじゃがまー いつまい
うつばらぬ くぶーがまんどう につぐいーうい（おじさんはいつも締め切られた奥の小さな部屋に寝ている）。[類] うつぬ くーい。

うつふ [uffu] ①【動詞】[k 語幹] [C]（ものをある場所に）置く。【例】たむぬー なかじゃんかい うつつ（薪を台所に置く）。[変異] うつつ。②【補助動詞】[k 語幹]（連用形について、ある状態にする）～ておく。【例】さかさんさぐなうさぎーうっきゅーふばどうういがみーやたりーうていーふー（逆さまにほら貝を下げておいておけば（それの）身は垂れて落ちてくる）。

うつみつ [utsimitsi] 【名詞】《魚》マルヒラアジ。【例】うつみっちゅ つ

ー（まるひらあじを釣る）。

うてい [uti] 【動詞】[母音語幹] [C]落ちる。【例】きーから うていー
かなまいや ぴーきーにゃーん（木から落ちて頭に穴があいた）。

うでい [udi] 【名詞】[B]腕。【例】やぐみ たやぎ うでい（とても力強そうな腕）。[類] かいな。

うとうい [utui] 【接尾辞】（動詞連用形について）～しておいて、～していて。【例】すまー とうい うとうい て
いっぐあい うじゃー すーたい（相撲を取っていて、投げられて腕を擦りむいた）。くまん かつふいうとうい
すぐ まさいゆ うどうるかはでい（ここに隠れていきなりマサイを驚かせよう [＞いきなり飛び出して]）。

うとうがい [utugai] 【名詞】あご。【例】ひとうーぎゃー うとうがいひー
や つかーん（人を顎では使ってはいけない）。

うどうかす [udukasi] 【動詞】[s/h 語幹]（騙して金などを）まきあげる。【例】かいん うどうかはいーにゃーん
（彼に騙されて金を巻き上げられた）。

うどうき [uduki] 【名詞】[C]（賭けや株などの）損失額。【例】つぐあが
きゅーぬ うどうきゃー いかっさ（あなたの今日の負けはいくらだ）。きゅーぬ うどうきゃー ゆまいんばか

い(今日の損は数え切れないくらいだ)。かいが かいしゃー むいどうきゃー ひーにゃーん(彼の会社は大損した[「むい」は「量の多いことを表す接頭辞」])。

うどうき [uduki] 【動詞】[母音語幹][C] (賭けなどに負けて) 損する、破産する。【例】ぱちんこー ひー さんまん うどうきーにゃーん(パチンコをして、三万円損した)。かまぬ やーや うどうきー うしーはりーにゃーん(向こうの家は破産して一家離散した)。**[類]** うどうつ。

うとうさた [utusata] 【名詞】音沙汰。【例】なうぬ うとうさたまい にゃーん(何の音沙汰もない)。

うとうじゃ [utuza] 【名詞】[C] 親戚。【例】うとうじゃ うぐなーい(親戚の集まり)。うとうじゃぶた ひとう(親戚の多い人)。**[類]** はらうず、かたい。

うとうす [utusi] 【動詞】[s/h 語幹][C] 落とす。【例】まかいや うたひー ぱりー すていーにゃーん(碗を落として割ってしまった)。**[変異]** うたす。

うどうす [udusi] 【動詞】[s/h 語幹][A] (人や動物を) 脅す。【例】ひとうーぎゃー うどうはん(人を脅さない[>脅してはいけない])。

うどうつ [udutsi] 【動詞】[k 語幹][C] (賭けや株などで) 損をする。【変異】うどうふ。**[類]** うどうき。

うとうなす [utunasi] 【形容詞】おとなしい。【例】うとうなす やらび(おとなしい子供)。

うどうぬ [udunu] 【名詞】[C] 《祭礼》ウタキの中、神に願うところ。

うどうふ [udufu] 【動詞】[k 語幹][C] (賭けや株などで) 損をする。【変異】うどうつ。**[類]** うどうき。

うどうるかす [udurukasi] 【動詞】[s/h 語幹] 驚かす、びっくりさせる。【例】くまん かつふいうとうい すぐ まさいゆ うどうるかはでい(ここに隠れていきなりマサイを驚かせよう[>いきなり飛び出して])。

うとうるす [uturusi] 【形容詞】(人や話などが) 怖い; (雨などが) 多量な。【例】うとうるす はなす(怖い話)。うとうるす みどうん(怖い女)。うとうるす ゆみゆー みー(怖い夢を見る)。やらびゃー うとうるすぎ なりー たちー うたい(子供はおどおどして立っていた)。うとうるす あみ(大変な雨、大雨)。

うどうるつ [udurutsi] 【動詞】[k 語幹] 驚く。【例】あてい うどうるつ ちゃーひー まずむぬん たまっさ とうらいーにゃーん(余りにもびっくりして幽霊に魂を抜き取られた)。かいん かばていー うどうるかはいーにゃーん(彼に急に驚かされた)。**[変異]** うどうるふ。

うどうるつ [udurutsi] 【名詞】驚き；反省。【例】がばー ほうや みー ばー うどうるつ あすたい（大きなへびを見て私は驚いた）。うどうるつちや にやーん（驚きはない [＞失敗しても改善しようとしなない]）。かりやー なうぬ うどうるつまい にやーん ほうりもぬ（彼は何の反省もないバカ者）。

うどうるつ [udurutsi] 【名詞】カツオの心臓。

うどうるつ うむくとう [udurutsi umukutu] 【成句】懲りる心、反省心。【例】かりやー なうばい うどうきぬ しゆくんな うどうるつ うむくとうー にやーん（彼はいくら損をしても反省しない）。かぬ ひとつー うどうるつ うむくとうー にやーん さうや にやーんんまり（あの人は反省しない、懲りることのないやつだ）。

うどうるふ [udurufu] 【動詞】[k 語幹] 驚く。[変異] うどうるつ。

うな [una] 【名詞】[A] 自分。【例】うりやー うなが むぬ（これは私のものだ）。うらー うなが むぬな（これはあなたのものかい [＜自分のものかい]）。うぬ さきやー んぬぬ ばがぬん ぬくい やいば うらー うなが むぬ（この酒は昨日の私の飲み残りだから、それは私のものだ）。おい まさい、うらー うなが むぬてい

ー いばいな（おい マサイ、これは自分のものだといって自慢するな）。せんきよぬ とうきやんな うなが かたぬ はーさからだかー ちやいん（選挙のときには自分の味方が多くないと勝てない）。うなが むきむきん かなうていがー あたり（各人の特性で頑張ればそれが良い）。うなが さみやー かぎさみ（自分のサメ肌は綺麗な肌だ [＞アバタもえくぼ]）。うなが っふあ（自分の子供）。

うな [una] 【助数詞】～艘、船を数える数詞。【例】ひとつうな（一艘）。ふたうな（二艘）。

うながい [unagai] 【名詞】長い間。【例】あいぬ うながい（そんなに長い間）。[類] ゆながい。

うながたき [unagataki] 【成句】身の程。【例】かりやー うながたきゅーぎやー っさん ほうりむぬ（彼は自分の実の程を知らないバカ者だ）。

うながたま [unagatama] 【成句】自分の分、自分なりに。【例】うなが たまうぎやー うなが ふあい（自分の分は自分で食べる）。うなが たまうぎやー かないーどうー（自分なりに頑張っている）。

うながつむーぎやー むちやん [unagatsimu:gja: mutçan] 【成句】自制心がない、直ぐに怒る。【例】かりやー うなが つむーぎやー むち

ゃん（彼は自分の心を持たない [＞彼は直ぐに怒る]）。

うながどうー [unagadu:] 【代名詞】
『再帰代名詞』自分自身、自分の体。【例】
うながどうーから すきゃきる（自分自身から始めなさい）。ひとうんかいや
あっじゃだ うながどうーひー あっそう（人に頼まないで自分でやれ [＜人に言わないで]）。うながどうー むつつちやー っさん（自分の体の管理の仕方を知らない [＞自己管理能力がない、世渡りが下手]）。うながどうーふあや（向こう見ずな奴）。うながどうーふあいんまり（（自暴自棄になったりして）自分自身をダメにするやつ）。うながどうー ふあい すかま（自分の身体を消耗するだけの仕事）。

うながどうーどうー [unagadu:-du:] 【成句】各自、それぞれ。【例】うながどうーどうーぬ うむい（各自の考え方）。うながどうーどうーひー あっそう（自分のことは各自でやれ）。

うなず [unazi] 【名詞】 [C] ウナギ。
【例】うなっじゃ なびーむぬ（鰻はぬるぬるしている）。

うにや [unja] ① 【名詞】 [C] フグ。
【例】うにやうぎやー ふあーん（フグは食べない）。② 【名詞】 [C] 大食い [＜フグ]。【例】おい、うにや、まーぬ ふあうな（おい、大食い野郎、余り食べるな）。からー むいとうぬ うにや（あいつはとても大食いだ。）

うぬ [unu] 【指示詞】『指示形容詞』
その；この [「うぬ」と「くぬ」は基本的に区別なく使われるが、文脈指示は「くぬ」でなく、「うぬ」が使われる]。

うぬきや [unukja] 【名詞】 [C] それら、彼ら。 [類] うぬきやた。

うぬきやた [unukjata] 【名詞】 それら、彼ら。 【例】うぬきやた（それらだ）。 [類] うぬきや。

うぬしゆく [unuçuku] 【名詞】 その程度。 【例】ういが かなまいや うぬしゆくだー（彼の頭はその程度だ）。 [変異] うんそうく、うぬしゃく。

うぬっさかん [unussakan] 【名詞】（決めたことなどを言い訳をして）無視すること。 【例】かりやー すかまぬどう あいていー いつまい うぬっさかんな ひー くーん（彼は仕事があると行って素知らぬ顔をして、来ない）。 [類] っさんふい。

うばいが うばい [ubaiga ubai] 【成句】 参った、懲りごりだ、大変だ。
【例】うばいが うばい ばー んめ うまんかいや ふたかいまていや いかじゃーん（こりごりだ、私はもうそこには二度とは行かない）。あいぬ はなすまいどう あいな、うばいが うばい（そんな話もあるのか、もう大変だ）。あがいー うばいが うばいよー。ばー なうばい あすぼどう じゃうかいがよー（大変だ。私はどうすればいいんだ）。うばいが うばい。なうばいぬ

はなすが (大変だ。何ということだ)。
[類] あがいが あがい。

うぱつ [upatsi] 【名詞】[C] 《祭礼》農作物の初物の祈願祭、お初の収穫感謝祈願 [ウンマの家で神酒を供えるなどして行う]。【例】あーぬ うぱつ (粟のお初祈願)。

うはるず [uharuzi] 【名詞】大主神社の神様。【例】うはるずんかい ていーゆ かん (ウハルズに祈願する [西原のお祈りは両手を開き、手のひらを上に向けて上げる])。[変異] うぱるず。

うぱるず [uparuzi] 【名詞】大主神社の神様。 [変異] うはるず。

うぶ [ubu] 【名詞】[C] 《幼児語》水 [赤ちゃんに水を飲ます時に「うぶ、うぶ」と言う]。 [変異] おぶ。[類] おぶ。

うぶ [ubu] 【名詞】[C] 船の碇 [石を縄で巻いて碇にしていた]。【例】ふにぬ うぶー うらし (舟の錨を下ろせ)。うぶん[°]なう まつ (錨の綱を巻く)。

うぶい [ubui] 【動詞】[母音語幹] [C] 覚える。【例】ひとうぬ なーゆぎゃー すぐ うぶいる (人の名前は直ぐに覚えなさい)。ずーゆ うぶい (字を覚える)。

うぶい [ubui] 【名詞】[C] 記憶力、覚え。【例】かいが うぶいや いつまい にゆー (彼のものの覚えはいつも遅い)。ばー かまんかい いふたい う

ぶいや にゃーん (私はあそこに行った覚えはない)。やらびんみぬ なーや
うぶいらいん (子供達の名前は覚えられない)。

うぶき [ubuki] 【名詞】[C] お陰で。【例】んまーさぬ うぶき むぬまい ふあーいー うたい (両親のお陰で飯も食べることができた)。ぶとうぬ うぶきどう みゃーっさーひー ふあいゆー (旦那のおかげで楽しく生活できる)。[類] みゅーぶき。

うぶく [ubuku] 【名詞】[C] 《祭礼》火の神。

うぶしゅー [ubuçu:] 【名詞】《魚》近海にいるカツオの一種、宗太鰹。【例】うぶしゅーや はまうつんどー っちゃいー (宗太鰹は近海で釣れる)。

うぷず [upuzi] 【名詞】[C] 亡くなった先祖たち、先祖神。 [変異] うほうず。

うぶだらか [upudaraka] 【名詞】大嘘 [大浦方言の借用とされる]。【例】うぶだらか ひとうぬ むぬいゆぎゃー つかだうり (大嘘つきの言うことは聞くな)。[類] ゆくし。

うぶゆー [ubuju:] 【名詞】出産直後に親戚等に配るお粥。【例】っふあがまぬ んまいていがー うとうじゃんみんかい うぶゆーゆ くぼりーまーい (赤ちゃんが生まれたらお粥を配ってまわる)。[類] しらゆー。

うぶん[°]な [ubunna] 【名詞】〔道具〕
 錨を取り付けてある縄、錨綱。【例】
 うまんかい うぶん[°]なう ていづい
 (そこに錨綱を投げろ)。うぶん[°]なゆ
 なう (錨縄をなう)。

うほう [uhu] 【形容詞】[B] 大きい。
 【例】うほうゆー (大きな幸福)。うい
 がどう うほうかい (これが大きい)。
 [類] がばー、ほうい。

うほうが [uhuga] 【形容詞】[C] これ
 くらいの大きさだ。【例】うらー う
 ほうが (それはこれくらいの大きさだ)。
 うほうがばかーいぬ かにふっじゅ
 むちーくー (これくらいの大きさの釘
 をもってこい)。

うほうず [uhuzi] 【名詞】[C] 亡くな
 った先祖たち、先祖神。【例】うほう
 ずんかいや ていーゆ かみだかー
 ならん (先祖には祈願しないとイケない)。
 [変異] うぶず。

うほうにや [uhunja] 【名詞】[C] 大
 根。 [変異] ほうにや。

うま [uma] 【名詞】[C] そこ、ここ。
 【例】うままい あらん、くままい あ
 らん、かぬちや (そこでもない、ここでも
 ない、向こう側だ)。うまぬ ままー
 い (その周辺)。うま くま ((近くの)
 あちこち)。むとうやーんかい いきー
 みーたいそうが っざー うまん
 なみーっだん (本家にいって見たけれど、
 お父さんはそこにはいなかった)。

うまかま [umakama] 【副詞】あちこ
 ち。 [類] あまくま。

うまがま [umagama] 【副詞】すぐそ
 こ。【例】むとうやーや すぐ うま
 がま (本家はすぐそこだ)。

うまくま [umakuma] 【名詞】あちこ
 ち。【例】やらびやー うまくま あ
 まくま とうみたいそうがどう とう
 みらいっだん (子供はあちこち探した
 が探せなかった [＜そこここ、あちこ
 ち])。[類] うまかま。

うます [umasi] 【名詞】[C] 箸。【例】
 うますひー むぬー はさみー ふあ
 う (お箸で食べ物を挟んで食べる)。
 [類] うみやす。

うまつ [umatsi] 【名詞】[C] 火。【例】
 うまっちゅ たつきでい (火をおこそ
 う)。たむぬんかい うまっちゅ たつ
 きる (薪に火をつけろ)。ろーそくぬ
 うまっちゅ ふーっていー ふきー
 きゃーす (ロウソクの火をふーっと吹
 いて消す)。うまっちゅ つきー (火を
 つける)。うまつん んふばーい (火に
 温まる)。

うまなぎ [umanagi] 【名詞】そこら
 辺。【例】うまなぎゆー とうみる (そ
 こら辺を探せ)。

うままい かままい [umamai
 kamamai] 【成句】あっちもこっちも。
 [類] うままい くままい。

うまい くまい [umamai kumamai] 【成句】 あっちもこっちも。
【類】 あまい かまい。

うみやす [umjasi] 【名詞】 [C] 箸。
【類】 うます。

うむー [umu:] ① 【動詞】 [w 語幹] [C] 思う。【例】 ばー あいどう うむー (わたしはそう思います)。からー くー んていどう うむー (あの人は来ないと思います)。かまんどろ いんうりび とろぬ みーらいゆー (向こうで漁をしている人が見られる)。つぐあ なう ばいどう うむー (あなたはどう思いますか)。ばー あいぬくろーぎやー ひとろかいまい うむいや みー ん (私はそんなことは子ども考えたことはない)。② 【動詞】 [w 語幹] [C] (人)を思慕する、愛する。【例】 ばー みどろんぬ くろーどう うんそく うむいーゆー (私は妻のことをとても愛している)。ばー んまりずまぬ くろー うむいー なたぬ いで いたい (わたしは生まれ故郷のことを思って涙がでた)。

うむい [umui] ① 【名詞】 [C] 思い、考え方。【例】 うながどろーどろーぬ うむい (自分自分の思い、考え方)。ばが うむいや かい (私の考えはこうだ)。② 【名詞】 [C] 恋人、大切な人。【例】 うむいぬ くろー いつまい うむー (恋人のことをいつも思う)。くぬ つふあー ばが うむい (この子

は私の大切な子だ [> 「私が産ませた子だ」という解釈もある])。

うむいが にゃーん [umuiga njan] 【成句】 思いのまま。【例】 うなが うむいが にゃーん あつそ (自分の思いのままやれ)。

うむいくがい [umuikugai] 【動詞】 [r/rr 語幹] 思い焦がれる。【例】 つぐあが くろーどろひー うんそく うむい かりゆー (あなたのことでとても思い焦がれている)。

うむいだす [umuidasi] 【動詞】 [s/h 語幹] 思い出す。【例】 んきやーんぬ くろー うむいだす (昔のことを思い出す)。なうばい かんがいぼんまい うむいだはいん (いくら考えても思い出せない)。

うむいやす [umuijasi] 【形容詞】 安心である。【例】 つふあんみまい ほ ういふなりー うむいやすむぬ (子供たち成長して安心だ)。

うむがい [umugai] 【名詞】 おもがい、馬の顔につける馬具の一つ。

うむかじ [umukazi] 【名詞】 面舵、船の操縦で船首を右へ回すこと。【例】 うむかじゆー きり (面舵を切れ)。

うむくろ [umukutu] ① 【名詞】 考え方、考え。【例】 ばー あいぬ うむくろーぎやー ほらん (私はそういう考え方はしない)。つぐあが うむ

くとうー あたらん (お前の考えは間違っている)。ばー あいぬ うむくとうー にゃーん (私はそういう考えは持っていない)。ゆがうむくとう むちや ならん (曲がった考えは持ってはいけない)。◎【名詞】知識、知恵、能力。【例】うむくとうあいぎ (頭の良さそう)。うむくとう にゃーんぎ (頭の悪そう)。うむくとうあいかい むぬぬどう いつがみまい ぬくいていぬ むぬー あらんちゃ (賢いものがいつまでものこるというものではないそう)。うむくとうん そういどう ならうまい ひらいー (能力があるからこそ何でもできる [< (正しい) 知識に沿ってこそ])。かりゃー うむくとうー にゃーん さうや にゃーんんまり (彼は知恵のない思慮深さのない奴だ)。

うむくとうあい [umukutuai] 【成句】頭の良い (人)。【例】うむくとうあい ぶりむぬ (知識はあるが社会性がない)。にんぎんぬ とうずぶとうー うむくとう あい ひとつぬどう ほうりむぬんかい あーすばどう じゃうかい (人間の夫婦は頭の良い人の方が人が馬鹿な方に合わせる方が良い)。

うむくとうさーりどう [umukutusaridu] 【成句】能力次第で。【例】うむくとうさーりどう ならうまい ひらい (能力次第でなんでもできる)。

うむっし [umuççi] 【形容詞】面白い。【例】うむっし はなす (面白い話)。うむっしっふあにゃーん (面白くない)。かりゃー うむっし びとう (彼は面白い人だ)。かいが はなっさ うむっしかいば ならん (彼の話は面白くてならない)。

うむてい [umuti] 【名詞】[B] 表情。【例】つうあ いつまい つむでいゆー そうがんまり やいば うむちゅーぎゃー つふあがらだうり (あなたはいつも怒っているような表情をしているから暗い顔をするな)。かいが うむちゃー やな うむてい やいば かいとうや すかまー ひとつみゃー ひらいん。(彼の表情は嫌な表情だから、彼とは仕事は一緒にできない)。やな うむちゅーぎゃー みしだうり (嫌な表情は見せるな)。かりゃー うむてい つふあぎやら (彼は表情が暗い)。やぐみ うむてい ほうからすぎ ひとつ (とても表情の明るい人)。うむちゃー はるきー ほうからすむいぎ ひとつ (表情が豊かで、とてもうれしそうにしている人)。

うむていふさがい [umutifusagai] 【名詞】暗い表情。【例】まーぬ うむていふさがい あすな (あまり暗い顔をするな)。

うや [uja] 【名詞】[C] 祖父、おじいさん [複数形は「うやた」]。【例】ばんていが うやー いんしゃーどう

あたい（私の祖父は漁師だった）。しゅーたまい うやたまい ばぬーぎゃー
かーばたぬ かにうやていどう あいどー、ならすじやうっじゃひー ふいーさまてい（役人の皆さんもおじいさんたちも私はカワバタのカニウヤと申します、ご指導のほどよろしくお願い致します [カワバタは屋号、カニウヤは名前]）。

うや [uja] 【名詞】 [C] 池間の主などの下級役人を指す。

うやい [ujai] 【動詞】 [母音語幹] [A]（植物が）生い茂る、（植物が生茂って）広がる。【例】ぎすっちゃ ひとむとうからどう うさきなー うやいーゆーい（ススキは一株からとても沢山生えている）。んーぎーや あうたんなりー うやいーどうーい（芋の蔓は青々と生い茂っている）。

うやいん [ujain] 【名詞】 御嶽の祭事等のための漁、役人のための漁労奉仕。【例】きじやいんな うやいんぬ ほうだかー ならん（祭事には役人のための漁労奉仕をしなければならない）。

うやき [ujaki] 【名詞】 [C] 金持ち、裕福、財産家。【例】うやきゃー きたとうどうみ（裕福は家の桁に留どまる [> 幸福は家庭の中にある] ）。うやきんなりー かりゆーぎゃー みかいはでい（金持ちになってあいつを見返してやろう）。うやきていー まーぬ

いばいな（金持ちだと言って余り威張るな）。

うやきゃー まーる [ujakja:maru] 【成句】 金持ちは順番に回ってくる [> 金は天下の回りもの] 。

うやぐに [ujaguni] 【名詞】 『歌語』 首里。

うやすとう [ujasitu] 【名詞】 小姑。【類】 すたさうっとう。

うやっふあ [ujaffa] 【名詞】 親子。

うやまいむぬい [ujamaimunui] 【名詞】 敬語。【例】くぬいぬ ばかむぬんみゃー うやまいむぬいゆぎゃー っさん（最近の若者は敬語の使い方を知らない）。

うやんま [ujamma] 【名詞】 役人（うや）の奥さん；女陰。【例】うやんまー つむかぎ あばらぎ（役人の奥さんは心がきれいで美人だ）。

うやんまふくる [ujammafukuru] 【名詞】 『祭礼』 ナナムイの女性の持ったばこ袋。

うゆー [uju:] 【動詞】 [b 語幹] [A]（勝負に）勝つ；（持ち物などが相手に）勝る。【例】ばー っづあんかいや うゆばん（私はお前には勝てない）。かいんかいや あすぬ うゆばんば ばぬんな はーさにゃーや kachayain（彼には歩幅が及ばないから私には（彼に）競走は勝てない）。

うゆつ [ujutsi] 【動詞】 [k 語幹] [C]
 (機械、車などが) 動く、(人間や動物などが) 動く、(休んでないで) 働き始める、(石やものなどおいてあるものがおしたりして) 動く、(心が) 動く。【例】やーからー うゆかん (家から動かない [>いつも家にいる])。[変異] うゆふ、ういふ、ういつ。[類] むゆふ、むいふ、むいつ、むゆつ。

うゆび [ujubi] 【名詞】 [C] 指。【例】ほうーゆび (親指)。ひとうさすゆび (人差し指)。なかゆび (中指)。くゆび (小指)。

うゆびずつ [ujubizitsi] 【名詞】 指さすこと、指さし。【例】ばが うゆびずつ あす とくまう みーる (私が指しているところをみなさい)。ひとうーぎゃー うゆびずつちゅぎゃー ほうん (人を指さししてはいけない)。

うゆふ [ujufu] 【動詞】 [C] (機械、車などが) 動く、(人間や動物などが) 動く、(休んでないで) 働き始める、(石やものなどおいてあるものがおしたりして) 動く、(心が) 動く。【例】うまからー うゆふな (そこからは動くな)。[変異] ういふ、ういつ、うゆつ。[類] むゆふ、むいふ、むいつ。

うゆふ [ujufu] 【動詞】 [k 語幹] [C]
 (機械、車などが) 動く、(人間や動物などが) 動く、(休んでないで) 働き始める、(石やものなどおいてあるものがおしたりして) 動く、(心が) 動く。[変

異] うゆつ、ういふ、ういつ。[類] むゆふ、むいふ、むいつ、むゆつ。

うらー [ura:] 【代名詞】 《指示詞》「うい」の提題形、それは、これは、彼は、彼女は。

うらじゃ [uraza] 【名詞】 [C] 奥の部屋、奥座敷、裏座。【例】ばんていが うらじゃー べんきょーしつどう あたい (うちの奥座敷は勉強部屋だった)。

うらす [urasi] ①【動詞】 [s/h 語幹] [C] 下ろす、降ろす。【例】にーゆ うらす (荷を下ろす)。[変異] うるす。②【動詞】 [s/h 語幹] [C] (穀物の種を) 蒔く。【例】むぬだにゆー うらす (穀物の種を蒔く)。[変異] うるす。[類] まつ。

うり [uri] 【動詞】 [母音語幹] [A] (人が下に) 降りる；(霜が) 降りる；(下のほうの畑に) 行く；(海に) 漁に行く。【例】やまう うりー (山を降りる)。ちゅーぬどう うりゅー (露が降りている)。きゅーまい いんゆ うりが いかでい (今日も海に漁に行こう [＜今日も海を降りに行きます])。きゅーやかでいうす やいば いんな うりらいん (今日は時化だから漁には行けない [＜海には下りられない])。さかまう うりや ぬーい ぬーい あす (坂を降りたり上がったたりする)。

うり [uri] 【動詞】 [母音語幹] [A] 存在動詞「うい (いる)」の特殊終止形。「う

い」が焦点形「どう」を含む文の終止形に使われるのに対し、「うり」は焦点形を含まない文の終止に使われる。【例】ばー とうっじゃ うり（私は妻はいる）。[類] うい。

うりー [uri:] 【名詞】[C]（畑が）潤っている時期。【例】あみゃー っふいー うりー なりゅーば ぶーずまいびだかーならん（雨が降って（畑は）潤っているからサトウキビの植え付けもしないといけない）。

うりななつ [urinanatsi] 【名詞】午後4時ごろ 御嶽に行く時間。[類] ていだななつ。

うりふつ [urifutsi] 【名詞】降り口。【例】はまんかいぬ うりふつ（海岸への降り口）。だんぬ うりふつ（階段の降り口）。うまなぎんな うりふっちゃにゃーんば ゆーかーまーい ほうだかー ならん（ここら辺には降り口はないから、遠回りしないといけない）。

うる [uru] 【名詞】[A] サンゴ。【例】うるいす（サンゴ）。

うる [uru] 【名詞】[A] 《植》紅藻植物、スギノリ科の多年生海藻、ツノマタ、またツノマタで作った食べ物、炊くと寒天状になり食用となる。【例】うるひー たうふー ちゅっふ（ツノマタで豆腐をつくる）。

うるー [uru:] 【動詞】[w 語幹] [C] 潤う。【例】あみゃー っふいー はいや うるいーどうーい（雨が降って畑は潤っている）。[類] うるい。

うるーどうす [uru:dusi] 【名詞】閏年。【例】うるーどうすんな あまいずつぬどう あい（閏年には閏月がある）。[類] うるどうす、あまいどうす。

うるい [urui] 【動詞】[母音語幹] [C] 潤う。[類] うるー。

うるいす [uruisi] 【名詞】サンゴ。【例】いんぬ うるいす（海のサンゴ）。

うるす [urusi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] 下ろす、降ろす。[変異] うらす。

うるす [urusi] 【動詞】[s/h 語幹] [C]（穀物の種を）蒔く。[変異] うらす。

うるずつ [uruzitsi] 【名詞】閏月。

うるだうふ [urudaufu] 【名詞】《食》ツノマタを炊いて寒天状にした食べ物。

うるどうす [urudusi] 【名詞】閏年。【例】うるどうすんな あまいずつぬどう あい（閏年には閏月がある）。[変異] うるーどうす。

うわい [uwai] 【動詞】[r/tr 語幹] [A] 終わる。【例】しばいぬ うわいきゃみーうたい（芝居が終わるまで見ていた）。

うわい [uwai] 【名詞】[A] 終わり。

【例】ばが はなっさ うさきひー うわいどー (私の話はこれで終わりだよ)。

うん [un] 【形容詞】[A] 大食いだ (ウニが大食いなことから)。

【例】からー うんかいば たるからまい みっふあさ ひらいゆー (彼は大食いなのでみんなから嫌われている)。かずつちや うんかいぼどう うんていーまい あい (バフンウニは大食いなのでウニとも言う [＞ウニは大食いとされている])。ばー くぬいや むいとう うんふ なりーどうー (私は最近は大食いになった)。

うん [un] 【名詞】[B] ウニ。【例】うんびとうー なんとぅが びとうらはいん (大食いの人はなかなか満腹にさせることはできない)。

【類】かずつ。

うん [un] 【名詞】[B] 鬼。

うん [un] 【名詞】[C] 運。【例】うんじゅー びとう (運の強い人)。

うんかずつ [un̄kazitsi] 【名詞】『生物』『食』バフンウニ。【例】んきゃーんな うんそうく うんかずつまい

うたいそうが んなまー むいとう みーん (昔はとてもウニもいたが今は全然いない)。

【類】かずつ。

うんじゅー [un̄zu:] 【形容詞】強運だ、強運の。

うんじゅー [un̄zu:] 【名詞】強運、強運な人。【例】からー うんじゅー

やいば たからふっじゅぎゃー かいん かーし (彼は強運な人だから宝クジは彼に買わせろ)。

うんず [un̄zi] 【名詞】[C] 恩、恩義。

【例】かりゃー うんっじゃ にゃーん ひとつ やいば ういんな なうゆまい ふいーだうり (彼は恩義を知らない人だからなにもやるな)。かりゃー うんっじゃ っさん ひとつ やいば かいんな なうゆまい いだはだうり (彼は恩義を知らない人だから彼には何もやるな)。んなまー かいん かい うんっじゅ かつうあほうーき (今は彼に恩を着せておけ)。かいんかいぬ うんっじゃ いつがみまい かいはいん (彼にうけた恩はいつまでも返せない)。

うんそうく [unsuku] 【副詞】沢山、何回も、頻繫に。【例】わいてい あっそう、うんそうくとうんまだら (しっかり頑張れ、それくらいはやらないと(いけない))。あみぬ っふいぬ

あとうんどう はるんなー うんそうく うい (雨降りの後にカタツムリは沢山いる)。かでいふつゆらん ないていがー あうそうんぬどう うんそうく とうびーふー (台風時期になるとトンボがたくさん飛んでくる)。うぬきやが とうずぶとうー ばかかいきゃー うんそうく やどうゆんぬまい ひーうたい (その夫婦は若い頃はいつもよくケンカしていた)。まさいや みがうどう うんそうく かなす かい

(マサイはミガをととても愛している)。ま
うきやーいん さじゅー ひつていが
ー うんそうく さいぬ とらいたい
(大浦湾で小網を引いたらたくさんエビ
がとれた)。

うんそうく [unsuku] 【名詞】その程
度。 [変異] うぬしゆく。

うんた [unta] 【名詞】 [C] カエル。
【例】 なびーうんた (殿様ガエル)。さみ
うんた (ヒキガエル)。

うんつ [untsi] 【動詞】 [k 語幹] [A] (釘、
柱等を) 打つ、打ち込む。 【例】 かに
ふっじゅ うんき (釘を打ち込め)。か
にふっじゅ うんかっでいー ひーは
っじゃきー げんのーひー うなが
うゆびゅー っつきーにゃーん (釘を
打とうとして打ち損じて金槌で自分の
手を打ってしまった)。 [変異] うんふ。

うんふ [unfu] 【動詞】 [k 語幹] [A] (釘、
柱等を) 打つ、打ち込む。 [変異] う
んつ。

え

えー [e:] 【感動詞】『応答詞』うん [対等か目下の人に対する応答。目上に対しては「おー」という]。【例】A: ベーっぞう ふあい B: えー ふあーでい (A: ほら、魚を食べろ B: うん、食べる)。[類] んーでい。

えい [ei] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] コピュラ「やい」の変異形 [「えいば (だから)」、「えいそうが (だけれど)」などで現れる。また、未然形では「やら」を用いる。 [変異] やい、あい。

えいば [eiba] 【成句】～だから [コピュラの条件形「やいば」の変化した形]。【例】うい えいばどう あやほうー (彼だからそうしている [悪い意味にもいい意味にも使える])。まさいたが まゆ えいばどう あやほうー、ひとぬ まゆ やいていがー あいや むぬーぎゃー ぬそうまん (マサイんちの猫だから (こそ) そうしているんだ、よその猫だったらそういうふうには食べ物を盗まない)。[変異] やいばどう。

えげ [ege] 【感動詞】(不注意に気が付いたとき、失敗してしまったときに発する) しまった。【例】えげ あいぬ

たまうどう ちゅーびゃー (びっくり、そんな球を投げるのか)。えげー まゆぬどう はいりー っちゅーい、っぞう ふあーいがまた (しまった。猫が入ってきた。魚を食べられるぞ)。えげくるまぬ めんきょ やーん ぼっしー っていにやーん (しまった。車の免許を家に忘れてきた)。えげ しまい、やらびゃー ひんがひーにやーん (しまった、子供を逃がしてしまった)。[変異] えげー、えっげー。

えげー [ege:] 【感動詞】(不注意に気が付いたとき、失敗してしまったときに発する) しまった。 [変異] えげ。

えっげー [egge:] 【感動詞】(不注意に気が付いたとき、失敗してしまったときに発する) しまった。 [変異] えげ。

えていがー [etiga:] 【接続詞】だったら、じゃあ「やいていがー」の変異形。【例】A: あちゃー かでいふつちや。 B: えていがー あちゃーいきまー いかいん (A: 明日は台風だってさ。B: だったら明日は池間に行けない)。[変異] あいやいていがー、あい

えていがー、あいやていがー、やいていがー、やていがー。

えへーい [ehei] 【感動詞】相手の言

っていることが信じられずに、小ばかにした風に言うときの感動詞。【例】えへーい かに（お前何言っているんだ、カニ）。

お

おー [o:] 【感動詞】『応答詞』はい（年長者に対する返事）。

おーか [o:ka] 【感動詞】相手の能力が低く、思ったほどできない場合に発する感動詞、なんだ。【例】おーか、っぐあんな うらーとうんま ひらいんな（なんだ、お前にはそんなこともできないのか）。[類] おーこ。

おーかん [o:kan] 【助動詞】「節+がおーかん」あるいは「名詞+がおーかん」の形を取って、現在の観察状況や伝聞状況から～と推論できるということを表す、～らしい、～ようだ。【例】あいが おーかん（そうらしい）。くるまぬにやーん むぬー みーていがーからー やーんな うらんが おーかん（車がないのを見ると彼はいないようだ）。かまぬ みどうんっぐあー だいがくー いでいーだーが おーかん（あそこの娘は大学を出ているらしい）。ていんぬ みーていがー あみふーわ一つつが おーかん（空をみると雨がふる空模様かもしれない）。かりやーでいんむちやが おーかん（あの人は金持ちらしい）。[変異] やうかん。

おーこ [o:ko] 【感動詞】相手の能力が低く、思ったほどできない場合に発する感動詞、なんだ。[類] おーか。

おーたにわたり [o:taniwatari] 【名詞】『植』樹上や岩肌に着生する常緑のシダ類、おーたにわたり。

おーっさり [o:ssari] 【感動詞】『応答詞』年配者への返事に使う応答詞[「おー」より丁寧]。【例】A: かに一、がんじゅーな？ B: おーっさり（A: カニ、元気かい？ B: 元気でございます）。

おい [oi] 【感動詞】（呼びかけ）おい。【例】おい かなす、うりゅー とういふいーる（おいカナス、それを取ってくれ）。

おごい [ogoi] 【感動詞】びっくりしたときに発する言葉。[変異] おごえ。

おごえ [ogoe] 【感動詞】びっくりしたときに発する言葉。【例】おごえ んめ（ぎゃー大変だ）。おごえ ばーま ずむぬー みー かばたまが いや ひーにやーん（ぎゃ、私は幽霊を見て度肝を抜かれた）。[変異] おごい。[類] あがい。

おいしい [oɕiiri] 【名詞】 押入れ。

おぶ [obu] 【名詞】 [C] 《幼児語》 水。
[変異] うぶ。

か

が [ga] ①【助詞】『格助詞』共通語「の」に当たる。代名詞、人を表す固有名詞について所有格を表す、普通名詞に付く場合は「ぬ」を用いる。人を表す名詞に付ける場合は、「が」「ぬ」のどちらも可能な場合がある。【例】うりゃー ばが むぬ（これは私の物）。ばが うむいや かい（私の考えはこうだ）。ならばが ぬーま（自分の馬）。っざが みがに（お父さんの水中メガネ）。[類] ぬ。

②【助詞】『格助詞』共通語「が」に当たる。代名詞、人を表す名詞について主格（動作、状態の主体）を表す。普通名詞の場合は「ぬ」を使う。人を表す名詞に付ける場合は、「が」「ぬ」のどちらも可能な場合がある。【例】ばが いかでい（私が行こう）。ばが っちゃーっぞう（私が釣った魚）。かいがどうんながーな かーかんかい（彼が一番ケチだ）。かぬきやがどううぬふにゆーんだいたいちゃ（あのひとたちがこのふねをこわしたんだって）。[類] ぬ。

が [ga]【接尾辞】動詞語幹について動作の目的を表す接尾辞、～に（行く、来る、帰るなど）。【例】どうすんかい

いじゃうが いつ（友達に会いに行く）。じょ、いんかい うーずが（さあ、海に泳ぎに（行こう））。やーんかい ばっしゃー むぬー とういが（家に忘れ物を取りに（行く））。でいんぬ とういが くー（金を取りに来い）。

が [ga]【助詞】『終助詞』疑問詞疑問文につく終助詞、「動詞」、「述語として使われた名詞」、「名詞+助詞」につくことができる。【例】っづあ いつどうかなだんかい はいがまたが（君はいつカナダに帰るんですか）。うらーなうが（これはなんだい）。からーたるが（あいつは誰だ）。んじゃんかいが（どこに行くのか [＜どこにか]）。たるが いつがどう ますが（誰が行くのがいいんだい）。

が [ga]【助詞】『接続助詞』節について間接疑問詞節を作る接続助詞、共通語と異なり「～がてい（かと）」のように引用の「ていー（と）」を伴うことも多い。【例】はらう んじゃん うつつが にだん（柱をどこに置くか決める）。まさいや んなま んじゃん うるーがてい にじゃみーふいーる（マサ

イがいまどこに住んでいるかしらべてくれ)。

かー [ka:] 【名詞】 [B] 井戸、水の湧き出ている所。【例】すまぬ いーなぎんな ひだがーていぬ ばきみずぬ いじゅー かーぬどう あい (村の西のほうにはヒダガーという湧き水がある)。かーゆ ほうい (井戸を掘る)。

がー [ga:] 【名詞】 [C] 口論、話。【例】がーや ひらいん ((あなたには) 何を言っても無駄だ)。がーや ならん ((あなたには) 何を言っても無駄だ)。

がー [ga:] 【名詞】 [C] 我 (をはる)。【例】がーゆ はい (我を張る)。がーゆ あす (我を張る)。がーじゅー (我が強い)。まーぬ がーみつな (余りガーと意地を張るな)。

かーい [kai:] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] 代わる、交代する；取り替える。【例】ばー だりゅーば すかまう かーいー ふいーる (疲れたから仕事を代わってくれ)。みーきかいんかい かーらし (新しい機械に取り替える)。くまん くるまう かーらはでい (ここで車を替えよう)。じょ まっチャー かーりー かまんきー ぬまでい (店を変えてそこで飲もう [くさあ、店をかわって])。ひーちやがま むらにゅー かーり (ちょっと子守りを変わって)。

かーい [kai:] 【名詞】 [A] 代わり、代理。【例】ばー かいが かーいや

ひどう ったい (私は彼の代わりで来た)。ばー かいが かーい (私は彼の代わりだ)。

かーい [kai:] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] (服、髪、土地など、濡れたものが) 乾く。【例】んなーぎゃー つんな かーらん (まだ服が乾いてない [く乾かない])。あかー んめ かーりーどうー (髪はもう乾いている)。あみゃー つふあんば はいや かーりーどうー (雨が降らないので畑は乾いている)。

かーい [kai:] 【名詞】 [C] 乾くこと。【例】つんな なまがーいやいば んなーぎゃー っちゃっでい ほうばんまい っちゃいん (服はまだ十分に乾いていないので、まだ着ようとしても着られない)。

がーい [ga:i] ① 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] おしやれをする。【例】ばー きゅーや がーりー っさらんかい いきーくーでい (私は今日はおしやれして平良に行つて来よう)。② 【名詞】 [C] おしやれ。【例】かぬ みどうんな やぐみ がーいびとう (あの女性はとてもおしやれだ)。やぐみ がーいゆ あす (とてもおしやれをする)。

がーい [ga:i] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 気分がよい、晴れ晴れとしている、満足した気持ちでいる。【例】んまがー すぐりーゆーば ばー がーりーどうー (孫がえらくなっているのうれしい)。ばー がーりー うとういば なうゆ

まい ほうでい (私は気分がいいからなんでもやろう)。

がーい [gai:i] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 自慢する。【例】ならがどう うむくとう あいていー まーぬ がーらだうり (自分が優秀だとあまり自慢するな)。からー いつまい うなが つふあぬくとうー がーい (あいつはいつも自分のこどものことを自慢する)。

がーい [gai:i] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 勝つ。【例】いーじゃとうー ん[°]なひつん がーいたい (西里は綱引きに勝った)。つづあんかいや なうまい がーらいん (お前にはなんにも勝てない)。とうすんかいや がーらいん (年には勝てぬ)。

かーいばい [ka:i bai] 【名詞】 代わり映え。【例】かーいばいや にやーん (代わり映えがしない)。

かーいばな [ka:i bana] 【名詞】 交替してすぐ、変わりばな。【例】かにやー かーいばなん ほーむらん なう ちゃいーにやーん (カニは変わった矢先にホームランを打たれてしまった)。

かーうり [ka:uri] 【名詞】 井戸に水汲みに行くこと [昔は西原ではヒダガーに水汲みに行くことを意味した]。

かーかす [ka:kasi] 【動詞】 [s/h 語幹] (干物をつくるために) 乾かす、(乾かすために服を) 干す。【例】たくー かーかす (タコを乾かす)。きゅーや じ

やう わーつつ やいば つんな あらいー かーかはでい (今日は気分がいいから服を洗って乾かそう)。

かーかに [ka:kani] 【名詞】 缶。【例】あにや かーかにがまぬどう でいんない (そんな缶が金になる)。やりがーかに (古い缶)。

かーかん [ka:kan] 【形容詞】 ケチだ。【例】からー かーかんんまり (彼はケチな奴)。あいぬ かーかん くとうぎやー ほうん (そんなしみつたれたことをしてはいけない)。かいがどうんながーな かーかんかい (彼が一番ケチだ)。[類] がず、ほうーらーす。

かーき [ka:ki] 【動詞】 [母音語幹] [C] (喉が) 渴く。【例】ばー ぬどうー かーきーどうーば みっじゅ ぬまひーふいーる (私は喉が渴いているので水を飲ませてくれ)。やーっさがーき (ひもじさ)。みずがーき (水が飲みたいこと)。[類] かーつ。

かーぎ [ka:gi] 【名詞】 [C] 顔だち。【例】あばらぎ かーぎ (美しい顔だち)。ずみぎ かーぎ (立派な顔だち)。じゃう かーぎ (良い顔かたち)。やな かーぎ (不器量)。くぬ まゆがまぬ かーぎやー じゃうかい (このねこの顔立ちは素晴らしい)。

かーきだく [ka:kidaku] 【名詞】 燻製のタコ。【例】かーきだくー ぐむぬんまりやーひー ひつにかいばならん

(燻製のタコはゴムのように硬くてしかたない)。

かーじゃい [ka:zai] 【名詞】フナ虫
[海岸の岩場、浜辺の舟に見られる]。

かーす [ka:si] 【名詞】[C] 菓子。【例】
かーっさ あずまむぬ(お菓子は甘い)。

かーつ [ka:tsi] 【動詞】[k 語幹] [C] 渴く。【例】ぬどうぬ かーつていがくぬ ちゃーゆ ぬみ(喉が渴いたらこの茶を飲め)。ばー науちゆんまぬどうー かーきや うらん(私は全然喉は渴いていない)。[変異] かーふ。[類] かーき。

がーな [ga:na] 【名詞】[C] アヒル。【例】がーなう うつつ (アヒルを追いかける)。

かーはぎや [ka:hagja] 【名詞】《魚》カワハギ。

かーま [ka:ma] ①【名詞】[A] 遠く。【例】かりゃー かーまんかい はりーにゃーん(彼は遠くに行ってしまった)。かーままーい あす(遠回りをする)。かーまばい(遠方の畑)。ぶらー かーま(保良は遠くだ)。②【形容詞】[C] 遠い。【例】むいとう ゆー かーま(とても遠い)。かまどう んながーな かーまかい(あそこが一番遠い)。

がーまーす [ga:ma:si] 【接尾辞】期間を表す名詞を取ってその期間ずっとという意味を表す、～中。【例】ひと

ういがーまーす(一日中)。ふたいがーまーす(二日中)。なつがーまーす(夏中)。ひとうていがーまーす(一年中)。

かーら [ka:ra] 【名詞】[C] 瓦。【例】あかがーら やー(赤い瓦の家)。かーらん なびきがーらとう みーがーらぬどう あい(瓦には雄瓦と雌瓦がある)。

がーら [ga:ra] 【名詞】[B] 水流。【例】みずがーら(激流)。

がーら [ga:ra] 【名詞】[B] 《魚》ヒラアジ。

がーらい [ga:rari] 【動詞】[母音語幹](～に)負ける[「がーい(勝つ)の受身形]、～次第。【例】なうまい でいんどう がーらい(なんでも金次第だ)。くぬ ゆーや がっこーうむくとうんどう がーらい(この世は学校で学ぶ知識次第だ[>学歴次第だ])。

かーらきー [ka:raki:] 【名詞】《遊》瓦蹴り。【例】じよ、かーらきー ほうでい(さあ、瓦蹴りをしよう)。だいしやーひー けんけんばーや ひー かーらー きりー あそー(片足飛びでケンケンパーして瓦蹴りの遊びをして遊ぶ)。

かーらす [ka:rasi] 【動詞】[s/h 語幹](人を)交替させる、変える、変化させる。【例】うぬ やくいんな なっちゃんかいかいば かーらし(この役員は怠け者だから交替させろ)。うながどうー

ゆ かーらはい むぬぬどう いつが
みまい ぬくいていぬ むぬちゃ (自
分自身を変えられるものが残るのだ)。
くるまう かーらひー ふいーる (車
を取り替えてくれ)。

かーらす [ka:rasɪ] 【動詞】 [s/h 語幹]
(濡れた衣類などを) 乾かす。【例】つ
んな かーらひゅー (服を乾かしてい
る)。あーゆ かーらす (粟を乾かす)。

かーらずみゃ [ka:razimja] 【名詞】
『昆』クマゼミ 「[っさずみゃ、なまだ
んずみゃ」の次に現れる大型のセミ】。

かーらつ [ka:ratsɪ] 【動詞】 [k 語幹]
(濡れた衣類などが) 乾く。【例】んな
ーぎゃー つんな かーらかん (まだ
服は乾いていない)。あかう かーらか
し (髪の毛を乾かせ)。[変異] かーらふ。

かーらふ [ka:rafu] 【動詞】 [k 語幹]
(濡れた衣類などが) 乾く。 [変異] か
ーらつ。

がーらみつ [ga:ramitsɪ] 【動詞】 [k
語幹] どっと、ごうごう [大量のものが
押し寄せる様子]。【例】はーさぬ ひ
とうぬどう がーらみつきゃー なく
まい ひらいん (たくさんの人が押し
寄せるのでなにもできない)。みずぬど
う がーらみきー ながりゅー。(水が
ゴーゴーと流れている)。[変異] がー
らみふ。

かーん [ka:n] ① 【名詞】 [C] 十分だ。
【例】ばが っじ だまー うさきひー

あてい かーん (私の分け前はこれ
ぐらいで十分すぎる)。うさきぬ でい
んがまひーや かーんな あらっだん
(これくらいのはした金では十分ではな
かった)。うさきぬ さきがまうぎゃー
たうかーひー あてい かーん ぬ
んどうす (それくらい酒だったら十分
一人で飲める)。②【形容詞】 [B] 十分
だ。【例】うさきひーや かーんっふあ
にゃーん (それだけでは十分ではない)。
ばがたまー むいとう かーんかたい
(私の取り分は十分だった)。

かい [kai] ① 【指示詞】 [A] 『指示名詞』
遠くにあるものを指す指示詞、あれ [提
題形は「からー」、目的形は「かるー」
または「かりゅー」。【例】からー
なう やいば (あれはなに)。かりゅー
くまんかい むちーくー (あれをこ
こに持ってこい)。③【代名詞】 [A] あ
の人、彼、彼女 [男女の区別はない。提
題形は「からー」、目的格形は「かるー」
または「かりゅー】。【例】かいが み
どうん (彼の妻)。かいが びきどうん
(彼女の夫)。からー たる やいば (あ
いつは誰だ)。かるー くまんかい さ
ーりーくー (あいつをここに連れてこ
い)。②【指示詞】『指示副詞』 そのよう
に、そう；そうだ。

かい [kai] 【副詞】 こう、このように、こ
んなに。【例】あいかいぬ くとうーひ
どう かぬきゃが ふたーい とうず
ぶとうん なりゅーい (あれやこれや
で彼ら二人は夫婦になった)。ばが う

むいや かい (私の考えはこうだ)。ばが みーたい むぬー かいぬ むぬ あたい (私が見たのはこんなものだった)。かいぬ んまっふあにやーん むぬー ふあーいん (こんなまずいものは食べられない)。かいぬ んまむぬーぎやー ふあいや みーん (こんなおいしいものは食べたことがない)。

かい [kai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] 借りる。【例】 でいんぬ かい (金を借りる)。

かい [kai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] (草などを) 刈る。【例】 あちやー っさまい かいが いかだかーならん (明日は草なども刈りにいかなければならない)。

かい [kai] 【名詞】 [C] 甲斐。【例】 きゅーや うまんかい っちやー かいや ありーどうー (今日はここに来た甲斐がある)。

かい [kai] 【接尾辞】 性質を表す形容詞性語幹について形容詞を作る接辞。【例】 はーかい (速い)。ほういかい (大きい)。あばらぎかい (美しい)。

かい [kai] 【動詞】 [母音語幹] [A] (別のものに) 変える、(別のものと) 交換する；(店などを別のところに) 移る。【例】 うるー くいんかい かいー ふいーさまでい (それをこれに変えて下さい)。みー きかいんかい かいる (新しい機械に取り替えろ)。きぶんぬ

かいー (気分を変える)。まっちゃう かいでい (店を変えよう)。**[類]** かいー。

がい [gai] 【名詞】 [C] 害、言いがかり、迷惑。【例】 がいにん (人に意地悪する人)。ひとうんかいや がいゆぎやー ほうん (人には言いがかりをつけないものだ)。ばぬんかい がいゆ かきーな (私に迷惑をかけるな)。

かいー [kai:] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 転ぶ。【例】 やらびやー かいりーにやーん (子供は転んだ)。かいりー ていーや ぶりーにやーん (転んで手を骨折した)。うまん かいーていがー やぐみぐとう (ここで転んだら大変だ)。うまん かいらだうり (ここで転ばないでくれ)。

かいていがー [kaietiga:] 【接続詞】 そうだったら、それじゃあ。【例】 A: あちやー かでいふつちや。 B: かいていがー あちやー いきまー いかいん (A: 明日は台風だっけ。 B: だったら明日は池間に行けない)。あいていがー ぼー いかじゃーん (そうだったら私は行かない)。**[変異]** あいやていがー、あいていがー、あいやていがー、やていがー、えていがー。

かいくん [kaikun] 【動詞】 [m 語幹] 心配してない、(勝つ、できる) 自信がある。【例】 ぼー ういがまんま きんていどう かいくみゅー (俺はそ

んなやつには負けない自信がある)。かいくんばらい (自信満々に笑うこと)。

かいしうす [kaiçiusi] 【名詞】台風の吹き返しの風。【例】かじゃー かいしうすぬどう まさりー ちゅーかい (風は吹き返しの風が更に強い)。[変異] かいしうつ、かいしふつ、かिसうす、かिसうつ、かिसふつ。

かいしうつ [kaiçiutsi] 【名詞】台風の吹き返しの風。[変異] かいしうす、かいしふつ、かिसうす、かिसうつ、かिसふつ。

かいしき [kaiçiki] 【名詞】食べ物を盛る器。

かいしふつ [kaiçifutsi] 【名詞】台風の吹き返しの風。[変異] かいしうす、かいしうつ、かिसうす、かिसうつ、かिसふつ。

かिस [kaisi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] (手などを)返す; (借りたものを)返却する。【例】ていーゆ かिस ((踊りなどの所作で)手を返す)。かいはいぬ うんっじゃ いつがみまい かいはいん (彼への恩義はいつまでも返せない)。

がいず [gaizi] 【副詞】とても、非常に。【例】かぬ みどうんな がいず しゃんばい ひとつ (あの女性はとても写真写りがいい)。うらー がいず そうぎやうや あい ひとつ (彼はとても格好の良い人)。

がいず [gaizi] 【名詞】[C] 駄々をこねること、わがまま、めいわく。【例】んまんか いや がいっじゅ あすな ([お母さんがこどもにさとし聞かせている状況] 母さんには駄々こねないで)。くぬ やらびやー いつまい んまんかい がいっじゅ あす (この子はいつも母親に駄々をこねる)。ひとつーぎやー がいっじゅぎやー ほうん (人を邪魔しない [>してはいけない])。がいずびとう (邪魔ばかりする人)。

かिसうす [kaisiusi] 【名詞】台風の吹き返しの風。[変異] かいしうす、かいしうつ、かいしふつ、かिसうつ、かिसふつ。

かिसうつ [kaisiutsi] 【名詞】台風の吹き返しの風。【例】かでいぬかिसうつんなかじゃーにやーん (風は吹き返すとき無風状態になる [台風の目に入り風が逆向きに吹き返すその直前いったん無風状態になること])。[変異] かいしうす、かいしうつ、かいしふつ、かिसうす、かिसふつ。

かिसふつ [kaisifutsi] 【名詞】台風の吹き返しの風。[変異] かいしうす、かいしうつ、かいしふつ、かिसうす、かिसうつ。

かいな [kaina] 【名詞】[B] 腕 (かいな)。【例】やぐみ かいな (大きな(立派な)腕)。ずみぎ かいな (逞しそうな見事な腕)。

がいにな [gainin] 【名詞】変人、へそ曲がり。 [類] がいずびとう、がいずんまり。

かいぬ [kainu] 【連体詞】こんな。【例】かいぬ むぬ (こんなもの)。かいぬ んまむぬーぎゃー ふあいや みーん (こんなにおいしいものは食べたことがない)。かいぬ んまっふあにゃーん むぬー ふあーいん (こんなまずいものは食べられない)。

かいたまたさなず [kaimatasanazi] 【名詞】クラゲ。

かいていがー [kaijatiga:] 【接続詞】そうだったら、それじゃあ。【例】A: あちゃー かでいふつちや。 B: かいていがー あちゃー いきまーいかいん (A: 明日は台風だつてさ。 B: だったら明日は池間に行けない)。あいていがー ばー いかじゃーん (そうだったら私は行かない)。[変異] あいやいていがー、あいていがー、あいていがー、やいていがー、やていがー、えていがー。

かいらく [kairaku] 【名詞】態度、動作などが定まっていない様子、体がふらつく様子。【例】まーぬ かいらくー あすな (どっちつかずの態度を取るな)。びゅーいびとうぬ かいらくん なりー あいきー まーりゅー (酔っぱらいがふらつきながら歩き回っている)。

かいらす [kairasi] 【動詞】[s/h 語幹] (ものを) ひっくり返す、(人を) 転ばす。

【例】いっそう かいらす (石をひっくり返す)。やらびゅー はっじゃ とういー かいらすたい (子供を足を引っかけて転ばした[「とうい(取る)」は足でひっかけることも意味する])。

かう [kau] 【動詞】[w 語幹] [A] 買う。

【例】まいゆ かう (コメを買う)。たかからばんまい やすからばんまい なうやらばんまい かーでい ((値段が高かろうが安かろうが何でも良いから買います)。ひとうぬ やどうゆんぬぎゃー かーん (他人のけんかは買わない)。くまなぎぬ とうくぬー たかかいは かーいん (ここらへんの土地は高くして私には買えない)。

かう [kau] 【名詞】[B] 線香。【例】かんにがいな かうゆどう たつ (祈願には線香を焚く)。

かう [kau] 【形容詞】[B] 痒い。【例】さみ かうしゃーや いでいー かうかいは ならん (疥癬が出て痒くてならない)。かうからばんまい かかだうり (かゆくても搔くな)。かうかい とうくまう かつ (痒い所を搔く)。

がう [gau] 【副詞】物を噛むときの様子を表す擬態語、がぶり。【例】べーばが ほうーゆびゅー がうていー かも (さー私の親指をがぶりと噛め)。[類] がうがう。

がう [gau] 【助数詞】米や酒などを測る単位、1合は180cc。【例】いつがう(1合)。まいゆ さんがう かいーくー(コメを3合買ってこい)。

がう [gau] 【名詞】[C] 量、計量。【例】がうや たらーん((計量の間違いで)量が不足している)。

かうー [kau:] ①【動詞】[vv 語幹幹] [C] (布団を自分に)かける、(帽子を)かぶる、(眼鏡を)かける。【例】やりずんぬ かつういー にゆー(古着をかけて寝る)。ぼーしゆー かうー(帽子をかぶる)。みがにゆー かうー(眼鏡をかける)。**[類]** かつうい。②【動詞】[vv 語幹幹] [C] (水を)被る。【例】ひぐる みっじゆ あみかうー(冷たい水を頭からあびる)。**[類]** かつうい。③【動詞】[vv 語幹幹] [C] (借金を)被る、(罰を)受ける、(恩義を)受ける。【例】つづあー かいが うっかう かつうい(お前は彼の借金を被れ)。ひとーすていじゃん あすていがー ういが ぼっちゆどう かうー(人をないがしろにしたらその罰を受ける)。うんっじゆ かうー(恩義を受ける)。**[類]** かつうい。

がうい [gaui] ①【動詞】[r/rr 語幹] [C] 参る、降参する、負ける。【例】ばーみどうんかいや がうりーどうー(私は妻には参っている)。うぬきやうぎゃー がういきやたーひー あっじーならーし(彼らをもう降参だというま

で教え諭しなさい)。**[類]** がーい。②【動詞】[r/rr 語幹] [C] (基本形について)〜し飽きる、参る。【例】みーがうりーどうー(見飽きている)。わーゆぎゃー ふあうがうりーどうー(豚肉はもう食べ飽きた)。**[類]** がうり。

がうがう [gaugau] 【副詞】擬態語、食事を元気よく食べる時の動作や音を表す、がぶがぶ、がつがつ。【例】がうがうていー ふあい(元気よく食べなさい)。

かうがま [kaugama] 【名詞】臆病、引込思案、臆病な人。【例】かうがま やらび(引込思案の子供)。からーむいとうぬ かうがま(あいつはとても臆病だ)。かうがまん なうまい ひらいん(臆病者者には何もできない)。

かうき [kauki] 【形容詞】[B] 食べ物を欲しがる、食いしん坊(であること)。**[例]** かりゃー いつまい かうき(あいつはいつも食べ物を欲しがる)。かりゃー かうきびとう(あいつは食べ物を欲しがる食べ物を欲しがる人だ)。くぬ やらびゃー むいとう かうき(この子はとても食いしん坊だ)。

かうきや [kaukja] 【名詞】[C] 食べ物を欲しがる人、食いしん坊。【例】かりゃー かうきや(彼は食べ物を欲しがる食べ物を欲しがる人だ)。

かうさだい [kausadai] 【形容詞】(頭髮が)ばさばさで不潔な。【例】かう

さだい やらび (頭髪がばさばさで不潔な子供)。からー いつまい かうさだい (あいつはいつも頭髪がばさばさで不潔だ)。

かうさだり [kausadari] 【形容詞】(疥癬などできて) 掻いた後肌がひどく荒れること。【例】かりゃー むいとうの かうさだりびとう。

かうさだりや [kausadarja] 【名詞】(頭髪が) ばさばさで不潔な人。【例】あかうまい あらーん かうさだりや (髪も洗わない不潔な奴)。

かうしゃー [kauŋa:] 【名詞】疥癬(かいせん)。【例】かうしゃーん ないていがー かうかいば ならん (疥癬になると痒くてしかたがない)。かうしゃーや ひー どうーや さみんなり ゆー (疥癬で身体はサメ肌になっている)。

かうす [kausi] 【名詞】[C] 女性が頭に物を乗せて運ぶ時に使う、茅でできた輪っかのクッション。【例】ゆーくいんな ぱーたー かうっさ かつぐいー よーんてーるてい あいっちゃん すまう あいきーまーい (ユークイにはおばあさんたちは世を豊かにして下さいと言いながら集落を歩き回る)。

かうず [kauzi] 【名詞】[B] 麴(こうじ)。【例】かうっじゃ ちゅっふいーからどう んそうーぎゃー つきー

(麴を作った後に味噌を漬ける)。かうっじゃ んめ たていーどうー (麴はもうカビが発生している)。

かうすばら [kausibara] 【名詞】粟収穫時に「かうす」でできたマメ。

かうつつ [kautsitsi] 【名詞】線香を入れる竹製の筒。【例】んきゃーんぬななむいぬ ぱーたー かうや かうつつんかい いりどう うたきんかい いきゅーたい (昔のナナムイのおばあさん達は線香を竹筒に入れて御嶽に行っていた)。

がうみつ [gaumitsi] 【動詞】[k 語幹] がつがつと食べる。【例】むぬーぎゃー がうがうていー がうみきー ふあい (飯を元気よく食べなさい)。[変異] がうみふ。

がうら [gaura] 【名詞】[C] 『果物・野菜』ニガウリ。【例】がうらー んぎゃ (ニガウリは苦い)。

がうり [gauri] 【動詞】[母音語幹] [C] 飽きる、参る。【類】がうい。

かうる [kauru] 【名詞】[C] 香炉。【例】うたきんな かうるぬどう あい (ウタキには香炉がある)。

かかい [kakai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] 接触する、関わる。【例】うぬ まかいんかいや かかいな (このお椀には触るな)。やなびとうんかいや かかいな (悪い人には関わるな)。

かかい [kakai] 【名詞】[C] 障害。【例】
なうぬ かかいていや にゃーん (何
の障害もない)。

かかいつじゃんふ [kakaizzanfu] 【形容詞】(こどもが)まとわりつく ; (木
などが)引っかかる ; (子供などがまと
わりついて)イライラする ; (木などに
引っかかって)引っかかってイライラ
する。【例】やらびゃー かかいつじ
ゃんふかいば すかままい いかいん
(こどもがまとわりついて仕事にも行け
ない)。さるかぎーや かかいつじゃん
ふかいばならん (サルカケミカンの木
(の刺)は引っかかってイライラしてな
らない)。

かかっず [kakazzi] 【動詞】[zz/dd 語
幹] 引っ掻く、引っかかる、掻き集める。
【例】まゆん かかっじゃいたい と
うくまぬ ほうがさん なるー (猫に
引っかかれたところが化膿している)。
さるかん かかっじゃいにゃーん (サ
ルカに引っかかった [サルカは棘のある木])。あーさう かかっじー と
うい (アオサを掻き集めて取れ)。

かかみきや [kakamikja] 【名詞】慌
て者。【類】ちゃーふきや、とうとう
っふや、とうっふや。

ががら [gagara] 【接尾辞】「なうががら
(何か)」、「いつががら (いつか)」、「んじ
ゃががら (どこか)」などのように、疑
問詞の後について不定名詞を作る。「~
がら」でもよい。【例】かまんどう

なうががらぬ あい (あそこになにか
ある)。いつががら じよ いじゃーで
い (いつか一度会いましょう)。なうや
ひーががら うまん でいんぬ ある
ー (なぜかここにお金がある)。

ががら [gagara] 【接尾辞】節のあとに
ついて疑問詞節を作る、~か、~のか。
【例】やーぬ かぎゃー んじゃんかい
うきゃーががら むいとう とうみ
らいん (家の鍵はどこに置いたのか全
然見つからない)。ばぬんな うらー
なうばいどう ちゅっふゃーががら
っさいん (私にはそれはどうやって作
ったのかわからない)。かりゃー うっ
かぬ はーさ あたいががら ふっで
いー すにーにゃーん (彼は借金が沢
山あったのか首をくくって死んでしま
った)。いじやどう いじやががら さ
だかーひらい (どこかどこかわからな
い)。かりゃー なうゆどう かんがい
ゆーががら っさいん (あいつは何を
考えているかわからない)。

かがん [kagan] 【名詞】[B] 鏡。【例】
っうあが ぬどうぬ すかたいゆ か
がんひー みーみーる (あなたの首の
皺を鏡で見てください)。

かき [kaki] 【動詞】[母音語幹] [C] (秤
で)計量する。【例】さたう はかい
ひー かきー かう (黒糖を秤で計量
して買う)。

かき [kaki] 【動詞】[母音語幹] [C] (声
を)掛ける、ものを(何かに)掛ける、。

【例】からー みんぐ やいば やぐ
いゆ かきる (彼は耳が遠いから大声
を掛けろ)。びらふー うまんかい か
きる (カゴをそこに掛けろ)。

かぎ [kagi] 【名詞】[C] 陰、影。【例】て
いだー あたらん きーぬ かぎ (太
陽の当たらない木の陰)。うまー あつ
かいば かぎがまん いきー すなー
かがま びじゅーき (そこは暑いから
陰に行って静かに座ってなさい)。

かぎ [kagi] 【形容詞】[B] (見た目が
美しい；(心が)きれいだ；(日取りな
どが)良い、めでたい。【例】あやば
さー かぎむぬがま (蝶は美しいもの
だ)。かぎ ずっちゅ (綺麗な月 [＞
満月])。つむかぎ (親切な人)。かり
ゃー あら かぎ なか やり やい
ば かいがつむぬ なかー ゆまいん
(彼は外面はいいが彼の心の中は読めな
い)。きゅーや かぎ みゃーくずち
ゃ んかいさまい おめでとーござい
ます (今日は麗しいみゃーくずつを迎
えられておめでとうございます)。

かぎさ [kagisa] 【名詞】[C] (見た目
が)美しいこと、(心が)きれいなこと；
(日取りなどが)良い、めでたいこと。
【例】そうるいどう かぎさ (集まるこ
とがめでたい)。

かぎそうがい [kagisugai] 【成句】盛
装、おしゃれして着飾ること。【例】さ
さぎゆーいんかいや かぎそうがいや

ひー いかでい (結婚式には盛装し
て行こう)。

かぎでいー [kagidi:] 【名詞】(仕事
ぶりが)きちんとしている。【例】か
ぎでいー じゃやふ (腕のいい大工)。
【類】くまでいー。

かきら [kakira] 【名詞】[B] 欠片 (か
けら)。【例】かーらぬ ひとつかきら
(瓦の一かけら)。

かきらいん [kikirain] 【動詞】[母音
語幹] 言うことを聞かない [＜「かき
(掛ける)の可能否定「かけられない」]。
【例】かきらいん やらび (言うこと
を聞かないどうしようもない子供)。ぎ
っじゃ ひらいん かきらいん ぎず
ぎやうな (言うことを聞かすことので
きない、手に負えない腕白坊主)。

がぐ [gagu] 【名詞】[C] 縮れ毛；縮れ
毛の人。【例】かぬ みどうんがまー
がぐがま (あの娘は縮れ毛だ)。

かくまらす [kakumarasi] 【動詞】[s/h
語幹] 縮めさせる。【例】うとうるす
かいば どうーゆ かくまらし (怖い
ので身体を縮めさせる)。

かくん [kakun] 【動詞】[m 語幹] [C]
囲む。【例】っぞうー あんひー か
くん (魚を網で囲む)。

かくん [kakun] 【動詞】[m 語幹] [C]
(身体の一部を)折る、屈める。【例】
あてい っしかいば どうーゆ かく

みゅー（余りにも寒いので身を屈めている）。うとうるすかいば どうーゆかくん（怖いので身体を縮める）。[変異] がぐん。

がぐん [gagun] 【動詞】 [m 語幹] [C]（身体の一部を）折る、屈める。【例】はっじゅがぐん（足を折って座る [＞正座、あぐらなどを指す]）。[変異] かくん。

かさ [kasa] 【名詞】 [B] 麻疹（はしか）。【例】かさがまぬどう はやりゅー（麻疹が流行っている）。ういびとう なりーからぬ かさ いじゃー やぐみぐとう（年取ってから麻疹になることは大変なことだ）。やらびゃー かさーいのでいどう ぬーっじゅー（子供は麻疹が出て唸っている）。

かさき [kasaki] 【副詞】 こんなに沢山。【例】でいんな かさき あふりーどう（お金はたくさん溢れている）。

かさに [kasani] 【動詞】 [母音語幹] [A] 重ねる。 [類] かさん (m 語幹)、かさみ。

かさび かがさ [kasabi kagisa] 【成句】 良いことが重なって素晴らしいこと。

かさます [kasamasi] 【形容詞】 悔しい；面白くない、イライラしている。【例】かいん だまはいー かさますかいば ならん（彼に騙されて悔しくてしかたがない）。ばー かさますかいば

ばたー むぎゃっりーどうーい（私はくやしくていきり立っている）。

かさみ [kasami] 【動詞】 [母音語幹] [A] 重ねる。 [類] かさん (n 語幹)、かさみ。

がさみ [gasami] 【名詞】 [C] 《生物》 マングローブガサミ。

かさみき [kasamiki] 【動詞】 [母音語幹] イライラする。 [類] かさみつ。

かさみき [kasamiki] 【形容詞】 落ち着きがない。 [類] かさみつ。

かさみつ [kasamitsi] 【動詞】 [k 語幹] 苛立つ、イライラする。【例】つむーかさみきーどうー（イライラしている [＜心がイライラしている]）。きゅーや かさますかいば かさみきーどうー（今日は面白くないので苛立っている）。かの やらびゃー いつまいかさみきーどうー（あの子どもはいつもいらいらして落ち着かない）。[変異] かさみふ。 [類] かさみき (母音語幹)。

かさみつ [kasamitsi] 【形容詞】 落ち着きがない。【例】かの やらびゃーかさみつんまり（落ち着きがない人）。かさみつ やらび（落ち着きのない子ども）。[変異] かさみき。

かさみふ [kasamifu] 【動詞】 [k 語幹] 苛立つ、イライラする。 [変異] かさみつ。 [類] かさみき (母音語幹)。

かさん [kasan] 【動詞】 [n 語幹] [A]
重ねる。 [類] かさん (m 語幹)、かさに、かさみ。

かさん [kasan] 【動詞】 [m 語幹] [A]
重ねる。 [類] かさん (n 語幹)、かさに、かさみ。

かさん ぶん [kasan bun] 【成句】
重ね盆、更なる祈願盆。

かし [kaçi] 【名詞】 [B] 織り糸。

かしー [kaçi:] 【名詞】 [C] 加勢、手伝い。【例】 やーふつかしーゆ あす (家づくりの手伝いをする)。ばーきゅーやまーやにゃーんばかしーやひらいん (今日は時間がないので手伝いはできない)。

かしぎ [kaçigi] 【名詞】 [C] 紡いだ糸を巻き取って糸の長さを測る H 型や X 型の道具。栴木 (かせぎ)。

かじゃ [kaza] 【名詞】 [B] におい、かおり。【例】 さきかじゃ (酒のにおい)。やまがらかじゃ (野生の生き物の臭い)。かじゃう かん (臭いを嗅ぐ)。なんつつかじゃ (焦げ臭いにおい)。ぴーかじゃ (ニンニクの臭い)。がばかじゃ (加齢臭)。あしかじゃ (汗の臭い)。かばすかじゃ (香ばしいかおり)。

かじゃー [kaza:] ① 【形容詞】 [C] ずっと遠い。【例】 ぶらー かじゃー (保良はずっと遠い)。 [類] ゆーかーま。② 【名詞】 [C] ずっと遠く。【例】 からー

かなだぬ かじゃーからどう っちゅー (あいつははるかカナダから来ている)。 [類] ゆーかーま。

かじゃう [kazau] 【形容詞】 [B] 風が強いこと。【例】 きゅーや かじゃうかいば ならん (今日は風が強い)。

がじゃてい [gazati] 【オノマトペ】 (木、紙、髪などを切るようすを表す擬音を) バサッと、バツサと、ビリッと。【例】 きーゆぎゃー がじゃてい きり (木をバツサと切れ)。がじゃていーかびーゆ さつ (ビリッと紙を裂くさく)。あかう かじゃてい そうい (髪をバサッと切る)。

かじゃまーい [kazamai] 【名詞】 急激に風向きが変わること、急激に強風になること。【例】 いーかじゃまーい (急激に北向きの強風になること)。いーかじゃまーいぬ ふーぎかいば じょー はやまり やーんかい はらでい (北からの突風が来そうだから、さあ早く家に帰ろう)。 [類] かでいまーい。

かじゃまき [kazamaki] 【名詞】 (虫や植物で) 皮膚がかぶれること。【例】 やまんかい はいりどう かじゃまきやー ひーゆー (山に入ってむしかぶれしている)。かじゃまきぬ とうきやんな やりさばう あっづゆーとうい ურიゆー かうかい とうくまんかい あたらすきやー なういどうす (藪のなかに入ってかゆくなった時には

古い草履をあぶっておいて、それをかゆいところにあてると治る)。

がじゃみつ [gazamitsi] 【動詞】[k 語幹] (人で) 混雑する、がやがやとうるさい。【例】は一さぬ ひとつぬどうがじゃみきゅー (多くの人々で混雑している)。やらびんみぬどう がじゃみきゅー (子供達ががやがやとうるさい)。**[変異]** がじゃみふ。

がじゃみふ [gazamifu] 【動詞】[k 語幹] (人で) 混雑する、がやがやとうるさい。**[変異]** がじゃみつ。

かじゃん [kazan] 【名詞】[C] 蚊。
【例】かじゃんー ささいー っさんん ぱずん ないちゃ (蚊に刺されて象皮病になるんだって)。

かじゅーす [kazu:si] 【動詞】[s/h 語幹] 増やす。【例】やーふつ にんじゅー かじゅーし (家づくりの人員を増やせ)。ういんかいや んめ ひーちやがま かじゅーし (これにはもう少しだけ増量しなさい)。

かじゅい [kazui] 【動詞】[母音語幹] [C] (人数やものの量が) 増える、～より多い。【例】くとうっさ くじゅんつきゃー やらびゃー かじゅいーどうー (今年は去年より子供の人数が増えた)。すまぬ ひとつんみゃー かじゅいーはたい (村の人口は増えていった)。つづあが たまー かいが たまんつきゃー かじゅいーどうー (あなたの分け前は彼の分け前より多い)。

かす [kasi] 【動詞】[s 語幹] [A] 貸す。
【例】でいんぬ かす (金を貸す)。

かす [kasi] 【名詞】[B] 糟、粕、滓、不要なもの。【例】つづあ むいとうぬ かす (お前は全くのカスだ)。

かず [kazi] 【名詞】[B] 舵、管理、仲良くやること、いうことを聞かすこと。
【例】ふにぬ かつじゅ とうい (船の舵をとる)。つづあが かつじゃ とうらいん (あなたの舵は取れない [> あなたとは上手くやっていけない])。やらびんみぬ かつじゃ とうらいん (子供に言うことは聞かせられない)。ぶとうぬ かつじゃ とうらいん (旦那の管理はできない)。

がす [gasi] 【オノマトペ】ごっそり、全て。【例】は一さぬ むぬ あたいそが がすていー ふあーいーにやーん (たくさんの食べ物だったが全て食べられてしまった)。

がず [gazi] 【名詞】[B] 物を吊り下げるもの、鉤 (木製もある)。【例】びらふー がずんかい さぎー (籠を鉤に下げる)。

がず [gazi] 【名詞】[B] お金やものを出し惜しみすること；けちな人、お金やものを出し惜しみする人。【例】がっじゃひー ういていがー うやきんな ならいん (けちけちしては金持ちにはなれない)。

がず [gazi] 【形容詞】[B] けちだ、お金やものを出し惜しみする。【例】ほうーらーす がずんまり（見せびらかしのケチ）。がずんな うやきん ならいん（ケチは金持ちにはなれない）。

かすい [kasii] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] かする、かかる。【例】んなまぬ かでいふっちゃ みゃーくんかいや かすいや とうんま ほうん（今度の台風は宮古にはかすりもしない）。[類] かい。

かすかう [kasikau] 【形容詞】むず痒い；（幽霊などがでそうで）ぞくぞくする。【例】あだんぬ ばっそう ふあうていがー かすかうむぬ（アダンの身を食べたらむずかゆい）。うまー まずむぬぬ いでいぎかいば かすかうむぬ（そこは幽霊が出そうでぞくぞくする）。

かずつ [kazitsi] 【名詞】[C] 『生物』『食』バフンウニ。【例】かずっच्या うんかいばどう うんかずつていー あっじゃいーゆーびゃーい（ウニは大食いだから大食いうニと呼ばれているのだろうか）。[変異] うんかずつ。

がずはなぎー [gazihanagi:] 【名詞】ガジュマルの木。【例】はいぬ かつんな がずはなぎーぬどう ういゆー（畑の垣根にガジュマルの木を植えている）。

かた [kata] 【名詞】[B] 味方。【例】せんきよぬ とうきやんな うなが か

たぬ は一さからだかー かちやいん（選挙のときには自分自身の味方が多くないと勝てない）。かりゃー かまぬ かた（彼は向こうの味方）。

かた [kata] 【名詞】[C] 『昆』バツタ。【例】は一かがた（タイワンツチイナゴ）。ぬーまぬ ふらがた（クルマバツタ）。うななぎんな かたぬどう は一さうい（ここらへんにはバツタが多い）。はいぬ むぬー かたん むいとう ふあーいーゆー（作物がバツタの被害にあっている）。

かた [kata] 【形容詞】[A]（味などが）濃い、（間が空いていない）密な。【例】かたちゃー（濃いお茶）。かたんっつー（濃厚な味噌汁）。くまー あーぬ たにぬ あてい かたまっच्या ひーゆーば あとうん っさう とうらだかー ならん（粟の種を密にまきすぎたのであとで間引きしないといけない）。

かたー [kata:] 【名詞】[B] 体に障害のある人。【例】かたー むぬ（身体の不自由な人）。

かたーつづあ [kata:vva] 【名詞】身体不自由な子供。【例】かたーつづあ がまー つんだらすむぬ（体の不自由なこどもはかわいそうだ）。

かたーむぬ [kata:munu] 【名詞】体に障害のある人。

かたあき [kataaki] 【名詞】役目、役割。【例】んまーっざう つかなうや

っづあが かたあき (両親の介護はあなたの役目だ)。ぬーまぬ っさかい や やらびんみぬ かたあき (馬の草刈りは子供たちの役目だ)。うぬ すかーまー っづあが かたあき (その仕事はお前の役目だ)。ひんじゃぬ っさかいぬ かたあきゆー やらびんかいびす (山羊の草刈りの責任を子供に負わせる)。

かたい [katai] 【名詞】[C] 親戚。【例】くらー ばが かたいぬ むくどー (これは親戚関係の婿だ)。[類] はらうず、うとうじゃ。

かたいしや [kataiŝa] 【名詞】『遊』足の親指を捕まえてケンケンする子供の遊び。

かたうき [katauki] 【動詞】[母音語幹] 傾く。【例】んみゃ ひーちゃ かたうきていがー たういどうすはず (もう少し傾いたら倒れるはずだ)。[変異] かたうつ。

かたうさ [katausa] 【名詞】かさぶた。【例】かたうさ いじゅーば んめ ほうがさー なうりーどー (かさぶたができてからもうおできは治っている)。

かたうた [katauta] 【名詞】片隅、(人の体の)横、となり。【例】うりゅーぎゃー かたうたん うっき (それは片隅に置け)。ばが かたうたんかいくー (私の横に来なさい)。

かたうつ [katautsi] 【動詞】[k 語幹] 傾く。【例】かたうきー みーみーる (傾いて見てごらん)。ますぎたー かたうきーどう ((その)石垣は傾いている)。[変異] かたうき。

かたうふ [kataufu] 【動詞】[k 語幹] 傾く、傾ける。【例】かなまいゆ かたうふ (頭を傾ける)。[変異] かたうつ。

かたか [kataka] 【名詞】[C] 風、陽の当たらない所、物陰、さえぎるもの。【例】うまー っしかいば かたかがまん いきー すなーかがま びじゅーき (そこは寒いので風の当たらないところに行ってじっとしていなさい)。やらびぬ かたかん ない (子供の遮蔽(しゃへい)になって子供を守る [> 身をもって子供を守る])。うまーあつかいば きーぬ かたかがまんかい いき (ここは暑いので木陰に行きなさい)。かでいふつんな かたかんかいか じゃー まーぬ あたらん (台風のときは物陰には風はあまり当たらない)。

かたかす [katakasi] 【名詞】『魚』通称：オジサン、和名：オオセジヒメジ。

かたかなまい [katakanamai] 【名詞】偏頭 [「かたかなまいぬ やん (偏頭痛がある)」の形で使われる]。【例】かたかなまいぬどう やんかいばならん (偏頭痛で頭が痛い)。

かだき [kadaki] 【副詞】こんなに、こんな高さ、こんなに沢山。【例】ばー

でいんな かだきあり (私はお金は
沢山ある)。

かたぐー [katagu:] 【形容詞】固い、水
の量が少なくて粘度が多すぎる。【例】
かたぐー いす (固い石)。くぬ かー
っさ かたぐーかいばならん (この菓
子はかたくて仕方がない)。くぬ みり
きんぐーや かたぐーかいば みっじ
ゅ んめ ひーちやがま いる (こ
のメリケン粉は固めだから水をもう少
し入れろ)。[類] くば。

かただり [katadari] 【形容詞】こって
りしている。【例】くぬ んーだりや
ー やぐみ かただりかい (このいも
がゆはとてもこってりしている)。くぬ
 んーだりやー かただりかいば ん
め ひーちやがま みっじゅ いる
(この芋かゆはこってりしているのでも
う少し水を入れろ)。

かたていーむぬ [katati:munu] 【名
詞】独り者 (男女とも)。【例】かりや
ー ぶとうー みーん かたていーむ
ぬ (彼女は夫のいない独り者だ)。[類]
たうかーむぬ。

かたとうき [katatuki] 【名詞】片時、
一瞬。【例】やらびゅーぎやー かたと
うきまい みーゆぎやー はなすな (子
供から片時も目を話すな [＜子供を])。
つゆがはな かたとうきよ (露の花一
瞬よ [古謡「豆が花」から])。

かたな [katana] 【名詞】[C] 包丁。

かたぶい [katabui] 【名詞】片ぶり、一
方で日が照って他方では雨が降ること。

【例】かまー ていだー いじゅーそ
うがどう くまー かたぶいや ひー
ゆー (向こうは日が照っているがここ
は片ぶりしている [＞こちら側は雨が
降っている])。

かたぶいあみ [katabuiami] 【名詞】
片ぶり雨。

かたふっじゃから [katafuzzakara]

【副詞】片っ端から。【例】かたふっじ
ゃから んない ふあい (片っ端か
ら全部食べろ)。でいんぬ すていーに
やーん、じょー かたふっじゃから
とうみでい (お金を落としてしまった。
くまなく探そう)。

かたまい [katamai] 【動詞】[r/rr 語幹]
固まる。【例】せめんな かたまりー
にやーん (セメントは固まった)。

かたみ [katami] 【動詞】[母音語幹][C]
担ぐ。【例】ぶーっじゅ かたみる (サ
トウキビをかつげ)。

かたみ [katami] 【名詞】[C] 形見。
【例】んまが かたみ (母親の形見)。

かたみー [katami:] 【名詞】片目。【例】
かさがまんどろ にっちや いでいー
かたみーや みーだ んぎーにやー
ん (麻疹で熱が出て片目は見えなくな
った)。

かたむす [katamusi] 【名詞】肩。【例】
やらびあいきやー っざが かたむす

んかい うんそうく ぬーいたい (子供の頃は父親の肩車に良く乗ったものだ)。やらびゃー ひとついがーまーすくんぎー かたむすまい ふくりーうたい (子供を一日中おんぶして肩もはれていた)。かぬ みどうんな ぼが かたむす だつ (あの女性は私の肩の高さだ)。

かたゆい [katajui] 【動詞】 [r/rr 語幹] 片寄る。【例】ひだいんかいどう かたゆりゆー (左に片寄っている)。

かたん [katan] 【動詞】 [m 語幹] [C] 担ぐ。【例】ぶーっじゅ かたみ (サトウキビをかつげ)。うらー ばぬんな ンぶかいば かたまいん (それは私には重くて担げない)。[類] かたみ。

かちや [katça] 【名詞】 [B] 蚊帳。【例】なつんな ゆさらびん ないていがー かちやう はいたい (夏には夕方になると蚊帳を張った)。

かつ [katsi] 【動詞】 [k 語幹] [C] (かゆいところを) 搔く。【例】かうから ばんまい かかだうり (かゆくても搔くな)。っさぶきゆー かつ (フケを搔く)。[変異] かふ。

かつ [katsi] 【動詞】 [k 語幹] [A] 枯れた下葉、下枝等を取る；(石などについているアオサなどを) 取る。【例】ぶーずぬ はーゆ かつ (サトウキビの枯れた下葉を取る)。ふらばまんきー あうさ かつが (大浦湾にあおさを取りに(行こう))。[変異] かふ。

かつ [katsi] 【動詞】 [c/t 語幹] [C] 勝る、勝つ。【例】すまう とういていがー っづあんな いつまい かつどうす (相撲を取るとお前にはいつでも勝つ)。せんきよぬ とうきやんな うなが かたぬ はーさからだかー かつちやいん (選挙のときには自分自身の味方が多くないと勝てない)。

かつ [katsi] 【動詞】 [k 語幹] [C] (汗を) かく。【例】にゆーあしゆー かつ (寝汗をかく)。[変異] かふ。

かつ [katsi] 【動詞】 [k 語幹] [A] 組み立てる。【例】ぶだいゆ かつ (舞台を組み立てる)。[変異] かふ。

かつ [katsi] 【動詞】 [k 語幹] [C] 書く。【例】きつぎ ずーゆ かつ (きれいな字を書く)。いーなずきんかい ていがみゆー かつ (許嫁に手紙を書く)。かきーうっちゃす (書いて写す)。かつや っづい (書き損じ)。またがつ (書き直し [<二度書き])。[変異] かふ。

かつ [katsi] 【名詞】 [B] 垣根。【例】いすがつ (石垣)。はいぬかつ (畑の垣根)。やすつぬ かつ (屋敷の垣根)。[類] かつに。

がっづあ [gavva] 【オノマトペ】 (頭などを) ゴツン (と叩く)、(戸などを) ドンドンと叩く。【例】かなまいゆ がっづあ ったつ (頭をゴツンと叩く)。やどー がっづあてい ったつ (戸をドンドンと叩く)。

がっづあみつ [gavvamitsi] 【動詞】

[k 語幹] たくさんいる。【例】っぞうんな はいぬどう がっづあみきー たかりゆー（魚には蠅が沢山集っている）。[変異] かっづあみふ。

がっづあんなりー [gavvannari:]

【成句】ぶんぶんと羽音をたてる。【例】っさりっぞうんな はいぬどう がっづあんなりー たかりゆー（腐った魚には蠅がぶんぶんと羽音をたてて集っている）。[類] ぐっづあんなりー。

かっづい [kavvi] ①【動詞】[母音語幹]

[C]（布団を自分に）かける、（帽子を）かぶる、（眼鏡を）かける。[類] かうー。②【動詞】[母音語幹] [C]（水を）被る。[類] かうー。③【動詞】[母音語幹] [C]（借金を）被る、（罰を）受ける、（恩義を）受ける。【例】っづあー かいが うっかう かっづい（お前は彼の借金を被れ）。[類] かうー。

がっこー [gakko:] 【名詞】学校。【例】

がっこーぬ なー（戸籍上の名前）。やーにやー うまん がっこーぬ ちゅっふあいがまた（来年そこに学校ができる）。

がっこーうむくとう [gakko:u-

mukutu] 【名詞】（学校で習う）知識。【例】にんぎんな がっこーうむくとう たーなひや なうまい ならん（人間は知識だけではどうしようもない）。

かっじゃ [kazza] 【名詞】[B] 鍛冶屋、

屋号。【例】かっじゃぬ きじゃら（カ

ッジャのキジャラ [キジャラは神様の名前、人名としても使われた]）。[類] かんじゃーやー。

がっじゅい [gazzui] 【動詞】[r/rr 語

幹] 奪う。【例】かいが むちゅー むぬー がっじゅりー とうい（あいつが持っているものを奪い取れ）。[類] ばかう。

かったつ [kattatsi] 【動詞】[k 語幹]

抱く。【例】うぬ なつっじゃ っふあがまう かったきゅーき（この泣き虫のこどもを抱いておけ）。んきやーん やらび あいきやー ぱーん かったかい んふばーりうたい（昔、こどものときは おばあさんに抱かれてぬくもっていた）。みどうん びきどうん かったつ（男女が抱き合う）。[変異] かったふ。

かったふ [kattafu] 【動詞】[k 語幹]

抱く。[変異] かったつ。

かっちゅ [kattçu] 【名詞】[B] 『魚』

カツオ。【例】かっちゅぬ がばーゆどう だいばんていー あい（カツオの大型の物をダイバンと言う）。

がっつり [gattsiri] 【副詞】まったく

（そっくり）[似ていることの強調]。【例】うぬ っざっふあー がっつり んーしーどうー（その父子はほんとうによく似ている）。うぬきやが っざっふあー がっつり ゆぬそうい（その父子は全くそっくりだ）。

かつに [katsini] 【名詞】 [B] 垣根。
[類] かつ。

がつぬ [gatsinu] 【名詞】 [C] 『魚』メ
アジ。【例】 がつぬー あんひー が
にー (アジを網で囲み取る [> 囲み網
でとる])。

かつふ [kaffu] 【動詞】 [f 語幹] [C] 隠
れる。【例】 っづあ かまぬ ほうぎ
ーぬ ていびん かつふい (お前はあ
の大きな木の後ろに隠れろ)。[類] か
つふい。

かつふあす [kaffasi] 【動詞】 [s/h 語
幹] 隠す。【例】 でいんぬぎゃー か
つふあし (金を隠せ)。

かつみ [katsimi] 【動詞】 [母音語幹]
[A] 捕まえる。【例】 ぬそうどうー
かつみる (泥棒を捕まえろ)。んでい
んでい っづあが ていーゆ かつみ
ーみーみーでい (どれどれあなたの手
を掴まえて (触って) みよう [< 触って
みてみよう])。ぬそうどうー かつみ
らいにゃーん (泥棒は捕まった)。

かつら [karra] 【名詞】 [C] 居眠りし
て、こっくりする動作。【例】 ゆび
ゆーかひー ににゆーや かつらん
なりゆー (昨晚、夜更かしして居眠り
コックリしている)。

かつらみきー [karramiki:] 【副詞】
フラフラと。【例】 びゆーい びとう
ー かつらみきー あいきーまーるー

(酔っぱらいはフラフラと歩き回って
いる)。

かつん [katsin] 【動詞】 [m 語幹] [A]
捕まえる、握る、つかむ。【例】 ぬそ
うどうー かつん (泥棒を捕まえる)。
みどうんぬ ていーゆ かつん (妻の
手を握る)。んまが つんぬ まいち
ゃう かつん (母親の着物の裾をつか
む)。ぬそうどうー かつまいーにゃー
ん (泥棒は捕まった)。

かてい [kati] 【動詞】 [母音語幹] [C]
(おかずとご飯を) ちよつとずつ合わせ
て。【例】 まいゆ っぞうとう かて
いー ふあい (ご飯に魚をおかずとし
て食べなさい)。おかつじゃ は一さ
にゃーんば かていがまひー ふあい
(おかずは多くはないので少しずつ節約
して食べなさい)。

かでい [kadi] 【動詞】 [母音語幹] [C]
耕す、掘る。【例】 んーぬ かでいー
(芋を掘る)。はいゆ かでいー (畑を耕
す)。

かでい [kadi] 【名詞】 [B] 風。【例】 あ
がいかでい (東風)。いーかでい (西風)。
はいかでい (南風)。んすかでい (北風)。
かでいふつ (台風)。ゆぶすかでい (つ
むじ風)。かでいまーい (風向きが変わ
ること)。いーかでいまーい (西風回り
[> 前線の通過で西風が北風に変わるこ
と])。きーぬ はなんどう かじゃー
ふつ (木の上の部分に風が吹く [>
上位のものが苦情などを受ける])。

がでい [gadi] 【動詞】[母音語幹] [C]
 (縄をなうなどのために) 交差させる。
 【例】み一つぬ ん[°]なう がでいー う
 ぶ ん[°]なう なう (3本の綱を交差さ
 せて碇綱を綯う)。

かでいうす [kadiusi] 【名詞】時化
 (しけ)。【例】きゅーや かでいうす
 やいば いんな うりらいん (今日
 は時化だから漁には出られない)。[変
 異] かでいうつ。

かでいうつ [kadiutsi] 【名詞】時化
 (しけ)。[変異] かでいうす。

かていぬ [katinu] 【連体詞】より以上
 の。【例】ぶとーが はず やいそ
 うが とっじや うりやー かていぬ
 はず (旦那はケチだが奥さんはそれ
 以上のケチ)。

かでいぬ かいすふつ [kadinu
 kaisifutsi] 【成句】台風の目。【例】か
 でいぬ かいすふつんかい はいーて
 いがー なうちゆんま かじやー に
 やーん (台風の目に入ったら全然風は
 ない)。

かでいふつ [kadifutsi] 【名詞】台風。
 【例】ちゅー かでいふつ (強い台風)。
 んなまぬ かでいふつちや みやーく
 んかいや かすいや とらんま ほう
 ん (今度の台風は宮古にはかすりもし
 ない)。

かでいふつあみ [kadifutsiami] 【名
 詞】台風の前兆の雨。

かでいまーい [kadimai:i] 【名詞】突
 風。【例】いーかでいまーい (北から
 の突風)。[類] かじやまーい。

かていむぬ [katimunu] 【名詞】おか
 ず。

がでいらく [gadiraku] 【名詞】(糸
 等が) 絡むこと、もつれること、(人に)
 絡むこと。【例】いとうー がでいら
 くんなりどう なうちゆんま はなは
 いん (糸がからまって全然離れない)。
 ばぬんかい まーぬ がでいらく あ
 すな (あまり俺に絡むな)。

かどう [kadu] 【名詞】[B] 角。【例】
 かまぬ かどう (向こうの角)。

かどう かどう [kadu kadu] 【名
 詞】この角あの角、あちらこちら。【例】
 みどうんみぬどう かどう かどう
 ん むぬー ゆみゆーたい (女性達が
 あちらこちらでお喋りしていた)。

がどうい [gadui] 【動詞】[r/rr 語幹]
 [A] 奪い取る。【例】ぬそうどうん
 がどうらいーにやーん (盗人に奪い取
 られた)。かいが でいぬぬ がどうり
 (あいつの金を奪え)。[類] ばかい。

かな [kana] 【名詞】[B] 下ろし金、鉋。
 【例】ほうにやう かなひー うらし
 (大根を下ろし金でおろせ)。きーゆ か
 なひー きっず (木を鉋で削る)。

かなーい [kana:i] ① 【名詞】遠方。
 【例】ぶらー むいとう かなーいん
 あい (保良はずっと遠方にある)。[変

異] かない。[類] ゆーかーま、かじゃー。
 ◎【名詞】昔、ずっと以前。【例】かなーいや みどうんまい びきどうんまい からっじゅぎゃー ゆっづいどう うたい (昔は女性も男性も髪を結っていた)。かなーいんな うまー はいどう あたい (以前はそこは畑だった)。[変異] かない。[類] ゆーかーま、んきゃーん。

かない [kanai] ①【名詞】[C] 遠方。
 [変異] かなーい。[類] ゆーかーま、かじゃー。
 ◎【名詞】[C] 昔、ずっと以前。
 [変異] かなーい。[類] ゆーかーま、んきゃーん。

かない [kanai] 【形容詞】[A] 仕事の良くてできる。【例】かりゃー いんかないびとう (彼は腕のいい漁師だ)。かいがどう かないかいば かいんかいたぬみ (あの人のほうが仕事の良くてできるのであの人に頼みなさい)。

かない [kanai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] 駄目な状態である。[変異] かにやい。

かない [kanai] 【形容詞】[C] 駄目な状態である。[変異] かにやり。

かない [kanai] 【名詞】[C] 駄目な状態である人。[変異] かにやり。

かなう [kanau] 【動詞】[w 語幹] [C] (仕事などを) 頑張る。【例】がんじゅーや ひー ゆー かないーゆーんな? (元気でよく頑張っているか)。うなが たまうぎゃー かないーどうー

(自分なりに頑張っている)。うたきぬうだいゆぎゃー わいていー かなーでい (御嶽の役割はしっかり果たそう)。

かなう [kanau] 【動詞】[w 語幹] [C] 叶う; 気に入る。【例】うむいや かなう (思いは叶う)。かぬ みどうんなばが つむんな かなーっだん (あの女性は私の気持ちにはそわなかった)。

かなぎ [kanagi] 【名詞】[C] これくらいの (長い) 長さ。【例】ぶーずぬながさー かなぎ ありーどうー (サトウキビの長さはこんなに長い)。

かなさ [kanasa] 【名詞】[C] 『人名』[男女ともに使う]。【例】あばらぎかなさがま (可愛いカナサちゃん)。

かなす [kanasi] ①【動詞】[s/h 語幹] [A] 好きだ、愛している、大切にしている。【例】ばー どうっじゅぎゃー かなはん (私は妻を愛していない)。ぶとうー かなす (夫が好き)。◎【形容詞】[A] 好き、愛おしい。【例】かなす みどうん (愛おしい妻)。ばー みどうんぬぎゃー かなすかいば ならん (私は妻が愛おしくてならない)。

かなす [kanasi] 【名詞】[C] 『人名』[男女ともに使う]; (神様につける) 接尾辞。【例】ていだがなす (太陽神)。かながなす (神様)。

かなすぎ [kanasigi] 【形容詞】親しそうな、愛おしそうな。【例】うぬきや

が どうずぶとうー いつまい かな
すぎ (その夫婦はいつも仲がよさそう
だ)。

かなた [kanata] ①【名詞】[A] 遠く、
彼方。【例】かまぬ かなたんどう
いみずまがまぬ あい (ずっと遠方に
小さい島がある)。やまぬ かなた (山
のかなた)。[類] かーま。②【形容詞】
[A] 遠い。【例】かまぬどう かなたか
い (あっちの方が遠い)。ぶらぬどう
っさらんつきゃー かなたかい (保良
の方が平良より遠い)。[類] かーま。

かなっさ [kanassa]【名詞】かわいが
ること。【例】とうず かなっさ び
とう (奥さんを大切にする人)。

かなっさ あす [kanassa asi]【成
句】[不規則動詞] (人、生き物を) 可愛
がる。【例】まゆがまう かなっさ
あす (猫を可愛がる)。んまがうぎゃー
なんみや はってい はってい かな
なっさ あす (孫を大切に大切に愛す
る)。ばー どうっじゅぎゃー かなっ
さ ひーうたい (私は妻を愛していた)。
っふあ かなっさ びとう (子煩悩)。

かなまい [kanamai]【名詞】頭；考え
る力。【例】きーから うていー かな
まいや ぴーきーにゃーん (木から
落ちて頭に穴があいた)。ずーじゅー
かなまいや うむくとうー にゃーん
(頑固な人は知恵がない)。ういが かな
まいや うぬしゅくだー (彼の考える
力はその程度しかない)。

かなまりや [kanamarja]【名詞】間
違った考えの人；人をけなすときの呼
びかけ語、馬鹿野郎。【例】ゆがかな
まりや (間違った考えの人)。くぬ かな
まりや (この馬鹿やろう)。かりゃー
ひとうぬ はなっそうぎゃー つか
ん ゆががなまりや (彼は人の話に耳
を傾けない協調性のない人だ)。

かなみ [kanami]【名詞】[A] かなめ。
【例】あうずぬ かなみ (扇のかなめ)。

かに [kani]【名詞】[B] 鉄、金属、強
いこと。【例】かにふず (鉄の釘)。か
りゃー ふっちゃ かに えいば か
いんな ばー うゆばん (彼が口が強
いから彼には私には勝てない [>あま
り強く主張するので言い返せない])。

かに [kani]【名詞】[B] 鐘。【例】か
にぬ がーん がーんてい ない (鐘
がガーン ガーンと鳴る)。

かに [kani]【名詞】[C] 『人名』カニ、
農業の神様。

かに [kani]【補助動詞】[母音語幹] (動
詞基本形について、その動作が困難で
あることを表す) ~しかねる、~できか
ねる、~することが難しい。【例】はっ
じゃ ぶりー あいつかにゅー (足を
骨折してなかなか歩けない)。ばたー
んていー んめ ふあうかにゅー (腹
がいっぱいでもう食べられない)。やら
びゃー にゅーかにゅー (子供はなか
なか眠れない [<眠りかねている])。に
ゅーかに ふがましゃ (中々寝つかな

いうるさいやつ [＜寝かねるうるさい子]。]

がに [gani] 【動詞】[母音語幹] [C] 捻じ曲げる。【例】はりがにゅー がにー (針金を捻じ曲げる)。

がに [gani] 【動詞】[母音語幹] [C] (人を) 集める、(網を束ねて) 引き上げる、(足などを) 引っ張る。【例】いん にんじゅー がにー (漁に行く人数をかき集める)。あんな がにー っぞう とうらでい (網を束ねて魚を取ろう [そうでいあん (袖網) という網を使った漁では網の両端を交差させて中に入った魚を取る])。あんかい っぞうー がにる (網に魚を束ねろ [＞網の両端を交差させて中に魚を入れる])。

かにふず [kanifuzi] 【名詞】釘。

かにやい [kanjai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] 駄目な状態である。【例】まさいや すかまー ほうだ かにやりーうたい (マサイは仕事をしないで駄目だ)。
[変異] かない。

かにやり [kanjari] ①【形容詞】[C] 駄目な状態である。【例】まさいや すかまー ほうん かにやりんまり (マサイは仕事をしないで駄目なやつだ)。
[変異] かない。②【名詞】[C] 駄目な状態である人。【例】まさいや すかまー ほうん かにやり あたい (マサイは仕事をしないで駄目なやつだった)。
[変異] かない。

かにゅーんーた [kanju:n:ta] 【名詞】山ブドウ。【例】やまんきー かにゅーんーたう とういが (山に行って山ブドウを取りに (いく))。

かぬ [kanu] 【指示詞】『指示形容詞』あの。

かぬいー [kanui:] 【感動詞】『フィラー』あのねー。

かぬきや [kanukja] 【名詞】[C] あの 人たち。【例】かぬきやが ふたーい や いつまい ひとつみ (あの二人はいつも一緒だ)。かぬきやが まいんど う んまむぬぬ あい (あの人たちの所にご馳走がある)。
[類] かぬきやた。

かぬきやた [kanukjata] 【名詞】あの 人たち。 [類] かぬきや。

かぬちや [kanutça] 【名詞】[C] 向こう側。【例】うままい あらん、くままい あらん、かぬちや (そこでもない、ここでもない、向こう側だ)。かぬちやうぎゃー みーだ くぬちやう みーる (向こう側を見ないでこちら側を見なさい)。やまぬ かぬちや (山の向こう側)。うまの はいぬ かぬちや (その畑の向こう)。

かぬゅー [kanuju:] 【名詞】あの世。【例】ぱーや すにー かぬゅーんかい はりーにゃーん (おばーさんは亡くなってあの世に行った)。
[類] かんぬゅー、かまぬゅー。

かば [kapa] 【オノマトペ】 急に、いきなり、ビックリする時に発する言葉。

【例】 かいん かばていー うどうのかはいーにやーん（彼に急に驚かされた）。
しーしーん かばていー まーまー
ふあーはいーにやーん（先生に急にげんこつを食らわされた）。

がば [gaba] 【形容詞】 [C]（人や動物が）年取った、（食べ物などが）古い。
【例】 がばういびとう（年取った老人）。
がばかじゃ（加齢臭）。がばぬーま（老馬）。くらー がばかいば ふあーいん（これは古いから食べられない）。

がばー [gaba:] 【形容詞】 [C] 大きい、広い。【例】 ばー ほういかいむぬ
がばーかい むぬー とうらっじゃー
っづあー いみかい むぬー とう
い（私は大きい方を取るからあなたは小さい方を取れ）。がばー っぞう（大きい魚）。がばー まっちゃ（大きい店）。がばー やー（大きい家）。ういがどう
がばーかい（これが大きい）。くじゃ
ひつぬどう んながーな がばーかい
（客間が一番広いです）。

がばういびと [gabauibito] 【名詞】
老人。【例】 くすまがい がばういび
とう（腰の曲がった年寄り）。

かばす [kabasi] 【形容詞】 [A] 香ばしい；喜ばしい。【例】 ふにゆーや か
ばす（ミカンは香ばしい）。かばす か
じゃ（香ばしいかおり）。かばす はな
す（喜ばしい話）。

かばすぐい [kabasigui] 【名詞】 吉報。

かばたまがい [kapatamagai] 【名詞】
突然の出来事に驚くこと。【例】 おご
え ばー まずむぬー みー かばた
まがいや ひーにやーん（ぎゃー、私
は幽霊を見てビックリしてしまった）。

がばみかす [gabamikasi] 【動詞】 [s/h
語幹] ゴツンと叩く、ドンドンと叩く。
【例】 やどうー かばみかひー った
つ（戸をドンドンと叩く）。[類] どんみ
かす。

かびー [kabi:] 【名詞】 [B] 紙 [複合語
では「かび」となることもある]。【例】
っそう かびー（白い紙）。かびとうい
（凧）。

かびーぎー [kabi:gi:] 【名詞】 『植』 楮
（こうぞ） [紙を作る材料になる木で。宮
古では紙はつくりませんが、以前は内地
の業者が買い取りにきていた。いまで
はあまりみられない]。

かびとうい [kabitui] 【名詞】 凧。
【例】 かびとういゆ まーす（凧をあげ
る）。かびとういぬ ん^んなう たっづ
い（凧の紐を手繰れ）。

がびやう [gabjau] ① 【形容詞】 [B] 病
弱だ。【例】 ういびとう なりどう
がびやうふ なりーうい（年取って病
弱になっている）。② 【名詞】 [B] 病弱
なこと、病気がちの人。【例】 かりやー
がびやう ひつにん（彼は病気がち

で何もできない人だ)。がびやう びと
う (病気がちの人)。がびやうゆ みー
むぬー くーむぬ (病気がちの人を
看病するのは疲れる)。

かふ [kafu] 【動詞】 [k 語幹] [C] (汗
を) かく。 [変異] かつ。

かふ [kafu] 【動詞】 [k 語幹] [A] 組み
立てる。 [変異] かつ。

かふ [kafu] 【動詞】 [k 語幹] [C] 書く。
[変異] かつ。

がふ [gafu] 【オノマトペ】 ものとも
のがぴったり合うさまを表す。 【例】
がふていー あいにやーん (かっちり
合った)。あなんかい がふていー は
まりーにやーん (穴にピッタリとはま
った)。

かふー [kafu:] 【動詞】 [f 語幹] [C] 隠
れる。 [類] かつふい。

かふー [kafu:] 【名詞】 [B] 屋敷内の
畑。 【例】 かふーん そうーゆ いび
ー (屋敷内の畑に野菜を植える)。かふ
ーん なびやーらぬ なりゆー (家庭
菜園にヘチマがなっている)。

がぶがぶ [gabugabu] 【オノマトペ】
飲み物を飲むときの音、ゴクリゴクリ。
【例】 さきゆーぎゃー がぶがぶてい
ー ぬみ (酒はガブガブと飲め)。

かま [kama] 【名詞】 [C] (話し手、聞
き手から離れた場所を指す) あそこ、向
こう。 【例】 かまう みーる (あそこ

を見なさい)。かまんかい はりーにや
ーん (向こうに行った)。かまんど
う がっこーや あい (あそこに学校はあ
る)。かまからどう あみぬ いりゆー、
やどー っふい (あそこから雨が入
ってる。戸を閉める)。

がま [gama] 【名詞】 [B] 洞窟。 【例】
ほうがま (大きな洞窟)。 [類] あぶ。

がま [gama] 【接尾辞】 小さいものや動
作、かわいく感じるものや動作に着く
指小辞。名詞、形容詞、動詞の連用形に
つくことができる。 【例】 みどーんが
ま (女の子)。ぱーがま (おばーちゃん)。
いみむぬがま (小さいもの)。やらびや
ー ばらいがま あす (子供がすこし
笑う)。

かまい [kamai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A]
(人が) 嫌いになる、(動詞基本形につい
て、その動作をすることに) 飽きる。
【例】 ばー かりゆーぎゃー かまりー
どー (私は彼のことを嫌になった)。
ふあうがまい (食べ飽きる)。わーや
あてい ふあうや ひー みーがまい
まい ひーどー (豚肉は食べ過ぎて、
見飽きもしている)。ばー うるーぎゃ
ー んぎゃがまい (私はそれにはうん
ざりしている)。むいがまい (嫌なほど
うんざりすること)。 [類] がうい。

かまい [kamai] 【名詞】 [C] 賄賂、貢
ぎ物。 【例】 かまいひー すぐい (貢
ぎ物で偉くなる)。 [類] わいる。

かまかた [kamakata] 【名詞】 向こう側、向こうの方。【例】かまかたうぎゃー みーだ くまかたう みーる（向こうの方を見ないでこちらの方を見なさい）。

がまく [gamaku] 【名詞】 [C] お尻の大きい骨のある部分。【例】がまくぶに（お尻の両側の大きな骨）。

かまさー [kamasa:] 【名詞】 『魚』カマス。【例】あうきゃー かまさーとうどう ひとうみ うい（アウキヤはカマスと一緒にいる）。[類] かます。

かます [kamasi] 【名詞】 [C] 『魚』カマス。[類] かまさー。

かます [kamasi] 【名詞】 [C] 麻であんだ袋。[類] かますぐー。

かますぐー [kamasigu:] 【名詞】 麻であんだ袋。【例】かますぐーんかい ぶーずぬ さにゅー いりー（カマスにサトウキビの苗を入れる）。[類] かます。

がまた [gamata] 【接尾辞】 動詞基本形について、すでに決まっている未来の事態を表す、はずだ；（あるべき）未来の行為を表す、べきだ。【例】うまんどー やーに がっこーゆ ちゅっふがまた（ここに来年学校を作る（ことになっている））。いつどう やまとうんかいはいがまたが（いつ本土にかえるんだ）。うぬ あつないゆ あすていがー まーんてい まうきがまた（この商

売をしたらかならず儲かるはずだ）。くぬ すかまー いつがみ あすがまたが（この仕事はいつまでやるんですか）。てれびゃー くまんどー うつつがまた（テレビはここに置くべきだ）。しーとうんみゃー べんきょー あすがまた（生徒たちは勉強すべきだ）。

かまつ [kamatsi] 【名詞】 [B] 顎（のえらの部分）からほほにかけての部位。【例】かいが かまっちゅ だみる（彼の顎を殴れ）。はーや やみどう かまっちゅ ふくりゅー（歯痛で頬が腫れている）。

かまどう [kamadu] 【名詞】 [B] 竈（かまど）。【例】かまどうんかい なびゅー うつつ（カマドに鍋を置く）。[類] うかま。

かまぬゅー [kamanuju:] 【名詞】 死後の世界。【例】ぱーや かまぬゅーんかい はりーにゃーん（おばあさんは向こうの世界に逝ってしまった）。[類] かぬゅー、かんぬゅー。

かまばく [kamabaku] 【名詞】 カマボコ。

かまらす [kamarasi] 【形容詞】 悲しい。【例】ばー かまらすかいば つむー やすまらん（私は悲しくて心は休まらない）。あいぬ くー かまらす ゆーゆぎゃー ふあーん（こんなに苦しくて悲しい世は生きたくない）。

かまんだ [kamanta] 【名詞】『魚』エイ。【例】かまんだー どういぬ ン まりゃーひどう うーず（エイは鳥のように泳ぐ）。[類] いー。

かみ [kami] 【動詞】[母音語幹] [C] 荷を頭に乗せる；祈る。【例】たむぬー かみー（薪を頭にのせる）。ていーゆ かみー（両手を開いたまま頭の高さまで上げて祈願する）。

かみ [kami] 【名詞】[C] 瓶（かめ）。【例】んそうがみ（味噌瓶）。みずがみ（水瓶）。いっとがみ（一斗瓶）。

がみ [gami] 【格助詞】（目的地）まで；（ある時間）まで 「[がみ]と「たーひー」は重ねて使うことができる。～がみたーひー、～たーひーがみ】。【例】ぶらがみまい いきったい（保良まで行ってきた）。さんじがみ うまん まち（三時までここで待て）。[類] たーひー。

かみぬ くー [kaminu ku:] 【成句】亀の甲。【例】かみぬ くーんつきゃー どうすぬ くー（亀の甲より年の功）。

かむー [kamu:] 【動詞】[w 語幹] [C] 出向いてくる、訪問して来る、訪ねてくる。【例】うりゃー うとうじゃうぎゃー かむーん（彼は親戚を見向きもしない）。かりゃー くまんかいや かむいや くーん（あいつはここには訪ねて来ない）。[類] かむい。

かむー [kamu:] 【動詞】[w 語幹] [C]（人に）かまう、かかわる；必要だ、要る。【例】やらびんかいや かむーな（（その）子にかまうな）。いすがすかいは っづあんかいや かむーいん（忙しいのでお前にはかまっていられない）。ばー うりゅーぎゃー かむーん（私は、それは必要ない）。いつとうー かむーん（行く必要ない）。[類] かむい。

かむい [kamui] 【名詞】[C] 鴨居（かもい）。

かむい [kamui] 【動詞】[母音語幹] [C]（人に）かまう、かかわる；必要だ、要る。[類] かむー。

かむい [kamui] 【動詞】[母音語幹] [C] 出向いてくる、訪問して来る、訪ねてくる。【例】うりゃー うとうじゃうぎゃー かむいん（彼は親戚を見向きもしない）。[類] かむー。

かや [kaja] 【名詞】[B]『植』茅。【例】かややー（茅葺の家〔実際にはすすきで作られていた〕）。

かや [kaja] 【名詞】[B] 若い時の過労等が原因で年取ってから起きる神経痛。【例】ういびとう ないていがー かやぬどう うんそうく やん（年を取ると神経痛が余りにも痛む）。

かや [kaja] 【感動詞】『間投詞』期待と違ったときに発する間投詞、あれ。【例】かや、 っづあが どうみゅー むぬー かまん あいさ（あれ、あな

たが探しているのは向こうにあるだろう。[類] かやはい。

がやーす [gaja:si] 【動詞】[s/h 語幹] (馬などに載せるために) 一對の束ねた草等を交差させる。【例】っさー がやーひー ぬーまんかい ぬーす (草を交差させて馬にのせる)。

かやはい [kajahai] 【感動詞】『間投詞』期待と違ったときに発する間投詞、あれ。【例】かやはい、 っづあが とうみゆー むぬー かまん あいさ (あれ、あなたが探しているのは向こうにあるだろう)。[類] かや。

かやばた [kajabata] 【名詞】『昆』蜂の一種、チビアシナガバチ。

かややー [kajaja:] 【名詞】茅葺の家。【例】かややーや かでいふつんな ちゅい やすむぬ (茅葺の家は台風には壊れやすい)。かややーゆぎゃー ぎすつひどう ちゅっふ (茅葺家はスキで作る)。

がやんちゅ [gajantɕu] 【名詞】雲雀(ヒバリ)。【例】がやんちゅがまー ちゅんちゅんていー なつ (雲雀はちゅんちゅんと鳴く)。[類] ちゅんちゅん、ちゅんくら。

かゆー [kaju:] 【動詞】[w 語幹] [A] 通う。【例】みどうんぬ まいんかい かゆー (妻のところに通う)。

から [kara] ①【名詞】[B] (貝の) 殻。【例】にぐーぬ から (シャコガイの

殻)。②【名詞】[B] (穀物の) 殻。【例】まいがら (粳を脱穀したときの殻)。

から [kara] 【名詞】[B] 茎、幹。【例】ぶーずがら (サトウキビの茎)。きーがら (木の幹)。

から [kara] 【形容詞】[B] 辛い。【例】くーそうー からむぬ (唐辛子は辛い)。

から [kara] 【助詞】『格助詞』(名詞について) 出発地点をあらわす、「から」；(名詞や動詞連用形に付いて) 動作の始まりの時点をあらわす、「から」；始点、経路、手段をあらわす、「で」。【例】くまから いんぬ そうくたーひー いだきばかーい あり (ここから海底までどれくらいの深さがありますか)。っざから つきゃー はなす (父親から聞いた話)。あちゃからー あみちや (明日からは雨だって)。つむー やすまひーから ばが はなっそう つき (心を落ち着けてから、私の話を聞きなさい)。うぬ にゅーっさ てれびから みーたい (そのニュースはテレビで見た)。

がら [gara] 【名詞】[C] 柄。【例】がらずん (柄のある着物)。

がら [gara] 【助詞】『接続助詞』動詞に基本形について疑念を表す節を作る、～か(もしれない)、～のか。【例】あいぬがらまい っさいん (そうかも知れない)。うぬ ほうんな ゆみゃーむがらまい っさいん (その本は読んだこ

とがあるかもしれない)。あみぬ つふ
ゆーたんががら ずーや すとうりー
どうー (雨が降ったのか地面がぬれて
いた)。[類] ががら。

がら [gara] 【接尾辞】疑問詞について
不定名詞を作る。【例】なうがら ふ
あうむぬー むちーくー (なにか食べ
物をもってこい)。うまんた たるがら
ぬ うるーたんが おーかん (ここは
誰かいたらしい)。いじゃがらん あ
いはずやいそうが いじゃがら っさ
いん (どこかにあるはずだが、どこかわ
からない)。いつがら かまんかい い
つたい (いつかあそこに行った (はず
だ) [「いつたいはず」と言ってもよいが
「はず」はなくてもよい])。[類] ががら。

がら [gara] 【オノマトペ】簡単に、あっ
さり。【例】やきゅーや すぐ がら
ていー まきーにやーん (野球はすぐ
に簡単に負けた)。まかいや がらてい
ー ぼりー はりーにやーん (お椀は
簡単に割れてしまった)。ぬそうどうー
がらていー ひんぎー はりーにや
ーん (泥棒はするりと逃げて行った)。

からー [kara:] 【助詞】形容詞接辞「か
い」の提題形、名詞について「として
は」、「のなかでは」の意味を表す；形容
詞語幹について「～からといって」の意
味を表す。[変異] かりやー。[類] や
りやー。

からい [karai] 【名詞】[A] 髪。【例】
からいゆ ゆー (髪を結上げる)。[類]

からず。

からいばい [karaibai] 【名詞】空威
張り。【例】まーぬ からいばい あ
すな (余り空威張りするな)。

からがい [karagai] ①【動詞】[母音語
幹] 世話をする、子守りをする；(畑な
どを) 手入れする。【例】ばー いつま
い ういびとうー からがいゆー (私
はいつも年寄りを世話している)。ばが
はいんかい いきゅーきや つづあ
ー やらびゅー からがいの (私が畑
に行っている間、子供の面倒を見る)。
[類] からがう。②【動詞】[母音語幹] 修
繕する。【例】きゅーまい やつづい
くるまう からがい (今日も壊れた車
を直す)。[類] からがう。

からがい [karagai] 【名詞】(人の) 世
話；(畑などの) 手入れ；(お金などの)
管理。【例】ういびとう からがいや
やぐみぐとう (年寄りの世話は大変な
ことだ)。ばー ういびとう ふたーい
ぬ からがいゆどう ひーゆー (私は
年寄り二人の面倒を見ている)。はいぬ
ぶーずぬ からがい (畑のサトウキ
ビの手入れ)。でいんぬ からがいゆぎ
やー みどうんぬどう ひーゆー (お
金を管理を奥さんがしている)。

がらかいー [garakai:] 【動詞】[r/rr
語幹] ごろりと倒れる。【例】みつふ
あまーいや ひどう がらかいらっじ
やうたい (立ち眩みして急に倒れそう
になった)。[類] ぶらかいー。

からがう [karagau] ①【動詞】[w 語幹] 世話をする、子守りをする；(畑などを) 手入れする。【例】ういびとうー からがう (老人の世話をする)。ばぬんな はいぬ やそうるー からがーいん (私は畑の一反は世話できない)。
 【類】からがい。②【動詞】[w 語幹] 修繕する。【例】うぬ やぶりやどー からがいみーる (この壊れた戸を修理してくれ)。
 【類】からがい。

がらがらていー [garagarati:] 【オノマトペ】(戸を) ガラガラと開けるさま。【例】やどうぬ がらがらていー ない (戸ががらがらと鳴る)。
 【類】がらてい。

からぎ [karagi] 【動詞】[母音語幹] [C] 絡げる。【例】つんぬ からぎー まーい (着物を絡げて行く)。

からぐびん [karagupin] 【名詞】空瓶。【例】うらー さきゃー はいりや うらん からぐびん (それは酒の入っていない空瓶だ)。

がらさ [garasa] 【名詞】[C] カラス。【例】はいぬ がらさ (畑のカラス)。

がらさない [garasanai] 【名詞】足の指の痙攣。【例】がらさないや ひどうはずぬ うゆびぬ まがりゅー (痙攣して足の指が曲がっている)。

がらさばう [garasabau] 【名詞】『生物』ヒメヘビ (小型のヘビ)。

からす [karasi] 【動詞】[s/h 語幹] [A] 貸す。【例】でいんぬ からす (金を貸す)。

からず [karazi] 【名詞】[B] 髪。【例】かなーいや みどうんまい びきどうんまい からっじゅぎゃー ゆっづいどう うたい (昔は女性も男性も髪を結っていた)。
 【類】からい。

からずー [karazi:] 【名詞】地べた。【例】からずーん うやたー びー (地べたにおじいさんたちは座る)。

からた [karata] 【名詞】[B] 体、体格。【例】やぐみからた (立派な体格)。

がらていー [garati:] 【オノマトペ】(建物が) ガラガラと倒れるさま；(人が) くずれるように倒れるさま；戸が開く音。【例】がらていー たうりー はりーにゃーん。
 【類】がらがらていー。

からばい [karapai] 【名詞】灰。【例】からばい まゆがま (灰だらけの子猫)。うかまぬ からばい (釜の灰)。

からはず [karahazi] 【名詞】裸足。【変異】からばず。

からばず [karapazi] 【名詞】裸足。【例】んきゃーんな くつまい にゃーんば からばずひー あいきー うたい (昔は靴もないので裸足で歩いていた)。
 【変異】からはず。

からまつ [karamatsi] 【動詞】[k 語幹] 絡巻く、巻きつける。【変異】からまふ。

からまふ [karamafu] 【動詞】[k 語幹]
絡巻く、巻きつける。【例】ん^ろなう
からまき（綱を巻きつけろ）。[変異] か
らまつ。

がらみつ [garamitsi] 【動詞】[k 語幹]
がらがらと音を立てる；内部に何もな
く空いている。【例】がらみきー み
ずぬ ながりゅー（ガラガラと音を立て
て水が流れている）。まーぬ がらみ
つな（余り音を立てるな）。うまぬ や
ーや がらみきー たるまい みーん
（この家は空っぽで誰もいない）。[変
異] がらみふ。

からゆか [karajuka] 【名詞】（何も引
いていない）床。【例】なつん から
ゆかん にゅーていがー すみゃーす
むぬ（夏になにも引いてない床に眠っ
たら心地良い）。

かり [kari] 【動詞】[母音語幹] [A] 嘎
（か）れる。【例】あてい むぬいやひ
ー くいまい かりーにゃーん（余り
にも喋り過ぎて声も嘎れてしまった）。

かりー [kari:] 【形容詞】[C] 大事な、
嘉例の。【例】かりーな むぬ（大切
なもの）。

かりうし [kariuçi] 【名詞】航海安全、
安全。[変異] かりうす、かりうす、か
りゆし、かりゆす。

かりうす [kariusi] 【名詞】航海安全、
安全。【例】かりうっさひー いき（安

全で行け）。[変異] かりうし、かりゅー
し、かりゆし、かりゆす。

かりゃー [karja:] 【助詞】形容詞接辞
「かい」の提題形、名詞について「とし
ては」、「のなかでは」の意味を表す；形
容詞語幹について「～からといって」の
意味を表す。【例】みどうんかりゃー
たかびとう（女の人の中では背が高
い）。たかかりゃー じゃうかいていぬ
くとうー にゃーん（値段が高いか
らといって（品物が）良いとは言えな
い）。[変異] からー。[類] やりゃー。

かりゅーし [karju:çi] 【名詞】航海安
全、安全。[変異] かりうし、かりう
す、かりゆし、かりゆす。

かりゆし [karijuçi] 【名詞】航海安全、
安全。【例】かりゆしぬ たびゅー
ひーくー（航海安全の旅をしてきなさい
[>道中お気をつけて]）。かりゆしぬ
たびゅー ひーったい（無事に帰っ
てきた）。[変異] かりうし、かりうす、
かりゅーす、かりゆす。

かりゆす [karijusi] 【名詞】航海安全、
安全。【例】うつなーんかい かりゆ
っさひー いき（沖縄に航海安全で行
きなさい）。[変異] かりうし、かりう
す、かりゅーす、かりゆし。

がる [garu] 【形容詞】[A] 軽い。【例】
うぬきゃが ふた一つからー ういが
どう がるかい（この2つではこっち
の方が軽い）。

がるいす [garuisi] 【名詞】軽石。【例】
がるいすぬ ゆりっちゅー（軽石が流
れてきている）。

かん [kan] 【動詞】[m 語幹] [A] 嗅ぐ。
【例】かじゃう かん（臭いを嗅ぐ）。

かん [kan] 【動詞】[m 語幹] [C] 噛む。
【例】あーゆ かみー んっちゅ た
い（粟を噛んで神酒を作る）。むぬーぎ
ゃー かみー ふあい（飯は噛んで食
べなさい）。

かん [kan] 【名詞】[B] カニ。【例】す
でい がん（脱皮したばかりの蟹（か
に））。ばたらがん（食用の中型の蟹（か
に））。ん°ぬがん（食用の渡り蟹（か
に））。っさかん（食用の小型の蟹（か
に））。いびがんぬ んまさあいむぬー
にゃーん（伊勢海老ほど美味しいも
のではない）。

かん [kan] 【名詞】[C] 理解力。【例】
かんな にゃーんんまり（理解力が悪
い奴）。からー すーがくぬ かんな
にゃーん（あいつは数学の理解力がな
い）。

かん [kan] 【名詞】[B] 神。【例】か
んかい ていーゆ かみー（神に祈る）。
【類】かんがなす。

かんがい [kangai] ①【動詞】[母音語
幹] 考える。【例】まさぎん かんが
いる（ちゃんと考えよ）。②【名詞】考
え。【例】まさぐぬ かんがいゆ むち
（正しい考えを持て）。ゆがかんがいゆぎ

ゃーむちゃん（間違った考えをもたな
い [> 持つな]）。

かんがなす [kanganasi] 【名詞】神
様。【例】かんがなすんかいや てい
ーゆ かみだかー ならん（神様には
手を合わせないといけない [両手を開
いて上に向け、頭の上まで上げる]）。

かんぎ [kangi] 【名詞】[B] とさか、た
てがみ。【例】とういぬ かんぎ（鶏
のとさか）。ぬーまぬ かんぎ（馬のた
てがみ）。

かんきり [kanjiri] 【名詞】『遊』缶蹴
り。

がんく [ganjku] 【形容詞】[B] 頑固だ、
頑固な。【例】むぬいゆぎゃー つか
ん がんくんまり（（人の）言うことを
聞かない頑固な奴）。

かんじゃーやー [kanza:ja:] 【名詞】
鍛冶屋。【類】かっじゃ。

がんじゅー [ganzu:] 【形容詞】健康。
【例】がんじゅーさー いつぼん、つむ
かぎさまい いつぼん、うむくとうまい
いつぼん（健康が一番、心情も一番、
知恵も一番 [西原老人会の標語]）。がん
じゅーや ひー ゆー かないーゆー
んな（元気でよく頑張っているか）。

かんすとうばかーい [kansitubaka:i] 【成句】（人が）神となって
人でなくなる、死ぬ。[< 「かん ひと
う ばきやーい（神と人が別れる）」
昔ユタが唱えるときに使った]。

かんだか [kandaka] 【形容詞】 霊力が高い、霊力が強い。 【例】 かんだかみどうん（霊力の強い女性）。

かんだっちやる [kandattcaru] ① 【連体詞】 こんな。 【例】 かんだっちやる むぬ（こんなもの）。 ② 【連体詞】 『歌語』 このような（素晴らしい）。 【例】 きゅーぬ ゆーいや かんだっちやる むぬ、 くまぬ くがにが ゆーい だらよー（今日の祝いは素晴らしいものだ、ここの子供のお祝いだよ [[歌語] 「きゅーぬほうからしゃ」というお祝いの歌の一部に囃子として付け加える]）。

かんだな [kandana] 【名詞】 神棚。

かんつ ぱだ [kantsi pada] 【名詞】 ユークイのときに着る白い着物 [これを着ることで神になるとされ、死ぬときに一緒に持って行く]。

がんな [ganna] 【名詞】 [C] 『植』 メイシバ。

かな にゃーん つつ [kana njan tsitsi] 【成句】 7月の別称、不浄の月 [御嶽では一年を春（びーずん）、神不在の7月（かな にゃーん つつ）、秋（っさんし）の3つに分ける]。

かない [kannai] 【名詞】 雷。 【例】 いなびかいぬ あとうんどう かないや ない（稲光の後に雷は鳴る）。

がんだい [gannai] 【動詞】 [r/rr 語幹]（子供などが）駄々を捏ねる。 【例】 んま

んかい すがりんきー がんない（母親にすがりついて駄々をこねる）。 やらびやー んまぬ あらんかい いでいー あすていがー いつまい がんない（子供は母親が外出しようとしたら、いつも駄々をこねる）。 うぬ やらびぬ がんなりー からー たるが むぬいゆまい つかん（この子が駄々をこねたら誰の言うことも聞かない）。

かないあみ [kannaiami] 【名詞】 雷雨。

かんにがい [kannigai] 【名詞】 『祭礼』 祈願、神への祈願。 【例】 かんにがい あーぐ（祈願する時の歌 [御嶽では歌を歌うことも祈願の一つである]）。 [類] にがい。

かんぬゆー [kannuju:] 【名詞】 あの世。 [類] かまぬゆー、かぬゆー。

かんぱな [kampana] 【名詞】 神様の一番上（になること）。 【例】 かんぱなとうゆまさ（ここの神様をもっと地位をあげよう [ウタキで歌う神歌の歌詞の一部：現代語なら「とうゆまはでい]]）。

かंबいゆーい [kambju:i] 【名詞】 『祭礼』 神事の名前、仲間御嶽で行われる収穫感謝祭で神酒が振舞われる、「ほうびゆーい」と同じ。 [類] ほうっびゆーい。

かんびょー [kambjo:] 【名詞】看病。

【例】ういびとうぬ かんびょー あす（年寄りの看病をする）。

かんぴょー [kampjo:] 【名詞】干瓢。

【例】かんぴょーじゅー（（おかずとしての）干瓢）。

かんふ [kanfu] 【名詞】[B] 岩。 【例】

あみぬ ふーていがー かんふんどう
あみがっふい あす（雨が降ったら岩（の穴）で雨宿りをする）。

かんぶり [kamburi] 【名詞】神のことで病むこと。 【例】かんぶり びとう

ー まうゆ あきぼどう なうい（神のことで病んでいる人は自分自身の守

護神を持てば治る）。

がんま [gamma] 【オノマトペ】ゴツン。

【例】まーまう がんまていー ふあーす（げんこつでゴツンとくらわす）。

がんみつ [gammitsi] 【動詞】[k 語幹]

大声を出して騒ぐ；（頭が痛くて）ガンガンする様子。 【例】まーぬ がんみつな（あまり大声出して騒ぐな）。やどー がんみかひー ったつ（戸をドンドンと叩く）。かなまいぬどう がんみきー やみゅー（頭がガンガン痛む）。
[変異] がんみふ。

かんる [kanru] 【名詞】[C] 寒露（サ

シバの飛んでくる季節、10月ごろ）。

き

き [ki] 【助数詞】斤（重さの単位、600g）、10より下は「きん」であらわす。
【例】ずき（10斤）。にずき（20斤）。さずき（30斤）。しずき（40斤）。ぐずき（50斤）。ろくずき（60斤）。ななずき（70斤）。はちずき（80斤）。くずき（90斤）。ひゃっき（100斤）。しえんぎ（1000斤）。

ぎ [gi] 【接尾辞】形容詞の語幹について、そういう様子を持つという意味を表す、～そうだ、～そうな；動詞基本形について、そうなりそうだという意味を表す、～そうだ、そうな。【例】がばーぎ（大きそうな）。ずみぎ（立派そうな）。かぬ みどうんな んなま なつぎかい（あの女はいまにも泣きそうだ）。やらびゃー んめ あいつぎふだ（こどもはもう歩きそうだ）。あみぬ んなま ふーぎむぬ（雨がいまにも降りそうだ）。

きー [ki:] 【名詞】[B] 木。【例】ふにゆーぎーや ゆだー たかりーどう（（その）ミカンの木は枝が繁茂している）。きーから うりー（木から下りる）。きーんかい んーい（木に登る）。

きー [ki:] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] 切る；（使ったり、売れたりして）切れる、なくなる。【例】きーゆ きー（木を切る）。っざらひー うゆびゃー きりどう あかっちゃ いだひーにゃーん（鎌で指を切って血を出してしまった）。たばくー きりーにゃーんば まっちゃん きー かいくー（タバコが切れたのでお店に行行って買ってこい）。

きー [ki:] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] 蹴る。【例】はずひー ぼーるー きり（足で蹴れ）。っさうきー（躓く [＜足を蹴る]）。

きー [ki:] 【名詞】[B] 毛。【例】まゆぬ きー（猫の毛）。っふぎ（陰毛）。ばっだぎ（脇毛）。

ぎー [gi:] 【名詞】[C] びり、最下位。【例】うんどーかいぬ はーさにゃーんな いつまい ぎー（運動会のかげっこにはいつも最下位だ）。

きーがら [ki:gara] 【名詞】毛深いこと。【例】きーがらびと（毛深い人）。

きーつきひだ [ki:tsikihida] 【名詞】海辺で木を浸けて置いておくところ。

【例】んきやーんな きーつきひだん
きーや つきーからどう やーゆぎや
ー ふきゆーたい (昔は木浸けひだに
木を浸けてから家の家を建てた)。

きーどうるん [ki:du:run] 【名詞】鳥
肌。【例】うとうるすかいば きーど
うるんまい ひーどうー (怖いので鳥
肌も立っている)。

きーぬそうら [ki:nusura] 【名詞】木
の天辺。【例】かじゃー きーぬ そ
うらんどー ふつ (風は木の天辺に吹
く [> リーダーに庶民は文句を言う])。

きーぬない [ki:nunai] 【名詞】果実、
木の実。

きーぬにー [ki:nuni:] 【名詞】木の根、
木の根元。 [類] きーぬ ほうむと。

きーぬみー [ki:numi:] 【名詞】木々
の中。

きーぬみん [ki:numin] 【名詞】茸 (き
のこ)。

きーはず [ki:hazi] 【名詞】《遊》竹馬。
【例】ふゆん ないていがー やらび
んみやー きーぱずん ぬーりー あ
そうびー うたい (冬になると子供達
は竹馬に乗って遊んでいた)。 [変異] き
ーぱず。

きーぱず [ki:pazi] 【名詞】《遊》竹馬。
[変異] きーはず。

きーふか [ki:fuka] 【形容詞】毛深い。
【例】きーふかびとう (毛深い人)。 [類]
きーがら。

きーむす [ki:musi] 【名詞】毛虫。

ききやーす [kikja:si] 【動詞】 [s/h 語
幹] かき回す、掻き乱す。【例】うま
ぬ みっじゆ ききやーし (ここの水
をかき回しなさい)。うむくとう にや
ーん ほうりむぬぬ うぐなーいんか
い はいりってい うまぬ うぐな
ーいや ききやーはいにやーん (思慮分
別のない馬鹿者が集会に入ってきてそ
この集会は掻き乱された)。 [変異] き
ぎやーす。

きぎやーす [kigja:si] 【動詞】 [s/h 語
幹] かき回す、掻き乱す。 [変異] き
きやーす。

ききやーらす [kikja:rasi] 【動詞】 [s/h
語幹] かき回す、掻き乱す。【例】う
まぬ みっじゆ ききやーらし (こ
この水をかき回しなさい)。 [類] きき
やーす。

きさ [kisa] 【名詞】 [C] 先ほど、すで
に、さっき、とうに。【例】ばー あ
しゃー きさ ふあいにやーん (私は
朝ご飯はもう食べた)。きさ やらび
やー がっこうんかい はりーにやーん
(さっき子供は学校に行った)。 [類] き
さから。

きさから [kisakara] 【副詞】先ほど、
すでに、さっき、とうに [副詞としても

使われる]。【例】むぬー きさから
ふあいーにゃん（飯はとっくに食った）。
[類] きさ。

きざん [kizan] 【動詞】 [m 語幹] [C]
刻む。 [変異] きじゃん。

ぎしぐや [giciguja] 【名詞】 〔貝〕 紫
貝（ムラサキガイ）。【例】 っしん^ん
な ひー ぎしぐやまい とういつた
い（潮干狩りで紫貝も取って来た）。

きじゃ [kiza] 【名詞】 [C] 精霊、神様；
〔人名〕 男性の名前の一つ。【例】 さき
ぬ はなー きじゃが たま（酒（容
器、ビン）の上部は精霊の分）。[類] き
じゃら。

きじやい [kizai] 【名詞】 [B] 〔祭礼〕
祭事日、精霊の日。【例】 きじやいん
な むとうやーんきー そーかう
あす（祭事には本家に行って焼香する）。
きじやいんな うたきん うぐなーい
（祭日には御嶽で集まる）。きじやいんな
んまむぬぬどう いでいー（祭事に
は美味しいものがでる）。

きじゃら [kizara] 【名詞】 [C] 精霊、
神様；〔人名〕 男性の名前の一つ。【例】
かつじゃぬ きじゃら（鍛冶屋のキジ
ヤラ）。[類] きじゃ。

きじゃん [kizan] 【動詞】 [m 語幹] [C]
刻む。【例】 きじゃんたばく（刻みタ
バコ）。[変異] きざん。

きじゆる [kizuru] 【名詞】 [C] 魚など
の獲物が集まる場所。【例】 きじゆ

るん あんぬ はい（魚の集まる所
に網を張る）。じょー かまぬ きじ
ゆるんきー たくー とうらでい（さ
あ 向こうの獲物の多くとれる所に行
ってタコをとろう）。

きす [kisi] 【名詞】 [B] 海岸の岩陰。
【例】 かんないぬ なりゆーば きすぬ
すたん かつふあでい（雷がなっ
ているので岩陰に隠れよう）。

ぎず [gizi] 【名詞】 [C] 管理すること、
言い聞かすこと。【例】 やらびゆー
ぎずあす（子供に言うことを聞かせる
〔＜子供を言い聞かせる〕〕。ぎっじゃ
ひらいん ぎずぎやうな やらび（手
に負えない腕白坊主）。

ぎずぎやうな [gizigjauna] ①【名詞】
やんちゃ、やんちゃな人。【例】 ぎず
ぎやうなーひー そーじゃん みんた
つぐあー ったかいたい（やんちゃし
て 兄にびんたを張られた）。[類] ふ
しびや。②【連体詞】 言うことを聞かな
い。【例】 ぎずぎやうな ならっしやう
やらび（言うことを聞かないどうし
ようもない子供）。

ぎすぐや [gisiguja] 【名詞】 〔貝〕 ア
コヤガイ、真珠貝とも言う。

ぎすつ [gisitsi] 【名詞】 [C] 〔植〕 スス
キ。【例】 かややーぬ くびゃー ぎ
すつぬ すずひどう ちゅっふあいゆ
ー（茅葺家の外壁はススキの茎で作ら
れている）。ぎすつだむぬ（枯れたスス
キの薪）。

きた [kita] 【名詞】[B] 家の桁、柱と柱を繋いだ横材。【例】うやきゃー きた どうどうみ（裕福は桁に留め置く）。やーぬ きた（家の桁）。

きたあん [kitaan] 【名詞】《道具》袖網 [漁網の両わきに、さらに補助的に取り付ける網]。【類】そうでいあん。

きたてい [kitati] ①【副詞】とても、特別に。【例】きたてい ゆながい（とても長い間）。きたてい はーさ（とてもたくさん）。きたてい うむくとうあい ひとつ（非常に頭の良い人）。きたてい あぱらぎ みどうん（際立った美人）。つんだらさ、かりゃー きたてい やんな たばりー すにーにゃーん（かわいそうに、あいつは悪い病気にかかってしんでしまった）。②【形容詞】[A] 際立った、変わった。【例】からーむいとう きたていかい（あいつはとても変わっている）。きたていんまり（変わった奴）。きたていむぬい（（自分達の言葉とは）変わった言葉）。かいが ふっちゃ きたていふつ（彼は何を言い出すかわからない）。

きたてい [kitati] 【動詞】[母音語幹] [A] 他と区別する、取り立てる。【例】うりゅーぎゃー きたてい（それは別にとっておきなさい）。

きだむぬ [kidamunu] 【名詞】木の枝や幹の薪。【例】きだむぬー むーし（薪を燃やせ）。

きちゆい [kitçui] 【形容詞】[A] 脂身が多く食べ難いこと。【例】わーぬ あっぐあー きちゆいかいば ならん（豚の脂身が多く食べ難い）。きちゆい むぬー はーさー ふあーいん（脂っこいたべものはたくさんは食べられない）。

きちゆみ [kitçumi] 【動詞】[母音語幹] [A] 決めつけて厳しくすること、しめつける。【例】あいや ひとつーぎゃー きちゆみん（そんなふうに人を決めつけない [＞決めつけてはいけない]）。【変異】きつみ。

きつぎ [kitsigi] 【形容詞】[B] 綺麗な、美しい。【例】きつぎ みどうん（美しい女性）。

きつきぎー [kitsikigi:] 【名詞】《植》シャリンバイ。

ぎっさ [gissa] 【名詞】[C] シラミの卵。【例】っさんぬ どうぬかうぎゃー ぎっさていどう あい（シラミの卵のことをギツサと言う）。ぎっさー あかぬ にーんどう あい（シラミの卵は髪の毛の根元にある）。

ぎっじゃ ひらいん [gizza hirain] 【成句】管理・言い聞かすことはできない、手に負えない。

きっず [kizzi] 【動詞】[zz/dd 語幹] [A]（櫛で髪を）とく、（カンナなどで木を）削る。【例】ふすひー あかう きっ

ず（櫛で髪をすく）。きーゆ かなひー
きっず（木を鉋で削る）。

ぎったー [gitta:] 【名詞】能力のない者、下の者。【例】すかまー ひらいん ぎったー（仕事のできない無能者）。
[変異] げったー。

ぎっふあにやーん [giffanja:n] 【接尾辞】（動詞基本形について）～しそうにない。【例】まくがんな ちゅーかいば とうらいぎっふあにやーん（ヤシガニは力が強いので捕れそうにない）。ばた んていー んめ ふあーいぎっふあにやーん（お腹がいっぱいでもう食べられそうにない）。あみやー ふーぎっふあにやーん（雨は降りそうにない）。

きつみ [kitsimi] 【動詞】[母音語幹][A] 決めつけて厳しくすること、しめつける。[変異] きちゅみ。

きつみ [kitsimi] 【形容詞】[B] 厳格な、難しい。【例】やぐみ きつみ ひとつ（大変厳格な人）。

きな [kina] 【名詞】[C] しゃもじ。

きない [kinai] 【名詞】[B] 所帯、世帯、家庭、家内。【例】うやき きない（裕福な家庭）。かぬ みどうんな きない むつじゃうず（あの女性は家庭持ち上手 [>あの女性はやりくり上手] ）。

きないかず [kinaikazi] 【名詞】各家。【例】きゅーや やーかず きないかず

うぐなーりー ふいーさまてい（今日は各戸、各家お集まりください）。ふた きない（二世帯）。

きないむつじゃうず [kinaimut-sizauzi] 【名詞】家庭経営が上手（な人）。

きばす [kibasi] ① 【名詞】[A] 貧乏なこと。[類] きばん。② 【形容詞】[A] 貧乏な、貧乏だ。[類] きばん。

きばすがい [kibasigai] 【形容詞】貧乏で頼りにならない。【例】かりやー きばすがいかいば なうまいひらいん（彼は貧乏で頼りなく何もできない）。くぬ きばすがいぎんまり（この貧相野郎め）。

きばすがりや [kibasigarja] 【名詞】貧乏で頼りにならない奴。【例】かりやー きばすがりや やいば なうまいひらいん（彼は貧乏で頼りならない奴だから何もできない）。

きばすぎ [kibasigi] 【形容詞】頼りなさそうな、貧乏そうな。

きばん [kiban] ① 【名詞】[A] 貧乏、貧乏なこと。【例】きばん きない（貧乏な家庭）。ばんちやー やらびあいきやー きばんどう あたい（私達は子供だった頃は貧乏だった）。[類] きばす。② 【形容詞】[A] 貧乏な、貧乏だ。【例】きばんかいば っふあんみやー うむくとうまい あいそうが がっこうまい いだはいん（貧乏だから子供たち

は頭も良いが学校も出せない)。**[類]** きばす。

きばんさだます [kibansadamasi]

【成句】貧乏性。【例】みどうんつうあー きばんさだまっさ ひー むとうやーから ひつん むぬー とういはい (娘は貧乏性で実家からいつも食べ物を持っていく)。かりゃー きばんさだますんまり (あいつは貧乏性だ)。

きばんすまがま [kibansimagama]

【名詞】貧乏な村。

きふなず [kifunazi] 【名詞】『魚』岩

穴の中にある白いウナギ。【例】きふなずっじゃ なんとが とうみらいん (岩穴の中にある白いウナギは中々見つけれない)。

きみつ [kimitsiki] 【動詞】[母音語幹]

他人のことを先入観を持って決めつける。【類】きみつつ。

きみつつ [kimitsitsi] 【動詞】[k 語幹]

他人のことを先入観を持って決めつける。【例】あいや ひとつーぎゃー きみつかん (そんなに人を先入観を持って見てはいけない)。**[変異]** きみつふ。**[類]** きみつ

きや [kja] 【接尾辞】動詞基本形につい

てその動作をする時間を表す、(～し)たら、(～する)とき、(～の)ころ。【例】ゆながい うーぎー みーきゃー みずぶくい ひーゆー (長時間泳いでいたら水でふやけた)。くぬ きかいや

くまう うすきゃー すぐ むゆつど
うす (この機械はここを押すとすぐ動く)。ばー やらびあいきゃー きばん
どう あたい (私はこどものころ貧乏
だった)。ばたぶにぬ ぶいきゃたーひ
ー ばらいーにゃーん (お腹の骨が折
れるくらい笑った)。みーや にゃーん
きゃ ばらいーにゃーん (沢山笑った
[<目がなくなるほど沢山笑った])。や
らびぬ につうゆーきゃん んーぬ
かでいー くーでい (子供の寝ている
間に芋を掘って来よう)。

ぎゃー [gja:] 【助詞】(目的格について)

提題を表す。【例】ばー うりゆーぎ
ゃー っしーどう (私はそれを知って
いる)。

ぎゃー [gja:] 【接尾辞】時間を表す名

詞について概数を表す、～位、程。【例】
くぬ てれびゃー ほうだ いっかね
んぎゃー なりーどう (このテレビは
約一ヶ年位はなっている)。

ぎゃー [gja:] 【助詞】提題助詞「あ」の

同義語 [述語につける場合「べんりぎ
ゃー べんりぎゃー やいそうが」の
ように繰り返して使われるが、繰り返
さなくてもよい。また、二番目の「ぎゃ
ー」はなくてもよい。主題につける場合
は繰り返さない。【例】かにゃー う
むくとうぎゃー うむくとうぎゃー
やいそうが むいとう やなくんじゃ
う (かには賢いことは賢いが、とても
性格(根性)がわるい)。くぬせんたっ

きやーじゃうとーぎやーじゃうとーや
いそうがいみやーがまんうっかいん
(この洗濯機は上等だが小さい家には置
けない)。かぬ ひとつぎやー ばが
どうすだら (あの人は私の友だちです)。
[類] あ。

きやーい [kja:i] 【動詞】[r/rr 語幹] [A]
消える。【例】うまっちゃ きやーり
ーにやーん (火は消えた)。

きやーぎ [kja:gi] 【名詞】[A] 〔植〕イ
ヌマキ。【例】きやーぎぬ ないや
ふあーいどうす (イヌマキの実は食べ
られる)。

きやーす [kja:si] 【動詞】[s/h 語幹]
[A] 消す。【例】うまच्चゆ きやー
す (火を消す)。

きやーん [kja:n] 【名詞】[C] 〔植〕蔓
(カズラ) [ピラフ (籠)、綱引き大会用
の綱、およびユークイの時ウーンマた
ちが「よーんてる・ゆーんている」と
唱えながら、ナナムイの御嶽を回って
祈願する時に顔を覆うためにかぶる鬘
(かつら)の材料]。【例】きやーんひー
ん[°]なう なう (蔓草で綱を絢う)。

きやうだい [kjaudai] 【名詞】兄弟、
姉妹。【例】ばぬんな きやうだいや
にやーん (私にはきょうだいはない
[兄弟、姉妹どちらも指す])。ばぬんな
びきどうんきやうだいや ふたーい
みどうんきやうだいや みちやーい
うり (私には男のきょうだいが二人、
女のきょうだいが三人いる)。

きゆー [kju:] 【助数詞】家を数える助
数詞、軒。【例】ひとつ きゆー (一
軒)。ふた きゆー (二軒)。

きゆー [kju:] 【名詞】[B] 今日。【例】
きゆーや とうんでいさうがつ (今日
は冬至正月だ [冬至正月は正月は1 2
月20日ごろ行われる冬至の祝い、現
在は干支を同じくする人たちの同期会
のようになっている])。きゆーがーま
ーす (今日一日中)。きゆーや きゆー
あちやー あちや やいば きゆー
あすがまたぬ くとうーぎやー き
ゆーひー ひつなすばどう じゃうか
い (今日は今日、明日は明日だから今
日やるべきことは今日で片付けた方が
良い)。きゆーどう きゆー んなまど
う んなまだら (今こそやるべき時だ、
今すぐに実行しよう)。

きゆー [kju:] 【形容詞】[B] 煙たい。
[類] きゆーす。

きゆーす [kju:si] ①【名詞】[B] 煙。
【例】かうぬ きゆーす (線香の煙)。②
【形容詞】[A] 煙たい。【例】たばくー
ふきゆー ひとつぬ ういば きゆー
すかいば ならん (タバコを吸ってい
る人がいるので煙たくてしかたない)。
[類] きゆー。

きらす [kirasi] 【動詞】[s/h 語幹] [C]
(品物などの買い置きを)なくす。【例】
たばくー きらひーにやーん (煙草を
切らした)。

ぎり [giri] 【名詞】[B] 義理。【例】ぎりじゅー びとう（義理堅い人）。

きん [kin] 【助数詞】斤（重さの単位、600 g）、10以上は「ずき（10斤）、「ひゃっき（100斤）」のように「き」で表す。【例】いっきん（1斤）。ぐきん（5斤）。ろっきん（6斤）。ななきん（7斤）。はっきん（8斤）。つくぬきん（9斤）。【類】き。

きんだてい [kindati] 【名詞】安全祈願 [建築着工時に糸を張り柱等の位置を定める]。【例】きんだちゃーひーやーぬ ほういさ、 はらう んじやん うつつが にだます（糸を張って家の大きさ、柱をどこに置くか決める）。

きんちやく [kintçaku] 【名詞】袋状

の財布で上を縛る、巾着。

ぎんとうどう [gintudu] 【副詞】本当に、もしも。【例】ぎんとうどう っづあが うるー ひーやーていがー っづあうぎやー んがーはん（もしもあなたがそれをやったとしたらあなたを逃さない [＞許さない]）。

きんぴ [kimpi] 【名詞】[C] 化学肥料。【例】ほうっづあいぬどう きんぴん つきやー じゃうかい（馬小屋、牛小屋等から出た肥料の方が化学肥料より良い）。ぶーずんかい きんぴゅー ふいー（サトウキビに化学肥料を蒔く）。

きんみ [kimmi] 【名詞】[B] 目方、重さ。【例】うぬ っぞうぬ きんみゅー はかりーみーる（その魚の重さを測ってみなさい）。

く

く 一 [ku:] 【助数詞】ものを数える助数詞、個。【例】ひとつ く一 (一個)。ふた く一 (二個)。

く 一 [ku:] 【動詞】[w 語幹] [C] 乞う。【例】むぬ一 くい一 ふあう (飯をめぐんでもらって食べる)。むぬ にゃーんば むぬ くいが (食べ物が無いので食べ物を乞いにいく)。

く 一 [ku:] 【名詞】[B] 腰 [普通「く一まがい」「く一ぶい」などと使い、腰を単独で指す場合は「くす」を使う]。【例】く一ぶい ういびとう (腰の折れた年寄り)。ういびとう ないていが一 く一や まがり一 んじゃうなむぬ (年寄りになったら腰が曲がって残念だ)。[類] くす。

く 一 [ku:] 【名詞】[B] 粉。【例】めりけんぐ一 (メリケン粉)。かまぬ く一 ゆ むち一く一 (あそこの (メリケン) 粉をもってこい)。

く 一 [ku:] 【名詞】[C] 昆布。【例】く一じゅ一 (おかずとしての昆布)。

く 一 [ku:] 【名詞】[C] 着物などの破れたところを繕うこと、植え直すこと。

【例】つんぬ く一 あす (衣類の穴のあいているところを修繕する)。く一ずん (継ぎ接ぎした着物)。ぶ一ずぬ く一 あす (サトウキビの生えていないところに植え直す)。なうぬ く一ががら っさいん (何を繕ったか分からない [>何のことだか分からない])。

く 一 [ku:] 【形容詞】[B] 苦しい。【例】ば一 やまだっちゃひ一 く一かいばならん (私は下痢して苦しくてならない)。あいぬ く一 かまらす ゆ一 ゆぎゃ一 ふあ一ん (こんなに苦しくて悲しい世は生きてくない [<生きない])。

ぐ 一 [gu:] 【名詞】[C] 囲碁。【例】ひとつむていから ぐ一ゆ あす (朝から囲碁をする)。

ぐ 一 [gu:] 【名詞】[C] 仲良し、似た者同士。【例】うぬきゃが ふた一いや いつまい ぐ一 (その二人はいつも仲良しだ)。

ぐ 一 [gu:] 【名詞】[C] 固い岩。【例】ぶかぐ一ゆ ばい (固い岩を割る)。

く 一 い [ku:i] 【動詞】[r/rr 語幹] [C]

(木の枝などが) 十分成長する、(人が) 大人びる。【例】ぶっーじゃ んめくーりー ぶい ずぶん なりーどう (サトウキビはもう熟して収穫する時期にきている)。きーや くーらだかー ないや いでいん (木は成熟しないと実はでない)。くーいびゃー やらび (成長の速い子)。うぬ みどうんやらびゃー くーりーどうー (あの女の子はもう大人びてきた)。

くーい [kui] 【名詞】 [C] 小さな物置 (くくり)。【例】うつばらぬ くーい (奥の小部屋の物置)。

くーさ [ku:sa] 【名詞】 [C] 苦しさ、困窮。

くーさぬ だい [ku:sanu dai] 【成句】 苦しみの代償。【例】ていまーぬ あてい やすだいかいば くーさぬ だいや にゃーん (手間賃が余りにも安いので疲れの代償にならない)。

くーす [ku:si] 【動詞】 [s/h 語幹] [A] (大きな木の根や石などを) 掘り起こす。【例】ながうちゃひー いっそう くーす (つるはしで石を掘り出す)。うぬ きーぬ にーゆ くーはでいな (この木の根を掘り起こすよ [「一緒に掘り起こそうか、お前は掘り起こそうとしているのか」の解釈も可])。

くーす [ku:si] 【名詞】 [B] 唐辛子。[変異] くーそう。

くーすきや [ku:sikja] 【名詞】 『魚』メガネクロハギ、ナミダクロハギ。【例】くーすきゃー あうさり むぬ (メガネクロハギは 生臭い)。

くーすふあや [ku:sifaja] 【名詞】 『生物』木登りトカゲ。[変異] くーそうふあや。

くーすみや [ku:simja] 【名詞】 『生物』『食』甲イカ、こぶじめ。[変異] くぶすみや。

くーずん [ku:zin] 【名詞】 破れた箇所を繕った着物。

くーそう [ku:su] 【名詞】 [B] 唐辛子。【例】やぐみ からぐーそう (とても辛い唐辛子)。[変異] くーす。

くーそうふあや [ku:sufaja] 【名詞】 『生物』木登りトカゲ。【例】ばなひー くーそうふあやう ふんず (毘で木登りトカゲを捕まえる [く縛る])。[変異] くーすふあや。

くーた [ku:ta] 【名詞】 [C] 『魚』箱フグ。【例】くーたがまー ふあーいどー (箱ふぐは食べられる)。くーたがまー だみやすむぬ (ハコフグは突きやすい)。

くーた [ku:ta] 【形容詞】 [C] (味が) とても濃い。【例】くらー あず くーたかいば ふあーいん (これは味が濃すぎて食べられない)。うらー あずくーたひー んまい (これは味が濃く

ておいしい)。うぬ わーにむんな ま
ーぬ くーたっふあにやーだ んまい
(この豚肉の煮物はあまり味が濃くなく
てうまい)。

ぐーにや [gu:nja] 【名詞】[C] 蛾の一
種、沖縄クロホージャク (スズメ蛾科)
[外敵に見つからないようにホバーリン
グしながら花の蜜を吸う大型の蛾]。
【例】まずむぬぬ ぐーにゃん なりー
ひがっりー っちゅーい (幽霊が蛾
になって化けてでてきた)。ぐーにゃぬ
とうびー うい (蛾が飛んでいる)。
[類] あんぐーにや。

ぐーはん [gu:han] 【名詞】左右反対。
【例】うぬ やらびぬ くつぬ ん^ん
かたー ぐーはん (その子の靴の履き
方は左右反対だ)。

くーぶに [ku:buni] 【名詞】腰骨。
【例】ういびとう なりどう くーぶに
まい まがりーゆー (年取って腰骨も
曲がっている)。

ぐーみつ [gu:mitsi] 【動詞】[k 語幹]
つまらないことを言う。【例】まーぬ
ぐーみつな (あまり馬鹿なことを言
うな)。[変異] ぐーみふ。

くーむや [ku:muja] 【名詞】室内にい
る小さいクモ。【例】くーむやぬ す
ー (クモの巣)。[類] ん^んむ。

くーる [ku:ru] 【名詞】[C] 《遊》独楽
(こま)、手製の独楽。

くーわー [ku:wa:] 【名詞】昆布。[類]
くー。

くーい [kui] 【動詞】[母音語幹] [C] (も
のを) 乞う。[類] くー。

くーい [kui] 【指示詞】[A] 《指示名詞》近
くにあるもの、人を指す、これ、この人、
こいつ; それ、その人、そいつ [提題形
は「くらー」「くりゃー」、目的格形は
「くりゅー」、「くるー」]。【例】ういと
う くい (それとこれ)。[類] うい。

くーい [kui] 【名詞】[C] 声。【例】が
ばー ぐいゆ いだし (大きな声を出
せ)。くいばーき (声を限りに)。ほうぐ
い (大声)。やぐい (大声)。いみぐいが
ま (小声)。ぱーが いがんぐいゆ つ
ふ (おばあさんの遺言を聞く)。かりぐ
い (かれた声)。なつぐい (泣き声)。

くーい [kui] 【動詞】[母音語幹] [A] (溝
などを) 超える、年末から年始になる
こと (年越し)。【例】うまぬ ふぐん
ぬ またぎー くいる (ここの溝をま
たいで越えろ)。とうっそう くい (年
を越す)。

くーいがーい [kuigai:i] 【名詞】声変わ
り。【例】やらびゃー くいがいーや
ひーどうー (子供は変声している)。

くーいちゃー [kuiɕa:] 【名詞】宮古の
伝統踊り。

くーがい [kugai] 【動詞】[r/tr 語幹] [A]
(思い) 焦がれる、疲れる。【例】うむ

いくがい（思い焦がれる）。きゅーや
だり くがりーどうー（今日は疲労困
憊だ）。

くがい [kugai] 【名詞】 [C] 焦がれる
こと。【例】 つむくがい（心が焦がれ
ること）。みどうんぬ くとうー あて
い うむいくがりゃー ひーゆー（彼
女のことを思い焦がれている）。

くがに [kugani] 【名詞】 [A] 黄金、（大
切なものとしての）子供。

くぐとう [kugutu] 【名詞】 [A] 小言。
【例】 まーぬ くぐとうがまー あい
な（あまり小言を言うな）。

くさーん [kusa:n] 【副詞】（裏表）逆
に、裏返しに。【例】 つんぬ くさー
ん つー（着物を裏返しに着る）。

くさか [kusaka] 【名詞】 [C] これだけ。
[変異] ふさか。[類] くさき。

くさき [kusaki] 【名詞】 [C] これだけ。
【例】 たやー くさきていー いりー
（力をこれだけと入れる [＞思い切り入
れる]）。つうあが たまー くさき（あ
なたの取り分はこれだけだ）。[変異] ふ
さき。[類] くさか。

くさんみ [kusammi] 【名詞】 背中。

ぐしゃ [guça] 【オノマトペ】 砂や土を
掘る音。【例】 んぷらひー ぐしゃぐ
しゃていー しなう つふ（芋掘り棒
でグシャグシャと貝をつく [＞取る]）。

くじゃしつ [kužačitsi] 【名詞】 一番
座（床の間、客間）。【例】 しーしー
ゆぎゃー くじゃしつんかい どうむ
ーし（先生を一番座にお通ししなさい）。
[変異] くじゃひつ。

くじゃひつ [kuzahitsi] 【名詞】 一番
座（床の間、客間）。[変異] くじゃ
しつ。

くしゃん [kučan] 【名詞】 [A] くしゃ
み。【例】 かじゃー ひきどう くし
ゃんぬ ひーゆー（風邪引いてくしゃ
みしている）。

ぐしゃん [gučan] 【名詞】 [C] 杖。
【例】 ういびとうー ぐしゃんな つき
ー んっちゆ あいつ（老人は杖をつ
いて道を歩く）。うーんまー さつんな
りー ぐしゃんな ぐしゃぐしゃてい
ー つふっちゃーん あいきゅー（ウ
ーンマは先頭になって杖をグシャグシ
ャとつきながら歩いていた）。[類] で
いー。

くじゅ [kuzu] 【名詞】 [B] 去年。【例】
うらー くじゅぬ はなす（それは去
年の話）。

くす [kusi] 【動詞】 [s 語幹] [A] こす、
ろ過する。【例】 んーくっじゅ くす
（芋くずをこす）。

くす [kusi] 【名詞】 [B] 腰、後押し。
【例】 ういびとう ないていがー くっ
さ まがりー んじゃうなむぬ（年を
取ると腰は曲がって残念だ）。くすぶい

ういびとう（腰の曲がった年寄り）。
にんぎんな くすぬ あいばどう じ
やうかい（人間は後押しがあった方が
良い）。にんぎんぬ すぐいや くすま
いどう あい（人間が出世するのは後
押しもある）。[類] くー。

くず [kuzi] 【名詞】 [C] 余計なもの、あ
まりもの；ものが散らかっている様子。
【例】 うまぬ くっじゅ とうい（そ
この余分なものを取れ）。

くず [kuzi] 【動詞】 [g 語幹] [C] 漕ぐ；
生活する。【例】 ふにゅー くず（舟
を漕ぐ）。うまぬ きないや やつとう
がまどう くぎゅーはず（その家庭は
やつとのことで生活しているはずだ）。

くず [kuzi] 【名詞】 [C] 水際に生える
藻。【例】 みずんなかんういゅーくっ
じやなびーやいば まさがんみーあい
き（水の中にはえている藻はすべりや
すいからよく見て歩け）。

ぐず [guzi] 【名詞】 [C] 垢。【例】 ど
うーぬぐっじゅあらい（体の垢を洗え）。
[類] なば。

くずあに [kuziani] 【名詞】 子守姉。
[類] むらに。

くすぐー [kusigu:] 【名詞】 腰。 [類]
くす。

くすぶに [kusibuni] 【名詞】 腰骨。

ぐずら [guzira] 【名詞】 [C] 酒席等で
中々席を立たない人、ぐずぐずして世

話のやける人。 [類] びだく、だらく
げった。

くたんでい [kutandi] 【名詞】 苦しん
でいること。【例】 さきくたんでい（二
日酔い）。かりゃー ゆび あてい さ
きぬんな ひどう さきくたんじゃー
ひどう くたんじゅーい（彼は昨晚
酒飲み過ぎて二日酔いして苦しんでい
る）。

くつ [kutsi] 【名詞】 [C]（死人の）骨、
お骨。【例】 くつあらい（洗骨）。くつ
あぎ（お骨上げ）。

くつづあ [kuvva] 【名詞】 [B] ふく
らはぎ、こむら。【例】 くつづあ あ
がいや ひどう くつづあー いちゃ
かいば ならん（こむらがえりしてふ
くらはぎが痛くてしかたがない）。ばか
むぬぬ くつづあ ぱずみーどうーい
（若者のふくらはぎは膨らんでいる）。

くつづあ あがい [kuvva agai]
【成句】 [r/rr 語幹] こむら返りする。
【例】 ゆび につづゅーきゃー くつづ
あ あがりー いちゃかいば んびゃ
ーいったん（夕べ寝ていたら、こむら
返りして痛くてたまらなかった）。

くつづあがい [kuvvagai] 【名詞】 ふ
くらはぎの痙攣、こむら返り。【例】 く
つづあがいや いちゃむぬ（こむら返
りは痛い）。

ぐつづあんなりー [guvvannari:]
【成句】 ぶんぶんと羽音をたてる。【例】

っさりっぞうんな はいぬどう ぐっ
づあんなりー たかりゆー (腐った魚
には蠅がぶんぶんと羽音をたてて集っ
ている)。[類] がっづあん なりー。

くっじゃす [kuzzasi] 【動詞】[s/h 語
幹] 苦労させる、難儀させる。【例】あ
いや ひとうーぎゃー くっじゃはん
(そんなには人を苦労させない [＞苦労
させてはいけない])。

くっず [kuzzi] 【動詞】[zz/dd 語幹] [C]
苦労する、難儀する。【例】ばー で
いんな すていー むいとう くっじ
ーにゃーん (私はお金を落としてとて
も難儀した)。[類] くっでい。

くっそう たでいー [kussu tadi:]
【成句】楽な姿勢を取るために柱などに
腰を当てて寄っかかる。【例】ばー
くすぬ いちゃかいば うまん くっ
さ たでいー びじゃでい (私は腰が
痛いのでそこに腰を当てて寄りかかっ
て座ろう)。くっそう はらんかい た
でいー (腰を家の柱に当てる)。

くっでい [kuddi] 【動詞】[母音語幹]
[C] 苦労する、難儀する。[類] くっず。

くでい [kudi] 【名詞】[C] 黒ずんでい
ること。【例】ばが ていーや あて
い すかまー ひーどう くでいん
なりゆー (私の手は仕事をやり過ぎて
黒ずんでいる)。

ぐでいんぶー [gudimbu:] 【名詞】御
前風 (お祝いの時に歌う歌)。

くとう [kutu] 【名詞】[C] 『形式名詞』
こと。【例】なうぐとうまい にゃー
ん (何事もない)。きよーとんかいや
いきゃーくとうー にゃーん (京都に
はいったことはない)。あいぬ くとう
ぎゃー ばー っさん (そんなこと
はわたしは知らない)。

くとうす [kutusi] 【名詞】[A] 今年。
【例】くとっさ ゆがほうー (今年
は豊年だ)。

ぐどうん [gudun] 【名詞】[B] 愚鈍、
バカ。

ぐな [guna] 【接尾辞】～担当、～役割。
【例】つつぐな (聞き役)。むぬいぐな
(話役)。っぞとういぐな (魚とり役)。い
んぐな (海に行つて魚をとる係り)。む
ぬにーぐな (食事を炊く係り)。

くなぎ [kunagi] 【名詞】[C] これくら
いの (短い) 長さ。[変異] くぬぎ。

くなす [kunasi] 【動詞】[s/h 語幹] [A]
仕事を処理する、こなす。【例】すか
まう くなす (仕事をこなす)。

ぐに [guni] 【動詞】[母音語幹] [C] 文
句を並べ立てる、ごねる；(駄々を) こ
ねる。【例】すかまー ひらいん な
っちゃかんまりゃー んばていど
ぐにゆー (仕事のできない奴は嫌だと
ごねている)。あいや ぐにーな (そん
なに文句を言うな)。[類] ぐにゃい。

ぐにゃい [gunjai] 【動詞】[r/rr 語幹]
[C] 文句を並べ立てる、ごねる；(駄々

を)こねる。【例】くぬ やらびぬ ン
まんかい ぐにゃいきゃー ぎっじゃ
ひらいん (この子が母親に駄々をこ
ねると手が付けられない)。「類」ぐに。

くぬ [kunu] 【指示詞】『指示形容詞』
その; この [「うぬ」と「くぬ」は基本
的に区別なく使われるが、文脈指示は
「くぬ」でなく、「うぬ」が使われる]。

くぬい [kunui] 【名詞】[C] 最近。【例】
くぬいや っうあー まーぬ みーら
いっだん いー (最近はあなた余り会
えなかったねえー)。くぬいや みーや
むーっでいー しんぶんまい ゆま
いん (最近は目がかすんで新聞も読め
ない)。

くぬぎ [kunugi] 【名詞】[C] これくら
いの (短い) 長さ。 [変異] くなぎ。

くぬきや [kunukja] 【名詞】[C] この
人たち。【例】くぬきゃー やぐみ
うむくとう あい ひとつんみ (この
人たちはとても頭がいい人たちです)。
[類] くぬきゃた。

くぬきゃた [kunukjata] 【名詞】この
人たち。【例】くぬきゃたー ひとつ
ーぎゃー まつぎぬ すたからどう
みー (この人たちは他人をまつ毛の下
から見る [> 見下している])。「類」く
ぬきゃ。

くぬちや [kunutça] 【名詞】[C] こち
ら側。【例】かぬちやうぎゃー みー

だ くぬちやう みーる (向こう側を
見ないでこちら側を見なさい)。

くば [kuba] 【名詞】[B] 『植』クバ、檳
榔 (ビロウ)。【例】くばずー (クバで
作った釣瓶)。くばがさ (クバ傘)。くば
ぎー (クバの木)。

くば [kupa] 【形容詞】[B] 固い。【例】
くば いす (固い石)。くぬ かーっさ
くばかいば かまいん (この菓子は
かたいから噛めない)。

くばい [kubai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C]
配る。【例】かーっそう くばい (菓
子を配る)。

くぱい [kupai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C]
(寒さなどで体が) 硬くなる。【例】ど
うーや くぱりーどうー (身体が硬く
なっている)。っしかいば ていーまい
くぱりーどうー (寒いので手も凍え
ている)。

くばずー [kubazi:] 【名詞】釣瓶 (つ
るべ)。【例】うぬ くばずーぬ ン
なー まるかいば みっじゃ ン[°]まい
ん (この釣瓶の縄は短いので水が汲め
ない)。くばずーひー みっじゅ ン[°]
ん (釣瓶で水を汲む)。

くぱん [kupan] 【名詞】[C] 『祭礼』御
嶽で使われる言葉で「塩」を意味する。

くび [kubi] 【名詞】[B] 壁。【例】か
ややーぬ くび (茅葺家の壁)。

くび [kubi] 【動詞】[母音語幹] [A] 縊（くび）る、しばる。【例】ひんじゃぬ はっじゅ ん[°]なひー くびー（ヤギの足を綱でしばる）。

くぴ [kupi] 【名詞】[B] 小さいゴミ。【例】ふとんぬ くび（布団から出るゴミ）。

くぴん [kupin] 【名詞】[C] 瓶。【例】さきくぴん（酒瓶）。

くぶー [kubu:] 【名詞】[B] 締め切ること、また締め切られたところ。【例】うまぬ やどうー くぶーあっそう（この戸を閉め切りなさい）。ぶじゃがまー いつまい うつばらぬ くぶーが まんどう にっづいーうい（おじさんはいつも締め切られた奥の小さな部屋に寝ている）。

くぶすみや [kubusimja] 【名詞】『生物』『食』甲イカ、こぶじめ。【例】くぶすみやう つふ（甲イカを突く）。くぶすみやー ふゆんどう ゆー とうらいー（甲イカは冬に良くとれる）。[変異] くーすみや。

くま [kuma] 【名詞】[C] ここ。【例】うま くま（あちこち）。かま くま（あちこち）。あま くま（あちこち）。くまんかい ってい びじ（ここにきて座れ）。

くま [kuma] 【形容詞】[B]（石や砂などが）細かい、（織が）細かい；（お金が）細かい；（仕事）が）丁寧だ、丁寧な。

【例】っづあー くまかい むぬー とうい（お前は小さいほうを取れ）。かいがどう くまかい（これが小さい）。くぬ いちまんえんぬ くまふ あっそう（この2万円をくずしてくれ）。みゃーく じょうふー くま ぬぬ（宮古上布は織りの細かい布）。くまでいん（小銭）。うぬ さやふぬ すかまー やぐみ くま すかま（あの大工の仕事はとても丁寧だ）。[変異] ぐま。

ぐま [guma] 【形容詞】[B]（石や砂などが）細かい、（織が）細かい；（お金が）細かい。[変異] くま。

くまい [kumai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] 籠る、閉じこもる。【例】まーぬ やーぬ なかん くまいな（あまり家の中に閉じこもるな）。やーぐまい（家に閉じこもる）。ゆーぐまい（夜籠り [＞ウタキで夜を過ごすこと]）。

くまい [kumai] 【名詞】[C] 籠ること。[変異] くむい。

くまい [kumai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C]（紐などが間を）通る。【例】ばなぬ くまい まどうない にゃーん（罌の通る隙間もない）。

くまかた [kumakata] 【名詞】こちら側、こちらの方。【例】かまかたうぎゃー みーだ くまかたう みーる（向こうの方を見ないでこちらの方を見なさい）。

ぐまずー [gumazi:] 【名詞】細かく切ること、細切れ、たたきにする。こと。

【例】っぞうーぎゃー ぐまずー あっそう (魚を細かく切りなさい)。

ぐまたん [gumatan] 【副詞】細かく、小さく。 [類] ぐまみん。

くまづかい [kumazikai] 【名詞】お使い。 【例】やらびゅー くまづかい あすみ (子供をお使いさせる)。

くまでいー [kumadi:] 【名詞】大工仕事等で手が細かい人、技術力のある人。 【例】くまでいー じゃう さやふ (腕のいい大工)。 [類] ぐまでいー。

ぐまみ [gumami] 【名詞】 [B] 粉々。 【例】いっさ ばりー ぐまみん なす (石を割って粉々にする)。

ぐまみん [gumamin] 【副詞】細かく、小さく。 【例】ぐまみん なしる (こなごなにしなさい)。 [類] ぐまたん。

くまやき [kumajaki] 【形容詞】儉約な、几帳面な。 【例】かりゃー くまやき みどうん やいば きない むつじゃうず (彼女は儉約な女性だから家計をみるのが上手)。くまやき びとう (儉約な人)。

くまらす [kumarasi] 【動詞】 [s/h 語幹] (紐などの間を) 通す。 【例】ゆだとう ゆだぬ なかう ばなー くまらす (枝と枝の間を毘を通す)。

くみ [kumi] 【動詞】 [母音語幹] [C] 入れる、込める。 【例】あなんかい きーゆ くみー (穴に木を押し込める)。ばふ うっさ つーび どうきゃんな ばふていー まらう くみー (種牛は交尾するときにはずぼっとマラを入れる)。

くみ [kumi] 【名詞】 [B] 米。 【例】くみだーら (米俵)。 [類] まい。

ぐむ [gumu] 【名詞】 [B] ゴム。 【例】かーきだくー ぐむぬ んまりゃーひー ひつにかいば ならん (燻製のタコはゴムのようにかたくてしかたがない)。

くむい [kumui] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 籠る。 [変異] くまい。

くむい [kumui] 【名詞】 [C] 籠ること。 【例】うたきんぬ ゆーぐむいぬ かんにがい (御嶽での夜籠りの祈願)。 [変異] くまい。

ぐむかん [gumukan] 【名詞】『遊』ばちんこ (子供のおもちゃの一つ)。 【例】ぐむかんひー っふあどうりやう あていー (パチンコで雀を当てる)。

くや [kuja] 【感動詞】ほら。 【例】くや くや (ほら、ほら)。

くゆび [kujubi] 【名詞】 [C] 小指。

くゆん [kujun] 【名詞】 [B] 暦。

くらす [kurasi] 【動詞】 [s/h 語幹] [A] 殺す; 懲らしめる。 【例】さうがつ

わーゆ くらす (正月用の豚を屠る)。
むぬいゆぎゃー つかんやらびゅーぎ
ゃー くらし (言うことを聞かない子
供は懲らしめなさい)。んぬつぬ ふか
っでいー あすきゃ、 いつぬ にー
ぬ ふかっでいー あすきゃ くらは
いたい (命がなくなるほど、息の根が
止まるほど懲らしめられた)。

くり [kuri] 【動詞】[母音語幹][A] (お
金を) 両替する。【例】でいんぐり (両
替)。でいんな くりー つかーでい
(お金を両替して使おう)。でいんな くり
ー やらびんみんかい おとしだま
ふいーでい (お金を両替して子供達
にお年玉をあげよう)。

ぐり [guri] 【接尾辞】(動詞基本形につ
いて)「～しにくい」、「～しがたい」とい
う形容詞語幹を作る。【例】くぬ き
かいや あつかいぐり (この機械は扱
い難い)。あいぐりむぬ (言いにくい)。
ふあうぐりかいばならん (食べにくく
て仕方がない)。

ぐりし [guriçi] 【名詞】[C] (1セン
チから2センチぐらいまでの) 小石。
[変異] ぐりす。

ぐりす [gurisi] 【名詞】[C] (1セン
チから2センチぐらいまでの) 小石。
【例】はいぬ ぐりっそう っそういー
すていでい (畑の小石を拾って捨て
よう)。[変異] ぐりし。

ぐる [guru] 【名詞】[C] 粟、高黍 (コー
リヤン) 等の枯れた茎、枯れた芋蔓。

【例】ほうぎゃんぐる (高黍の枯れた茎)。
んーぎーぐる (芋蔓の枯れたもの)。ぶ
ーずぐる (枯れたサトウキビの茎)。

くるきや [kurukja] 【名詞】[C] 《魚》
ヒレナガスズメダイ。

ぐるくん [gurukun] 【名詞】《魚》グ
ルクン、タカサゴ。 [類] ぶるくん。

くるず [kuruzi] 【名詞】[C] 鍋の底に
こびりついた食べ物。

ぐるったー [gurutta:] 【名詞】ごろ
つき、ならず者。【例】かりゃー ひ
とうだます ぐるったー (あいつは人
をだますごろつきだ)。

くるぶす [kurubusi] 【名詞】踝 (くる
ぶし)。

くるまう むつ [kurumau mutsi] 【動詞成句】[c/t 語幹] 車を運転する ; 車
を所有すること。【例】ばー きゅー
や くるまー むていー っさらんか
い (私は今日は車を運転して平良に (行
く))。からー んなーぎゃー くるま
ー むちゃー うらん (彼はまだ車
を持っていない)。

ぐるみつ [gurumitsi] 【動詞】[k 語幹]
目が回る。【例】みーぬどう ぐるみ
きー まーりゅー (目がグルグルと回
っている)。[変異] ぐるみふ。

くろんぼー [kurombo:] 【名詞】《蔑
称》黒人。

くん [kun] 【動詞】[m 語幹] [C] 夜ごもりする。【例】うたきんな ゆーやくみー かんぬ にがう (ウタキでは夜ごもりして神に祈る [＜夜を籠って神を願う])。]

ぐん [gun] 【名詞】[C] 『魚』ムツル (ムロアジ) が大きくなったもの。【例】ぐんぬどう ほうんみん なりー っちゅーい (むろあじが大群で来ている)。

くんきや [kunja] 【名詞】[C] 『蔑称』ライ病患者。【類】くんちゃー、あいたー。

くんじゃう [kunjau] 【名詞】(悪い) 性格。【例】かりゃー くんじゃうや あたらん (あいつは性格がよくない)。やなくんじゃうひとつ (性格の悪い人)。

くんず [kunzi] 【動詞】[g 語幹] [C] 背負う。【例】っふあう くんず (子供を背負う)。

くんつ [kuntsi] 【名詞】[B] 根気、元気。【例】くんっちゃ にゃーんまり (元気のない奴)。んまむぬー ふあいー くんっちゃ つきーどうーい (美味しいものを食べて体力がついている)。くんつじゅー びとう (根気強い人)。くんつまき (根負け)。

くんつき [kuntsiki] ① 【動詞】[母音語

幹] (人や動物を) 押さえつける。【例】ひんじゃう くんつきる (山羊を押さえつけろ)。② 【動詞】[母音語幹] (子供などが) しがみつく。【例】やらびゃー くんつきー はなりん (子供はしがみついて離れない)。

くんぱい [kumpai] 【動詞】[r/rr 語幹] (後ろに下がったり、前に引っ張られないように) 踏ん張る；(仕事や作業などを) 頑張る。【例】ん°なひつんな わいていー くんぱい (綱引きでは一生懸命に踏ん張る)。あていー くんぱりゃー ひー むいだり (頑張りすぎて疲れた)。くんぱりー ぶーっじゅ かたん (頑張ってサトウキビを担ぐ)。

ぐんぼう [gumbau] 【名詞】ごぼう。

くんぱにー [kumpani:] 【名詞】とても親しい友人。【例】かにとまさいや くんぱにー (カニとマサイはとても親しい友人だ)。

くんぱらす [kumparasi] 【動詞】[s/h 語幹] (後ろに下がったり、前に引っ張られないように) 踏ん張らせる；頑張らせる。【例】あちゃぬ ん°なひつんな んーなう わいていー くんぱらし (明日の綱引きではみんなをしっかりと踏ん張らせる)。

け

けー [ke:] 【名詞】[B] おびえること。

【例】 やらびやー んめ うどうるきー
けーん なりーどうー (子供はもう
驚いておびえている)。

けーさん [ke:san] 【名詞】計算。【例】

からー けーさんじゅー (あいつは計
算高い)。けーさんばっぱい あす (計
算間違いをする)。

けーひ [ke:hi] 【名詞】[C] 経費。【例】

やーふっちゃ けーひじゅー (家を作
るのは経費がかかり過ぎる)。

げったー [getta:] 【名詞】能力のない

者、下の者。 [変異] ぎったー。

けんけんぱー [kenkempa:] 【名詞】

『遊』片足飛びの遊び。【例】 だいしゃ
ーひー けんけんぱーや ひー かー
らー きりー あそー (片足飛びで
ケンケンパーして瓦蹴りの遊びをして
遊ぶ)。

げんの一 [genno:] 【名詞】金槌。【例】

かにふっじゅ うんかっでいー ひー
はっじゃきー げんの一ひー うなが
うゆびゅー っつきーにやーん (釘
を打とうとして打ち損じて金槌で自分
の手を打ってしまった)。

こ

こーたい [ko:tai] 【名詞】交代、交替。

【例】じよ すかまう こーたい ほ
うでい（仕事を交替しよう）。

こーどうい [ko:dui] 【名詞】フクロ

ウ。 【例】ゆなか こーどういぬ こ

ーこーてい なつ（夜中フクロウがコ
ーコーと鳴く）。

ごん [gon] 【オノマトペ】ごつん。 【例】

かなまいゆ ごんていー ふぁーす（頭
をゴツンと叩く）。

さ [sa] 【接尾辞】形容詞語幹について名詞化する接尾辞、「～さ」。【例】くぬ まんごーぬ んぶさー いかっさばかーい（このマンゴーの重さはどれくらいだ）。ほういさう はかい（大きさを測る）。いみさ みー（小ささを見る[>馬鹿にする]）。くぬ みどうんぬ あばらぎさー みゃーくいち（この女性の美しさは宮古一だ）。くとうすぬ ぼーなすぬ さかふさん うどうるつたい（今年のボーナスの少なさに驚いた）。

さ [sa] 【助詞】『終助詞』よ、だよ、だろう。【例】つづあが とうみゆー むぬー かまん あいさ（君が探しているものはあそこにあるだろう）。

さー [sa:] 【名詞】[C] 差。【例】やぐみ さーや あり（大変な差がある）。

さー やい [sa: jai] 【成句】「ーかい、ーむぬ」のように形容詞語幹について述語化する機能をもつ。「のだ」、「のだよ」。【例】からー いつまい いばいさー やい、がずさーやい ひーゆー（彼はいつもいばったり、ものをけちったりする）。ばー つづあうぎゃー い

つまい すーじゃさー やい（おれはいつもお前がうらやましい）。ばが むちゆー つぞうぬどう ほういさー やい（私が持っている魚の方が大きいのだ）。くいがどう いみさー やいだら（こっちの方が小さいのよ）。

さーい [sai] ① 【動詞】[r/rr 語幹] [A] 連れる。【例】うやう さーりーくー（おじいさんを連れて来なさい）。やらびんみゃー さーりー っさらんかい いつ（子供たちを連れて平良に行く）。ぱーや ばぬー さーりー ぶらぬ むぬすーぬ まいたーひー いきゆーたい（おばあさんは私を連れて保良のユタのところまで行った）。② 【動詞】[r/rr 語幹] [A] 子守する。【例】つふあう さーい（子守する）。きゆーや っふあ さーい（今は子守だ）。

さーい [sai] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] 触れる、さわる。【例】くぬ かみがまんかいや なんとが さーいな（このツボには絶対さわるな）。あつやかんかい さーりーみーていがー ていーや っさらはいにゃーん（あついやかんに触ったら手をやけどした）。[類] さ

ーい (母音語幹)。

さーい [sai] 【動詞】 [母音語幹] [A]
触れる、さわる。 [類] さーい (r/rr 語幹)。

ざーざーていー [za:za:ti:] 【オノマトペ】 (雨の降る様子) ザーザーと。
【例】 あみぬどう ざーざーていー つふゆーたい (雨がザーザーと降っていた)。
[変異] じゃーじゃーていー。

さーるかもーたー [sa:rukamo:ta:]
【名詞】 カマキリ。 【例】 さーるかもーたーん かかっじゃいにやーん (カマキリにひっかかれた)。

さい [sai] ① 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] (植物が) 枯れる ; (魚が) ひからびる ; (着物が) 乾く。 【例】 ひむーひー ぶーっじゃ さりー はりーにやーん (旱魃でサトウキビは枯れてしまった)。さりっぞう (きびなごの干物)。っぞうーさらす (魚を干す)。いすぬ あーぎん さるまたう さらす (石の上でパンツを乾かす)。あかう さらす (髪を乾かす)。あかー さりーにやーん (髪が乾いた)。 [類] さり。 ② 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] (土地などが) 干上る。 【例】 っしゃー っしどう さりーゆー (礁は潮が引いて干上がっている)。 [類] さり。

さい [sai] 【名詞】 [C] 悪だくみ、考え、計画、。 【例】 かいが さいや ながいーにやーん (彼の悪だくみがばれた)。かいが さいや ばぬんな っさいん (彼の考えは私にはわからない)。

さい [sai] 【名詞】 [C] エビ [いびがらん (伊勢海老) 以外のエビは「さい」という]。 【例】 さでいあんな ひきーさいゆ とうい (手網を引いてエビを取る)。まうきやーいん さじゅー ひつていがー うんそうく さいぬ とらいたい (大浦湾で小網を引いたらたくさんエビがとれた)。

さいじゅー [saizu:] 【形容詞】 計算高い。 【例】 からー さいじゅーかいば かいんな だまはいだうり (彼は計算高いので彼にはだまされるな)。

さいぬは [sainuha] 【名詞】 酉 (西) の方。

さいぬはでいー [sainuhadi:] 【名詞】 西支部 [西原は東西南北の4つの支部に分かれており、その西支部のこと]。

ざいばん [zaiban] 【名詞】 在番 [人頭税時代の宮古の最も偉い人で首里王府から派遣された役人]。

ざいんみ [zaimmi] 【名詞】 ずぶ濡れ。 【例】 あみん ったかいー ざいんみん ないたい (雨に叩かれてずぶ濡れになった)。 [変異] じゃいんみ。

さう [sau] 【名詞】 [C] 思慮、分別。 【例】 かりやー さうや にやーん っとうい ばぎんまり (彼は分別がないやつだ)。かりやー さうや ありゆーんががらどう まさがん むぬーぎやー ふあいゆー (あの子は分別があ

るのか、ちゃんと食事をしている)。や
らびやー ほうりみつっじゃひどう
みーんな さうやにやーん（子供は右
往左往して目には落ち着きがない）。

さう ぱぎ ンまり（分別がないやつ）。
みーんな さうや にやーだ ほうり
みつず（目には落ち着きがなく視点が
定まらない）。

さう [sau] 【名詞】 [B] 竿。【例】む
ぬほうすじゃう（物干し竿）。つんほう
すじゃう（物干し竿）。

さう [sau] 【名詞】 [C] 知恵。【変異】
しゃう。

さうー [sau:] 【動詞】 [vv 語幹幹] [A]
刀等で突き刺す、突き刺す。【例】ひ
んじゃぬ ぬどうー さっづい（山羊
の首を突き刺せ）。ひとうー さっづい
や ならん（人を突き刺してはいけな
い）。

さうか [sauka] 【名詞】 [C] 『食』ショ
ウガ。

さうがつ [saugatsi] 【名詞】 正月。
【例】さうがつんな なうばいぬ むぬ
ーどう ふあうが（正月にはどんなも
のを食べますか）。くとうすぬ さうが
っちゃ やぐみじゃう わーつつどう
あたい（今年の正月はとてもいい天
気だった）。

さうがつわー [saugatsiwa:] 【名詞】
正月に食べるために飼ってきた豚。

さうき [sauki] 【名詞】 [C] 竹籠 [1メ
ートルくらいの平たい底の浅いかごで
天井からぶらさげる]。【例】かぬ さ
うきんな なうぬどう はいりゆーば
（あの竹籠には何が入っていますか）。

さうきぶに [saukibuni] 【名詞】 あば
ら骨。【例】びきどうんな さうきぶ
にぬどう っていつ たらーんば う
むくとうー にやーん（男性はあばら
骨が一つ足りないから頭が悪い）。【類】
やかたぶに。

さうず [sauzi] ① 【名詞】 [C] 掃除。
【例】みなかぬ さうず（庭の掃除）。②
【名詞】 [C] お祓い、お清め。【例】うま
んな やなむぬぬどう ういば まー
そうさうず あっそう（そこには悪霊
がいるから塩でお清めをする）。とうか
さうずばり（出産後、10日目頃のお
祓い）。

さうずがら [sauzigara] 【名詞】 塵、
芥。【例】さうずがらう とうい すて
いる（塵を取ってしまいなさい）。【類】
あふた。

さうずばり [sauzibari] 【名詞】 『祭
礼』 出産後約10日（トゥカンティ）に
行うお祓い。【例】とうかんでいんな
さうずばりやー ひどう あかつづあ
ん ていだがなっそう うがます（出
産祝いにはお祓いをして赤ちゃんに太
陽神をおがませる）。やらびゆーぎやー
さうずばりやー ひーからどう て
いどうぎやー うがます（赤ちゃんを

お祓いをしてから外に出して太陽を礼拝させる)。

さうだん [saudan] 【名詞】相談、談合。【例】かいかいや さうだんな ひらいん (彼には相談できない)。[類] だんがー。

さうみ [saumi] 【名詞】[C] 『蔑称』斜視。

さうみん [saumin] 【名詞】素麵。【例】さうみん ぶっとうら (茹でた素麵を炒めたもの)。

さかー [saka:] 【名詞】[C] さかさま、逆、裏返し。【例】つづあが つんぬ つーかたー さかー (あなたの服の着け方は表裏が逆だ)。[類] さかさ、さかさー。

さかい [sakai] 【名詞】[B] 境、境界。【例】やーぬ さかい (家の境界)。くまぬどう やすつぬ さかい (ここが屋敷の境)。

さがい [sagai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] (実などが木から) 下がる、(人がものにつかまって) ぶらさがる。【例】ばさぬ ないぬどう さがりゅー (バナナの実がぶら下がっている)。かたていーひー きーから さがらいどうすな (片手で木からぶら下がれるかい)。

さがい [sagai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] つけで物を買うこと。【例】まっちゃん きー たばくー さがりーったい (店

に行ってタバコをつけで買って来て来た)。むぬー さがりー かう (物をつけで買う)。

さかさ [sakasa] 【名詞】[C] さかさま、逆、裏返し。【例】つんぬぎゃー さかさんな っちゃん (着物を裏返しでは着ない)。[変異] さかさー。[類] さかー。

さかさー [sakasa:] 【名詞】さかさま、逆、裏返し。[変異] さかさ。

さかずき [sakaziki] 【名詞】杯、盃。

さかなやー [sakanaja:] 【名詞】料亭、遊郭。【例】さかなやーんいきー じゅりゅー かう (料亭に行って遊女を買う)。さかなやーん じゅりとう あそー (料亭で遊女と遊ぶ)。とういしやう ほうりむぬー きゅーまい さかなやーんかい (助平な馬鹿者は今日も料亭に(行く))。[変異] さかぬやー。

さかぬやー [sakanuja:] 【名詞】料亭、遊郭。[変異] さかなやー。

さかふ [sakafu] 【形容詞】[C] 少ない。【例】ばが つぞうだまー つづあが むぬんつきゃー さかふだー (私の魚の取り分はお前のものより少ない)。

さかま [sakama] 【名詞】[B] 坂、坂道。【例】さかまう あいつ (坂を歩く)。[類] さかまんつ。

さかまんつ [sakamantsi] 【名詞】坂、坂道。【例】さかまんっちゅ あいつ (坂を歩く)。[類] さかま。

さき [saki] 【名詞】 [B] 酒。【例】さきゅー かーぬ みずひー ばいーくー (酒を井戸水で割って来い)。さきんぬまいー すん (酒に呑まれて死ぬ)。

さぎ [sagi] ① 【動詞】 [母音語幹] [C] 下げる、ぶら下げる。【例】さぐなうぎゃー きーん さぎどう みーゆぎゃー いたす (ほら貝を木に下げて中身を出す)。うまぬ がずん いんからぬ びらふー さぎる (そこの鉤に海からのカゴを下げる)。
[変異] さず。
② 【動詞】 [母音語幹] [C] 下痢をする。【例】ばー さぎー っしぬ ぼん (私は下痢してトイレの番 [> トイレからでられないこと])。きゅーや さぎーやまだっちゃ ひーゆー (今日は下痢が止まらない)。わーぬ あっうあう はーさ ふあうていがー さずどうす (ブタの脂をたくさん食べると下痢する)。
[変異] さず。

さきくたんでい [sakikutandi] 【名詞】 二日酔い、またその人。【例】んぬ あてい さきぬんな ひどう きゅーや さきくたんじゃー ひーゆー (昨日飲みすぎて今日は二日酔いだ)。さきくたんじゃー ひー くーかいばならん (二日酔いで苦しくてならない)。あがい んぬ きゅーまい さきくたんでい (ああ もう大変だ、今日も二日酔いだ、今日も二日酔いだ)。
[類] さきぬっち。

さきじゃう [sakizau] 【名詞】 大酒飲み。【例】ひとうむていからぬ さきぬん さきじゃう (朝からの酒飲み大酒飲み)。
[類] さけじゃうぐ、さきぬみや、さきふあや。

さきじゃうぐ [sakizaugu] 【名詞】 大酒飲み。【例】さきぬん さきじゃうぐ (酒飲み、大酒飲み)。
[類] さきぬみや、さきふあや。

さきじゅーばりがみ [sakizu:barigami] 【名詞】 酒豪、割れ瓶。【例】さきゃー いかっさ ぬまぼんまい びゅーいん さきじゅー ばりがみ (酒をいくら飲んでも酔わない酒豪だ)。

さきそうるー [sakisuru:] 【動詞】 [w語幹] 咲き揃う。【例】ひまわりぬ さきそうるいゆー (ひまわりが咲きそろっている)。つゆが はなー さきそうるいーどうー (露の花は咲き揃っている [古謡「豆が花」から])。

さきたりやー [sakitarija:] 【名詞】 酒屋。【例】さきたりやーんきー たりかっそう かいくー (酒屋に行って酒かすを買ってこい)。

さきぬっち [sakinuttçi] 【名詞】 二日酔い。 [類] さきくたんでい。

さきぬみや [sakinumja] 【名詞】 酒飲み。【例】うぬ さきぬみやー びゅーいどう ぶいたがぶいたていー ぶいたみきゅーい (この酒飲みは酔っぱらったらいろいろと愚痴をこぼす)。い

っちゃーっさん さきぬみや (加減を知らない酒飲み)。かりゃー むいとうぬ さきぬみや (彼はとても酒飲みだ [＜とても酒飲みだ])。[類] さきふあや、さきじゃうぐ。

さきぬん [sakinun] 【名詞】酒を飲むこと。【例】さきぬんまい だうりぬ どう あいむぬ。(酒飲むことにも道理があるものだ)。

さきぬんあぐ [sakinunagu] 【名詞】酒飲み友達。[類] さきぬんどうす。

さきぬんどうくま [sakinundukuma] 【名詞】酒の席、酒座。【例】からー いつまい さきぬん どうくまう どうみーまーい (彼はいつもどこか酒の席を探しまわっている)。

さきぬんどうす [sakinundusi] 【名詞】酒飲み友達。[類] さきぬんあぐ。

さきふあや [sakifaja] 【名詞】酒飲み。[類] さきぬみや。

さきやー [sakija:] 【名詞】酒屋。

さぐ [sagu] 【名詞】[C] その人の独特な身振り、歌い方等。【例】かりゃー さぐー いりー あーぐー あっじゅー (彼は独特の歌い方で歌をうたっている)。

さぐな [saguna] 【名詞】[C] ホラ貝。【例】さかさん さぐなう さぎー うっきゅーふばどう ういが みーや たりー うていーふー (逆さまにほ

ら貝を下げておいておけば身が垂れて落ちてくる [＜その身は])。

ささぎ [sasagi] 【名詞】[C] 結婚すること。

ささぎゆーい [sasagijui] 【名詞】結婚式。【例】きゅーや うぬきゃが ささぎゆーいちや (今日はいかれらの結婚祝だつてさ)。

さし [saçi] 【名詞】[C] 柄杓。【例】みっじゅ さしひー ぬん (水を柄杓で飲む)。

さす [sasi] ①【動詞】[s 語幹] [C] (指や手でものを) 指す、指し示す。【例】ばが さす とくまう みーる (私が指すところをみなさい)。②【動詞】[s 語幹] [C] (液体を入れ物に) 注ぐ。【例】ちゃーゆ ちゃばんかい さす (お茶を湯呑に注ぐ)。③【動詞】[s 語幹] [C] (針やキリなどの細いものを) 刺す; (ものをものの中に) 差す; (傘を) さす。【例】はいゆ さしー んーくー いだす (針を刺して膿をだす)。んーぶらう んなぐんかい さしー しなう とうい (芋掘り棒を砂に刺して二枚貝を取る)。まーたー ゆっづいー うまん さし (マータを結んでそこにさしなさい [「マータ」はススキを結んだ魔除け])。さなう さす (傘をさす)。④【動詞】[s 語幹] [C] (蚊や鉢などの虫が肌を) 刺す。【例】かじゃんぬ さし どう っさん ンばずん ないちや (蚊が刺して象皮病になるんだつて)。かじ

やん ささいーにゃーん (蚊に刺された)。あいつぞうぬ つーずんな ささいな (アイゴの刺には刺されるな)。かたなひー ひとつー さす (包丁で人を刺す)。ばー ばかかいきゃー たうんまばすん ささいーにゃーん (私は若いころスズメバチに刺された)。かじゃんー ささいー っさ んぱずん ないちゃ (蚊に刺されて象皮病になるんだって)。

㊦【動詞】[s 語幹] [C] (寒さが肌を) さす。【例】きゅーや ひぐるかいば みずまい さしーどーい (今日は寒いので水は刺すように冷たい)。

㊧【動詞】[s 語幹] [C] 魚肉等が腐って、食べようとしたら唇等に痛みを感じる。【例】っさり っぞう ふあうていがー すばう さすどうす (腐った魚を食べると唇を痛いほど刺激する)。^{〔類〕} そっづい。

さず [sazi] ㊨【動詞】[g 語幹] [C] 下げる、ぶら下げる。^{〔類〕} さぎ。㊩【動詞】[g 語幹] [C] 下痢する。【例】わーぬ あっづあう はーさ ふあうていがー さずどうす (ブタの脂をたくさん食べると下痢する)。^{〔類〕} さぎ。

さず [sazi] 【名詞】[C] 佐司 (昔の役人の役職の一つ)。【例】さずばい (佐司の畑)。

さず [sazi] 【名詞】[C] タオル。【例】さっじゅ かなまいん まつ (タオルを頭に巻く)。ベー っづあが っふすー みはなう さずひー ぬぐい (ほら、

お前の汚れた顔をタオルでぬぐえ)。

さた [sata] 【名詞】[C] 砂糖。【例】っふじゃた (黒糖)。さたうぎゃー ぶーずからどう ちゅっふ (砂糖をサトウキビから作る)。

さだい [sadai] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] 先導する。【例】ばが まうきゃーゆ さだりー あいき (私の前を先に歩け)。

さだいに [sadaiani] 【名詞】(人生の) 先導役のお姉さん。

さだいそうじゃ [sadaisuza] 【名詞】(人生の) 先導役のお兄さん。

さだか [sadaka] 【名詞】[C] 理解すること、定めること、確認すること。【例】うりゃー あたりゅーむ なうむ ばぬんな さだかー ひらいん (それはあっているのかどうか私には確認できない)。みーまーいや ひー いじゃどーう いじゃががら さだかーひらいん (目がくらんでどこがどこだか分からない)。っづあー なうていー あっじゅーががら ばぬんな さだかー ひらいん (あなたが何と言ったのか分からない)。ばぬんな うらー さだかー ひらいん (私にはそれは分からない)。

さたていんぷら [satatimpura] 【名詞】穴の開いてない沖縄風ドーナツ、。

さだり [sadari] 【名詞】[B] 海岸の角のない丸くなった小石、さざれ石。【例】はまぬ さだり (浜のさざれ石)。

さつ [satsi] 【動詞】[k 語幹] [C] 咲く。

【例】はなぬ さつ (花が咲く)。
[変異] さふ。

さつ [satsi] 【動詞】[k 語幹] [C] (紙や

布などを) 手で二つにする、裂く; (仲を) 裂く。【例】ほうんぬ さふ (本を裂く)。かびーゆ ふた一つん さつ (紙を二枚に割く)。うぬきゃが ふたーいが なかー さかーにやーん (彼ら二人の仲は引き裂かれてしまった)。
[変異] さふ。

さつ [satsi] 【名詞】[A] 先。【例】ば

ー さつん はらでい (私は先に失礼します)。さつん なり (先になれ [> 先に行け])。にんぎんぬ つふあー ばうぬ さつんどう そうだつ (人間の子は棒の先に育つ [> 愛の鞭で育つ、可愛い子には旅をさせよ])。

さつづい [savvi] 【動詞】[母音語幹]

[A] 突き刺す。【例】ひんじゃぬ ぬ どうぐらう さつづい (山羊の喉を突き刺せ)。
[変異] さうー。

さつばい [satsibai] 【名詞】先頭、先

導役、指導役。【例】んきゃーんな みどうんな いっさぬ さつばいどう あたいちゃ (昔は女性は戦争の先頭に立ったそう)だ)。さだいそうじゃー つふあがまぬ さつばい (サダイスジャは赤ちゃんの先導役)。ばが さつばいん ならでい (私が先頭にたとう)。

さでい [sadi] 【名詞】[B] 小網、掬い

網の一つ、またその漁、叉手(さで)網。

【例】さじゃー ひきー っぞう と うらでい (叉手網を引いて魚をとろう)。まうきゃーいん さじゅー ひつていがー うんそうく さいぬ とらいたい (大浦湾で小網を引いたらたくさんエビがとれた)。
[類] さでいあん。

さでいあん [sadian] 【名詞】小網、掬

い網の一つ、またその漁、叉手(さで)網。
[類] さでい。

さでいふ [sadifu] 【名詞】[C] 〔植〕浜

木綿、ハマオモト。【例】さでいふひー はらんぬ ちゅっふ (ハマオモトで風船を作る)。

さどうい [sadui] 【動詞】[r/rr 語幹]

[A] 手探りする。【例】つふあどうく まう さどうりー あいつ (暗いところを手探りで歩く)。いすぬ みーぬ かんぬ さどうりー とうい (石の中の蟹(かに)を手探りでとる)。

さとうびと [satubito] 【名詞】隣人。

【例】ゆーかーま うとうじゃんつきやー さとうびとう (遠くの親戚より隣人だ)。

さとうやー [satuja:] 【名詞】隣の家。

【例】かりやー さとうやーや まーりーどう むぬー くい ふあいゆー (彼は隣近所を回り、飯を乞うて食べている)。

さな [sana] 【名詞】[C] 傘、笠。【例】

さなう さす (傘を差す)。きゅーや あみぬ ふーぎかいば さなう むち

ーはり（今日は雨が降りそうだから傘を持って行け）。あみふーんな さなうかうー（雨の日には笠をかぶる）。

さなか [sanaka] 【名詞】[C] 日中、9時から10時の間で（暑くなる前）。【例】なつぬ さなかー あつかいば ならん（夏の日中は暑くてならない）。

さなず [sanazi] 【名詞】[C] ふんどし。【例】さなっじゅ つー（ふんどしをつける）。

さに [sani] ①【名詞】[C] サトウキビの種 [芽が出る茎を切ったものを植える]；オスの精子。【例】ぶーずぬ さに（サトウキビの種）。さにんま（種馬）。[類] たに。②【名詞】[C] 血筋、親戚。【例】ながんぬつ さに（長生き系統）。うぬきやが さにゃー うむくとう あい さに（この人たちの系統は頭の良い系統だ）。にんぎんな さにんどう がーらいー（人間の出来不出来は血筋による）。

さにかーい [sanigai] 【名詞】変種、親と出来の違う子がうまれること、またその子。【例】からー さにかーいや ひー ぶんかーりー うむくとう あいかい（彼は親、祖父母とは違って頭が良い）。[類] たにかーい。

さにつ [sanitsi] 【名詞】[B] 旧暦の3月3日の大潮の日。【例】さにつんな っしん いきー っしん^ん あす（旧暦3月3日には礁（リーフ）で潮干狩りする）。

さにん [sanin] 【名詞】[B] 〔植〕月桃。【例】さにんな かばすむぬ（月桃は香ばしい）。

さにんま [sanimma] 【名詞】種馬。【例】さにんまー ほっかいどーからぬ ばんばどう あたい（種馬は北海道からのばん馬だった）。

さば [saba] 【名詞】[C] 草履。【例】あだんば さば（アダンの葉で作られた草履）。さばぬ にゃーん（草履がない）。[類] ふだみ。

さば [saba] 【名詞】[B] 鮫（サメ）。【例】さばう つー（サメを釣る）。

さばーす [sapa:si] 【動詞】[s/h 語幹] そそのかす、おだてる。【例】うらーすかまうぎゃー ほうん なっちやかんむぬ やいば さばーひー あすみる（彼は仕事をしない怠け者だからおだてて、（仕事を）やらせなさい）。かーるーぎゃー さばーひー ぶどうらひーみーる（彼をおだてておどらせろ）。

さばつ [sabatsi] 【動詞】[k 語幹] [C] 問いただす。[変異] さばふ。

さばつ [sabatsi] 【動詞】[k 語幹] [C]（魚などを）捌（さば）く。[変異] さばふ。

さばに [sabani] 【名詞】[C] くりぶね、小舟。[類] そーに。

さばふ [sabafu] ①【動詞】[k 語幹] [C] 問いただす。【例】ひとうー さばふ

(人を問いただす)。ぬそうどう さばふ
(泥棒を問い質す)。かりゅーまい さ
ばきーみーる (あいつにも聞いてみる)。
[変異] さばつ。②【動詞】[k 語幹] [C]
(魚などを) 捌 (さば) く。【例】っぞう
ー さばふ (魚を捌く)。[変異] さばつ。

さびー [sabi:] 【動詞】[r/rr 語幹] [A]
没落する。【例】かまぬ やーや さ
びりー はりーにゃーん (向こうの家
は貧乏になってしまった)。

さびーていー [sabi:ti:] 【副詞】物静
かに。【例】かりゃー さびーていー
びじゅーたい (彼は物静かに座って
いた)。

さびす [sabisi] 【形容詞】[A] 寂しい。
【例】やーにんじゅぬ みーだかー
さびすかいば なん (家族がいなし
と寂しくてならない)。たうかー うい
ていがー さびすかいば なん (一
人でいると寂しくてならない)。

さふ [safu] 【動詞】[k 語幹] [C] (紙や
布などを) 手で二つにする、裂く；(仲
を) 裂く。[変異] さつ。

さふ [safu] 【動詞】[k 語幹] [C] (花な
どが) 咲く。[変異] さつ。

さぶん [sapun] 【名詞】[C] 石鹸。【例】
さぶんひー みはなう あらう (石鹸
で顔を洗う)。

さまい [samai] 【接尾辞】[母音語幹]
尊敬の接尾辞 母音語幹の動詞に付く。

子音語幹に付く場合は「まい」、未然形
につく。

さまい [samai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C]
(熱いものが) 冷める。【例】あつむぬ
やいば さまいきやたーひー まち
ーから ふあーでい (熱いので冷める
まで待ってたべよう)。

さまらす [samarasi] 【動詞】[s/h 語
幹] (熱いものを) 冷ます。【例】あつ
むぬーぎゃー さまらひーから ふあ
い (熱いものは冷ましてから食べな
さい)。

さみ [sami] 【名詞】[B] 疥癬 (かいせ
ん) 肌。【例】うなが さみやー か
ぎさみ (あばたもえくぼ [> 自分の疥
癬は綺麗な疥癬だ])。さみ かうしゃ
ーや いでいー かうかいば なん
(疥癬が出て痒くてならない)。かうしゃ
ーやひー どうーや さみん なりゅ
ー (疥癬で身体はざらざら肌になって
いる)。

さみうんた [samiunta] 【名詞】ヒキ
ガエル。[類] さみっふなた。

さみっふなた [samiffunata] 【名詞】
ヒキガエル；侮辱的な呼びかけ。【例】
おい さみっふなた (おい ヒキガエ
ル [> 他人を侮辱するときを使う])。
[類] さみうんた。

さむい [samui] 【接尾辞】形容詞の語
幹について形容詞語幹を作る接尾辞～
に弱い、～がり。【例】あつさむい (暑

がり)。っしさむい (寒がり)。ひぎやうさむい (くすぐったがり)。うとうるっさむい (怖がり [「うとうるすさむい」もあり])。]

さむい [samui] 【名詞】[C] 《遊》数字遊び (数字を出し合って遊ぶ) 二人で同時に指を出し、相手の指の数と合計した数字を言った方が勝ち、両方正解か、両方間違ったら引き分け。両者の前に箸を数本置き、勝者は箸を一本とり、箸が無くなれば終わり。

さや [saja] 【名詞】[B] (豆の) 莢 (さや)。【例】まみぬ さや (豆の莢)。

さやふ [sajafu] 【名詞】[B] 大工。【例】ていぬん じゃやふぬ すかまー みーらいん (下手な大工の仕事は見られたものではない)。

さやふだうー [sajafudau:] 【名詞】大工道具。【例】さやふだうーゆぎやー あたらっさ ひー つかい (大工道具は大切に使いなさい)。

さゆい [sajui] 【名詞】[C] 《魚》サヨリ。【例】さゆいや っそうっぞう (サヨリは白い魚)。

さら [sara] ① 【名詞】[B] 皿 [連濁するときは「じゃら」になる]。【例】ほうじゃら (大皿)。なかじゃら (中皿)。いみじゃらがま (小皿)。むぬー ふあいや うなが さらう あらい (ご飯をたべたら自分の皿を洗え)。② 【名詞】[B] 仕事 [「皿」からの比喩]。【例】ば

ーきゅーや むぬ ふあうじゃらうとうみが (私は今日は仕事をさがしに行く)。

さらう [sarau] 【動詞】[w 語幹] [A] 浚 (さら) う、井戸の底に溜まった泥を浚う。【例】かーぬ どうるー さらい (井戸の泥をさらえ)。

さらす [sarasi] 【動詞】[s/h 語幹] [A] 空気に晒す、干す；人に見せる；人に見せびらかす。【例】どうーゆ さらす (体を干す)。つんぬ さらす (着物を干す)。まーぬ でいぬぬぎやー ひとつんかい さらすな (あんまり金を人に見せびらかすな)。

さらたみ [saratami] 【副詞】わざと、わざわざ。【例】みどりかいぬ あいば さらたみ ったい (みどり会があるのでわざわざ来た)。さらたみていー あいぬ くとうーぎやー ほうん (わざとそんなことはしない [>してはいけない])。ほうだ うらばんまい くとうー さらたみていー あす (やらなくても (良い) ことをわざとやる [<していなくてもことを])。さらたみていー やどう ばい ((怒って) わざと雨戸を割る)。かまんかいや いつたっふあ にやーっだんそうが さらたみていー いきゅーたい (向こうには行きたくなかったが仕方なく行った)。

さらに [sarani] 【名詞】[A] 再来年。

さらばんず [sarabanzi] 【名詞】(人生の) 最高の盛り。【例】うぬ ばかむぬ

ー んなまどう さらばんず (この若者はいまが人生の最高潮)。[類] さい。

さり [sari] ①【動詞】[母音語幹] [A] (植物が) 枯れる。【例】ひゃーいなぶーずまい さりどうす (早魃にはサトウキビも枯れる)。ゆながい あみゃー つふあんば ぶーずまい さりーにゃーん (長い間雨は降らないのでサトウキビも枯れてしまった)。[類] さい。②【動詞】[母音語幹] [A] (土地などが) 干上る。【例】っしゃー っしどう さりーゆー (礁は潮が引いて干上がっている)。

さりっぞう [sarizzu] 【名詞】きびなごの乾燥したもの。

さる [saru] 【名詞】[C] 猿、顔を洗わずに不格好な人のこと。【例】おいやまじやる つうあー んじゃんかいが (おい、山猿、お前はどこに (行くのか))。

さるか [saruka] 【名詞】[C] 〔植〕サルカケミカン [刺がある]。【例】さるかぬ とうず (サルカケミカンの刺)。さるかんな つーずぬ あい (サルカケミカンの木には刺がある)。さるかひーみどうんぬ つんぬ からぎー (サルカケミカンで女性の着物を絡げる)。

さるつ [sarutsi] 【動詞】[k 語幹] [A] 仲間外れにする。【例】うりゆーぎゃー さるきーんなし (そいつを仲間外れにしてしまえ)。[変異] さるふ。

さるまた [sarumata] 【名詞】猿股、股引、パンツ。【例】やり さるまた (古いパンツ)。

さん [san] 【名詞】[B] 高い岩山。【例】まじやぬ さん (真謝の岩山)。

さん [san] 【名詞】[B] 魚のエラ。【例】っぞうぬ さん。(魚のエラ)。

さんぎ [sanggi] 【名詞】[C] 鳥肌。【例】さんぎぬどう たちゆーい (鳥肌が立っている)。

さんじゃい [sanjai] 【動詞】[r/rr 語幹] (高いところから) 落ちる。【例】きーぬ はなから さんじやりー うていーにゃーん (木の上から落ちた)。[変異] しゃんじゃい。

さんじゅつ [sanzutsi] 【名詞】算術、算数、数学。

さんしん [sanŋin] 【名詞】三線。【例】さんしんぬ ちる (三線の弦)。さんしんぬ ちんだみ (三線の調弦)。

さんしんばなり [sanŋimbanari] 【名詞】大浦湾の沖にある三線の形をした岩礁。

さんだん [sandan] 【名詞】(ますむいの) 会計をすること、(ますむいの) 会計係。【例】ますむいぬ くとうー さんだんあす (ますむいのことを算段する)。からー ますむいぬ さんだんちゃ (彼はますむいの算段役だって)。[類] さんとうりや。

さんとうら [santura] 【名詞】『祭礼』

ナナムイの役の名前（その年に生まれた子供の数を数えて記録し、みゃーくずつの時に発表する役）。

さんぱつやー [sampsija:] 【名詞】

床屋、散髪屋。 [類] あかそういやー。

さんまい すなーにやーん

[sammai sina:nja:n] 【成句】（形容詞語幹について）～でどうしようもない。

【例】 んずぎさんまい すなーにやーん（醜くくてどうしようもない）。あばらぎさんまい すなーにやーん（美人で

どうしようもない「>とても美人だ」）。がずさんまい すなーにやーん（ケチでどうしようもない）。

さんみん [sammin] 【名詞】 考えを巡

らすこと、計算、予測、予定。 【例】 あいぬさんみんまい かいぬさんみんまいどう ひーゆーや あら（あれやこれやと考えていたのではないか）。ばぬんな うらーさんみんな ひらいん（私にはそれは理解できない）。あちやー うつなーんかい いつさんみん（明日は沖縄に行く予定）。

し

しー [çi:] 【感動詞】赤ちゃんにおしっこを促すときに発する言葉。【例】すばいゆ しーってい っし (小便を「しー」としなさい)。

しー [çi:] 【名詞】[B] 岩。【例】しーぬ みーゆ あまんぬ とうみーまーい (岩の中をヤドカリを探して回る)。
[類] かんふ。

じー [zi:] 【名詞】[B] 痔。【例】じーぬどう やんかい (痔が悪い)。じーぬ しゅじゅっちゅ あすたい (痔の手術をした)。

しーぐ [çi:gu] 【名詞】[C] 小刀。【例】かぬやらびやー しーぐひー えんぴ っちゅ きっじゅーい (あの子は小刀で鉛筆を削っている)。しーぐー ん じゃん うっきやーがていー ばっしーにやーん (小刀をどこに置いたか忘れた)。

しーしー [çi:çi:] 【名詞】先生。【例】しーしーが とうず (先生の奥さん)。くらー いぬ しーしーが かぼんが (これはどの先生のカバンですか)。くぬ がっこーんな しーしーや にじゅ

ーめーばかーいどう うい (この学校には先生が20人くらいいる)。びきっ ぐあー ちゅーがっこーぬ しーしーん ないたい (むすこは 中学校の先生になった)。

しーたう [çi:tau] 【名詞】製糖。【例】しーたうやー (製糖工場)。

しーとう [çi:tu] 【名詞】[C] 生徒。【例】しーとうやらびんみ (生徒たち)。くぬしーとうぬ んまぬどう んぬ がっこーんかい っちゅーたい (この生徒の お母さんが 昨日学校に来ていた)。びきどうんしーとうんみやー ぼうずがなまいどう あたい (男子生徒たちは坊主頭だった)。みどうんしーとうんみやー あうすかーとうー っちゅーたい (女子生徒は青いスカートをはいている)。

しーとうやらび [çi:tujarabi] 【名詞】生徒。【例】がっこうんな しーとうやらびんみぬ うい (学校には生徒たちがいる)。んなま しーとうやらびんみやー うんどーじょーん うぐなーりゅー (いま生徒たちが運動場に集まっています)。しーとうやらびんみ

ぬ なーゆ んーな うぶいどーな
(生徒たちの名前を皆覚えていますか)。

しーなう [ɕi:nau] 【名詞】《道具》篩
(ふるい)。【例】しーなうひー みり
くんぐーゆ ゆい (篩でメリケン粉を
よる)。

しーぶ [ɕi:bu] 【名詞】[C] 《祭礼》年
末の男性の祭事、歳暮。

しーる [ɕi:ru] 【名詞】[C] トイレの汚
水。

しおから [ɕiokara] 【名詞】《食》塩辛、
カツオの腸の塩漬け。

しかかい [ɕikakai] 【動詞】[r/rr 語幹]
混み合う。 [変異] すかかい。

しがかい [ɕigakai] 【名詞】釣り針が
海底の石などに引っかかること、根掛
かり。【例】つーぬどー しがかいや
ひーゆー (釣り針が石に引っかかっ
ている)。

しちぐつ [ɕitɕigutsi] 【名詞】旧暦7月
のお盆。【例】んすむらんな しちぐ
っちゃ にやーっだん (西原にはお盆
はなかった)。[変異] しつぐつ。

しつ [ɕitsi] 【動詞】[k 語幹] [A] (寝具
を) 敷く。【例】ふとんぬ しき (布
団を敷きなさい)。[変異] しふ。

しつ [ɕitsi] 【名詞】[C] 物入れ箱、タ
ンスの引き出し。【例】しつんかい

つんぬ いらー (物入れ箱に着物をい
れる)。

しつき [ɕitsiki] 【動詞】[母音語幹] [A]
虐待する、厳しくしつける。【例】ば
が ぶどー あたいひとー ばぬー
あていくどー しつきゆーたいばどー
とーずぶどー ばきやーい あすた
い (私の夫だった人は私をととても虐待
したので離婚した)。やらびゆーぎやー
しつきー ならーし (子供を厳しく
教えろ)。

しつぐつ [ɕitsigutsi] 【名詞】旧暦7月
のお盆。【例】んすむらんな しつぐ
च्चゆぎやー ほうだどー みやーく
づच्चゆ あす (西原ではお盆はしな
いで宮古節をやる)。[変異] しちぐつ。

しどー [ɕidu] 【名詞】[C] 船頭、船長。
[類] しんどー。

しな [ɕina] 【名詞】[C] ハマグリなどの
二枚貝。【例】しなとーい (二枚貝取
り)。ほうらばまんな しなぬどー む
いどー うたい (大浦湾にはハマグリ
が沢山いた)。んーぶらひー しなう
とーい (芋掘り棒でハマグリをとる)。

しば [ɕiba] ① 【名詞】[C] 心配。【例】
いんかい はりーにやーん ぶどーぬ
くどーー むいどー しばよ (海に
行った夫のことがとても心配だ)。ばが
みーぬ っふかいきやー とーず
っふあんみゆーぎやー むぬふあいぬ
しばうぎやー あすみん (私の目の

黒いうちは妻子には食べ物心配はさせない)。んなまが っさー しばーにゃーん (今のところ心配はない)。しばあすな (心配するな)。っふあー ゆららひー むいとう しば (子供を迷子にさせてしまってとても心配だ)。やらびゃー たうかーひー うつなーん かい はらひー しば (子供を一人で沖縄に行かせて心配だ)。[変異] しわ。
 ◎【形容詞】[C] 心配だ。【例】ばー しばかいば ならん (私は心配でならない)。[変異] しわ。

しば [ɕiba] 【形容詞】[C] 狭い。【例】うまー しばかいば びー まーやにゃーん (ここは狭いから座るところがない)。

しばな [ɕibana] 【名詞】[B] 海岸の崖の上。【例】いんぬ しばな (海岸の崖の上)。

しば [ɕibi] 【名詞】[B] マグロ。【例】しばの っぞう なます (マグロの刺身)。しばぬ はいなー (マグロの延縄)。[変異] しゅび。

しばら [ɕibira] 【名詞】[C] 背中。

しばらぶに [ɕibirabuni] 【名詞】肩甲骨。【例】さうがつんな わーぬ しばらぶにゅーどう さだいそうじゃが まいんかいや むちーいきゅーたい (正月には豚の肩甲骨を先導役のお兄さんに前には持って行った)。

しばに [ɕibuni] 【名詞】[B] 背骨。
 【例】しばにゅー んばす (背骨をのばす)。

しまい [ɕimai] 【感動詞】しまった。
 【例】しまい。むいとう うどうきーにゃーん (しまった。大損してしまった)。

しまな [ɕimana] 【名詞】[B] 《果物・野菜》《食》島菜。

しみ [ɕimi] ①【動詞】[母音語幹] [C] (縄などで) 締める。【例】ぶーずぬ にゅー ちゅーく しみる (サトウキビの荷を強く締めろ)。②【動詞】[母音語幹] [C] 催促する。【例】うっかう しみー とうい (借金を催促して取る)。③【動詞】[母音語幹] [C] 狭める、追い込む。【例】っづあが まいから っぞうー しみーくー (あなたの所から魚を追い込んで来い)。④【動詞】[母音語幹] [C] 責める。【例】いつまい むぬいぎゃー つかん やらびん くるまう かい ふいーるてい しみらい ゆー (いつも言うことを聞かない子供に車を買ってくれと責められている)。

しみ [ɕimi] 【動詞】[母音語幹] [C] 閉める。【例】やどろー しみー (戸を閉める)。

じゃー [za:] 【感動詞】目上の人に何か差し出す時の言葉。【例】じゃー うりゅー みやらまてい (どうぞ これを召し上がって下さい)。

じゃー [za:] 【名詞】 [C] (村の) 広場、集会場。【例】じゃーがまん うぐなーい ((村の) 広場に集まる)。

しゃーい [ɕa:i] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] (心が) 逸 (はや) る、心がいきり立つ、意地を張る。【例】まーぬ しゃーいな (余り焦るな、意地を張るな)。[類] しゃーがい。

しゃーか [ɕa:ka] 【名詞】 [A] 早朝、未明。【例】しゃーかん うきー ひとつむていんないば あしゅー ふあうたい (未明に起きて朝になったので朝食を食べた)。しゃーかん うきー っさかいが いたたい (未明に起きて草刈りに行った)。っぎたー しゃーかんどう いんかいや いつ (父親たちは朝早く漁に行く)。

しゃーがい [ɕa:gai] 【動詞】 [r/rr 語幹] (心が) はやる、意気込む; あれこれ駄々をこねる。【例】からー なうちャーにャー つむでいー しゃーがりゅーたい (彼は理由もなく怒って意地を通そうとしていた)。かにャー まさいとう すまとうらでいー しゃーがりゅーたい (カニはマサイと相撲をとろうと意気込んでいる)。まーぬ なうちャーにャー しゃーがいな (あまりあれこれ文句を言うな)。[類] しゃーい。

じゃーじゃーていー [za:zati:] 【オノマトペ】 (雨の降る様子) ザーザーと。 [変異] ぎーぎーていー。

じゃーにャー [za:nja:] 【接尾辞】 (お互いに) ~同士。【例】うぬきャー んまじゃーにャー きょーだい (その人達は母親同士が兄弟)。

しゃーみつ [ɕa:mitsi] 【動詞】 [k 語幹] 焦る、意地をはる。【例】まーぬ しゃーみかだうり (あまり焦るな、意地をはるな)。[変異] しゃーみふ。[類] しゃーがい。

じゃーん [za:n] 【接尾辞】 動詞未然形について意思否定を表す「~しない」、「~するつもりはない」。【例】ばー いかじゃーん (私は行かない)。ばー ふあーじゃーん (私は食べない)。ばー ほうじゃーん (私はしない)。ばー あっじゃじゃーん (私は言わない/歌わない)。っづあが いかじゃーだかー ばんまい いかじゃーん (あなたがいかないのなら私も行かない)。

じゃーん あすていがー [za:n asitiga:] 【成句】 動詞基本形について「~さえしたら (十分だ、ほかは必要ない)」ことを表す。【例】ふあうじゃーん あすていがー ばー っさん (自分さえ食べたら私は (ほかの人のこと) 知らない)。いつじゃーん あすていがー んめ じゃうぶん (行きさえしたらそれで十分だ)。

じゃいんみ [zaimmi] 【名詞】 ずぶ濡れ。 [変異] ざいんみ。

しゃう [ɕau] 【名詞】 [C] 知恵。【例】むぬ かんがいや にャーん しゃう

やにゃーん んまり (浅薄で馬鹿な奴)。
[変異] さう。

じゃう [ʒau] 【形容詞】 [B] 良い。
【例】 ういがどう じゃうかい (これが良い)。

じゃう [ʒau] 【接尾辞】 ~が上手な人、上戸; ~が好きな人。 【例】 さきじゃう (酒上戸)。わーじゃう (豚肉の好きな人)。

じゃう [ʒau] 【名詞】 [C] 門。 【例】 やーぬ じゃう (家の門)。

じゃうかいがにゃーん [ʒaukaiganja:n] 【成句】 (あなたが) 良いように (しろ)。 【例】 じゃうかいがにゃーん あっそう (良いようにしなさい)。

じゃうじゃ [ʒauʒa] 【形容詞】 [C] 上手。 [類] じゃうず。

じゃうず [ʒauzi] 【形容詞】 [C] 上手、(動作について) ~名人、名手。 【例】 かりゃー なうゆ あすんまい じゃうず (彼は何をしても上手)。あすじゃうず (やるのが上手)。うんてんじゃうず (運転上手)。かいがどう んながーな じゃうずかい (彼が一番上手い)。 [類] じゃうじゃ。

じゃうそうく [ʒausuku] 【名詞】 天井、天井壁。 【例】 たか じゃうそうく (高い天井)。じゃうそうくー にゃーん やー (天井のない家)。

じゃうとうー [ʒautu:] 【形容詞】 上等だ。 【例】 ういがどう じゃうとうーかいば うるー とうい (これが一番上等だからそれにしろ)。

じゃうどうきや [ʒaudukja] 【名詞】 良い天気、良い日、良い時。 【例】 きゅーや じゃうどうきやひどう とうりーゆー (今日は晴れている)。きゅーや じゃうどうきやがま (今日は良い天気だ)。 [類] じゃうどうり。

じゃうなう [ʒaunau] 【名詞】 税金。 【例】 じゃうなうゆ うさみー (税を納める)。

じゃうひかず [ʒauhikazi] 【名詞】 良い日取り。 [類] じゃうひゆーい。

じゃうひゆーい [ʒauçui] 【名詞】 良い日取り。 [類] じゃうひかず。

じゃうぶん [ʒaubun] 【名詞】 十分。 【例】 ばが たまー うさきひー じゃうぶん (私の分はそれだけで十分だ)。

じゃか [ʒaka] 【名詞】 [C] モグラ。 【例】 じゃかー ゆなかどう いでいーまーい (モグラは夜、出て回る)。

じゃかひとう [ʒakahitu] 【名詞】 イルカ。 【例】 じゃかひとうー うむくとう あい いつむす (イルカは頭がいい生き物だ)。

しゃく [çaku] ① 【名詞】 [C] 人を表す人称代名詞や指示代名詞のガ格について、つまらない、程度の低いやつという意味を表す、~ぐらい、~ばかり、~みた

いな。[変異] そうく。[類] しゆく。
 ②【名詞】[C] ものを表す指示代名詞のノ格について、それ程度くらいでしかないという量を表す、また、単に程度をあらわす、～ぐらい、～ばかり；ものや時期を表す名詞のノ格についてだいたいの時期を表す、～ころ。[変異] そうく。[類] しゆく。

じゃぐ [zagu] 【名詞】[B] カツオを釣るときの餌にする小魚（<雑魚）。【例】じゃぐがま（カツオの餌）。

しゃし [ɕaɕi] 【名詞】[C] 水差（みずさし）。

しゃしんばい [ɕaɕimbai] 【形容詞】写真写りが綺麗な、写真映えのする。
 【例】かぬ みどうんな やぐみ しゃしんばい ひとつ（あの女性はとても写真写りのいい人だ）。くいがどう んながーな しゃしんばいかい（これが一番写真写りがいい）。

じゃっていー [zatti:] 【オノマトペ】さっさと。【例】じよ、すかまうぎやー じゃっていー ひーすていでい（さあ、仕事はさっさとやってしまおう）。

じゃまーにやーだ [zama:nja:da] 【成句】これ以上（以下）はないくらい、とても、非常に。【例】っぎたー じゃまーにやーだ はーさ っぞう といっちゃんい（お父さんたちはとてもたくさん魚を取ってきた）。じゃまーにやーだ ひーちやがまぬ っぞう（とても少ない魚）。

じゃまーにやーん [zama:nja:n] 【成句】これ以上（以下）はないくらい、とても。【例】じゃまーにやーん はーさぬ っぞう（これ以上はない位の大量の魚）。じゃまーにやーん あばらぎ みどうん（とても美しい女性）。じゃまーにやーん んずぎ みどうん（とても不美人）。

じゃらていー [zarati:] ①【副詞】突然に、不意に。【例】どうすん じゃらていー いじゃうたい（友達に思いがけず出会った）。②【オノマトペ】ものを叩いたり割ったりする時の音、がちゃんと；藁やサトウキビなどを切り倒す時の音、バサっと。【例】さらう じゃらていー ばい（皿をガチャンと割る）。じゃらていー ふあーし（がつんと食らわせろ）。っざらひー じゃらていー なぎー たうし（鎌でバサッとなぎたおせ）。

しゃり [ɕari] 【形容詞】[A] おしゃれな。【例】しゃりびとう（おしゃれな人）。くいがどう んながーな しゃりかい（彼女/彼が一番おしゃれだ）。

じやり [zari] 【動詞】[母音語幹] [A] 戯れる、ふざける。【例】やらびんみぬどう じやりんきー あそうびゆー（子供たちがじゃれ合って遊んでいる）。

じやり [zari] 【名詞】[C] 砂利。

じゃん [zan] 【名詞】[B] ジュゴン。
 【例】いんぬ いつむすかりやー じゃんぬどう んながーんな ンまかたい

ちゃ（海の生き物の中ではジュゴンが一番おいしかったって）。

しゃんじゃい [ʃanzai] 【動詞】 [r/r 語幹]（高いところから）落ちる。〔変異〕さんじゃい。

じゃんぬ ひぎ [zannu higi] 【名詞】 ジュゴンの食べる海藻。【例】じゃんぬ ふあう っさうどう じゃんぬ ひぎていー あい（ジュゴンが食べる海藻をジュゴンのひげという）。

しゅー [ʃu:] 【名詞】 [C] 役人、主。

じゅー [zu:] ① 【接尾辞】（名詞について）～が強い人。【例】みーじゅー（よく見える人）。どうーじゅー（体の強い人、健康な人）。ばたじゅー（お腹の強い人）。さき じゅー びとう（酒の強い人）。うんじゅー びとう（強運の持ち主）。② 【接尾辞】（動詞について）よく～する人。【例】なつじゅー やらび（よく泣く子）。ばらいじゅー やらび（よく笑う子供）。ふあうじゅー（よく食べる人）。

じゅー [zu:] 【名詞】 [B] 尻尾、しっぽ。【例】わーぬ じゅー（豚の尻尾）。ぬーまぬ じゅー（馬の尻尾）。

じゅーぐや [zu:guja] 【名詞】 十五夜。

じゅーさ [zu:sa] 【名詞】 [C] 『食』 雑炊。【例】たか じゅーさ（鷹（サシバ）の具の入った雑炊）。

じゅーばく [zu:baku] 【名詞】 重箱。

しゅく [ʃuku] ① 【名詞】 [C] 人を表す人称代名詞や指示代名詞のガ格について、つまらない、程度の低いやつという意味を表す、～ぐらい、～ばかり、～みたいな。【例】かぬ しゅくーぎゃー ゆらはん（あいつのことは許さない）。ういが しゅくがまん だ いんぬぎゃー かしん（そんなやつにはお金は貸さない）。かいが しゅくがまうぎゃー ばらいー すている（あいつのことは笑ってしまえ）。つうあが しゅくがまん なうまい ひらいん（お前みたいなやつにはなにもできない）。かぬきゃが しゅくがまん まきん（あいつらなんかには負けない）。〔変異〕そうく。〔類〕しゃく。② 【名詞】 [C] ものを表す指示代名詞のノ格について、それ程度くらいでしかないという量を表す、また、単に程度をあらわす、～ぐらい、～ばかり；ものや時期を表す名詞のノ格についてだいたいの時期を表す、～ころ。【例】ういが すかまー いつまい うぬ しゅく だら（彼の仕事はいつもその程度だ）。ばが たまー うん しゅくな（私の取り分はこれくらい）。〔変異〕そうく。〔類〕しゃく。

しゅく [ʃuku] 【名詞】 [C] 悪い習慣にはまって抜けられないこと、悪い癖、またその人のこと [動詞基本形＋提題助詞＋しゅく ＝ ある行為、行動をくりかえすこと。それから抜け出せないこと。悪い意味で使う]。【例】から

ー さきぬんな しゆく (彼は酒にはまってぬけられない [アルコール依存症だ])。かりゃー いつまい でいんかいや しゆく (彼はいつも金に対する奴隷 [ばくちなどにはまってお金を浪費する人])。

しゆく [ɕuku] 【名詞】 [C] 仕事。【例】ばー きゅーや しゆく どうみが (私は今日は仕事探しに (行く))。

しゆくとうら [ɕukutura] 【名詞】 公務員、会社員などの給料取り、サラリーマン。【例】しゆくとうらたがどうみゃーすかい (給料取りが生活は楽だ)。

しゅしゃー [ɕuɕa:] 【名詞】 [C] 緊張状態。【例】うらー いつまい みどぅんぬ みーきゃー しゅしゃーんなりゅー (彼はいつも女性を見たら緊張する)。

しゅび [ɕubi] 【名詞】 [B] マグロ。【例】しゅびの っぞう なます (マグロの刺身)。[変異] しび。

じゅふぎ [ɕufugi] 【名詞】 [C] 『植』デイゴ。[変異] じゅふず。

じゅふず [ɕufuzi] 【名詞】 [C] 『植』デイゴ。【例】じゅふずぎー (でいごの木)。[変異] じゅふぎ。

じゅり [ɕuri] 【名詞】 [B] (遊郭の) 遊女。【例】さかぬ やーんいきー じゅりゅー かう (料亭に行って遊女を買う)。

じゅるん [ɕurun] 【動詞】 [m 語幹] [C] 騙す、騙し取る。[変異] じるん。

じゅんていー [ɕunti:] 【副詞】 ちゃんと、はっきりと。【例】やんな じゅんていー なうりーどう (病気はちゃんと直っている)。ばー うりゅーぎゃー じゅんていー っしーどう (私はそれがはっきりと分かる)。

じょ [zo] 【感動詞】 『間投詞』 動作を誘うときにいう、さあ。【例】じょ いかでい (さあ 行こう)。じょ ふあーでい (さあ 食べよう)。ゆくいにゃーんば じょー すかまう すきゃきでい (休んだから、(さあ) 仕事を始めよう)。[変異] じょー。[類] じょーはい。

じょー [zo:] 【感動詞】 『間投詞』 動作を誘うときにいう、さあ。[変異] じょ。

しよーじき [ɕo:ɕiki] 【形容詞】 正直。

じょーはい [zo:hai] 【感動詞】 『間投詞』 動作を誘うときにいう、さあ。【例】じょーはい いかでい (さあ 行こう)。[類] じょ。

しよじよ [ɕozo] 【名詞】 [C] 若い独身女性 (15歳位から20歳位)。

しら [ɕira] 【形容詞】 [C] お産したての。【例】しらぬーま (お産したての馬)。しらいん (お産したての犬)。しらどうい (しら鳥)。しら わー (お産したての豚)。しらばう (お産したてのヘビ)。

しらやー [ɕiraja:] 【名詞】お産したての家。【例】しらやーんかいや みど うんんまたが ってい ンまつふあう みばかい（出産直後の家には女性たちが来て母子を見守る）。

しらゆー [ɕiraju:] 【名詞】お産して間もない頃に親戚、近隣に配るお粥。【例】っふあぬ ンまいていがー しらゆーゆ うとうじゃんみんかい むちー まーい（子供が生まれたらお産のお粥を配って回る）。

しる [ɕiru] 【名詞】[C] 精液。【例】ていんまらーひー しるー いだす（自慰行為で精液を出す）。

じるん [zirun] 【動詞】[m 語幹] [C] 騙す、騙し取る。【例】ばー やなびとうん でいんな じるまいにやーん（私は悪人にお金を騙し取られた）。でいんぬ じるん（金を騙し取る）。かいが でいんぬぎやー じるみ すている

（彼の金を騙し取れ）。[変異] じゆるん。

しわ [ɕiwa] ① 【名詞】[C] 心配。[変異] しば。② 【形容詞】[C] 心配だ。[変異] しば。

しんか [ɕiŋka] 【名詞】[C] 仕事仲間、（船の）乗組員、メンバー、遊び友達。【例】ぼんていが ふにぬ しんかー ンなない かないむぬ（私たちの船乗り仲間はみんなよく仕事ができる）。さきぬんしんか（酒飲みの仲間）。

しんき [ɕiŋki] 【名詞】[C] フィラリア、フィラリアの震え。【例】しんきぬ うくりゆー（フィラリアの震えが起こっている）。

しんぎり [ɕiŋgiri] 【名詞】切り干し大根。

しんどう [ɕindu] 【名詞】[C] 船頭、船長。[類] しんどう。

す

すー [si:] ①【動詞】[s/ss 語幹] [A] (腹が) 減る。【例】ばたぬ すー (お腹が減る)。②【動詞】[s/ss 語幹] [A] (潮が) 引く。【例】むいとう そうーぬ すーていがー さんしんばなりたーひーまい あいきー いかいどうす (大潮になるとサンシンバナリまで歩いて行ける)。そうーぬ っしーから っしん^ん かい いかでい (潮が引いてから潮干狩りに行こう)。そうーゆ っさし、そうーぬ っさだかー っしんかい うりらいん (潮が引くまで待て、潮が引かないと岩礁には行けない [＜潮を引かせろ])。

すー [si:]【形容詞】[B] 酸っぱい。[変異] そうー。

すー [si:]【動詞】[s/ss 語幹] [A] 小便をする。【例】すばいゆ すー (おしっこをする)。

すー [si:]【動詞】[s/ss 語幹] [A] 擦って擦り傷を作る。【例】すまー とうい うとうい ていっづあいー うじやー すーたい (相撲を取っていて、投げられて腕を擦りむいた)。ぎひつぬ はーひ どうーぬ かーゆ っさいた

い (ススキの葉で皮を擦って擦り傷を受けた)。

すー [si:]【動詞】[s/ss 語幹] [A] 知る ; 分かる。【例】かいが なーゆぎやー っしーどうーな (あいつの名前をしてるかい)。ばー っさん (私は {知らない / 分からない})。かりやー なうゆまい すーじゃうず (彼は何でもよく知っている)。ばー っしゆーね (おれが知っているかよ [＞私が知ってるわけないでしょ])。つづあー かぬ みどうんぬぎやー っしゆーだら (お前、あの女の人のこと知ってるだろう)。たるまい すーんまー (誰も知らないんだよ [＜誰でもしってるかよ (反語)])。ばー うりゆーぎやー じゅんていー っし (私はそれを明確に知っている)。つづあー うぬ すーがくぬ もんだいゆぎやー すーどうすな (あなたはこの数学の問題が分かりますか)。つぎぬ ばっさー なんじんどう ふーていー っしな (次のバスは何時に来るかわかりますか)。

すー [si:]【名詞】[C] 巣 ; (噂などの) 発信源、またその人。【例】とういぬ

すー (鳥の巣)。うぬきやが ふたー
いや いつまい ひとつっじゃぬ す
ー (彼女たち二人はいつも人の噂の発
信源だ)。

すー [si:] 【名詞】 [B] 汁。【例】 んー
にー すーゆ すたん (芋の煮汁を
こぼす)。

すー [si:] 【名詞】 [C] 酢。【例】 すー
や そーむぬ (酢は酸っぱい)。

すー [si:] 【名詞】 [B] 水分、水気、汗。
【例】 すーや たいたいていー たら
ほうー (水滴をぽたぽたと垂らしてい
る)。

ずー [zi:] 【名詞】 [B] 文字；勉強。【例】
ばぬんな いみぐま ずーがまー か
かいん (私には小さい字は書けない)。
ずーゆ ならーす (勉強を教える)。

ずー [zi:] 【名詞】 [C] 頭。【例】 ずーや
っふあっつひー ったかいー ぼり
ーにゃーん (頭を鍬でなぐられてケガ
した)。かにが ずーや ほうがなまい
(カニの頭は大頭だ)。[類] かなまい。

ずー [zi:] 【名詞】 [C] 考え。【例】 う
なが ずー ずーやひー なうまい
きみらいん (各人の意見が意見なので
なにも決められない [> 各人の意見が
違っていて])。かりゃー うなが ず
ーや ずーひぬ ひとつやいば なん
とうが ぶりん (彼は自分の意見が意
見の人なので全然折れない [< 自分の

意見だけが正しいと思っている人だか
ら])。[類] かなまい。

ずー [zi:] 【名詞】 [B] 土地、地面。【例】
やーだま ずー (長男が引継ぐ先祖代
々の土地)。がぼ ういびとうー ずー
や っふいー どうーい (古老は腰が
曲がって頭は地面に着くほどだ (古老
は地面に噛みついている))。んす ず
ー (肥沃な土地)。いさら ずー (石こ
ろだらけの土地)。

ずー [zi:] 【名詞】 [C] ススキ。【例】 ず
ーん[°]なひー ぶーっじゅ すまい (す
すきの葉でできた綱でサトウキビを縛
る)。[類] ぎひつ、ぎすつ。

ずーくまりや [zi:kumarja] 【名詞】
『古語』芋 [< 土に籠っているもの]。
[類] んー。

すーじゅー [si:zu:] 【名詞】 物知り、
知恵のある人。【例】 ぼんていが っ
ぎー なうゆまい すーじゅー (うち
のお父さんはなんでも知っている)。か
らー すーがくーぎゃー すーじゅー
(彼は数学をよく知っている)。すーじゅ
ーびとう (物知りで頭脳明晰な人)。

ずーじゅー [zi:zu:] 【形容詞】 頑固
だ、意地っ張りだ。【例】 ずーじゅー
びとう (意地を張る人)。かりゃー
ずーじゅーかいば ならーはいん (彼
は頑固なので言うことを聞かない)。

すーす [si:si] 【動詞】 [s/h 語幹] [C] 擦
り傷をつける。【例】 ぎひつぬ はー

ひ どうーぬ かーゆ すーはいたい
(ススキの葉で皮を擦って擦り傷を受けた)。

すーす [si:si] 【名詞】[B] 赤肉。【例】
わーぬ すーす (豚の赤肉)。

すーつー [si:tʃi:] 【動詞】[cc/tt 語幹]
(魚、肉を) 切る。【例】あっちゃぬ
ぶーや すーっちゅーば なうはだか
ーならん (下駄の鼻緒が切れているの
で直さないといけない)。っざらひー
ぶうーっじゅ すーってい (鎌でサト
ウキビを切れ)。っざらひー ていーゆ
すーつーたい (鎌で手を切った)。や
らびゃー ぃとうー すーっていー
はりーにゃーん (こどもは糸を切って
しまった)。^①[変異] すーっつ。

すーっつ [si:tʃi:] ^② 【動詞】[cc/tt 語幹]
(ものや糸が) 切れる。[変異] すーつ
ー。 ^② 【動詞】[cc/tt 語幹] (魚、肉を)
切る。[変異] すーつー。

すーとうず [si:tuzi] 【動詞】[g 語幹]
(使いすぎて) 擦り切る。【例】ずぼん
な すーとうがーいー あなー あきー
にゃーん (ズボンは擦り切れて穴が開
いた)。

ずーぱ [zi:pa] 【名詞】[C] 簪 (かんざ
し)。【例】ぱーや ずーぱう さす
(おばあさんは簪を差す)。

すーはがい [si:hagai] 【動詞】[母音
語幹] (手や足などを) 擦りむく、(車な
どが) すって傷がつく ; (皮膚が) 擦り

剥ける。【例】たうりー はっじゃ
すーはがーいーにゃーん (倒れて足をす
りむいてしまった)。ぎすつぬ はーん
すーはがーいんやうんてい まないん
あいき (すすきの葉ですりむかない
ように気を付けて歩きなさい)。んつん
たうりー みはなー すーはがーいー
にゃーん (道に転んで顔を擦り切った)。
すまー とういー うでいぬ かーや
すーはがーいーにゃーん (相撲を取っ
て腕の皮が擦り剥いた)。^①[変異] すー
ぱがい。[類] すーはず、すーぱぎ。

すーぱがい [si:pagai] 【動詞】[母音
語幹] (手や足などを) 擦りむく、(車な
どが) すって傷がつく ; (皮膚が) 擦り
剥ける。[変異] すーはがい。[類] す
ーはず、すーぱぎ。

すーはぎ [si:hagi] 【動詞】[母音語幹]
(手や足などを) 擦りむく、(車などが)
すって傷がつく ; (皮膚が) 擦り剥ける。
[変異] すーぱぎ。

すーぱぎ [si:pagi] 【動詞】[母音語幹]
(手や足などを) 擦りむく、(車などが)
すって傷がつく ; (皮膚が) 擦り剥ける。
[変異] すーはぎ、すーぱず、すーは
ず。[類] すーはず、すーはがい。

すーぱぎ んだい [si:pagi ndai]
【名詞】擦り傷。【例】すーぱぎんだい
んかい っそういゆ ぬい (かすり傷
に薬を塗る)。

すーはず [si:hazi] 【動詞】[g 語幹] (手
や足などを) 擦りむく、(車などが) す

って傷がつく；(皮膚が) 擦り剥ける。
[変異] すーはず、すーはがい、すーば
がい。[類] すーばぎ、すーはがい。

すーぱず [si:pazi] 【動詞】[g 語幹] (手
や足などを) 擦りむく、(車などが) す
って傷がつく；(皮膚が) 擦り剥ける。
[類] すーばぎ。

すーまん [si:man] 【名詞】小満 [太
陽暦で5月21日ごろ、旧暦で4月の
中頃。24節気のひとつ]。

すーや にやーん [si:ja nja:n] 【成
句】隙間なく密集している。【例】ふ
にゅーや すーや にやーだ すだり
んきーどう (みかんが隙間なく鈴なり
になっている)。

すーん ない [si:n nai] 【成句】水
泡(水滴)のように消え失せる。【例】
うぬきゃが うやきゃー んなない
すーんなりー にやーん (この人たち
の富は水の泡となって消えていった)。

すいひ [si:hi] 【名詞】[C] 肥溜めの水
肥。

すいひだみ [si:hidami] 【名詞】肥溜
め。

すかーらす [sika:rasi] 【動詞】[r/rr 語
幹] 無駄遣いする。[類] すきゃーい。

すがい [sigai] 【動詞】[r/rr 語幹] [A]
痩せ衰える、苦しみやつれる。【例】つ
むー やみどう すがりゅー (心を痛
めて痩せ衰えている)。

すがい [sigai] 【動詞】[r/rr 語幹] [A]
(人に) 縫(すが) りつく。【例】んま
んかい すがりんきー がんない (母
親に縫り付いて駄々を捏ねる)。あいや
ひとつんかいや すがらん (そんな
には人にすがりつかない [すがりつい
てはいけない])。[変異] すがり。

すかかい [sikakai] 【動詞】[r/rr 語幹]
混み合う。【例】きゅーや まっちゃ
んな ひとつぬどう すかかいゆ (今
日は店には人が混み合っている)。きゅ
ーぬ ぼっさ すかからっだん (今日
のバスは混んでいなかった)。きゅーや
ひとつー みーんば まっちやー
すかかいはず (今日はひとがいない
ので店は混んでいないはずだ)。[変異]
すきゃかい、しかかい、っさかい。[類]
すかかい (母音語幹)。

すかかい [sikakai] 【動詞】[母音語幹]
混み合う。[類] すかかい (r/rr 語幹)。

すかす [sikasi] 【動詞】[s/h 語幹] [A]
鋤で耕す。【例】はいゆ すきひー
すかす (畑を鋤で耕す)。[類] かでい。

すかす [sikasi] 【動詞】[s/h 語幹] [C]
騙(だま)す。【例】かりやー やな
じゃい やいば かいんな すかはい
な (彼はうそつきなので彼に騙される
な)。あいや ひとつーぎやー すかは
ん (そんなに人を騙さない [＞騙して
はいけない])。

すがた [sigata] ① 【名詞】[B] 姿、恰
好。【例】ぱーが すがたぬどう ゆ

みん みーらいうたい。(おばあさんの姿が夢に見られた)。②【名詞】[B] 本性、態度、振る舞い、言動。【例】かいが すがたうぎやー きゅーどう みー (彼の本性を今日こそ見る)。かいが すがたー みーにやーんば んめ かがい まいんかいや いかじゃーん (彼の(私に対する)態度、振る舞いを見たからもう彼の所には行かない)。

すかたい [sikatai] ①【動詞】[r/rr 語幹] (皮膚の皮が老齢などで) 垂れ下がる。【例】ういびとう ないていがー かーや すかたりーどうー (年取ったら皮膚の皮は垂れ下がっている)。②【名詞】(顔、体の皮等が) 垂れ下がること、皺、皺くちやの様子。【例】かーぬ すかたい (皮膚の皺)。つうあが ぬ どうぬ すかたいゆ かがんひー みーみーる (あなたの首の皺くちやのようすを鏡で見てください)。かいが みはなんな すかたいや なうぬ ひていつまい にやーん (彼女の顔には皺がぜんぜんない)。うぬ っそういひー かーすかたいや なういどうす (この薬で皮膚のしわくちやが治る)。

すかま [sikama] 【名詞】[C] 仕事。【例】すかまー にやーん (仕事はない)。くりやー ていーくばぬ すかま (これは不器用な人の仕事)。

すかま [sikama] 【名詞】[C] 昼間。【例】ばー きゅーや すかまー にやーんば すかまん ってい あそうび

(私は、今日は仕事がないので昼間に来て遊びなさい)。[類] ひーま。

すかみ [sikami] 【動詞】[母音語幹] [C] (顔を) しかめる、(威張った感じで) 鼻をツンとする 「すかん」を参照。【例】はな すかみや (ツンとした仕草)。じょー すかまう すきやきでい (さー仕事を始めよう)。[類] すかん。

すがり [sigari] 【動詞】[母音語幹] [A] (人に) 縫(すが)りつく。【例】まーぬ ひとつんかい すがりー まーいな (余り他人に縫りつくな)。[類] すがい。

すかん [sikan] 【動詞】[m 語幹] [C] (顔を) 顰(しか)める、(威張った感じで) 鼻をツンとする。【例】みはなう すかみ (顔をしかめる)。[類] すかみ。

すき [siki] 【動詞】[母音語幹] [A] 供える。【例】うほうずんみんかい むぬー すきる (先祖神に物を供えなさい)。

すき [siki] 【名詞】[C] 《道具》鋤(すき)(農機具)。

すきじゅー [sikizju:] 【名詞】供え物。【例】かんにがいんな すきじゅーゆ すきだかー ならん (祈願には供え物を供えないといけない)。[類] すきむぬ。

すきなふ [sikinafu] 【名詞】家づくりの無料奉仕、相互扶助の手伝い。【例】ほうかでいふつん やーや っちゅら

はいにゃーんば あちやー やー ふ
 かつじゃー すきなふー ひー ふい
 ーさまてい (台風に家を壊されてしま
 ったので明日家を建てるから手伝いを
 してください)。やーふつ すきなっふ
 たぬん (家づくりの奉仕を頼む)。や
 ーふつ すきなふー あす (家づくり
 の相互扶助の手伝いをする)。

すきむぬ [sikimunu] 【名詞】 供物。
 [変異] すきじゅー。

すきやーい [sikja:i] ① 【動詞】 [r/rr
 語幹] 無駄遣いする。【例】 うぬき
 ー でいんな すきやーりーや むぬ
 ー ふあーいん (彼は金を使いすぎて、
 飯が食えない)。[変異] すかーらす。②
 【動詞】 [r/rr 語幹] (家の中が) 取り散ら
 かっている、(ものが) 散乱する。【例】
 うまぬ やーや すきやーりーどー
 ーい (この家は (物が) 散乱してい
 る)。うまぬ まっちゃん むぬー す
 きやーりーどー (この店の商品は
 散乱している)。

すきやーい [sikja:i] 【形容詞】 (家
 の中が) 取り散らかっている、(もの
 が) 散乱して整理されていない。 [類] す
 きやーり。

すきやーらす [sikja:rasɪ] ① 【動詞】
 [s/h 語幹] 無駄遣いする。【例】 うぬ
 きやー でいんな すきやーらひーや
 むぬー ふあーいん (彼は金を使い
 すぎて、飯が食えない)。[類] すきや
 ーい。② 【動詞】 [s/h 語幹] (家の中を) 取り

散らかす、(ものを) 散乱させる。【例】
 むぬー すきやーらす (ものを散乱さ
 せる)。うまぬ くびんぬぎやー ぼり
 ー すきやーらひーすている ((ストレ
 ス解消に) この瓶を割ってこなごな
 にしてしまえ)。むぬーぎやー すき
 ーらはん (ものは散らかさない)。[類]
 すきやーい。

すきやーり [sikja:ri] 【形容詞】 取り
 散らかった、整理されていない。【例】
 うまー すきやーり まっちゃん (こ
 こは整理整頓されていない店)。[変異] す
 きやーい。

すきやかい [sikjakai] 【動詞】 [r/rr 語
 幹] 混み合う。 [変異] すかかい。

すきやかす [sikjakasi] 【動詞】 [s/h
 語幹] 急がせる、せかす。【例】 ま
 ぬ すきやかすな (余りせかすな)。

すきやき [sikjaki] 【動詞】 [母音語幹]
 [A] 始める。【例】 みどうんみぬ ゆ
 がたいゆ すきやきていがー んめ
 ゆさらびたーひー なまらん (女た
 ちが話を始めたらもう夕方まで終わら
 ない)。ゆくいにゃーんば じょー すか
 まう すきやきでい (休んだから、(さ
 あ) 仕事を始めよう)。あらはなー っ
 ぐあから すきやきる (まずはあなた
 から始めなさい)。

すきやき [sikjaki] 【名詞】 [A] やり
 方、具合。【例】 ぶばがまが すきや
 きやー かいだら (おばちゃんのやり方

はこうだ)。かいが すかまー なうば
いぬ すきゃきが?(あの人の仕事(ぶ
り)はどんな具合なの?)。

すく [siku] 【動詞】[k 語幹] [C] 空く。
[変異] すふ、そうつ、ふふ。

すぐ [sigu] 【副詞】直ぐ、直ぐに。【例】
かりゃー ひゃーすていがー すぐ
ぶどういどうす(彼ははやし立てたら
直ぐに踊る)。

すぐ ていびから [sigu tibikara]
【成句】直ぐ後から、即座に。【例】う
いびとう なりー ひとうぬ はなっ
そうぎゃー すぐ ていびから ぼっ
しーどーい(年取って人の話したこ
とを即座に忘れてしまう)。

すぐい [sigui] 【動詞】[r/rr 語幹] [A]
出世する。【例】にんぎんな くすぬ
にゃーだかー すぐらいん(人は後
押しがないと出世できない)。

すぐす [sigusi] 【名詞】[A] ひざ。【例】
すぐすからまい なだぬ いでいばか
ーい ほうからすむぬ(膝から涙が出
るほどうれしい(すごくうれしい))。う
いびとう ないていがー すぐすぬど
う うんそうく やん(年を取ると足
の関節が良く痛む)。すぐすぬどう や
みゅー(膝が病んでいる)。

ずくず [zikuzi] 【名詞】[C] 『蔑称』(人
が体が)小さい人、チビ;能力が低い
人。[変異] ずふず。

ずくず [zikuzi] 【形容詞】[C] 『蔑称』
(人が体が)小さい;能力が低い。[変
異] ずふず。

すくつ [sikutsi] 【形容詞】[B] 粗雑な
人、根性が悪い。[変異] そうくつ。

すくつ [sikutsi] 【名詞】[C] 粗雑な人;
粗末にすること。[変異] そうくつ。

すくつ [sikutsi] 【副詞】粗雑に(扱う)、
乱暴に(扱う)。[変異] そうくつ。

すくつな [sikutsina] 【形容詞】粗雑
だ、粗雑な、根性が悪い。[変異] そ
うくつな。

すくつな [sikutsina] 【名詞】粗雑な
人;粗末にすること。[変異] そうく
つな。

すくつな [sikutsina] 【副詞】粗雑に
(扱う)、乱暴に(扱う);(粗末に)する。
[変異] そうくつな。

ずくにや [zikunja] 【名詞】[C] 『蔑
称』(人が体が)小さい、また小さい人、
能力が低い人。

ずくにや [zikunja] 【形容詞】[C] 『蔑
称』(人が体が)小さい;能力が低い。
[類] ずまる。

すぐりびとう [siguribitu] 【名詞】優
れた人、偉い人。【例】やぐみ すぐ
り びとう(凄く優れた人)。

すす [sisi] 【名詞】[B] 煤(すす)。【例】
すすぬ あい やーんな っさいや

つかん（すすのある家には白蟻はつかない）。[類] っふすー。

すず [sizi] 【助数詞】サトウキビ、芋等を数える単位。【例】んーぬ ひとつすず ふあうたい（芋を1個食べた）。[類] うず。

すず [sizi] 【名詞】[C]（サトウキビや芋などの）茎；薪の束。【例】ぶーずぬ すず（サトウキビの茎）。たむぬすず（薪）。ぶーっじゅ にじゅーすずひー ひとつたいゆ まるき（サトウキビを20本で一束をくくれ [> 20本で一束にしる]）。かややーぬ くびやー ぎすつぬ すずひどう ちゅっふあいゆー（茅葺家の外壁はススキの茎で作られている）。

すず [sizi] 【名詞】[C] 家筋、よいこと。【例】まんちゅーや まん やいば にんぎんぬ やーぬ すたん ういていがー すずうす あすちや（パパイヤは「万」なので人の軒下に生えたら家系が絶えるそうだ [パパイヤを軒下に植えるのは家系が絶えるので縁起が悪いというたとえ]）。

すず [sizi] 【名詞】[C] 粒。【例】ほうすずあみ（大粒の雨）。ほうすずまみ（大粒の豆）。

すず うそうー [sizi usu:] 【成句】家の繁栄を阻む。【例】んつきぬ すたぬ まんちゅーぎーや すず うそうー むぬ やいば っちゅひー すて

いる（軒下のパパイヤの木は家の繁栄を阻むものだから切りすててしまえ）。[変異] すずうす、すずずすー、すずうそう。

すずうす [siziusi] 【成句】家の繁栄を阻む。[変異] すず うそうー。

すずうそう [siziusu] 【成句】家の繁栄を阻む。[変異] すず うそうー。

すずうそうい [siziუსui] 【名詞】精神的に抑えられること。【例】びきどうんな みどうん すずうそういや ひらいどう はーひーん すにーにやーん（夫は妻に精神的に抑圧されて早死した）。

すすず [sisizi] 【動詞】[g 語幹] [A] 濯ぐ（すすぐ）。【例】つんぬ すすず（着物を濯ぐ）。つんな あらいぬ あとうんな すすぎ（着物は洗った後には濯げ）。

すずずすー [sizizisi:] 【成句】家の繁栄を阻む。[変異] すず うそうー。

すずだむぬ [sizidamunu] 【名詞】枯れたススキの茎の薪。[変異] すだむぬ。

すずみ [sizimi] ① 【動詞】[母音語幹] [A] 沈む。[類] すずん、つずん。② 【動詞】[母音語幹] [C] しまう、整頓する。[類] すずん、つずん。

すずん [sizin] ① 【動詞】[m 語幹] [A] 沈む。【例】ふにやー すずみー は

りーにゃーん (船は沈んでいった)。あたくまん ふにゃー すずみーにゃーん (あつという間に船は沈んでしまった)。[類] すずみ、つずん。②【動詞】[m 語幹] [C] しまう、整頓する。【例】まかいゆぎゃー すずみ うき (お椀をしまっておきなさい)。むぬふあう だうーゆぎゃー すずみる (食器は片付けなさい)。やーゆ すずみる ((散らかっている) 家を片付けろ)。[類] すずみ、つずん。

すたい [sitai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] 廃れる。【例】かまぬ きないや うんそうく うやきゃー ひー そうる きゅーたいそうが んめ きばんふなりー すたりー はりーにゃーん (あそこの家はとても金持ちで、がんばっていたが貧乏になってすたれてしまった)。[類] すたり。

すだい [sidai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] 鈴なりになる。【例】ふにゅーや すーや にゃーだ すだりんきーどーう (ミカンは密集してすずなりになっている)。

すだき [sidaki] 【動詞】[母音語幹] [A] 育つ、巣立つ。[変異] すだつ、そうだつ、そうだき。

すだき [sidaki] 【動詞】[母音語幹] [A] 育つ、巣立つ。[変異] そうだき。[類] すだつ。

ずだき [zidaki] 【名詞】[C] 織物を織る際に模様をだすこと。

すたさ [sitasa] 【名詞】[C] 舅 (しゅうと)、夫または妻の父。【例】すたさうまい すとうまうまい わいていー たかさ あっそう (舅も姑もちゃんと大切にしなさい)。

すたさ [sitasa] 【名詞】[C] 義理の父。[変異] すとうまっざ。

すだす [sidasi] 【形容詞】[B] 涼しい。【例】すだす かでいがま (そよ風)。きーぬ かぎゃー すだすむぬ (木の下は涼しい)。なつんな きーぬ したーら すだす (夏には木の下辺りは涼しい)。

すだす [sidasi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] 抱卵する。【例】とうぬかう すだほうー とういんな むすぬどう つふ (抱卵中の鶏には虫がつく)。

すたすた [sitasita] 【オノマトペ】 さっさと。[類] すたすたていー。

すたすたていー [sitasitati:] 【オノマトペ】 さっさと。【例】すたすたていー あっそう (サッサとしなさい)。あかいゆぎゃー ゆまだ すたすたていー あいき (アリを数えずにさっさと歩け [> 止まらずに早く歩けという意味])。むぬーぎゃー すたすたていー ふあい (さっさと食べろ)。[類] すたすた。

すだすない [sidasinai] 【名詞】 涼しくなること。【例】すだすないがま

ひーゆー ((ちょっと) 涼しくなっている)。

すだつ [sidatsi] 【動詞】 [k 語幹] [C]
育つ、巣立つ。【例】んまー みーだ
うらんまい っふあー すだつどう
す (母親はいなくても子供は育つ [＜
見ていなくても])。とういぬ すだつ
(鳥が巣立つ)。「変異」すだふ、そうだ
つ、そうだふ。「類」すだき。

すたっさ [sitassa] 【名詞】後輩。「変
異」うとっさう。

すだてい [sidati] ①【動詞】 [母音語
幹] [A] 育てる。【例】たうかーつづ
あー すだていぐりむぬ (一人っ子は
そだてにくい)。うやどういぬ っふあ
うどういがまう すだていー (親鳥が
ひなをそだてる)。「変異」そうだてい。
②【動詞】 [母音語幹] [A] (作物など
が) 育つ; (子供が) 大きくなる、育つ。
「変異」そうだてい。

すたていー [sitati:] 【オノマトペ】さ
っさと。「類」すたすたていー。

すたばー [sitaba:] 【名詞】下葉。【例】
ぶーずぬ すたばーゆ かつ (サトウ
キビの下葉をむしり取る)。

すたばらい [sitabarai] 【名詞】嘲笑、
小ばかにした笑い、見下した笑い。【例】
うぬひとうー つうあんな うらー
ひらいんてい すたばらい ひー う
たい (その人はお前にはそれはできな
いと小ばかにしていた)。ばー つうあ

うぎゃー すたばらいや ひーどうー
(私はお前を見下し笑いしている [＞お
前なんかには負けないぞという気持ちを
表す])。

すたばらう [sitabarau] 【動詞】 [w 語
幹] 馬鹿にして笑う。

すだふ [sidafu] 【動詞】 [k 語幹] [C]
育つ、巣立つ。「変異」すだつ、そう
だつ、そうだふ。「類」すだき。

すだま [sidama] 【名詞】 [C] じゅずだ
ま (植物名)、イネ科の多年草。【例】
すだますずぬ みぬい (じゅずだまが
実る)。

すたみ [sitami] 【動詞】 [母音語幹] [C]
炊いた芋汁、塩煮などを鍋蓋を当て
て捨てる。「変異」すたん。

すたみー [sitami:] 【名詞】見下すこ
と。【例】ひとうーぎゃー すたみー
ゆぎゃー ほうん (ひとを見下さない)。
すたみー ひらいていがー にんぎん
な うむっしっふあにやーん (上から
目線で見られたら人間は面白くない)。

すたらしゃ [sitarasja] 【名詞】評判
を下げる人。【例】なー すたらしゃ
(名前を廃らす者)。

すたらす [sitarasi] ①【動詞】 [s/h 語
幹] 評判を下げる、悪く言う。【例】う
とうじゃう すたらす ひとう (親戚
中の評判を下げる人)。かりゃー ひと
うっじゃぬ すー やいば いつまい

ひとつー すたらす (彼女は人の噂の巣窟だからいつも人を悪く言いふらす)。②【動詞】[s/h 語幹] 蔑 (さげすむ; 惨めな思いをさせる。【例】あいやひとつーぎゃー すたらはん (そんなに人を蔑むな)。あいや とうずつふ あんみゆーぎゃー すたらはん (そんなに妻子に惨めな思いをさせるな)。

すたん [sitan] 【動詞】[m 語幹] [C] 炊いた芋汁、塩煮などをを鍋蓋を当てて捨てる。【例】んーにーずーゆ すたん (芋の煮汁をこぼす)。
[変異] すたみ。

すつ [sitsi] 【接尾辞】～好き。【例】あそーずつ (遊び好き、また、その人)。
[変異] すふ。

すつ [sitsi] 【動詞】[k 語幹] [C] 好きだ。【例】まさいや みがうどう すつ (マサイはミガが好きだ)。
[変異] すふ。

すつ [sitsi] 【動詞】[k 語幹] [A] 鋤く。【例】はいゆ すきひー すつ (畑を鋤ですく)。
[変異] すふ。[類] すかす。

すつ [sitsi] 【動詞】[k 語幹] [A] 敷く。【例】なうさうどう んつんかい すつ (石子を道路に敷く)。
むっそーすき (筵を敷け)。
[変異] すふ。

すつ [sitsi] 【名詞】[B] 時季。【例】ぶーず いび すつ (サトウキビを植える時季)。

すっかかう [sikkakau] 【動詞】[w 語幹] 引っかかる。【例】さるかぎーぬ

んずん すっかかいーにゃーん (サルカケミカンの木の刺に引っかかった)。

すったーうー [sitta:u:] 【動詞】[vv 語幹] (徒競争や学校の成績などで他を) 追い抜く、追い越す; (追い越して) 差をつける。[変異] すったうー。
[類] すったーつづあす、すったーす、すっていつづあーす、すってい。

すったーす [sitta:si] 【動詞】[s/h 語幹] (徒競争や学校の成績などで他を) 追い抜く、追い越す; (追い越して) 差をつける。【例】うりゆぎゃー すったーし (彼を引き離せ)。
かいんな ばぬー すったつづあーはいん ((仕事や徒競争などで) 彼には私を追い抜けない)。
[類] すったーう、すったーつづあす、すっていつづあーす、すってい。

すったーつづあす [sitta:vvasi] 【動詞】[s/h 語幹] (徒競争や学校の成績などで他を) 追い抜く、追い越す; (追い越して) 差をつける。【例】んみゃひーちやがま あすきゃー からー ばぬー すったーつづあすどうす (もうちよつとしたら彼は私を追い越すだろう)。
ばー かいん すったつづあーはいにゃーん (彼に追い越された)。
[類] すったーうー、すったーす、すっていつづあーす、すってい。

すったうー [sittau:] 【動詞】[vv 語幹] (徒競争や学校の成績などで他を) 追い抜く、追い越す; (追い越して) 差をつける。[変異] すったーうー。

すっだき [siddaki] 【名詞】 枯れたススキの茎。

すっだきだむぬ [siddakidamunu] 【名詞】 枯れたススキの茎の薪(たきぎ)。

すっだむぬ [siddamunu] 【名詞】 枯れたススキの茎の薪。 [変異] すずだむぬ。

すったらす [sittarasi] 【動詞】 [s/h 語幹] (鼻などを)垂らす; (ふんどしのひも、ずぼんのベルトなどが緩んで)ずり落ちる。【例】 やらびゃー ぱんだいや すったらひー まーりゅー (子供は鼻を垂らしながら歩き回っている)。ずぼんぬぎゃー すったらはだ まーり (ズボンをずらしたまま歩き回るな [くずらさずに歩き回れ])。

すってい [sitti] 【動詞】 [母音語幹] [A] (徒競争や学校の成績などで他を) 追い抜く、追い越す; (追い越して) 差をつける。【例】 んみゃ ひーちやがま あすきゃー からー ばぬー すっていどうす (もうちょっとしたら彼は私を追いぬくだろう)。かいん たるーゆ すっていっさし (彼に太郎を追い抜かせよう)。[類] すていー、すったーう、すったーうあす、すったーす、すっていっづあーす。

すっでい [siddi] 【動詞】 [母音語幹] [C] (骨の髄などを) 吸い取る; (人のお金などを) 吸い取る。【例】 ほうにぬ

ずーゆ すっでいる (骨の髄を穿れ (吸引しなさい))。ひとうーぎゃー まーぬ すっでいどうり (他人をあまり搾取するな)。かりゅーぎゃー すっでいー うどうかし (彼を (金、財産を) 吸い取れ)。ばー ぱちんこんきー すっでらいにゃーん (私はパチンコに行ってきたくさんすった)。

すっていっづあーす [sittivva:si] 【動詞】 [s/h 語幹] (徒競争や学校の成績などで他を) 追い抜く、追い越す; (追い越して) 差をつける。 [類] すったーう、すったーうあす、すったーす、すってい。

すつなす [sitsinasi] 【動詞】 [s/h 語幹] 終わらせる。【例】 さんじたーひー くぬすかまう すつなひー ふいーさまでい (3時まではこの仕事を済ませてください)。 [変異] すていなす。

すつむてい [sitsimuti] 【名詞】 朝。 [変異] ひとうむてい。

すてい [siti] ① 【動詞】 [母音語幹] [A] 捨てる; なくす。【例】 ばー やりずんぬぎゃー すていにゃーん (私は古い着物を捨てた)。でいんぬどう すていーにゃーん (金を無くした)。すてい じゃん ひらい (粗末にされる)。② 【補助動詞】 [母音語幹] (動詞連用形について) ~てしまう。【例】 ふあいーす ている (食べてしまえ)。ばらいー す ている (笑ってしまえ)。うるーぎゃー あてい いばいかいば ばらいーす

ている（彼は余りにも威張るので笑ってしまえ）。っぞう なまっそうぎやー
ふあいーすている（刺身は食べてしまいなさい）。ふあいーすていーにやーん（食べてしまった）。ふあいーすていーたい（食べてしまった）

すでい [sidi] 【動詞】 [母音語幹] [C]
脱皮する、生まれる、生まれ変わる、再生する。【例】すでいがん（脱皮した直後の蟹（かに）[殻が軟らかい]）。すでいぼう（脱皮したばかりのヘビ）。すでいみず（人間の子供を生まれ変わらせる水）。すでいみずがー（人間を生まれ変わらせる水のある井戸）。

すていー [siti:] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A]
（徒競争や学校の成績などで他を）追い抜く；（追い抜いて）差をつける。【類】すってい、すったーう、すったーつづあす、すったーす、すっていっづあーす。

すていーうー [siti:u:] 【動詞】 [vv 語幹幹]（徒競争や学校の成績などで他を）追い抜く；（追い抜いて）差をつける。【例】うりゆぎやー すていーつづい（彼を引き離せ）。【変異】すていーうー。【類】すってい、すったーう、すったーつづあす、すったーす、すっていっづあーす。

すていうー [sitiu:] 【動詞】 [vv 語幹幹]（徒競争や学校の成績などで他を）追い抜く；（追い抜いて）差をつける。【変異】すていーうー。【類】すってい、

すったーう、すったーつづあす、すったーす、すっていっづあーす。

すでいがほー [sidigaho:] 【感動詞】
ありがとう。【例】やぐみ すでいがほー（大変ありがとうございます）。

すでいがら [sidigara] 【名詞】脱け殻（ぬけがら）。【例】かんぬ すでいがら（蟹（かに）の脱け殻）。ほうぬ すでいがら（ヘビの脱け殻）。つみやぬ すでいがら（セミの脱け殻）。【変異】すでいぐる。

すでいぐる [sidiguru] 【名詞】脱け殻（ぬけがら）。【変異】すでいがら。

すていじゃん [sitizan] 【成句】ないがしろにすること、大切にしないこと、存外に、粗末にあつかうすること、ほったらかしすること。【例】むぬーぎやー すていじゃんぬぎやー ほうん（ものを粗末にしない）。すていじゃん やらび（ほったらかされている子供）。ひとうー すていじゃん あすていがー ういが ぼっちゅどう かうー（人をないがしろにしたらその罰を受ける）。うぬ っふあー すていじゃんなひー そうだていらいたい（その子供はほったらかしにして育てられた）。

すていなす [sitinasi] 【動詞】 [s/h 語幹] 終わらせる。【変異】すつなす。

すていらーす [sitira:si] 【動詞】 [s/h 語幹]（徒競争や学校の成績などで他

を) 追い抜く; 追い抜いて差をつける。
[変異] すていらす。

すていらす [sitirasi] 【動詞】[s/h 語幹](徒競争や学校の成績などで他を) 追い抜く; 追い抜いて差をつける。【例】むいとう すていらーはいどうー (差をつけられすぎた)。
[変異] すていらーす。
[類] すってい、すったーう、すったーうあす、すったーす、すっていうあーす。

すとうい [situi] 【形容詞】[B] 湿っぽい。【例】あみふーぬ とうきやんな すとういむぬ (雨降りの時には湿っぽい)。
[変異] すぶたい。

すとうい [situi] 【動詞】[r/tr 語幹] [C] 湿る。【例】あみやー つふいどうはいや すとうりーゆー (雨が降って畑が潤っている)。

すとうま [situma] 【名詞】[C] 姑(しゅうとめ)、義理の母。【例】すとうまー いつまい ンまがう かなっさあす (姑はいつも孫をかわいがる)。
[変異] すとうまんま。

すとうまうや [situmauja] 【名詞】義理の父。 [変異] すとうまっざ。

すとうまっざ [situmazza] 【名詞】義理の父。【例】ばー すとうまっざうぎゃー うとうるす (私は義理の父が怖い)。
[変異] すとうまうや、すたさ。

すとうまんま [situmamma] 【名詞】

姑(しゅうとめ)、義理の母。 [変異] すとうま。

すとうむてい [situmuti] 【名詞】朝。【例】すとうむてい うきーていがー すぐ ぬーまぬ っさ かいが (朝起きたら直ぐに馬の草刈りに(行く))。
[変異] ひとうむてい。

すな [sina] 【名詞】[C] 品、品格、品位、風格。【例】すなかぎ ぶどうい (品のある踊り)。すなかぎ みどうん (上品な女性)。すなーにやーんんまり (品性のない奴 [>どうしようもない奴])。

すなーか [sina:ka] 【副詞】静かに、音を立てずに。【例】やらびぬ にっづゆーば はずならうぎゃー いだはだすなーかがま あいき (子供が寝ているから足音は立てずに静かに歩け)。

すなーす [sina:si] 【動詞】[s/h 語幹] 合わせる。【例】やそうる ばずんか いや くっちゃ すなーはいん (大きい足には靴は合わすことはできない)。

ずない [zinai] 【名詞】[C] 地鳴り、地響き。 [変異] ずなり。

すなう [sinau] 【動詞】[w 語幹] [C] (靴、服等サイズが) 合う、(心が) 合う。【例】くっちゃ すないー どうー (靴のサイズは合っている)。やそうる ばずん すなう くっちゃ にやーん (大きい足に合う靴はない) [「やそうる」=一反(300坪)のこと]。うぬ ふくー いみかいば すなーん (この服

はサイズが小さいので合わない)。しゅーが つむん すなう (主 (あるじ) の心に合う)。

すなす [sinasi] 【動詞】 [s/h 語幹] [A] 亡くす、死なせる。【例】 ぱーや っぐあが んまー すなひー つむー やまひー うたい (おばあさんはおまえのお母さんを死なせて心を痛めていた)。

ずなら [zinara] 【名詞】 [C] 地響き。

ずなり [zinari] 【名詞】 [C] 地鳴り、地響き。【例】 みゃーくずつんな うやたがどう ずなり あすっちゃん あいつ (ミャークズツにはおじいさん達が地響きさせながら歩く)。[変異] ずない。

すぬい [sinui] 【名詞】 [C] 『食』モズク。【例】 すぬいや なびーむぬ (モズクはすべすべしている)。[変異] そうぬい。

すば [siba] 【名詞】 [B] 唇。【例】 かりゃー すばー だりー つむいでいー うたい (彼は下唇を垂らして怒っていた)。あつちゃん すばー っさらはいにゃーん (熱いお茶に唇は曝された [＞熱いお茶に唇が当たった])。ほうすば (厚い唇)。すたすば (下唇)。あーぎすば (上唇)。

すばい [sibai] 【名詞】 [C] 『昆』コバエ (小さなハエ)。【例】 なつん ないていがー すばいがまぬどう ゆー

いでいーふー (夏になるとコバエがよく発生する)。すばいがまぬどう いじゅー (コバエが発生している)。

すばい [sibai] 【名詞】 [C] 小便。【例】 すばいゆ すー (小便をする)。すばいゆ ふかす (小便を漏らす、失禁する)。すばい かじゃ (小便の臭い)。

すばいづつん [sibaizitsin] 【名詞】 膀胱。【例】 すばい すーたかいば すばいづつんぬ ぱずきーはらっじやう (小便をしたくて膀胱が破裂しそうだ)。

ずばた [zibata] 【名詞】 [C] 地機 (じばた) 手織り機的一种、地面に座って織るもの。【例】 んきゃーんな ずばた ひどう つんぬぎゃー うりゅーたい ちゃ (昔は地機で着物を織っていた)。

すばだら [sibadara] 【名詞】 下唇の垂れていること (人)。

すばな [sibana] 【名詞】 [B] 山や海で絶壁になっているところ。

すばびー [sibabi:] 【名詞】 口笛。【例】 すばびーゆ ふつ (口笛を吹く)。ゆな かー すばびーゆぎゃー ふかん (夜は口笛は吹かない [＞吹いてはいけない])。

すびー [sibi:] 【名詞】 [B] 『貝』子安貝、寶貝。【例】 まうきゃーいんどう すびーがまー うんそうく とうらいー (大浦湾で小さい寶貝はたくさんとれる)。

すびに [sipini] ①【形容詞】[B] (噛みきれなくて) 固い。【例】くぬ わーや なまにーわー やいば すびにかいば かまいん (この豚は生煮えの豚だから固くてかめない)。②【形容詞】[B] 粘り腰のある。【例】たかのはなー やぐみ すびに すまとうら (貴乃花は粘り腰のある関取だ)。

すびゃー [sibja:]【形容詞】[B] 素早い。【例】なうゆ あすみんまい すびゃー びとう (何をさせても素早い人だ)。やぐみ すびゃー びとう (とても動きの早い人だ)。かりゃー すかま すびゃー びとう (彼は仕事が素早い人だ)。

すふ [sifu]【動詞】[k 語幹] [C] 空く。
[変異] すつ、そうつ、そうふ。

すふ [sifu]【動詞】[k 語幹] [A] 敷く。
【例】むっそー すふ (筵を敷く)。
[変異] すつ。

すふ [sifu]【接尾辞】～好き。 [変異] すつ。

すふ [sifu]【動詞】[k 語幹] [C] 好きだ。 [変異] すつ。

すふ [sifu]【動詞】[k 語幹] [A] 鋤く。
[変異] すつ。 [類] すかす。

すふ [sifu]【動詞】[k 語幹] [A] 敷く。
【例】なうさうどう んつんかい すつ (石子を道路に敷く)。むっそー すき (筵を敷け)。[変異] すつ。

すぶい [sibui]【動詞】[r/rr 語幹] [C] 搾る。【例】うすぬ つーゆ すぶい (牛の乳を搾る)。

ずふず [zifuzi] ①【名詞】[C] 〔蔑称〕(人が体が) 小さい人、チビ; 能力が低い人。【例】かいがどう あぐたが なかなな んながーな ずふずかい (彼が同級生のうちで一番小さい)。かりゃー ずふず ずまるがま (彼は小さい背の低い人)。つづあー すかまー ひらいん ずふず (お前は仕事のできないくずだ)。[変異] ずくず。[類] ずま ず、ずまる。②【形容詞】[C] 〔蔑称〕(人が体が) 小さい; 能力が低い。

すぷたい [siputai] ①【形容詞】不潔な。【例】すぷたい びとう (不潔な人)。②【形容詞】(天気が) 湿っぽい。【例】きゅーや あみゃー つふいぬ あとう やいば すぷたいむぬ (今日は雨の後だから湿っぽい)。[類] すとうい。

すぷたら [siputara]【名詞】不潔野郎。
【例】おい すぷたら うぬ すぷたい つんぬぎゃー はっでい (おい、この不潔野郎め、その汚れた服を脱ぎなさい)。

ずふにや [zifunja] ①【名詞】[C] 〔蔑称〕(人が体が) 小さい、また小さい人、チビ、能力が低い人。【例】ずふにやがま (小さいもの(人))。[変異] ずくにや。[類] ずま ず、ずふず、ずまる。②

【形容詞】[C]『蔑称』（人が体が）小さい；能力が低い。

ずぶる [ziburu] 【名詞】[C] 頭。【例】ほうずぶる（大きな頭）。[類] かなまい。

すぶん [sibun] 【動詞】[m 語幹] [C]（植物が）萎える、しぼむ。【例】そーや すぶみーにやーん（野菜は（ふるくなって）しなっとなってしまった）。きつぎんていー さきゅーたい はなー すぶみーにやーん（きれいに咲いていた花はしぼんでしまった）。

ずぶん [zibun] 【名詞】[B] 時分、頃、時期。【例】くぬ まんごーや ふあう ずぶんなりーどー（このマンゴーは食べ頃になっている）。いつ ずぶん（行く時分）。ぶとう むつ ずぶん（結婚適齢期）。ゆい ふあい ずぶん（夕食を食べる時分）。んぬつ あいむぬー すん ずぶんな すなだかー ならん（命あるものは死ぬ時期には死ななければならない）。かりやー ふー ずぶん ならいどー（彼は来る時分になっている）。ぶーずまい いび ずぶん ならいどー（サトウキビも植える時期になっている）。

すま [sima] 【名詞】[C] 故郷、村、集落、島。【例】どーぬ すま ひとつ（同郷の人）。くまー ばが ンまりずま（ここは私の生まれた村（故郷））。びつ ずま（別の集落）。すまぬ そうじゃっ そー いらう（村の役員を選ぶ）。

すま [sima] 【名詞】[B] 相撲。【例】すまとうりや（相撲取り）。すまう とらでい（相撲をとろう）。

すま ならす [sima narasi] 【成句】地面を鳴らす（ぐらい踊る）。【例】みゃーくずっちゃ すまー ならし ン みゃいばよ（みゃーくづつは地面を鳴らしながらおいでくださいませ [みゃーくずつ歌詞 今なら「すまーならひー」となる）。

すまーす [sima:si] 【名詞】島端、島裾、島が海と接して所。【例】いらうぬ すまーすからどう ふにがまぬ みーらいゆー（伊良部の島端から小舟が見えている）。

すまーた [sima:ta] 【名詞】ウエスト、腰回りの細くくびれている部分。【例】しょじよがまぬ すまーたがま（若い女性のお腹のくびれ）。

すまい [simai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] 括（くく）る、たばねる、縛る。【例】ひんじやう くらはっじやー ういが はっじゆ すまり（ヤギをつぶすので足を縛れ）。ぬーまぬ ン^oなう ぎ すつん すまい（馬の綱をススキに縛る）。っさう すまい（草を束ねる）。

すまいふつ [simaifutsi] 【名詞】結び目。

すまうさら [simausara] 【名詞】村の厄払い祈願の一つ。[変異] すまうさら。

すまうつ [simautsi] 【名詞】方言。

【例】くぬいぬ ばかむぬんみゃー すまうっちゅぎゃー まーぬー っさん (最近の若者たちは方言をあまり知らない)。
[変異] すまふつ。

すまうていあみ [simautiami] 【名詞】

(海で漁をしている時などに降る)大雨 (島が落ちて見えなくなるという意味)。
【例】すまうていあみぬ っふいー すまー みーらいん。(大雨が降って、島が見えない)。

すます [simasi] 【動詞】[s/h 語幹] [C]

(水などを) 汚れを沈殿させてきれいにする、澄ます。
【例】ゆぐい みっじゅ すます (汚れた水をきれいにする)。
みっじゅぎゃー どうるー すまひー から ぬみ (水は泥を澄ませてから飲む)。

すまづーほうっびじ [simazi:hubbizi] 【名詞】

『地名』礁、リーフの名前 [島尻の近くに位置する]。

すまだてい [simadati] 【名詞】

村立て、集落の始まり。

すまばき [simabaki] 【名詞】

島分け。
【例】んすむらー いきまとう さらはまから すまばき ひらいたい (西原は池間、佐良浜から島分けされた)。

すまばす [simabasi] 【名詞】

島と島との間 (の海峡)。
【例】いらうとう いきまぬ すまばっさ ゆーかーま (伊

良部と池間の島と島との間はとても遠い)。

すまふさら [simafusara] 【名詞】

『祭礼』悪霊払いの祭事で、村の入口にナガミツジを張る。
【例】すまふさらんな ながみつっじゅどう すまぬ はいーふつん はい (スマフサラには村に病気等の悪霊が入らないように村の入口にナガミツジを張る)。

すまふつ [simafutsi] 【名詞】

方言。
[変異] すまうつ。

ずまみ [zimami] 【名詞】 [C]

落花生。
【例】ずまみゆー ふあうていがー なまらいん (落花生を食べたら止められない)。

ずまる [zimaruru] 【形容詞】 [C]

『蔑称』(人が体が) 小さい。
【例】うまぬ すまん ずまるー みーん (この村には小さい人はいない)。
[類] ずふにゃ、ずふず、ずくにゃ。

ずまる [zimaruru] 【名詞】 [C]

『蔑称』(人が体が) 小さい人、能力が低い人。
【例】うまぬ すまん ずまるー みーん (この村には小さい人はいない)。
[類] ずふにゃ、ずふず、ずくにゃ。

すみ [simi] 【動詞】 [母音語幹] [C]

(顔、手を) 洗う。
【例】{みはなう/ていーゆ/どうーゆ/はっじゅ} すみー ー (顔を/手を/身体を/足を) 洗って来い)。ひとうむてい うきや みは

なう すみー (朝起きたら顔を洗う [く起きては])。

すみ [sɪmi] 【動詞】 [母音語幹] [A] 澄む。 [類] すん。

ずみ [zimi] 【形容詞】 [C] 快適である、最高、最高の、格好良い、素晴らしい。【例】 くまー ずみ (ここは快適だ)。やぐみ ずみぎ やー (とても素晴らしい家)。

ずみ [zimi] 【接尾辞】 (動詞基本形について) ~心地がよい。【例】 つつずみ (聞き心地が良い)。ぬーいずみ (乗り心地が良い)。ういずみ (居心地が良い)。

ずみぎ [zimigi] 【形容詞】 [A] 心地良さそうな、見事な、見た目がきれいな、心地よさそうだ、見事だ、見た目がきれいだ。【例】 ずみぎ みどうん (壮麗で見事な女性)。きゅーぬ ぼくしんぐぬ しあいや ずみぎどう あたい (今日のボクシングの試合は最高だった)。

ずみぎ [zimigi] 【形容詞】 [A] カッコいい、かっこよく見える。

ずみじゃ [zimiza] 【名詞】 [C] あばた、おできのあともいう、あばたを馬鹿にしていう場合もある。【例】 くぬいや ずみじゃ やらびゃー みーらいん (最近はおばたのあるの子供は見られない)。ずみじゃー ほうがさぬ あとう (ズミジャはおできの跡)。ほうりむぬ、くぬ ずみじゃ (馬鹿野郎)。

ずみず [zimizi] 【名詞】 [C] ミミズ。【例】 ずみっじゅ どういぬ ふあう (ミミズを鳥が食べる)。

ずみゃー にゃーん [zimja:nja:n] 【成句】 気持ち悪い、(雰囲気が悪くて) 面白くない。【例】 みんきゃー はーばすんかい つふあまらひー ずみゃー にゃーん (するめが歯の間にはさまって気持ち悪い)。ん[。]ぬぬ うぐなーいや ずみゃー にゃーっだん (昨日の集まりは面白くなかった)。

すみゃーす [simja:si] 【形容詞】 心地良い、気持ち良い、爽快な、爽やかな。【例】 なつん からゆかん にゅーていがー すみゃーすむぬ (夏に床に直接に眠ったら心地良い)。きゅーぬ かじゃー すみゃーす かでいがま (今日の風は爽やかな風だ)。っそういやぬみー ばたー すみゃーすふ なりーどうーい (薬を飲んでお腹の調子は良くなっている)。

すむい [simui] 【名詞】 [C] 巣守、孵化しないで巣の中に残っている卵、巣籠。【例】 すむい どうぬか (孵化しないで巣の中に残っている卵)。

すむずま [simuzima] 【名詞】 『地名』 下島、多良間・八重山諸島。

すん [sin] 【形容詞】 [B] しみて痛い。【例】 うぬ っそういや すんかいばならん (この薬はしみて痛い)。

すん [sin] 【動詞】 [m 語幹] [A] (水などが) 澄む。【例】ひだがーぬ みっじゃ すみーどうー (ヒダガーの水は澄んでいる)。**[類]** すみ。

すん [sin] 【動詞】 [n 語幹] [A] 死ぬ。【例】くぬ みゃーくー あてい くーかいば すんぼどう んぎゃーらい (現世は余りにも苦しいので死ぬことで逃れられる)。つづあが くとぅー あてい うむいやひどう すなっじゃうたい (あなたのことを思いすぎて死にそうだ)。ほうりむぬー すなだかーなうらん (バカは死なないと治らない)。

すん [sin] 【名詞】 [B] 墨。【例】すんひー かきゃー ずーや きゃーらん (墨で書いた文字は消えない)。すんしどう ばが ずしどう しゅー ないたいよ (文字で学問で主になったよ [＜墨で、自分の字で、四つのしまの主になった [古謡「ゆすまの主」から]])。

すんがた [singata] 【名詞】 死期の近いこと。【例】ういびとぅー すんがた なりーどう (老人は死期が近くなっている)。**[類]** すんばた。

すんつ [sintsi] 【補助動詞】 [k 語幹] [A] (形容詞語幹、動詞基本形、動詞連用形について、そのような状態になる)～ている [形容詞の語幹は最終母音を長音化するか、「たかたん」「まーくん」などのように「たん (に)」、「ん (に)」などを付けて結果状態を示すのが原則]。

【例】やーゆ ちゅふ たみん ずーや っさたらー すんきー あい (家を作るために 土地を平らにしてある)。やらびゃー んまー みーんば なす すんつ (子供はお母さんがいないのでないている [＜泣く状態になっている])。たかたん なりー すんきー ーうい (高くなっている)。まゆー まーくん なりー すんきー ーうい (猫は丸くなっている)。かりゃー ひとつきゃー ぬどうから あーぎゃー いでいー すんきゅー (彼はひとより (高いので) 首から上は出ている状態だ)。**[変異]** すんふ、つんふ。

すんどう んがーい [sindungai] 【成句】 (あまりにもつらくて) 死ぬことが逃れること、死んだ方がまし [「すんぬどう んがーい」とも言う]。【例】あいぬ くー とぅくまん ーうりや んめ すんどう んがーい。(こんなに苦しいところにいるよりは死んだほうがましだ)。

すんばた [simbata] 【名詞】 死期の近いこと。 **[類]** すんがた。

すんぱっじゃき [simpazzaki] 【名詞】 死に損ない。【例】すんぱっじゃきんまり (死に損ない)。

すんぱてい [simpati] 【名詞】 死に物狂い。【例】すんぱちゃー ひー すかまひー まうきたい (死に物狂いで仕事して稼いだ)。

ずんびやう [zimbjau] 【名詞】 淋病。

すんふ [sinfu] 【補助動詞】[k 語幹][A]

(形容詞語幹、動詞基本形、動詞連用形について、そのような状態になる)~ている [形容詞の語幹は最終母音を長音化するか、「たかたん」「まーくん」などのように「たん(に)」、「ん(に)」などを付けて結果状態を示すのが原則]。

[変異] すんつ、つんつ。

すんぶり [simburi] ① 【名詞】死ぬほどに惚れていること、またその状態。

【例】ばー っうあんかい すんぶりやー ひーゆー (私はあなたに死ぬほど惚れている)。② 【形容詞】べたぼれだ、べたぼれな。【例】からー むいとうぬみどうんかい すんぶりむぬ (彼は

奥さんにべたぼれだ)。

ずんみ [zimmi] 【名詞】[B] 話し合い、

議論。【例】ゆびやー ゆながいたー ひー うぐなーいぬ くとうー ずんみ あすたい (昨日は夜遅くまで集会のことを議論した)。

ずんみじゃー [zimmiza:] 【名詞】集

会所、公民館。【例】んきやーんな ずんみじゃーん うぐなーりどう すまー なうばい あすぼどう じゃうふ ないがていー はなっそう ひー うたいちゃ (昔は集会所に集まって、村をどうすればよくなるかと話をしたそうだ)。

せ

せ [se] 【助数詞】 畝（一反（300坪）の 10分の1）。 【例】 いっせ（1畝）。

そ

そーしき [so:ɕiki] 【名詞】葬式。

そうー [su:] ① 【名詞】 [B] おかず。

【例】ゆいぬ そうー (夕食のおかず)。まうきゃー いんきー ゆいが そうー とういが (前の海 (大浦湾) に行つて夕食のおかずを取りに (行く))。② 【名詞】 [B] 野菜。【例】そうーゆ いびー (野菜を植える)。くとうっさ はいぬ そうーや むいとう でいきーど ー (今年の畑の野菜は豊作だ)。

そうー [su:] 【動詞】 [vv 語幹幹] [A]

(苧麻の木の皮を繊維を取るために) 削ぎとる、(カンナで木の皮を) 削る、(穀類を) 脱穀する。【例】あーびぬ からひーどう ぶーゆぎゃー そうー (アワビの殻で苧麻の皮を削ぐ)。かなひーきーゆ そうっづい (カンナで木を削れ)。まいぬ ほうーや ていーひーや そうっづあいん (稲の穂は手ではすけない [> 脱穀できない])。

そうー [su:] 【動詞】 [vv 語幹幹] [A]

腐る。 [類] そうっづい。

そうー [su:] 【形容詞】 [B] 酸っぱい。

【例】そうー ふにゆーや ふあいー

はーや びぐあっづいー どうーい (酸っぱいミカンを食べて歯にしみている)。 [変異] すー。

そうー [su:] 【動詞】 [vv 語幹幹] [C]

走る。【例】わいていー そうっづい (一生懸命に走れ)。おい ほうりむぬ、まーぬ そうーな (おい バカ者、余り走るな)。ぶーっじゃ ぬそうみや ちゃー そうー (サトウキビを盗んだら一目散に走る)。

そうー [su:] 【名詞】 [C] 冬瓜 (トーガン)。

【例】そうーや がばー (冬瓜は大きい)。

そうー [su:] 【名詞】 [C] 潮、潮流。

【例】なまそう (小潮 [干満の差が小さいものを言う])。そうーつ (大潮 [干満の差が大きいものを言う])。さがいじゅー (引き潮)。んていじゅー (満ち潮)。そうーや ひきーどうー (潮は引いている)。そうーや んていーどうー (潮は満ちている)。そうーじゅー むぬ (潮流が速い)。

そうー [su:] 【名詞】 [B] 《形式名詞》

節を名詞化する形式名詞、「の」「こと」;

節を取って逆接を表す、「そうが」と同じ；引用をする際に用いる、「(～いう)のには」。

【例】やらびぬ ほういふ ないそうー やぐみ はーむぬ (こどもの大きくなるのはとてもはやい)。かいが やりぐるまん ぬーいたいそうー ずみゃー にゃーっだん (あいつのおんぼろ車にのったが乗り心地が悪かった)。しーしーたが あいそうー あいや あらんちゃ (先生がいうにはそうじゃないって)。ぱが つふたいそうー かい あたい (私が聞いたのはこうだった)。

[類] とうー、そうが。

そうー やい うい [su: jai ui]

【成句】動詞基本形についてそれぞれ別の動作をしている複数の人がいることを表す。「うい (いる)」は「あい (ある)」でもよい。

【例】ふあうそうー やい、ぬんそうー やい うたい (食べている人も、飲んでいる人もいた)。ひんずそうー やい、ひんがんそうー やい あたい (逃げる人も、逃げない人もいた)。

そうー やい ひーうい [su: jai hirui]

【成句】動詞基本形について複数の人がそれぞれ別の動作をしていることを列挙する。「うい (いる)」は「あい (ある)」でもよい。一人の人の動作を列挙する場合は、「ばらいまい あす、なつまい あす」のように言う。

【例】やらびんみゃー ばらうそうー やい、なつそうー やい ひーうたい (子供たちは笑ったり、泣いたりしてい

た)。いつそうー やい、ぬくいそうー やい ひーうい (行く人もいれば、残るもいた)。

そうー んつ [su: ntsi]

【成句】[c/t 語幹] 潮が満ちる。

【例】んなーぎゃー そうーや んたん (まだ潮は満ちていない)。

そうーうつ [su: utsi]

【名詞】旧暦の1日、15日頃の干満差が最も大きい時期。一年で潮の干満差が最も大きいのは新暦4～5月。旧暦3月3日は節句の行事になっている。

【例】そうーうつな っしん^んかい いつ (旧暦3月頃の干潮時にはリーフで潮干狩りする)。

[変異] そうーつ。

そうーかう [su: kau]

【名詞】『祭礼』(正月や「きじやい」(祭事)などに実家などに行つて)ものを供えること、焼香、法事。

【例】むとう やーんきー そうーかう あすが (本家に行つてお供え物をする)。

そうーかう でいん (香典)。

そうーかうやー [su: kauja:]

【名詞】(ものを供えに行く) 実家、親戚の家。

【例】きゅーや さうがつ やいば そうーかうやーんきー むぬー すきーくーでい (今日は正月なので実家に行つてものをそなえてこよう)。

ばー そうーかうんかい (私は法事に(行く))。

そうーじゃ [su: za]

【形容詞】[A] 羨ましい。

【例】つづあー じゃうぶと

うー むちー そうーじゃ (あなたは立派な旦那を持って羨ましい)。ばー っづあうぎゃー そうーじゃかいばならん (私はあなたが羨ましくてならない)。

そうーずがま [su:zɪgama] 【名詞】小道。【例】はいんかい そうーずがまう あいきー いつ (畑に小道を通って行く)。

そうーつ [su:tsɪ] 【名詞】[C] 旧暦の1日、15日頃の干満差が最も大きい時期一年で潮の干満差が最も大きいのは新暦4～5月。旧暦3月3日は節句の行事になっている。【変異】そうーうつ。

そうーで [su:de] 【助詞】『終助詞』自分の推論をのべる、とくに根拠がなくてもいい。「～なんだよ」「だよね」。【例】あいそうーで (そうなんだよ)。ういがすかまー いつまい うぬ しゆく そうーで (彼の仕事はいつもその程度なんだよ)。あいぬ やなつむっちゃむちや だみそうーで (そんな悪い根性ではいけないんだよ)。ぶばがまがすきゃきゃー かいそうーで (おばちゃんのやり方はこうだ)。っづあまい いたたいそうーでい (お前も行ったよね)。

そうーてい [su:teɪ] 【名詞】[A] 潮流。【例】かまぬ そうーちゅーぎゃー まないん うーぎ (向こうの潮流は気を付けて泳ぎなさい)。【変異】そうーでい。

そうーでい [su:deɪ] 【名詞】[A] 潮流。【例】そうーでいぬ あい とうくま (潮流のあるところ)。【変異】そうーてい。

そうーに [su:ni] 【名詞】[C] 瘤 (こぶ)。

そうーに [su:ni] 【名詞】[C] 小舟。【例】そうーにん ぬーりー たくとういが (小舟に乗ってタコ取りに(行く))。【類】さばに。

そうーひー [su:hi:] 【名詞】干潮。【例】そうーや っしー そうーひー なりーどうー (潮が引いて干潮になっている)。そうーひーんどう っしん^んかいや いつ (干潮時に潮干狩りに行く)。そうーひーんどう しなうぎゃー とうい (干潮にハマグリをとる)。

そうーます [su:masɪ] 【動詞】[s/h 語幹] 見せびらかす、欲しがらす。【例】たかだいぐるまう ひとつんかい みしー そうーます (高価な車を見せて自慢する)。

そうーみや [su:mja] 【名詞】[C] うらやましく思っている対象の人。【例】っづあー そうーみや (あなたのことが羨ましい)。

そうーん [su:n] 【動詞】[m 語幹] [C] うらやましがる。【例】あいや ひとつー そうーまん (そんなに人のことをうらやましがるものだ)。ひとつんかい むぬーぎゃー そうーまはん

(人にもものを見せびらかさない [見せびらかしてはいけない])。]

そうーんつ [su:ntsi] 【名詞】満潮。

【例】きゅーぬ じゅーにっじゃ そうーんつ (今日の12時は満潮)。んなまー そうーんつ (今は満潮だ)。そうーんつん うーず (満潮に泳ぐ)。[変異] そうーうつ、そうーつ。

そうい [sui] 【動詞】[母音語幹] [C]

連れる; (に) 比例して。【例】うつな一んかい やらびゃー そういー いつ (沖縄に子供を連れて行く)。うむくとうん そういどう なうまい ひらいー (能力次第で何でもできる)。

そうい [sui] 【名詞】[C] 一緒にいる

こと。【例】うぬきやが ふたーいやいつまい そうい (彼等二人はいつも一緒だ)。

そうい [sui] 【名詞】[C] 同じもの、同

じょうなもの、そっくり。【例】うぬふたーつちや そういぬ むぬ (その二つは同じもの)。うぬきやが っざっふあー むいとう そうい (あの父子はそっくりだ)。そうい ふたーい (似た二人)。

そうい [sui] 【動詞】[母音語幹] [A]

加える、添える。【例】うるー ういんかい そういる (これをそれに加えない)。かいが たまー ひーちやかいば っぞうー みから そういる (あいつの取り分は少ないので魚を三匹付け足せ)。

そうい [sui] 【動詞】[母音語幹] [A]

沿う、従う。【例】ぶとうとうん そういー ひとつみ まーり (夫に従って一緒に行動しなさい)。

そうい [sui] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] (髪、

草、紙)を(はさみ、鎌などで)切る; (ひげをカミソリなどで)剃る [「(木を)切る」は「きー」を使う]。【例】あかう そうい (髪を切る)。かやう そうい (茅を切る)。ひぎゅー そうい (髭を剃る)。あかうぎゃー にーから そうり (丸坊主にしてくれ [＜髪を根から剃れ])。

そういなうい [suinaui] 【動詞】[r/rr

語幹] 一緒になって実を結ぶ(成功する)。【例】かぬ びきりやとう そういなうり (あの青年と一緒に成功しろ)。

そうが [suga] 【助詞】『接続助詞』節

をとって逆接を表す、「～が」、「～けれど」[動詞の文終止の形につく]。【例】やーぬ かぎゃー みーがま くーがま とうみたいそうが なうちゆんま とうみらいん (家の鍵は隈なく探したが全く見つからない)。ゆながい まちゅーそうが かりゃー いつがみまい くーん (長い間まっているが彼はいつまでも来ない)。さうがつ やいそうが どうすまい やらびんみ ていっじゅまい くーん (正月だが友達も子供たちでさえも来ない)。まちゅーそうが (待っているが)。ふあいゅーそう

が（食べているが）。ばらいーゆーそう
が（笑っているが）。あいきーゆーそう
が（歩いているが）。うーぎーゆーそう
が（泳いでいるが）。

そうがい [sugai] ①【動詞】[r/rr 語幹]
[C] 装う、着飾る。【例】ぱーたー
かぎそうがいやひー いでいー はた
い（おばあたちは着飾ってでかけてい
った）。[類] そうがい（母音語幹）。②
【名詞】[C] 準備、支度、装い。【例】い
んかいぬ そうがい（海への支度）。か
ぎ そうがい（きれいな装い [＞出かけ
るまえにきれいに着飾ること]）。やぐ
み そうがい（すごいお洒落）。ひゃー
そうがい（速い支度）。しゃり そう
がい（お洒落な身仕度）。かぎずんな
っちー かぎそうがいやひー ゆーい
んかい いかでい（きれいな着物を着
て着飾ってお祝いにいこう）。[類] そう
ぎやう。③【形容詞】[B]（いつも）着
飾るのに時間がかかる。【例】みどうん
みゃー あてい そうがいかいば ま
ちゃいん（女性たちは余りにも着飾る
ので待てない）。

そうがい [sugai] 【動詞】[母音語幹]
[C] 装う、着飾る。[類] そうがい (r/rr
語幹)。

そうから [sukara] 【形容詞】[B] 塩
辛い。【例】そうから んつつー（塩
辛い味噌汁）。んつつーや そうからか
いば ぬまいん（味噌汁は塩辛いので
飲めない）。

そうから [sukara] 【名詞】[C] 脛（す
ね）。

そうからぶに [sukarabuni] 【名詞】
脛骨。【例】そうからぶにゃー ぼー
るん ふぁーはいー いちやかいば
んびゃーいん（脛骨をボールをぶつけ
られて痛くて我慢できない [＜ボール
に]）。

そうぎやう [sugjau] 【名詞】[B] 姿、
見かけ、恰好、踊る姿・歩く姿等の立ち
居振る舞い。【例】やぐみ じゃう
そうぎやう（とても良い恰好だ）。かい
が ぶどういや やぐみ そうぎやう
かぎむぬ（彼女の踊りはとても品が
ある）。

そうく [suku] ①【名詞】[C] 人を表す
人称代名詞や指示代名詞のガ格につい
て、つまらない、程度の低いやつとい
う意味を表す、～ぐらい、～ばかり、～みた
いな。【例】かぬ そうくーぎゃー ゆ
らはん（あいつのことは許さない）。う
いが そうくがまんな でいんぬぎゃ
ー かしん（そんなやつにはお金は貸
さない）。かいが そうくがまうぎゃ
ー ばらいー すている（あいつのこ
とは笑ってしまえ）。つづあが そうくが
まんな なうまい ひらいん（お前み
たいなやつにはなにもできない）。かぬ
きゃが そうくがまんな まきん（あ
いつらなんかには負けない）。[類] そう
く、しゃく。②【名詞】[C] ものを表す
指示代名詞のノ格について、それ程度

くらいでしかないという量を表す、また、単に程度をあらわす、～ぐらい、～ばかり；ものや時期を表す名詞のノ格についてだいたいの時期を表す、～ころ。【例】うんそうく あすたー んめ じゃうぶん あらんな（これくらいで十分じゃないかい）。すかまんかい んなまが そうく ふーぬが（今頃仕事に来るのか）。ういが すかまー いつまい うぬ そうく だら（彼の仕事はいつもその程度だ）。ばが たまー うん そうくな（私の取り分はこれくらいか）。[類] そうく、しゃく。

そうく [suku] 【名詞】[A] 底、低い場所。【例】いんぬ そうく（海の底）。そうくずー（低いところにある土地）。そうくにゃー（＜そうくぬ やー、周りよりも低いところにある家）。

そうく [suku] 【名詞】[C] 『魚』アイゴの稚魚。【例】そうくぬどう ゆりーちちゅーい（アイゴの稚魚が海流に乗って寄ってきている）。

そうぐ [sugu] 【副詞】すぐに。【例】そうぐ くー（直ぐに来い）。

そうくー [suku:] 【名詞】[B] 帯。【例】つんぬぎゃー そうくーひどう すまい（きものを帯で結ぶ）。かーそうくー（皮のベルト）。

そうくい [sukui] ① 【動詞】[r/rr 語幹] [A] ずれる。【例】つうあが ずぼんな そうくりーはりーにゃーん（お前

のズボンはずり落ちかけてる）。② 【動詞】[r/rr 語幹] [A] 滑る。【例】うるーうまんかい そうくらし（それをそこに滑らせろ）。なびー どうくまん そうくりーにゃーん（すべすべした所で滑ってしまった）。やらびゃー なびー どうくまん がらていー そうくりーはりーにゃーん（子供はすべすべした所で滑ってしまった）。③ 【形容詞】[A] 滑りやすい。【例】うまー なびー かいば そうくいかいば なん（ここはすべすべしてよく滑ってしまう）。

そうくがらす [sukugarasi] 【名詞】『食』アイゴの稚魚の塩漬け。【例】そうくがらっさ そうからむぬ（アイゴの稚魚の塩漬けは塩辛い）。そうくがらっさ ろくがつぬ かんないと ひとつみ うていーふー（アイゴの稚魚は月の雷と一緒に落ちてくる）。[変異] そうくがらそう。

そうくがらそう [sukugarasu] 【名詞】『食』アイゴの稚魚の塩漬け。[変異] そうくがらす。

そうくつ [sukutsi] ① 【形容詞】[B] 粗雑な人、根性が悪い。【例】かいがどう んながーな そうくつかい（彼が一番粗雑だ）。[変異] すくつ。② 【名詞】[C] 粗雑な人；粗末にすること。【例】あいぬ そうくつや つかーいん（あんな粗雑なやつは雇えない）。かりゃー そうくつ びとう やいば なうゆどう かんがいゆーががら っさいん

(あいつは粗雑なやつだから何を考えているかわからない)。[変異] すくつ。③【副詞】粗雑に(扱う)、乱暴に(扱う)。
【例】むぬーぎゃー そうくつ あすな(物を粗末に扱うな)。[変異] すくつ。

そうくつな [sukutsina] ①【形容詞】粗雑だ、粗雑な、根性が悪い。[変異] すくつな。[類] そうくつ。②【名詞】粗雑な人；粗末にすること。【例】むぬーぎゃー そうくつなうぎゃー ほうだあたらっさひー つかい(物を粗末にしないで大切に使いなさい)。[変異] すくつな。[類] そうくつ。③【副詞】粗雑に(扱う)、乱暴に(扱う)；(粗末に)する。[変異] すくつな。[類] そうくつ。

そうくびー [sukubi:]【名詞】底冷え。
[類] そうくひぐい、そくひぐる。

そうくひぐい [sukuhigui]【名詞】底冷え。【例】きゅーや そうくひぐいやひー っしかいば ならん(今日は底冷えして寒くてならない)。ふゆ ないていがー そうくひぐい あす(冬になると底冷えする)。[類] そうくびー、そうくひぐる。

そうくひぐる [sukuhiguru]【名詞】底冷え。[類] そうくびー、そくひぐい。

そうじゃ [suza]【名詞】[C] 兄。【例】あに そうじゃぬ むぬいゆぎゃー うっとうんみゃー わいていー つきーならい(姉・兄の忠告は弟・妹たちはしっかり聞いて身に付けなさい)。そう

じゃが むぬいゆぎゃー つき(兄の言うことには従え)。

そうじゃっそう [suzassu]【名詞】先輩たち、村の役員、男の年長者。【例】うたきんな そうじゃっそうんみぬ むぬいゆぎゃー まさぐんていー つき(御嶽では先輩たちの話はちゃんと聞け)。すまぬ そうじゃっそうー いらう(村の役員を選ぶ)。そうじゃっそうんみゆーぎゃー たかさ ほうだかーならん(年長者は大切にしないとイケない)。うっとうっそうんみゃー そうじゃっそうんみぬ むぬいゆ つかだかー ならん(後輩たちは先輩たちについて従わないとならない)。さきゅー そうじゃっそうんかい つづ(酒を先輩に注ぐ)。

そうだき [sudaki]【動詞】[母音語幹]
[A] 育つ、巣立つ。[変異] すだき。

そうだつ [sudatsi]【動詞】[k 語幹]
[A] (作物などが)育つ；(子供が)大きくなる、育つ。【例】くぬはなー かぎんな そうだかん(この花は日陰では育たない)。くとうっさ はーさぬ まんごーぬどう そうだきゅー(今年はたくさんマンゴーが育っている)。[変異] そうだふ。[類] そうだつ(c/t 語幹)。

そうだつ [sudatsi]【動詞】[c/t 語幹]
[A] (作物などが)育てる；(子供を)育てる。【例】くぬはなー かぎんな そうだたん(この花は日陰では育たない)。くとうっさ はーさぬ まんごー

ぬどう そうだちゅー（今年はたくさんマンゴーが育っている）。んまー みーだ うらんまい っふぁー そうだつどうす（母親はいなくても子供は育つ〔＜見ていなくても〕）。〔変異〕すだつ。〔類〕そうだつ（k 語幹）。

そうだつ [sudatsi] 【動詞】 [k 語幹] [C] 育つ、巣立つ。〔変異〕すだつ、そうだふ。

そうだてい [sudati] 【動詞】 [母音語幹] [A]（作物などが）育つ；（子供が）大きくなる、育つ。【例】っふぁうぎゃー まながん そうだてい（子供はちゃんと育てろ）。〔変異〕すだてい。

そうだてい [sudati] 【動詞】 [母音語幹] [A] 育てる。〔変異〕すだてい。

そうだふ [sudafu] 【動詞】 [k 語幹] [A]（作物などが）育つ；（子供が）大きくなる、育つ。〔変異〕そうだつ（k 語幹）。〔類〕そうだつ（c/t 語幹）。

そうだふ [sudafu] 【動詞】 [k 語幹] [C] 育つ、巣立つ。〔変異〕すだつ、そうだつ。

そうつ [sutsi] 【動詞】 [k 語幹] [C] 空く。〔変異〕すつ、すふ、そうふ。

そうっづあす [suvvasi] 【副詞】 [s/h 語幹] 走る。

そうっづい [suvvi] ① 【動詞】 [母音語幹] [C]（炊いたコメ等が）腐る、腐りかける。【例】まいや そうっづい

ー どうーい（ご飯は腐っている）。② 【動詞】 [母音語幹] [C] 魚肉等が腐って、食べようとしたら唇等に痛みを感じる。【例】っぞうー そうっづいー すばうまい さしーどうー（魚は腐っていて唇を刺すように刺激する）。うぬ っぞうー んめ そうっづいーどう（その魚はもう腐りかけている）。〔類〕さす。

そうっづい [suvvi] 【動詞】 [母音語幹] [C] 勢いよく走る。【例】たやん そうっづい（力を入れて走れ）。〔類〕そうー。

そうっふい [suffi] 【動詞】 [母音語幹] [C] 掬（すく）う；こそぐ。【例】だいだまぬ っぞうー だぶひー そうっふいー とうい（ダイナマイトでの密漁の魚を網カゴで掬ってとる）。〔類〕そうふー。

そうでい [sudi] 【名詞】 [B] 袖。【例】つんぬ そうでい（着物の袖）。

そうでいあん [sudian] 【名詞】 『道具』袖網 [漁網の両わきに、さらに補助的に取り付ける網]。〔類〕きたあん。

そうに [suni] 【名詞】 [C] 『歌語』海の向こうの岩のような小さな島、漁師が魚を取る場所でもある。【例】みゃーくぬ あやぐー そうにーずま（宮古の歌は沖の離れ小島までも（届くように）[古謡「とうがにあやぐ」三番より]）。

そうぬい [sunui] 【名詞】[C] 《食》モズク。【例】そうぬいや なびーむぬ（モズクはぬるぬるしている）。[変異]すぬい。

そうば [suba] 【名詞】[B]（正面ではない方向）側。【例】そうばみー あすな（よそ見するな）。ばが そうばんかい くー（私の側にこい）。

そうば [suba] 【名詞】[B] 《食》宮古ソバ（そば粉でなくメリケン粉でできた麺）。【例】じょ っさらんきー そうば ふあうが（平良に行って宮古そばを食べよう）。

そうふ [sufu] 【動詞】[f/ff 語幹] [C] 空く。【例】むぬー にやーだ んぎー まっちやー そうっふいー どうー（商品は減って店は空っぽの状態である）。[変異]すつ、すふ、そうつ。

そうふ [sufu] 【動詞】[k 語幹] [C] 空く。[変異]すつ、すふ、そうつ。

そうふー [sufu:] 【動詞】[f/ff 語幹] [C] 掬（すく）う；こそぐ。【例】なびぬすーゆ そうっふい いだす（鍋の汁を掬ってだす）。なびぬ そうくー そうっふい いだす（鍋の底（のおこげ）をこそげてだす）。[類] そうっふい。

そうまい [sumai] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] 染まる；においがつく。【例】っづあー かじやー そうまりー ふさかいば ならん（お前は臭いがついて臭くてしかたがない）。っそう かじや

ぬどう そうまりゆー（糞の臭がついている）。

そうまりや [sumarja] 【名詞】[C] 見染めた人、好きな人。【例】くりやー ばがとうず、ばが そうまりや（これは私の妻です。見染めた人です）。[変異] そうみやりや。[類] そうみやー。

そうみ [sumi] 【動詞】[母音語幹] [A] 染める。【例】あいひー つんぬ そうみー（藍で着物を染める）。

そうみむぬ [sumimunu] 【名詞】染物。【例】みやーく じょうふー あいひぬ そうみむぬ（宮古上布は藍での染物）。

そうみやー [sumja:] 【名詞】[C] 見染めた人、好きな人。【例】くりやー ばがとうず、ばが そうみやー（これは私の妻です。最愛の人です）。[類] そうまりや（<そうまい（染まる））。

そうむつ [sumutsi] 【動詞】[k 語幹] [A] 背く。【例】あいや ひとつんか いや そうむかん（あまりひとに背かない[背くな]）。[変異] そうむふ。[類] そうむき。

そうむふ [sumufu] 【動詞】[k 語幹] [A] 背く。[変異] そうむつ。[類] そうむき。

そうら [sura] 【名詞】[C] 先の方、先端部分。【例】きーぬ そうら（木のとっぺん）。そうら っそうがい（末広

がり)。きーぬ そうらんどう かじゃー
ふつ (木の先端に風は吹く [> 上に立つものに波風は立つ])。ぶーずぬ
そうらう きー (サトウキビの先端を切る)。

そうりんだい [surindai] 【名詞】切り傷。【例】くまー ぎすつひぬ そうりんだいどー (ここはすすきで切った切り傷だよ)。

そうるー [suru:] 【動詞】[w 語幹] [C] 揃う。【例】やーじゃー んーな そうるいーどー (家族は皆揃っている)。

そうるいどー かぎさ [suruidu kagisa] 【成句】(家族皆が) 揃う事が一番良い。【例】きゅーまい そうるいどー かぎさどー、やびとーんな (きょうもみな一同に集まりすばらしいぞ、みなさん)。

そうるかす [surukasi] 【動詞】(座を) 盛り上げて賑やかにさせる。【例】そうるつ びとーから ぶどーりー んーなう そうるかす (盛り上げる人から踊ってみんなを引き入れて賑やかにさせなさい)。

そうるき [suruki] 【形容詞】[B] (人がものごとに参加することに) 積極的な、躍動的な、動的な、賑やかな、元気な; (場所が) 賑やか。【例】からーむいどーぬ そうるきびとー (彼はとっても (物事に参加することに) 積極的だ)。そうるき ぶどーい (動的な踊

り)。くまんつきやー かまぬどー そうるきかい (ここよりむこうのほう賑やかだ)。[類] そうるつ。

そうるき [suruki] 【動詞】[母音語幹] [C] 元気よく頑張る、躍動する、そうるきー・そうるきん・そうるきる。【例】じょー やびとーんーな わいていー そうるきーみーでい (さあ、みんな元気よく頑張ろう [< 頑張ってみよう])。[類] そうるつ。

そうるつ [surutsi] 【動詞】[k 語幹] [C] 積極的に参加する。【例】からーぶどーいどーきやんな ならからどー いつまい そうるきー ぶどーい (彼はいつも踊りの時は自分から積極的に参加する)。[変異] そうるふ。[類] そうるき。

そうるふ [surufu] 【動詞】[k 語幹] [C] 積極的に参加する。[変異] そうるつ。[類] そうるき。

そうるみつ [surumitsi] 【形容詞】清潔な。【例】くまぬやーや そうるみつ やー (この家は清潔な家)。[類] そうるき。

そうん [sun] 【動詞】[m 語幹] [A] 染める; 染まる。【例】ぶーずんぬぎやー あいひどー そうみー (宮古上布は藍で染める)。

そうん [sun] 【名詞】[C] 損。【例】んーぬー ばくちやーひー そうんなひーにやーん (昨日博打で損をした)。

そうんうー [sunu:] 【動詞】 [b 語幹]

(植物や生き物などが) 成長する、(体が) のびる、(道などが) のびる；(曲がったものを) のぼす；(道を) 延長する。

【例】 やらびやー どうーや そうんび ンキー なきゅーたい (子供は身動き一つせず泣いていた)。[類] そうんばす。

そうんがん [sunɡan] 【名詞】 家にある

最も大きなお椀。 [類] そうんがしまかい。

そうんがしまかい [sunɡammakai]

【名詞】 家にある最も大きなお椀。 【例】 うやんかいや そうんがしまかいかい むぬーぎやー いりー みやらし (おじーさんには一番大きなお椀に食事をいれて差し上げなさい)。[類] そう

んがん。

そうんつきやー [suntsikja:] 【接尾

辞】 (動詞基本形に付いて) のよりも [そう (の、もの) +んつきやー (よりは)]。 【例】 にんぎんな つじそうんつきやー ふいーぼどう ほうからすかい (人間は貰うのより与える方が嬉しい)。

そうんばす [sumbasi] 【動詞】 [s/h 語

幹】 (体を) 真っ直ぐにする；(釘など曲がったものを) のぼす；(道などを) のぼす。 【例】 くっそう そうんばす (腰を伸ばす)。かにふっじゅ そうんばす (釘をのぼす)。くまぬ んっちゅ っさらたーひ そうんばし (ここの道を平良まで伸ばせ)。

そろばん [soroban] 【名詞】 算盤。

た

だ [da] 【接尾辞】動詞否定形「ん」の連用形。動詞未然形について、「～しないで、～せずに」を表す。【例】くるまぬ ういかだ んぎーにゃーん（自動車が動かなくなった）。ゆみんかい いかだ やーん うたい（嫁に行かずに家にいた）。ぼっしだ ういきゃ なうゆまい ほうだかー ならん（何事も忘れないうちになんでもやらないといけない）。

だ [da] 【助詞】『終助詞』提題形について「～はどう？」という意味を表す。【例】つうあーだ（あなたはどうなの？）。

たー [ta:] 【接尾辞】動詞基本形について過去を表す接尾辞〔名詞述語の過去「名詞+だった」は「名詞+あたい」、形容詞述語の過去形は「形容詞語幹+かたい」で表す。〔変異〕たい。

だー [da:] 【助詞】『終助詞』述語として使われる名詞について、「その程度だ」という意味を表す；「名詞+ん（に）」について、「～次第だ」を表す。【例】ういが かなまいや うぬしゆくだー（彼の考える力はその程度しかない）。ばーでいんな うさきだー（私はお金は

これだけだ）。つうあんだー（あなた次第だ）。うぬ みどうんぬ どうっじゅあす むぬー つうあんだー（その女の人を妻にするかどうかはお前次第だ）。びきどうんぬ すぐりーむぬー みどうんだー（男の出世は妻次第だ〔みどうんだー＝みどうん+ん+だー〕）。

たーい [ta:i] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] 熟睡している、眠りこけている；（酔っぱらうなどして）正体不明である。【例】やらびゃー たーいていがー んめうきん（子供は熟睡したら起きない）。びゅーいー たーりーどうー（酔っぱらって眠りこけている）。にゅーたーりびとう（眠りこんだ人）。びゅーいたーりーどうー（ぐでんぐでんに酔っぱらっている）

たーう [ta:u] 【動詞】[vv 語幹幹] [C] めまいがする、ふらふらする。【例】わーぬ あつうあー ふあいー たーっづいーどうー（豚のあぶら肉を食べてくらくらしている）。さきゅー ぬみー たーっづいどうー（酒を飲んでふらふらする）。

たーがみ [ta:gami] 【名詞】タガメ、カ

メムシ、水生昆虫。【例】くぬいや
たーまい にやーんば たーがみまい
みーらいん（最近は何もないので、タ
ガメもない）。[類] たーぬかみ。

たーす [ta:si] 【動詞】 [s/h 語幹] [C]
無駄遣いする。【例】まーぬ でいん
ぬぎやー たーすな（あんまり金を無
駄遣いするな）。みっじゅぎやー まー
ぬ たーはだうり（水を無駄使いする
な）。

たーっづい [ta:vvi] 【動詞】 [母音語
幹] めまいがする、ふらふらする。[類]
たーう。

たーっぞう [ta:zzu] 【名詞】 鮒（フ
ナ）。【例】たーっぞう とうい う
やがま（鮒を取るおじいさん [昔は鮒
を取って薬にするために売っていた]）。
[類] たーぬっぞう。

たーどう [ta:du] 【名詞】 [A] 人を表
す疑問代名詞、「たる」（誰）の複数形。
【例】たーどうがどう った（誰 [複数]
がきたのだ?）。うらー たーどうが
ぬーま（これは誰 [複数] の馬だ?）。う
ぬやらびんみやー たーどうが（この
子供たちは 誰 [複数] のこどもです
か）。[変異] たーる。

たーな [ta:na] 【助詞】（名詞のあと、
格助詞のあとについて）それ以外はな
い、～しないことを表す、～だけ。【例】
じゃう はなっそうたーな あっそう
（いい話だけしなさい）。ていびゅーぎ

やー みーだ まいゆたーな みー
あいき（後ろを見ずに前だけを見て歩
け）。まいたーな ふあーだ っぞうま
い ふあい（ご飯だけでなく魚も食べ
る）。やらびんみたーな っちゅーたい
（子供だけが来た）。っさらんかいたーな
いつたい（平良にだけ行った）。

たーぬかみ [ta:nukami] 【名詞】 〔昆〕
タガメ。【例】くぬいや たーぬかみ
まい みーらいん（最近は何も見
えない）。[類] たーがみ。

たーぬっぞう [ta:nuzzu] 【名詞】 鮒
（フナ）。[類] たーっぞう。

たーぬびー [ta:nupi:] 【名詞】 蛭（ヒ
ル）。【例】たーぬびーん あかっちゃ
ゆばいーにやーん（蛭に血をすわれ
た）。

たーひー [ta:hi:] 【助詞】 場所を表す
名詞についてその場所まで（移動する
ことを）を表す、まで；時を表す名詞
についてその時間まで動作を継続する
ことを表す；時を表す名詞についてそ
の時間に動作を終えることを表す、ま
でに [時間を表す動詞につくときは、
「～きゃ（時）」をつける]。【例】ば
んちやー うじやーなーぬ ぶらたー
ひー いきゅーたい（私達はずっと遠
くの保良まで行っていた）。みどうんみ
ぬ ゆがたいゆ すきやきていがー
んめ ゆさらびたーひー（女性たちが
おしゃべりを始めたらなんと夕方まで
（終わらない））。さんじたーひー にゆ

ー (三時まで寝る)。ばが ふーきやた
ーひー まちゅーとうい ふいーさま
てい (私が来るまで待っていてくださ
い)。さんじたーひー くぬ すかまう
とうどうみ ふいーさまてい (3時ま
でにこの仕事を済ませてください)。

たーまーら [ta:ma:ra] 【名詞】《昆》
タイワンウチワヤンマ [子供のころ
マーニの葉の芯で作った輪っかをスス
キの茎にむすんで引っかけて取ってい
た]。

たーまい [ta:mai] 【名詞】 水稻。

たーら [ta:ra] 【名詞】 [A] 俵。【例】
あーだーら (粟俵)。くみだーら (米俵)。
まいだーら (米俵)。

たーらぐー [ta:ragu:] 【名詞】《祭礼》
御嶽で使われる言葉、お供え物を載せ
るため木の葉などをお盆の代わりにし
たもの。葉の大きい「ゆなぎーぬはー」
(ゆうなの木の葉) (「やらうぎーぬはー」
(テリハボクの葉)「ばさぬはー」(芭蕉
の葉)などが使われた。[「たーら」は
「俵」からか]。

たーらん [ta:ran] 【成句】 ありえない
(話)。【例】 からー いつまい たー
らんくとうー ずまん あす (彼はい
つもありえないほら話を自慢する)。

たーる [ta:ru] 【名詞】 [A] 人を表す
疑問代名詞、「たる」(誰)の複数形。
[変異] たーどう。

たーん°ん はず [ta:n̄n hazi] 【成
句】 大きな足 [＜田を踏む足] (稲を植
える前に田んぼを踏みこむが、大きい
足はより効果的なので、その時に有利
な大きな足のことを言う)。【例】 たー
ん°ん はずひー たーゆ ン°ん (大
足で田んぼを踏む)。たーん°ん はず
びとう (とても足の大きい人)。[変
異] たーん°ん ばず。

たい [tai] 【接尾辞】 動詞基本形につい
て過去を表す接尾辞 [名詞述語の過去
「名詞+だった」は「名詞+あたい」、形
容詞述語の過去形は「形容詞語幹+か
たい」で表す。【例】 きゅーや はち
じん うきたい (今日は8時におきた)。
ひとうむてい ていびぬ ン°ちゅ
あいつたい (今朝、裏の通りを歩いた)。
くじゅー やぐみ はーさ すかまう
あすたい (去年とてもたくさん仕事
をした)。[変異] たー。

たい [tai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] (酒
を粟を口で噛んで) 作る。【例】 あー
ゆ かみー ン°ちゅ たい (粟を噛
んで神酒を作る)。

たい [tai] 【動詞】 [母音語幹] [C] 腹
を立てる；((配偶者などに対し) やき
もちを焼く；(配偶者などの愛人に) 嫉
妬する。【例】 とうっじゃ ぶうとう
ぬ すかまー ほうんぼどう たいゆ
ー (奥さんは旦那が仕事をしないので
腹を立てている)。ばが みどうんな
いつまい ばぬんかい たいーどうー

(私の妻はいつもわたしにやきもちをやいている)。やーぬ　とうっじゃ　にごーんかいどう　うんそうく　たいゆー (家の妻が(旦那の)愛人にとても嫉妬している)。

たい [tai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 「またう　たい」の形で、(幼児や酔っ払いが)足元がふらつきながら歩く[「たい」単独では使わない] 「またたい」を参照。

たい [tai] 【名詞】 [C] 態度、考え。

【例】うぬきやが　ふたーいや　ゆぬたい (その二人は同じような考えや態度をしている)。

だい [dai] 【形容詞】 [B] なまけもの；だるい。【例】まさいや　むいとうぬ　だいむぬ (マサイはととても怠け者だ)。ばー　きゅーや　だいかいば　すまうぎゃー　ほうじゃーん (私は今日はだるいので仕事はしない)。

たいがいじゃんみん [taigaizamin] 【名詞】 適当なやり方、いい加減なやりかた [＜たいがい＋さんみん]。【例】たいがいじゃんみんぬぎゃー　ほうだ　まさぐん　すかまうぎゃー　あっそう (適当なやり方をせず、ちゃんと仕事をしなさい)。

だいきし [daigiçi] 【名詞】 怠け者、鼻持ちならない人 [＜代議士]。【例】すかまーひらいん　なまだん　だいきし (仕事のできない怠け者)。

だいきや [daikja] 【成句】 疲れるまで、時間が大分経過していること。【例】すかまー　だいきや　ひーにゃーん (仕事は疲れる程たくさんやった)。かいはりーからー　だいきや　なりーど　う (彼が帰ってからは大分時間は経過している)。

だいさ [daisa] 【名詞】 [C] なまけ癖。【例】かいはりー　だいさー　たるんまい　ならーはいん (あいつのなまけ癖はだれにもなおせない)。

だいしや [daiça] 【名詞】 [C] 《遊》ケンケンする (遊びの一つ：一つの足を反対の手でもって片足でけんけんする)。【例】じよ、んーなひー　だいしやう　ほうでい (みんなでケンケン遊びをしよう)。だいしやーひー　けんけんぱーや　ひー　かーらー　きりー　あそー (片足飛びでケンケンパーして瓦蹴りの遊びをして遊ぶ)。

だいずがだいず [daizigadaizi] 【成句】 まさか、そんなことがあるのか。

たいたい [taitai] 【擬態語】 (よっぱらいや幼児が)足元がふらつきながら歩く様子を表す、ふらふら、よちよち。【例】やらびやー　たいたいてい　あいつ (こどもがよちよちと歩く)。

だいだま [daidama] 【名詞】 ダイナマイト。【例】だいだまー　ぱずきーにゃーん (ダイナマイトは破裂した)。だいだまーい (ダイナマイトでの密漁)。

だいだままーい [daidamama:i] 【名詞】ダイナマイトでの密漁。【例】だいだままーいや んぬつ ふあう（ダイナマイトでの密漁は命を奪う）。

たいつき [taitsiki] 【動詞】〔母音語幹〕（相撲等でうわ手投げで人を）投げる、（ものを）たたきつける。【例】まさいや かにん たいつきらいーにやーん（マサイはカニに投げられてしまった）。くぬ なうぬ みーんな ならん ばりまかいゆぎやー たいつきーすている（この役立たずの割れ茶碗を叩きつけてしまえ）。

たいていー [taiti:] 【副詞】ピタッと（くっつける）。【例】たいていー むったーらし（ピタッとくっつける）。

だいはん [daiban] 【名詞】《魚》大型のカツオ。

たいみつ [taimitsi] 【動詞】〔k 語幹〕口うるさく言う、文句を言う、小言を言う。〔変異〕たいみふ。〔類〕だいまつ、ぶいまつ。

だいまつ [daimitsi] 【動詞】〔k 語幹〕口うるさく言う、文句を言う、小言を言う。〔変異〕だいまふ。〔類〕たいみつ、ぶいまつ。

たいみふ [taimifu] 【動詞】〔k 語幹〕口うるさく言う、文句を言う、小言を言う。〔変異〕たいみつ。〔類〕だいまつ、ぶいまつ。

だいまふ [daimifu] 【動詞】〔k 語幹〕口うるさく言う、文句を言う、小言を言う。〔変異〕だいまつ。〔類〕たいみつ、ぶいまつ。

だいまぬ [daimunu] 【名詞】怠け者。【例】かりやー すかまー ひらいんだいまぬ（彼は仕事のできない怠け者だ）。

たいわんなーずつ [taiwana:zitsi] 【名詞】《植》紫カタバミ、四葉のクローバー。【例】たいわんなーずつちや なんとが うさはいん（四つ葉のクローバーはなかなか除草できない）。

たいわんばるんな [taiwambarunna] 【名詞】《生物》アフリカマイマイ。【例】たいわんばるんなー がばー はるんな（アフリカマイマイは大きなカタツムリだ）。

だう [dau] 【形容詞】〔C〕沢山ある。【例】うまんな なうまい だう（ここには何でも沢山ある）。かいがどう んながーな でいんな だうかい（彼が一番お金を沢山持っている）。

たうー [tau:] 【動詞】〔vv 語幹〕〔C〕（網や綱を）手繰る、引き寄せる。【例】あんぬ たうー（網を手繰り寄せる）。あんぬ たうぐい（網を手繰りよせろ）。ん^んなう たうぐい（網を引き寄せろ）。うりゆーぎやー たうぐい すている（彼を追い抜いてしまえ）。

だうー [dau:] 【名詞】 [C] 道具。【例】
だいだまー やなだうー やいば う
りゅーぎゃー つかーだうり (ダイナ
マイトは危険な道具なのでそれを使う
な)。かんにがいだうー (祭具)。さや
ふだうー (大工道具)。ふなだうー (船
具)。まかいだうー (食器)。あそーだ
うー (遊び道具)。

たうい [tau:] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C]
倒れる。【例】まさいや かにん う
さいー たうりーにゃーん (マサイは
カニに押し倒された)。がらていー た
うりー はりーにゃーん (崩れるよう
に倒れた)。かでいふつんな きーぬ
たうい (台風には木が倒れる)。たちや
っでい あすきゃー みっふあまーい
や ひー、たういぎかたい (立とうとし
たらめまいがして倒れそうになった)。

たうかー [tauka:] 【名詞】 一人、独り。
【例】うまんな ぼん たうかーどう
うたい (そこには私一人だけがいた)。
きゅーや たうかーや っさらんかい
んめ たうかーや うるかんかいち
ゃ (今日は一人は平良に、もう一人は
ウルカ (砂川) に (行くん) だってさ)。
[変異] たうきゃー。

たうかーなー [tauka:na:] 【成句】 1
人ずつ。【例】たうかーなー たうか
ーなー ならーす (一人ずつ教える)。

たうかーぬからだ
[tauka:nukarada] 【成句】 ひとり残らず。
[変異] たうかーぬくらだ。

たうかーぬくらだ [tauka:nuku-
rada] 【成句】 ひとり残らず。【例】や
らび ういびとう たるーまい たう
かーぬくらだ ゆーいんかいや とう
むーし (子供も年寄りも一人残らずお
祝いの席に招待しなさい)。[変異] た
うかーぬからだ。

たうかーびとう [tauka:bitu] 【名
詞】 独り者。 [類] たうかーむぬ。

たうかーむぬ [tauka:munu] 【名詞】
独り者。【例】うりゃー とうっじゃ
みーん たうかーむぬ (彼は奥さん
がいない独り者だ)。[類] たうかーび
とう。

たうかーむぬい [tauka:munui] 【成
句】 独り言。【例】かりゃー いつま
い たうかーむぬいゆどう あす (彼
はいつも独り言を言う)。[類] たうか
ーむぬゆん。

たうかーむぬゆん [tauka:munu-
jun] 【成句】 独り言。 [類] たうかー
むぬい。

たうがに [taugani] 【名詞】 宮古民謡
の一つ [「とうがに」とも発音する]。

たうきゃー [taukja:] 【名詞】 一人、
独り。 [変異] たうかー。

たうしんがー [tauŋga:] 【名詞】 南
京袋、麻袋。【例】たうしんがーゆ か
っづいー にゅー (南京袋をかぶって
寝る)。たうしんがーぶくる (南京袋)。

たうしんばい [tauçimbai] 【名詞】
 おたふく風邪。【例】たうしんばいや
 いでいどう かまっちゃ ふくりゆ
 ー（おたふく風邪が出て頬は腫れている）。たうしんばいや ひどう みはな
 ー ふくりゆー（おたふく風邪で顔が
 腫れている）。

たうす [tausi] 【動詞】 [s/h 語幹] [C]
 倒す、(サトウキビを) 収穫する。【例】
 ゆつひー きーゆ たうす（斧で木を
 倒す）。ぶーっじゅ たうす（サトウキ
 ビを収穫する）。

たうに [tauni] 【名詞】 [C] 豚に餌を
 与える容器。【例】わーぬ ふあうむ
 ぬー たうにんかい いりー（豚の食
 べ物を容器に入れる）。

たうふ [taufu] 【名詞】 [C] 豆腐 [提
 題形（～は）は、「たうふー」、「たうっ
 ふあ」のどちらでもよい。目的格形（～
 を）も、「たうふー」、「たうっふ」のど
 ちらでもよい。【例】あぎだうふ（揚
 げ豆腐）。たうふゆー（ゆし豆腐）。

たうふがす [taufugasi] 【名詞】 オカ
 ラ [＜たうふ+かす]。

たうふゆー [taufuju:] 【名詞】 『食』
 ゆし豆腐。

たうみつ [taumitsi] 【動詞】 [k 語幹]
 しなる。【例】っぞう つー さうや
 たうみきーどう（釣り竿はしなっ
 ている）。[変異] たうみふ。

たうみふ [taumifu] 【動詞】 [k 語幹]
 しなる。[変異] たうみつ。

だうり [dauri] 【名詞】 [B] 道理、理
 由。【例】だうりぬ あい むぬいゆ
 あっそう（理屈の通った話をしろ）。

だうり [dauri] 【成句】 動詞の未然形
 について禁止を表す [動詞否定形「ん」
 の連用形「だ」+「うい（いる）」の命令
 形「うり」、～するな、～しないでいろ。
 【例】ふあーだうり（食べるな）。なか
 だうり（泣くな）。あいかだうり（歩く
 な）。たちやだうり（立つな）。

たうんぎ [taunggi] 【名詞】 『生物』 オ
 ニヒトデ。【例】たうんぎゆー んん
 ていがー やなむぬ（オニヒトデを踏
 んづけたら大変なことになる）。たうん
 ぎぬ つーづんな どくぬどう あい
 （オニヒトデの刺には毒がある）。

たうんまばす [taummabasi] 【名詞】
 『昆』 蜂の一種、ハラナガスズメバチ。
 【例】ばー ばかかいきや たうんまば
 すん とうーいつからん ささいたい
 （私は若い頃スズメバチ 15 匹に刺され
 た）。たうんまばすぬ すーゆ っざら
 ひー ったきー みーていがー んま
 ばっさ うぐっりー にやーん（スズ
 メバチの巣を鎌で叩いてみたら蜂は攻
 撃態勢に入った）。

たか [taka] 【名詞】 [B] 『鳥』 サシバ。
 【例】たかぬどう やぐみ はーさ ま
 いゆー（サシバがとてもたくさん舞っ

ている)。うんどうかいぬ ずぶんどう
たかー とうびーふー (運動会の時期にサンバは飛来する)。

たか [taka] 【名詞】 [C] 高さ。【例】ていぬ たか (天の高さ)。やーぬ たか (家の高さ)。ばー かまぬ やまぬ たかうぎやー っさん (私はあの山の高さを知らない)。つぐあー たかー いっかつさ (あなたの身長はどれくらいなの)。

たか [taka] 【形容詞】 [B] (値段が、身長が、地上からの高さが) 高い。【例】たかだい (高価な)。たかびとう (身長の高い人)。たかやま (高い山)。うだか (この高さ/この値段 [「くだか」ともいう])。

だかー [daka:] 【接続助詞】 (未然形について) 否定の条件を表す (~しないと)。【例】なうががらんかい どうーゆ うからはだかー ばぬんな たちや うらいん (何かに身体を支えられていないと私には立ってられない [くなにかに体をもたれさせないと私には立ってられない])。いかだかー ならん (行かないといけない)。つぐあが いかじゃーだかー ばんまい いかじゃーん (お前が行かないなら僕も行かない)。

たかい [takai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 集る、まとわりつく、病気にかかる。【例】ふにゆーぎーや ゆだー たかりーどう (ミカンの木は枝が繁茂してい

る)。ほうに たかい っぞう (小骨の多い魚)。さたんな あうばいぬどう たかりゆー (砂糖には銀蠅がたかっている)。まーぬ ばぬんかいや たかいな (余り私に纏わりつくな)。やなやんな たかりーにやーん (悪い病気にかかった)。

たかさ [takasa] 【名詞】 [C] 尊敬、崇拜。【例】ういびとうーぎやー たかさ ほうだかーならん (お年寄りには尊敬しなければならない)。

たかだい [takadai] 【形容詞】 高価、高価な。【例】たかだい むぬ (高価な物)。たかだい ぐるま (高価な車)。かまぬ まっちやー くまんつきやーまい たかだい (あそこの店はここより高い)。くまぬ まんごーぬどう んながーな たかだいかい (このマンゴーが一番高い)。

たかっじゃー [takazza:] 【名詞】 屋号、高鍛冶屋。【例】たかっじゃーぬ しどう (タカッジャーの船長 [>ある人のあだ名])。

たかはずばい [takahazibai] 【名詞】 赤ちゃんの四つ足歩き。【例】やらびやー たかはずばいゆ ひーゆー (子供は四つ足立ててハイハイしている)。

たかはずびー [takahazibi:] 【名詞】 立ち座り [>しゃがんだ姿勢]。【例】たかはずびーや くーさぬ だいやにやーん (立ち座りは苦しきの代償はない [>いいことはなく疲れるだけ])。

たかび [takabi] 【動詞】[母音語幹] [A]

崇める、尊敬する、敬う。【例】ういびとうーぎゃー たかびだかー ならん（年寄りは敬わないといけない）。

たかま [takama] 【名詞】[C] 〔魚〕トビハゼ。

【例】たかま とうぬず（ジャンプしながら進む）。たかまー いすぬ はなん とうぬーぎー みーらい（トビハゼは岩の上に跳んでいるのが見られる）。

たかなな [takanna] 【名詞】〔貝〕高瀬貝

〔かつては高級ボタンの材料だった、身は硬い〕。【例】んきゃーんな たかななひどう たかだい ぼたんぬ ちゅっふいたい（昔は高瀬貝で高価なボタンを作っていた）。

たき [taki] 【名詞】[B] 身長；身分；程度；限度。

【例】つうあが たきゃーいかっさ（あなたの身長はどれくらいなの）。たきゃー たらいーどう（十分に成長している）。あいぬ たんちゃーゆぎゃー たきゅーぎゃー ほうだうり（そんな短気者は相手にするな）。つうあー あてい すぐりかいば、ばが つふあー つうあとうや たきゃー あらん（君はとても優秀なので僕の子は君の相手にはならない）。んまつまーゆぎゃー たきゅーぎゃー ほうん（バカは相手にしない）。かりゃーうながたきゅーぎゃー っさん ほうりむぬ（彼は自分の程度を知らない馬鹿者だ）。ほうりむぬと ゆぬ たきん

ないな（馬鹿と同程度になるな）。ばんちゃー くーかいが たきゃー ありどう くーかい（私達は苦しみの限界にあるので生活が苦しい。）[類] たかー。

だき [daki] 【助詞】だけ。

【例】やらびゃー なつだき なきや にっづいーにゃーん（子供は泣くだけ泣いて眠った）。

だきーまーい [daki:mai:i] 【動詞】

[r/rr 語幹] 一周する。【例】んっちゃすまー だきーまーりゅー（道は島を一周している）。

たきだき [takidaki] 【名詞】（身分、富貴などで）差別をすること。

【例】ひとうーぎゃー たきだきゅーぎゃー ほうん（人を差別するな）。

たきたらい [takitarai] 【動詞】[母音語幹] 成長する（「丈が足りる」から）。

【例】ういが たきたらいきゃー みばかり（彼が大きくなるまで面倒を見る）。

たきぬふす [takinufusi] 【名詞】竹の節。**たきほうどう** ーうい [takihudu

ui] 【成句】それなりの年齢に成長していること。【例】やらびゃー んめ たきほうどう ーういーどうー（子供はそれなりの年齢になり成長している）。

たきゃーならん [takja:naran] 【成句】相手にならない、相手にしない。

だきやう [dakjau] 【名詞】 [C] ラッキョウ。【例】だきやうぬ つきなう
 っちゅっふあっじやー だきやうゆ
 っちゅっふいる (ラッキョウの漬物
 を作るのでラッキョウのひげ根などを
 切って下ごしらえをしる)。

たく [taku] 【名詞】 [B] タコ。【例】
 たくぬ ていー (タコの足)。たくー
 いふから どういだー (タコは何匹と
 ったの?)。かーきだく (タコの燻製)。
 ぐっとうーっとうとう たくぬていー
 や っとうていー (ぐっとうーっとう
 とうタコの足は一足 [鳩の鳴き声をま
 ねして数を数えながら遊ぶ歌、10まで
 数える])。

たぐ [tagu] 【名詞】 [C] 『道具』箱メ
 ガネ、海の底の様子を見るための大き
 なメガネ、円筒形。【例】たぐひー
 いんぬ そうくぬ たくー とうみー
 (大メガネで海の底のタコをさがす)。た
 ぐひー いんぬ なかう ぬさきーみ
 ー (タグで水中を覗いてみる)。たぐん
 かい みっじゅ いりー いんぬ そ
 うくー みーやすふ あす (箱メガネ
 (の内側に) 水を入れて、海の底をみや
 すくする)。

たくー [taku:] 【動詞】 [b 語幹] [A]
 (布団、毛布等の寝具、着物) を片付け
 る。【例】ふとんぬ たくび (布団を
 片付けなさい)。[類] たくび。

たぐい [tagui] 【名詞】 [C] 役割; 類
 (たぐい)、種類。【例】うらー なう

ぬ たぐいまいにやーん (これは何の
 使い道もない)。うらー なうぬ たぐ
 い やいば (それは何の類なのか)。

たくっづあ [takuvva] 【名詞】 足が
 不自由で立って歩けない人。

たくび [takubi] 【動詞】 [母音語幹] [A]
 (布団、毛布等の寝具、着物) を片付け
 る。[類] たくー。

たくみ [takumi] 【動詞】 [母音語幹] [C]
 騙す、陥れる、台無しになる。【例】か
 いが でいんぬぎやー たくみーすて
 いる (彼の金を騙し取ってしまえ)。か
 いん でいんまい やーまい なうま
 い innaない たくみらいーにやーん
 (彼に金も家も何もかも全て騙し取られ
 た)。[類] たくん。

たくみーふあう [takumi:fau] 【成
 句】 [w 語幹] 騙して食べ物にする。
 【例】かまぬ うやきやーや かいん
 たくみーふあーいーにやーん (向こう
 の裕福な家はかれに騙されてくいもの
 にされた)。

たくん [takun] 【動詞】 [m 語幹] [C]
 企む、悪事を企てる、陥れる、謀る。
 【例】かりゅーぎやー たくみーすてい
 る (彼を騙してしまえ)。かなっさ ゆ
 ぬすん たくまいー うどうきーにや
 ーん (カナスはユヌスに騙されて損を
 した)。かいん たくまいー うっかー
 あみかっづいーにやーん (彼に騙さ
 れて借金をたくさん被った)。かいん

たくまいー すまー っづいー ふあー
ーいーにゃーん (彼の策略にかかって
集落の共有地を売って取られてしまっ
た)。

たす [tasi] 【動詞】 [s 語幹] [C] 加え
る。【例】うぬ さきゃー ちゅーか
いば んめ ひーちやがま みっじゅ
たし (その酒は強いからもう少し水
を加えろ)。

たず [tazi] 【名詞】 [C] 〔植〕ソクス [庭
などに自生し、乾燥させてお茶のよう
にして飲むと便秘薬として効果がある
とされる]。

たすき [tasiki] 【動詞】 [母音語幹] [C]
助ける。 [類] たすつ。

たすつ [tasitsi] 【動詞】 [k 語幹] [C] 助
ける。【例】かいん たすかいー な
んとうが んぬっちゃ ぶいらいど
ー (彼に助けられて何とか命はもらっ
たようなものだ)。[変異] たすふ。[類]
たすき。

たずな [tazina] 【名詞】 [C] 手綱 (た
づな)。【例】ぬーまん ぬーい とう
きやんな たずなうぎゃー はなはん
(馬に乗るときには手綱は離さない)。

たすふ [tasifu] 【動詞】 [k 語幹] [C] 助
ける。 [変異] たすつ。[類] たすき。

ただーていー [tada:ti:] 【オノマト
ペ】水、物等がこぼれる様子、ジャー。
[変異] だだていー。

ただつ [tadatsi] 【動詞】 [k 語幹] [C]
訪ねる、付き合う。【例】かりゃー
ゆーどう うとうじゃうぎゃー ただ
つ (彼は親戚とよく付き合いをする)。
かりゃー ひとうーぎゃー ただかん
(彼は人とは親交しない)。かりゃー き
ゆーまい かじゃーなーから ただき
ーっちゅーい (彼は今日も遠くから訪
ねてきている)。[変異] ただふ。

だだていー [dadati:] 【オノマトペ】
水、物等がこぼれる様子、ジャー。【例】
みっじゅ だだていー いたつ (水を
ジャーとこぼす)。[変異] ただーていー。

ただふ [tadafu] 【動詞】 [k 語幹] [C]
訪ねる、付き合う。 [変異] ただつ。

たたん [tatan] 【動詞】 [m 語幹] [C]
(衣類・寝具を) 畳む。【例】もーふー
たたん (毛布を畳む)。

たたん [tatan] 【名詞】 [B] 畳。

だちゃー [datɕa:] 【接尾辞】(動詞基本
形について) ほど、～くらい。【例】あ
てい くーかいば すんだちゃー あ
たい (とても苦しくて死にそうだった)。
あいかいんだちゃー だりゅーい (歩
けないほど疲れた)。[類] だちゃーい。

だちゃーい [datɕa:i] 【接尾辞】(動
詞基本形について) ほど、～くらい。
[類] だちゃー。

たちやす [tatɕasi] 【動詞】 [s/h 語幹]
[C] (物を) 立てる、(人を) 立たせる。

【例】うまん はらう たちやし (ここに柱を立てろ)。しーとうやらび あいきゃー しーしーん ぼっチャ ひらいー たちやはいたい (学童だった頃先生に罰せられて立たされた)。

たつ [tatsi] 【名詞】 [C] 歩いて行くこと。【例】たつからどう ったい ((馬、馬車等を利用することなく) 歩いてきた)。

たつ [tatsi] 【動詞】 [k 語幹] [A] 焚く。【例】かんにがいんな かうゆどう たつ (祈願には線香を焚く)。
[変異] たふ。

たつ [tatsi] 【動詞】 [c/t 語幹] [C] (座った状態から) 立つ、立ち上がる。【例】やらびゃー たちー あいきーどうーい (子供は立って歩けるようになっている)。たちやっでい あすきゃー みーや まーるーたい (立とうとしたら目が回った)。うまん たつていがーんめどー (そこに立つとあぶないよ)。

たつ [tatsi] 【動詞】 [c/t 語幹] [C] 発つ、出かける、場を離れる。【例】からー っさらんかい たちー はりーにゃーん (彼は平良に出かけてしまった)。まーぬ うむっしっふあにゃーんば かまぬ うぐなーいから たちったい (あまり面白くないので、その会議から抜けてきた)。

たつ [tatsi] 【名詞】 [C] (馬の) 小屋。【例】ぬーまぬたつ (馬小屋)。

だつ [datsi] 【動詞】 [k 語幹] [A] 抱く。【例】やらびゅー だつ (子供を抱く)。
[類] かったつ。

たっづあみつ [tavvamitsi] 【動詞】 [k 語幹] 揺れる、ふらつく、(態度が) ぐらつく; 落ち着かない。【例】かでいぬ ちゅーかいば きーや たっづあみきーどうー (風が強いので木がゆれている)。さきゅー ぬみー たっづあみきーどうー (酒を飲んでふらついている)。
[変異] たっづあみふ。

たっづあみふ [tavvamifu] 【動詞】 [k 語幹] 揺れる、ふらつく、(態度が) ぐらつく; 落ち着かない。[変異] たっづあみつ。

たっづい [tavvi] 【動詞】 [C] (網や綱を) 手繰る、引き寄せる。[類] たうー。

たっづや [tavvja] 【名詞】 [C] 蛍 (ホタル)。【例】たっづやー ゆなかどうとうー (蛍は夜中に飛ぶ)。

たっかーす [takka:si] 【動詞】 [s/h 語幹] (サービスとして品物を) 加える。【例】っぞうー んめ ひとつから たっかーし (魚をもう一匹おまけにつけなさい)。

たつき [tatsiki] 【動詞】 [母音語幹] [A] 火をつける。【例】うまっちゅ たつきでい (火をおこそう)。たむぬんかい うまっちゅ たつきる (薪に火をつ

ける)。きだむぬー たつきる (まきに火をつける)。

たっじゃす [tazzasi] 【動詞】 [s/h 語幹] (冷めたものを) 温める、炊く、煮る。【例】さまりゆー わーにむんぬぎゃー たっじゃし (冷めたブタの煮物を温めなさい)。

たっず [tazzi] 【動詞】 [zz/dd 語幹] [A] 煮える。【例】んっつーや たっでいーどうー (味噌汁は煮えている)。どろどろていーどう たっじゅー (ぐつぐつと煮えている)。んーな たっでいぬ あとうんな んぶすばどう んまかい (芋は煮えたあとの後に蒸したらうまい)。

たった [tatta] 【副詞】 更に、いっそう。【例】うぬ しよじょー たった あぱらぎふ なりーどうー (その娘はいっそうきれいになった)。

たっつ [tattsi] 【動詞】 [c/t 語幹] [A] (他人の提案、申し入れなどを) 断る、聞き入れない。【例】かいが あっじゅー くとうー たっちーすている (彼が言っていることを聞き入れるな)。

だっつづあ [datsivva] 【名詞】 赤ちゃん。【例】だっつづあぬ んま (赤ちゃんの母親)。[類] あかっづあ、ばかっづあ。

たつびー [tatsibi:] 【名詞】 膝を曲げて座ること。【例】たつびー あす (中腰で膝を曲げて座る)。

たてい [tati] 【助数詞】 種類の数え方 [1 から 10 までの種類の数え方: ひとつたてい、ふたたてい、みたてい、ゆたてい、いつたてい、んたてい、ななたてい、やたてい、つくぬたてい、とうたてい]。

たていたてい [tatitati] 【副詞】 色々、様々、「たていたていぬ」で名詞修飾。【例】きゅーぬ ゆーいんな たていたていぬ うさいぬどう いじゅー (今日のお祝いにはいろいろな料理が出ている)。たていたていぬ んまむぬ (色々なご馳走)。たていたていぬ どう どうゆみゆーい (色々なことに名をはせている [古謡「まいぐむいまうや」より])。

たとうい [tatui] 【動詞】 [母音語幹] [C] たとえる。【例】たとういていがー うらー なうぬんまり (例えたらなにに似てるのか)。

たない [tanai] 【名詞】 [C] (仕事ぶりなどが) 頼りになること。【例】びきっづあんみゃー なうぬ たないまいにゃーん。(男の子はなんの助けにもならない)。っづあがどう ばが たない (お前のことを頼りにしている)。うりゃー たないや にゃーん なっちゃかん んまり (彼は頼りにならない遊び人だ)。かりゃー たないや ありどう すかまうぎゃー ひーゆー (彼は手際よく仕事している)。すかまぬ たない あい ひとつ (仕事の手際良

い人)。いんたない（漁が上手い人）。はいたない（畑仕事が上手な人）。すかまたない（仕事が上手な人）。

たなっら [tanarra] 【名詞】『魚』スズメダイ。【例】たなっらう つーがいつ（スズメダイを釣りに行く）。

たに [tani] 【名詞】[C] 陰囊（ふぐり）、ヤドカリのお腹。【例】わーぬ たにとぅい（豚の去勢〔<豚の陰囊取り〕）。ひんじゃぬ たにゅー あっぐい やきー ふあう（山羊の睾丸を炙って焼いて食べる）。[類] さに。

たに [tani] 【名詞】[C] 種。【例】むぬだに（穀物等の種）。ひとつだに（人間の血統）。そーだにゅー まつ（野菜の種を蒔く）。むぬだにゅーぎゃーいらうどうす、ひとつだにゅーまいいらうどうす（物種は選ぶもの。結婚相手も選ぶもの）。[類] さに。

だに [dani] 【動詞】[母音語幹] [C] 捩（ねじ）る；（足首などを）くじく。【例】ん[°]なうぎゃー だにどう なう（綱をねじって綱（な）う）。はっじゅ だにーにゃーん（足を挫いた）。

だに [dani] 【名詞】[C] リンパ腺。【例】いんまら だにぬ いじゅー（股間のリンパ腺が腫れている）。ばっだだに（わきのリンパ腺）。

たにがーい [tanigai] 【名詞】変種、親と出来の違う子がうまれること、またその子。[類] さにがーい。

たにく [taniku] 【名詞】[C] 入り乱れていること、塊になっていること。

【例】まっちゃんな は一さぬ ひとつぬどう たにくん なりーうい（店には多くの人が入り乱れている）。かまんな ひとつぬどう たにくんなりーんちゅー（向こうには人が塊になってたくさんいる）。たくぬどう いふからまい たにくん なりー うたい（タコが何匹も塊になっていた）。

たにず [tanizi] 【名詞】[C]（夫のせい）で子供ができないこと。【例】かまぬやーや たにっじゃ ひーゆい（あそこの家は後継ぎができないでいる）。

たぬん [tanun] 【動詞】[m 語幹] [C] 頼む。【例】むぬー たぬみー むちやす（ものを頼んで持たす）。やーふつすきなふー たぬん（家づくりの奉仕を頼む）。からー ひとつんな たぬまいん（彼は人には頼めない）。

たばい [tabai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C]（人が人に、ものが服などに）くつつく；ケンカする。【例】やらびゃー ういびとうん たばりー うたい（子供はお年寄りにくつついていた）。まずむぬぬみーつつうさぬ どうずぬどう ふくんかい うんそうく たばりゅー（シロバナセンダングサの刺が服に沢山くっ付いている）。かぬきやが ふたーや きゅーまい また たばりーにゃーん。（あの二人は今日もまた喧嘩を始めた）。

たばい [tabai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] (病気に) かかる、(悪霊に) とりつかれる。【例】かりゃー やなやんな たばりー すにーにゃーん (彼は悪い病気にかかって死んでしまった)。

たばく [tabaku] 【名詞】 [C] 煙草。【例】たばくー っていーひー ふつ (煙草をキセルで吸う)。んきゃーんぬ たばくふつ ひとうんみゃー ふじゃうから きざみたばくー とういー うるー っていーんかい いりー ふきーうたい (昔の煙草を吸う人達は煙草入れから刻み煙草を取ってそれをキセルに入れて吸っていた)。たばくの ふつぐる (タバコの吸い殻)。

たび [tabi] 【名詞】 [A] 旅。【例】たびんかい いでい (旅に出る)。

たふ [tafu] 【動詞】 [k 語幹] [A] 焚く。【変異】 たつ。

たぶ [tabu] 【名詞】 [B] 『道具』 たも網、水中の魚類をすくうのに用いる。【例】たぶひー っぞうー っそー (たも網で魚をすくう)。

だふ [dafu] 【動詞】 [k 語幹] [A] 抱く。【例】っふあう だふ (子供を抱く)。【変異】 だつ。

だふ [dafu] 【オノマトペ】 ドスン (と落ちる)、ズボツ (と入って抜けない)。【例】あなんかい だふていー うていーにゃーん (穴にドスンと落ちた)。うゆびゃー くぴんかい だふてい は

まりー、なんとうが ながいん (指が瓶にすぽっとはまってなかなか抜けない)。やーぬ きたー はらぬ あなんかい だふていー はまりーにゃーん (家の梁は穴にスポツと填まった)。

たま [tama] 【名詞】 [B] 分け前。【例】んーなんかい っぞうだまう なかーり (皆に魚の分け前を分けろ)。うらー ばが ふあうぬ たまー にゃーん (それは私の食べる分はない)。うらー っづあが っじだま (それはあなたのもらう分け前)。っぞうだまう ばきー (魚の分け前を分ける)。ばきだま (分け前)。っじだま (貰う分、分け前)。たまうつ (分配)。【類】 ばきだま、っじだま、とういまい。

だま [dama] 【名詞】 [B] ダマ、(衣類の小さい糸など) が絡まって玉状に固まったもの。【例】いんぬきーや だまん なりーどう (犬の毛はダマになっている)。いとうがまぬどう だまん なりゅー (小さい糸が玉になっている)。

たまーつつ [tama:tsitsi] 【動詞】 [k 語幹] 癲癇の発作を起こす。[「たまう つきたい」でもいいが「たま」だけでは使わない]。【例】たまーつきたい (癲癇をおこした)。たまーつきーどうー (癲癇の発作を起こしている)。【変異】 たまーつふ。

たまーつふ [tama:tsifu] 【動詞】 [k 語幹] 癲癇の発作を起こす。[「たまうつ

きたい」でもいいが「たま」だけでは使わない。〔変異〕たま一つつ。

たまい [tamai] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] 溜まる。【例】ていびほうぎば一きんな みっじゃ たまらん（竹籠には水は溜まらない）。

たまう うつ [tamau utsi] 【成句】 均等に配分する。

たまがい [tamagai] ① 【動詞】[r/rr 語幹] 驚く、怖がる、びっくりする。【例】からー なうゆ ほうんまい たまがらん（彼は何をしても驚かない）。からー あうみー やいば かばていー たまがらし（彼は臆病だからわっと驚かしてやれ）。〔類〕だまがい。② 【名詞】 驚くこと、怖がること。【例】ばー まずむぬー みー かば たまがいや ひーにやーん（私は幽霊を見てぎよつとたまげた）。〔類〕だまがい。

だまがい [damagai] ① 【動詞】[r/rr 語幹] 驚く、怖がる、びっくりする。〔類〕たまがい。② 【名詞】 驚くこと、怖がること。〔類〕たまがい。

たまがらす [tamagarasi] 【動詞】[s/h 語幹] びっくりさせる。【例】かいん たまがらはいーにやーん（彼にビックリさせられた）。〔類〕だまがらす。

たまぐつ [tamagutsi] 【動詞】[c/t 語幹] 分配する。【例】じょー いんからぬ っぞうー たまぐちゃでい（さあ漁からの魚を分配しよう）。

たまじやり [tamazari] 【名詞】 玉砂利。

たます [tamasi] 【名詞】[C] 魂。【例】あてい うどうるっちやーひー まずむぬん たまっさ とうらいーにやーん（余りにもびっくりして幽霊に魂を抜き取られた）。

だます [damasi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] 騙す。【例】ひとうーぎやー だまはん（人は騙さない〔>だましてはいけない〕）。みどうんんみぬ なつむぬいん だまはいな（女達の泣き落としに騙されるな）。ばー やなびきどうん だまはいにやーん（私は悪い男に騙された）。

たまっさにやーん [tamassanja:n] 【成句】 魂がない、落ち着きのない。【例】たまっさにやーんんまり、 まーぬ あわていだうり（落ち着きのない奴だ、余り慌てるな）。

たまつつ [tamatsitsi] 【動詞】[k 語幹] 癲癇の発作を起こす。〔変異〕たまつつふ。

たまつつやん [tamatsitsijan] 【名詞】 癲癇。〔類〕つづいやん。

たまつふ [tamatsifu] 【動詞】[k 語幹] 癲癇の発作を起こす。〔変異〕たまつつ。

たまな [tamana] 【名詞】[B] キャベツ。【例】たまなう ふあう（キャベツを食べる）。

たまびーぎー [tamabi:gi:] 【名詞】
 『植』蓮葉桐（ハスノハギリ）[中心部はかたく水が沁み込まないため、これで水中眼鏡をつくった]。【例】たまびーぎーひー みがにゆー ちゅっふ（蓮葉桐で水中メガネを作る）。

たみ [tami] 【動詞】[母音語幹][A] 溜める、留める、心穏やかにする。【例】つむたみびとう（冷静な人、心穏やかな人）。つむでいだ つむー たみる（怒らないで心穏やかにしなさい）。かなにがいー んぬっちゅ たみー（祈願して命を留める）。

たみ [tami] 【動詞】[母音語幹][A]（狙いを）さだめる、（銃や鉾などで）ねらう；（三線を）調弦する；向かう、目指す。【例】っぞうー うぎんひー たみー つふ（魚を鉾でねらって突く）。はいぬ みーゆ たみー（糸を通すため）針の目をねらう）。っぞうーぎやー たみゆーとうい つき（魚は狙いを定めて突け）。うまぬ まとうんかい たみーみーる（この的に狙いを定めてみる）。うぎんぬ っぞうんかい たみー つき（鉾を魚に狙いを定めて突け）。まうきやーんかい たみー ふにゆーぎやー はらし（前に向かって舟を走らせろ）。さんしんぬ ちるー たみー（三線の調弦をする）。ひとうぬ はなっそうぎやー みんな たみー つき（人の話は耳に全神経を集中して聞け）。からー いつまい うまー たみどう っつてい むぬー ふあい はい（彼

は毎日ここに来て飯を食べて帰る）。

たみ [tami] 【動詞】[母音語幹][A] 貯める。【例】でいんぬぎやー まーぬ ふあーだ ひーちゃうぎやー たみる（金は余り無駄遣いしないで少しは貯蓄しなさい）。ばー でいんな たみー はわいりよこーんかい いかでい（私はお金をためてハワイ旅行に行こう）。

たみ [tami] 【名詞】[C]（主に不倫で）～との間にできた子。【例】うぬっふあー っづあが たみ（この子はあなたの子供だ）。くぬっふあー かいがたみ（この子は彼との間にできた子）。

たみ [tami] 【名詞】[C] 抑制、抑制すること。【例】つむたみ（自制心）。つむたみ じゅー（自制心が強い）。

たみ [tami] 【名詞】[C] 目的、ため；理由節を作る。【例】くらー っづあが たみん ひーやー くとう だら（これはあなたのためにしたことだ）。だいがくん ごーかくあす たみんなんめひ わいてい べんきよー ほうだかー ならん（大学に合格するためにはもっと勉強しないとイケない）。かいが うくりっちやー たみん ひこーきんな ぬーらいっだん（彼が遅れてきたために飛行機に乗れなかった）。

だみ [dami] 【動詞】[母音語幹][A]（ものや人などを強く）（鉾で）突く；（こぶしで）殴る、叩く。【例】うぎんひー っぞうー だみー（鉾で魚を突く）。

くぬ くるまぬ がらっさ つづあが
 なうばい だみたんていー ばりん
 (この車のガラスはお前がいくら叩いても割れない)。なうばい つむでいたんていー ひとつー だみや ならん
 (どんなに腹が立っても他人を殴ってはいけない)。

だみ [dami] 【名詞】[A] 駄目だ (述語として使う)。【例】うらー だみ (それは駄目だ)。からー むいとうぬ
 だみな んまり (彼はとてもダメな奴だ)。つんぬ んみていがー だみ や
 いば つんぬ すそーぎゃー むたぎ
 る (着物が濡れたらだめなので着物の裾を持ち上げろ)。

たみーたみ [tami:tami] 【副詞】落ち着いて、慎重に。[変異] たみーたみー。

たみーたみー [tami:tami:] 【副詞】落ち着いて、慎重に。【例】むぬーぎゃー たみーたみー あっそう (物事は落ち着いてやりなさい)。たみーたみー ふあい (慌てずにたべなさい)。[変異] たみーたみ。

たみす [tamisi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] 予測する。【例】くぬ やらびゃー
 ほういふないていがー なうばいぬ
 にんぎんてい ないがてい たみひー
 ゆー (この子はおおきくなったら どんな人間になるだろうかと予測している)。たからくっじゃ あたりゆーむ
 なうむ たみひーみーでい (宝くじが当たるか否か予測してみよう)。

たむぬ [tamunu] 【名詞】[C] 薪 (たきぎ) の総称 (ススキ・木の葉、木の枝等を使う)。【例】たむぬんかい うまっ
 ちゅ たつきる (たきぎに火を起こせ)。
 ぎすつだむぬ (枯れたススキの薪)。す
 っだき だむぬ (枯れたススキの茎の薪)。まつぎーだむぬ (松の木の薪)。

たむぬぶー [tamunubu:] 【名詞】薪 (たきぎ) や農具をしまう小屋。

たや [taja] 【名詞】[C] 力、体力、力持ち。【例】やぐみ たやあい ばか
 むぬ (凄く体力のある若者)。かりゃー
 たや (彼は力持ちだ)。たやー くさ
 きていー いらー んぶむぬー むつ
 (力はこれくらいあるぞと 重いものを持つ [>力の限りをふりしぼって重いものを持つ])。たやびゃーき なっじ
 ゆり (力いっぱい殴れ)。

たやびゃーき [tjabja:ki] 【成句】力いっぱい。

たやん [tajan] 【副詞】力を入れて、力いっぱい、たくさん。【例】むぬー
 たやん ふあうたい (飯をたくさん食べた)。むぬーぎゃー たやん ふあい
 (飯をたくさん食べなさい)。たやん そ
 うづい (一生懸命走れ)。かまぬ び
 よういんな っそういゆどう たやん
 むちやす (向こうの病院は薬をたくさん持たせる)。

だら [dara] 【助詞】『終助詞』(形容詞、名詞、動詞基本形などについて) 相手が

知らない情報を言うときに付ける、～なんだ、～だよ；『終助詞』自分が推論した内容を自分、あるいは聞き手に示す、～だろう。【例】うらー がばー だら（それは大きんだよ）。あばらぎ だら（きれいだよ）。からー なうふや だら（彼は格好をつける人なんだ）。ぶばがまが すきやきやー かいだら（おばちゃんのやり方はこうだ）。あいだら（そうだ）。んーでいだら（そうだよ）。

たらーす [tara:si] 【動詞】 [s/h 語幹] 不足を補う。【例】やーふつ にんじゅー たらーす（家づくりの人数の不足を補う）。

たらう [tarau] 【動詞】 [w 語幹] [A] 足りる。【例】つん かーでい やいそがどう でいんな たらーん（洋服を買いたいがお金が足りない）。びきどうんな さうきぶにぬどう っていつ たらーんば うむくとうー にやーん（男性はあばら骨が一つ足りないから頭が悪い）。きゅーぬ いんにんじゅー たらーいどうー（今日の漁員数は足りている）。かーっさ んーなが たまー たらーん（お菓子は皆の分は足りない）。びーるー はーさ かいやーば んーなが たまー たらーいどうー（ビールはたくさん買ってあるからみんなの分足りてるよ）。

だらか [daraka] 【名詞】 [C] ウソ [大浦の方言からの借用、西原では「ゆくす、ゆくし」と言う]。

たらき [taraki] 【名詞】 [C] 親戚一族。【例】うぬきやが たらきやー やぐみ すぐり たらき（この親族一同はとても優れた親族だ）。うむくとうあい たらき（優秀な家系）。

だらく [daraku] ①【名詞】 [C] なまけもの。【例】からー むいとうぬ だらく（彼はとても怠け者）。②【形容詞】 [C] なまけものだ。【例】まさいがどう だらくかい（マサイが怠け者だ）。

だらくげった [darakugetta] ①【名詞】 なまけもの（「だらく」よりも程度がひどい）。【例】かりやー すかまー ひらいん だらくげった（彼は仕事のできない怠け者だ）。②【形容詞】 なまけものだ。【例】まさいがどう だらくげったかい（マサイが怠け者だ）。

だらす [darasi] 【動詞】 [s/h 語幹] [C] 困らす、疲れさせる。【例】あいや ひとつーぎやー だらはん（そんなに人を困らてはいけない）。ばー かいん だらはいーにやーん（私は彼に疲れさせられた）。

たらま [tarama] 【名詞】 [C] 『地名』多良間島；遠いことのたとえにつかう。【例】ぶとうぬ はたらっちゆぎやー ばらいどう ふあう、つふあぬ はたらっちゆぎやー なきどう ふあう、んまがぬ はたらっちや たらまどうー（夫の稼ぎは笑って食べる、子供の稼ぎは泣いて食べる、孫の稼ぎははるかかなた [池間の格言]）。

たらみつ [taramitsi] 【動詞】 [k 語幹]

だらだらとした様子でなにかをする。

【例】まーぬ たらみかだうり (あんまりだらだらするな [>場面によっては「文句を言うな」のような意味にもなる])。まーぬ たらみきー あいつな (あまりだらだら歩くな)。[変異] たらみふ。

たらみふ [taramifu] 【動詞】 [k 語幹]

だらだらとした様子でなにかをする。

[変異] たらみつ。

たり [tari] 【動詞】 [母音語幹] [C] (酒

や神酒を) 造る。【例】まいひー さきゅーぎゃー たりー (米でさけをつくる)。

たり [tari] 【動詞】 [母音語幹] [C] 垂

らす; (男性器、女性器、乳房などを) 露・顕 (あらわ) にする。【例】んきゃーんな つんぬ そうくーゆ たりー まーりゅー やらびまい うたい (昔は着物の帯紐を垂らして歩き回る子どももいた)。

たり [tari] 【動詞】 [母音語幹] [C] 垂

れる。【例】さかさん さぐなう さぎー うっきゅーふばどう ういが みーや たりー うていー ふー (逆さまにほら貝を下げておいておけばその身は垂れて落ちてくる)。

だり [dari] ① 【動詞】 [母音語幹] [C] 疲

れる。【例】きゅーや すかまー ひー だりーどうー (今日は仕事をして疲れた)。だりーていがー うぬー っ

ふじゃたう ふあい (疲れたらこの黒糖をたべなさい)。んぬ あてい だりー きゅーや ぶがりかいば ならん (昨日余りにも疲れたので今日は疲労感が残っている)。きゅーや むいだり (今日は非常に疲れている)。はっじや だりーにゃーん (足が疲れた)。だりー ににゅーや かつらん なりゅーたい (疲れて居眠りコックリコックリしていた)。だりー ぬどうふずまいたりーどうー (疲れて首筋までも垂れている)。ういびとらー みばかりー だりーどう (年寄りを介護して疲れている)。ばー んなーぎゃー だりやうらん (私はまだ疲れてはいない)。

◎【形容詞】 [B] 疲れている。【例】きゅーや だりかいばならん (今日はとても疲れた)。③【名詞】 [C] 疲れ。【例】きゅーや だりんかい つふ やちゅーゆどう ひーったい (今日は疲れに効く灸をしてきた)。さきゅー ぬみー やなだりゅー とうい (酒を飲んでひどい疲れを取る)。

だり [dari] 【接尾辞】 [名詞について形容詞を作る接尾辞] ~まみれだ。【例】

あしだり (あせまみれ)。あかつだり (血だらけ)。きゅーや あつかいば あしだりかいば ならん (今日は暑いから汗をかいて仕方がない)。

た리카す [tarikasi] 【名詞】 泡盛を作

った後に出る酒かす。

た리카す [tarikasi] 【名詞】 《鳥》 サシ

バの幼鳥。

たる [taru] 【名詞】[A] 人を表す疑問代名詞、誰 [複数は「たーどう」]。【例】
 っづあー たる (君はだれだ?)。ばが
 ほうだかー たるがどう あすがまた
 (お前がしなかったら誰がするのか)。っ
 づあ うりゃー たるがどう ちゅっ
 ふゃーがてい っしな (君は、これを
 誰がつくったかわかりますか [＜誰が
 作ったかと])。

たる [taru] 【名詞】[C] 樽。【例】さ
 た だる (砂糖樽)。

だるー [daru:] 【形容詞】[C] ダラダ
 ラしていること。【例】すかまー ひ
 らいん だるーんまり (仕事のできな
 い怠け者)。からー むいとうぬ だる
 ーんまり (あいつはとても怠け者だ)。

たるががら [tarugagara] 【名詞】誰
 か。【例】ばー かりゃー たるがが
 ら っさん (私はあいつが誰なのかわ
 からない)。

だん [dan] 【名詞】[B] ダニ。【例】や
 まだん (山ダニ)。だん ささいていが
 むいとう かいがいばならん (ダニ
 に刺されるととてもかゆい)。

だんがー [dan̄ga:] 【名詞】相談。【例】
 じよ、まうきだんがーう ほうでい (さ
 ー、儲かる話をしよう)。

たんかーばい [tan̄ka:bai] 【名詞】酒
 と水を半々に割ること。【例】さきゅ

ー たんかーばい ひーくー (酒を水
 と半々に割って来い)。

たんかーゆーい [tan̄ka:ju:i] 【名詞】
 『祭礼』数え年3歳の祝 [ノート、お
 金等を子供に取らせて将来を占う]。

だんかーりー [dan̄ka:ri:] 【副詞】特
 別に、際立って。【例】かいが かな
 まいや だんかーりどう ちゅーかい
 (彼は際立って頭脳明晰だ)。

たんた [tanta] 【名詞】[C] 『鳥』鵯 (ミ
 サゴ)。【例】たんたー いんぬ はな
 から っぞう とうみー ますたんか
 い とうびー っぞうー とうい (鵯
 は海の上空から魚を探して直滑降で海
 に飛び込み魚を取る)。

だんだん [dandan] 【副詞】段々に、次
 第次第に。

たんちゃー [tan̄t̄ɕa:] 【名詞】短気者。
 【例】あいぬ たんちゃーゆぎゃー
 たきゅーぎゃー ほうだうり (そんな
 短気者は相手にするな)。
 [変異] たん
 ちゃー。[類] たんちゃ。

たんつ [tantsi] 【形容詞】[B] 短気だ。
 【例】かりゃー うなが つむーぎゃー
 むちゃん たんつんまり (彼は自分
 の気持ちを制御できない怒りん坊だ)。
 たんつ ずむびとう (短気な人)。

たんでい [tandi] 【副詞】どうか、お
 願いだから。【例】たんでい いきー
 ふうーる (どうか行ってくれ)。

たんでいやらー [tandijara:] 【副詞】

どうか、お願いだから。 [変異] たんでいやりゃー。

たんでいやりゃー [tandijarja:]

【副詞】どうか、お願いだから。 【例】ばー んめ ふたかいまていや あいぬ くとうーぎゃー ほうじゃーんば たんでいやりゃー ゆらひー ふいーさまてい (私はもう二度とそんなことはしないのでお願いですから許してください)。 [変異] たんでいやらー。

だんどうい [dandui] 【名詞】段取り。

【例】すかまうぎゃー だんどういや とういー あっそう (仕事は段取りを取ってやりなさい)。

だんびー [dambi:] 【名詞】太って大

柄な人。 【例】すまとうらたー だんびー (相撲取りは体格が大きい)。

だんま [damma] 【オノマトペ】どん。

【例】つくいゆ だんまていー ったつ (机をどんと叩く)。 [類] どうんま。

だんまくらす [dammakurasi] 【動

詞】 [s/h 語幹] 騙される。 【例】ばーかぬ ゆががなまいん ずみく だんまくらはいーにゃーん (私はあの馬鹿野郎にきれいに騙されてしまった)。

だんまみつ [dammamitsi] 【動詞】 [k

語幹] どたんという音を出す。 【例】かでい ふつんな やどうぬどう だんまみきー なりゆーたい (台風には戸がどたんどたと鳴っていた)。 [変異] だんまみふ。

だんまみふ [dammamifu] 【動詞】 [k

語幹] どたんという音を出す。 [変異] だんまみつ。

ち

ちーぬん [tɕi:nun] 【名詞】お尻の穴；お尻。 [類] ちびるん、ちびぬん、ちーるん、ていびるん、ていびぬん、ていーるん、ていーぬん。

ちーるん [tɕi:run] 【名詞】お尻の穴；お尻。 [類] ちびるん、ちびぬん、ちーぬん、ていびるん、ていびぬん、ていーるん、ていーぬん。

ちかみ [tɕikami] 【名詞】 [C] 近眼。

ちから [tɕikara] 【形容詞】 [B] 力が強い。 【例】まくがんな ちからかいば かつみらいん (ヤシガニは力が強いのでつかまえられない)。

ちびぬん [tɕibinun] 【名詞】お尻の穴；お尻。 [類] ちびるん、ちーるん、ちーぬん、ていびるん、ていびぬん、ていーるん、ていーぬん。

ちびるん [tɕibirun] 【名詞】お尻の穴；お尻。 [類] ちびぬん、ちーるん、ちーぬん、ていびるん、ていびぬん、ていーるん、ていーぬん。

ちや [tɕa] 【終助詞】名詞、動詞の終止の形について伝聞を表す、って、そう

だ。 【例】いつむっさ ちゅーかいむぬぬ ぬくいていぬ むぬーあらんちや (生き物は強いものが残るとは限らないそうだ)。かまぬ んまがー だいがくんかいどう ごーがくひーゆーちや (あその孫は大学に合格したんだって)。んきやーんどう くまぬ すまんな やぐみ あぱらぎ みどうんぬ うたいちや (昔ここの村にはとても美しい女の人です)。からー すかまー なまりどう すまん むどうりー っちゅーちや (彼は仕事をやめて村に帰ってきたそうだ)。かまぬ んまがー うむくとうあいちや (あその孫は賢いんだって)。A: あちやー かでいふつちや B: あいえていがー あちやー いきまー いかいん (明日は台風だっけ。そうだったら明日は池間はいけない)。みがー だいがくせいちや (ミガは大学生だっけ)。 [類] ていんどー。

ちやー [tɕa:] 【副詞】いつも、しょっちゅう。 【例】かりやー いつまいちやー ほうりむぬゆん (彼はいつもいつも馬鹿な事を言う)。まさいや ち

ちゃー すかまんかい うくりー ふー
 (マサイはしょっちゅう仕事に遅れてくる)。

ちゃーい [tɕai:] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C]
 ぶつかる、衝突する。【例】くるまぬ
 ちゃーい (車がぶつかる)。おーとばい
 ぬ ばすんかい ちゃーりーにやーん
 (オートバイがバスに衝突した)。くるま
 ー ちゃーらひー やっぐやひーにや
 ーん (車をぶつけて壊してしまった)。

ちゃーす [tɕa:si] 【形容詞】 [B] 簡単
 だ、容易だ。【例】うい あっさ ち
 ちゃーすむぬがま (それをやることは簡
 単なことだ)。

ちゃーっづい [tɕa:vvi] 【形容詞】 行
 動に落ち着きのない。【例】ちゃーっ
 づい っぎ (行動に落ち着きのないお
 父さん「>浮気者」)。

ちゃーふきや [tɕa:fukja] 【名詞】 慌
 て者。【類】 かかみきや、とうとうっ
 ふや、とうっふや。

ちやう [tɕau] 【名詞】 [C] 『祭礼』 新
 しく生まれた子供の名前を記録する神
 様の帳面。【例】っふあぬ んまいて
 いがー ちやうんかい あぎー (子供
 が生まれたら (神様の) 帳面に上げる)。
 【類】 うちやう。

ちやうき [tɕauki] 【名詞】 [C] お茶う
 け。【例】ちゃーぬ ちやうきや
 きゅーまい んそうがま (お茶のお茶
 請けは今日も味噌だ)。

ちやうぬぬす [tɕaununusi] 【名詞】
 『祭礼』 御帳の主、新しく生まれた子供
 の名前を報告する神様の名前。

ちやばん [tɕaban] 【名詞】 [C] 湯呑。
 【例】んなまから ばが ほうちやば
 んじゃきゅー まーはっじゃ んまい
 てい みやりー ふいーさまてい (い
 まからおとりの湯飲みのお酒を回し
 ますので、うまいといって召し上がっ
 てください)。

ちやら [tɕara] ①【オノマトペ】 割れる
 音、バリ。【例】こっぷー ちゃらて
 いー ばりーにやーん (コップはバリ
 と音を立てて割れた)。②【オノマトペ】
 よく似ている様子。【例】っぎ っふあ
 ー かーぎやー ちゃらていー ばり
 ーどうー (父子の顔かたちはそっくり
 だ)。

ちゃん [tɕan] 【名詞】 [C] (時間を表
 す名詞+の、動詞基本形について)～う
 ちに、間に、隙に。【例】あちやぬ
 ちゃん (明日中に)。んなまぬ ちゃん
 (今のうちに)。ゆなかぬ ちゃん ぬ
 そうどうん はいらい にやーん (夜
 中の間に泥棒に入られた)。あたばか
 いぬ ちゃん みどうんな ひんぎ
 ーはりーにやーん (ちょっとした間に妻は
 逃げて行った)。にっづゅーちゃんやぐ
 みあみぬっふゅーたい (寝ている間に、
 大雨が降っていた)。

ちゃんくら [tɕaŋkura] 【名詞】 小
 さいもの、小さい人。【例】ちゃんくら

がま (小さいもの)。[類] ちゃんくる。

ちゃんくる [tʃaŋkuru] 【名詞】 小さいもの、小さい人。 [類] ちゃんくら。

ちゅー [tʃu:] 【動詞】 [vv 語幹幹] [C] (渡すために) 投げる、(すてるために) 放る [語幹は tiv であり、基本形は「ちゅー」になる。[否定形 [+あん]] ていづあん、[ている形 [+うい]] ていづいーうい、ていづゅー、[過去形 [+たい]] ちゅーたい。【例】 あいぬ とうくまん いっそうぎゃー ちゅーな (こんなところで石を投げてはいけない)。いっそう あんち ちゅーていがー だみ (石をそんなに放つたらいけない)。むぬー ちゅーとうきやんな ひとうー みーから ていづい (ものを投げるときはまわりに人がいるかどうかを確認してから投げろ)。うまんかい うぶん[°]なう ていづい (そこに錨綱を投げろ)。うまんかい ひらう ていづい (こっちにへらを放れ)。うにゃー ふあーいんば いんかい ていづいすている (ウニは食べられないから海に放ってしまえ)。いっそう うまんかい ていづあっじゃ かまんかい ゆっでい (石をそっちに投げるからあっちに寄れ)。でいんぬぎゃー ていづあだうり (お金を投げちゃいけません)。[類] ていづい。

ちゅー [tʃu:] 【名詞】 [C] 露、朝露。【例】 ちゅーぬ うりーゆー (朝露が降りている)。

ちゅー [tʃu:] 【形容詞】 [B] 強い。【例】 ちゅー びとう (力の強い人)。ちゅーくん ひき (強く引け)。まくがんな ちゅーかいば とうらいぎつふあにゃーん (ヤシガニは力が強いのでつかまえられそうにない)。

ちゅーい [tʃu:i] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 強くなる、成長する。【例】 やらびゃー ちゅーりどう あいきゅー (子供は強くなって歩ける)。やらびゃー ちゅーりーどうーい (子供は成長している)。

ちゅーか [tʃu:ka] 【名詞】 [C] 急須。【例】 ちゅーかぬ ちゃーゆ ぬん (急須のお茶を飲む)。

ちゅーぎ [tʃu:gi] 【形容詞】 [B] 強そう。【例】 かりゃー じゃうからたなうががら ちゅーぎ びとう (彼は立派な体格で何となく強そうな人だ)。ちゅーぎ ふい (力が強そうな振り)。

ちゅーく [tʃu:ku] 【副詞】 強く。【例】 ちゅーく たやう いりー ん[°]なうぎゃー ひき (強く力を入れて綱を引け)。

ちゅーずむびとう [tʃu:zimubitu] 【成句】 心の強い人。

ちゅーばー [tʃu:ba:] 【名詞】 自分の考えを曲げない人、有能な人、やり手 («がーじゅー»とは違い、良い意味にも使う)。【例】 からー やぐみ ちゅーばーやひー うむくとう あいびとう

(彼はとても考えがしっかりして賢い人だ)。ちゅうばー かないびとう (有能でよく働く人)。

ちゅーばん [tɕu:ban] 【名詞】《魚》中型のカツオ。

ちゅきやー [tɕukja:] 【副詞】すでに、すぐに、あっという間に。【例】うりやー ちゅきやー いでいー はりーにやーん (彼はすでに出ていった)。かいが やーや ちゅきやー とうみらいどう うたい (彼の家はすぐに探せた)。うらー ちゅきやーぬ はなす (それはあっという間の話だ)。やらびやー ちゅきやーん ほうどういどうす (子供はあっという間に大きくなる)。かりやー ちゅきやーん みーだんぎーにやーん (あいつはあっという間にいなくなった)。

ちゅっふ [tɕuffu] 【動詞】[f 語幹] [C] (ものを) 作る; (作物を) 栽培する。【例】んきやーんな あーひどう んっちゅぎやー ちゅっふゆーたい (昔は粟で神酒を作っていた)。さんしんぬ ちゅっふ (三線を作る)。はいん そうーゆ ちゅっふ (畑で野菜を作る)。
[変異] ちゅふー。[類] ちゅふー。

ちゅっふい [tɕuffui] 【動詞】[母音語幹] 野菜の泥や毛根を取ってきれいにする; 布や網を繕う。【例】{そうーゆ/んーぬ/だきやうゆ} ちゅっふいる (野菜/芋/ラッキョウの泥、毛根

をきれいに取りなさい)。あんぬ ちゅっふいる (網を繕え)。

ちゅっふいかい [tɕuffikai] 【名詞】造り替え。【例】やーぬ ちゅっふいかい (家の改造)。

ちゅふー [tɕufu:] 【動詞】[f 語幹] [C] (ものを) 作る; (作物を) 栽培する。
[変異] ちゅっふ。[類] ちゅっふい。

ちゅんくら [tɕuŋkura] 【名詞】《鳥》雲雀 (ヒバリ)。【例】ちゅんくらがまー ちゅんくら ちゅんくらていー なつ (ひばりはチュンクラ チュンクラと鳴く)。
[類] ちゅんちゅん。

ちゅんちゅん [tɕuntɕun] 【名詞】《鳥》雲雀 (ヒバリ)。【例】ちゅんちゅんがまぬ ちゅんちゅんていー なつ (雲雀がチュンチュンと鳴く)。
[類] ちゅんくら。

ちゅんな [tɕunna] 【副詞】～さえも。【類] ちゅんま。

ちゅんま [tɕumma] 【副詞】～さえも。【例】ういびとう なりー んまがみぬ なーや ちゅんま うぶいらいん (年取って孫たちの名前さえも覚えられない)。うまぬ いんな っぞうまい たくまい なうちゅんま みーん (この海には魚もタコも全然いない)。
[類] ちゅんな。

ちよーず [tɕo:zi] 【名詞】[C] 手水、手を洗うこと、簡便な手洗い器。【例】

がっこうの しーしーたー ちよーず
ひー ていーゆあろう (学校の先生達
は簡便な手洗い器で手を洗う)。

ちよろ [tɕoro] 【副詞】簡単に。【例】
うりゅーぎゃー ちよろ あすどうす
(これは簡単にできる)。

ちりぐい [tɕirigui] 【名詞】甲高く響
きのある声。

ちる [tɕiru] 【名詞】[C] (三線の) 弦。

ちるだい [tɕirudai] 【名詞】三線の弦
が緩んでいる ; 疲れ気味、体がだるい。

【例】きゅーや ちるだいや ひーど
う (今日は疲れ気味だ)。

ちるだみ [tɕirudami] 【名詞】(三線
の) 調弦。【例】さんしんぬ ちるだみ
あす (三線の調弦をする)。さんしん
ぬ ちるだみゃー むずかすむぬ (三
線の調弦は難しい)。[類] ちんだみ。

ちんくるがた [tɕiŋkurugata] 【名詞】
『昆』精霊バツタ、キリギリス。

ちんだみ [tɕindami] 【名詞】(三線の)
調弦。 [類] ちるだみ。

つ

つー [tsi:] 【動詞】 [b 語幹] [A] 交尾する。【例】いんぬどう つーびゅー (犬が交尾している)。[類] つーび。

つー [tsi:] 【動詞】 [c/cc 語幹] [A] 釣る。【例】うつみっちゅ つー (まるひらあじを釣る)。っぞう つー が (魚釣りに (行こう))。んぬ つーたい っぞう (昨日釣った魚)。

つー [tsi:] 【動詞】 [c/cc 語幹] [A] 着る。【例】つんぬ っち (着物を着れ)。きつぎつんな っちいー っさらんかい っ (きれいに着飾って平良に行く)。きつぎつんぬ っちゅーい みどうん (きれいな着物を着た女性)。

つー [tsi:] 【動詞】 [vv 語幹幹] [A] (目を) つぶる。【例】みーゆ つーていがー なうまい みーらいん (目をつぶるとなにも見えない)。[類] つづい。

つー [tsi:] 【動詞】 [vv 語幹幹] [A] 癲癇の発作を起こす。【例】つづい すにーにゃーん (癲癇などの病気で死ぬ)。つづいー ぶらかいりーにゃーん (癲癇で気を失ってひっくり返った)。つづいやん (癲癇)。[類] つづい。

つー [tsi:] 【名詞】 [B] 乳；乳房。【例】つー ふいー (母乳を飲ませる)。つーや にゃーん (母乳はでない)。つーふ あい っづあ (乳飲み子)。やらびゃー つーゆ ぬん (子供は乳を飲む)。ていびぬ つーふあや (末っ子。子豚達の中で一番後ろの乳を飲む一番小さい子豚)。ほうずー (巨乳)。

つー [tsi:] 【名詞】 [B] 血、血の気 [体外に出たものは「あかつ」というのが普通]。【例】かいが みはなんな つーや にゃーん (彼の顔には血の気がない)。かりゃー つーや ひきーどうー。つーんつ (血管)。

つー [tsi:] 【名詞】 [B] 釣り針。【例】っぞうぬ つーゆ っふいーゆー (魚が釣り針を食っている)。つーんかい びじゅー つきー (釣り針に餌をつける)。っぞう つー つー (魚を釣る釣針)。

つー [tsi:] 【名詞】 [B] 気、気力、気持ち。【例】つー あい びとう (元気な人)。つーや にゃーんんまり (元気がない人)。つーゆ いだし (元気を出せ)。

つー [tsi:] 【形容詞】[B] よく切れる、切れ味の良い。【例】つー がたな (よく切れる刀)。つー っざら (切れ味の良い鎌)。くぬ かたなー つーむぬ (この包丁はよく切れる)。

つー [tsi:] 【補助動詞】[c/cc 語幹] (動詞連用形について) 徹底してやる。【例】からー うむくとう にゃーんば あいっちー ならーし (あいつは頭が悪いから、強く言って教えろ)。ふあいっちーにゃーん (洗いざらいみんな食べた)。むぬーぎゃー まーぬ ふあいっちやだうり (食べ物をそんなに食べるな)。まさいや さきゅー ぬんっちーにゃーん (マサイは酒を全部飲み干した)。まさいや さきゅー ぬんつつたい (マサイは酒を全部飲み干した)。

つーき [tsi:ki] 【名詞】[C] 雨季。【例】んめ つーき なりーどうー (もう雨季になっている)。つーきゃーひどう うんそうく あみぬ っふゅー (雨季で雨が良く降っている)。

つーきや [tsi:kja] 【名詞】[C] (皮膚病ではなく) 小さく突起している皮膚。【例】みんどう つーきやがまぬ あい (耳に小さなこぶがある)。

つーず [tsi:zi] 【名詞】[B] (魚の) 刺、(草木の) とげ。【例】あいっぞうぬ つーずんな ささいな (アイゴの刺には刺されるな)。あだんぎーぬ つーず (アダンの木の刺)。

つーだり [tsi:dari] 【形容詞】元気がない、やる気がでない。【例】つーだりんまり (元気がない奴)。きゅーや あみゃー っふいー なががら つーだりかいば ならん (今日は雨が降ってなんとなく元気がでない)。

つーつ [tsi:tsi] 【動詞】[k 語幹] [C] (魚を) 鰓 (えら) から口にススキで通す。【変異】つーふ。【類】つーつつ。

つーつつ [tsi:ttsi] 【動詞】[k 語幹] (魚を) 鰓 (えら) から口にススキで通す。【例】っぞうー ぎすつひー つーつき (魚をススキで鰓から口に通せ)。【変異】つーっふ。【類】つーつ。

つーっふ [tsi:ffu] 【動詞】[k 語幹] (魚を) 鰓 (えら) から口にススキで通す。【変異】つーつつ。【類】つーつ。

つーにゃ [tsi:nja] 【名詞】[C] 乳の出ない女性。【例】つーにゃんまぬ っふあー いつまい やーっさがーき (乳の出ない母親の子供はいつもひもじい思いをしている)。

つーぬ つぶんがま [tsi:nu tsibungama] 【名詞】乳首。【類】つーぬ ぶつ。

つーぬ ぶつ [tsi:nu futsi] 【名詞】乳首。【類】つーぬ つぶんがま。

つーばー [tsi:ba:] 【名詞】上前歯の後ろの一对の歯、牙、犬歯。

つーび [tsi:bi] 【動詞】[母音語幹] [C] 交尾する。【類】つー。

つーふ [tsi:fu] 【動詞】 [k 語幹] [C] (魚を) 鰓 (えら) から口にススキで通す。
[変異] つーつ。[類] つーつつ。

つーふつ [tsi:futsi] 【名詞】 切り口。

つづあ [vva] 【代名詞】 [A] あなた、お前。【例】 つづあー んじゃぬ つづあ (お前はどこの子供だ)。つづあがとうい (お前が取れ)。つづあうとつづあす ぶすむぬ (お前をめとりたい)。つづあんかい くるー ふうーでい (お前にこれをやろう)。

つづあーす [vva:si] 【形容詞】 細い (糸); 細い (人)。【例】 つづあーすいとうがま (細い糸)。つづあーす ひとつがま (痩せて細身の人)。

つづあどう [vvadu] 【代名詞】 [C] つづあ (お前) の複数形、お前たち。
[変異] つづある。

つづある [vvaru] 【代名詞】 [C] つづあ (お前) の複数形、お前たち。 [変異] つづあどう。

つづあん [vvan] 【動詞】 [vv 語幹幹] [A] 「うー (売る)」の否定形。

つづい [vvi] 【動詞】 [vv 語幹幹] [A] 「うー (売る)」の連用形。

つづゆー [vvju:] 【動詞】 [A] 売っている [(売る) の連用形「つづい (売って)」 + 「うい (いる)」 = 「つづいーうい (売っている)」の変異形]。

つづゆー [vvju:] 【動詞】 [vv 語幹幹] [A] (酸っぱさが歯に) しみる。【例】 そうー くにゆーや ふあいどう はーや つづいづづゆー (酸っぱいミカンを食べて歯が沁みている)。[類] つづいづづい。

つが [tsiga] 【名詞】 [C] 上面と底面は正方形の形で穀物の量を量る枡、木製の度量衡器の1つ、5合・1升がある。【例】 いっしょ つが (1升枡)。まみゆー つがひー はかい (豆を枡ではかる)。

つかい [tsikai] 【動詞】 [母音語幹] [A] 聞こえる、聞ける、理解できる; 信用できる。【例】 いんぬ なつぐいぬ つかい (犬の鳴き声が聞こえる)。からー ほうむぬゆみや やいば とうー ぬなか ひていっちゃとうんま つかいん (彼は大ぼら吹きだから10の中1つも信用できない)。くぬいぬ ばかむぬんみゃー むぬいや つかいそうがむぬっじゃいん (最近の若者たちは方言は聞けるが話せない)。うらー ひとつうんな つかいん むぬい (それは人には信用されない話だ)。

つかい [tsikai] 【名詞】 [A] 使うこと、使い。【例】 やらび つかいや どうー つかい (子供使いは自分使い [> 知恵の足りないものを使うと自分の身に降りかかってくる])。

つがい [tsigai] ① 【動詞】 [母音語幹] [A] 着替える。【例】 つがいでゆ むち

ゆーていがー つがいる (着替えを持っていたら着替えろ)。②【名詞】[A] 着替え。

つかいでい [tsikaidi] 【名詞】使い勝手。【例】あいぬ いみむぬがまー つかいでいーや にゃーん (こんな小さいものは使い勝手が悪い)。

つかいはー [tsikaiha:] 【名詞】使途、用途、使い道。【例】うらー なうぬ つかいはーまい にゃーん (それは何の使い道もない)。つかいはーや っさいん でいん (使途の分からない金)。

つかう [tsikau] 【動詞】[w 語幹] [A] 使う。【例】でいんぬ つかう (お金を使う)。ひとうー つかう (人を使う)。くぬ すかまんかいや まーぬ じかんぬぎゃー つかうな (この仕事にはあまり時間を使うな)。くらー かなまいゆ つかう すかまー あらん (これは頭を使う仕事ではない)。

つがき [tsigaki] 【名詞】[B] (ミカン、アダンの実の中の) 小袋、またその実。【例】あだんぬ つがきゃー まーぬ あずまっふぁにゃーん (アダンの実はあんまり甘くない)。

つかさやー [tsikasaja:] 【名詞】漲水神社。

つかす [tsikasi] 【動詞】[s/h 語幹] [A] 聞かせる。【例】はなっそう つかす (話を聞かせる)。きゅーや うむっそう はなっさ つかひーふいーさまいー

やぐみ すでいがほー (今日は面白い話を聞かせていただいて大変ありがとうございます)。

つかなう [tsikanau] 【動詞】[w 語幹] (家畜、動物を) 飼う、育てる、(妻子を) 養う、年寄の世話をする。【例】いつむすがまう つかなう (家畜を飼う)。ういびとうー つかなう (年寄りの面倒を見る)。っふあう つかなう (子供を養育する)。うなが はだんな わいていー かないー とうず っふあうぎゃー つかなーだかーならん (自分が生きている間にはしっかりと働いて妻子を養わないとならない)。[類] みばかい。

つかん [tsikan] ①【動詞】[m 語幹] [C] つかむ。【例】っぞうー ていーひー つかみ (魚を手で掴め)。②【名詞】[C] つかむこと。【例】ほうずかん あす (たくさん掴み取る)。

つかんふい [tsikanfui] 【名詞】聞かないふり。【例】かりゃー ふつあじゃーなびとう やいば ういが むぬいゆぎゃー つかんふい あっそう (彼は言いたい放題ものをいう人だから彼の話には耳を傾けるな)。

つき [tsiki] 【動詞】[母音語幹] [A] 漬ける、塩漬けにする。【例】んきゃーんな きーつきひだん きーや つきーからどう やーゆぎゃー ふきゅーたい (昔は木つけ浜に木を浸けてから家を建てた)。そうーゆ つきー つき

なう ちゅっふ（野菜を漬けて漬菜をつくる）。かうっじゃ ちゅっふいーからどう んそうーぎゃー つきー（麴を作った後に味噌を漬ける）。

つぎ [tsigi] 【動詞】[母音語幹] [A] 付ける。【例】つぎらぬ ゆるー ぶりーにゃーんば ういが ゆるー つぎる（鎌の取っ手が折れたのでその取っ手を付ける）。

つきだき [tsikidaki] 【名詞】マツチ。【例】つきだきぬ にゃーだかー むぬー にーらいん（マツチがなければ飯は炊けない）。

つきな [tsikina] 【名詞】[B] 《食》塩漬けした野菜。

つぎゃーい [tsigja:i] 【動詞】[r/rr 語幹] 繋がる。【例】くまぬ んっちやかまぬ んつんかどう つぎゃーりゅー（ここの道は向こうの道に繋がっている）。

つぎゃーらす [tsigja:ra:si] 【動詞】[s/h 語幹] つなげる。【例】くまぬ んつとう かまぬ んっちゅ つぎゃーらし（ここの道と向こうの道を繋がらせる）。

つきゃがい [tsikjagai] 【動詞】[r/rr 語幹] 思い上がる、つけあがる。【例】まーぬ つきゃがいな（あまり思い上がるな）。

つきゃがい [tsikjagai] 【動詞】[r/rr 語幹]（感情が）こみあげる。【例】か

りゃー むいとうどう つぎゃぎやりゅー（彼はとても押えきれない感情がこみあげている）。

つきゃふ [tsikjafu] 【名詞】[A] 海猫；不美人（女性を貶したりする時に使う）。【例】つきゃふがまぬどう すでいーゆー（海猫の雛が卵から生まれている）。

つぐい [tsigui] 【名詞】[C] 瓢箪（ひょうたん）。【例】つぐいぬどう なりゅー（ひょうたんが なっている）。きつき つぐいがま（形の綺麗な瓢箪）。

つくつ [tsikutsi] 【動詞】[k 語幹] [A] 重ねる。【例】ふゆんな やりずんぬ つくきー かうー（冬には古い着物を重ねて被る）。[変異] つくふ。

つくつぎー [kkutsigi:] 【名詞】《植》福木。【例】つくつぎーや やーぬ かつんどう ない（福木は家の垣になる）。

つくぬか [kkunuka] 【名詞】《数詞》九日。

つくぬつ [kkunutsi] 【名詞】《数詞》九つ。

つくぬぬひとう [kkununuhitu] 【名詞】《数詞》九人。

つくふ [tsikufu] 【動詞】[k 語幹] [A] 重ねる。[変異] つくつ。

つさ [ssa] 【名詞】[B] 噂、悪口。【例】ひとうぬ つさ あっさ どうーぬ つさ あす（人の悪口を言う事は自分

の悪口を言うようなもの [> 全て自分に返ってくる]。ひとうぬ っさ (人の噂)。かりやー ひとうっじゃぬ すー やいば いつまい ひとぬ っさう ゆみーまーい (彼女は人の噂の発信源だからいつも人の噂を言いふらす)。 [類] ふさ (fsa)。

っさ [ssa] 【名詞】 [B] 草。【例】ぬーまぬ っさかいや やらびんみぬ すかま (馬の草刈りは子供達の仕事)。ぬーまー っさう ふあう (馬は草を食べる)。みなかぬ っさう ひつ (庭の草を引く)。

っさ [ssa] 【名詞】 [B] 足のくるぶしより下の部分、足の甲、足首。【例】っさう きー (躓く)。っさー ん°まん (足が地につかない)。 [類] っさびじゃ。

っさ [ssa] 【名詞】 [B] 低い。【例】っさびとうがま (身長の低い人)。

っさ [ssa] 【名詞】 [B] 痺れ。【例】くぬていーぬ っさー とうらいん (この手のしびれは取れない)。

っさ [ssa] 【形容詞】 [B] 臭い。【例】あがいー っさあが ぴーや あていくとう っさかいば んびやーいん (あれ、お前の屁はあんまり臭くて我慢できん)。なうばいぬ っさ びーが (なんて臭いおならなんだ)。

っさ ん°ん [ssa ɲn] 【成句】 [m 語幹] 神経が麻痺して痺れる、足が痺れる。【例】あがい はずぬどう っさ

ー ん°みー あいかいん (あーもー 足が痺れて歩けない)。ばー ていーまい はずまい っさー ん°みーどうー (私は手も足も痺れている)。

っざ [zza] 【名詞】 [C] 父親、お父さん。【例】っざー いつまい わいていーすかまう かないーゆー (お父さんはいつも一生懸命働いている)。っざ、はやまり くー (お父さん早く来て)。

っさい [ssai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 熱い物に触れる。【例】あつむぬんかいや っさいな (熱いものには触るな)。んーぬ すーや すたまっじゃいきー っさりーにやーん (芋の煮汁をこぼそうとしてそれに触れてしまった)。うまつん っさらはいにやーん (火に触れてしまった [< 触らされてしまった])。うまつん っさりーにやーん (火に触れてしまった)。

っさい [ssai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 腐る、腐った。【例】っさりー ふあーいん (腐って食べられない)。っさいむぬ (腐った物)。

っさい [ssai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 「言う、伝える」の謙譲語。【例】かまの ういびとうんかいどう とうっじゃ とうみたいていー っさりったい (あそこの長老に結婚したとお伝えしてきた)。 [変異] ふさい。 [類] っさい (母音語幹)。

っさい [ssai] 【名詞】 [B] 白蟻。【例】ばんていが やーや っさいん たく

まいーにゃーん（私たちの家はシロアリにやられてしまった）。

っさい [ssai] 【名詞】 [A] 《鳥》 メジロ。

っさい [ssai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 発情する。【例】 わーぬどう っさりゅー（豚が発情している）。いつむすまい にんぎんまい っさいていがー なうちゅんま ぎっじゃ ひらいん（動物も人間も発情するとどうしようもない）。

っさい [ssai] 【動詞】 [母音語幹] [A] 「言う、伝える」の謙譲語。【類】 っさい (r/rr 語幹)。

っさうちや [ssautça] 【名詞】 《貝》 高瀬貝に似た貝、身は軟らかい。

っさうつ [ssautsi] 【名詞】 口の形容、唇があまりでてない、のっぺりした口をしていること。【例】 からー っさうつびとう（彼は口が平たい）。

っざがー [zzaga:] 【名詞】 《地名》 西原の裏手にある大きな洞窟、この洞窟の中には川が流れていて、ンスヌカーに通じていると言われている。

っさかい [ssakai] 【名詞】 草刈り。

っさかい [ssakai] 【動詞】 [r/rr 語幹] 混み合う。【変異】 すかかい。

っさがい [ssagai] 【動詞】 [r/rr 語幹]（道を）ふさぐ、（人を）とうせんぼする、

（目を）つぶる。【例】 んっちゅ っさがいな（道をふさぐな）。みーゆぎゃー っさがらだうり（目を閉じるな）。

っさがい [ssagai] 【動詞】 [r/rr 語幹]（木などに）ぶら下がる。【例】 きーん っさがい（木からぶら下がる）。くぬ やらびゃー んまが すかまんかい いかっでい あすきゃー なきー っさがい（この子はお母さんが仕事に行こうとすると泣いて（お母さんの腕に）ぶら下がる）。

っさかう [ssakau] 【動詞】 鳥肌が立つ様な変な気持ちになる、不気味な変な気持ちになる、（怖くて）足が竦（すく）む。【例】 かまー うとうるす っさかう とうくま（向こうは怖くて鳥肌が立つようなところ）。んきゃーん ばかぬ まいゆ あいつていがー っさかうむぬ（昔の墓の前を歩くと足が竦む）。

っさかす [ssakasi] 【動詞】 [s/h 語幹]（怒って皿などを）滅茶苦茶に割る。【例】 さらう っさかす（皿を滅茶苦茶に割る）。

っさからす [ssakarasi] 【動詞】 [s/h 語幹]（怒って皿などを）滅茶苦茶に割る。【例】 さらう っさからす（皿を滅茶苦茶に割る）。

っさがりや むちゃい むちゃい [ssagarija mutçai mutçai] 【成句】 ぶら下がったり抱かれたりするこ

と。【例】くぬやらびやー いつまい
っさがりや むちやい むちやいど
ー（この子はいつも、駄々をこねて抱
っこ抱っこ言うんだよ）。

っさかん [ssakan] 【名詞】《生物》バ
タラに似た小さなカニ。

っさき [ssaki] 【動詞】[母音語幹] [C]
割れる。【例】あかばたういや っさ
きーにやーん（スイカは割れてしまっ
た）。

っさぎ [ssagi] 【名詞】[C] 白髪。【例】
ういびとう なりどう っさぎ がな
まいん なりゆー（年取って白髪頭にな
っている）。

っざく [zzaku] 【名詞】[B] 櫂（かい）。
【例】っざくひー ふにゆー くず（櫂
で舟を漕ぐ）。

っさぐい [ssagui] 【名詞】濁（だみ）
声。【例】かいが っさぐいや つつ
ずみ（彼の濁声は聞きやすい）。

っざくぎー [zzakugi:] 【名詞】《植》
櫂を作る木 [＞チーク、チーク材]。
【例】んきやーんな っざくぎー ひど
う っざくーぎやー ちゆふゆーたい
（昔はチーク材で櫂は作っていた）。

っさす [ssasi] 【動詞】[s/h 語幹] [A]
知らせる、教える。【例】かいが く
とうー ばぬんかいまい っさし（（彼
がどんな人か、彼がいまどうしてるの
か）私にも教えてくれ）。かின்な っ

さはだうり（彼には知らせるな）。か
いが がんじゆーや ひーゆーむ なう
む っさし（彼が元気であるのかどう
か教えてくれ）。かின்かい っさすた
い（彼に知らせた）。

っさずみやがま [ssazimjagama]
【名詞】《昆》草ゼミ [季節の最初に現れ
るゼミで小型]）。

っさだ ういきや [ssada uikja]
【成句】いつの間にか、しらないうちに。
【例】やらびやー っさだ ういきや
ほういふ なりーどうー（子供はい
つの間にか大きくなっている）。

っさだつ [ssadatsi] 【名詞】（深さ、高
さが）足首までの深さ、高さ。[変異]
ひさだつ。

っさたら [ssatara] 【形容詞】平べっ
たい。【例】っさたら かなまい（頭
の後ろが平べったい人）。っさたら う
っそう（後頭部が平べったい人）。っさ
たら どうくま（平べったい所）。

っさたらす [ssatarasi] 【動詞】[s/h
語幹] 平たくする。【例】うまう っ
さたらし（そこを平たくしろ）。

っさつ [ssatsi] 【動詞】[k 語幹] [A]
割く、裂く。【例】たきゆー っさつ
（竹を割る）。[変異] っさふ。

っさでい [ssadi] 【名詞】[C] 芋のひ
げ根。[類] っさでいら、つさに。

っさでいら [ssadira] 【名詞】芋のひげ根。【例】かいが まいんな でいんな っさでいん なりー んちゅー んだら（彼のところはお金が芋のひげ根のようにたくさんあるだろう）。っさでいらんーな っさに（ひげ根芋は芋のひげ根）。[類] っさでい、っさに。

っさに [ssani] 【名詞】[B]（小さい芋などが付いた、主根になりかけている）根。【例】んーぬ っさにゅー とうい（芋のひげ根を取る）。[変異] ふさに。[類] っさでいら、さでい。

っさぱず [ssapazi] 【名詞】裸足（はだし）。【例】なうや ん^んまん っさぱずひー やまんかい はいりー いったい（何も履かない裸足で山に入っていた）。

っさばな [ssabana] 【名詞】低い鼻。【例】っさばな やらび（低い鼻の子供）。

っさばや [ssapaja] 【名詞】白癬。

っさび [ssabi] 【名詞】[C] 楔（くさび）。【例】っさびゅー っふあし（楔を噛ませろ）。っさびゅー かまし（楔を噛ませろ）。

っさび [ssabi] 【名詞】[C] しゃっくり。【例】っさびぬどう ひとつむていから なまらだ いじゅーい（しゃっくりが朝から止まらず出る）。っさびぬどう なまらはいん（しゃっくりが止められない）。

っさび [ssabi] 【動詞】[母音語幹] [C]（土地の）草、塵などをとって綺麗にする、（土地を）整備する；苧麻木の葉を取る、脱穀する。【例】やーゆ っさび（家を整備する）。

っさびじや [ssabiza] 【名詞】足首から下の部分、足の甲。【例】つづあが っさびじやー やそうる っさびじや（お前の足は一反足のデカ足）。たーん^ん がばー っさびじや（田を踏む大足）。[類] っさ。

っさびつ [ssabitsi] 【動詞】[k 語幹] 引きずる。【例】うるー っさびきー かまんかい ゆっじゃし（これを引きずって、向こうに寄せろ）。[変異] っさびふ。

っさひつにん [ssahitsinin] 【名詞】「ひつにん」の強調形。[類] ひつにん。

っさびふ [ssabifu] 【動詞】[k 語幹] 引きずる。[変異] っさびつ。

っさふ [ssafu] 【動詞】[k 語幹] [A] 割く、裂く。[変異] っさつ。

っさぶき [ssabuki] 【名詞】フケ。【例】っさぶきゅー かつ（フケを搔く）。

っさやん [ssajan] 【名詞】フィラリア虫による象皮病。【例】んきやーんな っさやん ひとつぬどう うたいそが んなまー みーん（昔は象皮病の人がいたが今はいない）。っさやんな ひー ほうーりゅーたい（象皮病の発作で震えていた）。

っさら [ssara] 【名詞】[A]《地名》平良。【例】んきやーんな っさらたーひー あいきー いちじかんばかーい かかいたい（昔は平良まであるいて1時間ぐらいかかった）。

っざら [zzara] 【名詞】[C]《道具》鎌。【例】つー っざら（切れ味の良い鎌）。たうんまばすぬ すーゆ っざらひー ったきー みーていがー ンまばっさ うぐっりー にやーん（スズメバチの巣を鎌で叩いてみたら蜂は攻撃態勢に入った）。

っさらす [ssarasi] 【動詞】[s/h 語幹] 熱い物で火傷する。【例】はっじゃ あつみずん っさらはいにやーん（足を熱い水でやけどした）。あつなびん っさらはい にやーん（暑い鍋に当たってやけどした [くさらされて]）。

っさり [ssari] 【動詞】[母音語幹] [C] 腐る。【例】うぬ っぞー っさりー ふさかいば ならん（その魚は腐っていて臭くてならない）。っさり っぞー さすどうす（腐れた魚を食べると唇が痛くなる）。[類] ふさり、っさい。

っさり [ssari] 【動詞】[母音語幹] [C] 発情する。【例】ぬーまー っさりー どうー（馬は発情している）。ぼんていが わーや っさりやー ひどう わーぬ っしから ひんぎー まーりゆー（うちのブタは発情して豚小屋から逃げ回っている）。[類] っさい。

っさり [ssari] 【接尾辞】様、敬意を表す接辞。【例】っざ っさり（お父様）。んま っさり（お母様）。やびとうーん ーなっさり（皆様）。

っさん [ssan] 【名詞】[C] シラミ。【例】っさんぬ どうぬかー あかぬ にーんどう あい（シラミの卵は髪の毛の根っこにある）。かなまいん っさんぬ うりー かうかいば ならん（頭にシラミがいて痒くてならない）。っさんぬ どうぬかうぎやー ぎっさていどう あい（シラミの卵のことをギッサと言う）。

っさん°んぱず [ssammpazi] 【成句】象皮病（フィラリア症）で太くなった足。【例】かじゃんー ささいー っさん°んぱずん ないちゃ（蚊に刺されて象皮病になるんだって）。

っさんす [ssansi] 【名詞】旧暦10月、11月ころ。【例】っさんすぬ ふたゆぐむい（（ウタキでミャークズツの後）秋に二晩夜ごもりをすること）。

っさんすぎー [ssansigi:] 【名詞】《植》チークの木、櫛を作る木。[類] っざくぎー。

っさんふい [ssanfui] 【成句】しらないふり、こっそりと。【例】からー いつまい ばぬん いじゃうていが っさんふいゆ ひーゆ（あいつは私にあったら、いつも知らないふりをしている）。っさんふいや ひー いかっさ

まい ふあう ひとう (こっそりといくらでも食べる人だ)。

っし [ççi] 【名詞】 [C] リーフ [＜ひし (干瀬) 複合語では「すまずーほうっびじ (島尻大干瀬)」のように「ひし」が使われる]。【例】さにつんな っしぬ いでいー (旧暦の3月3日にはサンゴ礁が現れる)。

っし [ççi] 【名詞】 [C] トイレ。【例】わーぬ っし (豚小屋 [昔は豚小屋で用便をしていたから])。

っし [ççi] 【形容詞】 [B] 寒い。【例】っし どうきやん あつ んっつーゆぬんていがー どうーぬどう んふばーい (寒いときは暑い汁を飲んだら体が温まる)。ひーふんな っしかいば んびゃーいん (寒波のときは寒くてしかたがない)。っしさぐぱい (寒さで震え上がる)。っしびーふんな いんきー っぞうー っそー (寒波のときには海に行って魚を拾う)。

っじ [zçi] 【動詞】 [母音語幹] [C] 受け取る、もらう [共通語の「もらう」と違い、話し手から聞き手が受け取る場合も使う。「～てもらう」のような補助動詞用法はない]。【例】かいから っぞうー っじー ふあうたい (彼から魚をもらって食べた)。っじ ぶすかいていがー くー (貰いたければ来なさい)。べー うるー っじる (ほら、これを受け取りなさい [＞これあげるよ])。うりゅー っじる (これを受け取りなさい)。

い)。にんぎんな っじそうんつきやーふいーぼどう ふからすかい (人間は貰うよりも与える方が嬉しい)。

っしがい [ççigai] 【動詞】 [r/rr 語幹] (大勢の人で) ごった返している。【例】うんどーかいんな ひとうぬ っしがりゅーたい (運動会には多くの人でごった返していた)。

っしさ [ççisa] 【名詞】 [C] 寒さ。【例】きゅーや っしさぬ ちゅーかい (今日は寒さが厳しい)。

っしさぶかい [ççisabukai] 【名詞】 寒さで凍えること。【例】やまとうーあていくとう っしかいば っしさぶかいや ひーうたい (内地は余りにも寒いので寒さで凍えていました)。きゅーや とうりひぐいや ひー っしさぶかい (今日は底冷えで、寒さに凍えている)。

っしさむい [ççisamui] 【形容詞】 寒がりだ。【例】ういびとう なりどう っしさむいふ なりゅー (年取って寒がりになっている)。[類] っしさむや。

っしさむや [ççisamuja] 【名詞】 寒がりや。[類] っしさむい。

っじだま [zçidama] 【名詞】 取り分、分け前。【例】ばが っじだまー くさき (私の取り分はこれだけだ)。うらー っづあが っじだま (それはあなたが受け取る分だ)。[類] たま、ばきだま、とういまい。

っしばら [ççibara] 【名詞】裏手、後方、後ろ隣。【例】っしばらたが やー（後ろ隣の家）。

っじゃ [zɯa] 【接尾辞】～ぼい、～らしい。【例】やらびっじゃんまり（こどもみたいなやつ）。ういびとうっじゃーにゃーん（老人らしくない）。

っじゃー [zɯa:] 【接尾辞】（動詞未然形について）次に続く動作の理由を表す、～するから、～しようと思うから。【例】ばんまい いかっじゃー っぐあまい いきーふいーる（私も行くのでお前も行ってくれ）。いっそう うまんかい ていっぐあっじゃ かまんかい ゆっでい（石をそっちに投げるからあっちに寄れ）。

っじゃーきやー [zɯa:kja:] 【接尾辞】（動詞未然形について）～しようとしていたら。【変異】っじゃうかー、っじゃうきー、っじゃいきー、っじゃんきー、っじゃーんきー。

っじゃーにゃーん [zɯa:nja:n] 【成句】（年寄）らしくない、分別がない。【例】かりゃー っじゃにゃーん ういびとう（彼は老人らしくない老人だ [= 元気だ、分別がない]）。からー っじゃーにゃーんまり（あいつは分別がないやつだ）。

っじゃーんきー [zɯa:nki:] 【接尾辞】（動詞未然形について）動作の最中に次に続く出来事があったことを表

す、～しようとしていたら。【変異】っじゃうかー、っじゃうきー、っじゃーきやー、っじゃいきー、っじゃーんきー。

っじゃいきー [zɯaiki:] 【接尾辞】（動詞未然形について）動作の最中に次に続く出来事があったことを表す、～しようとしていたら。【例】さかなやーんかい いかっじゃいきー とうずん んみかいー いかっだん（遊郭に行こうとしたが、妻に叱られて行かなかった）。すていっじゃいきー あたらかていー ほうっだん（捨てようとしたがもったいなくてやめた）。むぬー とらっじゃいきー、とういはっじゃきーにゃーん（ものを取ろうとして取り損ねた）。【変異】っじゃうかー、っじゃうきー、っじゃーきやー、っじゃんきー、っじゃーんきー。

っしやう [ççau] 【接尾辞】 [w 語幹]（動詞基本形について）その動作ができなかったことをあらわす、～しそこねる。【例】すかまぬ ありーみーきやー うつなーんかい いつっしやうたい（仕事があったので沖縄に行きそこねた）。じかんな ぼっしどう かいん いじやうっしやうたい（時間を忘れて彼に会いそこねた）。んっちゃ あてい くるまぬ うりどう ひこーきんぬーいっしやいーにゃーん（道はとても車が多く、飛行機に乗りそこねた）。っぞうー とういっしやいーにゃーん（魚を取りにがした）。

っじゃうかー [zzauka:] 【接尾辞】
 (動詞未然形について) 動作の最中に次に続く出来事があったことを表す、～しようとしていたら。 [変異] っじゃうきー、っじゃーきやー、っじゃいきー、っじゃんきー、っじゃーんきー。

っじゃうきー [zzauki:] 【接尾辞】(動詞未然形について) 動作の最中に次に続く出来事があったことを表す、～しようとしていたら。 [変異] っじゃうかー、っじゃーきやー、っじゃいきー、っじゃんきー、っじゃーんきー。

っしゃな [ççana] 【形容詞】[B] 汚い、不潔な、汚れた。 【例】かりやー うーっじゅまい ほうん っしゃな ンまり (彼は水浴びもしない汚い奴)。っしゃな みず (汚れた水)。っしゃな むぬいゆぎやー ほうん (汚い言葉づかいはしない)。

っじゃんきー [zʒaŋki:] 【接尾辞】(動詞未然形について) 動作の最中に次に続く出来事があったことを表す、～しようとしていたら。 [変異] っじゃうかー、っじゃうきー、っじゃーきやー、っじゃいきー、っじゃーんきー。

っじゅ [zzu] 【名詞】[C] 火鉢 (そこに穴の空いた鍋を使うことも多かった)、『祭礼』ウタキでお茶を沸かすところ。 【例】んきやーんな っじゅん うまっちゃ たつきー ンふみゅーたい (昔は火鉢で火を熾して暖を取っていた)。

っじゅん ちゃーゆ あっちやす (御嶽の囲炉裏でお茶を沸かす)。

っしゅーつ [ççu:tsi] 【動詞】[k 語幹] (人や動物の) 相手をせずにおく、構わずにおく。 【例】かりゅーぎやー っしゅーき (あいつのことは構うな)。 [変異] っしゅーふ。

っしゅーとうい [ççu:tui] 【成句】 知っていながら ((こどもなどのやることを) 干渉せずに自由にやらせておく) [っしゅー+うとうい]。 【例】やらびやー ならゆどう あすがていー っしゅーとうい みーんふい あっそう (子供が何をやろうとしても (干渉せずに) 見ないふりをしなさい)。

っしゅーふ [ççu:fu] 【動詞】[k 語幹] (人や動物の) 相手をせずにおく、構わずにおく。 [変異] っしゅーつ。

っしん°ん [ççin̄n] 【名詞】潮干狩り [＜リーフを踏む]。 【例】さにつんな っしん いきー っしん°ん あす (旧暦3月3日には礁 (リーフ) で潮干狩りする)。

つず [tsizi] 【副詞】更に。 【例】かいまい ばいかいそうが っづあー つず (彼も悪いがお前は更に悪い)。かりやー むいとうぬ がず やいそうが、とっじゃ つず (彼はケチだが、奥さんはもっと (ケチ) だ)。

つず [tsizi] 【動詞】[g 語幹] [A] 継ぐ。 【例】くまぬ やーや さんなんぬど

う つずちゃ (この家は三男が継ぐらしい)。

つず [tsizi] 【動詞】 [g 語幹] [A] 注ぐ、(酒、水等)を注ぐ。【例】さきゅー どうすぬ ちゃばんかい つず (酒を友達の花碗に注ぐ)。んめ とーとー、さきゅーぎゃー んめ つがだうり (もう十分だ。酒はもう注ぐな)。

つず [tsizi] 【名詞】 [B] 唾 (つば)。【例】つっじゅ とうばっていー とうばつ (唾をぺっと吐く)。

つず [tsizi] 【名詞】 [A] 頂上。【例】やーぬ つずんかい ぬーいたい (屋根のてっぺんにのぼった)。やまぬ つず (山の頂上)。

つずん [tsizin] 【動詞】 [m 語幹] [C] (開いた手のひらを)閉じる。【例】つづあが ていーんかい でいんぬ うっかっじゃー ていーゆ つづみ (あなたの手にお金を置くから手を握ってとじろ)。

つずん [tsizin] 【動詞】 [m 語幹] [C] しまう、整理する。【例】つんぬ たんすんかい つずん (着物をタンスにしまう)。[変異] すずん、すずみ。

つそう [ssu] 【名詞】 [B] 糞。【例】っしんきー っそうー まい (トイレに行って糞をする)。っそうまたむぬ (糞をしたい)。っそうまたふ なりーにやーん (糞がしたくなった)。[類] ふそう。

つそう [ssu] 【形容詞】 [B] 白い。【例】っそうびとう (色白の人)。

つそう [ssu] 【形容詞】 [B] 細い。【例】っそうびとうがま (細い人)。

つぞう [zzu] 【名詞】 [B] 魚。【例】つぞう つー (魚釣り)。つぞうー あんひー がにー とうい (魚を網で巻き取る)。まーつぞう (近海魚)。びゅー いっぞう (それを食べると中毒をおこす魚)。

つぞう すん びーふ [zzu sin bi:fu] 【成句】 魚が凍死する寒さ [「ひーふ」=寒波]。

つそうー [ssu:] 【動詞】 [w 語幹] [A] 拾う; 掬 (すく) う。【例】うまん うちゅー かーっそう っそうい (そこに落ちているお菓子を拾え)。たぶひー っぞうー っそうー (たも網でさかなをすくう)。

つそうい [ssui] 【名詞】 [C] 葉。[変異] ふそうい、ふすい。

つそうい [ssui] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] 拭く。【例】ゆかう っそうり (床を拭け)。

つそうい [ssui] 【名詞】 [C] 葉、農葉。【例】っそういや んぎゃむぬ (葉は苦い)。っそういまき (葉負け)。っそういゆ はうい (農薬を撒く)。[類] ふすい。

っそうい あす [ssui asi] 【成句】
一緒に来たがる。【例】やらびゃー
んまんかい っそういー ひー な
つ (子供は母親と一緒に来たがって
泣く)。

っそうがー [ssuga:] 【形容詞】薄い。
【例】ぶーぬぬー っそうがー むぬ
(苧麻布は薄い)。

っそうがい [ssugai] 【動詞】[r/rr 語
幹] (手や足などを) 広げる; うわさや
伝染病などが広がる; 子孫などが増え
て行く。【例】たくぬどう はっじゆ
っそうがりゆー (タコの足が広げて
いる)。ころなー あたくまん っそう
がりーにゃーん (コロナはあっという
まに広がった)。っふあんまがー っそ
うがりーどうー (孫や子が多い [< (家
系図的に) 広がっている])。

っそうがい [ssugai] 【動詞】[母音語
幹] (手や足などを) 広げる; うわさや
伝染病などが広がる; 子孫などが増え
て行く。

っそうぎ [ssugi] 【動詞】[母音語幹]
[A] (手や足などを) 広げる; うわさや
伝染病などが広がる; 子孫などが増え
て行く。【類】っそうず。

っそうず [ssuzi] 【動詞】[g 語幹] [A]
(空間的に) 広げる、(商売などを) 広げ
る、(自分のものを人に) 分け与える。
【例】ふにぬ ほーゆー っそうず (船
の帆を広げる)。うつつーゆー っそうず

(風呂敷を広げる)。かまぬ やーゆ
はいんかい っそうぎ (あの家を南に
ひろげる)。ていーゆー っそうずばどう
まさりーまい うやきふ ない (手
を広げれば益々裕福になる [> 自分の
ものを皆に分け与えればより裕福にな
る])。【類】っそうぎ。

っそうすー [ssusi:] 【名詞】よだれ。
【例】っそうすーびーた やらび (よ
だれまみれの子供)。やらびゃー っそ
うすーや たらすっちゃーん ういび
とうぬ はなっそう むいとう たみ
ー つきゆーたい (子供はよだれを垂
らしながら年寄りの話を夢中になって
聞いていた)。

っそうすばい [ssusibai] 【名詞】大
小便。【例】っそうすばいや むつ (大
小便の世話をする)。ういびと なりー
っそうすばいや むちゃいー、かま
らすかいば なん (年取って下の世
話になり悲しくてならない)。

っぞうだま [zzudama] 【名詞】(漁で
の) 魚の取り分。【例】んーなんかい
っぞうだまう なかーり (皆に魚の
取り分をを分ける)。

っそうっさぎ [ssussagi] 【名詞】白
髪。【例】っそうさぎ がなまい (白
髪だらけの頭)。っそうっさぎぬ うい
ゆー (白髪が生えている)。

っぞうぬみー [zzunumi:] 【名詞】魚
の目 [手、足の皮膚病の一種]。【例】

うゆびんどう っぞうぬみーぬ いじゅー (指に魚の目ができている)。

っぞうぬみー [zzunumi:] 【名詞】イソギンチャク。【例】あつうあみーがまー っぞうぬみーとうどう ひとつみ うい (クマノミはイソギンチャクと一緒にいる)。

っそうひだ [ssuhida] 【名詞】サザエの蓋。【例】っそうひだう はずき (サザエの蓋を弾け [昔はサザエの蓋をおはじきにして遊んだ])。

っそうひだぶに [ssuhidabuni] 【名詞】半月板 [膝関節の間にあってクッションの役割をする軟骨組織]。【例】たうりー っそうひだぶにゃー ばりーにゃーん (転んで半月板が割れてしまった)。

っそうます [ssumasi] 【動詞】[s/h 語幹] 白くする。【例】おしろいや つきー みはなう っそうます (白粉をつけて顔を白くする)。

っそうまた [ssumata] 【形容詞】便意をもようす。【例】っそうまたかいば んびゃーいん (糞したくて我慢できない)。

っそうん [ssun] 【動詞】[m 語幹] [A] 白くなる、白む、明け方になる。【例】ていんぬ っそうん (空が白む)。ていだーあがりー ていんな っそうみー っちゅー (日が昇って空は白んできている)。

った [tta] 【名詞】[B] 舌。【例】やらび あいきゃー やーら やつづい じゃたう ったひー なんとたい (こどもの時はやわらかい質の悪い黒糖を舌で舐めた (ものだ))。

った [tta] 【名詞】[B] 高瀬貝、ほら貝、水字貝などのエナメル状の蓋 [サザエの蓋は「っそうひだ」という]。

ったー [tta:] 【接尾辞】『接続助詞』「ていがー」の縮約形、節を取って仮定条件を表す、「たら」、「れば」、「なら」。
[変異] ていがー。

ったい [ttai] 【動詞】[C] 動詞「くー」(来る)の過去形。【例】たるがどう ったいが (誰が来たのか)。かいがどう ったい (彼が来た)。

ったつ [ttatsi] 【動詞】[k 語幹] [C] 叩く、殴る。【例】ひとつー ったきやならん (人を叩いていけない)。やらびゅーぎゃー ったかだ ならーし (子供は叩かないで教える)。がばていー ったつ (ゴツンと叩く)。ぎずぎやうなーひー そうじゃん みんなつづあー ったかいたい (やんちゃして、兄にびんたを張られた)。かまぬ ぎずぎやうなうぎゃー ったきー ならーし (向こうの腕白坊主は叩いて教えなさい)。
[変異] ったふ。

ったていー [ttati:] 【副詞】さっさつと。【例】ったていー ふあい (さっさつと食べる)。

つだに [tsidani] 【名詞】[A] お産直後、乳が固くなっていること。【例】つだにゆー ばい (お産直後、固くなっている乳をやわらかくすること)。

つたふ [ttafu] 【動詞】[k 語幹] [C] 叩く、殴る。【変異】つたつ。

つだん [ddan] 【接尾辞】動詞未然形について過去の否定を表す。【例】ゆまっだん (読まなかった)。つかっだん (聞かなかった)。ほうっだん (しなかった)。つうあっだん (売らなかった)。つちやっだん (着なかった、釣らなかったなど [「つー」の否定過去])。くーっだん (来なかった)。

つちやー [ttɕa:] 【接尾辞】(動詞基本形について) 方法、～方 (の基本を知っている) [「知る、知らない」だけがあとに続く]。【例】ふあうつちやー っさん (ちゃんとした食べ方を知らない)。くぬ やらびやー んなーぎやー あいつつちやー っさん (この子供はまだ歩けない)。ならーすつちやー っしーどー (一応の) 教えかたを知っている)。ばらうつちやー っさん ゆがばらい (笑い方を知らない不自然な笑い)。

つちやー [ttɕa:] 【接続詞】それでは。【例】じよ つちやー すかまう すうきやきいでい (さあ それでは仕事を始めよう)。つちやー ばんちやー やーんかい はらでい (それでは私達は家に帰ります)。

つちやーん [ttɕa:n] 【接尾辞】(動詞基本形について)～しながら。【例】ふあうつちやーん あっそう (食べながらやりなさい)。かぬ やらびやー なつちやーん あいきー ったい (あの子は泣きながら歩いて帰ってきた)。

つちやす [ttɕasi] 【動詞】[s/h 語幹] [A] (直接相手に) 着せる、(相手に言っただけの人に) 着させる。【例】うっとうんかい つんぬ つちやし (弟に着物を着せろ、弟に着物を着させろ)。かいん つちやす つんな にやーん (あいつに着せる着物がない)。

つちやすみ [ttɕasimi] 【動詞】[母音語幹] (相手に言っただけの人に) 着させる。【例】うっとうんかい つんぬ つちやすみる (弟に着物を着させろ [母親が姉に命令して、その結果弟が服を着る場合などに使う])。

つちやまい [ttɕamai] 【動詞】[r/rr 語幹] (人が) 成熟する、大人っぽくなる。【例】うぬ みどうんがまー つちやまりゆーががら みっりーどー (その女の子は成熟しているのか、女性っぽくなっている)。みどうんづあー つちやまりどー ぶとむつ はだんなりーうい (女の子は成熟して結婚する頃になった [＜夫を持つ])。うぬ びきどうんやらびやー つちやまりどー みっりーゆー (その男の子は成熟して男らしくなっている)。

つちやまいびやー [ttɕamaibja:]

【形容詞】(人が)成熟が早い、早熟だ。

【例】かぬ やらびやー っちやまいびやー やらび(あの子供は早熟だ)。

っちゃんつ [ttɕantsi] 【動詞】[k 語幹] (針の)目を通す；(運ぶために魚のエラの方から口の方に、ススキを)通す。【例】はいぬ みーゆ っちゃんつ(針の穴から糸を通す)。はいんかいとうー っちゃんつ(針に糸を通す)。ぎすつひー っぞうー っちゃんつ(ススキを魚の鰓(えら)から口に通す)。**[変異]** っちゃんふ。

っちゃんふ [ttɕanfu] 【動詞】[k 語幹] (針の)目を通す；(運ぶために魚のエラの方から口の方に、ススキを)通す。**[変異]** っちゃんつ。

っちゃんふ [ttɕanfu] 【形容詞】くやしい。【例】っちゃんふむぬ(くやしい)。

っちゆい [ttɕui] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] 壊れる、倒れる。【例】やーや かでいふつん っちゆりー はりーにやーん(家は風で壊れてしまった)。

っちゆす [ttɕusi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] 壊す、倒す。【例】やりやーゆ っちゆす(古い家を壊す)。ますぎたう っちゆす(石垣を壊す)。んつきぬ すたぬ まんちゆーぎーゆぎやー っちゆひー すている(軒下のパパイヤの木を倒して捨てる)。ほうかでいふつん やーや っちゆらはいにやーん(大風で家が壊されてしまった)。

つつ [tsitsi] 【動詞】[k 語幹] [A] (鉬で)突く、(杖を)突く、(まりを)つく、(杵で)搗(つ)く。【例】っぞうー うぎんひー つつ(魚を鉬で突く)。うすひー まいゆ つつ(臼で米を搗く)。**[変異]** つふ。

つつ [tsitsi] 【動詞】[k 語幹] [A] 聞く；聞き従う；尋ねる、質問する；(言葉を聞いて)理解する。【例】むぬいゆ つつ(話を聞く)。ぱーが いがんぐいゆ つつ(おばあさんの遺言を聞く)。からー ほうむぬ ゆみや やいばとうーぬ なか ひていっちやとうんま つかいん(彼は大ぼら吹きだから10の中1つも聞けない[>信用できない])。むぬーぎやー つきどう ならう(ものを聞いて学ぶ)。ゆーかーまん ひんじゃぬ なきゆーむぬぬ つかいたい(遠くでヤギのなくのが聞こえた)。そうじゃが むぬいゆぎやー つき(兄の言うことには従え)。なーゆ つふ(名前を聞く)。くぬいぬ ばかむぬんみやー すまぬ むぬいゆぎやー つつそうが むぬっじやいん(最近の若い人たちは、方言を理解することはできるけど話すことはできない)。**[変異]** つふ。

つつ [tsitsi] 【動詞】[k 語幹] [A] (薬などが)効く。【例】うぬ っそういや やんかいや つかっだん(その薬は病気には効かなかった)。つつ っそうい(利く薬)。つかん っそうい(きかない薬)。**[変異]** つふ。

つつ [tsitsi] 【動詞】 [k 語幹] [A] 着く、到着する；(岸などに) 接岸する。
【例】 うつなーんかい つきーどうーな (沖縄本島に着いたか)。 [変異] つふ。

つつ [tsitsi] 【名詞】 [B] 月 (暦)、月 (天体)。 【例】 つつぬ ゆーんな ていんぬ ほうっそう みー (月夜には天の星を眺める)。 ひとつつつ、ふたつつ (一月 (ひとつつき)、二月 (ふたつき))。 くぬいや ふたつつひー やーや ちゅっふあいどうす (最近は二か月で家はできる)。

つつー [tsitsi:] 【動詞】 [cc/tt 語幹] [C] 切る。 【例】 わーゆ つっちー にーふあう (豚肉を切ってたいて食べる)。 ひとつーぎやー つっちゃだうり (糸を切るな)。

つつー [tsitsi:] 【名詞】 [C] ナマコ。 【例】 つつーや なびー むぬ (ナマコはつるつるしている)。 ぬーまぬはなずつー (黒ナマコ)。

つっづい [tsivvi] 【動詞】 [母音語幹] [C] (目を) つぶる。 [類] つー。

つっづい [tsivvi] 【動詞】 [母音語幹] [C] 癲癇の発作を起こす。 【例】 つっづい すにーにやーん (癲癇などの病気で死ぬ)。 つっづいー ぶらかいりーにやーん。(癲癇で気を失ってひっくり返った)。 [類] つー。

つっづいやん [tsivvian] 【名詞】 癲癇。 [類] たまつつやん。

つつぐたい [tsitsigutai] 【名詞】 聞きごたえ。

つつじゃうず [tsitsizauzi] 【名詞】 聞き上手。 【例】 つつじゃうっじゃ ひー ふいーさまでい (よく聞いてください)。

つつず [tsizzi] 【動詞】 [zz/dd 語幹] [A] 妨害する；塞ぎとめる。 【例】 ぎずぎやうぬやらびぬどう あぐー あいかはじゃんていー んっちゅ つっじゅー (腕白坊主が友達をあるかせないと道をふさいでいる [>通さないと])。 ひとつぬ どうーい んちゅぎやー つっじゃん (人の通る道は遮らない)。 っぞうー ひんがはん やうん うまう つっでい (魚を逃がさないようにそこを塞ぎ止めろ)。

つっちやす [tsittçasi] 【動詞】 [s/h 語幹] 切らす。 【例】 まいや つっちやひーにやーん (米を切らした)。

つっちゅ [tsittçu] 【名詞】 [A] 月 (天体)、月夜。 【例】 つっちゅ ぬどういでいーうい (月が出ている)。 つっちゅぬ ゆーんな ていんぬ ほうっそう みー (月夜には天の星を眺める)。 [類] つつ。

つっちゅい [tsittçui] 【動詞】 [r/rr 語幹] 拳で殴る。 【例】 かいが かまっちゅ つっちゅり (彼の頬を殴れ)。

つつつ [ttsitsi] 【動詞】 [k 語幹] [C] (金槌等で) 叩く；(棒などで) つつく。

〔変異〕つつふ、つつつ。〔類〕つつふ、つつつ。

つつつ [tsittsi] 【動詞】[cc/tt 語幹] [C]
 (糸などを)切る；切れる。【例】やらびやー いとうー つつていー はりーにやーん (こどもは糸を切つて行ってしまった)。あっちゃぬ ぶーや つつちゅーば なうはだかーならん (下駄の鼻緒が切れたので直さないといけない)。まーにぬ ん[°]なー なんとぅが つつちやいん (黒ツグのひもはちよつとやそつとでは切れない)。〔類〕つつー。

つつつ [tsitsitsi] 【動詞】[k 語幹] [C]
 (金槌等で)叩く；(棒などで)つつく。【例】かにふっじゅ うんかっでいーひー はっじゃきー げんのーひー うなが うゆびゅー つつきーにやーん (釘を打とうとして打ち損じて金槌で自分の手を打ってしまった)。んまばすぬ すーゆ つつきー みーていがー んまばっさ うぐりーにやーん (蜂の巣をつついたら蜂は一瞬に飛び出し攻撃にでた)。〔変異〕つつふ。〔類〕つつふ、つつつ。

つつつふ [tsitsiffu] 【動詞】[f/ff 語幹]
 慌てふためく、パニックを起こす。【例】うぬやらびやー んまー とうみかにー つつつふいー まーりゅーい (この子はお母さんを見つけられずパニック状態になって歩き回っている)。〔変異〕つつんつ。

つつてい [tsitti] 【動詞】[母音語幹]
 [C] 切る、切れる。【例】あがい、あっちゃぬ ぶーや つつていーにやーん (あつ、下駄の緒が切れちゃった)。〔類〕つつー、つつつ。

つつとうい [tsittui] 【名詞】思慮、分別、判断、反応。【例】うるー つつとういや ひーみーる (それをよく検討してみなさい)。

つつとういばぎ [tsittuipagi] 【名詞】思慮分別にかけている人、間抜け。【例】つつとういばぎやー たきやー ひらいん (間抜けは相手にできない)。かりやー さうや にやーん つつとういばぎんまり (彼は思慮がない、無分別な奴だ)。〔類〕つつとういばぎや。

つつとういばぎや [tsittuipagja] 【名詞】思慮の足りない奴。〔類〕つつとういばぎ。

つつふ [tsitsifu] 【動詞】[k 語幹] [C]
 (金槌等で)叩く；(棒などで)つつく。〔類〕つつつ、つつつ。

つつふ [ttsifu] 【動詞】[k 語幹] [C]
 (金槌等で)叩く；(棒などで)つつく。〔変異〕つつつ、つつつ。〔類〕つつふ、つつつ。

つつふい [tsitsifui] 【成句】聞くふり。【例】むぬいゆぎやー つつふい あす (話を聞くふりをする)。

つつぶり [tsitsiburi] 【名詞】聞きほれること。【例】かいが あーぐんかい

つつぶりゃー ひーにゃーん (あいつの歌に聞きほれてしまった)。

つつむどうい [tsitsimudui] 【名詞】

とんぼ返り、着いたらどどまらず、取って返すこと (着き+戻り)。【例】つつむどうい あっそう (とんぼ返りしろ)。

つつむらす [tsitsimurasi] 【動詞】[s/h

語幹] 聞き洩らす。

つつやう [tsitsijau] 【成句】聞きよう、

聞き方次第。【例】むぬー つつやう (ものは聞きようだ)。

つつんく [tsitsinjku] 【名詞】慌てふた

めくこと、パニックを起こすこと、落ち着きなく動き回ること。【例】まーぬほーりぎなりー つつんく あすな (そんなに落ち着きなく動き回るな)。
[変異] つつんつ、つつんふ。[類] つつんつ、つつんふ。

つつんつ [tsitsintsi] ① 【動詞】[k 語

幹] 慌てふためく、パニックを起こす、落ち着きなく動き回る。【例】やらびゃー んまー どうみかにー つつんきー まーりゅー (この子はお母さんを見つけられずパニック状態になって歩き回っている)。
[変異] つつんふ、つつんく。[類] つとうっふ。② 【名詞】慌てふためくこと、パニックを起こすこと、落ち着きなく動き回ること。[変異] つつんく。

つつんふ [tsitsinfu] 【動詞】[k 語幹]

慌てふためく、パニックを起こす、落ち着きなく動き回る。[変異] つつんつ、つつんく。[類] つとうっふ。

つていー [tti:] 【名詞】[B] キセル。

【例】たばくー つていーひー ふつ (煙草をキセルで吸う)。んきゃーんなきざみたばくー つていーんかい いりー ふきゅーたい (昔は刻み煙草をキセルに入れて吸っていた)。

つでいー [ddi:] 【成句】でいていー

(意志の接尾辞「でい(よう)」+引用助詞「ていー(と)」の省略形、「ようと」。
【例】たちやっでい あすきゃー みーや まーるーたい (立とうとしたら、目が回った)。
[類] あていがー。

つていつ [ttitsi] 【名詞】[C] 一つ。

【例】たうかーひー つていつなー とうい (一人で一つずつ取れ)。んなないゅーいぬ うさいや つていつ むっちゃひー はりーにゃーん (全員お祝いの料理をそれぞれひとつずつ持ち帰らせた)。
[類] ひていつ。

つとう [tsitu] 【名詞】[C] お土産。

【例】うぬ たんかん な うつなーからぬ つとう (このみかんは沖縄からのお土産だ)。くりゃー やまと からぬ つとうがま (これは内地からのお土産です)。

つとうっふ [tsituffu] 【動詞】[f 語

幹] 慌てふためく、パニックを起こす、

落ち着きなく動き回る。〔変異〕つとうふー。〔類〕つつんつ、つつんふ、つつんく。

つとうふー [tsitufu:] 【動詞】[f 語幹] 慌てふためく、パニックを起こす、落ち着きなく動き回る。〔変異〕つとうっふ。

つなず [tsinazi] 【動詞】[g 語幹] [A] 繋ぐ。【例】ん^ろなう つなず（綱を繋ぐ）。

つば [tsiba] 【名詞】[B] アダンの実の外の方の実。【例】あだんな ばすまい つばまい ふあーいどうす（アダンの中の実も外の実も食べられる）。

つばい [tsibai] 【名詞】[A] 柱等に強度を持たせるための斜めの梁、筋交い。【例】つばいや いりー はらう ちゅーふ なす（筋交いを入れて柱の強度を強くする）。

つふ [ffu] 【形容詞】[B] 黒、黒い。【例】っふあか（黒髪）。っふじゃた（黒糖）。っふつ（黒い血）。っふがー（黒い肌の人）。っふびかい（黒光り）。っふあじゃ（黒いあざ）。うまぬ んたー っふ（そこの土は黒い）。ばが みはなぬどう っうあんつきやー っふかい（俺の顔の方がお前より黒い）。

つふ [tsifu] 【動詞】[k 語幹] [A]（鉋で）突く、（杖を）突く；（まりを）つく；（杵で）搗（つ）く。【例】うぎんぬ っぞうんかい たみー つき（鉋

を魚に狙いを定めて突け）。ういびとうないていがー でいーや つきーまーい（年を取ると杖を突いて歩く）。まーいゆ つふ（まりをつく）。うすひーまいゆ つつ（白で米を搗く）。〔変異〕つつ。

つふ [tsifu] 【動詞】[k 語幹] [C] 着く、到着する；（岸などに）接岸する。【例】ばっさ んなーぎやー つかん（バスはまだ到着しない）。ふにゅーぎやー うまんかい つかし（舟をそこに着ける）。〔変異〕つつ。

つふ [tsifu] 【動詞】[k 語幹] [A] 聞く；聞き従う；尋ねる、質問する；理解する。【例】からー ほうむぬゆみや やいば かいが むぬいや とうーん ひていっちゃ つかいん（彼は大ぼら吹きだから彼の言うことは10の中1つも聞くことができない〔>信用できない〕）。ひとうぬ はなっそうぎやー みんな たみー つき（人の話は耳を傾けて聞け）。〔変異〕つつ。

つふ [tsifu] 【動詞】[k 語幹] [A]（薬などが）効く。【例】うぬ っそういや やんかいや つかっだん（その薬は病気には効かなかった）。つふ っそうい（利く薬）。〔変異〕つつ。

つぶ [tsibu] 【名詞】[B] つば、灸所；話の要点。【例】つぶー やちゅーさひー やつ（ツボをもぐさで焼く）。はなすぬ つぶ（話のつぼ〔>話の大事な所〕）。

つぶ [tsibu] 【名詞】[B] 壺。【例】つしん ばらじゃんぬ あす とうきゃんな みじゆきぬ つぶん あんな はりゆーとういどう つぞうーぎやーがに一 とうい (リーフで追い込み漁をするとき瀬と瀬の間の深みの壺に網を張っていてそこに魚を追い込み巻き込んでとる)。

つぶあ [ffa] 【名詞】[A] 子供。【例】かまぬ やーんな びきどうんつぐあいつぬひと みどうんつぐあー むゆぬひとう うりーどう (向こうの家には男の子は5人、女の子は6人いる)。つぶあだに (子種)。つぐあが つぶあう ばぬん ふいーる (あなたの娘を私にくれ)。

つぶあ [ffa] 【形容詞】[A] 暗い。【例】つぶあゆー (暗い夜)。つぶあふ ない (暗くなる)。うまー つぶあかいば ならん (ここは暗くてならない)。

つぶあーす [ffa:si] 【動詞】[s/h 語幹] 穴を埋める、(失敗などの) 穴埋めをする。 [類] つぶあす。

つぶあい [ffai] 【動詞】[母音語幹] [C] 太る、太った。【例】つぶあいびとう (肥満の人)。かりやー くぬいや つぶあいーどうー (彼は最近では太っている)。まどうぐあい あすていがー つぶあいどうす (間食すると太る)。

つぶあい [ffai] 【名詞】[B] 肥料。【例】つぶあいゆ はいんかい いりー

(肥料を畑に入れる)。ぬーまぬ たつから つぶあいゆ いたす (馬小屋から堆肥を出す)。

つぶあざーい [ffasa:i] 【名詞】子守すること、また子守する人。

つぶあす [ffasi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] 穴を埋める；(楔などを) 噛ます；(失敗などの) 穴埋めをする；げんこつなどを食らわせる。【例】うまぬ あなう つぶあし (その穴を埋める)。つさびゆー つぶあし (楔を噛ませろ)。ういが みーや つぶあはいん (彼の失敗は取り戻せない)。あどうぐるー つぶあし (踵で叩け)。[類] つぶあーす。

つぶあつ [ffatsi] 【名詞】[B] 〔道具〕 鍬(くわ)、農具。【例】つぶあつひーんーぬ かでいー (鍬(くわ)で芋を掘る)。

つぶあどうい [ffadui] 【名詞】スズメ。 [類] つぶあどうりや、ふあどうら。

つぶあどうら [ffadura] 【名詞】スズメ。 [変異] つぶあどうりや。 [類] つぶあどうりや、ふあどうい。

つぶあどうりや [ffadurja] 【名詞】スズメ。【例】うさき うたい つぶあどうらまい くぬいや まーぬ みーらいん (あんなに沢山いたスズメも最近では余りみかけない)。[変異] つぶあどうら。 [類] つぶあどうら、ふあどうい。

っふあなす [ffanasi] 【動詞】[s 語幹]

子供を産む、お産する。【例】うぬ
みどうんな んなまどう っふあなす
はだ（この女性は今が子供を産みそ
だてる年ごろだ）。

っふあまい [ffamai] 【動詞】[r/r 語

幹] 隙間がない位密集する、窮屈である；隙間なくはまる。【例】やーんな
うとうじゃんみぬどう っふあまり
ゆー（家には親戚達が沢山集まっている）。っふあまりー びじ（くっついて
座れ）。くさびやー ずみく っふあまりー
どう（楔はきちんとはまっている）。

っふあまい [ffamai] 【形容詞】狭い、

隙間がない位密集している、窮屈である、隙間なくはまる。【例】うまー
っふあまいかいば たるが びー ま
どうまい にやーん（ここは狭いので
誰の座る場所もない）。

っふあまらす [ffamarasi] 【動詞】[s/h

語幹] きつくする、窮屈な状態にする。
【例】くさびゆー っふあまらし（楔
を噛まして動かないようにしろ）。あな
んかい ურიゆー っふあまらし（穴
にそれをはめろ）。

っふあみつ [ffamitsi] 【動詞】[k 語

幹] 息をハーハーする、息切れする。
[変異] っふあみふ。[類] はーみつ。

っふあみふ [ffamifu] 【動詞】[k 語

幹] 息をハーハーする、息切れする。
[変異] っふあみつ。[類] はーみつ。

っふあむい [ffamui] 【名詞】子守す

ること、また子守する人。【例】っふあ
むいや くーむぬ（子守りは大変だ）。

っふあむつ [ffamutsi] 【名詞】子育

て。【例】んなーぎやー っふあむつ
ばな（まだ子育ての真っ最中）。

っふあむつじやうず [ffamut-

sizauzi] ①【名詞】子育て上手。【例】
っふあむつじやうっじや あらん（子
育て上手ではない）。②【形容詞】子育
て上手な。【例】っふあむつじやうずっ
ふあにやーん（子育て上手ではない）。

っふあむつばな [ffamutsibana] 【名

詞】子育て真っ最中。[類] っふあむ
つばんず。

っふあむつばんず [ffamutsibanzi]

【名詞】子育て真っ最中。[類] っふあ
むつばな。

っふあむらがん [ffamuragan] 【名

詞】『生物』蟹（かに）の一種、ソデガ
ラツパ。【例】っふあむらがんな ふ
あうとうくまー にやーん（ソデガラ
ツパには食べるところがない）。

っふあんまが [ffammaga] 【名詞】

子と孫、子孫代々。【例】ばいさう
あすていがー っふあんまがたーひー
まい とうがまいどうす（悪事を働い
たら子孫代々まで非難される）。っふあ
んまがー いふたーい ური（子と孫
は何人いますか）。

つふあんみ [ffammi] 【名詞】「つふあ（こども）」の複数形、子供たち。

【例】あちゃ あめりかから つふあんみぬ んまがー さーりー むどうりーふー（あしたアメリカから子供たちが孫を連れて帰ってきます）。つふあんみぬ まいんきや むぬーぎやー びききや ふあうだら（子供たちのところにいったら食べ物は吐き出すまで食べるんだよ [＞親が成人した子供の家に行ったらたくさんごちそうになったほうがいい]）。

つふい [ffi] 【名詞】[B]（習字に使う）墨、（タコやイカの）墨。【例】たくぬつふい（タコの墨）。

つふいま [ffima] 【名詞】[B] 『地名』来間島。

つふがー [ffuga:] 【名詞】色黒の人。

つふぎ [ffugi] 【名詞】[C] 陰毛。【例】つふぎぬどう ういゆー（陰毛が生えている）。

つふすー [ffusi:] 【形容詞】汚い、汚れた、黒くなった。【例】つふすーみず（黒く汚れた水）。つふすーみはな（汚れた顔）。つふすー つんぬぎやー みずん つきーから あらい（汚れた服は水につけてから洗え）。

つふた [ffuta] 【名詞】[C] 『蔑称』馬鹿野郎。

つふたん [ffutan] 【副詞】黒く（なる）。【例】なつぬ ひーていー じゃりや

ー ひどう どうーや つふたん なりゆーい（夏の日太陽にさらされて体が黒くなっている）。

つふなず [ffunazi] 【名詞】『魚』フェフキダイ。【例】つふなっじゅ つーたい（フェフキダイを釣った）。

つふなた [ffunata] 【名詞】ヒキガエル；相手を馬鹿にする言葉、この野郎。【例】くぬ つふなた（この馬鹿野郎）。

つふはんず [tsifuhanzi] 【動詞】[zz/dd 語幹] 突きそこなう。【例】つぞうー つふはんじーにやーん（魚を突きそこなった）。

つふます [ffumasi] 【動詞】[s/h 語幹] 黒くする。

つふみ [ffumi] 【動詞】[母音語幹] [C] 黒くなる。【類】つふん。

つぶや [tsibuja] 【名詞】[B] 瓦窯を持つつ瓦屋 [＜壺屋]。

つふん [ffun] 【動詞】[m 語幹] [C] 黒くなる。【例】ていんぬ つふん（空が雨雲で暗くなる）。【類】つふみ。

つふん [ffun] 【動詞】[m 語幹] [C]（口）に含む。【例】やらびやー あみじやたう ふつん つふみゆー（こどもは餌を口に含んでいる）。みっじゅ つふみ（水を口に含め）。

つぶん [tsibun] 【名詞】[B] 蕾（つぼみ）；乳首；皮膚等の尖がったもの。

【例】はなぬつぶん（花の蕾）。[類] つ
ーぬふつ。

つまい [tsimai] 【名詞】[A] 血便、鼻
たれみみたいな便（液状になった便）。

つみ [tsimi] 【名詞】[B] 爪。【例】つ
づあが つみヤー んびゅーば きり
（お前の爪は伸びているから切れ）。

つみぐる [tsimiguru] 【名詞】糸を巻
く竹の筒 [宮古上布を折るとき、横糸を
巻く竹のこと。ヤマ（糸車）で整形して
から、カシギにかけて長さを測り、バフ
に巻いてから、ツミグルに移して使う]。

つみや [tsimja] 【名詞】[C] 『昆』セ
ミ。【例】つみやぬ すでいぐる（セ
ミの脱け殻）。

つみやー [tsimja:] 【名詞】[C] せい、
原因。【例】ほうかでいふつぬ つみや
ーん やーや っちゅりー にやーん
（台風のせいで家は壊れてしまった）。

つむ [tsimu] 【名詞】[B] 心、肝、気、気
持ち。【例】からー ほうずむびとう
（彼は心の大きな人だ [＞こころの広い
人だ]）。からー いみずむびとう（彼は
心の小さな人だ [＞心の狭い人だ]）。つ
むまい んみまい やすまらん（心も
胸も休まらない）。つむぬ そうくから
みどうんぬ くとうー うむー（心
の底から妻のことを思う）。つむー ほ
うがはいー にやーん（心は満足させ
られた）。うなが つむーぎゃー むち

ゃん ひとつ（短気で直ぐに怒る人）。
かりやー たるんかいまい つむ つ
かう ひとつ（彼は誰にも心配りの人）。
つづあが つむー とうらいん（あな
たの心は理解できない [＞あなたとは
上手くやっていけない]）。すかまうぎ
ゃー つむー ひていつん なりー
あす（仕事は心を一つになってやる）。
にんぎんな つむぬ またぎす（人間
関係は心次第 [＞人間は心の良い人
には共感する]）。

つむ かさみつ [tsimu kasamitsi]

【成句】[k 語幹] 心が煮えくり返る。

【例】かさますかいば つむー かさみ
きーどうー（悔しくて心は煮えくりか
えっている）。[変異] つむー かさみふ。

つむ かさみふ [tsimu kasamifu]

【成句】[k 語幹] 心が煮えくり返る。

[変異] つむー かさみつ。

つむー いだす [tsimu: idasi] 【成

句】[s/h 語幹]（誰かに対して）怒る；

（誰かを）怒らせる。【例】あいや つ
むーぎゃー いだすな（そんなに怒る
な）。やぐみ つむ いだす ひとつ
いー（とても {怒る/人を怒らせる} 人
なんだね）。

つむー だり [tsimu: dari] 【成句】

【母音語幹】気落ちする。【例】ぬー

まん ひんがい つむー だりーどう
（馬に逃げられて気落ちしている）。

つむー なうす [tsimu: nausi] 【成

句】[s/h 語幹] 機嫌を直す、機嫌がなお

る。【例】やらびゃー なきゅーたい
そうがどう つむー なうひー ばら
いーゆー（子供は泣いていたが機嫌が
直って笑っている）。

つむー にゃーん [tsimu: nja:n]

【成句】思いやりがない、薄情な。【例】
かりゃー うとうじゃうまい ただか
ん つむーにゃーん ひとつ（彼は親
戚も世話をしない薄情な奴だ）。

つむー ぷず [tsimu: puzi] 【成句】

【g 語幹】満足する。【変異】つむーほ
うず。

つむー ほうず [tsimu: huzi] 【成

句】【g 語幹】満足する。【例】すかま
ー まさぐん ひらいー つむー ほう
うがはいーにゃーん（仕事は成就出来
て満足した（<満足させられた））。【変
異】つむー ぷず。

つむー ほうず [tsimu: huzi] 【成

句】【g 語幹】満足する。【変異】つむ
ー ぷず。

つむー やます [tsimu: jamasi] 【成

句】【s/h 語幹】心を痛める、（人の）心
を苦しめる。【例】ぱーや つうあが
んまー すなひー つむー やまひ
ー うたい（おばあさんは あなたの
母親を亡くして心を痛めていた）。

つむー やん [tsimu: jan] 【成句】悩

む。【例】つむー やんむぬ（心が痛
む）。

つむー ゆるつ [tsimu: jurutsi] 【成

句】【k 語幹】人を信用して心を許す。

【例】しーとうんみゃー しーしんかい
つむー ゆるきー なうゆまい あ
い（生徒たちは先生に心を許して、な
んでも打ち明ける）。【変異】つむー
ゆるふ。

つむー ゆるふ [tsimu: jurufu] 【成

句】【k 語幹】人を信用して心を許す。

【変異】つむー ゆるつ。

つむあいひとつ [tsimuaihitu] 【名

詞】情のある人、やさしい人。【例】か
らー つむあいひとつ やいば、ひと
うーぎゃー みっふあさ ほうん（彼
は優しい人なので、他人を嫌うことは
ない）。【変異】つむあいびとう。

つむあいびとう [tsimuaibitu] 【名

詞】情のある人、やさしい人。【変異】
つむあいひとつ。

つむいでい [tsimuidi] 【動詞】【母音

語幹】怒る。【変異】つむでい。【類】
つむいだす。

つむうつ [tsimuutsi] 【名詞】みぞお

ち。【例】つむうつぬ ったかいてい
がー いちゃかいば ならん（みぞお
ちを叩かれて痛くてならない）。

つむがーい あす [tsimuga:i asi]

【成句】心を入れ替える、改心する、心
変わりする。【例】やらびあいきゃー
ぎずぎやうな あたいそうがどう
たきゃー たらいーみーていが つむ

がーいや ひー うとうなすふ なり
 ーうい (子供の頃は腕白だったが年齢
 相応になったら心を入れ替えて、大人
 しくなっている)。うぬ みどうんな
 つむがーいや ひー ゆそうぬ びき
 どうんぬ まいんかい はりーにゃー
 ん (その女は心変わりをして、別の男
 のところに行ってしまった)。

つむかぎ [tsimukagi] 【形容詞】心が
 良い、情け深い；気前がいい。【例】つ
 むかぎかいばどう うやきんな なら
 いー (心が良いので金持ちになれる)。
 がんじゅーさー いつばん、つむかぎ
 さまい いつばん、うむくとうまい
 いつばん (健康が一番、心根の良さも
 一番、知恵も一番 [「みどり会 (西原老
 人会) の標語])。

つむかさみつ [tsimukasamitsi] 【形
 容詞】イライラする。【例】かさます
 かいば つむかさみつむぬ (うるさ
 いのでイライラする)。[類] かさみつ。

つむがま [tsimugama] 【名詞】短気、
 短気な。【例】かりゃー つむがま
 えいば すぐ つむでいー (彼は短気
 だから直ぐに怒る)。

つむじゃ [tsimuza] 【名詞】[C] よく
 怒る人。

つむだす [tsimudasi] 【動詞】[s/h 語
 幹] (誰かを) 怒らせる。【例】つむだ
 すんまり (人を怒らせる奴)。かりゃー
 やぐみ ひとつ つむだす ひとつ

いー (あいつはとても人を怒らせる
 人だ)。[類] つむいだす。

つむたみ [tsimutami] ①【名詞】冷静
 (な人)、心穏やか(な人)。【例】からー
 つむたみ やいば つむでいていぬ
 くとうー にゃーん (彼は冷静な人
 だから怒るということはない)。つむた
 みゃー あらん (冷静でない)。②【形
 容詞】冷静だ、心穏やかだ。【例】つむ
 たみっふぁにゃーん (冷静でない)。つ
 むたみびとう (冷静な人)。

つむたみや [tsimutamja] 【名詞】冷
 静な人、心穏やかな人。[類] つむたみ。

つむちゃー [tsimutçã:] 【名詞】互い
 に心が通いあう関係にあること、持ち
 つ持たれつの関係にあること。【例】
 にんぎんな つむちゃー (人間はおた
 がいを持ちつ持たれつだ)。[類] つむ
 ちゃい。

つむちやい [tsimutçai] 【名詞】互い
 に心が通いあう関係にあること、持ち
 つ持たれつの関係にあること。【例】
 にんぎんな つむちやい やいば い
 つまい まさぐん あすばどう じゃ
 うかい (人間はもちつもたれつなのだ
 から、正直にしている方がいい)。

つむつ [tsimutsi] 【名詞】[B] 気立て、
 性質。【例】つむつ かぎびとう (気
 立てのいい人)。じゃうつむつみどうん
 (気立てのいい女性)。

つむつかうひとつ [tsimut-sikauhitu] 【名詞】気をつかう人。【例】かりゃー たるんかいまい つむつかう ひとつ (彼は誰にも気配りをする人だ)。**[変異]** つむつかうひとつ。

つむつかうひとつ [tsimut-sikaubitu] 【名詞】気をつかう人。**[変異]** つむつかうひとつ。

つむでい [tsimudi] 【動詞】[母音語幹] [C] 怒る。【例】かいが つむでい からー まいゆぎゃー みーん (あいつが怒ったら前を見ない [＞あいつは怒ると分別がなくなる])。かりゃー すばー だりー つむでいー うたい (彼は下唇を垂らして怒っていた [＞むっとして])。まーぬ つむでいな (余り怒るな)。たるんかいどう つむでいー が (誰に対して怒っているのか)。つむでいだ つむー たみる (怒らないで、心を静めなさい)。**[変異]** つむいでい。**[類]** つむいだす。

つむぬなか [tsimununaka] 【名詞】心の中。

つむひぐりや [tsimuhigurja] 【成句】薄情なひと。【例】かりゃー ほうーらーす つむひぐりや (彼はケチで薄情な人だ)。

つむひぐる [tsimuhiguru] ① 【名詞】薄情な人。【例】からー つむひぐる やいば でいんぬぎゃー かしゃー ふうんよ (彼は薄情者だから金は貸

してくれないよ)。② 【形容詞】薄情だ。【例】からー つむひぐるかいば でいんぬぎゃー かしゃーふうんよ (彼は薄情だから金は貸してくれないよ)。

つむびやー [tsimubja:] 【名詞】急に怒り出す人。

つむやん [tsimujan] 【成句】[m 語幹] 心が痛む、心が苦しい。【例】みどうんぬ くとうーひどう つむー やみゆーい (彼女のことで心が苦しい (恋煩い))。

つむん かなう [tsimun kanau] 【動詞】[w 語幹] 意に適う、心が寄り添う。**[類]** つむん すなう。

つむん すなう [tsimun sinau] 【動詞】[w 語幹] 意に適う、心が寄り添う。【例】うらー ばが つむんな すなーん (それは私の意に適わない)。うぬきやが とうずぶとうー つむー すないーどうー (その夫婦は心が寄り添っている)。**[類]** つむん かなう。

つむんな かなーん [tsimunna kana:n] 【成句】心になわなない、気に入らない。【例】うらー ばが つむんな かなーん (これは私の気に入らない)。

つん [tsin] 【動詞】[m 語幹] [A] (糸を) 紡ぐ。【例】いとうー つん (糸を紡ぐ)。ぶーや つみー いとうん なしる (苧麻を紡いで糸にしなさい)。

つん [tsin] 【動詞】[m 語幹] [A] つねる。【例】ちゅーく つんな（強くつねるな）。[類] つんみ、つんむい。

つん [tsin] 【名詞】[B] 着物。【例】つんぬ つー（着物を着る[「つんゆ つー」ともいう]）。ふたいずん（二重の着物）。ぶーずん（宮古上布）。

つん [tsin] 【名詞】[B] 稗（ヒエ）。【例】ばー つんぬぎゃー ふあいやみーん（私は稗を食べたことはない）。

つん [tsin] 【名詞】[B] 《魚》黒鯛。

つん [tsin] 【動詞】[m 語幹] [A] 積む。【例】ぶーずぬ にーゆ とらっくんかい つん（サトウキビの荷をトラックに積む）。

つんかー [tsinjka:] 【名詞】衣類。【例】きばんかいば つんかーまい にゃーん（貧乏だから衣類もない）。つんかーゆ ほうす（衣類を干す）。

つんだみ [tsindami] 【名詞】（三線の）調弦。

つんだらさ [tsindarasa] ①【名詞】可哀想な人。【例】うぬ つふあがまーんまー にゃーん つんだらさがま（その子は母親のない可哀想な子どもです）。②【形容詞】可哀想だ。③【感動詞】可哀想に。【例】つんだらさ、かりゃー きたていやんな たばりーすにーにゃーん（可哀想に、彼は悪い病気にかかって亡くなってしまった）。

つんだらすぎ [tsindarasigi] 【形容詞】可哀想な。【例】つんだらさ つんだらすぎ やらび（可哀想 可哀想な子供）。

つんつ [tsintsisi] 【補助動詞】[k 語幹] [A]（形容詞語幹、動詞基本形、動詞連用形について、そのような状態になる）～ている[形容詞の語幹は最終母音を長音化するか、「たかたん」「まーくん」などのように「たん（に）」、「ん（に）」などを付けて結果状態を示すのが原則]。[変異] つんふ、すんつ、すんふ。

つんつき [tsintsiki] 【動詞】[母音語幹] 積み重ねる。【例】ぶーずぬ にーゆ とらっくんかい つんつきる（サトウキビの荷をトラックに積み重ねる）。[変異] つんつふ。

つんつつ [tsintsitsi] 【動詞】[k 語幹] 積み重ねる。[変異] つんつつ。[類] つんつき。

つんつふ [tsintsifu] 【動詞】[k 語幹] 積み重ねる。[変異] つんつつ。[類] つんつき。

つんぬっそう [tsinnussu] 【名詞】着物の裾。【例】ばー やらびあいきゃー いつまい ぱーが つんぬっそうー かつみーまーりゅーたい（私は子供の頃、いつも祖母の着物の裾を捕まえていた）。

つんぬふず [tsinnufuzi] 【名詞】着物の襟。【例】あかー つんぬふずたーひー ぬびゅーたい（髪は着物の襟まで伸びていた）。

つんふ [tsinfu] 【補助動詞】 [k 語幹] [A] (形容詞語幹、動詞基本形、動詞連用形について、そのような状態になる)～ている [形容詞の語幹は最終母音を長音化するか、「たかたん」「まーくん」などのように「たん(に)」、「ん(に)」などを付けて結果状態を示すのが原則]。
[変異] つんつ、すんつ、すんふ。

つんま [tsimma] 【名詞】 [A] ネギ。

【例】つんまー かばすむぬ（ねぎは香ばしい）。

つんみー [tsimmi:] 【名詞】『鳥』サシバの成鳥。

つんむい [tsimmui] 【動詞】 [r/rr 語幹] つねる。【例】ちゅーく つんむらだうり（つよくつねるな）。[類] つん、つんみ、つんむい（母音語幹）。

つんむい [tsimmui] 【動詞】 [母音語幹] つねる。【例】ちゅーく つんむいな（強くつねるな）。[類] つん、つんみ、つんむい（r/rr 語幹）。

て

てー [te:] 【名詞】 [C] 数を数えるときの言い方、1 [「てー (ていーも可)、たー、みー、ゆー、いつ、むゆ、なな、やー、くぬ、とうー」と数える]。 [変異] ていー。

てーち [te:tçi] 【名詞】 [C] 数を数えるときの言い方、一つ [「てーち [ていーち も可)、たーち (つ)、みーち (つ)、ゆーつ、いつつ、んーつ、ななつ、やーつ、つくぬつ、とうー」と数える]。 [変異] ていーち。

でい [di] 【接尾辞】 動詞未然形について自分の意志をあらわす。疑問文では聞き手の意志、相手に対する勧誘が可。2人称、3人称も「～しようとしている」の意味で可。【例】 ばが いかでい (私が行こう)。うぬ きーぬ にーゆ くーはでいな (この木の根をほりおこすのか)。まさいが あーぐ あっじゃでいな (マサイが歌を歌うのか)。

ていー [ti:] ① 【名詞】 [B] 手。【例】 んすでいー (利き手、右手)。ひだいていー (左手)。ていーゆ あぎー (手をあげる)。② 【名詞】 [B] 空手。【例】 かが ていーや やぐみ (彼の空手は

凄い)。③ 【接尾辞】 [B] 西原の4つの支部の土地名に使う接尾辞。【例】 とうらぬはでいー (東支部)。さいぬはでいー (西支部)。んまぬはでいー (南支部)。にぬはでいー (北支部)。

ていー [ti:] 【助詞】 『接続助詞』 名詞や節に付いて引用を表す、「と」；動作の資格を表す「～として」。【例】 ばが なーゆぎやー まさいていどう あい (私の名前はマサイといいます)。あいや あたらんていー あい (それは間違っていると言う)。こーちよーていー はなす あすたい (校長として話をした)。あざちよーていー うぐなーいんかい いでいたい (村長として集まりに出席した)。かっちゆぬ びじゅていー いすだう とうい (カツオの餌としてイシダを取る)。 [変異] てい。

ていー [ti:] 【接尾辞】 名詞について副詞を作る接尾辞、に。【例】 まさがんていー (ちゃんと)。 [変異] てい。

ていー [ti:] 【名詞】 [B] 数を数えるときの言い方、1 [「てー (ていーも可)、たー、みー、ゆー、いつ、むゆ、なな、

やー、くぬ、とうー」と数える。[変異] てー。

でいー [di:] 【名詞】[C] 杖。【例】ういびとう なりーどう でいーや つきー まーりゆー (年取って杖ついてまわっている)。[類] ぐしゃん。

ていー ばっじゃーしゃ [ti:bazza:ça] 【名詞】手であちこち触る人、べたべたする人、(冗談で) 触り魔。【例】ばぬんかい かかいな、ていーばっじゃーしゃ (私に触るな、触り魔め)。

ていー ばっじゃーす [ti:bazza:si] ① 【動詞】[s/h 語幹] 手であちこち触る、べたべたする。【例】くぬやらびゃー んまんかい いつまい ていーばっじゃーす (この子供はお母さんにいつもべたべたしている)。ていーばっじゃーすんまり、まーぬ ばぬんかい かかいな (この触り魔、そんなに私にさわるな)。② 【形容詞】いたずらな。【例】かぬ ぎずぎやうな やらびゃー いつまい ていーばっじゃーすかいばならん (あの腕白坊主はいつも落ち着きなく、いたずらでしょうがない)。

ていーくば [ti:kupa] ① 【名詞】不器用な人。【例】くりゃー ていーくばぬ すかま (これは不器用な人の仕事だ)。② 【形容詞】不器用だ。【例】かいがどう んながーんな ていーくばかい (あいつが一番不器用だ)。

ていーたーり [ti:tari] 【形容詞】手間のかかる、面倒な。【例】うぬ すかまー ていーたーりむぬ (その仕事は面倒だ)。ていーたーり すかまーうぎゃー あすたっふあにやーん (面倒な仕事はやりたくない)。

ていーち [ti:tçi] 【名詞】[C] 数を数えるときの言い方、一つ [「ていーち [てーちも可)、たーち (つ)、みーち (つ)、ゆーつ、いつつ、んーつ、ななつ、やーつ、つくぬつ、とうー」と数える]。[変異] てーち。

ていーっそうぎびとう [ti:sugibitu] 【名詞】行動範囲の広い人、付き合いの広い人。

ていーぬん [ti:nun] 【名詞】お尻の穴；お尻。【例】ていーぬんぬ ふかでい (お尻を拭こう)。がばー ていーぬん (おおきなおしり)。[類] ちびるん、ちびぬん、ちーぬん、ていびるん、ていびぬん、ていーるん。

ていーぬん じゃやふ [ti:nun zajaфу] 【名詞】下手な大工 (ていーぬん + さやふ)。【例】ていーぬん じゃやふぬ すかまー みーらいん (下手な大工の仕事は見られたものではない)。

ていーはず [ti:hazi] 【名詞】手足。【例】ていー はっじゆぎゃー むゆかひー すかまうぎゃー あっそう (手足をちゃんと動かして仕事をしてください)。[変異] ていーぱず。

ていーぱず [ti:pazi] 【名詞】手足。
[変異] ていーはず。

ていーはず かないびとう
[ti:hazi kanaibitu] 【成句】行動的な人、
仕事のできる人。【例】かりや
ていーはず かないびとう やいば
なうゆまい あすどうす（彼は行動
的な人だから何にでも挑戦する）。

ていーばっじゃーす [ti:bazza:si]
【名詞】いたずら。【例】おい ぎずぎ
やうな、まーぬ ていーばっじゃーす
あすな（おい やんちゃ坊主、あま
りいたずらするな）。

ていーふず [ti:fuzi] 【名詞】手首。
【例】ん[°]ぬ ていーつふじゃ ないらひ
ー みーていがー まがらすまい ひ
らいん（昨日手首を痛めてしまったの
で曲げることもできない）。ぶどういゆ
ぶどうい とungskyanna ていーふ
っじゅ まさぐんていー つかうぼど
う じゃうずんない（踊りを踊るとき
には手の関節を上手く使えば上手にな
る）。からー ていーふずぬ ほういか
いば くぬ とけいや はいらはいん
（あいつは手首が太いのでこの時計は入
らない）。[変異] ていふず。

ていーや [ti:ja] 【成句】とは、という
ものは、などというものは [＜ていー
(と) + や (は)]。【例】なうぬ かか
いていーや にやーん（なんの障害も
ない [＜障害とは]）。びきどうん みど
うんていーや むまだ かないかい

ひとうー いらび（男女を問わず仕事
のできる人を選び）。

ていーゆ かみ [ti:ju kami] 【成
句】[母音語幹] 祈りを捧げる、祈願す
る [西原では祈願するときは、両手の平
を上にして開いたまま、頭の高さまで
持ち上げる]。【例】うぶずんかいや
ていーゆ かみだかー ならん（先祖
には祈願しないとイケない）。[類] て
いーゆ かん。

ていーゆ かん [ti:ju kan] 【成句】
[m 語幹] 祈りを捧げる、祈願する。
[類] ていーゆ かみ。

ていーゆ とうい [ti:ju tui] 【成
句】[r/rr 語幹] 手をとる、協力する。
【例】つうあとうや ていーゆぎや
ー とうらじゃーん（あなたとは協力しな
い）。

ていーるん [ti:run] 【名詞】お尻の
穴；お尻。[類] ちびるん、ちびぬん、
ちーるん、ちーぬん、ていびるん、てい
びぬん、ていーぬん。

ていうさ [ti:usa] 【名詞】[C] 《祭礼》
ユークイの時に人を見ないために両手
にそれぞれ持つ草、手草 [ユークイのパ
ーたちに見られた人は死ぬと信じられ
ていた]。【例】ひとうー みーん た
みん ていうさー ふたていーひー
むちー みーゆ うーい（一般の人々
を見ないために手草を両手で持ち目を
覆う）。ていうさひどう みはなー か

っふあひー よーんてーるてい あっ
じー すまう まーい (手草で顔を隠
してヨーンテール (世を満たせ) と
言っ御嶽から御嶽に行進する)。

ていがー [tiga:] 【助詞】〔接続助詞〕
節を取って条件を表す。「(実際に)～て
みたら、～すると」のような事実条件と
「もし、～たら、なら」のような仮定条件
のどちらにも使える、「と」、「たら」、「れ
ば」、「なら」。【例】すとうむてい う
きーていがー すぐ ぬーまぬ っさ
かいが (朝起きたら直ぐに馬の草刈
りに(行く))。なつん ないていがー
すばいがまぬどう ゆー いでいーふ
ー (夏になるとコバエがよく発生する)。
ぱちんこんかい いつていがー とい
んぬ たにやー にやーん (パチンコ
に行くと直ぐにお金がなくなる)。[類]
とうー、ったー。

でいかす [dikasi] 【動詞】[s/h 語幹]
[C] 大漁になる；(植物などを)大きく
する、成長させる。【例】きゅーや
ぐんな ごひゃっき でいかひー っ
たい (今日はムロアジを500斤とい
う大漁だった [＜大漁してきた])。っふ
あいや はーさ いりー ぶーっじゅ
でいかひーみーでい (肥料をたくさ
ん入れてサトウキビをたくさん収穫で
きるようにしてみよう [＜豊作させて
みよう])。

ていがに [tigani] 【名詞】[C] 指輪。
【例】ていがにゅー かうが いつ (指

輪を買いに行く)。ていがにやー たか
だいむぬ (指輪は高価だ)。

でいき [diki] 【接頭辞】質の良い。
【例】でいきまい (良く実った米)。でい
きぶーず (良くできたサトウキビ)。

でいき [diki] 【動詞】[母音語幹] [C]
(作物などが) できる。

でいきぶつ [dikibutsi] 【名詞】優秀
な人、勉強が良くできる人。【例】ん
ながーんな でいきぶつ (一番良く勉
強ができる人)。

ていぐすい [tigusii] 【名詞】ナイロ
ン製の釣り糸、てぐす。

ていぐすに [tigusini] 【名詞】十分に
準備して待ち構える、手ぐすねを引く。
【例】ていぐすにゅー ひつ (手ぐす
ねを引く)。

ていぐすにや [tigusinja] 【名詞】手
ぐすねを引く人。

ていじゃーかー [tiza:ka:] ①【形容
詞】雑な、粗い、手抜き。【例】かい
が すかまー いつまい ていじゃー
かーかいばならん (彼の仕事はいつも
いいかげんだ)。かいが すかまー い
つまい ていじゃーかー すかま。②
【名詞】雑なこと、大雑把なこと、また
そのような人。【例】まーぬ ていじゃ
ーかー あすな (余りいい加減なこと
をするな)。

ていじゅー [tizju:] 【形容詞】[B] 経
済力のある(家)。【例】かまぬ やー

や やぐみ ていじゅー きない (向こうの家は非常に経済力のある家だ)。

ていだ [tida] 【名詞】 [C] 太陽。【例】
ていだぬ ぬーい (日が昇る)。ていだぬ あがい (日が昇る)。ていだぬ いーん (日がしずんでいない)。ていだいーりー つふあふ なりにやーん (太陽が沈んで暗くなった)。にんぎん な ていだやぐみぬ まか (人の一生はお天道様の思し召し次第だ)。あがい ていだがなす (お天道様 [＞池間の主])。んま ていだがなす (お月様 [＞池間の主の奥さん])。

ていだい [tidai] 【動詞】 [母音語幹] [C] (人に食事などを) 奢る、物をあげる、賄賂を与える。【例】まーぬ ひとうんかいや むぬーぎゃー ていだいな (あまり人に物をあげるな)。んきやーんな しーしーんたんかいどう うんそうく むぬー ていだいー うたい (昔は先生によく付け届けをしていた)。

ていだい [tidai] 【名詞】 [C] 贈り物、賄賂。【例】たんにんぬ しーしーんかい ていだい あす (担任の先生に賄賂をする)。

ていだいびとう [tidaibitu] 【名詞】 気前がいいひと。【例】からー やぐみ ていだいびとう (彼はとても気前がいい)。

ていだななつ [tidananatsi] 【名詞】 『祭礼』 御嶽に行く時間帯 (午後4時ご

ろ)。【例】じょー ていだななつ なりゅーば うたきんかい (4時頃だから御嶽に行こう)。ていだななつん ないていがー ぱーたー うたきん そうるい うたい (午後4時ごろになると、おばあさんたちは御嶽にそろっていた)。

ていづあん [tivvan] 【動詞活用形】 動詞「ちゅー」の否定形。【類】 ていづいん。

ていづい [tivvi] 【動詞】 [母音語幹] [C] (渡すために) 投げる、(すてるために) 放る。【例】うまんかい ひらう ていづいいる (こっちにへらを放れ)。【類】 ちゅー。

ていづい [tivvi] 【動詞活用形】 動詞「ちゅー (投げる、放る)」の連用形 および命令形。【類】 ていづいいる。

ていづやーがらーす [tivv-ja:gara:si] 【動詞】 [s/h 語幹] 放り投げる、すてる。【変異】 ていづやーがらす、ていづやがらーす、ていづやがらす。【類】 ていづいーすてい。

ていづやーがらす [tivv-ja:garasi] 【動詞】 [s/h 語幹] 放り投げる、すてる。【変異】 ていづやーがらーす、ていづやがらーす、ていづやがらす。【類】 ていづいーすてい。

ていづやがらーす [tivv-jagara:si] 【動詞】 [s/h 語幹] 放り投げる、すてる。【変異】 ていづやー

がら一す、ていづや一がらす、ていづやがらす。[類] ていづい一すてい。

ていづやがらす [tivvjagarsi]

【動詞】[s/h 語幹] 放り投げる、すてる。

[変異] ていづや一がら一す、ていづや一がらす、ていづやがら一す。
[類] ていづい一すてい。

ていな一 [tina:] 【名詞】[C] 魚の一本釣り、手縄。

【例】ていな一や ひ一 っぞう一 つ一 (一本釣りで魚を釣る)。

ていぬ [tinu] 【助詞】『接続助詞』

引用表現を名詞修飾表現にする、「との」、「という」[「てい一+ぬ」であるが通常「てい一」は「てい」と発音される];「~としての」。

【例】なうていぬ ば一が (どうのことだ)。から一 つむたみやいば つむでいていぬ くとう一

にや一ん (彼は冷静な人だから怒ることではない)。や一まんな おもとだけていぬ たかやまぬどう あい (八重山には於茂登岳という高い山がある)。あていが一 っづあ一 いかいんていぬ ば一な (じゃあ、お前はいけないというのか)。まさいや くとうすんな そつぎよ一 あすがまたていぬ

くとうな (マサイは今年には卒業するということですか)。こ一ちよ一ていぬ はなっそう あすたい (校長としての話をした[<挨拶した])。あぎちよ一ていぬ くとう一ひ一 うぐな一いんかい いでいたい (字長として集会

に参加した[<字長ということ])。

ていび [tibi] ①【名詞】[A] お尻。【例】

や一んな ていびや一 つかん (家には尻をつかない[>落ち着きなくいつも外に出歩く])。②【名詞】[A] 後ろ;(家の)裏、後ろ、後方、(鍋の)底。【例】ていび に一 (積み荷が後ろの方が重くバランスが良くないこと)。ていびんかいぬ ふつ (後ろ向き)。つんぬ ていびや一 まいや ひ一 つ一 (服を後ろを前にして着る)。ていびんかいどう は一かい (一步前進二歩後退)。ていびゆ一ぎや一 み一だ まいゆた一な み一 あいき (うしろは見ないで前だけ見て歩きなさい)。や一ぬ ていびんどう かふ一ぬ あい (家の裏に家庭菜園がある)。なびぬ ていびぬ ん一ぬ どうい ふあう (鍋の底の芋を取って食べる)。

ていび ふっず [tibi fuzzi] 【成句】

[zz/dd 語幹] 他人の気に障ることを言ったり、したりする。【例】から一 むいとうぬ ていび ふっずんまり (あいつやたらと悪さをするやつだ)。っづあ一 なうばいぬ ひとうぬ ていび ふっじゃが (お前は何でそんなに人の気に障ることを言うのか[<どんな、ひとの気に障る人なのか])。[類] ていび ふっでい、ばた ふっず。

ていび ふっでい [tibi fuddi] 【成句】

[母音語幹] 他人の気に障ることを言ったり、したりする。[類] ていび

ふっず、ばた ふっず。

ていびがる [tibigaru] ①【名詞】腰の落ち着かない人、尻軽。【例】ていびがる みどうん（尻軽女）。②【形容詞】腰の落ち着かない。【例】くぬ みどうんがどう ていびがるかい（この女の方が尻軽だ）。

ていびぐー [tibigu:]【名詞】お尻。【例】かぬ みどうんぬ ほうていびぐーゆ みーみーる（あの女の人の大きなお尻を見てみなさい）。

ていびぐーぶに [tibigu:buni]【名詞】坐骨。【例】ていびぐーぶにやーぶりーにやーん（座骨を折った）。

ていびたい [tibitai]【名詞】臀部、お尻から太ももの部分。【例】ほうていびたい（大きなお尻）。

ていびぬ つーふあやがま [tibinu tsi:fajagama]【成句】末っ子〔豚の子で一番小さい子（末っ子）は一番後ろの乳を飲むため。人間でも末っ子が最後の母乳を飲むことから末っ子のことさす〕。【例】ていびぬ つーふあやがまー あまいふだー（末っ子はよく甘える）。

ていびぬん [tibinun]【名詞】お尻の穴：お尻。【類】ちびるん、ちびぬん、ちーるん、ちーぬん、ていびるん、ていーるん、ていーぬん。

ていびふきや [tibifukja]【名詞】やったことを学ばず次の実行に生かせな

い人、後始末の悪い人。【変異】ていびほうきや。

ていびふぎや [tibifugja]【名詞】やったことを学ばず次の実行に生かせない人、後始末の悪い人。【変異】ていびほうぎや。

ていびふちや [tibifutca]【名詞】やったことを学ばず次の実行に生かせない人、後始末の悪い人。【変異】ていびほうちや。

ていびふっでいむぬ [tibifud-dimunu]【名詞】（鍋の底に）へばりついた食べ物。【例】なびぬ そうくぬ ていびふっでいむぬーぎやー くるずていどう あい（鍋の底の残り物のことをクルズと言う）。

ていびほうぎば一き [tibihugiba:ki]【成句】後ろの穴の開いた竹籠〔稼ぎはするが浪費が強いことのたとえに使う〕。【例】ていびほうぎば一きんな みっじゃ たまらん（竹籠には水は溜まらない）。うぬきやがっぎー ていびほうぎば一き やいば なんとが うやきんな ならいん（彼らの父親は稼ぐが浪費癖があるので全然裕福にはなれない）。

ていびほうきや [tibihukja]【名詞】やったことを学ばず次の実行に生かせない人、後始末の悪い人。【変異】ていびふきや。【類】ていびほうぎや、ていびほうちや。

ていびほうぎや [tibihugja] 【名詞】
 やったことを学ばず次の実行に生かせない人、後始末の悪い人。〔変異〕ていびふぎや。〔類〕ていびほうちや、ていびほうきや。

ていびほうちや [tibihutça] 【名詞】
 やったことを学ばず次の実行に生かせない人、後始末の悪い人。【例】うりやー ていびほうちや やいば いつがみまい うむくとうー いでいん（彼は前にやったことを学習しないからいつまでたっても知恵がつかない）。〔変異〕ていびふちや。〔類〕ていびほうぎや、ていびほうきや。

ていびやー つかん [tibja:tsikan] 【成句】居座らない、落ち着いていない。【例】いそがすかいががら うぬ みどうんな やーんな ていびやー つかん（忙しいのかその女性は家には落ち着いていない）。

ていびやーい [tibja:i] 【名詞】後ろから、一緒に。【例】やらびやー いつまい んまぬ ていびやーい まーい（子供はいつも母親の後ろについてまわる）。〔変異〕ていびやーうい。

ていびやーうい [tibja:ui] 【名詞】後ろから、一緒に。〔変異〕ていびやーい。

ていびやーまい [tibja:mai] 【成句】後ろにあるべきものが前に来ていること、後ろ前。【例】つうあが つんぬ

つーかたー ていびやーまい（あなたの服の着方は後ろ前だ）。

ていびゅー ほうがす [tibju:hugasi] 【成句】秘密をばらす、秘密がばれる。【例】まーぬ ていびゅーぎやー ほうがすな（そんなすぐばれる嘘を言うな〔>見え透いた嘘をつくな〕）。つうあが ていびやー いつまい ほうがはいどうーい（お前の嘘は見え透いている）。

ていびら [tibira] 【名詞】〔C〕手のひら。

ていびるん [tibirun] 【名詞】お尻の穴；お尻。〔類〕ちびるん、ちびぬん、ちーるん、ちーぬん、ていびぬん、ていーるん、ていーぬん。

ていふず [tifuzi] 【名詞】〔C〕手首。〔変異〕ていーふず。

ていまー [tima:] 【名詞】〔C〕手間賃。【例】ひでいまー（日当）。ひでいまーびとう（日当で働く人）。たかだい ていまー（高い賃金）。

ていまーぶい [tima:bui] 【名詞】手間賃での稼ぎ。

ていまさり [timasari] 【名詞】器用（な人）。〔類〕ていまさりや。

ていまさりや [timasarja] 【名詞】器用（な人）。【例】むぬちゆふー じゃうず ていまさりや（物を作るのが上手なひと、器用な人、あるいはそのこと）。〔類〕ていまさり。

ていむちゃー [timutça:] 【名詞】てきばき仕事ができない人、仕事が遅い人。【例】かりゃー ていむちゃー やいば すかまー ぬーがらん (彼は仕事が遅いから仕事はかどらない)。

ていらじゃ [tiraza] 【名詞】[C] 〔貝〕巻貝の一種。【例】ていらじゃぬ みーゆ とうい (巻貝の身を取る)。

ていん [tin] 【名詞】[A] 天。【例】ていんぬ ん[°]むまい きーぬ ん[°]むまい ゆぬ ん[°]む (天の雲も木の蜘蛛も同じ「くも」だ)。ていんぬ あかぶす (金星)。

でいん [din] 【名詞】[B] お金。【例】ばー でいんな にゃーん (私は金がない)。でいんぬ まうきが (金を稼ぎに(行こう))。でいんふあや (金のかかる人)。かりゃー ばくちゃーひー でいんな はーさ うどうきーにゃーん (彼はばくちで大金をなくした)。ばくちゃー ひー でいんぬ まうきかたうならーひー ふいーさまでい (ばくちでお金を儲ける方法を教えてください)。

ていんくーとうんま [tiŋku:tumma] 【副詞】全然。【例】でいんな ていんくーとうんま むちゃん (お金は全然持っていない)。

でいんぐり [diŋguri] 【名詞】両替すること、金回りが厳しいこと。【例】ぎんこーんきー でいんぐり ほうでい (銀行に行って両替しよう)。

ていんじやう [tinzau] 【名詞】天井。【例】ていんじやうゆ みーる (天井をみなさい)。んきゃーんな ていんじやうから さぐなう さぎー みっじゃ ばかほうーたい (むかしは 天井からほら貝を下げて水を沸かしていた)。

ていんたうがなす [tintauganasi] 【名詞】天の神様。【例】にんぎんぬ んぬっちゆ ていんたうがなすぬ まか (人間の命は天の神様のみぞ知る [＜神様しだいだ])。

ていんど [tindo] 【接尾辞】動詞基本形について伝聞を表す、～そうだ、～らしい [動詞は省略することができる]。【変異】ていんどー。

ていんどー [tindo:] 【接尾辞】動詞基本形について伝聞を表す、～そうだ、～らしい [動詞は省略することができる]。【例】かりゃー きゅーや うつなーんかい ていんどー (彼は、今日は沖縄に行くらしい)。【変異】ていんど。【類】ちゃ。

でいんぬ たにゃー にゃーん [dinnu tanja: nja:n] 【成句】お金は直ぐになくなる [＜お金の種はない]。【例】ぱちんこんかい いつていがー でいんぬ たにゃー にゃーん (パチンコに行くと直ぐにお金がなくなる)。

ていんぬたか [tinnutaka] 【名詞】天の高さ。【例】でいんな ていんぬた

か ありーどうー (お金は天の高さほどある (>たくさんある))。

ていんばう [timbau] 【名詞】虹。

【例】あみがまぬ っふいー ていんばうぬ いじゅー (小雨が降って降って虹が出ている)。

ていんぱな [timpana] ①【名詞】おてんば。

【例】かぬ ていんぱなー むぬいかいばならん (あのおてんばはよくしゃべる)。
②【形容詞】おてんばな、おてんばだ。【例】かぬ ていんぱな みどうんな いばいかいばならん (あのおてんば女はよく威張る)。

ていんびー [timbi:] 【名詞】女性の自慰行為。

でいんびつ [dimbitsi] 【名詞】博打。

【例】でいんびっちゅぎゃー ほうん (博打はしない)。

ていんぷら [timpura] 【名詞】天ぷら。

昔は天ぷらの衣だけをあげていたが、最近は魚の天ぷらなども指す。

ていんまら [timmara] 【名詞】自慰行為。

【例】ていんまらーひー しるー いだす (自慰行為で精液を出す)。

テント [テント] 【名詞】[C] ビニールシート

[キャンプなどで使うものではない。米軍からの払い下げのテントを地面に敷くビニールのようにして使った。「あーったつぼう」を使って粟の殻などを取るときに使う]。

と

とー [to:] 【感動詞】 終わり、十分という掛け声。【例】 んめ とーとー、さきゅーぎゃー んめ つがだうり (もう十分、酒をもう注がないでくれ)。

どー [do:] 【終助詞】 相手が知らないと思えることを述べる終助詞、「よ」、「だよ」。【例】 うらー、あらんどー (それは違ってよ)。ばが はなっさ うさきひー うわいどー (私の話はこれで終わりだよ)。ひとうんかい ていーゆぎゃー にゃーらんどー (人に手を出して (叩いて) はいけないよ)。

とう [tou] 【名詞】 [C] 《地名》 唐、中国のこと。【変異】 たう。

とう [tu] 【助詞】 《格助詞》 共同格を表す、「と」。【例】 ういとう くいとうー ゆぬむぬ (それとこれとは同じだ)。うぬきゃが ふたーいや いつまいんとう まゆ (彼ら二人はいつも犬猿の仲だ)。

どう [du] 【助詞】 《焦点助詞》 (名詞+助詞、動詞連用形、形容詞語幹、形容詞+フ、副詞、述語としての名詞について) 焦点や強調を示す。【例】 ういがどう

んながーんな じゃうかい (それが一番いい)。ばー ういびとう ふたーいぬ からがいゆどう ひーゆー (私は年寄り二人の面倒を見ている)。ういまいどう じゃうかい (それもいい)。からー んなま すかまう ひーどうー [< ひーどう うい] (彼は今しごとをしている)。ばが とうっじゃ ばかかいきゃー あぱらぎどう あたい (私の妻は昔はきれいだった)。ばが ばきだまー んーなんつきゃー はーさふだー (私の分け前はほかの人より多い [はーさふだー < はーさふどう あい])。A : かまんた たるがどう うい? B : かにがどう うい (A : 向こうには誰がいるの? B : カニ (人名) がいる)。はやまりどう いかだかー ならん (早めに行かないといけない)。ばが っぎー いんしゃーどう あたい (私の父親は漁師だった)。んまむぬまいだーい [< んまむぬまい+どう +あい] (うまくもぞある > うまいなあ)。

どう [du] 【成句】 「どうー (焦点助詞「どう」+「うい)」の変異形、前に付く

動詞連用形が長音になるときは「どうー」でなく、「どう」になることも多い。

【例】ぬーまん ひんがい つむー
だりーどう（馬に逃げられて気落ちしている [＜つむー だりーどうー]）。

とうー [tu:] 【名詞】 [A] 『数詞』 十。

とうー [tu:] 【動詞】 [b 語幹] [A] 飛ぶ。【例】 たっぎゃー ゆなかどう
とうー（虫は夜中に飛ぶ）。とういぬ
とうー（鳥が飛ぶ）。

とうー [tu:] 【名詞】 [C] 海洋、大海原。

【例】 ふにゃー とうー ほうとうー
んかい いでいたい（船は大海原に出た）。[類] とうなか。

とうー [tu:] 【助詞】 『接続助詞』 節を取って条件節を作る、「と」、「たら」、「れば」、「なら」[事実条件「～てみると」も、仮定条件も可能、「もし～たら」；節を取って名詞節を作る、「～の」。

【例】 んみやひー でいんぬ あいとうー みゃー
っさひー うらいたいはず（もっとお金があったら楽に暮らせたはずだ）。
かまぬ かどうー まがいとうー ま
っちゃぬ あいば かうゆ かいー
んみやてい（あそこの角をまがったら店がありますから、お香を買ってきてください）。
すとうむてい うきとうー
すぐ ぬーまぬ っさ かいが（朝起きたら直ぐに馬の草刈りに（行く））。
ばが つふとうー かいどう あたい（私が聞いたのはこうだった）。
しーしー たが あいとうー あいや あらんち

ゃ（先生たちが言うにはそうじゃないって）。[類] ていがー、そうー。

どうー [du:] 【代名詞】 [C] 自分 [コンテキストにより話者（単数、複数）、相手（単数、複数）をさすことができる。他の代名詞と異なり、属格、主格は「ぬ」を取る] 通常聞き手も含む。聞き手を含まないときは「ばんてい、ばんた」が使われる。【例】 どうーぬ すま（我々の村 [聞き手も含む]）。どうーぬ やー（私たちの家 [家族同士で話すとき]）。どうーぬ ほうだかー たるが どうー あすがまた。（我々がやらなければ誰がやるのか）。やらび つかいや どうー つかい（子供使いは自分使い [＜能力のない物に仕事を任せると責任は自分に回ってくる]）。

どうー [du:] 【名詞】 [C] 体格、体。

【例】 ほうどうー（大きな体格）。ういび
とうなりー どうーや かなーん（年取って身体は思うように動かない）。
きゅーや あみゃー っふいー どうー
ぶがりむぬ（今日は雨が降って体がだるい）。どうーや むつじゃうず
あっそう（体の管理はしっかりしなさい）。

どうー [du:] 【接尾辞】（ほかの土地との）距離、間。【例】 いらうどうー（池間と伊良部との間）。たらまどうー（自分たちの村と多良間との間 [遠いことの比喩に使う]）。っさらどうーゆ かゆー（西原と平良の間を通う）。ぶとう

ぬ はたらっちゆぎゃー ばらいどう
ふあう、つふあぬ はたらっちゆぎ
ゃー なきどう ふあう、んまがぬ
はたらっちや たらまどうー (旦那の
働きは笑って食べる。息子の働きは泣
いて食べる。孫の働きは多良間との距
離 [> 遠い未来のことであてにならない
])。

とうーい [tu:i] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C]
(道を) 通る。【例】ひとぬ とうーい
んっちゆぎゃー つっじゃん (人の
通る道はさえぎらない)。かまらすかい
ば なうばいぬ ンまむぬまい ぬど
うー とうーらん (かなしくて、どん
なおいしいものも喉を通らない)。

とうーい [tu:i] 【名詞】 [C] 燈火、ラ
ンプ。【例】とうーいぬ さうず (ラ
ンプの掃除)。

とうーか [tu:ka] 【名詞】 [A] 『数詞』
十日。 [変異] とうか。

とうーかす [tu:kasi] 【動詞】 貫通さ
せる、貫く。【例】いーひー いちゃ
う とうーかす (錐で板を貫通させる)。
やまー とうーかひー とんねるー
ちゅっふ (山を貫通させてトンネルを
つくる)。[類] とうーつ、とうーす。

どうーかつ [du:katsi] 【名詞】 自分自
身の垣、自分自身を守るもの。【例】で
いんな にんぎんぬ どうーかつ (お
金は人間を守るものだ)。

とうーきみん [tu:kimin] 【成句】 良
く聞こえる耳 (の人)、地獄耳。【例】か
ぬ ういびとうぬ みんな やぐみ
とうーきみん やいば なうばいぬ
みそうか むぬいがまうまい つふど
うす (あの年寄りの耳はよく聞こえる
のでどんなひそひそ話でも聞きとる)。

どうーぐり [du:guri] 【形容詞】 気ま
ずい。【例】うるー つふむぬー ど
うーぐりかいばならん (それを聞くこ
とは気まずくてならない)。かりゃー
どうーぐりんまり (彼はやり難い奴だ)。
かいんかいや どうーぐりかいば む
ぬっじやいん (彼には気まずい思いが
あるので喋り難い)。

どうーじゅー [du:zu:] 【形容詞】 体
が丈夫な、体が丈夫だ、体力がある。
【例】かりゃー やぐみ たや どうー
じゅー びとう (彼は力の強い強健な
身体の持ち主だ)。

とうーす [tu:si] 【動詞】 [s/h 語幹] [C]
(穴を) あけて貫通させる (穴に糸など
を) 通す。【例】うまん あなう あ
きー とうーす (ここに穴を開けて貫
通させる)。はいぬ みーんかい いと
うー とうーす (針の穴に糸を通す)。
[類] とうーつ、とうーかす。

とうーずき [tu:ziki] 【動詞】 [母音語
幹] 届ける、(願いなどが) 届く、伝わ
る。 [変異] とうーずふ、とうーずつ。

どうーすたい [du:sitai] 【形容詞】 気
だるい。【例】きゅーや どうーすた

いかいば ならん (今日は気だるくてしかたがない)。

とうーずつ [tu:zitsi] 【動詞】[k 語幹]

届ける、(願いなどが)届く、伝わる。

【例】くるー ばが っふあんかい とうーずきー ふうーさまてい (これを私の子供に届けて下さい)。きゅーぬにがいや かんがなすんかい とうーずきーどうー (今日の祈願は神様に届いている)。[変異] とうーずふ。[類] とうーずき。

とうーずふ [tu:zifu] 【動詞】[k 語幹]

届ける、(願いなどが)届く、伝わる。

[変異] とうーずつ。[類] とうーずき。

とうーずん [tu:zin] 【名詞】石油ランプの芯、(ダイナマイトの)信管。

【例】だいだまぬ とうーずんかい うまっちゅ つきー (ダイナマイトの信管に火をつける)。

とうーつ [tu:tsi] 【動詞】[k 語幹] [C]

(穴を)あけて貫通させる；(穴に糸などを)通す。[変異] とうーふ。[類] とうーす、とうーかす。

とうーふ [tu:fu] 【動詞】[k 語幹] [C]

(穴を)あけて貫通させる；(穴に糸などを)通す。[変異] とうーつ。[類] とうーす、とうーかす。

どうーむつ [du:mutsi] 【名詞】自己管理能力。

【例】どうーむつ じゃうず びいとう (自己管理が上手な人、世渡り上手)。どうーむつ っチャー っ

さん (体の管理の仕方を知らない [「っチャー」は「方法」を意味する接尾辞])。かりやー いつまい さきやー ぬみー どうーむつっチャー っさん (彼はいつも酒を飲んで自己管理の仕方を知らない)。

どうーやす [du:jasi] 【形容詞】安易な、容易な；身軽な。

【例】うい あっさ どうーやすむぬ (それをやることは簡単なことだ)。どうーやす びとう (すぐ機敏に動く人)。どうーやす すかま (簡単な仕事)。

とうい [tui] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] (連用形は「とうい」または「とうり」)。(ものを)取る、(他人のものを)盗む、(魚や貝を)採る、(席を)とる。

【例】うるー とうらでい (それを取ろう)。うりゅーぎやー かまんかい とういー ゅっじゃし (これは向こうに取って寄せろ)。なまっそう とういー ふあい (刺身を取って食べなさい)。たかう とうい (鷹を捕獲する)。つくえぬ あーぎぬ むぬー とういくー (机の上のものを取ってこい)。ひとうぬ むぬー とういや ならん (人のものを盗ってはいけない)。しな とういが まうきやーいんかい いかでい (はまぐりを取りに前の海(大浦湾)に行こう)。ばが たまうまい びーどうくまう とうい うっきゅーき (私の分も席を取っておけ)。

とうい [tui] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] (連

用形は「とうい」または「とうり」(写真)撮る。【例】しゃしんぬ とうい (写真を撮る)。あてい うどうるつちやーひー まずむぬん たまっさ とうらいーにやーん (余りにもびっくりして幽霊に魂を抜き取られた)。

とうい [tui] 【名詞】[B] 干支。【例】くとうすぬ とういや なうどう あた (今年の干支は何だった)。

とうい [tui] 【名詞】[B] 鳥。【例】びきどうい (雄鶏)。みーどうい (雌鶏)。にぶいどうい (寝ぼけた鶏 [> 間違っ
て時を告げる鶏])。とういぬ はにがい (鳥の翼)。とういぬ すー やーが
ま (鳥の巣の様な小さな家)。

とういかいす [tuikaisi] 【動詞】[s/h 語幹] 取り返す。【例】ばかーいーやー むぬー とういかいす (奪われたものを取り返す)。

とういがますだしゃ [tuigamasi-daça] 【名詞】『貝』タイラギ貝。

とういしやう [tuicau] 【名詞】スケベな人。

とういたいつき [tuitaitsiki] 【動詞】[母音語幹] (人、動物や物を) 取って投げる。【例】ばー べんきょーや あすっふあにやーんば ほうんぬぎやー とういたいつきすている (俺は勉強なんかしたくないから本なんか放りすててくれ)。

とういていづい [tuitivvi] 【動詞】取って投げる。【例】はくほーや ことしよーぎくー とういていづいー すていーにやーん (白鵬は琴奨菊を取って投げた)。

とういどうくま [tuidukuma] 【名詞】取り柄。【例】かりやー とういどうくまー にやーん (彼は取り柄がない)。

とういはっじゃつ [tuihazzatsi] 【動詞】[k 語幹] 取り損なう。【例】とういはっじゃきーにやーん (取りそこなった)。[変異] とういはっじゃふ。

とういはっじゃふ [tuihazzafu] 【動詞】[k 語幹] 取り損なう。[変異] とういはっじゃつ。

とういまい [tuimai] 【名詞】取り分、分け前。【例】ばが とういまいや にやーん (私の取り分はない)。[類] たま、ばきだま、っじだま。

とういまつ [tuimatsi] 【名詞】鳥の舞う群れ。【例】とういまつぬ すたんどー かっちゅー うい (鳥の舞う群れの下にカツオはいる)。

とういまやーす [tuimaja:si] 【動詞】取って (宙に浮かせて) 投げる。【例】はくほーや ことしょうぎくー とういまやーひーにやーん (白鵬は琴奨菊を取って投げた)。とういまやーはいにやーん (取って投げられた)。

とういみ [tuimi] 【名詞】 [A] 鳥目、夜盲症、夜盲症の人。【例】とういみゃー ひー ゆなかー むぬー みーらいん（夜盲症で夜中はものが見えない）。とういみんな ゆなかー むぬー みーらいんちや（夜盲症には夜中には物が見えないんだって）。

とういむす [tuimusi] 【名詞】 抱卵中の鶏につく小さな虫。【例】とうぬかう すだほうー とういんな とういむすぬどう つふ（卵を抱いている鶏には虫がつく）。

とうか [tuka] ① 【名詞】 [B]（名詞の）決めた通り、やる通り、次第；「動詞基本形+ぬ/が（どう）+とうか」の形で、～の方がいい。【例】かんぬ とうかどう ひらいー（神様の決めた通りにやる）。うらー っづあが とうか（それは あなた次第）。ふにひー いつんつきゃー ひこーきひー いつがどう とうか（船で行くより飛行機で行く方がいい）。② 【名詞】 [A] 「とうか」の前に「動詞否定形+「が」または「ぬ」」がついて「～ない方がいい」という意味を表す [「が」「ぬ」は省略も可。さらに「がどう とうか」、「ぬどう とうか」でもよい。]。【例】あいぬ くとうーぎゃー っさんが とうか（そんなことは知らぬ方がいい）。ふぁーんが とうか（食べない方がいい）。

とうか [tuka] 【名詞】 [A] 《数詞》十日。【変異】とうーか。

とうが [tuga] 【名詞】 [C] 咎、罪。【例】かりゆーぎゃー んみつな、かいんな ならぬ とうがまい にゃーん（彼を叱るな、彼には何の罪もない）。

とうがい [tugai] 【名詞】 [C] 岬、土地の先端部分。【例】かまぬ とうがいん っぞうー つーたい（向こうの岬で魚を釣った）。んなー っしぬ とうがいんどう はーさ うい（サザエはリーフの先端にたくさんいる）。

とうがい [tugai] ① 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 尖がる。【類】とうんず、とうんでい。② 【動詞】 [r/rr 語幹] [C]（角、釘などが中から）突き出る、（乳房、お尻、目玉など体の部分が）外に出る。【類】とうんず、とうんでい。

とうがい [tugai] ① 【動詞】 [母音語幹] [C] 尖がる。【類】とうんず、とうんでい。② 【動詞】 [母音語幹] [C]（角、釘などが中から）突き出る、（乳房、お尻、目玉など体の部分が）外に出る。【類】とうんず、とうんでい。

とうかきん [tukakin] 【名詞】《魚》イソマグロ。【例】ん[°]ぬ とうかきんぬ っちやいー うたい（昨日、イソマグロが釣れた）。きたてい がばー とうかきん（とても大きな磯マグロ）。

とうかさうずばり [tukasauzibari] 【名詞】《祭礼》生後10日頃の魔除、出産祝い。【類】さうずばり。

とうがん [tugan] 【動詞】[m 語幹] [C] 咎める、非難する。【例】ひとーぎやー まーぬ とうがまん (他人をあまり非難してはならない)。ばいさう あすていがー つふあんまがたーひーまい とうがまいどうす (悪事を働いたら子孫代々まで非難される)。

とうかんでい [tukanti] 【名詞】『祭礼』出産祝 (出産後 10 日目頃に行う)。

とうきや [tukja] 【名詞】[C] 時。【例】なんあらとうきやんな いんかいや いかん (波の荒いときには海には行かない)。あみふーどうきや (雨降りの時)。いつとうきや (行く時)。すんとうきや (死ぬとき)。やらびぬ なつたい とうつんな ぎっじゃ ひらいん (子供が泣いた時にはどうしようもない)。[類] とうつ。

どうきや [dukja] 【名詞】[C] 生まれつき皮膚の白い人、アルビノ。【例】どうきやびとー つそうびと (アルビノの人は白い)。

とうくつとう [tukuttu] 【名詞】静かにしていること、おとなしくしていること。【例】うぬびき やらびやー とうくつとうぎやー ほうん (この男の子はおとなしくしてられない)。とうくつとうーひー びじー うり (静かに座っておけ)。

とうくぬ [tukunu] 【名詞】[B] 土地、敷地。【例】やーふつどうくぬ (家を建てる土地)。

とうくぬだみ にかい [tukunudami nigai] 【名詞】『祭礼』家屋敷を繁盛させるための祈願。

とうす [tusi] 【名詞】[B] 砥石。【例】いすぬまらー とうすんまい ないどうす (土が硬くなり石になったものは砥石にもなる)。とうすひー っざらう とうず (砥石で鎌を砥ぐ)。

とうす [tusi] 【名詞】[B] 年齢、年。【例】とうっさ いふつ (年齢はいくつか)。とっそう くい (年を超える)。とうすかず はだかず (年年歳歳)。とうっさ とういー ういびとう なりー とうー (年を取って年寄りになっている)。

とうず [tuzi] 【名詞】[A] 妻。【例】さつぬ とうず (先妻)。とうっじゅ とうみー (妻を探す>結婚する)。ばー とうっじゃ みーん (私は妻はいない>独身です)。とうずとうみやー ひー うい (結婚相手を探している)。

とうず [tuzi] 【動詞】[g 語幹] [C] 研ぐ。【例】っざらう とうすひー とうず (鎌を砥石で研ぐ)。

とうず [tuzi] 【名詞】[C] 刺。【例】さるかぬ とうず (サルカの刺)。

どうす [dusi] 【名詞】[C] 友達。【例】んぬ すーたい どうっそう やーんかい さーりったい (昨日知り合った友達を家に連れてきた)。どうす びら

い（友達にいろいろな送りものをする
こと）。

どうす [dusi] 【助動詞】動詞基本形に
付いて述語に焦点を当てる表現、「だよ」
[「どう（焦点助詞）+あす（する）」の
縮約形]。

とうずあす [tuziasi] 【動詞】妻にす
る。【例】まさいや かなっそう と
うずあすたい（マサイはカナスを妻に
した）。

とうすかず はだかず [tusikazi
hadakazi] 【成句】毎年毎年、年年歳歳。
【例】とうすかず はだかず がんじ
ゅーや ひー うらまてい（いつもい
つもお元気でいらっしやって下さい）。

とうすかず はだかず [tusikazi
hadakazi] 【成句】毎年毎年、いつもい
つも。【例】とうすかず はだかず がん
じゅーや ひーうらまてい（いつも
いつもお元気でいらっしやて下さい）。

とうずっふあ [tuziffa] 【名詞】妻子。
【例】ばー とうずっふあうぎゃー
やぐみ かなす（私は妻子をととても愛
おしく思っている）。

とうすぬ くー [tusinū ku:] 【成
句】年の功。【例】かみぬ くーんつ
きゃー とうすぬ くー（亀の甲より
年の功）。

どうすぬ はな [dusinū hana] 【成
句】友達の中の一番。【例】びきどう

ん やらばん みどうん やらばん
あぐぬはな どうすぬ はなひー と
うゆまだかーならん（男性であろうが
女性であろうが同級生達、友達の花と
して頑張らないとならない）。

とうすびー [tusibi:] 【名詞】生まれ
た干支の年。【例】くとうっさ どう
ーぬ とうすびー（今年は私たちの生
まれた干支の年だ）。

とうずぶとう [tuzibutu] 【名詞】夫
婦。【例】かぬきやが ふたーいや
とうずぶとうん ないがまたちや（あ
の二人は夫婦になるんだって）。

とうずぶとうばかーい [tuzibu-
tubakai:] 【成句】離婚（夫婦別れ）。
[変異] とうずぶとうばきゃーい。

とうずぶとうばきゃーい
[tuzibutubakjai:] 【名詞】離婚（夫婦別
れ）。【例】とうずぶとうばきゃーいや
ひー まーいかたー にゃーん（離
婚して八方ふさがりだ）。ばがぶと
う あたいひとう ばぬー あていく
とう しつきゅーたいぼどう とうず
ぶとうばきゃーい あすたい（私の夫
だった人はあまりにも私を怒ったので
離婚した）。[変異] とうずぶとうばか
ーい。

とうずます [tuzimasi] 【動詞】[s/h
語幹] 終了する、完成する。【例】くま
ぬ すかまうぎゃー きゅーぬちゃん
とうずまはだかー ならん（ここの

仕事は今日中に終えないとならない)。
[類] とうどうます、とうずみ、とうど
うみ、とうずん、とうどうん。

とうずみ [tuzimi] 【動詞】[母音語幹]
[C] 終了する、完成する。【例】くま
ぬ すかまうぎゃー きゅーぬちゃん
とうずみでい (ここの仕事は今日中
に終えよう)。
[類] とうずます、とうど
うます、とうどうみ、とうずん、とうど
うん。

とうずん [tuzin] 【動詞】[m 語幹] [C]
終了する、完成する。【例】やーふっ
ちゃ きゅーんな とうずまいん (家
づくりは今日には終了できない)。
[類] とうずます、とうどうます、とうずみ、
とうどうみ、とうどうん。

とうつ [tutsi] 【名詞】[C] 時。 [類]
ときゃ。

とうつふや [tuffja] 【名詞】[C] 慌て
者。 [類] ちゃーふきゃ、かかみきゃ、
とうとうつふや。

とうどうか [tuduka] 【形容詞】[B]
(人が) おとなしい、静かな、(海など
が) 静かな。【例】とうどうか やら
び (おとなしい子供)。きゅーぬ いん
な とうどうか いん (今日の海は静
かな海だ)。

とうとうつふあす [tutuffasi] 【動
詞】[s/h 語幹] はやし立てて何かやらせ
る。【例】かいん ぶどういや とう
とうつふあはいー だりどう うたい

(あいつに踊りを(しろと)囃子立てら
れて疲れた)。

とうとうつふい [tutuffi] 【副詞】一
目散に。【例】ぶーっじゅ ぬすまっ
じゃうたい やらびんみゃー はいぬ
ぬすん みちきらいー とうとうつ
ふい ひんずたい (サトウキビを盗も
うとしていた子供達は、畑の持ち主
に見つかり一目散に逃げだした)。

とうとうつふや [tutuffja] 【名詞】
慌て者。 [類] ちゃーふきゃ、かかみ
きゃ、とうつふや。

とうどうまい [tudumai] 【動詞】(風
などが) 一か所に留まる、止まる；終わ
る。【例】かじゃー とうどうまりー
どうー (風は留まっている)。くまぬ
すかまうぎゃー きゅーじゅーん と
どうまらはい (この仕事は今日中に
終わらせよう)。くるまう とうどうま
らし (車をとめる)。

とうどうます [tudumasi] 【動詞】[s/h
語幹] 終了する、完成する。【例】く
まぬ すかまー きゅーひや とうど
うまらはいんはず (ここの仕事は今日
で終わることができないはずだ)。
[変異] とうずます。[類] とうずみ、とう
どうみ、とうずん、とうどうん。

とうどうみ [tudumi] 【動詞】[母音
語幹] [C] 終了する、完成する。【例】
うやきゃー きた とうどうみ (裕福
は桁に留め置く [家の富は桁のように
家のなかに留めろということわざ])。

[変異] とうずみ。[類] とうずます、とうどうます、とうずん、とうどうん。

とうどうん [tudun] 【動詞】[m 語幹]
[C] 終了する、完成する。 [変異] とうずん。[類] とうずます、とうどうます、とうずみ、とうどうみ。

とうなか [tunaka] 【名詞】[C] 海洋、大海原。【例】ふにやー とうなかんかい いでいー はりーにやーん (船は大海原に出帆していった)。[類] とうー。

とうなみ [tunami] 【動詞】[A] (数を) ならず; (土地を) 平らにする。【例】うまん うるー ひとつんみぬ とうっそう とうなみていがー にじゅー ばかーい (そのにいる人の年を平均すると 20 ぐらいだ)。うまうぎやー とうなみー んなし (ここをなだらかにしなさい)。

とうなみ [tunami] 【名詞】[A] 平均; 平らなこと、またその様子。【例】しーとうぬ せーせきぬ とうなみやー さん (生徒の成績の平均は 3 だ)。うまー とうなみ どくまびやーい (ここは平らな土地かなー)。

とうなら [tunara] 【名詞】[C] 『植』アキノノゲシ。【例】とうならー んぎやむぬ (秋ののげしは苦い)。

とうぬか [tunuka] 【名詞】[C] 卵。
【例】うっじゃぬ とうぬか (うずらの

卵)。すむいどうぬか (巣籠の卵 [> 雛の孵らない卵])。

とうぬがなす [tunuganasi] 【名詞】
お殿様。

とうぬかぬ あかみー
[tunukanu akami:] 【成句】卵黄。

とうぬぎ [tunugi] 【動詞】[母音語幹]
[A] 飛び上がる、ジャンプする。 [類] とうぬず (g 語幹)。

とうぬず [tunuzi] 【動詞】[g 語幹][A]
飛び上がる、ジャンプする; 飛び越える。【例】うまぬ ばだうぎやー とうぬぎー ぼたり (ここの溝はジャンプして渡れ)。たかま とうぬず (ジャンプするように走る)。うまう とうぬぎ (ここを飛び越える)。[類] とうぬぎ (母音語幹)。

とうば [tupa] 【オノマトペ】(唾を吐くときの音) ペツ。【例】つつじゅぎやー とうばていー とうばつな (唾をペツと吐くな)。

とうばす [tubasi] 【動詞】[s/h 語幹]
[A] 走る、疾走する。【例】とうばひー まうきやーぬ ひとつー んがし (疾走して前の人を追い越せ)。

とうばつ [tupatsi] 【動詞】[k 語幹]
[C] (唾を) 吐く。【例】つつじゅぎやー とうばつな (唾を吐くな)。んじゃんまい つつじゅぎやー とうばかん (どこにも唾を吐かない)。あかっちゅ

とうばちゅー（血を吐いている）。[変異] とうばふ、とうぴやつ、とうぴゃふ。

とうばふ [tupafu] 【動詞】[k 語幹] [C]（唾を）吐く。[変異] とうぱつ、とうぴゃつ、とうぴゃふ。

とうびゃがい [tubjagai] 【動詞】[r/rr 語幹] 飛び上がる。[変異] とうびゃぎゃい。

とうびゃぎゃい [tubjagjai] 【動詞】[r/rr 語幹] 飛び上がる。【例】かりゅー とうびゃがりー とうい（あれを飛び上がって取れ）。[変異] とうびゃがい。

どうま [duma] 【名詞】[B] 土間。

とうまい [tumai] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] 泊まる、宿泊する；（船が）停泊する。【例】ほてるんな とうまらだ どうすぬ まいん とうまいたい（ホテルに泊まらずに友達のところ泊まった）。んなとうんどう ふにゃー とうまい（港に船は泊まる）。[類] とうまい（母音語幹）。

とうまい [tumai] 【動詞】[母音語幹] [A] 泊まる、宿泊する。[類] とうまい（r/rr 語幹）。

とうまい [tumai] 【名詞】[A] 泊まり、泊まり込むこと。【例】うたきぬ とうまいがんにがい（御嶽における泊まり込みの願い）。

とうまいいん [tumaiin] 【名詞】泊まり込み漁 [昔はフディ岩礁（大神島の1キロほど北東ある岩礁）まで行って泊まり込みで漁をしたという。そこには頑丈に積まれたた石垣の宿泊用屋敷跡があった。フディ岩礁までは手漕ぎのサバニで行くと一日かかる]。

どうまっぐい [dumavvi] 【動詞】[母音語幹] 戸惑う、迷う。【例】ばーいじゅー いらばでいががら どうまっぐいーどうー（私はどれを選ぼうか迷っている）。どうまっぐいんまり（戸惑っている奴）。ばー なうばい ほうでいががら どうまっぐいー さだかまい ひらいん（私はどうするか迷っていて分からない）。ばー どうまっぐいどう っぐあー たるががら っさいん（私は混乱してあなたが誰なのか分からない）。おい どうまっぐいんまり っぐあー なうゆどう かんがい ゆー（おい、うすらとんかち、お前は何を考えているんだ）。

とうみ [tumi] 【動詞】[母音語幹] [C] 探す、捜す；見つける。【例】ぶとうぬ さきふあやう とみが いつ（酒飲みの旦那を探しに行く）。ひとうぬ あらうぎゃー とうみん（他人の欠点は探さない）。とうっじゅ とうみる（嫁になる人を探せ）。なうゆどう とうみーゆーが（何を探しているの）。すかまうぎゃー はかうっちゃ とうみーあすばどう ぬーがい（仕事を段取りを探してやれば捗る [＜段取りを考え

て])。ばー うまん たからむぬー
とうみたい (わたしはそこで宝物を見つけた)。

とうむ [tumu] 【名詞】[C] 船尾。【例】
ふにぬ とうむ (船尾)。

とうむ [tumu] 【名詞】 [C] 『祭
礼』とも [うたきの用語、ウー
ンマに 1 人、アグスンマに 1 人
に付く、ナカバイにはつかない。
<http://kikigengo.jp/nishihara/doku.php?id=exhibition> (借金を返す) 参照。【例】うーんまが とうむ (ウ
ーンマのお供)。

とうむーす [tumu:si] 【動詞】[s/h 語
幹] 一緒に連れてくる、招待する；お
供する。【例】ぶじゃう とうむーす
(おじさんを一緒に連れてくる)。うやう
ゆーいんかい とうむーはでい (お
じいさんをお祝いに招待する)。ういび
とうー とうむーひー くー (お年寄
りをお連れして来なさい)。「変異」と
うむす。

とうむす [tumusi] 【動詞】[s/h 語幹]
[A] 一緒に連れてくる、招待する；お
供する。「変異」とうむーす。

とうやーす [tuja:si] 【動詞】[s/h 語
幹] 問い合わせ。【例】なうばい なる
ーがてい とうやーひーみーる (どう
なっているか問い合わせしてみなさい)。

とうゆみや [tujumja] 【名詞】[C] 『人
名』仲宗根豊見親 (なかそね とうゆみ
ゃ) (西暦 1500 年に八重山に侵攻した)；

優れ者。【例】とうゆみやー ゆなう
す あす (豊見親は世直しする [> 指
導者はいいい世の中を作る (べきだ)])。

とうゆん [tujun] 【動詞】[m 語幹] [C]
響 (とよ) む、鳴り響く、名高くなる。
【例】どうすぬ はな あぐぬ はな
とうゆみ (友達のなかの一番、同級生
のなかの一番として成功しろ)。

とうらす [turas] ① 【動詞】[s/h 語幹]
返す；渡す。【例】
かいんかい うっかう とうらす (彼
に借金を返す)。かいん いんかい む
ぐらひー っぞうー とうらし (あい
つに海に潜らせて魚をとらせろ [> あ
いつを])。かいん くぬ っぞうー
むちーきー とうらし (彼にこの魚を
もって行ってわたせ)。② 【補助動詞】
[s/h 語幹] (動詞連用形について) ~てや
る。【例】くぬひゃーゆぎゃー ひつき
ーとうらし (この野郎を躡けてやりな
さい)。

とうらぬい [turanui] 【名詞】寅の日。
【例】きゅーや とうらぬい (今日は
寅の日だ)。

とうらぬは [turanuha] 【名詞】寅
(東) の方。

とうらぬはでいー [turanuhadi:]
【名詞】東支部 (西原東部)。

とうり [turi] ① 【動詞】[母音語幹] [A]
風がなくて天気がおだやかになる、風
や波がなくなる。【例】きゅーや じ

やう なぎ、かじゃー とうりーどう
 ーい (今日は海が穏やかで、風は凧いで
 いる)。きゅーぬ いんな とうりーど
 うー (今日の海は穏やかだ)。あちゃー
 とうりん はず (明日は天気が悪く
 なるはず)。あちゃー とうりていがー
 みがにまーい あすが (明日晴れた
 ら素潜り漁に (行こう))。[類] とうり
 ー。②【名詞】[A] 凧いでいること。【例】
 きゅーぬ いんな じゃうどうりがま
 (今日の海は良い凧だ)。③【名詞】[A]
 天気がいいこと。【例】きゅーや じゃ
 うどうり (今日は良い天気だ)。[類] と
 うりー。

とうりばい [turibai] 【動詞】[r/rr 語
 幹] 集中できずものが考えられない、仕
 事ができない、ぼんやりする。【例】ば
 ー みどうんぬ くとうー うむいど
 う とうりばりー うたい (私は妻の
 ことを思ってぼんやりしていた)。おい
 とうりばらだ はやまり すかま
 あっそう (おい ぼんやりしないで早
 く仕事しなさい)。

とうりばら [turibara] 【名詞】ぼん
 やりしている者。【例】おい とうり
 ばら っづあー なうゆどう ほうー
 (このぼんやり者、お前は何かをしている
 んだ)。

とうりひぐい [turihigui] 【名詞】冬
 の晴れた日に寒気がおそうこと、放射
 冷却。【例】きゅーや とうりひぐい
 や ひー っしかいばならん (今日は

放射冷却で寒くてならない)。ふゆんな
 とうりひぐいぬどう あい (冬には
 放射冷却がある)。きゅーや とうりひ
 ぐいや ひーゆーば いんぬ っぞう
 まい すにゅー はず やいば っそ
 ういが いかでい (今日は底冷えして
 いるから、海の魚も死んでいるはずだ
 から拾いに行こう)。

どうる [duru] 【名詞】[B] 泥、奴。
 【例】ふたてい どうる (馬鹿な奴)。

どうるだり [durudari] 【名詞】泥ま
 みれ。【例】ぎずぎやうな やらびや
 ー きゅーまい どうるだり (いたず
 ら小僧は今日も泥だらけだ)。[類] ど
 うるびーた。

とうるな [turuna] 【名詞】[C] 〔植〕
 アキノノゲシ。【例】とうるなー ん
 ぎやむぬ (アキノノゲシは苦い)。

どうるびーた [durubita] 【名詞】泥
 まみれ。[類] どうるだり。

どうるんた [durunta] 【名詞】泥土。

とうん [tun] 【副詞】ぐるっと、即座
 に。【例】うまう とうん まーり (こ
 こをぐるっと回れ)。っさらん いきー
 とうん むどうい (平良に行って直
 ぐに引き帰す)。

とうんから [tun kara] 【名詞】まだ
 結婚していない若者達が (男女別々に
 中学生くらいから) 一緒に寝泊りする
 こと。「とうんからあぐ」は一生の友達

となる。【例】とうんからあぐ（一緒に寝泊りする友達）。とうんから やー（友達同士一緒に寝泊りする家）。

とうんぎ [tunɡi] 【動詞】[母音語幹]
[A]（角、釘などが中から）突き出る、（乳房、お尻、目玉など体の部分が）外に出る。

どうんぎや [duŋɡja] 【名詞】[C] 大きなマグロの群。【例】どうんぎやうみーみーぶすむぬ（マグロの大群を見たい）。

とうんくい [tuŋkui] 【動詞】[母音語幹] 飛び越える。【例】うまぬ ばだうぎゃー とうんくいる（そこの溝を飛び越えろ）。

とうんず [tunzi] 【動詞】[g 語幹] [A] 尖がる；（角、釘などが中から）突き出る、（乳房、お尻、目玉など体の部分が）外に出る。【例】とうんがらす（尖がらす）。[類] とうがい。

とうんず [tunzi] 【動詞】[zz/dd 語幹]
[A] 尖がる；（角、釘などが中から）突き出る、（乳房、お尻、目玉など体の部分が）外に出る。【例】かいが ながうっそうー とうんじゅーい（あいつの後頭部は尖がっている）。かにふずぬ どう とうんじゅー（釘が突き出ている）。かいが ていびるんな とうんていーどうー（あいつのお尻は突き出ている）。[類] とうがい。

とうんてい [tundi] 【動詞】[母音語幹] [A] 尖がる；（角、釘などが中から）突き出る、（乳房、お尻、目玉など体の部分が）外に出る。[類] とうがい、とうんず。

とうんてい [tundi] 【名詞】[A] 冬至。

とうんていさうがつ [tundis-augatsi] 【名詞】冬至正月、小正月 [冬至正月は正月は12月20日ごろ行われる冬至の祝い、現在は干支を同じくする人たちの同期会のようになっている]。【例】とうんていさうがつんな どーそーかいゆ あす（冬至には同期会をやる）。

とうんびやん [tumbjan] 【名詞】〔植〕竜舌蘭（リュウゼツラン）。【例】とうんびやんな とうずくぬどう あい（竜舌蘭には刺がある）。

とうんま [tumma] 【助詞】〔副助詞〕〜も、さえも。【例】うりやーとうんま っさんな（それさえも知らないのか）。うらーとうんま ひらいんな（それさえもできないか）。んなーぎゃー すかまー なからーとうんま くーん（今のところ仕事は半分も来ていない）。っぐあんな とうずどうんま とうみらいんな（お前には結婚もできないのか）。[類] どうんま、とうんな、ちゅんま、ちゅんな。

とうんま [tumma] 【副詞】少しも変化しないこと強調する、（微動）さえ、

だに(しない)。【例】いんな むぬー
ふいーきやたーひーや びーないや
とうんま ほうだ むゆかん(犬は
餌を与えるまでは微動だにせず動かない)。
うまぬ やーや ないんまい びーないや
とうんま ほうん(ここの家は地震でもびくともさえしない)。

どうんま [dumma] 【オノマトペ】ドンと。
【例】うまん どうんまでいーうっき
(そこにドンと置け)。

どきよー [dokjo:] 【名詞】[B] 度胸。
【例】どきよーや にゃーんんまり(度

胸のない奴)。

とつづあずー [tovvazi:] 【名詞】『地名』
真謝の北東辺り、船で10分から15分
くらいのところにあるリーフの名前。

どんない [donnai] 【オノマトペ】
どんどん。【例】みっじゅぎゃー どん
ない いる(水はどんどん入れなさい)。
どんない ふあい(どんどん食べなさい)。

どんま どんま [domma domma] 【オノマトペ】
どたんどたん。

な

な [na] 【助詞】『終助詞』動詞基本形について禁止の意味を表す。【例】ふあうとうきやんな ふつならう いだすな（食べるときにはくちやくちや音をだすな）。うまん なまいな（そこに止まるな）。

な [na] 【助詞】『終助詞』動詞基本形について、真偽疑問文を作る。【例】つうあ きやうだいや うりな（兄弟はいますか）。ういひー じゃうぶんな（これで足りませんか）。うらー つうあがむぬな（これはあなたのですか）。きよーとんかいや いきやー くとう ありどう うらまいな（京都にいったことがありますか）。うぬ まんごーやんまいどう あたいな（このマンゴーはうまかったですか）。つうあまい いかでいな（お前も行くのか）。

な一 [na:] 【名詞】[B] 名前。【例】ばが なーや かに（私の名前はカニです）。ばが なーゆぎやー まさいていどう あい（私の名前はマサイと言います）。な一ゆ ならーひー ふいーさまてい（名前を教えてください）。

な一 [na:] 【感動詞】『応答詞』聞き返す

ときに使う、なに、えっ。【例】な一、なうていー（え、何だって）。な一、つうあー んなま なうていどう あいたー（え、君いまなんて言ったの）。

な一 [na:] 【名詞】[B] 縄。【例】な一ゆ なう（縄をなう）。[類] ん[°]な。

な一 [na:] 【接尾辞】名詞について、量と同じだけ割り当てることを表す、ずつ、だけ、ごと。【例】たうかーな一 たうかーな一 ならーす（一人ずつ教える）。たうかーひー っていつな一 とうい（一人で一つずつ取れ）。ふた一つが ゆいなーや ひぬ ゆたーいぬ きよーだい（二つおきの4人の兄弟）。

な一ぎ [na:gi] 【動詞】[母音語幹][A] 敬う。【例】かんぬ な一ぎでい（神様を敬おう）。[類] な一ず。

な一ぎ むぬい [na:gi munui] 【名詞】敬語。【例】そうじゃっそうんか いや な一ぎ むぬいゆ あい（先輩には敬語を使う）。

な一す [na:si] 【動詞】[C]（太陽に芋を）晒す。【例】んーぬ な一す（太

陽に芋を晒す)。

な—ず [na:zi] 【動詞】 [g 語幹] [C]

(人、神を) 尊敬する、褒めたたえる。
【例】とゆみや— たるからまい な—
がいどう— (豊見親は皆から尊敬され
ている)。かながなっそう な—ぎ—う
い (神様をたたえている)。
[類] な—ぎ。

な—すたらしや [na:sitaraça] 【名

詞】 名を下げる人、一家の恥。

な—どう [na:du] 【代名詞】 [C] 《再

帰代名詞》「なら」の複数形、自分たち
[主語が1人称なら「私たち」、主語
が二人称なら「お前たち」、主語が三人
称なら「彼ら、彼女ら」を指す]。【例】
おい まさいた、うら— な—どうが
むぬてい— いばいな (おい、マサ
イ、お前たち、それは自分たちのものだ
と自慢するな [＜マサイたち])。うぬ
っふあっちゃ っうあるが むぬ—
あらだ、うら— な—どうが むぬ
(おい その鍬はお前たちのものではな
くて、それは私たちのものだ)。うぬ
さきや— ん^oぬぬ ばんていが ぬん
ぬくい やいば うら— な—どう
が むぬ (この酒は昨日の私達の飲み
残りだから、それは私たちのもの)。

かぬきや— な—どうが むちっ
ちや— むぬ— つくえぬ はなんかい
ならびゆ—たい (あいつらは自分た
ちが持ってきた品物を机の上にならべ
た)。
[変異] な—る。[類] ならどう。

な—どうが かた [na:duga kata]

【名詞】 自分たちの味方；自分たちの親
戚。

な—る [naru] 【代名詞】 [C] 《再帰代

名詞》「なら」の複数形、自分たち [主
語が1人称なら「私たち」、主語が二人
称なら「お前たち」、主語が三人称なら
「彼ら、彼女ら」を指す]。
[変異] な—
—どう。

ない [nai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] (A

がBに) 変化する；形容詞を取る場合
は、形容詞語幹に「ふ」を付けて「～ふ
ない」と言う；節を取る場合は「～や
うん ない (ようになる)」と言う。

【例】とうずぶとうん ない (夫婦に成
る)。ながみんふ なり—にや—ん (耳
が遠くなった)。ば— ういびとう な
りどう ひとつぬ むぬいや つかい
だ んぎゆ— (私は年取って人の話が
聞こえなくなっている)。

ない [nai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] (実

などが) 実る。【例】ふにゆ—ぬどう
なりゆ— (みかんがなっている)。み
なかぬ ばさぬ ないや んな—ぎや
— なりや うらん (庭のバナナの実
はまだなっていない)。

ない [nai] 【名詞】 [B] 実。【例】き

—ぬ ない (木の実)。ばさない (バナ
ナ [＜芭蕉の実])。

ない [nai] 【名詞】 [B] 地震。【例】ほう

ないや やぐみ うとうるすむぬ (大
地震はほんとうにこわい)。ないや ひ

ー やーや かたうきーにゃーん (地震で家は傾いた)。こんくりやーや がばー ないんまい びーないや とうんま ほうん (コンクリートの家は大地震でもびくともしない)。

ない [nai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] 太陽にさらして甘くなる。【例】ない んー (太陽に晒した甘い芋)。

ない [nai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] 鳴る。【例】ないぬ とうきやんなずーぬどう ない (地震のときには地響きする [＜地面が鳴る])。かんないぬ ない (雷が鳴る)。

ない [nai] 【名詞】 [B] 苗。【例】んーぎーぬ ない (芋の苗)。ぶーずぬ ない (サトウキビの苗)。んーぎーぬ ない (芋づるの苗)。

ない [nai] 【動詞】 [母音語幹] [C] 萎える、枯れる。【類】ない (r/rr 語幹)、ないー (r/rr 語幹)。

ない [nai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 萎える、枯れる。【例】そーや ないーどう (野菜は枯れている)。【類】ない (母音語幹)、ないー (r/rr 語幹)。

ない [nai] 【動詞】 [母音語幹] [C] 捻挫する、痛める。【類】ない (r/rr 語幹)、ないー (r/rr 語幹)。

ない [nai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 捻挫する、痛める。【類】ない (母音語幹)、ないー (r/rr 語幹)。

ないー [nai:] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 萎える、枯れる。【類】ない (母音語幹)、ない (r/rr 語幹)。

ないー [nai:] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 捻挫する、痛める。【例】はっじゅ ないらす (足を捻挫する)。【類】ない (母音語幹)、ない (r/rr 語幹)。

ないがた [naigata] 【成句】～になりそうである。【例】かいまい ういびとう ないがた (あの人も年寄りになりそうだ)。

ないかに [naikani] 【名詞】 神名、御帳主。【類】うちやうぬす。

ないぎや [naigja] 【名詞】 [C] 足の不自由なひと。【類】ないず びとう。

ないくっじゃ [naikuzza] 【名詞】 成長の良くないもの。【例】ないくっじゃがまー いみふだー (成長の良くないものは小さい)。ないくっじゃ やらびがま (生育の悪い子供)。ないくっじゃがまー やらびあいきやどう やみーうたいちゃ (成長の良くない人は子供の頃に病気していたんだって)。

ないず [naizi] 【動詞】 [g 語幹] [C] びっこを引く。【例】はっじゃ ぶりー ないぎーどうー (骨折してびっこを引いている)。

ないず [naizi] 【名詞】 [C] びっこの人、足の不自由な人。【例】ないず びとう (びっこの人)。

ないていがー [naitigax] 【副詞】で
きたら、なるべく。【例】ばー ない
ていがー いふたっふあにやーん（私
はできたら行きたくない）。

ないらす [nairasi] 【動詞】[s/h 語幹]
（足や手を）捻挫する、（自分を）捻挫さ
せる。【例】いすぐーん はっじゃ
とうらいー はっじゃ ないらひーに
やーん（石ころに足を取られて、捻挫
した）。はっじゃ ないらはいにやーん
（足は捻挫した）。

なう [nau] 【動詞】[w 語幹] [C] 縲（な）
う。【例】ぶーず たうすぬ ん[°]な
う なう（サトウキビ収穫用の縄を縲
（な）う）。ん[°]なう だにー なう（綱
をねじって縲（な）う）。ん[°]なうぎやー
だにどう なう（綱はねじらせて縲
（な）う）。みーつぬ ん[°]なう ゆいー
がばー ん[°]なう なう（三本の縄を
なうって太い縄をなう）。

なう [nau] 【名詞】[C] 『疑問詞』何、ど
れ（ぐらい）、なん（の）。【例】うらー
なう（それは何）。なうんまい なら
ん（何の役にも立たない）。かりやー
なうばかーいぬ ほうりむぬ（彼はど
れ位のバカ者）。うりゆーぎやー なう
ていどう あい（これはなんというか）。
なうぬ くとうが（何の事だ）。

**なう あすかたー にやー
ん** [nau asikata: njax:n] 【成句】退屈、何
をすることもない。【例】きゆーや

なう あすかたー にやーん（今日は
退屈だ（何もすることもない））。

なう ほうっでい [nau huddi]
【成句】なにをしに、なんのために。
【例】つうあー なうほうっでいどう
うまんかい った（お前はなにをしに
ここに来たのか）。

なう やらばんまい [nau
jarabammai] 【成句】何でも、何であ
っても。【例】なう やらばんまい
ゆぬむぬ やいば ばぬんな うるー
ふいーる（なんでもおんなじだから
俺にはこれをくれ）。

なうい [nau] 【動詞】[r/rr 語幹] [C]
（穀物などが）実る；（地域などが）豊か
になる；添い遂げる。【例】くとうっ
さ あーぬ ゆー なうりゆー（今年
は粟が良く実っている）。なうい まい
（実った稲）。ゆーや なうりーどう（村
は豊かになっている）。なぐかでいぬ
なうらす（穏やかな風が実らす）。かぬ
びきりやとう そういなうり（あの
男と添い遂げる）。なうい ゆー（豊か
な世）。

なうい [nau] 【動詞】[r/rr 語幹] [C]
（病気が）治る。【例】ほうりむぬー
すなだかー なうらん（バカは死なな
いと治らない）。ほうがさー なうりー
どう（おできは治っている）。

なうががら [naugagara] 【代名詞】
『不定代名詞』なにか。【例】うまん

なうががらぬどう うい (そこに何かいるよ)。なうががらんかい どうーゆ うからはだかー ばぬんな たちや うらいん (何かに身体を支えられていないと私は立ってられない [＜何かに体をもたれさせないと私には立ってられない])。[類] なうがら。

なうががら [naugagara] 【副詞】なぜか原因はわからないが、何となく；見るからに、いかにも。【例】きゅーや なうががら かなまいぬ やみゅー (今日はなんとなく頭が痛い)。かりゃー じゃうからた なうががら ちゅーぎ びとう (あの人は立派な体格でいかにも強そうな人だ)。

なうががら [naugagara] 【成句】何か、何であるか。【例】うらー なうががら っさいん (これが何だか分からない)。かぬ どうきやん っづあがかうたい むぬー なうががらていー うぶいどうー (あの時君が買ったのはなんだか覚えてるかい)。

なうががらむぬ [naugagaramunu] 【成句】変だな、どうしたんだろう。【例】なうががらむぬ、うぬ やらびゃー うまん あそうびゅーたいそうがどうとうみらいん (変だな、その子はそこで遊んでたはずだけど、いなくなった)。

なうがら [naugara] 【感動詞】『フィーラー』 えーと、何というか、あの一。

なうさ [nausa] 【名詞】[B] 石子、小石、サンゴの化石で道路の舗装に使った。【例】なうさうどう んつんかいすつ (石子を道路に敷く)。

なうじゃん [nauzan] 【名詞】『疑問詞』理由、目的を尋ねる疑問詞、なんで、どういうわけで。【例】っづあー きゅーや なうじゃんぬ ぼーが (お前は今日は何しに来たの)。ん[°]ぬー なうじゃんな ひどう からー くーっだんが (昨日はなんで彼は来なかったの)。[類] なうばい。

なうす [nausi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] (壊れたものを)直す；(病気などを)直す；(人の仲を)修復する。【例】あっちゃぬ ぶーや っच्चゅーば なうはだかーならん (げたの鼻緒が切れたから、直さなければならぬ)。きかいゆ なうす (機械を直す)。から いしやんな なうはいん やな やん なりゅー (彼は医者には直せない難病にかかっている)。

なうす ふあーっでい [nausi fa:ddi] 【成句】どういうつもりで、なんのために。【例】っづあー なうす ふあーっでいどう うまんかい った (お前は何しにここに来た)。

なうすたる [nausitaru] 【成句】(相手を非難して) どうなっているんだ。【例】っづあが すかまー なうすたる むぬ やいば (お前の仕事はなんだ [＞ダメじゃないか、もう一回やり直せ])。

なうすなうす [nausinausi] 【副詞】

(機械や人間の仲を) 直し直し、直しながら [「なうす」の反復形]。【例】やり きかいゆぎやー なうすなうす つかいゆー (古い機械を直しながら使っている)。うぬきや とうずぶとうー いつまい やどうゆんな ひや なうすなうす ひーゆー (その夫婦はいつも喧嘩をしては仲直りする)。

なうちゃーなー [nautɕa:na:] 【成句】

無意識的に；[否定を伴って] なんでも (いいわけではない)；(「すぐ」をあとにつけて) いきなり、突然に。[変異] なうちゃーにやー。

なうちゃーにやー [nautɕa:nja:] 【成句】

無意識的に；[否定を伴って] なんでも (いいわけではない)；(「すぐ」をあとにつけて) いきなり、突然に。

【例】かりやー なうちゃーにやー すばー つふいどう つむでいーうたい (あいつは無意識に唇を噛んで怒っていた)。かりやー むぬがま やいば なうちゃーにやーや ふあーん (彼は小食だからなんでも食べるわけではない)。かりやー あたずむ やいば なうちゃーにやー つむでいー (彼は短気だから何にでも腹を立てる)。なうちゃーにやーや ふあーいん (何でもかんでも食べられる訳はない)。なうちゃーなー すぐ っづあん うどうるかはい にやーん (いきなり、お前にびっくりさせられてしまった [>いきなりじゃないか、びっくりしたぞ])。[変

異] なうちゃーなー。

なうちゅん [nautɕun] 【副詞】

何も、全然、主題形の「な(ま)」を伴うことがある。【例】かりやー くぬいや なうちゅん みーらいん (彼は最近全然見かけない)。[類] なうとうん。

なうちゅんな [nautɕunna] 【副詞】

何も、全然。[変異] なうちゅんま、なうとうんま、なうとうんな。

なうちゅんま [nautɕumma] 【副詞】

何も、全然。【例】っづあが むぬいや なうちゅんま あたらん (お前の言っていることは全然的外れだ)。っづあが すかまー なうちゅんま ぬーがらん (あなたの仕事は全然渉らない)。なうちゅんま あいや あらん (全然そうではない)。ばぬんな うらー なうちゅんま っさいん (私にはそれは全然分からない)。[変異] なうちゅんな、なうとうんま、なうとうんな。

なうっしやー [nauɕɕa:] 【成句】

何のために。[類] なうほうっじゃ、なうっしやーなー。

なうっしやーなー [nauɕɕa:na:] 【成句】

何のために。【例】なうっしやーなー なうやひー っづあー うまんかい いたたいが (何のために、なぜ君はそこに行ったのか)。[類] なうほうっじゃ、なうっしやー。

なうていー [nauti:] 【感動詞】

『応答詞』聞き返すときにつかう、何だって、

まさか。【例】なうていー、かりやー
すにーにやーん（何だって 彼は亡
くなったのか）。

なうていどう あい [nautidu ai]

【成句】『フィラー』言いよどむときに使
う、えーっと、何というか。

なうていぬ ばーが [nautinu

ba:ga] 【成句】どうしたんだろう。【例】
なうていぬ ばーが、やどろー あ
かん（どうしたんだろう。戸が開かな
い）。

なうでいんね [naudinne] 【成句】大

したことはない。【類】なうでいんまー。

なうでいんまー [naudimma:] 【成

句】大したことはない。【例】なうで
いんまー なうまいあらん（大したこ
とはない。大丈夫だよ）。【類】なうで
いんね。

なうとうが [nautuga] 【副詞】どう

しても～ない、全然～ない。【例】な
うとうが ひとうぬ むぬいゆぎやー
つかん（どうしても人の言うことを
聞かない）。【変異】なんとうが。

なうとうん [nautun] 【副詞】何も、

全然。

なうとうんな [nautunna] 【副詞】何

も、全然。【変異】なうちゆんま、な
うちゆんな、なうとうんま、。

なうとうんま [nautumma] 【副詞】

何も、全然。【例】ばー すまぬ く

とうーぎやー なうとうんま っさん
（私は村のことは何も知らない）。【変異】
なうちゆんま、なうちゆんな、なうとう
んな。

なうぬ くとうまい にや

ーん [naunu kutumai nja:n] 【成句】何

の連絡もない、何の便りもない。【例】
かいが あめりかんかい ほりーから
ー みーていないそうが なうぬ く
とう まいにやーん（彼がアメリカに
行ってから3年だが何の便りもない）。

なうぬ みーんな ならん

[naunu mi:nna naran] 【成句】何の役に

も立たない。【例】やっづい ぐるま
ー なうぬ みーんまい ならん（故
障した車は何の役にも立たない）。

なうばい [naubai] 【名詞】「ぬ」を付

けて、性質を聞く疑問詞、どういう、ど
んな。【例】なうばいぬ むぬ（どう
いうもの）。なうばいぬ ひとう（どん
な人）。なうばいぬ くとう（どんなこ
と）。なうばいぬ ばーが（どうしたわ
けだ）。【類】いんしー。

なうばい [naubai] 【副詞】『疑問詞』

どんなに、どうやって。【例】なうば
いどう くまんかい った（どうして
ここに来たの）。なうばい ふあーんま
い ふあうはていらいん（どんなに食
べても食い尽くせない）。なうばい あ
すばどう じゃうかい（どうすればよ
いのか）。なうばいちゃーにやー ひと
うーぎやー んみかん（何となしに人

を叱らない [>叱ってはいけない]。なうばい あすかたまい にやーん (どうしようもない)。でいんまい にやーん、なうばい ほうでい (金もない。どうしよう)。

なうばいが [naubaiga] 【感動詞】『応答詞』知り合いに会ったときにする挨拶、どうだい、うまくいっているか。

なうばいていー [naubaiti:] 【感動詞】『応答詞』相手の言ったことを聞き返すときに使う。え、何だって。 [類] なー、なうていー。

なうふあーっでいー [naufa:ddi:] 【成句】何をしに、なんのために 「なうす ふあーっでい」と同じ。【例】っぐあー なうふあーっでいどう うまんかい った (お前は何しにここに来た)。

なうふい [naufui] 【形容詞】格好をつける。【例】なうふいんまり (格好をつける奴、目立ちたがり屋、自惚れの強い奴)。

なうふい [naufui] 【名詞】格好をつける人。 [類] なうふや。

なうふや [naufuja] 【名詞】格好をつける人。【例】からー なうふや だら (彼は格好をつける人なんだ)。

なうふや [naufuja] 【形容詞】格好をつける。 [類] なうふや。

なうまい [naumai] 【副詞】何も。【例】ばー すまぬ くとうーぎやー なうまい っさん (私は村のことは何も知らない)。

なうまい んなない [naumai nnanai] 【成句】何もかも全て。【例】かりやー あいくとう にやーん くとうー なうまい んなない むぬっじゅーたい (彼はあることないこと何もかも全て話した)。かいん でいんまい やーまい なうまい んなない たくまいーにやーん (彼に金も家も何もかも全て騙し取られた)。

なうまいあらん [naumaiaran] 【成句】何でもない、大丈夫。【例】なうでいんまー なうまいあらん (大したことはない。大丈夫だよ)。

なうや あすかたーにやーん [nauja asikata:nja:n] 【成句】どうしようもない、途方に暮れる。【例】ばーうっかー あみかっづいー なうや あすかたーにやーっだん (借金をたくさん負ってどうしようもなかった)。

なうやあらん [naujaaran] 【成句】そんなことはない、そうではない、ちがう。

なうやひー [naujahi:] 【副詞】理由を聞く疑問の副詞 なぜ、どうして 反問としても使える。【例】なうやひー あい ないたー (どうしてそうだったの)。なうやひーどう うまんかい

った (なぜそこにいったの)。なうや
ひー ふぁーじゃーん (なぜ食べない)。
なうやひー かるー とうず あすた
い (何故彼女を妻にしたか)。なうやひ
ー ゆびゃー さきぬんが くーっだ
んが (何で昨晩は酒飲みに来なかった
か)。

なうやらばん [naujaraban] 【成句】
何でも良いから、何でも。 [類] なう
やらばんまい、なうやらん、なうやらん
まい。

なうやらばんまい [naujarabam-
mai] 【成句】何でも良いから、何でも。
【例】たかからばんまい やすからば
んまい なうやらばんまい かーでい
((値段が) 高かろうが安かろうが何で
も良いから買います)。やーすかいば
なうやらばんまい ふぁーでい (おな
かがすいているから何でも食べます)。
[類] なうやらばん、なうやらん、なう
やらんまい。

なうやらん [naujaran] 【成句】何で
も良いから、何でも。 [類] なうやら
ばん、なうやらばんまい、なうやらん。

なうやらんまい [naujarammai] 【成
句】何でも良いから、何でも。 [類] な
うやらばん、なうやらばんばんまい、な
うやらんまい。

なうらす [naurasi] 【動詞】 [s/h 語幹]
成長させる、実らせる。 【例】あぐぬ
はな どうすぬ はなひー なうら

はだかーならん (同級生、友達の出世
頭として成功させないとならない)。く
ぬ あみゃー はいぬ ぶーっじゅま
い、んーぎーゆまい なうらすがまた
(この雨は畑のサトウキビや芋を成長さ
せるだろう)。

なうんだい [naundai] 【感動詞】『応
答詞』命令されたことを拒否するとき
に使う、何でだ、いやだ。 【例】なうん
だい、ばー うりゅーぎゃー ほうん
(なんでだ、おれはそんなことしない)。

なか [naka] 【名詞】 [C] 中、中身；(外
面に対し) 内面；(木と木などの) 間。
【例】かりゃー あら かぎ なか っ
さり やいば かいが つむぬ なか
ー ゆまいん (彼は外面はきれいだが
中は汚いので、彼の心の中は読めない)。
ばなぬ とうーい なかまい にゃー
ん (罫の通る隙間もない)。

なか [naka] 【名詞】 [C] 次男。

なが [naga] 【形容詞】 [B] 長い。 【例】
なが ん^oな (長い綱)。ながたび (長
旅)。ながみはな (面長)。ばー ういび
とう なりー ながみんふ なりー
ひとうぬ むぬいや むいとう つか
いだ んぎゅー (私は年取って耳が遠
くなって全然人の話し声が聞こえなく
なっている)。

なが うっそう [naga ussu] 【名
詞】後頭部のとがった人。

なかーい [nakai:] 【動詞】 [r/rr 語幹]
分ける。【例】たまう なかーい（分
け前を分ける）。いんからぬ っぞうー
なかーい（漁の魚を分ける [＜海か
らの]）。じょー っぞうー なかーら
でい（さー、魚を分けよう）。

なかーに [naka:ni] 【名詞】次女。【例】
ばー なかあにゆーど むいとう ぬ
ずみゆー（私はおたくの二番目の娘さ
んを愛しています）。

ながーみ [naga:mi] 【名詞】梅雨。
【例】ながーみんかい なりーにやーん
（梅雨入りした）。ながーみやー あきー
にやーん（梅雨が明けた）。

ながーみふー [naga:mifu:] 【名詞】
長くつづく雨。【例】くぬいや みーか
まい ながーみふーや ひーゆー（こ
のごろは3日も雨が続けている）。

ながあーぐ [nagaa:gu] 【名詞】長綾
語（長い歌）。

ながい [nagai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C]
流れる。【例】んすぬかーぬ みっじゃ
がーらみどう ながりゆー（ンスヌ
カーの水はゴーゴーと流れている [ン
スヌカーは西原の北にある地下からの
湧水の取水場]）。

ながうちや [nagautça] 【名詞】『道
具』鶴嘴（つるはし）。【例】ながうち
やひー いっそう くーす（つるはし
で石を掘り出す）。

ながさ [nagasa] 【名詞】 [C] 長さ、長
いもの。【例】ゆぬ ながさ（同じ長
さ）。ながさー ます（長い方がよい）。

なかじゃ [nakaza] 【名詞】 [C] 台所。

ながす [nagasi] 【動詞】 [s/h 語幹] [C]
流す。【例】みずんかい ながす（水
に流す）。

なかずむ [nakazimu] 【名詞】心の中
の思い、優しさ。【例】じゃう なか
ずむ（良い内心）。まーぬ むぬい ひ
とうー なかずむー にやーん（余り
にも喋る人は心の中の思い [=優しさ]
がない）。[類] なかち。

なかたがい [nakatagai] 【名詞】仲違
い。【例】うぬぎやが ふたーいや
なかたがいや ひーどう（その二人は
仲違いしている）。

なかち [nakatçi] 【名詞】 [B] 女性の陰
核。【例】なかつがま（女性の陰核）。
[変異] なかつ。

なかち [nakatçi] 【名詞】 [A] 心の中
の思い、優しさ。[変異] なかずむ。

なかつ [nakatsi] 【名詞】 [B] 女性の陰
核。[変異] なかち。

ながつず [nagatsizi] 【名詞】長い行
列、長く繋がること。【例】かまぬ
まっちゃんな ひとうぬどう ながつ
っじゃ ひーゆー（向こうの店には人
々が長い行列をつくっている）。

ながていび [nagatibi] 【名詞】中々離席しない人。【例】うりゃー ながていび びーったー（彼は最後まで離席しない）。

ながに [nagani] 【名詞】[B] 背中。
[類] くすんみ。

なかまーい [nakama:i] 【名詞】自分の懐に公金等入れること、競争等で走る距離の嘘をつくこと。【例】でいんぬ なかまーい あす（公金等を自分の懐に入れる）。

ながみーだつ [nagami:datsi] 【名詞】年増の独身女性。

ながみつず [nagamitsizi] 【名詞】〔祭礼〕祭事「すまふさら」に使う悪霊払いの綱でそれに肉片、骨を途中、途中に入れる。【例】すまふさらんな ながみつじゅどう すまぬ はいーふつん はい（スマフサラには村に病気等の悪霊が入らないように村の入口にナガミツジを張る）。

ながみん [nagamin] ①【形容詞】耳が遠いこと。【例】ながみん ういびとう（耳の遠い年寄り）。ばー ういびとう なりー ながみんふ なりー ひとつぬ むぬいや むいとう つかいだ んぎゅー（私は年取って耳が遠くなって全然人の話し声が聞こえなくなっている）。かぬ ういびとうー ながみんかいば ひとつぬ むぬいゆぎゃー つかん（あの年寄りは耳が遠いの

で人の話し声は聞かない）。[類] みんぐ。②【名詞】耳が遠い人。[類] みんぐ。

ながやーじゃう [nagaja:zau] 【名詞】年取って弱くなりこもりきりになること；長い間病気で養生していること。【例】うやー ながやーじゃうや ひーゆー（おじいさんは年取ってこもりきりになっている）。まさいや はずぬ ふにゆー ぶりー ながやーじゃうゆ ほうーたい（マサイは足の骨を折って長い間養生している）。[変異] ながやうじゃう。

ながやうじょう [nagajauzou] 【名詞】年取って弱くなりこもりきりになること；長い間病気で養生していること。[変異] ながやーじゃう。

ながゆ [nagaju] 【名詞】[A] 〔魚〕ボラ。【例】だーながゆ（大型のボラ）。

なから [nakara] 【名詞】[C]（入れ物の）半分（の量）。【例】さきゃー くびんぬ なから あり（酒はビンの半分ある）。んなーぎゃー すかまー なからーとうんま くーん（今のところ仕事は半分も来ていない）。

なからぐびん [nakaragupin] 【成句】思慮の足りない人 [＜中身が半分しか入っていない瓶]。【例】かりゃー うむくとうー にゃーん なからぐびん（彼は思慮の足りない人だ）。

ながんぬつ [nagannutsi] 【名詞】長命。【例】ながんぬつ ういびとう（長

命のお年寄り)。

ながんぶ だーい [nagambu dai]

【成句】 [r/rr 語幹] (疲れを取るために) 横になる、寝そべる。【例】ながんぶ

だーりー ゆくー (横になって休む)。

◎【動詞】 [g 語幹] [C] (鉦 (なた) や鎌でサトウキビを) 薙ぎ倒す。【類】 なず。

なぎ [nagi] ①【動詞】 [母音語幹] [C]

殴る。【類】 なず。

なぎ [nagi] 【名詞】 [B] 凧。【例】と

うりどう なぎゃー ひーゆー (晴れて凧になっている)。きゅーや なぎゃーひー かじゃーにゃーん (今日は凧で凧がない)。

なぎ [nagi] 【接尾辞】 [B] (名詞について)

周辺を表す、～辺、～近く、～あたり。【例】うまなぎ (そこら辺)。かまなぎ (向こうら辺)。かーまなぎ (遠くの方)。っさらなぎ (平良辺り)。くまなぎ (ここら辺)。んじゃなぎ (どこら辺)。あがいなぎ (東の方辺り)。

なぐい [nagui] 【名詞】 [B] 波や風の

うねり、余波。【例】きゅーぬ いんなやぐみ なぐい (今日の海は大変なうねりだ)。かでいふつぬ あとうんななぐいぬどう あい (台風の後には余波がある)。きゅーまい いんな かでいふつぬ なぐいぬどう あい (今日も海には台風の余波がある)。

なぐかでい [nagukadi] 【名詞】 和やかな

風、そよ風。【例】きゅーぬ か

じゃー なぐかでいがま (今日の風はそよ風だ)。なぐかでいぬ なゆらしばよ (和風が実らすからよ [古謡「豆が花」より])。

なさがい [nasagai] 【動詞】 [r/rr 語幹]

高齢で子を産めなくなる。【例】っふあー なさがりゆー わーゆどう あびゃーていー あい (年を取って子を産めなくなった豚をアピャーと言う)。ばんていが ぶばー っふあー なさがりーどうー (私の叔母はもう子供が産めなくなった)。【変異】 なすあがい。

なさがい [nasagai] 【名詞】 高齢で子供

が産めなくなること。【例】かぬみどうんな んめ なさがいん なりーどうー (あの女性はもう年を取って子どもを産めなくなっている)。あびゃーわーや なさがい わー (子供の産めない豚は出産能力のない豚だ)。【変異】 なすあがい。

なさんつづあ [nasanvva] 【名詞】 妻

か夫の連れ子。【例】うらー ばがなさんつづあ (それは私の {妻/夫} の連れ子だ)。【変異】 なさんつふあ。

なさんつふあ [nasanffa] 【名詞】 妻

か夫の連れ子。【変異】 なさんつづあ。

なす [nasi] 【動詞】 [s 語幹] [C] (子供

を) 産む、出産する。【例】わーぬどう っふあがまう なしゅー (豚が子供を産んでいる)。わいていー んくまだかー っふあー なさいん (うんと

力まないと子供は産めない)。びきどうん つうあう なす (男の子を産む)。

なす [nasi] 【動詞】[s 語幹] [C] AをBに変化させる、変える。【例】いっさ ぱりー ぐまみん なす (石を割って粉々にする)。

なず [nazi] ①【動詞】[g 語幹] [C] なぐる。【例】ぎずぎやうぬ やらびゆー なず (いたずらな子供をなぐる)。②【動詞】[g 語幹] [C] (鉈 (なた) や鎌でサトウキビを) 刈る。【例】ぶーっじゆ っざらひー なず (サトウキビを鎌で刈る)。

なず [nazi] 【名詞】[B] ヘビ。【例】あうなず (青大将)。

なすあがい [nasiagai] 【動詞】[r/r 語幹] (年を取って) 出産能力がなくなる。【変異】なさがい。

なすあがい [nasiagai] 【名詞】高齡で子供が産めなくなる事。【変異】なさがい。

なずき [naziki] 【名詞】[C] 『形式名詞』(動詞基本形について)～のが原因で;口実。【例】くらはい なずきん ほうにやー ぶりーにやーん (殴られたのが原因で骨が折れてしまった)。うにやー ふあうたい なずきん すにーにやーん (フグを食べたのが原因で死んでしまった)。うぬ みどうんな っふあなす なずきん すにー はりーにやーん (その女性は出産が原因

で亡くなった)。かりやー ういなずきん ひんぎー はりーにやーん (彼はそれを口実に逃げて行ってしまった)。

なすずつ [nasizitsi] 【名詞】産む月、臨月。【例】ばが みどうんな っふあなすずつ なりーどうーい (私の妻は臨月になっている)。

なすっづあ [nasivva] 【名詞】実子。【変異】なすっふあ。

なすっちや [nasittca] 【名詞】末っ子。

なすっふあ [nasiffa] 【名詞】実子。【変異】なすっづあ。

なずばい [nazibai] 【名詞】薙ぎ切ること。【例】っさう なずばい あす (草を薙ぎ切る)。

なすんま [nasimma] 【名詞】実母、産みの親。【例】ばが なすんまー つむかぎ あたい (私の生母は優しかった)。

なそうー [nasu:] 【名詞】[C] なすび。【例】くとうっさ なそうーゆ いびでい (今年は茄を植える)。なそうーぎーぬ すたぬ ぼう まーしゃがま (茄子の木の下で棒を振り回す者 [小さい人の形容])。

なだ [nada] 【名詞】[B] 涙。【例】ふからっさー なだとう ひとつみ (よろこびは涙と共に)。

なだつ [nadatsi] 【名詞】[C] 〔植〕ハイキビ [根が深く作物の成長を阻害する]。

なだやす [nadajasi] ①【名詞】涙もろい人、涙もろいこと。【例】なだやっさ かんこくどらまう みーきやー すぐ なつどうす (涙もろい人は韓国ドラマを見るとすぐ泣く)。くぬいや ういびとうん なりー むいとう なだやすん なりーどうー (最近では年寄になってとてもなみだもろくなった)。②【形容詞】涙もろい。【例】ばー むいとうぬ なだやすびとう (私はとても涙もろい人)。くぬいや ういびとうん なりー むいとう なだやすふ なりーどうー (最近では年寄になってとてもなみだもろくなった)。

なだら [nadara] 【形容詞】[B] 平坦な。【例】なだら ずー (平坦な土地)。なだら んつ (平坦な道)。

なだらかす [nadarakasi] 【動詞】[s/h 語幹] 平らにする。 [類] なだき、なだつ。

なだらき [nadaraki] 【動詞】[母音語幹] 平らにする、なだらかにする。【例】うまう なだらきる (そこを平らにする)。 [類] なだらかす、なだらつ。

なだらつ [nadaratsi] 【動詞】[k 語幹] 平らにする、なだらかにする。【例】うまう なだらき (そこを平らにしる)。 [変異] なだらふ。 [類] なだらき、なだらかす。

なだらふ [nadarafu] 【動詞】[k 語幹] 平らにする、なだらかにする。 [変異] なだらつ。 [類] なだらき、なだらかす。

なちやーら [natɕara] 【名詞】海神草。【例】なちやーらう むんていがー ばたむすぬどう うりふー (海神草を飲んだらお腹の虫が下り出る)。

なちやみ [natɕami] 【名詞】[C] 梅雨。

なつ [natsi] 【動詞】[k 語幹] [A] (人が)泣く、(動物が)鳴く。【例】あかつぐ あぬ んぎやーていー なつ (赤ちゃんがおぎやーと泣く)。ういびとうー なうちやーにやー かまらすかいががら いーいーていー なきゅー (年寄りがなにか悲しいのかしくしくと泣いている)。あがいよーていー なつ (アガイヨーと泣く)。まゆぬどう みやーみやーていー なきゅー (猫がニャーニャーと鳴いている)。いつばんどういぬ なきゅー (一番鳥が鳴いている)。 [変異] なふ。

なつ [natsi] 【名詞】[A] 夏。【例】なつん なりー あつふ なりーにやーん (夏になって暑くなった)。

なっじゅい [nazzui] 【動詞】[r/rr 語幹] 殴る、打つ。【例】たやびやーき なっじゅり (力いっぱい殴れ)。ぼーるー ばっとひー なっじゅり (ボールをバットで打て)。

なっちゃん [nattçai] 【動詞】 [r/rr 語幹] (仕事などが) 終わる ; (仕事などを) 終える ; (仕事などを) やめる。【例】くぬ すかまー きゅーひーや なっちゃん (この仕事は今日中には終わらない)。きゅーぬ うぐなーいや ういひー なっちゃん (今日の集まりはこれで終わろう)。やくばぬ すかまー んめ なっちゃん (役所の仕事はもうやめた)。

なっちゃん [nattçakan] ① 【形容詞】 無能だ、怠け者だ ; (病気で) 仕事ができない。【例】うまんな たるがどう んながーな なっちゃん (ここで一番仕事ができないやつはだれだ)。うりやー たないや にやーん なっちゃん (彼は頼りにならない怠け者だ)。すかまーひらいん なっちゃん ひつにんな やーんきー にっぐゆーき (仕事のできない無能な奴は家に帰って寝ておけ)。がびやうかいば なっちゃん (病弱で余り仕事ができない)。からー はっじゃ ぶりーからどう なっちゃんふ なりゅー (彼は足を骨折してから仕事が効率よくできなくなった)。[類] なっちゃん。② 【名詞】 仕事のできない人、無能な人、怠け者。【例】なっちゃんやーんかい はり (怠け者は家に帰れ)。[類] なっちゃん。

なっちゃん [nattçaran] ① 【形容詞】 無能だ、怠け者だ ; (病気で) 仕事ができない。 [類] なっちゃん。②

【名詞】 仕事のできない人、無能な人、怠け者。【例】かりやー なっちゃんやいば いつがみまい すかままい つかん (彼はどうしようもない奴だからいつまでも仕事にもつかない)。[類] なっちゃん。

なっちゃん [natsizza] 【名詞】 泣き虫。【例】なっちゃん やらび (泣き虫の子供)。なっちゃん つふあう あじゃんつ (泣き虫の子をあやす)。みーが かず いつまい なきゅー なっちゃん (見る度にいつも泣いている泣き虫)。

なつぬ あみ [natsinu ami] 【名詞】 夏の雨、スコール。

なつむぬい [natsimunui] 【名詞】 泣き言、泣落し。【例】みどうんみぬ なつむぬいん だまはいな (女達の泣き落としに騙されるな)。

なでい [nadi] 【動詞】 [母音語幹] [C] 撫でる。【例】やらびぬ かなまいゆ なでいー (子供の頭を撫でる)。

なな [nana] 【接頭辞】 『数詞』 七。

ななうさい [nanausai] 【名詞】 『祭礼』 神に供える七つの料理、七盆。[類] ななぶん。

ななつ [nanatsi] 【名詞】 [C] 『数詞』 七つ。

ななぬひとう [nananuhitu] 【名詞】 『数詞』 七人。

ななぶん [nanabun] 【名詞】『祭礼』神に供える七つの料理、七盆。【例】ななむいぬ うたきん うーんまたが かんかい すきー ななぶんぬ むぬんな にーから ばかすたーひー ありーどーうーい (ななむいの御嶽にウーんマが神にささげる七盆の食べ物は煮物からさしみまである)。
[類] ななうさい。

ななむい [nanamui] 【名詞】『祭礼』七杜 西原地区の祭事にかかわる集団。メンバーはくじで選ばれる。現在は男性7年、女性は10年務める。【例】ななむいぬ うやた (七杜のおじいさん達)。

ななむいぬ つかさ [nanamuinu tsikasa] 【名詞】『祭礼』七杜 (御嶽) の司 [うーんま (大按母)、うーんまぬ とうむ (大按母のお供)、なかばい (供え物の端を取り神に捧げる)、あーぐしゃ (祈願役)、あーぐしゃぬ とうむ (祈願役のお供) からなる]。

なぬか [nanuka] 【名詞】 [A] 『数詞』七日。

なば [naba] 【名詞】 [C] 汚れ、垢。【例】かみぬ なばう うたす (水瓶の汚れを落とす)。
[変異] ぐず。

なば [naba] 【名詞】 [C] 藻。【例】あうなば (水中に生えた藻)。

なび [nabi] 【名詞】 [C] 鍋。【例】なびゅー んーす (鍋を載せる)。

なびー [nabi:] 【形容詞】 [B] 滑らかな、すべすべした、ツルツルした。【例】うなっじゃ なびーむぬ (鰻は滑々している)。うまー なびーかいば そうくいかいば ならん (ここはすべすべしよく滑ってしまう)。なびー どうくまんな まさぐん あいき (滑る所ではちゃんと歩け)。

なびーうんた [nabi:unta] 【名詞】『生物』トノサマガエル。【例】なびーうんたー なびーむぬ (トノサマガエルはすべすべしている)。

なびつ [nabitsi] 【動詞】 [k 語幹] [A] なびく。【例】ぎひつぬどう かでいん なびきゅー (ススキが風になびいている)。
[変異] なびふ。

なびぬ くー [nabinu ku:] 【名詞】鍋の鑄掛屋。【例】なびゃー むりゅーば なびぬ くーゆ ゆらび (鍋が漏れているから鑄掛屋を呼べ)。

なびふ [nabifu] 【動詞】 [k 語幹] [A] なびく。 [変異] なびつ。

なびゃーら [nabja:ra] 【名詞】『果物・野菜』ヘチマ。【例】なびゃーらぬ なりゅーたい (ヘチマが実っていた)。かふーん なびゃーらぬ なりゅー (家庭菜園にヘチマがなっている)。

なふ [nafu] 【動詞】 [A] (人が) 泣く、(動物が) 鳴く。【例】くぬ なつっじゃ、なふな (この泣き虫、泣くな)。
[変異] なつ。

なま [nama] 【接頭辞】少し、ちょっと、何となく。【例】なまあつむぬ（生温かい）。なまひんなむぬ（ちょっと不思議だ）。なまひぐるむぬ（ちょっと冷たい）。なまにゆー（眠り足りない）。なまひぐるむぬ（ちょっと冷たい）。なまぶりむぬ（少しバカな奴）。なまひんな（ちょっと変な）。

なま [nama] 【接頭辞】生、十分に～していない。【例】なまにー（十分に炊かれていない）。なまむぬ（なまもの）。なまみず（生水）。なまにー（生煮え）。

なま [nama] 【副詞】すこし、ちょっと。【例】なま いびがんぬ んまりむぬ（ちょっと伊勢海老みたいなものだ）。なま あいぬむぬ（ちょっとそんなかんじだ）。なま ばばんぎむぬ（ちょっとおおざっぱだ、ちょっと気前がいい）。

なまい [namai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] 止まる；やめる。【例】うまん なまり（ここに止まれ）。なまいな（止まるな）。っさびぬどう なまらん（しゃっくりが止まらない）。すかまうぎゃー なまりー ゆくい（仕事をやめて休みなさい）。くるまうぎゃー なまらし（車を止めろ）。すかまう なまい（仕事を辞める）。ずまみゆー ふあうていがー なまらいん（落花生を食べたら止められない）。みどうんみぬ むぬーゆみーからー なまらん（女性達がお喋りすると止まらない）。

なまうぶい [namaubui] 【名詞】うろ

覚え。

なまじゃーか [namaza:ka] 【名詞】もうすぐ朝になる時間、「しゃーか（未明）」より少しあと。【例】なまじゃーか なりー どうーい（もうすぐ朝になる時間になっている）。

なます [namasi] 【名詞】[B] 刺身。【例】っぞう なます（魚の刺身）。ぶーた なます（芋ずるの葉っぱの膾〔ブダイなどの高級魚の代用にした〕）。[類] なまだん。

なますー [namazi:] 【形容詞】やる気のない、怠惰だ。【例】かいがどう んながーな なますーかい（あいつが一番怠惰だ）。[類] なますん、なまだん。

なますー [namazi:] 【名詞】やる気のない者、怠け者。【例】なますーや すかまうぎゃー ほうだ やーんかいはり（やる気のないやつは仕事をやめて家に帰れ）。[類] なますん、なまだん。

なますん [namazin] 【名詞】半殺し。【例】ばー なますん あすきや しーしーん くらはいたい（私は半殺しにされるまで先生に殴られた）。

なますん [namazin] 【形容詞】怠惰な、仕事をしようとしな。【例】かりやー すかまうまい ほうん なますん んまり（あいつは仕事をしない怠け者だ）。[類] なますー、なまだん。

なまずん [namazin] 【名詞】仕事を怠けること；なまけもの。【例】ばーなまずんな ひー しーしーん くら はないたい（私は半殺しにされるまで先生に殴られた）。【類】なまずー、なまだん。

なまそう [namasu] 【名詞】[C] 小潮 [潮の干満差が最も小さくなる潮回りのこと]。

なまだん [namadan] 【名詞】やる気がない者、怠惰な人、仕事をしようとしなない人。【例】なまだんな すかまうぎゃー ほうだ やーんかい はり（やる気のないやつは仕事をやめて家に帰れ）。なまだんな あそーどう すかま（怠け者は遊びが仕事）。【類】なまずー、なまずん。

なまだん [namadan] 【形容詞】やる気がない、怠惰な、仕事をしようとしなない。【例】うまんな たるがどう んながーな なまだんかい（そこではだれが一番仕事をしなないのか）。かりゃー すかまー ひらいん なまだんむぬ（彼は仕事のできない怠け者だ）。【類】なまずー、なまずん。

なまだんずみゃ [namadanzimja] 【名詞】『昆』「っさずみゃ」の次に現れる中型のセミ。

なまだんむす [namadamusi] 【名詞】『生』オキナワヤスデ。

なまちや [namatça] 【名詞】[C] 怠け者。【例】すかまー ひらいん なまちや（仕事のできない怠け者）。すかまうぎゃー まさぐん あっそう なまちや（仕事はちゃんとやれ、怠け者め）。

なまちやー [namatça:] 【名詞】生意気な奴。【例】くぬひゃーや むいと うぬ なまちやー（こいつはとっても生意気な奴だ）。

なまっじゃ [namazza] 【名詞】生半端。【類】なまはんか、なまはんぱ。

なまにー [namani:] 【名詞】生煮え。【例】なまにー むぬー んまっふあにゃーん（生煮えのものは美味しくない）。

なまにー [namani:] 【名詞】寝不足気味。【例】ゆびゃー なまにーやひー にゆーたかいば ならん（昨夜は寝不足気味で眠たくて仕方がない）。【類】なまにゆー。

なまにー [namani:] 【形容詞】生煮えだ。【例】ういんつきゃー かいがどう なまにーかい（これよりあれが生煮えだ）。

なまにゆー [namanju:] 【名詞】寝不足気味。【例】きゅーや なまにゆーや ひー にゆーたかいば ならん（今日は中途半端な眠りで眠くてならない）。【類】なまにー。

なまはんか [namahan̄ka] 【名詞】いい加減だ。【例】なまはんかぬ すかまうぎゃー ほうん（中途半端な仕事はしない）。[類] なまっじゃ、なまはんぱ。

なまはんぱ [namahampa] 【名詞】いい加減だ。【例】すかまー まさぐんな ひらいん なまはんぱむぬ（仕事はまともにできない生半端者）。なまはんぱんまり（いい加減な奴）。[類] なまっじゃ、なまはんぱ。

なまひぐる [namahiguru] 【形容詞】肌寒い。【例】きゅーや なまひぐるむぬ（今日はちょっと肌寒い）。

なまみず [namamizi] 【名詞】生水。【例】なまみっじゅ ぬん（生水を飲む）。

なまむぬ [namamunu] 【名詞】生もの。【例】なまむぬーぎゃー にーどぅ ふぁう（生ものは煮て食べる）。

なみ [nami] 【動詞】[A] 並べる；比較する。【例】うりゅーぎゃー うまん なみる（これをそこにならべろ）。ういとう くいとうー なみーみーる（これとそれを比べてみる）。

なみじゅるい [namizurui] 【名詞】多くの人が集まること。【例】きゅーぬ うぐなーいんかいや やびとうーんな なみじゅるいひー ふいーさまいー やぐみすでいがほー（今日の集会には多くの皆様が集まって頂きありがとうございます）。

なら [nara] 【名詞】[B] 音。【例】うぬさんしんな ならー いでいん（この三線は音が出ない）。はずなら（足音）。みんなら（耳鳴り）。むぬー ふぁうとうきゃんな ふつならうぎゃー いだすな（食事をするときにはくちやくちや音を出すな）。

なら [nara] 【代名詞】[B] 『再帰代名詞』自分。【例】ならが ほうでい（自分がしよう）。ならが あっそう（お前がやれ）。からー ならが つむーぎゃー むちゃん（あいつは自制心がない）。ならが ほうだかー たるが ほうでい、ならが ほうだかー ならん（自分がやらないなら誰がやるのか、自分がやらないといけない〔「なら」は話し手、聞き手どちらにもとれる〕）。[類] どうー、うな。

ならーす [nara:si] 【動詞】[s/h 語幹] 教える。【例】ずーゆ ならーす（勉強を教える）。やらびんかいや あっじー つかひー ならーし（子供には言い聞かせて教えなさい）。うらー ひとつぬ むぬいゆぎゃー つかんぼ ならーはいん（彼は人の話を聞かないから教えられない）。にんぎんぬ つふぁー んみきー ならーすんつきゃー ほうみー ならーすぼどう じゃうかい（人間の子供は叱って教えるよりも褒めて教えた方がよい）。

ならーす [nara:si] 【名詞】教えること、教え導くこと。【例】ゆがならー

す（間違った教え）。やびとうんーんな
ひー ならーす じゃうっじゃひー
ふいーさまでい（みなさま指導ご鞭
撻をお願いいたします）。

ならーっしやう [nara:ççau] 【形容
詞】行儀悪い、どうしようもない、躰が
なっていない。【例】ぎずぎやうな
ならーっしやう やらび（言うことを
聞かない躰がなっていない子供）。

ならい [narai] 【名詞】[C] 習い、教え、
教育。【例】やー ならいや ほうか
ならい（「家庭での躰けは大切 [＜家
の教育は外の教育だ]）。

ならう [narau] 【動詞】[b 語幹] [C]
（人が）並ぶ、整列する；（品物などが）
並ぶ、陳列される。【例】うまん な
らび（そこに並べ）。まっちゃんどう
むぬぬ はーさ ならびーゆーい（店
には商品がたくさんならんでいる）。ま
っちゃんきー ますく かーっでい
ならうたい（お店に行ってマスクを買
おうと並んだ）。

ならう [narau] 【動詞】[w 語幹] [C]
学ぶ、習う。【例】しーしーから ず
ーゆ ならう（先生から勉強を習う）。
ならーす じゃうっじゃひー ふいー
さまでい（ご指導の程よろしくお願
いします [挨拶するときの決まり文句]）。
すかまー なりむぬ、すかまうぎやー
すかまぬどう ならーす（仕事は慣
れていくもの、仕事が仕事を教える）。

ならういむぬ [narauimunu] 【名詞】
自生植物 [＜自分で生えるるもの]。
【例】ならういむぬー ちゅーむぬ（自
生植物は強い）。

ならす [narasi] 【動詞】[s/h 語幹] [A]
鳴らす。【例】すばびーゆ ならし（口
笛を吹け）。

ならす [narasi] 【動詞】[s/h 語幹] [A]
平定する、統治する。【例】とうゆみ
やー すまー ならひどう とうゆみ
ーうたい（豊見親は島を平定して有名
になっていた）。

ならす [narasi] 【動詞】[s/h 語幹] [A]
（土地を）平らにする。【例】ずーゆ
ならす（土地を平らにする）。

ならす [narasi] 【動詞】[A] 飼いなら
す。【例】ぬーまう ならす（馬を飼
いならす）。

ならっしやう [naraççau] 【形容詞】
躰けの悪い。【例】ならっしやう や
らび（躰けの悪い子供）。

ならどう [naradu] 【代名詞】[C] 『再
帰代名詞』「なら」の複数形。 [変異]
ならる。[類] なーどう。

ならる [nararu] 【代名詞】[C] 『再帰
代名詞』「なら」の複数形。 [変異] な
らどう。

ならん [naran] 【成句】「ない」の否定
形、ならぬ、ダメだ。【例】うらー
あいひや ならん（それはそうしては

駄目だ)。あいや ならん (そうはならぬ)。

ならん [naran] 【成句】「(形容詞語幹の活用 かいば (～なので) に付いて程度のはなはだしいことをあらわす、～くてならない; 動詞否定条件形「～だかー(なければ)」について、義務をあらわす。【例】うぬ っぞうー っさりー ぶさかいば ならん (その魚は腐っていてくさくてしかたがない)。いかだかー ならん (行かないといけない)。

なり [nari] 【名詞】[C] 習慣、普段のやり方。【例】ばんていが やーんな あいぬ なり (うちではそういう習慣だ [そういうやり方をしている])。あいぬ あすかたー ばが なり (これが私の普段のやり方だ)。

なり [nari] 【動詞】[母音語幹] [C] (動物が人に) 馴れる。【例】いんがまー やーにんじゅん なりゅー (犬は家族に馴れている)。

なり [nari] 【動詞】[母音語幹] [C] 慣れる。【例】すかまー んめ なりー どう (仕事はもう慣れている)。すかまー なりーにやーん (仕事は慣れた)。

なりむぬ [narimunu] 【名詞】(仕事や痛みなどに) 慣れるもの。【例】やらびんみゃー なりむぬ (子供は慣れるものだ)。すかまー なりむぬ (仕事は慣れるものだ)。

なん [nan] 【名詞】[B] 波。【例】きゅーや なんぶりかいばなん (今日は波が立ってどうしようもない)。なんぬぶりーゅー (波が立っている)。

なんー [nan:] 【動詞】[mm 語幹] [C] 舐める。【例】あみじゃたう なんー (飴を舐める)。んなまー みーつむぬー ぎゃー なんまん (今は目のごみはなめて取らない)。いんかい なんまいにやーん (犬に舐められた)。[類] なんみ。

なんく [nan̄ku] 【名詞】[C] 〔果物・野菜〕〔食〕カボチャ。【例】なんくー みゃーむぬ (カボチャはホクホクしている)。

なんざ [nanza] 【名詞】[C] 銀。

なんず [nanzi] 【名詞】[C] 難儀。【例】くぬ すかまー なんず (この仕事は難儀だ)。

なんつつ [nantsitsi] 【形容詞】焦げた。【例】なんつつ んー (焦げた芋)。

なんつつまい [nantsitsimai] 【名詞】〔食〕お焦げご飯。

なんとうが [nantuga] ① 【副詞】どうしても、全然、なかなか。【例】うぬ きゃが ふたーいや なうゆ ほうばんまい なんとうが はなはいん (彼ら二人はどうやってもまったく別れない)。いちやー っふいーゅーば なんとうが ながいん (板はかみ合っていてどうしても取り外せない)。ばー か

いんかいや なんとうが まみつふあん (私は彼には全然及びもつかない)。からりゃー ぼんちゅーぎゃー なんとうが みゃーぎん (彼は私達を全然振り向かない)。②【副詞】何とか。【例】かいいん たすきらいー なんとうが ぬちや ぶいらいどうー (彼に助けられて何とか命はもらったようなものだ)。しばうぎゃー ほうだうり、なんとうが ないどうす (心配するな、何とかなる)。[変異] なうとうが。[類] なうとうんま、なうとうんな。

なんみ [nammi] 【動詞】[母音語幹][C] 舐める。【例】みーんかいどう みーつむぬぬ はいりーにゃーんば なんみーふいーる (目にごみがはいったのでなめて(とって)ください [昔は目に入ったごみはなめて取ったり、乳をかけて取った])。ベー あみだまう なんみー ふつぬ ぼん あすみゅーき (ほら、飴玉をなめて口の番をさせておけ)。いん なんみらいーにゃーん (犬に舐められた)。[類] なんー。

に

にー [ni:] 【名詞】 [B] 荷。【例】ばし
ゃんかい にーゆ つん（馬車に荷を
積む）。

にー [ni:] 【名詞】 [B] 音 [音楽用語と
して使われる]。【例】いちゆぬ にー
（細い絹糸を引いたような高い音、宮古
島の音楽）。

にー [ni:] 【名詞】 [C] 根、根元 [複
合語では「に」となる]。【例】きーぬ
にー（木の根）。にむとう（根元）。に
ーにゃー（屋号「にーぬやー」と同じ）。
にーぬやー（屋号 [根元の家]）。

にー [ni:] 【動詞】 [母音語幹] [A] 煮
る、飯を炊く；煮える。【例】ゆいが
そーゆ にー（夕食のおかずを煮
る）。むぬー にー（食事をつくる）。ん
ーな んめ にーどー（芋がもう煮
えている）。

にー [ni:] 【動詞】 [母音語幹] [A]（太
陽に皮膚を）焼く。【例】なつぬ あ
つびーていーん にーらいーにゃーん
（夏の熱い日照りに焼き付けられた）。

にーか [ni:ka] 【名詞】 [C] 夜の遅い時
間。【例】んめ にーか なりー ど

うーば やーんかい はらでい（もう
おそくなったから家に帰ろう）。にーか
たーひー うきー べんきょーゆ あ
すたい（夜遅くまで起きて勉強した）。

にーから ばかすがみ [ni:kara
bakasigami] 【成句】煮物から生もの（さ
しみ）まで。【類】にーからばかすた
ーひー。

にーから ばかすたーひー
[ni:kara bakasita:hi:] 【成句】煮物から
生もの（さしみ）まで。【例】ななむい
ぬ うたきん うーんまたが かんか
い うさぎ ななぶんな にーから
ばかすたーひー ありーどーい（な
なむいの御嶽にウーンマが捧げる七盆
は煮物からさしみまでである）。【類】に
ーから ばかすがみ。

にーだ [ni:da] 【名詞】 [C] だだ（をこ
ねる）。【変異】にーら。

にーだ くず [ni:da kuzi] ① 【成句】
[g 語幹] だだをこねる。【変異】にー
ら くず。② 【名詞】 だだをこねること
（「くず」は「こぐ」）。【変異】にーら
くず。

にーだーす [ni:da:si] 【名詞】根絶すること。 [変異] にーだす。

にーだーつ [ni:da:tsi] 【名詞】根絶すること。 [変異] にーだす。

にーだす [ni:dasi] 【名詞】根絶すること。 [変異] にーだーつ、にーだす、にーだーす。

にーだつ [ni:datsi] 【名詞】根絶すること。 【例】かやー にーだっちゃ ひらいん (茅は根絶できない)。 [変異] にーだつ、にーだーつ、にーだーす。

にーつ [ni:tsi] 【名詞】 [C] 寝息。 【例】にーっちゅ たていー (寝息をたてる)。

にーまい そうらまい にやーん [ni:mai suramai nja:n] 【成句】根も葉もない、何の根拠もない、にー＝根、そうら＝木の天辺。 【例】つづあが あっじゅー くとうー にーまい そうらまい にやーん ほうりむぬい (お前が言っていることは何の根拠もないバカな話)。

にーむぬ [ni:munu] 【名詞】煮物。 【例】ゆーいぬ にーむぬ (お祝いの煮物)。 [変異] にむぬ。

にーら [ni:ra] 【名詞】 [C] だだ (をこねる)。 【例】にーらうぎゃー ほうだうり (駄々をこねるな)。 [変異] にーだ。

にーら くず [ni:ra kuzi] ① 【成句】 [g 語幹] だだをこねる。 【例】んめ つづあー ほういふ なりゅーば まー

ぬ にーら くがだうり (もう大きいんだからそんなに駄々をこねないの)。 [変異] にーだ くず。 ② 【名詞】だだをこねること (「くず」は「こぐ」)。 【例】うぬ やらびゃー んまが すかまんかい いかっでい あすていがー いつまい にーら くっじゃ ひー なつ (その子供は母親が仕事に行こうとするといつも駄々をこねて泣く)。 [変異] にーだ くず。

にあし [niaçi] 【名詞】 [C] 寝汗。 【例】にあしゅー かつ (寝汗をかく)。 [類] にゅーあし。

にうち [niutçi] 【名詞】 [C] 値打ち。 【例】うらー にうちゃー にやーん (それは値打ちはない)。

にがい [nigai] 【名詞】 [C] 『祭礼』祈願、神への祈願。 【例】かぎにがいぬ ぶんびしぶどうい (ありがたい願いのためのお盆を備えた後の踊り)。んぬつだみにがい (命乞いの祈願)。つふあだみにがい (子供を授かる祈願)。にがいまにやーん うむきまにやーん ほうやぐみゃー たすきー ふいーさまい (祈願した通りに、思った通りに神様は助けて下さる)。 [変異] かんにがい。

にがやたー [nigajata:] 【名詞】祈願のおばーさんたち。 [類] にがじんまた。

にがら [nigara] 【名詞】 [C] 早起き。 【例】かりゃー にがらびとう (彼は早起きだ)。

にぐー [nigu:] 【名詞】 [C] 〔貝〕 シャコガイ。【例】 にぐーぬ からう あずくやていー あい (シャコガイの殻をアズクヤと言う)。

にごー [nigo:] 【名詞】 [C] めかけ。

にし [niçi] 【名詞】 [B] 背負い投げ。
[変異] んし。

にしゃい [niçai] 【名詞】 [C] 青年。
【例】 じゃうぎ にしゃい (好青年)。
[類] ばかむぬ。

にじゃま [nizama] 【名詞】 [C] 起き抜けでまだ寝ぼけている状態、寝入り端 (あるいは起き抜け)。
【例】 やらびゆーぎゃー にじゃまんな うかはん (子供を寝入り端には起こさない [> 起こしてはいけない])。
[類] にじゃみ、みじゃみ。

にじゃまうつ [nizamautsi] 【名詞】
起き抜けでまだ寝ぼけている状態。
【例】 やらびゃー にじゃまうっちゃひどう にゆーたぎ なりゆーたい (子供は寝起きなので眠そうだった)。

にだまい [nidamai] 【動詞】 [r/rr 語幹]
(仕事が) さだまる。【例】 すかまーにだまらん (仕事が定まらない)。

にだん [nidan] 【動詞】 [m 語幹] [A]
確定する、定める。【例】 じよ、ながら ゆーいぬ ひかっじゆ にだみーみーでい (さあ、お祝いの日取りを決めよう)。きんだっちゃーひー はらう

んじゃん うつつが にだます (糸を張って柱をどこにたてるかを決めさせる)。ささぎゆーいぬ ひかっじゃにだまいゆーな (結婚式の日取りは決まったか)。

につ [nitsi] 【名詞】 [C] 熱。【例】 かじゃー ひきどう にっちゃ いじゆー (風邪引いて熱が出ている)。かじゃー ひきー にっちゃ いでいー どうーや ほうみきゆー (風邪引いて熱が出て体は熱くなっている)。

につづい [nivvi] 【動詞】 [母音語幹]
[A] 寝る。

につづいばな [nivvibana] 【名詞】 寝入りばな。

につづいや うきうき [nivvija ukiuki] 【成句】 (仕事をせず) 食っちゃ寝、食っちゃねしていること; (何もせず) 寝たり起きたりすること。【例】 まいやーまいにち すかまー にゃーんば につづいや うきうき ひーゆー (毎日毎日仕事がないので、食っちゃ寝、食っちゃ寝の生活をしている)。かでいふつんな につづいや うきうき (台風の時にはには寝たり起きたりしている [> なにもせず家でごろごろしている])。

ににゆー [ninju:] 【名詞】 [B] 居眠り。
【例】 だりー ににゆーや ほうーたい (疲れて居眠りしていた)。ににゆーや たつづあみきーどう (こっくりこ

っくりと居眠りしている)。やらびやー
つーゆ ぬんきやー ににゆーや
かつら (赤ちゃんは乳を飲むとこっく
りこっくり (眠った))。すみやーすみや
ー ふあいぬ あとうんな ににゆー
ゆどう あす (昼食後は居眠りする)。

にぬは [ninuha] 【名詞】 [C] 子の方、
北の方角。

にぬはでいー [ninuhadi:] 【名詞】 北
支部。

にばら [nibara] 【名詞】 [C] 《魚》マ
ダラハタ [ハタの一種]。【例】にばら
う つー (ハタを釣る)。ほうーつ に
ばら (口の大きいハタ)。にばらー ほ
うーうつ むぬ (マダラハタは口が大
きい)。

にぶい [nibui] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A]
寝ぼける。【例】やらびやー にぶり
ーどうー (子供は寝ぼけている)。^[類]
にぶり。

にぶいどうい [nibuidui] 【名詞】 寝
ぼけて時を告げる鳥。 ^[類] にぶりど
うい。

にぶり [niburi] 【動詞】 [母音語幹] [A]
寝ぼける。 ^[類] にぶい。

にぶりどうい [niburidui] 【名詞】 寝
ぼけて時を告げる鳥。 ^[類] にぶいど
うい。

にまい [nimai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A]
染み込む。【例】うまー すばい か

じゃぬどう にまりゆー (ここは小便
臭が染み込んでいる)。

にむとう [nimutu] 【名詞】 [B] 根本。

【例】ぎすつぬ にむとう (ススキの
根本)。

にむぬ [nimunu] 【名詞】 [C] 煮物。

【例】ゆーいぬ にむぬ (お祝いの煮物)。
【変異】 にーむぬ。

にむぬい [nimunui] 【名詞】 寝言。

【例】いみやー みー にむぬい あす
(夢を見て寝言する)。にむぬや (よく寝
言を言う人)。

にやー [nja:] 【接尾辞】 (名詞、動詞基
本形について) 競い合い、競い合う。

【例】はーさにやー (かけっこ [「はーす
にやー」ともいう])。うーずにやー (水
泳の競争)。なつにやー (泣き合い)。ば
らうにやー (笑い合い)。だますにやー
(騙し合い)。あすにやー (やり合い)。
んみつにやー (叱り合い)。ばかいにや
ー (奪い合い)。ったつにやー (殴り合
い)。すまとうい にやー (相撲取り勝
負)。きゅーぬ はーりやー くずしょ
ーぶにやー (今日のハーリーは漕ぎ勝
負だ)。んまむぬぬ いでいっちゅーた
いばどう ふあうにやーや ほうーた
い (ごちそうが出てきたので我先にと
食べた)。たるがなーが ばかすむぬい
ゆ あっじゅーたいばどう ばらうに
やーや ほうーたい (誰かが冗談を言
ったのでみなで大笑いをした)。

にゃーい [nja:i] ①【動詞】[r/rr 語幹]
 (相手にものを渡すために)手を前に出す;
 手を差し伸べる、助ける;(物を)あげる。
 【例】うるー つじさまでいていー ういびとうんかい ていーゆ
 にゃーいたい (これを受け取ってください)と
 言ってお年寄りに手を差し出した)。んーぬ
 ふいーつじゃー ていーゆ にゃーり (芋をやる
 から手を出せ)。きばんむぬんかい ていーゆ
 にゃーい (貧乏な人に手を差しのべる)。か
 いかい どうっじゃ がつかいば むぬーぎ
 じゃー にゃーらん (彼の妻はケチなので人
 にものはあげない)。
 [類] にゃーい (母音語幹)。②【動詞】[r/rr 語
 幹] (相手に)手をあげる、手を出す、叩く。
 【例】ひとうんかい ていーゆぎゃー にゃー
 らんどー (人に手を出して(叩いて)はいけ
 ないよ)。
 [類] にゃーい (母音語幹)。

にゃーい [nja:i] ①【動詞】[母音語幹]
 (うけとるために)手を前に出す;(わたすた
 めにまたは助けるために)手を差し伸べる。
 【例】くらー ばが にゃーいん でいんが
 ま (これは私の僅かしかない金 [>あげら
 れないお金])。
 [類] にゃーい (r/rr 語幹)。②【動詞】[母
 音語幹] (相手をたたくために)手をあげる、
 叩く。
 [類] にゃーい (r/rr 語幹)。

にゃーす [nja:si] 【動詞】[s/h 語幹]
 [C] 失くす。【例】でいんな にゃーひー
 にゃーん (お金をなくしてしまった)。からー
 うんかいば むぬーぎゃー

ふあいー にゃーはん (彼は大食いだから食
 べ物を食い尽くしてしまう)。

にゃーだ んず [nja:da nzi] 【成句】[g 語
 幹] なくなる(「にゃーん」の連用形「にゃ
 ーだ」+「んず」)。【例】やーや むいー
 やーや にゃーだんぎーにゃーん (家は火
 事になって家はなくなってしまった)。やー
 ぬ かぎゃー にゃーだんずていーがー うら
 ー なんとかが どうみらいん (家の鍵は
 無くしたら(それは)全然見つけれない)。

にゃーだかー [nja:daka:] 【成句】な
 くてはならない。【例】にゃーだかー
 ならんむぬ (なくてはならないもの)。
 [変異] あらだかーならんむぬ。

にゃーん [nja:n] 【助動詞】[不規則]
 動詞連用形について意図しない動作の完了
 の意味を付け加える、~てしまった[過去形
 は、「~にゃーっだん(てしまった)」。【例】
 むぬー んめ ふあいーにゃーん (食べ物
 はもう食べてしまった)。いきーにゃーん
 (行っちゃった)。なうちゃーにゃー ばら
 いーにゃーん (思わず笑ってしまった)。

にゃーん [nja:n] 【動詞】[不規則][C]
 (無生物が)ない[生物の非存在は「みーん」
 を使う。;持っていない[(生物には~が)な
 い、(無生物には~が)ない]。【例】ばー
 どうっじゃ にゃーん (私は妻がない [>
 結婚していない])。でいんな にゃーん
 (金がない)。

じかんな にゃーん (時間がない)。ばぬんな むぬ ふあう まどうーまい

にゃーん (私には食事をする時間もない)。くぬ すかまー みくんな
にゃーん (この仕事は将来性がない)。
[類] みーん。

にゃーん [nja:n] 【接尾辞】「動詞基本形+が」について様態を表す、ように。

【例】 かいが ならーすがにゃーん
あっそう (あの人教えるようにやりなさい)。からー っぞうぬ うーずが
にゃーん うーず (あいつは魚がおよぐように泳ぐ)。ばが あすがにゃーん
あっそう (私がやるようにやりなさい)。みーたいがにゃーん かき (見たように書きなさい)。

にゃーんひー [nja:nhi:] 【副詞】無いように、無く。【例】 うるーぎゃー
にゃーんひーんなし (それは無くしてしまえ)。

にゅー [nju:] 【動詞】 [vv 語幹幹] [A] 眠る [否定形：にっづあん、連用形：にっづい]。【例】 んめ にっづあでい (もう 眠る)。やらびゃー にっづいーどう (子供は寝ている)。ばー にっづゅーらでい (私は寝ておく)。ばー いつまい はーひーん にゅー (私はいつも早い時間に眠る)。ばー んめ にゅーたかいば にっづゅーらでい (私はもう眠いから寝ていよう)。やらびゃー にっづいーどうーば はずならうぎゃー いだはだ やーらきふがま

あいき (子供が寝ているから足音をださずに静かに歩け)。

にゅー [nju:] 【形容詞】 [B] 遅い。

【例】 かりゃー ならうゆ あすみんまい
にゅー (彼は何をさせても遅い)。かりゃー いつまい にゅー (彼女はいつもおそい(遅れてくる))。からー はずにゅー ひとつ (彼は足の遅い人)。

にゅーあし [nju:açi] 【名詞】 寝汗。

【例】 にゅーあしゅー かつ (寝汗をかく)。
[類] にあし。

にゅーあじゃーな [nju:aža:na] 【形容詞】 寝相が悪い。【例】 にゅーあじゃーなんまり (寝相の悪い奴)。

にゅーぐり [nju:guri] 【形容詞】 寝苦しい。【例】 ゆびゃー あつかいば

にゅーぐりかいば ならっだん (昨晚は暑くて寝苦しかった)。

にゅーさい [nju:sai] 【動詞】 [r/rr 語幹] 腐りかけている。【例】 んーな

にゅーさりーどう (芋は腐りかけている)。うぬ まいや にゅーさりー どう (この米は腐れかかっている)。にゅーさりむぬーぎゃー ふあーん (腐れかかったものは食べない)。

にゅーずみ [nju:zimi] 【名詞】 寝心地が良いこと。

にゅーた [nju:ta] 【形容詞】 [A] 眠い。

【例】 にゅーたぎ ひとつ (眠そうな人)。くいが はなっそう つふていが

ー いつまい にゆーたふ ないどう
す (あいつの話を聞いたらいつも眠く
なる)。

にゆーたら [nju:tara] 【名詞】良く眠
るもの (人、家畜)、眠たがり、寝坊助。

【例】かりゃー やぐみ にゆーたら
(彼はよく眠る人だ)。にゆーたら、う
きー ひんじゃぬ っさー かりー
くー (眠たがりめ、起きてヤギの草刈
りて来い)。にゆーたら、はやまり う
きる (寝坊助、早く起きろ)。

にゆーたらーん [nju:tara:n] 【成句】

寝足りない、寝不足だ。【例】ばー
きゅーや にゆーたらーん (私は今日
は寝足りない)。

にゆーたらぎー [nju:taragi:] 【名
詞】〔植〕ねむの木。

にゆーどうくな [nju:dukuna] 【名
詞】寝るところ。〔類〕にゆーどうくま。

にゆーどうくま [nju:dukuma] 【名
詞】寝るところ。【例】にゆーたふ ない
ていがー にゆーどうくまう とう
みー (眠くなったら寝所を探す)。〔類〕
にゆーどうくな。

にゆーぱぎ [nju:pagi] 【名詞】床ず
れ。【例】ぶじゃが にゆーぱぎゃー
いちやぎむぬ (おじさんの床ずれは
痛そうだ)。

にゆーふい [nju:fui] 【名詞】寝たふ
り。【例】にゆーふいゆぎゃー ほうだ

はやまり すかまんかい はり (寝
たふりをしないで早く仕事に行け)。

にゆーふがます [nju:fugamasi] ①

【形容詞】ぐずって中々寝かせられない
子供。【例】にゆーふがます やらび
(寝るときにぐずる子供)。②【名詞】ぐ
ずって中々寝かせられない子供。

にゆーふたら [nju:futara] 【名詞】足

の遅い人。【例】っづあー なうばい
ぬ にゆーふたらが (あなたは何でそ
んなに足が遅いのか)。

にゆーやっづい [nju:javvi] 【名詞】

寝違い。【例】にゅうやっづゃー ひ
ー ぬどうー まーらん (寝違えて首
が回らない)。

にんぎん [ningin] 【名詞】(まともな)

人間。【例】ういんな にんぎんな ひ
らいん (あいつには人間はできない
[>あいつの行動は人間らしくない])。
かりゃー にんぎんな あらん (あい
つは人間ではない [>彼は信用できな
い])。

にんじゅ [ninzu] 【名詞】[C] 仕事仲

間、(船などの)乗組員。【例】ふなに
んじゅ (船の乗組員)。

にんそうー [ninsu:] 【名詞】人相。

【例】やな にんそうー (見かけがわる
いこと、またその人)。

ぬ

ぬ [nu] 【助詞】『格助詞』属格 普通名詞について所有を表す〔代名詞、固有名詞では「が」を用いる、人間を表す普通名詞ではどちらでもよい場合がある〕；「名詞＋格助詞」「述語」などに付いて次の名詞を修飾する機能を持つ、「の」〔代名詞、固有名詞では「が」を用いる、人間を表す普通名詞ではどちらでもよい場合がある〕。【例】しーしーぬ ほうんぬ かりったい（先生の本を借りてきた）。ひんじゃぬ っさー かりーくー（ヤギの草を刈ってこい）。はーさぬ ひとつ（たくさんの人）。いつぬ ひとつ（五人〔<5の人〕）。かなだからぬ ていがみ（カナダからの手紙）。いふがまたぬ ひとつ（行く予定の人）。また あいていぬ ばー（そういうことなのだ〔<またそうだとのこと〕）。[類]が。

ぬ [nu] 【助詞】『格助詞』主格 普通名詞について動作、状態の主体を表す、「が」〔代名詞、固有名詞では「が」を用いる、人間を表す普通名詞ではどちらでもよい場合がある〕。【例】っぞうぬどう びじゅー っふいーうい（魚が餌を食

っている）。ほうらだつん まずむぬぬ ういていんどー（大浦口に幽霊がいるそうだよ）。うまん がっこーぬどう あい（そこに学校がある）。っうあ じかんぬ あるーんな（お前時間があるかい）。[類]が。

ぬー [nu:] 【動詞】[b 語幹] [C]（体が）延びる、（ゴムなどが）延びる、（道などが）延びる。 [類]ぬび。

ぬー [nu:] 【動詞】[C] 縫う。【例】つんぬ ぬー（着物を縫う）。

ぬー [nu:] 【名詞】[B] 野、野原、在野。【例】ぬーぬ みー（野原の中）。うまぬ はいや っさー ういどう ぬーん なりーゆー（あの畑は草が生えて野原になってしまった）。ぬーからどう ぶっさ いでいー（在野から偉人は生まれる）。

ぬーい [nu:i] 【動詞】[r/rr 語幹] [A]（乗り物などに）乗る、（木などに）登る、（家などに）上がる。【例】くるまんかい ぬーい（車に乗る）。あわている、んめ ふにん ぬーいうくいがまた（急げ、もう船に乗り遅れるぞ）。きー

んかい ぬーい (木に登る)。かりゃー
あずまうつ びとう やいば かい
が ふつぐるまんぬ ぬーいな (彼は
甘言な人だから彼の口車には乗るな)。
かいだんぬ うりや ぬーい ぬーい
あす (階段を降りたり上がったたりす
る)。やーんかい ぬーりー んみやて
い (家に上がっていらっしやい)。うま
んかい ぬーりー くー (ここに上が
って来なさい)。

ぬーがい [nu:gai] ①【動詞】[r/rr 語幹]
はかどる。【例】きゅーや すかまー
ぬーがらん (今日は仕事は捗らない)。
[類] ぬびやがい。②【形容詞】よくは
かどること。【例】きゅーや すかまー
やぐみ ぬーがいむぬ (今日は、仕
事は良くはかどる)。ぬーがい すかま
(捗る仕事)。[類] ぬびやがい。

ぬーす [nu:si] 【動詞】[s/h 語幹] [A]
(ものや人を乗り物に) 乗せる; (機械な
どに) セットする。【例】ぶーっじゅ
ばしゃんかい ぬーし (サトウキビ
を馬車に乗せろ)。まいや すいはんき
んかい ぬーひーだー (ごはんを炊飯
器にセットした)。

ぬーず [nu:zi] 【動詞】[zz/dd 語幹] [A]
(高熱、病気等で) 唸(うな)る。【例】
ぱーや かなまいや やみー くーか
んががら ぬーじゅー (おばあさんは
頭痛で苦しいのかうなっている)。[変
異] ぬーでい。[類] ぬーっず、ぬーっ
でい、ぬーでい。

ぬーっず [nu:zzi] 【動詞】[zz/dd 語幹]
(高熱、病気等で) 唸(うな)る。【例】ば
んていが ぱーや やんとうきやんな
いつまい ぬーっじゅーい (私の祖
母は病気の時はいつもうなっている)。
[類] ぬーず、ぬーっでい、ぬーでい。

ぬーっでい [nu:ddi] 【動詞】[母音語
幹] (高熱、病気等で) 唸(うな)る。
【例】ぬーっでい ういびとう ((高熱等
で) うなってる年寄り)。ぱーや かな
まいや やみー くーかんががら ぬ
ーっでいーどうー (おばあさんは頭が
痛くて苦しいのかうんうんうなってい
る)。[変異] ぬーでい。[類] ぬーず、ぬ
ーっず、ぬーでい。

ぬーっでい [nu:ddi] 【動詞】(病気、
苦痛で) 唸る。【例】かなまいや や
みどう ぬーっでいー うい (頭痛で
唸っている)。

ぬーでい [nu:di] 【動詞】[母音語幹]
[A] (高熱、病気等で) 唸(うな)る。
[変異] ぬーっでい。[類] ぬーず、ぬー
っず、ぬーっでい。

ぬーま [nu:ma] ①【名詞】[B] 馬。【例】
んまぬーま (親(母)馬)。びきぬーま
(雄馬)。みーぬーま (雌馬)。ふしびや
ぬーま (言うことをきかない暴れ馬[人
間にも使う])。②【名詞】[B] 三線の
駒。

ぬーまじゅー [nu:mazu:] 【名詞】馬
肉。【例】うぬ ぬーまじゅーや ひ

つにかいば かまいん (この馬肉はかたくてかめない)。

ぬーまぬ かんぎ [nu:manu kangi] 【名詞】馬のたてがみ。

ぬーまぬ ふらがた [nu:manu furagata] 【名詞】『昆』クルマバツタ。

ぬい [nui] 【名詞】[B] 糊 (のり)、ペンキ。【例】ぬいひー かびーゆ はい (糊で紙を貼る)。

ぬい [nui] 【名詞】[r/rr 語幹] [B] (ペンキなどを) 塗る。【例】ペンキゅーぬい (ペンキを塗る)。

ぬい [nui] 【名詞】[B] おにぎり。【例】まいぬい ((米の) おにぎり)。あーぬい (粟のおにぎり)。んーぬい (芋のおにぎり)。

ぬい [nui] 【名詞】[B] 海苔、藻。【例】すぬい (モズク)。

ぬい [nui] 【名詞】[B] (屋根などの) 漆喰。【例】やーぬぬい (瓦の漆喰)。

ぬいじゅー [nuizu:] 【名詞】『植』念珠藻 (ネンジュモ) [ラン藻の一種]。

ぬいみ [nuimi] 【名詞】[B] (着物などの) 縫い目。【例】ぬんな つんぬぬいみんどう うい (ノミは着物の縫い目にいる)。

ぬか [nuka] 【名詞】[B] 糠 (ぬか)。【例】まいぬか (米糠)。

ぬがい [nugai] 【動詞】[r 語幹] [C] 抜かれる。【変異】んがい。

ぬかす [nukasi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] 残す。【例】ふあいぬかす むぬ (食べ残し)。【変異】ぬくす。

ぬかす [nukasi] 【名詞】[C] (食べた、飲んだりした) 残り。【例】からー ひとつぬ ふあいぬかつそうぎゃー ふあーん (彼は人の食べ残しは食べない)。【変異】ぬくす。

ぬくい [nukui] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] 残る。【例】かぬきゃが はだぬ ひとつんみゃー たうかー ぬくらだまみっじゃにゃーだ せんそーん すにー はりーにゃーん (彼等の年頃の人達は一人残らず誰もかれも戦争で亡くなって行ってしまった)。

ぬくい [nukui] 【名詞】[C] 残り。【例】ふあいぬくい (食べ残り)。うーぬくい (売り残り)。

ぬぐい [nugui] 【動詞】[母音語幹] [C] (手ぬぐいなどで) ふく、ふいてきれいにする。

ぬぐう [nuguu] 【動詞】[w 語幹] [C] (手ぬぐいなどで) ふく、ふいてきれいにする。【例】べー さずひー つうあが つふすー みはなう ぬぐい (ほら、タオルでお前の汚れた顔を拭え)。むぬー ふあいぬ あとうんな ふつちゅ ぬぐい (食後は口を拭え)。ぬすみー ふあいやー くとうーぎゃー

ふっちゃ ぬぐいー うき (盗み食いたときは口を拭え [> 悪いことをしたときは証拠を隠せ])。

ぬくす [nukusi] 【動詞】 [s/h 語幹] [C] 残す。【例】 むぬーぎゃー ぬかはだふあい (食べ物に残さないで食べなさい)。[変異] ぬかす。

ぬくずー [nukuzi:] 【名詞】 のこぎり。【例】 ぬくずーひー きーゆ きー (鋸で木をきる)。

ぬさき [nusaki] 【動詞】 [母音語幹] [A] 覗く。[変異] ぬすき、ぬそうき。[類] ぬさつ、ぬすつ、ぬそうつ。

ぬさつ [nusatsi] 【動詞】 [k 語幹] [A] 覗く。【例】 たぶひー いんぬ なかう ぬさきーみー (タグで水中を覗いてみる)。ひとうぬ きないゆぎゃー ぬさつな (他人の家庭は覗くな)。[変異] ぬさふ、ぬすつ、ぬすふ、ぬそうつ、ぬそうふ。[類] ぬさき、ぬすき、ぬそうき。

ぬさふ [nusafu] 【動詞】 [k 語幹] [A] 覗く。[変異] ぬさつ、ぬすつ、ぬそうつ、ぬそうつ、ぬそうふ。[類] ぬさき、ぬすき、ぬそうき。

ぬす [nusi] 【名詞】 [C] 持ち主。【例】 やーぬす (家主)。はいぬ ぬす (畑の主)。

ぬず [nuzi] ① 【動詞】 [g 語幹] [C] 追い抜く。【例】 まうきゃーぬ ひとう

ー ぬぎ (前の人を追い抜け)。[変異] んず。② 【動詞】 [g 語幹] [C] 先回りする、気持ちを読む。【例】 まいかい んっちゃ とぅーりー んーなう ぬずたい (近道を通ってみんなの先回りをした)。まいや ぬぎー あい (前を先回りして話す [> 相手の気持ちを読んで話をする])。[変異] んず。

ぬすつ [nusitsi] 【動詞】 [k 語幹] [A] 覗く。[変異] ぬすふ、ぬさつ、ぬさふ、ぬそうつ、ぬそうふ。[類] ぬすき、ぬさき、ぬそうき。

ぬすふ [nusifu] 【動詞】 [k 語幹] [A] 覗く。[変異] ぬすつ、ぬさつ、ぬさふ、ぬそうつ、ぬそうふ。[類] ぬすき、ぬさき、ぬそうき。

ぬずん [nuzin] 【動詞】 [m 語幹] [A] 好きだ、(結婚相手として) 望む。【例】 ばー つうあう ぬずみゅー (私はあなたを望む [> あなたがすきだ、あなたと結婚したい])。ばー なかーにゅーどう ぬずん (私は (あの家の) 次女が好きだ、(あの家の) 次女と結婚したい)。ばー かりゅーどう ぬぞうみゅー (私はあの人が好きだ、あの人と結婚したい)。

ぬずん [nuzin] 【名詞】 [A] 希望すること、望むこと。【例】 ぬずんどう あつない (のぞむことが高い [< 希望するからこそ何事も成立する])。

ぬそうき [nusuki] 【動詞】 [母音語幹] [A] 覗く。【例】 あらう ぬそうきー

みーみーる（戸外を覗いて見てごらん）。[変異]ぬさき、ぬすき。[類]ぬさつ、ぬすつ、ぬそうつ。

ぬそうどう [nusudu] 【名詞】[B] 泥棒。【例】ぶーず ぬそうどう（サトウキビ泥棒）。ぬそうどうー かつみらいーにやーん（泥棒は捕まえられた）。

ぬそうん [nusun] 【動詞】[m 語幹] [C] 盗む。【例】ぶーっじゅ ぬそうみー ふあう（サトウキビを盗んで食べる）。

ぬだつ [nudatsi] 【名詞】[C] 『地名』久松集落。

ぬっちー [nuttçi:] 【形容詞】動作が緩慢な。【例】ぬっちーんまり はやまり あいき（のろまめ、早く歩け）。

ぬっちーやらび [nuttçi:jarabi] 【名詞】動作の鈍い子。

ぬっちやー [nuttça:] 【名詞】動作の鈍い子。

ぬどう [nudu] 【名詞】[C] 首筋、喉、首。【例】ながぬどうびとう（首の長い人）。ぬどうー ながたんなりどう っづあう まっちゅーたい（首を長くしてお前を待っていた）。かじゃー ひきどう ぬどうぬ やみゅー（風邪をひいてのどが痛い）。っぞうぬ ほうにうぬ ぬどうん かかるー（魚の骨がのどに引っかかっている）。[変異]ぬぶい。

ぬどうぐら [nudugura] 【名詞】のどぼとけ。【例】んきゃーんな ひんじやぬ ぬどうぐらまい ふあいどうーたい（昔はヤギののどぼとけも食べていた）。うぬ びきやらびやー ぬどうぐらー んなーぎやー いでいや うらん（この男の子はまだのどぼとけは出ていない）。

ぬどうだつ [nududatsi] 【名詞】首の高さ。【例】からー ばが ぬどうだつ（彼は私の首までの高さだ）。うぬ ぶーるぬ ふかさー ばが ぬどうだつ（このプールの深さは私の首までである）。

ぬどうふず [nudufuzi] 【名詞】首（がすわる）；首すじ。【例】ぬどうふっじや むちーどう（首が座っている）。にゅーやっづやーひー ぬどうふずぬ やみゅー（寝違えて首筋が痛い）。

ぬどうぶに [nudubuni] 【名詞】首の骨。

ぬどうむぬ [nudumunu] 【名詞】無口な人。【例】うぬ ぬどうむぬー いつまい まむぬいや にやーん（あの無口な人はいつもまともに話さない）。

ぬぬ [nunu] 【名詞】[B] 布。【例】ぬぬー んます（布を湿らす）。ぬぬふあや（布を食う人 [＞長身の人、長身の人 は多くの布を必要とする]）。

ぬぬずん [nunuzin] 【名詞】「ぬぬずん ますぎた」と同じ。きれいに積まれ

た石垣。

ぬぬずんますぎた [nunuzim-masigita] 【名詞】きれいに積まれた石垣。

ぬぬばた [nunubata] 【名詞】織機。

ぬび [nubi] 【動詞】[母音語幹][C] (体が) 延びる、(ゴムなどが) 延びる、(道などが) 延びる。【例】だりー どうーや ぬびーどう (疲れて胴体はのびている [> 曲がった腰が寝たために伸びたから])。うぬ ぐむー やりふなりー ぬびん (このゴムは古くなって延びない)。くぬ んっちゃ っさらたーひー ぬびーどうー (この道は平良まで延びている)。

ぬびー [nubi:] 【名詞】[C] 〔植〕〔食〕野蒜 (ノビル)。【例】きゅーや ぬびー とういが (今日は野蒜取りに (行こう))。

ぬびやがい [nubjagai] ① 【動詞】[r/rr 語幹] 伸びあがる ; (人が) 出世する ; (会社が) 業績が伸びる。【例】かんちていーゆ あぎー どうーゆ ぬびやがらし (こういう風に手を上げて、体をのぼしなさい)。から ぬびやがりー どうーしゃちよーん なりーにやーん (あいつは出世して社長になった)。かまぬ かいしゃー ぬびやがりどう がばーん なりーにやーん (あそこの会社は成長して大きくなった)。② 【動詞】[r/rr 語幹] はかどる。【例】すかまー

ぬびやがらん (仕事は捗らない)。[類] ぬーがい。

ぬぶい [nubui] 【名詞】[C] 首筋、喉、首。【例】ながぬぶいびどう (首の長い人)。ひんじゃぬ ぬぶい (ヤギの首)。[類] ぬどう。

ぬぶす [nubusi] 【動詞】[s/h 語幹][A] (頭が) のぼせる。【例】かなまいや ぬぶひーどうー (頭はのぼせている)。

ぬるー [nuru:] 【動詞】[w 語幹][A] 呪う。【例】いっだまーひー ぬるー (生き霊で呪う)。ひとうーぎゃー ぬるーん (人を呪わない [呪ってはいけない])。

ぬるい [nurui] 【名詞】[A] 呪い、呪うこと。【例】ひとうーぎゃー ぬるいゆぎゃー ほうん (人を呪わない [呪ってはいけない])。[変異] ぬるー。

ぬん [nun] 【名詞】[C] 蚤 (ノミ)。【例】つんから ぬんぬ とうい (着物からノミを取る)。

ぬん [nun] 【名詞】[B] 〔道具〕ノミ、大工道具。【例】ぬんひー あなう あきー (ノミで穴を開ける)。

ぬん [nun] 【動詞】[m 語幹][C] 飲む ; (要求を) 飲む。【例】さきゅーぬん (酒を飲む)。みっじゅ ぬん (水を飲む)。じょー さきゅー ぬまでい (さあ 酒を飲もう)。しゃちよーや しんかぬ あっじゅーくとう ぬんたい (社長は社員のいうことを飲んだ)。

ぬんくん [nun̥kun] 【動詞】 [m 語幹]

飲み込む。【例】ぬどうん っぞうぬ

ほうにぬ かかいていがー んーぬ

ふつぬ ひていつ かまだ ぬんく
み（食道に魚の骨が引っかかったら芋
を口いっぱい嚙まないで飲み込め）。

ね

ね [ne] 【助詞】『終助詞』基本形について突き放した態度、反語的な態度を示

す [「ん」をともなうことも多い]、～かよ。【例】ばーっしゅーんね（俺が知ってるかよ）。

は

ば [ba] 【接尾辞】動詞基本形、形容詞に付いて理由節を作る、焦点助詞「どう」が付くことが多い、文末に来て理由を述べる場合もある、「から」「ので」「からね」「なんだよ」；動詞基本形に付いて条件節を作る質問を説明を加える「；動詞未然形について仮定条件を表す。

【例】とういぬ むっじゅ ほうしゃー
とうくまんかい っちゅーば うる
ー うっち（鳥が麦を干してある所に
来ているからそれを追い返せ）。ばー
ぬどうー かーきーどうーば みっじ
ゅ ぬまひーふいーる（私は喉が渴い
ているので水を飲ませてくれ）。あみや
ー つふあんば あまぐい ほうだか
ー ならん（雨が降らないので雨乞い
しないとまらない）。あつかいば あう
ずひー あうず（暑いので扇で扇ぐ）。
でいんな あたらかかいば まさぐん
つかい（お金は大切なものだから正
しく使いなさい）。

ば [ba] ① 【助詞】『終助詞』動詞命令形に付いて、「～たらどうだ」と命令口調を弱めたり、勧誘的な口調を加える。
【例】みーるば（見なさいよ）。くーば

（来なさいよ）。② 【助詞】『終助詞』動詞基本形について疑問詞疑問を表す。説明を求める場合に多く用いられる。【例】
うらー なうやいば（これはなんなの）。
つづあ んなま んじゃんどう うる
ーば（お前今どこにいるの）。

はー [ha:] 【名詞】[B] 歯。【例】ふと
うていばー（虫歯）。まいばー（前歯）。
つーばー（犬歯）。はーぬ いちゃかい
ば んびゃーいん（歯が痛いので我慢
できない）。うすばー（臼歯）。はーゆ
ぎーつぎーつ ならず（歯をぎりぎり
ならず [>歯ぎしりをする]）。

はー [ha:] 【名詞】[B] 刃。【例】か
たなぬ はー（包丁の刃）。つぎらぬ
はーや つーむぬ（鎌の刃はよく切れ
る）。

はー [ha:] 【名詞】[B] 葉。【例】きー
ぬ はー（木の葉）。んーぎーぬ はー
や んまい（芋の葉っぱはおいしい）。

はー [ha:] 【形容詞】[B] 速い、早い。
【例】はーさにゃーや ばがどう かい
んつきゃー はーかい（競争は私が彼
より速い）。かいが すかまー ていび

んかいどう はーかい (彼の仕事は仕事は一向に前に進まない [＜後ろの方に早い])。[類] ひゃー。

はー [ha:] 【接頭辞】 [B] 大きい、年長であることを表す。【例】 はーな (大きい穴)。はーぶ (大きな洞窟 [＜はー＋あーぶ])。はーに (長女、年齢が上の親しい女性、お姉さん)。

はー [ha:] 【名詞】 [C] おばあさん。
[変異] ぱー。

はー [ha:] 【副詞】 すでに、早々と。
[変異] ひゃーん。

はー [ha:] 【感動詞】 《応答詞》 目上の人に対しての承諾のことば、「はは」「さようでございます」。【例】 んまーさんか いや いつまい はーてい うがまだかー ならん (両親にはいつも「さようでございます」と頭を下げないといけない)。

ばー [ba:] 【代名詞】 [C] 一人称単数代名詞主題形 私、ぼく [複数形は「ばんちゃー」(「私たちは(聞き手を含まない)')。【例】 ばー あちゃ うつなーんかい (私は明日沖縄に(行く))。ばー くまぬ すまんどう んまりたい (私はこの島で生まれた)。[類] ばん、ばが、ばぬー、ばぬんかい。

ばー [ba:] 【名詞】 [C] わけ、状況。
【例】 あいぬ ばー (そんなわけだ)。また あいぬ ばー (そうなんですか)。なうていぬ ばーが (どういうわけだ)。

ばー いかでいばー (俺はいくのだ)。あていがー つうあー いかじゃーんていぬ ばー (じゃ、お前は行かないのか)。つうあー でいんぬぎゃー かしや ふいーじゃーんていぬ ばー (あんたは金を貸してはくれないということなのか)。

ぱー [pa:] 【名詞】 [C] おばあさん。
[変異] はー。

はーうつ [ha:utsi] 【名詞】 早口。【例】 はーうつ びとう (早口の人)。[類] はーらうつ。

はーえー [ha:e:] 【感動詞】 あー そうだ。

はーか [ha:ka] ① 【形容詞】 [A] 真っ赤、真っ赤な。【例】 はーか ていだ (真っ赤な太陽)。はーか あか (潮で焼けた髪)。② 【名詞】 [C 特殊] 赤毛の人。

はーかがた [ha:kagata] 【名詞】 《昆》 タイワンツチイナゴ。

はーからういうさ [ha:karaiiusa] 【名詞】 《植》 セイロンベンケイソウ、マザーリーフ。【例】 はーからういうさー はーからどう みーや いでいー (セイロンベンケイソウは葉っぱから新芽が出る)。

ばーき [ba:ki] 【名詞】 [C] (竹でできた) ざる。【例】 ていび ほうぎ ばーきんな みっじゃ たまらん ((お尻に穴が開いている) 竹籠には水は溜ま

らない [＜お金が貯められない人の形容]。]

はーさ [ha:sa] 【名詞】 [C] 速さ、早さ。

【例】 ひかいぬ はーさー はからい どうすちや (光の速さは測れるんだって)。ばぬんな かいが すかまぬ はーさんな kachayain (私には彼の仕事の早さには勝てない)。[変異] ひゃーさ。

はーさ [ha:sa] 【形容詞】 [A] 多い。

【例】 っうあが っじだまどう はーさかい (お前の取り前がより多い)。せんきよぬ とうきやんな うなが かつたぬ はーさからだかー kachayain (選挙のときには自分自身の味方が多くないと勝てない)。

はーさにやー [ha:sanja:] 【名詞】 競争、かけっこ。 [変異] ひゃーさにやー。 [類] きゃーさにやー。

はーす [ha:si] 【動詞】 [s/h 語幹] [C]

這わせる、ハイハイさせる。【例】 やらびゅー はーす (赤ちゃんをハイハイさせる)。やらびゅー はーすにやー あすみる (赤ちゃんにハイハイ競争をさせる [＜あかちゃんを])。]

はーだ [ha:da] 【形容詞】 [A] (眠りなどが) 中途半端な、(やり方、仕事が) 雑だ。【例】 はーだ ゆん (不正確な数え方)。はーだ ふあう (雑な食べ方)。はーだ にゅー (中途半端な眠り)。はーだ あす (雑なやり方)。かいが す

かまー はーだかいば ならん (彼の仕事は雑だ)。はーだ びとう (仕事が雑な人)。

ばーっていー [ba:tti:] 【オノマトペ】

ザッと、ひととおり。【例】 かまう ばーっていー みーみーみーる (向こうをざっーと見てみてごらん)。

ぱーとう うや [pa:tu uja] 【成句】

祖父母。【例】 ばんていが ぱーとう うやー んなーぎやー がんじゅー (私達の祖父母はまだ元気だ)。

はーどうい [ha:dui] 【動詞】 [r/rr 語幹]

這う。【例】 やらびやー はーどうりー どうー (子供はハイハイしている)。[類] はい。

はーな [ha:na] 【名詞】 [C 特殊] 大きい穴、洞窟。【例】 はーなんかい はいー (洞窟に入る)。

はーに [ha:ni] 【名詞】 [C] 長女。

はーばす [ha:basi] 【名詞】 歯と歯の間。【例】 みんきやー はーばすんかい っふあまらひー ずみやー にやーん (するめを歯の間にはさまらせていらいらする)。

はーひー [ha:hi:] 【副詞】 (朝) はやく

に、とうに、さっき、早い時分。【例】 ひとつむてい はーひー (早朝)。ばー はーひーから っていーどう (私は早い時分から来ている)。[変異] ひゃーひー。[類] しゃーか。

はーひー [ha:hi:] 【名詞】早朝、速く、以前。 [変異] ひゃーひー。

はーぶ [ha:bu] 【名詞】 [C 特殊] 大きな洞窟。 [類] あーぶ。

ばーふー [ba:fu:] 【動詞】 [f/ff 語幹] 冗談を言ってからかう、悪口を言っていじめる、ばかにする、相手にしない。
【例】 ばー っぐあが なうてい あっじゃばんまい ばー っぐあうぎゃー ばーっふいーどうーだら (私はお前が何といっても私はおまえなんか相手にしない)。あいや ひとつーぎゃー ばーっふあん (そんなに人をからかってはいけない)。うぬ みどうんがまう ばーっふい なかし (あの女の子をからかって泣かそう)。 [類] ばーっふい。

はーみつ [ha:mitsi] 【動詞】 [k 語幹] 息はハーハーしている。 【例】 ばーあてい うだいやひどう ひとまたあいつきゃー いっちゃ はーみきーどうー (私はとても太っているので一歩歩くと息が切れる)。 [変異] はーみふ。 [類] っふあみつ。

はーみふ [ha:mifu] 【動詞】 [k 語幹] 息はハーハーしている。 [変異] はーみつ。 [類] っふあみつ。

はーもー [ha:mo:] 【名詞】 歯のない人。 【例】 はーもー ういびとう (歯のない年寄り)。

はーらー [ha:ra:] 【助詞】 (節を取って伝聞や伝聞に基づく推論を表す) ~ そうだ、 (~言った) らしい [引用の「ていー」を付けてもよい]。 【例】 しーしーがどう うぬ くとうーぎゃー っさすなていー はーらーい (そんなことを知らせるなど言ったらしい)。 しーしーが うるー むちいきてい はーらー (先生がそれを持って行けと言ったそうだ)。 あい はーらー (そう言ったらしい)。 いつたい はーらー (行ったらしい)。 なつたい はーらー (泣いたらしい)。

はーらうつ [ha:rautsi] 【名詞】 早口。
【例】 はーらうつびとう (早口の人)。 はーらうつひー むぬい (早口でしゃべる)。 [類] はーうつ。

はーり [ha:ri] 【名詞】 [C] 爬龍船 (はりゅうせん) 競争、船漕ぎ競争の祭事、ハーリー [旧暦の5月4日に行われる船漕ぎ競争]。 【例】 はーりん ふにゅー くず (ハーリーに船を漕ぐ)。

はーりくず [ha:rikuzi] 【名詞】 爬龍船 (はりゅうせん) 競争、船漕ぎ競争の祭事、ハーリー [旧暦の5月5日に行われる船漕ぎ競争 <はー (早) + くず (漕ぎ)]。 [類] はーり。

はい [hai] 【動詞】 [母音語幹] [C] 這 (は) う。 【例】 やらびゃー はいどうー (赤ちゃんは這っている)。 [類] はーどうい、はう。

はい [hai] 【動詞】[母音語幹] [C] 映える、美しい。【例】かぬ しよじよぬ かーぎゃー はいどうーい (あの若い女性の顔は美しい)。うぬ みどうんな しゃしんな ばりどう はいゆー (その女性はとても写真写りがよくてきれいだ)。[変異] ばい。

はい [hai] 【接尾辞】(写真などで)映えること、美しいこと。【例】しゃしんばいひとう (写真写りが良い人)。

はい [hai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] 行く、帰る、(連用形について)～てしまう。【例】つぐあー かまんかい はり (お前は向こうに行け)。かりゃー やーんかい はりーにゃーん (彼は家に帰った(行った))。かぬきゃー ばんちゅーぎゃー すていーはりーにゃーん (彼らは私達をおいてきぼりにしていった)。かまんかい はりーにゃーん (向こうに行った)。うつなーんかい はりーにゃーん (沖縄に行った)。かりゃー いんかい はりーにゃーん (彼は海に行った)。んなない ゆーいぬ うさいや っていつ むっちやひー はりーにゃーん (全員お祝いの料理をそれぞれ持ち帰った)。やーんかい はらでい (家に帰る)。じよ、やーんかい はら (さあ、家に帰ろう)。すにー はりーにゃーん (死んでしまった)。

はい [hai] 【動詞】[A] 貼る。【例】ぬいひー かびーゆ はい (糊で紙を貼る)。

はい [hai] 【動詞】[母音語幹] [C] (家が)栄える。【例】かまぬ きないや むいとう はいーどう (向こうの家はとても栄えている)。

はい [hai] 【名詞】[B] ハエ。【例】はいまい やーでい (蠅も家族)。

はい [hai] 【名詞】[C] 畑。【例】はいぬ あっじやう あいつ (畑の端を歩く)。いすぐー ばい (石ころだらけの畑)。きゅーや あみゃー つふいぬ あとう やいば はいや すとうりー どうーい (今日は雨降った後だから畑は湿っぽい)。はいゆ あきー (開墾する)。[類] はる、だーず、だやず。

はい [hai] 【名詞】[C] 針。【例】はいぬ ふつ (針先)。はいぬ みーゆ たみー ((糸を通すため)針の目をねらう)。はいぬ みーゆ っちゃんつ (針の目を通す)。ういが つむー はいぬ ふつぬ ほういまい にゃーん (あいつの心は針先の大きさもない)。

はい [hai] 【名詞】[B] 南。【例】つぐあが とうみゆーむぬー はいなぎんどう あい (お前が探しているものは南にある)。

はい [hai] 【感動詞】『応答詞』そう、そうだ。【例】はい、あいだら (そう、そのとおりだね)。

ばい [bai] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] 似ている。【例】つぎ つふあぬ かーぎ

やー ばりー どうーい (父子の顔かたちはよく似ている)。

ばい [bai] 【形容詞】 [B] 悪い。【例】ばがどう ばいかたい (私が悪かった)。むぬいぼどう ばいかい (何かものと言うと悪いことがある [>物言えば唇寒し])。

はいー [hai:] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 入る。【例】はいふつから はいり (入口から入れ)。うまから はいらいん (ここから入れない)。

はいーふつ [hai:futsi] 【名詞】 入口。【変異】はいふつ。②【動詞】 [r/rr 語幹] [A] 映える、美しい。【類】はい。

ばい [bai] ①【動詞】 [母音語幹] [C] 映える、美しい。

ばい [bai] ①【動詞】 [r/rr 語幹] [A] (瓦、石などを) 割る。【例】かーらう ばい (瓦を割る)。やーゆ ばい (家を壊す)。まかいゆ ばい (お椀を割る)。③【動詞】 [母音語幹] [A] 割る。【例】さきゅー みずひー ばいー くー (酒を水で割って来い)。②【名詞】 [A] 割れたもの、破片。【例】かーらぬ ばい (瓦の破片)。

はいがさ [haigasa] 【名詞】 主に子供がかかっていた脱毛病、禿頭病。【例】んきゃーんぬ やらびんみゃー すぶたいかたいぼどう うんそうく はいがさまい いじゅーたい (昔の子供は

不潔だったからたくさん脱毛症状がでていた)。

はいかでい [haikadi] 【名詞】 南風。【例】はいかでいがまぬどう ふきどう すだすないがま ひーゆー (今日は南風が吹いて涼しい [<ちょっとすずしくなっている])。はいかでいぬ はやらしばよー (南風が生い茂らすからよ)。

はいから [haikara] 【名詞】 ハイカラな人。

ばいくみ [baikumi] 【動詞】 [母音語幹] 大声で叱る、説得する、どなりこむ。【例】ぬそうどうー はいぬ ぬすん ばいくみらいにゃーん (泥棒は畑の主に言い込められた)。【類】ばいくん。

ばいくん [baikun] 【動詞】 [m 語幹] 大声で叱る、説得する、どなりこむ。【例】ひとうーぎゃー ばいくまん (人を怒鳴らない [>怒鳴ってはいけない])。やらびぬ くとうーひー がっこうんかい ばいくん (子供のことで学校に抗議する)。【類】ばいくみ。

ばいさ [baisa] 【名詞】 [C] 悪事。【例】ばいさう あすていがー つふあんまがたーひーまい とうがまいどうす (悪事を働いたら子孫代々まで非難される)。

はいすーばだ [haisi:bada] 【名詞】 排水溝。【例】あみゃー つふいどう はいすーばだんな みずぬ たまり

ゆーたい（雨が降って排水溝は水がたまっていた）。

はいつー [haisi:] 【名詞】 臄、靱帯、血管。【例】ぬーまぬ はいつーや ひつにかいば かまいん（馬の筋はかたくて噛み切れない）。つづあが ていーぬ はいつーや みーらいんば あかっちゃ とうらいん（あなたの手の血管は見えないので血が取れない）。

はいつー [haisi:] 【形容詞】 ねばりづよい、筋力が強い。【例】やぐみ はいつー すまとうら（とても土俵際で粘りづよい相撲取り）。[類] はいつーじゅー。

はいつつ [haisitsi] 【名詞】 刺青。【例】ばんていが ぱーが ていーんな はいつつぬ あたい（私の祖母の手には入れ墨があった）。はいつつ あす（入れ墨を入れる）。[類] はずつ。

はいでいー [haidi:] 【動詞】 [母音語幹]（家が）栄える。【例】かまぬ やーや はいでいーどうー（あそこの家は栄えている）。はいでいー やー（栄えている家）。

ばいでいん [baidin] 【名詞】 村の各家族への割り当て金。【例】すまぬ ばいでいんぬ うぐないる（村の割り当て金を集めなさい）。

ばいど [baido] 【名詞】 [C] サトウキビの根元に土を盛ること、培土。【例】

ぶーずぬ ばいどう（サトウキビの根元に盛った土）。

はいどー [haido:] 【感動詞】 相手の言うことに同意するときに使う、「そうだ」。【例】A:（ものを渡しながら）つづあが むぬ ういな。B: はいどー、ういどう あたい（A: あなたのはこれですか。そうです。B: そうです [＜それでした]）。

ばいどく [baidoku] 【名詞】 梅毒。

はいばら [haibara] 【名詞】 南の辺り。

ばいふ [baifu] 【副詞】 悪く（言う、思う、なる）。【例】ひとうーぎゃー ばいふ あっじゃん（人のことは悪くは言わない）。ばいふ うむーだうり（悪く思うな）。かいが やなやんな ばいふ なりーどうー（彼の病気は悪くなっている）。

はいふつ [haifutsi] 【名詞】 入口。【例】ひとうぬどう やーぬ はいふつんかい っちゅーい（人が家の入り口に来ている）。はいふつから はいり（入口から入れ）。[変異] はいーふつ。

はいまい とうばん [haimai tuban] 【成句】 蠅も飛ばない [＞人の出入りが無い状態]。【例】せんきょん まきーみーていがー かまぬ やーんな はいまい とうばん（選挙に負けるとあそこの家にはハエも飛ばない [＞誰も寄ってこない]）。

はいまがん [haimagan] 【名詞】『生物』スナガニ科メナガオサガニ [砂浜にいる白っぽく足の速い蟹 (かに)]。

ばいみつ [baimitsi] 【動詞】[k 語幹] 色々と不平不満を言う。【例】いっじゃ いでいー ばいみき (いくらでも不平不満を言え)。^①[変異] ばいみふ。

ばいみふ [baimifu] 【動詞】[k 語幹] 色々と不平不満を言う。[変異] ばいみつ。

はいゆはい [haijuhai] 【感動詞】(自分に気が付いてない相手に呼びかけるときに使う) あのちょっと、おい君。【例】はいゆはい、マサイ、つづあ ん じゃんかいが (おい、マサイ、お前はどこに行くんだ [くどこにか])。はいゆはい まいざとうぬ うやっぎよ (あのちょっと前里の親父さんよ)。

ばいんき [bainki] ^①【動詞】[母音語幹] 喋る；文句を言う、怒鳴りこむ、事を荒立てる。[類] ばいんふ、ばいんつ。^②【動詞】[母音語幹] 詰め込む、押しこむように食べる。[類] ばいんふ、ばいんつ。

ばいんつ [baintsi] ^①【動詞】[k 語幹] 文句を言う、喋る、怒鳴りこむ、事を荒立てる。[変異] ばいんふ。^②【動詞】[k 語幹] 詰め込む、押しこむように食べる。[変異] ばいんふ。

ばいんふ [bainfu] ^①【動詞】[k 語幹] 文句を言う、喋る、怒鳴りこむ、事を荒

立てる。【例】おい ゆががなまい まーぬ ばいんふな (おい、馬鹿野郎、がたがたさわぐな)。ばー ぶーっじゃ ぬすみー ふあーっでいー ひー むいとう ばいんかいーにやーっだん (私はサトウキビを盗んでたべようとしてひどく叱られた)。まーぬ ばいんか だうり (あまり事を荒立てるな)。^①[変異] ばいんつ。^②【動詞】[k 語幹] 詰め込む、押しこむように食べる。【例】か ばんかい つんぬ ばいんきー いる (カバンに衣類を詰め込め)。やーら ぶ ないがまた やいば まーぬ ばいんか だうり (やわらかくなるのであまり押し込むな)。むぬー ばいんきー ふあう (飯を押し込むように食べる)。^①[変異] ばいんつ。

ほう [hau] 【動詞】[w 語幹] [C] 這う。【例】やらびやー んめ はいーどーう (子供はもうハイハイすることができる)。ほうぬどう はいーゆー (ヘビが這っている)。^①[類] はい。

ほう [hau] 【名詞】[B] ヘビ。【例】はうぬ すでいがら (ヘビの脱け殻)。^①[変異] ぱう。

ぱう [bau] 【名詞】[C] 棒。【例】な そうーぎーぬ すたぬ ぱう まーしやがま (茄の木の下で棒を回す人 [> 小さい人の比喩的表現])。

ぱう [pau] 【名詞】[B] ヘビ。[変異] ほう。

はうい [hau] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A]
 (水、種などを)まく。【例】つふあい
 ゆ はうり (肥料をまけ)。みなかんか
 い みっじゅ はうり (庭に水をまけ)。
 はいん むっじゅ はうい (畑に麦を
 まく)。**[類]** はうり。

はうか [hauka] ①【名詞】 [C] 有能な
 人、やり手。【例】うまぬ すかまん
 かいや はうかう いらび (そのの仕
 事にはやり手を選べ)。②【形容詞】 [C]
 有能な; 有能だ。【例】ばが にんじゅ
 から かにがどう んながーな はう
 かかい (私の部下のうちでカニが一番
 有能だ)。

ばうず [bauzi] 【名詞】 [C] 坊主。【例】
 てらぬ ばうず (寺の坊主)。

ばうちら [bautçira] 【名詞】 腕白坊主、
 暴力的な人。【例】ぎっじゃ ひらい
 ん ばうちら やらび (手に負えない
 腕白坊主)。くぬ ぎずぎやうな ばう
 ちらー ひとつぬ むぬいゆぎやー
 なうちゆんま つかん (このわんぱく
 坊主、人の話をぜんぜん聞かない)。

はうつ [hautsi] 【動詞】 [k 語幹] [C]
 掃く。【例】うまぬ ぷきゅー はう
 つひー はうき (ここの細かいゴミを
 箒で掃け)。**[変異]** はうふ。

はうつ [hautsi] 【名詞】 [C] ほうき。
 【例】うまぬ ぷきゅー はうつひー
 はうき (ここの細かいゴミを箒で掃
 け)。

ばうばう [baubau] 【オノマトペ】 ワ
 ンワン、犬の鳴き声を示す擬声語。【例】
 いんぬ ばうばうていー ぶいーゆー
 (犬がワンワンと吠えている)。

はうふ [haufu] 【動詞】 [k 語幹] [C]
 掃く。【変異】 はうつ。

はうり [hauri] 【動詞】 [母音語幹] [A]
 (水、種などを)まく。【類】 はうい。

はか [haka] 【名詞】 [B] 墓。【例】は
 かぬ まいゆ あいつていがー ひぎ
 やうむぬ (墓の前を通ったら鳥肌が立
 つ)。**[類]** むとう。

ばか [baka] 【形容詞】 [A] (人が)若い;
 (植物、果物が)育ってない、熟してな
 い。【例】ばかむぬ (若者)。ばー ん
 め ばかつふあにやーん (私はもう若
 くない)。ばかあかほうにやー すぐ
 ふあーいどうす (若いニンジンはその
 まま食べられる)。くまんな んめ ば
 かかい まんじゅーゆ おかつじゃ
 ひー ふあう (ここではまだ熟してい
 ないパイヤをおかずにして食べる)。

ばが [baga] 【代名詞】 一人称単数代名
 詞所有格形、「私の」、「ぼくの」 [複
 数形は「ばんていが」(「私たちの(聞き
 手を含まない)」。【例】うらー ばが
 とうず (これは私の妻だ)。**[類]** ば
 ん、ばぬー、ばー、ばぬんかい。

ばが [baga] 【代名詞】 一人称単数代名
 詞主格形、「私が」、「ぼくが」 [複数
 形は「ばんていが」(「私たちが、私たち

の(聞き手を含まない)」。【例】ばが
ほうだかー たるがどう あすがま
た(私がやらないならだれがやるんだ)。
[類] ばん、ばぬー、ばー、ばぬんかい。

ばが そうみやー [baga sumja:]
【名詞】私の愛おしい人。

ばかーい [bakai:] ①【動詞】別れる。
【例】うぬきやが ふたーいや ばかー
りーにやーん(その二人は別れた)。と
うずとう ばかーい(妻と離婚する)。
うぬきやうぎやー ばかーらし(彼ら
を別れさせろ)。
[変異] ばきやーい。②
【名詞】別れ。【例】かんすうとうばかー
い((人が)神となって人々と別れるこ
と[>死ぬこと])。とうずぶとうばかー
い(夫婦別れ、離婚)。ばが ぶとう
あたいひとう ばぬー あていくとう
しつきゆーたいばどう とうずぶと
う ばかーい あすたい(私の夫だっ
た人は私をととても虐待したので、離
婚した)。
[変異] ばきやーい。

ばかーい [bakai:] ①【接尾辞】くらい。
【例】うるー みーつばかーい ふいー
る(それを三つぐらいくれ)。ひこーき
ひー とーきよーたーひーや さんじ
かんばかーい かかいどうす(飛行機
で東京まで三時間ぐらいかかる)。ぶー
っじゃ ふたひるばかーい あり(サ
トウキビは2尋[=約3.6メートル]ぐ
らいある)。くまぬ はいや にたんば
かーい あり(ここの畑は2反ぐらい
ある)。いさきばかーい(どれ位)。い

だきばかーい(どれくらいの高さ(深
さ)位)。いじゃーばかーい(どれ位の
長さ(距離))。いかっさばかーい(値
段はどれ位)。いほうぎばかーい(どれ
位の大きさ)。いなぎばかーい(どれ位
の長さ)。んじゃばかーい(どこら辺)。
[類] だちやー。②【助詞】節を取って概
数を表す、～するくらい。【例】ゆーいん
な んまむぬー ふあーいんばかーい
あたい(お祝いにはごちそうが食べ
られないくらいあった)。すぐすからま
い なたぬ いでいばかーい ほうか
らすむぬ(膝から涙が出るほどうれ
しい[<とてもうれしいときの形容])。

はかい [hakai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C]
測る。【例】まみゆー つがひー は
かい(豆を枡ではかる)。

はかい [hakai] 【名詞】[C] 秤。【例】
じてんしゃー はかいむぬ(自転車は
バランスもの)。さたう はかいひー
かきー かう(黒糖を秤で計量して買
う)。

ばかい [bakai] 【動詞】[母音語幹] [C]
(人のものを)奪う、(取られたものを)
取り返す。[類] ばかう。

はかいむぬ [hakaimunu] 【名詞】自
転車、オートバイ等(バランスを取る
乗り物)。【例】はかいむぬん ぬー
い とうきやんな まさぐん ぬーり
(自転車などに乗るときは気を付けて乗
れ)。

ばかう [bakau] 【動詞】 [w 語幹] [C]

(人のものを) 奪う、(取られたものを) 取り返す。【例】ひとうぬ むぬーぎゃー ばかーん (人の物は奪わない)。ばかいにゃー (奪い合い)。ばかーいやー むぬー とういかいす (奪われたものを取り返す)。とうらいたい むぬー ばかい (取られたものを奪い返せ)。[類] ばかい。

はかうつ [hakautsi] 【名詞】 (仕事の)

やり方、順番、段取り。【例】すかまうぎゃー はかうっちゃ ちゅっふい あっそう (仕事を段取りを (ちゃんと) してやれ)。かいが すかまぬ はかうっちゃ じゃうっふあにゃーんば、かいが すかまー ぬーがらん (彼の仕事の段取りはよくないので、彼の仕事ははかどらない)。すかまぬ はかうっちゅ あきる (仕事の段取りをうまくやれ)。はかうっちゅ つきー あっそう (段取りをつけて仕事をする)。

ばかさう [bakasau] ① 【名詞】 見かけ

が実際より若く見える人。【例】ばーばかさうゆ ぬずん (私は若く見える人がいいです)。[変異] ばかしやう。② 【形容詞】 見かけが実際より若く見える。【例】どうすんみぬ なかから かがどう んながーんな ばかさうかい (彼が一番若く見える)。[変異] ばかしやう。

ばかしやう [bakaçau] 【名詞】 見かけ

が実際より若く見える人。 [変異]

ばかさう。

ばかしやう [bakaçau] 【形容詞】 見

かけが実際より若く見える。 [変異] ばかさう。

ばかす [bakasi] ① 【形容詞】 [B] 恥ず

かしい。【例】ばー あいぬ かんじがままい っさいだ ばかすかいば ならん (私はこんな漢字も知らなくて恥ずかしくてならない)。② 【形容詞】 [B] 面白おかしい。【例】あてい ばかすかいば ばたぶにぬ ぶいきゃ ばらいーにゃーん (余りにも面白いのでお腹の骨が折れるまで笑った)。かいはなっさ あか ばかすかいば ならん (彼の話は可笑しくてならない)。あいぬ ばかす むぬいゆぎゃー ほうん (そんな可笑しな話はしない [> するな])。

ばかす [bakasi] 【動詞】 [C] 沸かす。

【例】みっじゅ ばかす (水を沸かす)。

ばかす [bakasi] 【名詞】 [B] (普通は

一升用の) 酒を入れる壺。

ばかっづあ [bakavva] 【名詞】 赤ちゃん。

【例】ばかっづあぬ んま (赤ちゃんの母親)。[類] あかっづあ、だつづあ。

ばかてい [bakati] 【擬態語】 『オノマ

トペ』 ぱんと、ばちんと [手などで叩く音]。

ぱかてい [pakati] 【擬態語】 『オノマ

トペ』 ぱんと、ばちんと [手などで叩

く音]。【例】ひとうから ばかてい
うたひー かつんたい とうきやぬ
あたい (一匹バチンと叩き落してつか
まえたときがあった [＞タカをつかま
えたときの話])。]

はかどうい [hakadui] 【動詞】 [r/rr
語幹] 捗 (はかど) る。【例】すかま
ー はかどうりーどうー (仕事は捗っ
ている)。

ばかばい [bakabai] ①【動詞】 [r/rr 語
幹] 植物が青々と再生して繁る、芽吹
く。【例】あみゃー つふいーみーて
いがー んーぎーや ばかばいーどう
ーい (雨が降ったあとで、芋ずるは青
々と芽吹いている)。②【動詞】 [r/rr 語
幹] 吹き出物が広がる。【例】ふがさー
ばかばいーどうー (おできは広がっ
ている)。

ばかばいむぬ [bakabaimunu] 【名
詞】 (食べると) 吹き出物を悪化させる
食べ物。【例】あいつぞうー ばかばい
むぬ (アイゴは食べると吹き出物がわ
くるなる)。ほうがさぬ あいとうきや
んな ばかばいむぬーぎゃー ふあー
ん (おできのあるときは吹き出物を悪
化させる食べ物を食べたらいけない)。

ばかぼう [bakabau] 【名詞】 神様の名
前、命の神様。

はがみ [hagami] 【動詞】 [母音語幹]
[C] ニコニコ笑う。 [類] はがん。

はがみつ [hagamitsi] 【動詞】 [k 語幹]
ニコニコ笑う。 [変異] はがみふ。 [類]
はがみんつ。

はがみふ [hagamifu] 【動詞】 [k 語幹]
ニコニコ笑う。 [変異] はがみつ。 [類]
はがみんつ。

はがみんつ [hagamintsi] 【動詞】 [k
語幹] ニコニコ笑う。 [変異] はがみ
んふ。 [類] はがみつ。

はがみんふ [hagaminfu] 【動詞】 [k
語幹] ニコニコ笑う。 [変異] はがみ
んつ。 [類] はがみつ。

ばかむぬ [bakamunu] 【名詞】 若者。
[類] にしゃい。

はかり [hakari] 【動詞】 [母音語幹] [C]
(量を) 測る。【例】っぞうぬ んぶさ
ー いっかつさ ありがていー はか
りたい (魚の重さはいくらあるのか測
った)。 [類] はかい。

はがん [hagan] 【動詞】 [m 語幹] [C]
ニコニコ笑う。【例】やらびゃー ほ
うからすかいががら はがみーどうー
(子供は嬉しいのかニコニコ笑ってい
る)。 [類] はがみ。

ばかんまり [bakammari] 【名詞】 1
月から3月に生まれた子、早生まれ。
【例】くぬ つふあ ばかんまり やい
ば ひていつが すじゃんみとう が
っこーん いじゅー (この子は早生ま

れなので、一つ年上の子たちと学校に行っている)。

はぎ [hagi] 【動詞】[母音語幹][C] (髪の毛が) はげる、(色が) あせる。【例】ばー んなーぎゃー はぎや うらん (私はまだはげてない)。うぬ しゃしんぬ いるー はぎーどうー (この写真の色はあせている)。

はぎ [hagi] 【名詞】[C] はげ。【例】はぎがなまい (剥げ頭)。

ばき [baki] ①【動詞】[母音語幹][A] 湧き出る。【類】ばつ。②【動詞】[母音語幹][A] 沸騰する、沸く。【類】ばつ。③【動詞】[母音語幹][A] 発酵する。【例】んつがまー みーかばかーい ひー ばきどうす (お神酒は三日ぐらいで発酵する)。【類】ばつ。

ばき [baki] 【動詞】[母音語幹][C] 分ける、分配する。【例】っぞうだまう ばきー (魚の取り分を分ける)。

ばきがみ [bakigami] 【名詞】髪のを分けること、また、髪のを分けた人。【例】からー ばきがみ ひーゆー (彼は髪を分けている)。ばんていが ばーや んきやどうらぬ ばきがみん どうなかう ばかーいたい (うちの祖母は荷川取の分け髪男に卵をとられた〔「荷川取の分け髪男」は100年ほど前の実在の人物〕)。

ばきだま [bakidama] 【名詞】分け前。【例】ばが ばきだまー くさき (私

の分け前はこれだけだ)。くまぬ はいや ばが ばきだま (あそこの畑は私の取り分だ)。【類】たま、っじだま、とういまい。

ばきやーい [bakjai:] 【動詞】別れる。【変異】ばかーい1。

ばきやーい [bakjai:] 【名詞】別れ。【変異】ばかーい1。

はぎやう [hagjau] ①【形容詞】[B] (場所、人、もの、話などが) 鳥肌が立つ様な変な気持ちにさせる、嫌な気持ちにさせる。【例】かまー はぎやう とうくま (あそこは不気味なところだ)。からー はぎやうんまり (あいつは気味がわるいやつだ)。ういびとうから はぎやうはなっそう つふたい (お年寄りから気味悪い話を聞いた)。かいはなっさ はぎやうむぬ あたい (彼の話は気味が悪かった)。②【形容詞】[B] 嫌な気持ちになる。【例】かるー みーていがー はぎやうさぬ (あいつを見ると気持ちが悪くなる)。

はく [haku] 【名詞】[C] 箱。【例】じゅーばくぬ にやーんば くぬ はくん むつーゆ つみる (重箱がないので、この箱にもちをつめる)。

はぐい [hagui] 【動詞】[r/rr 語幹][A] (仕事などの) 機会を失う、(仕事に) あぶれる、(人と) はぐれる。【例】かりやー うむくとうあい かないびとう やいば すかままい なうまい は

ぐらん (彼は頭がいい、まじめな人だからしごとにはあぶれない)。やらびやーんまから はぐりーはりー とうみらいっだんぎーにやーん (子供はお母さんからはぐれてしまって (探しても) みつからなくなった)。[類] はぐり。

ばくらう [bakurau] ①【名詞】馬を売買・周旋する人、馬喰。【例】まうきやーぬ っぎー ばくらうどう あたい (向かいの家の父親は博労だった)。
②【名詞】嘘つき。【例】からー むいとうぬ ばくらう (彼はとっても嘘つきだ)。あいや ひとつんかいや ばくらうゆぎやー ほうん (そんなに人にうそをつくな)。かいが むぬいや いつまい ばくらう (彼の言うことはいつも嘘だ)。

はぐらかす [hagurakasi]【動詞】[s/h 語幹] はぐらかす、ごまかす。【例】あいや ひとつぬ はなっそうぎやー はぐらかはん (そういうふうになんかの話ははぐらかしてはいけない)。[類] はぐらす。

はぐらす [hagurasi]【動詞】[s/h 語幹] はぐらかす、ごまかす。【例】あいや ひとつぬ はなっそうぎやー はぐらはん (そういうふうになんかの話をぐらかしてはいけない)。[類] はぐらかす。

はぐり [haguri]【動詞】[母音語幹][A] (仕事)機会を失う、(仕事に)はぐれる。
[類] はぐい。

ばさ [basa]【名詞】[C] 芭蕉、バナナ。
【例】ばさない (バナナの実)。ばさずん (芭蕉布の着物)。

ばさぎー [basagi:]【名詞】バナナの木。

ばさない [basanai]【名詞】バナナの果実。

はさん [hasan]【動詞】[m 語幹][C] 挟む。【例】うますひー むぬー はさみー ふあう (お箸で食べ物を挟んで食べる)。

はさん [hasan]【名詞】[C] ハサミ。
【例】はさんひー ぬぬー きー (ハサミで布を切る)。

ばし [baçi]【名詞】[C] (家や島などの)間、すき間、(雨戸などの)通り道、棧。
[類] ばす。

ばしや [baça]【名詞】[B] 馬車。【例】ばしゃんかい にーゆ つん (馬車に荷を積む)。ばしゃむちゃ (御者)。

ばじゃう [bazau]【動詞】[vv 語幹][A] くすぐる。[類] ばじゅー。

ばじゃかい [bazakai]【動詞】[r/rr 語幹] (自分の指、肢、四肢を)広げる。
【例】たくぬどう ばじゃかりゆーい (タコが足を広げている)。ばじゃかりーにゆー (大の字になって寝る)。[変異] ばだかい。[類] ばだからす、ばだかす。

ばじゃかす [bazakasi] 【動詞】 [s/h 語幹] (自分の四肢を) 広げる、(他人の四肢を) 広げさせる。 [変異] ばだかす。 [類] ばじゃかい、ばじゃからす、ばだからす、ばだかす。

ばじゃからす [bazakarasi] 【動詞】 [s/h 語幹] (自分の四肢を) 広げる、(他人の四肢を) 広げさせる。 [変異] ばだからす。 [類] ばじゃかい、ばじゃかす、ばだからす、ばだかす。

ばじゃばじゃていー [bazabazati:] 【オノマトペ】 さっさと。
【例】 すかまうぎゃー ばじゃばじゃていー あっそう (仕事をさっさとやれ)。

ばじゅー [bazu:] 【動詞】 [vv 語幹幹] [A] くすぐる。 【例】 からー ばぬー ばじゅーたい (彼は私をくすぐった)。 かいん ばじゅっぐあいー ひぎゃう かいば ならっだん (彼に擦られてくすぐったくてしかたなかった)。 っざー なうちゃーにゃー やらびゅー ばじゅっぐいーにゃーん (お父さんはなんとなく子供をくすぐってしまった)。 [類] ばじゃう。

ばじゅら [pazura] ① 【名詞】 [C] 人を軽蔑して言う言葉、奴。 【例】 んじゃうなばじゅら (どうしようもない奴)。 ほうりばじゅら (バカな奴)。 っそうだすからん ばじゅら (どうしようもない奴)。 みーちゃぎばじゅら (見苦しい奴)。 ② 【名詞】 [C] おしゃべりで落ち

着きがない人。 【例】 からー むぬいや つっちゃん ぱじゅら (彼は話が切れないおしゃべりだ)。 むぬゆん ぱじゅら (おしゃべり)。

はす [hasi] 【名詞】 [C] 箸。 [類] うます。

はず [hazi] 【動詞】 [g 語幹] [C] (皮などを) はぐ、(うろこ) を取る。 【例】 ぬーまぬ かーゆ はず (馬の皮をはぐ)。 っぞうぬ いーっちゅ はず (魚の鱗を取る)。

はず [hazi] 【動詞】 [g 語幹] [C] 剥がす。 【例】 はだらぬ いーきゃー かたかいば はずぐり (やくしまイワシの鱗は硬くて剥がしにくい)。

はず [hazi] 【動詞】 [g 語幹] [C] (船を) つくる。 【例】 ふにゅー はず (造船する)。

はず [hazi] 【名詞】 [C] 足 [接尾辞的に使う場合は「ばず」になることが多い]。 【例】 ながばず (長い足)。 まるばず (短い足)。 ほうっぱず (大きい足)。 たーん °んばず (大きい足、田んぼ作業に向いた足)。 まずむぬんな はっじゃ にゃーんちゃ (幽霊には足がないんだって)。 ひとうぬ はずとういゆぎゃー ほうん (人の足を引っ張ることをしない)。

ばす [basi] 【名詞】 [B] (家や島などの) 間、(雨戸などの) 通り道、棧。 【例】 んきゃーんな やーばっさ しばっふ あ にゃーっだん (昔は家と家の間は

狭くはなかった)。いらうとう いきまぬ ばす (伊良部と池間の間)。やらびやー あみぬ ばすがまうどう とばす (子供は雨と雨の隙間を走る)。やどぅ ばす (雨戸のさん)。[類] ばし。

ばす [basi] 【名詞】 [B] アダンの実の中の芯。

ばすー [basi:] 【動詞】 [s/ss 語幹] [A] 忘れる [基本形の形はあまり使わない]。【例】ばぬんな ぱーぬくとうー ばっさいん (私には祖母のことが忘れられない)。[類] ばっし。

はすか [hasika] 【形容詞】 [B] (こどもが) しっかりした、動きの良い。【例】やぐみ ていーや かからん はすかやらび (全然手のかからないしっかりした子供)。からー やらびあいきやー はすかむぬどう あたい (あいつは子供の時はしっかり者だった)。

はずかないやらび [hazikanai-jarabi] 【名詞】 小さいときに歩けるようになった子供。

はずき [haziki] 【動詞】 [母音語幹] [C] (爆弾などが) 爆発する、(風船、膀胱などが) 破裂する。[変異] ぱずき。[類] はずつ。

はずじゅー [hazizu:] 【形容詞】 健脚。【例】はずじゅーびとう (健脚の人)。からー はずじゅーかいば ぶらたー ひーや あいかいどうす (あの人は健脚なので、保良までは歩いて行ける)。

はずつ [hazitsi] ① 【動詞】 [k 語幹] [C] (爆弾などが) 爆発する、(風船、膀胱などが) 破裂する。【例】だいだまー はずきーにやーん (ダイナマイトは破裂した)。すばいずつんな はずかっでいどう ほうー (膀胱が破裂しそうだ)。[変異] はずふ、ぱずつ、ぱずふ。[類] はずき。② 【動詞】 [k 語幹] [C] (手で何かを) 弾く。【例】っそうひだう はずき (サザエの蓋を弾け [サザエの蓋をおはじきとして使っていた])。[変異] はずつ、ぱずつ、ぱずふ。[類] はずき。

はずつ [hazitsi] 【名詞】 [C] 唇の端、口角。【例】はずつぬ つってい いちゃかいばならん (唇の端が切れて、痛くて仕方がない)。

はずつ [hazitsi] 【名詞】 [C] 刺青。【例】ばが やらびあいきやー みどうん ういびとうんみやー はずつぬどう あたい (私が子供の頃、女性の年寄り達には刺青があった)。[類] はいつつ。

ぱずつ [pazitsi] ① 【動詞】 [k 語幹] [C] (爆弾などが) 爆発する、(風船、膀胱などが) 破裂する。[変異] はずつ。② 【動詞】 [k 語幹] [C] (手で何かを) 弾く。[変異] はずつ。

はずなら [hazinara] 【名詞】 足音。【例】やらびぬ にっづゅーば はずならうぎやー いだはだ すなーかがま あいき (子供が寝ているから足音は立てずに静かに歩け)。ういが ふう

ふっちゃ はずならひー っさいどう
す (彼がかえってくることは足音でわ
かる)。

はずふ [hazifu] ①【動詞】[k 語幹] [C]
(爆弾などが) 爆発する、(風船、膀胱な
どが) 破裂する。[変異] ぱずふ、はず
つ、はずふ。[類] はずき。②【動詞】[k
語幹] [C] (手で何かを) 弾く。[変異]
ぱずつ、はずつ、はずふ。[類] はずき。

ぱずふ [pazifu] ①【動詞】[k 語幹] [C]
(爆弾などが) 爆発する、(風船、膀胱な
どが) 破裂する。[変異] はずつ、は
ずつ、ぱずふ。②【動詞】[k 語幹] [C]
(手で何かを) 弾く。[変異] はずつ、は
ずつ、ぱずふ。

はずふず [hazifuzi] 【名詞】足首。
【例】はずふっじゅどう ないらひーに
やーん (足首をねん挫した)。

はずん [hazin] 【動詞】[m 語幹] [A]
膨らむ、(筋肉が) 盛り上がっている。
【例】くーきゅー いりばんまい たい
やーや はずまん (空気を入れたのに
タイヤが膨まない)。ばかむぬぬ くっ
づあ はずみーどうーい (若者のふく
らはぎは筋肉が盛り上がっている)。ふ
ーせんぬ はずまし (風船を膨らませ
る)。[変異] ぱずん。

はた [hata] 【動詞】[C] 「はい」の過去
形「はたい」の省略形。【例】かりや
ー くるまひー はた (彼は車で帰っ
た)。

はた [hata] 【名詞】[B] 織り機、はた。

はた [hata] 【名詞】[B] (建物、土地、場
所などの) 境界、端、縁、浜; (皿、鍋、
お椀などの) 縁。【例】やすつぬ は
た (屋敷の境界)。はいぬ はたぬ っ
さう とうい (畑の端の草を取る)。い
んぬ はたう あいきーまーい (浜を
歩き回る)。まかいぬ はたー ぱりー
にやーん (お椀の縁が割れた)。

ばた [bata] 【名詞】[B] 腹。【例】ば
たー んていーどうー (満腹している)。
ばた やん (腹痛)。ばたぶ (出っ腹の
人)。ばたぐーむぬ (おなかが苦しい)。
ばた ずみやー にやーん (お腹の調
子が悪い)。

ばだ [bada] 【名詞】[B] 溝。【例】うま
ぬ ばだー ふかかいば ぼたらいん
(その溝は深いから渡れない)。うまぬ
ばだん っふあいや いりー、ぶー
っじゅ いび (その溝にたい肥を入
れてサトウキビを植える)。

ばた ふさい [bata fusai] 【成句】
[r/rr 語幹] 腹が立つ。【例】ばー っ
づあが なうてい あっじゃばんまい
ばたー ふさらん (私は君が何と言
っても腹は立たない)。かるーぎやー
ばたふさらし (彼を怒らせろ)。

ばた ふっでいんまり [bata
fuddimmari] 【成句】人に意地悪する奴。
【例】ばたふっでいんまりとうや う
ぐなーらん (人に意地悪する人とは同
席しない)。

ばたー にゃーん [bata: nja:n]

【成句】度胸がない [＜腹がない、腹が座っていない]。【例】ばたー にゃーんんまり (度胸のない奴)。

ばたー むぎゃっりー [bata: mugjarri:]

【成句】酷く腹を立てる、はらわたが煮えくりかえる。【例】ばーかさますかいば ばたー むぎゃっりーどーい (私はくやしくてはらわたが煮えくりかえっている)。

はだ [hada] ①【名詞】[B] 年頃、(その

ことに適切な) 時期、適齢期。【例】ゆぬはだ (同じ年頃)。はだ なりーどーい (その時期になっている [種まき、結婚、学校に行くなど])。うなが はだんな わいていー かないー とーうず つふあうぎゃー つかなーだかーならん (自分が生きている間にはしっかりと働いて妻子を養わないとならない)。ぶとう むつ はだ (夫を持つ年頃 [女性の結婚適齢期])。とーうず とーうみ はだ (妻を探す年頃 [男性の結婚適齢期])。がっこう いつ はだん なりーどーい (学校に上がる年齢になっている)。つふあ なす はだ (出産可能な年齢)。②【名詞】[B] 直前、間近 [連濁して「ばた」になるのが原則]。【例】ねんきんぬ いでいばたん なりーどーい (もうすぐ年金が出る頃だ)。つふあ なす ばた (出産間近)。

はだ [hada] ①【名詞】[B] (年寄りや若

者が) 年齢相応でないこと。【例】は

だーにゃーんんまり (年齢相応でない奴 [若作りの年寄り、年寄りっぽい若者])。②【形容詞】[B] (子供が) しっかりしている、(子供が) 手がかからない。【例】はだやらび ((幼い子が) 年齢にしてはしっかりしている)。うぬ やらびゃー やぐみ はだむぬ (その子はとてもしっかりしている)。

はだ [hada] ①【名詞】[B] (人の) 肌。

【例】きつぎ はだ (綺麗な肌)。っそう はだびとう (色白の人)。はだーにゃーんんまり (不健康そうな顔色の悪い奴)。ういが はだー ぴたーていどーう ほーうー (彼女の肌は滑らかだ)。②【名詞】[B] 相性。【例】かいとうや はだー あーん (彼とは肌が合わない)。

ばたい [batai] 【動詞】[r/rr 語幹] [A]

(向こう側に) 渡る。【例】ふにひーすまう ばたい (舟で島を渡る)。

はだかす [hadakasi] 【動詞】[s/h 語

幹] (服を) 脱がす、(人が人に指示して服を) 脱がせる。【例】やらびぬ つんぬ はだかす (子供の服を脱がす)。うまん やらびんみん つんぬ はだかし (ここで子供たちに服を脱がせなさい)。[変異] はっだかす。

ばだかす [badakasi] 【動詞】[s/h 語

幹] (手、扇、股などたたんであるものを) 開く、広げる。[変異] ばじゃかす。[類] ばだつ、ばじゃからす。

はだかんま [hadakamma] 【名詞】馬

具を着けていない馬、裸馬。【例】は

だかんまん ぬーいていがー ていー
ぬんぬ やん (馬具を着けていない馬
に乗るとお尻が痛くなる)。

はだき [hadaki] 【動詞】[母音語幹] [C]
(服を) 脱ぐ。 [変異] はっだき。

はたきまい [hatakimai] 【名詞】〔植〕
陸稻。

ばだく [badaku] 【名詞】[C] 溝。【例】
ばだくー ばたり (溝を渡れ)。[類]
ばだ。

ばたずみ [batazimi] 【名詞】お腹の調
子 [「ばたずみゃー にゃーん」形で否
定的に用いられる]。【例】わーぬ あ
っづあー ふあいどう ばたずみゃー
にゃーん (豚の脂肉を食べてお腹の
調子が良くない)。

はだたつ [hadatatsi] 【形容詞】憎ら
しい、イライラする。【例】かいが
むぬいゆ つふていがー はだたつむ
ぬ (彼の話を聞くとイライラする)。

はだつ [hadatsi] 【動詞】[k 語幹] [C]
(服を) 脱ぐ。【例】つんぬ はっだき
(服を脱げ)。[変異] はだふ。[類] はっ
だつ。

ばだつ [badatsi] 【動詞】[k 語幹] [C]
(手、扇、股などたたんであるものを) 開
く、広げる。【例】ていーはっじゃ
ばだきー にっづゆーい (手足を開い
て大の字で寝ている)。[変異] ばだふ。
[類] ばだかす。

ばたっさい [batassai] 【動詞】[r/rr 語
幹] 腹を立てさせる。 [変異] ばたふ
さい。

ばたっさい [batassai] 【形容詞】腹
立たしい。 [変異] ばたふさい。

はだっさり [hadassari] ①【形容詞】
気さくな、人見知りしない；よく成長し
ている、年相応に成長している。【例】
はだっさりびとう (気さくな人)。はだ
っさりやらび (人見知りしない、元
気で手のかからない子)。②【形容詞】(病
気などで) 顔色が悪い、気分がすぐれ
ない。【例】からー やんぬ あとうー
ひどう はだっさり (彼は病気の後で
顔色が悪い)。きゅーや ぱちんこー
まきー むいとう はだっさりむぬ
(今日はパチンコで負けておもしろくな
い)。

ぱたていー [patati:] 【オノマトペ】パ
タツと。【例】ういびとうー んつん
ぱたていー たうりーにゃーん (老
人は道でパタツと転んだ)。[変異] ぱ
たていー。

はだふ [hadafu] 【動詞】[k 語幹] [C]
(服を) 脱ぐ。 [変異] はだつ。

ばだふ [badafu] 【動詞】[k 語幹] [C]
(手、扇、股などたたんであるものを) 開
く、広げる。 [変異] ばだつ。[類] ば
だかす。

ばたふくる [batafukuru] 【名詞】(お
金やたばこなどを入れる) キンチャク

袋。【例】ばたふくるんかい でいんぬ いりー（財布に金を入れる）。

ばたふさい [batafusai] 【動詞】 [r/rr 語幹] 腹を立てさせる。【例】かいん ばたふさらはいにゃーん（彼に腹を立てさせられた [＞彼の言動で腹が立った]）。[変異] ばたっさい。

ばたふさい [batafusai] 【形容詞】 腹立たしい。【例】ばたふさいかいば ならん（腹立たしくてならない）。[変異] ばたっさい。

ばたふっじゃ [batafuzza] 【名詞】 他人の感情を逆撫でする人、人をイライラさせる人。【例】かりゃー むいとうぬ ばたふっじゃ やいば かいが やかたんな びじゃだうり（彼はとても他人の感情を逆なでする人だから彼のとなりに座るな）。

ばたふっず [batafuzzi] 【動詞】 [zz/dd 語幹] 他人の気分を害する、他人をイライラさせる。【例】まーぬ ひとつーぎゃー ばたふっずな（あまり人をイライラさせるな）。[類] ばたふっでい。

ばたふっでい [batafuddi] 【動詞】 [母音語幹] 他人の気分を害する、他人をイライラさせる。【例】からー ばたふっでいんまり やいば うりゅーぎゃー たきゅーぎゃー ほうだうり（あいつは他人の神経を逆なでする奴だから彼を相手にするな）。[類] ばたふっず。

ばたぶに [batabuni] 【名詞】 お腹の骨 [おなかに骨はないが、大笑いするときの比喩に使われる]。【例】あてい ばかすかいば ばたぶにぬ ぶいきゃ ばらいーにゃーん（余りにも面白いのでお腹の骨が折れるまで笑った）。

はだやらび [hadajarabi] 【名詞】 手のかからない子供。

はだら [hadara] 【名詞】 [C] 『魚』 ヤクシマイワシ、トウゴロウイワシ [浜辺に群れを作って泳ぐ鱗のかたい小魚]。【例】はだらぬ いーきゃー かたかいば はずぐり（やくしまイワシの鱗は硬くて剥がしにくい）。

ばたら [batara] 【名詞】 [C] 『生物』 ワタリガニ科イシガニ。【例】ばたらん うゆびゃー かんむらいーにゃーん（バタラに指を噛まれてしまった）。

はたらつ [hataratsi] ① 【動詞】 [k 語幹] 働く。【例】ていーん はらぬ いでいきゃ はたらつ（手にマメができるまで働く）。[変異] はたらふ。② 【名詞】 働き、稼ぎ。

はたらふ [hatarafu] 【動詞】 [k 語幹] 働く。[変異] はたらつ。

ばたらみつ [bataramitsi] 【動詞】 [k 語幹] （足を）バタバタさせる。【例】やらびゃー がんなりー はっじゅ ばたらみきゅーたい（子供は駄々をこねて足をバタバタしていた）。[変異] ばららみふ。

ばたらみふ [bataramifu] 【動詞】 [k 語幹] (足を) バタバタさせる。 [変異] ばたらみつ。

ばたんつ [batantsi] 【動詞】 [k 語幹] 満腹になる。 【例】 ばたんちゅーばんめ ふあーいん (おなかがいっぱいでもう食べられない)。つふあんみぬまいんきや むぬーぎゃー ばたんつきや びびききや ふあうだら (子供たちのところに行くとき食事をお腹いっぱいになるまで、口からあふれるほど食べる)。 [変異] ばたんふ。

ばたんふ [batanfu] 【動詞】 [k 語幹] 満腹になる。 [変異] ばたんつ。

ばちやみ [batçami] ① 【動詞】 [母音語幹] [C] 大事にしまう、隠す。 【例】 ばが ばちやみー あたい さきぬどう ひなりゅー (私が大事にとって置いた酒が減っている)。でいんぬぎゃー まさがんていー ばちやみゅーき (お金をちゃんとしまっておけ)。② 【動詞】 [母音語幹] [C] (食器等を) 片付ける。 【例】 ちゃばんぬ あらいー ばちやみる (湯呑を洗って片付けなさい)。まかいゆぎゃー ばちやみーんなし (お椀を片付けてしまいなさい)。まかいや ばちやみらいどうー (お椀は片付けられている)。 [類] ばちゃん。

ばちゃん [batçan] ① 【動詞】 [m 語幹] [C] 大事にしまう、隠す。 [類] ばちやみ。② 【動詞】 [m 語幹] [C] (食器等を) 片付ける、しまう、隠す。 [類] ば

ちやみ。③ 【名詞】 [C] 片付けること、しまうこと。 【例】 ペんな ふかばちゃんひー どうみらいん (ペンを奥深くしまっつけて見つけれない)。

はつ [hatsi] 【動詞】 [c/t 語幹] [C] (動詞基本形について) 動作が尽きる、終わる。 【例】 なうばい ふあーんまい ふあうはたいん (どんなに食べても食べきれない)。 [類] はてい。

ばつ [batsi] ① 【動詞】 [k 語幹] [A] 湧(わ)く。 【例】 みずぬ いすぬ ばすからどう ばきーゆー (水が石の間からわきでている)。 [変異] ばふ。 [類] ばき。② 【動詞】 [k 語幹] [A] (お湯が) 沸(わ)く。 【例】 なびぬ みっじゃ ばきー どうー (鍋のお湯は沸いている)。 [変異] ばふ。 [類] ばき。③ 【動詞】 [k 語幹] [A] 発酵する。 [変異] ばふ。 [類] ばき。

ばつ [batsi] 【動詞】 [k 語幹] [C] (鋸で木を) 切る。 【例】 ぬくずーひー きーゆー ばつ (鋸で木をきる)。 [変異] ばふ。

ばつ [batsi] 【名詞】 [B] ばち (が当たる)、罰 (を受ける)。 【例】 かりゃー やなばっちゃ あたりー すにーにゃーん (彼は悪い罰を受けて死んでしまった)。きゅーや がっこーん ばっちゃ ひらいたい (今日は学校で罰を受けた)。

ばっし [baççi] 【動詞】 [母音語幹] [A] 忘れる。 【例】 くぬいや むいとう

むぬー ばっしー ならん（最近はよくものを忘れて仕方がない）。ういびとう なりー ひとつぬ はなっそうぎゃー すぐ ていびから ばっしーどーうーい（年取って人の話したことを即座に忘れてしまう）。みどうんぬ ひとつーぎゃー ばっしる（女の事は忘れる）。べんとーゆぎゃー ちゅっふいやーば むちーいつ むぬーぎゃー ばっしーな（弁当を作ってあるので持っていくのを忘れるな）。かぎゅー かばん いらゆーたい ひとつー ばっしーにゃーん（鍵をかばんに入れていたことを忘れていた）。

ばっじゃい [bazzai] 【動詞】[母音語幹]（魚、ヤギ等を）捌（さば）く。【例】つぞうー ばっじゃいる（魚をさばく）。[類] ばっず、ばっじゃう。

ばっじゃう [bazzau] 【動詞】[w 語幹]（魚、ヤギ等を）捌（さば）く。【例】つぞうー ばっじゃう（魚を調理用に鱗を剥いたり、内臓を取り出したり、肉を切ったりする）。わーゆ ばっじゃう（豚を調理用に内臓を出したり、毛を剥いたり、肉を切ったりする）。[類] ばっず、ばっじゃい。

はっじゃき [hazzaki] ①【動詞】[母音語幹]（狙った的を）外す、（金づちなどを釘に）あてるのに失敗する。[変異] ぱっじゃき。[類] はっじゃつ、はっじゃす。②【動詞】[母音語幹]（動詞基本形について）しようとした動作が

できない、しようとした動作に失敗する、～そこなう、～そびれる。

はっじゃす [hazzasi] ①【動詞】[s/h 語幹]（狙った的を）外す、（金づちなどを釘に）あてるのに失敗する。【例】かにふっじゅ うんかっでいーひー はっじゃひー げんの一ひー うなが うゆびゅー っつきーにゃーん（釘を打とうとして打ち損じて金槌で自分の手を打ってしまった）。[変異] ぱっじゃす。[類] はっじゃつ、はっじゃき、はっじゃす。②【動詞】[s/h 語幹]（動詞基本形について）しようとした動作ができない、しようとした動作に失敗する、～そこなう、～そびれる。

ばっじゃす [bazzasi] 【動詞】[s/h 語幹] 捌（さば）く。【例】つぞうー ばっじゃす（魚を捌く）。[類] ばっじゃい、ばっじゃう、ばっず。

はっじゃつ [hazzatsi] ①【動詞】[k 語幹]（狙った的を）外す、（金づちなどを釘に）あてるのに失敗する。【例】まとう はっじゃきー うーつつひー うなが はっじゅ ったきーにゃーん（的を外して大ハンマーで自分の足を叩いてしまった）。[変異] はっじゃふ。[類] はっじゃき。②【動詞】[k 語幹]（動詞基本形について）しようとした動作ができない、しようとした動作に失敗する、～そこなう、～そびれる。【例】いつはっじゃき（行きそびれる）。ふあうはっじゃき（食べそびれる）。すか

まー あすぱっじゃきーにやーん (仕事をやり損ねた; ちゃんとできなかった)。やーや ふつはっじゃきーにやーん (家を作りそこなった [「作る機会がなかった」と「ダメな家を作った」の両方の意味がある])。[変異] はっじゃふ。[類] はっじゃき。

はっじゃふ [hazzafu] ①【動詞】[k 語幹] (狙った的を) 外す、(金づちななどを釘に) あてるのに失敗する。【例】まとう はっじゃきー うーつつひー うなが はっじゅ ったきーにやーん (的を外して大ハンマーで自分の足を叩いてしまった)。[変異] はっじゃつ。[類] はっじゃき。②【動詞】[k 語幹] (動詞基本形について) しようとした動作ができない、しようとした動作に失敗する、～そこなう、～そびれる。[変異] はっじゃつ。[類] はっじゃき。

はっず [hazzi] ①【動詞】[zz/dd 語幹] [C] (服を) 脱ぐ。【例】あいぬ とくまん つんぬぎやー はっじゃん (そんなところで服を脱ぐな)。[類] はだつ、はだだつ、はっでい。②【動詞】[zz/dd 語幹] [C] (仲間から) 外れる。

ばっず [bazzi]【動詞】[zz/dd 語幹] [A] (魚、ヤギ等を) 捌(さば)く。【例】ひんじゃう ばっじ (ヤギをさばけ)。[類] ばっじやい、ばっじやう。

ばっだ [badda]【名詞】[C] 脇。【例】ばっだー ばっだかじゃぬどう あす (脇は腋臭がする)。

ばっだかじゃ [baddakaza]【名詞】腋臭。

はっだかす [haddakasi]【動詞】[s/h 語幹] (服を) 脱がす、(人が人に指示して服を) 脱がせる。[類] はだかす。

はっだかす [haddakasi]【動詞】[s/h 語幹] (服を) 脱がせる。【例】つんぬ はっだかし (服を脱がせる)。[変異] はだかす。

はっだき [haddaki]【動詞】[母音語幹] (服を) 脱ぐ。【例】つづあが っふすーつんぬ はっだきーみーる (お前の汚い服を脱いでみろ)。[変異] はだき。[類] はだだつ、はだす、はだす。

ばっだぎー [baddagi:]【名詞】脇毛。

ばっだだき [baddadaki]【名詞】脇までの高さ、深さ。[類] ばっだだつ。

ばっだだつ [baddadatsi]【名詞】脇までの高さ、深さ。【例】かりやー ばが ばっだだつ (彼は私の脇までしかない)。うまぬ いんな ばが ばっだだつ ((海の) あそこのあたりは脇ぐらいの深さだ)。[類] ばっだだき。

ばっだだに [baddadani]【名詞】脇のリンパ腺。【例】ばっだだにぬどう ふくりゆー (脇のリンパ腺が腫れた)。

はっだつ [haddatsi]【動詞】[k 語幹] (服を) 脱ぐ。【例】ふくー はっだきー うーっじゅ あっそう (服を脱い

で水浴びしなさい)。[変異] はっだふ、はだつ、はだふ。[類] はっだき。

はっだふ [haddafu] 【動詞】 [k 語幹] (服を) 脱ぐ。[変異] はっだつ、はだつ、はだふ。[類] はっだき。

はっでい [haddi] ① 【動詞】 [母音語幹] [C] (服を) 脱ぐ。【例】 おい すぶたら、うぬ すぶたい つんぬぎゃー はっでいる (おい、この不潔野郎、その不潔な服を脱げ)。[類] はだつ、はっだつ、はっず。② 【動詞】 [母音語幹] [C] (仲間から) 外れる。【例】 やなどうすんみから はっでいー はりーにゃーん (悪い友達グループから抜けた)。

はっどー [haddo:] 【成句】 はず (はずだ) + どー (終助詞) の縮約形、～はずだよ。【例】 あいはっどー (そのはずだよ)。なつはっどー (なくはずだよ)。いつはっどー (行くはずだよ)。にゅーはっどー (眠るはずだよ)。なうがらはっどー (何かあるはずだよ)。

ばっぱい [bappai] ① 【動詞】 [母音語幹] 間違える。【例】 えげ、んっちゅばっぱいーにゃーん (しまった、道を間違えた)。かにゅー まさいていーばっぱいーにゃーん (カニをマサイだと見間違えた)。けーさんぬぎゃー ばっぱいな (計算を間違えるな)。② 【名詞】 勘違い、間違い。【例】 つつばっぱい (聞き間違い)。みーばっぱい (見間違い)。きゅーまい けいさんばっぱい

や ひーにゃーん (今日も計算間違いをしてしまった)。

はてい [hati] 【名詞】 [B] はるか遠く、1番はしの所。【例】 かまぬ はてい (ずっと向こうの方)。かまぬ ぶらはていたーひー いきゅーたい (あの遠くにある保良まで行った)。

はてい [hati] 【動詞】 [母音語幹] [A] (動詞基本形について) 動作が尽きる、終わる。【例】 なうばい ふあーんまい ふあうはていらいん (どんなに食べても食べきれない)。あてい かーまやいば いつ はていらいん (とても遠いので行き着くことはできない)。かいが あぱらぎさー あいはていらいん (彼女の美しさは言い尽くせない)。きゅーんな うぬ ほうんな ゆんはていらいん (今日中にはその本は読み切れない)。[類] はつ。

はてい [hati] 【形容詞】 [A] 果敢な、向こう見ずな。【例】 はていみどうん (失敗を恐れない果敢な女性)。

はていびとう [hatibitu] 【名詞】 (失敗を恐れない) 果敢な人、向こう見ずな人。【例】 かりゃー なうゆまい いっづいん はていびとう (彼・彼女は何をも恐れない強い人だ)。[類] はていむぬ。

はていみどうん [hatimidun] 【名詞】 勇敢で、怖さを恐れない女性。【例】 うぬ はていみどうんな あつないや

ひどう うやきん なりーにやーん
(その失敗を恐れない女性は商売をして
裕福になった)。

はていむぬ [hatimunu] 【名詞】怖さ
を知らない人。 [類] はていびとう。

はとう [hatu] 【名詞】 [B] 山鳩。

はな [hana] ① 【名詞】 [B] (家、机、モ
ノの) 上、上の方、(階級などの) 一番
上。 【例】 やーぬ はなんかい かー
らう ぬーす (家の上 [=屋根] に瓦を
のせる)。つくいぬ はなんかい ぬー
いな (机の上に乗るな)。やーぬ はな
んどう つっちゆぬ いじゅー (家の
上に月が出ている)。どうすぬ はな
あぐぬ はな とうゆまし (友達の上
(一番) として同級生の上としてえらく
なりなさい [古謡: [ますむいぬ歌] か
ら)。 ② 【名詞】 [B] 供え物の上または
端のごく一部分。 【例】 かんかい はな
う うさぎ (供え物の上または端のご
く一部を神に供える [供え物を用意し
て、神にお祈りをして、それから供え物
の一部をトゥムたちがとって神に供え
る])。

はな [hana] 【名詞】 [B] 花。 【例】 は
なぬ つぶん (花のつぼみ)。はな一
さきーどうー (花が咲いている)。

はな [hana] 【名詞】 [B] 鼻。 【例】 び
だばな (低い鼻)。たかばな (高い鼻)。
はなぬ あーぎん ほうがさぬ いで
いー いちやかいば ならん (鼻の上

の方におできができて痛くてしかたが
ない)。からー あてい いばいかいば
かいが はな一 ぶらだかー なら
ん (あいつは威張りすぎてるので、あ
いつの鼻をへし折ってやらないといけ
ない)。

ばな [bana] ① 【名詞】 [B] 頃、時期、時
分。 【例】 てだぬ ぬーい ばな (太
陽がのぼる頃)。すかま あすばな (仕
事を始める頃)。たかー ふー ばな
なりーどうー (サシバが飛来する時期
になっている)。んめ っさらんかい
つふばな (もう平良に着く時分だ)。ロ
サンゼルっさ んなまずぶんな んめ
ゆい ふあうばな (ロスアンジェ
ルスはいまごろはもう晩御飯を食べる時
分だ)。 ② 【名詞】 [B] (あることをす
る) 年頃、適齢期。 【例】 ぶとうとうみ
ばな (夫を探す年頃 [> 女性が結婚
する年頃])。とうずとうみ ばな (妻
を探す年頃 [> 男性が結婚する年頃])。
んまがー んめ がっこー いでい
ばな なりーどうー (孫は学校に入学
する年頃になっている)。

ばな [bana] 【名詞】 [B] 紐などを輪の
形にして獲物を捕るためのもの、罟。
 【例】 ばなひー たかう ふんず (紐を
輪にしたワナで鷹を引っ掛ける)。

はない [hanai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C]
(場所から) 離れる、(人から) 別離する。
 【例】 ふにやー んなとうから はな
りーはい (船は浜から離れて行く)。み

どうんな ばんから はなりー はりー
ーにゃーん (妻は私から離れて行って
しまった)。[類] はない (母音語幹)。

はない [hanai] 【動詞】[母音語幹] [C]
離れる。

はなう ならず [hanau narasi] 【成
句】[s/h 語幹] いびきをかく。【例】ぶ
じゃー はなー ならひー につぐゆ
ー (おじさんはいびきをかきながら寝
ている)。

はなう ひつ [hanau hitsi] 【成句】
[k 語幹] 風邪をひく、くしゃみをする。
【例】やらびゃー はなー ひきどう
にっちゃ いだひー につぐゆー (子供
は風邪をひいて熱を出して寝ている)。
はなひつ とうきやんな ひとつんか
い つつじゆぎゃー とうばすな (く
しゃみをするときには唾を飛ばすな)。
なうががら はなひつ びとう (何か
しらよくクシャミする人)。[変異] は
なう ひふ。

はなう ひふ [hanau hifu] 【成句】
[k 語幹] 風邪をひく、くしゃみをする。
[変異] はなう ひつ。

ばなかん [banakan] 【名詞】『形式名
詞』(動詞基本形について)～している
間に。【例】やらびぬ につぐゆー
ばなかん つんぬ あらーでい (子供
が寝ている間に洗濯しよう)。ささぎゆ
ーいぬ ばなかん びきどうんな ほ
うからっさひー なきーたーな うた

い (結婚式の間、新郎はうれしくてず
っと泣いていた)。

はながんふ [hanaganfu] 【名詞】(浜
からみて) 上にある岩。【例】はなが
んふぬ あーぎんな とういがまぬ
うたい (岩の上に小鳥がいた)。

はなぎー [hanagi:] 【名詞】『植』ブッ
ソウゲ、ハイビスカス。

はなす [hanasi] ① 【動詞】[s/h 語幹] [C]
(人や物を人や物から) 離す、離れたと
ころに連れていく、(部品を本体) 外す。
【例】んまー いすがすかいば うぬ
なつっじゃうぎゃー はなひー う
き (お母さんは忙しいのでその泣き虫
を離しておきなさい)。っぎらう ゆる
から はなす (鎌の刃を柄からはずす)。
みがにゆー はなひーみーる (メガネ
を取ってみろ)。ぬーまん ぬーいとう
きやんな たづなうぎゃー はなはん
(馬に乗るときには手綱は離さない)。
② 【動詞】[s/h 語幹] [C] (絡まったものを)
ほどく。【例】いとうー がでいらくん
なりどう なうちゆんま はなはいん
(糸がからまってぜんぜんほどけない)。

はなす [hanasi] 【名詞】[B] 話、相談、
お話し。【例】うたきんな じゃう
はなっそうたーな あっそう (ウタキ
ではいい話だけしなさい)。っづあとう
はなすぬどう あい (お前と話があ
る)。あいぬ はなっそうぎゃー つき
ゃー みーん (そんな話は聞いたこと
がない)。

はなず [hanazi] 【名詞】[A] (船などの) 先頭部分、(動物などの) 鼻先。
【例】ふにぬ はなず (船の船首)。ぬーまぬ はなず (馬の鼻先)。
[変異] はなでい。

はなた [hanata] 【名詞】[A] 崖、絶壁。
【例】いんぬ はなた (崖壁)。やまぬ はなた (山の崖になっているところ)。

はなでい [hanadi] 【名詞】[A] (船などの) 先頭部分、(動物などの) 鼻先。
【例】ふにぬ はなでい (船の先端)。
[変異] はなず。

はなならず [hananarasi] 【名詞】いびき。
【例】かまぬ っざが はなならずさ んじゃたーひーまい つかい どうす (あそこのお父さんのいびきはどこまでも聞こえる)。

はなぬぱー [hananupa:] 【名詞】『祭礼』七柱の上位五人の司 [ウーンマ、アグシャ、ナカバイ、アグシャヌ トウム、ウーンマヌ トウムからなる]。
[類] はなぬんま。

はなぬんま [hananumma] 【名詞】『祭礼』七柱の上位五人の司 [ウーンマ、アグシャ、ナカバイ、アグシャヌ トウム、ウーンマヌ トウムからなる]。
[類] はなぬぱー。

はなひつ [hanahitsi] 【名詞】風邪、くしゃみ。
【例】からー いつまい ゆーどう はなひつ あす (彼はいつもくよくくしゃみをする)。

はなぶー [hanabu:] 【名詞】下駄などの緒の先の部分、鼻緒。
【例】あっちゃぬ はなぶーぬ つってーにやーん (下駄の鼻緒が切れた)。

はなみず [hanamizi] 【名詞】鼻水。

はなむつ [hanamutsi] 【名詞】(海岸の) 切り立っているところ、崖。
【例】いんぬ はなむつ (海岸べりの崖)。

ばなむぬ [banamunu] 【名詞】分担金や分担品 (村の祭事、台風等で各戸に割り当てられる)。
【例】かでいふつぬ あとうんな ばなむぬー いだす (台風の後には割り当てを出す)。
ばなむぬー たるまい いだはだかー ならんむぬ (割り当て金は誰もがみな出さなければならぬもの)。

はなり [hanari] 【名詞】[C] 離れ小島。
【例】さんしんばなり (三線離れ小島)。
[変異] ぱなり。

ぱなり [panari] 【名詞】[C] 離れ小島。
[変異] はなり。

はに [hani] 【名詞】[B] 羽根、翼。
【例】とういぬ はに (鳥の羽根)。
[類] はにがい。

はにがい [hanigai] 【名詞】翼。
[類] はに。

はにぐい [hanigui] 【動詞】[r/rr 語幹] 跳ね返る。
【例】やきゅーぬ ぼーるー はにぐりー ばぬんかい うちやーりーにやーん (野球のボールは跳ね返って、ぼくに当たった)。
んきやー

んぬ っしやー っそー まいきや
ー しーるぬ はにぐりっちゅーたい
(昔のトイレは糞をすると水肥が跳ね返
った)。

ばぬー [banu:] 【代名詞】[C] 一人称
単数代名詞目的格形 私を、ぼくを
[複数形は「ばんちゅー」(「私たちを、僕
たちを(聞き手を含まない)」。【例】
ばぬー みーる(私を見てください)。
ばぬーぎやー まさいていどう あい
(私はマサイと言います[自分の名前を
言う時の言い方])。[類] ばん、ぼが、
ばぬんかい。

ばぬんかい [banunkai] 【代名詞】一
人称単数代名詞与格 私に、ぼくに
[複数形は「ばんていんかい」(「私たち
に」聞き手を含まない)」。【例】ばぬ
んかいまい っさひー ふいーる(私
にも知らせてください)。[類] ばん、ぼ
が、ばぬー、ばぬんかい。

はばす [habasi] 【名詞】[C] 歯茎、歯
間。【例】はばすぬどう ふくりゅー
(歯茎が腫れている)。

はばつ [habatsi] 【動詞】[k 語幹] [C]
(職などを)探す、(必要なものを)調達
する、工面する。【例】すかまう はば
きーくーでい(仕事を探してくる)。か
らー むぬ はばつ じゅー(彼は物
資を調達するのが上手い)。[変異] は
ばふ。

はばふ [habafu] 【動詞】[k 語幹] [C]

(職などを)探す、(必要なものを)調達
する、工面する。[変異] はばつ。

ばばん [baban] ①【形容詞】[B] ととも
気前の良い；ものにこだわらない；(仕
事が)おおざっぱだ。【例】かりやー
ばばんんまり(彼は気前よしだ、もの
にこだわらない)。かいが すかまー
ばばんかいばならん(彼の仕事はおお
ざっぱだ)。②【名詞】[A] 気前の良く
ふるまうこと。【例】なうゆまい すぐ
ばばんな ひー ひとつん ばきー
ふいー うながたまー にやーん(な
んでもすぐきまえよく分けて、自分の
取り分がない)。

ばふ [bafu] 【名詞】[C] 宮古上布の糸
をヤマで整形して、それからカシギに
かけて長さを測り、そのあとでバフに
巻き、それからツミグルに巻いて織る。
ツミグルより大きい糸巻。

ばふ [bafu] ①【動詞】[k 語幹] [A] 湧
(わ)く。[変異] ばつ。[類] ばき。②
【動詞】[k 語幹] [A] (お湯が)沸(わ)
く。[変異] ばつ。[類] ばき。③【動詞】
[k 語幹] [A] 発酵する。[変異] ばつ。
[類] ばき。

ばふ [bafu] 【動詞】[k 語幹] [C] (鋸
で木を)切る。[変異] ばつ。

ばふうす [bafuusi] 【名詞】大きいお
すの牛、雄牛。【例】ばふうすんな
がばー んぬぬどう あい(牝牛には
大きな角がある)。

はま [hama] 【名詞】[C] 浜、海岸（主として砂浜、海岸の付近で魚や貝がとれるところ）。【例】じよ、はまんきつぞう とういが（さあ、浜に魚を取りに（行こう））。じょー はまうりが（さあ漁に出よう）。[変異] ひだ。

はまい [hamai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C]（ものが穴に）はまる。【例】っさびゃー あなんかい ずみく はまりーにゃーん（楔は穴に見事にはまった）。

はまうつ [hamautsi] 【名詞】浜辺。
[変異] はまふつ。

はまうり [hamauri] 【名詞】漁に出ること。【例】きゅーや かじゃー ふきー はまうりゃー ひらいん（今日は風があって漁に出られない）。

はまぐんばう [hamagumbau] 【名詞】『植』アザミ。

はまだてい [hamadati] 【名詞】浜沿い。【例】はまだていん あいきーいき（浜に沿って歩いて行け）。

はまふつ [hamafutsi] 【名詞】浜辺。
【例】はまふつがまん なんがまぬぶりーうい（浜のほうにさざ波が押し寄せている）。はまうつんな はいまがながまぬ うい（浜辺には足の速い蟹（かに）がいる）。[変異] はまうつ。

ばみつ [bamitsi] ①【動詞】[k 語幹] [A] 大声を出して騒ぐ、大声を出す、喚く。
【例】あいや ほうりぎなりや ばみ

かん（そんなに馬鹿みたいに喚かない）。
つうあがどう ばいかい。まーぬ ばみかだうり（お前が悪い。大声で騒ぐな）。[変異] ばみふ。②【名詞】[A] 大声を出して騒ぐこと。【例】ほうりばみつ（バカ騒ぎ）。

ばみふ [bamifu] 【動詞】[k 語幹] [A] 大声を出して騒ぐ、大声を出す、喚く。
[変異] ばみつ。

はむぬ [hamunu] 【名詞】[A] 刃物。

はやーす [haja:si] 【動詞】[s/h 語幹]（植物のつる、雑草などを）繁らせる、繁茂させる。【例】びーずん なるーばつふあいや いりー んーぎーゆ はやーす（春先になったので肥料を入れて芋づるを成長させる）。あっじゃきゃー ばっしー っさー はやーひーにゃーん（畑の端の草刈りを忘れて、雑草を繁茂させてしまった）。[類] はやらす。

はい [hajai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C]（植物が）生い繁る。【例】んーぎーやあうたんなりー ういー はいーどうーい（芋の木（蔓）は青々と生えて蔓は伸び繁っている）。

はい [hajai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C]（疫病、ファッションなどが）流行る。
【例】かさがまぬどう はやりゅー（麻疹が流行っている）。くぬえーがー んなまどう むいとう はやりゅー（この映画は今とてもはやっている）。

はやまり [hajamari] 【副詞】 さっさと、早く、急いで。 【例】 はやまりふあい（さっさと食べる）。

はやらす [hajarasi] 【動詞】 [s/h 語幹]（植物のつる、雑草などを）繁らせる、繁茂させる。 【例】 はいかでいぬ はやらしばよー（南風が生い茂らすからだよ [古謡「豆が花」から]）。 [類] はや一す。

はら [hara] 【助数詞】 「村」を数えるため助数詞 [歌語]。 【例】 すまんーなぬみそうばらぬ そうじゃがまた（島全体の 30 の集落の先輩たち [民謡「漲水のクイチャー」から]）。

はら [hara] 【名詞】 [C] 柱。 【例】 うずんばら やー（柱を地面に埋め込んだ小屋）。ぶとうー やーぬ んなかばら（夫は家の大黒柱だ）。くっそう はらんかい たでいー（腰を家の柱に当てる）。

はら [hara] 【名詞】 [C]（肉体労働等で手などにできた）肉刺（まめ）。 【例】 はらぬ いでいきゃ はたらつ（マメが出るまで働く）。

ばら [bara] 【名詞】 [B] 藁。 【例】 ばらんな（藁綱）。

ばらい [barai] 【名詞】 [A] 笑い。 【例】 ゆがばらい（作り笑い）。ばーっふいばらい（冷やかし笑い）。なつばらい（泣き笑い）。ちゅっふいばらい（作り笑い）。すたばらい（見下した笑い）。は

がみばらい（照れ笑い）。ふからすぎばらい（嬉し笑い）。ほうりっじゃばらい（節操のない笑い）。ほうりぎばらい（バカ笑い）。はなすかみばらい（鼻をしかめる笑い）。かいくんばらい（大丈夫だと言う笑い）。

はらいっぱい [haraippai] 【成句】 腹一杯。 【例】 ばー はらいっぱいていあっじー あとうん っさん ふいや ひー いかっさまい ふあう ひとつどう ふあーん ふい ななまかいていー あい（私はお腹一杯と言って後でこっそりといくらでも食べる人を「食べない振り七お椀」と言う）。

はらう [harau] 【動詞】 [w 語幹] [C]（ゴミやほこりを）はらって取る、取り除く。 【例】 てればぬ はなぬ ぶきゅー ういひー はらい（テレビの上のゴミをこれで取り除け）。

はらう [harau] 【動詞】 [w 語幹] [C]（代金、手間賃、給料などを）払う。 【例】 ていまーゆ はらう（手間賃を払う）。

ばらう [barau] 【動詞】 [w 語幹] [A] 笑う。 【例】 みーや にやーんきやばらいーにやーん（沢山笑った [＜目がなくなるまで笑った]）。わいていーばらい（うんと笑え）。からー ばらうっチャー っさん（彼は笑い方を知らない、彼は冗談を理解しない）。

はらうず [harauzi] 【名詞】 親戚 [血縁のみを含む]。 【例】 はらうず う

ぐな一い（親戚の集まり）。[「はらうず」は近親関係。「うとうじゃ」は義理の関係も含んだ広い意味]。「かたい」は姻戚を表す。はらうっじゃ かなすむぬ（親戚は愛おしい）。[類] うとうじゃ、かたい。

ばらじゃん [baraʒan] 【名詞】リーフでの追込み漁の一種。【例】っしん ばらじゃんぬ あす とうきやんな みじゆきぬ つぶん あんな はり ゆーとういどう っぞうーぎやー がにー とうい（リーフで追込み漁をするときは、瀬と瀬の間の深みに網を張っていてそこに魚を追い込み、（網を）引っ張ってとる）。

はらす [harasi] ①【動詞】[s/h 語幹] [C]（人を家に）帰す。【例】やらびゆーぎやー やーんかい はらす（子供を家に帰す）。②【動詞】[s/h 語幹] [C]（船を）航行させる。【例】ふにゆー はらす（船を走らせる）。

はらふにや [harafunja] 【名詞】野にできる野生の大根。【例】くぬいや はらふにやまい みーらいん（最近では野大根も見えない）。はらふにやー んぎやむぬ（野大根は苦い [辛味があるものも苦いという]）。

はらふにや [harafunja] 【名詞】『魚』アミアイゴ。

はらます [haramasi] 【動詞】[s/h 語幹]（女性を）妊娠させる、（子供を）受

胎させる。【例】みどうんぬ はらます（女をはらます）。みどうん つふあう はらます（女に子をはらます）。

はらん [haran] 【動詞】[m 語幹] [C]（子）を妊娠する。【例】みどうんつづ あー はらみーどうー（娘ははらんでいる）。

はらん [haran] 【名詞】[B] 魚卵、白子。【例】っぞうぬ はらん（魚の体内のタマゴ）。びきばらん（白子）。みーばらん（魚卵）。

はり [hari] 【名詞】[B] 屋根を支える木材、梁（はり）。【例】やーぬ はり（家の梁）。

ばり [bari] 【名詞】[A] 破片。【例】かーらぬ ばり（瓦の破片）。

はる [haru] 【名詞】[A] 春。【例】はるんなりー んふふ なりーにやーん（春になって温くなった）。

はる [haru] 【名詞】[B] 畑。【例】きゆーや はるんきー んーぎーゆ いびでい（今日は畑に行き芋ずるを植えます）。

はるばんやー [harubanja:] 【名詞】畑の番屋。【例】ひーまゆくいんな はるばんやーん ゆくー（昼の休みには番屋で休む）。[類] はいばんやー。

はるやー [haruja:] 【名詞】專業農家。【例】はるやーたー いんぬ すかまうぎやー ほうん（專業農家の人たちは漁業はしない）。

ばるん [barun] 【名詞】[B] ススキやサトウキビの穂のふくらみ。【例】ぶーずぬ ばるん (サトウキビの穂のふくらみ [成長しきると膨らみができる])。

はるんな [harunna] 【名詞】《生物》カタツムリ。【例】あみぬ つふいぬ あとうんどう はるんなー うんそうく うい (雨降りの後にカタツムリが沢山いる)。

はん [han] 【名詞】[B] 印鑑。【例】はんぬ うす (押印する)。

ばん [ban] ① 【名詞】[B] 順番、担当；監視をすること。【例】くとうっさはんちよーん ない ばん (今年は支部長になる順番だ [自治会の4つの支部の長を班長という])。はまばん (浜に行ってカツオの餌になる小魚を取る係り)。きゅーや やーばん (今日は留守番)。うるー ばんな ひーうき (これを番しておけ)。② 【名詞】[B] いること、滞在すること。【例】やらびあいきやー ひとついぎやーみやーす いんぬ ばんあたい (子供の頃は一日中海にいた)。

ばん [ban] 【代名詞】[C] 一人称単数代名詞の単独形 私、ぼく [複数形は「ばんてい」(「私たち(聞き手を含まない)')。【例】ばんから ほうでい (私からやろう)。ばんとう ひとつみ いかでい (私と一緒に行こう)。ばんまい っさっだん (私も知らなかった)。うぬ しゃしんー うっちゅー むぬー

ばん (この写真に写ってるのは僕だ)。ばんつきやー かいがどう たかかい (私より彼の方が背が高い)。うるーぎやー ばんかい ふいーる (それを私にくれ)。[類] ばが、ばぬー、ばー。

はんき [han̄ki] 【名詞】[B] 亀頭。【例】はんきまら (亀頭の出た陰茎)。[変異] ぱんき。

ぱんき [pan̄ki] 【名詞】[B] 亀頭。【例】ぱんきまら (亀頭の出た陰茎)。[変異] はんき。

はんきまら [han̄kimara] 【名詞】陰茎、ちんぽこ。[変異] ぱんきまら。

ぱんきまら [pan̄kimara] 【名詞】陰茎、ちんぽこ。[変異] はんきまら。

ぱんきまらんーた [pan̄kimaran:ta] 【名詞】《植》イチゴ。[類] ぱんきぬそうらんーた。

はんし [han̄çi] 【動詞】[母音語幹] [A] 完遂する、(難しい仕事を) やり遂げる、(借金を) 完済する、(登山などに) 挑戦しやり切る。【例】んぬ うぬ すかまー はんしーだー (もうその仕事はやってある)。うっかうぎやー こんげつひー はんしらいどうす (借金をこんげつで完済できる)。きゅーや ふじさんぬ はなんかい はんしーみーでい (今日は富士山の頂上に登ってみるぞ)。

はんし [han̄çi] 【動詞】[母音語幹] [A] (的を) はずす、(動詞連用形について)～

するのに失敗する、～損じる。 [変異]
はんでい。

はんじ [hanzi] 【動詞】 [母音語幹] [A]
(的を)はずす、(動詞連用形について)～
するのに失敗する、～損じる。 [変異]
はんでい。

はんじゃう [hanzau] 【名詞】 繁盛、
繁栄。 【例】 かまぬ きないや はん
じゃうや ひどう うやきやー ほう
ー (あその家庭は繁栄していて、裕
福だ)。

はんじゃつ [hanzatsi] 【動詞】 [k 語
幹] (的を)はずす、失敗する。 【例】
かにふっじゅ げんのーひー うちゃ
っじゃいきー はんじゃきーにやーん
(釘を金づちで打とうとして、はずして
しまった)。 [変異] はんじゃふ。 [類]
はっじゃつ。

はんじゃふ [hanzafu] 【動詞】 [k 語
幹] (的を)はずす、失敗する。 [変異]
はんじゃつ。 [類] はっじゃつ。

ばんじゅーがに [banzu:gani] 【名
詞】 直角に曲がった金属製の物差し、大
工道具の一つ。指金、曲尺 (かねじゃ
く)。

はんず [hanzi] 【動詞】 [zz/dd 語幹] [A]
(的を)はずす、(ひもなどを)切り離す、
(動詞連用形について)～するのに失敗
する、～損じる。 【例】 かにふっじゅ
げんのーひー うっちゃっじゃいき
はんじーにやーん (釘を金づちで打と

うとしてはずしてしまった)。ん[°]なう
かたなひー はんず (縄を包丁で切
り離す)。むぬー ふあいはんじーにや
ーん (飯を食い損じた)。ん[°]なう か
たなひー つーはんず (縄を包丁で切
り離す)。 [類] はんじゃつ、はんす。

ばんず [banzi] 【名詞】 [A] 人生の最
盛期、(子育てなどの)忙しい時期、真
っ最中。 【例】 かぬ ばかむぬー ん
なまどう ばんず (あの若者はいまが
最盛期だ)。さらばんず (人生の盛り)。
っふあむつ ばんず (子育てでの真っ
最中)。ひーまぬ ばんず (真っ昼間)。

はんた [hanta] 【形容詞】 [A] 繁多、忙
しい。 【例】 きゅーや はんたかいば
ならん (今日は忙しくてならない)。
 [変異] ぱんた。

ばんた [banta] 【代名詞】 [C] 一人称
複数形、私たち。 [類] ばんてい。

ぱんた [panta] 【形容詞】 [A] 繁多、忙
しい。 [変異] はんた。

はんだい [handai] 【名詞】 鼻をたらす
こと、また、鼻水；鼻たれ小僧。 【例】
はんだいやらび (鼻たれ小僧)。 [変異]
ぱんだい。 [類] はんだら。

ぱんだい [pandai] 【名詞】 鼻をたら
すこと、鼻水；鼻たれ小僧。 [変異] は
んだい。

はんだま [handama] 【名詞】 《果物・
野菜》《食》水前寺菜 [春菊にいた野菜]。

はんだら [handara] 【名詞】鼻たれ小僧。 [変異] ぱんだら。

ぱんだら [pandara] 【名詞】鼻たれ小僧。 【例】くぬいや ぱんだらまい みーん（最近鼻たれ小僧もいない）。 [変異] はんだら。

はんち [hantçi] 【動詞】 [母音語幹] [C] かじる。 [変異] はんっち。 [類] はんつ、はんつつ、はんつー。

ばんちくら [bantçikura] 【名詞】グアバ。 [変異] ばんちゅくら。

はんちまー [hantçima:] 【名詞】いい加減な奴。 [変異] はんつまー。

ばんちゅー [bantçu:] 【代名詞】一人称複数代名詞「ばんてい」の目的格形、「私たちを、僕たちを（聞き手を含まない） [単数形は「ばぬー」。

ばんちゅくら [bantçukura] 【名詞】グアバ。 【例】やらびあいきゃー ばんちゅくらう ゆー ふあうたい（子供の頃はよくグアバを食べた）。ばんちゅくらー んみーどう（グアバは熟している）。ばんちゅくらう むい（グアバを挽ぎ取る）。 [変異] ばんちくら。

はんつ [hantsi] 【動詞】 [c/t 語幹] [C] (的を)はずす、(動詞連用形について)~するの失敗する、~損じる。 [類] はんず、はんじゃつ、はんでい。

はんつ [hantsi] 【動詞】 [cc/tt 語幹] [C] かじる。 [変異] はんつつ、はんつー。 [類] はんつつ、はんっち。

はんつ [hantsi] 【名詞】 [C] かじること。 [変異] はんつつ。

ばんつぎー [bantsigi:] 【名詞】桑の木。 【例】ばんつぎーぬ んーたー んみーどうーい（桑の実熟している）。

ばんつぎーぬない [bantsigi:nunai] 【名詞】桑の実。 【例】ばんつぎーぬないや んめ んみー どう（桑の実はもう熟している）。 [類] ばんつぎーぬみー。

ばんつぎーぬみー [bantsigi:numi:] 【名詞】桑の実。 [類] ばんつぎーぬない。

はんつつ [hanttsi] 【動詞】 [cc/tt 語幹] かじる。 【例】っぞうー はんっちー ふあい（魚を（生のまま）かじって食べる）。うぬ ひんじゃー なまにー やいば はんちやいん（このヤギは生煮えなのでかみ切れない）。 [変異] はんつ、はんつー。 [類] はんち、はんっち。

はんつつ [hanttsi] 【名詞】かじること。 【例】っぞうー なまばんつつ あす（魚を（調理しないで）生のままかじって食べる）。 [変異] はんつ、はんつー。 [類] はんち、はんっち。

はんつまー [hantsima:] 【名詞】いい加減な奴。 [変異] はんちまー。

はんでい [handi] 【動詞】 [母音語幹] [A] (的を)はずす、(動詞連用形につ

いて)~するのに失敗する、~損じる。
 [変異] はんじ、はんし。[類] はんじゃ
 つ、はんす、はんでい。

はんでい [handi] 【動詞】[母音語幹]
 [A] はみ出る。【例】からー たかか
 いば もーふから はっじゃ はんで
 いーどうー (彼は身長が高いので毛布
 から足がはみ出ている)。

ばんてい [banti] 【代名詞】[C] 一人
 称複数形、私たち。 [類] ばんた。

はんぱむぬ [hampamunu] 【名詞】半
 端もの。【例】すかまー ひらいん
 はんぱむぬ (仕事のできない半端者)。

はんまい [hammai] 【名詞】食糧、食
 べる物。【例】きばんかいば きゅー
 ぬ はんまいまい にゃーん (貧乏だ

から今日の食糧もない)。

ばんまい [bammai] 【接尾辞】動詞未
 然形や形容詞について譲歩を表す、「～
 ても」。【例】くーきゅー いりばんま
 い たいやーや はずまん (空気を入
 れたのにタイヤが膨まない)。さきやー
 いかっさ ぬまばんまい びゅーい
 ん さきじゅー ぼりがみ (酒をいく
 ら飲んでも酔わない酒豪だ)。たかから
 ばんまい やすからばんまい なうや
 らばんまい かーでい ((値段が) 高か
 ろうが安かろうが何でも良いから買い
 ます)。[類] んまい。

ばんや [banja] 【名詞】[B] 番屋、番
 小屋。【例】ばんやんかい やまばん
 あすが いかでい (番屋に山番しに
 行こう)。

ひ

ひー [hi:] 【助詞】『格助詞』手段、道具を表す格助詞、「で」。【例】うぎんひーつぞうー つふ（銚で魚を突く）。うますひー むぬー はさみー ふあう（お箸で食べ物を挟んで食べる）。

ひー [hi:] 【助詞】『接続助詞』「やひー」の形で、コンピュータの連用中止法を表す、「で」「なので」。【例】やぐいやひーやどうゆん あす（大声でケンカする）。やびとうーんーな がんじゅーやひーうらまいんなー（皆さんお元気でいらっしゃいますか）。とうずぶとうばきやーいやひー まーいかたー にやーん（離婚してどうしようもない）。

ひー [hi:] 【名詞】[B] 日より、日取り。【例】きゅーぬ ひーや やぐみ じゃうどうりがま（今日はとてもいい天気だ）。きゅーぬ ひーや やぐみ じゃう ひゅーい（今日はとてもいい日取りだ）。

ひー [hi:] 【名詞】[B] おなら。【例】っさ びー（臭いおなら）。ひーゆ ひつ（おならをする）。[変異] ぴー。

ひー [hi:] 【名詞】[B] 女性器。【例】

ひーゆ まず（性交する）。ひーぬ うい（女性の陰部が興奮して大きくなる）。[変異] ぴー。

ひー [hi:] 【名詞】[B] ニンニク。[変異] ぴー。

びー [bi:] 【動詞】[z 語幹] [A] 座る。【例】うまん びじ（ここに座れ）。うまー びーまーや あきーどうー（ここは座るところは空いている）。

びー [bi:] 【接尾辞】（～を主に引き受けて行う）人、（稼ぎ）手、（働き）手。【例】ぼんていが やーんな まうきびーや たうかーどうーい（私たちの家では稼ぎ手は一人しかいない）。つかなうびー（働き手）。しんどうー ふにはらす びー（船長は船を走らせる人だ）。

ぴー [pi:] 【名詞】[B] おなら。[変異] ひー。

ぴー [pi:] 【名詞】[B] 女性器。[変異] ひー。

ぴー [pi:] 【名詞】[B] ニンニク。【例】ぴーつきな（ニンニクの漬物）。はいん

どう ぴーぬ ういゆー (畑にニンニクが生えている)。**[変異]** ひー。

ひーき [hi:ki] 【名詞】 [A] (戸、壁などで) あいていて向こうが見える穴。

【例】 やどうぬ ひーき (戸の穴)。**[変異]** ぴーき。

ぴーき [pi:ki] 【名詞】 [A] (戸、壁などで) あいていて向こうが見える穴。

[変異] ひーき。

びーぐじゃ [bi:guʒa] 【名詞】 座った

まま中々立とうとしない人 (尻の重い人)。**[例]** からー んめ ふーていがー やーんかい はらっでいや ほうん むいとうぬ びだく びーぐじゃ (彼はもうきたらもう家にはかえろとしない尻の重い人だ)。**[類]** びーぐず。

びーぐず [bi:guzi] 【名詞】 座ったま

ま中々立とうとしないこと、尻の重いこと、ながっちり。**[例]** まーぬ びーぐず あすな、とうずぬ まいんかい はり (そんなにながっちりせずに、奥さんところに帰りな)。**[類]** びーぐじゃ。

ひーさ [hi:sa] 【名詞】 [C] 寒さ。【例】

っぞう すん びーさ (魚が凍え死にそうな寒さ)。**[変異]** ぴーさ。**[類]** っしさ、びーふ。

ぴーさ [pi:sa] 【名詞】 [C] 寒さ。【変異】

ひーさ。

びーずん [bi:zin] 【名詞】 春先。【例】

びーずん なりー っさまい むいと

う ういどうー (春先になって草もとても青々として来ている)。

ひーそうー [hi:su:] 【名詞】 引き潮。

【例】 ひーそうーんな っしん°ん あすが いつ (引き潮にはリーフに漁をしに行く)。

びーた [bi:ta] ① 【形容詞】 [C] (人や場所などが) じめじめして不潔だ。【例】

うまー びーたかいば ならん (ここはとてもじめじめして不潔だ)。びーた やらび (水洩まみれで汚い子)。あみふーぬ はいや びーたかいば は

いらいん (雨降りの畑は水でどろどろで入れない)。**[類]** すぶたい。② 【形容詞】 [C] ~まみれだ、~だらけだ、(太陽、虫など) あふれている。【例】 あし

ゃー びーた (汗がびっしょりだ)。っぐあ どうるー びーたかいば かんきー あるいはー (お前は泥で汚いから井戸で洗って来い)。ていだー びーた (日がカンカン照りだ)。あっぐあー

びーた (脂だらけだ)。っしやなさー びーた (とても不潔だ)。っそう びーた (糞でまみれている)。っそうそ

うー びーたやらび (よだれを垂らした子供)。③ 【名詞】 [C] ~まみれ、~だらけ、(太陽、虫など) あふれていること

【意味は形容詞に準じる。形容詞用法と違い、程度を問題にしない】。【例】 うまー びーた やいば ばー びじゃじゃーん (ここはじめじめして不潔なので座らない)。

びーた [bi:ta] 【名詞】 [C] 酒座等でいつまでも居座る人、尻が重い人。【例】かりゃー びーた やいば さきゅーぬんきゃー やーんかいや はらっでいや ほうん (彼は尻が重いから酒を飲んだら家には帰ろうとしない)。**[類]** びだく。

ひーだき [hi:daki] 【名詞】 笛、口笛。【例】 ぴーだきゅー ぴーていー ふつ (口笛をぴーと吹く)。きーぬ はー ひーだき (木の葉の笛 (= 草笛))。**[変異]** ぴーだき。**[類]** すばびー。

ぴーだき [pi:daki] 【名詞】 笛、口笛。**[変異]** ひーだき。

ひーちゃ [hi:tʃa] ① 【形容詞】 [A] 少ない。【例】 っづあー ひーちゃかいむぬー とうい (おまえは少ない方をとれ)。ひーちゃがま (少しだけ)。ひーちゃかい でいん (少ない方のお金)。**[変異]** ぴーちゃ。**[類]** ひっちゃ、ぴっちゃ。② 【名詞】 [A] 少量、すこし。【例】 ひーちゃぬ でいん (僅かのお金)。ひーちゃまい にゃーん (少しもない)。**[変異]** ぴーちゃ。**[類]** ひっちゃ、ぴっちゃ。

ぴーちゃ [pi:tʃa] 【形容詞】 [A] 少ない。**[変異]** ひーちゃ。

ぴーちゃ [pi:tʃa] 【名詞】 [A] 少量、すこし。**[変異]** ひーちゃ。

ひーちゃー [hi:tʃa:] 【名詞】 女性器同士を合わすこと。**[変異]** ぴーちゃー。

ぴーちゃー [pi:tʃa:] 【名詞】 女性器同士を合わすこと。**[変異]** ひーちゃー。

ひーつ [hi:tsi] 【動詞】 [k 語幹] [C] (きりなど尖った物で) 穴をあける。【例】 いーがまひー かびーゆ ひーつ (千枚通しで紙に穴をあける)。**[変異]** ぴーつ、ひーふ、ぴーふ。

ぴーつ [pi:tsi] 【動詞】 [k 語幹] [C] (きりなど尖った物で) 穴をあける。**[変異]** ぴーふ、ひーつ、ひーふ。

ひーていー [hi:ti:] 【名詞】 太陽光線、(強い) 陽ざし。【例】 なつぬ ひーていー (夏の陽射し)。

ひーていーあみ [hi:ti:ami] 【名詞】 日が照っているときに降る雨、日照り雨、天気雨。【例】 ひーていーあみぬどう っふゅー (日照り雨が降っている)。

ひーていーじやり [hi:ti:zari] 【名詞】 日焼け、太陽光線をまともに受けること。【例】 なつぬ ひーていーじやりゃー ひどう どうーや っふたんなりゅーい (夏の日差しにさらされて、日焼けした)。

びーない [bi:nai] 【副詞】 (否定を伴って) 微動だに (~ない)。【例】 くぬいんな むぬー ふいーきゃたーひーや びーないや とうんま ほうん (この犬はエサを与えるまでは微動だにしない)。うまん びーないや ほうだ

びじうき（そこにじっとすわっている）。[類] ぶーない。

ひーふ [hi:fu] 【名詞】[A] 寒波。【例】っしびーふんな いんきー っぞうー っそー（寒波のときには海に行つて魚を拾う）。っぞう すん びーふ（魚が凍え死ぬような寒波）。[変異] ぴーふ。[類] っしき、びーさ。

ひーふ [hi:fu] 【動詞】[k 語幹] [C]（きりなど尖った物で）穴をあける。[変異] ぴーつ、ひーつ、ぴーふ。

ぴーふ [pi:fu] 【名詞】[A] 寒波。[変異] ひーふ。

ぴーふ [pi:fu] 【動詞】[k 語幹] [C]（きりなど尖った物で）穴をあける。[変異] ぴーつ、ひーつ、ひーふ。

ひーま [hi:ma] 【名詞】[A] 昼、昼間。【例】ひーまむぬ（昼食）。ひーまぬんなか（真昼間）。ひーまゆくい（昼休み）。

ひーまあとう [hi:maatu] 【名詞】午後1時から3時ぐらいまで、昼過ぎ。【例】ひーまあとうん ひーに ほうでい（昼過ぎに昼寝をしよう）。

ひーまばかっじゃ [hi:mabakazza] 【名詞】『生物』岸の上トカゲ [赤っぽくて大きい]。【例】んーぬ かじゅーきやーどう ひーまばかっじゃぬ いでいっちゅーたい（芋を掘っていたら岸の上トカゲが出てきた）。

ひーまむぬ [hi:mamunu] 【名詞】昼食。[類] すみやーすむぬ。

ひーまら [hi:marā] 【名詞】中性（男でも女でもない、オスでもメスでもない）の人や動物。[変異] ぴーまら。

ぴーまら [pi:marā] 【名詞】中性（男でも女でもない、オスでもメスでもない）の人や動物。[変異] ひーまら。

ひーまらひんじゃ [hi:marahinza] 【名詞】生殖器のない中性の山羊。【例】ひーまらひんじゃんな つーびまい ひらいんば っふあー なさはいん（中性のヤギには交尾もできないので、子供はできない）。[変異] ぴーまらひんじゃ。

ぴーまらひんじゃ [pi:marahinza] 【名詞】生殖器のない中性の山羊。[変異] ひーまらひんじゃ。

びーや [bi:ja] 【名詞】[C] ゴキブリ。[類] くーむや。

ひかい [hikai] ① 【名詞】[A] 光、輝き、明かり。【例】かまぬ ていんぬ あかびかいゆ みーる（あそこの空の赤い光を見ろ）。いなびかい（稲光）。ちゅーびかい（強い光）。だいあもんどぬ ひかい（ダイヤの光）。[類] あかい。② 【形容詞】[B] まぶしい。【例】まなつぬ ていだー ひかいかいばならん（真夏の太陽はまぶしくてならない）。

ひかい [hikai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] 光る、輝く、明るくなる。【例】かま

ん ひかるー ほうっそうぎゃー なうていどう あいが (あそこに光っている星はなんていうの)。かまー つふあかいば かまう ひからし (あそこは暗いからあそこを照らせ)。[類] あかい。

ひがい [higai] ①【動詞】[r/rr 語幹] [C]

変化する、化ける、。【例】はうや かんぬ ひがい むぬ (ヘビは神の化けたもの)。まずむぬぬ ぐーにゃん なりー ひがりー っちゅーい (幽霊が昆虫になって化けて来ている)。[類] ひがいー (r/rr 語幹)、ひがり (r/rr 語幹)。

②【動詞】[r/rr 語幹] [C] 破産する、夜逃げする。【例】かまぬ やーや ひがいりー はりーにゃーん (あそこの家は破産してしまった)。かまぬ きないや ひがりー はりーにゃーん (向こうの家は消え失せてしまった)。

びかい [bikai]【動詞】[母音語幹] [A]

賭けにまけて取られる。【例】でいんな びかいーにゃーん (金は賭けで取られた)。かにふっじゅ びかいーにゃーん ((子供の遊びで) 釘を賭けで取られる)。

ひがいー [higai:]【動詞】[r/rr 語幹]

変化する、化ける、。 [変異] ひがい。

ひかず [hikazi]【名詞】[A] 日数、日取り。

【例】かんにがいぬ ひかっじゅ とうい (祈願の日取りをとる)。

ひがりー [higarri]【動詞】[r/rr 語幹]

変化する、化ける、。 [変異] ひがい。

ひがん [higan]【動詞】[m 語幹] [C]

うらやましがる、ねたむ。【例】あひがんたんてい なうぬ たみんまい ならん (そんなにうらやましがってもどうにもならない)。ひとうぬ くとうー ひがんな (他人のことをねたむな)。

ひがん [higan]【名詞】[C] 彼岸。

ひぎ [higi]【名詞】[B] 髭。

【例】ひぎゃー ぬびゅーば さんぱつやーんきー ひぎゅー そうらだかー ならん (ひげがのびたので、散髪屋に行って髭を剃らないといけない)。ひぎゅー うーす (ひげを はやす)。

びき [biki]【接頭辞】(動物) 雄、男性。

【例】びきひんじゃ (雄の山羊)。びきゅむぬ (オスのネズミ)。びきずみやぬ どう なつ (オスのセミがなくのだ)。

びきうす [bikiusi]【名詞】雄牛 (おうし)。

びきだつ [bikidatsi]【名詞】独身男性、男やもめ。

【例】ながびきだつ (ずっと独身の男)。びきだつせーねん ((結婚適齢期をすこしすぎた) 独身男性)。

びきどうい [bikidui]【名詞】雄鶏。

びきどうん [bikidun] ①【名詞】男。

【例】みどりかいぬ うぐなーいんないつまい びきどうんぬどう ひーちやかい (みどり会の集会にはいつも男性がすくない [「みどり会」は西原地区の老人会の名前])。びきどうんういび

とう (老人)。かまぬ やーんな びき
 どうんっうあ いつぬひと みどうん
 っうあー むゆぬひとう うりーどう
 (向こうの家には男の子は5名、女の子
 は6名いる)。②【名詞】夫。【例】ばが
 びきどうんな すかまんかい はり
 ーにやーん (私の夫は仕事に行った)。

びきどうんびー [bikidumbi:] 【名
 詞】あぐら。【例】びきどうんびー
 あす (あぐらをかく)。

びきぬーま [bikinu:ma] 【名詞】雄
 馬。

ひきやう [hikjau] 【動詞】[w 語幹]
 [A] 引っ張る。【例】ん[°]なう ひきや
 い (綱を引っ張れ)。

びぎやう [bigjau] 【動詞】[vv 語幹幹]
 [A] (すっぱいものを食べたりしたとき
 に) 歯にしみる。[変異] ひぎやう 2。

びぎやう [bigjau] 【形容詞】[B] (す
 っぱいものを食べたりしたときに) 歯
 にしみる。[変異] ひぎやう 2。

ぴぎやう [pigjau] 【動詞】[vv 語幹幹]
 [A] (すっぱいものを食べたりしたとき
 に) 歯にしみる。[変異] ひぎやう 2。

ぴぎやう [pigjau] 【形容詞】[B] (す
 っぱいものを食べたりしたときに) 歯
 にしみる。[変異] ひぎやう 2。

ひぎやう [higjau] ①【形容詞】くすぐ
 ったい。【例】かいん ばじゅっうあい
 ー ひぎやうかいば ならっだん (彼

にくすぐられてくすぐったくて仕方が
 なかった)。ひぎやうかいば ばじゅっ
 うあだうり (くすぐったいからくすぐ
 るな)。②【形容詞】(こわいので) 鳥肌
 が立つ。【例】はかぬ まいゆ あいつ
 ていがー ひぎやうむぬ (墓の前を通
 ったら鳥肌が立つ)。

ひぎやう [higjau] ①【動詞】[vv 語幹]
 (すっぱいものを食べたりしたときに)
 歯にしみる。【例】やまとうぬ ひと
 うー そうーむぬー ふあーばんまい
 はーや ひぎやっうあんちゃ (やま
 との人はすっぱいものを食べても歯に
 しめないそうだ)。[変異] ひぎやう、ぴ
 ぎやう。②【形容詞】(すっぱいものを
 食べたりしたときに) 歯にしみる。【例】
 そうーむぬー ふあいー はーぬ ひ
 ぎやうかいばならん (すっぱいものを
 食べて歯がしみて仕方がない)。[変異]
 ひぎやう、ひぎやう。

びきやどうむら [bikijadumura] 【名
 詞】《貝》水字貝 [門や軒先などに下げ
 て魔除けに使う。角が魔物、幽霊の目を
 突いて追い払うと言われる]。

びきりや [bikirja] 【名詞】[C] 若い
 男性。【例】かぬ びきりやとう と
 うずぶとうん なり (あの若者と結婚
 しろ)。

びく [biku] 【名詞】[C] 《歌語》男の子。
 【例】びくが はな とうゆませ (男
 の子の出世頭になれ [古謡「マスムイ
 のあーぐ」から])。

ひぐい [higui] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C]
 (体が) 冷える、(液体、個体、食べ物などが) 冷える、(空間が) 冷える。【例】
 やらびゃー ひぐりーにゃーん (子供は体が冷えた)。みっじゃ ひぐりー
 さしーどー (水は冷えて、肌にしみる)。あらー ひぐりーどーい (外はととても寒い)。いんぬ みっじゃ ひぐりーどー (海の水は冷えている)。

ひぐい [higui] 【名詞】 [C] 寒さ、冷たさ、寒気。【例】ひぐいや いりーどー
 っしふなりゅー ((冬の) 寒気が入って寒くなっている)。ひぐいつー (冷氣)。
 きゅーぬ ひぐいや やぐみ ひぐい (今日の冷たさは大変な冷たさだ)。

ひぐい [higui] 【形容詞】 [B] 寒い；冷たい。【例】あうひぐい (肌寒い)。きゅーぬ みっじゃ ひぐいかいば ならん (水が冷たくてしかたがない)。

ひぐらす [higurasi] 【動詞】 [s/h 語幹]
 冷やす。【例】みっじゅ ひぐらし (水を冷やせ)。

ひぐる [higuru] ① 【形容詞】 [B] (気候が) 寒い、(物が) 冷たい；(人が) 薄情だ、冷たい。【例】きゅーや ひぐる (今日は寒い)。きゅーぬ かじゃー ひぐる (今日の風は冷たい)。ひぐる みず (冷たい水)。からー ひぐるっふあにゃーん (彼は冷たくない)。② 【名詞】 [A] 薄情な人。【例】からー ひぐる やいば でいんぬぎゃー かしゃー

ふいーんよ (彼は薄情者だから金は貸してくれないよ)。

ひぐるつー [higurutsi:] 【名詞】 冷氣。
 【例】ひぐるつーぬどう あい (冷氣がある)。

ひさ [hisa] 【名詞】 [B] 足のくるぶしより下の部分、足の甲、足首。【例】ひさう きー (つまづく)。ひさひー ぼーる きー (足の甲でボールを蹴る)。はずぬ ひさう かつん (足首をつかむ)。
 [変異] っさ。[類] っさびじゃ。

ひさだつ [hisadatsi] 【名詞】 (深さ、高さが) 足首までの深さ、高さ。【例】
 そうーや ひきー ひさだつ なりゅー (潮が引いて足首ほどの浅さになっている)。ぐらんど ごるふじょーぬ
 しばふー ひさだつん なるーば じよ そうらでい (グランドゴルフ場の芝生が足首くらいになったので、刈ろう)。[変異] っさだつ。

びし [biçi] 【動詞】 [母音語幹] [A] 置く、設置する。【例】くまん やーゆ
 びしる (ここに家を建てなさい)。かんだなん かうるー びしる (神棚に香炉を置け)。

びじーまい たちーまい
うらいん [bizi:mai tatçi:mai urain]
 【成句】居ても立っても居られない。
 【例】んまがぬ くとうー しば やいば ばぬんな びじーまい たちーまい うらいん (孫のことが心配で、私は居ても立っても居られない)。

びじやい [bizai] 【動詞】 [r/rr 語幹]
 [A] (人や動物、雨雲などが) 長く居座る、その場所を離れずとどまる。【例】
 かいが びじやりーきやー やーんか
 いや はらん (彼が居座ったら家には
 帰らない)。うまん びじやり (そこに
 座ってろ)。たくぬどう あでいふん
 びじやりーうたい (タコがタコの巣に
 デンと座っていた)。びじやらだ たち
 (ぐずぐずせずに立て)。

びじやら [bizara] 【名詞】 [C] (酒席
 などで) 居座り続ける人。 [類] びだ
 く、ぐずら。

びじゆ [bizu] ①【名詞】 [C] (魚を釣
 る) 餌。【例】 っぞうぬどう びじゆ
 ー っふいーゆーい (魚が餌にくいつ
 ている)。②【名詞】 [C] こどもをあ
 やすための遊び道具。【例】 うぬ やら
 びんな まーいゆ びじゆ あすみー
 んたばほうーき (この子供にはボー
 ルを遊び道具としてもたして遊ばして
 おけ)。

ひず [hizi] 【動詞】 [B] 肘 (ひじ)。
 【例】 ひっじゆぎやー つかだ むぬー
 ぎやー ふあい (ひじをつかずに食事
 をしろ)。

ひず [hizi] 【名詞】 [g 語幹] [C] (お
 ろし金などで) 薄く削る、(やすりや砥
 石などで木の大きさを調整するために)
 削る。【例】 んーな かなひー ひぎ
 ー んーくっじゆ とうい (芋を下ろ

し金で薄く削って芋の澱粉を取る)。き
 ーゆ ひず (木を削る)。

びす [bisi] 【動詞】 [s 語幹] [A] 置く、
 設置する。 [類] びし。

びす [bisi] 【動詞】 [s 語幹] [A] 役割
 を与える、担当させる。【例】 ひんじ
 やぬ っさかいぬ かたあきゆー や
 らびんかい びす (山羊の草刈りの担
 当を子供に任せる)。うまぬ たーや
 かいんかい びさはいたい (そこの田
 んぼは彼にまかせられた)。

ひずー [hizi:] 【形容詞】 [C] 切れない。
 【例】 ひずーがたな (切れない刀)。

ひだ [hida] 【名詞】 [C] (海岸べりで)
 湧き水が海水と交わり、浜、海岸の付近
 で魚や貝がとれるところ。【例】 じ
 よ、ひだんき いきー ぬーまう あ
 らーでい (さあ、淡水のある海岸べり
 に行つて馬を洗おう)。 [類] はま。

びだ [bida] 【形容詞】 [A] (仕事ができ
 なくて、役に立たなくて) だめなやつ
 だ、(病気で) つらい。【例】 からー
 すかまー ひらいん びだむぬ (彼は
 仕事をしない怠け者だ)。かぬ ひと
 うー やみゆーそうがんまらーひどう
 びだびだていー ひーゆーい (あの
 人は病気のようにつらそうにしている)。

びだ [bida] 【形容詞】 [A] (山などが)
 低い; (人の背が) 低い。【例】 かまぬ
 やまー びだがま (あそこの山は低
 い)。かぬ ひと うー びだひと うがま

(あの人は背が低い)。うぬ くしかき
やー ばぬんな あていどう びだか
い (この腰掛は私には低すぎる)。[類]
っさ。

ぴたー [pita:] 【オノマトペ】(肌など、
表面が)すべすべだ (擬態語)。【例】
かいが はだー ぴたーていどう ひ
ーゆー (彼の肌はスベスベしている)。

ひだい [hidai] 【名詞】[A] 左。【例】
ひだらー ひだいでいーひー ずーゆ
かつ (左利きは左手で字を書く)。

ひだいん^oな [hidainna] 【名詞】『祭
礼』魔除用の左綱 (な) いの祭事用の
綱。

ひだがー [hidaga:] 【名詞】『地名』ヒ
ダガー、西原の北西にある湧水の出る
場所、集落から200 m位離れたところ
にある。【例】いきまから ってい
や ひだがーぬ みっじゅどう ぬみ
ゆーたいちゃ (池間から来た当時はヒ
ダガーの水を飲んでいたので)。

びだかす [bidakasi] 【動詞】[s/h 語幹]
(指、手、扇、股、包みなど、折ったり、
たたんであるものを)開く、広げる、開
ける。[変異] びらかす。

びだく [bidaku] ① 【名詞】[C] 座った
まま中々立とうとしないこと、尻の重
いこと、ながちり。【例】からー
んめ ふーていがー んめ やーんか
いや はらっでいやほうん むいとう
ぬ びだく びーぐじゃ (あいつはも

う来るともう家に帰ろうとしない大変
なながちりだ)。② 【形容詞】[C] 座
ったまま中々立とうとしない、尻の重
い、ながちりである。【例】かりやー
いつまい さきゆー ぬん とうき
ゃんな びだく (彼はいつも酒を飲む
ときはながちりだ)。

びだくげった [bidakugetta] 【名詞】
座ったまま中々立とうとしないこと、尻
の重いこと、ながちり。[類] びだ
く、ぐずら。

ひだたす [hidatasi] 【動詞】[s/h 語幹]
(二つのもの、二人)の間をあける。
【例】うぬきやが ふたっちゆぎやー
ひだたひーうっき (これらの二つは隔
てて置け)。やらびんみゆーぎやー ひ
だたひー びじゃし (子供たちを間を
あけて座らせなさい)。

ひだつ [hidatsi] 【動詞】[c/t 語幹] [A]
(人や物の)間を置く、(人や物から)人
や物の間をあける、(ほかの人やものに)
差をつける、格別よい。[類] ひだてい。

びだつ [bidatsi] 【動詞】[k 語幹] [A]
(指、手、扇、股、包みなど、折ったり、
たたんであるものを)開く、広げる、開
ける。(本、箱など閉じてあるものを)
開ける。[変異] びだふ、びらつ、び
らふ。

びだっふい [bidaffi] ① 【形容詞】(仕
事ができなくて、役に立たなくて)だ
めなやつだ、(病気で)つらい、(機械や

物が) 使い物にならない。[類] びだふー。②【動詞】(仕事をせず) ぶらぶらしている、(病気で) つらくなる、(機械や物が) 使い物にならなくなる。[類] びだふー。

びだっふや [bidaffja] 【名詞】(仕事をしない) ダメな人、なまけもの。【例】うりゃー びだっふや やいば うりゅーぎゃー たきゅーぎゃー ほうだうり (彼は信用できないだめな奴だから、あいてにするな)。

ひだてい [hidati] 【動詞】[母音語幹] [A] (人や物の) 間を置く、(人や物から) 人や物の間をあける；(ほかの人と) 差をつける；(人を) 差別する。【例】うぬきゃが ふたーいゆぎゃー ひだていー びじゃし (この二人は離して座らせろ)。うまつからー むい むぬーぎゃー ひだている (火からは燃えるものを遠ざけなさい)。かりゃー ひだていどう うむくとう あいかい (彼は特別に頭が良い)。ひとうーぎゃー あいや ひだていん (人をそんなには差別するな)。[類] ひだつ。

ひだばん [hidaban] 【名詞】カツオ船を浜で待っている人；カツオの餌である雑魚を確保して、カツオ船に知らせる役目の人；浜番。[類] はまばん。

びだふ [bidafu] 【動詞】[k 語幹] [A] (指、手、扇、股、包みなど、折ったり、たたんであるものを) 開く、広げる、開ける。(本、箱など閉じてあるものを)

開ける。[変異] びだつ、びらつ、びらふ。

びだふー [bidafu:] ①【動詞】(仕事をせず) ぶらぶらしている、(病気で) つらい、(機械や物が) 使用不可能になる。【例】かりゃー きゅーや すかまうぎゃー ほうだ びだっふいーどうーい (彼は今日は仕事をせずにぶらぶらしている)。うぬ くるまー やりー びだっふいー んめ んーらいん (この車は古くなって使い物にならなくなってもう乗れない)。うぬ うまっさ じゃうぎーひー ちゅっふあいゆーば、なうちゅんま びだっふあいん (この箸は上等の木で作られているので折れない)。[類] びだっふい。②【形容詞】(仕事ができなくて、役に立たなくて) だめなやつだ、(病気で) つらい、(機械や物が) 使い物にならない。【例】かりゃー すかまうぎゃー ほうん びだっふいんまり (彼は仕事をしない怠け者だ)。びだふー むぬ (壊れて使えない物)。[類] びだっふい。

びだふくり [bidafukuri] 【名詞】(仕事をせず) ぶらぶらしている (人、もの)、(病気で) つらくしている (人)、(機械や物が) 使い物にならない、またその機械やもの。【例】うりゃー びだふくりんまり やいば うりゅーぎゃー たきゅーぎゃー ほうだうり (あいつはろくでなしだからあいつを相手にするな)。くぬ けいたいや むいと うぬ びだふくり (この携帯はまった

く使い物にならない)。[類] びだふくる、びだふくりや。

びだふくる [bidafukuru] 【名詞】(仕事をせず) ぶらぶらしている(人、もの)、(病気で) つらくしている(人)、(機械や物が) 使い物にならない、またその機械やもの。【例】うらー びだふくる むぬ(それはダメなもの)。[類] びだふくり。

ひだます [hidamasi] 【動詞】[s/h 語幹] 低くする、へこませる。[変異] びだます。

びだます [bidamasi] 【動詞】[s/h 語幹] 低くする、へこませる。[変異] ひだます。

ひだまらす [hidamarasi] 【動詞】低くする、へこませる。【例】うまうぎやー んめ ひーちやがま びだまらし(そこをもう少しだけ低くしなさい)。[変異] びだまらす。

びだまらす [bidamarasi] 【動詞】低くする、へこませる。[変異] ひだまらす。

びたみつ [pitamitsi] 【動詞】[k 語幹](肌など、表面が) すべすべだ。[変異] びたみふ。

びたみふ [pitamifu] 【動詞】[k 語幹](肌など、表面が) すべすべだ。[変異] びたみつ。

ひだら [hidara] 【名詞】[C] 左利きの人。

ひだん [hidan] 【動詞】[m 語幹] [A] へこむ、(花や風船が) しぼむ。【例】くるまぬ たいやー ぱんくーひー ひだみーにやーん(車のタイヤはパンクしてぺちゃんこになった)。[変異] びだん。[類] ひだみ、びだみ。

びだん [bidan] 【動詞】[m 語幹] [A] へこむ、(花や風船が) しぼむ。[変異] ひだん。

びちや [bitɕa] ①【形容詞】[C] (人が仕事が) 下手だ、(仕事のできが) 水準に達していない、(ものが) 粗悪だ。【例】かりやー なうゆ あすみんない びちや(彼は何をさせても下手だ)。ういが すかまー いつまい びちやかいば ならん(あいつの仕事はいつも出来が悪い)。あいぬ びちやむぬーぎやー かーだうり(そんな粗悪なものは買うな)。②【名詞】[C] 仕事が下手な人、水準に達していない仕事、粗悪なもの。【例】からー なっちやかん びちや やいば かるーぎやーつかーだうり(あいつはろくでもない仕事下手なのであいつは使うな)。かいが すかまー んながーんな びちや あたい(あいつの仕事が一番ダメだった)。あいぬ びちやうぎやー ていっづいすている(そんな粗悪なものは捨ててしまえ)。

ひつ [hitsi] ①【動詞】[k 語幹] [A] (も

のを手前に) 引く、引っ張る；(草などを) 引き抜く；(くじを) 引く。【例】やらびぬ ていーゆ ひつ (子どもの手を引く)。ん^んなう ひつ (綱を引く)。みなかぬ っさう ひつ (庭の草を引きぬく)。ふっじゆ ひつ (くじを引く)。
 [変異] ひふ。②【動詞】[k 語幹] [A] (食べた後の食器などを) 引く、(食べものの恵みを) 減らす [神事のことば]。【例】まかいだうゆ ひつ (食器をかたづけ)。じゃうっふあにゃーん きない やいば ふつかたう ひかはでい (よくない家庭だから幸せ運を減らそう [>神様が不和家庭の戒めをする際の文句])。 [変異] ひふ。③【動詞】[k 語幹] [A] (潮が) 引く。【例】そーや ひきーどー (潮は引いている)。そーぬ ひつきゃたーひー っしんかい ური მუნე-გყარ მათე (潮が引くまでリーフに行くのは待ちなさい)。 [変異] ひふ。

ひつ [hitsi] 【動詞】[k 語幹] [A] (楽器を) 弾く、(風邪を) ひく、(最盛期が) すぎる。【例】さんしんぬ ひつ (三線を弾く)。はなう ひつ (風邪をひく)。かりゃー つーや ひきーどー (彼は盛りをすぎて、元気がなくなっている)。にっちゃ ひきーにゃーん (熱が引いた)。 [変異] ひふ。

ひつ [hitsi] 【動詞】[k 語幹] [A] (むしろや布団を) 敷く。【例】むっそー ひつ (むしろを敷く)。ふとんぬ ひつ (布団を敷く)。 [変異] ひふ。

ひつ [hitsi] 【動詞】[k 語幹] [A] (屁を) ひる。【例】ひーゆ ひつ (屁をひる)。 [変異] ひふ。

ひつ [hitsi] 【動詞】[k 語幹] [A] (食事の量などが) 減る。【例】ういびと う なりゆーそーが むぬー ひかん (年取っているが食事の量は減らない)。 [変異] ひふ。

ひつ [hitsi] 【名詞】[C] 着物を入れる箱。【例】ひつん つんぬ いりー (櫃(ひつ)に着物を入れる)。

ひつ [hitsi] 【名詞】[C] 特別に目をかけて便宜をはかること、味方、引き。【例】うりゃー せんきよんな かまぬ ひき (彼は選挙には向こう側に付いている)。

ひつ [hitsi] 【名詞】[B] 『魚』スズメダイ (小さい魚でサンゴ礁でよくとれる、塩漬けして冬場に食べる)。【例】あんつかいたがどー ひつがまうぎゃー とうい (追い込み漁師達がスズメダイをとる)。

ひつ [hitsi] 【名詞】[A] (選挙などで同じ候補を応援している) 仲間。【例】かぬきゃー ぼんていが ひつ (あいつらは私たちの応援仲間だ)。

びつ [bitsi] 【動詞】[k 語幹] [A] 賭けに勝って相手のかけたものを取る。【例】でいんぬ びつ (金を賭けで取る)。でいんぬ びつにゃー (賭博での金の賭け合い)。かにふっじゆ びつ ((子供

の遊びで) 釘を賭けで取り合う)。ばぬんな はなふだひや でいんな びかい いったん (私は花札では賭けに勝てなかった)。

ひっがい [higgai] 【動詞】[r/rr 語幹]

(人とか家が) なくなる、破滅する。
【例】かまぬ やーや ひがりー はりにゃーん (あそこの家はつぶれて一家離散した)。

ひつき [hitsiki] 【動詞】[母音語幹] [A]

躰(しつ)ける。【例】やらびゅーぎゃー あいや ひつきん (子供をあんなにはしつけない [>そんなに厳しくしつけをするな])。くぬひゃーゆぎゃー ひつきー とうらし (この野郎を躰けてやりなさい)。[類] ひつつ。

ひっくす [hikkusi] 【動詞】[s 語幹] 引越す。

ひったうー [hittau:] 【動詞】[vv 語幹]

(嫌がっている人を) 引っ張り出す。
【例】かりゅー ひったうーいー くいちゃーゆ ぶどうらし (あいつを引っ張り出してクイチャーを踊らせる)。ぶどういんかい かにゅー ひったうー そうが んばてい たちやっだん (踊りにカニを引っ張ったが嫌と言って立たなかった)。[類] ひったうーい。

ひったうーい [hittavvi] 【動詞】[母音語幹]

(嫌がっている人を) 引っ張り出すこと。 [類] ひったうー。

ひったんぐー [hittangu:] 【名詞】(嫌

がっている人を) 引っ張り出す。【例】みがう ぴーていーえーぬ やくいんかい ひったんぐー あす (ミガをPTAの役員に引っ張り出す)。

ひっちやつ [hittcatsi] 【動詞】[k 語幹]

(紙や布などを) 引き裂く、(人と人の仲を) 裂く。【例】かびーゆ ひっちゃき (紙を引き裂け)。ばが つんなうまぬ ひっちゃかいー ぴーきゅーば うまう くーやひー ふいーる (私の着物はそこが破れて穴が開いているので、繕ってくれ)。うぬきゃが ふたーいゆぎゃー ひっちゃきーすている (彼ら二人 (の仲) を引き裂いてしまえ)。[変異] ひっちゃふ。

ひっちゃふ [hittcafufu] 【動詞】[k 語幹]

(紙や布などを) 引き裂く、(人と人の仲を) 裂く。 [変異] ひっちやつ。

ひつつ [hitsitsi] 【動詞】[k 語幹] [C]

躰(しつ)ける、いじめる。 [変異] ひつつふ。[類] ひつき。

ひつなす [hitsinasi] 【動詞】[s/h 語幹]

仕上げる、やってしまう。【例】くまぬ すかまうぎゃー きゅーぬちゃん ひつなはでい (ここの仕事を今日のうちにやっしまおう)。きゅーや きゅー あちゃー あちゃ やいば きゅー あすがまたぬ くとうーぎゃー きゅーひー ひつなすばどう じゃうかい (今日は今日、明日は明日だか

ら今日やるべきことは今日で片付けた方がよい)。

ひつに [hitsini] ①【形容詞】[B] 硬くて噛みきれない、(相撲などが)粘っこい。【例】うぬ ぬーまじゅーや ひつにかいば かまいん (この馬肉は硬くて噛みきれない)。かーきだくー ぐむぬ んまりゃーひー ひつにかいば ならん (燻製のタコはゴムのようによく硬くてかみ切れない)。かぬ すまとうりゃが すまー やぐみ ひつに (あの相撲とりの相撲はねばりっこい)。②【名詞】[B] 筋肉、硬くて噛めない筋肉。【例】ぬーまぬ ひつにゃー ひつにむぬ (馬の筋肉は硬くて噛みきれない)。

ひつにん [hitsinin] 【名詞】昔納税を免れた障碍(がい)者、転じて、仕事のあまりできない人。【例】かりゃー すかまー ひらいん ひつにん (彼は仕事のできない障がいをもった人だ)。すかまー ひらいん ひつにんな やーんきー にっづゅーき (仕事のできない奴は家に帰って寝とけ)。

びっぴーまちゃ [bippi:matça] 【名詞】『鳥』ヒヨドリ。【例】びっぴーまちゃー んきゃーんな みーらいったん (ヒヨドリは昔は見られなかった)。

ひつふ [hitsifu] 【動詞】[k 語幹] [C] 駈(しつ)ける、いじめる。[変異] ひつつ。[類] ひつき。

ひつむどうい [hitsimudui] ①【動詞】[r/rr 語幹] 引き戻る、引き返す；(嫁に行った人が離婚して)実家に戻る。【例】っさらん いきー すぐ ひつむどうい (平良に行って直ぐに引き返す)。かぬ みどうんな やなびきどうん あたりどう ひつむどうりーっちゅー (あの女の人は悪い男に当たって出戻ってきた)。②【名詞】引き返すこと。【例】はい いきー そうぐ ひつむどうい あすたい (畑に行き直ぐに引返した)。かぬ みどうんな やなびきどうん あたりどう ひつむどうい あすたい (あの女の人は悪い男に当たって出戻ってきた)。

ひつん [hitsin] 【副詞】頻繫に、いつも、常に、ひっきりなしに。【例】かりゃー ひつん つむでいーどうー (彼は常に怒っている)。くぬいや ひつん あみぬ っふゅー (最近はいつも雨が降っている)。うまぬ んつからー ひつん くるまぬ とうーい (この道はひっきりなしに車が通る)。

ひでいー [hidi:] 【名詞】[B] 傷跡、おできの治った痕、火傷の痕。【例】かなまいぬ ひでいー (頭の傷痕)。ほうがさぬ なうりぬ あとうぬ んずぎ ひでいー (おできが治った後の醜い傷痕)。

ひでいー [hidi:] 【名詞】[B] ひでり、旱魃(かんばつ)。【例】くとうっさ ひでいーや ひー ぶーずまい さり

ー はりーにゃーん (今年は日照りでサトウキビも枯れてしまった)。

ひていつ [hititsi] 【名詞】 [C] ひとつ [ものの数量を表す]、一歳 [年齢を表す]。【例】ばぬんまい にぐーゆぎゃー ひていつちゆぎゃー ばきー ふいーる (私にもシャコガイを一つ分けてくれ)。やらびゃー ひていつ なりーどー (子供は1歳になった)。うまんな つかーい まかいや ひていつまい にゃーん (ここには使えるお椀は一つもない)。かんにがいぬ ひていつちや んぬちちゆぎゃー ぶいどうす (一回の祈願で命を(神から)頂くことができる [>神に一回祈ることで健康になれる])。【類】 っていつ。

ひていつがゆい [hititsigajui] 【名詞】 1つ違い。【例】うぬきやが きよーだいや ひていつがゆいや ひーいつぬひとつ うり (この人たちの兄弟は一つ違いで5人いる)。

ひとつ [hitu] 【名詞】 [A] 人、他人。【例】ひとつー うまんな いふたーい ーうり (人はそこに何人いるの)。ひとつーだすきゃー どー だすき (人を助けることは自分を助けることだ (情けは人の為ならず))。ひとつづかいぬ あらびとー (人使いが荒い人)。ひとつー すかす (人をだます)。

ひとつー ひとつ ひとつー や ひとつー [hitu: hitu du:ja du:] 【成句】 他人は他人、自分は自分。【例】

ひとつー ひとつ ひとつーや ひとつー やいば うなが うむいが にゃーん あっそう (自分は自分他人は他人なので自分が思う通りにしなさい)。

ひとつあん [hituan] 【名詞】 追込み漁でのひとつ網。【例】あうきゃー ひとつあんな ふたから みからがまどう ひとつらい (あおりいかはひとつ網で二三尾だけとれる)。【類】 ひとつふん。

ひとつい [hitui] 【名詞】 [B] 一日; ある日。【例】うまぬ すかまー ひとついんな ひらいん (この仕事は一日ではできない)。ひとついんな どうすぬ まいんかい いきゅーきゃー からー さきゅー ぬみゅーたい (ある日、友だちのところに行ったら、彼は酒を飲んでいた)。

ひとつい [bitui] 【動詞】 [r/r 語幹] [C] 満腹になる。【例】ばー んめ ひとつーりーどーば、んみやひや ふあーいん (私はもう満腹でもうこれ以上食べられない)。

ひとつい [bidui] 【名詞】 [C] 亥 (いのしし) 年。【例】ばー ひとついんまり (私は亥年生まれだ)。

ひとついがーまーす [hituiga:ma:si] 【成句】 一日中。【変異】 ひとついぎゃーみゃーす。

ひとついぎゃーみゃーす [hituigja:mja:si] 【成句】 一日中。【例】やらびあいきゃー ひとついぎゃーみゃー

ーす いんぬ ばんあたい (子供の頃は一日中海であそんでいた)。かぬ むぬゆみゃー ひとついぎゃーみゃーすまい むぬー ゆみーどうーい (あのおしゃべりは一日中でもおしゃべりしている)。きゅーや ひとついぎゃーみゃーす むぬー ふあーんば やーすかいば ならん (今日は一日中食事はしていないのでひもじい)。[変異] ひとついがーまーす。

ひとついつ [hituitsi] 【名詞】 一気、一息、すごく近い。【例】 んみゃ ひとついつひー くぬ にぐーや とうらいどうす (あと一息でこのシャコガイは取れる)。さきゅーぎゃー ひとついつん ぬみ (酒は一気に飲め)。っさらたーひや ひとついつ (平良まではあっという間だ)。

ひとついっづい [hituivvi] 【名詞】 人見知り。【例】 くぬ やらびゃー ひとついっづゅーがー ほうん (この子は人見知りしない)。

ひとついひやうす [hituiçausi] 【名詞】 ある時、ある日 (副詞としても使える)。【例】 ひとついひやうす っしん°んかい いきゅーきゃー がばー たくー とういたい (ある日サンゴ礁での潮干狩りに行ったら、大きなタコがとれた)。

ひとつかき [hitukaki] 【名詞】 一房の中の一かけら。[類] ひとつつがき。

ひとつかた [hitukata] 【名詞】 人形。【例】 みどうんやらびがまー ひとつかたー むちー あそうびゅーたい ((その)女の子は人形をもって遊んでいた)。

ひとつきゅーやー [hitukju:ja:] 【名詞】 一軒家。【例】 かまんどー ひとつきゅーやーぬ あい (向こうに一軒家がある)。

ひとつだかーい [hitudakai] 【名詞】 人がたくさん集まっている。【例】 かまんな ひとつだかーいや ひどうひとつぬ っふあまりゅー (あそこには人がたくさん集まって混雑している)。うんどうかいや ひとつだかーい あたい (運動会は人がたくさん集まっていた)。[類] ひとつだかい。

ひとつだかい [hitudakai] 【名詞】 ひとだかり。[類] ひとつだかーい。

ひとつっづあまい [hituvvamai] 【名詞】 (動けないほどの) 人の混雑。【例】 みゃーくずつんな じゃーがまんな ひとつっづあまいや ほうー (ミャークツツは広場は人で混んでいる)。

ひとつつがき [hitutsigaki] 【名詞】 一房の中の一かけら。【例】 ぴーぬ ひとつつがき (ニンニクの一房の中の一かけら)。[類] ひとつかき。

ひとつっさ [hitussa] 【名詞】 人の噂。【例】 ひとつっさ あす (人の噂をす)。ひとつっさう またつつ あす

(他人の噂をまた聞きする)。「変異」ひとつっじゃ。

ひとつっじゃ [hituzza] 【名詞】人の噂。

ひとつっじゃぬ すー [hituzzanu si:] 【名詞】他人を噂をよくする人、うわさの発信源。【例】あいやひとつっじゃぬ すーゆ ぎゃーほうん (そんなに人のことを言いふらすな)。

ひとつっでい [hituddi] 【名詞】おなじ干支の人、同年生。【例】ひとつっじゃー かなす (同じ学年の友達は愛おしい)。ばんちゃー ひとつっでい (私達は同じ学年だ)。「類」あぐ。

ひとつてい [hituti] 【名詞】[B] ある年、一年間。【例】ひとつていんなやぐみ ほう一つぬ ありどう は一さぬ ひとつぬ すんたいちゃ (ある年にははやり病があって、たくさんの人が死んだそうだ)。くぬ すかまーひとつていんな ほうだかー ならん (この仕事は一年でしないといけない)。「変異」ひとつていー。「類」ひとつていない。

ひとつていー [hituti:] 【名詞】ある年、一年間。「変異」ひとつてい。

ひとつでいー [hitudi:] ① 【名詞】(人の) 労働力、ひとで (がたりない)。「例」ひとつでいーぬ たらーんば くまぬ すかまー きゅーんな ひらい

ん (人手が足りないのでここの仕事は今日中にはできない)。「例」ひとつでいーんかい ばたりーにゃーん (あそこの家は人手に渡った)。

ひとつていーない [hituti:nai] 【名詞】ある年、一年間。「変異」ひとつていない。

ひとつていない [hitutinai] 【名詞】ある年、一年間。「変異」ひとつていーない。「類」ひとつてい。

ひとつに [hituni] 【名詞】[C] 朝まで起きることもなく眠ること (熟睡すること)。「例」あちやがみゃー ひとつに (あした (の朝) まで熟睡する)。「変異」ひとつにー。

ひとつにー [hituni:] 【名詞】朝まで起きることもなく眠ること (熟睡すること)。「変異」ひとつに。

ひとつぬ くとう あす [hitunu kutu asi] 【成句】[不規則] 他人の (世話、面倒) を見る。【例】ひとつぬくとう あっさ どうーぬ くとうあす (人のことをやる事は自分の事をやるのも同然だ [> 良いことをすると自分に返ってくる])。まーぬ ひとつぬ くとうーぎゃー あすな (あまり他人のことをするな [> 自分の (家庭の) ことをちゃんとしろ])。

ひとつぬ っさ あす [hitunussa asi] 【成句】[不規則] 人のうわさ話をする。【例】ひとつぬ っさ あっさ どうーぬ っさ あす (人の悪口を言う事は自分の悪口を言うようなものだ [> 全て自分に返ってくる])。【類】ひとつっさ。

ひとつぬ ばたう ふっず [hitunu batau fuzzi] 【成句】[zz/dd 語幹] 人の気に触ることを言う。

ひとつぬっさ [hitunussa] 【名詞】人の噂。【変異】ひとぬふさ。

ひとつばた [hitubata] 【名詞】時々、たま [「ん (に)」をつけて副詞として使う]。【例】ひとつばたぬ ゆくい (たまの休み)。ひとつばたんな くまんかいまい まーりーくー (たまにはここにも寄って来い)。ひとつばたんな あそーがまい いつ (たまには遊びにも行く)。

ひとつばたな一 [hitubatana:] 【名詞】時々、たま [「ん (に)」をつけて副詞として使う]。【類】ひとつばた。

ひとつはな [hituhana] 【名詞】一輪の花。【例】かまぬ やーぬ みなかぬ はなう ひとつはな どういくー (あそこの家の庭の花を一輪取ってこい)。まみがはな ひとつはなよ (豆の花一輪よ [古謡「豆が花」より])。

ひとつひやーい [hituça:i] 【名詞】一食分。【例】うさきがまひや やー

にんじゅぬ ひとつひやーいぬ たままい にやーん (これだけでは家族の一食分もない)。

ひとつひやーい [hituça:i] 【名詞】たま、ときどき、ひところ。【例】ひとつひやーいんな っぞう つーがまい いつぶすむぬ (たまには魚釣りにも行ってみたい)。ひとつひやーいんな でいぬ まうきたい (ひところは金を儲けた)。

ひとつひやうす [hituçausi] 【名詞】ある時、ある日 [副詞としても使える]。【例】かりやー ひとつひやうす うーっふいー すなっじやうたい (彼はおぼれて死にそうになったことがある)。【類】ひとついひやうす、ひやうす、ひやうな、ひとつひやうな。

ひとつひやうな [hituçauna] 【名詞】ある時、ある日 (副詞としても使える)。

ひとつびゅーい [hitubju:i] 【名詞】人が多くて気分が悪くなること、人酔い。【例】とーきよーんな あていひとつぬ ういかいば ひとつびゅーい あす (東京には人が多すぎて人酔いする)。

ひとつふあや [hitufaja] 【名詞】他人にたかって生きる人。【例】かりやー すかまうぎやー ほうん むいとうぬ ひとつふあや (彼は仕事をしないで人にたかって生きているやつだ)。

ひとつふい [hitufui] ①【名詞】偉ぶること、実際より自分をえらく見せること。【例】ひとつふいんまり（格好をつけるやつ）。まーぬ ひとつふいゆぎゃー あすな（あんまり格好つけるな）。②【形容詞】偉ぶる、実際より自分をえらく見せる。【例】からー むいとうぬ ひとつふい にんぎん（彼はとても虚勢をはるやつだ）。からー ばかかきゃー むいとう ひとつふいかたい（彼は若いときは格好ばかり付けていた）。

ひとつふりや [hitufurja]【名詞】偉ぶること、実際より自分をえらく見せること。

ひとつまた [hitumata]【名詞】ごく近く、一跨ぎ。【例】っさらー ひとつまた（平良はすぐ近くだ）。はわいたー ひや ひこーきひや ひとつまた（ハワイまでは飛行機で一跨ぎだ）。

ひとつみ [hitumi]【副詞】一緒に。【例】じょー っさらんかい ひとつみ いかでい（さあ、平良と一緒にしよう）。ほうからっさー なたとう ひとつみ（嬉しさは涙と一緒に）。うぬきやが ふたーいや いつまい ひとつみ（この二人はいつも一緒だ）。むぬーぎゃー やーにんじゅー ひとつみ ふあい（食事は、家族と一緒に食べなさい）。

ひとつむつき [hitumutsiki]【名詞】僅かの間。【例】うまぬ すかまうぎ

ゃー ひとつむつきんな あすどうす（この仕事はわずかの間にやってしまえる）。

ひとつむてい [hitumuti]【名詞】朝。【例】ひとつむていむぬ（朝ご飯）。[変異] すつむてい。

ひとつむてい [hitumuti]【名詞】朝、早朝。【例】ひとつむていぬ まみがはな（朝の豆の花 [古謡「豆が花」より]）。

ひとつむてい ゆさらび [hitumuti jusarabi]【成句】朝夕。【例】くまなぎゃー ひとつむてい ゆさらびゃー すだすむぬ（ここらへんは朝夕はずずしい）。ひとつむてい ゆさらび いんぬ はまう あいきーまーい（朝夕海浜を歩き回る）。

ひとつむとう [hitumutu]【名詞】一株。【例】ぎすっちゃ ひとつむとうからどう うさきなー うやいーゆーい（ススキは一株だけからこんなに増えているんです）。

ひとつん [hitun]【副詞】一度、一回。【例】かりゃー みーかん ひとつん くまんかい あそーが ふー（彼は3日に一度ここに遊びに来る）。

ひとつぬふさ [hitonufusa]【名詞】人の噂。【例】ひとつぬふさう あすていがー うながどうーんかいどう まーりーふー（人の悪い噂をすると自分自身にはねかえってくる）。ひとつぬ

ふさうぎゃー つかだうり (人の噂は聞くな)。ひとうぬ ふさうぎゃー ほうん (人の噂はしない)。^{〔変異〕} ひとうぬっさ。

ひない [hinai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] (物、生き物、人の数が) 減る、(腹が) 減る。【例】 ばが ばちゃみー あたい さきぬどう ひなりゆー (私が大事に取って置いた酒が減っている)。くぬいや みどりかいんかい ふー ひとうー ひなりーどうー (最近はみどりかいに来る人が減っている)。ばたー ひなりー やーすかいば ならん (腹が減ってしかたがない)。

ひなかい [hinakai] 【動詞】 [r/rr 語幹] (足を取られて、おされて) 倒れる、(驚いて) ひっくり返る。【例】 っさーきりー ひなかいたい (つまづいてこけた)。あてい うどうるっちゃーひー ひなかいりーにゃーん (余りにもびっくりしてひっくり返った)。^{〔変異〕} ひなかいー。

ひなじゃ [hinaza] 【名詞】 [C] へなへなした人、馬鹿な奴、仕事能力のあまりない人、差別的な使い方。【例】 おいすかまー ひらいん ひなじゃ (おい 仕事のできない奴)。

ひにー [hini:] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] (首、足首、手首などを) ひねる、(抜くために木の根などを) ねじる、(瓶のフタなどを取るために) ねじる。【例】 ばーんぬ はっじゃ ひにりー ない

ぎーどうーば いかいん (私は足をひねってびっこをひいているので行けない)。きーぬ にーゆ ひにりー、 うるー んず (木の根をねじって、それを抜く)。くびんぬ ふたー ひにりー はなす (瓶のフタをねじって開ける)。

びばくーす [bibaku:si] 【形容詞】 吐き気がする。【例】 っさりむぬー ふあいー びばくーすむぬ (腐った物を食べて吐き気がする)。びばくーすかいばならん (吐気がしてならない)。

びばつ [bibatsi] 【動詞】 [k 語幹] [C] (物を食べ過ぎて) 吐く、戻す。【例】 っさん さきぬんな ひー びばきーにゃー (分からないほど酒を飲んで戻した)。むぬーぎゃー びばつきゃたーひー ふあい (食べ物を吐くまで食べる)。^{〔変異〕} びばふ。

びばふ [bibafu] 【動詞】 [k 語幹] [C] (物を食べ過ぎて) 吐く、戻す。^{〔変異〕} びばつ。

びびやう [bibjau] 【動詞】 [vv 語幹幹] [C] 酸っぱくて歯に浸みる。【例】 そーうー ふにゆーや ふあいー はーや びびやういーどうーい (酸っぱいミカンを食べ歯に浸みている)。^{〔類〕} ひぎやう。

ひふ [hifu] ① 【動詞】 [k 語幹] [A] (ものを手前に) 引く、引っ張る；(草などを) 引き抜く；(くじを) 引く。^{〔変異〕} ひつ。② 【動詞】 [k 語幹] [A] (食べた

後の食器などを) 引く、(食べものの恵みを) 減らす [神事のことば]。[変異] ひつ。③【動詞】[k 語幹] [A] (潮が) 引く。[変異] ひつ。

ひふ [hifu] 【動詞】[k 語幹] [A] (楽器を) 弾く、(風邪を) ひく、(最盛期が) すぎる。 [変異] ひつ。

ひふ [hifu] 【動詞】[k 語幹] [A] (むしろや布団を) 敷く。 [変異] ひつ。

ひふ [hifu] 【動詞】[k 語幹] [A] (屁を) ひる。 [変異] ひつ。

ひふ [hifu] 【動詞】[k 語幹] [A] (食事の量などが) 減る。 [変異] ひつ。

びふ [bifu] 【動詞】[k 語幹] [A] 賭け、遊びで相手の物品等をせしめる。【例】でいんぬ びふ (金をせしめる)。かにふっじゅ びふ (釘をせしめる)。めんこー びふ (メンコをせしめる)。[変異] びつ。

びふっじゃ [bifuzza] 【名詞】人の気に触ることを言う人。【例】かりゃーむいとうぬ びふっじゃ やいば、かいが ふーていがー いつまい あうやー (彼は人の気に触ることを言うので、彼が来るといつも喧嘩だ)。

ひむ [himu] 【名詞】[A] 干ばつ。【例】くじゅぬ ひむんな ன்னない むいとう やーっさ あすたい (去年の干ばつではみんなとても飢えに苦しんだ)。ひむーひー ぶーっじゃ さりー は

りーにゃーん (早魃でサトウキビは枯れてしまった)。[類] ひゃーい。

ひゃー [ɕa:] ①【形容詞】[B] 速い、早い。【例】ひゃーにゃーんな かいが どう んながーな ひゃーかい (かけっこでは彼が一番早い)。ひゃー ぶじやがま (競争の速いおじさん)。みんびゃー (早耳)。[類] はー。②【副詞】速く、早く; すでに、早々と。[類] ひゃーひー、はーひー。

ひゃー [ɕa:] 【名詞】[C] 『蔑称』「人」の卑称、野郎。【例】くぬ ひゃーゆぎゃー ゆらはん (こいつは許せない)。かぬ ひゃーや ひんぎー はりーにゃーん (あいつは逃げちゃった)。くぬ びきどうんひゃーたー なうまい ひらいん (この男連中はなにもできない)。

ひゃー [ɕa:] 【名詞】[C] 昔、以前。【例】ひゃーぬ はなす (もう済んだ話)。

びゃー [bja:] 【助詞】『終助詞』文について話者の疑念を表す、「かな」「かしら」; 名詞について様々な場合に当てはまることをを表す、「～でも～でも」。【例】あいびゃー (そうかしら)。あいびゃー、いー (そうなんですかねえ)。[類] びゃーい、びゃーん。

ひゃーい [ɕai] 【名詞】[A] 干ばつ。【例】くとうっさ あみまい つふあん ひゃーいたーな やいば やーそ うんどう ないぎかい (今年は雨も降

らない日照りばかりで、飢饉になりそうだ)。ひゃーいな ぶーずまい さりどうす (早魃にはサトウキビも枯れる)。なつぬ ひゃーい (夏の早魃)。[類] ひむ。

ひゃーい [çai:] 【接尾辞】助数詞、数詞について食を数えるのに使う。【例】ひとつ ひゃーいが たま (一食分)。つづあから かうたい わーや いふ ひゃーいまい ふあーいどう うたい (あなたから買った豚は何食でも食べられる)。

びゃーい [bjai:] 【助詞】『終助詞』文について話者の疑念を表す、「かな」「かしら」; 名詞について様々な場合に当てはまることをを表す、「～でも～でも」。【例】あいびゃーい (そうかしら)。[類] びゃー、びゃーん。

びゃーき [bjaki:] 【名詞】[A] (ちから) いっぱい。思い切り。【例】たやびゃーき なっじゅり (力いっぱい殴れ)。

ひゃーくいち [ça:kuitçi] 【名詞】百に一つしか本当のことを言わない人、ほら吹き。

ひゃーさ [çasa:] 【名詞】[C] 速さ、早さ。 [変異] はーさ。

ひゃーさにゃー [ça:sanja:] 【名詞】かけっこ、徒競走。【例】ひゃーさにゃーゆ あす (かけっこをする)。[変異] はーさにゃー。

ひゃーす [çasi:] 【動詞】[s/h 語幹] [C] はやしたてる、おだてる。【例】ひゃーひー ぶどうらし (おだてて踊らせる)。ぶどうりていー ひゃーす (踊れとせかす)。[変異] ぴゃーす。

ぴゃーす [pjasi:] 【動詞】[s/h 語幹] [C] はやしたてる、おだてる。 [変異] ひゃーす。

ひゃーひー [çahi:] 【副詞】(朝) はやくに、とうに、さっき、早い時分。【例】ひゃーひー ったんまー (早く来たら (良かったのに))。ひとつむてい ひゃーひー くー (朝早く来い)。

ひゃーひー [çahi:] 【名詞】早朝、速く、以前。【例】ていだぬ いでいだういきゃ ひゃーひーん いんかいや いかでい (太陽が出ない中、朝早く海に行こう)。むぬーぎゃー ひゃーひーん ふあい (飯は急いで食べなさい)。からー あいぬ くとうー ひゃーひーから あっじゅーたい (彼はそんなことを以前から言っていた)。[変異] はーひー。[類] ひゃー、はー。

ひゃーまい [çamai:] 【動詞】[r/rr 語幹] (日取りなどが) 早まる。【例】こんげつぬ みどりかいや とうか ひゃーまいたい (今月のみどり会は10日早まった)。すかまうぎゃー んめひー ひゃーまらし (仕事はもっと早ませ)。ひゃーまり ふあい (早く食べる)。

ひゃーん [çan:] 【副詞】すでに、早々と。【例】からー ひゃーん っさら

んかい はりーにやーん (彼はもう平良に行った)。
[変異] は一。

びやーん [bjɑ:n] 【助詞】『終助詞』文について話者の疑念を表す、「かな」「かしら」；名詞について様々な場合に当てはまることを表す、「～でも～でも」。
【例】あいびやーん (そうかしら)。あいびやーん、いー (そうなんですかねえ)。
[類] びやー、びやーい。

ひやーんつ [çɑ:ntsi] 【名詞】下り坂
[<ひやー (早い) +んつ (道)]。

ひやうす [çausi] 【名詞】[C] たま、
[「～ん (に)」を伴って副詞として用いられる、たまに、ときどき]。
【例】きゅーや ひやうすぬ ゆくい やいばよーんな にっぐい うらでい (今日はたまの休みなので、ゆっくり寝よう)。ひやうすんな んまむぬーまい ふあう (たまにはご馳走もする)。ひやうすんな うつなーゆまい いきーみーだかーならん (たまには沖縄本島も行ってみないとならない)。ひやうすんな ばがまいんかいまい まーりってい あすび (たまにはうちにも来て遊べ)。ひやうすんな えいがうまい みーが いつ (たまには映画も観に行く)。

ひやうな [çauna] 【名詞】[C] たま、
[「～ん (に)」を伴って副詞として用いられる、たまに、ときどき]。 [類] ひやうす。

ひやうな [çauna] 【名詞】[C] 海の深いところ、外海。 【例】ぶらぬ あらひやうな (保良の東平安名崎の波の荒い外海)。きゅーや かまぬ ひやうなんきー っぞうー っちーくーでい (今日は例の外海に行つて魚を釣りに行つてこよう)。

ひやつき [çakki] 【名詞】[C] 100斤 (60キログラム)。 【例】っぞうー ひやつき がにどうったい (魚を100斤網で取つてきた)。

ひゅーい [çu:i] 【名詞】[B] 祭日 (御嶽の祭事、正月等)、(陰暦の) 日取りを計算すること。 【例】くとうすぬ みやーくずつぬ ひゅーいゆ とうい (今年のミャークズツの日取りを決める)。

びゅーい [bjui:] ① 【動詞】[母音語幹]
[C] 酔っぱらう。 【例】びゅーいー まーっさ ん[°]まだ あいきゅー (酔つてふらついて歩いている)。さきやーあてい ぬんなひどう びゅーいーにやーん (酒を飲み過ぎて酔っぱらってしまった)。たーくん なりー びゅーい (ぐでんぐでんに酔う)。ばーんなーぎやー びゅーいや うらん (私はまだ酔っぱらってはいない)。びゅーい びやー びとう (酔いの早い人)。びゅーいやす ひとつ (酔いやすい人)。
② 【動詞】[母音語幹] [C] (腐つた魚や肉で) 食あたりを起こす。 【例】あかいらうっちゃ ふあいどう びゅーいーゆー (ビブダイを食べて食あたりして

いる)。③【名詞】[C] 酔うこと。【例】さきびゅーい（酒に酔うこと）。ひとつびゅーい（人混みに酔うこと）。なまびゅーい（ほろ酔い）。びゅーい ひとつ（酔っぱらい）。

びゅーいがっさ [bju:igassa] 【名詞】『植』クワズイモ。【例】びゅーいがっさー ふあーいん（クワズイモは食えない）。[類] びびーがっさ。

ひゅーいとういんま [çu:ituumma] 【名詞】『祭礼』祭事の日取りとるおばあさん。

ひら [hira] 【名詞】[C] 『道具』芋等を植える農機具、籠（へら）。【例】ひらひー んーぬ いびー（へらで芋を植える）。

ひらい [hirai] 【動詞】[母音語幹] [C] あす（する）の可能形、できる。【例】ほうりむぬんな ほうりむぬぬ まーびゃー ひらいん（馬鹿は馬鹿のまねはできない）。つづあとうや ひとつみひらいどうす（お前とは一緒に（仕事）ができる）。ぎっじゃ ひらいん ぎずぎやうな やらび（手に負えない腕白坊主）。

ひらい [hirai] 【名詞】[C] 交際のための贈り物、つけとどけ。【例】やくにんかいや まーぬ ひらい あすな（役人にはあまり付け届けをするな）。ひとつびらい（知り合いに贈り物をする事）。どうすびらい（ともだちとの贈り

物の交換）。ういびらい（上司などへの贈り物）。どうすびらいや ひとつ どうすんかい さきゃー むちいきーぬますたい（友達との交際のために酒を持って行って飲ませた）。[類] ていだい。

ひらいがにゃーん [hiraiganja:n] 【成句】できる限り、（無理をせず）できる範囲内で。【例】ひらいがにゃーん どう あす（できる範囲内でやる）。

びらう [birau] 【動詞】[w 語幹] [C] お世辞を言う、へつらう；（わいろを）わたす。【例】からー いつまい しーしーんかい びらう（あいつはいつも先生にお世辞を言う）。せいじかんかい びらいゆ びらいー きーひつん かつみらいにゃーん（政治家にわいろを渡して警察につかまってしまった）。

びらかす [birakasi] 【動詞】[s/h 語幹]（指、手、扇、股、包みなど、折ったり、たたんであるものを）開く、広げる、開ける。【例】うゆびゅー びらかし（指を開け）。たろーが じろーんかい っぞうぬ ばたう びらかすたい（太郎が次郎に魚のはらわたを取らせた）。[変異] びだかす。[類] あうばだかす、びらつ。

びらつ [biratsi] 【動詞】[k 語幹] [A]（指、手、扇、股、包みなど、折ったり、たたんであるものを）開く、広げる、開ける。（本、箱など閉じてあるものを）開ける。【例】ほうんぬ びらき（本

を開け)。はくー びらきー なかう
みーみーる (箱を開けてなかをみる)。
にぐーや ふっちゃ びらきーどうー
(シャコガイが口を開けている)。**[変異]**
びらふ、びだつ、びだふ。**[類]** びらかす。

びらふ [birafu] **【名詞】** [C] (キャン
と言う蔓草 (つるくさ) の芯で作られ
た) 籠 (かご)。【例】びらふー うま
んかい かきる (ビラフ籠をそこに掛
ける)。いんかい むちーいつ びらふ
ーぎゃー うきやんひどう ちゅっふ
いー うたい (海に持って行くビラフ
籠をウキャンで作っていた)。

びらふ [birafu] **【動詞】** [k 語幹] [A]
(指、手、扇、股、包みなど、折ったり、
たたんであるものを) 開く、広げる、開
ける。(本、箱など閉じてあるものを)
開ける。【変異】びらふ、びだつ、び
だふ。**[類]** びらかす。

びり [biri] **【名詞】** [C] 最下位、ビリ、ビ
リの人。【例】つうあんな びりどう
んびやう (お前は最下位しかできな
い)。びりゃー くまんかい くー (ビ
リはここに来い)。

ひるます [hirumasi] **【形容詞】** 変だ、
不思議だ、(人に関して) 変わった。
【例】ゆびゃー みーや みーん ひる
ます ゆみゆー みーたい (昨夜は見
たこともない不思議な夢を見た)。ひる
ますむぬ、 でいんぬ にゃーんふ
ないびゃーさぬ (不思議だなあ、すぐ
にお金がなくなる)。ひるますむぬ、す

まほぬ どうみらいん (変だな、スマ
ホが見つからない)。やーにんじゅぬ
なかんな くいがどう んながーんな
ひるますかい (家族の中では彼が一
番変人だ)。

ひるます [hirumasi] **【形容詞】** ありが
たい、欲しい、大切だ。【例】かぬとう
きやん つうあが でいんぬ かしー
ふいー あたいば、やぐみ ひるます
ほうからすむぬ あたい (あの時は、
あなたがお金を貸してくれたので、と
てもありがたくて、うれしかった)。う
いが なうばい たかだいむぬ やら
ばんまい ばー ひるますっふあにゃ
ーん (これがどんなに高いものだとし
ても、私は何とも思わない)。

ひろし [hiroci] **【名詞】** [A] **【魚】** ナポ
レオンフィシュ。【例】ひろしっぞう
(ひろし)。

ひんぎ [hingi] **【動詞】** [母音語幹] [C]
逃げる。【類】ひんず。

ひんじや [hinza] **【名詞】** [C] やぎ。
【例】ひんじやぬ やー (山羊小屋)。

ひんず [hinzi] **【動詞】** [g 語幹] [C]
逃げる。【例】うぬ ぎずぎやうな
やらびゆー ひんぎや はらん やう
んていー んつみゆーき (この言うこ
とを聞かない子供を逃げていかないよ
うにおさえておけ)。ぶーっじゃ ぬす
みー ひんず (サトウキビを盗んで逃
げる)。ぬーまー ひんがひーにゃーん
(馬を逃がしてしまった)。**[類]** ひんぎ。

ひんそうー [hinsu:] 【形容詞】貧乏だ、貧相だ。【例】ひんそうーかいばつふあんみやー うむくとうまい あいそうが がっこうまい いだはいん（貧乏だから子供たちは頭も良いが学校も行かせられない）。かりやー ひんそうーないぎ ほうーそうが やぐみうやきびどう（彼は貧乏そうに見えるが、（本当は）とても金持ちだ）。[類] きばん。

ひんた [hinta] 【形容詞】[C] 役に立たない（もの、ひと）。【例】ひんたびきどうん（なんの役にも立たない男）。ひんた むぬがま（何の役にも立たない物）。ひんた かんがい（役に立たない考え）。からー むいとうぬ ひんた（あいつは全く役に立たないやつだ）。[類] ひんだぐー。

ひんたぐー [hintagu:] 【形容詞】役に立たない（もの、ひと）。[類] ひ

んた。

ひんたら [hintara] 【形容詞】駄目な。【例】ひんたらむぬーぎやー てっづやがらーひー すている（駄目なものは捨てなさい）。

びんだらい [bindarai] 【形容詞】洗面器。【例】びんだらいんかい みっじゃ いりー みはなう すみー（洗面器に水を入れて顔を洗う）。

ひんな [hinna] 【形容詞】[A] 変な、不思議な。【例】うらー まーだー ひんなむぬ（それはちょっと変なもの）。なま ひんな（ちょっと変だ）。ひんなむぬ うぬ やらびやー うまん あすびー うたいそうがどう とうみらいん（へんだなあ、あの子はそこで遊んでいたけど、見つからない）。

ぴんふ [pinfu] 【名詞】[B] 《地名》西原の北東にある山。

ふ

ふー [fu:] 【動詞】 [不規則] [C] 来る、(聞き手のところに) 行く [否定形: 「くーん」、連用形: 「ってい、っち」、過去形: 「ったい」 命令形: 「くー」。 【例】 かいがどう うつなーから ふー (彼が沖縄から来る)。ばー んなまから っづあがまいんかい くーでい (僕はお前のところに行くよ [く来るよ])。はやまり ばがまいんかい あそーが くー (早くうちに遊びに来い)。んなまどう ったい ((私は) 帰ったよ [= ただいま])。みどうんぬ ふー むぬー まつ (妻が帰るのを待つ)。

ふー [fu:] 【補助動詞】 (動詞連用形について、話し手や視点のある方に動作が向かう; 本来の場所に戻ることを示す) ~てくる。 【例】 あまいなうぬ いんかい うりー ふー (竜巻が海におりてくる)。あみぬ ふいー ったい (雨が降ってきた)。むどっり ったい (戻ってきた)。いきー くーでい (行ってくるよ)。

ふー [fu:] 【動詞】 [f/ff 語幹] [C] (雨が) 降る。 【例】 あちゃー あみぬど う ふーはず (明日は雨が降るだろう)。

ゆびゃー あみぬ ふーたいちゃ (昨夜は雨がふったって)。ひーまから あみぬ ふーぶすぎむぬ (昼から雨が降りそうだ)。やぐみ ほうすず あみぬ っふゆー (とても大粒の雨が降っている)。

ふー [fu:] 【動詞】 [f/ff 語幹] [A] (窓、ドア、箱などを) 閉める、(窓、ドア、箱などが) 閉まる、(栓、フタなどを) する、(栓、フタなどが) 閉まる。 【例】 やどうー ふー (戸、窓を閉める)。はくー ふー (箱を閉める)。くぬ くびんぬ ふたー ばぬんな っふあいん (この瓶の栓は私には閉められない)。みーつむぬー はいりー みーや っふあいん (目にゴミが入って目が閉じられない)。

ふー [fu:] 【動詞】 [f/ff 語幹] [C] (人や動物が歯で) 噛む、(魚がエサに) 食いつく; (蚊や蜂が) さす。 【例】 かりゃー なうちゃーにゃー すばー っふいどう つむでいーうたい (彼は突然理由もなく唇をかんでおこっていた)。ひとー ふー いん (人をかむ犬)。がばういびとー ずーや っ

ふいーどうーい (古老は腰が曲がって頭は地面に着くほどだ [< 古老は地面に噛みついている])。っぞうぬどう
びじゅー っふいーうい (魚が餌を食っている)。っぞうぬどう つーゆ っ
ふゆー (魚が釣り針を食っている)。か
じゃん っふあいーにやーん (蚊に刺されてしまった)。[類] かん。

ふー [fu:] 【名詞】 [C] 運。【例】 やぐ
み ふー あい ひとつ (とても運の
良い人)。やらびやー ふーや にやー
だ すにーはりーにやーん (子供は運
がなく死んで行ってしまった)。きゅー
や ふーや にやーだんががら いす
ぱぎ あたい (今日は運がなかったの
か不漁だった)。

ぶー [bu:] 【名詞】 [C] 隅。【例】 っし
ぬ ぶー (リーフのはしのところ)。た
むぬー なかじゃぬ ぶーん うっき
(薪は台所の隅に置きなさい)。じゃー
ぬ ぶー (広場のはし)。かふーぬ ぶ
ー (家庭菜園 [家の後ろにある畑] のは
し)。

ぶー [bu:] 【名詞】 [B] 『植』 苧麻 (ちょ
ま) [宮古上布の糸の材料]。【例】 ぶ
ーずん (苧麻でできた着物)。ぶーずん
ぬ つー (宮古上布の着物を着る)。ぶ
ー ン°ん (苧麻の糸を紡ぐ)。[類] ぶ
ばい。

ぶー [bu:] 【名詞】 [C] (下駄の) 緒、紐、
ロープ。【例】 あっちゃぬ ぶー (鼻

緒)。くばずーぬ ぶー (釣瓶の綱)。あ
んかーぬ ぶー (イカリのロープ)。

ぶーうー [bu:u:] 【動詞】 [vv 語幹幹]
播さぶる、振り回す。【例】 やらび
あいきや ぬーまん っふあいー ぶ
ーっづあいたい (こどものころ馬に噛
まれて振り回された)。

ふーき [fu:ki] 【形容詞】 [B] 大げさだ。
【例】 ふーき んまり (大げさな奴)。
かりやー いつまい ふーきかいば
かいが むぬいゆぎやー つかだうり
(あいつはいつも大げさだからあいつの
言うことは聞くな)。

ぶーず [bu:zi] 【名詞】 [C] サトウキ
ビ。【例】 あずま ぶーず (甘いサト
ウキビ)。ほうすず ぶーず (太い茎の
サトウキビ)。ながすず ぶーず (長い
茎のサトウキビ)。ぶーっじゅ ゆつひ
ー ぶりー たうす (サトウキビを手
斧で切り倒して収穫する)。ぶーずぬ
からがいゆ ほうだかーならん (サト
ウキビの手入れをしないといけない)。

ぶーずがら [bu:zigara] 【名詞】 サト
ウキビの収穫後の枯れた葉っぱや茎な
ど。【例】 きゅーや ぶーずがら む
ーはでい (今日はサトウキビの枯葉を
燃やします)。

ふーずき [fu:ziki] 【名詞】 ほおずき。
[類] ふーずきばらん。

ふーずきばらん [fu:zikibaran] 【名
詞】 ほおずき。【例】 ふーずきばらんぬ

んたう (ほおずきをいじくる)。[類]
ぶーずき。

ぶーずぐる [bu:ziguru] 【名詞】サト
ウキビの莖。【例】ぶーずぬ さり
ぐる (サトウキビの枯れた莖)。

ぶーずすず [bu:zisizi] 【名詞】さと
うきびの莖。

ぶーずたうす [bu:zitausei] 【名詞】サ
トウキビ収穫。【例】ぶーずたうすぬ
ん[°]なう なう (サトウキビ収穫用の
縄をなう)。[類] ぶーずぶい。

ぶーずなか [bu:zinaka] 【名詞】サト
ウキビ畑の中。【例】ぶーずなかんど
う はうぬ うたい (サトウキビ畑に
へびがいた)。

ぶーずぬ さに [bu:zinu sani] 【成
句】サトウキビの莖を植えるために切
ったもの。【例】ぶーずぬ さに と
うい (サトウキビの種取り (サトウキ
ビの莖を植用に 25 cmに切ること))。

ぶーずぬ はーがら [bu:zinu
ha:gara] 【成句】サトウキビの枯れた葉。
【例】つうあー ぶーずぬ はーがら
とう ぐー (お前はサトウキビの枯れ
た葉と同じようなものだ [>お前は何
の役にも立たない奴だ])。

ぶーずぬすどう [bu:zinusidu] 【名
詞】サトウキビ泥棒。

ぶーずぶい [bu:zibui] 【名詞】サト
ウキビ収穫。[類] ぶーずたうす。

ぶーずん [bu:zin] 【名詞】宮古上布。
【例】ぶーずんな つうあんかいや は
いどうす (宮古上布の着物はあなたに
は似合う)。

ぶーた [bu:ta] 【名詞】[C]『魚』アオ
ブダイの一種、大型の高級魚。【例】ぶ
ーたなます (ぶーたのさし身 [御嶽の
女性たちが芋の葉のあえものを「ぶ
ーたなます」といって食べた])。

ふーたい [fu:tai] 【名詞】計量する
ときの本体以外の容器、袋など (の重さ)
のこと、サトウキビなら葉や土の部分、
体重なら服などの重さ。【例】はかり
ゃー んぶさから ふーたいゆ ひつ
(測った重さから容器などの重さを引
く)。ぼが んぶっさー ふーたいゆ
ひきー 90キロ (私の体重は服などを
引いて 90キロだ)。つうあどうが ぶ
ーずぬ ふーたいや いかっさばかー
い あた (お前たちのサトウキビの風
袋 (全体から不要部分として引かれた
部分) はどれくらいだった)。

ぶーつ [bu:tsi] 【動詞】[k 語幹] [A]
すすぐ。【例】つんぬ ぶーつ (着物
をすすぐ)。[変異] ぶーふ。

ぶーつづあす [bu:vvasi] 【動詞】[s/h
語幹] (木などを) 揺さぶる、(言うこと
を聞かせるため、正気にもどすため人
を) 揺する。【例】きーぬ ないゆ
ぶーつづあひー うたし (木の実を揺
さぶって落とせ)。あいや あらんてい
ー やらびゆー ぶーつづあひー む

ぬいゆ つかす (そうじゃないと子供 (のからだ) を揺すって言うことを聞かせる)。

ぶーとうい [bu:tui] 【名詞】『祭礼』
五穀豊穰の祈願、ミヤークツツの二日目、ナナムイのおじーたちが旗に神様からの果報を持ってきて、一般の人が旗を触って神様から果報をいただくこと。【例】ないかにから ぶーとういゆ あす (ナイカニ神 (農業の神様) から五穀豊穰の果報を頂く)。

ぶーない [bu:nai] 【名詞】(否定を伴って) 微動 (だに～ない)。【例】こんくりやーや がばー ないんまい ぶーないや とうんま ほうん (コンクリートの家は大地震でもびくともしない)。[類] びーない。

ぶーない [bu:nai] 【副詞】微動だに (にしない)。[変異] ぶいない。

ぶーふ [bu:fu] 【動詞】[k 語幹] [A] すぐ。[変異] ぶーつ。

ふーふつ [fu:futsi] 【名詞】(人が近く) 気配、(足音などでわかる) 帰ってきた気配。【例】からー はずならーにやーんば かいが ふーふっちゃ っさいん (彼は足音を立てないので彼が帰ってきたかどうかわからない)。ういが ふーふっちゃ はずならひー っさいどうす (彼が来るときは足音でわかる)。

ぶーや とうい [bu:ja tui] 【成句】
奥の小部屋に閉じこもること。【例】
ばーや ういびとう なりー ぶーや
とうい うたい (おばあさんは年取って (病弱になり) 奥の小部屋に閉じこもっていた)。[類] ぶーゆとうい。

ぶーら [bu:ra] 【名詞】[C] 年の近いもの。[変異] ぶーりや。

ぶーりや [bu:rja] 【名詞】[C] 年の近いもの。【例】ぶーりやたが うぐな
ーい (年の近い者同士の集まり)。[変異] ぶーら。

ふあーす [fa:si] 【動詞】[s/h 語幹] [A]
(手で) 殴る、(かかとを) ぶつける、(石などを) ぶつける。【例】みんたっづ
あう じゃらてい ふあーし (耳の周囲を (平手で) ばしっと叩け)。まーま
う がんまていー ふあーす (げんこ
つをガッチンとくらわす)。あどうぐる
ー ふあーす (かかと落としを食らわ
せる)。うーつつひー いっそう ふあ
ーし (ハンマーで石を叩け)。

ふあーす [fa:si] 【動詞】[s/h 語幹] [A]
穴を埋める、(失敗などの) 穴埋めをす
る。[類] っふあす。

ふあーず [fa:zi] 【動詞】[g 語幹] [A]
(他人の悪口を) 言って回る。【例】ひ
とうー ふあーず (人の悪口をいいふ
らす)。[変異] ふあやず。

ふあーんふい ななまかい
[fa:nfui nanamakai] 【成句】食べない振

りして沢山食べる人。【例】ばー はらっぱいてい あっじー あとぅん っさん ふいやひー いかっさまい ふぁう ひとうーうどう ふぁーん ふい なな まかいていー あい (私はお腹一杯と言って後でこっそりといくらでも食べる人を「食べない振り七お椀」と言う)。からー むいとうぬ ふぁーんふい ななまかい (彼は食べてないふりをして大食らいする)。

ふぁいでいむぬ [faidimunu] 【名詞】 食べでがあること。

ふぁいはなつ [faipanatsi] 【動詞】 食う [「ふぁい」より下品な言い方]。

ふぁう [fau] ①【動詞】 [w 語幹] [A] 食べる。【例】あしゅー ふぁう (朝ご飯を食べる)。んなーぎゃー ひーまむぬ ふぁーん (まだ昼飯は食べていない)。まくがんぬぎゃー ふぁいや みーん (ヤシガニは食べたことがない)。うっじゅぎゃー ふぁいみーみーだ (ウツボは食べたことあるかい)。うらー ばが ふぁうぬ むちゃー にゃーん (それは私の食べる分はない [私の取り分はない]、それは私の食べる分としては十分ではない [私が全部食べたい])。ふぁうがまい (食べ飽きる)。ふぁうあまらす (食べ残す)。ふぁうはっじゃつ (食べ損ねる)。ふぁいでいむぬ (食いである)。わーや あてい ふぁうや ひー みーがまいまい ひーどうー (豚肉は食べ過ぎて、見飽きもしている)。

②【動詞】 [w 語幹] [A] 生活する、生きる、食っていく。【例】きゅーまい すかまー ひー ふぁーだかー ならん (今日も仕事して生きないとならない)。あいぬ くー かまらす ゆーゆぎゃー ふぁーん (こんなに苦しくて悲しい世は生きたくない)。あいや ふぁーいん (そんなふうには生きていけない)。③【動詞】 [w 語幹] [A] する、やる。【例】なうす ふぁーっでいどう あいぬ くとぅ ほうー (何のためにそんなことをするのか)。なうす ふぁーっじゃーにゃーだ あいぬ いたらん くとうーぎゃー ほうん (何のつもりなのかあんなつまらないことはしない)。④【動詞】 [w 語幹] [A] (人を) だます。【例】かいん ふぁーいーにゃーん (かれにだまされた)。⑤【動詞】 [w 語幹] [A] 浪費する。【例】あいていがー あいだき ふぁうどうす (あったらあったで浪費する)。⑥【補助動詞】 [w 語幹] (動詞連用形について、完了の強調を表す、失敗等のニュアンスが濃い、必ずそうとは限らない。)～てしまう [無意志の自動詞には使えないか不自然、その場合は「ふぁーいーにゃーん」を使う]。【例】やーゆ っづい ふぁいにゃーん (家を売ってしまった)。ったつきゃー なきー ふぁいにゃーん (叩いたら泣いてしまった)。やーや っちゅりー ふぁーいにゃーん (家は壊れてしまった)。やーゆ っちゅらひー ふぁいにゃーん (家を壊してしまった)。からー ぬどうー ふ

っでいー すにー ふあーいにやーん
(彼は首をくくって死んでしまった)。

ふあうがしー [faugaçi:] 【成句】(家の修理の時などに) 本当に手伝うのではなく、食事に参加し手伝っているのだとすること(あるいは言うこと)。

ふあうふー [faufu:] 【名詞】食事中や、宴会などに出会って食事をもらうこと、食べ福、食事運。

ふあうふつ [faufutsi] 【名詞】食べる口(食うに困らないこと)、仕事。【例】きゅーまい ふあうふっちや にやーん(今日も仕事はない)。にんぎんぬ っふあー ふあうふっちや ありどうん まりーふー(人間の子供は食うことに困らないように生まれてくる[>人間は助けあって生きていく])。[類] ふあいふつ。

ふあうむぬ [faumunu] 【名詞】食べ物。【例】きゅーまい ふあうむぬー にやーん(今日も食べ物がない)。

ふあや [faja] 【名詞】[C](接尾辞的に)~を食うひとやもの、~を消費するひとやもの。【例】くぬ くるまー やぐみ あっづあふあや(この車は燃費が悪い)。びきどうん ふあや(男を駄目にする女)。ひとふあや(詐欺師)。でいんふあや(お金を浪費する人、(維持や所有に)お金がかかるもの)。やーふあや(家を食潰す人)。

ふあやず [fajazi] 【動詞】[g 語幹][A](他人の悪口を)言って回る。[変異] ふあーず。[類] ふやず。

ふい [fui] 【動詞】[r/rr 語幹][C] 振る。【例】んばていー かなまいゆ ふりー にやーん(いやだと首を振った)。はたう ふり(旗を振れ)。ていーゆ ふい(手を振る)。

ふい [fui] 【接尾辞】動詞の基本形について、その動作をするふりをする、~ふり。【例】にゆうふい(眠っているふり)。なつふい(うそなき)。うむくと う あい ふい(頭の良さそうなふり)。でいん あいぎ ふい(お金がありそうなふり)。かりゅーぎやー っさん ふい あっそう(彼のことは知らないふりをしなさい)。うむっしふあにやーん はなす あたいそうが ばー ばらうふい ほうーたい(面白くない話だったが私は笑うふりをした)。ばーすかまんかい いつふい あすたいそうが いかっだん(私は仕事に行くようなふりをしたが行かなかった)。

ふいー [fi:] ① 【動詞】[母音語幹][A](動植物に餌、水などを)与える；(話者が聞き手や第三者にものを)やる、あげる；(聞き手や第三者が話し手およびその身内にものを)くれる。【例】がうらんかい みずまい ふいー っふあ いまい ふいー(ニガウリに水もまき、肥料も入れる)。ひんじゃん っさう ふいー(山羊に草をやる)。うるーぎや

ー つうあん ふいでい (これをお前にやろう)。うるーぎゃー ばぬんかい ふいーさまでい (これを私に下さい)。かいがどう ばぬん でいんぬ ふいーたい (彼が私にお金をくれた)。そうるいどう かぎさ やいば むぬーぎゃー ひとつみ ふいーる (みんなが集まる方が楽しいから食事は一緒に食べるようにさせてくれ)。②【動詞】[母音語幹][A] (父親などが聞き手や第三者に娘を) 嫁にやる、(父親などが話し手およびその身内に娘を) 嫁にくれる。【例】ばが みどうんつうあうぎゃー つうあがまんかいや ふいーじゃーん (私の娘はお前なんかにはやらない)。つうあが つふあう ばぬん ふいーる (あなたの娘を私にくれ)。③【補助動詞】[母音語幹][A] (動詞連用形について、話者が聞き手や第三者に)~てやる、~てあげる；(動詞連用形について、聞き手が、第三者や話し手およびその身内に)~てくれる。【例】ぶじゃー ばぬん でいんぬ かしーふいーたい (おじさんは私にお金をかしてくれた)。やらびん つぞうぬ ほうにゃー とうい ふいー (子供に魚の骨を取ってあげる)。

ぶい [bui] ①【動詞】[母音語幹][C] (犬などが) 吠える。【例】いんぬ ぶいーゆー (犬が吠えている)。②【動詞】[母音語幹][C] 口うるさく言う。【例】まーぬ ぶいな (あんまり文句を言うな)。

ぶい [bui] ①【動詞】[r/rr 語幹][C] (木の枝などをわざと) 折る；(事故などで足などを) 折ってしまう；(釘や針金を) 折り曲げる；(立っている木や植物をなたなどで) 切り倒す、またそのようにして(サトウキビなどを) 収穫する。【例】まつぎーぬ ゆだう ぶいていがー だみ (松の木の枝を折ったらだめだ)。はずぬ ほうにゆー ぶりーにゃーん (足の骨を折ってしまった)。かにふっじゅ ぶい (釘を曲げる)。ぶーっじゅ ゆつひー ぶい (サトウキビを手斧で切り倒す)。[類] ぶり (母音語幹)。②【動詞】[r/rr 語幹][C] (骨が) 折れる、(紙が) 折れる、(釘や針金が) 折り曲がる、(腰が) 曲がる。【例】はずぬ ほうにぬ ぶりーにゃーん (足の骨が折れた)。かでいふつん ぶーっじゃ ぶりーにゃーん (台風でサトウキビが折れた)。くーぶり ういびとう (腰の曲がった年寄り)。[類] ぶり (母音語幹)。③【動詞】[r/rr 語幹][C] (着物などを) 折りたたむ、(紙を) 折る。【例】つんぬ きつぎんてい ぶい (着物をきれいに折りたたむ)。かびーゆ ぶりー つるー ちゅふー (紙を折ってつるを作る)。[類] ぶり (母音語幹)。④【動詞】[r/rr 語幹][C] (神から) もらう、奉(うけたまわ)る、頂く(敬語形)。

ぶい [bui] ①【動詞】[母音語幹][C] (神から) もらう、奉(うけたまわ)る、頂く(敬語形)、(給金などを) もらう、(命を) 助けられる。【例】きゅーや あみ

やー ぶいー ぶーずまい ういなう
い あすどうす (今日は (めぐみの) 雨
を得て、サトウキビもまたちゃんとそ
だつだろう)。ばー すかまんきー で
いんぬ ぶいくーでい (私は仕事に行
って、お金をかせいで来よう)。かんが
なすから くがにゆー ぶいたい (神
様から子供をさずかった)。かいが う
ぶき んぬちちゆ ぶいたい (彼のお
かげで命を救われた)。[類] ぶい (r/rr
語幹)。

ぶい [bui] 【名詞】 [C] 着物の幾何学模
様。

ぶいたが ぶいた [buitaga buita]
【副詞】 ぶつぶつと (文句をいう)。【例】
うぬ さきぬみやー びゆーいどう
ぶいたがぶいたていー ぶいたみきゆ
ーい (その酒飲みは酔っぱらって、ぶ
つくさ文句を言っていた)。

ぶいたみつ [buitamitsi] 【動詞】 [k
語幹] ぶつぶつ文句をいう。 [変異]
ぶいたみふ。 [類] ぶいみつ、たいみつ、
だいみつ。

ぶいたみふ [buitamifu] 【動詞】 [k 語
幹] ぶつぶつ文句をいう。 [変異] ぶ
いたみつ。 [類] ぶいみつ、たいみつ、だ
いみつ。

ぶいない [buinai] 【副詞】 微動だに
(にしない)。【例】 ほういっさ ぶい
ないや とうんまほうん (この大石は
微動だにしない)。 [変異] ぶーない。

ぶいみきや [buimikja] 【名詞】 口う
るさい人、文句を言う人。【例】 ぶが
ます ぶいみきやー いつまい ぶい
みきーどう (口うるさい人は いつも
ブツブツと文句を言う)。

ぶいみつ [buimitsi] 【動詞】 [k 語幹]
口うるさく言う、文句を言う、小言を言
う。【例】 かまぬ っぎー ぶいみつ
んまり (あそこのお父さんはブツブツ
文句を言う奴だ)。かいが みどうんな
ぶとうぬ なうゆ あすんまい い
つまい ぶいみきーどうー (彼の奥さ
んは旦那がなにをしてもいつも文句を
言っている)。やらびあいきやー ばー
いつまい っぎから ぶいみかい
うたい (こどものころ私はいつも父親
から小言を言われていた)。 [変異] ぶい
みふ。 [類] ぶいたみつ、たいみつ、だ
いみつ。

ぶいみふ [buimifu] 【動詞】 [k 語幹]
口うるさく言う、文句を言う、小言を言
う。 [変異] ぶいみつ。 [類] ぶいたみ
つ、たいみつ、だいみつ。

ぶいむぬ [buimunu] 【名詞】 奉り物、
祭事、祝いからの頂き物、お祝いで頂く
ご馳走、神様に供えたものを下げた飲
食物、おさがり。【例】 やらびやー ゆ
ーいぬ ぶいむぬー とういが いつ
(子供はお祝いのご馳走を取りに行く)。

ふか [fuka] 【形容詞】 [B] (水深が) 深
い。【例】 ふか あうそう (深い海)。ふ
か いん (深い海)。くまなぎやー ふ

かかいば はっじゃ いんぬ そうく
んかいや つかん (ここら辺は深いので、足が海の底につかない)。うまー
ふかかいば まさぐん うーぎ (こ
こは深いのでちゃんと泳げ)。

ふか [fuka] 【形容詞】[B] (ものや地面
が) 固い、(体が) 固い。 [変異] ぷか。

ぷか [puka] 【形容詞】[B] (ものや地面
が) 固い、(体が) 固い。 【例】 ぷかぐ
ーゆ ばい (固い岩を割る)。くぬ か
ーっさ ぷかかいば かまいん (この
菓子は硬くて噛めない)。ゆながい ひ
むーひー ずーや ぷかかいば かで
いらいん (長い間干ばつで地面が固い
ので耕せない)。ういびとうん なりー
ばかかいつきゃー どうーや ぷ
かふ なりーどうー (年を取って若い
時より体がかたくなっている)。 [変異]
ふか。

ふがい [fugai] ① 【動詞】[r/rr 語幹] [C]
不平、不満を言う。 【例】 まーぬ ふが
いな (そんなに不平を言うな)。からー
いつまい たるんかいまい ふがい
りゆー (彼はいつも誰に対しても不満
を言っている)。 [類] ふがいり。 ② 【形
容詞】[C] 愚痴っぽい。 【例】 やぐみ
ふがいびとう (とても文句を言う人)。

ぶがい [bugai] ① 【動詞】[r/rr 語幹] [C]
疲れる。 【例】 きゅーや あみゃー つ
ふいー どうーや ぶがっりゆー (今
日は雨が降って体がだるい)。 ② 【名詞】

[A] 疲れ。 【例】 ぶーずぶいぶがい (サ
トウキビの収穫疲れ)。

ぷかい [pukai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C]
固くなる。 【例】 っしかいば ていー
まい ぷかりーどうーい (寒いので手
もかじかんでいる)。 [変異] ほうかい。

ふかいぬみー [fukainumi:] 【名詞】
(取れないぐらい) 深いところ、(探せない
ほど) 奥まったところ。 【例】 たくー
ふかいぬみーんどう うるーば と
うらいん ((その) タコは奥深いところ
にいるので取れない)。でいんな むい
とう ふかいぬ みーん ばちやみー
あたいそうがどう ぬそうまいーに
やーん (金はとても奥まったところに
隠してあったが、盗まれてしまった)。

ふがいり [fugairi] 【動詞】[r/rr 語幹]
不平、不満を言う。 【例】 ふがますんま
りゃー きゅーまい ふがいりーどう
(うるさい奴は今日も口うるさくブツブ
ツものを言っている)。 [類] ふがい。

ふがいり [fugairi] 【動詞】[r/rr 語幹]
(ものが) 消えてなくなる、(家庭が) 一
家離散する。 【例】 かまぬ やーや
ふがっりー はりーにやーん (向こう
の家は一家離散してしまった)。 [類] ふ
がい。

ふかす [fukasi] 【動詞】[s/h 語幹] [A]
(大、小便を) 漏らす。 【例】 すばいゆ
ふかす (小便を漏らす)。 っそうー
ふかす (大便を漏らす)。

ぶがなす [buganasi] 【動詞】 [s/h 語幹] 《歌語》分相応な振る舞いをする。
【例】ぶがなしば ぶがどう ない（その地位になればその地位にふさわしくなる〔古謡「豆の花」から〕）。

ふがましや [fugamaça] 【名詞】口うるさい人。【例】かぬ ういびとうー やぐみ ふがましや（あの老人はとも口うるさい人だ）。

ふがます [fugamasi] ①【形容詞】口うるさい、よく文句を言う。【例】ふがます ういびとう（口うるさい老人）。ういびとうん ないていがー たるまい ふがますふ ない（老人になるとだれもが口うるさくなる）。②【形容詞】（子供が）だだをこねる、（動詞基本形について）～するさいに文句を言う。【例】やらびやー んまんかい っそういや ひー ふがますふ ない（その子は母親についていこうとしてぐずる）。にゅーふがます やらび（寝るときにぐずる子供）。うらー いつまい ふあうふがます やいば ういんな むぬーぎやー ふいーだうり（あいつはいつも食べるものに文句を言うのであいつに食べ物をやるな）。③【名詞】文句を言うこと、またはそのような人、だだをこねること、またはそのような人。【例】まーぬ ふがます あすな（あんまり口うるさく言うな）。

ふかみー [fukami:] 【名詞】奥目。【例】ふかみー みどうん（奥目の女性）。

ふからす [fukarasi] 【形容詞】嬉しい、楽しい、幸せだ。【例】にんぎんな っじすんつきやー ふいーぼどう ふからすかい（人間は貰うよりも与える方が嬉しい）。ばー っづあん いじやうていがー いつまい ふからす（私はあなたに出会ったらいつも嬉しい）。ふからっさー なたどう ひとつみ（嬉しさは涙とともに（ある））。[変異] ほーからす。

ふからっさむい [fukarassamui] 【形容詞】嬉しがりな、嬉しがりだ。【例】ふからっさむい ひとつー いつまい ばらい ばらいていー あす（嬉しがりな人はいつもニコニコしている）。

ぶがり [bugari] 【形容詞】 [C] 気だるい。【例】きゅーや あみやー っふいー ぶがりかいば ならん（今日は雨が降って気だるくてしかたがない）。

ふき [fuki] ①【動詞】 [母音語幹] [A] 口をすぼめて息を出す、（笛を、ほらを）吹く、（煙草を）吸う。【例】あつむぬーぎやー ふーふーてい ふきー ふあい（熱い食べ物はふーふーと吹いて食べる）。からー いつまい ぶらう ふきーまーい（彼はいつもほらを吹いて回ってる）。すばびーゆ ふきる（口笛を吹け）。[類] ふつ。②【動詞】 [母音語幹] [A] （風が）吹く。【例】かでいぬ ふき（風が吹く）。[類] ふつ。③【動詞】 [母音語幹] [A] （中から液体、気体が）吹きだす。【例】ほーっさ ぱず

きー みっじゃ ふきーにゃーん (ホースが破裂して水が吹きだした)。すばいぬどう ふきぎかい (小便が漏れそう)。ぴーぬどう ふきぎかい (おならが漏れそう)。[類] ふつ。④【動詞】[母音語幹] [A] (水が) 沸騰する、(鍋、やかんなどが) 噴 (ふ) く。【例】みっじゃ ふきー どうーい (水は沸騰している)。なびぬ んっつーや ふきーどうー (鍋のおつゆが沸騰している)。[類] ふつ。⑤【動詞】[母音語幹] [A] (息、命が) 途絶える。【例】んぬつぬ ふきーきや (命が途絶えるまで)。[類] ふつ。

ふき [fuki] 【動詞】[母音語幹] [A] (家と家の間などを) 通り抜ける。【例】うまぬ やーばっさ ふきらいん (この家と家との間は通り抜けられない)。[類] ふつ。

ぷき [puki] ①【名詞】[B] 細かいゴミ、ほこり。【例】うまぬ ぷきゅー はうつひー はうき (この細かいゴミを箒で掃け)。てれびぬ はなぬ ぷきゅー ういひー はらい (テレビの上の細かいゴミをこれで取り除け)。[変異] ほうき。②【名詞】[B] フケ。[変異] ほうき。

ぷぎ [pugi] 【動詞】[母音語幹] [A] (心が) 満ち足りる、満足する。[変異] ほうぎ。

ふきやかす [fukjakasi] 【動詞】[s/h 語幹] 疾走する；(皿などを) 投げて割

る。【例】ふきやかひー まいぬ ひとうー んぎ (疾走して前の人を追い越せ)。

ふきやぎ [fukjagi] 【名詞】[C] 『食』十五夜に食べる米の団子 (小豆と一緒に煮る)。[平良と西原ではふきやぎのつくりかたがちがう。平良ではもち米の粉で団子をたいて、そのだんごに塩味のするあずきをつける。西原では団子と小豆と一緒にたく]。【例】ふきやぎゃー ぷかかいば んぶひー ふあーでい (この米の団子は固いので蒸して食べよう)。まみそい ふきやぎ (小豆が表にのった団子)。

ふきやつ [fukjatsi] 【動詞】[k 語幹] [C] 突進する。[変異] ふきやふ。

ふきやふ [fukjafu] 【動詞】[k 語幹] [C] 突進する。[変異] ふきやつ。

ふく [fuku] 【名詞】[C] 『食』(食用としての動物の) 肺臓。【例】わーぬ ふくー んまかいむぬ あらん (ブタの肺はうまいものではない)。

ふくい [fukui] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] 腫 (は) れる、膨 (ふく) れる。【例】やらびゃー ひとういがーまーす くんぎー かたむすまい ふくりーうたい (子供を一日中おんぶして肩もはれていた)。たうしんばいや ひどう みはなー ふくりゅー (おたふく風邪で顔が腫れている)。

ふぐい [fugui] 【名詞】[C] 陰囊（ふぐり）、蟹・ヤドカリ等のお腹の卵。【例】あらがぬぬ ふぐいゆ あらう（オカガニが産卵する）。

ふぐみ [fugumi] 【名詞】[A] くぼみ、溝。〔変異〕ふぐん。

ふぐん [fugun] 【動詞】[m 語幹] [A] くぼむ、へこむ。【例】かまぬ んっちや ふぐみゆーば まさがん うんてんあっそう（あそこの道はくぼんでるから注意して運転しろ）。くるまぬ ばんぱーや ふぐみーどーうー（車のバンパーがへこんでいる）。

ふぐん [fugun] 【名詞】[A] くぼみ、溝。【例】うまぬ ふぐんぬ またぎー くいる（ここの溝をまたいで越える）。ふぐんー はっじゃ とうらいーにやーん（くぼみに足をとられた）。はいぬ ばだぬ ふぐんぬぎやー まさぐん あいき（畑の溝の窪みはちゃんと歩け）。〔変異〕ふぐみ。

ふさ [fusa] ① 【名詞】[B] 数量、量。【例】くるまんかいや はいー ふさどーう はいー（車には入るだけしか入らない）。かいが ふさ ばぬんまい ふいーさまでい（彼と同じ量を私にも下さい）。② 【助数詞】（数詞を伴って）～倍。【例】ふたふさ（2倍）。からー むぬーぎやー ばが ふたふさ ふあうどうす（彼は食べ物を私の2倍食べる）。からー ばぬんつきやー いふふさま

い はーふだー（彼はわたしより何倍も速い）。

ふさ [fusa] 【名詞】[B] 草。【例】ぬーまぬ っさかいや やらびんみぬ すかま（馬の草刈りは子供達の仕事）。んつふさうぎやー ふあーだ はやまりあいき（道草を食ってないで早く歩け）。〔変異〕っさ。

ふさ [fusa] 【名詞】[C] 噂、噂話。【例】あいや ひとつぬ っさうぎやー ほうん（そんなに人の噂話はしない）。〔変異〕っさ。

ふさ [fusa] 【形容詞】[B] 臭い。【例】うぬ っぞうー っさりー ふさかいはば ならん（その魚は腐っていてくさくてしかたがない）。ふさ びー（臭い屁）。ふさ いつ（臭い息）。

ふさい [fusai] 【動詞】[r/r 語幹] [C] 腐る、腐った。【例】ふさい むぬーぎやー ふあーん（腐ったものは食べない）。っぞうー ふさりや うらん（魚は腐っていない）。ふさい んー（腐った芋）。〔変異〕っさい。〔類〕ふさり。

ふさか [fusaka] 【名詞】[C] これだけ。〔変異〕くさか。〔類〕うさか。

ふさがい [fusagai] ① 【動詞】[r/r 語幹]（道を）ふさぐ、（穴を）埋める。【例】うまー んーなが あいつ んつやいば うまうぎやー ふさがいな（そこはみんなの通り道だからそこをふさぐな）。うまぬ あなうぎやー ふさ

がい（ここの穴を塞ぐ）。[類] ふさず、ふさがい（母音語幹）。②【動詞】[r/rr 語幹]（障害物で道が）ふさがる、通れなくなる；（穴が）埋まる。【例】うまぬ んっちゃ みっじゃ たまりー ふさがりゆーば かまう あいき（この道は水が溜まって通れなくなっているからあっちを歩け）。かまぬ あなー んなまー ふさがりーどうー（あそこの穴はもう埋まっている）。③【動詞】[母音語幹]（道を）ふさぐ、（穴を）埋める。[類] ふさず、ふさがい。④【名詞】（通り道を）ふさいでいるもの、また、通り道をふさぐこと；（表情が）暗いこと。【例】うまぬ ふさがいゆ とぅいすている（そこの（通り道を）ふさいでいるものをどかせ）。うまん たちー あいや ふさがいや ほうん（そこに立って道をふさぐな）。うむてい ふさがい（顔の表情が暗い人）。

ふさき [fusaki] 【名詞】[C] これだけ。
[変異] くさき。

ふさず [fusazi] 【動詞】[g 語幹] [A]（道を）ふさぐ、（穴を）埋める。[類] ふさがい（母音語幹、子音語幹）。

ふさに [fusani] 【名詞】[A]（小さい芋などが付いた、主根になりかけている）根。【例】いみすず んーがまうどう ふさに んーがまていー あい（小さい芋を「ふさに んーがま」という）。[変異] っさに。

ふさり [fusari] 【動詞】[母音語幹] [C]

腐る。【例】まいや ふさりーどうー（米は腐っている）。ふさりまい（腐った米）。[類] っさい、っさり。

ふし [fuɕi] 【名詞】[C] 癖、性癖。[変異] ふす。

ふしびや [fuɕibja] 【名詞】[C] 言うことを聞かない暴ん坊、管理が難しい人や馬。【例】ふしびや ぬーま（言うことをきかない暴れ馬（皮肉で人間にも使う））。ふしびや んまり（人の言うことを聞かない奴）。ふしびや やらび（腕白坊主）。[類] ぎずぎやうな。

ぶじゃ [buʒa] 【名詞】[C] おじさん（父方、母方、父親、母親より上か下かは問わない）親族でなくとも近所の中年以上の男性を指すこともできる。名称、呼称ともに使える。【例】かいがどう はーぶじゃ（彼が足の速いおじさんだ）。

ぶじゃがま [buʒagama] 【名詞】おじさんの中で一番年齢が若い人。

ぶじゅぶじゅ [buʒubuʒu] 【オノマトペ】ニヨロニヨロ。

ぶじゅみつ [buʒumitsi] 【動詞】[k 語幹]（ヘビなどの動作が）ニヨロニヨロする；（虫などが集まって）動く。[変異] ぶじゅみふ。

ぶじゅみふ [buʒumifu] 【動詞】[k 語幹]（ヘビなどの動作が）ニヨロニヨロする；（虫などが集まって）動く。【例】

はうぬどう ぶーずぬ はーがらぬ
 すたから ぶじゅぶじゅていー ぶじ
 ゆみきー いでいっちゅー (ヘビがサ
 トウキビの葉っぱの下からニョロニョ
 ロと這い出てきた)。むいとう はーさ
 ぬ むすぬどう きーぬ すたん ぶ
 じゅみきゅーたい (とてもたくさんの
 虫が木の下にうじゃうじゃうごめいて
 いた)。[変異] ぶじゅみつ。

ふす [fusi] 【名詞】[C] 癖、性癖。【例】
 やな ふす (悪い癖)。つうあが やな
 ふしゅーぎゃー なうし (お前の悪い
 癖を直せ)。[変異] ふし。

ふす [fusi] 【名詞】[B] (竹や木などの)
 節 (ふし)。【例】たきぬ ふす (竹の
 節)。きーぬ ふす (木の節)。ふすあな
 (節穴)。

ふす [fusi] 【名詞】[B] 櫛 (くし)。
 【例】ふすひー あかう きっず (櫛で
 髪をすく)。

ふず [fuzi] 【名詞】[B] くじびき、また
 くじびきに用いる紙片など。【例】ふ
 っじゅ ひつ (くじを引く)。ふっずぬ
 あたい (くじがあたる)。はーにゃー
 ふずん あたりー うーんまん な
 いたい (一番上のお姉さんはくじにあ
 たって、ウーンマになった)。

ふず [fuzi] 【名詞】[B] (手、足、体の)
 首、襟足。【例】ていーふず (手首)。
 はずふず (足首)。ぬどうふず (首)。や
 らびゃー ふっじゃ むちーどうーい
 ((この) 子供は首が座っている)。

ふず [fuzi] 【名詞】[B] 釘。【例】か
 にふず (鉄の釘)。きーふず (木の釘)。
 ふっじゅ うつ (釘をうつ)。ふっじゅ
 んず (釘を抜く)。くぬ ふっじゃ
 まがりーどうー (この釘は曲がってい
 る)。

ぶす [busi] 【名詞】[A] 偉人 [＜武士]。
 【例】みどんぶす (女傑)。ぬーからど
 う ぶっさ いでいー (在野から偉人
 は生まれる)。

ぶす [busi] 【形容詞】[B] 動詞基本形
 について、～したがる/したい 「ほう
 す」(ほしい)の項を参照。「ぶす」は
 「ほうす」の連濁した形、聞き手に～し
 てほしいという場合は、「動詞連用形＋
 ふいーぶす」を使う、三人称に～してほ
 しいという場合は使えず、その場合は、
 「～ていがー じゃうかい (～たらしい
 のに)、「～ふいーばー いー (～てくれ
 たらしいのに)を使う」。【例】どうん
 ぎゃう みーみーぶすむぬ (マグロの
 大群を見てみたい)。[変異] ほうす。

ぷず [puzi] 【動詞】[g 語幹] [A] (心
 を) 満たす。[変異] ほうず。

ふずー [fuzi:] 【形容詞】[C] 身支度が
 遅い。【例】みどうんな ふずーかい
 ば ならん (女性は身支度が遅くてな
 らない)。

ふずー [fuzi:] 【形容詞】[C] もたもた
 すること、準備に時間がかかること。
 【例】みどうんみゃー ふずーかいば
 まちやいん (女性たちは準備に時間が

かかって待ってられない)。ふずー み
どうん (準備に時間のかかる女)。

ふすい [fusii] 【名詞】[C] 薬。【例】
ふすいゆ ぬん (薬を服用する)。ほう
がさんかい ふすいゆ まみー (おで
きに薬を塗る)。[変異] っそうい。

ふずくば [fuzikupa] 【名詞】くじ運の
悪い人。

ふずつ [fuzitsi] 【名詞】[A] (家の周
りの) 敷石、家の縁石。[類] ふずつ
いす。

ふずつius [fuzitsiisi] 【名詞】(家の
周りの) 敷石、家の縁石。[類] ふずつ。

ふすぶす [fusibusi] 【名詞】(関節な
どの) 節々。【例】ふすぶす やんか
いば いちやかいば あいかいん (節
々が痛むから痛くて歩けない)。

ふずやば [fuzijapa] 【名詞】くじ運の
良い人。【例】からー ふずやばびとう
やいば たからふっじゅぎゃー か
いん かーし (あいつはくじ運の良い
人だから宝クジはあいつに買わせる)。

ふずんみ [fuzimmi] 【名詞】『地名』西
原の後方にある丘。

ふそう [fusu] 【名詞】[B] 糞。【例】
ふそうー まい (大便をする)。えっげ
ー ふそうー ん[。]みーにゃーん (しま
った、糞をふんでしまった)。ふそうん
な はいぬどう むいとう たかりゆ
ー (糞にはハエが集っている)。ふそう

だすからんまり (どうしようもない
奴)。[変異] っそう。

ふそうい [fusui] 【名詞】[C] 薬。[変
異] っそうい。

ふそうすばい [fususibai] 【名詞】糞
尿。【例】つんだらさ ういびとうな
りどう ふそうすばいや むちゃいー
ゆー (可哀想に年取って下の世話をし
てもらっている)。

ふそうだすからん [fusudasikaran] 【成句】仕事をしない、(障がいなどがあ
って) 仕事ができない。【例】すかま
ーひらいん ふそうだすからん んま
り (仕事のできない能のない奴)。

ふそうみず [fusumizi] 【名詞】海水。
【例】ふそうみっじゅ ん[。]ん (海水
を汲む)。うーふあっじゃいきー ふそ
うみっじゃ はーさ ぬみーにゃーん
(溺れそうになって海水をたくさん飲ん
でしまった)。[変異] ふすみず、ほうす
みず。

ぶた [buta] ①【形容詞】[A] (見かけよ
り中身が) 多い。【例】ういがどう
ぶたかいはず やいば うるー とう
い (こちらが中身が多そうだからこっ
ちを取れ)。くぬ はくぬどう ぶたか
い (この箱の方が中身が多いよ)。かま
ぬ っぞうぬどう ぶたかいどー (あ
っちの魚の方が中身が多いよ)。②【接
尾辞】(見かけより内容物が) 多い、(嬉
しさなどが) 満ち溢れている。【例】い

そうぶた (とても幸運な人)。ばー ほうからすかいば みはなぶたむぬどう
あたい (私は嬉しくて満面の笑みだった)。うだまぶた (神様からのたくさんの果報)。うぬ っぞうー みーぶたむぬ (その魚は見かけより中身が多い)。からー やぐみ いずぶた (あの人はとても元気がいい)。

ふだー [fuda:] 【接尾辞】形容詞の語幹について、「～んだよ」「～だな」という強調の意味を表す語尾。【例】いみふだー (小さいんだ)。ほういふだー (大きいんだ)。きつぎふだー (きれいなんだ)。んずぎふだー (見にくいんだ)。いからふだー (少ないんだ)。ひーちゃふだー (少ないんだ)。

ふたーい [futai:] 【名詞】『数詞』二人。

ふたーつ [futa:tsi] 【名詞】『数詞』二つ。

ふたい [futai] 【名詞】[B] 額 (ひたい)、おでこ。【例】うむくとう あいぎふたい (頭の良さそうな額)。ながふたい (突き出たおでこ (をした人))。

ぶだい [budai] 【名詞】[B] 舞台。【例】ぶだいかい ぬーり (舞台にあがれ)。ぶだいから うりる (舞台から降りろ)。

ふたか [futaka] 【名詞】[A] 双子。【例】ふたかー むいとう んーしーどう ((この) 双子はとっても似ている)。

ふたかいてい [futakaimatija] 【成句】(否定をとって) 二度とは～ない。【例】ばー ふたかいてい あいぬ くとうーぎやー ほうじゃーん (私は二度とそんなことはしません)。

ふたきな [futakina] 【助詞】『接続助詞』(動詞連用形 (+や)、動詞基本形 + きやー (時) について) 「～やいなや」、「～と同時に」の意味を表す接続助詞。【例】あいきやー ふたきな (言うやいなや)。からー ぬーまじゃき やいばぬんきやー ふたきな ぎっじゃひらいん (あいつは酒癖が悪いので飲んだらすぐに手が付けられなくなる)。やーゆ いでい や ふたきな あみぬっふいったい (家を出たらすぐに雨が降ってきた)。

ふたっとうい [futattui] 【動詞】[r/rr 語幹] ぼんやりする、迷う、ためらう。【例】ふたっとりー たちゃだうり (ぼんやり立っているな)。やらびやーさんすーぬ もんだいや っさいんばふたっとうりーうたい (その子供は算数の問題が分からないので困っていた)。っづあ なうゆどう ふたっとうりゆー (お前は何を迷っているんだ)。ふたっとうらだ すぐ きみる (迷わないですぐ決めろ)。[類] ふたっとり。

ふたっとうらす [futatturasi] 【動詞】[s/h 語幹] 立ち往生させる、戸惑わす。【例】むずかす しつもん なひー やらびゆーぎやー ふたっとうら

すな（難しい質問をして子供を困らせるな）。

ふたっとうり [futatturi] ①【動詞】

[母音語幹] ぼんやりする、戸惑う。【例】ふたっとうりだ すぐ きみる（迷わないですぐ決めろ）。ばー なうばい ほうでいがていー ふたっとうりーうい（私はどうしようか戸惑っている）。すかまー なまりー なうや あすかたー にゃーだ いつまい ふたっとうりー うい（仕事をやめて、なにもすることがなくていつもぼんやりしている）。[類] ふたっとうい。②【名詞】立ち往生すること、困惑すること、ぼんやりすること、また、その人。【例】おい ふたっとうり とうりばりんまり（おい、（この）ぼんやりの、うすらとんかち）。

ふたっとら [futattora]【名詞】ぼんやりした人。

ふたていあとう [futatiatu]【名詞】

一年後、来年 [池間は数えで年を数えるので、今年が1年となるため、来年は文字通りには「2年後」となる]。[類] やーに。

ふたていない [futatainai]【名詞】

一年前、去年 [池間は数えで年を数えるので、今年が1年となるため、去年は文字通りには「2年前」となる]。【例】ふたていないや あみぬどう むいとう うんそうく あたい（去年は雨がとても多かった）。ふたていないぬ まう

きゃー ひやくまんえんどう あたい（去年のもうけは100万円だった）。[類] くじゅ。

ぶだひつまーい [budahitsimai]【名詞】

（急激に東寄りの風が北向きの強風になること）。

ふだみ [fudami]【名詞】[A] 草鞋（わらじ）。

【例】っしん^んかいや ふだみゅー ん^んみー いつ（リーフでの潮干狩りには草履を履いて行く）。

ふたんていや [futantija]【成句】

（否定をとって）二度とは～ない。【例】かまぬ まっちゃんかいや ふたんていや いかん（あそこの商店には二度と行かない）。[類] ふたかいまていや。

ふちや [futça]【名詞】[C] お喋りの人、口数の多い人。

【例】かりゃー むいとうぬ ふちや（あいつはとてもおしゃべりだ）。からー ふちや やいば むぬいゆぎゃー つっちゃん（彼はお喋りなので話をやめない）。

ぶちやうな [butçauna]【形容詞】

（子供が、体の）成長が遅い、年齢相応に成長していない。[類] ぶちゅーな、ぶちゅーい。

ふちゃんた [futçanta]【名詞】粘土。

ぶちゅーい [butçui]【形容詞】

（子供が、体の）成長が遅い、年齢相応に成長していない。[類] ぶちやうな、ぶちゅーな。

ぶちゅーな [butɕu:na] 【形容詞】成長が遅い、年齢相応に成長していない。

【例】ぶちゅーな やらび（年齢相応に成長していない子供）。[類] ぶちゅーい、ぶちやうな。

ぶちゅーながま [butɕu:nagama]

【名詞】成長が遅い、年齢相応に成長していない子供。

ふつ [futsi] 【動詞】[k 語幹] [C]（風が）吹く。【例】きゅーや かでいがまぬ ふきー すだすむぬ（今日はすこし風があって涼しい）。かじゃー きーぬ あーぎんどう ふつ（風は木の上に吹く [> 一番責任のあるものには風当たりが強いという意味] ）。かいすかでいぬ ふつ（台風の返し風が吹く）。[変異] ふふ。[類] ふき。

ふつ [futsi] 【動詞】[k 語幹] [A]（家を）建てる。【例】やーゆ ふつ（家を建てる）。[変異] ふふ。

ふつ [futsi] 【動詞】[k 語幹] [A]（ものの表面を）拭く、拭いて（汚れなどを）取る。【例】だいゆ ふつ（台を拭く）。てれびぬ はなぬ ぷきゅー ういひー ふき（テレビの上のほこりをこれで拭け）。さずひー みはなう ふき（タオルで顔を拭け）。[変異] ふふ。

ふつ [futsi] 【動詞】[k 語幹] [A] 通り抜ける。【例】ひとうぬ やーや ふきー んつんかい いでいー（人の家屋敷を通り抜けて道に出る）。うまぬ

やーばっさ ふかいん（この家と家との間は通り抜けられない）。[変異] ふふ。[類] ふき。

ふつ [futsi] 【名詞】[B] 仕事口。【例】ふっちや にやーん（仕事はない）。きゅーや すかまふつ とうみが（今日は仕事口探しに）。ばー すかまー にやーんば ふあうふつ とうみが（私は仕事がないので、仕事口を探しに（行く））。[変異] うつ [母音間]。

ふつ [futsi] 【名詞】[B] 頃、時間；（少しの）間、すき。【例】ばー ゆびやー みどうんぬ やーんかい ふーふっちゅぎやー っさっだん（私は昨晚の妻の帰宅時間は知らなかった）。やらびぬ にっうゆー ふつん つんぬ あらーでい（子供が寝ている間に洗濯しよう）。

ふつ [futsi] 【名詞】[B]（包丁や鎌などの）刃。【例】かたなぬ ふつ（包丁の刃）。っざらぬ ふっちゅ とうず（鎌の刃を研ぐ）。

ふつ [futsi] 【名詞】[B] サンゴ礁などの終わりのところ、縁（ふち）。【例】っしぬ うていふつ（礁の外側のへり）。

ふつ あす [futsi asi] 【成句】[不規則]（ある方向を）向く。【例】くまんかい ふっちゅ あっそう（こちらを向け）。かまぬやーや はいんかいどう ふっちや ひーゆー（向うの家は南に向いている）。

ふつ くばら [futsi kupara] 【成句】

口下手。

ふつ [futsi] ① 【名詞】 [B] 口、口中。

【例】ひとつふつ（一口）。いみふつがま（小さい口）。ふつん っふん（口に含む）。あにや うさきがまぬ むぬー ふうんな さーらん（そんなすこしの食べ物では少なすぎて足りない）。あつ ちゃーやぬみーふつぬなかーっさらひーにやーん（熱いお茶を飲んで口の中をやけどした）。[変異] うつ [母音間]。

② 【名詞】 [B] (瓶などの) 口、入り口。

【例】うぬ くびぬぬ ふっちゃ いみかいば じょーぐぬ にやーだかー さきやー いりらいん（この瓶の口は小さいので、じょうごがないと酒は入れられない）。すまぬ ふうんな なんとぬどう あい（島の入り口には港がある）。かでいぬ かいす ふうんな かじゃー にやーん（台風の目に入ったら風はない）。[変異] うつ [母音間]。

ふつ [futsi] ① 【名詞】 [B] 話すこと、話しぶり。

【例】ふच्चゅ あーす（口裏を合わす）。ふつかた びとう（口の堅い人）。ふつがる びとう（口の軽い人）。ふつくばい ひとつ（口下手な人、吃りがちな人）。うぬ あばさが ふच्चゅぎやー ったきー ならーし（そのお喋りの口は叩きなおせ）。ふつあじやーな びとう（口の悪い人）。ふつぱぎんまり（口の悪い奴）。あらふつ（歯に衣着せぬ人）。あっづあふつ（誉め言葉

を並べる人）。ひやーふつ びとう（早口の人）。ふつたーなぬ にんぎん（口（口先）だけの人間）。うなが ふつん ふあーいーにやーん（自分の口に食われた [＞口は禍の元]）。ふつかない びとう（雄弁な人）。[変異] うつ [母音間]。② 【接尾辞】 ことば、普通接尾辞的に使って「～語」を表す。「うつ」と発音される場合も多い。単独でことばを表すときは「むぬい」を使う。【例】すまふつ（故郷のことば）。みやーくふつ（宮古語 [普通、平良のことばをさす]）。やーまふっちゃ っさいぐりむぬ（八重山語は分かりにくい）。やまとうふっちゃ むぬっじゃいん（共通語は話せない）。[変異] うつ [母音間]。

ふつ [futsi] ① 【動詞】 [k 語幹] [A] (水が) 沸騰する、(鍋、やかんなどが) 噴(ふ)く。

【例】みっじゃ ふきー どうーい（水は沸騰している）。なびぬ んっつーや ふきーどうー（鍋のおつゆが沸騰している）。[変異] ふふ。[類] ふき。② 【動詞】 [k 語幹] [A] 口をすぼめて息を出す、(笛を、ほらを) 吹く、(煙草を) 吸う。【例】あつむぬーぎやー ふーふーてい ふきー ふあい（熱い食べ物はふーふーと吹いて食べろ）。からー いつまい ぶらう ふきーまーい（彼はいつもほらを吹いて回ってる）。すばびーゆ ふつ（口笛を吹く）。はーもにかーゆ ふつ（ハーモニカを吹く）。たばくー ふつ（煙草を吸う）。[変異] ふふ。[類] ふき。③ 【動詞】 [k

語幹] [A] (中から液体、気体が) 吹きだす。【例】ほーっさ ぱずきー みっじゃ ふきーにゃーん (ホースが破裂して水が吹きだした)。すばいぬどう ふつぎかい (小便が漏れそう)。ぴーぬどう ふつぎかい (おならが漏れそう)。[変異] ふふ。[類] ふき。④【動詞】[k 語幹] [A] (息、命が) 途絶える。【例】んぬつぬ ふきーきや (命が途絶えるまで)。いつぬにーゆ ふつ (息の根を止める [＜息の根を吹く])。[変異] ふふ。[類] ふき。

ふつあじゃーな [futsiaza:na] 【形容詞】言いたい放題、言うべきことを判断できない。【例】かりゃー ふつあじゃーなかいばならん (彼は言いたい放題だ)。

ふつあまーす [futsiama:si] 【形容詞】話し方が乱暴で失礼だ。【例】からー ふつあまーすびとう やいばういが むぬいゆぎゃー つかだうり (彼は口が悪いので彼の言うことは気にするな)。

ふついでい [futsiidi] 【成句】口出し。

ぶっづあみつ [buvvamitsi] 【動詞】[k 語幹] (大きな声で) 騒ぐ; (蜂やハエなどがたくさん集まって) ワンワンと音をだす。【例】たうんばばすぬぶっづあみきゅーたい (スズメバチがワンワンと音をだしていた)。[変異] ぶっづあみふ。[類] ばみつ。

ぶっづあみふ [buvvamifu] 【動詞】[k 語幹] (大きな声で) 騒ぐ; (蜂やハエなどがたくさん集まって) ワンワンと音をだす。[変異] ぶっづあみつ。[類] ばみつ。

ふつか [futsika] 【名詞】[A] 『数詞』二日。

ふつがーい [futsigai:i] 【成句】自慢すること。

ふつかじゃ [futsikaza] 【名詞】口臭。
【例】っづあが ふつかじゃー っさかいば ならん (お前の口臭は臭くてならない)。

ふつかた [futsikata] 【名詞】幸せ運。
[類] ゆー。

ふつかない [futsikanai] 【形容詞】口が上手い (人、ほめ上手、うまいことを言っただます)。【例】かりゃー ふつかない むいとうぬ あっづあうつ (彼は口がうまい、ゴマすりだ)。

ふつぐたい [futsigutai] 【名詞】反論、口答え。【例】まーぬ ふつぐたい あすな (あまり口答え)。

ふつぐるま [futsiguruma] 【名詞】口車。【例】かいが ふつぐるまんかいや ぬーいな (彼の口車には乗るな)。

ふっじゃ [fuzza] 【名詞】[A] クジラ。
【例】うまなぎんな ふっじゃー みーん (ここら辺にくじらはいない)。

ふつすー [futsisi:] 【名詞】よだれ。
【例】うぬ やらびゃー ふつすー た
らしゃ（その子は良く涎を垂らす子）。
【類】っそうすー。

ふっず [fuzzi] ① 【動詞】 [zz/dd 語幹]
（穴などを）ほじくる、ほじくって取る；
（神経を）逆なでする。【例】みんぬ
ふっじー みんぬ っそうー とうい
（耳をほじくって耳垢を取る）。わーぬ
ほうにぬ ずーゆ ふっでい（豚の
骨の髄をほじくって取る）。ばた ふっ
ず（怒らせる）。からー ひとつぬ ば
た ふっずんまり（彼は人の神経を逆
なでするやつだ）。【類】ふっでい。②
【動詞】 [zz/dd 語幹]（ものを見つけるた
めに、引き出し、カバンなどを）探す。
【例】ひきだしぬ みーゆ ふっでいー
かぎゆー とうみたい（引き出しの
中を探ってカギを探した）。【類】ふっ
でい。

ふっず [fuzzi] ① 【動詞】 [zz/dd 語幹]
（縄やはりがねなどで）引っ掛けてとる。
【例】たかう ばなひー ふっでいー
とうい（鷹をわなでひっかけてとる）。
【類】ふっでい。② 【動詞】 [zz/dd 語幹]
（首などを）くくる。【例】ぬどうー ふ
っでいー すにーにゃーん（首を吊っ
て死んだ）。【類】ふっでい。

ぶったーらす [butta:rasi] 【動詞】
[s/h 語幹] 揺り動かす。【例】うぬ く
るまう ぶったーらし（その車を揺り
動かせ）。

ふつだま [futsidama] 【名詞】主張し
た分だけ分け前があること。【例】ふ
つかない びとうんな ふつだまぬど
う あい（よく主張できる人には主張
した分だけの分け前がある）。

ふっちゃ はまい [futtça hamai]
【成句】 [r/rr 語幹] 能力があると自慢す
る。【例】うらー ふっちゃ はまり
んきゅーそうが ういんな なうまい
ひらいん（口ではできると威張って
いるが彼には何もできない）。

ふっでい [fuddi] 【動詞】 [母音語幹]
[C]（鍋の底に焦げ付いた食べ物を）こ
そげとる。

ふっでい [fuddi] ① 【動詞】 [母音語幹]
（穴などを）ほじくる、ほじくって取る、
（神経を）逆なでする。【類】ふっず。②
【動詞】 [母音語幹]（ものを見つけるた
めに、引き出し、カバンなどを）探す。
【類】ふっず。

ふっでい [fuddi] ① 【動詞】 [母音語
幹]（縄やはりがねなどで）引っ掛けて
とる。【類】ふっず。② 【動詞】 [母音
語幹]（首などを）くくる。【類】ふっず。

ふっとうらー [futtura:] 【名詞】ト
ラブルメーカー。【例】からー ふっ
とうらーぬ すーびとう（彼はトラブ
ルを起こす人だ）。

ぶっとうる [buturu] 【名詞】皮膚に
生まれつき出ている小さいこぶ、突起

物。【例】みんばにぬ ぶつとうるが
ま（耳のちいさなこぶ）。

ふつな [futsina] 【名詞】[A]《植》ハ
ルノノゲシ [春の野野菜、食用にする]。
[変異] ふつにや。

ふつなず [futsinazi] 【名詞】《魚》海
のウナギの一種。【例】きゅーや ふ
つなっじゅ どういったい（今日はウ
ナギを取ってきた）。

ふつなら [futsinara] 【名詞】（ご飯を
食べるときに出る）音。【例】むぬー
ふあうとうきやんな ふつならうぎ
ゃー ほうだうり（ものを食べるとき
には口から音をだすな）。

ふつにや [futsinja] 【名詞】[A]《植》
ハルノノゲシ [春の野野菜、食用にす
る]。[変異] ふつな。

ふつぬそうら [futsinusura] 【名詞】
口先（ことばだけ）。【例】うらー ふ
つぬ そうらばかーいひー あっじゅ
ー（彼は口先だけでしゃべっている）。

ふつばらいにがい [fut-
sibarainigai] 【名詞】《祭礼》神願い
の一種、人の悪口を払い捨てて元気にな
るための願い。

ふつひぎ [futsihigi] 【名詞】口髭。
【例】ふつひぎゅー うーす（口ひげを
生やす）。

ふつびや [futsibja] 【名詞】[C] 皮
膚病の一種で突起してイボの様なもの。

【例】うゆびんどう ふつびやぬ い
じゅー（指に皮膚病のイボができてい
る）。

ふつむとう [futsimutu] 【名詞】舟が
出入りする場所。【例】まじやぬ ふ
つむとう（[リーフを割って作った] 真
謝の舟の出入り口）。

ふつむとうにがい [futsimutu-
nigai] 【名詞】《祭礼》漁船の出入りの
安全祈願 [旧暦2月（3月から4月ごろ）
に安全に出入りできるようにと祈願し
た]。

ふつんきやー [futsinkja:] 【名詞】接
吻、キス。【例】かなす ふたーいや
ふつんきやーゆ ひーうたい（愛し
合う二人はキスしていた）。みどうんと
う ふつんきやー あす（女の人と接
吻する）。

ふつんつ [futsintsi] 【動詞】[k 語幹]
向かい合う；キスする。【例】んなま
ー ころな やいば ふつんかだ む
ぬっじゃだかー ならん（今はコロナ
だから向かい合わないで話さないとい
けない）。うぬきやが ふたーいや ふ
つんきゅーたい（彼等二人は向かい合
っていた）。[変異] ふつんふ。

ふつんふ [futsinfu] 【動詞】[k 語幹]
向かい合う；キスする。[変異] ふつ
んつ。

ふでい [fudi] 【名詞】[A]《地名》大
神島の後方岩礁。【例】うがんぐすん

どう ふじゃー あい (大神島の後方にフディ岩礁はある)。

ふていていばー [futitiba:] 【名詞】

虫歯。【例】ふていていばーぬどうやみゅー (虫歯が痛んでいる)。
[類] ふとうていばー。

ぶとう [butu] 【名詞】 [A] 夫。【例】

ぶとうー むつ ((女性が)結婚する)。
うぬ みどうんな ぶとうぬ からがいゆぎゃー ほうん (この女性は夫の面倒を見ない)。

ぶどうい [budui] 【動詞】 [r/rr 語幹]

[A] 踊る。【例】ぶどういゆ ぶどういとうきゃんな ていーぬ ふっじゅまさぐんていー つかうばどう じやうずん ない (踊りを踊るときには手の関節を上手く使えば上手になる)。
ばー ぶどういたっふあにゃーん (私は踊りたくない)。

ぶどうい [budui] 【名詞】 [A] 踊り。

【例】すなかぎ ぶどうい (品のある踊り)。
うぬきゃが ぶどういや むいとう たないや にゃーん (あの人たちの踊りはとても不器用だ)。

ふとうくる [futukuru] 【名詞】 懐 (ふところ)。

【例】うぬ でいんぬぎゃー っづあが ふとうくるんかい いらーうき (このお金をお前のふところに入れておけ)。
ふゆんな ぱーが ふとうくるん かったかいー につづいー うたい (冬にはおばあちゃんに抱かれてねていた)。
[類] ふちゆく。

ふとうた [fututa] 【名詞】 [C] ダメな

奴、バカなやつ。【例】かりゃー ふとうちゃ (彼はダメな奴だ)。
[類] ふとうちゃ。

ふとうつ [fututsi] 【動詞】 [cc/tt 語幹]

[C] (木などが) 朽ちる、(芋などに虫が入って) 食べられなくなる。【例】くぬ きーや ふとうちゅー (この木は腐っている)。
[類] ふとうてい。

ふどうつ [fudutsi] 【動詞】 [k 語幹]

[C] (異性を) 口説く、説得する。【例】うぬ あばらぎ みどうんな ふどきー とうずあっそう (そのきれいな女性を口説いてお嫁さんにしなさい)。
うらー ふどうきー だいがいくいんかい いかし (彼を説得して大学院に行かせろ)。
[変異] ふどうふ。

ふとうてい [fututi] 【動詞】 [母音語幹]

[C] 木などが) 朽ちる、(芋などに虫が入って) 食べられなくなる。
[類] ふとうつ。

ふとうてい [fututi] 【形容詞】 [B] 朽

ちた (木など)、虫の入った (芋など)、おろかな (人)。
【例】ふとうてい んー (虫の入った芋)。
ふとうていんまり (馬鹿な奴)。
うぬ はーぬどう んながーんな ふとうていかい (この歯が一番虫歯が進んでいる)。

ふとうていばー [fututiba:] 【名詞】

虫歯。【例】ふとうていばーゆぎゃーんがだかー ならん (虫歯を抜かな

いといけない)。うすばーや ふとうていーばー (奥歯は虫歯だ)。

ふとうていんー [fututin:] 【名詞】虫のはいったいも。【例】んきやーんな ふとうていんーなぎ ひどうんーくっじゅ ちゅっふゆーたい (昔は虫の入ったいもなどでいもくずをつくっていた)。

ふどうふ [fudufu] 【動詞】 [k 語幹] [C] (異性を) 口説く、説得する。 [変異] ふどうつ。

ぷとうぷとう [putuputu] 【オノマトペ】ぶるぶる。【例】っしかいば ぷとうぷとうていー ほうーりー うたい (寒いのでぶるぶると震えていた)。

ぷとうみつ [putumitsi] 【動詞】 [k 語幹] (怖くて、うれしくて) ドキドキする。【例】まずむぬー みー つむぬどう ぷとうみきゆー (幽霊を見て、(怖くて) 胸がドキドキした)。あばらぎみどうん いじやいー つむー ぷとうみきゆーたい (きれいな女性に出会って胸がドキドキした)。 [変異] ぷとうみふ。

ぷとうみふ [putumifu] 【動詞】 [k 語幹] (怖くて、うれしくて) ドキドキする。 [変異] ぷとうみつ。

ぷとうらん [puturan] 【擬態語】『オノマトペ』 (寒くて、怖くて) ブルブル (震える)。 [類] ぷとうぷとう。

ふない [funai] 【名詞】 [C] 船酔い。【例】ばー ふにん ぬーいきやー ふたきな ふない あす (私は船に乗ったらすぐに船酔いする)。

ふなうさぎ [funausagi] 【名詞】旅に出る船を見送ること。【例】じよ、たろーゆ ふなうさぎ あすが (さー、太郎を見送りに (行こう))。

ふなず [funazi] ① 【動詞】 [g 語幹] [C] 交接の動作をする。【例】ぴーゆぎやー ふなずっちゃん まず (上下の動きをしながら女陰器と交合する)。② 【名詞】 [C] 交接の時の上下の動き。【例】ぴーゆ まず とうきやんな ふなず あす (セックスするときは (腰の) 上下運動をする)。

ふなつき [funatsiki] 【名詞】舟着き場。【例】かまぬ ふなつきんかい ふにゆー とうみる (あそこの船着き場に舟を泊めろ)。

ふなばんやー [funabanja:] 【名詞】舟を置くための掘立小屋。

ぶなりや [bunarja] 【名詞】 [C] 女性 (普通は若くて品のある女性を言うときに使う)。【例】かぬ あばらぎ ぶなりやう とうずほうでい (あのきれいな女性を妻にしよう)。

ふに [funi] 【名詞】 [C] 船、舟。【例】ふにぬ とうむ (船尾)。ふにぬ うやかた (船主)。ふにぬ しんどう (船長)。ふにぬ しんか (船員)。ふにゆー は

ず（船を作る）。んきやーんな ふにから うつなーたーひー いきゅーたい（昔は船で沖縄まで行っていた）。

心にぬとうむ [funinutumu] 【名詞】船尾、とも。【例】ばー ふにぬ とうむん びじー かっじゅ とうらでい（私は舟のともに座って舵をとろう）。

心にぬはなず [funinuhanazi] 【名詞】船首。【例】つぎあー ふにぬ はなずん たちー かっちゅー っち（お前は船首に立ってカツオを釣れ）。

心にゆー [funju:] 【名詞】[C] 柑橘類の総称、みかん。【例】そー ふにゆー（すっぱいみかん）。

心にゆーぎー [funju:gi:] 【名詞】ミカンの木。【例】ふにゆーぎーや ゆだー たかりーどー（そのミカンの木は枝が繁茂している）。

ぶば [buba] 【名詞】[C] おばさん [自分の父親、母親の姉、妹]、親族でなくとも近所の中年以上の女性を指すこともできる。名称、呼称ともに使える。【例】かいがどう かないぶば（彼女が仕事の良くてできるおばさんだ）。[類] ぶばま、ぶばんま。

ぶばい [bubai] 【名詞】[B] 〔植〕苧麻（ちよま）[宮古上布の糸の材料]。【例】ぶばいぎー（苧麻の木）。[類] ぶー。

ぶばがま [bubagama] 【名詞】おばさん [自分の父親、母親の一番下の妹]、親

族でない大人の女性を親しみを込めて指す。名称、呼称ともに使える。【例】ぶばがまー みゅーいんつきやーまい うっとう（（その）末のおばさんは、おい（めい）よりも年下だ）。

ぶばな [bubana] 【名詞】[C] 穂。【例】ぎすつぬ ぶばな（ススキの穂花）。ぶーずぬ ぶばなぬどう いじゅーい（砂糖キビの穂花がでた）。

ぶばま [bubama] 【名詞】[C] おばさん [自分の父親、母親の姉、妹]、名称、呼称両方に使える。親族のみに使う。[類] ぶば、ぶばんま。

ぶばんま [bubamma] 【名詞】おばさん [自分の父親、母親の姉、妹]、名称、呼称両方に使える。親族のみに使う。[類] ぶば、ぶばま。

ふふ [fufu] 【動詞】[k 語幹] [C]（風が）吹く。[変異] ふう。[類] ふき。

ふふ [fufu] 【動詞】[k 語幹] [A]（家を）建てる。[変異] ふう。

ふふ [fufu] 【動詞】[k 語幹] [A]（ものの表面を）拭く、拭いて（汚れなどを）取る。[変異] ふう。

ふふ [fufu] 【動詞】[k 語幹] [A] 通り抜ける。[変異] ふう。[類] ふき。

ぶぶーい [bubui] 【動詞】[r/rr 語幹]（服などに付いたごみ、ほこりを）払ったり、振ったりして落とす。【例】もーふぬ くびゅー ぶぶいりー うた

す（毛布のゴミをふるって落とす）。[変異] ぶぶい。

ふふ [fufu] ①【動詞】[k 語幹] [A]（水が）沸騰する、（鍋、やかんなどが）噴（ふ）く。[変異] ふう。[類] ふき。②【動詞】[k 語幹] [A] 口をすぼめて息を出す、（笛を、ほらを）吹く、（煙草を）吸う。[変異] ふう。[類] ふき。③【動詞】[k 語幹] [A]（中から液体、気体が）吹きだす。[変異] ふう。[類] ふき。④【動詞】[k 語幹] [A]（息、命が）途絶える。[変異] ふう。[類] ふき。

ぶぶい [bubui]【動詞】[r/rr 語幹] [C]（服などに付いたごみ、ほこりを）払ったり、振ったりして落とす。[変異] ぶぶーい。

ふや [fujā]【名詞】[C] 知ったかぶりをするひと。【例】からー むいとうぬ ふやがま（あいつは知ったかぶりをするやつだ）。

ふやず [fujazi]【動詞】[g 語幹] [C]（他人を）悪く言う。【例】あいや ひとつーぎゃー ふやがん（そんなに他人の悪口を言うな）。からー いつまい うなが んまーさぬ くとうーどう ふやぎーまーるー（彼はいつも自分の両親の悪口を言っまわっている）。[類] ふあやず。

ふゆ [fuju]【名詞】[A] 冬。【例】ふゆん なりー っしふ なりーにゃーん（冬になって寒くなった）。

ふゆー [fju:]【名詞】[A] 怠け者、骨惜しみ。【例】からー むいとうぬ ふゆー（あいつはとっても怠け者だ）。まーぬ ふゆー あすな（骨惜しみせずにちゃんとやれ）。

ふゆー [fju:]【形容詞】[B]（いいわけをして）仕事をしない。【例】かりゃー いつまい ふゆーかいばならん（彼はいつも（あれこれと理由をつけて）怠けてばかりいる）。からー すかまー ひらいん ふゆーんまり（彼は仕事をしない怠け者だ）。

ふら [fura]【名詞】[B]（馬の）くら。【例】ぬーまぬ ふら（馬のくら）。

ぶら [bura]【名詞】[A]《地名》保良（ぼら）。【例】ぱーや ばぬー さーりー ぶらぬ むぬすーぬ まいたーひー いきゅーたい（おばあさんは私を連れて保良のユタのところまで行った）。

ぶらーい [burai]【動詞】[母音語幹]（風に）煽（あお）られる。[変異] ぶりゃーい。

ぶらう [burau]【動詞】[w 語幹] [C] 風が吹く、（扇風機やせんすの）風が当たる；（風が旗などを）はためかせる。【例】きゅーや ちゅーかでいぬどう ぶらいゆー（今日は風が強い）。あうず ひー くまんかい かじゅー ぶらーし（扇子でこっちに風を送れ）。[変異] ぶりやう。

ぶらかいー [burakai:] 【動詞】 [r/rr 語幹] 転倒する、ひっくり返る。【例】んぬ うまん ぶらかいーたい (昨日、ここで転んだ)。ういびとう ないていがー はっじゃ ゆーりー でいーゆつかだかー ぶらかいーがまた (年取ったら足が弱って杖を突かないとひっくり返る)。みつふあまーいや ひどぅ ぶらかいらっじゃうたい (立ち眩みして急に倒れそうになった)。[類] ぶらかいり。

ぶらかいす [burakaisi] 【動詞】 [s/h 語幹] ひっくり返す。【例】いっさぶらかいひー かんぬ どうい (大きな石をひっくり返して蟹 (かに) を取る)。

ぶらかいり [burakairi] 【動詞】 [母音語幹] 転倒する、ひっくり返る。[類] ぶらかいー。

ぶらふきや [burafukja] 【名詞】 嘘つき、ほら吹き。【例】かりゃー ぶらふきや やいば かいが むぬいゆぎゃー まさぐんな つかだうり (彼はほら吹きだから彼の話はまともには聞くな)。うりゃー ぶらふきや やいばういが むぬいや まとぅー ひらいん (彼はほら吹きだから彼の言うことは当てにできない)。

ぶり [buri] ① 【動詞】 [母音語幹] [C] (木の枝などをわざと) 折る；(事故などで足などを) 折ってしまう；(釘や針金を) 折り曲げる；(立っている木や植物

をなたなどで) 切り倒す、またそのようにして (サトウキビなどを) 収穫する。

[類] ぶい (r/rr 語幹)。② 【動詞】 [母音語幹] [C] (骨が) 折れる、(紙が) 折れる、(釘や針金が) 折り曲がる、(腰が) 曲がる。[類] ぶい (r/rr 語幹)。③ 【動詞】 [母音語幹] [C] (着物などを) 折りたたむ、(紙を) 折る。[類] ぶい (r/rr 語幹)。

ぶりー [buri:] 【名詞】 [C] 失礼、無礼。【例】ばー んぬー つうあんかい いたらん くとうー あっじー やぐみ ぶりー あたい (私は昨日あなたに対して思慮の欠けたことを言って大変申し訳なかった)。

ぶりなん [burinan] 【名詞】 リーフや岸辺に打ち寄せる波。【例】うがんです ふでい ならび ぶりなんがまぬよ いちゅんな なりー かしんななりー (大神の後方にフデ岩が並んでいて、(それに) 当たる白波が 糸になり、かし糸になり [古謡「漲水のクイチャー 5 番、6 番」より])。

ぶりゃーい [burjai] 【動詞】 [母音語幹] (風に) 煽 (あお) られる。【例】かでいん ぶりゃーいーにゃーん (風に煽られた)。[変異] ぶらーい。

ぶりゃう [burjau] 【動詞】 [w 語幹] [C] (風が旗などを) はためかせる。【例】かでいぬ はたう ぶりゃいゆー (風が旗をはためかせている)。[変異] ぶらう。

ぶりんつ [burintsi] ①【動詞】[k 語幹]
 (穴等に誤まって)落ちる。【例】はー
 なんかい ぶりんきーにやーん (大穴
 に落ちてしまった)。[変異] ぶりんふ。
 ②【動詞】[k 語幹] (家とか石垣などが
 いっぺんに)崩れ落ちる。【例】やりや
 ーや ないん ぶりんきー たうりー
 にやーん (古家が地震でどっと崩れ落
 ちた)。[変異] ぶりんふ。

ぶりんふ [burinfu] ①【動詞】[k 語幹]
 (穴等に誤まって)落ちる。[変異] ぶ
 りんつ。②【動詞】[k 語幹] (家とか石
 垣などがいっぺんに)崩れ落ちる。[変
 異] ぶりんつ。

ぶるくん [burukun] 【名詞】『魚』タ
 カサゴ。【例】ぶるくんつーや うむ
 っし (タカサゴを釣ることは面白い)。
 [類] ぐるくん。

ふん [fun] 【名詞】[C] (学校などの)組、
 味方。【例】くまぬ ふんな でいき
 ふん (こっちの組は頭のいい組だ)。ば
 んていが ふん (味方側)。

ぶん [bun] 【名詞】[C] 盆 (配膳のた
 めに食器や食べ物をのせる平たい器)。
 【例】かんにがいぬ ぶん (祈願の盆)。

ぶんかいり [bun̄kairi] 【副詞】特別
 に、非常に。【例】からー ぶんかい
 りどう うむくとう あいかい (彼は
 非常に頭が良い)。かりやー ぶんかい
 りどう かないかい (彼は特別に仕事
 ができる)。[変異] ぶんかつり、ぶんか
 りー。

ぶんかつり [bun̄karri] 【副詞】特別
 に、非常に。[変異] ぶんかいり。

ぶんかりー [bun̄kari:] 【副詞】特別
 に、非常に。[変異] ぶんかいり。

ふんず [funzi] 【動詞】[zz/dd 語幹] [A]
 わなで引っ掛ける；縄で縛る；(契約、
 条件などが行動を)制約する。【例】ば
 なひー たかう ふんず (ワナで鷹を
 引っ掛ける)。ひんじゃう ふんず (ヤ
 ギを縄で縛る)。でいんぬ かいていが
 ー ういんどう ふんじらい (お金を
 借りたらそれに縛られる)。

ぶんびし [bumbiçi] 【名詞】『祭礼』祈
 願のお膳を供えること、そのお盆の置
 き方。【例】ぶんぶしゅーぎやー ま
 さがん あっそう (お盆の置き方をち
 ゃんとしなさい)。

ぶんびしぶどうい [bumbiçiбудуи] 【名詞】『祭礼』お膳を供えて祈願が神様
 に通じるように願う踊り。【例】かぎ
 にかいぬぶんびしぶどうい (ありがた
 い願いのためのお盆を備えた後の踊り)
 [祈願をするために香炉を設置し、それ
 ができたとき喜び勇んで踊ること。カ
 ンダカビトゥ (靈感の強い人)は燃え
 るお香の煙の中に神様やその他の霊を
 見ることができその神様や霊たちに色
 々と祈願する。ナナムイの修業年限 10
 年の間に多くの人達は神様や霊達が見
 えるようになるとされている]。

ぶんみかす [bum̄mikasi] 【動詞】[s/h

語幹] 一目散に走る。【例】ぶんみかひー とぅばし (一目散に走れ)。

ぶんみゃー [bummja:] 【名詞】昔女性たちが上布を作ったところ、村番所 (現在の旧公民館)。【例】んきゃーん

な みどんみゃー ぶんみゃーん うぐなーらはいどう ぶーずんぬ うらはい うたいちゃ (昔は女性たちがぶんみゃーに集められて苧麻を織らされたそうだ)。

へ

べー [be:] 【感動詞】『間投詞』命令、依頼の前に使う、「ほら」[同年以下に使う。年上には「じゃー」を使う]。【例】

べー つうあが つふすー みはなう
くぬ さずひー ぬぐい (ほら、お前の汚れた顔をこの手拭いで拭け)。べー ふあい (ほら、食べなさい)。

ほ

ぼーしゅー [bo:ɕu:] 【名詞】 24 節気の一つ。太陽の黄径が 75 度のときをいう。陰暦 5 月の節で、陽暦の 6 月 6 日頃に当たる。稲、麦など芒（のぎ）をもつ穀物の種をまく時期とされていた。芒種。【例】 ぼーしゅー なりゅーば まいまい むずまい いびだかーならん（芒種になっているので米も麦も植えないとならない）。

ほーらいまい [ho:raimai] 【名詞】 それまで主流だったタイ米に代わって、台湾で品種改良されて作られたジャポニカ米の一種、おいしいコメの代名詞だった。【例】 ほーらいまいや んまい（蓬莱米は美味しい）。

ほう [hu] 【動詞】 不規則動詞「あす（する）」の未然形。否定形（ーん）、意志形（ーでい）、否定条件（ーだかー）を取るときに使われる。【例】 ばが ほうだかー たるが ほうでい（私がやらないと誰がやるのだ）。

ほう [hu] 【接頭辞】 大きい、最年長を表す。【例】 ほうやー（大きい家）。ほうなん（大波）。ほうみどうん（大きい

体格の女性）。ほうがぼー（とても大きい）。ほうーに（大きな船）。ほうっぴとう（大人、偉い人）。ほうじなん（二男を力強く呼ぶ言い方）。

ほうー [hu:] 【名詞】 [B] 帆。【例】 ふにぬ ほうー（舟の帆）。

ほうーい [hu:i] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A]（体が）震える；（怖くて、寒くて、緊張して）震える。【例】 あてい っしかいば ほうりーどう（余りにも寒いので震えている）。うとうるすかいば ほうーりゅーたい（怖くて震えていた）。っし かいば ほうーりーどうー（寒いので震えている）。ひとうぬ まいん はなす あすていがー ほうーいどうす（人の前で話をするとき緊張して震える）。[類] ほうーり。

ほうーい [hu:i] ① 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 欲しい、欲しがらる。【例】 いんぬどう っぞっー ほうーりー ゆー（犬がさかなをほしがっている）。がずむぬー いつまい でいんぬ ほうーりー ゆー（ケチな人はいつもお金を欲しがらる）。[類] ほうーい（母音語幹）。② 【動

詞] [母音語幹] [A] 欲しい、欲しがる。
[類] ほうーい (r 語幹)。

ほうーき [hu:ki] ①【動詞】[母音語幹]
[C] 実際より誇張して話す、大げさに
言う。【例】まーぬ ほうーきだうり
(余り大げさにものを言うな)。②【形容
詞】[B] (話が実際より) 誇張されてい
る、大げさだ。【例】からー いつまい
ほうーきかいば ならん (彼はいつ
も話がだげさだ)。ほうーきんまり (大
げさな奴)。

ほうーぐる [hu:guru] 【名詞】おば
け、魔物。【例】ほうーぐるぬ ふー
ば なかだうり (お化けが来るから泣
くな)。やらびゃー ほうーぐる いっ
づい あす (子供はお化けを怖がる)。
[変異] うーぐる。

ほうーぐる [hu:guru] 【形容詞】とて
も怖い、恐ろしい。【例】ほうーぐる
まずむぬ (怖いおばけ)。ほうーぐる
あす (怖がる)。

ほうーぐるうー [hu:guruu:] 【成
句】[vv 語幹幹] (お化けなどを) とて
も怖がる。【例】やらびゃー まずむ
ぬー ほうーぐるいっづい (子供はお
化けをとて怖がっている)。しーとう
んみゃー うぬ しーしーゆ ふーぐ
るいっづゃー ほうー (生徒たちはそ
の先生をとて怖がる)。

ほうーじやにゃーん [hu:zanja:n] 【成句】年齢相応でない。[変異] ほうーでいや にゃーん。

ほうーたい [hu:tai] 【名詞】広い額
(ひたい)。【例】ほうーたいびとう (額
の広い人)。

ほうーちや [hu:tɕa] 【名詞】[C 特殊]
大口をたたく人。【例】からー むい
とうぬ ほううつ (あいつは大口たた
きだ)。

ほうーつ [hu:tsi] 【動詞】[k 語幹] [C]
実際より誇張して話す、大げさに言う。
【例】まーぬ ほうーかだうり (余り
大げさにものを言うな)。[変異] ほう
ーふ。

ほうーつ [hu:tsi] 【名詞】[C 特殊] コ
レラなどの伝染病のこと；『祭礼』また
それを防ぐための無病息災の祈願、ウ
チャナクを供えて祈願する。ジャウヌ
カニソウジャウヤが100年ほどま
えに始めた。【例】ほうーつにがい (疫
病予防の祈願)。

ほうーっじやにゃーん
[hu:zzanja:n] 【成句】年齢相応でない。
[変異] ほうーでいや にゃーん。

ほうーでいや [hu:dija] 【副詞】大体
において。【例】っづあが たまぬど
う ほうーでいや はーさかい (あな
たの分け前が大体において多いです)。

ほうーでいや にゃーん
[hu:dija nja:n] 【成句】年齢相応でない。【例】かりゃー ほうーっじやに
ゃーん ういびとう (彼は年相応の分

別がない年寄りだ)。[変異] ほうーじやにやーん、ほうーっじやにやーん。

ほう一ふ [hu:fu] 【動詞】[k 語幹] [C]
 実際より誇張して話す、大げさに言う。
 [変異] ほうーつ。

ほう一ます [hu:masi] 【動詞】[s/h 語幹]
 見せびらかす、欲しがらす。【例】
 やらびんかい おもちやう ほう一ます
 (子供におもちやを見せびらかす)。

ほう一みつ [hu:mitsi] 【動詞】[k 語幹]
 (興奮して) 声を荒立てる。【例】
 まーぬ ほう一みつな (そんなに声を
 荒立てるな)。[変異] ほう一みふ。

ほう一みふ [hu:mifu] 【動詞】[k 語幹]
 (興奮して) 声を荒立てる。[変異]
 ほう一みつ。

ほう一や [hu:ja] 【名詞】[C] 長男。

ほう一らーしゃ [hu:ra:ɕa] 【名詞】
 見せびらかすだけでくれない人、ケチ。
 【例】かりやー むいとうぬ ほうら
 ーしゃ (彼はとてもケチだ)。からー
 いつまい むぬー むぬー ほうーら
 かひーぬ ほう一らーしゃ (彼はいつ
 もものをみせびらかすケチだ)。[変異]
 ほう一らしゃ。

ほう一らーす [hu:ra:si] ①【動詞】[s/h
 語幹] 見せびらかす、欲しがらす。【例】
 まーぬ ひとうんかい でいんぬぎや
 ー ほう一らーすな (あまり人に金を見
 せびらかすな)。ほう一らーす がず

んまり (見せびらかしのケチ)。[変異]
 ほう一らす。[類] ほう一らかす。②【形
 容詞】見せびらかすだけでくれない、ケ
 チでしみったれている。【例】からー
 ほう一らーすんまり (あいつはケチだ)。
 あいぬ ほう一らーす くとーぎやー
 ほうん (そんなしみったれたことを
 しない [＞してはいけない])。[類] か
 ーかん、がず。

ほう一らかす [hu:rakasi] 【動詞】[s/h
 語幹] 見せびらかす、欲しがらす。

ほう一らしゃ [hu:raɕa] 【名詞】見
 せびらかすだけでくれない人、ケチ。
 [変異] ほう一らーしゃ。

ほう一らす [hu:rasi] 【動詞】[s/h 語
 幹] 見せびらかす、欲しがらす。[変
 異] ほう一らーす。

ほう一り [hu:ri] 【動詞】[母音語幹]
 [A] (体が) 震える。[類] ほう一い。

ほう一ん [hu:n] 【動詞】[m 語幹] [C]
 欲しがる。【例】ばが っぎー さきゆ
 ーぎやー ぬまんば さきゆー ほう
 ーんていぬ くとうー にやーん (私
 の父は酒は飲まないの酒を欲しが
 ることはない)。

ほう一んみ [hu:mmi] 【名詞】(魚の)
 大群。【例】ぐんぬどう ほう一んみ
 ん なりー ゆりっちゆーば じょ
 あんぬ はらでい (むろあじが大群に
 なって押し寄せてきているから網を張
 る)。

ほうい [hui] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] (穴を) 掘る、周りを掘る、掘って取る。
【例】 かーゆ ほうい (井戸を掘る)。きーぬ にーゆ ほうい (木の根を掘る)。んーぷらひー んーぬ ほうい (芋掘り棒で芋を掘る)。

ほうい [hui] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] 惚れる、(恋愛の対象として) 好きになる。
【例】 ばー あばらぎ なかーにんかい ほういたい (私はきれいな次女を好きになった)。
[類] ほうり。

ほうい [hui] 【形容詞】 [B] 大きい。
【例】 ほういかい っぞうー とういー っじる (大きい魚を取って自分の分にしなさい)。ほういふ ない (大きくなる)。うぬ にぐーや まーぬ ほういっふあにやーんば とういや だみ (このシャコガイはあまり大きくないから取っちゃだめだ)。じゅーがつぬ かでいふつぬどう ほういかたい (10月の台風の方が大きかった)。

ほういさ [huisa] 【名詞】 [C] 大きさ、おおきいこと。【例】 ほういさう ほかい (大きさを測る)。っぞうー ほういさー ます (魚は大きいのがいい)。ていんぬ ほういさー っさいん (空の大きさは分からない)。

ほういさー ます [huisa: masi] 【成句】 大きい方が良く、大は小を兼ねる。【例】 ほういさー ます (大きい方が良く)。

ほういつ [huitsi] 【名詞】 [C] (驚いたときに出る) 声にもならない声；(失望したときに出る) ため息。【例】 かりやー うどうるきどう ほういっちゃ すんきー うたい (彼は驚いて声にもならない声を上げていた)。やきゅーゆ みーっちゃん ほういつ あす (野球を見ながらため息をつく)。

ほうか [huka] 【名詞】 [C] (自分の家でない) よそ、～以外、外側。【例】 やらびんみやー ほうかんかい あそーが はりーにやーん (子供たちは他所(よそ)に遊びに行ってしまった)。やらびんみぬ ほうかんな うまんたるまい みーん (子供たちのほかにはそこには誰もいない)。あんぬ ほうかぬ うにや (網の外のフグ [>役立たず、仲間外れ])。

ほうか [huka] 【名詞】 [C] 外海、リーフの外側の海。【例】 きゅーや ほうかんきー いきー っぞー とうらでい (今日は外海に行って魚を取ろう)。

ほうか [huka] 【名詞】 [C] 以外。【例】 てれびやー やぶりゅーば かいふー ほうかー にやーん (テレビは壊れているので買ってくる以外にない)。

ほうかい [hukai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 固くなる。[変異] ぶかい。

ほうがさ [hugasa] 【名詞】 [B] おでき、外傷が膿んだもの。【例】 ほうがさー んみーどう (おできが膿んだ)。い

ちゃ ほうがさー いでいー やんか
いば ならん (痛いおできが出て痛く
てならない)。[類] ふがさ。

ほうがさー [hugasa:] 【名詞】裏がえ
し、さかさ。【例】つんぬ ほうがさ
ーん つー (服を裏返しに着る)。[類]
さかさー。

ほうがす [hugasi] ① 【動詞】[s/h 語幹]
[A] 穴をあける、(穴を)あける [「穴」
は「ほうがす」の意味に入っているた
め、無くてもよいが、明示してもよい]。

【例】がばーちゃ ほうがし (大きな
穴をあける)。くまう ほうがひーみー
る (そこに穴をあける)。いーがまひー
かびーゆ ほうがす (千枚通しで紙
に穴をあける)。みーゆ ほうがす (体
に穴をあける [＞だます])。② 【動詞】
[s/h 語幹] [A] (心に)穴をあける [=
気落ちさせる]。【例】ばー きゅーや
かいん あていくとう あっじゃーい
つむー ほうがはいにやーん (私は
今日は彼にあまりにも (あれこれ) い
われて気が滅入った))。

ほうがす [hugasi] 【動詞】[s/h 語幹]
[A] (穴を)開ける。【例】いいひー
あなう ほうがし (錐で穴を開ける)。

ほうがなまい [huganamai] 【名詞】
頭の大きい人、偉い人 (比喩的表現)。
【例】からー ほうがなまい やいば
くぬ ぼーしゃー いみふだー (彼
は頭が大きいからこの帽子は小さすぎ
る)。ほうがなまいたが むぬいゆぎゃ

ー つかだかー ならん (偉い人達の
話は聞かないといけない)。

ほうかびじ [hukabizi] 【名詞】『地
名』保良の北側にあるリーフの名前。

ほうがら [hugara] 【形容詞】[C 特殊]
大柄な、大柄だ。【例】ほうがら び
とう (大柄な人)。

ほうからす [hukarasi] 【形容詞】嬉
しい、楽しい、幸せだ。【例】きゅー
や やびとうーんなん いじゃーい
やぐみ ほうからすむぬ (今日はみな
さんにお目にかかれてとてもうれしい
です)。んまがぬ すぐいていがー ほう
からす (孫が出世してくれたら嬉し
い)。[変異] ふからす。

ほうからっさ [hukarassa] 【名詞】楽
しいこと、うれしいこと。【例】ゆー
いんな ほうからっさ あす (お祝い
で楽しくすごす)。ほうからっさー な
だとう ひとつみ (うれしさはなみだ
とともに [＞うれしいときは涙もでる
ものだ])。

ほうき [huki] ① 【名詞】[B] 細かいゴ
ミ、ほこり。[変異] ぶき。② 【名詞】
[B] フケ。[変異] ぶき。

ほうぎ [hugi] 【動詞】[母音語幹] [A]
(心が)満ち足りる、満足する。【例】
んまむぬー ふあいー つむまい ほう
ぎーどうー (おいしいものを食べて
心も満ち足りた)。[変異] ぶぎ。[類]
ほうず。

ほうぎ [hugi] 【動詞】[母音語幹] [A]
 穴があく、穴をあける。 [類] ほうず。

ほうぎゃん [hugjan] 【名詞】[C 特殊] [食] 高粱 (コウリャン)。【例】ほうぎゃんぬ ほうーぐる (高粱の莖)。

ほうじゃう [huzau] 【名詞】[C] 煙草入れ (革製)。【例】んきゃーんぬ ひとつんみゃー ほうじゃうん きざみ たばくー いるーたい (昔の人達は煙草入れに刻み煙草を入れていた)。

ほうす [husi] ① 【動詞】[s 語幹] [A] 欲しがる/ほしい。【例】いんぬどう みっじゅ ほうしゅーい (いぬが水をほしがる) [「どう」は語調の整え、なくてもよい]。② 【形容詞】[B] 欲しがる/ほしい。【例】ばー ういがどう ほうすかい (私はそれが欲しい)。ばー きばんかいば でいんぬ ほうすかい ばならん (私は貧しいから金が欲しくてならない)。③ 【形容詞】[B] 動詞基本形について、～したがる/したい [通常 連濁して「ぶす」となる、聞き手に～してほしいという場合は、「動詞連用形+ふいーぶす」を使う、三人称に～してほしいという場合は使えず、その場合は、「～ていがー じゃうかい (～たらいいのに)」、「～ふいーばー ーい (～てくれたらいいのに)」を使う]。【例】からー うぬっぞうー みーぶすむぬ ちゃ (彼はその魚を見たがっているんだって)。つづあー なくゆどう ふあうぶすかいが (あなたは何をたべたい

ですか)。んまっぞうー ふあうぶすかい (おいしい魚を食べたい)。つづあが っふあー んじゃんかいどう ひとつぶすかいが ーい (君の息子はどこに行きたいのかね)。つづあが っさらんかい ーいきーふいーぶすむぬ (君が平良に行ってほしい)。ばー つづあん うるー けんきゅーや ひーふいーぶすむぬ (君にこれを研究してほしい)。[変異] ぶす。

ほうす [husi] 【動詞】[s 語幹] [C] (着物などを) 干す。【例】つんぬ ほうす (着物を干す)。つんほうすじゃう (物干し竿)。すまんな っぞうーぎゃー ほうしや ふあーっだん (村では魚を干して食べなかった)。

ほうす [husi] 【動詞】[s 語幹] [C] (乾かすために) 干す。【例】つんぬ ほうす (着物を干す)。

ほうす [husi] 【名詞】[A] 星。【例】つちゅな ていんぬ ほうっそう みー (月夜には天の星を眺める)。[類] ぶす。

ほうず [huzi] 【動詞】[g 語幹] [A] (心を) 満たす。【例】つむー ほうずきや たーひー んまむぬ ふあうたい (心ゆくまでごちそうを食べた)。んまがぬ だいがくんかい ーかーくー ひー つむー ほうがはいにゃーん (孫が大学に合格してうれしかった [＜心が満たされた])。[変異] ぷず。[類] ほうぎ。

ほうず [huzi] 【動詞】 [zz/dd 語幹] [A]

穴があく、穴をあける。【例】 っうあが ずぼんぬ ていびやー ほうぎー どうー (お前のズボンのお尻は穴があいている)。[類] ほうぎ。

ほうずむ [huzimu] 【名詞】 [C 特殊]

広い心、また、心の広い人。【例】 からー つむかぎ ほうずむびとう (彼は心がきれいで、優しい人だ)。[変異] ほうっずむ。

ほうすん [husin] 【動詞】 [m 語幹] [C]

欲しがる/ほしい。【例】 やらびぬどう みっじゅ ほうすみゅー (こどもが水を欲しがっている)。ひとうぬ むぬーぎやー ほうすまん (人の物を欲しがるな)。

ほうそうー [husu:] 【名詞】 [C] 海水、潮。

【例】 ほうそうーゆ んがいかでい (海水を汲みに行こう)。[変異] ほうっそうー、ほうっそう。[類] ほうそうみず。

ほうそうみず [husumizi] 【名詞】 海水、潮。

[類] ほうそうー。

ほうだ [huda] 【副詞】 量を表す表現の前に来て概数を表す、大体、およそ。

【例】 くぬ てれびやー ほうだ いかねんぎやー なりーどう (このテレビは(買ってから)約一年くらいになる)。くまぬ はいや ほうだ やそうる (ここの畑は約1反だ)。うつなーたーひー ひこうきひー ほうだ いち

じかん かくかい (沖縄まで飛行機で約1時間かかる)。

ほうだに [hudani] 【名詞】 [C 特殊]

大きな睾丸、また象皮病が原因で睾丸が大きくなること、またその睾丸、またその人。【例】 んきやーんな かじゃん つふあいー っさやんな ひー ほうだにんまい ないたいちゃ (昔は蚊に刺されて象皮病になって、大きな睾丸になったりしたそうだ)。

ほうっづあい [huvvai] 【名詞】 牛・馬等によってできた肥料、堆肥 [化学肥料は「きんぴ」という]。

【例】 ほうっづあいや むぬ でいかす むぬ (堆肥は植物の成長に良い)。

ほうっさ あす [hussa asi] ① 【動詞】 [不規則] ほしがる、ほしい (と思う)。

【例】 ばー んなま とうず ほうっさ ひーうい (私は嫁が欲しいと思っている)。からー ばかかいきやー むいとう でいんほうっさ あすたい (彼は若いときはとてもお金を欲しがった)。さきゅー ほうっさ ひーうい (酒を飲みたがっている)。② 【接尾辞】 [不規則] (動詞の基本形について) たがる、たい。【例】 ばが っぎー いたまい さきゅー ぬんぶっさ ひーうい (私の父はいつも酒をのみたがっている)。とうずとうみぶっさ ひーうい (嫁を貰いたがっている)。

ほうっずむ [huzzimu] 【名詞】 広い心、また、心の広い人。

[変異] ほう

ずむ。

ほうっそう [hussu] 【名詞】 [C] 海水、潮。 [変異] ほうそー。

ほうっそー [hussu:] 【名詞】 海水、潮。 [変異] ほうそー。

ほうっぱば [hubbaba] ①【形容詞】 幅が広い、大股だ。 【例】 ほうっぱばんつ (幅の広い道)。ほうっぱば やすつ (大きな敷地)。 ②【名詞】 幅が広いこと、大股。【例】 ほうっぱばひー あいつ (大股で歩く)。

ほうっぱんまい [hubbammai] 【名詞】 主食。 【例】 んきやーんぬ ほうっぱんまいや んー あたい (昔の主食は芋だった)。 [変異] ほうばんまい。

ほうっびとう [hubbitu] 【名詞】 偉い人。 【例】 かぬ だいがくぬ しーしーや やぐみ ほうっびとう (あの大学の先生はとても偉い人だ)。ほうっびとう ふいゆ あす ひとつ (偉そうなふりをする人)。ほうっびとう ふや (えらくないのに偉そうにする人)。ほうっびとうふいんまり (偉そうにして鼻持ちならない奴)。

ほうっびゆーい [hubbjui] 【名詞】 『祭礼』神事の名前、仲間御嶽で行われる収穫感謝祭で神酒が振舞われる。 【例】 ほうっびゆーいんな あーんちちゆぬん (大日取りには粟の神酒を仲間御嶽で飲む)。

ほうつぶに [hubbuni] 【名詞】 大きな骨、大きい骨格。 【例】 からー ほうつぶに びとう やいぼどう んぶかい (彼は骨太なので体重が重い)。ほうつぶにゆーぎやー つうあが ふあい (大きな骨はお前が食べる)。 [変異] ほうぶに。

ほうつぶらふきや [hubburafukja] 【名詞】 大ぼら吹き。

ほうてい [huti] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] (体を温めるために火、たき火などに) あたる。 [変異] ほうていー。

ほうていー [huti:] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] (体を温めるために火、たき火などに) あたる。 【例】 うまつん ほうていー んふばーい (火にあたって温まる)。 [変異] ほうてい。

ほうでいー [hudi:] 【名詞】 [C] 手が大きい (人)、気前がよい (人)。 【例】 ばんていが ぱーや つむかぎ ほうでいー あたい (私のおばあさんは心優しく、気前の良い人だった)。

ほうとうー [hutu:] 【名詞】 [C 特殊] 大海、大海原。 【例】 ふにやー ほうとうーんかい いでいたい (船は遠くの大海原に出た)。 [類] うほうとうー、うほうとう。

ほうどうー [huduz] 【名詞】 [C 特殊] 立派な体格。 【例】 まさいや たやぎ ほうどうーびとう (マサイはとても立派な体格で力がありそうだ)。

ほうどうー [hudu:] 【名詞】 [C 特殊]
八重干瀬の中にあるひとつりフの名前。

ほうどうい [hudui] 【動詞】 [母音語幹] [A] (こどもが) 成長する。【例】やらびゃー あたくまん ほうどうい どうす (子供はあつと言う間に大きくなる)。

ほうどうつ [hudutsi] 【動詞】 [k 語幹] [A] (結んだ帯、糸、もつれた糸などを) ほどく。【例】そうくーゆ ほうどうつ (帯を解く)。まつっだりゆー いたうー ほうどうき (絡み合っている糸を解きなさい)。[変異] ほうどうふ。

ほうどうふ [hudufu] 【動詞】 [k 語幹] [A] (結んだ帯、糸、もつれた糸などを) ほどく。[変異] ほうどうつ。

ほうなん [hunan] 【名詞】 [B 特殊] 大波。【例】きゅーや ほうなんぬ たちゅーば っぞうとういが いかじゃーん (今日は大波が立っているから魚を取りに行かない)。

ほうに [huni] 【名詞】 [C] 骨; 魚の小骨。【例】ほうに たかい っぞう (小骨の多い魚)。っぞうぬ ほうにぬどうぬどうん かかりゅー (魚の骨が喉にひっかかっている)。

ほうにずー [hunizi:] 【名詞】 (食べやすくするために) 魚を骨ごと切ること。【例】いみかい っぞうぎゃー

ほうにずー あっそう (小さい魚は骨ごと切りなさい)。

ほうにぶかい [hunibukai] 【形容詞】
骨身にこたえる (寒さ、つらさ)。【例】きゅーや やぐみ ほうにぶかい っしさ (今日は骨身にこたえる寒さだ)。

ほうにや [hunja] 【名詞】 [C] 大根。【例】ほうにゃー ふゆんどう やすだいかい (大根は冬がやすい)。[変異] うほうにや。[類] だいほうにや。

ほうばんまい [hubammai] 【名詞】
主食。[変異] ほうっばんまい。

ほうぶに [hubuni] 【名詞】 [C 特殊]
大きな骨、大きい骨格。[変異] ほうっぶに。

ほうみ [humi] 【動詞】 [母音語幹] [C]
ほめる。【例】やらびゅーぎゃー んみかだ ほうみる (子供は叱らないで褒めて使え)。

ほうみたーっづあす [humita:v-vasi] 【動詞】 [s/h 語幹] ほめちぎる。【例】うりゃー ほうみばやー やいば ほうみたーっづあし (彼は褒められるとその気になる奴だから褒めちぎれ)。

ほうみつ [humitsi] ① 【動詞】 [k 語幹] [A] (風邪などで体が) 熱くなる、火照る。【例】かんぼーや ひどう っづあが どうーや ほうみきーどう (あなたの身体は熱っぽい)。[変異] ほうみふ。② 【動詞】 [k 語幹] [A] 興奮する、

熱くなる、騒ぎ立てる。【例】まーぬ
いたらーんくとうんかい ほうみつな
(余りつまらないことに騒ぎ立てるな)。
[変異] ほうみふ。③【形容詞】[A] (火
の近くにいるために) 熱い、(熱で体が)
熱い。【例】うまつぬ やかたー ほう
みつかいばならんば ひーちゃがま
はなりる (火の側は熱いから少し離れ
なさい)。にっちゃ いでいー みはな
ー むいとう ほうみつむぬ (熱が出
て顔はとても火照っている)。

ほうみつ [humitsi] 【動詞】[k 語幹]
[A] (体に) 熱がある。【例】かじゃー
ひきどう どうーや ほうみきーゆ
ー (風邪をひいて熱がある)。
[変異] ほうみふ。

ほうみばやー [humibaja:] 【名詞】
ほめられとすぐその気になる人、おだ
てにのりやすい。【例】かりゃー む
いとうぬ ほうみばやー (彼はほうめ
られるとすぐその気になる人だ)。うり
ゃー ほうみばやー やいば ほうみ
ー つかい (彼はほめられたらその気
になる人だからほめて使いなさい)。

ほうみふ [humifu] ①【動詞】[k 語幹]
[A] (風邪などで体が) 熱くなる、火照
る。 [変異] ほうみつ。②【動詞】[k
語幹] [A] 興奮する、熱くなる、騒ぎ
立てる。 [変異] ほうみつ。

ほうみふ [humifu] 【動詞】[k 語幹]
[A] (体に) 熱がある。 [変異] ほう
みつ。

ほうむず [humuzi] 【名詞】[C 特殊]
大麦。【例】んっそう ちゅふ とう
きゃんな ほうむずひーどう かうっ
じゅ ちゅっふ (味噌を作るときには
大麦で麴を作る)。

ほうむぬい [humunui] 【名詞】大げ
さにものを言うこと。【例】たくー
ひとうから とういっていまい とう
から といったいていー ほうむぬい
ゆ あす (タコを一匹取って来ても 10
匹取って来たと大げさにものを言う)。
[変異] ほうむぬゆい。

ほうむぬゆい [humunujui] 【名詞】
大げさにものを言うこと。 [変異] ほ
うむぬい。

ほうむぬゆみや [humunujumja]
【名詞】大げさにものを言う人、大ぼら
吹き。【例】からー ほうむぬゆみや
やいば かいが むぬいや とうー
ん ひていっちゃ つかいん (彼は大
ぼら吹きだから彼の言うことは 10 の中
1 つも信用できない)。

ほうらだつ [huradatsi] 【名詞】『地
名』ホウラダツ (大浦集落の入口)。
【例】ほうらだつんな まずむぬぬ う
い (ホウラダツには幽霊がいる)。

ほうらつ [huratsi] 【動詞】[k 語幹]
[A] (目や本を閉じられた状態から) 開
ける [「ふー (閉じる)」の反対語]。
【例】あてい ばかすかいば みーや
ほうらかだ ばらうたい (あんまりお

かしかったので目を開けないで笑った [あまりの嬉しさに笑うこと]。ほうらぬ ほうらきーみーる (本をあけなさい)。[変異] ほうらふ。

ほうらな [hurana] 【名詞】[C] (水をためるために掘った) ため池 [馬などを洗うために掘った]。【例】みっじゃ たまらん ほうらな (水の溜らない掘り穴)。んきやーん やらびんみやー ほうらなぬ みっじゅまい ぬみゆーたい (昔のこどもたちはため池の水まで飲んでいた)。がっこうぬ ていびぬ ほうらな (学校後方の池)。

ほうらふ [hurafu] 【動詞】[k 語幹] [A] (目や本を閉じられた状態から) 開ける [「ふー (閉じる)」の反対語]。[変異] ほうらつ。

ほうらふきや [hurafukja] 【名詞】ほら吹き。【例】うりやー ぶらふきや やいば ういが むぬいや まとうー ひらいん (彼はほら吹きだから彼の言うことは当てにできない)。[類] ぶらふきや。

ほうらふつ [hurafutsi] 【名詞】ほらを吹くこと。【例】ほうらふつちゃ じゃうかいむぬ あらん (ほらを吹くことはいいことではない)。

ほうり [huri] 【動詞】[母音語幹] [A] 惚れる。【例】ばー っぐあがまんかいや ほうりん (俺はおまえなんかには惚れない)。[類] ほうい。

ほうり [huri] 【名詞】[A] 惚れること、自分をわすれるほど夢中になること [連濁して「ぶり」となる]。【例】みどうんぶり (女に夢中になること)。びきぶり (男に夢中になること)。かりやー どうすぶりやーひどう すかままい ほうだ どうすぬ まいんかい あそーが はりーにやーん (彼は友達づきあいがよくて、今日も仕事もせず友達のところに遊びに行った)。

ほうりぎちくら [hurigitçikura] 【名詞】バカな奴。【例】むいとうぬ ほうりぎちくら (とてもバカな奴)。

ほうりちくや [huritçikuja] 【名詞】馬鹿な奴。[類] ほうりちくら、ほうりぎちくら、ほうりぎちくや。

ほうりちくら [huritçikura] 【名詞】馬鹿な奴。[類] ほうりちくや、ほうりぎちくら、ほうりぎちくや。

ほうりっふあい [huriffai] 【名詞】非常に太っていること、またそのような人。【例】からー あてい うんかいばどう ほうりっふあいや ひーゆー (彼はとても大食いなので太っている)。

ほうりふい [hurifui] 【形容詞】バカげた、冗談の。【例】ほうりふい むぬい あす (馬鹿なことを言う)。ほうりふいんまり (冗談をよくいう奴)。

ほうりみつず [hurimitsizi] 【名詞】右往左往、落ち着かない様子、ショック

などでどうしていいかわからない状態。

【例】みーんな さうや にゃーだ
ほうりみつず あす (目には落ち着き
がなく視点が定まらないようすだ)。

ほうりむぬ [hurimunu] 【名詞】バカ
者。【例】かりゃー うむくとうー
にゃーん まーんていぬ ほうりむぬ
(彼は考えの浅い本当の愚か者だ)。ほう
りむぬぬ ほうりむぬふあう (バカの
大食い)。ほうりむぬぬ ほうりさきぬ
ん (バカの大酒飲み)。かりゃー ばぬ
ーぎゃー いつまい ほうりむぬ み
ー (彼は私のことをいつも馬鹿扱す
る)。ほうりむぬんな ほうりむぬぬ
まーびゃー ひらいん (馬鹿は馬鹿の
まねはできない)。

ほうりむぬみー [hurimunumi:] 【名
詞】見下すこと、馬鹿扱い。【例】ほ
うりむぬみー あす (馬鹿扱す)。

ほうりむぬゆん [hurimunujun] 【名
詞】馬鹿なこと、くだらないこと。【例】
まーぬ ほうりむぬゆんぬぎゃー あ
すな (余り馬鹿なことを言うな)。

ほうん [hun] 【動詞】[m 語幹] [A] ほ
める。【例】やらびゆーぎゃー んみ
かだ ほうみー つかい (子供は叱ら
ずに褒めて使え)。うながどうーゆぎゃ

ー ほうまん (自分をほめない)。

ほうん [hun] 【名詞】[B] 本。【例】
ほうんぬ ゆん (本を読む)。ほうんぬ
っふいみーみーる (本を閉じなさい)。
ほうんぬ かふ (本を書く)。ほうんな
うむくとう いだす むぬ (本は知
識を与えてくれるもの)。

ほうんだい [hundai] 【名詞】我がま
ま、自分勝手、またその対象。【例】な
らほうんだい やらびがま (自分勝手
な子供)。ばー っづあが ほうんだい
や あらん (私はお前の我がままの相
手じゃない)。まーぬ ほうんだい あ
すな (あんまりわがまま言うな)。うぬ
みどうん やらびがまー むいとう
ぬ ほうんだいがま (この女の子はと
ても自分勝手だ)。

ほうんつ [huntsi] 【名詞】[B 特殊] 大
通り。【例】がっこーんかい いつと
うきやんな ほうんっちゆ あいきー
いき (学校に行くときには大通りを
歩いていけ)。

ぼろぼろ [boroboro] 【オノマトペ】ぐ
つぐつ、ぐらぐら。【例】なびぬ ん
つつーや ぼろぼろていどう ふきゆ
ー (鍋のおつゆがぐらぐらと沸騰して
いる)。[類] ふき。

ま

ま [ma] 【助詞】『終助詞』基本形について突き放した態度、反語的な態度を示す[「ん」をともなうことも多い]、～かよ。【例】ばー すーんま（俺が知るかよ）。

まー [ma:] 【名詞】[C] 空間的余裕、空き間、すき間；時間的余裕、暇。【例】うまー しばかいば びー まーや にゃーん（ここは狭いから座る余裕がない）。うまー っづあが びーまーや あきーどうー（ここは君の座るところがある）。まーや ありー びじ（間隔をおいて座れ）。ばー きゅーや まーや にゃーんば かしーや ひらいん（今日は時間がないので手伝いはできない）。きゅーや いすがすかたいば むぬー ふあう まーまい にゃーっだん（今日は忙しかったので食事をする時間もなかった）。

まー [ma:] 【名詞】[C] 足跡、手の形、痕跡。【例】ひとうぬ はずぬ まー（人の足跡）。ぬそうどうぬ はいらーまーぬどう あるー（泥棒の入った跡がある[「はいらー」<「はいりゃー」<「はいりー+あい」（入って+ある）]）。

まーい [ma:i] ①【動詞】[r/rr 語幹] [A] 歩いて訪ねる；遠回りをする。【例】すまう まーい（集落を歩き回る）。かまから まーりー くー（向こうから回って来い）。③【動詞】[r/rr 語幹] [A]（動詞の連用形についてその動作をしながら何か所かに連続して）移動する。【例】あいきーまーい（歩き回る）。んすぬ いんぬ うーぎーまーい（真謝の海を泳ぎ回る）。とうびーまーい（走って回る）。ぶーっじゃ ぬすみー ひんぎーまーいたい（サトウキビを盗んで逃げまわった）。やーばっそう ふきーまーい（家と家の間を通り抜けて近道をする）。とうみーまーい（探し回る）。なきーまーい（泣きながら歩き回る）。ばらいーまーい（（人の悪口を言いながら友達のところなどをたずねて）馬鹿にして回る）。かっふいーまーい（隠れて逃げまわる）。②【接尾辞】（名詞について）歩き回ること、訪問すること。【例】はらうずまーい（親戚回り）。すままーい（集落を歩き回ること）。④【接尾辞】動詞基本形について名詞を作る接尾辞、（その動作をしながら）歩き回る。【例】さきぬんまーい（集落を酒を飲むため

に歩き回ること)。かにゃー ういびと
うん なりー くぬいや むぬゆんま
ーいゆぎゃー ほうん (カニは年を取
って最近はおしゃべりして回ること
はしない)。

まーい [ma:i] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A]
(ものや身体が) 回転する；(回転して、
忙しくて目が) 回る；(否定をとまな
つて、借金で首が) 回らない。【例】
ぐるたん なりー まーるーきゃー み
ーぬどう まーるーたい (ぐるぐる回
ってたら目が回った)。きゅーや いす
がすかたいば みーぬ まーりゅーた
い (今日は忙しかったので目が回った)。
うっかぬ はーさ ありー ぬどうま
い まーらん (負債が沢山あって首も
回らない)。

まーい [ma:i] 【名詞】 [A] (ものや人
の) 周り、周囲；交際範囲。【例】や
ーぬ まーい (家の周囲)。ばたぬ ま
ーいゆ はかい (腹の周りを測る)。か
いが まーいんな ひとつぬどう う
んそうく うぐなーりゅー (彼の周り
には人がたくさん集まっている)。

まーい [ma:i] 【名詞】 [A] 順番。【例】
ばが まーいぬどう っちゅー (私の
順番がきている)。[類] まーる。

まーい [ma:i] 【名詞】 [C] ボール、ま
り。【例】まーいゆ つふ (まりをつ
く)。みどうんやらびんみゃー まー
いひー あそうー (女の子供達はまり

で遊ぶ)。まーいゆ きー (ボールを蹴
る)。

まーい [ma:i] 【接尾辞】 名詞について
漁の種類を表す接尾辞。【例】いんま
ーい (漁に出ること)。みがにまーい (素
潜り漁 [＜水中メガネ漁])。だいだま
まーい (ダイナマイト漁 [終戦直後、不発
弾の火薬を抜き取りそれを使って多く
の人が密漁していた])。あんつかいま
ーい (網を使った追込み漁)。たくとう
いまーい (タコとり漁)。っぞうつま
ーい (魚釣り [＜魚釣り回り])。

まーいうむくとう [ma:iu mukutu]
【名詞】 社会性；人付き合いがちゃんと
できること、また、そのための知恵。
【例】うらー がっこー うむくとうー
あいそうが ばぬんつきゃー まー
いうむくとうー にゃーん (彼は勉強
はできるが、私より社会性はない)。

まーいかたー にゃーん
[ma:ikata: nja:n] 【成句】 (感情的に、金
銭的に解決の方法がなくて) どうしよ
うもない、八方ふさがりだ。【例】と
うずぶとう ばきゃーいや ひー さ
びすかいは まーいかたー にゃーん
(離婚してさびしいのでどうしようも
ない)。うっかー あみかづいー まー
いかたー にゃーん (借金をみんなひ
きうけてしまってどうしようもない)。
からー まーいかたー にゃーんま
り (彼は使いものにならないどうしよ
うもない奴だ)。

まーく [ma:ku] 【名詞】 [C] 背が低い人。【例】まーくがま (背の低い人)。からー まーくがま やいそうが たやー つうあんつきやー あり (彼は背は低いけれど、力はお前よりある)。
[類] まーしゃがま。

まーく [ma:ku] 【形容詞】 [C] (人の) 体が小さい; (ものが) 小さい。【例】ばー いみかいきやー あぐたが なかな なながーんな まーくかたい (私は幼い時は同級生のなかで一番背が低かった)。うぬ んながーんな まーくかい えんぴちちゆぎやー すている (この一番短い鉛筆を捨てろ)。
[類] いみ。

まーくん ない [ma:kun nai] 【成句】 [r/rr 語幹] 体を丸くする、身を屈(かが)める。【例】っしかいば どうーや まーくん なりゆーたい (寒くて体が丸くなった)。まーくん ならだかー うまから どうーらいん (身をかがめないとそこを通れない)。

まーしゃ [ma:ʃa] 【名詞】 [C] (何かを) 回す人。【例】なそうーぎーぬ すたぬ ぼう まーしゃがま (茄の木の下で棒を回す人 [この比喩から「背が低い人」という意味に使われる])。

まーじゅん [ma:ʒun] ① 【副詞】 ほかの人と同じことを、同じように; 一緒に。【例】んーなとう まーじゅん あっそう (皆と同じようにやりなさい)。じよ まーじゅん ふあーでい (さあ、

一緒に食べよう)。② 【形容詞】 同じ。【例】ういとう かいとうー まーじゅんむぬ (これとあれはおなじようなものだ)。

まーす [ma:si] ① 【動詞】 [s/h 語幹] [A] 回転させる; (別の人に) 回す。【例】くまう まーす (コマを回す)。まーすがにゆー まーひー あそうー (鉄の輪っかを回して遊ぶ)。うぬ んまじゃきゆー ばぬんかいまい まーひーふいーる (そのおいしい酒を私のところにも回してくれ)。② 【動詞】 [s/h 語幹] [A] (凧を) あげる。【例】かびとういゆ まーす (凧をあげる)。
[類] あぎー。

まーそう [ma:su] 【名詞】 [C] 塩。【例】まーそうー なんー (塩をなめる)。まーそうー かきー (塩をふる)。

まーそうさうず [ma:susauzi] 【名詞】 『祭礼』 (魔よけのため) 塩で清めること。【例】うまん なやなむぬぬどう ういば まーそうさうず あっそう (ここは悪いものがあるので塩できよめろ)。

まーそうにー [ma:suni:] 【名詞】 塩だけで煮る魚の料理法、塩ゆで。【例】あいつぞうぬ まーそうにーや むいとう んまい (アイゴの塩ゆではとても美味しい)。

まーた [ma:ta] 【名詞】 [C] 『祭礼』 魔除けの目印 [ススキの葉で輪っかを作り、それを作物を植えた直ぐの畑や、持

って行かれない物に刺して魔除けとした。人が亡くなったときにはマータを両門におき、入り口には棒をおいて魔除けとした】。【例】まーたう ゆー（魔除けを結う）。まーたー ゆっ づいー うまんさすていがー まずむ ぬまい ひとうまい といや はらん（マータを結ってここにさしたら魔物も人も（これを）とってはいかない）。

まーだぎゃー [ma:dagja:] 【副詞】ま あまあ、ある程度。【例】まーだぎゃー がばー っぞう あたい（まあまあ大きな魚だった）。

まーっさ [ma:ssa] 【名詞】（ふらついたりしない）まともな歩き方。【例】まーっさ ん^ん（ふらつかずにちゃんと歩く）。やらびぬ まーっさう ん^み ゆーば みーみーる（赤ちゃんがちゃんと歩いているので見てみて）。びゅー いびとうぬ まーっさ ん^んまだ あいきゅー（酔っ払いがふらついて歩いている）。【類】っさ。

まーっぞう [ma:zzu] 【名詞】（追い込み漁でとるようなアイゴやブダイなどの）近海魚。【例】かっちゅんつきやー まーっぞうどう んまかい（カツオより近海魚が美味しい）。

まーに [ma:ni] 【名詞】[C] 〔植〕黒つぐ、皮を紐として使う植物。【例】まぐー かやとう まーにぬ かーひどう ちゅっふあい（糸入れかごは茅と黒つぐの皮で作られる）。くーすふあや

う まーにぬ ばなひー ふっでいー あそうびゅーたい（木登りトカゲを黒つぐの罫で括って遊んでいた）。

まーにんぎん [ma:ninjin] 【名詞】普通の人、正常な人、真人間。【例】かりやー ほうりむぬー あらん、まーにんぎん（彼は馬鹿者ではなくまともな人だ）。

まーぬ [ma:nu] 【副詞】動詞、形容詞を修飾して程度が大きいことを表す、あまり〔否定を表す表現と呼応して程度が大きくないことを表す。共通語の「あまり」と違って理由節では使えない。共通語の理由節に当たる表現では、「あてい はーさ ふあいみーていがー ばたぬどう やみゅーたい（あんまりたくさん食べたら、おなかを壊した）」のように事実条件節を使い、「あてい（とても）」を使う】。【例】おい ゆがかなまい まーぬ ばいんつな（おい、あんまりぶつくさ言うな）。うらー まーぬ じゃうっふあにやーん（それは余り良くない）。ばが っちやー っぞうー まーぬ ほういつふあ にやーっだん（私の釣った魚はあまり大きくなかった）。まーぬ むぬー ふあうていがー ばたぬどう やんがまた（あんまりたくさんたべるとおなかを壊すよ）。

まーび [ma:bi] 【名詞】[A] 真似。【例】ひとうぬ まーびゅーぎゃー あすな（人の真似はするな）。

まーぶ [ma:bu] 【感動詞】子馬が離れかけたときに離れないようにこちらにもどれと呼ぶときに使う呼びかけ。

まーぷい [ma:pui] ①【動詞】[r/rr 語幹] (暗いところから明るいところで目が) くらむ; (太陽などをみて) まぶしくて目がくらむ。【例】えいがかんから いでいー みーや まーぷりー あいつぐりむぬ あたい (映画館からでて目がくらんで歩きにくかった)。ていだー みー みーや まーぷりゅーたい (太陽を見て目がくらんだ)。②【動詞】[r/rr 語幹] 目まいがする、目が回る、フラフラする。【例】みーや まーぷりーどうー (目まいがしている)。
[類] まぐい。

まーぷら [ma:pura] 【名詞】めまい。
【例】まーぷら ひーどうー (目が回っている)。

まーま [ma:ma] 【名詞】[C] 後妻、継母。【例】やなくんじゃう まーま (意地が悪い継母)。
[類] まーまんま。

まーま [ma:ma] 【名詞】[C] げんこつ。
【例】まーまう ちゃらていー ふあーす (げんこつをがちんとくらす)。

まーまんま [ma:mamma] 【名詞】後妻、継母。 [類] まーま。

まーゆ [ma:ju] 【名詞】[A] 『魚』フエフキダイ。

まーゆ [ma:ju] 【名詞】[A] ヤシ油。
【例】まーゆひー さたていんぷらう

やつ (ヤシ油で沖縄風ドーナツを揚げる)。

まーらす [ma:rasi] 【動詞】[s/h 語幹] 回す、回らす。【例】まーすがにゅーまーらす (鉄の輪っかを回す [遊びの一種])。[類] まーす。

まーる [ma:ru] 【名詞】[A] 順番、順序が回ってくること。【例】んなーまーばが まーる (今は私の順番)。ぶどうい まーる (踊りの順番)。
[類] まーい。

まーんぐとう [ma:ngutu] 【名詞】真実、本当のこと。【例】うらー まーんぐとうな (それは本当ですか)。あがいー あがいー ぶどうー すにーはりーにやーんよー、うらー まーんぐとうよー (あー、旦那は死んでしまった、本当なんだ (信じられない))。

まーんていー [ma:nti:] ①【名詞】(嘘でなく) 本当のこと、(偽物でなく) 本当のもの。【例】つぐあが あっじゅーくとうー まーんていーや あらん (お前の言っていることは間違っている)。つぐあが さんすーぬ くたいや まーんていーや あらん (お前の算数の答えは正しくない)。くぬ だいやー まーんていーぬ むぬ (このダイヤは本物だ)。②【副詞】本当に。【例】きゅーや まーんていー あつかいばならん (今日は本当に暑くて仕方がない)。くぬいぬ わーつっちゃ まーんていー さだかー ひらいん (最近のお天

気は本当に予測できない)。からー まーんていー うむくとうあい ひとつ (彼は本当に頭がいい人だ)。③【感動詞】なるほど、なるほどだよ、本当、本当だよ。【例】まーんていーだら (なるほどね)。

まい [mai] 【接尾辞】尊敬の動詞接辞
子音語幹動詞の未然形に付く。母音語幹動詞では、「さまい」。

まい [mai] 【名詞】[C] (空間的に、人、もの、場所などの) 前；(時間的に) 前。
【例】つうあー ばが まいん たち (君は僕の前にたちなさい)。やーぬ まいん ばすぬ ていりゆーじよぬ あい (家の前にバス停がある)。かいが みーゆー まいんどう ばー たういたいが おーかん (彼が見ている前で私は倒れたらしい)。あしぬ まいん うぬ っそういゆ ぬみ (朝ごはんの前にこの薬を飲みなさい)。まいや んぎー あい (相手が何か言う前に先を読んで言う)。しーしーたが んみやいー まいん さきゆー いだほうーき (先生方がいらっしゃる前に酒を出しておきなさい)。

まい [mai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] 大便をする。【例】っしんきー っそうー まい (トイレに行って大便をする)。っそう まりや ていーゆ あらい (大便をした後は手を洗え)。

まい [mai] 【動詞】[母音語幹] [C] (鷹のような大きな鳥などが上空を) ゆっ

くり舞うように飛ぶ。【類】まう。

まい [mai] 【名詞】[B] 米。【例】まいぬい ((米の) おにぎり)。まいだーら (米俵)。【類】くみ。

まい [mai] ①【名詞】[C] 近く、近所；時間的に近く。【例】しょーがっこー や ばんていが やーぬ まいんどう あい (小学校は我が家の近くにある)。まっちやー まいがまん あい (店はすぐ近くにある)。いんな すぐ まい (海はすぐ近くだ)。きゅーりよーびやー んめ まいん なりーどうー (給料日が間近になっている)。②【形容詞】[C] 空間的に近い；時間的に近い。【例】んながーんな まいかい まっちやー んじゃんどう あい (一番近い店はどこにあるの)。くまからー っさらぬどう ぶらんつきやー まいかい (ここからだったら平良のほうが保良より近い)。とうんでいさうがつとう くりすますとう いでいがどう まいかい (冬至の集まりとクリスマスとどっちが時期的に近いですか)。

まい [mai] ①【助詞】『副助詞』「も」[(名詞や、名詞+格助詞について) ほかの人、もの、ことに加えてそれもとという累加の意味を加える]。【例】ばんまい いかっじゃー つうあまい いきーふいーる (私も行くのでお前も行ってくれ)。きゅーまい まうきじゅくーにやーん (今日も仕事はない)。うぬ んまじゃきゅー ばぬんかいまい

まーひーふいーる（そのおいしい酒を私のところにも回してくれ）。②【助詞】『副助詞』「も」[(疑問詞や数詞、疑問詞や数詞+格助詞について) 否定とともに使われて、「だれも、なにも、どこも、いくらも、いつも、(3人)も～ない」という全部否定の意味を加える]。【例】うぐなーいんかい いきーみーていがー たるまい みーっだん(集まりに行ってみたらだれもいなかった)。ふにゃー みゃーていぬ にゃーだかー んじゃまい いかいん(舟は目的地がないとどこにも行けない)。ばー かいんかいや んめ みっふあさまい なうまい にゃーん(わたしは彼女には憎しみもなにもない)。ふあうむぬーぎゃー なうゆまい むまん(食べ物はどうなものでも好き嫌いが無い)。いじゅーまい ふあーっだん(どちらもたべなかった)。③【助詞】『副助詞』「でも」[(疑問詞、疑問詞+格助詞について) それらすべてという意味を加える]。【例】ばー なうまい んち(私は何でも沢山ある)。からー なうまい っしーどー (あの人はなんでも知っている)。やらびゃー たるんかいまい あまいあまいていー ひーゆー(子供はだれにでも愛嬌をふりまく)。なうまい ゆぬむぬ(どれでも同じだ)。いつまい にゆーたぎむぬ(いつも眠そうだ)。みゃーくずつんな んじゃからまい はーさぬ ひとうぬ すまー ならひー んみゃい(ミヤークズツにはそこらじゅうから多くの人々がどっと押し

寄せて来る[<どこからも村をどよめかせていらっしゃる])。でいんぬ あいていがー なうまい かーいどうす(金があればなんでも買える)。いかっさまい ふあうたいそうが、んめひー ふあうぶすむぬ あたい(たくさん食べたが、もっと食べたかった[<いくらでも食べたが])。④【助詞】『副助詞』「～も、～まで」[(名詞(特に数詞)や、名詞(特に数詞)+格助詞について) 程度が極端なこと、(予測より)多いことあるいは少ないことを表す]。【例】うほーがぬ いみゃーがまんまい ひとうぬ うい(こんなちいさな家にも人が住んでいる)。ばいさう あすていがー っふあ んまがたーひーまい とうがまいどうす(悪事を働いたら子孫代々まで非難される)。あかうまい あらーん かうさだりゃ(髪も洗わない不潔な奴)。んぬ あぐたが みちゃーいまい っちゅーたい(昨日友達が3人も来た)。みどうんな いちじかんまい まつたいそうが くーっだん(妻を一時間も待ったがこなかった)。ささぎゅーいんかいや ごじゅーめいまい ゆらばっだん(結婚式には50人も呼ばなかった)。ひとうむていから むぬまい ふあーんば やーすかいば ならん(朝から食事もしてないので腹が減って仕方がない)。っづあー にじゅーまんえんまい むちーどー (お前は20万円も持っているのか)。からー ぶんすごーまい あっじやいどうすちゃ(あいつはフランス語も話せ

るんだって)。⑤【助詞】《副助詞》「も」
[(量を表す名詞について) 概数を表す]。
【例】にしえんえんまい あいていがー
たらうどうす (二千円もあれば足り
るだろう)。

まいがーす [maiga:si] 【名詞】ポン
菓子。

まいかき [maikaki] 【名詞】《道具》前
掛 [馬の首に掛け、馬と鋤(すき)と繋
ぐ馬具]。 [変異] まいがき。

まいがき [maigaki] 【名詞】《道具》前
掛 [馬の首に掛け、馬と鋤(すき)と繋
ぐ馬具]。 [変異] まいかき。

まいだつ [maidatsi] 【名詞】(馬など
が) 両前足を上げること。 【例】びき
ぬーまぬどう まいだっちゃ ひー
ゆー (雄馬が両前足を上げている)。

まいちや [maitça] 【名詞】 [C] 着物
の裾。 【例】んまが つんぬ まいち
やう かつん (母親の着物の裾をつか
む)。

まいつ [maitsi] 【名詞】 [A] 手斧、薪
割用の斧。 【例】まいつひー たむぬ
ー ばい (斧で薪を割る)。

まいぬ あらいずー [mainu
araizi:] 【名詞】米のとぎ汁。 【例】ま
いぬ あらいずーゆ いたきーすてい
ー (米のとぎ汁をすてる)。

まいぬい [mainui] 【名詞】米のおに
ぎり [普通なものにも味を付けず、球状に握
る]。

まいふが [maifuga] 【形容詞】かしこ
い、お利口さんだ [こどもをほめるとき
に使う]。 【例】まいふが やらび (お
利口さん)。かいがどう んながーんな
まいふがかい (彼が一番おりこうさ
んだ)。 [類] まうふが。

まいやー まいにつ [majja:
mainitsi] 【成句】日ごと夜ごと、寝ても
覚めても、いつも。 【例】まいやーま
いにつ かなす みどうんぬ くとう
ー うむいーゆー (いつも好きな彼女の
ことを思っている)。

まう [mau] 【動詞】 [w 語幹] [C] (鷹の
ような大きな鳥などが上空を) ゆっく
り舞うように飛ぶ。 【例】たかぬどう
やぐみ はーさ まいゆー (鷹がと
てもたくさん飛んでいる)。 [類] まい。

まう [mau] 【名詞】 [C] 《祭礼》自分
自身の守り神、先祖神。 【例】うなが
まうや うなが やーんどう あい
(自分自身の守り神は自分自身の家にあ
る)。 [類] まうかん。

まうかん [maukan] 【名詞】《祭礼》個
人の守り神、先祖神。 【例】とうかん
ていんな んまぬ まうかんかいどう
ていーゆ かみー (トゥカンティに
は母親の守り神に手を合わす)。まうか
んかい むぬー すきー (守り神にお
供えをする)。 [類] まう。

まうき [mauki] ① 【動詞】 [母音語幹]
[C] (仕事などについて) 儲かる ; (お金

を) 儲ける、稼ぐ。【例】くぬ すか
まー まうきどうす (この仕事は儲か
る)。でいんな まうきー ふあう (金
を稼いで生活する)。でいん まうきが
(金を稼ぎに (行こう))。[類] まうつ。

◎【名詞】[C] 稼ぎ、儲け。【例】きゅー
ぬ まうきゃー やぐみ はーさ (今
日の稼ぎはとても多い)。きゅーぬ ま
うきゃー うさきがま (今日の稼ぎは
たったこれだけしかない)。きゅーや
なうぬ まうきまい にゃーん (きよ
うは何の稼ぎもない)。

まうきじゆく [maukizuku] 【名詞】

儲ける手段、稼げる仕事、飯のたね；仕
事。【例】まうきじゆくー とうみー
くーでい (稼げる仕事を探してくる)。
きゅーまい まうきじゆくー にゃー
ん (今日も仕事はない)。

まうきゃー [maukja:] ①【名詞】南側

にある隣家 [西原は絶対方位を使用
しているので南側が「前」になる]。

【例】まうきゃーた (南側の家の人たち)。

◎【名詞】何かを基準としてその前方；
物の前方部。【例】まうきゃーん たち
(私の) 前に立て)。きーぬ まうきゃ
ーん はうぬ うい (木の前にヘビが
いる [ヘビは木と話し手の間にいる])。
くるまぬ まうきゃーぬ やぶりに
ゃーん (車の前方部が壊れた)。つづあ
が まうきゃーゆ とうみる (あなた
の前の方を探せ)。

まうつ [mautsi] 【動詞】[k 語幹] [C]

儲かる、儲ける、稼ぐ。[変異] まう
ふ。[類] まうき。

まうとう [mautu] 【名詞】[C] 直進

したところ、(よそ見せず) 真っ直ぐの
方向 (へ進む)。【例】しやくしよー
うまぬ まうとうんどう あい (市役
所はここをまっすぐ行ったところにあ
る)。まうとうー みー あいき (真っ
直ぐ前を見て歩け)。まうとうー たみ
ー あいき ((よそ見せず) 真っ直ぐ歩
け)。

まうふ [maufu] 【動詞】[k 語幹] [C]

儲かる、儲ける、稼ぐ。[変異] まう
つ。[類] まうき。

まうゆ あき [mauju aki] 【成句】

[母音語幹]『祭礼』自分自身の守護神を
持つこと。【例】かんぶり びとうー
まうゆ あきばどう なうい (神の
ことで病んでいる人は自分自身の守護
神を持てば治る)。[類] まうゆ あぎ。

まうゆ あぎ [mauju agi] 【成句】

[母音語幹]『祭礼』自分自身の守護神を
持つこと。[類] まうゆ あき。

まか [maka] 【名詞】[C] ~次第だ；~

による；~の意志による [「名詞+が/ぬ」
の後に付ける]。【例】あすむ ほうん
むー つづあが まか (やる、やらな
いはお前次第だ)。うるー きみー く
とうー ひゅーいぬ まか (それをや
るのは日取りによる)。にんぎんぬ ん
ぬっちゃ ていだやぐみぬ まか (人

の命は恐れ多い神様の思し召しのままだ)。

まかい [makai] 【名詞】[C] お椀、お茶碗。【例】んっつーゆ いり まかいゆ むちーくー (おつゆを入れるお椀をもってこい)。まいゆ まかいん いりー ふあう (ごはんをお茶碗に入れて食べる)。まかいだうー (お茶碗、皿、湯呑等の食器)。んまー ゆいや ふあいぬ あとうんな まかいだうーゆ あらう (お母さんは夕食後食器を洗う)。っていつ あい まかいや ばいやすむぬ (一つしかないお椀は割れやすい [>一人っ子は死ぬとなにも残らないということのたとえ])。

まがい [magai] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] (ものが)まがる ; (道を)まがる。【例】くぬ かにふっじゃ まがるーば、まうとうーぬ むぬー むちーくー (この釘は曲がっているのでまっすぐなのをもってこい)。かまぬ ゆまたう んすんかい まがりー いき (あそこの十字路を右に曲がっていけ)。

まがい [magai] 【名詞】[A] 角 ; 横道 (誘惑)。【例】かまぬ まがいからいき (あそこの角を曲がれ)。なうぬ まがいていー にやーだ わいていー かない (横道にそれずにがんばれ)。

まかない [makanai] 【名詞】料理を作ること ; 料理を作る人。【例】やーふつ ゆーいぬ まかないゆ あす (新築祝いの料理を担当する)。ばー むぬ

にー まかないどう あたい (私はものを煮る係りだった)。

まかや [makaja] 【名詞】[B] 茅。【例】まぐー まかやとう まーにぬ かーひどう ちゅっふあいーゆー (マグ(かごの一種)は茅と黒つぐの皮(で作った紐)で作られている)。[類] かや。

まき [maki] ① 【動詞】[母音語幹] [A] 負ける。【例】きゅーぬ うんどーかいんな ばんちゃー まきーにやーん (今日の運動会で私達は負けた)。② 【名詞】[A] 負け。【例】っぐあー まき (あなたは負けだ)。

まきならい [makinarai] ① 【形容詞】(相手に対して) いつも負けている人、負け癖がついている人、(勝負における)カモ。【例】かにやー ばぬんな いたつまい まきならいがま (カニは私のカモだ)。からー かにんな まきならい ひどう やいば きゅーまい かちやいん はず (彼はカニにはいつも負けている人なので今日も勝てないだろう)。② 【名詞】(相手に対して) いつも負けている、負け癖がついている、(勝負における)カモである。【例】きゅーまい まきならいがまぬ っちゅー (今日もカモが来た)。

まきやーい [makjai] ① 【動詞】[r/rr 語幹] (家や部屋が) 散らかった、整理整頓されていない。【例】まきやーい まっちやぬ むぬー むいとう とうみらいん (整理整頓されていない店

の商品は全然探せない)。やーゆ まきやーらすな (家を散らかすな)。くじゃひっちゃ まきやーるーば まさぐん あっそう (客間がちらかっているの整理しろ [「くじゃひつ」は寝室でもあった])。②【動詞】[母音語幹] (家や部屋が) 散らかった、整理整頓されていない。

まきやーす [makja:si] 【動詞】[s/h 語幹] (ものをこわして) 散乱させる、(部屋などを) とり散らす、(風などがものを) 飛び散らかす。【例】まかいゆ ばりー まきやーす (お椀を割って散乱させる)。かでいん かびーや まきやーはいにやーん (風に紙が飛び散らかされた)。

まきやーらす [makja:rasɪ] 【動詞】[s/h 語幹] (ものをこわして) 散乱させる、(部屋などを) とり散らす、(風などがものを) 飛び散らかす。

まぐ [magu] 【名詞】[C] 《道具》丸めた茅を黒つぐの紐で縛って作ったカゴ。苧麻を紡いだ糸を入れたりする。【例】まぐんかい ぶーや ん^oみー うるーいりー (カゴに苧麻を糸に紡いだ糸を入れる)。

まぐい [magui] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] 目がくらくらする、混乱する。【例】ばーうきー ふたきな やいば みーや まぐりーどうー (私は起きてすぐだから目がくらくらしている)。まぐりんまり (バカな奴)。[類] まーぶい。

まくがん [makugan] 【名詞】《生物》ヤシガニ。【例】まくがんな ちゅーかいば とうらいぎつふあにやーん (ヤシガニは力が強いので捕れそうにない)。

まくぶ [makubu] 【名詞】[C] 《魚》シロクラベラ；ブダイの一種で大きなこぶがある。

まくぶなます [makubunamasi] 【名詞】《祭礼》御嶽で使われる言葉で「芋の葉の和え物」を意味する。文字通りにはマクブ (ブダイの一種) の刺身で、芋の葉をマクブの刺身にみたてる。

まぐみん [magumin] 【名詞】全体的に丸まった耳 [「まぐ」は宮古上布の糸を入れるかご]。

まさい [masai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] (他人と比べて) 能力、容姿が優れている。【例】ひとうんつきやー まさり うんぬどう つむかぎさー まさりゆー (あの女性のほうが心がきれいだ)。

まさか [masaga] 【名詞】[C] 正しいこと、ちゃんとしていること。【例】まさかー にやーんんまり (どうしようもない奴)。かりやー ぶらふきや やいば かいが むぬいゆぎやー まさかんな つかだうり (彼はほら吹きだから彼の話はまともには聞くな)。[類] まなが、まさぐ、まさぎ。

まさかぬ [masaganu] 【連体詞】(人に関して) 真面目な；(仕事に関して) 丁

寧な、ちゃんとした；(仕事に関して) まともな正業である。【例】ぶとうーぎゃー まさがぬ びぎどうんぬ とぅみる(旦那には真面目な男性を探せ)。やーゆぎゃー まさがぬ さやふん たぬみー まさがぬ やーゆ ちゅっふい(家はちゃんとした大工に頼んでちゃんとした家を建てろ)。んなまぬ すかまー なまりー まさがぬ すかまう あっそう(今の仕事をやめてまともな仕事をしろ)。**[類]** まさぎぬ、まさぐぬ、まながぬ。

まさがん [masagan] 【副詞】 ちゃんと、きちんと、しっかりと、気を付けて、正確に [副詞化の接尾辞「ていー」を伴うことも多い]。【例】ゆまたうぎゃー まさがん あいき(十字路は気を付けて歩け)。でいんぬぎゃー まちがいや にゃーん やうん まさがんていー ゆみ(お金は間違いのないようにちゃんと正確に数えろ)。まさがん みーる(ちゃんと見なさい)。まさがん ていー かんがいる(ちゃんと考えよ)。むぬーぎゃー まさがんていー ふあい(ご飯はちゃんと食べなさい)。まさがんていー びじ(ちゃんと座れ)。やらびゆーぎゃー まさがんていー みーる(子供はちゃんと管理しなさい)。**[類]** まながん、まさぐん、まさぎん。

まさりー [masari:] 【副詞】 比較するためにつける副詞、(ほかの人、ものと比べて) よりもっと。【例】くぬ ひとつぬどう かいんつきゃー まさりー

うむくとう あいかい(この人のほうが彼よりもっと賢い)。くぬ くるまぬどう かぬ くるまんつきゃー まさりー あっづあうぎゃー ふあーん(この車のほうがあの車より燃費がいい)。まさりーまい ういがどう ばいかい(かえって彼がもっと悪い[>彼のほうがもっとわるい])。

まさりーまい [masari:mai] 【成句】 どういたしまして、こちらこそ。【例】「すでいがほー」ていー あっじゃいていがー 「まさりーまい」てい かいすばどう じゃうかい(「すでいがほー」といわれたら「まさりーまい」と返事するのがいい)。

まじや [maza] 【名詞】 [A] 『地名』 真謝 [西原の北東の海岸でそこから漁に出る]。【例】すまぬ ひとつんみゃー まじやから ふにゆー いだす(西原の人は真謝港から船を出す)。でいんがにゃー むぬゆんぱじゅら やいば まじゃん いつきやたーひーまい むぬいゆぎゃー つっちははん(ディンガニはおしゃべりだから真謝につくまで話は途切れさせない)。

ましん [maçin] 【副詞】 多めに。【例】ばぬんな ましんがま ふいーる(私にはちょっと多めにくれ)。

ます [masi] 【助数詞】 畑の助数詞 [四角の形が升に似ているため]。【例】っづあー はいや いふます あり やいば(あなたは畑はいくつあるか)。な

なます あきゆーとうい、やそうます
あきゆーとうい（七つの畑を開墾して
いて、八つの畑を開墾して [古謡
「うほうらだつ」から]）。

ます [masi] 【名詞】 [A]～の方がよい。
[述語としてしか使えない]。【例】くい
とう くいとうー いでいがどう ま
す（これとこれとはどっちがいい）。っ
ぞうんつきゃー わーぬどう ます
やいば わーゆ かいくー（魚より豚
肉がいいので、豚肉を買ってこい）。う
まどう ます（そこがよい）。ほいさー
ます（大きいほうがよい）。

まず [mazi] 【副詞】 先ず、先ずは。【例】
まず っづあから あっそう（まずお
前からやれ）。まずていー ひーみーみ
ーる（先ずやってみなさい）。[類] まず
がー。

まず [mazi] 【動詞】 [g 語幹] [A]（女
性器に）男性器を挿入する、交接する、
まぐわう、セックスする「目的格をと
る」。【例】ひーゆ まず（性交する）。
ぴーゆぎゃー ふなずっちゃーん ま
ず（女性器に男性器を挿入し、上下の
動きをしながら交接する）。

まずがー [maziga:] 【副詞】 先ず、先
ずは。【例】まずがーていー ひーみー
みーる（先ずはやってみなさい）。[類]
まず。

ますぎた [masigita] 【名詞】 石垣。

【例】ないんどう ますぎたー っちゆ

りーにゃーん（地震で石垣が倒壊した）。
ぬぬずん ますぎた（きれいに積まれ
た石垣）。

ますむい [masimui] 【名詞】『祭礼』ミ
ャークズツの祭事の一つで、枡に酒を
盛って新生児の健康祈願をすること。
【例】ますむいんな うぬ とうすん
んまいたい っふあがまんみう すま
ぬ たから ほうでい すまぬ んー
なひー あーぐ あいっちゃーん か
んにがい あす（マスムイにはその年
に生まれた新生児たちを村の宝にしよ
うと村人全員で歌を歌いながら祈願す
る）。

まずむぬ [mazimunu] ①【名詞】 幽霊、
魔物、化け物。【例】まずむぬー う
とうるすむぬ（幽霊は怖い）。うまん
な まずむぬぬ うい（そこには幽霊が
いる）。かりゃー まずむんつきゃー
むいとうぬ まずむぬ（彼は幽霊より
も更に怖い化け物だ）。[変異] まずむ
ん。②【名詞】 人を軽蔑しているのし
りことば、やつ。【例】んずぎ まずむ
ぬ（醜い奴 [皮肉で身だしなみの悪い人
に使う]）。くぬ まずむぬ（この野郎）。
ほうりまずむぬ（馬鹿なやつ）。うむく
とうー にゃーん まずむぬ（学のない
やつ）。でいんな にゃーん、でいん
ぐ まずむぬんみ（金のない、金に恵
まれない貧乏人達）。ぬそうどうまずむ
ぬ（盗人）。[変異] まずむん。

まずむぬぬ あかばたうい

[mazimununu akabataui] 【名詞】〔植〕
ウリ科の一年草のツル植物、オキナワ
スズメウリ。

まずむぬぬぬ一ま [mazimu-
nununu:ma] 【名詞】〔昆〕ナナフシ。

まずむぬぬみ一つつうさ
[mazimununumi:tsitsiusa] 【名詞】〔植〕
シロバナセンダングサ [＜化け物の目
を突く草〕。【例】やまう あいつてい
がー まずむぬぬみ一つつうさぬ と
うずぬどう うんそうく たばい (野
山を歩いたらシロバナセンダングサの
刺が沢山くつつく)。

まずむぬん んつみらい
[mazimunun ntsimirai] 【成句】金縛り
にあう。【例】まずむぬん んつみら
いーにゃーん (金縛りにあった)。

まずむん [mazimun] ① 【名詞】幽霊、
魔物、化け物。 [変異] まずむぬ。②
【名詞】人を軽蔑しているののしりこと
ば、やつ。 [変異] まずむぬ。

まずん [mazin] 【動詞】 [m 語幹] [A]
沢山の物を積みあげる。 [類] まずん
一、まずんみ。

まずん一 [mazin:] 【動詞】 [mm 語幹]
沢山の物を積みあげる。【例】かやう
まずん一 (茅をたくさん積みあげる)。
ほうんぬ まずんみ (本をつみあげろ)。
あいや ぶ一っじゅぎゃー まずんま

ん (サトウキビはそんなふうには積むも
んじゃない)。 [類] まずん、まずんみ。

まずんみ [mazimmi] 【動詞】 [母音語
幹] 沢山の物を積みあげる。 [類] ま
ずん一、まずん。

まそう一 [masu:] ① 【名詞】 [A] 正
面、まっすぐ。【例】まそう一ん や
どうふつぬ あい (正面に入り口があ
る)。うまぬ んっちゅ まそう一ん
あいき (この道をまっすぐ歩きなさい)。
 [類] まうとう。② 【名詞】 [A] 回りくど
くなくて、率直な物言い；率直なこと。
【例】むぬいゆぎゃー まそう一から
あい (ものは (回りくどくいわず) はっ
きりと言え)。から一 やぐみ まそう
一びとう (彼はとても率直な人だ)。

また [mata] ① 【名詞】 [B] 股。【例】
はずぬ また (足のまたぐら)。またぬ
どう かうかいば ならん (股がかゆ
くてしかたがない)。またうぎゃー ひ
らかだうり (股を開くな)。ながまたび
とう (足が長い人)。 [類] またばい。②
【名詞】 [B] 歩幅、歩数の数えかた、～
歩。【例】ほうまたびとう (歩幅の大き
い人)。いみまたがまひー あいつ (小
さい歩幅で歩く)。かまた一ひーや と
うまたひーや いかいどうす (あそこ
までは 10 歩でいける)。ながまたひー
あいつ (長い歩幅で歩く)。っさらた
一ひーや ひとつまた (平良までは一
股だ [＞とても近い])。

また [mata] 【副詞】もう一度繰り返す

さま、また、再度。【例】じよ また
さき ぬまでい（また酒を飲もう）。か
ら一 また きゅーまい っちゅーい
（彼は今日もまた来た）。また あそー
が んみやてい（また、遊びにいらっ
しゃい）。がっこーん ほうんな ぼっ
しにゃーんば また いつたい（学校
に本を忘れたのでまた行った）。

また [mata] 【名詞】[B] 一つから二つ
（以上に）別れているもの；木のまた（Y
字になっている部分、木が枝分かかれ
している部分）。【例】かまんかい いつ
ふっちや ふたまたん なりゅー（あ
っち側に行く入り口は二股になってい
る）。きーぬ またひー ぐむかんぬ
ちゅっふ（木のまたでパチンコ [=ス
リングショット] を作る）。また なゆ
り なりゅー さやよー（木のまたに
実っている豆のさやよ [古謡「豆が花」
から]）。

また [mata] 【形容詞】[B] 大便をした
い。【例】っそうまたむぬ（糞をした
い）。っそうまたかいば んびゃーいん
（ウンコがしたくて我慢できない）。

また [mata] 【接頭辞】（動詞基本形の
につき）二度～をすること。【例】ま
たにゅー（二度寝）。またばい（二度食
い [食べた後におなかがすいてまたす
ぐ食べること]）。またいつぬ なんっ
じゅぎゃー ほうん（二度行くという
面倒なことはするな [> 仕事は一回行
って済ませろ] ）。

また [mata] 【間投詞】『フィラー』（つ
なぎの言葉として口癖的に使う）。

また一たい [mata:tai] 【動詞】[r/rr
語幹]（幼児、病人などが）膝を伸ばし
たままで、不安定な歩き方をする、た
どたどしく歩き始める；飛び越える。
[変異] またたい。

またぎす [matagisi] 【名詞】部下、下
のもの、奴隷、召使い、（比喩的に）奴
隷のように従ってしまうこと。【例】
またぎっそう まーぬ しつきな（下
の者をあまり酷使するな）。にんぎんな
うむくとう あいひとうぬ またぎ
す（人間は（どうしても）学のある人の
言うことを聞いてしまうものだ）。にん
ぎんな つむぬ またぎす（人間は心
の良い人には共感する [< 従ってしま
う] ））。にんぎんな でいんぬ またぎ
す（人は金の奴隷だ）。

またぐい [matagui] 【動詞】[r/rr 語幹]
（またを開いてなにかの上を）超える、
またぐ。【例】うまう またぐりー
くー（そこをまたいで来い）。ひとうー
ぎゃー またぐらん（人をまたいで
いけない）。びだ かつがまう またぐ
らっじゃーきー たうりー ていーや
ぶりーにゃーん（低い垣根をまたご
うとして転んで手を骨折した）。うまぬ
ふぐんぬ またぎー くいる（ここ
の溝をまたいで越えろ）。[類] またず。

またず [matazi] 【動詞】[g 語幹] [C]
（またを開いてなにかの上を）超える、

またぐ。【例】うまう またぎー くー（そこをまたいで来い）。うまぬ ばだー ふかかいば うまうぎゃー またがん（ここの溝は深いからここはまたがない）。[類] またぐい。

またずつ [matazitsi] 【名詞】また聞き。 [変異] またつつ。

またたーい [matata:i] 【動詞】 [r/rr 語幹]（幼児、病人などが）膝を伸ばしたままで、不安定な歩き方をする、たどたどしく歩き始める；飛び越える。 [変異] またたい。

またたい [matatai] ①【動詞】 [r/rr 語幹]（幼児、病人などが）膝を伸ばしたままで、不安定な歩き方をする、たどたどしく歩き始める；飛び越える。【例】やらびゃー んめ またたりーどうー（赤ちゃんはもう歩き始めている）。うまう またたりーくー（そこを飛び越えて来い）。[変異] またーたい、またたーい。②【名詞】（赤ん坊の）よちよち歩き、（病人の）ふらふら歩く様子。【例】ぱーや やっとうがま やんな なうりどう がいとうがいとう またたい ゆ ひーゆー（おばあちゃんなんとか病気が治ってふらふらあるいている）。

またたいあいつ [matataiaitsi] 【名詞】よちよち歩き。【例】やらびゃー またたいあいつちゃ ひーどうー（赤ちゃんはよちよち歩きしている）。

またつつ [matatsitsi] 【名詞】また聞き。【例】ひとうっじゃう またつつ

あす（他人の噂をまた聞きする）。くらー またつつ やいば なうていま い あっじゃいん（これはまた聞きなのでなんとも言えない）。[変異] またずつ。

またにゆー [matanju:] 【名詞】二度寝、起きて直ぐにまた眠ること。【例】またにゆーゆぎゃー ほうん（二度寝はしない）。きゅーや またにゆーや ひー にゆーたかいば ならん（今日は二度寝して眠くてならない）。

またばい [matabai] 【名詞】またぐら、股間。【例】またばいぬ かうかいば ならん（またぐらがかゆくてしかたがない）。[類] また。

またま [matama] 【名詞】 [C] 分け前。【例】っうあが またまー うさき（お前の分け前はこれだけだ）。[変異] まだま。

まだま [madama] 【名詞】 [C] 分け前。 [変異] またま。

またまぶた [matamabuta] 【名詞】想像以上に多い分け前。【例】きゅーぬ ばが ばきだまー またまぶた（今日の私の分け前は想像以上に多い）。[変異] まだまぶた。

まだまぶた [madamabuta] 【名詞】想像以上に多い分け前。 [変異] またまぶた。

またんまが [matammaga] 【名詞】ひ孫。【例】またんまがー かなすかい

ばならん (ひ孫は可愛くてしかたがない)。

まつ [matsi] ①【動詞】[c/t 語幹] [C] 時間が来るまで場所を動かずにいる、時間が来るのを待つ、(人)を待つ。【例】んなまー ひーちやがま まてい (ちょっと待てよ [言葉を思い出するときなどに言う])。うまん まちうき (ここで待っている)。さんじたーひー まつたい (三時まで待った)。ばぬーぎやー まちやだ さつん いき (私を待たないで先に行ってください)。ゆながい まちゆーそうが かりやー いつがみまい くーん (長い間まっているが彼はいつまでも来ない)。つぐあー いつまでいまい まちやいん (お前のことをいつまでも待てない [> (私は) お前のことをいつまでも待ってはられない)。ばっそう まつ (バスを待つ)。かいが ふーきやたーひー まちやでい (彼が来るまで待とう)。②【動詞】[c/t 語幹] [C] (動詞基本形+「むぬー」について「～するのを」) 待つ。【例】みど うんぬ ふーむぬー まつはていらいん (妻が来るのを待ちあぐねる)。かりやー あみぬ やんむぬー まちやだ いでいーはりーにやーん (彼は雨が止むのを待たずに出かけた)。かいが むぬいゆ あいむぬー まつ (彼がものを言うのを待つ)。

まつ [matsi] 【動詞】[k 語幹] [C] (水)をまく; (植物に) 水をやる; (穀物等の種を) まく。【例】みなかんかい

みっじゆ まつ (庭に水をまく)。みなかぬ きーんかい みっじゆ まき (庭の木に水をやれ)。むぬだにゆー まつ (穀物の種を蒔く)。[変異] まふ。

まつ [matsi] 【動詞】[k 語幹] [A] (網などを) 巻き取る; (ひもなどを) ねじり合わせて編む; (ねじなどを) 巻く。【例】あんぬ まき (網を巻きとれ)。うぶん[°]なう まつ (錨の綱をよって作る)。[変異] まふ。

まつ [matsi] 【動詞】[k 語幹] [A] (煙などが) 立ち込める、充満する。[変異] まふ。

まつー [matsi:] 【動詞】[vv 語幹幹] [A] (糸などが) 絡みあう、もつれる。[類] まつづい、まつっだい。

まつぎ [matsigi] 【名詞】[C] まつ毛。【例】ながまつぎ (長いまつ毛)。ひとうーぎやー まつぎぬ すたからー みーん (人を見下すな [< 人をまつ毛の下から見ろな])。かいが まつぎんな つまよーじまい ぬーいどうす (彼のまつ毛には爪楊枝も乗る)。

まつぎー [matsigi:] 【名詞】松の木。【例】まつぎーたむぬ (松の木の薪)。んきやーんな まつぎーひーどう やーぬ ゆかう ちゅっふゆーたい (昔は松の木で家の床を作っていた)。

まっこー [makko:] 【名詞】〔植〕ハリツルマサキ、鑑賞用の低木。【例】きつぎ まっこーぎーゆ みなかん い

びー（きれいなハリツルマサキを庭に植える）。まっこーうや（まっこーを取ってきて売って歩く人）。[類] まっこーぎー。

まっこー [makko:] 【名詞】面と向かってはっきりということ、直接。【例】まっこーから あいや あたらんていー あい（面と向かってそれは間違っていると言う）。あいや みそうかむぬいや ほうだ まっこーん あっじ（そんなふうにはひそひそと話をせず、直接言ってやれ）。

まっさーら [massara] ①【名詞】真っ白。【例】かびーや むいとう まっさーら（紙はとても真っ白だ）。②【形容詞】真っ白だ、真っ白な。【例】ういがどう まっさーらかい（こっちのほうは真っ白だ）。

まっず [mazzi] 【動詞】[zz/dd 語幹][C] 混ぜる。【例】とうぬかとう みりきんくーゆ まっでいる（卵とメリケン粉を混ぜろ）。[類] まっでい、まんき、まんつ。

まっちや [mattça] 【名詞】[B] 商店。【例】まっちやー まいがまん あい（店はすぐ近くにある）。すきやーりまっちや（ごちゃごちゃした商店）。

まつづい [matsivvi] 【動詞】[母音語幹]（糸などが）絡みあう、もつれる。【例】いとうー まつづいーにやーん（糸は絡んでしまった）。ていぐすい

ぬ まつづいーば はなひー ふいーる（釣り糸が絡まったからほどいてくれ）。[類] まつー、まつっだい。

まつっだい [matsiddai] 【動詞】[r/rr 語幹]（糸などが）絡みあう、もつれる。[類] まつー、まつづい。

まっでい [maddi] 【動詞】[母音語幹][C] 混ぜる。【例】さきんかい ぶーどうるー まっでいー みるくじゃきゆー ちゅっふい（酒に練乳を混ぜてミルク酒を作れ）。[類] まんき、まんつ、まっず。

まつぬみん [matsinumin] 【名詞】松茸（マツタケ）。【例】まつぬみん とぅいが ぬーだんかい いつ（松茸を取りにヌーダに行く[ヌーダは地名。ヌー（野）タ（田）の意味]）。

まっふあ [maffa] 【名詞】[B] 枕。【例】たかまっふあ（高い枕）。んきやーんな まっふあー にやーっだん（昔は枕はなかった）。

まてい [mati] 【接尾辞】尊敬の動詞接辞「まい」の依頼形。子音語幹動詞の未然形に付く。母音語幹動詞では、「さまてい」。【例】みやらまてい（お召し上がりください）。うまん びじゃまてい（ここお座りください）。

まとう [matu] ①【名詞】[C] 的、目当て。【例】んじゃんかい いつかたーにやーだ まとうー にやーだ ふにゆー いだす（どこに行くあてもな

く船を出す[<いく場所もなく、目当てもなく]。うまぬ まとうんかい たみーみーる (この的にあててみる)。②【名詞】[C] 頼り。【例】ばー つづあうどう まとうー ほうー (私はあなたを頼りにしている)。つふあんみぬどう ばが まとう (子供たちが私の頼りだ)。んまがぬ はたらっちゃ まとうー ひらいん (孫の働きは期待できない)。

まどう [madu] 【名詞】[C] (なにかをするための) 時間 ; (することがなくて) 暇だ。【例】きゅーや なうちゆんま まどうー にゃーん (今日はぜんぜん暇はない)。きゅーや あみゃー つふいー まどう (今日は雨が降って暇だ)。

まどう [madu] 【名詞】[C] 普段。【例】かりゃー まどうからどう やなくん じゃう (彼は普段から根性がわるい)。まどうんな はいぬ すかまうどう あす (普段は畑仕事をする)。

まどうづあい [maduvai] 【名詞】間食、間食すること。【例】まどうづあいゆ とうい (間食を摂る)。まどうづあい あすていがー つふあいどうす (間食すると太る)。まどうづあいむぬ (間食)。[変異] まどうばい。

まどうばい [madubai] 【名詞】間食、間食すること。[変異] まどうづあい。

まどうばんまい [madubammai] 【名詞】間食。

まとうんかदै [matuŋkadi] 【名詞】順風、追い風。【例】ふにゃー まとうんかじゃー うきー やぐみ はーむぬ (舟は順風を受けてとても速い)。

まない [manai] 【形容詞】[C] おとなしい、優しい。【例】かいが ぶとうー やぐみ まない じゃうびとう (彼女の旦那はおとなしくていい人だ)。っぎー ういびとうん なりー ひच्छゃがま まないふ なりーゆー (父は年をとって、すこし優しくなった)。

まないん [manain] 【副詞】きちんと、ちゃんと、正確に [「まないんていー」も可]。【例】まないん とうず つふあうぎゃー みばからだかー (ちゃんと 妻子は養わないと (いけない))。まないんていー かたなうぎゃー つかい (気をつけて包丁を使いなさい)。っさー きらはんやうんていー やらびゆーぎゃー まないんていー みーる (つまづかないように [つまづかせないように] 子供は注意してみなさい)。

まながぬ [managanu] 【形容詞】真面目な、ちゃんとした。【例】ぶとうーぎゃー まながぬ びぎどうんぬ とうみる (夫にはちゃんとした男性を探せ)。[類] まさがぬ、まさぎぬ、まさぐぬ。

まながん [managan] 【副詞】ちゃんと、きちんと、しっかりと、気を付けて、正確に [「まながんていー」も可]。【例】うぬ まかいゆぎゃー まなが

ん ゆすぎ (このお椀はちゃんとゆすぎなさい)。むぬーぎゃー まながん
ふあい (食事はきちんと食べなさい)。
[類] まさがん、まさぐん、まさぎん。

まなぎん [managin] 【副詞】きちんと、ちゃんと、正確に [「まなぎんていー」も可]。【例】すかまうぎゃー
まなぎん あっそう (仕事はちゃんとやりなさい)。[類] まさがん、まさぎん、まさぐん、まながん、まなぎん、まなぐん。

まなぐん [managun] 【副詞】きちんと、ちゃんと、正確に [「まなぐんていー」も可]。【例】むぬーぎゃー まなぐんていー
ふあい (ご飯はちゃんと行儀よく食べなさい)。まなぐん びじ (ちゃんと座れ)。[類] まさがんていー、まさぎんていー、まさぐんていー、まながんていー、まなぎんていー。

まなちや [manatça] 【名詞】[B] まな板。【例】まなちやうぎゃー つかうてい
がー あらい (まな板は使ったら洗え)。

まなや [manaja] 【名詞】[C] 可愛い子供；おばあさんなどが孫に声をかける
ときの呼びかけのことば。【例】まなや、ぱーが まいんかい くー (いいこちゃん、おばあちゃんのところ
においで)。

まに [mani] 【名詞】[B] 畝 (うね)。
【例】ぶーっじゅぎゃー まにゃー あ

ぎどう いびー (サトウキビは畝をあげて植える)。

まびつ [mabitsi] ①【動詞】[k 語幹] [C] (密生した作物を) 間引く。【例】きゅーや
あかふにゅー まびかだかー ならん (今日はニンジン
の間引かないといけない)。[変異] まびふ。②【名詞】[C] 間引くこと。【例】あーゆ まびつ
あす ((密生した) 粟を間引きする)。
[変異] まびふ。

まびとう [mabitu] 【名詞】[C] 3歳以上のこども [昔は3歳までに死ぬ子供が多
かった]。【例】やらびゃー んめ まびとうん
なりーにゃーん (子供はやっと (生き延びて) 三歳以上
になった)。[類] まーにんぎん。

まびふ [mabifu] ①【動詞】[k 語幹] [C] (密生した作物を) 間引く。[変異] ま
びつ。②【名詞】[C] 間引くこと。[変異] まびつ。

まふ [mafufu] 【動詞】[k 語幹] [A] (煙などが) 立ち込める、充満する。【例】
うまんたばくぬ きゅーすぬどう
まきゅー (ここには たばこの煙が充満している)。
[変異] まつ。

まふ [mafufu] 【動詞】[k 語幹] [A] (網などを) 巻き取る；(ひもなどを) ねじり
合わせて編む；(ねじなどを) 巻く。【例】あんぬ
まき (網を巻きとれ)。とけーぬ
にじゅー まつ (時計のねじを巻く)。
[変異] まつ。

まふ [mafu] 【動詞】 [k 語幹] [C] (水を)まく ; (植物に)水をやる ; (穀物等の種を)まく。 [変異]まつ。

まぶゆ [mabuju] 【名詞】 [B] 『魚』テングハギ。 【例】まぶゆぬ っぞうなます (てんぐはぎの刺身)。

ままい [mamai:i] 【名詞】 周辺、近い人間関係。 【例】うまぬ ままいゆ とうみる (そこの周辺を探せ)。ま一にや一 なかまうたきぬ ままいんどう あい (黒つぐは仲間御嶽の周りにある)。ばが や一ぬ ままいんな びよ一いんな にや一ん (私の家の近くには病院はない)。ばが ままいんな いしゃ一 み一ん (私の知り合いには医者はいない)。

ままさ [mamasa] 【名詞】 [C] 継父。 【例】ままさうぎや一 みっふあかいばみ一たっふあにや一ん (継父は嫌いだから見たくない)。 [類] ままさっざ。

ままさっざ [mamasazza] 【名詞】 継父。 [類] ままさ。

まمام [mamami] 【名詞】 [A] 枝豆の一種。

まみ [mami] 【動詞】 [母音語幹] [A] (薬を)塗る。 【例】ふがさんかい っそういゆ まみる (おできに薬を塗り)。ぱ一や あかんかい わ一ぬ あっうあう まみ一 (おばあさんは髪に豚の油をつける [豚の油を整髪料として使うこともあった])。

まみ [mami] 【名詞】 [B] 腎臓。 【例】ひんじゃぬ まみ (ヤギの腎臓)。

まみ [mami] 【名詞】 [B] 豆、特にあずき、大豆のことを言う。 【例】だいずまみ (大豆)。まみゆ一 ひき一 たうふ一 ちゆふ一 (大豆をひいて豆腐を作る)。まみそういまい (あずきご飯のおにぎり)。

まみく [mamiku] 【名詞】 [C] きなこ [大豆を煎って焦がし白でひいて粉にしたもの。これに砂糖を入れて食べる。菓子の材料としても用いる]。 【例】まみや一 い一き一 まみく一 ちゆふ一 (大豆を煎ってきなこをつくる)。 [変異] まみぐ。

まみぐ [mamigu] 【名詞】 [C] きなこ。 [変異] まみく。

まみそういまい [mamisuiimai] 【名詞】 小豆ご飯、赤飯、普通おにぎりにして食べる。 【例】さうがつんな まみそういまいゆ ふあう (正月には赤飯のおにぎりを食べる)。

まみっじゃにや一だ [mamizzanja:da] 【成句】 どれもこれも、誰もかれも ; 区別ができないで。 【例】うまんいだはいゆ一 むぬ一ぎや一 まみっじゃにや一だ ふあい (ここにださされているたべものをどれもこれもみんな食べなさい)。かぬきやが はだぬひとうんみや一 たうか一 ぬくらだまみっじゃにや一だ せんそ一んすに一 はり一にや一ん (彼等の年頃

の人たちは一人残らず誰もかれも戦争で亡くなってしまった)。うるーまい かるーまい まみっじゃにゃーだ っ じる (それもこれもみんな貰いなさい)。いらばだ まみっじゃにゃーだ とうい (選ばないで全て取れ)。やまとうぬ にんぎんみゃー っぞぬ なーゆぎゃー まみっじゃにゃーだ っさん (県外の間人は魚の名前は区別がつかない)。

まみっじゃにゃーん [mamizzanja:n] ①

【成句】(どれもこれも、誰もかれも)区別ができない。【例】くぬいぬ かしゆんみゃー たるがたるががら まみっじゃにゃーん (最近の歌手たちは誰が誰やら区別がつかない)。ういまい くいまい まみじゃにゃーん ばかーい じゃうとうー やいば ふあい (これもこれも どれも (区別ができないくらい) おいしいから 食べなさい)。②【成句】(人や場面に合わせて)加減できない。【例】まみっじゃにゃーんんまり (手加減を知らない奴)。

まみな [mamina] 【名詞】[C] モヤシ。

【例】まみなう ふあう (もやしを食べる)。

まみふー [mamifu:] 【動詞】[f/ff 語幹]

勝負する、勝つ、かなう [「全然かなわない」という意味で否定形で使われることが多い]。【例】ばぬんかい まみっふーみーる (俺に挑戦してみろ)。ばー はーさにゃーや かいんな ま

みっふあん (私は、競走は彼には全然かなわない)。っづあー ばぬんかいや まみっふあん (あなたは私にはかなわないよ)。[類] まみっふい。

まみまーらしゃ [mamima:raça]

【名詞】『鳥』ツバメ。【例】まみまーらしゃぬ みーらいゆーば まみまい とうい ずぶん (ツバメが渡ってくる頃なので小豆を収穫する時分になっている [秋の初め、十五夜のころ])。

まむちや [mamutça] 【名詞】[C] き

れいにたたむこと。【例】つんな はっでいー まむちやー ひー うっきゆーたい (着物を脱いできちんとたたんで置いていた)。

まゆ [maju] 【名詞】[B] 猫。【例】まゆ

ー ゆむぬーどう とうい (猫は鼠をとる)。まゆー つかなう (猫を飼う)。からばいまゆがま (灰のついた猫 [古謡「池間ぬ主」から])。

まゆ [maju] 【名詞】[B] 眉毛。 [類]

まゆぎー。

まゆぎー [majugi:] 【名詞】眉毛。

【例】ういびとう なりー まゆぎーまい っそうふ なりーどう (年取って眉毛も白くなっている)。[類] まゆ。

まゆずきやふ [majuzikjafu] ① 【名

詞】『鳥』カモメ。 [類] つきやふ。② 【名詞】不美人。【例】かぬ みどうんな むいとうぬ まゆずきやふ (あの女はとても不美人だ)。[類] んずぎ。

まら [mara] 【名詞】[B] 男根、おちんちん。【例】まらぬどう ういゆー（男根がかたくなっている）。あさまら（朝の勃起した男根）。

まらういかびっちゃ [marauik-abittca] 【名詞】『魚』ツノダシ。【例】まらういかびっちゃー きつぎむぬがま（ツノダシはとてもきれいだ）。

まらちやー [maratca:] 【名詞】男根を合わすこと、仲のいい男同士の友達形容。【例】かにとう まさいや まらちやーあぐ（カニとマサイはとても仲が良い子供の時からの親友だ）。

まり [mari] 【名詞】[A] 稀（まれ）。【例】うらー まりんどう あい（それは稀にある）。

まる [maru] 【形容詞】[A]（ものの長さが）短い；（時間が）短い。【例】まるんぬつ（短い命）。うぬ くばずーぬん°なー まるかいは みっじゃん°まいん（この釣瓶の縄は短いので水が汲めない）。くぬいぬ しょーがっこーぬ やすみじかんな まるかいは あそうばいん（最近の小学校の休み時間は短いので遊べない）。

まるた [maruta] 【名詞】[A] 丸太。【例】まるたひー やーゆ ふつ（丸太で家を建てる）。

まるつ [marutsi] 【動詞】[k 語幹] [A]（縄で）縛る、まとめる、丸める、（網の口を）とじる。[変異] まるふ。

まるふ [marufu] 【動詞】[k 語幹] [A]（縄で）縛る、まとめる、丸める、（網の口を）とじる。【例】つづあうぎやーむぬいゆ つかだかー まるかっどー（お前は言うことを聞かないと縛りあげるぞ）。ぐんな せんぎばかーいはいりゆーば、じょ あんな たっづいー まるかでい（むろあじは千斤くらいはあったので、網を引きよせて（網の）口を閉じよう [1斤=600グラム、「グン」は「ムッル」の成魚になったもの]）。ひんじやう まるき（ヤギの（足を）しばれ）。ひんじやぬ はっじゆ まるふ（山羊の足を縛る）。ぶーっじゆ まるふ（サトウキビを束ねる）。[変異] まるつ。[類] すまい。

まるん [marun] 【動詞】[m 語幹] [A]（ものを）丸める；（髪を）丸く結う；（人を）丸め込む。【例】かびーゆ まるみー すていたい（紙を丸めて捨てた）。あかう まるん（髪を丸く結う）。ひとらーぎやー まるまん（人を丸め込まない [＞丸め込んではいけない]）。

まるんぬつ [marunnutsi] 【形容詞】短命だ。【例】さきぬん たばくふつ ひとらんみやー まるんぬつむぬ（酒飲みで喫煙者は短命だ）。

まんき [man̄ki] 【動詞】[母音語幹] [C] 混ぜる。【例】うぬきやが ふたーちゆ まんきる（その二つを混ぜなさい）。[類] まんつ、まっでい、まっず。

まんじゆー [manzu:] 【名詞】パイ

ヤ、パパイヤの実。[変異] まんちゅー。

まんじゅーぎー [manʒu:gi:] 【名詞】 パパイヤの木。 [変異] まんちゅーぎー。

まんず [manzi] 【動詞】 [zz/dd 語幹] [A] (物が表面に) 飛び出る、(ものが収まりきらずに) はみでる。 【例】 やいーほうにゃー まんでいー どうーい (痩せて骨が飛び出ている)。 [変異] まんっず。 [類] まんでい、とうんでい。

まんちゃー [mantʃa:] 【名詞】 ごったまぜ; 異なる系統 (人種など) の両親を持つ子供。 【例】 まいゆまい おかっじゅまい まんちゃーや ひー ふあい (ご飯もおかずもごったまぜして食べなさい)。

まんちゃー かんちゃー [mantʃa: kantʃa:] 【名詞】 ごちゃまぜにすること。 [類] まんちゃー くんちゃー。

まんちゃー くんちゃー [mantʃa: kuntʃa:] 【名詞】 ごちゃまぜにすること。 [類] まんちゃー かんちゃー。

まんちゅー [mantʃu:] 【名詞】 パパイヤ、パパイヤの実。 【例】 うまんな んみまいぬ まんちゅーゆ ふあう (ここでは熟れる前のパパイヤを (野菜として) 食べる)。まんちゅーや まんやいば んつきぬ すたん ういていがー すずうす あすちや (パパイヤは万だから [> パパイヤは万の力があるから]、軒下に植えると家系が絶えるんだって [昔は家の近くには木を植え

ないほうがいいという生活の知恵があったようである。さらに「まんちゅー」の「まん」と「まんやいば」の「まん」との掛詞、「んつき」が「軒下」と「おさえつける」という意味上の掛詞、また「すず」「うす」「あす」で脚韻をふんでいる。 [変異] まんじゅー。

まんちゅーぎー [mantʃu:gi:] 【名詞】 パパイヤの木。 【例】 んつきぬ すたぬ まんちゅーぎーゆぎゃー っちゅひー すている (軒下のパパイヤの木は倒してしまえ)。 [変異] まんじゅーぎー。

まんつ [mantsi] 【動詞】 [A] 混ぜる。 [類] まんき、まっでい、まっず。

まんっず [manzzi] 【動詞】 (物が表面に) 飛び出る、(ものが収まりきらずに) はみでる。 [変異] まんず。 [類] まんでい、とうんでい。

まんでい [mandi] 【動詞】 [母音語幹] [A] (物が表面に) 飛び出る、(ものが収まりきらずに) はみでる。 【例】 やどうから かにふずぬどう まんじゅー (戸から釘が突きでてい)。はいぬ んなかな ほういすぬどう まんでいーゆー (畑の真ん中には大岩が飛び出ている)。っづあが わいしゃっちや まんじゅーば なかんかい いる (ワイシャツがはみ出てるので中に入れる)。ぶーっじゅぎゃー とらっくんか いや まんじゃはだ つみ (サトウキビは、はみださないようにトラックに積み)。 [類] まんず、とうんでい。

み

みー [mi:] ①【動詞】[母音語幹][C] (目で) 見る。【例】からー いつまい ていぬ ほうっそう みー (彼はいつも空の星を見る)。かいが すかまー みーちやぎかいば みーらいん (彼の仕事はなっていないので見るに耐えない)。かりゃー つむでいていがー まいゆぎゃー みーん (彼はいったん怒ったら手が付けられない [＜前を見ない])。ふにゃー みーらいだ んぎーにゃーん (船は見えなくなった)。ぶーっじゃ ぬそうみー ていびゆーぎゃー まーりや みーだ ちゃー ひんず (サトウキビを盗んで後ろを振り返ることなく一目散に逃げる)。②【動詞】[母音語幹][C] (子供や老人などを) 世話する、見守る。【例】ういびとーみー (老人の面倒を見る)。[類] みばかい。③【動詞】[母音語幹][C] (否定の形で、生き物が) いない；所有していない [「うらん」と同義]。【例】んきゃーんな うまなぎんな まゆー みーっだん (むかしはここらへんには猫はいなかった)。ばー みどうんな みーん (私は妻はいない)。ばが ままーいんな いしゃー みーん (私の知り合

いには医者はいない)。

みー [mi:]【補助動詞】(動詞連用形について)～てみる [～みーみー (～てみる) のように重ねて使うこともある]。【例】どうんびやう みーみーぶすむぬ (マグロの大群を見てみたい)。うぐなーいんかい いきーみーていがー たるまい みーっだん (集まりに行ってみたらだれもいなかった)。うるー ふあいみーみーる (これを食べてみろ)。くぬ むぬいゆ あっじーみーみーる (この単語を言ってみてくれ)。あーぐー あっじーみーみーる (歌を歌ってみろ)。ひとうかいま いじやいみーみーでい (一度会ってみようか)。

みー [mi:]【名詞】[B] (貝などの) 身。【例】さぐなぬ みーや まーぬ んまっふあにゃーん (ほら貝の身はあまりおいしくない)。やいがんな みーやにゃーん (やせた蟹(かに)には中身はない)。

みー [mi:]【名詞】[B] (失敗の) 穴埋め、(欠損の) 穴埋め。【例】ういがみーや っふあはいん (その穴埋めはできない)。

みー [mi:] 【名詞】 [B] 目。【例】ほうみー (大きな目)。みーや ほうらかだばらう (目は開けないで笑う [>あまりの嬉しさで笑うこと])。みーや にゃーんきゃ ばらいーにゃーん (目がなくなるほど笑った [>沢山笑った])。

みー [mi:] 【名詞】 [B] 使い物 (にならない)。【例】うらー なうぬ みーんな ならん (それは何の役にも立たない)。つぎあが でいんぬ はーさ あいたんていー うらー ばぬんな なうぬ みーんまい ならん (あなたがお金が沢山あったとしてもしても私にとっては何の役にも立たない)。

みー [mi:] 【形容詞】 [B] 新しい。【例】みーやー (新築の家)。みーぐるま (新車)。みーずん (新しい着物)。くいがどう んながーんな みーかい (これが一番新しい)。

みー [mi:] 【接頭辞】 メスの。【例】みーうす (牝牛)。みーどうい (めんどり)。みーぬーま (雌 (めす) 馬)。みーひんじゃ (雌 (めす) 山羊)。

みー つつんく [mi: tsitsin̄ku] 【成句】 落ち着きないこと、慌てること、右往左往していること [「みーや/みーぬつつんく」なども可]。【例】やらびゃー みーや つつんくん なりーんまう どうみーまーりゅー (子供は右往左往して母親を探し回っている)。
[変異] みーつつんつ、みーつつんふ。

みー つつんつ [mi: tsitsintsi] 【成句】 落ち着きないこと、慌てること、右往左往していること [「みーや/みーぬつつんつ」なども可]。 [変異] みーつつんく、みーつつんふ。

みー つつんふ [mi: tsitsinfu] 【成句】 落ち着きないこと、慌てること、右往左往していること [「みーや/みーぬつつんふ」なども可]。 [変異] みーつつんく、みーつつんつ。

みーい [mi:i] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] (女性らしく) 成熟する、女らしい体つきになっている。 [類] みっり。

みーか [mi:ka] 【名詞】 [A] 『数詞』 三日。

みーかいす [mi:kaisi] 【動詞】 [s/h 語幹] 見返す。【例】うやきんなりーかりゅーぎゃー みーかいはでい (金持ちになって彼を見返してやる)。
[変異] みかいす。

みーがしー [mi:gaci:] 【成句】 (家の修理の時などに) 本当に手伝うのではなく、見ているだけで手伝っているのだとすること (あるいは言うこと)。

みーかない [mi:kanai] 【名詞】 おととい、一昨日 [「今日」から数えると三日前なので、「みー」になる]。

みーかない [mi:kanai] 【名詞】 目のいい人。

みーがまくーがま [mi:ga-maku:gama] 【副詞】くまなく。【例】やーぬかぎやー みーがまくーがまとうみたいそうが なうちゆんま とうみらいん（家の鍵はくまなく探したが全く見つからない）。[類] いーがまくーがま。

みーさみー [mi:sami:] 【名詞】見下すこと。【例】きばんていー みーさみー あすな（貧乏だと言って見下すな）。[類] いみさみー。

みーそうい [mi:sui] 【成句】[r/rr 語幹] 眼光鋭い [「みーや そうい/みーぬ そうい」も可]。【例】じゅーどーぬ せんしゅー いつまい みーや そうりーどうーい（柔道の選手はいつも眼光が鋭い）。

みーたう [mi:tau] 【名詞】外見、見映え、見た目、見栄え；世間体。[類] みーとう、みーは一。

みーだつ [mi:datsi] 【名詞】独身女性 [独身男性は「びきだつ」と言う]。【例】ながみーだつ（年齢の高い独身女性）。

みーちゃぎ [mi:tçagi] 【形容詞】（顔かたち、服装などの）見た目が悪い、（仕事などの）見栄えが悪い、（食べ物などの）見た目が悪い；（言葉が）適切でない。【例】からー いつまい やりずんな っちー みーちゃぎかいば ならん（彼はいつもぼろ服を着ていて、と

ても見苦しい）。かいが すかまー みーちゃぎかいば みーらいん（彼の仕事は見るに耐えない）。うぬ むぬー みーちゃぎあたいそうがどう ふあうていがー んまい あたい（その食べ物は見た目は悪かったけれど食べたらうまかった）。かりやー いつまい ひとつんかい うっさひー ひんぎーはい みーちゃぎんまり（彼はいつも人のせいにしてにげていく卑怯者だ）。あいぬ みーちゃぎ むぬいゆぎやー ほうん（そんな下品な言い方をしてはいけない）。

みーつ [mi:tsi] 【名詞】[A] 《数詞》三つ。

みーつき [mi:tsiki] 【動詞】[母音語幹]（人が別の人に）目をつける、（人やものを）凝視する、（けんか相手などを）にらみつけ、（恋人が相手を）見つめる。【例】っぎー っふあう みーつきー んみきゅー（お父さんは子供をにらみつけて叱っている）。[類] みーつふ、みーつつ。

みーつつ [mi:tsitsi] 【動詞】[k 語幹]（人が別の人に）目をつける、（人やものを）凝視する、（けんか相手などを）にらみつけ、（恋人が相手を）見つめる。【例】むぬいゆぎやー つかん やらびゅー みーつきー うたい（言うことを聞かな子供をにらみつけていた）。みどうんな ながら かなす ぶとうー みーつきーうたい（妻は自分のいと

おいしい夫を見つめていた)。[変異] みーつふ。[類] みーつき。

みーつない やらび [mi:tsinai jarabi] 【成句】若輩者、仕事のできない大人 [＜3歳になる子供]。【例】ばーんなーぎゃー なうや っさん みーつない やらび (私はまだまだ何も知らない未熟者だ)。

みーつふ [mi:tsifu] 【動詞】[k 語幹] (人が別の人に) 目をつける、(人やものを) 凝視する、にらむ、(人を) 見つめる。【例】ぎずぎやうなー しーしーん みーつかいーにゃーん (腕白坊主は先生に目をつけられた)。あいや ひとぅーぎゃー みーつかん (そんなに人をにらみつけない)。ばー きーぬ はなぬ たかう みーつきゅーたい (私は木の上のサシバを凝視した)。っづあー みがうどう むいとう みーつきゅーたいだら (お前はミガをじっと見つめてただろう)。[変異] みーつつ。[類] みーつき。

みーつむぬ [mi:tsimunu] 【名詞】目に入ったゴミ。【例】みーんかいどう みーつむぬぬ はいりー にゃーん ば なんみーふいーる (目にゴミがはいってしまってなめて (とって) ください)。

みーていない [mi:tinai] 【名詞】おとし、一昨年、2年前 [「今年」から数えると三年前なので、「みー」になる]。

みーとう [mi:tu] 【名詞】[C] 外見、見映え、見た目、見栄え；世間体。【例】かりゃー いつまい やりずんな っちー みーとうんな にゃーん (彼はいつも古い服を着て見た目が悪い)。かいが ぶどういや みーとうー にゃーん (彼・彼女の踊りはさまになっていない)。[変異] みーとうー。[類] みーたう、みーはー。

みーとうー [mi:tu:] 【名詞】外見、見映え、見た目、見栄え；世間体。[変異] みーとう。

みーな [mi:na] 【名詞】[A] 萋 (にら)。【例】みーなとう まみなう いたみー (にらをもやしと炒める)。みーなう いびー (ニラを植える)。

みーぬ すたみー [mi:nu sitami:] 【成句】見下すこと、蔑視、軽視。【例】ひとぅーぎゃー みーぬ すたみーゆぎゃー ほうん (人を見下してはいけない)。

みーぬっふあ [mi:nuffa] 【名詞】瞳。【例】っづあが みーぬっふあんかい うんそうく ほうりーゆー (君の瞳にとても魅了された)。っづあ みーぬっふあう いつまい みーみーぶすむぬ (君の瞳をいつも見つめていたい)。みーぬっふあぬ っふかいきゃー わいていー かなーだかー ならん (瞳が黒い間は頑張らなくて働かないといけない)。

みーはー [mi:ha:] 【名詞】外見、見映え、見た目、見栄え；世間体。【例】あてい ばかすかいば みーはーや にやーん（とても恥かしくてあわせる顔がない）。うぬ つんな みーはーや にやーんば うりゆーぎやー っちゃだうり（この服は見た目が悪いから着るな）。ひとうぬ みーはーまい にやーん（世間体が悪い）。[類] みーたう、みーとう。

みーはぎ [mi:hagi] ①【名詞】（栄養不足で）赤目になって目がよく見えない人。[変異] みはぎ、みぱぎ、みーぱぎ。②【名詞】（一時的に充血して）目が赤くなること；（一時的に充血して）目が赤くなった人。[変異] みはぎ、みぱぎ、みーぱぎ。③【名詞】物探しが下手な人。[変異] みはぎ、みぱぎ、みーぱぎ。

みーぱぎ [mi:pagi] ①【名詞】（栄養不足で）赤目になって目がよく見えない人。[変異] みはぎ、みぱぎ、みーはぎ。②【名詞】（一時的に充血して）目が赤くなること；（一時的に充血して）目が赤くなった人。[変異] みはぎ、みぱぎ、みーはぎ。③【名詞】物探しが下手な人。[変異] みはぎ、みぱぎ、みーはぎ。

みーはなー にやーん [mi:hana: nja:n] 【成句】恥かしい、面目がない。[変異] みはなー にやーん。

みーばらーしゃ [mi:bara:ʧa] 【名詞】目元が涼しくて笑顔がきれいな人。【例】からー いつまい みーばらー

しゃがま（彼・彼女はいつも笑顔がきれいだ）。

みーはん かーはん [mi:han ka:han] 【副詞】何でもかんでも、めくらめっぽう、手当たり次第、何でもかんでも。【例】みーはん かーはん まかいゆ ばい（手当たり次第に茶碗を割る）。[類] みっふあかつふあ。

みーぷかい [mi:pukai] 【形容詞】（光などが）まぶしい。【例】っふあ あなから いでいってい みーていがー みー ぷかいかいば ならん（暗い穴からでてきたものだからまぶしくてしかたない）。[類] みーぶたい。

みーぶた [mi:buta] 【形容詞】見た目より中身が多いこと。【例】うぬ っぞうー いみむぬがま やいそうが みーぶたむぬ（この魚は小さいけれど中身は多い）。やまー にやーん すまー みーぶたすま（山の無い島はなかみが多い [＞畑がたくさん作れる]）。

みーぷたい [mi:putai] 【形容詞】（光などが）まぶしい。【例】きゅーぬ ていだー みーぷたいかいば ならん（今日の太陽はまぶしくてならない）。[類] みーぶかい。

みーまーい [mi:mai] 【動詞】[r/rr 語幹] 見て回る。【例】かでいふつぬ あとうぬ はいぬ ぶーっじゅ みーまーい（台風の後の畑のサトウキビを見て回る）。

みーまーい [mi:mai] 【名詞】目が回ること、目がくらむこと。【例】っざん ぐるみきまーはい みーまーい ひーうたい（お父さんにぐるぐる回されて目が回った）。みーまーいや ひーいじゃどう いじゃががら さだかーひらいん（目がくらんでどこがどこか分からない）。

みーや にやーん [mi:ja nja:n] 【成句】目がなくなる〔笑い顔を誇張した言い方〕。【例】みーや にやーん きゃ ばらいーにやーん（沢山笑った〔＜目がなくなるほど沢山笑った〕〕。

みーや ほうらんばかーい [mi:ja hurakambakai] 【成句】目が開かないくらい、程度がはなはだしい様子をあらわす。【例】みーや ほうらんばかーい がーりー まーりー うたい（まぶしいくらいきれいに〔（あるいは）目も当てられないくらいはでに〕着飾って歩き回っていた）。みーや ほうらんばかーい ばらいーにやーん（目が開かなくなるほど笑った〔これ以上笑えないほど笑った〕）。

みか [mika] 【名詞】[C] こめかみ。【例】やいぬーまー みかぬどう ふぐみゆー（痩せた馬はこめかみがへっこんでいる）。

みが [miga] 【名詞】[C] 女性のこと、女性の名前によくつかわれる [ミガガマ、ユヌスミガ、カナスミガ、カニミガ、ジャンミガ、ウツミガ、などがある]。

みがー [miga:] 【名詞】[B] 瞼（まぶた）。【例】かやばたん みがーや ささいーにやーん（小さい蜂にまぶたを刺された）。

みかいです [mikaisi] 【動詞】[s/h 語幹] 見返す。【変異】みーかいです。

みがつ [migatsi] 【動詞】[k 語幹] [C] 磨く。【変異】みがふ。

みがに [migani] 【名詞】[C] 眼鏡、水中メガネ。【例】みがにやー みーんな あーんば みーむぬー かーでい（眼鏡があってないので新しいのを買おう）。みがにまーいゆ いなうん あす（素潜り漁を内海でする）。

みがにまーい [miganimai] 【名詞】素潜り漁。【例】きゆーや みがにまーいや ひー たくとうらでい（今日は素潜り漁でタコを取ろう）。みがにまーいや ひー っぞうー つかでい（素潜りで魚を突こう）。

みがふ [migafu] 【動詞】[k 語幹] [C] 磨く。【例】くच्चゆ みがかでい（靴を磨こう）。はーゆ みがふ（歯を磨く）。【変異】みがつ。

みくん [mikun] ① 【名詞】[C] 計画、将来性。【例】すかまうぎやー みくんな たていー あっそう（仕事は計画を立ててやりなさい）。つづあが んなまぬ すかまー なうぬ みくんなにやーん（あなたのいまの仕事は何の将来性もない）。【類】みくんさー。②

【形容詞】[C] 計画性がある、見通しがある、先を読む力がある [先を読みすぎて投機的だという悪い意味になることもある]。【例】からー みくんかい びとう (彼は見通しのある人だ)。つづあー かいが みくんさーや にゃーん (あなたは彼のような先見の明がない)。

みくんさ [mikunsa] 【名詞】計画性、先見の明。 [変異] みくんさー。 [類] みくん。

みくんさー [mikunsa:] 【名詞】計画性、先見の明；計画性、先見の明のある人。 [変異] みくんさ。

みくんじゅー [mikunzu:] ① 【名詞】計画性、先を読む力；先見の明があること。 【例】からー みくんじゅー やいば かぶー ほうんまい うどう つていぬ くとうー にゃーん (彼は先を読む力があるので、株をやっても損することはない)。からー やぐみ みくんじゅー (彼は先を読む力がある)。
② 【形容詞】計画性がある、先を読む力がある；先見の明がある。【例】かいが どう ばぬんつきゃー みくんじゅー かい (彼のほうが私より先が読める)。

みざし [mizaçi] 【名詞】[C] 琉球王朝時代の下級官僚、「池間の主」の下の地位。 【例】みざししゅーとうや たきゃーあらん (目差主とは身分が違う [古謡「豆が花」から])。

みさだみ [misadami] 【名詞】見定め、目算。 【例】わーや なんきん あい

がていー みさだみ あっそう (豚は何斤あるか見さだめなさい)。

みし [miçi] 【動詞】[母音語幹] [C] 見せる。【例】しゃしんぬ みしー (写真を見せる)。つづあが うぬ ていがみゅー みしる (お前のその手紙を見せる)。からー くぬいや みはなうぎゃー みしん (彼は最近顔を見せない)。

みじゃつ [mizatsi] 【動詞】[k 語幹] [C] 目が覚める、起きる。 [変異] みじゃふ。

みじゃふ [mizafu] 【動詞】[k 語幹] [C] 目が覚める、起きる。 [変異] みじゃつ。 [類] みじゃん、みそうい。

みじやみ [mizami] 【名詞】[A] 目覚め、寝起き。 【例】くぬ やらびぬ みじやみゃー いつまい にゅーたぎむぬ (この子の寝起きはいつも眠たそう)。 [類] みそうい。

みじゃん [mizan] 【動詞】[m 語幹] [C] 目が覚める、起きる。 【例】やらびゃー みじやみー どうー (子供はもう起きています)。ばー きゅーや しゃーかぬ さんじんどう みじゃんたい (私は今日は夜中の3時に起きた)。 [類] みじゃふ、みそうい。

みじゆき [mizuki] 【名詞】[C] 魚の多い漁場 [リーフとリーフの間の深み、魚の通り道でもある]。 【例】っしん ばらじゃんぬ あす とうきやんな みじゆきぬ つぶん あんな は

りゆーとういどう っぞうーぎゃー
がにー とうい (リーフで追い込み漁
をするとき瀬と瀬の間の深みの壺に網
を張っていてそこに魚を追い込み巻き
込んでとる)。じょー、きゅーや かま
ぬ みじゆきんきー、あんぬ はらで
い (さあ、今日はあの漁場に行って網
を張ろう)。

みじゆぬ [mizunu] 【名詞】 [C] 『魚』
イワシ。【例】みじゆぬー あんかい
がにー (イワシを網に追いこむ)。み
じゆぬー いみ ほうにがま たかい
むぬ (イワシは小骨がたくさんある)。

みじゆら [mizura] 【名詞】 [C] 『魚』
浜辺にいる小魚、和名不明。【例】みじ
ゆらー あながまー ほうりー うい
(ミジユラは小穴を掘ってそこにいる)。

みず [mizi] 【名詞】 [B] 水 [お湯の
こともさす]。【例】ひだがーぬ みっ
じゆ ぬん (ヒダガーの水を飲む)。み
っじゆ ん°ん (水を汲む)。はいんかい
みっじゆ まつ (畑に水をまく)。ほ
うにゃんかい みっじゆ ふいー (大
根に水をやる)。みっじゆ あっちやす
(お湯を沸かす)。うらー あつみず や
いば まないんていー むち (それは
お湯なので気を付けて持て)。あまみず
(淡水)。ほうそうみず (海水)。

みずがーら [miziga:ra] 【名詞】 大き
な水流。【例】あみゃー っふいぬ
あとうぬ みずがーら (雨の後の大き
な水流)。

みずがさ [mizigasa] 【名詞】 水疱瘡、
水痘。【例】やらびんどう みずがさぬ
いじゅー (子供に水痘が出ている)。

みすかす [misikasi] 【動詞】 [s/h 語幹]
(隠された意図、嘘などを) 見透かす。
【例】っうあが あっじゅー くとうー
みすかはいどうー (あなたが言っ
ていることは見透かされている)。

みずかに [mizikani] 【名詞】 ガラス。
【例】くびんな みずかに (瓶はガラ
ス (でできている))。

みすかむぬい [misikamunui] 【名詞】
ひそひそ話、秘密の話。 [変異] みそ
うかむぬい。

みすてい [misiti] 【動詞】 [母音語幹]
[C] 見捨てる。【例】うらー つむー
にゃーんんまり やいば みすてい
る (彼は心のない奴だから見捨てる)。

みずぬっぞう [mizinuzzu] 【名詞】
『魚』フナ。【例】みずぬっぞう とう
い うやがま (フナ取り専門のおじい
さん)。[類] たーぬぞう。

みずばな [mizibana] 【名詞】 鼻水。
【例】かじゃー ひきどう みずばなぬ
いじゅー (風邪ひいて鼻水が出てい
る)。[類] みずぱんだい。

みずぱんだい [mizipandai] 【名詞】
鼻水。 [類] みずばな。

みずぶくい [mizibukui] 【名詞】 水で
ふやけていること ; (水に浸かって) 皮

膚がふやけること。【例】みずぶくい
ひーゆー まみひー たうふー ち
ゆっふ（水につけてふくれた豆で豆腐
を作る）。ゆながい うーぎー みーき
ゃー みずぶくい ひーゆー（長時間
泳いだので水でふやけた）。

みそう [misu] 【名詞】 [C] 《古語》
舟。【例】ふにがま、みそうがま（小
舟、小舟〔古謡「唐人渡来」から〕）。

みそうい [misui] ① 【動詞】 [r/rr 語幹]
[C] 目覚める、起きる。【例】んめ
やらびゃー みそうりーどーい（子
供はもう目覚めている）。ばー はーひ
ーから みそうりーどーい（私は早い
うちから目覚めている）。やらびぬ み
そうりーや すぐ なつどうす（この
子は目が覚めたらすぐ泣くよ）。[類] み
じゃん、みじゃふ。② 【名詞】 [C] 目覚
め、寝起き。【例】みそういじゃう や
らび（寝起きのいい子）。みそういばい
やらび（寝起きの悪い子）。

みそうかむぬい [misukamunui]
【名詞】 ひそひそ話、秘密の話。【例】
みどうんみぬ みそうかむぬいゆ ほ
うー（女性達がひそひそ話をしている）。
[変異] みすかむぬい。

みたまい [mitamai] 【名詞】 目が見え
ない人、盲人；もの探しのへたな人。
【例】からー やみどう みたまいん
なりーにゃーん（彼は病気で目が見え
なくなってしまった）。みたまいんな
にぐーや どうみらいん（探し物下

手にはシャコガイは見つけられない）。
[類] みたまら、みつふあ。

みたまら [mitamara] 【名詞】 目が見
えない人、盲人；もの探しのへたな人。
【例】おい みたまら、つづあが と
うみゆー むぬー すぐ うまん あ
いさ（この物探しのへたっぴー、お前の
探しているものはすぐそこにあるぞ）。
[類] みたまい、みつふあ。

みちやーい [mitçai] 【名詞】 《数詞》
三人。

みつづあい [mivvai] 【名詞】 家庭的
で面倒見が良いこと。【例】ほうゆが
ーぬ なかーにゃー やぐみ みつづ
あい あい みどうん（ホウユガーの
次女はとても面倒見のよい女性だ）。

みつき [mitsiki] 【動詞】 [母音語幹] [C]
覗む。【例】やらびゆー たやん み
つきー（子供を強く覗む）。[類] みつつ。

みつず [mitsizi] 【名詞】 [A] 探るのが
下手な人。【例】むいとうぬ みつず
んまり（ほんとうに探するのがへたな奴
だ）。[類] みたまい。

みつつ [mitsitsi] 【動詞】 [k 語幹] [C]
覗む。[変異] みつふ。[類] みつき。

みつふ [mitsifu] 【動詞】 [k 語幹] [C]
覗む。[変異] みつつ。[類] みつき。

みつふあ [miffa] 【名詞】 [B] 盲目の
人。【例】みつふあんま（盲目のお母
さん）。[類] みたまい、みたまら。

みつふあ [miffa] 【形容詞】[B] (人などが) 嫌いだ、憎い、(他人を) 差別をする。

みつふあ **かつふあ** [miffa kaffa]

【副詞】 えり好みせず; めくらめっぽう、手当たり次第。【例】 むぬぎゃー いらばだ みつふあかつふあ ふあい (食べ物はえり好みせず、何でも食べなさい)。あい みつふあかつふあ いっそう ていっづあんまい まとうんか いや あたらん (そんな風に手あたり次第石を投げてても的には当たらない)。
[類] みーはん かーはん。

みつふあさ [miffasa] 【名詞】 (人を)

嫌うこと [ペットなどにも使える]、憎しみ。【例】 うぬ みどうんな ひとうー みつふあさ あす うむくとうー にゃーん ひとう (この女性は人を嫌うことを知らない人)。たるーまい みつふあさ ひーや ならん (だれもきらってはいけない)。ばー まさいゆーぎゃー みつふあさ (私はマサイは嫌いだ)。ばー かいんか いや んめ みつふあさまい なうまい にゃーん (わたしは彼女には憎しみもなにもない)。

みつふあまーい [miffama:i] 【名詞】

立ち眩み。【例】 みつふあまーいぬ ひーゆー (立ち眩みがしている)。みつふあまーいやひー がらていー たうりーにゃーん (立眩みしてばたっと倒れた)。ばー きゅーや たちやっで

いー あすきゃー みつふあまーいや ひーたういぎかたい (私は今日は立ち上がろうとしたらたちくらみがして、倒れそうになった)。

みっり [mirri] 【動詞】[母音語幹][A]

(女性らしく) 成熟する、女らしい体つきになっている。【例】 うぬ みどうんがまー っちやまりゆーががら みっりーどうー (その女の子は成熟してきているのか女らしい体つきになっている)。
[類] みーい。

みとうーす [mitu:si] 【動詞】[s/h 語幹]

(景色などを) 見渡す; (人の性格などを) 見通す; (人や会社などの将来性を) 見通す。【例】 ゆーかーまたー ひー みとうーはいどうーい (遠くまで見渡せる)。つづあが つむぬ なかぬ わるだくみゃー みとうーはいどうー (お前の心の中の悪だくみはお見通しだ)。かいが かいしゃぬ じゅーねんあとうぬ くとうー みとうーはいん (彼の会社の10年あとのことは見通せない)。

みどうん [midun] ① 【名詞】[B] (成人、未成人を問わず) 女、女性。

【例】 かぬ みどうんな つむかぎ (あの女の人は性格がいい)。みどうん きよーだい (姉妹)。② 【名詞】[B] 妻。【例】 からー やぐみ みどうんかなっさびとう (彼はとても愛妻家だ)。ばー みどうんな みーん (私は妻はいない)。みっづあいあい みどうんぬ とうみ

ぶすむぬ（家庭のやりくりのうまい奥さんを見つけない）。[類] とうず。

みどうんそうがい [midunsugai]

【名詞】男性が女性の格好をすること、女装。

みどうんつづあ [midunvva]

【名詞】娘。【例】あたらかぬ みどうんつづあうぎやー つづあんかいや ふいーん（大切な娘はお前にはやらない）。ばー みどうんづあぬどう みちやーい うい（私は娘が三人いる）。

みどうんぶす [midumbusi]

【名詞】社会的に活躍していて影響力のある女性 [＜みどうん＝女、ぶす＝武士]。【例】からー うむくとうあい みどうんぶす（彼女は賢くて優秀な女性だ）。

みなか [minaka]

【名詞】[C] 前庭 [家の後ろは家庭菜園（かふー）にするのが普通]。【例】みなかぬ っさうひつ（庭の草を引きぬく）。

みばかい [mibakai]

①【動詞】[r/rr 語幹]（田んぼ、畑、家などを）手入れする、（組織、建物など全般を）管理する。【例】かまぬ はいぬ ぬっさ はいゆぎやー みばからんば はいや ずみく っさー ういー あばりゆーい（あそこの畑の主は畑の手入れしないので畑は荒れ果てている）。かんちよーていー こーみんかんぬ みばかいたい（館長として公民館を管理した）。[類] みー、みばつ。②【動詞】[r/rr 語幹]（家

族、年寄、病人などの）世話をする。【例】みがー うっとうがまう わいていー みばかいたい（ミガは弟をよく世話した）。つづあが わいていー みばきゆーば、つづあが とうっじゃ みやーす はず（あなたが一生懸命面倒を見ているので、あなたの妻は楽なはず）。まないん とうず つふあうぎやー みばからだかー（ちゃんと 妻子は見守らないと（いけないよ））。ういびとうぬ っそうすばい みばかいゆ あす（老人の排便・排尿の世話をする）。やんびとうーぎやー みばかい（病人の世話をする）。[類] みー、みばつ。③【動詞】[r/rr 語幹]（人）を監視する、（人）を見張る。【例】うぬ ぎずぎやうなう みばかりゆーき（この腕白小僧を見張っておけ）。[類] みー、みばつ。

みはぎ [mihagi]

①【名詞】[C]（栄養不足で）赤目になって目がよく見えない人。【例】んきやーんな みはぎやー ひー むぬー みーらいった んぎたい ひとつまい うたいちゃ（昔は赤目でものが見えなくなる人もいたそうだ）。[変異] みばぎ、みーはぎ、みーばぎ。[類] みはぎや。②【名詞】[C]（一時的に充血して）目が赤くなること；（一時的に充血して）目が赤くなった人。【例】みはぎみー（（充血して）赤くなった目）。みはぎびとう（赤目の人）。[変異] みばぎ、みーはぎ、みーばぎ。[類] みはぎや。③【名詞】[C] 物探しが下手な人。【例】ばー みはぎ やいば

にぐーや どうみらいん（私はもの探しが下手でシャコガイは見つけられない）。[変異] みばぎ、みーはぎ、みーぱぎ。[類] みはぎゃ。

みばぎ [mipagi] ①【名詞】[C]（栄養不足で）赤目になって目がよく見えない人。[変異] みはぎ、みーはぎ、みーぱぎ。②【名詞】[C]（一時的に充血して）目が赤くなること；（一時的に充血して）目が赤くなった人。[変異] みはぎ、みーはぎ、みーぱぎ。③【名詞】[C] 物探しが下手な人。[変異] みはぎ、みーはぎ、みーぱぎ。

みはぎゃ [mihagja] ①【名詞】[C]（栄養不足で）赤目になって目がよく見えない人。[類] みはぎ。②【名詞】[C] 目が赤くなること；目が（一時的に）赤くなった人；赤目の人。[類] みはぎ。③【名詞】[C] もの探しのへたな人。[類] みはぎ。

みはず [mihazi] 【動詞】[g 語幹] [C] 目が赤くなる、充血する。【例】まずむぬー みーたんががら、みーや みはぎーどう（幽霊を見たのか目が赤くなっている）。

みばつ [mibatsi] ①【動詞】[k 語幹] [C]（田んぼ、畑、家などを）手入れする、（組織、建物など全般を）管理する。[変異] みばふ。[類] みばかい。②【動詞】[k 語幹] [C]（家族、年寄、病人などの）世話をする。[変異] みばふ。[類] みば

かい。③【動詞】[k 語幹] [C] みはる。[変異] みばふ。[類] みばかい。

みはな [mihana] 【名詞】[C] 顔、顔色。【例】うどうるきー みはなんないー にやーん（びっくりして顔に血色がない）。がんじゅーぎ みはな（元気そうな顔）。かいが はなっさ うむっしかいば んない みはなー にやーんきゃ ばらうたい（彼の話は面白いのでみんな顔をくしゃくしゃにして笑いこけた）。

みはなー にやーん [mihana:nja:n] 【成句】 恥かしい、面目がない。【例】ばかすかいば みはなーにやーん（恥ずかしくて人に合わせる顔がない）。[変異] みーはなー にやーん。

みはなー ほうらかんばかーい [mihana:hurakambaka:i] 【成句】 合わせる顔がないくらい。【例】みはなー ほうらかいんばかーい ばかすかいばならっだん（合わせる顔がないくらい恥ずかしかった）。

みはながーゆ んつ [mihanaga:ju ntsi] 【成句】（他人の恥ずかしいことを）ばらす、（真実の姿を明らかにして）化けの皮をはがす。【例】んーなが まいん みはながーや んかいーにやーん（皆の前で恥ずかしいことをばらされた）。

みはなぶた [mihanabuta] 【形容詞】（家族などが偉くなったりして）自慢だ、

(自分が成功したりして) 得意満面だ。
【例】んまがー しーしーんまい なりー
ー やぐみ みはなぶたむぬ (孫が教師になってとても自慢だ)。からー り
ゆーだいんかい ごーかくー ひー
みはなぶたむぬ はず (彼は琉球大に合格して得意満面だろう)。

みばふ [mibafu] ①【動詞】[k 語幹] [C]
(田んぼ、畑、家などを) 手入れする、(組織、建物など全般を) 管理する。 [変異] みばつ。 [類] みばかい。 ②【動詞】
[k 語幹] [C] (家族、年寄、病人などの) 世話をする。 [変異] みばつ。 [類] みばかい。 ③【動詞】 [k 語幹] [C] みはる。
[変異] みばつ。 [類] みばかい。

みまーい [mimai] 【動詞】 [r/rr 語幹]
見回る。 【例】ぶーっじゃ ういゆー
んむていー はいゆ みまーい (サトウキビの芽が出ているかどうか畑を見まわる)。

みまた [mimata] 【名詞】 [A] 三叉路。

みみじゃー [mimiza:] 【名詞】 『魚』
ヒメフエダイ。 【例】みみじゃーや
やぐみ んまっぞう (ヒメフエダイはとても美味しい魚だ)。

みやー [mja:] 【形容詞】 [A] (芋やお菓子)がほくほくしている。 【例】み
やーんー (ほくほくしたイモ)。くぬ
んーな みやーむぬーひー んまい
(この芋はほくほくしてうまい)。

みやーか [mja:ka] 【名詞】 [A] 昔の大きな墓。 【例】んきやーんぬ とぅゆ
みやぬ みやーか (昔の豊見親の墓)。

みやーぎ [mja:gi] ①【動詞】 [母音語幹] [C] (上を) 見上げる。 【例】か
まぬ やまぬ はなう みやーぎーみ
ーる (あそこの山の上を見てみる)。て
いんぬ ほうっそ みやーぎーみーる
(空の星を見上げてみなさい)。 ②【動詞】 [母音語幹] [C] (後ろを) 振り向く; 訪問する; 相手にする; 挨拶する。
【例】ひやうすんな かぬきやうまい
みやーぎーみーる (たまには彼らの家にも行ってあげなさい)。からー くま
うぎやー なんとぅが みやーぎーま
い みーん (彼はここをまったく訪ねて来ることもない)。かりやー ぼんち
ゆーぎやー なんとぅが みやーぎん
(彼は私達のことをちっともかまってくれない)。かりやー ばぬんかい いじ
やーばんまい みやーぎやーとうんま
みーん (彼は私にあっても挨拶さえもしない)。から あてい えらいふ
なりー ばんていんな みやーぎらい
ん (彼はあんまりえらくなって我々には近寄りがたい)。

みやーく [mja:ku] ①【名詞】 [A] 治世、現世、時代。 【例】なかそね と
うゆみやが みやーく (仲宗根豊見親の治世)。んなまー かいが みやーく
(今は彼の時代だ)。くーみやーく (苦しい現世)。くーさぬ みやーくからー
すんな ながーい (苦しいこの世から

逃れるためには死ぬしかない [=死ぬのが逃れることだ]。んなまー ばが みやくー あらん (今は私の時代ではない)。②【名詞】[A] 故郷、都。【例】くまー ばが みやく (ここは私の故郷だ)。んなまー とーきょーぬ どう ばが みやく (今は東京は私の都だ [住めば都])。

みやく [mja:ku] 【名詞】[A] 宮古。
【例】くまー みやくずま (ここは宮古島です)。

みやくじょーふ [mja:kuzo:fu] 【名詞】 宮古上布 [「宮古上布は」の対応形は「みやくじょーつふあ」「みやくじょーふー」のどちらでもよい。「宮古上布を」の対応形は「みやくじょーつふ」「みやくじょーふー」のどちらでもよい]。【例】みやくじょーふー ぶーずん (宮古上布は苧麻でできた着物だ)。

みやくずつ [mja:kuzitsi] 【名詞】
『祭礼』お盆から約 60 日後の甲午の日に行われる池間系の人の一年で最大の祭事。【例】みやくずつんな んじやからまい はーさぬ ひとつぬ すまー ならひー んみyai (ミヤークズツにはそこらじゅうから多くの方々が地面をどんと響かせて押し寄せる)。みやくずつんな ますむい ぶーとういぬ あい (ミヤークズツにはマスムイ、ブートウイがある)。

みやくなき [mja:kunagi] 【副詞】

永久に、永遠に。【例】ばんていが うやきやー みやくなき ふあーいん (私たちの富は永久に食い尽くせない)。

みやくす [mja:si] ①【形容詞】[A] (病気が治って) 体調がいい。【例】やんなうりー みやくすふ なりーどうー (病気が治って体調がよい)。②【形容詞】[A] 生活に余裕がある、(生活が) 楽である、裕福な; (仕事などが) 楽だ。【例】ふあう みやくす ((食べるのに事欠かない) 楽な生活)。かまぬ きないや みやくす きない (向こうの家は裕福だ)。くぬいや ていまーまい あがりー みやくすふ なりーどう (最近は給与も上がって生活が楽になった)。みやくす すかまていや にやーん (楽な仕事 (というもの) はない)。

みやくす [mja:si] 【動詞】[s/h 語幹]
[C] (違いを調べるために見たり、持ったりして) 比べる。【例】うぬ ふたーつちゆ みやくひーみーる (この2つを比べてみなさい)。くぬ さきとううぬ さきゆー ぬみー みやくひーみーる (この酒とその酒を飲んで比べてみなさい)。

みやくてい [mja:ti] 【名詞】[C] 目的地、生きがい。【例】くぬ ひこーきやー んじゃんかいぬ みやくてい (この飛行機はどこが目的地なんだ)。ふにやー みやくていぬ にやーだかー んじゃまい いかいん (舟は目的地がないとどこにも行けない)。つふあん

まがぬどう ばが みゃーてい (子や孫が私の生きがい)。[類] まとう。

みゃーなか [mja:naka] 【名詞】『祭礼』御嶽の建物の外側にある神事を行う場所。

みゃーらび [mja:rabi] 【名詞】浮気っぽい女性。【例】みゃーらび みどうん (みだらな女)。

みゃい [mjai] 【動詞】[r 語幹][C] ふあう (食べる) の尊敬語形。

みやらび [mijarabi] 【名詞】『歌語』一七、八の若い女性。【例】みやらびかぎさ (若い女性の美しさ)。

みやらまてい [mjaramati] 【成句】食べてください (「ふあう (食べる) の敬語形 「みゃい」 の依頼形)。【例】ていや いかーひー かーっそう とうい みやらまてい (手を伸ばしてお菓子を取って食べてください)。なまっそう みやらまてい (刺身をお召し上がり下さい)。

みゅーい [mju:i] 【名詞】[C] (男女を問わず) 両親の兄弟のこども、甥 (おい)、姪 (めい)。【例】ぶばがまー みゅーいんつきゃーまい うっとう (末っ子のおばさんは甥 (姪) よりも年下だ)。みゅーいっふあんみ (甥っ子たち (姪っ子たち))。みちゃーいぬ みゅーい (三名の甥 (姪))。

みゅーとう [mju:tu] 【名詞】[A] 夫婦。【例】かなすぎ みゅーとう (仲

がよさそうな夫婦)。うぬきゃが ふたーいや みゅーとうん なりーどうー (彼ら二人は夫婦になった)。[類] とうずぶとう。

みゅーぶき [mju:buki] 【名詞】(神様のおかげ、おかげで)。【例】くぬくとうー やぐみぬ みゅーぶき (このことは神様のおかげだ)。やぐみぬ みゅーぶき たすきraitたい (畏れ多い神様のおかげで)。[類] うぶき。

みりきんくー [mirikinku:] 【名詞】メリケン粉。[変異] みりきんぐー。[類] みるくんぐー、みるくんくー。

みりきんぐー [mirikingu:] 【名詞】メリケン粉。【例】みりきんぐーひー てんぷらう やつ (メリケン粉で天ぷらを揚げる)。[変異] みりきんくー。[類] みるくんぐー、みるくんくー。

みるくじゃき [mirukuzaki] 【名詞】ミルク酒 [泡盛に練乳を混ぜてつくる飲み物]。【例】さきんかい ぶーどうるー まっでいー みるくじゃきゅーちゅっふい (酒に練乳を混ぜてミルク酒を作れ)。

みるくんくー [mirukunku:] 【名詞】メリケン粉。[変異] みるくんぐー。[類] みりきんくー、みりきんぐー。

みるくんぐー [mirukungu:] 【名詞】メリケン粉。[変異] みるくんくー。[類] みりきんくー、みりきんぐー。

みん [min] 【名詞】 [B] 耳 [聴覚機能ではなく体外に出ている耳の部分は「みんばに」という]。【例】みん と うーき ういびと (小さい音でもよく聞こえる老人)。ういびとうん なりー みんな つかいんふ なりゅー (年寄りになって耳が遠くなった)。みんぬ ひっぱい (耳を引っ張る)。みんぬ かうかいば ならん (耳がかゆくてしかたない)。

みんがくむん [mingakumun] 【名詞】 耳学問。

みんがみ [mingami] 【名詞】 取っ手のついた甕 (かめ)。【例】んそうがみ やー みんがみ (味噌がめは取っ手のついたかめだ)。

みんきや [minkja] 【名詞】 [C] するめイカ。【例】みんきやー ひつにむぬ (スルメは硬い)。みんきやー はーばすんかい つふあまりーにやーん (スルメイカが歯の間にはさまった)。

みんぐ [mingu] 【名詞】 [C] 耳の遠い人。【例】みがにまーいびとうんみやー みんぐむぬ (素潜り漁をするひとたちは耳が遠い)。[類] みんぴちやら、ながみん。

みんだい [mindai] 【名詞】 耳だれ、耳漏。【例】やみどう みんだいぬ いじゅー (病気して耳垂れが出ている)。

みんたっづあ [mintavva] 【名詞】 顔面平手打ち、びんた。【例】みんたっ

づあう ったつ (ビンタを張る)。みん たっづあう ふあーす (ビンタを張る)。ばいさーひー しーしーん みんたっづあー ったかいにやーん (悪さをし

みんたま [mintama] 【名詞】 目ん玉、目玉。【例】っぞうぬ みんたまう ふあう (魚の目ん玉を食べる)。

みんとうーきや [mintu:kja] 【名詞】 耳のいい人、耳ざとい人。【例】かりやー みんとうーきや (彼は耳ざとい人だ)。[類] みんぴーきや。

みんながはな [minnagahana] 【名詞】 (主に女性が) 旧暦三月三日の大潮のときに浜に行き、触って清める潮。【例】さにつんな みんながはなう うがなが いんかい いつ (旧暦の3月3日には海水を祈願に行く [＞海水で身を清めるため])。

みんぬっそう [minnussu] 【名詞】 耳垢。【例】みんぬ っそうー とうい (耳垢を取る)。

みんばに [mimbani] 【名詞】 耳、耳の外に出ている部分 (耳殻、耳翼)。【例】っざん みんばにゅー ちゅーく かつみらいたい (父親につよく耳を引っ張られた)。

みんぴーき [mimpi:ki] 【名詞】 (皮がはがれるような激しい) 床ずれ。【例】うぬ ういびとうぬ みんぴーきやー

やぐみ やなむぬどう あたい (この年寄りの床ずれはとてもひどい)。

みんぴーきや [mimpi:kja] 【名詞】

耳の良く聞こえる人。 [類] みんとう一きや。

みんぴちやら [mimpitçara] 【名詞】

耳の遠い人、難聴の人。 【例】 ながいつびとうんみゃー みんぴちやらぬどう うち (すもぐりで深く潜れる人は難聴が多い)。 [変異] みんひつら、みんぴつら。 [類] みんぐ、ながみん。

みんひつら [minhitsira] 【名詞】 耳

の遠い人、難聴の人。 [変異] みんぴちやら。

みんぴつら [mimpitsira] 【名詞】 耳

の遠い人、難聴の人。 【例】 からーみんぴつら やいば みんな つかん (彼は難聴だからよく耳は (あまり) 聴こえない)。 [変異] みんひつら、みんぴちやら。

みんぶーら [mimbu:ra] 【名詞】 (脂

っこくて食べにくい) 身震いすること (脂っこい豚専用のことば)。 【例】 わーぬ あっづあう みんぶーらーひー ふあう (豚の脂肉を身震いして食べる)。 わーぬ あっづあう ふあうていがー みんぶーら あす (豚のあぶら肉を食べると身震いする)。 みんぶーら あすっちゃーん わーぬ あっづあう ふあう (身震いしながら豚の脂肉を食べる)。

む

むー [mu:] 【名詞】 [B] 藻。【例】いんぬ むー (海の藻)。むーや なびー むぬ (藻はすべりやすい)。うまなぎんな むーぬどう ういゆー (ここら辺は藻が生えている)。

むーす [mu:si] 【動詞】 [s/h 語幹] [A] 燃やす。【例】うまっちゆ むーす (火を燃やす)。くぬ きーや むーはっでい ほうばんまい むいん (この木は燃やそうとしても燃えない)。

むーっず [mu:zzi] 【動詞】 [zz/dd 語幹] (老眼で目が) ぼやける、(老化で目が) 見えにくくなる。【例】くぬいや ういびとう なりーどう みーや むーっじゆー (最近年を取って目がぼやけている)。みーや むーっでいどう いみずーがまー みーらいん (目がぼやけて小さい字は見えない)。とうっさ とういどう みーぬ むーっでい っちゆー (年取って老眼になっている)。むーっでい みー (老眼化してぼやけた目)。[類] むーっでい。

むーっでい [mu:ddi] 【動詞】 [母音語幹] (老眼で目が) ぼやける、(老化

で目が) 見えにくくなる。[類] むーっず。

むい [mui] ①【動詞】 [r/rr 語幹] [C] (こどもの) 守をする、子守をする。【例】っふあう むい (子供の守をする)。②【名詞】 [C] 子守、子守をすること。【例】っふあむい (子守り)。

むい [mui] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] (酒やご飯などを器に) 盛る、(上の方に) 捧げる。【例】まかいんかい まいゆ はーさ むい (ちやわんにご飯をたくさんもる)。みゃーくずつんな ちやばんかい さきやー いりどう うるー むい (ミャークズツには茶碗に酒を入れそれを上方にささげる)。

むい [mui] 【動詞】 [母音語幹] [A] 燃える。【例】うまっちや むいーどうー (火は燃えている)。んみぎーや なんとが むいん (湿った木はなかなか燃えない)。

むい [mui] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] (人や動物などが) 群れる、(植物などが) 群生する、(魚が) 群れる。【例】みゃーくずつんな じゃーがまん ひとう

ぬ はーさ むいゆー (ミヤークズツにはジャーガマに人がたくさん集まっている)。ぎすつぬどう いーぶーん むいとう むいゆー (ススキが北支部にたくさん群生している) [「いーぶー」は西原集落の東西南北区画の中の北の区画をさす]。むっるー むいゆー (ムロアジが群れている)。

むい [mui] 【動詞】 [r/tr 語幹] [A] (果物などを) もぎ取る、摘み取る。【例】 んーたう むい (木の実をもぎ取る)。ばんちゆくらう むい (グアバを挽ぎ取る)。

むい [mui] 【動詞】 [r/tr 語幹] [A] (ブランコ、ゆりかご、などを) 揺する、子守のためにブランコを揺するように子供を揺する。【例】 やらびゆー ぶらんこんかい ぬーひー むい (こどもをブランコにのせて揺する)。なつっじややらびゆー むい (泣いている子を揺する)。

むい [mui] 【動詞】 [r/tr 語幹] [A] (液体が外に) 漏れる。【例】 みずぬどう むりゆーい (水が漏れている)。すばいぬどう むいぎかい (小便が漏れそうだ)。

むい [mui] 【名詞】 [B] 『祭礼』 御嶽のあるところ、杜 (もり)、「ななむい」としてしか使わず、単独では使わない。

むい [mui] 【接頭辞】 形容詞について 程度がはなはだしいことを表す [限

られた単語にのみ用いられる]。【例】 ばー かりゆーぎゃー むいみっふあ (私は彼のことが大嫌いだ)。きゆーや むいひぐる (今日はとても寒い)。からー むいとうぬ むいほうりむぬ (彼は大バカ者だ)。

むいあに [muiani] 【名詞】 子守姉。

【例】 ばが むいあにやー ほうゆがー ぬ はーに (私の子守姉はホウユガーの長女お姉ちゃんだ)。つづあー まさいが むいあに やいば わいていかないら (お前はマサイの子守なので、がんばってね)。

むいがーい [muigai] 【名詞】 (周りの様子などが) 全体的に変わること、(人の様子、雰囲気などが) 全体的に変わること。【例】 かまー んきやーんとうや むいがーい (向こうは昔とはすっかり変わった)。あがいにやーぬ みががまー ほういふ なりー むいとう あばらぎふ なりー むいがーい や ひーどうー (東隣のミガちゃんは大きくなって、とてもきれいになって雰囲気が変わった)。

むいじゃうき [muizauki] 【名詞】 『道具』 箕 (み) [米などの穀物の脱穀の際に殻や塵を取り除くための農具]。【例】 むいじゃうきひー ぷきゆー とうばす (箕で小さなゴミを飛ばす)。

むいた [muita] 【名詞】 [C] (木の葉などが風で吹きだまった) 集まり、(魚などの) 群。【例】 かまぬ むいたう

とうみーみーる（向こうの木の葉の集まっているところを探してみなさい）。むいたがまんな きーぬは一なぎぬどう あい（風の吹き溜まりには木の葉などがある）。っぞうー ひとうむいた ひー ひゃっき あぎらいどう うたい（魚は（一網で）一群れ百斤あげることができた）。

むいだり [muidari] 【形容詞】とてもつかれている、過労状態だ。【例】きゅーや んめ むいだり（今日はもうひどく疲れている）。きゅーや くーすかまー ひー むいだりかいば ならん（今日はきついしごとをしてだるくて仕方がない）。

むいつ [mitsi] 【動詞】[k 語幹] [C]（機械、車などが）動く、（人間や動物などが）動く、（休んでないで）働き始める、（石やものなどおいてあるものがおしたりして）動く、（心が）動く。【変異】むゆふ、むいふ、むゆつ。

むいつき [mitsiki] 【副詞】（ものを）みんなまとめて、合計で。【例】うまぬ みーっちゃ むいつきー いかっさが（ここの3つはまとめていくらですか）。

むいとう [muitu] ①【副詞】程度の大きいことを表す、とても、たいへん；（後ろに否定を伴って）「全然、決して」（～しない）「むいとうどう」のように「どう」を伴うこともある。【例】むいとう はーさぬ ひとうぬどう うぐ

なーりゅー（とてもたくさんの人が集まっている）。むいとうどう ひとうぬ むぬいゆぎゃー つかん（全然人の言うことに従わない）。②【副詞】動詞を修飾して程度がはなはだしいことを表す副詞、とても、（能力的に）とても（できない）、ほとんど（しない）。【例】ばー みががまうどう むいとう ぬずみゅー（私はミガをととても愛している）。ういとう くいとうや むいとう んーしーどうー（それとこれとはよく似ている）。すーがくのもんだいや むずかすかいば ばぬんな むいとう っさいん（数学の問題は難しすぎて私にはとてもわからない）。くぬいや むいとう あいきや うらん（最近ほとんど歩いてない）。

むいふ [muifu] 【動詞】[k 語幹] [C]（機械、車などが）動く、（人間や動物などが）動く、（休んでないで）働き始める、（石やものなどおいてあるものがおしたりして）動く、（心が）動く。【変異】むゆふ、むゆつ。

むいぶい [muibui] 【動詞】[r/rr 語幹]（年取って）ぼける；（異性に）凄く惚れている、夢中になっている。【類】むいぶり。

むいぶり [muiburi] ①【動詞】[母音語幹]（年取って）ぼける；（異性に）凄く惚れている、夢中になっている。【例】ばー っうあんかいや むいぶり（私はあなたには凄く惚れている）。からー

みがんかい むいとう むいぶり
 やー ひーどー (彼はミガにすっか
 りむちゆうだ)。ばー ういびとうん
 なりー むいぶりやー ひー ならうゆ
 まい っさん (私は年取ってぼけてし
 まってなにも分からない)。[類] むい
 ぶい。②【形容詞】ばかもの。【例】かり
 やー むいとうぬ むいぶりむぬ (彼
 はとても大変なばかだよ)。

むいんとうー [muintu:] 【名詞】(体
 が) ずぶ濡れになること。【例】あみん
 っふあいー むいんとうーや ひー
 うたい (雨に降られてずぶ濡れになっ
 た)。きゅーや ほうすず あみん っ
 ふあいー むいんとうー あたい (今
 日は大粒の雨に降られてずぶ濡れだっ
 た)。[変異] むいんとうー。[類] むい
 んみ。

むいんみ [muimmi] 【名詞】(体が) ず
 ぶ濡れになること。【例】あみん っ
 ふあいー むいんみやー ひーうたい
 (雨に降られてずぶ濡れになった)。き
 ゅーや ほうすず あみん っふあい
 ー むいんみ あたい (今日は大粒の
 雨に降られてずぶ濡れだった)。[変異]
 むいんみー。[類] むいんとう。

むいんみー [muimmi:] 【名詞】(体
 が) ずぶ濡れになること。[変異] む
 いんみ。

むがい [mugai] ①【動詞】[r/rr 語幹]
 [A] お腹の中が(食あたりなどで)ゴロ
 ゴロすること。[変異] むぎゃい。②

【動詞】[r/rr 語幹] [A] (怒りで)はらわ
 たが煮えくり返ること。[変異] むぎゃ
 い。③【動詞】[r/rr 語幹] [A] (水など
 が)濁る。[変異] むぎゃい。

むがく [mugaku] 【名詞】[A] 無学、学
 校教育を受けていない人。【例】ばー
 むがく やいば ずーや ゆまいん
 (私は無学だから字は読めない)。

むがっらす [mugarrasi] 【動詞】[s/h
 語幹] (液体を) 掻き回す; (まとまりな
 どを) 掻き乱す。[変異] むぎゃらす。

むがらす [mugarasi] 【動詞】[s/h 語
 幹] (液体を) 掻き回す; (まとまりな
 どを) 掻き乱す。[変異] むぎゃらす。

むき [muki] 【名詞】[C] 向き、得意分
 野 「むきむき」と重ねて使うことが
 多い。【例】うなが むきむきぬ す
 かまう とうみ あっそう (自分の向
 いている仕事を探せ)。

むぎゃ [mugja] 【名詞】[C] 『魚』キン
 メダイもどき、鯉釣り用の餌の一つ。
 【例】しゃーかん あんな はりー む
 ぎゃう とうい (未明に網を張ってキン
 メダイもどきを取る)。

むぎゃい [mugjai] ①【動詞】[r/rr 語
 幹] [A] お腹の中が(食あたりなどで)
 ゴロゴロすること。【例】っさり むぬ
 ー ふあいー ばたー むぎゃりーど
 うー (腐ったものを食べてお腹の中が
 ゴロゴロなっている)。ひんじゃー ふ
 あいみーていがー ばたー むぎゃっ

らはいにゃーん（やぎを食べたらお腹の調子が悪くなってしまった）。[変異] むがい。[類] むがり、むぎやう。②【動詞】[r/rr 語幹] [A]（怒りで）はらわたが煮えくり返ること。【例】かさます かいば ばたぬ なかー むぎやうーどー（いらいらしてお腹の中は煮えたぎっている）。[変異] むがい。[類] むがり、むぎやう。③【動詞】[r/rr 語幹] [A]（水などが）濁る。【例】うまぬ みっじゃ むぎやうーどー（そこの水は濁っている）。[変異] むがい。[類] むがり、むぎやう。

むきやう [mukjau] 【名詞】[A] 〔植〕グミ。

むきやうんーた [mukjaun:ta] 【名詞】グミの実。

むぎやうらす [mugjarrasi] 【動詞】[s/h 語幹]（液体を）掻き回す；（まとまりなどを）掻き乱す。[変異] むぎやうらす。

むぎやうり [mugjarri] ①【動詞】[母音語幹] お腹の中が（食あたりなどで）ゴロゴロすること。[類] むぎやい、んぎやい。②【動詞】[母音語幹]（怒りで）はらわたが煮えくり返ること。[類] むぎやい、んぎやい。③【動詞】[母音語幹]（水などが）濁る。[類] むぎやい、んぎやい。

むぎやうらす [mugjarasi] 【動詞】[s/h 語幹]（液体を）掻き回す；（まとまり

などを）掻き乱す。【例】んっちゅ むぎやうらし（みきをかきまぜろ）[んつ = 粟や米を噛んで発酵させたもの、御酒（みき）]。うむくとう にゃーん ほうりむぬぬ うぐなーいんかい はいりってい うまぬ うぐなーいや むがらーはいにゃーん（思慮分別のない馬鹿者が集会に入ってきてその集会は掻き乱された）。[変異] むがらす、むがうらす、むぎやうらす、んがらす、んがうらす、んぎやうらす、

むく [muku] 【名詞】[C] 婿；入り婿 [家から見た言い方、女性本人から見た夫は「ぶとう」と言う]。【例】ぼんていが むくー やぐみ かないびとう（うちの婿はとてもはたらきものだ）。かまぬ やーや みどうんっぐあ たーな やいば むくー とうらだかーならん（向こうの家は娘だけだから入り婿を取らないといけない）。

むぐい [mugui] 【動詞】[r/rr 語幹] [A] 潜る。【例】うまんかい むぐりーくぶすみやう とうい（そこに潜って甲イカをとれ）。

むす [musi] 【名詞】[B] 虫。【例】みどうんな んーむっそうどう うんそうく いっぐいー（女の方は芋虫をととても怖がる）。いっそう かいすきやーむすぬ はーさ いでいっちゅーたい（石をひっくりかえしたら虫がたくさん出てきた）。ばたむす（お腹の寄生虫）。

むず [muzi] 【名詞】[B] 麦。【例】と

ういぬ むっじゅ ほうしゃー とう
くまんかい っちゅーば うるー う
っち (鳥が麦を干してある所に来てい
るからそれを追い返せ)。

むずうはつ [muziuhatsi] 【名詞】『祭
礼』初物の麦 [麦の初穂の祭り]。
【例】むずうぱつぬ にがい (麦の初穂
の祈願)。**[変異]** むずうぱつ。

むずうぱつ [muziupatsi] 【名詞】『祭
礼』初物の麦 [麦の初穂の祭り]。
[変異] むずうはつ。

むずかす [muzikasi] 【形容詞】(問題
などが) 難しい; (人が) 付き合い方が
むずかしい。【例】すーがくー むず
かすかいば っさいん (数学は難しく
て分からない)。からー むずかす ひ
とう やいば むぬいぼどう ばいか
い (彼は難しい人だから、(彼に) しゃ
べっていいことはない)。**[変異]** むつ
かす。

むずく [muziku] 【名詞】[C] 『食』は
ったい粉 [麦を煎って焦がし、白でひい
て粉にしたもの。これに砂糖を入れて
食べる。菓子材料としても用いる]。

むずぐる [muziguru] 【名詞】麦の莖。
【例】むずぐるー たむぬー むーす
(麦の莖を薪として燃やす)。

むずたっじゃ [muzitazza] 【名詞】
初収穫の麦を炊いたもの。【例】きゅー
や うーんまが やーん むずたっじ
やう ふあう (今日はウーンマの家で

初収穫の麦を炊いたものを食べる [「ウ
ーンマ」はナナムイの長のこと])。

むずなか [muzinaka] 【名詞】麦畑。
【例】ぼんていが むずなカー ふずん
みなぎんどう あい (うちの麦畑はフ
ズンミあたりにある)。

むずぬうぱつにがい [muzinuu-
patsinigai] 【名詞】『祭礼』麦の初収穫
の祈願 [「むずうはつ」参照]。

むすぬぬん [musinunun] 【名詞】『祭
礼』虫払いの願い [舟のようなものを
木で作し、それに害虫等を載せて流す。
害虫駆除のための祈願]。**[類]** むすぬ
ぬんばらい、むすぬぬんばらいにがい。

むすぬぬんばらい [musinunum-
barai] 【名詞】『祭礼』虫払いの願い。
[類] むすぬぬん、むすぬぬんばらい
にがい。

むすぬぬんばらいにがい
[musinunumbarainigai] 【名詞】『祭礼』
虫払いの願い。**[類]** むすぬぬん、む
すぬぬんばらい。

むたぎ [mutagi] 【動詞】[母音語幹]
[C] 持ち上げる。**[類]** むたず。

むたず [mutazi] 【動詞】[g 語幹] [C]
持ち上げる。【例】うるー むたぎー
ふいーる (それを持ち上げてくれ)。あ
きんさうひー いっそう むたず (金
棒で (てこの原理で) 石を持ち上げる)。
[類] むたぎ。

むだす [mudasi] 【動詞】 [s/h 語幹] [C]
 (元の状態に) 戻す; (元の持ちぬしに)
 返却する。【例】 っづあが かいっち
 ちゃー むぬー やぶりーゆーば うり
 ゆーぎゃー むだし (あなたが買って
 きたものは壊れているからそれは返品
 しなさい)。[変異] むどうす。②【動詞】
 [r/rr 語幹] [C] 寄りかかる。

むちやい [mutçai] ①【動詞】 [母音語
 幹] [C] 寄りかかる。【例】 ばぬんか
 い むちやいる (私 (の体) によりかか
 れ)。

むつー [mutsi:] 【名詞】 [B] 餅。【例】
 むつーゆ ふあう (餅を食べる)。むつ
 ーゆ つふ (餅をつく)。

むつ [mutsi] ①【動詞】 [c/t 語幹] [C]
 (ものを手に) 持つ、(ものを) 所有す
 る。【例】 んなない ゆーいぬ うさ
 いや っていつ むっちゃひー はり
 ーにゃーん (全員お祝いの料理をそれ
 ぞれ持ち帰った)。っざらう むちっ
 てい っさう かり (鎌を持ってきて草
 を刈れ)。うつなーんかいぬ むぬー
 かいんかい あっちやいーむたすたい
 (沖縄への物を彼に頼んで (預けて) 持
 たした)。ばー くるまう むちや う
 らん (私は車を持ってない)。はいゆ
 むつ (畑をもつ)。②【動詞】 [c/t 語幹]
 [C] (夫、妻を) 持つ、(家庭を) 持つ;
 (仕事を) 持つ。【例】 なかーにゃー ぶ
 とうー むちやだ やーん うい (次
 女は結婚しないで家にいる)。きないゆ

むつ (家庭を持つ、家庭内をうまく
 世話する)。すかまう むつ (仕事を持
 つ)。③【動詞】 [c/t 語幹] [C] (子を)
 そだてる、教育を受けさせる; (家庭内
 のいろんなことの) 世話をする、(村の
 いろんなことの) 面倒を見る 「すまう
 むつ」などの形で (代表として村の
 もろもろのことを) する。【例】 っふあ
 う じゃうずん むつ (子供を立派に
 育てる)。っふあう だいがくんかい
 むつ (子供を大学にやる)。ばー んな
 ーぎゃー っふあー むちやー うら
 んば、っふあぬ むつかたー っさん
 (わたしはまだ子供がいないので子供の
 育て方はわからない)。そーむん なり
 ー すまう むつ (自治会長になって
 村の世話をする)。

むつ [mutsi] 【動詞】 [c/t 語幹] [C] 連用
 形で移動手段を表す、(車、自転車、舟
 を) 運転して、操って。【例】 くるま
 ー むちー っさらんかい いつ (車
 を運転して平良に行く)。ぬーまう む
 ちー はいんかい いつ (馬を駆 (か)
 って畑に行く)。

むつ [mutsi] 【動詞】 [k 語幹] [A] (み
 かんの皮などを) むく、(サトウキビの
 皮などを) はぎとる。【例】 ぶーっじ
 ゆ むきー ふあう (サトウキビ (の
 皮) をむいて食べる)。ふにゆーぬ か
 ーゆ むつ (ミカンの皮をむく)。みは
 ながーゆ むきゆーだら (顔の皮をむ
 く [> 面子を潰す])。

むつ [mutsi] 【形容詞】[A] もちもちしている、ねばねばしている。【例】むつーや むつむぬ（餅はもちもちしているものだ）。ん[°]むぬ いとうー むつむぬ（クモの糸はねばねばしている）。

むつ [mutsi] 【名詞】[C] (私の、あなたなどの) 分、分け前。 [変異] むてい。

むつ [mutsi] 【動詞】[k 語幹] [A] (仕事などが) 向いている。 [変異] むふ。

むつかす [mutsikasi] 【形容詞】(問題などが) 難しい; (人が) 付き合い方がむずかしい。【例】かいが つむー むずかすかいば っさいん (彼女の心は難しくて分からない)。かいが なーや むずかすかいば かかいん (彼の名前は難しくて書けない)。[変異] むずかす。

むっしーとうい [muççi:tui] 【動詞】[r/rr 語幹] (貼られたものを) はがす; (かさぶたなどをむりに) 取る。【例】ぽすたーゆ むっしーとうい (ポスターをはがせ)。ほうがさぬ かたうさう むっしとういや だみ (おできのかさぶたをとってはいけない)。

むっそう [mussu] 【名詞】[B] 筵 (むしろ)。【例】むっそうー すき (筵を敷け)。むっそうー たくび (筵を片付けよ)。

むったーい [muttai] 【動詞】[r/rr 語幹] (ものともものが) くっ付く、(人に) くっついて回る。【例】かびーゆ

ぬいひー むったーらし (紙を糊でくっ付けろ)。かーらう やーぬいひー むったーらし (瓦を漆喰でくっつけろ)。うぬきやが ふたーいや いつまい むったーりーどうー (その二人はいつもくっ付いてまわっている)。[類] むったーう、むったーっぐい。

むったーう [mutta:u] 【動詞】[vv 語幹] (ものともものが) くっ付く、(人に) くっついて回る。 [類] むったーい、むったーぐい。

むったーっぐあす [mutta:vvasi] ①【動詞】[s/h 語幹] (ものともものを) くっ付ける、(人を) くっつかせる。 [類] むったーらす。②【動詞】[s/h 語幹] (木などを抜くために) ゆりうごかす。【例】うぬ きーゆぎゃー むったーぐあひー んぎ (この木を揺りうごかして抜け)。

むったーっぐい [mutta:vvi] 【動詞】[母音語幹] (ものともものが) くっ付く、(人に) くっついて回る。 [類] むったーう。

むったーらす [mutta:راس] 【動詞】[s/h 語幹] (ものともものを) くっ付ける、(人を) くっつかせる。【例】ばか みどうんとう びきどうんぬ むったーらす (若い男女を結びつける)。[類] むったーっぐあす。

むつみ [mutsimi] 【名詞】[A] 餅のように粘りけのあること。【例】むつー

や むつみぬどう あい (餅は粘りけがある)。

むっる [murru] 【名詞】[A]『魚』ムロアジ [ムロアジがおおきくなるとグンと呼ばれる]。【例】むっるー むいゆー (ムロアジが群れている/ムロアジはむれるものだ)。むっるぬ がばー むぬーどう ぐんていー あい (ムロアジの大きいものをグンと言う)。

むてい [muti] 【名詞】[C] (私の、あなたなどの) 分、分け前。【例】つーや やらびぬ むてい (母乳は赤ちゃんの分だ)。うさきひーや ばが ふあうぬ むちゃまい にゃーん (これくらいでは私の食べる分もない [「たま (分)」は、「ふあう たま」を使い、「ふあうぬ たま」とは言えない。「むちゃ」は「ふあうぬ むちゃ、ふあう むちゃ」両方とも言える])。[変異] むつ。[類] たま。

むとう [mutu] 【名詞】[C] 墓。【例】くまー ばんていが むとう (ここは私達の墓だ)。たかつじゃーむとう (タカツジャーの墓 [タカツジャーは家の名前])。あくまがまうぎゃー むとうんかいや いりん (生後間もなく亡くなった子供は墓には入れない)。[類] はか。

むとう [mutu] 【名詞】[C] 本、元、基、当て、頼り。【例】つふあう むとうん あす (子供を (家の) 基にする [＜子供を大切にする])。

むとうー だき [mutu: daki] 【成句】[母音語幹] 働いた分に見合った報酬をもらう。【例】ばー っじだまー ういひー むとうー だきーどう (自分の配当分はこれで十分だ)。

むどうい [mudui] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] (元の状態に) 戻る; (元の位置に) 帰る; ポケる。【例】うぬ ぶりーにゃーん ほうにゃー むとうんかいや むどうらん (この折った骨はもとにはもどらない)。かまんかい むどうりー はりーにゃーん (向こうに戻って行った)。んなまどう すかまから むどうりー ったい (今、仕事から戻ってきた)。ういびとうー んめ むどうりーどうー (老人はもうポケている)。ういびとうなりどう むどうりゆー (年取って呆けている)。

むどうす [mudusi] ① 【動詞】[s/h 語幹] [C] (元の状態に) 戻す; (元の持ちぬしに) 返却する。【例】つづあが むゆかひーやー むぬーぎゃー むとうんかい むどうし (お前が動かしたものをもとに戻せ)。うらー だみな むぬ やいば まっちゃんかい むどうし (それは不良品だから、店に返品しなさい)。[変異] むだす。② 【動詞】[C] 食べ物を戻す (吐く)。【例】むぬー むどうす (食べ物を吐く)。[類] あぎー。

むとうやー [mutuja:] 【名詞】本家。【例】あがいにゃーや むとうやー かーばた (東隣は本家のカーバタだ)。き

じゃいんな むとうやーんきー そー
ーかう あす（祭事には本家に行って
焼香する）。

むない [munai] 【名詞】[C] 他人の動
作を無意識にまねてしまうこと。【例】
っさだ ういきゃー すまとうらぬ
むないゆ あす（無意識のうちに相撲
取りの動作をする）。すまう みーとう
きゃんな むないゆ あす（相撲を観
戦するとき関取の動作を無意識のう
ちに真似る）。

むぬ [munu] ① 【名詞】[B] 物質、物；
人、者 [この意味では敬意を表す人には
使えない]；前に出た名詞を繰り返さな
いための代用形、もの、の。【例】っふ
あかいば むぬー とうみらいん（暗
くてものが探せない）。かまんどう み
ーや みーん ひんな むぬぬ あい
（あそこに見たことのない変なものがある）。うまんな みーむぬー にゃーん
（そこには新しいものはない）。っぐあ
ー んじゃぬ むぬが（お前はどこの
村の者だい）。うぬ あかくっちゃ ば
がむぬ（その赤い靴は、私のだ）。く
りゃー っさが くつ。ばが むぬー
かい（これは、お父さんの靴だ。私の
はあれだ）。あかりんごぬ さらぬ は
なん あい むぬー とうい ふあう
たい（赤いリンゴが皿の上にあるの
を取って食べた）。② 【名詞】[B] 食事、
食べ物；餌。【例】むぬー ふあう（食
事する）。いんな むぬー ふいーきや
たーひーや びーないや とうんま

ほうだ むゆかん（犬は食餌を与える
までは微動だにせず動かない）。③ 【名
詞】[B] 節を取って動作の対象を表す。
【例】たなかさんな くじゅから しん
ぶんな ゆんむぬー なまりーにゃー
ん（田中さんは去年から新聞を読むの
をやめた）。とうないぬ とうずぬ ば
が とうずんかい はなす ほうー
むぬー つふたい（隣の奥さんがうち
のに話しているのを聞いた）。④ 【名詞】
[B] 分裂文の主題部分につく、「節＋の
は、なにになにだ」の「の」の位置に使わ
れる。【例】びきどうんっぐあぬ むぬー
りったい むぬー くぬ くるま（息
子が乗ってきたのは、この車だ）。かぬ
っふあぬ なきゅー むぬー やー
すかいぼどう なきゅー（あの子が泣
いているのは、腹がへっているからだ
[「なきゅー（泣いている）は繰り返
した方がよい]）。⑤ 【接尾辞】形容詞の
語幹について名詞化をする接尾辞。述
語として使われ、活用させるときは繋
辞（コピュラ）をつける。【例】あいつぐ
りむぬ（歩きにくい）。っそうまたむぬ
（大便がしたい）。やぐみ うとうるすむ
ぬ あたい（とても恐ろしかった）。

むぬー あかす [munu: akasi] 【成
句】[s/h 語幹]（過去・未来のことを）占
う。【例】むぬすーぬ むぬー あか
す（ユタが過去・未来のことを占う）。

むぬー ゆん [munu: jun] ① 【成句】
[m 語幹] お喋りする。【例】まーぬ
むぬー ゆんな（余りお喋りするな）。

かぬ むぬゆみゃー いつまい むぬ
ー ゆみーうい (あのお喋りはいつも
喋りっぱなしだ)。むぬゆんあぐ (お喋り
友達)。②【成句】[m 語幹] 駄々を
こねる。【例】やらびゃー むぬー ゆ
みんきー ぎっじゃひらいん (子供は
駄々をこねていうことがきかせられな
い)。

むぬい [munui] ①【名詞】[B] お喋り、
話し、言うこと、言葉。【例】むぬいゆ
ゆん (お喋りをする)。むぬいゆぎゃ
ー つっちゃはん (おしゃべりを途切
れさせない)。つうあー まーぬ むぬ
いゆぎゃー むぬっじゃだうり (お前
はあんまりしゃべるな)。いたらーん
むぬいゆぎゃー あっじゃすな (バカ
な言動はさせるな)。②【名詞】[B] 言
葉、言語、方言。【例】すまぬ むぬい
(故郷の言葉)。きたていむぬい (ほかの
地域の言葉)。いきまぬ むぬい (池間
のことば)。くぬいぬ ばかむぬんみゃ
ー むぬいや つつそうが むぬっじ
ゃいん (最近の若者たちは村のことば
は聞けるが、聞きとれても話せない)。
[類] ふつ、うつ。

むぬいっづい [munuivvi]【名詞】こ
わがること、ものおじ。【例】やらび
ゃー むぬいっづゆーぎゃー ほうん
(子供というのはものおじじしないもの
だ)。

むぬいぶっさ [munuibussa]【名詞】
話したがること；そのような人。【例】

かりゃー むぬいぶっさ、ふっちゃ
なまらん ひとつ (彼ははなしたが
りで、くちがとまらないひとだ)。

むぬうぶい [munuubui]【名詞】物
覚え。【例】ういびとう なりーどう
むぬうぶいや ひらいん (年取って
物覚えがわるい)。

むぬがま [munugama]【名詞】小食の
人；食が細いこと。【例】むぬがまー
むぬーぎゃー いかっさー ふあー
ん (小食の人は食事はいくらかも食べな
い)。かりゃー むぬがまびとう やい
ば まーぬ むぬーぎゃー ふあーん
(彼は食が細いから余り飯を食べない)。
[類] むぬがみや、むぬがみやびとう。

むぬがみや [munugamja]【名詞】小
食の人、食の細い人。[類] むぬがま、
むぬがみびとう。

むぬかんがい [munukanagai]【名詞】
思案、ものを考えること。【例】ばぬ
んな かなまいや やみー むぬかん
がいや ひらいん (私は頭が痛くて、も
のをかんがえられない)。

むぬくや [munukuja]【名詞】乞食、他
人の所に行って食べ物をもらって食べ
る人。【例】むぬくやー ひとつぬ
やーや あいきーまーりー むぬっ
じー ふあう (物乞いは人の家を歩き
回って飯をもらって食べる)。

むぬすー [munusi:]【名詞】霊能力を
持ち、ものを言い当てる人、祈祷師、ユ

タ。【例】かりゃー じゃうむぬすー
やいば ゆーどう あたらす（彼女は非常に強い霊力がある人なのでよく言い当てる）。むぬすーぬ なうやひー
んまー すにーはりにゃーんがてい
ー あかす（祈祷師がどうして母親はなくなったかという）。びきむぬすーぬ
むぬー あかす（男性の祈祷師が吉凶を占う）。

むぬだに [munudani] 【名詞】穀物の種。【例】むぬだにゆーぎゃー いら
うどうす、ひとうだにゆーまい いら
うどうす（穀物の種は選ぶもの、人の血統も選ぶもの〔「結婚相手は家柄を選べ」と言う格言〕）。

むぬっしやう [munuɕɕau] 【名詞】事をしそんじること。【例】ますぎた
う ばらっでい あすきゃー むぬっ
しやうや ひー うじゃー ぶりーふ
あいーにゃーん（石垣を割ろうとしたら、失敗して腕を折ってしまった）。

むぬっじゃんぐとう
[munuzɕɕangutu] 【成句】何も聞かないで、何も言わないで、無断で。【例】かりゃー んめ あていくとう がずかい
ば ひとうぬ やー っていーや
むぬっじゃんぐとう なうゆまい ん
め むちーはい（彼はあまりにもけちなので人の家に来ては何も聞かないで何でももうもっていく）。

むぬにー [mununi:] 【名詞】食事を準備すること。【例】きゅーや むぬに

ー ぐな（今日は食事を準備する係りだ）。

むぬばっし [munubaɕɕi] ①【名詞】物忘れ。【例】きゅーや むぬばっしや
ー ひー でいんまい やーん ばっ
しっていにゃーん（今日はいろいろ忘れてお金も家に忘れてきてしまった）。
②【形容詞】物忘れ。【例】ういびとう
なりーどう むぬばっしかいばなら
ん（年取って物忘れがひどい）。

むぬふあいじやら [munufaizara] 【名詞】食事用の皿；仕事〔「物を食べる皿」からの比喩〕。【類】むぬふあうじ
やら。

むぬふあう はかうつ [munufau hakautsi] 【成句】生活の糧、仕事。
【例】きゅーまい あちやまい むぬ
ふあう はかうっちや にゃーん、ん
みや とうず っふあんみんな なう
ゆ ふいーでいが（きょうもあしたも仕事がない、妻子に何を食べさせようか）。

むぬふあうじやら [munufauzara] 【名詞】食事用の皿；仕事〔「物を食べる皿」からの比喩〕。【例】やーんな む
ぬふあうじやらまい にゃーん（家には食事用の皿もない）。むぬふあうじ
らまい にゃーんば むぬまい ふあ
ーいん（仕事もないので食事にもありつけない）。きゅーまい むぬふあうじ
やらー にゃーん（今日も仕事がない）。
ばー すかまー にゃーだ んぎーに

やーんば むぬふあうじやらー とう
みーくーでい（私は仕事がなくなった
ので仕事を探しに行って行こう）。[類]
むぬふあいじやら。

むぬふあうふつ [munufaufutsi] 【名
詞】仕事、仕事口。【例】むぬふあう
ふつまい にやーんば むぬまい ふ
あーいん（仕事もないので食事にもあ
りつけない）。

むぬゆみや [munujumja] 【名詞】よ
く喋る人、おしゃべり、お喋りの人、口
数の多い人。【例】かぬ むぬゆみや
ー ひとついがーまーすまい むぬー
ゆみーどうーい（あのおしゃべりは
一日中話をしている）。かりゃー むい
とうぬ ふちゃ むぬゆみや（彼女は
とてもおしゃべり 口数が多い）。おい
むぬゆみや、まーぬ むぬーぎゃー
ゆまだうり（おい お喋り、余り喋
るな）。[類] むぬゆんぱじゅら。

むぬゆんぱじゅら [munu-
jumpazura] 【名詞】おしゃべり。【例】
でいんがにゃー むぬゆんぱじゅら
やいば まじゃん つききやたーひー
まい むぬいゆぎゃー つっちゃはん
（ディンガニはおしゃべりなので真謝に
つくまで話を切らさない）。[類] むぬ
ゆみや。

むふ [mufu] 【動詞】[k 語幹] [A]（ミ
カンの皮などを）むく、（サトウキビの
皮などを）はぎとる。【例】ふにゆー
ぬ かーゆ むふ（ミカンの皮をむく）。

ぶーっじゅ むきー ふあう（サトウ
キビ（の皮）をむいて食べる）。[変異]
むつ。[類] むき。

むふ [mufu] 【動詞】[k 語幹] [A]（仕事
などが）向いている。【例】ばぬんな
やーぬ なかぬ すかまんつきゃー
あらぬ すかまぬどう むふ（私に
は屋内の仕事より屋外の仕事の方が向
いている）。つづあんかいや ひやくめ
ーとるんつきゃー せんごひやくめー
とるぬどう むふ（お前には 100 m よ
りも 1500 m のほうが向いている）。う
ぬ すかまー つづあんかいや むき
や うらん（この仕事はお前にはむい
ていない）。[変異] むつ。

むむ [mumu] 【名詞】[B] もも、ふと
もも。【例】くぬ とういぬ むむー
がばー やいば やぐみ あいでい
むぬ（この鶏のももは大きくて、食べ
てがある）。[類] むむに。

むむくーら [mumuku:ra] 【名詞】胃
袋。【例】ひんじやぬ むむくーらう
うまつん あっづいー やきー ふ
あう（山羊の胃袋を火にあぶって焼い
て食べる）。

むむに [mumuni] 【名詞】[B] ふとも
も。【例】がばー むむに（大きなふ
ともも）。[類] むむ。

むむはい [mumuhai] 【名詞】『祭礼』
百回の祈願 [祈願の最後に繰り返す言
葉の一部]。【例】ひとつはいや むむ

はい ふたはいや しえんはい（一回の祈願は百回の祈願と同じで、二回の祈願は千回の祈願と同じだ）。

むやい [mujai] ①【名詞】[A] もやい [頼母子講 何名かのメンバーが月に一回位の割で集まって定額のお金を出し合い、それを順番かクジでメンバーの誰かが受け取る仕組みで、メンバーの親睦にもなっている]；また、そこで集まったお金。【例】じょ むやいゆ すきやきっじゃ つうあまい はいりー ふいーる（もやいを始めるのでお前も入ってくれ）。ばー むやいゆぎゃー んなま なまらっじゃー あとうぬ ぶんたーひー はらいーうかでい（私はもやいを今回でやめようと思うので後の分まで払っておこう）。きゅーや むやいぬ あいば すかまうぎゃー はーひー とうどうみでい（今日ももやいがあるので仕事を早めに終わろう）。きゅーや むやいゆ とうらでい（今日は、もやいで集まったお金をもらおう）。②【名詞】[A] 集まっている人。【例】かまぬ むやいや なうゆどう ほうーがい（向こうの集団はなにをしているのかな）。[類] うぐなーい。

むやがい [mujagai]【動詞】[r/rr 語幹] 脹（ふく）れる；（土地などが）盛り上がる。【例】むつーや やつきや むやがりーにゃーん（餅を焼いたら脹れた）。かまー むやがりどう ままーいんつきゃー たかかい（あそこは盛り上がっていて周囲より高い）。

むやがらす [mujagarasi]【動詞】[s/h 語幹]（食べ物を入れ物に）山盛りにする、（荷台などにものを）山盛りに積む。

【例】ういが たまうぎゃー びらふんかい つぞうーぎゃー むやがらし（彼の分け前をびくに魚を山盛りにしなさい）。さらんかい おかつじゅぎゃー むやがらひー ふあーでい（皿におかずをたくさん盛って食べよう）。ばしやんかい っさう むやがらす（馬車に草を山盛りに積む）。

むゆか [mujuka]【名詞】[A] 〔数詞〕六日。

むゆつ [mujutsi]【動詞】[k 語幹] [C]（機械、車などが）動く、（人間や動物などが）動く、（休んでないで）働き始める、（石やものなどおいてあるものがおしたりして）動く、（心が）動く。〔変異〕むゆふ、うゆふ、ういふ、ういつ、うゆつ。

むゆぬひとう [mujunuhitu]【名詞】〔数詞〕六人。

むゆふ [mujufu]【動詞】[k 語幹] [C]（機械、車などが）動く、（人間や動物などが）動く、（休んでないで）働き始める、（石やものなどおいてあるものがおしたりして）動く、（心が）動く。【例】うぬ くるまー やぶりどう むゆかん（この車は壊れて動かない）。くぬ やーや ないんまい むゆかん（この家は地震でも動かない）。ばが みどうんやらびゃー ほうんやーんかい い

つていがー ひとうとうくまから むゆふていぬ くとうー にやーっだん (私の娘は本屋に行くとか所から動くことはなかった)。うまうぎゃー むゆふな (そこを動くな)。やらびゃー いつまい むいきーまーりゅーば まさがん みーうき ((この) 子はいつも動き回るのでちゃんと見ておきなさい)。すまとうらー なうばい うさばんまい むいつていぬ くとうー にやーん (相撲取りはどんなに押しても動くということはない)。かいが ていびたいや ずーん むったーりー なんとぅが むゆかん (彼のお尻は地面にくっ付いていて全然動かない [>尻が重くて働かない])。いんな むぬー ふいーきゃたーひーや びーないや とうんま ほうだ むゆかん (犬は食餌を与えるまでは微動だにせず動かない)。くぬ きかいや くまう うすきゃー すぐ むゆつどうす (この機械はここを押すとすぐ動く)。くぬ ほういっさ なうばい うさばんまい むゆかん (この大石はどんなに押しても動かない)。むゆかん やうんていー ぶりゅー ていーんかい ぎぶっそう あす (動かないように折れた手にギブスをする)。なうばいぬ あばらぎ みどらんぬ みーたんていー ばが つむー むゆかん (どんなにきれいな女性を見ても私の心は動かない)。[変異] むいふ、むいつ、むゆつ、ういふ、ういつ、うゆつ、うゆふ。

むらがい [muragai] 【動詞】[r/rr 語幹] 群になる。【例】つぞうぬどう はーさ むらがりゅー (魚が沢山群れになっている)。

むらだてい [muradati] 【名詞】村立て [村を新しく開拓すること]。【例】んすむらむらだてい (西原村立て)。[類] すまだてい。

むらだみにがい [muradaminigai] 【名詞】『祭礼』村の鎮守祈願、旧暦10月頃。

むらに [murani] 【名詞】[C] 子守すること、また子守する人。【例】なつっじゃやらびぬ むらに (泣き虫の子の守り)。

むりゃがい [murjagai] 【動詞】[r/rr 語幹] (湧き水が) 湧き出る、(土などが) 盛り上がる。【例】ばきみずぬどう そうくから むりゃがりゅー (湧き水が(水の)底から湧き出ている)。んたう むりゃがらし (土を盛れ)。

むるす [mursi] 【名詞】[A] 小石。【例】いすぐーばいぬ むるっそう っそうい (石が混ざった畑の石をとりのぞけ)。

むん [mun] 【動詞】[m 語幹] [A] (食べ物、事柄、人などを) えり好みする；(人などを) 差別する；(人を) 気に入らない (という)。【例】ふあうむぬーぎゃー なうゆまい むまん (食べ物はどんなものでも好き嫌いが無い)。び

きどうん みどうんていや むまだ
 かないかい ひとー いらび (男
 女を問わず仕事のできる人を選べ)。き
 ばんびとうやんていー あいや ひと
 ーぎゃー むまん (貧乏人だと言っ
 てそんなふうになを差別してはいけな
 い)。くぬ やらびゃー ひとーぎゃ
 ー むまん。 (人見知りをしない)。
 うぬ みどうんな うぬ びきどうん
 ぬぎゃー むみどう うたい (この女
 性はこの男性を気に入らないと言っ
 いた)。

むん [mun] 【動詞】 [m 語幹] [A] (体
 をほぐすために) もむ。 【例】 はっじ
 ゆ むん (足をもむ)。かたむっそう
 むみー ふいーる (肩をもんでくれ)。

むんたうー [muntau:] 【動詞】 [vv 語
 幹幹] よくあえる ; (紙などを) くしゃ
 くしゃにする。 【例】 あいじゅーゆぎ
 ー むんたっづい (和え物はよくあ
 えなさい)。かびーゆ むんたっづいー
 まーくん なす (紙をくしゃくしゃ
 にして丸める)。

も

も一ふ [mo:fu] 【名詞】 [C] 毛布。

もくも一 [mokumo:] 【名詞】 《植》

木麻黄（もくもう）。【例】もくも一ぎ
一（木麻黄の木）。

や

や [ja] 【助詞】(提題助詞「あ」の変異形：長母音、二重母音で終わる名詞の後に付く。【例】きゅーや(今日は)。はうや(へびは)。[変異]あ。

や [ja] 【助詞】(第二目的格助詞「あ」の変異形：長母音、二重母音で終わる名詞の後に付く。【例】まいや すいはんきんかい んしーだー(米を炊飯器にかけた[>米を入れてスイッチを入れた])。[変異]あ。[類]ゆ。

やー [ja:] 【名詞】[C] 家；(家の中という意味で) 部屋。【例】やりやー(古い家)。やーゆ ふつ(家を建てる[<家を葺く])。やーゆ いだす(家を建てる/建増しする)。うほうがぬ やーんまい ひとうー みーん(こんな大きな家にも人は住んでいない)。やーからーむぬー いでいや ふあーいん(家からは何も出てこないで食べられない[>家そのものは金を生まない])。

やーかず [ja:kazi] 【名詞】各家、それぞれの家。【例】やーかっじゃ まーりー ばいでいんぬ っじ(各戸を回って、分担金をもらう)。んじゃぬ やーんまい やーかずぬ かず まうか

んぬ うらまい(どこの家にもそれぞれご先祖神がいらっしゃる)。

やーがま [ja:gama] 【名詞】(小さい) 家、小屋。【例】ばんていが やーがまぬどう んじゃぬ やーんつきやーまい じゃうかい(自分の家がどこの家よりもいい)。

やーがま くーがま [ja:gama ku:gama] 【成句】一軒一軒。【例】やらびゅー やーがま くーがま いじやどうーす とうみー まーい(子供を一軒一軒、一軒残さずすべて探し回る)。

やーから しーからー いでいん [ja:kara ɕi:kara: idin] 【成句】全然外出しない[「まい」を付けることもある]。[変異]やーから すーから いでいん。

やーから すーから いでいん [ja:kara si:kara idin] 【成句】全然外出しない[「まい」を付けることもある]。【例】からー いつまい やーから すーから いでいん(彼はいつも家の中に閉じこもって外に出な

い)。びき ういびとうんみやー やーからまい すーからまい いでいん (男の年寄たちは全然外出しない)。[変異] やーから しーからー いでいん。

やーき [ja:ki] 【名詞】[C] 家族。【例】やーきやー ななぬ ひとう (家族は7名です)。[類] やーでい、やーにんじゅ。

やーぐまい [ja:gumai] ①【動詞】[r/rr 語幹] 病気等で家に籠る、巣ごもりする。【例】くぬいや ころなー ひーやーぐまりゆー (最近はコロナで巣ごもりしている)。ばんていが ういびとうー やーぐまりやーひー っそうすばいや ゆみん むちやいゆー (うちの年寄りは家で寝たきりで、しもの世話を嫁にしてもらっている)。②【名詞】病気等で家に籠ること、巣ごもり。【例】かりやー はっじゃ ぶりどう やーぐまいや ひーうい (彼女は足を折って家にこもっている)。ゆながいや やーぐまいゆぎやー あすたっふあにやーん (ながいこと巣ごもりはしたくない)。[変異] やぐまい。

やーじゃう [ja:zau] 【名詞】治療；老人が老齢で寝たきりになって世話を受けること。【例】みーぬ やーじゃうや ひどう にゆーいんな ひーうたい (目の治療で入院していた)。ばんていが ぱーや ういびとうん なりーながやーじゃうや ほうー (うちの祖母は年を取って家でずっと寝たきり

でいる)。

やーす [ja:si] 【形容詞】[B] ひもじい、腹が減っている。【例】ひとうむていから むぬまい ふあーんば やーすかいば ならん (朝から食事もできないのでお腹が減って仕方がない)。やーすかいば まいまい みーらいん (ひもじくて前も見えない [＞腹が減ってどうしようもない])。

やーずみや [ja:zimja] 【名詞】ヤモリ。【例】やーずみやぬ っけっけっけていー なきゆー (ヤモリがけっけっけと鳴いている)。ていんじゃうん やーずみやぬ はーどうるー (天井にヤモリが這っている)。

やーだまずー [ja:damazi:] 【名詞】長男が引き継ぐ畑 [条件が一番いい畑は長男が引き継ぐ]。【例】やーだまずーゆぎやー うっとうんみんかいや ふいーん (やーだまずーは弟たちにはやらない)。

やーたり [ja:tari] 【形容詞】(おかゆやスープなどが) トロトロして軟らかい；(天ぷら粉などを溶いたもの、ごはんなどが) 水分が多すぎて、柔らかすぎる；(土などが) ドロドロして(歩きにくい)。【例】しらゆーや やーたりむぬ (出産のときに配るお粥はトロトロして軟らかい)。あみやー っふいぬ あとうぬ はいぬ なたー やーたりかいばならん (雨が降ったあとの畑の土はどろどろしててしかたがない)。

やーつ [ja:tsi] 【名詞】 [A] 『数詞』 八つ。

やーっさがーき [ja:ssaga:ki] 【名詞】 飢え、ひもじさ、空腹。【例】 きゅーや ひとうむていから むぬーふあーだ やーっさがーきやー ひーうたい (今日は朝から食事していないので腹が減っていた)。つーにゃんまぬっふあー いつまい やーっさがーき (乳の出ない母親の子供はいつも空腹だ)。

やーっさばた [ja:ssabata] 【名詞】 (食事から時間がたって) 腹が減る時間。【例】 んめ じゅーにじ なるーば やらびんみゃー やーっさばた (もう12時になるのでこどもたちはお腹がすく時分だ)。[類] やーっさばな。

やーっそう [ja:ssu] 【名詞】 飢饉。【例】 くとうっさ あみまい つふあん ひゃーいたーな やいば やーっそうんどう ないぎかい (今年は雨も降らない干ばつばかりだから飢饉になりそうだ)。くじゅー ひむひー やぐみ やーっそう あたい (去年は干ばつで大変な飢饉だった)。

やーでい [ja:di] 【名詞】 [C] 家族。[類] やーにんじゅ、やーき。

やーなか [ja:naka] 【名詞】 家の中。【例】 あみぬ つふいーふーば やーなかんかい はいり (雨が降ってきたので家の中にはいりなさい)。まさい、や

ーなかんたーな うらだ あら っていー あそび (マサイ、家の中にはかなりいないで、外に来て遊べよ)。

やーならいや ほうかならい [ja:naraija hukanarai] 【成句】 家庭での教育が外でも生かされる。【例】 やーならいや ほうかならい やいば やらびゅーぎゃー やーん やーでい わいていー ならーはだかー ならん (家庭教育は社会教育なので子供たちを家族でしっかりと教育しなければならない)。

やーに [ja:ni] 【名詞】 [C] 来年 [=今年の次の年]; 次の年 [=ある年の次の年]。【例】 やーにゃー みゃーくんかい んみやいーふいーさまてい (来年は宮古に来てください)。ぼんていが んまがー やーにからー しょーがっこー (うちの孫は来年からは小学校だ)。やーにたーひーや さきゃー ぬまいん (来年までは酒は飲めない)。うんぬ やーに (その次の年 [<その時の次の年])。

やーにんじゅ [ja:ninzu] 【名詞】 家族。[類] やーでい、やーき。

やーぬい [ja:nui] 【名詞】 家の瓦に塗る漆喰。【例】 かーらんかい やーぬいゆ ぬい (瓦に漆喰を塗る)。[類] やーむつー。

やーぬくび [ja:nukubi] 【名詞】 かやぶきの家のススキの茎で編んだ壁。

【例】 やーぬくびゅー ぎすつぬ すず
ひー あん (家の壁をススキの茎で編
む)。

やーばす [ja:basi] 【名詞】 家と家との
間。 【例】 うまぬ やーばっさ ふき
らいん (ここの家と家との間は通り抜
けられない)。うまぬやーばっそうぎや
ーふきん (ここの家と家との間は通り
抜けるな)。うまぬやーばっそうふきる
(ここの家と家との間を通り抜ける)。

やーばん [ja:ban] 【名詞】 留守番。
【例】 やーばんぬ あす (留守番をする)。
かにんかい やーばんぬ たぬん (カ
ニに留守番を頼む)。

やーふつかしー [ja:futsikaçi:] 【名
詞】 家づくりの手伝い。 【例】 やーふつ
かしーゆ あす (家づくりの手伝いを
する)。きゅーや かーばったが やー
んかい やーふつかしーんかい いつ
がまた (今日はカワバタの家に家づく
りの手伝いに行くことになっている)。
っぎが やーふつかしーんかい いき
ゅー とうくまんかい いきー むぬ
ー っじーふあう (父親が家づくりの
手伝いに行っているところに行って食
べ物をもって食べる)。 [類] やーふ
つすきなふ。

やーふつすきなふ [ja:futsisiki-
nafu] 【名詞】 家づくりの加勢 (手伝い)。
 [類] やーふつかしー。

やーま [ja:ma] 【名詞】 [A] 『地名』 八
重山。 【例】 やーまんのおもとだけ

ていぬ たかやまぬどう あい (八重
山には於茂登岳という高い山がある)。

やーむつー [ja:mutsi:] 【名詞】 家の
瓦に塗る漆喰。 [類] やーぬい。

やーら [ja:ra] 【形容詞】 [A] やわら
かい。 【例】 んそうなー やーらむぬ
(みそ菜はやわらかい)。やーら むつ
ー (やわらかい餅)。やーら んた (や
わらかい土)。

やーらあみ [ja:raami] 【名詞】 細か
い雨、やわらかい雨。 【例】 やーらあ
みがまぬ っふゅー (霧雨が降ってい
る)。

**やーんな ていびやー つ
かん** [ja:nna tibja: tsikan] 【成句】 家
にじっとしてられないこと。 【例】
うぬ みどうんな いつまい やーん
な ていびやー つかん (その女性は
いつも家にじっとしてられない)。

やーんまが [ja:mmaga] 【名詞】 内孫。
【例】 やーんまがぬどう かなすかい
(内孫の方が可愛い)。

やい [jai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] コピュ
ラ 「あい」の変異形、文末では通常使
わない。 [「やいば (だから)」、「やいそ
うが (だけれど)」、「やらばんまい (で
あっても)」など、「～ば」、「～そうが」、
「動詞未然形+ばんまい」などの接続形
式を伴って使われる。否定形、過去形、
過去否定形は「あい」を使い、それぞれ
「あらん」、「あたい」、「あらっだん」とな

る]。【例】くぬ どういぬ むむー
がばー やいば やぐみ あいでいむ
ぬ (この鶏のももは大きくて、食べでが
ある)。きゅーや さうがつ やいば
そうーかうやーんきー むぬー すき
ーくーでい (今日は正月なので実家に
行ってものをそなえてこよう)。たかか
らばんまい やすからばんまい なく
やらばんまい かーでい ((値段が) 高
かろうが安かろうが何でも良いから買
います)。[変異] えい。[類] あい。

やい [jai] 【動詞】[母音語幹] [A] 痩せ
る。【例】かにやー くじゅんつきや
むいとう やいーどうーい (カニは
去年よりかなり痩せているね)。むぬー
ぎやー ふあーだ やいる (飯は食わ
ないで痩せなさい)。

やい [jai] 【形容詞】[B] 痩せた。【例】
やい ひんじゃ (痩せた山羊)。やいび
とう (痩せた人)。んながーな やいか
い ひんじゃー くい (一番痩せて
いるヤギはこれだ)。

やいぐら [jaigura] 【名詞】非常に瘦
せている人や生き物。【例】やいぐら
ぬーま (非常に痩せた馬)。[類] やい
さぎ。

やいさぎ [jaisagi] 【名詞】非常に瘦せ
ている人や生き物。[類] やいぐら。

やいっち [jaitçi] 【動詞】[c/cc 語幹]
やせる。【例】やいっちびとう (やせ
た人)。[変異] やいっつ。

やいっつ [jaittsi] 【動詞】[c/cc 語幹]
やせる。【例】かにやー くじゅんつ
きゃー むいとう やいっちーどうー
(カニは去年よりかなりやせている)。
[変異] やいっち。

やいていがー [jaitiga:] 【接続詞】だ
ったら、じゃあ [コピュラ「あい」に
条件形「～ていがー」が付いたもの]。
[変異] やていがー、えていがー、あい
やていがー、あいえていが。

やいば [jaiba] 【接続詞】～だから [コ
ピュラ「あい」の変異形「やい」に理由
を表す「～ば」が付いたもの]。[変異]
えいば。

やいばどう [jaibadu] 【成句】～だか
ら (こそ) [「やいば (だから)」に焦点
助詞「どう」の付いた形]。[変異] え
いばどう。

やいん [jain] 【動詞】[m 語幹] [A] (水
中に) 飛び込む; 潜る。【例】うまん
かい やいみーみーる (ここに飛び込
んでごらん)。[変異] やうん。[類] や
うんつ、やいんつ。

やいんつ [jaintsi] 【動詞】[k 語幹] (水
中に) 飛び込む; 潜る。【例】うまん
どう たくぬ ういば やいんき (そ
こにタコがいるから飛び込め)。[変異]
やいんふ、やうんつ、やうんふ。[類] や
うん、やいん、やぐん。

やいんふ [jainfu] 【動詞】[k 語幹] (水
中に) 飛び込む; 潜る。[変異] やりん

つ、やうんつ、やうんふ。〔類〕やうん、やいん、やぐん。

やうか [jauka] 【名詞】〔A〕〔数詞〕八日。

やうかん [jaukan] 【助動詞】「節+がおーかん」あるいは「名詞+がおーかん」の形を取って、現在の観察状況や伝聞状況から～と推論できるということを表す、～らしい、～ようだ。〔変異〕おーかん。

やうたい [jautai] 【名詞】姿、形、格好、様子、見かけ。【例】じゃうぎやうたい（良さそうな姿）。かりゃーやうたいや にゃーん んまり（彼は不格好な奴だ）。やうたいや にゃーん つん つーかた（格好の良くない着物の着け方）。

やうん [jaun] 【接尾辞】動詞基本形について動作の目的や結果を表す、ように（～する）、ように（なる）。【例】やきゅーぬ ぼーるぬ とうびーふーば あたらんやうん うそうんたい（野球のボールが飛んできたのであたらなようにしゃがんだ）。〔類〕やうんてい。

やうん [jaun] 【動詞】〔m 語幹〕〔A〕（水中に）飛び込む；潜る。〔変異〕やいん。

やうんつ [jauntsi] 【動詞】〔k 語幹〕（水中に）飛び込む；潜る。〔変異〕やうんふ、やいんつ。

やうんていー [jaunti:] 【接尾辞】動詞基本形について動作の目的や結果を表す、ように（～する）、ように（なる）〔「やうん」のように「ていー」を省略することもできる〕。【例】とういぬ ぶーやうんていー くまんかい むぬー うっきーうき（鳥が来るようにここにえさをおいておけ）。ばが つふあー うーがいやうんていーなりゅーい（うち子は泳げるようになったよ）。〔類〕やうん。

やうんふ [jaunfu] 【動詞】〔k 語幹〕（水中に）飛び込む；潜る。〔変異〕やうんつ、やいんつ、やいんふ。

やかーら [jaka:ra] 【名詞】（人やものの）傍ら、そば；（建物などの）となり。〔類〕やかた。

やかた [jakata] ①【名詞】〔B〕胴体の両側。②【名詞】〔B〕（人やものの）傍ら、そば；（建物などの）となり。【例】ばが やかたん びじ（私の傍に座れ）。かにが ふにぬ やかたんどう っざくー あい（カニの舟のすぐそばに櫂（かい）がある）。ぼんていが やかたんな まさいたが やーぬどう あい（うちの隣にはマサイの家がある）。

やかたばた [jakatabata] 【名詞】横腹、脇腹。【例】やかたばたぬ やみゅー（わき腹が痛い）。

やかたぶに [jakatabuni] 【名詞】肋骨、あばら骨。〔類〕さうきぶに。

やがます [jagamasi] 【形容詞】やかましい、うるさい。【例】やがますんまりんみ（うるさい奴ども）。っうあーやがますかいば むぬいな（お前はうるさいから喋るな）。[類] んがます。

やから [jakara] ① 【名詞】[A] 怖い人、すぐ暴力をふるう人。【例】やからびとう（怖い人）。からー むいとうぬやから やいば かいが まいんかいふな（あいつはとっても怖い人なので彼の近くによるな）。② 【名詞】[A] 人に対する蔑称、やつ。【例】あうみーやから（虚勢を張っている奴）。かぬやからー やからびとう やいば うるーぎゃー たきゅーぎゃー ほうだうり（あいつは怖い奴だから、（あいつの）相手をするな）。③ 【形容詞】[A] 怖い、すぐ暴力をふるう。【例】まさいや やからかいば うとうるすかいばならん（マサイはすぐ暴力をふるうので怖くて仕方がない）。

やぐい [jagui] 【名詞】[B] 大声、怒鳴り声。【例】やぐいやひー やどうゆん あす（大声でケンカする）。うまん な やぐいゆぎゃー いだはだうり（ここでは大声を出さないでおけ）。あいや やぐいゆぎゃー かきん（そんなに大声を出すな）。からー みんぐ やいば やぐいゆ かきる（彼は耳が遠いから大声で話しかけなさい）。やぐいや かきー いっうあす（大声（怒鳴り声）をかけて脅す）。

やぐまい [jagumai] 【名詞】病気等で家に籠ること、巣ごもり。【変異】やーぐまい。

やぐみ [jagumi] ① 【形容詞】[A] 大変な；（程度が）ひどい。【例】やぐみぐとう（大変なこと[いいことにも悪いことにも使える]）。くぬいや やぐみあみぬどう っふゆー（最近はひどい大雨が降っている）。かんな やぐみむぬ（神様は畏れ多い）。② 【副詞】とても、非常に。【例】やぐみ うとうるす びとう（とても怖い人）。やぐみあばらぎ みどうん（とても美しい女性）。やぐみ うむくとう あいひとう（大変頭の良い人）。やぐみ ふちゃ みどうん（とても口数の多い女性）。

やぐみ [jagumi] 【名詞】[A] 畏れ多い神様。【例】やぐみぬ みゅーぶきたすきー ふいーさまてい（畏れ多い神様の御慈悲で助けて下さい）。にんぎんな ていだやぐみぬ まか（人の一生は畏れ多いお天道様次第だ）。にがいまにやーん うむきまにやーん ほうやぐみゃー たすきー ふいーさまい（祈願した通りに、思った通りに神様は助けて下さる）。

やぐみ あみ [jagumi ami] 【名詞】大変な雨、大雨。

やぐん [jagun] 【動詞】[m 語幹] [A] 飛び込む；潜る。【例】うまんかいやぐみ（ここに飛び込め）。からー たくー とうらっでい うぎんな むち

ー やぐみゅー (彼はタコをとるために銚(もり)を持って潜っている)。[類] やいん、やうん、やうんつ。

やすー [jasi:] 【名詞】 [A] ヤスリ。
【例】 やすーひー とうぎ (ヤスリで研げ)。

やすだい [jasidai] 【形容詞】 安い、安価な。 【例】 やすだい ぐるま (安価な車)。くぬ やーぬ んながーんな やすだいかい (この家が一番安い)。

やすつ [jasitsi] 【名詞】 [C] 敷地 [家屋の意味ではない]。 【例】 がばー やすつ (大きい敷地)。

やすまい [jasimai] 【動詞】 [r/rr 語幹] (心が) 穏やかになる、休まる。 【例】 つむー んみゃー やすまりーどうー (心はもう穏やかになっている)。くぬ あーぐー つふていがー つむまい やすまいどうす (この歌を聞くと心も落ち着く)。

やすまい [jazimai] 【動詞】 [r/rr 語幹] 子供が産めなくなる。 【例】 ばが みどうんな んめ やすまりーどうー (私の妻は子供が産めなくなった)。くぬ うっさ とうっさ とういー やすまりーどうー (この牛は年を取って子供が産めなくなった)。

やすまい [jazimai] 【名詞】 子の産めなくなった女性、牝馬、牝牛等。 【例】 かぬ ぬーまー やすまいん なりー

にゃーん (あの馬は子が産めなくなった)。[変異] やすまり。[類] やすまら。

やすます [jasimasi] 【動詞】 [s/h 語幹] (心を) 落ち着ける、(体を) 休ませる、。 【例】 つむー やすまひーから ばが はなっそう つき (心を落ち着けてから、私の話を聞きなさい)。からー くーかいはず やいば ひーちやがま やすまし (彼は疲れているはずだから、すこし休ませなさい)。

やすまら [jazimara] 【名詞】 子の産めなくなった女性、牝馬、牝牛等。 [類] やすまい、やすまり。

やすまり [jazimari] 【名詞】 子の産めなくなった女性、牝馬、牝牛等。 [変異] やすまい。

やすん [jasin] 【動詞】 [m 語幹] [C] (心が) 穏やかになる、休まる、(気持ちが) 鎮まる；(仕事などの手を止めて) 休む。 【例】 ばー かまらすかいば つむー やすまらん (私は悲しくて心が休まらない)。すかまうぎゃー やすん やすん あっそう (仕事は休みながらやれ)。ばー くーかいば ひっちやがま やすまでい (私は疲れたのですこしやすもう)。

やそうる [jasuru] 【名詞】 [A] 一反、300坪。 【例】 やそうるばい (一反の畑)。ばんていが やすっちや やそうる あり (うちの敷地は300坪ある)。

やそうるぱず [jasurupazi] 【名詞】

一反足、足の裏が大きい足。【例】あいぬ やそうるぱずんか いや くっちゃ すなーはいん (こんな大きい足には靴は合わすことはできない)。

やちゆ [jatçu] 【名詞】[C] お灸。【例】

やちゆー あす (お灸をすえる)。やちゆー ひーゆー (お灸をしている)。

やちゆーさ [jatçu:sa] 【名詞】『植』ヨ

モギ、モグサ [お灸に使う]。【例】やちゆーさう ひんじゃじるんかい いりー (ヨモギを山羊汁に入れる)。はずぬ つぶー やちゆーさひー やつ (足のつぼをもぐさで焼く [＞足のつぼにお灸をすえる])。

やつ [jatsi] 【動詞】[k 語幹] [A] (残り

火の灰のなかで) 料理する、(豚やヤギなどを) 火であぶる；油で揚げる；(家を誤って) 火事にする。【例】んきやーんな つぞうーぎやー からばいんかい いりどう やきゆーたい (昔は魚を残り火の灰に入れて焼いた)。ひんじゃう やつ (山羊を屠殺して(毛を取るために) 焼く)。つぞうー あっぐあひー やつ (魚を油で揚げる)。さたていんぷらう やつ (沖縄風ドーナツを油で揚げる)。にゆーっちやーん たばくー ふつていがー やーゆぎやー やきどう ふあう (寝ながらたばこを吸うと家を燃やしてしまう)。[変異] やふ。

やっづあす [javvasi] 【動詞】[s/h 語

幹] (機械類を) 故障させる、壊す；(人間関係などを) 壊す。【例】くるまー ちゃーらひー やっづあひーにやーん (車をぶつけて壊してしまった)。あうやーや ひー どうす やっづあーひーにやーん (けんかをして友達関係を壊してしまった)。[変異] やっづやす。

やっづい [javvi] 【動詞】[母音語幹]

[C] 失敗する、故障する、ダメになる。【例】とうずとうみ やっづいーにやーん (奥さんを選びそこなって結婚が破綻してしまった)。ぶとうむつ やっづいーにやーん (夫を選びそこなって、結婚が破綻してしまった)。くるまー やっづいー にやーん (車が故障した)。

やっづいぐるま [javviguruma] 【名

詞】故障した車。

やっづいじやた [javvizata] 【名詞】

等外の黒糖 [黒糖には等級があり、上位から特等、一等、二等、等外となっていた]。

やっづいずん [javvizin] 【名詞】ぼ

ろ着物。

やっづや [javvja] ① 【名詞】[C] 怖

い人、良く叱る人、性格の荒い動物。

【例】やっづやっざ (怖いお父さん [＞叱ったり怒ったりするお父さん])。②

【形容詞】[C] 性格の荒い (人、動物)。

【例】まさいが っざぬどう んながーんな やっづやかい (マサイのお父さんが一番怖い)。

やっづやす [javvjasi] 【動詞】[s/h 語幹] (機械類を) 故障させる、壊す; (人間関係などを) 壊す。 [変異] やっづあす。

やっかいな [jakkaina] 【連体詞】 煩わしい、厄介な。 【例】 うらー んめ やっかいな くとう (それはもう煩わしいことだ)。

やつっぞう [jatsizzu] 【名詞】 焼き魚 [残り火の灰で焼いた魚]。

やっとう [jattu] ① 【名詞】 [A] やつとのこと、ぎりぎり [「ん」をつけて、副詞としても使う]。 【例】 やっとうぬ くとうがま うらー ひらいたい (やつとのものでそれができた)。 やらびやー やっとうん にっづいーにやーん (子供がやっとう寝た)。 ② 【副詞】 やつと、何とか、辛うじて、やつとのもので。 【例】 あかやつとうがまどう ひらいたい (なんとかやつとのものでできた)。 だいがくんかいや やっとうがまどうごーかくあすたい (大学には辛うじて合格した)。 じゅーじぬ かいぎんかい やっとうがま まにあうたい (10時の会議にやつとまにあった)。 ういびとうー やっとうがまどう あいきゅー (年寄りはやつとのもので歩いている)。

やつんー [jatsin:] 【名詞】 焼き芋 [残り火の灰で焼いたサツマイモ]。

やていがー [jatiga:] 【接続詞】 だったら、じゃあ「やいていがー」の変異

形。 【例】 A: あちゃー かでいふつちや。 B: やていがー あちゃーいきまー いかいん (A: 明日は台風だってさ。 B: だったら明日は池間に行けない)。 [変異] あいていがー、あいやていがー、やいていがー、えていがー。

やどう [jadu] 【名詞】 [B] 戸、雨戸、ドア。 【例】 やどうー しみる (戸を閉めろ)。 やどうー あきる (戸を開けろ)。 かまからどう あみぬ いりゅーば やどうー っふい (あそこから雨がはいっているから、戸を閉めろ)。

やどうばす [jadubasi] 【名詞】 戸の通り道、敷居。 【例】 やどうばすん いすがまぬ っふいー やどうー なんとうが あきらいん (敷居に小石がはさまって、戸がどうしても開けられない)。 やどうばすがまや うとうだかりやーよー ならん やどう さぎまちゅーりよ (敷居は音が出るので、ならない戸 (むしろなど) を下げてまっておいてくれ) [古謡 「伊良部トウガニ」から [一部改変]]。

やどうふつ [jadufutsi] 【名詞】 玄関先、戸口。 【例】 やどうふつんな たちやだ なかんかい はいりーんみやてい (玄関に立っていないで、中にお入りください)。

やどうむら [jadumura] 【名詞】 『貝』水字貝 [魔除けのために玄関先や門に下げる]。

やどうゆん [jadujun] 【名詞】戸口での罵り合い、他人に聞いてもらうためにするののしり合い。【例】うぬ とうずぶとうー やどうゆんな ひどうばみきゅーたい（その夫婦は（玄関先で）口喧嘩をしてののしり合っていた）。やぐいやひー やどうゆん あす（大声でケンカする）。やどうゆんぬぎゃー ほうん（ケンカはしない）。うぬきゃが とうずぶとうー ばかかいきゃー うんそうく やどうゆんぬまい ひーうたい（その夫婦は若い頃はいつもよくケンカしていた）。くーさぬ やどうゆん（生活の苦しさゆえにおこるどなりあい/喧嘩）。

やどうゆんぬ すー [jadujunnu si:] 【名詞】良くもめ事を起こす人。【例】かりゃー いつまい やどうゆんぬ すー（彼女はいつもトラブルメーカーだ）。

やな [jana] 【接頭辞】名詞/形容詞について駄目なこと、悪いことを表す接頭辞。

やなうつ [janautsi] 【名詞】悪口。【変異】やなふつ。

やなうむくとう [janaumukutu] 【名詞】悪知恵。【例】からー やなうむくとうびとう（彼は悪知恵の働くやつだ）。やなうむくとくうーひー ひとうーだまひー でいんぬ まうきたい（悪知恵を働かせて、他人をだまして、金をもうけた）。

やなくんじゃう [janakunzau] 【名詞】根性の悪いこと、またそのような人。【類】やなつむつ。

やなじゃい [janazai] ①【名詞】嘘つき、ずるい人、信用できない人。【例】かりゃー やなじゃい やいば かいんな すかはいな（彼はうそつきなので彼にだまされるな）。②【形容詞】嘘をつく、ずるい、信用できない。【例】かりゃー やなじゃいかいば ならん（彼はとてもずるい）。やなじゃいんまり（嘘つき野郎）。

やなづむ [janazimu] ①【名詞】意地悪な行為；またそのような人。【例】たるんかいまい やなづむー ひーやならん（誰に対しても意地悪をしてはいけない）。かりゃー やなづむんまり（彼は性格が悪い奴だ）。②【形容詞】性格が悪い。【例】やらびあいきゃ んながーんな やなづむかい ぬーまん っふあいにゃーんっだん（こどものころ一番性格が悪い馬に噛まれたことがある）。かにんつきゃー まさいがどう やなづむかい（カニよりマサイの方が性格が悪い）。【類】やなばた。

やなつむつ [janatsimutsi] 【名詞】根性が悪いこと、またその人。【例】あいぬ やなつむっちゃ むちや だみだら（そんな悪い根性ではいけない）。かりゃー やなつむつんまり（彼は根性の悪い奴だ）。まさいや やなつむぬ やいば うるーぎゃー たきゃー ほ

うだうり (マサイは意地が悪い奴だから相手にするな)。

やなばた [janabata] 【名詞】性格が悪い。【例】かりヤー やなばたかいばならん (彼はとても性格が悪い)。やなばたんまり (性格が悪い奴)。[類] やなづむ。

やなばた [janabata] 【名詞】小型の蜂；すぐに怒り出す人。【例】んなまがたがま っさー かりゅーとうい やなばたがまん っふあーにゃーん (さっき草を刈っているとき小さい蜂に刺されてしまった)。からー やなばたがま やいば すぐ つむでいどうす (彼は短気だからすぐに怒りだす)。かりヤー いつまい つむでいぬ やなばた (彼はいつも怒っている根性の悪い奴だ)。[類] かやばた。

やなふつ [janafutsi] 【名詞】悪口。【例】ひとうぬ やなふっちゅぎゃー ほうん (人の悪口を言ってはいけない)。やなふっチャ うながどうーんかいどう まーりーふー (悪口は自分自身に回ってくる)。やなふつういびとう (口の悪い年寄り)。[変異] やなうつ。

やなむぬ [janamunu] 【名詞】幽霊、悪霊。【例】やなむぬぬ うい (幽霊がいる)。やなむぬ はらす にがい (ネズミや、害虫などをはらう祈願)。[類] まずむぬ。

やなやん [janajan] 【名詞】(死に至るような) 重い病気。【例】うやー や

なやんなひー すにーにゃーん (おじいさんは重い病気で亡くなった)。ばかむぬんかい やなやんな たばりー すにーはりーにゃーん (若者に悪い病気がついてなくなってしまった)。

やなわざ [janawaza] 【名詞】嫌な仕事、大変な仕事。【例】くまぬ すかまー やぐみ やなわざ (この仕事は大変嫌な仕事だ)。

やなんじゃ [jananza] 【名詞】無能なやつ；悪いやつ、ひどい奴。【例】すかまー ひらいん やなんじゃ (仕事ができないでくの坊)。からー やなんじゃ やいば かいん だまはいな (彼は悪い奴だから彼にだまされるな)。

やば [japa] 【形容詞】[B] (竹などが) 柔軟性がある；(人柄が) 穏やかな。【例】っぞうつー やば さうがま (魚釣り用の柔軟な竿)。からー つむかぎ やばびとう (彼は心の良い穏やかな人だ)。

やばあみ [japaami] 【名詞】細かい雨。【例】ゆびゃー やばあみがまぬどう っふゅーたい (昨晚は細かい雨が降っていた)。

やびじ [jabizi] 【名詞】[A] 《地名》八重干瀬、池間の北方のリーフ、礁(しょう)。

やびとう [jabitu] 【名詞】[C] ままごと。[類] やびとうがま、やびとうがんが、やびとうがんがー。

やびとうがま [jabitugama] 【名詞】
 ままごと。 [類] やびとう、やびとう
 がんが、やびとうがんがー。

やびとうがんが [jabituganga] 【名
 詞】 ままごと。 [類] やびとう、やび
 とうがま、やびとうがんがー。

やびとうがんがー [jabituganga:]
 【名詞】 ままごと。 【例】 やびとうがん
 がーひー あそー (ままごととして遊
 ぶ)。 [類] やびとう、やびとうがま、や
 びとうがんが。

やびとうんーな [jabitun:na] 【名
 詞】 皆さん、家族みんな。 【例】 やび
 とうんーなひー くぬ すかまうぎや
 ー かなーでい (皆でこの仕事をがん
 ばろう)。やびとうんーな がんじゅー
 やひー うらまいんな (みなさんお元
 気ですか)。みゃーくずつんな すまぬ
 やびとうんーなひー ぶどうい (み
 ゃーくずつでは村をあげてみなで踊り
 ます)。

やふ [jafu] 【動詞】 [k 語幹] [A] (残り
 火の灰のなかで) 料理する、(豚やヤギ
 などを) 火であぶる；油で揚げる；(家
 を誤って) 火事にする。 [変異] やつ。

やふ [jafu] 【名詞】 [A] 厄、厄年。 【例】
 やふ ずぶんな うながどうーゆぎや
 ー うながどうーひー わいていー
 みばからだかー ならん (厄年には自
 分で自分の体調をちゃんと管理しなけ
 ればならない)。にんぎんぬ やふどう

っさ ななじゅーにさんよ (人の厄年
 は72、3歳だよ)。

やぶいしや [jabuiça] 【名詞】 医師の
 資格なしで医療行為を行う人、もぐり
 の医者 (日本語の「やぶ医者」と異な
 り、医師免許は持っていない)。 【例】
 かなまいぬ やみゅーば やぶいしや
 ぬ まいんかい いたたい (頭が痛い
 のでやぶ医者の所に行った)。

やふず [jafuzi] 【名詞】 [C] (家の中で
 あちこち) 探し回ること；出かける準
 備に時間がかかること。 【例】 っづあ
 ー なくゆどう やふっじゃ ほうー
 (あなたは何を探し回っている)。やふず
 んまり (出かける準備に時間がかかる
 人)。

やふどうす [jafudusi] 【名詞】 厄年。
 [類] やふばな。

やふばな [jafubana] 【名詞】 厄年。
 [類] やふどうす。

やふびとう [jafubitu] 【名詞】 厄の
 人；(厄と関係なく) 病気がちのひと。
 [類] がびやう。

やま [jama] 【名詞】 [B] 〔道具〕 鋤 (す
 き)、畑を浅く耕すための農機具。 【例】
 やまひー ずーゆ ひつ (鋤で畑を耕
 す)。

やま [jama] 【名詞】 [B] 山。 【例】 みゃ
 ーくんな たかやまー にゃーん (宮
 古には高い山はない)。やまぬ はぎ

ーていがー たうかー つつぬ ゆー、
 やまぬ あうんていがー ふあうぬ
 ゆー ぬんぬ ゆー (山が禿げたら、ひ
 ひとりひとり突く世の中、山が青くなっ
 たら食べる世の中、飲む世の中だ [＞山
 が禿げたらお互い殺し合いの世、山が
 青くなったらちゃんと飲み食いできる
 豊かな世の中だ])。

やまあす [jamaasi] 【名詞】山のふも
と。

やまいん [jamain] 【名詞】野良犬；不
美人。

やまがらかじゃ [jamagarakaza]
 【名詞】野生の生き物の臭い。【例】はう
 や やまがらかじゃぬどう あす (へ
 ビは野生の匂いがする)。

やまぐ [jamagu] 【名詞】[C] すぐ怒
り出す人、短気な人。【例】からー
 やまぐ やいば かいんかいや なう
 ちゃーにゃー むぬいな (あいつは短
 気なので気をつけてものを言え)。

やまざる [jamazaru] 【名詞】山猿；不
美人；親しい人への呼びかけ語。【例】
 おい やまじやる っうあー んじゃ
 んかいが (おい、山猿、お前はどこに
 (行くの)か)。[変異] やまじやる。

やまじやる [jamazaru] 【名詞】山
猿；不美人；親しい人への呼びかけ語。
[変異] やまざる。

やます [jamasi] 【動詞】[s/h 語幹] [C]

(体の一部を)くじく、痛める。【例】
 はっじゅ やます (足をくじく)。

やまずん [jamazin] 【名詞】山積み。
 【例】ぶーっじゅ やまづん あす (サ
 トウキビを山積みする)。

やまだつ [jamadatsi] 【名詞】下痢。
 【例】やまだっちゅ ふかす (下痢して
 もらす)。やらびゃー やまだっちゃ
 ひどう ちびるんな っそうだりゃー
 ひー まーりゅー (子供は下痢してお
 尻は糞がついて歩きまわっている)。ば
 ー やまだっちゃひー くーかいばな
 らん (私は下痢して苦しくてならない)。
 やらびあいきや わーぬ あっづあー
 はーさ ふあいー やまだっちゃ
 ほうーたい (子供の頃は豚の脂肉を食
 べ過ぎて下痢していた)。

やまだん [jamadan] 【名詞】ヤマダ
ニ。【例】やまんな やまだんぬ う
 い (山にはヤマダニがいる)。

やまとう [jamatu] 【名詞】[B] 日本本
土。【例】やまとうんかい いつ (日
 日本本土に行く)。やまとうびとう (日
 日本本土の人)。

やままゆ [jamamaju] 【名詞】野良猫；
 不美人の形容；親しい人への呼びかけ
 としても使う。

やらー [jara:] 【助詞】コピュラ「やい」
 の提題形、「の中では」「としては」。
[変異] やりゃー。[類] かりゃー。

やらう [jarau] 【名詞】[A] 〔植〕 テリハボク。

やらうぎー [jaraugi:] 【名詞】 〔植〕 テリハボク。 【例】 やらうぎーぬ ない (てりはぼくの実)。 [類] やらうだにぎー。

やらうだに [jaraudani] 【名詞】 〔植〕 テリハボクの実。

やらうだにぎー [jaraudanigi:] 【名詞】 〔植〕 テリハボク。 [類] やらうぎー。

やらし [jaraçi] 【感動詞】 けんかや勝負をけしかけるときの呼びかけ語、頑張り。 【例】 やらし、 わいていー あっそう (さあ行け 頑張り)。

やらばん [jaraban] 【助詞】 〔接続助詞〕 (名詞について) 譲歩を表す、～でも、～であろうが。 【例】 なうやらばん ばー うつなーんかい いかでい (どうしても私は沖縄に行く)。ういびと うやらばん、 ばかむぬやらばん、 やらびやらばん、 すまぬ うんどーかいん な んない いでいだかー ならん (老人でも、若者でも、子供でも、村の運動会には出なければならぬ)。

やらばんまい [jarabammai] 【助詞】 〔接続助詞〕 (名詞について) 譲歩を表す、～でも、～であろうが。

やらび [jarabi] 【名詞】[C] 子供。 【例】 やらび あいきゃ (子供の頃)。やらび

っじゃんまり (子供っぽい奴)。やらびんみゃー かまんきー あそび (子供たちはあっちに行って遊べ)。やらびつかいや どうーつかい (能力のない者を使うと責任は自分自身に回ってくる)。

やらびなー [jarabina:] 【名詞】 幼名 [かつては戸籍に登録した名前以外に村独特の幼名があった]。 【例】 ばが やらびなーや まさい、 がっこーぬ なーや ひろゆき (私の幼名はマサイで、戸籍上の名は博之です)。

やらん [jaran] 【助詞】 〔接続助詞〕 (名詞について) 譲歩を表す、～でも、～であろうが。

やらんまい [jarammai] 【助詞】 〔接続助詞〕 (名詞について) 譲歩を表す、～でも、～であろうが。

やり [jari] ① 【形容詞】[B] (ものが) 使い古された; (ものや動物、人が) ダメな、使い物にならない [接頭辞的に使うことが多い]。 【例】 やりぐるま (おんぼろ車)。やりさなず (古いふんどし)。やりやーゆ っちゅす (古い家を壊す)。やり づんぬ つくきー つー (古衣着物を (何枚も) 重ねて着ける)。くぬ つんな やりふ なりー んめ っ ちゃいん (この服は古くなってもう着られない)。 ② 【名詞】[B] 使い古したもの; ダメな、使い物にならない動物や人。 【例】 うらー やり やいば う るーぎゃー つかーだうり (これは使

い物にならないのでこれは使うな)。くじゅ っうあから かうたい ぬーまー やり あたい (去年おまえから買った馬は使い物にならなかった)。

やりがい [jarigai] 【形容詞】(ものが) 使い古された; (ものや動物、人が) ダメな、使い物にならない。【例】うぬ つんな やりがいむぬ (この着物は古い)。

やりがい [jarigai] 【名詞】使い古されたもの; ダメなものや動物、人、使い物にならないものや動物、人。

やりがに [jarigani] 【名詞】スクラップ (鉄、真鍮等の廃品)。【例】やりがにやー (廃品回収業者)。

やりずん [jarizin] 【名詞】古い着物。【例】ふゆんな やりずんぬ つくきー つーまい あす かうーまい あすたい (冬には古い着物を重ねて着たり、(夜寝るときに布団がわり) かけたりもした)。

やりっしゅーつ [jariccu:tsi] 【動詞】[k 語幹] (動作やものを) そのまま放置しておく。【例】なつっじゃ やらびゅーぎゃー やりっしゅーき (泣き虫はそのまま泣かして置け)。うまぬ あふたうぎゃー やりっしゅーき (そこのごみはそのままほうっておけ)。れいぞーこんかい いりだ やりっしゅーていがー っぞうー っさりーにやーん (冷蔵庫に入れずにほっといたら魚

は腐ってしまった)。[変異] やりっしゅーふ。

やりっしゅーふ [jariccu:fu] 【動詞】[k 語幹] (動作やものを) そのまま放置しておく。[変異] やりっしゅーつ。

やりやー [jarja:] 【助詞】コピュラ「あい」の変異形「やい」の提題形、「の中では」「としては」。【例】んすむらぬ ひとつやりやー うとうなす (西原の人の中ではおとなしい)。みどうんやりやー たかびとう (女の人の中では背が高い)。[変異] やらー。[類] かりやー。

やん [jan] 【動詞】[m 語幹] [C] (体の部位が) 痛む; 病いだ。【例】んじゃぬどう やみゅー (どこが痛い)。かなまいぬどう やみゅー (頭が痛い)。からー ばたぬどう やみゅーが おーかん (彼は胃腸がわるいらしい)。

やん [jan] 【名詞】[C] 病気; 痛いこと。【例】やんびとう (病人)。いしゃー やんぬ ゆふなす (医者は病気を治す)。かなまいぬ やん (頭の病 [「頭が痛い」という意味にもなる])。すんやん (命にかかわる病気)。

やん [jan] 【形容詞】[C] 痛い。【例】とうっさ とういどう くすまい やんかいば ならん (年取って腰も痛くてならない)。いちゃ ふがさー いでいー やんかいば ならん (痛いおできが出て痛くてならない)。

やんふい [janfui] 【名詞】 仮病；病気をしているふりをする人。

やんふや [janfuja] 【名詞】 病気をしているふりをする人。

ゆ

ゆ [ju] 【助詞】《格助詞》目的格助詞「う」の変異形、「を」：長母音、二重母音、u で終わる名詞の後に付く。【例】はうゆ かつん（ヘビをつかまえる）。みーゆ っさがい（目を閉じる）。[変異] う。[類] や。

ゆー [ju:] 【動詞】[vv 語幹幹] [A]（縄を）結（ゆ）う [村では自前でロープを作るために3本の縄を3名でねじって回す]；（髪を）結上げる。【例】まーたう ゆー（魔除けの輪を作る）。ん[°]なう ゆー（綱をねじってよる）。うぶん[°]なう ゆっぐいー ちゅっふ（錨の綱をよって作る）。かなーいや みどうんまい びきどうんまい からっじゅぎゃー ゆっぐいどう うたい（昔は女性も男性も髪を結っていた）。きゅーや ぶどういぬ あいば からっじゃ ゆっぐいーから いかでい（今日は踊りがあるので髪を結い上げてから行く）。ぶーいとうー っそうかいば ばぬんな ゆっぐあいいん（この苧麻糸は細いので私にはよって糸にできない [苧麻の繊維は2本をよって糸にする]）。[類] ゆい、ゆーい、ゆっぐい。

ゆー [ju:] 【名詞】[B] 世、世の中、時代、時世。【例】なうい ゆー（豊かな世）。いっさゆー（戦の世）。

ゆー [ju:] 【名詞】[B] 裕福、幸運、豊穰。【例】ゆーあい ひとつ（幸運の人）。ゆーむつ ひとつ（幸運に恵まれた人）。

ゆー [ju:] 【動詞】[vv 語幹幹] [A] 吸う、しゃぶる；吸い取る。【例】うなが ほうーゆびゆー ゆー やらび（自分の親指をしゃぶる子供）。

ゆー [ju:] 【名詞】[B] お粥。【例】ゆーゆ ふあう（おかゆを食べる [「人の成功を祝う」と言う意味でも使う]）。

ゆー [ju:] 【名詞】[B] 晩、夜。【例】きゅーが ゆー（今晚 [「きゅーぬ ゆー」とも言う]）。つつぬ ゆー（月の夜）。

ゆー [ju:] 【形容詞】[B]（体が）弱い、（勝負などに）弱い。【例】からーがびやうかいば どうーぬ ゆーかい（あいつは病気がちで体が弱い）。かりゃー すまう とうらばんまい なうゆ ほうばんまい むいとう ゆーむぬ

(彼は相撲をとっても何をしてもとても弱い)。ほうゆー (勝負にとっても弱い)。

ゆー [ju:] 【動詞】 [vv 語幹] [A] 恐がる。 [変異] うー。

ゆーい [ju:i] 【動詞】 [母音語幹] [A] (縄を) 結 (ゆ) う [村では自前でロープを作るために3本の縄を3名でねじって回す]; (髪を) 結上げる。 [類] ゆい、ゆー、ゆっぐい。

ゆーい [ju:i] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] (人や動物が) 弱る、衰える; (食用動物や魚などが) 腐って食べられなくなる。

【例】 ういびとう ないていがー はっじゃ ゆーりー でいーゆ つかだかー ぶらかいーがまた (年取ったら足が弱って杖を突かないとひっくり返る)。ういびとう なりどう はずまい くすまい ゆーりゆー (年取って足も腰も弱っている)。とうす とういがなか ゆーりーはい (年を取るにつれて弱っていく)。っぞうー ゆーりーど う (この魚は腐っている)。

ゆーい [ju:i] 【名詞】 [A] 『祭礼』お祝い; 1月15日の後生 (ぐそう) の正月 [家族や親族が集まって家族や子孫の健康・発展を祈願する。西原では15日に行われ、平良では16日に行われる。これは昔平良の役人たちの家族に供するために魚を取ってくるために1日前にやったことによる]。【例】 ささぎゆーい (結婚祝)。やーふつゆーい (新築祝)。やーぬ ゆーい (新築祝い、

改築祝いなどを含む家の祝い)。っふあぬ ゆーい (出産祝い)。んまがぬ ゆーい (孫の出産祝い)。ゆーいぬ うさいや んない んまがたが うなが たまたま っていつ むっちゃひー はりーにゃーん (お祝いの料理はみんな孫がそれぞれひとつずつ持たされて帰った)。

ゆーいでいん [ju:idin] 【名詞】 お祝いとして渡すお金、祝儀。【例】 ゆーいでいんぬ さんぜんえん とうらすたい (祝儀を3千円渡した)。

ゆーか [ju:ka] 【名詞】 [C] 夜更かし。

【例】 きゆーまい ゆーか (今日も夜更かしだ)。ゆび ゆーかー ひー にゆーや かつらんに なりゆー (昨夜、夜更かをして、眠くてこっくりこっくりしている)。んぬが ゆーや ゆーか あすたい (昨夜は夜更かしした)。んぬー ゆーか あたい (昨夜は夜更かしだった)。

ゆーか [ju:ka] 【名詞】 [A] 4日。【例】

くまぬ すかまー ゆーか かかいどうす (この仕事は4日かかる)。

ゆーがー [ju:ga:] 【形容詞】 (体や精神が) 弱い。【例】 からー ゆーがー

(彼は弱い)。ゆーがーずむびとう (気の弱い人)。[類] ゆー。

ゆーがーい [ju:gai] 【名詞】 時代が

変わる事、世がわり。【例】 ゆーがーいや ひー みゃーすふ なりーど

うー（世がわりして生活は楽になっている）。あめりかゆーから やまとうゆーんかい ゆーがーい（アメリカの世から日本の世に世変わり〔アメリカ占領時代から日本に返還されたこと〕）。

ゆーかーま [ju:ka:ma] 【名詞】遠いところ。【例】ゆーかーまぬ いん（遠くの家）。うじゃーぬ ゆーかーまからんみゃいーふいーさまい やぐみすでいがほー（はるか遠方からいらしてくださって大変感謝いたします）。

ゆーかない [ju:kanai] 【名詞】3日前 [文字通りには4日前。数えて数えるので4日前は3日前になる]。

ゆーくい [ju:kui] 【名詞】『祭礼』ななむい（7杜）の女性たちの神様への裕福の祈願、無病息災、五穀豊穡の祈願 [「ユークイ」と「ミヤークズツ」は西原の二大祭事]。【例】ゆーくいんなばーたー よーんていりてい あいっちゃん すまう あいきーまーい（ユークイにはおばあさん達は世を豊かにして下さいと言いながら集落を歩き回る）。

ゆーぐむい [ju:gumui] 【名詞】『祭礼』夜籠り。【例】うたきんぬ ゆーぐむいぬ かにがいに（御嶽での夜籠りの祈願）。うたきん ゆーぐむいあす（御嶽で夜籠りする）。[変異] ゆぐむい。

ゆーさ [ju:sa] 【名詞】[C]『鳥』鷺（サギ）。【例】ながぬどう ゆーさ（首の

長い鷺）[首が長い人のあだ名としても使われる]。

ゆーず [ju:zi] 【動詞】[zz/dd 語幹] [C] 茹でる。【例】わーゆ ゆーでい（豚肉を茹でなさい）。[変異] ゆーっず。[類] ゆーでい。

ゆーだみにがいに [ju:daminigai] 【名詞】『祭礼』世鎮めの祈願。

ゆーつ [ju:tsi] 【名詞】[A]『数詞』四つ。

ゆーっず [ju:zzi] 【動詞】[zz/dd 語幹] 茹でる。[変異] ゆーず。

ゆーてい [ju:ti] 【名詞】[A]『数詞』四年。

ゆーでい [ju:di] 【動詞】[母音語幹] [C] 茹でる。【例】わーゆ ゆーでい（豚肉を茹でなさい）。[類] ゆーず。

ゆーていあとう [ju:tiatu] 【名詞】3年後 [文字通りには4年あとであるが、数えて数えるので3年あとになる]。

ゆーていない [ju:tinai] 【名詞】3年前 [文字通りには4年前であるが、数えて数えるので3年前になる]。

ゆーなぎー [ju:nagi:] 【名詞】『植』オオハマボウ アオイ科の常緑高木。【例】ゆーなぎーぬ はーひー まいぬいゆ ーない（オオハマボウの葉でおにぎりをはにぎる）。[類] ゆなぎー。

ゆーふらがん [ju:furagan] 【名詞】

『生物』ソデカラッポガニ。【例】ゆーふらがんな なうぬ ふあう どうく ままい にゃーん (ソデカラッポガニには何の食べる場所もない)。

ゆーらす [ju:rasi] 【動詞】 [s/h 語幹]

(縛ったものなどを) 緩める。【例】うぬ なーゆ ひーちやがま ゆーらし (この縄を少しだけ緩める)。

ゆーんてい [ju:ntiru] 【成句】『祭礼』

「裕福を満たせ」という意味の祈願の言葉。【例】ゆーくいんな ななむいぬ ぱーたー うきやんひー かなま いや うそういどう ゆーんてい ゆーんていていー ななむいや まーりー かな にがいーうたい (ユークイにはナナムイのおばあさんたちは、つる草で頭を覆って、世を裕福で満たせ、裕福で満たせとナナムイを回って祈願していた)。[変異] よーんてい。

ゆい [ju:] ① 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] (風

などで) 揺れる; 揺らす; (篩 (ふるい) などに) かけてより分ける。【例】かदैふつんな きーぬ ゆりゆー (台風で木が揺れている)。ぶらんこー ゆい (ブランコを揺らす)。しーなうひー みりくんぐーゆ ゆい (ふるいでメリケン粉をよりわける)。② 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] 揺り動かす [赤ちゃんの名前を付けるために、まず最初にお盆に神様、先祖神の名前を書いた紙を小さ

く丸めて乗せて、お盆を揺り動かす。3回連続して落ちたものがその子の名前となる]。【例】つふあぬ なーゆ ゆい (赤ちゃんの名前の候補を揺り動かす)。

ゆい [ju:] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] (場

所に) たち寄る; (船などが) 流れ着く、(魚の群れが) おしよせる。【例】むとーうやーんかい ゆい (実家に寄る)。ゆーかーまから やりふにぬどう ゆりちちゆー (遠くからぼろ船が漂着した)。むるぬどう まじゃんかい ゆりーちちゆーい (ムロアジが真謝におし寄せてきている)。

ゆい [ju:] 【動詞】 [母音語幹] [A] (縄

を) 結 (ゆ) う [村では自前でロープを作るために3本の縄を3名でねじって回す]; (髪を) 結上げる。【例】からっじゅ ゆいー (髪を結上げる)。[類] ゆー、ゆづい、ゆーい。

ゆい [ju:] 【名詞】 [A] (農作業などを)

お互いに助け合うこと。【例】きゅーや かにたが ぶーずたうすぬ ゆいんかい いかだかー ならん (今日はカニのうちのサトウキビの収穫の手伝いに行かないといけない)。[類] ゆいまー。

ゆい [ju:] 【名詞】 [C] 夕食。【例】ゆ

いゆ ふあう (夕食を食べる)。ゆいがそー (夕食のおかず) [「ゆいぬ そー」とも言う]。ゆいや ふあいからにづい (夕食食べてから眠る)。ゆ

いぬ そうがいゆ ほうだかー ならん (夕食の支度をしないとイケない)。

ゆい [juɪ] 【名詞】 [B] (年齢の) 間隔、間。【例】うぬきやー ふた一つが ゆいや ひぬ きやうだいどう あたい (彼らは2歳ちがいのきょうだいだった)。

ゆいまーる [juima:ru] 【名詞】 相互扶助。【例】きゅーや やーふつ すきなふぬ ゆいまーる (今日は家づくりの相互扶助だ)。[類] ゆい。

ゆいまい ひーまい [juimai hi-mai] 【成句】 昼も夜も。【例】ゆいまい ひーまい みどうんぬ くとうー うむー (昼も夜も妻のことを思う)。

ゆか [juka] 【名詞】 [B] 床。【例】んきやーんな まつぎーひーどう やーぬ ゆかう ちゅっふゆーたい (昔は松の木で家の床を作っていた)。なかゆか (食事をする部屋)。

ゆが [juga] 【形容詞】 [A] (釘や腰など) 曲がった; (心が) 曲がった。【例】ゆがかにふっじゅ すんばし (曲がった釘をのばせ)。ゆがんつ (曲がりくねった道)。ゆながい びじゅーていがーくっさ ゆがふなりー にゅーぐりむぬ (ながく座っていると腰が曲がって眠りにくい)。ゆがうむくとう (悪知恵)。ゆががなまい (常識に外れたことを言う人)。

ゆかい [jukai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] (精神的に) 豊かになる、金持ちになる。

【例】んまがー だいがくんかい ごーかくー ひー ゆかりーにやーん (孫が大学に合格してうれしい)。でいんぬ はーさ まうきー ゆからでい (お金をたくさんもうけて裕福になろう)。ばんちやー ゆかりー ふあいゆー (私たちはゆたかに生活している)。

ゆかい ういびとう [jukai uibitu] 【成句】 それなりに年を取っている人。【例】かいまい んめ ゆかい ういびとう なりーどう (彼もそれなりに年を取っている)。

ゆがいな [jugaina] 【形容詞】 面白い、愉快な、滑稽な、剽軽 (ひょうきん) な。【例】かりやー ゆがいなびとう (彼は面白い人だ)。かにやー ゆがいながま (カニは滑稽な人だ)。ゆがいなんまり (面白い奴)。ゆがいな はなす (面白い話)。

ゆかいびとう [jukaibitu] 【名詞】 金持ち; 身分の高い人、えらい人。【例】くぬ すまん んながーんな ゆかいびとうー たる (この村で一番裕福な人は誰ですか)。[類] ゆかいむぬ。

ゆかいむぬ [jukaimunu] 【名詞】 金持ち; 身分の高い人、えらい人。 [類] ゆかいびとう。

ゆがうむくとう [jugaumukutu] 【名詞】 悪知恵、よこしまな考え。【例】ゆ

がうむくとう むちや ならん (悪い考えを持ってはいけない)。

ゆががなまい [jugaganamai] 【名詞】頭の格好が悪い人；ずるい奴、バカな奴、バカなことを言う (考える) 人、へそ曲がり、話の的を射ていない人。

【例】ばー かぬ ゆががなまいん ずみく だまくらはいーにゃーん (私はあのバカな奴に見事に騙されてしまった)。かりゃー ゆががなまい えいば ひとつぬ むぬいゆぎゃー つかん (彼はへそ曲がりなので人の言う事を聞かない)。[類] ゆががなまりや。

ゆががなまりや [jugaganamarja]

【名詞】頭の格好が悪い人；ずるい奴、バカな奴、バカなことを言う (考える) 人、へそ曲がり、話の的を射ていない人。

【例】かりゃー ひとつぬ はなっそうぎゃー つかん ゆががなまりや (彼は人の話に耳を傾けない協調性がない人だ)。[類] ゆががなまい。

ゆかす [jukasi] 【動詞】[s/h 語幹] [C]

だます。【例】あいや ひとつぎゃー ゆかはだうり (そんなに人をだますな)。[変異] ゆくす。

ゆがずー [jugazi:] 【名詞】理屈っぽいこと。

【例】ゆがずーびとう (理屈っぽい人)。

ゆがたい [jugatai] 【名詞】世間話、おしゃべり。

【例】みどうんみぬ ゆがたいゆ すきやきていがー んめ

ゆさらびたーひー なまらん (女性たちがおしゃべりを始めるともう夕方まで止まらない)。ういびとうんみぬ ゆがたい (年寄りたちの世間話)。ゆがたい あぐ (お喋り友達)。かなすぎないやひー ゆがたいがま あす (愛おしそうにお喋りする)。

ゆかどう [jukadu] 【名詞】[A] 四つ角；十字路。

【例】やーぬ ゆかどうんかい まーそうー ほうい (家の四つの角に (魔除けの) 塩をまく)。やーぬ ゆかどうんな かんぬどう うい (家の4つの角には神がいる)。ゆかどうーぎゃー まさぐん あいき (十字路は気を付けて歩け)。[類] ゆまた。

ゆがはず [jugahazi] 【名詞】がに股。

【例】ぬーまん ぬーいていがー ゆがはずんどう ないちゃ (馬に乗るとがに股になるそうだ)。

ゆがばらい [jugabarai] 【名詞】(相手を) 馬鹿にして笑うこと。

ゆがほうー [jugahu:] 【名詞】豊年、豊作。

【例】くとうっさ ゆがほうーやーにゃー がんじゅー (今年は豊作、来年は健康)。

ゆがほうーあみ [jugahu:ami] 【名詞】恵みの雨。

ゆがまーい [jugama:i] 【動詞】[r/rr 語幹]

これといった目的なく歩き回る。【例】つうあー んじゃんかい いき

どう ゆがまーいったいが (あなたはどこをほつつき歩いてきたの)。

ゆかりゃ [jukarja] 【名詞】 [C] 豊かな人、幸せ者。【例】 かいがどう んながーんな ゆかりゃ (彼が一番金持ちだ)。

ゆがん [jugan] ① 【動詞】 [m 語幹] [A] (釘、体が) 曲がる、(戸などが) 歪む、(考えなどが) 歪む。【例】 くぬ かにふっじゃ ゆがみーどうー (この釘は曲がっている)。くすぬ ゆがん (腰が曲がる)。くぬ やどうー ゆがみゆーば まうとうん なくし (この戸は歪んでるからまっすぐに直せ)。② 【名詞】 [B] 身体の歪み；心の歪み、間違い。【例】 くすぬ ゆがんぬ なくし (腰のゆがみを直しなさい)。やらびゆーぎゃー かんがなすぬ みゆーぶき ゆがんでいや にゃーだ すぐらひー ふうーさまてい (子供たちが神様のおかげを持って間違いを起こすことなく立派になれ [祈願の文句])。

ゆぎゃー [jugja:] 【助詞】 (格助詞+提題) 「うぎゃー」の変異形、目的格形に提題を付けた形、「をば」に当たる。【例】 うぬ まかいゆぎゃー まながんでいー ゆすぎ (このお椀をちゃんとゆすげ)。ゆそうみーゆぎゃー ほうだうり (よそ見をするな)。くまぬ だいゆぎゃー かまんかい ゆっじゃし (ここのテーブルを向こうに寄せろ)。やーぬ んつきんな まんじゆーゆぎゃ

ー いびん (家の軒下にはパパイヤの木は植えない)。[変異] うぎゃー。

ゆく [juku] 【名詞】 [C] 欲。【例】 ゆくじゆー (欲深い)。ゆくじゆーんまり (欲深い奴)。ゆくじゆーびとう (貪欲な人)。うなが ゆくん ふあーいー うどうきー はりーにゃーん (自分自身の欲に負けて損をした)。

ゆくー [juku:] 【動詞】 [w 語幹] [C] 憩う、休む。【例】 じょー ゆくーでい (さあ 休もう)。うや、ゆくーまてい (おじいさん、おやすみなさい)。[類] ゆくい。

ゆくい [jukui] ① 【動詞】 [母音語幹] [C] 休む。【例】 じょー ゆくいでい (さあ休もう)。うまん ゆくいる (そこで休みなさい)。[類] ゆくー。② 【名詞】 [C] 休憩。【例】 さんじゆくい (三時の休憩)。くまん ひーまゆくい ほうでい (ここで昼休みをしよう/ここで昼ごはん食べよう)。

ゆくし [jukuçi] 【名詞】 [C] 嘘、でたらめ。[変異] ゆくす。

ゆくす [jukusi] 【名詞】 [C] 嘘、でたらめ。【例】 まーぬ ゆくす むぬい ゆぎゃー あすな (あんまりでたらめを言うな)。ういが はなっさ ゆくす むぬいどう はーさかい (彼の話は嘘の話が多い)。[変異] ゆくし。

ゆくす [jukusi] 【動詞】 [s/h 語幹] [C] だます。[変異] ゆかす。

ゆくたーい [jukutai] 【動詞】 [r 語幹] (疲れて) 横になる、横たわる。

【例】 すかまー だりってい ゆくたーりゅー (仕事で疲れてきて横になっている)。まうきゃーいんな さんしんば なりぬどう ゆくたーりゅー (大浦湾にはサンシンバナリが横たわってる)。

ゆくぬどう [jukunudu] 【名詞】 気管支。 【例】 むぬーどう ゆくぬどうん かい かからひーにゃーん (食べ物を気管支に入れてしまった)。

ゆくむい [jugumui] 【名詞】 『祭礼』 夜籠り。 [変異] ゆーぐむい。

ゆくん [jukun] 【動詞】 [m 語幹] [A] いきむ、りきむ、力を入れる。 【例】 まばい つふあー んなま いでいーくーっじゃうば わいていー なくみ (マパイ、子供は今産道から出て来ようとしているからしっかりと力め)。[類] んくん。

ゆさらび [juserabi] 【名詞】 夕方。 【例】 ゆさらび なりどう やらびゃーふがますふ なりゅー (夕方になって子供がうるさくなっている)。ゆさらび ないていがー やらびゃー ンまうどう とうみー (夕暮れになると子供は母親を探す)。

ゆさらびがた [juserabigata] 【名詞】 夕方ごろ。

ゆす [jusi] 【形容詞】 [B] (農地が) 肥えた、豊かな、肥沃な。 【例】 くぬ はい

や ゆすばい (この畑は土地が肥えている)。ゆすかいずーどう むぬー できー (肥沃な土地に作物ができる)。

ゆずー [juzi:] 【名詞】 [C] 夜釣り。

【例】 ゆずーんかい いつ (夜釣りに行く)。

ゆすず [jusizi] 【動詞】 [g 語幹] [A] (食器などを) ゆすぐ、すすぐ; (口を) すすぐ、うがिसる。 【例】 うぬ まかいゆぎゃー まながんていー ゆすぎ (このお椀をちゃんとゆすげ)。むぬー ふあいぬ あとうんな ふっちゅゆすず (食後は口をすすぐ)。つんぬゆすず (着物を濯ぐ)。

ゆすばい [jusibai] 【名詞】 寝小便。

【例】 ゆすばいや っしー ンまん ンみかいにゃーん (寝小便をしてお母さんに叱られた)。やらびゃー きゅーまい また ゆすばい (子供は今日も又寝小便だ)。

ゆすばいふかしゃ [jusibaifukaça] 【名詞】 寝小便をする人。 【例】 くぬ

ゆすばいふかしゃ、きゅーまい また ゆすばい (この寝小便たれ、今日もまた寝小便か)。

ゆそう [jusu] 【名詞】 [C] (本来あるところとは) 別のところ、よそ。 【例】 いつまい ゆそうんかいや いかだどう やーん うい (いつも外出しないで家にいる)。ゆそうみーゆぎゃー ほうだうり (よそ見をするな)。

ゆそうずま [jusuzima] 【名詞】他の集落。【例】ばぬんな ゆそうずまむぬいや つかいん（私にはよその村の言葉は聞き取れない）。

ゆそうでいー [jusudi:] 【名詞】利き手でないほうの手。【例】ちゅーしゃうぎゃー ゆそうでいーん うつばどう じゃうかい（注射は利き手でない方に打つのがいい）。

ゆだ [juda] 【名詞】[B] 枝。【例】かでいふつん きーぬ ゆだー ぶりにゃーん（台風で木の枝が折れた）。ゆだなゆり なりゆー まみよー（枝にたわわに実っている豆よ〔古謡「豆が花」から〕）。

ゆたーい [jutai] 【名詞】『数詞』四人。

ゆだい [judai] 【名詞】[B] よだれ。【例】ゆだいや たらす（よだれを垂らす）。くぬ ゆだら、つづあが ゆだいや ふき（このよだれたらし、お前のよだれをふけ）。

ゆだたかーい [judatakai] 【動詞】[r/rr 語幹] 木に枝が密集していること。【例】ゆだたかーい。【変異】ゆだだかい。

ゆだだかい [judadakai] 【動詞】[r/rr 語幹] 木に枝が密集していること。【例】ふにゆーぎーや ゆだー たかりーどーう（ミカンの木は枝が集っている）。【変異】ゆだたかーい。

ゆたみつ [jutamitsi] 【動詞】[k 語幹] ふらつく。【例】ゆたみきー あいつ（よたよたと歩く）。【変異】ゆだみふ。

ゆたみふ [jutamifu] 【動詞】[k 語幹] ふらつく。【変異】ゆたみつ。

ゆたゆたていー [jutajutati:] 【オノマトペ】よたよたと。【例】びゅーいびとー ゆた ゆたていー あいきー まーりゆー（酔っぱらいはよたよたと歩き回っている）。

ゆだら [judara] 【名詞】[C] よだれを垂らしている人。【例】ほうりゆだら（馬鹿な奴）。

ゆちり [jutçiri] 【名詞】[C] 役にたつこと、使い道。【例】うりゃー ゆちりゃー にゃーんば ていづい すてている（それは役に立たないので捨てる）。うりゃー なうぬ ゆちりゃー あいどうすな（それは何の役に立つのか）。つづあー すかまー ひらいん ゆちりゃーにゃーんまり（お前は仕事のできないどうしようもない奴だ）。【変異】よちり。

ゆつ [jutsi] 【名詞】[B] 斧。【例】ゆつひー きーゆ はず（斧で木をたたき切る）。

ゆっづあす [juvvasi] 【動詞】[s/h 語幹]「ゆー（怖がる、恐れる）」の使役形、「怖がらせる」。【変異】いっづあす。

ゆっづい [juvvi] 【動詞】[母音語幹] [A]（縄を）結（ゆ）う [村では自前でロ

ープを作るために3本の縄を3名でねじって回す];(髪を)結上げる。[類] ゆい、ゆー、ゆーい。

ゆっじゃす [juzzasi] 【動詞】[s/h 語幹] (別の位置に)移動させる、寄せる。
【例】くまぬ だいゆぎゃー かまんかい ゆっじゃし (ここのテーブルを向こうに寄せる)。

ゆっず [juzzi] 【動詞】[zz/dd 語幹] [A] ある地点に近づく;ある地点から離れて別の地点に近づく。【例】ばが かまんかい ゆっじゃでい (私があっちに行きましょう)。ばが まいんかい ゆっでいー くー (私の近くに寄れ)。

ゆったーづあす [jutta:vasi] 【動詞】[s/h 語幹] 揺さぶる。【例】きーゆ ゆったーづあす (木を揺り動かす)。

ゆっだき [juddaki] 【名詞】四つ竹 [幅4センチ、長さ10センチ位の竹でできたカスタネットのような打楽器。二枚で一組、これを両手に持ち(計四枚)踊りに合わせて音を出す]。【例】ゆっだきゆー ったきー ぶどうい (四竹を叩いて踊る)。

ゆっでい [juddi] 【動詞】[母音語幹] [A] ある地点に近づく;ある地点から離れて別の地点に近づく。【例】くまんかい ゆっでいー くー (ここに近づいて来い)。かまんかい ゆっでいる (あっちに寄れ)。

ゆどうます [judumasi] 【動詞】[s/h 語幹] 淀ませる;(人、車などを)ある場所にとどまらせる;ものを炊くときに弱火にしておく、また、火を止めておいて一定時間おいて、味をしみさせたり、さましたりする。【例】ころなういるっそうぎゃー やーぬ なかん な ゆどうまはだ あらんかい ながすばどう じゃうかい (コロナウイルスは部屋の中にとどめずに外に流すのがいい)。うぬぎゃが ふたーいゆぎゃー うまん ゆどうまほうーき (彼ら二人をそこにとどめておけ)。んーなび ゆー ゆどうます (芋鍋を(味をしみさせるため)弱火にしておく)。やきぬ ふたきなぬ ていんぷらー あつかいば ひーちやがま ゆどうまひーから ふあい (揚げたばかりの沖縄風ドーナツは熱いのですこしさましてから食べなさい)。

ゆどうん [judun] ①【動詞】[m 語幹] [A] (水などが)淀む、(人、車などが)一か所にとどまる。【例】みっじゃ ゆどうみーどうーい (水は淀んでいる)。かでいふっちや ゆぬとうくまんどーゆどうみゆーがおーかん (台風は同じ所に居座っているようだ)。②【名詞】[B] よどみ、止まること。【例】っぞうー みずぬ ゆどうんどー うい (魚は水のよどみにいる)。なうぬ ゆどうんていーまい にやーだ、 かかいていーまい にやーだ かなーすみー ふいーさまてい ((子供たちが)何の淀

みもなく、障害もなく、頑張らせてくださいませ [> (子供たちが) 立ち止まることもなく、障害にもまけず、がんばるようお導きください] [祈願の文句]。

ゆなうす [junausi] 【名詞】世直し。

【例】とうゆみゃー ゆなうす あす (豊見親は世直しする [> 指導者はいい世の中を作る (べきだ)])。

ゆなか [junaka] 【名詞】 [B] 夜中。

【例】んきゃーんな ゆなかん うきゅー ひとつー まーぬ みーっだん (昔は夜中に起きている人はあまりいなかった)。

ゆながい [junagai] 【名詞】長い期間；

長い間 [副詞としても使われる]。【例】ゆながいぬ ゆくい (長い間の休み)。きたてい ゆながい (とても長い間)。ゆながい まちゅーそうが かりゃー いつがみまい くーん (長い間まっているが彼はいつまでも来ない)。やらびゃー ゆながい とうみたいそうが どう とうみらいっだん (子供を長時間探したが見つからなかった)。ばー かりゅーぎゃー ゆながい みーや みーっだん (私は彼を長い間見たことなかった)。

ゆなかばい [junakabai] 【名詞】畑

仕事で帰りが遅くなること、仕事で帰りが遅いこと、帰りが遅くなること。

【例】きゅーや ゆなかばい (今日は帰りが遅くなる)。んまー きゅーまい

ゆなかばい (お母さんは今日も仕事で帰りが遅い)。

ゆなぎー [junagi:] 【名詞】〔植〕オオ

ハマボウ アオイ科の常緑高木。【例】んきゃーんな ゆなぎーぬ はーひど う まいぬいゆ んなりゅーたい (昔はオオハマボウの葉っぱでおにぎりを握っていた [炊き立てのご飯は熱いのでオオハマボウの葉にご飯を載せて包んで握った])。[類] ゆーなぎー。

ゆなつ [junatsi] 【名詞】 [C] 夜泣き。

【例】ゆなつ あす やらび (夜泣きする子供)。

ゆに [juni] 【名詞】 [B] 粟。【例】あー

ぬ くとうーどう ゆにていーまい あい (粟のことをユニとも言う)。[類] あー。

ゆぬ [junu] 【形容詞】 [B] 同じ、同じ

だ；似ている。【例】ゆぬ ぶーりや (同じ年ごろ)。ゆぬ とうす (同じ年齢)。ゆぬ たうかーちゃう やいていがー みどうんつうあどう じゃうかい (同じひとりだったら女の子の方が良い)。ゆぬ だい (同じ値段)。ゆぬ ほうりむぬ (同じようなバカ)。ゆぬ すま (同郷)。ゆぬ ひとつっでい (同じ干支の人)。ゆぬ たらき (同じ家系)。ゆぬ うむい (同じ思い)。ゆぬ ほうい (同じ大きさ)。ゆぬ たかさ (同じ高さ)。ゆぬ どうきや (同じ時間)。ゆぬ たき (同程度)。ゆぬ たま (同じ分け前)。ういとう くいとうー ゆぬ

(それとこれとは同じだ)。くいとう ゆぬかい むぬー いだし (これと同じものを出せ)。ういがどう くいとう んながーんな ゆぬかい (それがこれと一番似ている)。ばんまい ゆぬ むぬー いらばでい (私も同じものにしよう)。

ゆぬーい [junu:i] 【名詞】一年の同じ時期、一周年、一周忌、満一年、一年後の同じ季節・時期・折。【例】くつすまい まみまつ ゆぬーいぬどう ちゅー (今年も豆を蒔く季節がきた)。
[変異] ゆぬい。

ゆぬい [junui] 【名詞】[C] 一年の同じ時期、一周年、一周忌、満一年、一年後の同じ季節・時期・折。[変異] ゆぬーい。

ゆぬす [junusi] 【名詞】[C] 神様の名前。人名にも使われる。【例】ゆぬっさ あばらぎ (ユヌスはきれいだ)。

ゆぬそうい [junusui] ①【名詞】似ているもの、同じもの。【例】ふたかー ゆぬそうい (双子は似ている)。うぬきやが ふたーっちゃ ゆぬそうい (この二つは似ている)。つづあまい ばんとう ゆぬそういゆ いらび (君も僕と同じものを選べ)。
[類] ゆぬむぬ。②【形容詞】似ている、同じ。【例】ういがどう かいとう ゆぬそういかい (それがあれと同じだ)。

ゆぬむぬ [junumunu] 【名詞】同じもの、同じだ；(「動詞未然形・+(ば)ん

まい ゆぬむぬ」の形で)～てもいい。
【例】ういとう くいとうー ゆぬむぬ (それとこれとは同じだ)。まさいが みがん ふいーやー むぬ かにが むぬとう ゆぬむぬ あたい (マサイがミガにやったものはカニが持っているものと同じだった)。つづあが ほうすかいていがー ふいーんまい ゆぬむぬ (君が欲しいなら上げてもいいよ)。ばんまい つづあとう ひとつみ いかばんまい ゆぬむぬ (私も君と一緒にいっていいよ)。

ゆぬりや [junurja] 【名詞】[C] (作物を植える) 折、時節、季節。【例】ゆぬりや なりーどうーば ぶーずまい いびだかーならん (時節になっているからサトウキビも植え付けられない)。
[類] ゆぬい。

ゆばい [jubai] 【名詞】[B] 夜這い。
【例】ほうりむぬー ゆばいほうっじゃ いきー かつみらいーにやーん (馬鹿者は夜這いしようとして捕まった)。

ゆび [jubi] 【名詞】[C] 昨晚。【例】ばー ゆびの くとろーぎゃー うぶいや うらん (私は昨晚のことは覚えていない)。ゆびやー ゆながいたーひー うきゅーたいば ににゅーや ひー どうー (昨晚は長いこと起きていたので居眠りをしていた)。ゆびやー あみぬ つふゅーたい (昨夜は雨が降っていた)。

ゆびだー [jubida:] 【名詞】足が深く

までめり込む田んぼ。

ゆぶそう [jubusu] 【名詞】[C] つむじ。【例】かぬ やらびんな ゆぶそうぬどう み一つまい ゆ一つまい ありゆー（あの子にはつむじが三つも四つもある）。

ゆぶそうかでい [jubusukadi] 【名詞】つむじ風。【例】うんどうじょんな ゆぶすかでいがまぬどう ふきゆー（運動場にはつむじ風が吹いている）。ゆぶそう かでいぬどう ふきやぎやりゆー（つむじ風が舞い上がっている）。

ゆふない [jufunai] 【動詞】[r/rr 語幹]（病気などが）良くなる [成績などが良くなる場合は、「じゃうふない」を使う]。【例】かなまいやんな ゆふなりーどう（頭痛は良くなっている）。

ゆふなうらす [jufunaurasi] 【動詞】[s/h 語幹]（病気などを）直す、（機械などを）修理する。【例】くるまー ゆふなうらはい どうー（車は直った）。

ゆふなし [jufunaçi] 【動詞】[母音語幹]（病気などを）直す、（機械などを）修理する。【類】ゆふなす。

ゆふなす [jufunasi] 【動詞】[s 語幹]（病気などを）直す、（機械などを）修理する。【例】いしゃー やんぬ ゆふなす（医者は病気を治す）。くるまう ゆふなし（この車を修理しろ）。【類】ゆふなし。

ゆまた [jumata] 【名詞】[B] 十字路。
【例】ゆまたうぎゃー まさぐん あいき（十字路は気を付けて歩け）。【類】ゆかどう。

ゆみ [jumi] 【名詞】[A] 嫁。【例】つむかぎ あぱらぎ ゆみ（きだてが良くて美人の嫁）。ゆみんかい いだす（嫁に出す）。ゆみゆー つじ（嫁をもらう）。かーばったが みどうんつづあう ゆみんかい つじたい（カワバタの娘を嫁にもらった）。

ゆみ [jumi] 【名詞】[B] 夢。【変異】いみ。

ゆみーまーい [jumi:mai] 【動詞】[r/rr 語幹]（噂話を）言いふらす。【例】かりゃー ひとうっじやぬ すー やいば いつまい ひとうぬ くとうー ゆみーまーい（彼は噂話の発信源だからいつも人のことをいいふらす）。

ゆむじゃ [jumuja] 【名詞】[C] 年を取ってできるしみ、老斑。【例】ういびとう ないていがー ゆむじゃぬどう いでいーふー（年を取るとしみが出てくる）。

ゆむぬ [jumunu] 【名詞】[C] ネズミ；無能な人を軽蔑して指す罵声語、やつ。
【例】まゆー ゆむぬーどう とうい（猫は鼠をとる）。くぬ なうや ひらいん ゆむぬ（この何もできない奴）。くぬ ほうりゆむぬ（この馬鹿野郎）。

ゆむぬ だすからん [jumunu

dasikaran] 【成句】頼りにならない。

【例】ゆむぬ だすからん んまり (頼りにならないどうしようもないやつ)。

ゆら [jura] 【名詞】[C] 『魚』小さい魚の名前。

ゆら [jura] 【名詞】[C] (農作業の) 時期、(台風などの) 季節。【例】んみゆら (熟する時期)。かいゆら (刈り取る時期)。ぶーずぶいゆら っていーどー (サトウキビ収穫の時期がきている)。かでいふつゆらん ないていがー あうそうんぬどう うんそうく とうびーふー (台風の季節にあるとトンボがたくさん飛んでくる)。

ゆら [jura] 【名詞】[C] クラゲ、毒クラゲ。【例】ながでいーゆら (毒クラゲ)。

ゆらい [jurai] 【動詞】[r/rr 語幹] [C] 放浪する、迷子になる。【例】かりゃーやまとうん ゆらりー まーりゅーたい (彼は内地に放浪していた)。うぬ っふあー ゆらりどう んまー とうみかにー なきーうたい (その子供は迷子になって、母親が見つけれなくて泣いていた)。やらびゃー ゆらりー ほうりみつっじゃ ひーうい (子供は迷子になってパニックになっている)。

ゆらう [jurau] 【動詞】[b 語幹] [A] (名前を) 呼ぶ、来いという ; (会などに

人を) 招待する。【例】ひとうぬ なーゆ ゆらう (人の名前を呼ぶ)。んまがどう っうあう ゆらびゅー (お母さんがお前を呼んでいる)。ゆーいんかい ひとうー ゆらう (お祝いに人を招く)。

ゆらがす [juragasi] 【動詞】[s/h 語幹] (風などが木などを) ゆらす。 [変異] ゆるがす。

ゆらき [juraki] 【動詞】[母音語幹] [C] 譲る。 [変異] ゆるき。

ゆらぎ [juragi] 【動詞】[母音語幹] [A] ゆれる、ゆらぐ。 [変異] ゆるぎ。 [類] ゆりず、ゆりぎ、ゆらず。

ゆらす [jurasi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] 許す。【例】ぬそうどうーぎゃー ゆらはん (泥棒を許さない)。 [変異] ゆるす。 [類] ゆるがす。

ゆらす [jurasi] 【動詞】[s/h 語幹] [C] 揺らす。【例】かでいぬどう きーぬ はーゆ ゆらほうーたい (風が木の葉を揺らしていた)。まんじゅーぎーゆ ゆらひー まんじゅーゆ うたし (パパイヤの木を揺らしてパパイヤの実を落とせ)。 [類] ゆい。

ゆらず [jurazi] 【動詞】[g 語幹] [A] ゆれる、ゆらぐ。 [変異] ゆるず。 [類] ゆりず、ゆりぎ、ゆらぎ。

ゆらつ [juratsi] 【動詞】[k 語幹] [A] 譲る。 [変異] ゆらふ、ゆるつ、ゆるふ。 [類] ゆるき。

ゆらふ [jurafu] 【動詞】[k 語幹] [A]
譲る。 [変異] ゆらつ、ゆるつ、ゆるふ。 [類] ゆるき。

ゆらら [jurara] 【名詞】[C] 放浪者、流れ者。 【例】 やまとうゆらら (内地からの放浪者)。

ゆららす [jurarasi] 【動詞】[s/h 語幹]
行方不明にさせる、迷子にさせる。 【例】
っふあー ゆららひー むいとう し
ば (子供を迷子にさせてしまってとても心配だ)。

ゆらりむぬ [jurarimunu] 【名詞】あちこち落ち着きなく移動する人、流れ者。 【例】 やまとうゆらりむぬ (内地からの浮浪者)。

ゆらりんまり [jurarimmari] 【名詞】流れ者。

ゆりぎ [jurigi] 【動詞】[母音語幹] [A]
ゆれる、ゆらぐ。 [類] ゆりず、ゆらず、ゆらぎ、ゆるず。

ゆりぎ [jurigi] 【名詞】[A] 流木。 【例】
うきぬ ゆりぎぬ すたんな かっち
ゆぬ うい (沖の流木の下にはカツオがいる)。

ゆりず [jurizi] 【動詞】[g 語幹] [A] ゆれる、ゆらぐ。 [類] ゆりぎ、ゆらず、ゆらぎ、ゆるず。

ゆる [juru] 【名詞】[C] (農具等の) 取っ手、柄。 【例】 っざらぬ ゆる (鎌

の取っ手)。 っふあつぬ ゆる (鍬の取っ手)。

ゆるがす [jurugasi] 【動詞】[s/h 語幹]
(風などが木などを) ゆらす。 【例】 か
でいぬどう きーぬ はーゆ ゆるが
ほうーたい (風が木の葉を揺らしていた)。
まんじゅーぎー ゆるがひー ま
んじゅーゆ うたし (パパイヤの木を揺らしてパパイヤの実を落とせ)。 [変異] ゆらがす。 [類] ゆらす。

ゆるき [juruki] 【動詞】[母音語幹] [C]
譲る。 【例】 ゆまん ほうんぬ いち
ゆふんかい ゆるきたい (読まなくなった本をいここに譲った)。 [変異] ゆらき。 [類] ゆるつ、ゆらつ。

ゆるぎ [jurugi] 【動詞】[母音語幹] [A]
ゆれる、ゆらぐ。 [変異] ゆらぎ。 [類] ゆるず、ゆらず、ゆらぎ、ゆりず。

ゆるす [jurusi] 【動詞】[s/h 語幹] [C]
許す。 【例】 うりゅーぎゃー ゆるす
な (そいつを許すな)。 [変異] ゆらす。

ゆるす [jurusi] 【動詞】[s/h 語幹] [C]
ゆれる、ゆらぐ。 [類] ゆるつ。

ゆるず [juruzi] 【動詞】[g 語幹] [A]
ゆれる、ゆらぐ。 【例】 かでいふつん
な きーぬ ゆるず (台風には木がゆれる)。 [変異] ゆりず。 [類] ゆるぎ、ゆらぎ、ゆりぎ、ゆりず。

ゆるつ [jurutsi] 【動詞】[k 語幹] [C]
ゆれる、ゆらぐ。 【例】 うらー ゆる

つていぬ くとうー にゃーん (それが揺れ動くということはない)。[変異] ゆるふ。

ゆるつ [jurutsi] 【動詞】 [k 語幹] [C] (緊張を) ゆるめる。【例】 つむー ゆるつ (心を緩める [リラックスする])。[変異] ゆるふ。

ゆるつ [jurutsi] 【動詞】 [k 語幹] [A] 譲る。[変異] ゆるふ、ゆらふ、ゆらつ。

ゆるふ [jurufu] 【動詞】 [k 語幹] [C] ゆれる、ゆらぐ。【例】 ゆるす [変異] ゆるつ。

ゆるふ [jurufu] 【動詞】 [k 語幹] [C] (緊張を) ゆるめる。[変異] ゆるつ。

ゆるふ [jurufu] 【動詞】 [k 語幹] [A] 譲る。[変異] ゆるつ、ゆらふ、ゆらつ。

ゆるみ [jurumi] ① 【動詞】 [母音語幹] [C] (精神や糸などの緊張が) ゆるむ。[類] ゆるん。② 【動詞】 [母音語幹] [C] (精神や、帯状のものの緊張を) ゆるめる。[類] ゆるん、ゆるます。

ゆるん [jurun] ① 【動詞】 [m 語幹] [C] (精神や糸などの緊張が) ゆるむ。【例】 つむー ゆるん (心が緩む)。[類] ゆるみ。② 【動詞】 [m 語幹] [C] (精神や、帯状のものの緊張を) ゆるめる。【例】 ばー そうくーゆ ゆるまでい (私は帯紐をゆるめよう)。さんしんぬ ちるー ひーちやがま ゆるみ (三線の弦をすこし緩めろ)。[類] ゆるみ、ゆるます。

ゆん [jun] ① 【動詞】 [m 語幹] [C] (本や文字を) 読む。【例】 ほうんぬ ゆん (本を読む)。ばぬんな うぬ ずーや ゆまいん (私にはその字は読めません)。② 【動詞】 [m 語幹] [C] (いくつあるか) 数える; (数を) 数える。【例】 でいんぬ ゆん (お金を数える)。かうー ゆん (線香を数える)。っぞうー いふから あいがていー ゆみ (魚が何匹あるか数えろ)。とうーたーひー ゆみ (10まで数えろ)。③ 【動詞】 [m 語幹] [C] (話を) する、(おしゃべりを) する。【例】 むぬー ゆん (おしゃべりする)。むぬいゆ ゆん (おしゃべりをする)。ひとうから つきやー はなっそうぎやー ゆんな (人から聞いた話をするな)。くぬいや んきやーん ばなっそう ゆん ひとうー みーん (近頃は昔話をする人がいない)。④ 【動詞】 [m 語幹] [C] 駄々をこねる [「むぬー ゆん」の形で現れるのが普通]。【例】 まーぬ むぬーぎやー ゆまだうり (あまりだだをこねるな)。んまが はいんかいてい あすきやー やらびやー むぬー ゆみんきゆー (お母さんが畑に行こうとすると子供は(行くなど) 駄々をこねている)。なかさん うとうがま ゆまさん うとうがま (弟よ、泣かさないよ、駄々をこねさせないよ [「ちゃんとお守りをするので泣いちゃだめ、駄々こねちゃダメ」という意味の子守歌 [古謡「東里真中(あがいじゃとうんなか)」から])。⑤ 【動詞】 [m 語幹] [C] (願いを) 唱える、祈願す

る。【例】ふつゆん（口で唱えながら祈願する）。かんかいぬ にがいゆ ゆん（神への祈願を唱える）。

ゆん [jun] 【名詞】 [B] 弓。 【例】ゆ

んぬ ひつ（弓を引く）。

ゆんぶに [jumbuni] 【名詞】あばら骨（弓の様になっている骨）。 [類] あばらぶに。

よ

よーんている [jo:ntiru] 【成句】『祭礼』「裕福を満たせ」という意味の祈願の言葉。 [変異] ゆーんている。

よーんなー [jo:nna:] 【副詞】 ゆっくりと、音を立てずしずかに。 【例】 むぬーぎゃー よーんなー ふあい (食事はゆっくりと食べなさい)。 やらびゃー にっぐゅーば よーんなー あい

き (子供が寝ているからしずかに歩け)。

[類] よーんなーなー。

よーんなーなー [jo:nna:na:] 【副詞】 ゆっくりと、音を立てずしずかに。 [類] よーんなー。

よちり [jotçiri] 【名詞】 [C] 役にたつこと、使い道。 [変異] ゆちり。

ら

らく [raku] 【名詞】 [B] 楽。 【例】 らく ほうでい (楽をしよう)。

り

りす [risi] 【名詞】 [B] 金利。 【例】で いんぬ りっさ たかかいば ならん
(金利が高すぎる)。

ろ

ろくまく [rokumaku] 【名詞】肋膜炎。

【例】ろくまく一ひー すんたい（肋膜炎で亡くなった）。

わ

わー [wa:] 【名詞】 [C] 豚。【例】ばんていが やーんな わーゆ つかない うたい（我が家では豚を飼っていた）。

わーかう [wa:kau] 【形容詞】 不気味で怖い；危険だ。【例】かまー わーかう どうくま（向こうは怖いところだ）。うまー わーかうかいば うまんかい いかだうり（そこは危ないからそこにはいくな）。

わーくらしや [wa:kuraɕa] 【名詞】 豚の屠殺人。 [類] わーしゃー。

わーくらすかんにがい [wa:kurasikannigai] 【名詞】 『祭礼』 人の身代わりに豚の命を神に捧げる祈願。【例】 ーがまん わーくらす かにがい あすたい（ーガマで豚を命の身代わりとする祈願をした [ーガマはヒダガーの西側]）。 [変異] わーくらすがんにがい。

わーくらすがんにがい [wa:kurasigannigai] 【名詞】 『祭礼』 人の身代わりに豚の命を神に捧げる祈願。 [変異] わーくらすかんにがい。

わーしゃー [wa:ɕa:] 【名詞】 豚の屠殺人。 [類] わーくらしや。

わーじゃう [wa:zau] 【名詞】 豚肉の好きな人。

わーつつ [wa:tsitsi] 【名詞】 天気。【例】 きゅーや じゃう わーつつ（今日は良い天気だ）。ん[°]ぬー やな わーつつどう あたい（きのうは悪い天気だった [天気が悪かった]）。きゅーや ひとつむていから あみふー わーつつ（今日は朝から雨降り天気だ）。

わーつな [wa:tsina] 【形容詞】 無礼な、傲慢な。【例】 からー むいとうぬ わーつなんまり（あいつはとても無礼な奴だ）。

わーない [wa:nai] 【名詞】 くちげんか。【例】 うぬきやが とうずぶとうー いつまい わーない あっさ すかま（その夫婦はいつもけんかをすることは日常茶飯事だ）。 [類] やどうゆん、わーないやどうゆん。

わーないやどうゆん [wa:nai-jadujun] 【名詞】 くちげんか。 [類] わーない。

わーにむん [wa:nimun] 【名詞】豚の煮物。【例】さうがつんな わーにむんぬ ふあう（正月には豚の煮物を食べる）。

わーぬたうに [wa:nutauni] 【名詞】豚のエサ入れ。

わーぬっし [wa:nuççi] 【名詞】豚小屋。【類】わーぬやー。

わーぬやー [wa:nuja:] 【名詞】豚小屋。【類】わーぬっし。

わーばん [wa:ban] 【名詞】「名詞＋{ぬ・が}」や「節＋ぬ」の後ろについて「～だけでなくその他に、～の上に」を表す。【変異】あーばん。

わーび [wa:bi] 【名詞】[A] 上、高い方；上座；上級。【変異】あーび。

わーぶり [wa:buri] 【形容詞】馬鹿だ、馬鹿な。【例】あいぬ わーぶり むぬいゆぎやー あいな（そんな馬鹿な話はするな）。わーぶりんまりやー たきやー ひらいん（バカな性分の奴は相手にできない）。

わーら [wara] 【名詞】[A] 上の方；上座。【例】やーぬ わーらんどう たかぬ とうびゆー（家の上の方にサシバが飛んでいる）。やまぬ わーらなぎゆー みーる（山の上のほうを見ろ）。そうじゃたー わーらんかい いかまてい（先輩方は上座の方にいらしてください）。【類】あーぎ。

わいていー [waiti:] 【副詞】しっかりと、一生懸命に。【例】うなが はだんな わいていー かないー とうず つふあうぎやー つかなーだかーならん（自分が生きている間にはしっかりと働いて妻子を養わないとならない）。うたきぬ うだいゆぎやー わいていー かなーでい（御嶽の役割はしっかりと果たそう）。わいていー んびやう（一生懸命に我慢する）。じょー やびとーんーな わいていー そうるきーみーでい（さあ、みんな元気よく頑張ろう【<頑張ってみよう】）。

わいる [wairu] 【名詞】[C] 賄賂。【例】わいるーひや ならん（賄賂をしては駄目だ）。【類】かまい。

わざしやー [wazaça:] 【名詞】技巧派。【例】かぬ すまとうらー やぐみ わざしやー（あの相撲取りは凄い技巧派だ）。

わだち [wadatçi] 【名詞】[C] 轍（わだち）。

わちゃく [watçaku] 【名詞】[C] いたずら、悪さ、意地悪、邪魔。【例】ひとうんかいや がいっじゅまい わちゃくーまい ほうん（他人には害もするな、悪さもするな）。あいや ひとうーぎやー わちゃくーぎやー ほうん（そんなには人に意地悪しない【<人を】）。まーぬ ばぬんかい わちゃく あすな（あまり私に悪さをするな）。まーぬ ば

ぬー わちゃく あすな (あんまり私
を邪魔するな)。

わちゃくんまり [watçakummari]
【名詞】いたずらもの。

ん

ん [n] 【助詞】『格助詞』（場所を表す名詞について）位置、目標を表す、「に」；（場所を表す名詞について）動作が行われる場所、イベントがある場所を表す、「で」；（時間を表す名詞について）時点を表す、「に」；（人を表す名詞について）与格を表す、「に」；（人を表す名詞について）受け身、使役の動作主を表す、「に」。

【例】くるーぎゃー んじゃん
うつつぼどう じゃうかい（これはどこに置けばいいの）。うまん まちゅーき（ここで待っていてくれ）。しがつん みゃーくずまん とらいあするんぬ あい（4月に宮古島でトライアスロン大会がある）。さんじん さーりがくーでい（3時に迎えに来るよ）。か
いんな ゆーていないん いじゃいたい くとうぬ あい（あの人には3年前にあったことがある〔数えで数えるので「ゆーていない（4年前）」は共通語では3年前、「ん」はなくてもよい〕）。か
にゃー ばいさー ひー んまん
んみかいたい（カニは悪いことをしてお母さんに叱られた）。うるーぎゃー
たるがなーん あすみる（それは誰か他の人にやらせろ）。

ん [n] 【接尾辞】否定形をつくる。母音で終わる動詞の語幹について単純否定を表す〔「みー（見る）＋ん＝みーん」、
「いび（植える）＋ん＝いびん」〕。語幹が子音で終わる動詞は、未然形に「ん」を加える。意志否定は「ん」のかわりに「じゃーん」を付ける：例「みーじゃーん」「いびじゃーん」、「かかじゃーん」。

んー [n:] 【副詞】沢山。【例】みーつぬ
ん°なう ゆいー がばー ん°なう
なう（3本の縄を編んで太い縄をな
った）。うぬ くばずーぬ ん°な
まるかいば みっじゃ ん°まいん（こ
の釣瓶の縄は短いので水は汲めない）。
ぶーずたうすぬ ん°なう なう（サト
ウキビ収穫用の縄をなう）。ぶーずたう
すたーひんな ん°なー ないうとうい
つかーだかーならん（サトウキビの
収穫までには綱をなっておいて使わな
いといけない）。

んー [n:] 【動詞】[mm 語幹] [C]（果物
などが）熟する。【例】ぬーまう ひ
んがんやうんていー ん°なず（馬を逃
げないように繋ぐ）。くまぬ ぎすつん
ぬーまぬ ん°なう ん°なぎゅーき

(ここのススキに馬の綱を繋いでおけ)。

んー [n:] 【動詞】 [mm 語幹] [A] 紡ぐ。

んー [n:] 【動詞】 [mm 語幹] [C] おできが中の膿が出せる程に化膿している、膿む。【例】ん°ぬ みゃーくん つふたい (昨日宮古に着いた)。つう° あーん°ぬ なうゆどう ほうーたー (昨日は何をしていたの)。

んー [n:] 【動詞】 [mm 語幹] [A] (雨などに) 濡れる。【例】つーび ん°ぬ がんぬ とうい (交尾しているガザミをとる)。いんぬ あいきゅーきゃーん°ぬ がんぬ ん°ん (海 (の浅瀬を) を歩いていた時にノコギリガサミを踏んだ)。

んー [n:] 【名詞】 [B] 芋。【例】ん°むぬ いでいっちゅー (雲がでてきた [く出てきている])。

んーぎー [n:gi:] 【名詞】 芋づる。【例】ていんぬ ん°むまい きーぬ ん°むまい ゆぬ ん°む (天の雲も木の蜘蛛も同じ「くも」だ)。[類] くーむや。

んーぎーなます [n:gi:namasɪ] 【名詞】 『祭礼』 祭礼の時大型ブダイの代わり使う芋の葉の和え物。【例】っしん°ん (潮干狩り [くリーフを踏む])。ん°んはっじゃき (踏み外す)。びゅーいびとうぬ まーっさ ん°まだ あいきゅー (酔っ払いがふらついて歩いている)。んたう ん°ん (土をこねる)。

んーく [n:ku] 【名詞】 [B] 濃。【例】くच्चゅ ん°ん (靴を履く)。あっちゃう ん°ん (下駄を履く)。なうや ん°まん っさぱずひー やまんかい はいりー いつたい (何も履かない裸足で山に入っていった)。うぬ やらびぬ くつぬ ん°んかたー ぐーはん (その子の靴の履き方は左右反対だ)。

んーくず [n:kuzi] 【名詞】 芋の澱粉 [夏場の芋の沢山取れる時期に、芋を擦った物を布袋に入れて汁を絞り、沈殿させた物、夏にぜんざいを作る材料。【例】ふにぬ あかまう ん°み (船底に溜まった水を汲め)。くばずーひー みっじゅ ん°ん (釣瓶で水を汲む)。みっじゅ ん°みー くー (水を汲んで来い)。

んーさ [n:sa] 【形容詞】 [C] 似たような、同じような。[類] ん°んたーぐー、ん°んたーぐーたー。

んーしぬ [n:ʃinu] 【連体詞】 よく似た (もの、人) ; 似た者 (夫婦)。【例】うりゅーぎゃー ん°んたー ぐーたー あっそう (それを踏みつぶせ)。いっちやー っさん むぬいゆ あい ひとつぎゃー ん°んたーぐーたーや ひー いちゃまし (筋の通らないことを言う人を責めてやっつけろ)。[類] ん°んたー、ん°んたーぐーたー。

んーじゃに [n:ʒani] 【名詞】 乾燥イモ、冬の食用に芋をを3ミリ位の厚さ

に切って干したもの。〔類〕ん°んたー、ん°んたーぐー。

んーす [n:si] 【動詞】[s 語幹] [A] 似ている。〔類〕ん°んびつ、ん°んびふ。

んーす [n:si] 【動詞】[s/h 語幹] [A] 似ている。【例】いんぬ っそー ん°んびきーにゃーん（犬の糞を踏んづけてしまった）。くるまん ん°んびかいにゃーん（車にひかれた）。〔変異〕ん°んびふ。〔類〕ん°んびき。

んーす [n:si] 【動詞】[s/h 語幹] [A] のせる。〔変異〕ん°んびつ。〔類〕ん°んびき。

んーずん [n:zin] 【動詞】[m 語幹] 山積みする。【例】ばぬんたーな まーぬ んー むちやすな（私にだけ余り沢山持たすな）。

んーずん [n:zin] 【動詞】[m 語幹] 山積みする。〔類〕んみ。

んーた [n:ta] 【名詞】[C] 木の実。【例】ぶーゆ んー（芋麻を紡ぐ）。〔類〕んみ。

んーだみにがい [n:daminigai] 【名詞】〔祭礼〕イモがたくさんできるように行う祈願、五穀豊穰のねがい。【例】ふがさぬ んー（おできが濃む）。〔類〕んみ。

んーだり [n:dari] 【名詞】芋のお粥。〔類〕んみ。

んーつ [n:tsi] 【名詞】[A] 〔数詞〕六つ。【例】んーぬ ふあう（芋を食べる）。みゃーんー（ほくほくした芋）。んーな ふたうず あり（芋は2個ある）。

んーでい [n:di] 【感動詞】〔応答詞〕（同年齢または年下に対する返事）うん、そうだ。【例】んーぎーや あうたん なりー ういー はやいー どうーい（芋のつるは青々と生えて蔓は伸び繁っている）。んーぎーぬ はー（芋づるの葉っぱ）。んーぎーゆ いび（芋づるを植える）。

んーていーまい すんていーまい [n:ti:mai sinti:mai] 【成句】うんともすんとも、音沙汰がない。〔類〕ぶーたなます。

んーでいだーら [n:dida:ra] 【名詞】なんでも言うことを聞く人、イエスマン。【例】ほうがさー んみーどーらば んーくー あーし（おできは赤く化膿しているので濃を出せ）。

んーでいだーり [n:didari] 【名詞】なんでも言うことを聞く人、イエスマン。【例】んーくずひー ぜんざいゆちゅっふ（芋くずでぜんざいをつくる）。んーな かなひー ひぎー んーくっじゅ とうい（芋を下ろし金で薄く削って芋の澱粉を取る）。

んーでいだーりや [n:dida:rja] 【名詞】なんでも言うことを聞く人、イエスマン。【例】うぬ ふたーっちゃん

ーさむぬ（この二つは似たようなものだ）。うぬきやが とうずぶとうー んーさむぬ（その夫婦は似た者同士だ）。

んーとう [n:tu] 【オノマトペ】 苦しくて唸るときの声、うんうん、うーん、うー。【例】 んーしぬ やーぬどう ならびゆー（似たような家が並んでいる）。んーしぬ っざっふあ（よく似た父子）。んーしぬ とうずぶとう（お似合いの夫婦）。

んーな [n:na] 【名詞】 [C] みんな、全員、全部。【例】 ふゆんな なつん ちゅっふやー んーじゃにゆー ふあう（冬には夏に作っておいた乾燥芋を食べる）。

んーなか [n:naka] 【名詞】 芋畑。【例】 ういとう くいとうや むいてう んーしーどー（それとこれとはよく似ている）。うぬきやが っざっふあー ゆーどー んーしーゆー（その父子はよく似ている）。[類] んーす (s/h 語幹)。

んーに一なび [n:ni:nabi] 【名詞】 芋を炊く鍋。[類] んーす (s 語幹)。

んーぬ かー [n:nu ka:] 【名詞】 芋の皮。[類] ぬーす (s 語幹)。

んーぬい [n:nui] 【名詞】 芋のおにぎり。【例】 ばしゃんかい ぶーっじゅ んーずん あっそう（荷馬車にサトウキビを山積みする）。

んーぱ [n:pa] 【感動詞】 『応答詞』 いやだ。【例】 ばしゃんかい ぶーっじゅ

んーずん あっそう（荷馬車にサトウキビを山積みする）。

んーばとう [n:batu] 【名詞】 『昆』 コガネムシの幼虫。【例】 ばんつぎーぬ んーた（桑の実）。むきやうんーた（グミの実）。かにゆーんーた（山ブドウの実）。

んーぶ [n:bu] 【名詞】 [C] へそ。

んーぶら [n:pura] 【名詞】 『道具』 芋掘り用の棒、潮干狩りにも使う。【例】 くぬ んーだりやー やぐみ かただり（この芋のお粥はこってりしている）。んーな むみー んーだりゆー ちゅっふあでい（芋を手で練って芋粥をつくらう）。

んーむつ [n:mutsi] 【動詞】 [c/t 語幹] 背負い込む。

んがーい [ŋgai:] 【動詞】 [母音語幹] 逃れる、まぬがれる。【例】 んーでい だら（そうなんだよ）。んーでい っづあが あいが にやーん（うん、おまえの言う通りだ）。A: うらー とうぬか? B: んーでい（A: それは卵かい B: うん、そう）。A: っづあー あちゃー っさらんかい? B: んーでい（A: 君は、明日平良に行くの B: うん）。

んがーい [ŋgai:] 【動詞】 [r/rr 語幹] 逃れる、まぬがれる。【例】 かいからー んーていーまい すんていーまい なうていーまい にやーん（あいつからはうんともすんとも言ってこない）。

んがーす [ŋga:si] 【動詞】 [s/h 語幹]
逃す；ゆるす。【例】うむくとうーに
やーん んーでいだーら（自分の考え
のないイエスマン）。からー んでいだ
ーら やいば なうていー あっじゃ
ばんまい んーでい、えー、おーてい
どう あいだ（あいつはイエスマンだ
から、なんと言っても、はい、えー、そ
うですと言った）。うまぬ かいしゃぬ
やくいんな しゃちょうんかい ん
ーでいだーら（この会社の役員たち
は社長のイエスマン [＜社長にイエス
マン]）。うりやー あいていー あす
ていがー あい、かいていー あすて
いがー かいていぬ んーでいだーら
（あいつは、こうと言ったら、こう、あ
あとと言ったら、ああとというイエスマン
だ）。[類] んーでいだーり、んーでいだ
ーりや。

んがーらす [ŋga:ra:si] 【動詞】 [s/h 語
幹] 逃す、ゆるす。 [類] んーでいだ
ーら、んーでいだーりや。

んかい [ŋkai] 【動詞】 [母音語幹] [A]
迎える、案内する。 [類] んーでいだ
ーり、んーでいだーら。

んかい [ŋkai] 【名詞】 [A] 迎え。【例】
かりやー かなまいや やみどう む
いとう んーとう んなりゆーたい（彼
は頭がいたくて、ひどく「うんうん」う
なっていた）。

んかい [ŋkai] 【名詞】 [A] （人の）向
かい側、（家などの）向かい側。【例】

やびとうーんーな がんじゅーやひー
うらまいんなー（皆さんお元気でい
らっしゃいますか）。んーなが なかん
な んながーんな ういがどう じゃ
うかい（みんなのなかでこれが一番い
い）。[類] んなない。

んかい [ŋkai] 【助詞】 《格助詞》（場所
を表す名詞について）位置、目標を表
す、「に」；（人を表す名詞について）与
格をあらわす、「に」。

んがい [ŋgai] 【動詞】 [C] 抜かれる。

んかいかでい [ŋkaikadi] 【名詞】 向
かい風。

んかう [ŋkau] 【動詞】 [w 語幹] [A] 迎
える。【例】 んーぬいゆ ふあう（芋
のおにぎりを食べる）。んーぬいゆ ん
ない（芋のおにぎりを握る）。

んかう [ŋkau] 【動詞】 [w 語幹] [A]
（手を）差し出す、向う。【例】 ばー
んーば、うまんかいや いかじゃーん
（私はいやだ。そこには行かない）。[類]
んば、あかんば、あかふそう。

んがす [ŋgasi] 【動詞】 [s/h 語幹] [C]
逃す；ゆるす。

んがっらす [ŋgarrasi] 【動詞】 [s/h 語
幹]（液体を）掻き回す；（まとまりなど
を）掻き乱す。【例】 ながんーぶ（長
いへそ）。

んがます [ŋgamas] 【形容詞】 やかま
しい、うるさい。【例】 んーぷらひー

しなう とうい (芋掘り棒でハマグリをとる)。

んがらす [ŋgarasi] 【動詞】 [s/h 語幹] (液体を) 掻き回す; (まとまりなどを) 掻き乱す。【例】 たうかーひー ー んーむつ (一人で背負い込む)。

んき [ŋki] 【接尾辞】 (動詞基本形について相互動作、複数動作、連続動作を表す) ~お互いに~し合う、みんなで~する、(一人が) ずっとする。【例】 くーすかまから ー んがーい (きつい仕事から逃れる)。くーさぬ みゃーくから ー すんな ー んがーい (苦しい現世からは死ぬことが (苦から) 逃れること)。
[類] んがーい (r/rr 語幹)。

んぎ [ŋgi] 【動詞】 [母音語幹] [C] 動詞の否定連用形「~だ」について、「~なくなる」を表す。 [類] んがーい (母音語幹)。

んぎ [ŋgi] 【名詞】 [B] 『植』 アダンの木。 [変異] んがす、んがーらす。

んきー [ŋki:] ① 【助詞】 名詞について、「目的地に行つて (~する)」を表す [「いきー」を伴うこともある]。【例】 んがーらひー ふいーさまてい (ゆるして下さい)。ぎんとうどう つづあが うるー ひーやーていがー つづあうぎゃー んがーらはん (もしもあなたがそれをやったとしたらあなたを許さない)。
[変異] んがす、んがーす。② 【助詞】 動詞基本形について、その動作の

程度が多いこと、あるいはその結果を表す、「~して (~する)」、「とても~して」。【例】 どうっそう んかいが (友達を迎えに (行く))。しーしーゆ かまんかい んかい (先生をあちらに案内して差し上げろ)。
[類] んかう。
③ 【接尾辞】 (動詞基本形について相互動作、複数動作、連続動作を表す) ~お互いに~し合う、みんなで~する、(一人が) ずっとする。【例】 うくいとう んかい (送りと迎え)。

んぎゃ [ŋgja] 【形容詞】 [B] 苦い。【例】 ばが んかいん びじ (私の向かいに座れ)。ばが やーや くぬ まっちやぬ んかいんどう あい (私の家はこの店の向かい側にあります)。

んぎゃー [ŋgja:] 【オノマトペ】 赤ん坊の泣き声、おぎゃー。【例】 あがいんかい (東に)。うつなーんかい (沖縄に)。やらびゃー んまぬ あらんかい いでいでいー あすていがー いつまいがーんない (子供は母親が外出しようとしたら、いつも駄々をこねる)。きばんかいば うむくとう あらばんまい あーぎぬ がっこーんかいや いかはいん (貧乏なので 学力があったとしても 上の学校には 行かせられない)。ばぬんかい うるー ふいーさまてい (私にそれをください)。
[類] ん。

んぎゃーす [ŋkja:si] 【動詞】 [s/h 語幹] (人を互いに) 向かい合わせる。
[変異] ぬがい。

んきやーん [ŋkja:n] 【名詞】昔。

んきやーんあーぐ [ŋkja:na:gu]

【名詞】古謡。 [類] んかい。

んきやーんじゆく [ŋkja:nzuku]

【名詞】金言、格言、諺。 [変異] んきやう。

んぎやい [ŋgjai] 【名詞】[B] 胆嚢。

[変異] んがーす、んがーらす。

んきやう [ŋkjau] 【動詞】[w 語幹][A]

(手を)差し出す、向う。 [変異] んぎやらす。

んきやぎ [ŋkjagi] 【動詞】[母音語幹]

[A] 召し上がる。 【例】 んがますんまり (うるさい奴)。 [変異] んぎやます。 [類] やがます。

んぎやつらす [ŋgjarrasi] 【動詞】[s/h

語幹] (液体を) 掻き回す; (まとまりなどを) 掻き乱す。 [変異] んぎやらす。

んきやでい [ŋkjadi] 【名詞】[B] ム

カデ。 [変異] んきー。

んきやふ [ŋkjafu] 【名詞】[B] 《食》海

ブドウ。 【例】 くぬいや んめ みんまい つかいだ んぎーにやーん (最近はまだもう耳も聞こえなくなった)。ばーくじゆから さきゆー んまだ んぎにやーん (私は去年から酒を飲まなくなった)。くぬいや んめ おとーりやー ほうだ んぎーなりーにやーん (最近はおとーりはやらなくなりました)。 [類] んず。

んぎやます [ŋgjamasi] 【形容詞】や

かましい、うるさい。 【例】 んぎやまー まーりどう あだなっそう とういったい (アダンの木の山を回って気根を取ってきた)。 [類] あだんぎー。

んぎやらす [ŋgjarasi] 【動詞】[s/h 語

幹] (液体を) 掻き回す; (まとまりなどを) 掻き乱す。 【例】 っぐあ どうるびーたかいば かーんきー あらいくー (お前は泥だらけだから井戸で洗って来い)。ばー すかまんきー でいんぬ ぶいくーでい (私は仕事に行つて、お金をかせいで来よう)。っさらんきー いきー そうぼう ふあーでい (平良に行つてそばを食べよう)。

んくん [ŋkun] 【動詞】[m 語幹][A] 力

む。 【例】 やらびやー んぬーゆみんきー ぎっじゃひらいん (子供は駄々をこねていうことをきかすことができない)。んまんかい すがりんきー がんない (母親に縋り付いて駄々を捏ねる)。かばんかい つんぬ ばいんきー いる (カバンに衣類を詰め込め)。

んげ [ŋge] 【感動詞】しまった、困った。

【例】 まさいとう かにやー ったつんきーうたい (マサイとカニは殴りあっていた)。うぬきやが とうずぶとうー かなすんきーうたい (その夫婦は愛し合っていた)。みーつきんきーうたい (にらみあっていた、みつめあっていた)。かりやー いつがみまい なつんきーうたい (彼はずっと泣いていた)。

んなない ばらいんきー うたい (みんな笑いあっていた)。すまとうらたー ちゃんこなびゆー ふあうんきー うたい (相撲取りたちはちゃんこなべをたらふく食べていた)。**[変異]** んき。

んげーしまい [nge:ɕimai] **【感動詞】**

しまった、困った。【例】っそういや んぎゃむぬ (薬は苦い)。がうらー んぎゃ (ニガウリは苦い)。

んさ [nsa] **【形容詞】** [B] 良い、構わない。

【例】あかつづあぬ んぎゃーていー なつ (赤ちゃんがおぎゃーと泣く)。

んさぐ [nsagu] **【名詞】** [C] **【蔑称】** 乞食、身分の低い人 [＜昔の役人の奴隷]。

【例】すまう とうい とうきやんな ふたーいゆ まず んきゃーす (相撲を取るときには二人を先ずは向い合せる)。

んし [nɕi] **【名詞】** [B] 背負い投げ。

【例】んきゃーん ばなす (昔話)。んきゃーんな きばん あたいそうが んなまー うやき (昔は貧乏だったが今は金持ちだ)。ばんちゃー んきゃーんな きばんかいば ならっだん (私たちは昔はとても貧乏だった)。

んし [nɕi] **【動詞】** [母音語幹] [A] (鍋などをかまどなどに) かける；炊飯器のスイッチを入れる。

んじゃ [nza] **【名詞】** [C] **【蔑称】** 下司、奴隷、昔身分の低かった人、下男、

下人、人を蔑む時に使う言葉の一つ。

【例】んきゃーんじゅくー やぐみむぬ (格言は素晴らしい)。「やー ならいや ほうか ならい」、くらー んきゃーんじゅく (「家庭での躾けは大切 [＜家の教育は外の教育だ]」、これは諺だ)。

んじゃ [nza] **【名詞】** [C] **【疑問詞】** 場所を尋ねる疑問詞、どこ。

【例】んぎゃいや んぎゃかいば とうい すていいる (胆嚢は苦いので取って捨てなさい)。

んじゃうな [nzauna] **【形容詞】** 残念な、残念だ；かわいそうな、かわいそう

だ。【例】くまんかい ていーゆ んきゃーし (ここに手を差しだしなさい)。ふにゃー うつなーんかいどう んきゃいーゆー (船は沖縄に向かっている)。**[変異]** んかう。

んじゃどうーす かまどうーす [nzadu:si kamadu:si] **【成句】** あちこち、方々。

【例】なまっそう んきゃぎさまでい (刺身を召し上がって下さい)。

んじゃとううたき [nzatuutaki] **【名詞】** **【祭礼】** 西原集落の北東にある御嶽。

[変異] むぎやらす。

んじゃみ [nzami] ① **【動詞】** [母音語幹] [A] 目が覚める。

【例】んきゃでいん かまいていがー いちゃむぬ (ムカデに噛まれたら痛い)。んきゃでいん ささいーにゃーん (ムカデに刺された)。

② **【名詞】** [B] 寝覚め。

んじゃん [nzan] 【動詞】[m 語幹] [A] 目が覚める。【例】んぎやます やらびんみ（うるさい子供たち）。[変異] んがます。[類] やがます。

んじゅあん [nzuan] 【名詞】《道具》袋網。 [変異] むがらす。

んじゅかす [nzukasi] 【動詞】 [s/h 語幹] 見逃す、許す。【例】わいていー んくまだかー つふあー なさいん（うんと力まないと子供は産めない）。[類] ゆくん。

んす [nsi] 【動詞】 [s/h 語幹] [A] （鍋などをかまどなどに）かける；炊飯器のスイッチを入れる。 [類] んげーしまい。

んす [nsi] 【名詞】 [A] 北、西原の後方（北）。 [類] んげー。

んす [nsi] 【名詞】 [A] 右。【例】ういがどう んさはず（それが良いはずだ）。うい やらばんまい んさ（それでもよい [> 構わない] ）。たかからば んさていぬ くとうー にゃーん（値段が高いからと言って良いと言うわけではない）。ういどう んさかい（それがいい）。[類] じゃう。

んす [nsi] 【形容詞】 [A] 肥沃な。

んず [nzi] ① 【動詞】 [g 語幹] [C] 追ひ抜く、追い越す。 [変異] にし。② 【動詞】 [g 語幹] [C] 先回りする、気持ちを讀む。[類] んす。

んず [nzi] 【動詞】 [g 語幹] [C] 動詞の否定連用形「～だ」について、「～なくなる」を表す。【例】やなんじゃ（駄目なやつ）。くぬんじゃ（このゲス野郎）。[類] またぎす。

んず [nzi] 【動詞】 [g 語幹] [C] 脱ぐ。【例】んじやなぎ（どこら辺）。つづあー んじゃんかいが（お前はどこに（いくの）か [出会ったときの挨拶] ）。うらー んじゃんまい かーいどうす（それはどこでも買えるよ）。んじやう とうみばんまい にゃーっだん（どこを探してもなかった）。[変異] いじゃ。[類] いや。

んず [nzi] 【動詞】 [g 語幹] [C] （刺さっているものを）抜く；（歯を）抜く。【例】ばー くじゅ ぶとうー すなひー んじやうなかいば ならっだん（私は去年夫を亡くして残念でならなかった）。ういびとう なりー くすまい ぶりー んじやうなかいば ならん（年取って腰も曲がって残念でならない）。くぬいぬ ばかむぬんみゃー すまぬ むぬいゆまい っさんば んじやうなむぬ（近頃の若者には方言がわからないから、かわいそうなものだ）。

んず [nzi] 【名詞】 [C] 刺。【例】やらびゆー んじやどうーす かまどうーす とうみー まーいたい（子供をあちこち探し回った）。[変異] いじゃどうーす かまどうーす。

んずーつん [nzi:tsin] 【動詞】 [m 語幹] 沢山積み込む。

んずぎ [nzigi] 【形容詞】 [B] 見苦しい、美しくない。

んずぎや [nzigja] 【名詞】 [C] 醜い奴、不美人。

んすでいー [nsidi:] 【名詞】 利き手、右手。【例】 やらびゃー んなーぎゃー んじゃまん (子供はまだ寝覚めない)。

んすぬかー [nsinuka:] 【名詞】 『地名』 ンスヌカー、西原の北西にある大浦湾に流れ込む湧水のでるところで、以前は生活のための取水や洗濯などのために使われていた。ヒダガーから北に100m位離れたところにある。

んすばい [nsibai] 【名詞】 土の肥えた畑。【例】 ぬそうどうぎゃー んじゅかはん (泥棒は見逃さない)。

んすむら [nsimura] 【名詞】 『地名』 西原。【例】 んーなびゅー かまどうんかい んす (いも鍋をかまどにのせる)。まいや すいはんきんかい んしーだー (米を炊飯器にかけた [> 米を入れてスイッチを入れた])。 [類] んし。

んそう [nsu] 【名詞】 [B] 味噌。【例】 んすぬ そうく ばい (北の低地にある畑)。

んそうだりかずつ [nsudarikazitsi] 【名詞】 味噌煮込み [味噌を水に溶かし、

芋ずるの葉や刺身などを入れた煮込み汁。ウニの色に似ているのでこう呼ばれる]。【例】 んすでいー (右手)。んす なぎ (右の方面)。

んそうな [nsuna] 【名詞】 [B] みそ菜。【例】 んすばい (肥沃な畑)。くぬ んすばいんな むぬぬどう ゆー でいきー (この肥沃な畑では作物がよくできる)。

んた [nta] 【名詞】 [B] 土。【例】 かぬ にゅーふたらー んめ んがいにゃーん (あの足の遅いやつはもう追い抜かれた)。とうばひー まうきゃーぬ ひとつー んがし (早く走って前の人を追い越せ)。 [変異] ぬず。

んだい [ndai] ① 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] (傷が) 化膿する。 [変異] ぬず。 ② 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] (本などを) 破る、(機械などを) 壊す。【例】 ばー ういびとう なりどう ひとつぬ むぬいや つかいだ んぎゅー (私は年取って人の話が聞こえなくなっている)。ふにゃー みーらいだ んぎーにゃーん (船は見えなくなった)。 [変異] んぎ。 [類] なりゅー。

んだい [ndai] 【名詞】 [C] 化膿した傷。【例】 っうあが っふすーつんぬ んぎーみーる (お前の汚いきものをぬぎなさい)。

んだいむぬ [ndaimunu] 【名詞】 傷物。【例】 うぬ かにふっじゅ んぎ (この釘を抜け)。はーゆ んぎ (歯を抜

け)。ベー うりゅー んぎーふいーる
(おい、それを抜いてくれ)。

んたう [ntau] 【動詞】[b 語幹] [C] 指
先でもてあそぶ、いじくる；やっつけ
る。【例】んっじゅ んず (刺を抜く)。
んずぬどう はずんかい くまりーに
ゃん (刺が足に刺さった)。

んたす [ntasi] 【動詞】[s/h 語幹] [C]
満たす。【例】にーゆ ばしゃんかい
んずーつん (荷を馬車に沢山積み込
む)。

んたつ [ntatsi] 【動詞】[k 語幹] [A]
背伸びする。【例】んずぎ やままゆ
(醜い山猫 [不美人の比喩])。

んたふ [ntafu] 【動詞】[k 語幹] [A] 背
伸びする。

んち [ntçi] 【動詞】[母音語幹] [C] 沢
山ある、大勢いる。

んち [ntçi] 【動詞】[母音語幹] [C] (容
器が) いっぱいになる；(おなかが) い
っぱいになる；(潮が) 満ちる；たくさ
んある；おおぜいいる。【例】やらび
ゃー んすぬかーん うーっふいーに
ゃーん (子供はンスヌカーで溺れた)。

んちや [ntça] 【感動詞】『応答詞』そう
だ。【例】ゆきだき ばいや やぐみ
んすばい (横竹畑はとても土が肥え
ている)。

んちやがい [ntçagai] 【動詞】[r/rr 語
幹] 潮が満ちる。

んちやがい じゅー [ntçagai
zu:] 【名詞】満潮、上げ潮、満ち潮。

【例】なまんそう (まだ熟成していない
味噌)。んそうだり (味噌煮込み)。

んちやみ [ntçami] 【動詞】[母音語幹]
[A] 収める、片づける；捕まえる。

んちやん [ntçan] 【動詞】[m 語幹] [A]
収める、片づける；捕まえる。【例】ん
そうなー やーらむぬ (みそ菜はやわ
らかい)。

んつ [ntsi] 【動詞】[c/t 語幹] [C] (容器
が) いっぱいになる；(おなかが) いっ
ぱいになる；(潮が) 満ちる；たくさん
ある；おおぜいいる。【例】っふんた
(黒土)。あかんた (赤土)。んたう む
りやがりやし (土を盛り上がらせる)。

んつ [ntsi] 【名詞】[B] 神酒 (みき)。
【例】ほうがさー んだりーにゃーん
(おできは化膿してしまった)。

んつ [ntsi] 【名詞】[C] 道。【例】ほう
んぬ んだい (本を破る)。くるまー
んだりー どうー ((その) 車は壊れて
いる)。つんな んだりーにゃーん (着
物は破れてしまった)。

んつき [ntsiki] 【名詞】[B] 軒。【例】
うぬ ひでいーや っざらひー ひー
きー んだいん なりーにゃーんむぬ
(このケロイド状の傷跡は鎌で切って化
膿してできたものだ)。[類] ほうがさ。

んつき [ntsiki] 【名詞】[B] (家の) 軒。

んつきゃー [ntsikja:] 【助詞】(「名詞、動詞基本形、動詞基本形+(そう)」について) 比較を表す、～より～の方が。
【例】ふーずきばらんぬ んたう (ほおずきをいじくる)。やらびんな おもちやう んたばし (子供にはおもちゃをいじらせろ)。まさいや かにん んたばい にゃーん (マサイはカニにやつつけられた)。

んつだてい [ntsidi:] 【成句】道に沿って。
【例】みずがみんかい みっじゅ んたし (水瓶に水を満たせ)。

んつつー [nttsi:] 【名詞】味噌汁、おつゆ。
【例】かまう んたきーみーる (向うを背伸びして見なさい)。[変異] んたふ。

んつつーきな [nttsi:kina] 【名詞】おつゆ用しゃもじ。
[変異] んたつ。

んつつさ [ntsissa] 【名詞】道草。
【例】ばー でいんな んち (私はお金は沢山ある)。ひとうぬどう んちゅー (人が大勢いる)。なうまい かまぬ やーんな んちゅー (何でも向こうの家には沢山ある [>向こうの家にはなんでもたくさんある])。[変異] んてい。

んつなか [ntsinaka] 【名詞】道半ば、(道の) 途中 ; (仕事などが) 完成していないこと。
[変異] んてい、んつ。

んつぶさ [ntsifusa] 【名詞】道草。
【例】んちゃ んちゃ あいどう あたい (そうだ、そうだ、そうだった)。

んつみ [ntsimi] 【動詞】[母音語幹] [A] (人を逃げないように) 押さえる ; 押し出す。

んつやっづやしや [ntsijavvjaça] 【名詞】ブルドーザー [<んつ (道) + やっづあしや (壊すもの)]。
【例】んちやがいじゅーぬ そうーや ひゃーむぬ (満ち潮の潮の流れは早い)。

んつん [ntsin] 【動詞】[m 語幹] [A] (人を逃げないように) 押さえる ; 押し出す。
【例】まかいゆぎゃー んちやみる (お椀は片付けなさい)。うぬぬそうどうー んちやみる (その泥棒を捕まえろ)。[類] んちゃん。

んつん [ntsin] 【名詞】[B] ニキビ。
[類] んちやみ。

んてい [nti] 【動詞】[母音語幹] [C] (容器が) いっぱいになる ; (おなかが) いっぱいになる ; (潮が) 満ちる ; たくさんある ; おおぜいいる。
【例】ばたー んていーどうー (腹いっぱいになっている)。んなまー そうーんつ (今は満潮だ)。んなーぎゃー そうーや んたん (まだ潮は満ちていない)。[類] んち、んてい。

んてい [ndi] 【名詞】[A] 『疑問詞』どれ、どっち [人でも物でも可]。
【例】んつがまー ばきーどうー (お神酒が発酵している)。ほうっびゅーいんな んちゅ なかまうたきん ぬん (ホウビユーイでは、お神酒を仲間御嶽

で飲む [ホウツビューイは豊作祈願の祭礼の一つ])。]

んどうら [ndura] 【名詞】 [C] 一番大切なところ、中心部。【例】 んつばた (道端)。やまんつ (山道)。いすぐーんつ (石ころだらけの道)。どうる んつ (泥道)。んつなか (途中)。んっちゅばっしーにゃーん (道を忘れた)。くぬ んっちゃ あたりゅーんむな (この道はあってるか)。

んな [nna] 【名詞】 [B] 綱、縄。【例】 やーぬ んつき (家の軒)。んつきぬ すたぬ まんちゅーぎーゆぎゃー っちゅひー すている (軒下のパパイヤの木を取ってしまえ)。

んな [nna] 【名詞】 [B] サザエなどの巻貝の総称。【例】 やーぬ んつきんな まんじゅーゆぎゃー いびん (家の軒下にはパパイヤの木は植えない)。

んな [nna] 【名詞】 [B] 何もないこと。【例】 っぞうんつきゃー わーぬどう たかだいかい (魚より豚肉の方が値段が高い)。なうんつきゃーまい かいがどう じゃうかい (何よりもあれが良い)。にんぎんな っじんつきゃー ふいーぼどう ほうからすかい (人間は貰うよりも与える方が嬉しい [「っじそうんつきゃー」でもよい])。かんがい んつきゃー ひとつんかい つふぼどう はーかい (考えるより人に聞いたほうがはやい)。みーんつきゃー あす

ぼどう むずかすかい (みるよりやるほうがむずかしい)。

んな一き [nna:ki] 【名詞】 半分。【例】 んつだてい あいき (道に沿って歩け)。

んな一ぎゃー [nna:gja:] 【副詞】 動詞の否定形が後続して、まだ (~ない)。【例】 んなんっつー (具の何も入っていない味噌汁)。んっつー ちゅっふ (味噌汁を作る)。

んない [nnai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] 『古語』 ある地点から離れて別の地点に移動する、(あっちに) 寄る、(あっちに) 行く; (自分の家に) 帰る [命令形を使うのが普通]。

んない [nnai] 【動詞】 [母音語幹] [C] 『古語』 ある地点から離れて別の地点に移動する、(あっちに) 寄る、(あっちに) 行く; (自分の家に) 帰る [命令形を使うのが普通]。【例】 がっこーからー んつっさうぎゃー ほうだ やーんかいや まうとうん くー (学校からは道草しないで家には真っ直ぐ帰りなさい)。つづあー んじやんどー んつふさー ふあいうた (お前はどこで道草食っていた)。[変異] んつふさ。

んない [nnai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [C] (おにぎりを) 握る。【例】 かりゃー っさらんかい はりーにゃーんそうが んな一ぎゃー んつなかはず (彼は平良に行ったがまだ途中のはずだ)。ひゃーくー んつなか (百歳は(まだ人生

の) 途中だ)。すかまー んな一ぎゃー
んつなかがま (仕事はまだ途中だ)。

んない [nnai] 【動詞】 [r/tr 語幹] [C]
うなる。 [変異] んつつさ。

んなう [nnau] 【動詞】 [w 語幹] [C] 合
う、比較できる。 【例】 ひんじょう
んつみる (ヤギを押さえつけろ)。 [類]
んつん。

んなか [nnaka] 【名詞】 [B] 真ん中。
【例】 くるまぬどう んつやぐやしあん
かい うちやーりーにやーん (車がブ
ルトーザーにぶつかった)。

んながーんな [nnaga:nna] 【副詞】
一番。 【例】 うぬ ぎずぎやうな や
らびゆー ひんぎや はらんやうんて
いー んつみゆーき (この腕白小僧を
逃げないようにおさえておけ)。 んつん
つきる (押さえつけろ)。 んつんぬ
んつみー いだし (にきびを押してだ
せ)。 [類] んつみ。

んなかばら [nnakabara] 【名詞】 家
の中心の柱 (くじゃしつ (居間) となか
ゆか (ダイニング) の間にある柱)、大
黒柱; 家の主人。 【例】 んつんぬ ん
つみー あーし (ニキビを押さえて潰
せ)。

んなぐ [nnagu] 【名詞】 [B] 砂。 【例】
まかいん んていきやたーひー みっ
じゅ いる (お椀に一杯になるまで
水を入れろ)。 そうーや んていーどう
(潮は満ちている)。 そうーや んな一ぎ

ゃー んていん (潮はまだ満ちていな
い)。 ばたー んていー どうー (お腹
はいっぱいだ)。 でいんな んていーど
うーだら (金はたくさんある)。 [変異]
んち。 [類] んつ。

んなくず [nnakuzi] 【名詞】 『地名』 昔
の西原の呼び名、西原の昔の集落。 【例】
ばが たまー んてい (私の分け前は
どれだ)。 [変異] いでい。

んなす [nnasi] ① 【動詞】 [C] (ものを)
別の場所に移動させる、どける。 【例】
はいぬ んどうら (畑で作物がよくで
きるところ)。 わーぬ んどうら (豚肉
で一番おいしいところ)。 ② 【補助動
詞】 (動詞連用形に付いて、移動させて
取り除くことを表す) ~てしまう。 【例】
かりやー いすびとう やいば っし
ん[°]んかい いつていがー たくから
にぐーから んなから ならうゆまい
はーさ とういどうす (彼は幸運な人
だから潮干狩りに行くとタコからシャ
コガイからサザエから何でも沢山とれ
る)。 っし ん[°]んなひー んな とう
いが (潮干狩りしてサザエ取りに)。 っ
しん[°]んきー んなう とうい (潮干狩
りに行ってサザエをとる)。

ん[°]なす [nnazi] 【動詞】 [g 語幹] 繫
ぐ。 【例】 んなんつつー (具の何も入っ
ていないみそ汁)。 んなんつつーんな
んなぬどう はいりゆー (具の入って
いない味噌汁にはサザエが入っている
[くなにもない味噌汁にはなにもないも

のが入っている。「んな (サザエ)」と「んな (何もないこと)」をかけた]ジョーク)。

んなずつ [nnazitsi] 【名詞】杵 (きね)。

【例】うりゆーぎゃー ほういかいば
んなーきん ばきる (それは大きいので半分に分ける)。ういが んなーき
つづいー ふいーる (その半分売ってくれ)。はいぬ んなーきゃー つづ
あが たま (畑の半分 (の土地は) あなたの取り分だ)。ばぬんな ういが んな
ーき ばきー ふいーさまでい (私にはその半分分けて下さい)。ばが
たまー つづあが むぬぬ んなーき
が ほうい (私の分はあなたのものの半分だ)。

んなとう [nnatu] ① 【名詞】[A] 干瀬

と島との間の内海。【例】んなーぎゃー
ふあーん (まだ食べていない [＜食べない])。からー んなーぎゃー くー
ん (彼はまだ来ていない [＜来ない])。
[類] んなまぎゃー。② 【名詞】[A] 港。
【例】うまん うらだ かまんかい んな
なり (ここにいないで向こうに行け)。
やーんかい んなり (家に帰れ)。

んなない [nnanai] 【名詞】全て、全部、全員、皆。

[類] ゆっづ、んない (r/rr 語幹)。

んなぱぎ [nnapagi] 【名詞】全くない

こと。【例】んーぬいゆ んなり (芋のお握りを握れ)。ゆなぎーぬ はーひ

ー まいぬいゆ んない (ゆうなの木の葉でおにぎりを握る)。

んなま [nnama] 【名詞】[C] 今。

んなまがしゆく [nnamagaçuku]

【名詞】今のところ、今ごろ。【例】か
いが むぬいとう あすくとうー んな
ーん (彼の言うことと やることは
合わない)。

んなまがそうく [nnamagasuku]

【名詞】今のところ、今ごろ。【例】ん
なかぬひー (ミヤークズツの中目)。あ
がいじゃとう んなか (東里真中 [歌
の題])。

んなまがた [nnamagata] 【名詞】今

しがた。【例】んながーんな まうき
ゃー (一番前)。んながーんな ていび
(一番後ろ)。んながーんな でいきぶつ
(一番良く勉強ができる人)。

んなまぎゃー [nnamagja:] 【副詞】

まだ。【例】んなかばらう たていー
(大黒柱をたてる)。やーぬ んなかばら
ん いすがまう うつつ (落とした魂
をもどすために家の大黒柱に小石を置
く)。っぎー やーぬ んなかばら (お
父さんは大黒柱だ)。[類] やーぬんな
かばら。

んなまどうーら [nnamadura] 【名

詞】今ごろ。【例】んなぐばま (砂浜)。
んなぐとう せめんとうじやりゃー
まっでいー こんくりゆー ちゅっふ

(砂とセメントと砂利を混ぜてコンクリートを作る)。

んなまぬちゃん [nnamanutʃan]

【副詞】今のうちに。【例】あかうぎー うたきやー んきやーんぬ んなく ず うたきちゃ (アカウギー御嶽は昔のンナクズ御嶽だつてさ)。

んならす [nnarasi] 【動詞】[s/h 語幹]

移動させる。【例】うりゅーぎやー かまんかい んなし (これは向こうに移動してしまえ)。うらー んぶかいば ばぬんな たうかーひや んなはい ン (それは重いので一人では移動できない)。

んぬ [nnu] 【名詞】[B] 蓑 (みの)。

【例】んなとうんどう っぞうまい た くまい なくまい ない (内海に魚も タコも何でもいる)。

んぬ [nnu] 【名詞】[B] 角 (つの)。

【例】うりゅーぎやーかまんかいむゆか ひーんなし (これを向こうに動かして しまえ)。

んぬ [nnu] 【名詞】[C] 昨日。【例】

んなづつひー まいゆ つつ (杵で米をつく)。

んぬがん [nnugan] 【名詞】『生物』

ワタリガニ科タイワンガサミ、ノコギリガサミ。【例】すまぬ ふつんな んなとうぬどう あい (島の入り口には港がある)。んなとうんどう ふにやー とうまい (港に船は泊まる)。ふに

やー んなとうんかいどう つふ (船は港に着く)。

んぬつ [nnutsi] 【名詞】[C] 命。【例】

んなない ふあい (全部食べなさい)。んなないひー ふあい (全員で食べなさい)。んなないが たま (全員分)。すまぬ やびとうー んなない うぐなーらまてい (村の人々全員集まって下さい)。

んぬつじゅー [nnutsizu:] 【形容詞】

強運だ、強運の。【例】きゅーぬ い んな んなぱぎ あたい (今日の漁果は皆無だった)。

んぬつすてい [nnutsisiti] 【名詞】危

険な仕事、命を捨てる様なもの。【例】んなまが っさー しばー にやーん (今のところ心配はない)。んなま そうぐ うまんかい いき (今すぐそこに行け)。んなまがたがま (今し方)。

んぬつだみにがい [nnutsi-

daminigai] 【名詞】『祭礼』健康祈願、健康長寿の祈願 [＜命を取られないように命を留めさせるための祈願]。【例】いんびとうんみ やーつふばなー んなまがしゆくー あらん (漁師たちが家につく時間はまだまだ先だ)。
[変異] んなまがそうく。[類] んなまがしゃく。

んぬつだみわー [nnutsidamiwa:]

【名詞】『祭礼』ヌツダミ祈願のための生贄の豚。[変異] んなまがしゆく。

んぬつぬ はだ [nnutsinu hada]

【成句】一生涯、生きている限り。【例】かりゃー んなまがたどう やーんかい はたい（彼はついさっき家に帰った）。

んぬつびゃー [nnutsibja:] 【名詞】早

死に。【例】んなまぎゃー やらび（まだ子供だ）。[類] んなーぎゃー。

んぬつふあう [nnutsifau] 【名詞】危

険な仕事、命を捨てる様なもの。【例】つぎあー なうやひー んなまどうーら ったいば（お前はなんでいまごろきたんだ）。んなまどうーら なりーから ふーたんてい なうまい にゃーん（今ごろ来てもなにもないよ）。

んば [mba] 【感動詞】『応答詞』いいえ、

いやだ、「あかんば、あかふそう」はより否定が強い。【例】んなま んなまぬちゃん うまぬ すかまうぎゃー ひーすていでい（今、今のうちにその仕事をやってしまおう）。

んぱい [mpai] 【動詞】[r/r 語幹] [A]

踏ん張る、頑張る；頑張りすぎてぐったりする。【例】うりゅーぎゃー かまんかい んならし（これを向こうに移動させなさい）。

んばす [mbasi] 【動詞】[s/h 語幹] [C]

のばす。【例】んきゃーんな あみふーんな んぬー かつぎゅーたい（昔は雨ふりには蓑を被っていた）。

んばだら [mbadara] 【感動詞】『応答

詞』いや、いやだよ。【例】ながんぬつ（長命）。きゅーや んぬつぶい にがいほうでい（今日はンヌツブイ願いをしよう [> (漁などに出て) 危険な目にあって、命が助かったので神様へのお礼を言う祈願をする]）。んぬच्चゅぎゃー あたらっさ ほうだかーならん（命は大切にしないとまらない）。かんなすから んぬच्चゅ ぶい（神様から命を頂く）。んぬच्चゅ むつぎつふあにゃーん（命は持ちそうにない）。たるまい んぬぢゃ っとうつ（誰もみな命は1つだ）。んぬつぬ ふかっでいー あすきや くらはいたい（息の根がとまるぐらいなぐられた）。

んびゃい [mbjai] 【動詞】[母音語幹]

[C] 我慢する、耐え忍ぶ。【例】んぬつじゅーびとう（運が強い人）。

んびゃう [mbjau] 【動詞】[w 語幹]

[C] 耐え忍ぶ、我慢する。【例】だいままーいや うなが んぬつすてい（ダイナマイトでの密漁は命を捨てるようなもの）。[類] んぬつふあう。

んふ [nfu] 【形容詞】[B]（気候が）あ

たたかい、（空間が）あたたかい。【例】わーや くらひー んぬつだみ にがいゆ あすたい（豚を殺して（生贄として）ンヌツダミの祈願をした）。むぬすーや ゆらびー んぬつだみにがいゆ あすたい（ユタを呼んでンヌツダミの祈願をした）。

んぶ [mbu] 【形容詞】 [A] (ものの重量が) 重い、(体調がわるく体が) 重く感じる。

んぶさ [mbusa] 【名詞】 [A] 重さ。
【例】 っづあがくとうー んぬつぬ はだ ばっしらいん (あなたのことは一生涯忘れられない)。

んぶす [mbusi] 【動詞】 [A] 蒸す; 水分を蒸発させるために弱火にする、蒸らす。
【例】 んぬつびゃー びとう (早死にの人)。

んぶだーい [mbuda:i] 【動詞】 [r/rr 語幹] うつぶせになる、伏せる。 [類] んぬつすてい。

んふばーい [nfuba:i] 【動詞】 [r/rr 語幹] (火にあたって) 温もる、(温かいものを飲んだりして) 温まる。
【例】 ばー んば (私はいやだ)。A: じょー あちゃー いんかい B: んば (A: さあー、明日は海に行こう B: いやだ)。A: あれー じょーはい ひとうみ いかでい B: んばよ (A: あれ、一緒に行こうよ B: いやなんだよ)。 [類] んーば、あかんば、あかふそう。

んぶらす [mburasi] 【動詞】 [s/h 語幹] 蒸す; 水分を蒸発させるために弱火にする。
【例】 ぬーまうぎゃー んぱらし (馬を踏ん張らせろ [ハーリーの後の余興で馬の力比べの勝負の時に使われる表現])。わいていー んぱり (しっかり頑張れ)。あてい んぱりゃー

ひー むいだり (余りにも頑張ったので疲労困ぱいだ)。

んふん [nfun] 【動詞】 [m 語幹] [C] 暖を取る。
【例】 どうーゆ んばす (胴体をのばす)。はりがにゆー んばす (針金をのばす)。くっそう んばす (腰を伸ばす)。

んま [mma] 【名詞】 [C] お母さん。
【例】 んばていー あすていがー んばだら、っづあ たうかー はり (いやと言ったらいやだよ。お前一人で行け)。 [類] んば。

んま [mma] 【形容詞】 [B] 美味しい。
 [類] んびゃう。

んまーさ [mma:sa] 【名詞】 両親 [< んま (母) + あさ (父)]。
【例】 きばん かたいそうが わいていー んびゃうたい (貧乏だったが一生懸命に耐え忍んだ)。っそうまたかいば んびゃーいん (糞したくて我慢できない)。かなすがまが くとうー うむーていがー ばぬんな んびゃーいっだん (カナスちゃんのことを思ったら私は我慢ができなかった)。やらび あいきゃー ふゆんな っしかいば んびゃーいっだん (子供の頃は冬には寒くて我慢できなかった)。 [類] んびゃい。

んまい [mmai] 【動詞】 [r/rr 語幹] [A] 生まれる。
【例】 びーずん なりー んふふ なりーどう (春になって温くなっている)。くまー んふむぬ (ここはあたたかい)。

んまい [mmai] 【接尾辞】動詞未然形や形容詞について譲歩を表す、「～ても」。

【例】 んぶ やらびゅー くんず (重い子供をおんぶする)。うらー んぶかいば むちやいん (それは重くて持てない)。う一つっちゃ んぶむぬ (大鎚は重い)。きゅーや あみつふあうじやうむ なうむ どうーぬ んぶかいばならん (今日は雨が降るような気配で体が重くてならない [＜雨がふりそうなのかなにか])。]

んまが [mmaga] 【名詞】[C] 孫。【例】くぬ いすぬ んぶさー いかっさばかーい (この石の重さはどれくらいだ)。

んまぎ [mmagi] 【形容詞】[B] (食べ物)が美味しそうな、(容姿などが)綺麗な。【例】ふきやぎゅー んぶす (団子を蒸す)。んーな たっでいぬ あとうんな んぶすばどう んまかい (芋が煮えた後は、蒸らした方がうまい)。ふきやぎゃー ぷかかいば んぶひーふあーでい (団子は固いので蒸して食べよう)。んめ んーな にーゆーば んーぬ すーや すたみー んぶらばでい (もう芋は煮えて煮汁をこぼして水分を蒸発させよう)。[類] んぶらす。

んます [mmasi] 【動詞】[s/h 語幹] [A] 湿らす、濡れさせる。【例】うまん んぶだーり (そこに伏せなさい)。

んまちや [mmatça] 【名詞】[C] バカなことを言う人、何をするかわからな

いやつ。【例】うまつん んふばーい (火に (当たって) 温もる)。っし どうきゃん あつ んつつーゆ んんていがー どうーぬどう んふばーい (寒いときは熱いみそ汁を飲むと体が温まる)。

んまつ [mmatsi] ①【形容詞】[A] バカな、横着な。[類] んぶす。②【感動詞】『応答詞』予測できなこと、あり得ないことが起きたときに発することば、そんなばかな、まさか。【例】うまच्चゅ んふん (火に当たって暖を取る)。

んまっざ [mmazza] 【名詞】両親 [＜んま (母) + っざ (父)]。【例】みどうんづあー んまぬ かーぎゃーむちゃん (女の子は母親の顔より美しさは劣る)。

んまつまー [mmatsima:] 【名詞】バカなことを言う人、何をするかわからないやつ。【例】きじゃいんな んまむぬぬどう いでいー (祭事には美味しいものがでる)。なまにー むぬー んまっふあにゃーん (生煮えのものは美味しくない)。っぞうぬ んまさ あい むぬー にゃーん (魚ほど美味しいものはない)。

んまていだ [mmatida] 【名詞】『歌語』池間に来ていた役人の側室・愛人・現地妻。【例】ばんていが んまーさー がんじゅー (私たちの両親は元気だ)。んまーさーうぎゃー たかさ あっそう (両親を大切にしなさい)。んま

ーさー すなひや うむくとうぬどう
いでいー (両親を亡くすと知恵、思
いやりもでるものだ)。

んまぬ みはながま [mmanu
mihanagama] 【成句】お母さんそっく
り [＜母親の顔]。【例】ばが っぎー
しよーわ にねんどう んまいたい
(私の父は昭和二年に生まれた)。くじゅ
ばぬん びきつうあぬ んまいたい
(去年私に男の子が生まれた)。

んまぬは [mmanuha] 【名詞】南、午
の方角。【例】すまぬ ばかむぬんみ
ぬ なかんな すまぬ むぬいや つ
かいんまい むぬっじゃいん ひとう
まい はーさ ういどうす (村の若者
の中には村の言葉は聞けても話せない
人もたくさんいますよ)。ばー なく
ぬ くとうぬ あらんまい はらでい
(俺は何があっても帰るのだ)。たかから
んまい やすからんまい なくやらん
まい かーでい ((値段が) 高かろうが
安かろうが何でも良いから買います)。
【類】ばんまい。

んまぬはでいー [mmanuhadi:] 【名
詞】『地名』南支部 [西原の南の方の地
域]。【例】んなーぎやー んまがー
みーん (まだ孫はいない)。んまがー
なくばいぬ すかまうどう ひーゆ
ー (お孫さんはどんな仕事をされてま
すか)。ばー んまがー みちゃーい
うり (私は孫が三人いる)。

んまは [mmaha] 【感動詞】『応答詞』い

やだ。【例】んまぎ むぬ (美味しそ
うなもの)。んまぎ あか (綺麗な髪)。

んまばす [mmabasi] 【名詞】『昆』蜂
の一種、ヤエヤマアシナガバチ。【例】
ぬぬー んます (布を湿らす)。

んまむぬ [mmamunu] 【名詞】ご馳走。
【例】おい んまちゃ (おい、バカ者)。
【類】んまつまー。

んまゆい [mmajui] 【名詞】『祭礼』ナ
ナムイの神司を選ぶこと。【例】かり
やー むいとうぬ んまつむぬ (彼は
とても横着な奴だ)。

んまらーひー [mmara:hi:] 【成句】
〔「名詞＋属格」について〕その名詞が持
つ性質と同じように (する)。【例】A:
かぬきやが ふたーいや とうずぶと
うん ないがまたちや B: んまつ (A:
あの二人は夫婦になるんだって B:
まさか)。A: : かりやー すにー にや
ーんちゃ B: んまつ (A: 彼は死んだ
そうだ B: そんなばかな)。

んまり [mmari] ①【接尾辞】形容詞に
ついて、そういう性質をもった人を表
す、やつ。②【接尾辞】「名詞＋属格」
について～似ている；(名詞について)
例示や比況をあらわす、～ように、まる
で～ようだ。【例】かりやー んまつま
ーんまり やいば きゅーや なくゆ
あすががら っさいん (あいつはい
きなり馬鹿なことをする奴だから、今
日は何をするかわからない)。んまつ

まーゆぎゃー たきゅーぎゃー ほう
ん (バカは相手にしない [> 相手にす
るな])。かりゃー むいとうぬ んま
つまー ほうりむぬ (彼はとてもバカ
な奴だ)。[類] んまちゃ。

んまり [mmari] 【名詞】 [A] 生まれ。

んまりじゃう [mmarizau] 【名詞】
性分、性格。

んまりなうす [mmarinausi] 【動詞】
[s/h 語幹] 生まれかわる。

んまりながーぬ [mmarinaga:nu]
【連体詞】 生まれながらの。

んまりばん [mmariban] 【名詞】 蒙古
斑。【例】 A: : うりゅー ひー ふい
ーる B:。 んまは ばー んまは (A:
これをやってくれ。 B: いや、私はい
やだ)。[類] んば。

んまりやっづい [mmarijavvi] 【名
詞】 成長するに従い可愛くなくなるこ
と、またそういう人。

んまんなか [mmannaka] 【名詞】 『祭
礼』 祭礼 煙草 (ウタキの言葉)。【例】
かぬきゃが まいんどう んまむぬぬ
あい (あの人たちの所にご馳走があ
る)。

んみ [mmi] 【動詞】 [母音語幹] [A] (雨
などに) 濡れる。

んみ [mmi] 【動詞】 [母音語幹] [C] (果
物などが) 熟する。【例】 からー っ

ぞうぬ んまらーひー ひゃーたん
うーがいどうす (あいつは魚のように
早く泳げるよ)。ばが ひーゆーが ん
まらーひー あっそう (私がやってい
るようにやってください)。やらびぬ
ていーぬ んまらーひー いみでいー
がま (こどもの手のように小さい)。

んみ [mmi] 【動詞】 [C] おできが中の
膿が出せる程に化膿している、膿む。
【例】 っづあんな すかままい ひらい
んな、 みーちゃぎんまり (お前には仕
事もできないのか、見苦しい奴だ)。う
むくとうーにゃーんんまり (バカなや
つ [< 知恵がない奴])。やなんまり (ダ
メなやつ)。

んみ [mmi] 【名詞】 [B] 山の名前の後
ろにつける接尾辞、みね。【例】 ばが
っふあー ばがんまり (私の子供は私
に似ている)。っづあがんまりー あば
らぎ ひとつー みーや みーん (あ
なたのようにきれいな人は見たことが
ありません)。

んみ [mmi] 【名詞】 [B] 群れ [「っぞう
んみ (魚の群れ) のように接尾辞的に
も用いられる]。【例】 ばが んまりゃ
ー んすむら (私の生まれは西原だ)。

んみ [mmi] 【接尾辞】 複数を示す接辞
[人間を表す普通名詞に付く、指示詞、代
名詞、家族名詞は「かいた、くいた、っ
ぎた「ーた」を持ちいる。【例】 やな
んまりじゃう (駄目な性分)。くぬ
うむくとうー にゃーん んまりじゃ

う (この性悪野郎め)。んじゃうな ン
まりじゃう (残念な性格)。

んみ [mmi] 【名詞】 [B] 胸、心。【例】
かぬ やらびゃー ンまりなうひーど
うー (あの子は生まれかわった)。んま
りなうしよー (立派になれよ [＜生ま
れかわれ])。

んみうつ [mmiutsi] 【名詞】 胸。【例】
からー ンまり ながーぬ うむくと
う あいひとう (彼は生まれながらの
頭の良い人)。

んみかみばら [mmikamibara] 【名
詞】 床柱。【例】 ンまりばんな てい
びたいんどう あい (蒙古斑はお尻に
ある)。

んみつ [mmitsi] 【動詞】 [k 語幹] [C]
叱る。【例】 うぬやらびゃー やらび
がまあいきゃー むいとう あばらぎ
がまあたいそうがどう ほういふなり
みていが ンまりやっぐゃーほう (こ
の子は赤ちゃんの頃はとても可愛かつ
たけれど、成長したらかわいくなくな
っている)。

んみふ [mmifu] 【動詞】 [k 語幹] [C]
叱る。【例】 ンまんなかぬ ゆーい (た
ばこ祝い [うたきでみなで煙草を回す
祭礼の一部])。

んみや [mmja] 【副詞】 もう、すでに。
【例】 あみん ンみー (雨に濡れる)。
ざいんきー ンみーにゃーん (ずぶ濡
れになった)。[類] ンー。

んみや [mmja] 【感動詞】 大変だ、困
った。【例】 ばんちゆくらー ンみー
どうーい (グアバは熟している)。ばさ
ぬ ないや ンなーぎゃー ンみや
うらん (バナナの実はまだ熟していな
い)。ふにゆーや ンみーどうーい (ミ
カンが熟している)。ばんつぎーぬ ン
ーたー ンみーどうーい (桑の実が熟
している)。[類] ンー。

んみや [mmja] 【感動詞】 『フィラー』
もう、あの。【例】 ふがさー ンみーど
う (おできは濃んでいる)。[類] ンー。

んみや [mmja] 【副詞】 もう、すでに。
【例】 ふずんみ (西原の後方の嶺)。

んみやーす [mmja:si] 【動詞】 [s/h 語
幹] 比べる。【例】 ぶるくんぬ ンみ
(グルクンの群れ)。っぞうぬどう やぐ
み ンみん なりゆー (魚が大群をな
している)。

んみやーてい [mmja:ti] 【成句】 「ん
みゃい」の命令形、いらっしゃいませ。
【例】 ーしーんみ (先生たち)。やら
びんみ (こどもたち)。

んみゃい [mmjai] 【動詞】 [A] 「いる、
行く」の尊敬形、いらっしゃる。【例】
つむから ンみから っぐあうぎゃー
むいとう かなす (心からあなたの
事は大好きだ [＜心から胸から])。つ
むまい ンみまい やすまらん (心が
休まらない [＜心も胸も])。[類] ンみ
うつ。

んみやがま [mmjagama] 【感動詞】

大変、大変だ、困った。【例】んみうつぬ やみゆー（胸が痛い〔「心が痛む」という意味はない〕）。やぐみ じゃうぎ んみうっちゃ ひーどうー（（運動選手などが）立派な胸をしている〔「乳房が大きい」という意味はない〕）。はとう んみうつ（鳩胸）。[変異] んみゆーつ。[類] んみ。

んみやてい [mmjati] 【名詞】[A] 〔植物〕

ヒメクマヤナギ（直径4ミリ位の紫色の実をつける木）。

んみやてい [mmjati] 【成句】「んみやい」

の命令形、いらっしゃいませ。【例】ぎずぎやうな やらびやー きゆーまい んみかい うたい（いたずらな子は今日も怒られていた）。ひとうぬ っふあうぎやー まーぬ んみかん（他人のこどもをあんまり叱らない〔>叱ってはいけない〕）。にんぎんぬ っふあー んみきー ならーすんつきやー ほうみー ならーすばどう じゃうかい（人間の子供は叱って教えるよりも褒めて教えた方がよい）。んまん んみかいにやーん（母親に叱られた）。[変異] んみふ。

んみやていんーたぎー [mmjat-

in:tagi:] 【名詞】〔植物〕ヒメクマヤナギ（直径4ミリ位の紫色の実をつける木）。

[変異] んみつ。

んみやひ [mmjahi] 【副詞】もっと、こ

れ以上は。 [変異] んめ。

んみやひー [mmjahi:] 【副詞】もっ

と、これ以上は。 [変異] んめ。

んみゆーつ [mmjutsi] 【名詞】胸。

[変異] んめ。

ん°む [mmu] 【名詞】[B] 雲。 [変異]

んめ。

ん°む [mmu] 【名詞】[B] 蜘蛛（クモ）。

【例】ういとう くりゆー んみやーし（それとこれを比べろ）。

んめ [mme] 【副詞】もう、すでに。 [変

異] んめてい、んみやてい。

んめ [mme] 【感動詞】〔フィラー〕もう、

あの。【例】んみやてい（いらっしゃい）。きゆーや しーしーがどう かっていほうもんな ひー んみやい（今日は先生が家庭訪問でいらっしゃる）。しーしーがどう んみやい（先生がいらっしゃる）。

んめ ばいふ [mme baifu] 【成句】

更に何倍も。【例】んみや、んみやがま やらびやー ひんがひーにやーん（大変、大変だ。子供を逃がしてしまった）。ばー きゆーや だりー んみやがまていどうほうー（私は今日はつかれて、大変だった）。んみや んみや んみやよ、ぶとうぬ くとうー むいとう しばよ（あーもう、夫のことがとても心配だ）。

んめ んめよ [mme mmejo] 【成句】

もう もう大変。 [類] んみやていんーたぎー。

んめーら [mmerra] 【感動詞】『フィラ一』えーとね、あのね [＜んめ+いら]。
[変異] んめてい、んみゃーてい。

んめちやう [mmetçau] 【動詞】[w 語幹] 大変なことになる、大変だ。 [類] んみゃてい。

んめてい [mmeti] 【成句】「んみゃい」の命令形、いらっしやいませ。 [変異] んめひ、んめひー、んみゃひー。

んめひ [mmehi] 【副詞】もっと、これ以上は。 【例】かまんな さきゃー んみゃひー あり (あそこには酒がもっとある)。ばぬんかい んみゃひー さきゅー つぎ (私にもっと酒をつげ)。ういがどう かいんつきゃー んみゃひー ばいふ じゃうかい (これがあれよりも更に何倍も良い)。んみゃひー ばいふ あい (更にもっと悪く言う)。ばー んめ びとうりーどうー、んみゃひや ふあーいん (私はもうおなかがいっぱいでこれ以上は食べられない)。んみゃひー ふいーさまでい (もっと下さい)。[変異] んめひ、んめひー、んみゃひ。

んめひー [mmehi:] 【副詞】もっと、これ以上は。 [変異] んみうつ。

ん°ん [nn] ① 【動詞】[m 語幹] [A] 踏む；(踏んで) こねる。 【例】んめ よじ なりーどうーな (もう4時になったのか)。あわている、 んめ ふにんぬーいうくいがまた (急げ、もう船に

乗り遅れるぞ)。[変異] んみゃ。② 【動詞】[m 語幹] [A] 履く。[変異] んみゃ。

ん°ん [nn] 【動詞】[m 語幹] [A] 汲む。
【例】ういがどう かいんつきゃー んめばいふ じゃうかい (これがあれよりも更に何倍も良い)。

ん°んたー [nta:] 【名詞】滅茶苦茶に踏みつけること、(人を) 非難してやっつけること。 【例】んめ んめよぶとうー すにーにゃーん。(ああ、もう大変だ、夫は死んでしまった)。

ん°んたーぐー [nta:gu:] 【名詞】滅茶苦茶に踏みつけること、(人を) 非難してやっつけること。

ん°んたーぐーたー [nta:gu:ta:] 【名詞】滅茶苦茶に踏みつけること、(人を) 非難してやっつけること。 【例】ばー ん°ぬ うーっふいー んめちやうたい (私は昨日溺れかけて大変だった [＜溺れて])。

ん°んびき [mmbiki] 【動詞】[母音語幹] 踏んづける。 [変異] んみゃーてい。

ん°んびつ [mmbitsi] 【動詞】[k 語幹] 踏んづける。 [変異] んみゃひー、んめひー。

ん°んびふ [mmbifu] 【動詞】[k 語幹] 踏んづける。 【例】かまんな さきゃー んめひー あり (あそこには酒がもっとある)。ばぬんかい んめひー さきゅー つぎ (私にもっと酒をつげ)。

んめひー ばいふ あい (更にもっと
悪く言う)。んめひー わいていー あ
っそう (もっと頑張れ)。んめひー ふ

あい (もっと食べなさい)。[変異] んみ
やひ、んめひー。

逆引き

ああざんねんだ/ああ残念だ...あがい、あがえ
ああしまった/ああしまった...あがい、あがえ
あい/藍.....あい
アイゴ/アイゴ.....あい、あいつぞう
アイゴのちぎよ/アイゴ(稚魚).....そうく
アイゴのちぎよのしおづけ/アイゴ(稚魚の塩漬け).....そうくがらす、そうくがらそう
あいさつする/挨拶する.....うがん、みゃーぎ
あいしょう/相性.....はだ
あいする/愛する.....かなす、うむー
あいだ/間(すこしの).....あたばかーい
あいだ/間(空間).....ばし、ばす
あいだ/間(空間、時間).....あいま
あいだ/間.....どうー
あいだをあける/間をあけるひだたす、ひだつ、
ひだてい、
あいつというやつは/あいつというやつは うい
ていっじゅまい
あいてにしない/相手にしない たきゃーならん
あいてにならない/相手にならない たきゃーならん
あいま/合間.....あいま
あう/会う.....あう、いじゃう
あう/合う.....すなう、んなう
あえる/和える.....あい、むんたうー
あお/青.....あう
あおぎみること/仰ぎみること...あばなつみー

あおぐ/扇ぐ.....あうー、あうず
あおくなる/青くなる.....あうん、あうたん
あおさ/あおさ【食】.....あーさ
あおだいしょう/青大将(ヘビ).....あうなず
アオブダイ/アオブダイ【魚】.....ぶーた
あおむけ/あおむけ.....あばなつ
あおむけになる/仰向けになる あばなつ、あば
なふ
あおられる/煽られる...ぶらーい、ぶりゃーい
あおる/煽る.....あうい
あか/垢.....なば、ぐず
あか/赤.....あか
あかい/赤い.....あか
あかいべん/赤い便.....あかふそう
アカイラウツ/アカイラウツ【魚】 あかいらう
つ
あかく/赤く(なる).....あかたん
あかくする/赤くする.....あかます
あかくなる/赤くなる.....あかん
あかげ/赤毛.....あかぎー、あかばに
あかげのひと/赤毛の人.....はーか
アカショウビン/アカショウビン【鳥】 うつぐ
ーかつぐや
あかつち/赤土.....あかた
あかにく/赤肉.....すーす
あかめ/赤目(目が見えない) みーはぎ、みー
ぱぎ、みはぎ、みぱぎ、みはぎゃ

あかメバル/赤メバル【魚】あかじん
 あかり/明かりあかい、ひかい
 あがる/上がる（雨が）あかい
 あがる/上がる（太陽などが）あがい
 あがる/上がる（舞台などに）ぬーい
 あかるい/明るいあか
 あかるくする/明るくするあからす
 あかるくなる/明るくなる ..あかたん、あかん、
 あき、あつ、あふ、ひかい
 あかんぼう/赤ん坊 ..あかつうあ、だつうあ、
 ばかつうあ
 あき/秋あき
 あきない/商いあつない
 アキノノゲシ/アキノノゲシ【植】 ..とうなら、
 とうるな
 あきびん/空瓶からぐびん
 あきる/飽きるがうい、がうり、かまい
 あく/空く（ガラガラに） がらみつ、がらみふ
 あく/開くあーつ、あーふ
 あく/空くあつ、あふ
 あくじ/悪事ばいさ
 あくび/あくびあふず
 あぐら/あぐらびきどうんびー
 あくりょう/悪霊やなむぬ
 あけがた/明け方あかつつ
 あけたりしめたり/開けたり閉めたり あきや
 ふー ふー
 あける/開ける あーつ、あーふ、びだつ、びだ
 ふ、びらつ、びらふ、あき、ほうらつ、ほうら
 ふ、びだかす、びらかす
 あける/開ける（穴を）ほうがす
 あける/明けるあつ、あふ、あき
 あげる/揚げるやつ、やふ
 あげる/あげる（手をさしだして） ...にゃーい
 あげる/あげる（ものを）ふいー
 あげる/あげる（風を）まーす

あご/あごうとうがい、かまつ
 アコヤガイ/アコヤガイ【貝】ぎすぐや
 あさ/朝 すつむてい、すとうむてい、ひとうむ
 てい
 あさい/浅いあさ
 あさって/明後日あさってい、あさてい
 あさぶくろ/麻袋たうしんがー
 アザミ/アザミ【植】はまぐんぼう
 あさゆう/朝夕ひとうむてい ゆさらび
 あし/足はず
 あし/足（足裏が大きい）やそうるはず
 アジ/アジ（ムロアジ）【魚】むっる
 アジ/アジ（ムロアジの成魚）ぐん
 アジ/アジ（メアジ）がつぬ
 あじ/味あず
 あしあと/足跡まー
 あしおと/足音はずなら
 あじがうすい/味がうすいあま
 あじかげん/味加減あんばい
 あしがすくむ/足がすくむっさかう
 あしくび/足首っさ、ひさ、はずふず
 あした/明日あちゃ
 あしどり/足取りあす
 あしのおそいひと/足の遅い人...にゅーふたら
 あしのかこう/足の甲 っさ、ひさ、っさびじゃ
 あしのふじゆうなひと/足の不自由なひと ない
 ぎゃ、ないず
 あずき/あずきまみ
 あずける/預けるあずき、あずつ
 あせ/汗あし、すー
 あせも/あせもあしん
 あせる/焦るしゃーみつ、しゃーみふ
 あそこ/あそこかま
 あそび/遊びあそー
 あそぶ/遊ぶあそー
 あたえる/与える（賄賂などを）ていだい

あたたかい/あたたかい.....んふ
あたたまる/温まる.....んふばーい
あたためる/あたためる あったす、あっちゃす、
たっじゃす
あたま/頭.....かなまい、ずー、ずぶる
あたまのよい/頭の良い.....うむくとうあい
あたまをさげる/頭を下げる.....うがん
あだめい/あだ名.....あらなー
あたらしい/新しい.....みー
～あたり/～あたり.....なぎ
あたり/当たり.....あたい、あたり
あたりさわり/あたりさわり.....あたいさわい
あたる/当る.....あたい、あうー
あたる/当たる（火に）..あづい、ほうてい、
ほうていー
アダン/アダン.....あだん
アダンのき/アダンの木.....あだんぎー、んぎ
アダンのきこん/アダンの気根.....あだなす
アダンのしん/アダンの芯.....ばす
アダンのほ/アダンの葉.....あだんば
あちこち/あちこち うまくま、あまかま、あま
くま、いじゃまい かままい、うまかま、いじ
やどうーす かまどうーす、んじゃどうーす
かまどうーす
あちこちふるひと/あちこち触る人 ていー ば
っじゃーしゃ
あちら/あちら.....あま
あちらこちら/あちらこちら...かどう かどう
あつい/熱い.....あつ
あつい/暑い.....あつ
あつい/熱い（体が）.....ほうみつ
あつがり/暑がり.....あつさむい
あつくなる/熱くなる ほうみつ、ほうみふ、あ
っち、あつつ
あつさ/熱さ・暑さ.....あつさ
あっさり/あっさり.....がら

あった/あった（存在動詞過去形）.....あたい
あつというま/あつという間.....あたふず
あつというまに/あつという間に..あたくまん、
あたふずん、ちゅきやー
あつまらせる/集まらせる.....あらす
あつまり/集まり.....むいた、うぐなーい
あつまる/集まる（人が）.....うぐなーい
あつまる/集まる（人以外のものが）...たかい
あつまるどころ/集まるどころ（魚などが） き
じゆる
あつめる/集める（お金を）.....うぐない
あつめる/集める（人を）.....がに
あて/当て.....あてい、むとう
あてる/当てる.....あうー、あづい
あと/後.....あとう
あとおし/後押し.....くす
あとざん/後産.....あとうざん
あとしまつのわるいひと/後始末の悪い人 てい
びふきや、ていびふぎや、ていびふちや、てい
びほうきや、ていびほうぎや、ていびほうちや
あとひといき/あと一息 あとう ひとつむちや
き
あな/穴.....あーぶ、あな、ひーき、ぴーき
あなうめ/穴埋め.....みー
あながあく/穴があく.....ほうぎ、ほうず
あなた/あなた.....つうあ
あなをあける/穴をあける ひーつ、ひーふ、ぴ
ーつ、ぴーふ、ほうがす、ほうぎ、ほうず
あなをうめる/穴を埋める.....つぶあす
あに/兄.....そうじゃ
あにとあね/兄と姉.....あにそうじゃ
あね/姉.....あに
あの/あの（指示形容詞）.....かぬ
あの/あの（フィラー）.....んみや、んめ
あの一/あの一（フィラー）なうがら、あうぬー
あのちょっと/あのちょっと（掛け声） はいゆ

はい
 あのね/あのね (注意喚起) いら
 あのねー/あのねー (フィラー) かぬいー、ん
 めーら
 あのひと/あの人 かい
 あのひとたち/あの人たち かぬきや、かぬきや
 た
 あのよ/あの世.. あぬゆ、あぬゆー、かぬゆー、
 かんぬゆー
 あばた/あばた ずみじゃ
 あばらほね/あばら骨 あばらぶに、さうきぶに、
 やかたぶに、ゆんぶに
 あばらや/あばら屋 あばらやー
 あばれる/暴れる あい、あり
 あばれんぼう/暴ん坊 ふしびや、ぼうちら
 アヒル/アヒル【鳥】 がーな
 あびる/浴びる あみ、あみかうー、あん
 アブ/アブ【昆】 あぶ
 あぶら/脂・油 あっづあ
 あぶらっこい/脂っこい あっづあびーた
 あぶらまみれ/油まみれ あっづあびーた
 あぶらまみれ/油まみれ あっづあびーた
 アフリカマイマイ/アフリカマイマイ【生物】
 たいわんばるんな
 あぶる/あぶる あうー、あっづい
 あふれている/あふれている びーた
 あふれる/溢れる あふい
 あぶれる/あぶれる はぐい
 あまあし/雨足 あみすず
 あまい/甘い あずま
 あまえる/甘える あまい
 あまくなる/甘くなる (太陽にさらして) ない
 あまごい/雨乞い あまぐい
 あまだれ/雨だれ あまだい
 あまつぶ/雨粒 あみすず
 あまみず/雨水 あまみず

あまやかす/甘やかす あまーす
 あまやどり/雨宿り あみがっふい
 あまり/あまり (+否定) まーぬ
 あまり/余り (_ ので) あてい、あていくとう
 あみ/網 あん
 あみカゴ/編みカゴ あんでいら
 あむ/編む あん、まつ、まふ
 あめ/雨 あみ
 あめ/雨 (恵みの) ゆがほうーあみ
 あめ/雨 (細かい) やーらあみ
 あめ/雨 (細かい) やばあみ
 あめ/雨 (長く続く) ながーみふー
 あめ/飴 あみじやた
 あめふり/雨降り あみふー
 アメンボ/アメンボ【昆】 あみっふあしや
 あや/綾 (模様) あや
 あやかる/あやかる あやかい
 あやしい/怪しい あやす
 あやつる/操る (車などを) むつ
 あやふやだ/あやふやだ あやすふ
 あやまる/謝る うがん
 あらい/粗い (仕事が) ていじゃーかー、あら
 あらい/荒い (性格が) やっづや
 あらう/洗う (体、食器などを) あらう
 あらう/洗う (顔や手を) すみ
 あらだてる/荒立てる ほうーみつ、ほうーみふ、
 ばいんつ、ばいんふ、ばいんき
 あらまあ/あらまあ (おどろき) あや
 あり/蟻【昆】 あかい
 ありえない/ありえない たーらん
 ありがたい/ありがたい ひるます
 ありがとう/ありがとう すでいがほー
 ある/ある (存在動詞) あい、あり
 あるきはじめ/歩き始め あいつびやー
 あるきはじめる/歩き始める (子供が) またー
 たい、またたーい、またたい

あるきまわる/歩き回る...まーい、ゆがまーい
あるく/歩く.....あいつ、あいふ
あるく/歩く(ふらつきながら).....たい
あるくこと/歩くこと.....たつ
あるけないひと/歩けない人 いじゃい、いじゃ
ら、たくつづあ
あることないこと/あることないこと あいくと
う にゃーんくとう
あるていど/ある程度.....まーだぎゃー
あるとき/ある時 ひとついひゃうす、ひとつひ
ゃうな
あるとし/ある年..ひとつてい、ひとつていー、
ひとつていーない、ひとつていない
あるにち/ある日ひとつい、ひとついひゃうす、
ひとつひゃうな
あれ/あれ(指示名詞).....かい
あれ!/あれ!(軽い驚き) おごい、おごえ、あ
ば、かや、かやはい
あれこれ/あれこれ.....あいかい
あれこれすること/あれこれすること あいあす
かいあす、あやす かやす
あれもこれも/あれもこれも ういまい かいま
い
あれる/荒れる(田畑が).....あばい
あわ/粟.....あー、ゆに、ぐる
あわせる/合わせる.....あーす、すなーす
あわせる/合わせる(ちよつとずつ)...かてい
あわてふためくこと/慌てふためくこと つつん
く、つつんつ
あわてもの/慌て者 かかみきや、ちゃーふきや、
とうっふや、とうとうっふや
あわてる/慌てる あわてい、つつんつ、つつん
ふ、つとうっつ、つとうっふ、つつつとう、つ
つつふ、つとうふー
あわのおにぎり/粟のおにぎり.....あーぬい
あわのはつもの/粟の初もの.....あーぬうはつ

あわばたけ/粟畑.....あーなか
アワビ/アワビ.....あーび
あんいな/安易な.....どうーやす
あんしんだ/安心だ...うくつとう、うむいやす
あんぜんきがん/安全祈願.....きんだてい
あんな/あんな.....あいぬ
あんないする/案内する.....んかい
あんなことも/あんなことも...あいぬ かいぬ
あんなもの/あんなもの あいぬむぬ かいぬむ
ぬ
あんなやつら/あんなやつら.....あうぬんみ
いい/言い(「あい」の連用形).....あっじ
いいえ/いいえ.....んば
いいかい/いいかい(念押し).....いら
いいかげん/いい加減 たいがいじゃんみん、な
まはんか、なまはんば
いいかげんなやつ/いい加減な奴..はんちまー、
はんつまー
いいきかすこと/言い聞かすこと.....ぎず
いいたいほうだい/言いたい放題 ふつあじや
ーな
いいなづけ/いいなづけ.....いーなずき
いいふらす/言いふらす.....ゆみーまーい
いう/言う.....あい
いう(けんじょうご)/言う(謙讓語) っさい
いう(つまらないことを)/言う(つまらない
ことを).....ぐーみつ、ぐーみふ
いうことをきかない/言うことを聞かない かき
らいん
いえ/家.....やー
いえ/言え(「あい」の命令形).....あっじ
イエスマン/イエスマン んーでいだーら、ん
ーでいだーり、んーでいだーりや
いえのなか/家の中.....やーなか
イカ/イカ.....あうきや
いがい/以外.....ほうか

いかけや/鑄掛屋（鍋を直す）... なびぬ くー
いかにも/いかにも（＝見るからに）なうがが
ら
いかめしくする/厳しくする きちゆみ、きつみ
いかりづな/錨綱.....うぶん° な
いかる/怒る.....つむー いだす
いき/息.....いつ
いきおい/勢い.....いつき
いきがい/生きがい.....あてい、みゃーてい
いきかえらせる/生き返らせる.....いっだす
いきができない/息ができない いつっふい、い
つふー
いきぎれする/息切れする つふあみつ、つふあ
みふ、はーみつ、はーみふ
いきごみ/意気込み.....あらいず
いきごむ/意気込む.....しゃーがい
いきなり/いきなり かば、なうちゃーなー、な
うちゃーにゃー
いきなれた/行きなれた道.....あいつんつ
いきのね/息の根.....いつぬにー
いきもの/生もの.....なまむぬ
いきる/生きる.....いっず、いっでい、ふあう
いく/行く.....いつ、いふ、はい
いく/行く（聞き手のところに）.....ふー
いく/行く（下の方の畑に）.....うり
いく/行く【尊敬語】.....んみゃい
いく/行く（漁に）.....うり
いくさ/戦.....いっさ
いくつ/いくつ【疑問詞】.....いふつ
いくら/いくら【疑問詞】 いさか、いさき、い
かっさ
いくら/いくら.....いふ
いくらでも/いくらでも.....いかっさまい
いくらも/いくらも（否定＋）...いかっさまい
いご/囲碁.....ぐー
いし/石.....いす

いし/石（土がかたまったもの）...いすぬまら
いしうす/石臼.....いすうす
いしがき/石垣 ますぎた、ぬぬずん、ぬぬずん
ますぎた
イシガニ/イシガニ【生物】.....ばたら
いじくる/いじくる.....んたう
いしころ/石ころ（畑の中の）.....いさら
いしだらけ/石だらけ（畑）.....いさら
いしのまじったはたけ/石の混じった畑 いさら
ばい
いじめる/いじめる..ひつつ、ひつふ、ひつき、
ばーふー、いちゃます
いじわる/意地悪.....わちやく
いじわるいひと/意地悪な人.....ばたふっじゃ
いじわるするやつ/意地悪する奴 ばた ふっで
いんまり
いじわるなこうい・ひと/意地悪な行為・人 や
なづむ
いじをはる/意地をはる しゃーみつ、しゃーみ
ふ、しゃーい
いじん/偉人.....ぶす
いす/椅子.....いす
いすわる/居座る.....びじゃい
いすわるひと/居座る人.....ながていび
いせえび/伊勢海老【生物】.....いびがん
いぜん/以前...はーひー、ひゃーひー、ひゃー
いそいで/急いで.....はやまり
いそがしい/忙しい いそがす、はんた、ぱん
た
いそがしいじき/忙しい時期.....ばんず
いそがせる/急がせる いそがす、すきゃかす
イソギンチャク/イソギンチャク【生物】 つぞ
うぬみー
いそぐ/急ぐ.....あわてい
イソマグロ/イソマグロ【魚】.....とうかきん
いた/板.....いちゃ

いたい/痛い..... いちゃ、すん、やん
いたい!/痛い!... あがー、あがい、あっがー
いたずら/いたずら ていーばっじゃーす、わち
やく
いたずらもの/いたずらもの... わちやくんまり
いただく/頂く..... ぶい
いたみ/痛み..... いちやん
いたむ/痛むやん、さす、そうっづい、いちやん
いたむ/痛む(心が)..... つむやん
いためる/痛める..... やます、ない、ないー
いち/1(番号)..... てー、ていー
イチゴ/イチゴ..... ぱんきまらんーた
いちど/一度..... ひとうん
いちにち/一日..... ひとうい
いちにちじゅう/一日中.. ひとういがーまーす、
ひとういぎゃーみゃーす
いちねんかん/一年間 ひとうてい、ひとうてい
ー、ひとうていーない、ひとうていない
いちねんご/一年後..... ふたていあとう
いちねんまえ/一年前..... ふたていない
いちばん/一番(最上級)..... んながーんな
いちもくさんに/一目散に..... とうとうっふい
いちりんのはな/一輪の花..... ひとうはな
いつ/いつ【疑問詞】..... いつ
いつか/五日..... いつか
いっかい/一回..... ひとうん
いっかのはじ/一家の恥..... なーすたらしゃ
いっき/一気..... ひとういつ
いっけんいっけん/一軒一軒 やーがま くーが
ま
いっけんや/一軒家..... ひとうきゅーやー
いつごろ/いつ頃【疑問詞】..... いつばかーい
いつごろか/いつ頃か..... いつががら
いっさい/一歳..... ひていつ
いっさく/一昨..... みーかない
いっしゅうする/一周する..... だきーまーい

いっしゅうねん/一周年..... ゆぬーい、ゆぬい
いっしゅん/一瞬..... かたとうき
いっしょうがい/一生涯..... んぬつぬ はだ
いっしょうけんめい/一生懸命に わいていー
いっしょくふん/一食分..... ひとうひゃーい
いっしょに/一緒に ていびゃーい、ていびゃー
うい
いっしょに/一緒に..... ひとうみ、まーじゅん
いっしょにいること/一緒にいること... そうい
いっそう/いっそう..... たった
いったん/一反(300坪)..... やそうる
いっちする/一致する..... あう
いつつ/五つ..... いつつ
いっとき/一時..... いっとうつ
いつなんどき/いつ何時..... いつなんどうつ
いつのまにか/いつの間にか っさだ ういきゃ
いっぼんつり/一本釣り..... ていなー
いつまでも/いつまでも..... いつがみまい
いつも/いつも いつまい、ちゃー、ひつん、ま
いやー まいにつ
いつもいつも/いつもいつも とうすかず はだ
かず
いと/糸..... いちゅ、いとう
いど/井戸..... かー
いどうする/移動する..... まーい
いとおしい/愛おしい..... かなす、あたらす
いとこ/いとこ..... いちふ、いちゅふ
いとし/亥年..... びどうい
いとまき/糸巻【道具】..... ばふ
いない/いない(生き物が)..... みー
いなくなる/いなくなる..... うす
いにかなう/意に適う つむん かなう、すなう
いぬ/犬..... いん
いぬとり/犬捕り..... いんくらしゃ
イヌマキ/イヌマキ【植】..... きゃーぎ
いねみつ/稲光..... いなびかい

いねむり/居眠り ににゆー
いのち/命 いつ、んぬつ
いのる/祈る かみ
いばる/威張る いばい
いばるひと/威張る人 いばら
いびきいびき はなならず
いびきをかく/いびきをかく... はなう ならず
いぶくろ/胃袋 むむくーら
イボ/イボ ふつびや
いま/今 んなま
いまごろ/今ごろ んなまがしゆく、んなまがそ
うく、んなまどうーら
いましがた/今しがた んなまがた
いまのうちに/今のうちに んなまぬちゃん
いまのところ/今のところ んなまがしゆく、ん
なまがそうく
いも/芋 んー
いも/芋【古語】 ずーくまりや
いも/芋(取り残しの) ... あかうぎーぬ んー
いもうと/妹 うっとう
いもづる/芋づる んーぎー
いものおかゆ/芋のお粥 んーだり
いものおにぎり/いものおにぎり んーぬい
いものでんぷん/芋の澱粉 んーくず
いもばたけ/芋畑 んーなか
いもほりぼう/芋掘り棒 んーぷら
いもをたくなべ/芋を炊く鍋 んーにーなび
いやだ/いやだあかふそう、なうんだい、んば、
んーば、んまは
いやだよ/いやだよ んばだら
イライラする/イライラする かさます、かかい
っじゃんふ、つむかさみつ、はだたつ
いらだつ/苛立つ かさみつ、かさみふ
いらっしゃいませ/いらっしゃいませ んみやー
てい、んみやてい、んめてい
いらない/要らない いらじゃーらん、いらじゃ

らーん、いらじゃらん、いらじゃい
いらべ/伊良部【地名】 いらう
いりえ/入江 いー
いりぐち/入り口 ふつ、はいーふつ、はいふつ
いりひたること/入り浸ること いりびたい
いる/煎る いーつ、いーふ
いる/いる(人、動物などが存在する) ... うい
いる/要る.. いり、いー、いらじゃい、かむー、
かむい
いる/いる【尊敬語】 んみやい
いる/いる(たくさん) がっうあみつ、がっう
あみふ
いるい/衣類 つんかー
イルカ/イルカ じゃかひとう
いれずみ/刺青... いりずみ、はいつつ、はずつ
いれば/入れ歯 いりばー
いれる/入れる いー、いり
いれる/入れる(組み込む) くみ
いれる/入れる(注ぎ込む) ... あうぎ、あうず
いろいろ/色々 たていたてい
いろぐろのひと/色黒の人 つふがー
いわ/岩(リーフと島の間にある) .. あかやー、
かんふ、しー
いわ/岩(固い) ぐー
いわかげ/岩陰 きす
イワシ/イワシ【魚】 みじゆぬ
いんかく/陰核(クリトリス) なかち、なかつ
いんかん/印鑑 はん
いんけい/陰茎 はんきまら、ばんきまら
いんのう/陰囊 ふぐい、たに
いんもう/陰毛 つふぎ
いんれきごがところ/陰暦5月ころ ぼーしゆー
ういざん/初産 ういざん
うう/うー(うめき声) んーとう
ううん/うーん(うめき声) んーとう
うえ/上あーばん、わーばん、あーぎ、あーび、

わーび、はな、うい
 うえ/飢え やーっさがーき
 うえあご/上あご あずがー、あずく
 ウエスト/ウエスト すまーた
 うえにあるいわ/上にある岩 はながんふ
 うえのほう/上の方 あーはな、わーら
 うえる/植える いび
 うかぶ/浮ぶ うきやがい
 うき/雨季 つーき
 うけこたえ/受け答え うきくたい
 うごかす/動かす ゆっじゃす
 うごく/動く ういつ、ういふ、うゆつ、うゆふ、
 むいつ、むいふ、むゆつ、むゆふ
 うごく/動く (へびなどがニョロニョロと) ぶ
 じゅみつ、ぶじゅみふ
 うし/牛 うす
 うし/牛 (子供がうめなくなっている牝牛) や
 ずまい、やずまら、やずまり
 うしなう/失う はぐい、はぐり
 ウジむし/ウジ虫 うずむす
 うしろ/後ろ っしばら、ていび
 うしろまえ/後ろ前 ていびゃーまい
 うす/白 うす
 うすい/薄い っそうがー
 ウズラ/ウズラ【鳥】 うっじゃ
 うそ/嘘 ゆくし、ゆくす
 うそつき/嘘つき やなじゃい、ばくらう、ぶら
 ふきや
 うた/歌 あーぐ
 うたいかた/歌い方 (その人独特の) さぐ
 うたう/歌う あい
 うたがう/疑う うたがう
 うたき/御嶽 うたき
 うたきのなか/御嶽のなか うどうぬ
 うちうみ/内海 いなう、んなとう
 ~うちに/~うちに (している_) ちゃん

うちまご/内孫 やーんまが
 うちわ/うちわ あうず
 うつ/打つ (打ち込む) うんつ、うんふ
 うつ/打つ (ボールなどを) あったみ
 うつくしい/美しい かぎ、きつぎ、んまぎ
 うつくしいこと/美しいこと かぎさ
 うつくしくない/美しくない んずぎ
 うつす/移す うっちゃす
 うつす/写す うっちゃす
 うつふせ/うつ伏せ うすん、うそうん
 うつふせになる/うつ伏せになる うすみ、うす
 ン、うそみ、うそうん、んぶだーい
 ウツボ/ウツボ【魚】 うず
 うつむく/うつむく うすんつ、うすんふ、うそ
 うんつ、うそうんふ
 うつる/移る うつつ
 うつる/写る うつつ
 うつわ/器 かいしき
 うで/腕 うでい
 うでのいいりょうし/腕のいい漁師 いんかない
 びとう、いんじゃう
 ウナギ/ウナギ【魚】 うなず、きふなず
 うなる/唸る ぬーず、ぬーっず、ぬーでい、ぬ
 ーっでい、んない
 ウニ/ウニ【生物】【食】 うん
 うね/畝 まに
 うね/畝 (広さの単位) せ
 うねり/うねり なぐい
 うぼう/奪う ばかい、ばかう、がっじゆい、が
 どうい
 うま/馬 ぬーま
 うまい/美味しい んま
 うまごや/馬小屋 たつ
 うまのたてがみ/馬のたてがみ ぬーまぬ かん
 ぎ
 うまれ/生まれ んまり

うまれそだち/生まれ育ち……………ういだつ
うまれながらの/生まれながらの んまりながー
ぬ
うまれる/生まれる……………すでい、んまい
うみ/海……………いん
うみ/濃……………んーく
ウミウシ/ウミウシ【生物】……………いんうす
うみどり/海鳥……………いんどうい
うみねこ/海猫……………つきやふ
うみのおや/産みの親……………なすんま
うみのちかく/海のちかく……………いんばた
うみのふかいところ/海の深いところ あうそ
うみブドウ/海ブドウ……………んきやふ
ウミヘビ/ウミヘビ【海洋動物】……………いんぼう
うむ/膿む……………んー、んみ
うむ/産む……………なす
うめる/埋める……………うずん、ふさがい、ふさず
うやまう/敬う……………なーぎ
うら/裏……………ていび
うらがえし/裏がえし……………ほうがさー
うらがえし/裏返し さかー、さかさ、さかさー
うらかえしに/裏返しに……………くさーん
うらて/裏手……………っしばら
うらなう/占う……………あかす
うらなう/占う……………むぬー あかす
うらやましい/羨ましい……………そーじや
うらやましがる/うらやましがる そーん、ひ
がん
うり/瓜【果物・野菜】……………あかうい
うりふたつ/瓜二つ…あーぬいや ぼりーど
うる/売る……………うー
うる/うる（海藻）……………うる
うるう/潤う……………うるー、うるい
うるうづき/潤月……………あまいづつ、うるずつ
うるうどし/潤年…あまいどうす、うるどうす、
うるーどうす

うるおいのじき/潤いの時期（農業用語） うり
ー
うるさい/うるさい..がじゃみつ、がじゃみふ、
やがます、んがます、んぎやます
うれしい/嬉しい……………ふからす、ほうからす
うれしいこと/うれしいこと……………ほうからっさ
うれしがりだ/嬉しがり……………ふからっさむい
うろおぼえ/うろ覚え……………なまうぶい
ウロコ/ウロコ……………いーき、いーつ
うわきっぽい/じょせい浮気っぽい女性 みやー
らび
うわさ/噂 っさ、ふさ、ひとうっさ、ひとうっ
じゃ、ひとうぬっさ、ひとぬふさ
うわさはなしをする/うわさ話をする ひとうぬ
っさ あす
うわさをよくするひと/噂をよくする人 ひとう
っじゃぬ すー
うん/運……………うん、ふー
うん/うん（返事）……………えー、んーでい
うんうん/うんうん（うめき声）……………んーとう
うんがいい/運がいい……………いす、いそ
うんがいいこと/運がいいこと……………いす
うんてんする/運転する……………くるまう むつ
え/え？（ききかえし）……………なうばいてい
えーと/えーと（話始めの言い淀み） いら、な
うがら
えーと/えーと（フィラー）..また、んめーら、
なうていどう あい
エイ/エイ【生物】……………いー、かまんた
えいえんに/永遠に……………みやーくなぎ
えがおがきれいなひと/笑顔がきれいな人 みー
ばらーしゃ
えさ/餌……………びじゅ
えさにするこざかな/餌にする小魚……………じゃぐ
えだ/枝……………ゆだ
えたいのしれない/得体のしれない..いかがら、

いきやがら
えだまめ/枝豆 ままみ
えっ/えっ (聞き返し) なー、あか
えと/干支 とうい
えと/干支 (自分の生まれた) とうすびー
エビ/エビ さい
エラ/エラ いら、さん
えらいひと/偉い人 ほうがなまい、ほうっびと
う、ゆかいびとう、ゆかいむぬ
えらびにえらんで/選びに選んで いらびって
えらぶ/選ぶ いらう
えらぶる/偉ぶる ひとつふい
えらぶること/偉ぶること ひとつふい、ひとつ
ふりゃ
えり/襟 つんぬふず
えりごのみする/えり好みする むん
えんせき/縁石 ふずつ、ふずつ
えんちょうする/延長する そうんうー
えんぼう/遠方...かじゃー、かなーい、かない
お/緒 ぶー
おい/甥 みゆーい
おい/おい (呼びかけ) おい
おいかえす/追い返す うつつ、うーつつ、うっ
たーす、うっちゃーす、うっちーはらす
おいかけさせる/追いかけさせる うっちゃらす
おいかける/追いかける うつつ、うーつつ、う
ったーす、うっちゃーす、うー、うーい
おいこす/追い越す すったーうー、すったうー、
すったーす、すったーつぐあす、すってい、す
っていつぐあーす、すていー、すていーうー、
すていうー、すていらーす、すていらす
おいこみりょう/追い込み漁 あんつかい、あん
つかいまーい、ばらじゃん
おいこむ/追い込む しみ
おいしげる/生い繁る はやい、うやい
おいしそうな/美味しそうな んまぎ

おいだす/追い出す うつつ、うーつつ、うった
ーす、うっちゃーす
おいぬく/追い抜く ぬず、んず
おいのり/おいのり【祭礼】 ういびらい
おいる/老いる うい
おいわい/お祝い ゆーい
おうぎ/扇 あうず
おうし/雄牛 びきうす
おうし/雄牛 (体の大きい) ばふうす
おうじる/応じる うーでい、うーっでい、うー
ず、うーっず
おうちやくな/横着な んまつ
おうふく/往復 いつむどうい
おえる/終える あがい、あがいー
おおあめ/大雨 やぐみ あみ、すまうていあみ
おおい/覆い うそうい
おおい/多い は一さ、ぶた
おおう/覆う うー、うーい、うーう、うーっ
う、うそうー、うそうい
おおうそ/大嘘 うぶだらか
おおうなばら/大海原 とうー、とうなか、ほう
とうー
おおがらだ/大柄だ ほうがら
おおがらなひと/大柄な人 だんびー
おおきい/大きい うほう、ほうい、がばー
おおきい/大きい (=年上) は一、ほう
おおきいあな/大きい穴 は一な
おおきいこっかく/大きい骨格 ほうっぶに、ほ
うぶに
おおきくする/大きくする でいかす
おおきさ/大きさ ほういさ
おおきなおわん/大きなお椀 そうんがん、そう
んがんまかい
おおきなハンママ/大きなハンマー... うーつつ
おおぐい/大食い うにゃ
おおぐいだ/大食いだ うん

おおぐちをたたくひと/大口をたたく人 ほうー
ちゃ
おおくのひとがあつまること/多くの人が集ま
ること なみじゆるい
おおげさ/大げさ ふーき、ほうーき
おおげさなやつ/大げさな奴 あばさ
おおげさにいう/大げさに言う ほうーき、ほう
ーつ
おおげさにいうこと/大げさに言うこと ほうむ
ぬい、ほうむぬゆい
おおごえ/大声 やぐい
おおざっぱだ/おおざっぱだ ばぼん
おおしお/大潮（旧暦） さにつ
オオセジヒメジ/オオセジヒメジ【魚】 かたか
す
おおどおり/大通り ほうんつ
おおなみ/大波 ほうなん
オオハマボウ/オオハマボウ【植】 ゆーなぎー、
ゆなぎー
おおぼらふき/大ぼら吹き .. ほうっぶらふきや、
ほうむぬゆみや
おおまた/大股 ほうっばば
おおまただ/大股だ ほうっばば
おおむぎ/大麦 ほうむず
おおめに/多めに ましん
おかあさん/お母さん んま
オカガニ/オカガニ【生物】 あらがん
おかげ/お陰で みゆーぶき、うぶき
おかず/おかず かていむぬ、そー
おかず/おかず（食欲をそそる） あいでい
おかずなしに/おかずなしに あばつな
おかゆ/お粥 ゆー、うぶゆー、しらゆー
オカラ/オカラ たうふがす
おき/沖 うき
おきなわ/沖縄【地名】 うつな一
オキナワズメウリ/オキナワズメウリ【果

物・野菜】 まずむぬぬ あかばたうい
おきなわふうドーナツ/沖縄風ドーナツ さたて
いんぶら
オキナワヤステ/オキナワヤステ なまだんむす
おきび/熾火 うつー
おぎゃー/おぎゃー（赤ん坊の泣き声） んぎゃ
ー
おきゆう/お灸 やちゆ
おきる/起きる うき、みじゃつ、みじゃふ、み
じゃん、みそうい
おきん/お金 でいん
おく/置く うつつ、うっふ、びし、びす
おく/奥 うつ
おくざしき/奥座敷 うらじゃ
おくさん/奥さん うやんま
おくば/奥歯 うすばー
おくびょう/臆病 かうがま
おくびょうもの/臆病者 あうみー、あうみーや
から
おくめ/奥目 ふかみー
おくりもの/贈り物 ていだい
おくる/送る うくい、いだす
おくること/送ること うくい
おくれる/遅れる うくい
おこげ/おこげ（鍋の底にへばりついた食べ物）
くるず、ていびふっでいむぬ
おこげごはん/おこげご飯 なんつつまい
おこす/起こす うかす、うくす
おこたる/怠る うくたい
おこつ/お骨 くつ
おこらせる/怒らせる .. つむだす、ばたっさい、
ばたふさい
おこりっぽいひと/怒りっぽい人 つむじゃ
おこる/怒る つむいでい、つむでい
おこる/起こる うくい
おごる/奢る ていだい

おさえつける/押さえつける うさい、くんつき
おさえる/押さえる……………んつみ、んつん
おさないころ/幼いころ……………いみかいきや
おさまる/収まる……………いー、いり、うさまい
おさめる/収める……………んちゃみ、んちゃん
おさめる/納める……………うさみ、うさん
おさんしたての/お産したての……………しら
おさんしたてのいえ/お産したての家 しらやー
おしあい/押し合い……………うすあい
おじいさん/おじいさん……………うや
おしいれ/押し入れ……………おしいり
おしえ/教え……………ならい
おしえる/教える……………ならーす、っさす
おしえること/教えること……………ならーす
おじさん/おじさん……………ぶじゃ、ぶじゃがま
おしたおす/押し倒す……………うすぶらす
おしだす/押しだす……………あーす
おしつける/押し付ける うす、うさす、うっさ
す
おしゃべり/おしゃべり……………ゆがたい
おしゃべりする/お喋りする……………むぬー ゆん
おしゃべりなひと/おしゃべりな人 あばさ、ふ
ちや、むぬゆみや、むぬゆんぱじゆら、
おしゃれ/おしゃれ……………がーい
おしゃれな/おしゃれな……………しゃり
おしゃれをする/おしゃれをする……………がーい
おしよせる/おしよせる がーらみつ、がーらみ
ふ、ゆい
おしり/お尻 ていび、ていびぐー、ていびたい
おしりのあな/お尻(の穴) ちーぬん、ちーる
ん、ちびぬん、ちびるん、ていーぬん、ていー
るん、ていびるん、ていびぬん
おしろい/おしろい……………うしろい
おす/押す……………うす
おす/雄……………びき
おすうま/雄馬……………びきぬーま

おせじ/おせじ……………あずまうつ、あづあうつ
おせじをいう/お世辞を言う……………びらう
おぜん/お膳……………うすつ
おそい/遅い……………にゆー
おそろしい/恐ろしい……………ほうーぐる
おだてにのりやすいひと/おだてに乗りやすい
人……………ほうみばやー
おだてる/おだてる うだつ、うだてい、さぱー
す、ひゃーす、びゃーす
おたふくかぜ/おたふく風邪……………たうしんばい
おだやかな/穏やかな……………やば
おだやかになる/穏やかになる やすまい、やす
ん
おちついて/落ち着いて たみーたみ、たみーた
みー
おちつかない/落ち着かない たづあみつ、た
づあみふ、ていびがる
おちつかないようす/落ち着かない様子 ほうり
みつず
おちつきがない/落ち着きがない かさみき、か
さみつ、たまっさにやーん
おちつきがないひと/落ち着きがない人 ぱじゆ
ら、ていびがる
おちつける/落ち着ける……………やすます
おちゃうけ/お茶うけ……………ちゃうき
おちる/落ちる(穴などに) ぶりんつ、ぶりんふ
おちる/落ちる うてい、さんじゃい、しゃんじ
ゃい
おつかい/お使い……………くまづかい
おっくう/億劫……………うっくー
おっと/夫……………びきどうん、ぶとう
おつゆ/おつゆ……………んつつー
おでき/おでき……………ほうがさ
おでこ/おでこ……………ふたい
おてんばだ/おてんば……………ていんぱな
おと/音……………なら

おと/音（音楽用語）……………にー
おと/音（食べる時に出る）……………ふつなら
おと/音（高い音調）……………いちゆに
おとうさん/お父さん……………っざ
おとうと/弟……………うっとう
おとこ/男……………びきどうん
おとこどうしのともだち/男同士の友達 まらち
やー
おとこのこ/男の子【歌語】……………びく
おとさた/音沙汰……………うとうさた
おとさたがない/音沙汰がない んーていーまい
すんていーまい
おとす/落とす……………うたす、うとうす
おどす/脅す うどうす、いっづあす、ゆっづあ
す
おととい/おととい……………みーかない
おととし/おととし……………みーていない
おとなしい/おとなしい うくっとう、うとうな
す、とうどうか、まない
おとなっぽくなる/大人っぽくなる っちやまい
おとのさま/お殿様……………とうぬがなす
おともする/お供する…とうむーす、とうむす
おどり/踊り……………ぶどうい
おどる/踊る……………ぶどうい
おとろえる/衰える……………すがい
おどろかす/驚かす うどうるかす、いっづあす、
ゆっづあす
おどろき/驚き……………うどうるつ
おどろく/驚く うどうるつ、うどうるふ、たま
がい、だまがい
おどろくこと/驚くこと…たまがい、だまがい、
かばたまがい
おとをだす/音を出す（ドタンと）だんまみつ、
だんまみふ
おとをたてる/音を立てる（ガラガラと）がら
みつ、がらみふ

おなかがゴロゴロなる/お腹がゴロゴロなる む
がい、むぎゃい、むぎゃり
おなかのちょうし/お腹の調子……………ばたずみ
おなじ/同じ…まーじゅん、ゆぬ、ゆぬそうい
おなじもの/同じもの…ゆぬそうい、ゆぬむぬ
おなじような/同じような……………んーさ
おなら/おなら……………ひー、ぴー
おならをする/おならをする……………ひつ、ひふ
おに/鬼……………うん
オニオコゼ/オニオコゼ【魚】……………あば
おにぎり/おにぎり……………ぬい
オニヒトデ/オニヒトデ【生物】……たうんぎ
おの/斧……………ゆつ
おばあさん/おばあさん……………はー、ぱー
おばあさん/子供を外に出すおばあさん【祭礼】
いだすぱー
おばけ/おばけ……………ほうーぐる
おばさん/おばさん…ぶば、ぶばがま、ぶばま、
ぶばんま
おはらい/お祓い【祭礼】……………さうずばり
おはらがへる/お腹が減る……………すー
おび/帯……………そうくー
おびえること/おびえること……………けー
おぼえ/覚え……………うぶい
おぼえる/覚える……………うぶい
おぼれる/濡れる うーっふ、うーっふい、うー
ふ、うーふー
おぼん/お盆……………しちぐつ、しつぐつ
おまえ/お前……………っづあ
おまえたち/お前たち…っづあどう、っづあある
おみやげ/お土産……………つとう
おもい/思い……………うむい
おもい/重い……………んぶ
おもいあがる/思い上がる……………つきゃがい
おもいこがれる/思い焦がれる…うむいくがい
おもいだす/思い出す……………うむいだす

おもいのまま/思いのまま うむいが にやーん
 おもいやりがたい/思いやりがたい つむー に
 やーん
 おもう/思う うむー
 おもがい/おもがい (馬具の一種) ... うむがい
 おもかじ/面舵 うむかじ
 おもさ/重さ んぶさ
 おもさ/重さ (容器の) ふーたい
 おもしろい/面白い うむっし、ゆがいな
 おもしろおかしい/面白おかしい ばかす
 おもしろくない/面白くない かさます、ずみや
 ー にやーん
 おやこ/親子 うやっふあ
 おゆ/お湯 みず
 およぐ/泳ぐ うーず
 およそ/およそ (量名詞の後) ほうだ
 およぶ/及ぶ .. うーでい、うーっでい、うーず、
 うーっず
 おりいと/織り糸 かし
 おりくち/降り口 うりふつ
 おりこうさん/お利口さん (誉め言葉) まいふ
 が
 おりる/降りる うり
 おる/折る (体の一部を) かくん、がぐん
 おる/織る うい
 おる/折る ぶい、ぶり
 おれる/折れる ぶい、ぶり
 おろかな/おろかな ふとうてい
 おろしがね/下ろし金 かな
 おろす/おろす (魚を) うかす
 おろす/下ろす うらす、うるす
 おわらせる/終わらせる すつなす、すていなす
 おわり/終わり うわい
 おわり/終わり (話の最後のしめくくりのこと
 ば) とー
 おわる/終わる はつ、はてい、うわい、なっち

やい、とうどうまい
 おわん/お椀 まかい
 おんぎ/恩義 うんず
 おんどり/雄鶏 びきどうい
 ～か/～か ががら
 か/蚊 かじやん
 か/か (真偽疑問) な
 が/我 (をはる) がー
 が/蛾【昆】 あんぐーにや
 が/が (間接疑問) が
 が/が (疑問詞疑問) が
 が/が (疑問詞疑問) そうが
 が/が (所有格助詞) ぬ
 が/が (主格所有格助詞) ぬ、が
 かい/權 っざく
 かい/甲斐 かい
 がい/害 がい
 かいがん/海岸 はま
 かいけい/会計 さんだん
 がいけん/外見 みーたう、みーとう、みーとう
 ー、みーはー
 かいこんする/開墾する あき
 がいしょう/外傷 ほうがさ
 かいしんする/改心する つむがーい あす
 かいじんそう/海神草 (薬草) なちやーら
 かいすい/海水 ほうそうー、ほうそうみず、ほ
 うっそう、ほうっそうー、ふそうみず
 かいせん/疥癬 かうしゃー
 かいせんはだ/疥癬肌 さみ
 かいてき/快適 ずみ
 かいな/腕 かいな
 かいならず/飼いならず ならず
 かう/買う かう
 かう/飼う つかなう
 かう (つけで) /買う (つけで) さがい
 かえす/返す かいす、とうらす

かえす/帰す はらす
かえす/返す (金を) とうらす
かえりがおそくなること/帰りが遅くなること
ゆなかばい
かえる/帰る はい、むどうい
かえる/変える かい、かーらす、なす
カエル/カエル うんた
かお/顔 みはな
かおいろ/顔色 みはな
かおいろがわるい/顔色が悪い はだっさり
かおだち/顔だち かーぎ
かがくひりょう/化学肥料 きんぴ
かかと/かかと あどう
かがみ/鏡 かがん
かがむこと/かがむこと うすん、うそうん
かがめる/屈める (体の一部を) かくん、がぐん
かがやき/輝き ひかい
〜がかり/〜係り (名詞のあとにつく) ... ぐな
かかる/かかる (病気に) たばい
かかわる/関わる かい、かむー、かむい
かかんな/果敢な はてい
かき/牡蠣 いすぬみー
かぎ/鉤 (ものをつりさげるもの) がず
かきあつめる/掻き集める かかつ
かきね/垣根 かつ、かつに
かきまわす/掻き回す むがっらす、むがら
す、むぎゃっらす、むぎゃらす、んがっらす、
んがらす、んぎゃっらす、んぎゃらす、ききや
ーす、きぎゃーす、ききゃーらす
かきゅうかんりょう/下級官僚 (歴史) みざし
かきゅうやくにん/下級役人 (歴史) うや
かく/掻く かつ、かふ
かく/かく (汗を) かつ、かふ
かく/書く かつ、かふ
かぐ/嗅ぐ かん
かくいえ/各家 きないかず、やーかず

かくじ/各自 うながどうーどうー
かくす/隠す うー、うーい、うーう、うーっづ
い、かつふあす、ばちやみ、ばちやん
かくれる/隠れる かつふ、かふー
かげ/影・陰 かが
がけ/崖 はなた、はなむつ
かけっこ/かけっこ はーさにやー、ひやーさに
やー
がけのうえ/崖の上 (海岸ぞい) しばな
かけら/欠片 かきら
かける/かける (水などを) .. あみかつづあす、
あみかつづい、あみかつづあらす
かける/かける (布団を) ... かうー、かつづい
かける/かける (声を) かき
かける/かける (鍋などを火に) ... んし、んす
かげんできない/加減できない まみっじゃにや
ーん
カゴ/籠 (苧麻糸などを入れる) まぐ
かご/籠 (海で使う) びらふ
かこむ/囲む かくん
かさ/傘・笠 さな
かさねる/重ねる つくつ、つくふ、かさん、か
さに、かさみ、あーす
かさぶた/かさぶた かたうさ
かし/菓子 かーす
かじ/舵 かつ
かしぎ/かしぎ (機織り道具) かしぎ
かしこい/かしこい まいふが
かじつ/果実 きーぬない
かじや/鍛冶屋 かつじゃ、かんじゃーや
ガジュマルのき/ガジュマルの木 がずはなぎー
〜かしら/〜かしらびやー、びやーい、びやーん
かじる/かじる はんち、はんつ、はんつつ
かじること/かじること はんつ、はんつつ
かす/貸す かつ、からす
かす/かす (残り物) かつ

カズラ/カズラ【植】 きゃーん
 かする/擦る かすい
 かすれこえ/かすれ声 あやぐい
 かぜ/風 かでい
 かぜ/風（春一番） うだつまーい
 かぜ/風邪 はなひつ
 かぜがつよいこと/風が強いこと かじやう
 かせぎ/稼ぎ はたらつ、まうき
 かせぐ/稼ぐ あらす、まうき
 かぜをひく/風邪をひく はなう ひつ
 かぞえる/数える ゆん
 かぞく/家族 やーき、やーでい、やーにんじゆ
 かぞくみんな/家族みんな やびとうんーな
 かた/肩 かたむす
 かたあしとび/片足飛び【遊戯】 けんけんぱー
 かたい/固い（食べ物） かたぐー
 かたい/固い（固まっている）くぱ、ふか、ぷか
 かたくなる/固くなる、硬くなる くぱい、ぷか
 い、ほうかい
 かたすみ/片隅 かたうた
 かたち/形 やうたい
 かたづける/片付ける たくー、たくび、ばちゃ
 み、ばちゃん、んちゃみ、んちゃん
 かたづけること/片付けること ばちゃん
 かたっぱしから/片っ端から かたふっじゃから
 カタツムリ/カタツムリ【生物】 はるんな
 かたぶりあめ/片ぶり雨 かたぶい、かたぶいあ
 み
 かたほうのあたま/片方の頭 かたかなまい
 かたまりになっていること/塊になっているこ
 と たにく
 かたまる/固まる かたまい
 かたみ/形見 かたみ
 かたむく/傾く かたうつ、かたうふ、かたうき
 かたむける/傾ける かたうつ、かたうふ
 かため/片目 かたみー

かたよる/片寄る かたゆい
 かちく/家畜 いつむす
 がちゃんと/がちゃんと じゃらていー
 ガチャンと/ガチャンと（物を叩く、割る） じ
 ちゃらていー、ちゃら
 かつ/勝つ...うゆー、かつ、まみふー、がーい
 カツオ/カツオ（中型）【魚】 ちゅーぼん
 カツオ/カツオ（大型）【魚】 だいぼん
 カツオ/カツオ（近海にいる）【魚】 うぶしゅー
 カツオ/カツオ【魚】 かつちゅ
 カツオのしんぞう/カツオの心臓...うどうるつ
 がつがつ/がつがつ がうがう
 かつぐ/担ぐ かたみ、かたん
 かつこいい/かつこいい ずみ、ずみぎ
 かつこう/恰好 すがた、やうたい
 がっこう/学校 がっこー
 かつこうをつける/恰好をつける なうふい、な
 うふや
 かつこうをつけるひと/恰好をつける人 なうふ
 い、なうふや
 かつちり/かつちり がふ
 ~がつよいひと/~が強い人 じゅー
 かてい/家庭 きない
 かど/角 かどう、まがい
 ~かな/~かな...びやー、びやーい、びやーん
 かなう/叶う かなう
 かなしい/悲しい かまらす
 かなづち/金槌 げんの一
 かなぼう/金棒 あきんさう
 かなめ/かなめ かなみ
 カニ/カニ（ソデガラツパ）【生物】 つふあむら
 がん
 カニ/カニ（小型）【生物】 っさかん
 カニ/カニ【生物】 かん
 がにまた/がに股 ゆがはず
 かね/鐘 かに

かねじゃく/曲尺【道具】 ばんじゅーがに
 かねまわり/金回り でいんぐり
 かねもち/金持ち うやき、ゆかいびとう、ゆかいむぬ
 かのうする/化膿する なんだい
 かのじょ/彼女（三人称代名詞） かい
 がぶり/がぶり（勢いよく食べる） がう
 かぶる/かぶる（借金を） いっかうー、いっかつづあす、いっかつづあらす
 かぶる/かぶる（布団を） ... かうー、かつづい
 かべ/壁 くび
 カボチャ/カボチャ【果物・野菜】 なんく
 かま/鎌【道具】 っざら
 かまう/かまう かむー、かむい
 カマキリ/カマキリ【昆】 ... さーるかもーたー
 カマス/カマス【魚】 かまさー、かます
 かまど/かまど【道具】 かまどう、うかま
 カマボコ/カマボコ かまばく
 かまわずにおく/構わずにおく っしゅーつ、っしゅーふ
 がまんする/我慢する んびゃい、んびゃう
 かみ/神様 かん、うい、かんがなす、ていんたうがなす
 かみ/紙 かびー
 かみ/髪 あか
 かみ/髪 からの、からず
 かみきれない/髪みきれない ... ひつに、すびに
 かみさま/神様（命の神様） ばかばう
 かみさま/神様（新生児記帳の） うちやうぬす
 かみさま/神様（最高位の） かんばな
 かみだな/神棚 かんだな
 かみなり/雷 かんない
 かむ/噛む かん、ふー
 かめ/瓶 かみ、くびん、みんがみ
 カメムシ/カメムシ【昆】 たーがみ
 カモ/カモ（＝簡単にだまされる人） まきなら

い
 かもい/鴨居 かむい
 ～かもしれない/～かもしれない がら
 カモメ/カモメ まゆずきやふ
 かや/茅 まかや
 かや/蚊帳 かちゃ
 かやぶきのいえ /かやぶきの家 かややー
 かゆい/痒い かう
 ～かよ/～かよ（終助詞） ね、ま
 かよう/通う かゆー、あいつ、あいふ
 かよわせる/通わせる いたす
 から/殻 から
 から/から（出発点） から
 から/から（理由） ば
 がら/柄 がら
 からの/辛い から
 からのばり/空威張り からのばい
 からかう/からかう ばーふー
 ガラガラと/ガラガラ（戸を開ける音） がらがらていー
 ガラガラと/ガラガラ（倒れる様子） がらていー
 からげる/絡げる からぎ
 カラス/カラス がらさ
 ガラス/ガラス みずかに
 からだ/体 からのた、どー
 からだがだるい/体がだるい ちるだい
 からて/空手 ていー
 からみ/絡み がでいらく
 ～がり/～がり さむい
 かりる/借りる かい
 かる/刈る ならず、かい
 かるい/軽い がる
 かるいし/軽石 がるいす
 かれ/彼（三人称代名詞） かい
 かれら/彼ら うぬきや、うぬきやた

かれる/枯れる……さい、さり、ない、ないー
かれる（こえが）/かれる（声が）……かり
かわいがる/可愛がる……かなっさ あす
かわいがること/かわいがること……かなっさ
かわいくなる/可愛くなる……ういやっづ
い
かわいくなる/可愛くなる……ういなうす
かわいこども/可愛い子供 まなや、あばらぎが
ま
かわいそうだ/可哀想だ んじゃうな、つんだら
さ
かわいそうな/可哀想な……つんだらすぎ
かわいそうなひと/可哀想な人……つんだらさ
かわかす/乾かす……かーかす、かーらす
かわく/渴く かーつ、かーふ、かーらつ、かー
らふ、かーき
かわく/乾く……かーい、かーき、さい、さり
かわくこと/乾くこと……かーい
かわった/変わった……きたてい、ひるます
カワハギ/カワハギ【魚】……かーはぎや
かわら/瓦……かーら
かわらげり/瓦蹴り【遊戯】……かーらきー
かわらや/瓦屋……つぶや
かわり/代わり……かーい
かわりばえ/代わり映え……かーいばい
かわりばな/変わりばな……かーいばな
かわる/代わる……かーい
かわる/変わる……ない
かん/缶……かーかに
かんがえ/考え…うむくとう、かんがい、ずー
かんがえる/考える……かんがい
かんかく/間隔……ゆい
かんけり/缶蹴り【遊戯】……かんきり
がんこうするどい/眼光鋭い……みーそうい
がんこだ/頑固……がんく、ずーじゅー
かんざし/かんざし……ずーば

かんし/監視……ばん
かんしする/監視する……みばかい、みばつ
かんしょく/間食…まどうづあい、まどうばい、
まどうばんまい
かんせいする/完成するとうずます、とうずみ、
とうずん、とうどうます、とうどうみ、とうど
うん
かんそうイモ/乾燥イモ……んーじゃに
かんだかいこえ/甲高い声……ちりぐい
かんたん/簡単……いちころ
かんたんだ/簡単……ちゃーす
かんたんに/簡単に……がら、ちよろ
かんちがい/勘違い……ぼっばい
かんちょう/干潮……そうーひー
かんつうさせる/貫通させる……とうーす
かな/匏……かな
かんぱ/寒波……ひーふ、ぴーふ
かんぱつ/干ばつ…ひでいー、ひむ、ひゃーい
がんばらせる/頑張らせる……くんぱらす
がんばる/頑張る…くんぱい、んぱい、かなう、
そうるき
がんばれ/頑張れ（激励の言葉）……やらし
かんびょう/看病……かんびよー
かんびょう/干瓢……かんびよー
がんぺき/岸壁……いんぬ すばな
かんまんな/緩慢な……ぬっちー
かんまんのさがおおきいじき/干満の差が大き
い時期……そうーうつ、そうーつ
かんり/管理……かず、きず
かんりする/管理する……みばかい、みばつ
かんろ/寒露（10月ころ）……かんる
き/木……きー
きえうせる/消え失せる ふがいら、すーん な
い
きえる/消える……きゃーい
きおちさせる/気落ちさせる……ほうがす

きおちする/気落ちする.....つむー だり
きがいをくわえる/危害を加える.....あやみ
きがえ/着替え.....つがい
きがえる/着替える.....つがい
きかざる/着飾る.....そうがい
きかせる/聞かせる.....つかす
きがん/祈願.....かんにがい、にがい
きかんし/気管支.....ゆくぬどう
きがんする/祈願する うがん、ゆん、ていーゆ
かみ、ていーゆ かん
きがんのためのぶた/祈願のための豚 んぬつだ
みわー
きぎごたえ/聞きごたえ.....つつぐたい
ききしたがう/聞き従う つふあーす、ふあーす
ききじょうず/聞き上手.....つつじゃうず
ききて/利き手.....んすでいー
ききてでないほうのて/利き手でないほうの手
ゆそうでいー
きぎのなか/木々の中.....きーぬみー
ききほれること/聞きほれること.....つつぶり
ききもらす/聞き洩らす.....つつむらす
ききよう/聞きよう.....つつやう
ききん/飢饉.....やーっそう
きく/聞く.....つつ、つふ
きく/効く.....つつ、つふ
きくふり/聞くふり.....つつふい
きけん/危険.....わーかう
きげんがなおる/機嫌が直る...つむー なうす
きけんなしごと/危険な仕事 んぬつすてい、ん
ぬつふあう
きげんをなおす/機嫌を直す...つむー なうす
ぎこうは/技巧派.....わざしゃー
きこえる/聞こえる.....つかい
きさくな/気さくな.....はだっさり
きさせる/着させる.....っちやす、っちやすみ
きぎむ/刻む.....きざん、きじゃん

ぎじゅつりよくのあるひと/技術力のある人 く
までいー
キス/キス.....ふつんきやー
きず/傷.....んだい
きずあと/傷跡.....ひでいー
きずがつく/傷がつく すーはがい、すーぱがい、
すーはぎ、すーぱぎ、すーはず、すーぱず
キスする/キスする.....ふつんつ、ふつんふ
きずもの/傷物.....んだいむぬ
きせつ/季節.....ゆら、ゆぬりや
きせる/着せる.....っちやす
キセル/キセル.....っていー
きた/来た(「ふー」の過去形).....ったい
きた/北.....んす、うい
きたしぶ/北支部.....にぬはでいー
きたない/汚い.....っしやな、っふすー
きたのほうかく/北の方角.....にぬは
きちょうめんな/几帳面な.....くまやき
きちんと/きちんと..じゅんていー、まさがん、
まないん、まながん、まなぎん、まなぐん
きちんとしている/きちんとしている かぎでい
ー
きつくする/きつくする.....つふあまらす
きっぽう/吉報.....かばすぐい
きとう/亀頭.....はんき、ぱんき
きとうし/祈祷師.....むぬすー
きなこ/きなこ.....まみく、まみぐ
きにいらぬ/気に入らぬ つむんな かなー
ん
きにいらぬ/気に入る.....かなう
きね/杵.....んなずつ
きのう/昨日.....ん°ぬ
きのこ/茸.....きーぬみん
きのてっぺん/木のてっぺん.....きーぬそうら
きのね/木の根.....きーぬにー
きば/牙.....つーばー

きばこ/木箱【道具】うだい
きびなご/きびなご【魚】さりっぞう
きぶんがわるい/気分が悪い（天気のでいで）
あんまーす
きまえがいい/気前がいい...つむかぎ、ばばん
きまえがいいひと/気前がいいひと ていだいび
とう、ほうでいー
きまずい/気まずい どうーぐり
きめつける/決め付ける きちゆみ、きつみ、き
みつぎ、きみつつ
きも/肝.....つむ
きもち/気持ちつー、つむ
きもちよい/気持ち良い ずみ、ずみぎ、すみや
ーす、がーい
きもちわるい/気持ち悪い ずみやー にやーん
きもの/着物つん
きもの/着物（ユークイの時に着る） かんつ
ばだ
きもの/着物（繕いのある）くーずん
きもの/きかがくもよう/着物の幾何学模様 ぶ
い
きもののすそ/着物の裾 つんぬっそう、まいち
や
きものをいれるはこ/着物を入れる箱 ひつ
ぎやく/逆.....さかー、さかさ、さかさー
ぎやくたいする/虐待する しつき
ぎやくに/逆に あい あらだ
きやくま/客間 くじゃしつ、くじゃひつ
キャベツ/キャベツ たまな
きゅうくつ/窮屈 つふあまい
きゅうけい/休憩 ゆくい
きゅうす/急須 ちゅーか
きゅうに/急に あたくまん、あたふずん、かば
きゅうにおこりだすひと/急に怒り出す人 つむ
びやー
きゅうひと/九人 つくぬぬひとう

きゅうり/うり【果物・野菜】 うい
きゅうり/きゅうり うい
きゅうりょうとり/給料取り しゅくとうら
きょう/今日 きゅー
きょういく/教育 ならい
きょううん/強運 うんじゅー
きょううんだ/強運だ うんじゅー、んぬつじゅ
ー
ぎょうぎのわるい/行儀の悪いならーっしやう、
ならっしやう
きょうそう/競争 はーさにやー
きょうだい/兄弟 きやうだい
きょうなひと/器用な人 ていまさり、ていまさ
りや
きょうふう/強風 ぶだひつまーい
きょうりよくする/協力する ていーゆ とうい
ぎょぐ/漁具 いんどうー
ぎょじょう/漁場 みじゅき
きよねん/去年 くじゅ、ふたていない
きより/距離 いじゃー、どうー
ぎょろうほうし/漁労奉仕【祭礼】... うやいん
きらいだ/嫌いだ みっふあ
きらいになる/嫌いになる かまい
きらす/切らす（タバコなどを） きらす、つっ
ちやす
ぎり/義理 ぎり
きりきず/切り傷 そりんだい
キリギリス/キリギリス【昆】... ちんくるがた
きりくち/切り口 つーふつ
きりさめ/霧雨 いみすず あみがま
ぎりのちち/義理の父.. すたさ、すとうまうや、
すとうまっざ、ままさ、ままさっざ
ぎりのはは/義理の母 すとうま、すとうまんま
きりぼしだいこん/切り干し大根 しんぎり
きりよく/気力 つー
きる/着る つー

きる/切る つつー、つつ、すーつー、すーつ、つってい、きー、
きる/切る（髪の毛を）…………… そうい
きる/切る（木を）…………… ばつ、ばふ
きれあじのよい/切れ味のよい…………… つー
きれいだ/綺麗だ…………… かぎ
きれいな/綺麗な…………… きつぎ、んまぎ
きれいにする/きれいにする（土地を） つさび
きれいにする/きれいにする…ぬぐい、ぬぐう
きれない/切れない…………… ひずー
きる/切れる つつー、つつ、すーつー、すーつ、つってい、きー、
きわだった/際立った…………… きたてい
きわだって/際立って…………… だんかーりー
きをつかうひと/気をつかう人 つむつかうひと
う、つむつかうびとう
きをつけて/気を付けて…まさがん、まながん
きん/斤（重さの単位）…………… き、きん
ぎん/銀…………… なんざ
きんかいぎよ/近海魚…………… まーっぞう
きんがん/近眼…………… ちかみ
きんせい/金星…………… あかぶす
きんちやく/巾着…………… きんちやく
キンチャクぶくろ/キンチャク袋…ばたふくる
きんちょう/緊張…………… しゅしゃー
きんにく/筋肉…………… ひつに
ぎんばえ/銀蠅…………… あうばい
キンメダイもどき/キンメダイもどき【魚】 むぎや
グアバ/グアバ…………… ばんちくら、ばんちゆくら
くいしんぼう/食いしん坊…………… かうきや
クイチャーおどり/クイチャー踊り くいちゃー
くうひと/食う人（接辞的に使う）…………… ふあや
くうふく/空腹…………… やーす、やーっさがーき
くき/莖…………… から、ぐる、すず
くぎ/釘…………… かにふず、ふず

くくる/括る（＝縛る）…………… すまい
くくる/括る（首を）…………… ふっず、ふっでい
くさ/草…………… っさ、ふさ
くさい/臭い…………… っさ、ふさ
くさかり/草刈り…………… っさかい
くさゼミ/草ゼミ【昆】…………… っさずみやがま
くさっている/腐っている…………… にゅーさい
くさび/楔…………… っさび
くさむしり/草むしり…………… あっじゃき
くさる/腐る っさり、っさい、ふさり、ふさい、
ゆーい、そうづい
くし/櫛…………… ふす
くじうんのよいひと/くじ運の良い人 ぶずやば
くじうんのわるいひと/くじ運の悪い人 ぶずく
ば
くじく/くじく…………… だに、やます
くじびき/くじびき…………… ふず
くしゃみ/くしゃみ…………… くしゃん、はなひつ
くしゃみをする/くしゃみをする はなう ひつ
クジラ/クジラ…………… ふっじゃ
くず/くず ぐず、あいだい、あいだり、あいだ
りくず、ありだい、ありだいくず、ありだり
くすぐったいくすぐったい…………… ひぎやう
くすぐる/くすぐる…………… ばじゃう、ばじゅー
くすり/薬…………… っそうい、ふすい、ふそうい
くずれおちる/崩れ落ちる ぶりんつ、ぶりんふ
くせ/癖…………… ふし、ふす
くそ/糞…………… っそう、ふそう
くだりざか/下り坂…………… ひゃーんつ
くち/口…………… うつ、ふつ
くち/口（のっぺりした）…………… っさうつ
くちうるさい/口うるさいふがます、やがます、
んがます、んぎやます
くちがうまい/口が上手い…………… ふつかない
くちぐるま/口車…………… ふつぐるま
くちげんか/口喧嘩 わーない、わーないやどう

ゆん
 くちごたえ/口答え …… ふつぐたい
 くちさき/口先 …… ふつぬそうら
 くちた/朽ちた …… ふとうてい
 くちだし/口出し …… ふついでい
 ぐちっぽい/愚痴っぽい …… ふがい
 くちひげ/口髭 …… ふつひぎ
 くちびる/唇 …… すば
 くちびるのはじ/唇の端 …… はずつ
 くちぶえ/口笛 すばびー、ひーだき、ぴーだき
 くちべた/口下手 …… ふつ くぱら
 くちる/朽ちる …… ふとうつ、ふとうてい
 ぐつぐつ/ぐつぐつ (物が煮える様子) ぼろぼ
 ろ
 クッション/クッション (頭に載せる) かうす
 ぐったりする/ぐったりする …… んぱい
 くつつく/くつつく .. むったーい、むったーう、
 むったーっぐい、たばい、くんつき
 くつつける/くつつける むったーっぐあす、む
 ったーらす
 くつつける/ピタッと …… たいていー
 ぐでいんぶー/御前風 (お祝いの時の歌) ぐで
 いんぶー
 ～くてはならない/～くてはならない…ならん
 くどく/口説く …… ふどうつ、ふどうふ
 クバ/クバ【植】 …… くば
 くばる/配る …… くばい
 くび/首 …… ぬどう、ぬぶい、ふず
 くびすじ/首すじ …… ぬどうふず
 くびのたかさ/首の高さ …… ぬどうだつ
 くびのほね/首の骨 …… ぬどうぶに
 くべつができない/区別ができない まみっじゃ
 にやーだ、まみっじゃにやーん
 くべつする/区別する …… きたてい
 くぼみ/くぼみ …… ふぐみ、ふぐん
 クマゼミ/クマゼミ【昆】 …… かーらずみや

くまなく/くまなく …… みーがまくーがま
 クマノミ/クマノミ【魚】 …… あっづあみー
 くみ/組 (学校での) …… ふん
 グミ/グミ …… むきやう
 くみたてる/組み立てる …… かつ、かふ
 くむ/汲む …… ん° ん
 くも/蜘蛛 …… ん° む
 くも/蜘蛛 (室内にいる小型の) …… くーむや
 くも/雲 …… ん° む
 くもつ/供物 …… すきむぬ
 くやしい/悔しい …… っちゃんふ、かさます
 くら/鞍【馬具】 …… ふうら
 ～くらい/～位 (時間) …… ぎやー
 ～くらい/～くらい …… だちゃー、だちゃーい
 ～くらい/～くらい …… ばかーい、あたい
 ～くらい/～くらい (その_) しゃく、しゆく、
 そうく
 くらい/暗い …… つふあ
 くらいひょうじょう/暗い表情 うむていふさが
 い
 ぐらぐら/ぐらぐら …… ぼろぼろ
 くらくらする/くらくらする …… まぐい
 クラゲ/クラゲ …… ゆら、かいまたさなず
 ぐらつく/ぐらつく たっづあみつ、たっづあみ
 ぶ
 くらべる/比べる …… んみやーす、みやーす
 くりぶね/くりぶね …… さばに
 くりしま/来間島【地名】 …… つふいま
 くる/来る …… ふう
 グルクン/グルクン【魚】 …… ぐるくん
 くるしい/苦しい …… くー、つむやん
 くるしさ/苦しさ …… くーさ
 くるしむ/苦しむ …… いちゃん
 くるしめる/苦しめる …… つむー やます
 くるしんでいること/苦しんでいること くとん
 でい

ぐるっと/ぐるっと とうん
くるぶし/踝 くるぶす
くるぶしのほね/くるぶしの骨 あまんぶに
クルマバッタ/クルマバッタ【昆】ぬーまぬふ
らがた
くれる/くれる(物を) ふいー
くろい/黒い つふ
くろう/苦勞 あまたなんず
くろうさせる/苦勞させる くっじゃす
くろうする/苦勞する くっず、くっでい
くろくする/黒くする つふます
くろくなった/黒くなった つふすー
くろくなる/黒くなる つふみ、つふん
くろずんでいること/黒ずんでいること くでい
くろだい/黒鯛【魚】 つん
くろつぐ/黒つぐ まーに
クロホホジャク/クロホージャク(蛾の一種)
ぐーにゃ
くわ/鍬【道具】 つふあつ
くわえる/加える(サービスとして) たっかー
す
くわえる/加える たす、そうい
クワズイモ/クワズイモ【植】びゅーいがっさ
くわのき/桑の木 ばんつぎー
くわのみ/桑の実 ばんつぎーぬない、ばんつぎ
ーぬみー
け/毛 きー
けいかく/計画 みくん
けいかくせい/計画性 みくん、みくんさ、みく
んさー、みくんじゅー
けいご/敬語 うやまいむぬい、なーぎ むぬい
けいこつ/脛骨 そうからぶに
けいざいりよく/経済力 ていじゅー
けいさん/計算 けーさん、さんみん
けいさんだかい/計算高い さいじゅー
けいし/軽視 みーぬ すたみー

けいひ/経費 けーひ
けいりょうする/計量する かき
けいれん/痙攣 がらさない
けす/消す きゃーす
けずる/削る きっず、そうー
げた/下駄 あっちゃ
げたのお/下駄の緒 あっちゃぬぶー
けだるい/気だるい どうーすたい、ぶがり
ケチ/ケチ がつ、いみでいーがま、ほうーらー
しゃ、ほうーらしゃ
ケチだ/ケチだ かーかん、がず
ケちな/ケちな ほうーらーす
けっかん/血管 はいつー
けっこん/結婚 ささぎ
けっこんしき/結婚式 ささぎゆーい
けっこんをもうしこむ/結婚を申し込む あらい
だす
けっしょくがないこと/血色がないこと あうっ
どうい
けっそん/欠損 あな
けってん/欠点 あら
げっとう/月桃 さにん
けつによろ/血尿 あかつすばい
けつべん/血便 つまい
げにん/下人 んじゃ
けはい/気配 ふーふつ
けびょう/仮病 やんふい
けびょう/仮病 やんふや
けぶかい/毛深い きーふか
けぶかいこと/毛深いこと きーがら
けむし/毛虫 きーむす
けむたい/煙たい きゅー、きゅーす
けむり/煙 きゅーす
げり/下痢 やまだつ
げりをする/下痢をする さぎ、さず
ける/蹴る きー

けれど/けれど そうが
 ～けん/～軒 きゅー
 けん/腱 はいつー
 げん/弦 (三線の) ちる
 げんいん/原因 なずき、つみゃー
 けんえんのなか/犬猿の仲 いんとう まゆ
 けんお/嫌悪 みっふあさ
 ケンカ/ケンカ あうやー
 げんかくな/厳格な きつみ
 ケンカする/ケンカする たばい
 げんき/元気...いず、いずびゃーき、いずぶた
 げんきがない/元気がない つーだり
 げんきだ/元気だ そうるき、いずびゃーき、い
 ずぶた
 けんきやくだ/健脚だ はずじゅー
 ケンケンあそび/ケンケン遊び【遊戯】 だいし
 や、かたいしゃ
 けんこうこつ/肩甲骨 しびらぶに
 けんこうだ/健康だ がんじゅー
 げんこつ/げんこつ まーま
 けんし/犬歯 つーばー
 げんせんする/厳選する いらびーつー、いらび
 ってい
 げんちづま/現地妻【古語】 んまていだ
 げんど/限度 たき
 ～こ/～個 (芋の助数詞) うず
 ～こ/～個 くー
 ～こ/～個 (サトウキビ、芋などの助数詞) すず
 こ/子と孫 つふあんまが
 ～ご/～語 ふつ
 こい/濃い かた、くーた
 こいし/小石なうさ、あら、いすぐー、むるす、
 ぐりし、ぐりす、さだり
 こいしだらけ/小石だらけ いすぐー
 こいつ/こいつ くい
 こいびと/恋人 うむい

こう/乞う くー、くい
 こう/こう (指示副詞) かい
 ～ごう/～合 がう
 ごう/合 (180cc) がう
 こうイカ/甲イカ【生物】 くーすみゃ、くぶす
 みゃ
 こううんなひと/幸運な人 いすびとう、いそ
 びとう
 こうかいあんぜん/航海安全 かりうし、かりう
 す、かりゅーし、かりゆし、かりゆす
 こうかく/口角 はずつ
 こうかだ/高価だ たかだい
 こうがん/睾丸 ほうだに
 こうかんする/交換する かい
 こうげきにでる/攻撃に出る うぐい
 こうささせる/交差させる...がでい、がやーす
 こうじ/麴 かうず
 こうじつ/口実 なずき
 こうしゅう/口臭 ふつかじゃ
 こうぞ/楮【植】 かびーぎー
 こうたい/交替・交代 こーたい
 こうたいさせる/交代させる かーらす
 こうたいする/交代する かーい
 こうつごうだ/好都合だ いーばー
 こうとうぶ/後頭部 うっそう
 こうはい/後輩 うっとっそう、すたっさ
 こうばしい/香ばしい かばす
 こうびする/交尾する つー、つーび
 こうふんする/興奮する...ほうみつ、ほうみふ
 ごうまん/傲慢 わーつな
 こうむいん/公務員 しゅくとうら
 こうむる/被る かうー、かづい
 こうりゃん/高粱【植】 ほうぎゃん、ぐる
 こうろ/香炉 かうる
 こうろん/口論 がー
 こえ/声 くい

こえ/声（甲高い）……………あかぐい
こえかわり/声変わり……………くいがーい
こえた/肥えた（土地が）……………ゆす、んす
こえだめ/肥溜め……………すいひだみ
こえる/超える……………くい
こがたな/小刀……………しーぐ
こがね/黄金……………くがに
コガネムシ/コガネムシ【昆】 ……んーぼとう
こがれる/焦がれる……………くがい
こがれること/焦がれること……………くがい
こかん/股間……………またばい
こかんせつリンパせん/股関節リンパ腺 いんま
らだに
ゴキブリ/ゴキブリ……………びーや
こきょう/故郷……………すま
こぐ/漕ぐ……………くず
こくじん/黒人……………くろんぼー（卑語）
ごくちかく/ごく近く……………ひとうまた
こくとう/黒糖（質の悪い）…やっづいじゃた
こくもつのたね/穀物の種……………むぬだに
こくもつをたたくぼう/穀物をたたく棒 あうく
ゴクリゴクリ/ゴクリゴクリ……………がぶがぶ
こげた/焦げた……………なんつつ
ここ/ここ……………うま、くま
ごご/午後……………ひーまあとう
こごえること/凍えること……………っしさぶかい
こごと/小言……………くぐとう
ここのか/九日……………つくぬか
ここのつ/九つ……………つくぬつ
ごごよじころ/午後4時ころ……………うりななつ
こころ/心……………つむ
こころおだやかだ/心穏やかだ……………つむたみ
こころおだやかにする/心穏やかにする…たみ
こころがかよいあうひと/心が通い合う人 つむ
ちゃー、つむちゃい
こころかわりする/心変わりする つむがーい

あす
こころのつよいひと/心の強い人 ちゅーずむび
とう
こころのなか/心の中……………つむぬなか
こころのひろいひと/心の広い人 ほうずむ、ほ
うっずむ
ごさい/後妻 あとうがま、あとうどうみ、まー
ま、まーまんま
こざかな/小魚……………みじゆら
こさめ/小雨……………いみあみ
こし/腰……………くー、くす、くすぐー
こしお/小潮……………なまそう
こじき/乞食……………むぬくや、んさぐ
こしぼね/腰骨……………くーぶに、くすぶに
こじま/小島……………はなり、ぱなり
こしまき/腰巻……………いちゃん、うちゃん
こじゅうと/小姑 うやすとう、すたさうとう
こしょうする/故障する……………やっづい
こす/漉す……………くす
こそぐ/こそぐ……………そうっふい、そうふー
こそげとる/こそげとる……………ふっでい
こそだて/子育て……………っふあむつ
こそだてじょうず/子育て上手 っふあむつじゃ
うず
こそだてじょうずな/子育て上手な っふあむつ
じょうず
こそだてのさいちゅう/子育ての最中 っふあむ
つばな、っふあむつばんず
ごちそう/ご馳走……………んまむぬ
ごちゃませ/ごちゃませ まんちゃー かんちゃ
ー、まんちゃー くんちゃー
こちょう/誇張……………ほうーき
こちらがわ/こちら側 ……くぬちゃ、くまかた
こちらこそ/こちらこそ……………まさりーまい
こっくりするどうさ/こっくりする動作 かつら
こっけいな/滑稽な……………ゆがいな

こっそりと/こっそりと.....っさんふい
ごったかえす/ごった返す.....っしがい
こってりしている/こってりしている かただり
ゴツン/ゴツン.....がんま、がっづあ、ごん
こと/こと.....くとう
ごと/ごと(数詞の後).....なー
ことば/言葉.....むぬい、うつ
こども/子供.....つふあ、やらび
こども/子供(おもに私生児).....たみ
こども/子供(三才以上).....まびとう
こども/子供(亡くなった).....あくまがま
こども/子供(寝つきの悪い) にゅーふがます
こども/子供(小さい時から歩ける) はずかな
いやらび
こども/子供(手のかからない) ...はだやらび
こどもがうめなくなる/子供が産めなくな
ること.....なさがい、なすあがい
こどもができないこと/子供ができないこと た
にず
こどもをうむ/子供を産む.....つふあなす
ことわざ/諺.....んきやーんじゆく
ことわる/断る.....たつつ
こな/粉.....くー
こなごな/粉々.....ぐまみ
こなごなにする/粉々にする っさかす、っさか
らす
こなす/こなす.....くなす
ごにん/五人.....いつぬひとう
こねる/こねる.....ぐに、ぐにやい
この/この.....うぬ、くぬ
このたかさ/この高さ.....うだか、うだつ
このひと/この人.....うい、くい
このひとたち/この人たち くぬきや、くぬきや
た
このみ/木の実.....んーた、きーぬない
このように/このように.....かい

コバエ/コバエ.....すばい
こぶ/瘤.....そうーに
こぶくろ/小袋(ミカンなどの).....つがき
こぶね/小舟.....さばに、そうーに
ごぼう/ごぼう.....ぐんぼう
こぼす/こぼす.....いたき、いたつ
こま/こま(おもちゃ).....くーる
こまかい/細かい くま、ぐま、っそう、っづあ
ーす
こまかいゴミ/細かいゴミ.....ぶき、ほうき
こまかく/細かく.....ぐまたん、ぐまみん
ごまかす/ごまかす.....はぐらかす、はぐらす
こまぎれ/細切れ.....ぐまずー
こまった/困ったなあ あーき、んげ、んげーし
まい、んみや、んみやがま
こまらす/困らす.....だらす
こまること/こまること.....ふたっとうり
ゴミ/ゴミ.....あふた
ゴミ/ゴミ(目に入った).....みーつむぬ
こみあう/混み合う しかかい、すかかい、すき
やかい、っさかい
こみあげる/こみあげる.....つきやがい
ごみくず/ごみくずくず、あいだい、あいだり、
あいだりくず、ありだい、ありだいくず、あり
だり
こみち/小道.....そうーずがま
ゴム/ゴム.....ぐむ
こむら/こむら.....くっづあ
こむらかえり/こむら返り.....くっづあがい
こむらかえりする/こむら返りする くっづあ
あがい
こめ/米.....くみ、まい
こめかみ/こめかみ.....みか
こめのおにぎり/米のおにぎり.....まいぬい
こめのとぎしる/米のとぎ汁 まいぬ あらいず
ー

こもり/子守 むい
 こもりあね/子守姉 くずあに、むいあに
 こもりすること/子守すること・人 つふあさーい、つふあむい、むらに
 こもりをする/子守をするからがい、からがう、むい、さーい
 こもる/籠る くまい、くむい、やーぐまい
 こもること/籠ること くまい、くむい
 こや/小屋 やーがま、うずんばらやー
 こやすかい/子安貝 すびー
 こゆび/小指 くゆび
 こよう/古謡 んきやーんあーぐ
 こよみ/暦 くゆん
 こら/こら（制止命令） あがい
 こらしめる/懲らしめる くらす
 こりごりだ/懲りごりだ うばいが うばい
 これ/これ うい、くい
 これくらい/これくらい くなぎ、くぬぎ、かなぎ、うじゃー
 これくらいのおおきさ/これくらいの大ききさ
 【指示副詞】 うほうが
 これだけ/これだけ .. うさか、うさき、くさか、くさき、ふさか、ふさき
 ころ/ころ しゃく、しゆく、そうく
 ごろ/頃 ふつ
 ゴロゴロする/ゴロゴロする（おながが） むがい、むぎゃい、むぎゃっり
 ころす/殺す くらす
 ごろつき/ごろつき ぐるったー
 ころばす/転ばす かいらす
 ころぶ/転ぶ かいー
 こわい/怖いとうるす、ほうーぐる、やから、わーかう
 こわいばしょ/怖い場所 あらどうくま
 こわいひと/怖い人 やから、やっぐや
 こわがる/怖がる・恐がる .. うー、うーっづい、

ゆー、たまがい、だまがい、いっづい
 こわがる/怖がる ほうーぐるうー
 こわがること/怖がること むぬいっづい、たまがい、だまがい
 こわす/壊す やっぐあす、やっぐやす、っちゆす、んだい
 こわれる/壊れる っちゆい
 こんき/根気 くんつ
 こんきよのない/根拠のない にーまい そうらまい にやーん
 こんざつ/混雑ひとうだかーい、ひとうだかい、ひとうっづあまい
 こんざつする/混雑する がじゃみつ、がじゃみふ、まぐい
 こんじょうがわるい/根性が悪い すくつ、そうくつ、すくつな、そうくつな
 こんじょうがわるいこと/根性が悪いこと やなつむつ
 こんじょうのわるいこと・ひと/根性の悪いこと・人 やなくんじやう
 こんぜつ/根絶 にーだーす、にーだーつ、にーだす、にーだつ
 こんな/こんな あいぬ、かいぬ、かんだっちやる
 こんなたかさ/こんな高さ かだき
 こんなに/こんなに かい、かだき
 こんなにたくさん/こんなにたくさん うさきなー
 こんねん/今年 くとうす
 こんぶ/昆布 くー、くーわー
 こんやくしき/婚約式 あらいだすゆーい
 ～さ/～さ（形容詞のあと） さ
 さ/差 さー
 さー/さー（さそい） ベー
 ザーザーと/ザーザーと ぎーぎーていー、じゃーじゃーていー

さあ/さあ(掛け声)じよ、じょー、じょーはい
さいかい/最下位……………ぶり
さいきん/最近……………くぬい
さいこうだ/最高だ ずみ、ずみぎ、すみゃーす
さいし/妻子……………とうずっふあ
さいじ/祭事……………ぶいむぬ
さいじつ/祭日……………ひゅーい、きじゃい
さいしょ/最初……………あらはな
さいせいき/最盛期……………ばんず、さらばんず
さいそくする/催促する……………しみ
さいど/再度……………また
さいばいする/栽培する…ちゅっふ、ちゅふー
ざいばん/在番【歴史】……………ざいばん
さえ/さえ……………とうんま
～さえしたら/～さえしたら.じゃーん あすて
いがー
～さえも/～さえも……………ちゅんな、ちゅんま
さえも/さえも……………とうんま
さお/竿……………さう
さか/坂……………さかま、さかまんつ
さかい/境……………さかい
さかえる/栄える……………はい、はいでいー
さかさ/さかさ……………ほうがさー
さかさま/さかさま さかー、さかさ、さかさー
さがしまわること/探し回ること……………やふず
さがしもとめる/探し求める……………あだつ
さがす/探す・捜す..はばつ、はばふ、ふっず、
ふっでい、とうみ
さかづき/盃……………さかづき
さがすのがへたなひと/探すのが下手な人 みつ
ず
さかな/魚……………っぞう
さかなのとりぶん/魚の取り分……………っぞうだま
さかなのめ/魚の目(皮膚病)…っぞうぬみー
さかなをほねごときること/魚を骨ごと切ること
……………ほうにずー

さかや/酒屋……………さきたりやー、さきやー
さがる/下がる……………さがい
さき/先……………さつ
さぎ/鷺……………ゆーさ
さきのほう/先の方……………そうら
さきまわりする/先回りする……………ぬず、んず
さく/咲く……………さつ、さふ
さく/裂く っさつ、っさふ、さつ、さふ、ひっ
ちゃつ、ひっちゃふ
さくぼん/昨晚……………ゆび
さけ/酒……………さき
さけかす/酒かす……………たりかす
さげすむ/さげすむ……………すたらす
さけのせき/酒の席……………さきぬんどうくま
さけのみ/酒飲み..さきじゃう、さきじゃうぐ、
さきぬみや、さきふあや
さけのみずわり/酒の水割り……………たんかーばい
さけのみともだち/酒飲み友達..さきぬんあぐ、
さきぬんどうす
さげる/下げる……………さぎ、さず
ざこつ/坐骨……………ていびぐーぶに
サザエのふた/サザエの蓋……………っそうひだ
ささげる/捧げる……………むい、うさぎ、うさず
ささし/指さし……………うゆびずつ
さじ/佐司(昔の役職の一つ)【歴史】…さず
さしこむ/差し込む うすんつ、うすんふ、うそ
うんつ、うそうんふ
さししめす/指し示す……………さす
さしだす/差し出す……………んかう、んきやう
サシバ/サシバ(成鳥)【鳥】……………つんみー
サシバ/サシバ【鳥】……………たか
サシバのようちょう/サシバ(幼鳥)【鳥】たり
かす
さしみ/刺身……………なます
さす/指す……………さす
さす/刺す……………さす

さす/差す さす
さす/さす（寒さが肌を） さす
させる/させる あすみ
さだまる/さだまる にだまい
さだめる/定める にだん
ざつ/雑 ていじゃーかー
さっき/さっき きさ
さっき/さっき きさから、はーひー、ひゃーひー
さっさと/さっさとったていー、じゃっていー、
すたすた、すたすたていー、すたていー、ばじ
ゃばじゃていー、はやまり
ざつだ/雑だ はーだ
ザッと/ザッと ばーっていー
ざつな/雑な（仕事が）はーだ、ていじゃーかー
さであみ/叉手網【道具】 さでい、さでいあん
さとう/砂糖 さた
サトウキビ/サトウキビ ぶーず
サトウキビしゅうかく/サトウキビ収穫 ぶーず
たうす、ぶーずぶい
サトウキビのくき/サトウキビの茎 ぶーずぐる、
ぶーずすず
サトウキビのくき/サトウキビの茎・葉 ぶーず
がら
サトウキビのたね/サトウキビの種 さに
サトウキビはたけのなか/サトウキビ畑の中 ぶ
ーずなか
さばく/捌く さばつ、さばふ、ばっじゃい、ば
っじゃう、ばっず、ばっじゃす
さびしい/寂しい さびす
さべつ/差別 たきだき
さべつする/差別する むん、ひだてい
～さま/～様 っさり
さまざまの/様々の たていたていぬ
さます/さます さまらす
さむい/寒い っし、ひぐい、ひぐる

さむがりだ/寒がりだ っしさむい
さむがりや/寒がりや っしさむや
さむけ/寒気 ひぐい
さむさ/寒さ っしさ、ひーさ、ぴーさ
さむさ/寒さ っぞう すん びーふ、ほうにぶ
かい
さめ/鮫 さば
さめる/冷める さまい
さゆうはんたい/左右反対 ぐーはん
さようでございます/さようでございます はー
サヨリ/サヨリ【魚】 さゆい
さら/皿 さら、むぬふあいじやら、むぬふあう
じやら
さらいねん/再来年 さらに
さらう/浚う（泥などを） さらう
さらす/晒す なーす
さらに/更に たった、つず
サラリリマン/サラリーマン しゅくとうら
さる/猿 さる
ざる/ざる ばーき
サルカケミカン/サルカケミカン【植】 さるか
さわぐ/騒ぐ ばみつ、ばみふ、あかばみつ、
あかばみふ、ほうみつ、ほうみふ、ぶっづあみ
つ、ぶっづあみふ、がんみつ、がんみふ
さわぐこと/騒ぐこと ばみつ、あかばみつ
さわやかな/爽やかな すみゃーす
さわる/触る ていー ばっじゃーす
さわる/触る（熱いものに） っさい
さをつける/差をつける すったーうー、すった
ーす、すったーつうあす、すったうー、すって
い、すっていつうあーす、すていー、すていー
うー、すていうー、ひだつ、ひだてい
さんかする/参加する そうるつ、そうるふ
サンゴ/サンゴ うる、うるいす
さんさろ/三叉路 みまた
さんしん/三線 さんしん

さんしんのこま/三線の駒 ぬーま
さんすう/算数 さんじゅつ
さんにん/三人 みちやーい
さんねんご/3年後 ゆーていあとう
ざんねんだ/残念だ んじゃうな
さんねんまえ/3年前 ゆーていない
さんらんさせる/散乱させる すきやーらす
さんらんする/散乱する すきやーい
～しあう/～しあう んき、んきー
しあげる/仕上げる ひつなす
しあわせうん/幸せ運 ふつかた
しあわせだ/幸せだ ふからす、ほうからす
しあわせもの/幸せ者 ゆかりや
しあん/思案 むぬかんがい
じいこうい/自慰行為（女性の）... ていんびー
じいこうい/自慰行為（男性の）... ていんまら
しお/塩 まーそう
しお/塩【祭礼】 くぼん
しお/潮 そうー
しおがみちる/潮が満ちる んちやがい
しおがみちる/潮が満ちる そうー んつ
しおから/塩辛 しおから
しおからい/塩辛い そうから
しおづけにする/塩漬けにする つき
しおひがりり/潮干狩り っしん° ん
しおゆで/塩ゆで まーそうにー
しかし/しかし あいえいそうが、あいやいそう
が、あいやそうが、あっそうが
しかたなく/しかたなく あなむぬー、あにやむ
ぬー
～しかねる/～しかねる かに
しがみつく/しがみつく くんつき
しかめる/しかめる（顔を）... すかん、すかみ
しかる/叱る あなみ、あなん、ばいくみ、ばい
くん
しかる/叱る んみつ、んみふ

しかん/齒間 はばす
じかんがかかること/時間がかかること やふず
じき/時季 すつ、ゆぬりや
じき/時期 ずぶん、ばな、ゆら
しきい/敷居 やどうばす
しきいし/敷石 ふずつ、ふずつす
しきち/敷地 とうくぬ、やすつ
しきのちかいこと/死期の近いこと .. すんがた、
すんばた
しく/敷くしつ、しふ、ひつ、ひふ、すつ、すふ
しけ/時化 かでいうす、かでいうつ
しげらせる/繁らせる はやーす、はやらす
しげる/繁る ばかばい
じこかんりのうりよく/自己管理能力 どうーむ
つ
じごくみみ/地獄耳 とうーきみん
しごと/仕事 .. すかま、しゆく、まうきじゆく、
ふあうふつ、さら、むぬふあいじやら、むぬふ
あうじやら、むぬふあうふつ
しごと/仕事（余計な） あまたすかま
しごと/仕事... すかま、むぬふあう はかうつ
しごとがおそいひと/仕事が遅い人 ていむちゃ
ー
しごとがざつなひと/仕事が雑な人 あらでいー
びとう
しごとができない/仕事ができない なっちやか
ん、なっちらん、ふそうだすからん
しごとがへたなひと/仕事が下手な人... びちゃ
しごとくち/仕事口 ふつ
しごとなかま/仕事仲間 しんか、にんじゅ
しごとのよくできる/仕事の良くできる かない
しごとをしない/仕事をしない（障害などで）
ふそうだすからん
しごとをなまけること/仕事を怠けること なま
ずん
しごのせかい/死後の世界 かまぬゆー

しさいしゃ/司祭者 (ナナムイ).....うーんま
じじょ/次女 なかーに
ししょう/支障.....あたいさわい
じしん/地震.....ない
じしんがある/自信がある.....かいくん
じしんがない/自信がない.....うかーすふ
じしんがないこと/自信がないこと うかーすふ
しずかだ/静かだ (人の性質) うくっとう、と
うどうか
しずかに/静かに (音を立てずに) よーんなー、
よーんなーなー、すなーか
しずかにしていること/静かにしていること と
うくっとう
しずまる/静まる.....うさまい
しずむ/沈む (太陽などが)いー、いりー
しずむ/沈む.....すずみ、すずん
しせいじ/私生児.....あかさ、あかさっづあ
じせいしよくぶつ/自生植物.....ならういむぬ
じせいしんがない/自制心がない うながつむー
ぎゃー むちゃん
～しそうにない/～しそうにない.ぎっふあにや
ーん
～しそこねる/～しそこねる.....っしやう
した/舌.....った
～したい/～したい.....ぶす、ほうす
しだい/次第.....とうか、まか
じだい/時代.....ゆー
～しだいだ/～次第だ.....だー
したがう/従う.....そうい
～したがる/～したがる.....ぶす、ほうす
したく/支度.....そうがい
したしそうな/親しそうな.....かなすぎ
したば/下葉.....すたばー
～したら/～したら.....きや
しち/七.....なな
じっか/実家.....そうーかうやー

しっかりした/しっかりした.....はすか
しっかりと/しっかりと (=一生懸命に) わい
ていー
しっくい漆喰...ぬい、やーぬい、やーむつー
しつける/舐ける.....ひつき、ひつつ、しつき
じっし/実子.....なすっづあ、なすっふあ
しっそうする/疾走する.....ふきやかす
しったかぶり/知ったかぶり.....ふや
しっとする/嫉妬する.....たい
しっばい/失敗.....むぬっしやう
しっばいする/失敗する はんし、はんじ、はん
つ、はんでい、はんじゃつ、はんず、はっじゃ
き、はっじゃす、はっじゃつ、やっづい
しっぼ/尻尾.....じゅー
じつぼ/実母.....なすんま
しつもんする/質問する.....つつ、つふ
しつれい/失礼.....ふつあまーす
～しておいて/～しておいて.....うとうい
～してほしい/～してほしい.....ほうす
しどうやく/指導役.....さつばい
～しない/～しない.....じゃーん
～しないと/～しないと.....だかー
～しながら/～しながら.....っちやーん
しなせる/死なせる.....すなす
しなる/撓る.....たうみつ、たうみふ
～しにくい/～しにくい.....ぐり
しにそこない/死に損ない.....すんぱっじゃき
しにものぐるいい/死に物狂い.....すんばてい
しぬ/死ぬ.....すん
しぬほどすきなこと/死ぬほど好きなこと すん
ぶり
しはいする/支配する.....うそうー、うそうい
しぼる/縛るまるつ、まるふ、すまい、ふんず、
くび
じひびき/地響き.....ずない、ずなり、ずなら
しびれ/痺れ.....っさ

しびれる/痺れる (足などが) ...っさ ん° ん
じぶん/自分 うな
じぶん/自分 どうー、なら
じぶんじしん/自分自身 うながどうー
じぶんたち/自分たち なーどう、なーる、なら
どう、ならる
じぶんのからだ/自分の体 うながどうー
じぶんのぶん/自分の分 うながたま
じべた/地べた からずー
しぼむ/しぼむ すぶん、ひだん、びだん
しぼる/搾る すぶい
しま/島 すま
しまい/姉妹 きやうだい
しまう/しまう すずみ、すずん、つずん、ばち
やみ、ばちゃん
しまった/しまった (失敗したとき発する声)
えげ、えげー、えっげー、しまい、んげ、んげ
ーしまい
しまとうみのせってん/島と海の接点 すまーす
しまとしまとのあいだ/島と島との間 すまばす
しまな/島菜【果物・野菜】 しまな
しまる/閉まる ふー
しまわけ/島分け すまばき
じまん/自慢 ふつがーい、みはなぶた
じまんする/自慢する いばい、がーい、' ふっち
ゃ はまい
じまんすること/自慢すること いばい、いばい
さー
じまんするひと/自慢する人 いばいさー
しみこむ/染み込む にまい
しみる/しみる っうゆー
しみる/しみる (歯に) ..びぎやう、びぎやう、
ひぎやう
しめきること/締め切ること くぶー
じめじめする/じめじめする びーた
しめつける/しめつける きちゆみ、きつみ

しめっばい/湿っばい すとうい、すぶたい
しめらす/湿らす んます
しめる/閉める ふー、しみ
しめる/湿る すとうい
しめる/締める しみ
じめん/地面 ずー
ジャー/ジャー (水の流れる音) ただーていー、
だだていー
じゃあ/じゃあ (別れ際のあいさつ) あていが
ー、っちやー
じゃあ/じゃあ (接続助詞) えていがー、やて
いがー、やいていがー
しゃかいせい/社会性 まーいうむくとう
しゃがむ/しゃがむ うすみ、うすん、うそうみ、
うそうん
しゃがむこと/しゃがむこと うすん、うそうん
じゃくはいもの/若輩者...みーつない やらび
シャコガイ/シャコガイ にぐー
シャコガイのから/シャコガイの殻...あずくや
しゃし/斜視 さうみ
しゃっきん/借金 うっか
しゃっくり/しゃっくり っさび
~じゃないかな /~じゃないかな あら
しゃぶる/しゃぶる ゆー
しゃべる/喋る ばいんき、ばいんつ、ばいんふ
じゃま/邪魔 わちやく
しゃもじ/しゃもじ きな、んつつーきな
じやり/砂利 じやり
じやれつく/じやれつく あい、あり
~じゅう/~中 がーまーす
じゅう/十 とうー
しゅうい/周囲 まーい
しゅうかいじょ/集会所 ずんみじやー
しゅうかくがない/収穫がない いすばぎ、いそ
うばぎ
しゅうかくする/収穫する (サトウキビを) た

うす
しゅうかん/習慣 なり
しゅうぎ/祝儀 ゆーいでいん
じゅうけつする/充血する (目が) みはず
じゅうごや/十五夜 じゅーぐや
じゅうじろ/十字路 ゆまた
しゅうぜんする/修繕する からがい、からがう
しゅうと/舅 (夫または妻の父) すたさ
しゅうとめ/姑 すとうま、すとうまんま
じゅうなんせいがある/柔軟性がある やば
じゅうばこ/重箱 じゅーばく
じゅうぶん/十分 かーん、じゃうぶん
じゅうぶん/十分 (=「もう、けっこうです」)
とー とー
じゅうぶんだ/十分だ あまり かまり、かーん
じゅうぶんに/十分に あてい、あてい かーん
しゅうへん/周辺 ままーい
じゅうまんする/充満する まつ、まふ
しゅうりょうする/終了する とうずます、とう
ずみ、とうずん、とうどうます、とうどうみ、
とうどうん
じゅくしてない/熟してない ばか
じゅくすい/熟睡 ひとつに、ひとつにー
じゅくする/熟する んー、んみ
しゅうごう/酒豪 さきじゅーばりがみ
ジュゴン/ジュゴン じゃん
しゅしょく/主食 ほうっぱんまい、ほうばんま
い
しゅじん/主人 んなかばら
じゅずだま/じゅずだま【植】 すだま
しゅっさんりよくがなくなる/出産力がなくな
る なさがい、なすあがい
しゅっせする/出世する ... すぐい、ぬびやがい
しゅり/首里【地名】 うやぐに【歌語】
しゅるい/種類 たぐい
じゅんばん/順番 ばん、まーい

じゅんび/準備 そうがい
じゅんぷう/順風 まとうんかでい
じょいん/女陰 うやんま
ショウガ/ショウガ さうか
しょうがい/障害 かかい
しょうがつ/正月 さうがつ
じょうきょう/状況 ばー
しょうきょくてきだ/消極的だ うすんつ、うそ
うんつ
しょうこう/焼香 そうーかう
しょうじき/正直 しょーじき
しょうしょくのひと/小食の人 むぬがま、むぬ
がみや、
じょうず/上手 じゃうず
しょうたいする/招待する とうむーす、とうむ
す
しょうてん/商店 まっちや
じょうとうだ/上等だ じゃうとうー
~しょうとしていたら/~しょうとしていたら
っじゃーきゃー、っじゃーんきー、っじゃいき
ー、っじゃうかー、っじゃうきー、っじゃんき
ー
しょうにん/商人 あきやうだ
じょうのあるひと/情のある人 つむあいひとつ、
つむあいびと
じょうぶ/丈夫 どうーじゅー
しょうべん/小便 すばい
しょうべんをする/小便をする すー
しょうめん/正面 まそうー
しょうらいせい/将来性 みくん
しょくあたりする/食あたりする びゅーい
しょくじうん/食事運 ふあうふー
しょくじのじゅんび/食事の準備 むぬにー
しょくべに/食紅 あかぐー
じょせい/女性 みどうん、みが
じょせい/女性 (乳の出ない) つーにや

じょせい/女性（品のある）.....ぶなりや
じょせい/女性（子供がうめなくなっている）
やずまい、やずまら、やずまり
じょせい/女性（年のいった独身の） ながみー
だつ
じょせいうつわ/女性器.....ひー、ぴー
じょそう/女装.....みどうんそうがい
しょっちゅう/しょっちゅう.....ちゃー
しょにち/初日.....あらび
しよりする/処理する.....くなくす
しらが/白髪.....っさぎ、っそうっさぎ
しらせる/知らせる.....っさす
しらないふり/しらないふり.....っさんふい
シラミ/シラミ.....っさん
シラミのたまご/シラミの卵.....ぎっさ
しりのおもいこと/尻の重いこと びーぐず、び
だく、びだくげった
しりのおもいひと/尻の重い人 びーた、びーぐ
じゃ、びじゃら
しりよ/思慮.....さう
しる/知る.....すー
しる/汁.....すー
しろあり/白蟻.....っさい
しろい/白い.....っそう
しろくする/白くする.....っそうます
しろくなる/白くなる.....っそうん
シロクラベラ/シロクラベラ【魚】.....まくぶ
シロバナセンダングサ/シロバナセンダングサ
【植】.....まずむぬぬみーつつうさ
しわくちや/皺くちや.....すかたい
しんけいつう/神経痛.....かや
しんじつ/真実.....まーんぐとう
しんせいなばしょ/神聖な場所.....いび
しんせき/親戚 いつむん、うとうじゃ、はらう
ず、かたい、なーどうが かた
しんせきいちぞく/親戚一族.....たらき

しんせきのいえ/親戚の家..... そーかうやー
じんぞう/腎臓.....まみ
じんたい/靱帯.....はいつー
しんたいしょうがいじ/身体障碍児 かたーつづ
あ
しんちょう/身長.....たき
しんちょうに/慎重に たみーたみ、たみーたみ
ー
しんぱいだ/心配だ.....しば、しわ
しんゆう/親友.....くんぱにー
しんようする/信用する.....つむー ゆるつ
しんようできる/信用できる.....つかい
す/巢.....すー
す/酢.....すー
すいえい/水泳.....うーず
スイカ/スイカ.....あかばたうい
すいじかい/水字具 やどうむら、びきやどうむ
ら、うす
すいじゃく/衰弱 ながやーじゃう、ながやうじ
ょう
すいぜんじな/水前寺菜【果物・野菜】はんだま
すいせんする/推薦する.....うす
すいとろ/水稲.....たーまい
すいとる/吸い取る.....すっでい
すいひ/水肥.....すいひ
すいぶん/水分.....すー
すいりゅう/水流.....がーら、みずがーら
すう/吸う（タバコを）.....ふき、ふつ
すうじあそび/数字遊び【遊】.....さむい
すうはい/崇拜.....たかさ
すえっこ/末っ子.....なすっちや
すがた/姿.....そうぎやう、すがた
すがりつく/縋りつく.....すがい、すがり
すき/好き.....すつ、すふ、ぬずん、かなす
すき/鋤【道具】.....すき、やま
すきだ/好きだ.....かなす

すきなひと/好きな人 そうまりや、そうみやー
すきま/すき間……………ばし、ばす、まー
すく/鋤く……………すつ、すふ
すく/空く そうつ、そうふ、すつ、すふ、すく
すぐ/直ぐ……………すぐ ていびから、とうん
すくいあみ/すくい網【道具】 さでい、さでい
あん
すくう/掬う っそうー、そうっふい、そうふー
すぐそこ/すぐそこ……………うまがま
すくない/少ない…いから、いからさ、さかふ、
ひーちゃ、ぴーちゃ
すぐに/すぐに……そうぐ、すぐ、ちゅきやー
スクラップ/スクラップ……………やりがに
すぐれる/優れる まさい、うーでい、うーっで
い、うーず、うーっず
スケベなひと/スケベな人……………とういしゃう
スコール/スコール……………なつぬ あみ
すこし/すこし……………ひーちゃ、ぴーちゃ
すこしして/すこしして……………あい あり
すこしのりょう/少しの量・時間……………いひな
すごもり/巣ごもり……やーぐまい、やぐまい
すす/煤……………すす
ススキ/ススキ……………ぎひつ、ぎすつ、ずー
ススキのくき/ススキの莖……………すっだき
ススキのたきぎ/ススキの薪 すずだむぬ、すっ
だむぬ
すすぐ/すすぐ……………すすず、ぶーつ、ぶーふ
すすしい/涼しい……………すだす
すすなりになる/鈴なりになる……………すだい
スズメ/スズメ…っふあどうい、っふあどうら、
っふあどうりや、ちゅんくら、ちゅんちゅん
スズメダイ/スズメダイ【魚】 ひつ、たなつら
すだつ/巣立つ すだき、すだつ、そうだき、そ
うだつ
すたれる/廃れる……………すたい
～ずつ/ずつ……………な一

すっぱい/酸っぱい……………すー、そうー
すでに/すでに……………きさ
すでに/すでに いつから、きさから、ちゅきや
ー、は一、ひやーん、ひやー、んみや、んみや、
んめ
すてる/捨てる……………すてい、すたみ、すたん
すてる/捨てる(=水などをこぼす) ..あうぎ、
あうず
すな/砂……………んなぐ
すね/脛……………そうから
ずばぬけている/ずば抜けている..あやたーい、
あやたい、あやたーり、あやたーりー、あやた
り、あやたりー
すばやい/素早い……………すびやー
すばらしい/素晴らしい ずみ、かさび かぎさ
ずぶぬれ/ずぶ濡れ ざいんみ、じゃいんみ、む
いんとうー、むいんみ、むいんみー
すべすべ/すべすべした……………ぴたー、なびー
すべすべする/すべすべする(肌などが) ぴた
みつ、ぴたみふ
すべて/全て……………がす、なうまい ன்னない
すべりやすい/滑りやすい……………そうくい
すべる/滑る……………そうくい
ズボツ/ズボツ……………だふ
すます/澄ます(水などを)……………すます
すみ/墨……………すん、っふい
すみ/隅……………ぶー、あっじゃ
すみにくい/住みにくい……………ういぐり
すむ/住む……………うい
すむ/澄む……………すみ、すん
すもう/相撲……………すま
すもぐりりょう/素潜り漁……………みがにまーい
すりきず/擦り傷……………すーばぎ んだい
すりきる/擦り切る……………すーとうず
すりむく/擦りむく..すーはがい、すーばがい、
すーはぎ、すーばぎ、すーはず、すーばず

する/擦る すー、すーす
する/する あす
ずる/ずるい やなじゃい
~するから/~するから っじゃー
~するくらい/~するくらい ばかーい
~することがむずかしい/~することが難しい
かに
~するとき/~するとき きゃ
~するな/~するな だうり
~するはずだ/~するはずだ がまた
するめイカ/するめイカ みんな
ずれる/ずれる そうくい
すわる/座る びー
せいえき/精液 しる
せいかい/正解 あたい、あたり
せいかがない/成果がない いすばぎ、いそうば
ぎ
せいかく/性格 んまりじゃう、つむつ
せいかくがわるい/性格が悪い やなばた、やな
づむ
せいかくに/正確に まさがん、まないん、まな
がん、まなぎん、まなぐん
せいかつする/生活する くず、ふあう
ぜいきん/税金 じゃうなう
せいけつな/清潔な そうるみつ
せいこうする/成功する そういなうい
せいざ/正座 たつびー
せいじゆくする/成熟する みーい、みっり、っ
ちゃまい
せいそう/盛装 かぎそうがい
せいちょうがおそい/成長が遅い .. ぶちやうな、
ぶちゅーい
せいちょうがおそいこども/成長が遅い子供 ぶ
ちゅーながま
せいちょうさせる/成長させる でいかす、なう
らす

せいちょうしている/成長している はだっさり
せいちょうする/成長する (作物などが) あう
ん
せいちょうする/成長する くーい、そうんうー、
うい、たきたらい
せいちょうする/成長する (子供が) ほうどう
い
せいちょうとともにかわいくなること・人/成
長とともにかわいくなること・人. んまりやっ
づい
せいちょうのよくないもの/成長のよくないも
の なくっじゃ
せいと/生徒 しーとう、しーとうやらび
せいとう/製糖 しーたう
せいねん/青年 にしやい
せいびする/整備する っさび
せいり/生理 あかぶか
せいりする/整理する つずん
せいれい/精霊 きじゃ、きじゃら
セイロンベンケイソウ/セイロンベンケイソウ
【植】 はーからういうさ
せおいこむ/背負い込む んーむつ
せおいなげ/背負い投げ にし、んし、あーった
つぼう
せおう/背負う あんぱつ、くんず
せかす/せかす あぎまーす、すきやかす
せがひくいひと/背が低い人 まーく
せき/咳 いさぐ、いっだい
せきはん/赤飯 まみそういまい
せきゆランプ/石油ランプ (ウーンマが持つ) う
ーんま とうーい
せきゆランプのしん/石油ランプの芯 とうーず
ん
せけんてい/世間体 みーたう、みーとう、みー
とうー、みーはー
せしめる/せしめる びつ、びふ

～せずに/～せずに……………だ
 せっかい/石灰……………いすばい
 せっきょくてき/積極的……………そうるき
 セックスする/セックスする……………まず
 せっけん/石鹼……………さぷん
 せっこう/石工……………いすじゃやふ
 せっしょくする/接触する……………かかい
 せっとくする/説得する…ふどうつ、ふどうふ、
 ばいくみ、ばいくん
 ぜっぺき/絶壁……………はなた、すばな
 せつめいがつく/説明がつく……………あう
 せなか/背中……………くさんみ、しびら、ながに
 せのびする/背伸びする……………んたつ、んたふ
 せぼね/背骨……………しぶに
 せまい/狭い……………しば
 セミ/セミ【昆】……つみや、なまだんずみや
 せめる/責める……………しみ
 せわ/世話……………からがい
 せわをする/世話をする みばかい、みばつ、か
 らがい、からがう、つかなう、むつ、みー
 ぜんいん/全員……………んーな
 せんけんのめい/先見の明…みくん、みくんさ、
 みくんじゅー
 せんこう/線香……………かう
 せんこういれ/線香入れ……………かうつつ
 せんしゅ/船首……………ふにぬはなず
 せんせい/先生……………しーしー
 ぜんぜん/全然……ていんくーとうんま、なう
 ちゅん、なうちゅんな、なうちゅんま、なうと
 うん、なうとうんな、なうとうんま、なんと
 うが、むいとう
 ぜんぜん～ない/全然～ない……………なうとうが
 せんそう/戦争……………いっさ
 せんぞしん/先祖神…まう、まうかん、うぶず、
 うほうず
 せんたん/先端……………そうら

ぜんてい/前庭……………みなか
 せんとう/先頭……………さつばい
 せんどう/船頭……………しどう、しんどう
 せんどうする/先導する……………さだい
 せんとうぶぶん/先頭部分(船の) はなず、は
 なでい
 せんばいたち/先輩たち……………そうじゃっそう
 せんばいやくのおにいさん/先輩役のお兄さん
 さだいそうじゃ
 せんばいやくのおねえさん/先輩役のお姉さん
 さだいに
 せんび/船尾……………とうむ
 ぜんぶ/全部……………んなない、んーな
 ぜんぼうぶ/前方部……………まうきやー
 せんまいとうし/千枚通し【道具】……………いー
 せんめんき/洗面器……………びんだらい
 そあく/粗悪……………びちや
 そあくなもの/粗悪なもの……………びちや
 そいつ/そいつ(指示名詞)……………うい、くい
 そいとげる/添い遂げる……………なうい
 ～そう/～艘(船をかぞえる助数詞)……うな
 そう/浴う……………そうい
 そう/そう(指示副詞) あい、かい、あんし、あ
 んしー、あんち、あんちー、あんてい、あんて
 いー、はい
 そういうことだ/そういうことだ あいていぬ
 くとう、あいていぬ むぬ
 そういうわけだ/そういうわけだ あいぬ ばー
 そうか/そうか(返事)……………あいな
 そうかな/そうかな(疑い)……あいびやーん
 そうかも/そうかも あんしーがら、あんしがら、
 あんちーがら、あんちがら
 そうかもしれない/そうかもしれない あいてい
 んぬがら、あいていんむがら
 そうごふじょ/相互扶助……………ゆいまーる
 そうじ/掃除……………さうず

そうしき/葬式 そーしき
そうしたら/そうしたら あやすていがー
そうしているうちに/そうしている中に あいほ
うーきゃー、あやほうーきゃー
そうしなさい/そうしなさい..あい あっそう、
あいっそう、あやっそう
そうじゅくだ/早熟だ っちゃまいびゃー
ぞうすい/雑炊 じゅーさ
そうそうと/早々と...は一、ひゃー、ひゃーん
~そうだ/~そうだ(様態) ぎ
~そうだ/~そうだ(伝聞) ちゃ、ていんど、て
いんどー、はーらー
そうだ/そうだ(返事) あいだーだら、あいだ
ら、はい、んちゃ、んーでい
そうだ/そうだ(伝聞) ちゃ
そうだから/そうだから あいほうーば、あやほ
うーば
そうだそうだ/そうだそうだ(肯定) あいてい
んどー
そうだったら/そうだったら あいていが
ー、あいやていがー、あいやていがー、かい
えていがー、かいていがー
そうだって/そうだって(伝聞) あいちゃ
そうだろう/そうだろう あいはず
そうだん/相談 さうだん、だんがー
そうちょう/早朝 ひとつむてい、しゃーか、あ
きしゃる、はーひー、ひゃーひー
そうではない/そうではない なうやあらん
そうではなくて/そうではなくて あい あらだ
~そうな/~そうな ぎ
そうなんだ/そうなんだ..あいていー、あいば、
あいびゃ
ぞうひびょう/象皮病 っさやん
そうめん/素麺 さうみん
そうらしい/そうらしい あいぎだうり、あいて
いんどー

ぞうり/草履 さば
そえる/添える そうい
ソクズ/ソクズ【植】 たず
ぞくぞくする/ぞくぞくする かすかう
そこ/そこ うま
そこ/底 そうく
そこなう/損なう つふはんず
そこびえ/底冷え.. そうくびー、そうくひぐい、
そうくひぐる
そこらへん/そこら辺 うまなぎ
そぎつ/粗雑 すくつ、すくつな、そうくつ、そ
うくつな
そぎつなひと/粗雑な人 すくつ、そうくつ
そして/そして あいひー、あやひー
そそぐ/注ぐ つず、さす
そそのかす/そそのかす さばーす
そだつ/育つ すだき、すだつ、そうだき、そう
だつ、すだてい、そうだつ、そうだてい
そだてる/育てる すだてい、そうだつ、そうだ
てい、そうだつ、むつ、つかなう
そっくり/そっくり そうい
そちよく/率直 まそうー
そちよくに/率直に あらから
そで/袖 そうでい
そであみ/袖網【道具】きたあん、そうでいあん
ソデカラッポガニ/ソデカラッポガニ【生物】
ゆーふらがん
そと/外 あら
そとうみ/外海 ひやうな、ほうか
そとがけ/外掛け(相撲用語) あらまた
そとがわ/外側 ほうか
そとにでる/外に出る とうがい、とうんぎ
そなえもの/供え物 すきじゅー
そなえる/供える うさぎ、うさず、すき
その/その(指示形容詞) うぬ、くぬ
そのあとで/そのあとで... あいひー、あやひー

そのていど/その程度 うぬしゆく、うんそうく
そのていどだ/その程度だ だー
そのはずだ/そのはずだ あいはず
そのひと/その人 うい、くい
そのように/そのように .. あい、あいや、あや、
かい、はいどー
そば/そば (=近く) やかーら、やかた、そば
そふぼ/祖父母 ぱーとううや
そまつ/粗末 すくつ、すくつな、そうくつ、そ
うくつな
そまつにあつかう/粗末にあつかう すていじゃ
ん
そまる/染まる そうん、そうまい
そむく/背く そうむつ、そうむふ
そめもの/染物 そうみむぬ
そめる/染める そうみ、そうん
そよかぜ/そよ風 なぐかでい
そる/剃る そうい
それ/それ (指示名詞) うい、くい
それじゃあ/それじゃあ あいえていが
ー、あいやいていがー、あいやていがー、かい
えていがー、かいていがー
それぞれ/それぞれ うながどうーどうー
それでは/それでは (別れ際のあいさつ) 【応答
詞】 あていがー、っちゃー
それら/それら うぬきや、うぬきやた
そろう/揃う そうるー
そろばん/算盤 そろばん
そん/損 そうん
そんけい/尊敬 たかさ
そんけいする/尊敬する なーず、たかび
そんしつがく/損失額 うどうき
そんな/そんな あいぬ、あな、あなる、あにや、
あにやる、あんだっちゃる
そんなにはやく/そんなに早く ういが はーさ
そんなばかな/そんなばかな んまつ

そんりつて/村立て むらだてい
そんをする/損をする うどうつ、うどうふ
だ/だ (コピュラ) あい
~たい/~たい ほうっさ あす
たいかく/体格 からた、どうー
たいきばんせい/大器晩成 あとうなうい
だいく/大工 さやふ
だいく/大工 (下手な) ていーぬん じゃやふ
たいくつだ/退屈だ なう あすかたー にやー
ん
だいくどうぐ/大工道具 さやふだうー
たいぐん/大群 ほうーんみ
だいこくばしら/大黒柱 んなかばら
だいこん/大根 うほうにや、ほうにや、はらふ
にや
だいじな/大事な かりー
だいじょうぶ/大丈夫 なうまいあらん
だいしょうべん/大小便 つそうすばい
だいじんしま/大神島【地名】 うがん
だいず/大豆 まみ
たいせつだ/大切だ あたらか、あたらき、あた
らす、ひるます
たいせつな/大切な あたらかぬ、あたらす
たいせつなもの/大切なもの・こと .. あたらか、
あたらき、くがに
たいせつにする/大切に かなす
だいたいこつぶぶん/大腿骨部分 がまく
たいだだ/怠惰だ なまずー、なまだん
たいちょうがよい/体調がいい みやーす
たいど/態度 すがた、たい
だいどころ/台所 なかじゃ
だいどころのかみ/台所の神 うかまがん
だいなしになる/台無しになる たくみ
ダイナマイト/ダイナマイト だいだま
たいばん/胎盤 あとうざん
たいふう/台風 かでいふつ

たいへんだ！/大変だ！（叫び）んみや、んみや
がま、んめ んめよ
たいへんな/大変な.....やぐみ、むいとう
たいへんなことになる/大変なことになる んめ
ちやう
だいべんをする/大便をする.....まい
たいよう/太陽.....ていだ
タイラギかい/タイラギ貝 とういがますだしゃ
たいらなこと/平らなこと.....とうなみ
たいらにする/平らにする ならき、ならつ、
ならかす、ならす、とうなみ
たいりょう/大漁.....いそう、いす
たいりょうだ/大漁だ.....いす、いそう
たいりょうになる/大漁になる.....でいかす
たいりよく/体力.....たや
たいりよくがある/体力がある...どうーじゅー
タイワンウチワヤンマ/タイワンウチワヤンマ
【昆】.....たーまーら
タイワンガサミ/タイワンガサミ【生物】..ん
ぬがん
タイワンツチイナゴ/タイワンツチイナゴ【昆】
はーかがた
たおす/倒す.....たうす、ちちゆす、ちちゆす
タオル/タオル.....さず、うつつー
たおれる/倒れる がらかいー、たうい、ちちゆ
い、ひなかい
たかい/高い.....たか
たかさ/高さ.....たか
たかさ/高さ.....たか、っさだつ、ひさだつ
タカサゴ/タカサゴ【魚】 ぶるくん、ぐるくん
たかせかい/高瀬貝 った、たかんな、っさうち
や
タガメ/タガメ【昆】...たーがみ、たーぬかみ
たがやす/耕す.....すかす、かでい
～だから/～だからえいば、やいば、やいばどう
たからがい/宝貝.....すびー

たかる/たかる（餌に）.....あり
～たがる/～たがる.....ほうっさ あす
たきぎ/薪.....たむぬ、きだむぬ
たきぎごや/薪小屋.....たむぬぶー
たきぎのたば/薪の束.....すず
たく/焚く（線香を）.....たつ、たふ
たく/炊く（温める）.....たっじやす
たく/炊く.....にー
たく/抱く...かったつ、かったふ、だつ、だふ
たくさん/沢山.....うんそうく、んー
たくさん/沢山（こんなに）...かさき、かだき
たくさんある/沢山ある.....んち
たくす/託す.....あっちゃい
たくらむ/企む.....たくん
たぐる/手繰る.....たうー、たうい
～だけ/～だけ.....たーな、だき、なー
たけうま/竹馬.....きーはず、きーぱず
たけかご/竹籠.....さうき
たけのつつ/竹の筒【道具】.....つみぐる
たけのふし/竹の節.....たきぬふす
タコ/タコ【生物】.....たく
たこ/凧.....かびとうい
タコのくんせい/タコの燻製.....かーきだく
タコのす/タコの巣.....あでいふ
だす/出す.....いだす
たすけあい/助け合い.....ゆい
たすける/助ける...にやーい、たすき、たすつ
たずねてくる/訪ねてくる.....かむー、かむい
たずねる/訪ねる.....ただつ、ただふ、まーい
～だそうだ/～だそうだ（伝聞）.....あいちゃ
だだ/だ（コピュラ）.....あい
たたきつける/たたきつける.....たいつき
たたく/叩く（人や物を） うちやい、うちやう、
ったつ、ったふ
たたく/叩く（道具を使って） つつつ、つつふ、
つつつ、つつふ

たたく/叩く（手をあげて）.....にゃーい
たたく/叩く（戸をドンドン）.....がばみかす
たたく/叩く（強く）.....だみ、あつたみ
ただしい/正しい.....あたい
ただしいこと/正しいこと.....まさか
たたせる/立たせる.....たちやす
たたみ/畳.....たたん
たたむ/畳む.....たたん
たたむこと/たたむこと.....まむちゃ
だだをこねる/駄々をこねる..ゆん、がんない、
しゃーがい、にーら くず、にーだ くず、ふ
がます、むぬー ゆん
だだをこねること/だだをこねること..にーだ、
にーら、にーだ くず、にーら くず
~たち/~たち.....んみ
たちあがる/立ち上がる.....たつ
たちおうじょう/立ち往生.....ふたっとうり
たちくらみ/立ち眩み.....みっふあまーい
たちすわり/立ち座り.....たかはずびー
たちよる/たち寄る.....ゆい
たつ/立つ.....たつ
だっこくする/脱穀する.....そうー、っさび
だった/だった（コピュラ過去形）.....あたい
だったら/だったら..えていがー、やていがー、
やいていがー
だって/だって（伝聞）.....ちゃ
たづな/手綱.....たずな
タツノオトシゴ/タツノオトシゴ【生物】 いん
ぬーまがま
だっぴする/脱皮する.....すでい
たつまき/竜巻.....あまいなう
だつもうびょう/脱毛病.....はいがさ
たてがみ/たてがみ.....かんぎ
たてる/建てる.....ふつ、ふふ
たてる/立てる.....たちやす
たとえる/たとえる.....たとうい

~だな/~だな.....ふだー
ダニ/ダニ.....だん
たにん/他人.....ひとう
たね/種.....たに
たねうま/種馬.....さにんま
たのしい/楽しい.....ふからす、ほうからす
たのしいこと/楽しいこと.....ほうからっさ
たのむ/頼む.....たぬん、あっちゃい
たのもしこう/頼母子講.....むやい
たばこ/煙草（祭礼用）.....んまんなか
たばこ/煙草.....たばく
たばこいれ/煙草入れ ほうじやう、うやんまふ
くる
たばねる/束ねる.....すまい
たび/旅.....たび
たべがたい/食べ難い（脂っこくて） きちゆい
たべで/食べて.....ふあいでいむぬ
たべでがある/食べてでがある.....あいでい
たべてください/食べてください（尊敬語） み
やらまてい
たべもの/食べ物むぬ、ふあうむぬ、はんまい、
たべもの/食べ物（吹き出物を誘発する） ばか
ばいむぬ
たべられなくなる/食べられなくなる ふとうつ、
ふとうてい
たべる/食べる（がつかつと） がうみつ、がう
みふ
たべる/食べる.....ふあう
たべる/食べる（インフォーマル=食う） ふあ
いばなつ
たべる/食べる（尊敬語=召し上がる） みやい
ダマ/ダマ（衣類にできるもの）.....だま
たまご/卵.....とうぬか
たまご/卵（カニなどがおなかにはらむ） ふぐ
い
たまご/卵（孵化しないもの）.....すむい

たまご/卵(魚の).....はらん
だまされる/騙される.....だんまくらす
たましい/魂.....たます
だましとる/騙し取る.....じゆるん、じるん
たまじやり/玉砂利.....たまじやり
だます/騙すだます、すかす、ゆかす、ゆくす、
たくみ、ふぁう
たまに/たまに ひやうす、ひやうな、ひとつば
た、ひとつばたな一、ひとつひゃーい
たまる/溜まる.....たまい
だみごえ/濁声.....っさぐい
たむし/たむし(皮膚病).....うさば
だめ/駄目.....だみ
だめ/駄目だ.....かにやり、やな
ためいき/ため息.....ほういつ
ためいけ/ため池.....ほうらな
だめだ/駄目だ.....かない、かにやい、ならん
だめな/駄目な.....やり、やりがい、ひんたら
だめなやつ/駄目なやつ ふとうた、びだ、びだ
っふい、びだふ一
ためる/貯める.....たみ
たもあみ/たも綱.....たぶ
〜だよ/〜だよ.....だら、さ、どうす、ど一
だよね/だよね.....そう一で
たより/頼り.....たない、まとう、むとう
たよりにならない/頼りにならない ゆむぬ だ
すからん
たよりにならないやつ/頼りにならない奴 きば
すがりや
〜たら/〜たら(仮定) った一、ていが一、とう
一
〜だらけだ/〜だらけだ(「泥」).....び一た
たらす/垂らす.....たり、すったらす
ダラダラ/だらだらする(活発でない) だる一
だらだらする/だらだらする(何かをするとき
の様子).....たらみつ、たらみふ

〜たらどうだ/〜たらどうだ.....ば
たらましま/多良間島【地名】.....たらま
〜たり〜たりする/〜たり〜たりする.そう一
やい うれ、そう一 やい ひ一うい
たりょうな/多量な(雨などが) ...うとうるす
たりる/足りる.....たらう
たる/樽.....たる
だるい/だるい.....だい、だり、むいだり
だれ/誰【疑問詞】...たる、た一どう、た一る
だれか/誰か.....たるががら
たれさがる/垂れ下がる.....すかたい
たれさがること/垂れ下がること.....すかたい
だれもかれも/誰もかれもまみっじゃにゃ一だ、
ういまい かいまい
たれる/垂れる.....たり
〜だろう/〜だろう.....さ、だら
だろうか/だろうか.....あら
だろうね/だろうね.....あら
たわむれる/戯れる.....じやり
たわら/俵.....た一ら
たん/痰.....いっだい
たんき/短気.....つむがま
たんきだ/短気だ あたずむ、あちゃ一な、あじ
ゃ一な、たんつ
たんきなひと/短気な人..やまぐ、たんちゃ一、
あらずむびとう
だんご/団子.....ふきやぎ
だんこん/男根.....まら
だんこんをあわすこと/男根を合わすこと まら
ちゃ一
たんすい/淡水.....あまみず
だんだんに/だんだん.....だんだん
たんとう/担当.....ばん
たんとうさせる/担当させる.....びす
たんとうしゃ/担当者.....いんぐな
だんどり/段取り.....だんどうい、はかうつ

たんのう/胆嚢 んぎゃい
たんぼ/田んぼ (足のもぐる) ゆびだー
たんめいだ/短命だ まるんぬつ
だんをとる/暖を取る んふん
ち/血 あかつ、つー
ぢ/痔 じー
チーク/チーク っざくぎー、っさんすぎー
ちーさいいも/小さい芋...いみすず んーがま
ちーさいこぶ/小さいこぶ ぶつとうる
ちーさいゴミ/小さいゴミ くぴ
ちーさいもの/小さいもの・人 ちゃんくら、ち
ゃんくる
ちいさい/小さい いみ、まーく
ちいさい/小さい (蔑称) .. ずくず、ずくにゃ、
ずふず、ずふにゃ、ずまる
ちいさいひと/小さい人.. ずふにゃ、ずくにゃ、
ずまる、ずくず、ずふず
ちいさく/小さく ぐまたん、ぐまみん
ちいさなしま/小さな島 そうに【歌語】
ちいさなむし/小さな虫 (抱卵中の鳥につく)
とういむす
ちいさなものおき/小さな物置 くーい
ちえ/知恵 うむくとう、あまいうむくとう、さ
う、しゃう
ちかい/近い まい
ちがう/違う あらん
ちがう/ちがう なうやあらん
ちかく/近く まい1
ちかづく/近づく うす、ゆっず、ゆっでい
ちから/力 たや
ちからいっぱい/力いっぱい びゃーき、たやび
ゃーき、たやん
ちからもち/力持ち たや
ちくび/乳首 つぶん、つぶんがま、つーぬ、つ
ーぬ ふつ
ちしき/知識 がっこーうむくとう

ちすじ/血筋 さに
ちせい/治世 みゃーく
ちち/乳 つー
ちちおや/父親 っざ
ちぢめさせる/縮めさせる かくまらす
ちぢれげ/縮れ毛 がぐ
チビアシナガバチ/チビアシナガバチ【昆】 か
やばた
ちぶさ/乳房 つー
ちやわん/茶碗 まかい
~ちゃん/~ちゃん (指小辞) がま
ちゃんと/ちゃんと .. じゅんていー、まさがん、
まないん、まながん、まなぎん、まなぐん
ちゃんとした/ちゃんとした まさがぬ、まなが
ぬ
ちゃんとしていない/ちゃんとしていない あじ
ゃーな
ちゅうごく/中国 とう
ちゅうしょく/昼食 ひーまむぬ
ちゅうしんぶ/中心部 んどうら
ちゅうせい/中性 ひーまら、ぴーまら
ちゅうとはんぱな/中途半端な はーだ
ちょう/蝶【昆】あやばさ、あやばに、あやぎた
ちょうげん/調弦 ちるだみ、ちんだみ、つんだ
み
ちょうげんする/調弦する たみ
ちょうじょ/長女 はーに
ちょうしょう/嘲笑 すたばらい
ちょうじょう/頂上 つず
ちょうしょく/朝食 あし
ちょうなん/長男 ほうーや
ちょうめい/長命 ながんぬつ
ちょうり・ちょうりにん/調理・調理人 まかな
い
ちょうりゅう/潮流 そうー、そうーてい、そう
ーでい

ちよっと/ちよっと なま
 ちよま/苧麻 ぶー、ぶばい
 ちらかる/散らかる .. すきゃーい、すきゃーり、
 まきゃーい
 ちり/塵 さうずがら
 ちりょう/治療 やーじやう
 つえ/杖 ぐしゃん、でいー
 つかい/使い つかい
 つかいがって/使い勝手 つかいでい
 つかいみち/使い道 つかいは一
 つかいものにならない/使い物にならないみー、
 びだっふい、びだふー、やり、やりがい
 つかいものにならないもの/使い物にならない
 もの やり、やりがい
 つかう/使う つかう
 つかえない/使えない (機械など) ... びだふー
 つかまえる/捕まえる かつみ、かつん、んちゃ
 み、んちゃん
 つかむ/つかむ つかん
 つかれ/疲れ だり、ぶがい
 つかれさせる/疲れさせる だらす
 つかれている/疲れている だい、だり、むいだ
 り
 つかれる/疲れる だり、ぶがい、くがい
 つき/月 つつ、つっちゆ
 つきあいのひろいひと/付き合いの広い人 てい
 ーっそうぎびとう
 つきあう/付き合う ただつ、ただふ
 つきさす/突き刺す さうー、さっぐい
 つきでる/突き出る とうんず、とうんでい、と
 うがい、とうんぎ
 つぎのねん/次の年 やーに
 つきまとう/付きまとう あい、あり
 つきよ/月夜 つっちゆ
 つきる/尽きる はつ、はてい
 つく/突く つつ、つふ、だみ

つく/着く つつ、つふ
 つぐ/継ぐ つず
 つく (きねで) /搗く (杵で) つつ、つふ
 つくりかえ/造り替え ちゅっふいかい
 つくる/作る ちゅっふ、ちゅふー
 つくる/作る (船を) はず
 つくる/作る (神酒を) たり、たい
 つくろい/繕い くー
 つくろう/繕う ちゅっふい
 つけとどけ/つけとどけ ひらい
 つける/漬ける つき
 つける/付ける つぎ
 つける/つける (火を) たつき
 つたえる/伝える っさい
 つたわる/伝わる とうーずき、とうーずつ、と
 うーずふ
 つち/土 んた
 つつく/つつく っつつ、っつふ、つつつ、つつ
 ぶ、
 つな/綱 ん° な
 つながる/繋がる つぎゃーい
 つなぐ/繋ぐ つなず、ん° なず
 つなげる/つなげる つぎゃーらす
 つねに/常に ひつん
 つねる/つねる つん、つんむい
 つの/角 ん° ぬ
 ツノダシ/ツノダシ【魚】 まらういかびっちゃ
 つのまた/つのまた あかぐすな
 ツノマタリょうり/ツノマタ料理... うるだうふ
 つば/唾 つず
 つばさ/翼 はに、はにがい
 ツバメ/ツバメ【鳥】 まみまーらしゃ
 つぶ/粒 すず
 つぶる/つぶる (目を) つー、つづい、っさ
 がい
 つぼ/壺 つぶ

つぼ/壺（酒を入れる） ばかす
 つぼみ/蕾 つぶん
 つま/妻 とうず、みどうん
 つまにする/妻にする とうずあす
 つまみ/つまみ うさい
 つまらない/つまらない いたらーん
 つみ/罪 とうが
 つみあげる/積みあげる まずん、まずんー、ま
 ずんみ
 つみかさねる/積み重ねる つんつき、つんつふ
 つみこむ/積み込む んずーつん
 つむ/積む つん
 つむぐ/紡ぐ つん、んー
 つむじ/つむじ ゆぶそう
 つむじかぜ/つむじ風 ゆぶそうかでい
 つめ/爪 つみ
 つめこむ/詰め込む ばいんき、ばいんつ、ばい
 んふ
 つめたい/冷たい ひぐい、ひぐる
 つゆ/梅雨 ながーみ、なちやみ
 つゆ/露 ちゅー
 つよい/強い ちゅー
 つよく/強く ちゅーく
 つよくなる/強くなる ちゅーい
 つよそうな/強そうな ちゅーぎ
 つらい/つらい（病気で） .. びだ、びだっふい、
 びだふー
 つらぬく/貫く とうーかす
 つりいと/釣り糸 ていぐすい
 つりはり/釣り針 つー
 つる/釣る つー
 つるはし/鶴嘴【道具】 ながうちや
 つるべ/釣瓶 くばずー
 つれご/連れ子... なさんつうあ、なさんつふあ
 つれる/連れる さーい、そうい
 て/手 ていー

て/手（稼ぎ__） びー
 で/で（手段） から
 で/で（道具） ひー
 で/で（場所） ん
 で/で（格助詞、場所） ん、んかい
 であう/出会う いじやう
 ~てあげる/~てあげる ふいー
 てあし/手足 ていーはず、ていーぱず
 てあらいうつわ/手洗い器 ちよーず
 ~てある/~てある あい
 である/である（コンピュータ） あい
 デイゴ/デイゴ【植】 じゅふぎ、じゅふず
 ていど/程度 たき
 ていねいだ/丁寧だ くま
 ていねいな/丁寧な くま、まさがぬ
 でいり/出入り いでいー
 でいりぐち/出入口 いでいーはいーふ
 つ、いでいーはいふつ、いでいはいーふつ、い
 でいはいふつ
 ~ている/~ている うい、すんつ、つんつ
 ていれ/手入れ からがい
 ていれする/手入れする みばかい、みばつ、か
 らがい、からがう
 ~ておく/~ておく うつつ、うっふ
 ておの/手斧 まいつ
 ておりき/手織り機 ずばた
 てがかからない/手がかからない はだ
 でかける/出かける たつ
 てがちーさいひと/手が小さい人 いみでいーが
 ま
 てきせつでない/適切でない みーちやぎ
 できたら/できたら ないていがー
 できない/とてもむいとう、がいず、やぐみ、き
 たてい、じゃまーにやーだ、じゃまーにやーん
 できる/できる（作物が） でいき
 できる/できる ひらい

できるかぎり/できる限り...ひらいがにやーん
 てぐすねをひく/手ぐすね.....ていぐすに
 てくび/手首.....ていーふず、ていふず
 ~てくる/~てくる.....ふー
 ~てくれる/~てくれる.....ふいー
 てさぐりする/手探りする.....さどうい
 ~てしまう/~てしまう すてい、ふぁう、はい、
 にやーん
 でそろう/出揃う いでいそうるー、いでそうる
 い
 てつ/鉄.....かに
 てつだい/手伝い.....かしー
 てつだい/手伝い(建築時の無料奉仕) すきな
 ふ
 てっていしてやる/徹底してやる.....つー
 ~でどうしようもない/~でどうしようもない
 さんまい すなーにやーん
 てにおえない/手に負えない ぎっじゃ ひらい
 ん
 てぬき/手抜き.....ていじゃーかー
 てのひら/手のひら.....ていびら
 ~ではない/~ではない(コピュラ否定形) .あ
 らん
 てまちゃん/手間賃.....ていまー
 てまちゃんでのかせぎ/手間賃での稼ぎ ていまー
 ぶい
 てまのかかる/手間のかかる.....ていーたーり
 ~てみる/~てみる.....みー
 ~てみると/~てみると.....とうー
 でむいてくる/出向いてくる...かむー、かむい
 ~ても/~ても.....ばんまい、んまい
 ~でも/~でも(接続助詞) .やらばん、やらば
 んまい、やらん、やらんまい
 でも/でも..あいえいそうが、あいやいそうが、
 あいやそうが、あっそうが
 でも/でも(疑問詞+__) まい

~てやる/~てやる.....とうらす、ふいー
 テリハボク/テリハボク【植】 やらう、やらう
 だに、やらうぎー、やらうだにぎー
 でる/出る(月などが).....あがい
 でる/出る.....いでい
 てをだす/手を出す.....にやーい
 てをとじる/手を閉じる.....つずん
 てん/天.....ていん
 てんかん/癲癇...たまつつやん、つづいやん
 てんかんのほっさをおこす/癲癇の発作をおこ
 すたまーつつ、たまつつ、たまーつふ、たまつ
 ぶ、つー、つづい
 てんき/天気.....わーつつ
 てんきあめ/天気雨.....ひーていーあみ
 てんきがおだやかになる/天気がおだやかにな
 る.....とうり
 テングハギ/テングハギ【魚】.....まぶゆ
 てんじょう/天井 ていんじゃう、じゃうそうく
 でんせんびょう/伝染病.....ほうーつ
 てんのたかさ/天の高さ.....ていんぬたか
 てんぷら/天ぷら.....ていんぷら
 と/戸.....やどう
 と/と(引用).....ていー、ていがー、とうー
 ドア/ドア.....やどう
 といあわす/問い合わす.....とうやーす
 という/という(引用).....ていぬ
 ~というものは/~というものは.....ていーや
 といし/砥石.....とうす
 といただす/問いただす.....さばつ、さばふ
 トイレ/トイレ.....っし
 トイレおすい/トイレ汚水.....しーる
 どう/銅.....あかがに
 どう/どう(疑問詞).....だ
 どういう/どうい【疑問詞】.....なうばい
 どういうつもりで/どういうつもりで なうす
 ふぁーっでい

どういたしまして/どういたしまして まさりー
まい
とうか/十日 とうーか、とうか
とうがらし/唐辛子 くーす、くーそ
とうがん/冬瓜 そうー
どうきゅうせい/同級生 あぐ
どうぐ/道具 だうー
どうくつ/洞窟 .. あーぶ、あぶ、がま、はーな、
はーぶ
トウゴロウイワシ/トウゴロウイワシ【魚】 は
だら
とうじ/冬至 とうんでい
~どうし/~同士 じゃーにやー
とうじしょうがつ/冬至正月 とうんでいさうが
つ
どうしたんだろう/どうしたんだろう なうがが
らむぬ、なうていぬ ばーが
どうして/どうして (疑問詞) なうやひー、な
んとうが
とうしぶ/東支部 とうらぬはでいー
どうしようもない/どうしようもない な
うや あすかたーにやーん、ならーっしやう、
まーいかたー にやーん
とうそうしん/闘争心 あらいず
どうだい/どうだい (=うまくやってるか) (あ
いさつ) なうばいが
どうたいのりょうがわ/胴体の両側 やかた
とうちする/統治する ならす
どうねんせい/同年生 ひとつっでい
とうふ/豆腐 たうふ
どうぶつ/動物 いつむす
どうやって/どうやって なうばい
どうり/道理 だうり
とおい/遠い かーま、かなた
とおい/遠い (ずっと_) かじゃー
とおいこと/遠いこと うじゃーな

とおいところ/遠いところ ゆーかーま
とおく/遠く かーま、かなた
とおす/通す .. とうーつ、とうーふ、とうーす、
っちゃんつ、っちゃんふ、くまらす
とおす/通す (ススキを魚のエラに) .. つーつ、
つーふ、つーっつ、つーっふ
とおまわりをする/遠回りをする まーい
とおりぬける/通り抜ける ... ふつ、ふふ、ふき
とおる/通る とうーい、くまい
トカゲ/トカゲ くーすふあや、くーそふあや
トカゲ/トカゲ (岸の上に生息) ひーまばかっ
じゃ
とがめる/咎める とうがん
とがる/尖がる とうんず、とうんでい、とうが
い、とうんぎ
とき/時 とうきや、とうつ
ときどき/時々 .. ひとつひやーい、ひとつばた、
ひとつばたなー
ドキドキする/ドキドキする ぷとうみつ、ぷと
うみふ
どきょう/度胸 どきよー
どきょうがない/度胸がない ばたー にやーん
どきょうそう/徒競走 ひやーさにやー
とく/とく (髪を) きっず
とぐ/研ぐ とうず
どくしんじよせい/独身女性 みーだつ、しよじ
よ
どくしんだんせい/独身男性 びきだつ
とぐち/戸口 ... やどうふつ、いでいーはいーふ
つ、いでいーはいふつ、いでいはいーふつ、い
でいはいふつ
とくとうびょう/禿頭病 はいがさ
とくべつに/特別に .. あやかーり、あやかーりー、
うったーていー、きたてい、だんかーりー、ぶ
んかーり、ぶんかーり、ぶんかーりー
とげ/刺 つーず、とうず、んず

どける/どける んなす
とこ/床 からゆか
どこ/どこ【疑問詞】 いじゃ、んじゃ
とこずれ/床ずれ みんぴーき、にゅーぱぎ
とこのま/床の間 くじゃしつ、くじゃひつ
とこぼしら/床柱 んみかみばら
どこも/どこもかしこも ... いーがま くーがま
とこや/床屋 あかすやー、あかそういやー、さ
んぱつやー
とさか/とさか かんぎ
とさつにん/屠殺人 わーくらしや、わーしゃー
とじこもる/閉じこもる くまい
とじこもる/閉じこもる (奥の小部屋に) ぶー
や とうい
としごろ/年頃 はだ
としそうおうでないこと/年相応でないこと は
だ
~として/~として (引用) ていー
~としての/~としての ていぬ
~としては/~としては やらー、やりやー
としとった/年取った がば
としのこう/年の功 とうすぬ くー
としのちかいもの/年の近いもの ぶーら、ぶー
りや
としより/年寄り ... ういびとう、がばういびと
としよりくさい/年寄りくさい ういびとう ふ
い
とじる/とじる まるつ、まるふ
ドスン/ドスン だふ
どたんどたん/どたんどたん ... どんま どんま
とち/土地 ずー
とちゅう/途中 あいつんつ、いつんつ、んつな
か
とつきしたひふ/突起した皮膚 つーきや
とつくに/とつくに いつから
とつぜん/突然にあたふずん、じゃらていー、

なうちやーな一、なうちやーにやー
どっち/どっち【疑問詞】 いでい、んでい
とって/取っ手 ゆる
とつぴょうしもない/突拍子もない ... あ一つな
とつぷう/突風 かでいまーい
~とどうじに/~と同時に ふたきな
とどく/届く とうーずき、とうーずつ、とうー
ずふ、いかう
とどける/届ける とうーずき、とうーずつ、と
うーずふ
とどまらせる/留まらせる ゆどうます
とどまる/留まる ゆどうん、びじやい、とうど
うまい
とどめる/留める たみ
となり/となり やかーら、やかた
どなりこむ/怒鳴りこむ .. ばいんき、ばいんつ、
ばいんふ
とにかく /とにかく あうぬー
との/との (引用) ていぬ
トノサマガエル/トノサマガエル【生物】 なび
ーうんた
~とは/~とは ていーや
とびあがる/飛び上がる .. とうぬぎ、とうぬず、
とうびやがい、とうびやぎやい
とびこえる/飛び越える またーたい、またたー
い、またたい、とうぬず、とうんくい
とびこむ/飛び込む やいん、やうん、やいんつ、
やうんつ、やぐん
とびでる/飛び出る まんず、まんずず、まんて
い
トビハゼ/トビハゼ【魚】 たかま
とぶ/飛ぶ とうー
とぶ/飛ぶ (鳥が) まい、まう
とほうにくれる/途方に暮れる なうや あすか
たーにやーん
どま/土間 どうま

とまどう/戸惑う どうまっづい
 とまり/泊まり どうまい
 とまりこみりょう/泊まり込み漁 どうまいいん
 とまる/泊まる どうまい
 とまる/止まる なまい
 ともだち/友達 どうす
 とらのひ/寅の日 どうらぬい
 トラブルメーカー/トラブルメーカー ふっとう
 ー
 とられる/取られる びかい
 とり/鳥 どうい
 とりえ/取り柄 どういどうくま
 とりかえす/取り返すうかう、うかび、ばかい、
 ばかう、とういかいす
 とりかえる/取り替える かーい
 とりそこなう/取り損なう .. どういはっじゃつ、
 どういはっじゃふ
 とりつかれる/とりつかれる たばい
 とりのぞく/取り除く はらう、うさす
 とりのまうむれ/鳥の舞う群れ どういまつ
 とりはだ/鳥肌 きーどうるん、さんぎ
 とりはだがたつ/鳥肌が立つ はぎやう、ひぎや
 う
 とりぶん/取り分 っじだま、とういまい
 とりめ/鳥目 どういみ
 とる/取る どうい、かつ、かふ、はず、
 とる/採る どうい
 とる/撮る どうい
 とる/取る (賭けで勝ったものを) びつ、びふ
 とる/とる (席を) どうい
 どれ/どれ【疑問詞】 いでい、んでい
 どれい/奴隷 またぎす、んじゃ
 どれくらい/どれくらい【疑問詞】 いさか、い
 さき、いかっさ、いだき、いなぎ、いぶぎ、い
 ほうぎ
 どれもこれも/どれもこれも まみっじゃにやー

だ
 だろ/泥 どうる
 だろう/徒労 あまたすかま
 だろつち/泥土 どうるんた
 ドロドロ/ドロドロ (溶けて柔らかい) やーた
 り
 だろぼう/泥棒 ぬそうどう
 だろまみれ/泥まみれ どうるだり、どうるびー
 た
 どんと/どんと (叩く、何かを置く) ..だんま、
 どうんま
 ドンドン/ドンドン (叩く) がっうあ
 だんどん/だんどん (食べる) どんない
 だんな/だんな【疑問詞】 なうばい
 トンボ/トンボ あうそうん、あきず
 とんぼかえり/とんぼ返り (行ってすぐ戻るこ
 と) つつむどうい
 な/な (禁止) な
 ない/無い にやーん
 ないねつ/内熱 うつつ
 なう/縋う (縄を) なう
 なえ/苗 ない
 なえる/萎える すぶん、ない、ないー
 なおす/直すなうす、ゆふなうらす、ゆふなし、
 ゆふなす
 なおる/治る なうい、ゆふない
 なか/中 なか
 なか/中 (内面) なか
 ながい/長い なが
 ながいあいだ/長い間 うながい、ゆながい
 ながいぎょうれつ/長い行列 ながつず
 ながいこと/長いこと うじゃーな
 ながいもの/長いもの ながさ
 ながさ/長さ ながさ
 ながす/流す ながす
 なかたがい/仲違い なかたがい

ながっちり/ながっちり びーぐず、びだく、びだくげった
なかなか/なかなか なんとかが
なかま/仲間 ひつ
なかまはずれにする/仲間外れにする .. さるつ、さるふ
なかみ/中身 なか
なかよし/仲良し ぐー
ながれつく/流れ着く ゆい
ながれもの/流れ者 ゆらら、ゆらりむぬ、ゆらりんまり
ながれる/流れる (ゴーゴート) .. がーらみつ、がーらみふ
ながれる/流れる ながい
なぎ/凧 なぎ、とうり
なきおとし/泣落し なつむぬい
なききること/薙ぎ切ること なずばい
なきげん/泣き言 なつむぬい
なぎたおす/薙ぎ倒す なぎ
なきむし/泣き虫 なつっじゃ
なく/泣く・鳴く なつ、なふ
なく/無く にゃーんひー
なくす/亡くす すなす
なくす/失くす にゃーす、すてい
なくてはならない/なくてはならない あらだか
ーならんむぬ、にゃーだかー
なくなる/なくなる うす、ひっがい、にゃーだんず
なぐる/殴る なっじゆい、なず、なぎ、ったつ、ったふ
なぐる/殴る (げんこつで) っふあす、ふあーす、つっちゆい
なぐる/殴る (強く) だみ
なげあみ/投げ網 うちゃん
なげる/投げる たいつき、とういたいつき、とういていっづい、とういまやーす、ちゅー、て

いっづい
なさけぶかい/情け深い つむかぎ
なさってください/なさってください...まていなさる/なさる (尊敬語接尾辞) さまい
なすび/なすび【果物・野菜】 なそうー
なぜ/なぜ なうやひー
なだめる/なだめる...あじゃんつ、あじゃんふ
なつ/夏 なつ
なでる/撫でる なでい
ななつ/七つ ななつ
ナナフシ/ナナフシ【昆】...まずむぬぬぬーま
ナナムイ/ナナムイ【祭礼】 ゆーくい
なに/何【疑問詞】 なう
なに?/なに?(ききかえし) なー
なにか/なにか なうががら
なにくそ/なにくそ (自己激励) あやら、あやらがま、あらら、あららがま
なにも/何も なうちゅん、なうちゅんな、なうちゅんま、なうとうん、なうとうんな、なうとうんま、なうまい
なにもないこと/何もないこと んな
なにをいってるんだ/何を言ってるんだ あっはーいー、あっはーえー
なにをしに/何をしに なうふあーっでいー
なのか/七日 なぬか
~なので/~なので やひー
なびく/なびく なびつ、なびふ
なべ/鍋 なび
ナポレオンフィッシュ/ナポレオンフィッシュ【魚】
ひろし
なま/生 なま
なまいきなやつ/生意気な奴 なまちゃー
なまえ/名前 なー
なまぐさい/生臭い あうさり
なまけくせ/怠け癖 だいさ
なまけもの/怠けもの .. だらく、だらくげった、

びだっふや、なまずー、なまずん、なまだん、
だいむぬ、なまちや、ふゆー、だいきし
なまけものだ/怠け者だ なっちゃかん、なっち
やらん、だい、だらく、だらくげった、ふゆー
ナマコ/ナマコ つつー
なまにえ/生煮え なまにー
なまにえだ/生煮え なまにー
なまはんぱ/生半端 なまっじゃ
なまみず/生水 なまみず
なみ波 なん、ぶりなん
なみうちきわ/波うち際 あらは
なみだ/涙 なんだ
ナミダクロハギ/ナミダクロハギ【魚】 くーす
きや
なみだもろい/涙もろい なんだやす
なみだもろいこと/涙もろいこと・人 なんだやす
なめらかな/滑らかな なびー
なめる/舐める なんー、なんみ
なやむ/悩む つむー やん
～なら/～なら（仮定）ったー、ていがー、とう
ー
ならい習い ならい
ならう/習う ならう
ならす/鳴らす ならす
ならす/ならす（土地を） とうなみ
ならぶ/並ぶ ならう
ならべる/並べる なみ
なりひびく/鳴り響く とうゆん
なる/鳴る ない
なるべく/なるべく ないていがー
なるほど/なるほど まーんていー
なれる/慣れる なり
なわ/縄 ん° な、なー
なんかい/何回【疑問詞】 いふかいま、いふん
なんかいも/何回も うんそうく
なんぎ/難儀 なんず

なんきんぶくろ/南京袋 たうしんがー
なんきんむし/南京虫【昆】 あやぬん
なんさい/何歳【疑問詞】 いふつ
なんしぶ/南支部 んまぬはでいー
なんせき/何隻 いふ
～なんだ/～なんだ だら
なんだ/なんだ（軽蔑） おーか、おーこ
なんだって？/何だって？ なうていー、なうば
いていー、あか
～なんだよ/～なんだよ そうーで、ば
なんちょうのひと/難聴の人 みんぴちやら、み
んひつら、みんぴつら
なんで/なんで【疑問詞】 なうじゃん
なんであっても/何であつても なう やらばん
まい
なんでだよ/何でだよ なうんだい
なんでも/何でも なうやらばん、なうやらばん
まい、なうやらん、なうやらんまい
なんでもかんでも/何でもかんでも みーはん
かーはん
なんでもない/何でもない なうまいあらん
なんというか/何というか あうぬー、なうがら、
なうていどう あい
なんとか/何とか なんとが、やっとう
なんとなく/何となく なうちやーなー、なうち
やーにやー、なうががら、なま
なんとまあ/何とまあ あがい たんでい
なんにち/何日【疑問詞】 いふか
なんのために/何のために .. なう ほうっでい、
なうす ふあーっでい、なうふあーっでいー、
なうっしやー、なうっしやーなー
なんばいも/何倍も んめ ばいふ
なんびき/何匹・何頭【疑問詞】 いふから
なんひと/何人【疑問詞】 いふたーい
なんぼん/何本【疑問詞】 いふーず、いふすず
～に/～に（動作の目的） が

に/荷.....にー
 に/に（格助詞、目的地）.....ん、んかい
 に/に（格助詞、時間）.....ん、んかい
 に/に（与格）.....ん、んかい
 に/に（受け身、使役動作主）.....ん、んかい
 にあう/似あう.....あう
 にえる/煮える.....たっず、にー
 におい/におい.....かじや
 においがつく/においがつく.....そうまい
 にかい/苦い.....んぎや
 ニガウリ/ニガウリ【果物・野菜】.....がうら
 にながす/逃がす ながーす、んがす、んがーらす
 ニキビ/ニキビ.....んつん
 にぎやかな/賑やかな.....そうるき
 にぎる/握る.....かつん、かつみ
 にぎる/握る（おにぎりを）.....んない
 にくい/憎い.....みっふあ
 にくしみ/憎しみ.....みっふあさ
 にくらしい/憎らしい.....はだたつ
 にげる/逃げる.....ひんぎ、ひんず
 ニコニコするようす /ニコニコする様子 あ
 まいあまい
 にごる/濁る...むがい、むぎやい、むぎやっり
 にし/西.....いー
 にじ/虹.....ていんぼう
 にししぶ/西支部.....さいぬはでいー
 にしどなり/西隣.....いーにやー
 にしのほう/西の方.....さいぬは
 にしはら/西原【地名】.....んすむら
 にしもひがしも/西も東も いーゆまい あがい
 ゆまい
 にたもの/似た者.....んーしぬ、ゆぬそうい
 にたような/似たような.....んーさ
 にちゅう/日中.....さなか
 にっぽんほんど/日本本土.....やまとう
 にている/似ている.....んーす、ゆぬ

にているようす/似ている様子.....ちゃら
 にどね/二度寝.....またにゆー
 にぶいこ/鈍い子 ぬっちーやらび、ぬっちやー
 にまいがい/二枚貝.....しな
 にももの/煮物.....にーむぬ、にむぬ
 にもものなべ/煮物鍋.....うーじゆるかき
 ニョロニョロ/ニョロニョロ.....ぶじゆぶじゆ
 になら/葎.....みーな
 にならむ/にならむ..みーつつ、みーつふ、みつつ、
 みつふ、みつぎ、みーつき
 になる/煮る.....にー、たっじやす
 になぎょう/人形.....ひとうかた
 になじん/人参.....あかほうにや
 になんしんさせる/妊娠させる.....はらます
 になんしんする/妊娠する.....はらん
 になんそう/人相.....にんそうー
 ニンニク/ニンニク.....ひー、ぴー
 ぬいぬい/縫い目.....ぬいみ
 ぬう/縫う.....ぬー
 ぬか/糠.....ぬか
 ぬがす/脱がす.....はだかす、はだかす
 ぬかれる/抜かれる.....ぬがい、んがい
 ぬく/抜く.....んず
 ぬぐ/脱ぐ んず、はだき、はだつ、はっず、は
 っだき、はだつ、はっでい
 ぬけがら/脱け殻.....すでいがら、すでいぐる
 ぬける/抜ける.....あばい
 ぬすむ/盗む.....ぬそうん、とうい
 ぬの/布.....ぬぬ
 ぬる/塗る.....まみ
 ぬれる/濡れる.....んー、んみ
 ね/根.....にー、っさに、ふさに
 ね/ね（終助詞）.....いー
 ね/ね（話初めの言い淀み）.....いら
 ねあせ/寝汗.....にあし、にゆーあし
 ねいき/寝息.....にーつ

ねいりばな/寝入りばな につづいばな、にじゃ
ま
ねうち/値打ち にうち
ねおき/寝起き みじゃみ、みそうい
ネギ/ネギ つんま
ねぐるしい/寝苦しい にゆーぐり
ねこ/猫 まゆ
ねごちがよいこと/寝心地が良いこと にゆー
ずみ
ねごと/寝言 にむぬい
ねざめめ/寝覚め んじゃみ
ねじまげる/捻じ曲げる がに
ねしょうべん/寝小便 ゆすばい
ねしょうべんをするひと/寝小便をする人 ゆす
ばいふかしゃ
ねじる/ねじる ひにー
ネズミ/ネズミ ゆむぬ
ねぞうがわるい/寝相が悪い にゆーあじゃーな
ねそべる/寝そべる ながんぶ だーい
ねたふり/寝たふり にゆーふい
ねだる/ねだる あなみ、あなん
ねちがい/寝違い にゆーやっづい
ねつ/熱 につ
ねつきのわるいこ/寝つきの悪い子 にゆーふが
ます
ねとまりす/寝泊り (少年たちの行動) とうん
から
ねばしょ/寝場所 にゆーどうくな、にゆーどう
くま
ねばっこい/粘っこい ひつに
ねばねばしている/ねばねばしている むつ
ねばりけ/粘りけ むつみ
ねばりづよい/ねばりづよい はいつー
ねぶそく/寝不足 なまにー、なまにゆー
ねぶそくだ/寝不足だ にゆーたらーん
ねぼけ/寝ぼけ にじゃま、にじゃまうつ

ねぼけどり/寝ぼけ鳥 にぶいどうい、にぶりど
うい
ねぼける/寝ぼける にぶい、にぶり
ねぼすけ/寝坊助 にゆーたら
ねむい/眠い にゆーた
ねむのき/ねむの木【植】 にゆーたらぎー
ねむりこけている/眠りこけている たーい
ねむる/眠る にゆー、につづい
ねもと/根本 にむとう
ねらう/ねらう たみ
ねる/寝る にゆー、につづい
ねんざさせる/捻挫させる ないらす
ねんざする/捻挫する ない、ないー
ねんじゅも/念珠藻 (バクテリアの一種) ぬい
じゅー
ねんど/粘土 ふちゃんた
ねんれい/年齢 とうす
の/の (格助詞、所有) ぬ、が
～のいうとおりに/～の言うとおりに. あいがにやー
ん
のうか/農家 はるやー
のうぐ/農具 あさぎ
のうりよくしだいで/能力次第で うむくとうさ
ーりどう
のうりよくのないもの/能力のない者ぎったー、
げったー
～のか/～のか (疑念) がら、ががら
のがす/逃す...んがーす、んがす、んがーらす
のがれる/逃れる んがーい
のこ/軒 んつき
のこぎり/のこぎり【道具】 ぬくずー
ノコギリガサミ/ノコギリガサミ【生物】 ..ん°
ぬがん
のこす/残す ぬかす、ぬくす、あまらす
のこり/残り ぬくい
のこりかす/残りかす ぬかす

のこりび/残り火……………うつー
 のこりもの/残りもの……………あまい
 のこりものにはふくがある/残り物には福があ
 る……………あとうだま うーだま
 のこる/残る……………ぬくい
 ~のころ/~のころ……………きや
 のせる/乗せるあーす、うーす、ぬーす、んーす
 のせる/載せる(荷を頭に)……………かみ
 のぞく/覗くぬさき、ぬさつ、ぬすつ、ぬそうき
 のぞみ/望み……………ぬずん
 ~のだ/~のだ……………さー やい
 のちのよ/後の世……………あとうぬゆー
 ~ので/~ので……………ば
 のど/喉……………ぬどう、ぬぶい
 のどぼとけ/のどぼとけ……………ぬどうぐら
 ~のなかでは/~の中では…やらー、やりやー
 ののしりあい/罵り合い……………やどうゆん
 のばす/伸ばすんばす、いかーす、そうんうー、
 そうんばす
 のはら/野原……………ぬー
 のびあがる/伸びあがる……………ぬびやがい
 のびる/延びる……………ぬー、ぬび、そうんうー
 のびる/伸びる(業績が)……………ぬびやがい
 のびる/野蒜【植】……………ぬびー
 のぼせる/のぼせる……………ぬぶす
 のぼる/昇る(太陽などが) あかん、あき、あ
 つ、あふ
 のぼる/登る……………ぬーい
 ノミ/ノミ【道具】……………ぬん
 のみ/蚤……………ぬん
 のみこむ/飲み込む……………ぬんくん
 のむ/飲む……………ぬん
 のらいぬ/野良犬……………やまいん
 のらねこ/野良猫……………やままゆ
 のり/海苔……………ぬい
 のり/糊……………ぬい

のりくみいん/乗組員……………しんか、にんじゆ
 のる/乗る……………ぬーい
 のろい/呪い……………いっだま、ぬるい
 のろう/呪う……………ぬるー
 は/刃(包丁などの)……………はー、ふつ
 は/歯……………はー
 は/葉……………はー
 は/は(提題助詞)……………あ
 はい/灰……………からばい
 はい/はい(返事)……………おー
 はい/はい(ていねいな返事)……………おーっさり
 ~ばい/~倍……………ふさ
 ハイカラなひと/ハイカラな人……………はいから
 ハイキビ/ハイキビ【植】……………なだつ
 はいすいこう/排水溝……………はいすーばだ
 はいぞう/肺臓……………ふく
 ばいど/培土……………ばいど
 ばいどく/梅毒……………ばいどく
 ハイビスカス/ハイビスカス【植】…はなぎー
 はいぶんする/映える……………たまう うつ
 はいる/入る……………いー、いり、はいー
 はう/這う……………はーどうい、はう、はい
 ハエ/ハエ【昆】……………はい
 はえる/生える……………うい
 はえる/映える……………はい、ばい
 ~ばえ/~映え……………はい
 はおとをたてる/羽音をたてる がっづあんなり
 ー、ぐっづあんなりー
 はか/墓……………はか、むとう、みやーか
 バカ/バカ……………ぐどうん
 バカげた/バカげた……………ほうりふい
 はがす/はがす(張り付いた物を) むっしーと
 うい
 はがす/はがす(うろこなどを) いーき、いー
 つ、はず
 ばかだ/馬鹿だ いたらーん、わーぶり、むいぶ

り、んまつ
はかどる/撓る はかどうい、ぬーがい、ぬびゃ
がい
ばかなこと/馬鹿なこと ほうりむぬゆん
バカナことをいうひと/馬鹿なことを言う人 ん
まちゃ、んまつまー
バカナやつ/馬鹿者 ほうりむぬ、ほうりぎちく
ら、ほうりぎちくや、ゆががなまい、ゆががな
まりや、ひなじゃ
ばかにしてわらうこと/馬鹿にして笑うこと ゆ
がばらい
ばかにする/馬鹿にする ばーふー、すたばらう、
うさい
ばかやろう/馬鹿野郎 (罵声語) .. かなまりや、
つふた、つふなた
はかり/秤 はかい
はかる/測る はかい、はかり
はきけがする/吐き気がする びばくーす
はく/吐く (唾を) とうぱつ、とうぱふ
はく/吐く (気分が悪くてものを) びばつ、び
ばふ、むどうす
はく/掃く ほうつ、ほうふ
はく/履く ん° ん
はぐ/はぐ (皮を) はず
はぐき/齒莖 はばす
はくじょうだ/薄情だ ひぐる、つむひぐる
はくじょうな/薄情な つむー にゃーん、つむ
ひぐりゃ
はくじょうなひと/薄情な人 つむひぐる、ひぐ
る
はくせん/白癬 (みずむし、たむし) っさばや
ばくち/博打 でいんびつ
ばくはつする/爆発する はずき、はずつ、ぱず
つ
はぐらかす/はぐらかす はぐらかす、はぐらす
はぐれる/はぐれる はぐい、はぐり

ばくろう/馬喰 ばくらう
はげ/はげ (頭に髪の毛がないこと) はぎ
ばけもの/化け物 ますむぬ、ますむん
はげる/はげる (頭が) はぎ
ばける/化ける... ひがい、ひがいー、ひがり
はこ/箱 はく
はこフグ/箱フグ【魚】 くーた
はこメガネ/箱メガネ (水中メガネ) たぐ
バサッと/バサッと (木を切る) .. がじゃてい、
じゃらていー
ハサミ/ハサミ はさん
はさむ/挟む はさん
はさんする/破産する うどうき、ひがい
はし/端 はた、あっじゃ
はし/箸 うます、うみやす、はず
はしか/麻疹 かさ
はじめる/始める すきゃき
ばしゃ/馬車 ばしゃ
ばしょう/芭蕉【植】 ばさ
はしら/柱 はら
はしらせる/走らせる (船を) はらす
はしる/走る そうー、とうばす、そうづあす、
あいつ、あいふ
はしる/走る (勢いよく) そうづい
はしる/走る (一目散に) ぶんみかす
はずかしい/恥ずかしい みーはなー にゃーん、
みはなー にゃーん、ばかす
はずす/外す (物を) はなす
はずす/外す (的を) はんし、はんじ、はんつ、
はんでい、はんじゃつ、はんず
~はずだよ/~はずだよ はっどー
ハスノハギリ/ハスノハギリ【植】 たまびーぎ
ー
はずれる/外れる (仲間から) はっず、はっでい
はだ/肌 はだ
はたおり/織機 ぬぬばた

はたおりき/機織り機.....はた
はだかうま/裸馬.....はだかんま
はたけ/畑.....はい、かふー
はたけ/畑（土地の超えている）.....んすばい
はたけ/畑（長男が引き継ぐ）...やーだまずー
はたけのばんや/畑の番屋.....はるばんやー
はださむい/肌寒い..あうひぐる、あうびぐる、
なまひぐる
はだし/裸足...からはず、からばず、っさばず
パタッと/パタッと.....ばたていー
バタバタさせる/バタバタさせる..ばたらみつ、
ばたらみふ
はためかせる/はためかせる.....ぶりゃう
はたらき/働き.....はたらつ
はたらく/働く.....はたらつ、はたらふ
はち/蜂（小型）.....やなばた
ばち/ばち（があたる）.....ばつ
ばちんこ/ばちんこ（子供のおもちゃ）ぐむか
ん
ばちんと/ばちんと.....ばかてい、ばかてい
ばつ/罰.....ばつ
はっきりと/はっきりと.....じゅんていー
はっきりものをいうひと/はっきりものを言う
人.....あらうつびとう
はっこうする/発酵する.....ばき、ばつ
はつじょうする/発情する.....っさい、っさり
はっせいする/発生する.....いでい
バッタ/バッタ.....かた
はったいこな/はったい粉.....むずく
はて/はて（遠いところ）.....はてい
はとはのあいだ/歯と歯の間.....はーばす
はな/花.....はな
はな/鼻.....はな
はなお/鼻緒.....はなぶー
はなさき/鼻先（動物の）...はなず、はなでい
はなし/話.....はなす、むぬい

はなしあい/話し合い.....ずんみ
はなしあう/話し合う（集まって）うぐなーい
はなしたがること/話したがること・人むぬい
ぶっさ
はなす/話す.....ゆん
はなす/離す.....はなす
ハナタカサゴ/ハナタカサゴ【魚】あうぐるく
ん
はなたれこぞう/鼻たれ小僧 はんだら、ぼんだ
ら
バナナ/バナナ.....ばさ、ばさない
バナナのき/バナナの木.....ばさぎー
はなはだしい/はなはだしい むい、みーや ほ
うらんばかーい
はなみず/鼻水はなみず、みずばな、はんたい、
みずばんだい
はなれる/離れる.....はない
ばにく/馬肉.....ぬーまじゅー
はね/羽根.....はに
はねかえる/跳ね返る.....はにぐい
はのないひと/歯のない人.....はーもー
ははー/ははー（ていねいな返事）.....はー
パパイヤ/パパイヤ...まんじゅー、まんちゅー
パパイヤのき/パパイヤの木..まんじゅーぎー、
まんちゅーぎー
はばがひろい/幅が広い.....ほうっぱば
バフンウニ/バフンウニ【生物】【食】うんかず
つ、かずつ
はへん/破片.....ばい、ばり
はま/浜.....ひだ、はた、はま
ハマオモト/ハマオモト【植】.....さでいふ
はまそい/浜浴い.....はまだてい
はまぼん/浜番.....ひだばん
はまべ/浜辺.....はまうつ、はまふつ
はまゆう/浜木綿【植】.....さでいふ
はまる/はまる.....はまい

はみでる/はみ出る まんず、まんつず、まんてい、はんでい
 はめつする/破滅する ひっがい
 はもの/刃物 はむぬ
 はやい/早い は一、ひゃー
 はやい/速い は一、ひゃー
 はやいこと/速いこと あいつびゃー
 はやいじぶん/早い時分 は一ひー、ひゃーひー
 はやうまれ/早生まれ ばかんまり
 はやおき/早起き ながら
 はやく/早く はやまり、ひゃー、は一ひー、ひゃーひー
 はやく/速く はやまり、ひゃー、は一ひー、ひゃーひー
 はやくち/早口 は一うつ、は一らうつ
 はやさ/速さ は一さ、ひゃーさ
 はやじにに/早死に んぬつびゃー
 はやまる/早まる ひゃーまい
 はやる/流行る はやい
 はやる/はやる (心が) しゃーがい
 はら/腹 ばた
 はらう/払う (ほこりなどを) ぶぶーい、ぶぶい、はらう
 はらう/払う (金を) はらう
 はらがたつ/腹が立つ ばた ふさい
 はらがへるじかん/腹が減る時間 やーっさばた
 ばらす/ばらす あばらす
 ばらす/ばらす (秘密を) ていびゅー ほうがす、みはながーゆ んつ
 はらだたい/腹立たしい ばたっさい、ばたふさい
 ハラナガスズメバチ/ハラナガスズメバチ【昆】
 たうんまばす
 はらのほね/腹の骨 (大笑いの誇張) ばたぶに
 はらをたてる/腹を立てる たい
 はり/梁 はり、つばい

はり/針 はい
 ハリセンボン/ハリセンボン【魚】 あばさ
 ハリツルマサキ/ハリツルマサキ【植】 まっこー
 はる/貼る はい
 はる/春 はる
 はるさき/春先 びーずん
 はるのじゅんぷう/春の順風 うかずー
 ハルノノゲシ/ハルノノゲシ【植】 ふつな、ふつにゃ
 はれ/晴れ とうり
 はれつする/破裂する はずき、はずつ、ぱずつ
 はれる/腫れる ふくい
 ばれる/ばれる ていびゅー ほうがす
 はわせる/這わせる は一す
 ばん/晩 ゆー
 はんえい/繁栄 はんじやう
 はんげつばん/半月板 (軟骨組織) っそうひだぶに
 はんごろし/半殺し なまずん
 はんじょう/繁盛 はんじやう
 はんせいしん/反省心 うどうるつ うむくとう
 はんだん/判断 つつとうい
 パンツ/パンツ (下着) さるまた
 はんぱもの/半端もの はんぱむぬ
 はんぶん/半分 んな一き、なから
 ばんや/番屋 ばんや
 はんろん/反論 ふつぐたい
 ひ/火 うまつ
 ひあがる/干上る さい、さり
 ひえ/稗 つん
 ひえる/冷える ひぐい
 ひかくする/比較する .. うーでい、うーつでい、
 うーず、うーつず、なみ
 ひがし/東 あがい
 ひがしどなり/東隣 あがいにゃー

ひがしのほう/東の方.....とうらぬは
ひかり/光.....ひかい
ひかる/光る.....ひかい
ひがん/彼岸.....ひがん
ひきあげる/引き上げる.....がに
ひきうける/引き受ける あみかうー、あみかっ
づあす、あみかっづい
ひきかえす/引き返す.....ひつむどうい
ひきかえすこと/引き返すこと...ひつむどうい
ヒキガエル/ヒキガエル【生物】..さみうんた、
っふなた、さみっふなた
ひきさく/引き裂く...ひっちやつ、ひっちやふ
ひきしお/引き潮.....ひーそー
ひきずる/引きずる.....っさびつ、っさびふ
ひきだし/引き出し.....しつ
ひきぬく/引き抜く.....ひつ、ひふ
ひく/引く.....ないず、ひつ、ひふ
ひく/弾く(楽器を).....ひつ、ひふ
ひく/引く(潮が).....すー、ひつ、ひふ
ひく/ひく(風邪を).....ひつ、ひふ
ひくい/低い.....びだ
ひくいはな/低い鼻.....っさばな
ひくくする/低くする ひだます、びだます、ひ
だまらす、びだまらす
ひげ/髭.....ひぎ
ひげね/ひげ根.....っさでい、っさでいら
ひごとよごと/日ごと夜ごと まいやー まいに
つ
ひぎ/ひぎ.....すぐす
ひざし/陽ざし.....ひーていー
ひさまつしゅうらく/久松集落【地名】ぬだつ
ひじ/肘.....ひず
ひしゃく/柄杓.....さし
ひじょうに/非常に がいず、やぐみ、じゃまー
にゃーだ、ぶんかいり、ぶんかっり、ぶんかり
ー

ひそひそはなし/ひそひそ話 みすかむぬい、み
そうかむぬい
ひたい/額.....ふたい
ひたい/額(広い).....ほうーたい
ひだり/左.....ひだい
ひだりききのひと/左利きの人.....ひだら
ひっかかる/引っかかる すっかかう、かかっず、
かかいつじゃんふ
ひっかく/引っ掻く.....かかっず
ひっかける/引っかける.....ふんず
ひっくりかえす/ひっくり返す かいらす、ぶら
かいたす
ひっくりかえる/ひっくり返る ぶらかいー、ぶ
らかいり
びっくりさせる/びっくりさせる...たまがらす
ひっこす/引っ越す.....ひっくす
ひっぱりだす/引っ張り出す ひったうー、ひっ
たっづい
ひっぱりだすこと/引っ張り出すこと ひったん
ぐー
ひっばる/引っ張る.....ひきやう、がに
ひつよう/必要.....いりよー
ひつようだ/必要だ..いー、いり、いらじゃい、
かむー、かむい
ひつようのない/必要のない いたらーん、いら
じゃーらん、いらじゃらーん、いらじゃらん、
いらじゃい
ひでり/ひでり.....ひでいー
ひと/人.....ひとう
ひとあみ/一網(追い込み漁で)...ひとうあん
ひどい/ひどい.....やぐみ
ひといき/一息.....ひとういつ
びどう/微動.....ぶーない
ひとかけら/ひとかけら ひとうかき、ひとうつ
がき
ひとかぶ/一株.....ひとうむとう

ひとつ／一つ ひていつ、っていつ、てーち、て
いーち
ひとつちがい/1つ違い……………ひていつがゆい
ひととおりの／ひととおりの……………ばーっていー
ひとのせいにする/人のせいにする うさす、う
っさす
ひとみ/瞳……………みーぬっふあ
ひとみしり/人見知り……………ひとういづい
ひとみしりしない/人見知りしない はだっさり
ひとよい/人酔い……………ひとうびゆーい
ひとり／一人……………たうかー、たうきやー
ひとり/日取り…ひー、ひかず、あーびゆーい
ひとりごと/独り言 たうかーむぬい、たうかー
むぬゆん
ひとりのこらず/ひとり残らず たうかーぬから
だ、たうかーぬくらだ
ひとりもの/独り者……………かたていーむぬ
ひなんする/非難する あいつー、あいつち、あ
いつつ、あいつてい、とうがん
ビニールシート/ビニールシート……………テント
ひねる/ひねる……………ひにー
ひのかみ/火の神……………うぶく
ひばち/火鉢……………っじゆ
ひばり/ひばり【鳥】……………がやんちゆ
ひびく/響む……………とうゆん
ひふがかぶれること/皮膚がかぶれること かじ
やまき
ひふがふやけること/皮膚がふやけること みず
ぶくい
ひま/暇……………まー、まどう
ひまご/ひ孫……………またんまが
ヒメクマヤナギ/ヒメクマヤナギ【植】 んみや
てい、んみやていんーたぎー、あーらうんーた
ヒメフエダイ/ヒメフエダイ【魚】 みみじゃー
ヒメヘビ/ヒメヘビ……………がらさばう
ひも/紐……………ぶー

ひもじい/ひもじい……………やーす
ひやけ/日焼け……………ひーていーじやり
ひやす/冷やす……………ひぐらす
ひゃっきん/100斤……………ひゃっき
びょうき/病気……………やん、やなやん
びょうきがちのひと/病気がちの人…がびやう
びょうきにかかる/病気にかかる……………たかい
びょうきになる/病気になる……………やん
びょうきのようじょう/病気の養生 ながやーじ
やう、ながやうじょう
ひょうきんな/劇軽な……………ゆがいな
びょうじゃくだ/病弱だ……………がびやう
ひょうじょう/表情……………うむてい
ひょうじょう/表情(暗い)……………ふさがい
ひょうたん/瓢箪……………つぐい
ひょうばんをさげるひと/評判を下げる人 すた
らしゃ
ひょうひ/表皮……………あらがー
ひょうめん/表面……………あーはな
ヒヨドリ/ヒヨドリ……………びっぴーまちゃ
ひより/日より……………ひー
ヒラアジ/ヒラアジ【魚】……………がーら
ひらく/開く……………あうばじゃかい、あうばだか
い、あうばじゃかす、あうばじゃからす、あう
ばだかす、あうばだからす、びだつ、びだふ、
びらつ、びらふ、ばだかす、ばだつ
ひらけっはなし/開けっ放し…あーきどうーき
ひらたくする/平たくする……………っさたらす
ひらぺったい/平ぺったい……………っさたら
ひらら/平良【地名】……………っさら
びり/びり……………ぎー
ビリッと/ビリッと(紙を破る)…がじゃてい、
じゃらていー
ひりょう/肥料……………っふあい、ほうつうあい
ヒル/ヒル【生物】……………たーぬびー
ひるすぎ/昼過ぎ……………ひーまあとう

ひるま/昼間.....ひーま、すかま
ひるもよるも/昼も夜も...ゆいまい ひーまい
ヒレナガスズメダイ/ヒレナガスズメダイ【魚】
いしだ、くるきや
ひろい/広い.....がばー
ひろいところ/広い心...ほうずむ、ほうっずむ
ひろう/拾う.....っそー
びろう/檳榔【植】.....くば
ひろがる/広がる.....っそうがい、っそうぎ
ひろがる/広がる(植物が).....うやい
ひろがる/広がる(吹き出物などが) ばかばい
ひろげさせる/広げさせる ばじゃかす、ばじゃ
からす、ばじゃかい
ひろげる/広げる びだつ、びだふ、びらつ、び
らふ、ばだつ、ばじゃかい、あうばじゃかい、
あうばだかい、びだかす、びらかす、ばだか
す、ばじゃかす、ばじゃからす、あうばじゃか
す、あうばじゃからす、あうばだかす、あうば
だからす、っそらず、っそうがい、っそうぎ
ひろげること/広げること あうばじゃかい、あ
うばだかい
ひろば/広場.....じゃー
ひんい/品位.....すな
ひんそう/貧相.....ひんそー
びんた/びんた.....みんたっうあ
ひんば/牝馬(子供がうめなくなっている) や
ずまい、やずまら、やずまり
ひんばんに/頻繫に.....ひつん、うんそうく
びんぼうしょう/貧乏性.....きばんさだます
びんぼうそうな/貧乏そうな.....きばすぎ
びんぼうだ/貧乏きばす、きばん、きばすがい、
ひんそー
ぶあつい/分厚い.....あつぐー
ふい/不意.....あたくま
ふいに/不意に.....じゃらていー
フィラリア/フィラリア.....しんき

ふうかく/風格.....すな
ふうふ/夫婦.....とうずぶとう、みゅーとう
ふえ/笛.....ひーだき、ぴーだき
フエフキダイ/フエフキダイ【魚】..っふなず、
まーゆ
ふえる/増える.....かじゆい
ぶか/部下.....またぎす
ふかい/深い.....ふか
ふかいところ/深いところ.....ふかいぬみー
ふかさ/深さ.....っさだつ、ひさだつ
ふきかえしのかぜ/吹き返しの風..かいしうす、
かいしうつ、かいしふつ、かいすうす、かいす
うつ、かいすふつ
ぶきみだ/不気味だ.....わーかう
ぶきようだ/不器用だ.....ていーくば
ぶきようなひと/不器用な人.....ていーくば
ふく/拭く.....ふつ、ふふ、っそうい
ふく/吹く.....ふき、ふつ、ぶらう
フグ/フグ【魚】.....うにや
ふくぎ/福木.....っくつぎー
ふくむ/含む.....っふん
ふくらはぎ/ふくらはぎ.....くっづあ
ふくれる/脹れる.....むやがい
ふくろ/袋.....かます、かますぐー
ふくろあみ/袋網.....んじゅあん
フクロウ/フクロウ【鳥】.....こーどうい
フケ/フケ.....っさぶき、ぶき、ほうき
ふけつだ/不潔だ.....びーた
ふけつな/不潔な(頭髪など) かうさだい、か
うさだり
ふけつな/不潔な.....すぶたい、っしやな
ふけつなひと/不潔な人 すぶたら、かうさだり
や
ふける/更ける(夜が).....いり
ふさい/負債.....あんぱつ
ふさいでいるもの/ふさぐもの・こと ふさがい

ふさがる/ふさがる.....ふさがい
ふさぐ/ふさぐ..ふさがい、ふさず、っさがい、
つつず
ふざける/ふざける.....じやり
ふし/節.....ふす
ふしぎだ/不思議だ.....ひるます
ふしぎな/不思議な.....ひんな
ふしぶし/節々.....ふすぶす
ふせい/不正.....なかまーい
ふせる/伏せる.....んぶだーい
ふそくをおぎなう/不足を補う.....たらーす
ぶた/豚.....わー
ぶた/豚(子供の産めなくなったメス) あびや
ー、あびやーわー
ぶた/豚(正月に食べるために飼っている) さ
うがつわー
ぶたい/舞台.....ぶだい
ブダイ/ブダイ【魚】.....いらうつ
ふたご/双子.....ふたか
ぶたこや/豚小屋.....わーぬっし、わーぬやー
ふたつ/二つ.....ふたーつ
ぶたにくのすきなひと/豚肉の好きな人 わーじ
やう
ぶたのエサいれ/豚のエサ入れ...わーぬたうに
ぶたのもの/豚の煮物.....わーにむん
ふたり/二人.....ふたーい
ふだん/普段.....いつぐ、まどう
ふち/縁.....ふつ
ブチアイゴ/ブチアイゴ【魚】.....うきやん
ふつか/二日.....ふつか
ふつかよい/二日酔い さきぬっち、さきくたん
でい
ぶつかる/ぶつかる うちやい、うちやう、うち
やーい、ちやーい
ぶつける/ぶつける.....うちやーす、ふあーす
ブツウゲ/ブツウゲ【植】.....はなぎー

ふっとうする/沸騰する...ふぎ、ふつ、あっち、
あつつ
ぶつぶつと/ぶつぶつと.....ぶいたが ぶいた
ふところ/懐.....ふとうくる
ふとっている/太っている.....うだ
ふとっていること/太っていること ほうりっふ
あい
ふとる/太る.....うだい、っふあい
フナ/フナ【魚】..たーっぞう、たーぬっぞう、
みずぬっぞう
ふなぞこにたまったみず/船底にたまった水 あ
かま
ふなつききば/舟着き場.....ふなつき
フナむし/フナ虫.....かーじゃい
ふなよい/船酔い.....ふない
ふにんになる/不妊になる.....やずまい
ふね/舟、船.....ふに
ふね/舟【古語】.....みそう
ふねしゅうのうごや/舟収納小屋 ふなばんやー
ふねのいかり/船の碇.....うぶ
ふねのみおくり/舟の見送り.....ふなうさぎ
ふびじん/不美人.....つきやふ
ふまんをいう/不満を言う...ふがい、ふがいり
ふみつけること/踏みつけること..ん° なたー、
ん° なたーぐー、ん° なたーぐーたー
ふむ/踏む.....ん° ん
ふもと/ふもと.....あす
ふやす/増やす.....かじゅーす
ふゆ/冬.....ふゆ
ぶらさがる/ぶら下がる さがい、っさがい、さ
ぎ、さず
ふらつく/ふらつく たっづあみつ、たっづあみ
ふ、たーう、たーうい、ゆたみつ、ゆたみふ
ふらつくようす/ふらつく様子.....かいらく
ぶらぶらしているひと/ぶらぶらしている人 び
だふくり、びだふくる

ぶらぶらする/ぶらぶらする びだっふい、びだ
 ふー
 フラフラと/フラフラと かつらみきー、たいたい
 い
 ～ふり/～ふり……………ふい
 ふりまわす/振り回す……………ぶーうー
 ふりむく/振り向く……………みゃーぎ
 ふりんおんな/不倫女……………いんばい
 ふる/降る……………ふー
 ふる/振る……………ふい
 ふるいふるい【道具】……………しーなう
 ふるい/古い(食べ物)……………がば
 ふるいきもの/古い着物……………やりずん
 ふるえる/震える……………ほうーい、ほうーり
 ブルドドザザ/ブルドーザー んつやっぐやしゃ
 ぶるぶる/ブルブル(震える)…ぶとうぶとう
 ふるまうこと/ふるまい……………ばばん
 ぶれい/無礼……………ぶりー
 ぶれいな/無礼な……………わーつな
 ふろしき/風呂敷……………うつつー
 ぶんそうおうなふるまいをする/分相応な振る
 舞いをする……………ぶがなす
 ぶんたんきん/分担金..ばなむぬ、いでいみー、
 いでいみーはらいみー
 ふんづける/踏んづけるん° んびき、ん° んびつ
 ふんどし/ふんどし……………さなず
 ふんによう/糞尿……………ふそうすばい
 ぶんばいする/分配する……………たまぐつ
 ふんべつ/分別……………つっとうい
 ふんべつのない/分別のない いっちやー っさ
 ん
 へー/へー(軽蔑的な驚き)……………えへーい
 へいきん/平均……………とうなみ
 へいたんな/平坦な……………なだら
 へいていする/平定する……………ならす
 ～べきだ/～べきだ……………がまた

へこませる/へこませる..ひだます、びだます、
 ひだまらす、びだまらす
 へこむ/へこむ……………ふぐん、ひだん、びだん
 へそ/へそ……………んーぶ
 へた/下手……………びちや
 べたぼれ/べたぼれ……………すんぶり
 へチマ/へチマ……………なびやーら
 ペツ/ペツ(唾を吐くおと)……………とうぼ
 べっし/蔑視……………みーぬ すたみー
 ペット/ペット……………いつむす
 へビ/へビ……………なず、ほう、ぱう
 へや/部屋……………やー
 へや/部屋(奥にある小さい)……………うつばら
 へや/部屋(奥座敷)……………うらじゃ
 へや/部屋(奥の小さな_)…うつぬ くーい
 へら/へら(料理道具)……………ひら、いびら
 ベラ/ベラ【魚】……………あかじゃら
 へらす/減らす……………ひつ、ひふ
 へり/縁……………はた
 へる/減る……………ひつ、ひふ、ひない
 へんか/変化……………むいがーい
 へんかする/変化する ひがーい、ひがーい、ひが
 っり
 ペンキ/ペンキ……………ぬい
 べんきょう/勉強……………ずー
 へんしゅ/変種……………さにかーい、たにかーい
 へんじん/変人……………がいにん
 へんだ/変だ いかから、いきやがら、なうがが
 らむぬ、ひるます
 へんな/変な……………ひんな
 へんなきもちになる/変な気持ちになる っさか
 う
 へんなひと・じょうきょう/変な人・状況 いか
 がら、いきやがら
 ほ/帆……………ほうー
 ほ/穂……………ぶばな

ボール/ボール まーい
～ぼい/～ぼい っじゃ
ぼう/棒 ぼう
ぼう/棒 (粟をたたく) あーったつぼう
ぼうがいする/妨害する つっず
ぼうがよい/方がよい ます、とうか
ほうき/ほうき ほうつ
ほうげん/方言 すまうつ、すまふつ
ぼうこう/膀胱 すばいづつん
ほうさく/豊作 ゆがほうー
ほうしゃれいきやく/放射冷却... とうりひぐい
ぼうず/坊主 ぼうず
ほうちする/放置する やりっしゅーつ、やりっ
しゅーふ
ほうちょう/包丁 かたな
ほうほう/方法 っちやー
ほうぼう/方々いじゃどうーす かまどうーす、
んじゃどうーす かまどうーす
ほうもんする/訪問する みやーぎ
ほうらいまい/ほうらい米 ほーらいまい
ほうらんする/抱卵する すだす
ほうりなげる/放り投げるといづやーがらー
す、ていづやーがらす、ていづやがらー
す、ていづやがらす
ぼうりよくをふるう/暴力をふるう やから
ほうろうする/放浪する ゆらい
ほえる/吠える ぶい
ほおずき/ほおずき ふーずき、ふーずきばらん
ほかのしゅうらく/他の集落 ゆそうずま
ぼく/ぼく ばー、ばん
ぼくが/僕が ばが
ぼくたち/僕たち ばんてい
ぼくたちを/僕たちを ばんちゅー
ぼくに/僕に ばぬんかい
ぼくの/僕の ばが
ぼくぼくしている/ぼくぼくしている... みやー

ホクロ/ホクロ あじゃ
ぼくを/僕を ばぬー
ぼける/ぼける むいぶい、むいぶり
ほこり/ほこり ぶき、ほうき
ほし/星 ほうす
ほしい/欲しい.. ほうす、ほうすん、ほうーい、
ほうーん、ほうっさ あす
ほしがる/欲しがるといづや、ほうすん、ほうー
い、ほうーん、ほうっさ あす
ほじくる/ほじくる ふっず、ふっでい
ほす/干す かーかす、さらす、ほうす
ほたる/螢【昆】 たづや
ぼつきする/勃起する うい
ほっしがる/欲しがるといづや ほうす
ぼつらくする/没落する さびー
ほてる/火照るといづや ほうみつ、ほうみふ
～ほど/～ほど だちやー、だちやーい
ほど/程 (時間名詞の後) ぎやー
ほどく/ほどく ほうどうつ、ほうどうふ、はな
す
ほね/骨 ほうに
ほねみにこたえる/骨身にこたえる (寒さなど
が) ほうにぶかい
ほのふくらみ/穂のふくらみ ばらん
ほはば/歩幅 あす、あす
ほめちぎる/ほめちぎる... ほうみたーつづあす
ほめる/ほめる ほうみ、ほうん、なーず
ぼやける/ぼやけるといづや むーっず、むーっでい
ボラ/ボラ【魚】 ながゆ
ぼら/保良【地名】 ぶら
ほら ほら/ほら ほら (注意喚起) くや く
や
ほらがい/ほら貝 さぐな、った
ほらふき/ほら吹きほうらふきや、ぶらふきや、
ひやーくいち
ほらをふくこと/ほらを吹くこと... ほうらふつ

ほりおこす/掘り起こす くーす
ほる/掘る ほうい、かでい
ほれる/惚れる ほうい、ほうり
ぼろきもの/ぼろ着物 やっづいずん
～ほん/本（茎を数える助数詞） うず
ほん/本 ほうん
ぼん/盆 ぶん
ポンがし/ポン菓子 まいがーす
ほんけ/本家 むとうやー
ほんしょう/本性 すがた
ほんとう/本当 まーんていー
ほんとうに/本当に .. あやかーり、あやかーり、
ぎんとうどう、まーんていー
ほんとうのこと/本当のこと まーんぐとう、ま
ーんていー
ほんとうのもの/本当のもの まーんていー
ぼんやりしたひと/ぼんやりした人とうりばら、
ふたっとうら
ぼんやりする/ぼんやりする ふたっとうい、ふ
たっとうり、とうりばい
まあまあ/まあまあ まーだぎゃー
まいごにさせる/迷子にさせる ゆららす
まいごになる/迷子になる ゆらい
まいった まいっただ参った 参った うばいが
うばい
まいとしまいと/毎年毎年 とうすかず はだ
かず
まいる/参る がうい、がうり
まえ/前 まい
まえかけ/前掛（馬具） ... まいかき、まいがき
まがった/曲がった ゆが
まがる/曲がる ... ゆがん、まがい、ぶい、ぶり
まきえする/撒き餌する あらす
まきがい/巻貝 んな
まきつける/巻きつける ... からまつ、からまふ
まく/巻く まつ、まふ

まく/まく（水や種を）まつ、まふ、はうい、は
うり
まく/まく（種を） うらす、うるす
まくら/枕 まっふあ
マグロ/マグロ【魚】 しび、しゅび
マグロのむれ/マグロの群れ どうんぎゃ
まけ/負け まき
まけぐせ/負け癖 まきならい
まける/負ける がうい、がーらい、まき
まご/孫 んまが
まさか/まさか あがいがあがい、だいずがだ
いず、なうていー、んまつ
まさる/勝る うゆー
まじか/間近 はだ
まじめな/真面目な まさがぬ、まながぬ
まじや/真謝【地名】 まじや
ます/杵【道具】 つが
まず/先ず まず、まずがー
まぜる/混ぜる まっず、まっでい、まんき、ま
んつ
また/股 また
また/また（繰り返す） また
まだ/まだ（～ない） んな一ぎゃー
まだ/まだ んなまぎゃー
またきき/また聞き またずつ、またつ
またぐ/またぐ またぐい、またず
またとない/またとない ありや みーん
マダラハタ/マダラハタ【魚】 にばら
まちがい/間違い ぼっばい
まちがいだ/間違いだ あらん
まちがえる/間違える ぼっばい
まちがったかんがえのひと/間違った考えの人
かなまりや
まちがっている/まちがっている あたらん
まつ/待つ まつ
まっか/真っ赤 は一か

まつげ/まつ毛 まつぎ
まっしろ/真っ白 まっさーら
まっすぐ/真っ直ぐ まうとう
まったくないこと/全くないこと んなばぎ
まつたけ/松茸 まつぬみん
マッチ/マッチ つきだき
まつのき/松の木 まつぎー
まで/まで (目的地) がみ、たーひー
まで/まで (程度) まい
までに/まで (到達点) たーひー
までに/までに (時間) たーひー
まと/的 まとう
まとめて/まとめて (全部で) むいつき
まとめる/まとめる (縄などで) まるつ、まるふ
まともなあるきかた/まともな歩き方 まーっさ
まともなひとげん/まともな人間 にんぎん
まとわりつく/まとわりつく たかい
まないた/まな板 まなちゃ
まなぶ/学ぶ ならう
まぬがれる/まぬがれる んがーい
まね/真似 まーび
まね/真似 (無意識でやる) むない
まびく/間引く まびつ、まびふ
まぶしい/まぶしい ひかい、みーぶかい、みー
ぶたい
まぶた/瞼 みがー
ままごと/ままごと .. やびとう、やびとうがま、
やびとうがなが、やびとうがながー
ままはは/継母 まーま、まーまんま
まみれ/まみれ (どろまみれ) びーた
～まみれだ/～まみれだ (名詞に後続) ... だり
マメ/マメ (「あうく」を使って手にできた) あ
うくばら
まめ/まめ (手などにできる) はら、かうすばら
まめ/豆 まみ
まめのさや/豆のさや さや

まもの/魔物 ほうーぐる、まずむぬ、まずむん
まもりがみ/守り神 まう、まうかん
まゆげ/眉毛 まゆ、まゆぎー
まよう/迷う ふたっとうい、ふたっとうり、ど
うまっぐい
まよわせる/迷わせる ふたっとうらす
まり/まり まーい
まるくする/丸くする まーくん ない
まるくゆう/丸く結う (髪を) まるん
まるた/丸太 まるた
マルヒラアジ/マルヒラアジ【魚】 ... うつみつ
まるめこむ/丸め込む (人を) まるん
まるめる/丸める まるん
まれ/稀 まり
まわす/回す まーす、まーらす、まーい
マングロロブ/マングローブ【植】 あんつきぎ
ー
マングロロブガサミ/マングローブガサミ【生
物】 がさみ
まんぞくする/満足する ぷぎ、ほうぎ、つむー
ぶず、つむー ほうず、つむー ほうず
まんちょう/満潮 そうーんつ
まんなか/真ん中 んなか
まんぶくになる/満腹になる ばたんつ、ばたん
ふ、びとうい
み/実 ない
み/実 (アダンの外側の) つば
み/箕 (脱穀に使う農具) むいじゃうき
み/身 みー
みあげる/見上げる みやーぎ
みうち/身内 うつない
みおくる/見送る うさぎ、うさず
みかえす/見返す みーかいす、みかいす
みがく/磨く みがつ、みがふ
みかた/味方 ひつ、かた、ふん、なーどうが
かた

みかた/味方.....ふん
みがるな/身軽な.....どうーやす
みかん/みかん.....ふにゆー
みき/幹.....から
みき/神酒.....んつ
みぎ/右.....んす
みぎて/右手.....んすでいー
みくだして/みること/見下して/見る事 いみさみー
みくだすこと/見下すこと すたみー、みーさみー、
ほうりむぬみー
みぐるしい/見苦しい.....んずぎ
みごとな/見事な.....ずみぎ
みさき/岬.....とうがい
みさご/鶯【鳥】.....たんた
みさだめ/見定め.....みさだみ
みじかい/短い.....まる
みず/水.....みず
みず/水(船底にたまったもの).....あか
みず/水【幼児語】.....うぶ、おぶ
みずあび/水浴び.....うーず
みすかす/見透かす.....みすかす
みずくみ/水汲み.....かーうり
みずさし/水差.....しゃし
みすてる/見捨てる.....みすてい
みずぼうそう/水疱瘡.....みずがさ
みせびらかす/見せびらかす そうーます、ほう
ーます、ほうーらーす、ほうーらかす、ほうー
らす、さらす、うじゅます
みせる/見せる.....みし、さらす
みそ/味噌.....んそう
みぞ/溝.....ふぐみ、ふぐん、ばだ、ばだく
みぞおち/みぞおち.....つむうつ
みそしる/味噌汁.....んつつー
みそな/みそ菜.....んそうな
みそにこみみ/味噌煮込み...んそうだりかずつ

みたいな/みたいな...しゃく、しゆく、そうく
みたす/満たす.....ぷず、ほうず、んたす
みため/見た目 みーたう、みーとう、みーとう
ー、みーはー
みためがわるい/見た目が悪い.....みーちやぎ
みち/道.....んつ、あいつんつ
みちあふれている/満ち溢れている.....ぶた
みちくさ/道草.....んつつさ、んつふさ
みちしお/満ち潮.....んちやがい じゅー
みちにそって/道に沿って.....んつだてい
みちる/満ちる.....んち、んつ、んてい
みっか/三日.....みーか
みっかまえ/3日前.....ゆーかない
みつける/見つける.....とうみ
みつつ/三つ.....みーつ
みつな/密な.....かた
みつめる/見つける みーつき、みーつつ、みー
つつ
みつもる/見積もる.....うさい
みとおす/見通す.....みとうーす
みな/皆.....んなない
みなさん/皆さん.....やびとうんーな
みなと/港.....んなとう、ふつむとう
みなみ/南.....はい、んまぬは
みなみかぜ/南風.....はいかでい
みなみのあたり/南の辺り.....はいばら
みにくいやつ/醜い奴.....んずぎや
みね/みね.....んみ
みの/蓑.....んぬ
ミノカサゴ/ミノカサゴ【鳥】.....いんどうい
みのがす/見逃す.....んじゅかす
みのほど/身の程.....うながたき
みのらせる/実らせる.....なうらす
みのる/実る.....ない、なうい
みはる/見張る.....みばつ、みばふ、みばかい
みぶり/身振り(その人独特の).....さぐ

みぶるい/身震い (脂っこい豚を食べた後の)
みんぶーら
みぶん/身分.....たき
みまわる/見回る.....みーまーい
みみ/耳.....みん
みみ/耳 (丸まった)まぐみん
みみ/耳 (外の部分)みんばに
みみあか/耳垢.....みんぬっそう
みみがくもん/耳学問.....みんがくむん
みみがとおい/耳が遠い.....ながみん
ミミズ/ミミズ.....ずみず
みみだれ/耳だれ.....みんだい
みみのいいひと/耳のいい人..みんとうーきや、
みんぴーきや
みみのとおいひと/耳の遠い人 みんぐ、ながみ
ん
ミヤークズツのさいしゅうび/ミヤークズツの
最終日.....あとうぬひー
みやこ/宮古.....みゃーく
みやこ/都.....みゃーく
みやこじょうふ/宮古上布 ぶーずん、みゃーく
じょーふ
みやこソバ/宮古ソバ.....そうば
みる/見る.....みー
ミルクざけ/ミルク酒.....みるくじゃき
みわたす/見渡す.....みとうーす
みをかがめる/身を屈める.....まーくん ない
みんな/みんな.....んーな、あるまずー
むいか/六日.....むゆか
むかいあう/向かい合う...ふつつ、ふつつふ
むかいあわせる/向かい合わせる...んきやーす
むかいかぜ/向かい風.....んかいかでい
むかいがわ/向かい側.....んかい
むかう/向かう.....たみ、んかう、んきやう
むかえ/迎え.....んかい
むかえる/迎える.....んかい、んかう

むがく/無学.....むがく
むかし/昔 ひやー、んきやーん、かなーい、か
ない
ムカデ/ムカデ.....んきやでい
むぎ/麦.....むず
むぎのくき/麦の茎.....むずぐる
むぎばたけ/麦畑.....むずなか
むぎをたいたもの/麦を炊いたもの むずたっじ
や
むく/向く.....むつ、むふ、ふつ あす
むく/むく (皮を)むつ、むふ
むくちなひと/無口な人.....ぬどうむぬ
むこ/婿.....むく
むこうがわ/向こう側.....かぬちゃ、かまかた
むし/無視.....うぬっさかん
むし/虫.....むす
むしのつくき/虫の付く木 うきやん、うきやん
ぎー
むしのはいったイモ/虫のはいったイモ ふとう
ていんー
むしば/虫歯 ふていていばー、ふとうていばー
むしりとる/むしりとる.....むっしーとうい
むしろ/筵.....むっそう
むす/蒸す.....んぶす、んぶらす
むずかしい/難しい きつみ、むずかす、むつか
す
むずがゆい/むず痒い.....かすかう
むすびめ/結び目.....すまいふつ
むすめ/娘.....みどうんつうあ
むだづかいする/無駄遣いする すかーらす、す
きやーい、すきやーらす、たーす
むだな/無駄な.....あまた
むだんで/無駄で.....むぬっじゃんぐとう
むちゆう/夢中.....ほうり
むちゆうになる/夢中になる むいぶい、むいぶ
り

むつ/六つ ん一つ
 むね/胸 んみ、 んみうつ、 んみゆ一つ
 むのう/無能 なっちやかん、 なっちやらん
 むのうなひと/無能な人 なっちやかん、 なっち
 やらん
 むら/村 すま
 ムラサキガイ/ムラサキガイ ぎしぐや
 むらさきカタバミ/紫カタバミ たいわんなーず
 つ
 むらだて/村立て すまだてい
 むらばんしょ/村番所 ぶんみゃー
 むれ/群れ んみ、 むいた
 むれになる/群になる むらがい
 むれる/群れる むい
 め/目 みー
 め/茅 かや
 めあて/目当て まとう
 めい/姪 みゆーい
 メイシバ/メイシバ【植】 がんな
 めいわく/めいわく がいず
 めがくらむ/目がくらむ まーぷい
 めかけ/めかけ にごー
 めがさめる/目が覚める .. んじゃみ、 んじゃん、
 みそうい
 めかた/目方 きんみ
 めがね/眼鏡 みがに
 メガネクロハギ/メガネクロハギ【魚】 くーす
 きゃ
 めがまわる/目が回る ぐるみつ、 ぐるみふ、 ま
 ーぷい
 めくらめっぽう/めくらめっぽう みーはん か
 ーはん、 みっふあ かつふあ
 めざめ/目覚め みじゃみ、 みそうい
 めしあがる/召し上がる (「たべる」の尊敬語)
 んきゃぎ
 メジロ/メジロ あうまちゃ、 あうまっちゃ、 つ

さい
 めす/めす みー
 めだま/目玉 みたたま
 めでたい/めでたい かが
 メナガオサガニ/メナガオサガニ【生物】 はい
 まがん
 めのいいひと/目のいい人 みーかない
 めまい/めまい みーまーい、 まーぷら
 めまいがする/目まいがする まーぷい、 たーう、
 たーっぐい
 メリケンこ/メリケン粉 みりきんくー、 みりき
 んぐー、 みるくんくー、 みるくんぐー
 めをつける/目をつける .. みーつき、 みーつつ、
 みーつふ
 めんどうな/面倒な ていーたーり
 めんどうみがいいこと・ひと/面倒見がいいこ
 と・人 みっつうあい
 めんどうをみる/面倒を見る ひとつぬ くと
 ーあす
 めんぼくがない/面目がない みーはなー にゃ
 ーん、 みはなー にゃーん
 ~も/~も (数詞の後、程度が多い) まい
 も/藻 なば、 むー、 ぐず
 も/も (副助詞) まい
 もう/もう (フィラー) んみや、 んめ
 もう/もう んみや、 んめ
 もうかる/儲かる まうつ、 まうふ、 まうき
 もうけ/儲け まうき
 もうける/儲ける まうき、 まうつ
 もうこはん/蒙古斑 んまりばん
 もうじん/盲人 みたまい、 みたまら、 みっふあ
 もうたいへんだ/もう大変だ (驚いた時) あが
 い んみや
 もうふ/毛布 もーふ
 もえる/燃える むい
 もぎとる/もぎ取る むい

モグサ/モグサ やちゅーさ
 モクズガニ/モクズガニ【生物】... いさうがん
 もくてき/目的 たみ
 もくてきち/目的地 みゃーてい
 もくもう/木麻黄【植】 もくもー
 モグラ/モグラ じゃか
 もぐりのいしゃ/もぐりの医者 やぶいしゃ
 もぐる/潜る やいん、やうん、やぐん、むぐい
 もじ/文字 ずー
 もしも/もしも ぎんとうどう
 モズク/モズク すぬい、そうぬい
 もたもたする/もたもたする ふずー
 もち/餅 むつー
 もちあげる/持ち上げる むたぎ、むたず
 もちぬし/持ち主 ぬす
 もちもちしている/もちもちしている むつ
 もつ/持つ むつ
 もっこ/もっこ【道具】 あうだ
 もっと/もっとんみやひ、んみやひー、んめひ、
 んめひー
 もつれ/もつれ がでいらく
 もつれる/もつれる まつー、まつづい、まつ
 っだい
 もと/元 むとう
 もどす/戻す むだす、むどうす
 もとめる/求める あだてい
 もどる/戻る むどうい
 もどる/戻る（実家に） ひつむどうい
 もの/もの むぬ
 ものいればこ/物入れ箱 しつ
 ものおきごや/物置小屋 あさぎ
 ものおぼえ/物覚え むぬうぶい
 ものかげ/物陰 かたか
 ものさがしがへたなひと/物探しが下手な人 み
 ーはぎ、みーぱぎ、みはぎ、みぱぎ、みはぎゃ、
 みたまい、みたまら

ものしずかに/物静かに さびーていー
 ものしり/物知り すーじゅー
 ものにこだわらない/ものにこだわらない ばば
 ん
 ものわすれ/物忘れ むぬばっし
 もむ/もむ（肩などを） むん
 もも/もも むむ、むむに
 もやい/もやい むやい
 モヤシ/モヤシ まみな
 もやす/燃やす むーす
 もよう/模様（__をだすこと） ずだき
 もらう/もらう っじ、ぶい
 もらす/漏らす ふかす
 もり/銚【道具】 うぎん
 もりあがる/盛り上がる むやがい、むりやがい
 もる/盛る むい
 もれる/漏れる むい
 もん/門 じゃう
 もんく/文句 ふがます
 もんくをいう/文句を言う ばいんつ、ばいんふ、
 ばいみつ、ばいみふ、ばいんき、ぶいたみつ、
 ぶいたみふ、たいみつ、たいみふ、だいみつ、
 だいみふ、ぶいみつ、ぶいみふ、がんない、ぐ
 に、ぐにゃい
 もんくをいうひと/文句を言う人 ふがます、ふ
 がましゃ、ぶいみきや
 やえやま/八重山【地名】 やーま
 ヤエヤマアシナガバチ/ヤエヤマアシナガバチ
 【昆】 んまばす
 やかましい/やかましい .. ふがます、やがます、
 んがます、んぎやます
 やぎ/山羊 ひんじゃ
 やぎ/山羊（中性の） ひーまらひんじゃ、ぴー
 まらひんじゃ
 やきいも/焼き芋 やつんー
 やきざかな/焼き魚 やつっぞう

やく/焼く やつ、やふ
やく/焼く (皮膚を日に) にー
やく/役 (_ にたつ) ゆちり、よちり
ヤクシマイワシ/ヤクシマイワシ【魚】 はだら
やくどうする/躍動する そうるき
やくどし/厄年... やふ、やふどうす、やふばな
やくにたたない/役に立たない ひんた、ひんた
ぐー
やくにん/役人 しゅー
やくのひと/厄の人 やふびとう
やくわり/役割 かたあき、たぐい
やくわり/役割【祭礼】 うだい
やけどする/火傷する っさらす
やさい/野菜 (塩付けした) つきな
やさしい/優しい まない
やさしいひと/優しい人 つむあいひとう、つむ
あいびとう
やさしさ/優しさ なかずむ、なち
ヤシあぶら/ヤシ油 まーゆ
ヤシガニ/ヤシガニ【生物】 まくがん
やしなう/養う つかなう
やすい/安い やすだい
やすませる/休ませる やすます
やすまる/休まる やすん、やすまい
やすみ/休み いちゆま、いとうま
やすむ/休む やすん、ゆくー、ゆくい
ヤスリ/ヤスリ【道具】 やすー
やせせているひと・どうぶつ/痩せている人・
動物 やいぐら、やいさぎ
やせた/痩せた やい
やせる/痩せる やい、やいっち、やいっつ
やつ/奴 やから
やつ/奴 (接尾辞) ~んまり
やっかいな/厄介な やっかいな
やつつ/八つ やーつ
やつつける/やつつける んたう

やっど/やっど やっとう
やっどのこと/やっどのことであかやっとう、
やっとう
やつれる/やつれる すがい
ヤドカリ/ヤドカリ【生物】 あまん
ヤドカリのおはら/ヤドカリのお腹 たに
やびじ/八重干瀬【地名】 やびじ
やぶる/破る んだい
やま/山 やま
やま/山 (高い岩山) さん
ヤマダニ/ヤマダニ やまだん
やまづみ/山積み やまずん
やまづみする/山積みする んーずん
やまのふもと/山のふもと やまあす
やまばと/山鳩 はとう
やまブドウ/山ブドウ かにゆーんーた
やまもりにする/山盛りにする むやがらす
やみ/病み (神のことで) かんぶり
やめる/やめる (仕事などを) なっちやい、な
まい
やもうしょう/夜盲症 とういみ
ヤモリ/ヤモリ【生物】 やーずみや
やらせる/やらせる とうとうっふあす
やりかた/やり方 あすかた、すきゃき、はかう
つ
やりくりじょうず/やりくり上手 (家計など)
きないむつじゃうず
やりとげる/やり遂げる はんし
やる/やる (=する) あす
やる/やる (=あげる) ふいー
やるきがでない/やる気がでない つーだり
やれ/やれ (「あす」の命令形) あっそう
やろう/野郎 ひやー
やわらかい/やわらかい やーら
やわらかすぎる/柔らかすぎる やーたり
やんちゃ/やんちゃ ぎずぎやうな

ゆいあげる/結上げる ゆー、ゆーい、ゆい、ゆ
っぐい
ゆいごん/遺言……………いがんぐい
ゆう/結う……ゆー、ゆーい、ゆい、ゆっぐい
ゆうかく/遊郭……………さかなやー、さかぬやー
ゆうがた/夕方……………ゆさらび
ゆうかん/勇敢……………はてい
ゆうき/勇気……………いず
ゆうしゅうなひと/優秀な人……………でいきぶつ
ゆうしゅうなりょうし/優秀な漁師…いんぼう
ゆうじょ/遊女……………じゅり
ゆうしょく/夕食……………ゆい
ゆうのうだ/有能だ……………はうか
ゆうのうなひと/有能な人 ちゅーばー、はうか
ゆうふく/裕福……………ゆー
ゆうふくな/裕福な……………みゃーす
ゆうれい/幽霊 まずむぬ、まずむん、やなむぬ
ゆか/床……………ゆか
ゆかいな/愉快的……………ゆがいな
ゆがみ/歪み……………ゆがん
ゆさぶる/揺さぶる……………ゆったーづあす
ゆしとうふ/ゆし豆腐……………たうふゆー
ゆすぐ/ゆすぐ……………ゆすず
ゆする/揺する むい、ぶーうー、ぶーっづあす
ゆずる/譲る ゆらき、ゆらつ、ゆるき、ゆるつ
ユタ/ユタ……………むぬすー
ゆたかになる/豊かになる……………ゆかい
ゆっくりと/ゆっくりと よーんなー、よーんな
ーなー
ゆでる/茹でる…ゆーず、ゆーっず、ゆーでい
ゆのみ/湯呑……………ちゃばん
ゆび/指……………うゆび
ゆびわ/指輪……………ていがに
ゆみ/弓……………ゆん
ゆめ/夢……………いみ、ゆみ
ゆらぐ/ゆらぐ ゆらぎ、ゆらず、ゆりぎ、ゆり

ず、ゆるぎ、ゆるす、ゆるず、ゆるつ
ゆらす/揺らす ゆい、ゆらす、ゆらがす、ゆる
がす
ゆりうごかす/揺り動かす ぶったーらす、むっ
たーっづあす
ゆるす/許す……ゆらす、ゆるす、んじゆかす
ゆるむ/緩む……………ゆるみ、ゆるん
ゆるめる/緩めるゆるつ、ゆるふ、'ゆるみ、ゆ
るん、ゆーらす
ゆれる/揺れる ゆらぎ、ゆらず、ゆりぎ、ゆり
ず、ゆるぎ、ゆるす、ゆるず、ゆるつ、ゆい、
たっづあみつ、たっづあみふ
よ/よ (終助詞)……………さ、どー
よあけ/夜明け……………なまじゃーか
よい/酔い……………びゆーい
よい/良い……………かぎ、じゃう、んさ
よいてんき/良い天気……………じゃうどうきや
よいひどり/良い日取り じゃうひかす、じゃう
ひゆーい
よう/酔う……………びゆーい
よういだ/容易だ……………ちゃーす
よういな/容易な……………どーやす
ようか/八日……………やうか
ようき/容器……………たうに
ようす/様子……………やうたい
~ようだ/~ようだ (推論) おーかん、やうかん
ようてん/要点……………つぶ
ようと/用途……………つかいはー
~ように/~ように (「まるで~の__」) .んまり
ように/ように……………にゃーん
ように/~ように (する) やうん、やうんていー
ように/~ように (なる) やうん、やうんていー
ようめい/幼名……………やらびなー
よかったね/良かったね (応答) ……いーばー
よがわり/世がわり……………ゆーがーい
よく/欲……………ゆく

よくあつ/抑圧（精神的） すずうそうい
よく～するひと/よく～する人 じゅー
よくせい/抑制 たみ
よこになる/横になる ゆくたーい
よこみち/横道 まがい
よごもり/夜籠り【祭礼】ゆーぐむい、ゆぐむい
よごれ/汚れ なば
よごれた/汚れた っしゃな、っふすー
よそ/よそ ゆそう
よそうがつかない/予想がつかない... うかーす
よそおい/装い そうがい
よそおう/装う そうがい
よそく/予測 さんみん
よそくする/予測する たみす
よたよたと/よたよたと ゆたゆたていー
よだれ/よだれっそうすー、ふつすー、ゆだい、
ゆだら
よちよち/よちよち たいたい
よちよちあるき/よちよち歩き またたい、また
たいあいつ
よつあしあるき/四つ足歩き（赤ちゃんの） た
かはずばい
よっか/4日 ゆーか
よつかど/四つ角 ゆかどう
よつだけ/四つ竹 ゆっだき
よつつ/四つ ゆーつ
よつばのクローバー/四葉のクローバー たいわ
んなーずつ
よづり/夜釣り ゆずー
よどませる/淀ませる ゆどうます
よどみ/淀み ゆどうん
よどむ/淀む ゆどうん
よなおし/世直し ゆなうす
よなか/夜中 にーか、ゆなか
よなき/夜泣き ゆなつ
よにん/四人 ゆたーい

よねん/四年 ゆーてい
よのなか/世の中 ゆー
よばい/夜這い ゆばい
よぶ/呼ぶ ゆらう
よふかし/夜更かし ゆーか
よむ/読む ゆん
よめ/嫁 ゆみ
ヨモギ/ヨモギ やちゆーさ
～より/～より んつきやー
よりいじょうの/より以上の かていぬ
よりかかる/寄りかかる うかい、むちやい
よりかかる/寄りかかる... くっそう たでいー
よりもっと/よりもっと まさりー
よる/夜 ゆー
よるのりょう/夜の漁 いじやい
よろこばしい/喜ばしい かばす
よわい/弱い ゆー、ゆーがー
よわる/弱る ゆーい
らいう/雷雨 かんないあみ
らいねん/来年 やーに、ふたていあとう
ライびょうかんじゃ/ライ病患者 あいたー、く
んきや
らく/楽 らく
らくだ/楽だ みやーす
～らしい/～らしい（推論）. おーかん、やうか
ん、っじゃ、ていんど、ていんどー、はーらー
らっかせい/落花生 ずまみ
ラッキョウ/ラッキョウ だきやう
らんおう/卵黄 とうぬかぬ あかみー
ランプ/ランプ とうーい
らんぼうな/乱暴な あーつな
らんぼうに/乱暴に（扱う）すくつ、そうくつ、
すくつな、そうくつな
らんぼうもの/乱暴者 あーつな
リーフ/リーフ っし
リーフのそとがわのうみ/リーフの外側の海 ほ

うか
りかい/理解.....さだか
りかいてきる/理解できる.....つかい
りかいりよく/理解力.....かん
りきむ/力む.....ゆくん、んくん
りくつっぽい/理屈っぽい.....ゆがずー
りくとう/陸稻.....はたきまい
りこん/離婚 とうずぶとうばきやーい、とうず
ぶとうばかーい
りし/利子.....りす
りっぱなたいかく/立派な体格.....ほうどうー
りゅうぼく/流木.....ゆりぎ
りょう/漁.....はまうり
りょう/量.....ふさ
りょうがえ/両替.....でいんぐり
りょうがえする/両替する.....くり
りょうけんがせまい/料簡が狭い.....いみずむ
りょうし/漁師.....いんしゃー、いんまーら
りょうしなかま/漁師仲間.....いんにんじゅ
りょうしん/両親.....んまーさ、んまっざ
りょうてい/料亭.....さかなやー、さかぬやー
りょうまえあしをあげること/両前足を上げる
こと(馬の動作).....まいだつ
りょうり/料理.....うさい
りょうりする/料理する.....やつ、やふ
りんか/隣家.....まうきやー
りんげつ/臨月.....なすずつ
りんじん/隣人.....さとうびと
リンパせん/リンパ腺.....だに
リンパせん/リンパ腺(脇の).....ばっだだに
りんびょう/淋病.....ずんびやう
るすばん/留守番.....やーばん
れいき/冷氣.....ひぐるつー
れいせい/冷静.....つむたみ
れいせいなひと/冷静な人 つむたみ、つむたみ
や

れいりよくがつよい/霊力が強い.....かんだか
レスリング/レスリング.....うすあい
~れば/~れば(仮定).....ったー
ろうあしや/聾啞者.....いーさ
ろうどうりよく/労働力.....ひとうでいー
ろうはん/老斑.....ゆむじゃ
ろうひする/浪費する.....ふあう
ロクセンスズメダイ/ロクセンスズメダイ【魚】
あうびつ
ロクセンフエダイ/ロクセンフエダイ【魚】 あ
かんちゃ
ろくにん/六人.....むゆぬひと
ろくまくえん/肋膜炎.....ろくまく
ろっこつ/肋骨.....やかたぶに
ロロプ/ロープ.....ぶー
わいろ/賄賂.....かまい、ていだい、わいる
わかい/若い.....ばか
わかいじよせい/若い女性.....みやらび
わかいだんせい/若い男性.....びきりや
わかくみえる/若く見える ばかさう、ばかしゃ
う
わかくみえるひと/若く見える人 ばかさう、ば
かしゃう
わかす/沸かす あったす、あっちゃす、ばかす
わがまま/わがまま.....がいず、ほうんだい
わかもの/若者.....ばかむぬ
わかる/分かる.....すー
わかれ/別れ.....ばかーい、ばきやーい
わかれる/別れる.....ばかーい、ばきやーい
わき/脇.....ばっだ
わきが/腋臭.....ばっだかじゃ
わきげ/脇毛.....ばっだぎー
わきでる/湧き出る...むりやがい、ばき、ばつ
わきばら/脇腹.....やかたばた
わきまでのふかさ/脇までの深さ..ばっだだき、
ばっだだつ

わく/湧く.....ばつ、ばふ、ばき
わけ/わけ.....ばー
わけあたえる/分け与える.....っそうず
わけたかみのけ/分けた髪の毛(の人) ばきが
み
わけまえ/分け前....たま、ばきだま、またま、
まだま、っじだま、とういまい、ふつだま、む
つ、むてい
わけまえ/分け前(多い) うだまぶた、またま
ぶた、まだまぶた
わける/分ける.....なかーい、ゆい、ばき
わざと/わざと.....さらたみ
わざわざ/わざわざ うったーていー、さらたみ
わずかのあいだ/僅かの間.....ひとつむつき
わずらわしい/煩わしい.....やっかいな
わすれる/忘れる.....ばすー、ばっし
わたし/私.....ばー、ばん
わたしが/私が.....ばが
わたしたち/私たち.....ばんた、ばんてい
わたしたちを/私たちを.....ばんちゅー
わたしに/私に.....ばぬんかい
わたしの/私の.....ばが
わたしを/私を.....ばぬー
わたす/わたす(賄賂を).....びらう
わたす/渡す.....ふいー、とうらす
わだち/轍.....わだち
わたる/渡る.....ばたい
わな/罟.....ばな
わめく/喚く.....ばみつ、ばみふ

わら/藁.....ばら
わらい/笑い.....ばらい
わらう/笑う.....ばらう
わらう/笑う(ニコニコと) ..あまい、はがみ、
はがみつ、はがみんつ、はがん
わらじ/草鞋.....ふだみ
わりあてきん/割り当て金.....ばいでいん
わる/割る.....ばい
わるい/悪い.....ばい、やな
わるいくせ/悪い癖.....しゆく
わるいせいかく/悪い性格.....くんじゃう
わるいやつ/悪いやつ.....やなんじゃ
わるく/悪く.....ばいふ
わるくち/悪口 あっく、あっくー、あっこ、あ
っこー、やなうつ、やなふつ、っさ
わるくちをいう/悪口を言うふやず、ふあーず、
ふあやず
わるだくみ/悪だくみ.....さい
わるぢえ/悪知恵 ゆがうむくとう、やなうむく
とう
われる/割れる.....っさき
わんぱくぼうず/腕白坊主.....ぼうちら
ワンワン/ワンワン(犬の鳴き声) ...ぼうぼう
を/を(格助詞).....う、ゆ
～をば/～をば(「うぎゃー」の変異形) うぎゃ
ー
～をば/～をば.....ゆぎゃー
～んだよ/～んだよ.....ふだー



著者略歴

仲間博之 (なかま ひろゆき)

1947年 沖縄県平良市西原で生まれる
1970年 琉球大学工学部物理学科卒業
1970年 高校教諭採用
1970年～2008年 県立高校勤務
2008年 宮古高校校長で定年退職

田窪行則 (たくぼ ゆきのり)

1950年 岡山県玉野市で生まれる
1980年 京都大学大学院文学研究科博士課程単位取得学修(言語学)
1980年～1982年 韓国東国大学慶州分校日語日文学科 専任講師
1980年～1990年 神戸大学教養部日本語日本事情 専任講師・同助教授
1990年～2000年 九州大学文学部 助教授・同教授
2000年～2016年 京都大学大学院文学研究科 教授
2017年～2023年 京都大学名誉教授、大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国立国語研究所 所長
2023年～現在 京都大学・国立国語研究所名誉教授

岩崎勝一 (いわさき しょういち)

1951年 東京都江東区で生まれる
1988年 UCLA 言語学博士課程修了
1987年～1990年 タイ・タマサート大学(日本語学科) 国際交流基金派遣講師
1990年～現在 UCLA アジア文化学部 助教授・同教授
(2013年～2016年 ハワイ大学 東アジア言語文化学部教授)

五十嵐陽介 (いがらし ようすけ)

1976年 東京都稲城市で生まれる
2005年 東京外国語大学院地域文化研究科博士後期課程修了博士(言語学)
2005年～2006年 理化学研究所脳科学総合研究センターテクニカルスタッフ
2006年～2009年 日本学術振興会特別研究員 PD
2009年～2015年 広島大学大学院文学研究科准教授
2000年～2020年 一橋大学大学院社会学研究科准教授・同教授
2020年～現在 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立国語研究所教授

Daniel Wymark (ダニエル・ワイマーク)

1992 年 カリフォルニア州ハリウッドで生まれる
2017 年 UCLA 言語学・数学学部卒業
2017 年～2021 年 カリフォルニア州エル・セグンド、SmartAction、自然言語処理研究・ソフトウェア開発
2021 年～現在 カリフォルニア州トーランス、Celestron、ソフトウェア開発

中川奈津子(なかがわ なつこ)

1982 年 石川県宇出津市で生まれ、滋賀県東浅井郡びわ町(現長浜市)で育つ
2016 年 京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程修了博士(人間・環境学)
2015 年～2017 年 日本学術振興会特別研究員 PD/千葉大学
2019 年 千葉大学特任研究員
2019 年～2022 年 国立国語研究所特任助教
2022 年～2023 年 同准教授

NINJAL Language Variation Division

10-2 Midori-cho Tachikawa City, Tokyo, 190-8561 JAPAN

Dictionary of Ikema, a variety of Miyako Ryukyuan

Author: Hiroyuki Nakama, Yukinori Takubo, Shoichi Iwasaki, Yosuke Igarashi, Daniel Wymark, and Natsuko Nakagawa

Published in Tokyo, Japan by Language Variation Division, National Institute for Japanese Language and Linguistics

Printed in Tokyo, Japan by Tachikawa Printing Factory Inc.

南琉球・宮古語 池間方言辞典 西原地区版

発行日 2024年3月26日(第2版)

2022年3月26日(初版)初版『南琉球宮古語 池間方言辞典』から改題

著者・編者 なかまひろゆき 仲間博之 たくぼゆきのり 田窪行則 いわさきしょういち 岩崎勝一 いがらしょうすけ 五十嵐陽介

なかがわなつこ ダニエル・ワイマーク 中川奈津子

出版者 国立国語研究所 言語変異研究領域

190-8561 東京都立川市緑町 10-2

0570-08-8595

<https://www.ninjal.ac.jp>

印刷所 株式会社立川印刷所

ISBN 978-4-910257-12-9

C3581
